

THE STRANGER

英語 異邦人

Albert Camus

2017/06/13～

2023/03/29

三浦 高志

参考文献等

英語テキストはインターネットからダウンロード

[「見知らぬ人」全文 \(archive.org\)](#)

THE Stranger By ALBERT CAMUS

Translated from the French by Stuart Gilbert

VINTAGE BOOKS A Division of Random House NEW YORK

Copyright 1942 by Librairie Gallimard as L'ÉTRANGER

Copyright 1946 by ALFRED A. KNOFF, INC. All rights reserved.

フランス語原書 L'ÉTRANGER 1967 年 9 月 ガリマール社 出版番号 : 12784.

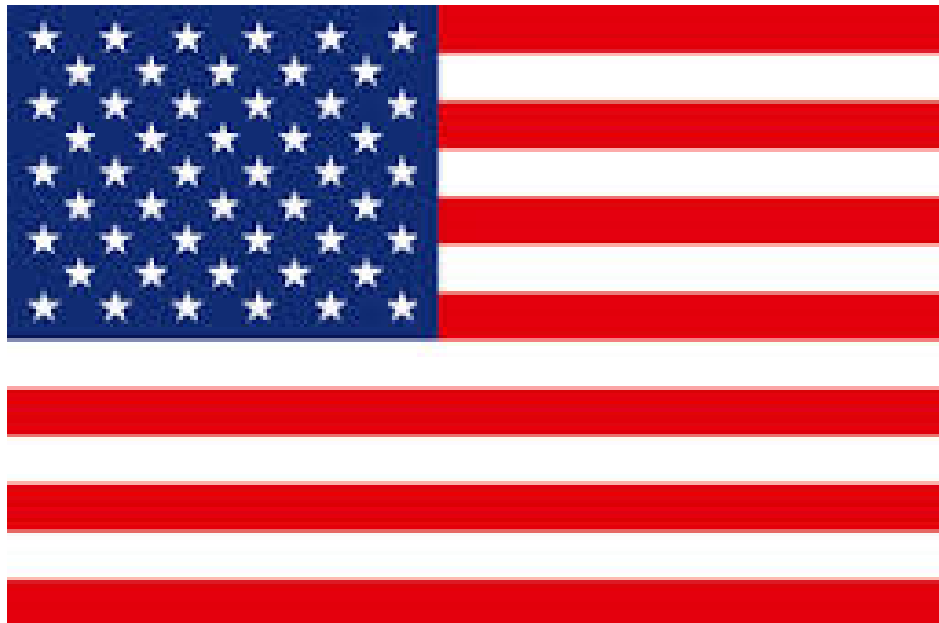
対訳 フランス語で読もう「異邦人」

2012 年 10 月 20 日初版発行 著者 アルベール・カミュ

訳注者 柳沢文昭 発行所 (有)第三書房

構文解析 2017/06/13～2023/03/29

三浦 高志 Takashi Miura



目次

目次

参考文献等.....	2
目次.....	3
文の構成要素と構文解析の書式.....	9
名詞・性と数	10
「直接目的語」と「間接目的語」	11
形容詞	11
不定冠詞	12
定冠詞.....	12
副詞	12
比較.....	12
補語	13
動詞	13
助動詞	13
疑問詞	14
接続詞	14
関係詞	14
前置詞	14
構文解析の書式.....	15
構文解析の例.....	16
文の構成要素と構文解析の書式ー終わり	16
Part 1 第 1 部	18
I.....	19
マランゴ Marengo :	20
参考 : It strikes me you are wrong. 君は間違っているように思う。	22
おじ、おば :	26
レジョン・ドヌール勲章 :	30
フランス語の原文では : 午前中ではなく、 時刻 が示されている.....	44
フランス語の原文では : 架台の補足説明がある	46
フランス語の原文では : 棺の補足説明がある.....	47
フランス語の原文では : 木ねじの説明が異なる	48

目次

フランス語の原文では : 上っ張りの色が異なる	48
フランス語の原文では : もっと単純に表現されている	51
フランス語の原文では : 少し表現が異なる (中断)	51
フランス語の原文では : 目と頬の説明がもっと詳しい	53
would の用法 :	59
出身 : hail from, come from, be from, be born in	60
フランス語の原文では : 文の順序が異なる	62
フランス語の原文では : コーヒーポットとカップの表現が異なる	74
きしむ : 軋む	78
文の強調 :	79
主語の強調 :	79
フランス語の原文では : 表現が異なる	82
泣く weep, cry, sob, wail :	84
フランス語の原文では	85
身支度 みじたく :	99
まだら雲 :	100
フランス語の原文では : 養老院の診療所員ではなく、通いの医師	113
吊り香炉 : 「振り香炉」ともいう	115
愁い (うれい) : 嘆き悲しむこと。	129
安らぎ : 穏やかなゆったりとした気分。	129
びっこをひく : 足をひきずる	130
顔のしわ :	148
II	151
フランス語の原文では : It was quite like old times; の部分が異なる	155
used to+不定詞 : 過去の習慣、または過去の状態を表す	155
フェルナンデル :	162
フランス語の原文では	169
英語では白紙のページを含むものを広くアルバムと称する。	173
balcony バルコニー :	174
veranda ベランダ : アメリカでは porch ポーチ	174
terrace テラス :	174
エナメル革 :	176
クロムなめし :	176
植物タンニンなめし :	176
カンカン帽 :	177
フランス語の原文では	177

目次

モール :	178
フランス語の原文では : 路面電車が規則的な間隔で通り過ぎた	193
occur 𠂇 : v.i おこる、生じる、思い出される、現れる	198
III	199
船荷証券 (ふなにしょうけん) : a bill of lading	201
フランス語の原文では	203
フランス語の原文では	205
フランス語の原文では	221
フランス語の原文では	225
パラフィンランプ :	233
事の顛末 (ことのてんまつ) :	244
フランス語の原文では : シンプルな表現だった	262
フランス語の原文では : シンプルな表現だった	263
ムーア人 :	273
フランス語の原文では	276
フランス語の原文では	283
IV	284
フランス語の原文では	286
皮と革 :	286
まくりあげる・たくしあげる :	295
フランス語の原文では : 次の文が続いている	303
ひも :	306
be to+不定詞 :	309
𠂇に𠂇しては :	314
agree to :	319
まくしたてる (捲し立てる)	325
フランス語の原文では	326
あり得る	331
フランス語の原文では	334
軋む :	337
V	339
構文 「主語」「be 動詞」「補語」「名詞節」(「副詞節」)	347
フランス語の原文では	351
a sort of... 𠂇のようなもの、𠂇の一種	361
be + 現在分詞	364
フランス語の原文では	367

目次

フランス語の原文では	368
produce プロデュース v.t.....	371
the coming week.....	371
先週は last week.....	371
フランス語の原文では	379
犬の寿命	384
VI	396
フランス語の原文では	399
ビーチバッグ :	401
フランス語の原文では	402
かんかん帽 :	402
前腕 (ぜんわん)	403
肌 (はだ)	403
フランス語の原文では	406
フランス語の原文では	412
フランス語の原文では	414
アスフォデル	414
タマリスク tamarisk : 学名 Tamarix tetrandra ギョリュウ属.....	415
フランス語の原文では	420
フランス語の原文では	421
浮き身 :	428
フランス語の原文では : 腕ではない	436
ポケットに手を入れる心理.....	452
フランス語の原文では	471
フランス語の原文では	472
フランス語の原文では	499
Part 2 第 2 部	505
I	507
人定尋問	507
予審判事	508
フランス語の原文では	546
フランス語の原文では	563
フランス語の原文では	571
II	577
フランス語の原文では	586
フランス語の原文では	591

目次

フランス語の原文では	591
フランス語の原文では	592
通奏低音	592
フランス語の原文では	594
フランス語の原文では	602
フランス語の原文では	604
足元と足下（あしもと）	605
待ち望む	616
空木（うつぎ）	619
フランス語の原文では	637
看護婦の言葉（第1部第1章）	655
III	656
ベネチアン・ブラインド	664
仮定法現在	691
verdict	692
フランス語の原文では	717
フランス語の原文では	732
フランス語の原文では	733
パナマ帽	735
一張羅（いっちょうら）	735
告発と弾劾	775
IV	782
フランス語の原文では	822
V	853
教誨師（きょうかいし）	853
時間と日光の色	884
may as well+不定詞	891
Be to+不定詞	894
フランス語の原文では	896
フランス語の原文では	897
フランス語の原文では	898
フランス語の原文では	898
フランス語の原文では	899
「主語」「be 動詞」「補語」「名詞節」の構文解説	927
文型 SVOC の受動態	932
悲嘆にくれる	932

目次

身震い.....	933
フランス語の原文では	937
フランス語の原文では	944
反発	945
THE END.	969
About the Author.....	970
Vector で公開中のソフトとデータ	972

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

文の構成要素と構文解析の書式

文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、

「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、

「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、

「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」「形容詞」「副詞」。

文の構成要素と構文解析の書式

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

文の構成要素と構文解析の書式

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」＋「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

文の構成要素と構文解析の書式

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

文の構成要素と構文解析の書式

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。

しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのものだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～と感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

文の構成要素と構文解析の書式

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」＋「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」＋「等位接続詞」＋「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」＋「動詞」＋「従属接続詞」＋「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適当な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。

前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.fのように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

I have a sore throat from a cold for the last two weeks.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

have ハヴ v.t 所有している

「動詞」

a sore throat ア・ソア・スロート n. 痛い喉

「目的語」

from a cold フロム・ア・コールド adv. (原因) 風邪のために

「副詞句」

for the last two weeks フォー・ザ・ラスト・トゥー・ウィークス adv. (期間) 最近の 2 週間

「副詞句」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Today I have bought 2 (two) reference books to keep a diary in italian and in spanish.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Today トゥデイ adv. 今日 (は)

「副詞」

I アイ pron 私は

「主語」

have bought ハヴ・ボート (現在完了) 買った

「動詞句」

2 reference books トゥ・リファレンス・ブックス n. 2 冊の参考書

「目的語」

to keep a diary トゥ・キープ・ア・ダイアリー adv. (目的) 日記をつけるために

「副詞句」

in italian and in spanish イン・イタリアン・アント・イン・スパ ニッシュ

adv. (方法) 英語とスペイン語で

「副詞句」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

I gathered 430 (four hundred thirty) g of wild chestnut and harvested 2 (two) eggplants.

「主語」「動詞」「目的語」and「動詞」「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

gathered ギャザート 過去形 v.t 拾い集めた

「動詞」

430 g of wild chestnut フォーハントレット・サティー・グラム・オブ・ワイルド・チェスナット

n. pl. 430g の山栗

「目的語」

and アント conj. そして、それから

harvested ハーヴ・エスティット 過去形 v.t (作物を) 収穫した

「動詞」

2 eggplants トゥ・エッグ・プランツ n. pl. 茄子を 2 個

「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式ー終わり

THE Stranger

By ALBERT CAMUS

Translated from the French by Stuart Gilbert

VINTAGE BOOKS
A Division of Random House
NEW YORK

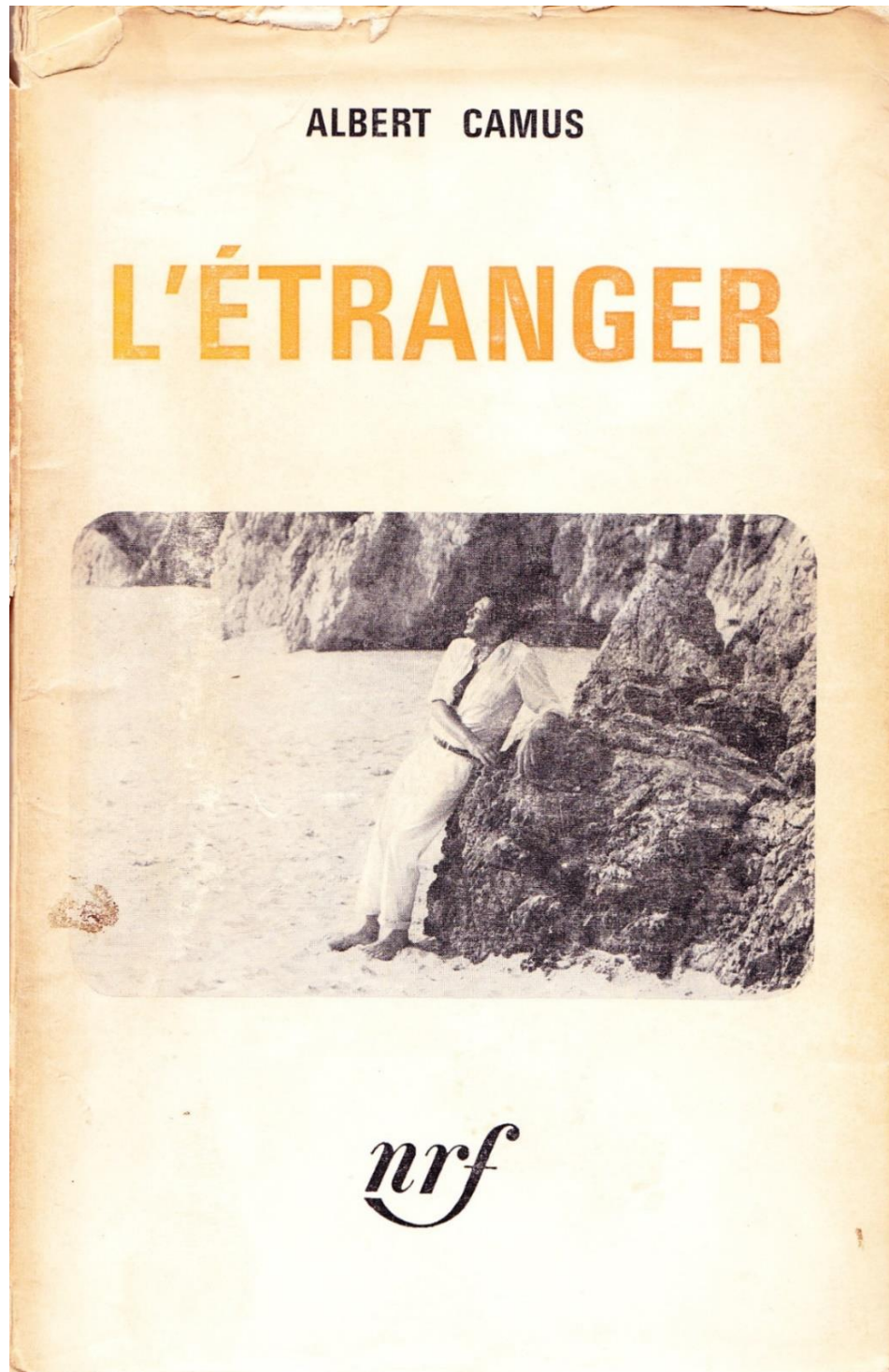
VINTAGE BOOKS
are published by Alfred A. Knopf, Inc.
and Random House, Inc.

Copyright 1942 by Librairie Gallimard as L'ÉTRANGER

Copyright 1946 by ALFRED A. KNOPF, INC. All rights reserved. No part of this book may be reproduced in any form without permission in writing from the publisher, except by a reviewer who may quote brief passages in a review to be printed in a magazine or newspaper. Manufactured in the United States of America. Distributed in Canada by Random House of Canada Limited, Toronto.

ALBERT CAMUS
THE STRANGER

Part 1 第1部



Part 1 第 1 部

I

きょう母さんが死んだ。それとも昨日かもしれないが、よくわからない。

MOTHER died today. Or, maybe, yesterday; I can't be sure.

	「主語」「動詞」「補語」 「副詞句」; 「主語」「動詞句」「補語」
MOTHER マザー n. 母さんが	「主語」
died ダイド 3 単過 v.i 死んだ	「動詞」
today. トゥデイ adv. きょう	「副詞」
Or, maybe, オア・メイビー adv. もしかすると	「副詞句」
yesterday; イェスタデイ adv. 昨日	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
can't be キャント・ビー 1 単現・否定・可能性 v.i ~であるはずがない	「動詞句」
sure. シュア adj. 確信した、確かな	「補語」

養老院からの電報にはこう書いてある：

「ハハウエゴセイキョ ソウギアス オクヤミモウシアゲル」

The telegram from the Home says: YOUR MOTHER PASSED AWAY. FUNERAL TOMORROW. DEEP SYMPATHY.

	「主語」「動詞」: 《「主語」「動詞句」 「動詞」「副詞」 「目的語」》
The telegram ザ・テレグラム n. 電報は	「主語」
from the Home フロム・ザ・ホーム adj. 養老院からの	「形容詞句」
says: セズ 3 単現 v.i 言っている	「動詞」
YOUR MOTHER ユア・マザー n. ハハウエは	「主語」
PASSED AWAY. パスト・アウェイ 3 単過 v.i 亡くなった、他界した	「動詞句」
FUNERAL フェネラル n. 葬式は	「主語」
TOMORROW. トモロウ adv. 明日	「副詞」
DEEP SYMPATHY. ディープ・シンパシー n. 心からのお悔やみ	「目的語」

これでははっきりしない；多分きのうだろう。

Which leaves the matter doubtful; it could have been yesterday.

	「主語」「動詞」「目的語」「補語」; 「主語」「動詞句」「補語」
Which フィッチ pron これは	「主語」
leaves リーヴズ 3 単現 v.t(SVOC) O を C のままにしている	「動詞」
the matter ザ・マター n. 物事を	「目的語」
doubtful; ダウトフル adj. 不確かな	「補語」
it イット pron それは	「主語」

Part 1 第1部

could have been クッド・ハヴ・ビーン 3 単過・完了形・可能性(be)

v.i ~だったかもしれない

「動詞句」

yesterday. イェスタデイ adv. 昨日

「補語」

養老院はアルジェからおよそ 50 マイルのマランゴにある。

The Home for Aged Persons is at Marengo, some fifty miles from Algiers.

「主語」「動詞」「副詞句」

The Home for Aged Persons ザ・ホーム・フォー・エイジド・パースンズ n. 養老院は

「主語」

または、老人ホーム

is イズ 3 単現(be)v.i (存在) ~にある

「動詞」

at Marengo, アット・マレンゴ adv. マランゴに

「副詞句」

some fifty miles from Algiers. サム・フィフティ・マイルズ・フロム・アルジェーズ

adj. アルジェからおよそ 50 マイルのところに

「形容詞句」

マランゴ Marengo :

北アフリカのアルジェリアの町（「異邦人」が出版された頃はフランス領）。一方、イタリア北部ピエモンテ州アレッサンドリア近郊の町マレンゴ Marengo において、ナポレオンは 1800 年にオーストリア軍とのマレンゴの戦いで勝利を収めた。同名だが全く異なる町。

2 時のバスに乗れば、日が暮れる前に着けるだろう。

With the two o'clock bus I should get there well before nightfall.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

With the two o'clock bus ウイズ・ザ・ツー・オクロック・バス

adv. (条件・仮定) 2 時のバスに乗れば

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

should get シュット・ゲット 1 単現・可能性・推量 v.i 着けるだろう

「動詞句」

there ゼア adv. そこに

「副詞」

well before nightfall. ウェル・ビフォー・ナイトフォール adv. 日が暮れる前に

「副詞句」

そうすれば、棺のそばで通夜をして一夜を過ごせるし、明日の晩までに戻ってこられる。

Then I can spend the night there, keeping the usual vigil beside the body, and be back here by tomorrow evening.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」, 「副詞句」 and 「動詞句」「補語」「副詞句」

Then ゼン adv. (推論を示して) そうすれば、そういう訳なら

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

can spend キャンスペン 1 単現・可能 v.t (時間を) 過ごすことができる

「動詞句」

the night ザ・ナイト n. 夜を

「目的語」

Part 1 第1部

there, ゼア adv. そこで	「副詞」
keeping キーピング 現在分詞(keep)v.t ~を続けて	「副詞句」
the usual vigil サ・ユージュアル・ウエイジル n. 通例の通夜を	「目的語」
keep vigil キープ・ウエイジル 「(死者の) 通夜をする、寝ずの番をする」	
beside the body, ビサイト・ザ・ボディ adv. 棺のそばで	「副詞句」
and アンド conj. そして	
be ビー 1 単現・可能(can be)v.i ~でいることができる	「動詞句」
back here バック・ヒア adv. ここに戻って	「補語」
by tomorrow evening, バイ・トゥモロー・イブニング adv. 明日の晩までに	「副詞句」

僕は社長に言って 2 日間の休暇を取り付けた；この状況では、社長も断れなかつただろう。

I have fixed up with my employer for two days' leave; obviously, under the circumstances, he couldn't refuse.

	「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」；「副詞句」「主語」「動詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
have fixed up ハヴ・フィクスト・アップ 1 単現・完了形(fix up)v.t (事の) 手配をした	「動詞句」
with my employer ウイズ・マイ・エンプロイヤー adv. 社長に	「間接目的語」
for two days' leave; フォー・トゥ・デイズ・リーヴ n. 2 日間の休暇を	「直接目的語」
obviously, オブヴィアスリー adv. 明らかに	「副詞」
under the circumstances, アンダー・ザ・サーカマスタンスイズ adv. この状況では	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
couldn't refuse. クント・リフーズ 3 単過・推量 v.t 断れなかつただろう	「動詞句」

それでも、彼は怒っているように見えたので、僕は次のように言った：「済みません、でも僕のせいじゃありません」

Still, I had an idea he looked annoyed, and I said, without thinking: "Sorry, sir, but it's not my fault, you know."

	「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」；
	《「挨拶」 but 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》
Still, スティル adv. それでも、しかしながら	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t あった	「動詞」
an idea アン・アイデア n. 観念、認識	「目的語」
adj. (同格) ~という	「形容詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
looked ルクト 3 単過 v.i ~のように見えた	「動詞」

Part 1 第1部

annoyed, アノイト` adj. 腹を立てた、不満な	「補語」
and アンド` conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
said, セット` 1 単過 v.i 言った	「動詞」
without thinking: ウイズ`アウト・シンキング` adv. 考えなしに	「副詞句」
“Sorry, sir, ソーリー・サー adv. 済みません	「挨拶」
but バット conj. でも	
it イット pron それは	「主語」
's not イズ`・ノット 3 単現・否定(be)v.i ~でない	「動詞」
my fault, マイ・フォルト n. 僕の責任	「補語」
you know.” ユー・ノウ adv. ご存知のように	「副詞句」

後になって、あんなことを言う必要はなかったと思った。

<u>Afterwards it struck me I needn't have said that.</u>	「副詞」「動詞」「間接目的語」「主語」
Afterwards アフターワーズ` adv. 後になって	「副詞」
it イット pron 仮の主語（真の主語は I needn't 以降）	
struck ストラック 3 単過(strike)v.t （考えが）（人の）心に浮かんた、思った	「動詞」
me ミー pron 僕の、僕にとって	「間接目的語」
n. ~という思いが	「主語」
I アイ pron 僕は	「主語」
needn't have said ニードント・ハヴ`・セット` 1 単過・必要・否定(need to+不定詞)	
v.t 言う必要はなかった	「動詞句」
that. ザット n. そんなことを	「目的語」

参考：It strikes me you are wrong. 君は間違っているように思う。

(It seems to me that you are wrong. より口語的)

僕が言い訳をする必要は無かったのだ；お悔みを言うべきなのは彼のほうだった。

<u>I had no reason to excuse myself; it was up to him to express his sympathy and so forth.</u>	「主語」「動詞」「目的語」；「動詞」「補語」「主語」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット` 1 単過(have)v.t （否定文で）なかった	「動詞」
no reason ノー・リーズン n. 理由は～ない	「目的語」
to excuse myself; トゥ・イクスキューズ`・マイセルフ` adj. 言い訳をする	「形容詞句」
it イット pron 仮の主語（真の主語は to express 以降）	
was ワズ` 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
up to him アップ`・トゥ`・ヒム adj. 彼の責任の	「補語」

Part 1 第1部

to express トゥ・イクスプレス 不定詞 v.t ~を示すことは 「主語」

his sympathy and so forth. ヒズ・シンパシー・アント・ソ・フォース

n. お悔みなどを

「目的語」

sympathy シンパシー n. 悔み and so forth アント・ソ・フォース ~など

あさって、喪服を着ている僕を見れば、恐らく社長はそうするだろう。

Probably he will do so the day after tomorrow, when he sees me in black.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Probably プロバブリー adv. 恐らく

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

will do ウィル・ドゥ 3 単未・推量 v.i するだろう

「動詞句」

so ソ adv. そのように

「間接目的語」

the day after tomorrow, ザ・デイ・アフター・トゥモロウ adv. あさってには

「副詞句」

when ホエン conj. ~するとき

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

sees シーズ 3 単現・未来 v.t 見るだろう

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

in black. イン・ブラック adj. 喪服を着た

「形容詞句」

今のところ、母さんは本当に死んだようには思われていない感じがする。

For the present, it's almost as if Mother weren't really dead.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

For the present, フォーザ・プレズント adv. さしあたり、今のところ

「副詞句」

it イット pron 事態は

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

almost オールモスト adv. ほとんど~

「補語」

as if アズ・イフ conj. ~のように

「副詞節」

Mother マザー n. 母さんは

「主語」

weren't ワレント 3 単過・仮定法過去・否定(be)v.i ~でないような

「動詞」

really dead. リアリー・デット adj. 本当に死んだ

「補語」

葬式は僕に状況を理解させるだろう。言ってみれば、処理済みの公印が押されるのだ。

The funeral will bring it home to me, put an official seal on it, so to speak. ...

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」「直接目的語」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」

The funeral ザ・フューネラル m. 葬式は

「主語」

will bring ウィル・ブリング 3 単未・推量(bring O-1 home to O-2)

Part 1 第1部

v.t (O-1 を O-2 に) 正しく理解させるだろう、納得させるだろう	「動詞句」
it イット pron 事態を	「直接目的語」
home ホーム n. 本拠地に	「副詞」
to me, トゥ・ミー pron 僕にとって	「間接目的語」
put プット 3 単未・推量(will+不定詞)v.t (印などが) 押されるだろう	「動詞句」
an official seal アン・オフィシャル・シール n. (処理済みの) 公印が	「目的語」
official オフィシャル adj. 公務の seal シール n. 印、印章	
on it, オン・イット adv. その上に	「副詞句」
so to speak. ... ソウ・トゥ・スピーク adv. いわば	「副詞句」

僕は2時のバスに乗った。焼けるように熱い午後だった。

I took the two-o'clock bus. It was a blazing hot afternoon.

	「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「動詞」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
took トック 1 単過(take)v.t (乗り物に) 乗った	「動詞」
the two-o'clock bus. サ・トゥ・オクロック・バス n. 2時のバスに	「目的語」
It イット pron 天候・時間	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった	「動詞」
a blazing hot afternoon. ア・ブレイジング・ホット・アフタヌーン n. 焼けるように熱い午後	「補語」
blazing ブレイジング adj. 焼けるような	

僕はいつものようにセレストのレストランで昼食を食べた。みんな思いやりに溢れていた。

そしてセレストが僕に言った：「母親は一人しかいないからな」

I'd lunched, as usual, at Céleste's restaurant. Everyone was most kind, and Céleste said to me, "There's no one like a mother."

	「主語」「動詞句」「副詞句」
	「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd lunched, ハッド・ランチト 1 単過・完了形 v.i 昼食を食べた	「動詞句」
as usual, アズ・ユージュアル adv. いつものように	「副詞句」
at Céleste's restaurant. アット・セレスト・ス・レストラン adv. セレストのレストランで	「副詞句」
Everyone エヴリワン pron 皆が	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった	「動詞」
most kind, モスト・カインド adj. 思いやりにあふれた	「補語」
and アント conj. そして	
Céleste セレスト n. セレストは	「主語」

Part 1 第1部

said セツト 3 単過 v.t 言った	「動詞」
to me, トゥ・ミー adv. 僕に	「間接目的語」
n. ～ということを	「直接目的語」
“There’s セアズ 3 単現(there be)v.i ～がいる	「動詞句」
no one ノーワン pron 誰も～ない	「主語」
like a mother.” ライク・ア・マザー adj. 母親みたいな	「形容詞句」

店を出るときは、みんなで僕を戸口まで見送ってくれた。

<u>When I left they came with me to the door.</u>	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
When ホエン conj. ～するとき	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
left レフト 1 単過・時制の一致(leave)v.i (店を) 出る	「動詞」
they セイ pron 彼らは	「主語」
came ケム 3 複過(come)v.i 来た	「動詞」
with me ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に	「副詞句」
to the door. トゥ・ザ・ドアー adv. ドアのところまで	「副詞句」

店を出るときはかなり慌ただしくなった。店を出る土壇場になって、エマニュエルのところに立ち寄って黒のネクタイと喪章を借りなければならないことに気づいたのだった。

It was something of a rush, getting away, as at the last moment I had to call in at Emmanuel’s place to borrow his black tie and mourning band.

「動詞」 「補語」 「主語」, 「副詞節」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は getting away)	
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
something of a サムシング・オブ・ア adj. かなりの～、ちょっとした～	「形容詞句」
rush, ラッシュ n. あわただしさ	「補語」
getting away, ゲテイング・アウェイ 現在分詞(get away)n. 店を出るときは	「主語」
as アズ conj. ～なので	「副詞節」
at the last moment アット・ザ・ラスト・モメント adv. その土壇場で	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
had to call in ハット・トゥ・コール・イン 1 単過・必要(have to+不定詞)	
v.i 立ち寄らなければならなかった	「動詞句」
call in ... コール・イン 「ちょっと立ち寄る」	
at Emmanuel’s place アット・エマニュエルズ・プレイス	
adv. エマニュエルのところに	「副詞句」
to borrow トゥ・ボロウ 不定詞・目的 adv. 借りるために	「副詞句」

Part 1 第1部

his black tie and mourning band. ヒズ・ブラック・タイ・アント・モーニング・バンド

pl.n 黒のネクタイと喪章を

「目的語」

彼は数か月前に伯父さんを亡くしていた。

He lost his uncle a few months ago.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

lost ロスト 3 単過(lose)v.t 亡くしていた

「動詞」

his uncle ヒズ・アンクル n. 伯父さんを

「目的語」

a few months ago. ア・フュー・マンツ・アゴウ adv. 数か月前に

「副詞句」

おじ、おば：

「伯父」は父母の兄、「叔父」は父母の弟、「伯母」は父母の姉、「叔母」は父母の妹

僕はバスに間に合うように走らなければならなかった。

I had to run to catch the bus.

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had to run ハット・トゥ・ラン 1 単過・必要(have to+不定詞)

v.i 走らなければならなかった

「動詞句」

to catch トゥ・キャッチ 不定詞・目的 adv. (列車などに) 間に合うように

「副詞句」

the bus. ザ・バス n. バス

「目的語」

道路や空からのまぶしい照り返しやら、ガソリンの不快な匂いそしてバスの激しい揺れなどがあ、その様に急いだことが原因で、ひどい眠気に襲われたのだと僕は思っている。

I suppose it was my hurrying like that, what with the glare off the road and from the sky, the reek of gasoline, and the jolts, that made me feel so drowsy.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

suppose サップズ 1 単現 v.t ～と思う

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は that made 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

my hurrying like that, マイ・ハリーイング・ライク・ザット n. その様に急いだこと

「補語」

what with ファット・ウィズ

adv. (what with A and B) A やら B やらで

「副詞句」

the glare ザ・グレア n. ぎらつき、まぶしい光

「目的語」

off the road オフ・ザ・ロート adj. 道路からの

「形容詞句」

and アント conj. そして

Part 1 第1部

from the sky, フォルム・ザ・スカイ adj. 空からの 「形容詞句」
 the reek of gasoline, ザ・リーク・オブ・ガソリン
 n. ガソリンの不快なおい 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the jolts, ザ・ジョルツ pl.n バスの激しい揺れ 「目的語」
 that ザット pron (主語) ～ということ 「主語」
 その結果～した
 made メイト 3 単過・使役(make)v.t(SVO+不定詞) O に～させた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 feel フィール 不定詞 v.i 感じる 「補語」
 so drowsy. ソウ・ドロージー adj. そんなに眠たい 「補語」

ともかく、僕は移動の間ほとんど眠っていた。

Anyhow, I slept most of the way. 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」
 Anyhow, エニウェイ adv. とにかく 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 slept スレプト 1 単過(sleep)v.i 眠った 「動詞」
 most of the way. モスト・オブ・ザ・ウェイ adv. 移動の間ほとんど 「副詞句」

目を覚ますと、僕は軍人にもたれていた；彼はニコッと笑い、遠くから来たのかと尋ねた。
 それで僕は話を長引かせないように、ただうなずいた。

When I woke I was leaning against a soldier; he grinned and asked me if I'd come from a long way off, and I just nodded, to cut things short.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」;

「主語」「動詞」 and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

and 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」

When ホエン conj. ～する時 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 woke ウォーク 1 単過(wake)v.i 目を覚ました 「動詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was leaning ワズ・リーニング 1 単過・進行形(lean)v.i(against) もたれていた 「動詞句」
 against a soldier; アゲンスト・ア・ソルジャー adv. 軍人に、兵士に 「間接目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 grinned グリント 3 単過 v.i ニコッと笑った 「動詞」
 and アンド conj. そして
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

Part 1 第1部

me ミ pron 僕に	「間接目的語」
if イ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd come ウッド・カム 1 単過・推量(would+不定詞)v.i 来たのだろう	「動詞句」
from a long way off, フロム・ア・ロング・ウェイ・オフ adv. 遠くから	「副詞句」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
just ジャスト adv. ～だけ	「副詞」
noded, ノット・イット 1 単過 v.i うなずいた	「動詞」
to cut トゥ・カット 不定詞・目的 v.t (切って) ～の状態にするために	「副詞句」
things シングズ pl.n 物事を	「目的語」
short. ショート adj. 短い	「補語」

僕は話をするような気分ではなかった。

<u>I wasn't in a mood for talking.</u>	「主語」「動詞」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i ～でなかった	「動詞」
in a mood イン・ナ・ムード adv. 気分の	「補語」
for talking. フォー・トキング adj. 話をするような	「形容詞句」

養老院は村から 1 マイルちょっとの所にある。僕はそこまで歩いて行った。

The Home is a little over a mile from the village. I went there on foot.

	「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞」「副詞句」
The Home ザ・ホーム n. 養老院は	「主語」
is イズ 3 単現(be)v.i ～にある	「動詞」
a little over a mile ア・リトル・オウヴァー・ア・マイル adv. 1 マイルちょっとの所に	「副詞句」
from the village. フロム・ザ・ヴィレッジ adv. 村から	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
went ウェント 1 単過(go)v.i 行った	「動詞」
there ゼア adv. そこに	「副詞」
on foot. オン・フット adv. 歩いて	「副詞句」

Part 1 第1部

僕はすぐに母さんに会いたいと頼んだが、門番が、先に院長に合う必要があると言った。

I asked to be allowed to see Mother at once, but the doorkeeper told me I must see the warden first.

「主語」	「動詞句」	「目的語」	, but	「主語」	「動詞」	「間接目的語」	「直接目的語」	「副詞」
I アイ pron 僕は								「主語」
asked to +不定詞 アスクト・トゥ 1 単過・願望 v.t	～するように頼んだ							「動詞句」
be allowed ビー・アラウド 不定詞・受動(allow)v.t	許可される							「動詞句」
to see トゥ・シー 不定詞 n.	会うことを							「目的語」
Mother マザー n.	母さんに							「目的語」
at once, アット・ワンス adv.	すぐに							「副詞句」
but バット conj.	しかし							
the doorkeeper ザ・ドアキーパー n.	門衛は							「主語」
told トゥルト 3 単過(tell)v.t	言った							「動詞」
me ミー pron	僕に							「間接目的語」
n.	～ということを							「直接目的語」
I アイ pron 僕は								「主語」
must see マスト・シー 1 単現・必要 v.t	会わなければならない							「動詞句」
the warden ザ・ワードン n.	院長に							「目的語」
first. ファースト adv.	先に							「副詞」

院長は手がふさがっていたので、僕は少し待たされた。

He wasn't free, and I had to wait a bit.

				「主語」	「動詞」	「補語」	and	「主語」	「動詞句」	「副詞句」
He ヒー pron	院長は									「主語」
wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i	～でなかった									「動詞」
free, フリー adj.	手が空いた、暇な									「補語」
and アンド conj.	それで									
I アイ pron	僕は									「主語」
had to wait ハット・トゥ・ウェイト 1 単過・必要(have to+不定詞)										
v.i	待たなければならなかった									「動詞句」
a bit. ア・ビット adv.	少しの間									「副詞句」

Part 1 第 1 部

待っている間、門衛は僕とおしゃべりしていた；それから、僕を院長室に案内してくれた。

The doorkeeper chatted with me while I waited; then he led me to the office.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞節」；「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 The doorkeeper サ・トアキーパー n. 門衛は 「主語」
 chatted チャット 3 単過 v.i(with と) おしゃべりしていた 「動詞」
 with me ウイズ・ミー adv. 僕と 「間接目的語」
 while I waited; ホワイル・アイ・ウェイト 3 単過 v.i 僕が待っている間 「副詞節」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 led レッド 3 単過(lead)v.t 案内した 「動詞」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 to the office. トゥ・スィ・オフィス adv. 院長室に 「副詞句」

院長はかなり小柄の白髪の老人で、ボタン穴にレジョン・ドヌール勲章をつけていた。

The warden was a very small man, with gray hair, and a Legion of Honor rosette in his buttonhole.

「主語」「動詞」「補語」
 The warden サ・ウォーデン n. 院長は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 a very small man, ア・ヴェリー・スモール・マン n. かなり小柄な男 「補語」
 with ウイズ prep (様態) 〜の様子をした 「形容詞句」
 gray hair, グレイ・ヘア n. 白髪 「目的語」
 and アンド conj. そして
 a Legion of Honor rosette ア・リージョン・オブ・オナー・ロゼット
 n. レジョン・ドヌール勲章 「目的語」
 in his buttonhole. イン・ヒズ・バトンホール adv. ボタン穴に 「副詞句」

レジョン・ドヌール勲章：

この勲章はナポレオン・ボナパルトによって 1802 年の 5 月 19 日に創設されたものであり、平時戦時に軍人や文化・科学・産業・商業・創作活動などの分野における民間人の「卓越した功績」を表彰することを目的としています。国家功労勲章とともに、共和国大統領の決定のもと、フランス政府より授与されます。

Part 1 第 1 部

彼はその淡い水色の目で、しばらく僕を見つめていた。

He gave me a long look with his watery blue eyes.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 与えた、～をした

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

a long look ア・ロング・ルック n. 長い注目を

「直接目的語」

with his watery blue eyes. ウイズ・ヒズ・ウォタリー・ブルー・アイズ

adv. 淡い水色の目で

「副詞句」

それから僕たちは握手したが、彼がいつまでも僕の手をつかんでいたのも、僕は困惑を感じ始めた。

Then we shook hands, and he held mine so long that I began to feel embarrassed.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」「副詞節」

Then セン adv. それから

「副詞」

we ウィー pron 僕たちは

「主語」

shook シュック 1 複過(shake)v.t 揺らした

「動詞」

hands, ハンズ pl.n 手を

「目的語」

shake hands 握手する、強く手を握る

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

held ヘルト 3 単過(hold)v.t 握っていた

「動詞」

mine マイン pron 僕の手を

「目的語」

so long ソウ・ロング adv. いつまでも

「副詞句」

that サット conj.(so...that) それで～する

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

began to feel ビギン・トゥ・フィール 1 単過・開始(begin to+不定詞)

v.i(feel+補語) ～の感じを覚え始めた

「動詞句」

embarrassed. エンバラスト adj. 当惑した、困った

「補語」

Part 1 第 1 部

その後、彼はテーブルの上の書類を調べてから、言った：

After that he consulted a register on his table, and said:

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」and「動詞」:

After that アフター・ザット adv. その後 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 consulted コンサルティット° 3 単過 v.t 調べた 「動詞」
 a register ア・レジスター n. 登録簿、記録、書類 「目的語」
 on his table, オン・ヒズ・テーブル adv. テーブルの上にある 「副詞句」
 and アンド° conj. そして
 said: セット° 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

「ムルソーさんは、3 年前にこの養老院に入られました。私産はなく、あなただけを頼りにしていました」

“Madame Meursault entered the Home three years ago. She had no private means and depended entirely on you.” 《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」「目的語」and「動詞」「間接目的語」》

“Madame Meursault マダム・メルソー n.f ムルソーさんは 「主語」
 entered エンタート° 3 単過 v.t 入った 「動詞」
 the Home ザ・ホーム n. 当養老院へ 「目的語」
 three years ago. スリー・イヤーズ・アゴウ adv. 3 年前に 「副詞句」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 had ハット° 3 単過(have)v.t あった 「動詞」
 no private means ノウ・プライヴェイト・ミーンズ° pl.n 私産がない 「目的語」
 private プライヴェイト adj. 個人的な means ミーンズ° pl.n 財産、方法
 and アンド° conj. そして
 depended デイペンデイト° 3 単過 v.i(on に) 頼っていた 「動詞」
 entirely on you.” エンタイアリー・オン・ユー adv. まったくあなたに 「間接目的語」

彼がどこか僕を非難しているように感じたので、僕は弁明を始めた。

I had a feeling he was blaming me for something, and started to explain.

「主語」「動詞」「目的語」and「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット° 1 単過(have)v.t あった、持った 「動詞」
 a feeling ア・フィーリング° n. 感じを 「目的語」
 adj. ～するという 「形容詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」

Part 1 第1部

was blaming ワズ・ブレイミング 3 単過・進行形・時制の一致(blame)

v.t 非難している

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

for something, フォー・サムシング adv. なにか、どこか

「副詞句」

and アンド conj. それで

started to explain. スターティット・トウ・イクスプレイン 1 単過・開始(start to+不定詞)

v.i 弁明を始めた

「動詞句」

しかし彼は、僕の話の遮った。

But he cut me short.

But 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

cut カット 3 単過 v.t(SVOC) O を (切って) C の状態にした

「動詞」

me ミー pron 僕の話

「目的語」

short. ショート adj. 短い

「補語」

cut him short 「彼の話の邪魔をする」 cut a long story short 「長い物語を短縮する」

「弁解などしなくても良いですよ」

“There’s no need to excuse yourself, my boy.

《「動詞句」「主語」, 「呼びかけ」》

“There’s ゼアズ 3 複現(there be)v.i ~がある

「動詞句」

no need ノウ・ニード n. 必要が~ない

「主語」

to excuse yourself, トウ・イクスキューズ・ユアセルフ 不定詞・目的語

adj. 弁解するための

「形容詞句」

my boy. マイ・ボーイ adv. ねえ、息子よ

「呼びかけ」

書類は確認しました。確かに、あなたはお母さまを世話する余裕があまりにならなかった。

I’ve looked up the record and obviously you weren’t in a position to see that she was properly cared for. 《「主語」「動詞句」「目的語」 and 「副詞」「主語」「動詞」「補語」》

I アイ pron 私は

「主語」

’ve looked up ハヴ・ルクト・アップ 1 単現・完了形(look up) 確認した、調べた

「動詞句」

the record ザ・レコード n. 記録を、書類を

「目的語」

and アンド conj. そして

obviously オブヴィアスリー adv. 明らかに、確かに

「副詞」

you ユー pron あなたは

「主語」

weren’t ワrent 2 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞」

in a position イン・ア・ポジジョン adv. 経済的状況に

「補語」

Part 1 第1部

to see トゥ・シー 不定詞・目的(that) (人が) ～するように配慮するための 「形容詞句」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

she シー pron 彼女が 「主語」

was properly cared for. ワズ・ブ°ロハ°リー・ケアド・フォー 3 単過・受動(care for+ properly)

v.t きちんと世話してもらう 「動詞句」

彼女には、一日中付き添ってくれる人が必要でしたが、あなたのような若者はそれほど給料が高くない。

She needed someone to be with her all the time, and young men in jobs like yours don't get too much pay. 《「主語」「動詞」「目的語」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」》

She シー pron 彼女は 「主語」

needed ニーディット° 3 単過 v.t 必要だった 「動詞」

someone サムワン pron 誰かを 「目的語」

to be with her トゥ・ビー・ウィズ・ハー 不定詞 v.i 彼女と一緒にいる 「補語」

someone の動作を補足する「補語」の不定句

all the time, オール・ザ・タイム adv. 1 日中 「副詞句」

and アンド° conj. そして、しかし

young men ヤング・メン pron.pl 若者は 「主語」

in jobs like yours イン・ジョブズ・ライク・ユアズ

adj. あなたと同様の仕事をしている 「形容詞句」

don't get ドント・ゲット 3 複現・否定 v.t 得ていない 「動詞句」

too much pay. トゥ・マッチ・ペイ n. (否定文で) それほど多くの給与を 「目的語」

「ともかくお母様はこの養老院に入って幸せだったのです。」

In any case, she was much happier in the Home. ” 《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

In any case, イン・エニー・ケイス adv. ともかく、少なくとも 「副詞句」

she シー pron 彼女は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

much happier マッチ・ハピ°アー adj. (比較級) (他の場合よりも) ずっと幸せな 「補語」

in the Home. ” イン・ザ・ホーム adv. 養老院にいて 「副詞句」

僕は言った。「はい、院長さん。その通りだと思います」

I said, “Yes, sir; I'm sure of that.” 「主語」「動詞」, 《「応答」; 「主語」「動詞」「補語」》

I アイ pron 僕は 「主語」

said, セッド° 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“Yes, sir; イェス・サー adv. はい、院長さん 「応答」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は 「主語」
 'm アム 1 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 sure of that.” シュア・オブ・ザット adj. それを確信した 「補語」

それから彼は付け加えて言った：

Then he added: 「副詞」「主語」「動詞」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 added: アド・イット 3 単過 v.t 付け足した 「動詞」

「お母様はここにたくさんの友達がいました、えー、老人仲間が、それに皆は自分と同年代の人々と仲良くやっています」

“She had good friends here, you know, old folks like herself, and one gets on better with people of one's own generation.

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞」, 「副詞句」, 「目的語」
 and 「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」》

“She シー pron 彼女は 「主語」
 had ハット 3 単過(have)v.t いた 「動詞」
 good friends グット・フレンズ pl.n 友達が 「目的語」
 here, ヒア adv. ここに 「副詞」
 you know, ユー・ノウ adv. (文中で) えー、ほら 「副詞句」
 old folks like herself, オールド・フォクス・ライク・ハーセルフ pl.n 老人仲間が 「目的語」
 and アンド conj. そして
 one ワン pron 人は 「主語」
 gets on ゲッツ・オン 3 単現(get on)v.i(with と) 仲良くやっている 「動詞句」
 better ベター adv. よく 「副詞」
 with people ウィズ・ピープル adv. 人々と 「間接目的語」
 of one's own generation. オフ・ワンス・OWN・ジェネレーション
 adj. 自分と同年代の 「形容詞句」

「あなたはとても若いから、お母様にとって楽しい話し相手にはなれなかったでしょう」

You're much too young; you couldn't have been much of a companion to her.”

《「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「動詞句」「補語」》

You ユー pron あなたは 「主語」
 're アー 2 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 much too young; マッチ・トゥー・ヤング adj. とても若い 「補語」

Part 1 第1部

you ユー pron あなたは 「主語」
 couldn't have been クドント・ハヴ・ビーン 2 単現・完了形・推量・否定(be)
 v.i 〜になれなかつただろう 「動詞句」
 much of a マッチ・オブ・ア adj. (否定文で) たいした〜 「形容詞句」
 companion コンパニオン n. 話し相手 「補語」
 to her.” トゥ・ハー adv. 彼女にとって 「副詞句」
 That wouldn't be **much of a** problem. たいした問題ではないでしょう。

それは本当だった。僕らが一緒に暮らしていたころ、母さんはいつも僕を見ていたが、僕らはほとんど話したことがなかった。

That was so. When we lived together, Mother was always watching me, but we hardly ever talked.

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞節」「主語」「動詞句」「目的語」 but 「主語」「動詞句」
 That ザット pron それは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 so. ソウ adj. 本当で 「補語」
 When ホエン conj. 〜するとき 「副詞節」
 we ウー pron 僕らが 「主語」
 lived リグド 1 複過 v.i 生活していた 「動詞」
 together, トゥギザー adv. 一緒に 「副詞」
 Mother マザー n. 母さんは 「主語」
 was always watching ワズ・オールウェイズ・ウォッチング 3 単過・進行形(watch)
 v.t いつも見ていた 「動詞句」
 me, ミー pron 僕を 「目的語」
 but バット conj. しかし
 we ウー pron 僕らは 「主語」
 hardly ever talked. ハートリー・エヴァー・トークト 1 複過・否定・習慣(talk)
 v.i ほとんど話したことがなかった 「動詞句」

養老院へ入って最初の数週間は、母さんはよく泣いたものだ。

During her first few weeks at the Home she used to cry a good deal.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 During her first few weeks デュアリリング・ハー・ファースト・フェー・ウィークス adv. 最初の数週間 「副詞句」
 at the Home アット・ザ・ホーム adv. 養老院での 「副詞句」
 she シー pron 母さんは 「主語」
 used to cry ユースト・トゥ・クライ 3 単過・習慣 v.i 泣いたものだ 「動詞句」

Part 1 第 1 部

a good deal. ア・グット・ディール adv. たくさん

「副詞句」

しかしそれはまだ慣れていなかったせいに過ぎない。

But that was only because she hadn't settled down.

But 「主語」「動詞」「補語」

But バット conj. しかし

that ザット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

only because オンリー・ビ・コース conj. 〜のせいに過ぎない

「補語」

she シー pron 彼女が

「主語」

hadn't settled down. ハント・セトル・ダウン 3 単過・完了形・否定(settle down)

v.i 慣れていなかった

「動詞句」

1、2 か月後には、もしも養老院を出ると言われたら、泣いていただろう。

After a month or two she'd have cried if she'd been told to leave the Home.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」

After a month or two アフター・ア・マンス・オア・トゥ adv. 1、2 か月後には

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

'd have cried ウット・ハヴ・クライド 3 単過・完了形・推測(cry)v.i 泣いていただろう

「動詞句」

if イフ conj. もし〜ならば

「副詞節」

she シー pron 彼女が

「主語」

'd been told ハット・ビーン・トルド 3 単過・完了形・受動・假定(tell)

v.t 言われた

「動詞句」

to leave トゥ・リーヴ 不定詞 v.t (she の動作) 出る

「補語」

she は能動文の時には「目的語」だった。この不定詞は she の動作を補足する

the Home. ザ・ホーム n. 養老院を

「目的語」

これもまた、つらい別れになっていただろうから。

Because this, too, would have been a wrench.

Because 「主語」「動詞句」「補語」

Because ビ・コース conj. 〜だから

this, too, ス・イス・トゥ pron これもまた

「主語」

would have been ウット・ハヴ・ビーン 3 単過・完了形・推測(be)

v.i 〜になっていただろう

「動詞句」

a wrench. ア・レンチ n. つらい別れ

「補語」

Part 1 第1部

ここ1年間、僕が母さんに会いに来なかったのはそのためだった。

That was why, during the last year, I seldom went to see her. 「主語」「動詞」「補語」
 That ザット pron そのことが 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 why, ホワイ pron 〜する理由 「補語」
 during the last year, デュアリソグ・ザ・ラースト・イヤー adv. 昨年の間 「副詞句」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 seldom セルダム adv. ほとんど〜ない 「副詞」
 went to see ウェント・トゥ・シー 1 単過(go to+不定詞)v.t 会いに来た 「動詞句」
 her. ハー pron 母さんに 「目的語」

その上、日曜日が潰れてしまうという理由もあったかもしれない。バス停に行き、切符を買い、片道ごとに2時間かけて移動する手間のことは言わないとしても。

Also, it would have meant losing my Sunday—not to mention the trouble of going to the bus, getting my ticket, and spending two hours on the journey each way.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」---「副詞句」

Also, オールソ adv. さらに、その上 「副詞」
 it イット pron それは 「主語」
 would have meant ウット・ハウ・メント 3 単過・完了形・推量(mean)
 v.t 〜を意味していたかもしれない 「動詞句」
 losing my Sunday ルージソグ・マイ・サンデイ n. 日曜日が潰れること 「目的語」
 —not to mention ノット・トゥ・メンション 不定詞・否定形 adv. (条件) 〜は言わなくても 「副詞句」
 the trouble ザ・トラブル n. 手間、面倒 「目的語」
 of オフ adj. 〜の 「形容詞句」
 going to the bus, コウイング・トゥ・ザ・バス
 n. バス停に行くこと 「目的語」
 getting my ticket, ゲテイング・マイ・チケット
 n. 切符を買うこと 「目的語」
 and アンド conj. そして
 spending two hours スペンディング・トゥ・アワズ
 n. 2時間かけること 「目的語」
 on the journey each way. オン・ザ・ジャーニー・イチ・ウェイ
 adv. 片道ごとに 「副詞句」

Part 1 第1部

院長は話を続けたが、僕はあまりよく聞いていなかった。

The warden went on talking, but I didn't pay much attention.

「主語」「動詞句」 but 「主語」「動詞句」「目的語」

The warden ザ・ウォーデン n. 院長は

「主語」

went on talking, ウェント・オン・トキング 3 単過・継続(go on+現在分詞)

v.i 話し続けた、話を続けた

「動詞句」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't pay デイdn't・ペイ 1 単過・否定 v.t ~を払わなかった

「動詞句」

much attention. マッチ・アテンション n. (否定文で) あまり注目を~ない

「目的語」

それから彼は言った：「さあ、お母様にご対面なさりたいでしょう」

Finally he said: "Now, I suppose you'd like to see your mother?"

「副詞」「主語」「動詞」：《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」》

Finally ファイナリー adv. 最後に、それから、しばらくして

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said: セッド 3 単過(say)v.i 言った

「動詞」

"Now, ナウ adv. さあ、ところで

「副詞」

I アイ pron 私は

「主語」

suppose サッ・ウズ 1 単現 v.t(that ~だと) 思う

「動詞」

n. ~ということ

「目的語」

you ユー pron あなたは

「主語」

'd like to see ウット・ライク・トゥ・シー 2 単過・推測(would like to+不定詞)

v.t ~に会いたいだろう

「動詞句」

your mother?" ユア・マザー n. お母様に

「目的語」

僕が答えずに立ち上がると、彼はドアのほうへ行く手を先導した。

I rose without replying, and he led the way to the door.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

rose ローズ 1 単過(rise)v.i 立ち上がった

「動詞」

without replying, ウイズアウト・リプライング adv. 答えずに

「副詞句」

and アント conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

led レット 3 単過(lead)v.t 先導した

「動詞」

the way ザ・ウェイ n. 行く手を

「目的語」

Part 1 第1部

to the door. トゥ・ザ・ドアー adv. ドアのほうへ

「副詞句」

二人で階段を下りている時、彼が説明してくれた。

As we were going down the stairs he explained:

「副詞節」, 「主語」 「動詞」

As アズ conj. ～しながら、～する時に

「副詞節」

we ウー pron 僕たちが

「主語」

were going down ワー・ゴイング・ダウン 1 複過・進行形(go down+O)

v.t. ～を降りていた

「動詞句」

the stairs ザ・ステアズ pl.n 階段を

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

explained: イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した

「動詞」

「お母さまは、私どもの小さな霊安室へ移動させていただきました、お分りの通り、他の方々が動揺しないためです」

“I’ve had the body moved to our little mortuary—so as not to upset the other old people, you understand.

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」「念押し」,》

“I アイ pron 私は

「主語」

’ve had ...moved ハヴ・ハット...ムーヴト 1 単現・完了形・使役(have+O+過去分詞)

v.t. ～を移動させておいた

「動詞句」

the body ザ・ボデー n. お母さまを

「目的語」

to our little mortuary— トゥ・アリ・リトル・モチュリー adv. 私どもの小さな霊安室に

「副詞句」

mortuary モチュリー n.(=morgue) 霊安室、遺体安置室

so as not to+不定詞 ヲ・アズ・ノット・トゥ adv. (目的) ～しないように

「副詞句」

so as to+不定詞 「～するように」 so as not to+不定詞 「～しないように」

upset アップセット 不定詞 v.t (人の) 心を乱す

「動詞」

the other old people, スィ・アザー・オールド・ヒール pl.n 他の方々を

「目的語」

you understand. ユー・アンダースタント adv. お分りですね？

「念押し」

「ここでは入寮者が亡くなるたびに、残された者たちは2、3日の間神経過敏になります」

Every time there’s a death here, they’re in a nervous state for two or three days.

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

Every time エヴリ・タイム adv. 毎回、いつも

「副詞句」

adj. ～する

「形容詞節」

there’s ゼアズ 3 単現(there be)v.i. ～がある

「動詞句」

a death ア・デス n. 死者

「主語」

here, ヒア adv. ここで

「副詞」

Part 1 第1部

they ゼイ pron 人々は 「主語」
 're アー 3 複現(be)v.i になる 「動詞」
 in a nervous state イン・ナ・ナーヴ・アス・ステイト adv. 神経過敏な状態に 「補語」
 for two or three days. フォー・トゥ・オブ・スリー・デイズ adv. 2、3 日の間 「副詞句」

このことは必然的に、職員にとって余分な仕事や心配事を作り出すことになります。

Which means, of course, extra work and worry for our staff.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」
 Which フィッチ pron そのことは 「主語」
 means, ミンズ 3 単現 v.t へという結果を生む 「動詞」
 of course, オブ・コース adv. もちろん、必然的に 「副詞句」
 extra エクストラ adj. 余分な 「形容詞」
 work and worry ワーク・アント・ウオリー pl.n 仕事や心配事を 「目的語」
 for our staff. フォー・アワ・スタッフ adv. 職員にとって 「副詞句」

僕たちは中庭を横切ったが、そこには大勢の老人たちがいて、気の合う者たちがそれぞれ
 少人数ずつ集まってお喋りをしていた。

We crossed a courtyard where there were a number of old men talking amongst themselves in little groups.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」
 We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 crossed クロスト 1 複過 v.t 横切った 「動詞」
 a courtyard ア・コートヤード n. (建物や塀で囲まれた) 中庭を 「目的語」
 where ウェア adv. そこで～する 「副詞節」
 there were ゼア・ワー 3 複過(there be)v.i ～がいた 「動詞句」
 a number of old men, ア・ナンバー・オブ・オールド・メン pl.n 大勢の老人たちが 「主語」
 talking トーキング 現在分詞(talk)adv. お喋りしながら 「形容詞句」
 amongst themselves アマングスト・ゼムセルヴズ
 adv. 内輪同士で 「副詞句」
 in little groups. イン・リトル・グループ ス
 adv. 少しずつ集まって 「副詞句」

Part 1 第1部

僕たちが近づいていくと、彼らは一斉に沈黙した。

They fell silent as we came up with them.

「主語」「動詞」「補語」

They ゼイ pron 彼らは

「主語」

fell フェル 3 複過(fall)v.i (急に) ーになった

「動詞」

silent サイレント adj. 無言の、沈黙した

「補語」

as アズ conj. ーすると、ーするときに

「副詞節」

we ウー pron 僕たちが

「主語」

came up with ケム・アップ・ウイズ 1 複過(come up with に)

v.i 近づく、追いつく

「動詞句」

them. ゼム pron 彼らに

「間接目的語」

そして僕たちが通り過ぎると、お喋りが再開した。

Then, behind our backs, the chattering began again.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」

Then, ゼン adv. それから

「副詞」

behind our backs, ビ・ハインド・アワ・バックス adv. 僕たちの背後で、いないところで

「副詞句」

the chattering ザ・チャタリング n. お喋りが

「主語」

began ビギン 3 単過(begin)v.i 始まった

「動詞」

again. アゲン adv. 再び

「副詞」

彼らの声で僕は鳥かごに入ったインコを連想したが、ただ声はあまり甲高くなかった。

Their voices reminded me of parakeets in a cage, only the sound wasn't quite so shrill.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, 「主語」「動詞」「補語」

Their voices ゼア・ウ・ォイスズ pl.n 彼らの声は

「主語」

reminded リマインデット 3 複過(remind)v.t ーを連想させた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「直接目的語」

of parakeets オブ・パラキーツ adv. インコのことを

「間接目的語」

in a cage, イン・ナ・ケイジ adv. 鳥かごに入った

「形容詞句」

only the sound オンリー・ザ・サント n. ただ声は

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ーでなかった

「動詞」

quite so shrill. クワイ・ソ・シュリル adj. (否定文で) あまり甲高くない

「補語」

Part 1 第1部

院長は、小さくて低い建物の入口の手前で立ち止まった。

The warden stopped outside the entrance of a small, low building.

「主語」「動詞」「副詞句」

The warden ザ・ウォーデン n. 院長は

「主語」

stopped ストップ 3 単過 v.i 立ち止まった

「動詞」

outside the entrance アウトサイト・ズィ・エントランス adv. 入口の外で

「副詞句」

of a small, low building. オフ・ア・スモール・ロウ・ビルディング

adj. 小さくて低い建物の

「形容詞句」

「それでは、ここにあなたを残して私は部屋に戻ります。ムルソーさん」

“So here I leave you, Monsieur Meursault.

《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「呼びかけ」》

“So here ソ・ヒア adv. それではここで

「副詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

leave リーヴ 1 単現 v.t 残していきます

「動詞」

you, ユー pron あなたを

「目的語」

Monsieur Meursault. ムッシュ・メルソー n. ムルソーさん

「呼びかけ」

「もし何か御用がありましたら、私は院長室におりますので…」

If you want me for anything, you'll find me in my office.

《「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

If イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

you ユー pron あなたが

「主語」

want ウォント 2 単現 v.t 望む

「動詞」

me ミー pron 私に

「直接目的語」

for anything, フォー・エニシング adv. 何かを

「間接目的語」

you ユー pron あなたは

「主語」

'll find ウィル・ファインド 2 単現・可能性 v.t 見つけれられるでしょう

「動詞句」

me ミー pron 私を

「目的語」

in my office. イン・マイ・オフィス adv. 院長室で

「副詞句」

Part 1 第1部

「葬儀は明日の午前中からと考えています」

We propose to have the funeral tomorrow morning.

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

We ウィー pron 私たちは

「主語」

propose to have プロポーズ・トゥ・ハヴ 1 複現・予定(propose to+不定詞)

v.t ~をする予定である

「動詞句」

propose to+不定詞 「~する予定だ、~することを提案する」 have (行為を) する

the funeral ザ・フューネラル n. 葬儀を

「目的語」

tomorrow morning. トゥモロウ・モーニング adv. 明日の午前中に

「副詞句」

フランス語の原文では：午前中ではなく、時刻が示されている

En principe, l'enterrement est fixé à dix heures du matin.

一応、葬儀は明日の **10 時**ということにいたしました。

「そうすれば、あなたがお通夜をなさる時間が取れると思ひまして。」

That will enable you to spend the night beside your mother's coffin, as no doubt you would wish to do.

《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」, 「副詞節」》

That ザット pron そのことは

「主語」

will enable ウィル・イェイブル 3 単未・話者の推測 v.t 可能にするだろう

「動詞句」

you ユー pron あなたが

「目的語」

to spend トゥ・スペンド 不定詞・目的語の動作 v.t (時間を) 過ごす

「補語」

the night ザ・ナイト n. 夜を

「目的語」

beside your mother's coffin, ビサイド・ユア・マザーズ・コフィン

adv. お母様の棺のそばで

「副詞句」

as アス conj. ~するときは

「副詞節」

no doubt ノ・ダウト adv. もちろん

「副詞句」

you ユー pron あなたが

「主語」

would wish to do. ウット・ウィッシュ・トゥ・トゥ 2 単現・仮定(wish to+不定詞)

v.t 希望するなら

「動詞句」

Part 1 第1部

「あとひとつだけ；お母様のお仲間から聞いて分かったのですが、教会の儀式に則って埋葬して欲しいと言っていたようです」

Just one more thing; I gathered from your mother's friends that she wished to be buried with the rites of the Church. 《「副詞句」；「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」》

Just one more thing; ジャスト・ワン・モア・シング adv. あと一つだけ 「副詞句」

I アイ pron 私は 「主語」

gathered ギャザート 1 単過 v.t(that ～を) 知った 「動詞」

from your mother's friends フロム・ユア・マザーズ・フレンズ adv. お母様のお仲間から 「副詞句」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」

wished to be buried ウィッシュト・トゥ・ビー・ベアリード 3 単現・願望(wish to+不定詞・受動)

v.t 埋葬されることを希望していた 「動詞句」

with the rites ウイズ・ザ・ライツ adv. 儀式に則って 「副詞句」

of the Church. オフ・ザ・チャーチ adj. 教会の 「形容詞句」

「この準備はすでにしてありますが、あなたにお知らせしておこうと思ひまして」

I've made arrangements for this; but I thought I should let you know.”

《「主語」「動詞句」「目的語」：but「主語」「動詞」「目的語」》

I アイ pron 私は 「主語」

've made ハヴ・メイト 1 単現・完了形(make)v.t (行為を) しておいた 「動詞句」

arrangements アレンジメント pl.n 準備を 「目的語」

for this; フォー・スィズ adj. そのための 「形容詞句」

but バット conj. しかし

I アイ pron 私は 「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t 思った 「動詞」

I should let you know.” アイ・シュッド・レット・ユー・ノウ n. あなたに知らせるべきだと 「目的語」

僕は礼を言った。僕の知る限りでは、母さんは、無神論者ではなかったが、生涯において全く宗教のことを考えたことはなかったと思う。

I thanked him. So far as I knew, my mother, though not a professed atheist, had never given a thought to religion in her life.

「主語」「動詞」「目的語」

「副詞節」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

thanked サンクト 1 単過 v.t (人に) 礼を言った 「動詞」

him. ヒム pron 彼に 「目的語」

Part 1 第1部

So far as ソウ・ファー・ラス [°] conj. ～する限りでは	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
knew, ニュー 1 単過(know)v.t 知っていた	「動詞」
my mother, マイ・マザー n. 母さんは	「主語」
though ソウ conj. だが～	「副詞句」
not a professed atheist, ノット・ア・プロフェスト・エイシスト n. 無神論者でない	「目的語」
professed プロフェスト adj. 公然の atheist エイシスト n. 無神論者	
had never given a thought ハット・ネヴァー・ギヴン・ア・ソート 3 単過・完了形・否定	
v.i(to について) 全く考えたことはなかった	「動詞句」
to religion トゥ・リジヨン adv. 宗教について	「間接目的語」
in her life. イン・ハー・ライフ adv. 生きている間に	「副詞句」

僕は霊安室に入った。そこは、漆喰の白壁と大きな天窓を備えたとても明るい部屋だった。

I entered the mortuary. It was a bright, spotlessly clean room, with whitewashed walls and a big skylight.

I アイ pron 僕は	「主語」
entered エンタート [°] 1 単過 v.t (場所に) 入った	「動詞」
the mortuary. ザ・モーチュアリー n. (=morgue) 霊安室に	「目的語」
It イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
a bright, spotlessly clean room, ア・ブライト・スポットレスリー・クリーン・ルーム	
n. 明るくてシミ一つない部屋	「補語」
with ウイズ [°] adj. (状態) ～をした	「形容詞句」
whitewashed walls ホワイトウォッシュト・ウォールズ [°] pl.n 漆喰の白壁	「目的語」
and アント [°] conj. そして	
a big skylight. ア・ビグ・スカイライト n. 大きな天窓	「目的語」

備品として、いくつかの椅子と架台が置かれていた。

The furniture consisted of some chairs and trestles.

The furniture ザ・ファニチャー n. (単数扱い) 備品は	「主語」
consisted コンシスティット [°] 3 単過 v.i(SV of O) ～から成り立っていた	「動詞」
of some chairs and trestles. オブ・サム・チェアズ・アント・トレストルズ [°]	
adv. いくつかの椅子と架台から	「間接目的語」

フランス語の原文では：架台の補足説明がある

Elle était meublée de chaises et de chevalets **en forme de X**.

その部屋は椅子と **X 字形の (折り畳み式の)** 架台がいくつか備え付けられていた。

Part 1 第 1 部

部屋の中央に、架台のうち 2 つが開いて置いてあり、棺がその上に置かれていた。

Two of the latter stood open in the center of the room and the coffin rested on them.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「補語」

Two of the latter トゥ・オブ・ザ・ラター pl.n 架台のうち 2 つが 「主語」

stood ストッド 3 複過(stand)v.i 置いてあった、立っていた 「動詞」

open オプン adj. 広げられた 「補語」

in the center of the room イン・ザ・センター・オブ・ザ・ルーム adv. 部屋の中央に 「副詞句」

and アンド conj. そして

the coffin ザ・コフィン n. 棺が 「主語」

rested レスティッド 過去分詞・受動(rest)adj. 置かれた 「補語」

on them. オン・ゼム adv. その上に 「副詞句」

フランス語の原文では： 棺の補足説明がある

Deux d'entre eux, au centre, supportaient une bière **recouverte de son couvercle.**

それらのうち中央の 2 つの架台が、蓋で覆われた柩を支えていた。

蓋は棺の上に乘せられていたが、その木ねじはほんの数回転しかねじ込まれておらず、木ニッケルメッキされた木ねじの頭がクルミ色に塗られた棺の上に飛び出して見えた。

The lid was in place, but the screws had been given only a few turns and their nickeled heads stuck out above the wood, which was stained dark walnut.

「主語」「動詞」「副詞句」

but 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」

The lid ザ・リッド n. (棺の) 蓋は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜にあった 「動詞」

in place, イン・プレイス adv. (適当な) ところに 「副詞句」

but バット conj. しかし

the screws ザ・スクールズ pl.n 木ねじは 「主語」

had been given ハット・ビー・ギヴン 3 複過・完了形・受動(give)v.t 与えられていた 「動詞句」

only a few turns オンリー・ア・フュー・ターンズ pl.n ほんの数回転 「目的語」

and アンド conj. そして

their nickeled heads ェア・ニクルド・ヘッズ pl.n 木ねじのニッケルメッキされた頭が 「主語」

stuck out ストラック・アウト 3 複過 v.i 飛び出して (見えた) 「動詞句」

above the wood, アバヴ・ザ・ウッド adv. 棺の上に 「副詞句」

which フィッチ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

was stained ワズ・ステイント 3 単過・受動(stain)

v.t 着色された、(色を) 塗られた 「動詞句」

Part 1 第1部

dark walnut. ダーク・ウォルナット adj. クルミ色の

「補語」

フランス語の原文では：木ねじの説明が異なる

On voyait seulement **des vis brillantes**, à peine enfoncées, se détacher sur les planches passées au brou de noix.

光るねじ釘が少しだけ締め付けられて、クルミ染料を塗られた柩の板の上に浮かび上がっているのだけが目を引いた。

アラブ人の女が、僕は看護婦だと思ったのだが、棺台のそばに座っていた。彼女は青い上っ張りを着て、少し派手なスカーフを髪に巻いていた。

An Arab woman—a nurse. I supposed—was sitting beside the bier; she was wearing a blue smock and had a rather gaudy scarf wound round her hair.

「主語」, 「副詞句」, 「副詞節」; 「主語」 「動詞句」 「目的語」

and 「動詞」 「目的語」 「補語」

An Arab woman アソ・アラブ・ウーマン n. アラブ人の女が

「主語」

—a nurse, I supposed— ア・ナース・アイ・サポズト

adv. 僕は看護婦だと思ったのだが

「副詞節」

was sitting ワズ・シッティング 3 単過・進行形(sit)v.i 座っていた

「動詞句」

beside the bier; ビ・サイト・ザ・ヒーア adv. 棺台のそばに

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

was wearing エアズ・ウェアリング 3 単過・進行形(wear)v.t 着ていた

「動詞句」

a blue smock ア・ブルー・スモック n. 青い上っ張りを

「目的語」

and アント conj. そして

had ハット 3 単過・使役(have)v.t(SVO 過去分詞) (物を) ~させていた

「動詞」

a rather gaudy scarf ア・ラーサー・ゴーティ・スカーフ n. 少し派手なスカーフを

「目的語」

wound ワウト 過去分詞(wind)v.t 巻き付いた

「補語」

round her hair. ラウト・ハー・ヘア adv. 髪の上に

「副詞句」

フランス語の原文では：上っ張りの色が異なる

Près de la bière, il y avait une infirmière arabe en **sarrau blanc**, un foulard de couleur vive sur la tête.

柩のそばにはアラブ人の看護婦がいて、白い上っ張りを着て、頭に色鮮やかなスカーフを被っていた。

Part 1 第1部

ちょうどその時、門衛が僕の背後までやって来た。彼は少し息を切らしていたので、走って来たに違いない。

Just then the keeper came up behind me. He'd evidently been running, as he was a little out of breath. 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞節」

Just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時 「副詞句」

the keeper ザ・キーパー n. 門衛は 「主語」

came up ケイム・アップ 3 単過(come up)v.i (～まで) やって来た 「動詞句」

behind me. ヒーハント・ミー adv. 僕の背後に 「副詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」

'd evidently been running, ハット・エヴィデントリー・ビーン・ランニング 3 単過・完了形・進行形(run)

v.i 走って来たに違いない 「動詞句」

as アズ conj. ～なので 「副詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

a little ア・リトル adv. 少し 「副詞句」

out of breath. アウト・オブ・ブレス adj. 息を切らした 「補語」

「棺の蓋を開けてしまいましたが、あなたが来られたらお母上とご対面できるようにネジを外すように言われています」

"We put the lid on, but I was told to unscrew it when you came, so that you could see her." 《「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》

"We ウィー pron 私たちは 「主語」

put ...on, プット...オン 1 複過(put on)v.t ～を閉めた 「動詞句」

the lid ザ・リッド n. 蓋を 「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 私は 「主語」

was told to unscrew ワズ・トルド・トゥ・アンスクルー 1 単過・受動・命令(tell to+不定詞)

v.t ネジを外すようにと言われていた 「動詞句」

it イット pron それを 「目的語」

when you came, ヘン・ユー・ケイム adv. あなたが来られたら 「副詞節」

so that ソ・ザット conj. ～するように 「副詞節」

you ユー pron あなたが 「主語」

could see クッド・シー 2 単現・可能・仮定

v.t 会うことができるだろう 「動詞句」

her." ハー pron 母上に 「目的語」

Part 1 第1部

彼は棺のほうへ近づいて行ったが、僕は彼に、手を煩わせるには及ばないと言った。

While he was going up to the coffin I told him not to trouble.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」

While フォル conj. ～だけれども

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was going up ワズ・ゴウイング・アップ 3 単過・進行形(go up)

v.i 近づいて行った

「動詞句」

to the coffin トゥ・ザ・コフィン adv. 棺のほうへ

「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

told トルド 1 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「目的語」

not to trouble. ノット・トゥ・トラブル 不定詞・否定 v.i 骨折りをしない

「補語」

「えっ、なんですって？」と、彼は大声を上げた。「ネジを外さなくてもよいのですか？」

「ええ、結構です」と、僕は答えた。

“Eh? What’s that?” he exclaimed. “You don’t want me to ...?” “No,” I said.

《「感嘆」「確認」》「主語」「動詞」

《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》《「応答」》「主語」「動詞」

“Eh? エー int. えっ

「感嘆」

What’s that? ファッツ・ザット adv. なんですって？

「確認」

he ヒー pron 彼は

「主語」

exclaimed. イクスクレイムド 3 単過 v.i 叫んだ、大声で言った

「動詞」

“You ユー pron あなたは

「主語」

don’t want ドント・ウント 2 単現・否定 v.t 希望しない

「動詞句」

me ミー pron 私が

「目的語」

to ...? トゥ 不定詞 v.t ネジを緩める

「補語」

“No,” ノー adv. 結構です

「応答」

I said. アイ・セッド 僕は言った

「主語」「動詞」

彼はドライバーをポケットに戻してから、僕をじっと見つめた。

He put back the screwdriver in his pocket and stared at me.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「間接目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

put back プット・バック 3 単過(put back)v.t (物を) 元に戻した

「動詞句」

the screwdriver ザ・スクリュー・ドライヴァー n. ドライバーを

「目的語」

in his pocket イン・ヒズ・ポケット adv. ポケットに

「副詞句」

Part 1 第1部

and アンド conj. そして

stared ステアド 3 単過 v.i(at を) じっと見つめた

「動詞」

at me. アット・ミー adv. 僕を

「間接目的語」

フランス語の原文では : もっと単純に表現されている

Il s'est interrompu.....

彼は動作を中断した...

その時、僕はそんなことは言うべきではなかったと感じて、少しきまりが悪くなった。

I realized then that I shouldn't have said, "No," and it made me rather embarrassed.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」and「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

realized リアライズド 1 単過 v.t (実感として) わかった

「動詞」

then ゼン adv. その時

「副詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

shouldn't have said, シュドント・ハウ・エ・セッド 1 単過・完了形・妥当・否定

v.t 言うべきではなかった

「動詞句」

"No," ノウ adv. 「結構です」

「目的語」

and アンド conj. そして

it イット pron それは

「主語」

made メイド 3 単過(make)v.t (状態に) した

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

rather embarrassed. ラーザー・エンバラスト adj. 少しきまりが悪い

「補語」

少しの間僕を見つめた後で、彼は尋ねた : 「どうしてですか？」

After eying me for some moments he asked: "Why not?"

「副詞句」「主語」「動詞」 : 《「確認」》

After eying me アフター・アイイング・ミー adv. 僕を見つめた後で

「副詞句」

for some moments フォー・サム・モウメンツ adv. (継続) 少しの間

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

asked: アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

"Why not?" ホイ・ノット adv. 「どうしてですか？」

「確認」

フランス語の原文では : 少し表現が異なる (中断)

Au bout d'un moment, il m'a regardé

ちょっと時間をおいて、彼は僕をじっと見つめて、

Part 1 第1部

しかし彼は非難めいた様子ではなかった；ただ単に知りたいという感じだった。

But he didn't sound reproachful; he simply wanted to know.

But 「主語」「動詞句」「補語」：「主語」「副詞」「動詞句」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

didn't sound ディトント・サウト 3 単過・否定 v.i (～のように) 聞こえなかった

「動詞句」

reproachful; リプロウチフル adj. 非難がましい

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

simply シンプリー adv. 単に

「副詞」

wanted to know. ウォンテッド・トゥ・ノウ 3 単過・願望(want to+不定詞)

v.t 知りたかった

「動詞句」

「えーと、何と言ったらいいか...」と、僕は返事をした。

“Well, really I couldn't say,” I answered.

《「口ごもり」》「主語」「動詞」

“Well, ウェル adv. えーと

「口ごもり」

really I couldn't say,” リアリー・アイ・クドント・セイ adv. 何と言ったらいいか

「口ごもり」

I アイ pron 僕は

「主語」

answered. アンサード 1 単過 v.i 返事をした

「動詞」

彼は白い口髭をひねり始めてから、僕を見ないで、穏やかに言った：「分かります」

He began twiddling his white mustache; then, without looking at me, said gently: “I understand.”

「主語」「動詞句」「目的語」；「副詞句」「動詞」「副詞」：《「主語」「動詞」》

He ヒー pron 彼は

「主語」

began twiddling ビギャン・ツウィットリング 3 単過・開始(begin+現在分詞)

v.t ～をねじり始めた

「動詞句」

his white mustache; ヒズ・ホワイ・マスターシュ n. 白い口髭を

「目的語」

then, セン adv. それから

「副詞」

without looking at me, ウィズアウト・ルキング・アット・ミー adv. 僕を見ないで

「副詞句」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

gently: ジェントリー adv. 穏やかに

「副詞」

“I アイ pron 私は

「主語」

understand.” アンダースタント 1 単現 v.t わかる

「動詞」

Part 1 第1部

彼は、青い目に赤い頬の、感じの良い風貌の男だった。

He was a pleasant-looking man, with blue eyes and ruddy cheeks.

「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

a pleasant-looking man, ア・プレズント・ルキング・マン n. 感じの良い風貌の男

「補語」

pleasant プレズント adj. 感じの良い ・looking ルキング (連結) adj. 〜の顔つきの

with ウイズ adv. (様態) 何をした

「副詞句」

blue eyes ブルー・アイズ pl.n 青い目

「目的語」

and アンド conj. そして

ruddy cheeks. ラディ・チークス pl.n 赤い頬

「目的語」

フランス語の原文では：目と頬の説明がもっと詳しい

Il avait de beaux yeux, bleu clair, et un teint un peu rouge.

彼は淡い青色の美しい目をしていて、顔色は少し赤みがかっていた。

彼は私のために棺の近くに椅子を引き寄せてくれ、自分はすぐ後ろに座った。

He drew up a chair for me near the coffin, and seated himself just behind.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」and「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

drew up ドゥール・アップ 3 単過(draw up)v.t 引き寄せた

「動詞句」

a chair ア・チェア n. 椅子を

「目的語」

for me フォー・ミー adv. 私のために

「副詞句」

near the coffin, ニア・ザ・コフィン adv. 棺の近くに

「副詞句」

and アンド conj. そして

seated himself シーティット・ヒムセルフ 3 単過・再帰動詞(seat oneself)v.pr 座った

「動詞句」

just behind. ジャスト・バ・ハインド adv. 私のすぐ後ろに

「副詞句」

看護婦が立ち上がり、ドアのほうへ歩いて行った。

The nurse got up and moved toward the door. 「主語」「動詞句」and「動詞」「副詞句」

The nurse ザ・ナース n. 看護婦が

「主語」

got up ゴット・アップ 3 単過(get up)v.i 立ち上がった、起きた

「動詞句」

and アンド conj. そして

moved ムーヴド 3 単過 v.i 移動した、歩いて行った

「動詞」

toward the door. トゥワート・ザ・ドアー adv. ドアのほうへ

「副詞句」

Part 1 第1部

彼女が通り過ぎていくと、門衛が僕の耳にささやいた：「可哀そうに、あれは腫瘍なんです」

As she was going by, the keeper whispered in my ear: “It’s a tumor she has, poor thing.”

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」: 《「動詞」 「補語」 「主語」, 「感嘆」》

As アズ conj. ～するとき

「副詞節」

she シー pron 彼女が

「主語」

was going by, ワズ・ゴウイング・バイ 3 単過・進行形(go by)

v.i 通り過ぎて行った

「動詞句」

the keeper ザ・キーパー n. 門衛が

「主語」

whispered ウィスパード 3 単過 v.i ささやいた

「動詞」

in my ear: イン・マイ・イア adv. 僕の耳に

「副詞句」

“It イット pron 仮の主語 (真の主語は she has 以降)

’s イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

a tumor ア・チューマー n. 腫瘍

「補語」

she has, シー・ハズ n. 彼女が持っているものは

「主語」

poor thing.” フア・シング adv. 可哀そうに

「感嘆」

僕は注意深く彼女を見た。すると目のすぐ下で顔に包帯を巻いているのに気が付いた。

I looked at her more carefully and I noticed that she had a bandage round her head, just below her eyes. 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「副詞句」 and 「主語」 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

looked ルクト 1 単過 v.i(at を) 見た

「動詞」

at her アット・ハー adv. 彼女を

「間接目的語」

more carefully モア・ケアフリー adv. 注意深く

「副詞句」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t ～をしていた

「動詞」

a bandage ア・バンディッジ n. 包帯を

「目的語」

round her head, ラウント・ハー・ヘット adv. 頭の周りに

「副詞句」

just below her eyes. ジャスト・ビロウ・ハー・アイズ adv. 目のすぐ下に

「副詞句」

Part 1 第1部

包帯は、彼女の鼻柱を横切っているにもかかわらず、全く平らに見えた。そして顔のどこかというよりも包帯の白さしか見えなかった。

It lay quite flat across the bridge of her nose, and one saw hardly anything of her face except that strip of whiteness.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

It イット pron 包帯は 「主語」

lay レイ 3 単過(lie)v.i (人・物が) ~の状態にあった 「動詞」

quite flat クワイ・フラット adj. まったく平らな 「補語」

across アクロス prep (譲歩) ~を横切っているにもかかわらず 「副詞句」

the bridge of her nose, ザ・ブリッジ・オブ・ハー・ノーズ

n. 彼女の鼻柱を 「目的語」

bridge of nose ブリッジ・オブ・ノーズ n. 鼻柱、鼻の隆起

and アンド conj. そして

one ワン pron 人は 「主語」

saw hardly ソー・ハートリー 3 単過・否定(see)v.t ほとんど見るができなかった 「動詞句」

anything of her face エニシング・オブ・ハー・フェイス n. (否定文で) 顔のどこも~ない 「目的語」

except エクセプト prep ~を除いて 「副詞句」

that strip of whiteness. ザット・ストリップ・オブ・ホワイトニス n. 包帯の白さ 「目的語」

看護婦が行ってしまうと、門衛の声が聞こえてきた。「それではあなたをお一人にして差しあげましょう」

As soon as she had gone, the keeper rose. “Now I'll leave you to yourself.”

「副詞節」, 「主語」「動詞」 | 《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》

As soon as アズ・スーン・アズ conj. ~するとすぐに、~と同じくらい早く 「副詞節」

she シー pron 彼女が 「主語」

had gone, ハット・ゴーン 3 単過・完了形(go)v.i 行ってしまった 「動詞句」

the keeper ザ・キーパー n. 門衛が 「主語」

rose. ローズ 3 単過(rise)v.i (音が) 聞こえてきた 「動詞」

“Now ナウ adv. それでは 「副詞」

I アイ pron 私は 「主語」

'll leave ウィル・リーヴ 1 単末・意思 v.t ~のままにする 「動詞句」

you ユー pron あなたを 「目的語」

to yourself.” トゥ・ユアセルフ adv. 一人だけに 「補語」

Part 1 第1部

僕がどんな仕草をしたのかは分からないが、彼はその場を外すことなく、僕の椅子の後ろに立ち止まっていた。

I don't know whether I made some gesture, but instead of going he halted behind my chair.

「主語」「動詞句」「目的語」 but 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 don't know ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」
 whether ウェザー conj. ～するかどうかということ 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 made メイト 1 単過(make)v.t (行為を) した 「動詞」
 some gesture, サム・ジエスチャー n. 何か仕草を 「目的語」
 but バット conj. しかし
 instead of going インステッド・オブ・ゴウイング adv. その場を外す代わりに 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 halted ホールテッド 3 単過 v.i 立ち止まっていた 「動詞」
 behind my chair. ヒーハインド・マイ・チェア adv. 僕の椅子の後ろに 「副詞句」

彼が背後に立っている気配のせいで、僕は落ち着かなかった。

The sensation of someone posted at my back made me uncomfortable.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 The sensation ザ・センセーション n. 感覚は 「主語」
 of someone オブ・サムワン adj. 誰かの 「形容詞句」
 posted ポウステッド 過去分詞・受動(post)v.t(at に)
 adj. 配置された 「形容詞」
 at my back アット・マイ・バック adv. 僕の背後に 「副詞句」
 made メイト 3 単過(make)v.t(SVOC) (O を C に) した 「動詞」
 「O は S のために C になった」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 uncomfortable. アンカンフタブル adj. 居心地の悪い、落ち着かない 「補語」

太陽が低くなってきて、部屋全体が柔らかで美しく心地の良い光で溢れていた。

The sun was getting low and the whole room was flooded with a pleasant, mellow light.

「主語」「動詞句」「補語」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」
 The sun ザ・サン n. 太陽は 「主語」
 was getting ワズ・ゲティング 3 単過・進行形(get)v.i (～の状態に) なってきっていた 「動詞句」
 low ロー adj. 低い 「補語」
 and アンド conj. そして

Part 1 第1部

the whole room ザ・ホウル・ルーム n. 部屋全体が	「主語」
was flooded リズ・フラッデイト 3 単過・受動(flood)v.t(with で) 溢れていた	「動詞句」
with ウイズ prep 〜で	「副詞句」
a pleasant, ア・プレズント adj. 心地よい	「形容詞句」
mellow メロウ adj. やわらかで美しい	「形容詞」
light. ライト n. 光	「目的語」

頭上でスズメバチが 2 匹、天窓のガラスにぶつかってぶんぶん音を立てていた。

<u>Two hornets were buzzing overhead, against the skylight.</u>	「主語」「動詞句」「副詞句」
Two hornets トゥ・ホーネツ pl.n 2 匹のスズメバチが	「主語」
were buzzing リー・バジンク 3 複過・進行形(buzz)v.i ぶんぶん音を立てていた	「動詞句」
overhead, オヴァーヘッド adv. 頭上で	「副詞句」
against the skylight. アゲンスト・ザ・スカライト adv. (接触) 天窓のガラスにぶつかって	「副詞句」

僕はすごく眠くて、もう目を開けていられなかった。

<u>I was so sleepy I could hardly keep my eyes open.</u>	「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was リズ 1 単過(be)v.i 〜だった	「動詞」
so sleepy ソウ・スリーピー adj. すごく眠い	「補語」
(that ザット conj. それで〜する)	
I アイ pron 僕は	「主語」
could hardly keep クット・ハートリー・キープ 1 単過・可能・否定	
v.t(SVOC) (O を C に状態に) 保つことができなかった	「動詞句」
my eyes マイ・アイズ pl.n 目を	「目的語」
open. オブン adj. 開いた	「補語」

振り返らずに、僕は門衛に「この養老院に、もう長くいるのですか？」と尋ねた。

<u>Without looking round, I asked the keeper how long he'd been at the Home.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
Without +現在分詞 ウイズアウト adv. 〜しないで	「副詞句」
looking round, ルキンク・アラウンド 現在分詞(look around)v.i 振り返る	「動詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
asked アスクト 1 単過 v.t(SV O-1 O-2) (O-1 に O-2 を) 尋ねた	「動詞」
the keeper ザ・キーパー n. 門衛に	「間接目的語」
how long ハウ・ロング adv. どれほど長く〜するかということを	「直接目的語」

Part 1 第1部

he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd been ハッド・ビーン 3 単過・完了形・時制の一致(he)v.i 〜にいる 「動詞」
 at the Home. アット・ザ・ホーム adv. この養老院に 「副詞句」

「5 年になります」その答えがあまりにも即座に帰ってきたので、まるで僕の質問を待ち望んでいたように思われた。

“Five years.” The answer came so pat that one could have thought he'd been expecting my question. 「[応答]」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

“Five years.” ファイヴ・イヤーズ adv. 5 年になります 「応答」

The answer スィ・アンサー n. 答えが 「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i 届いた 「動詞」

so pat ソウ・パット adv. 即座に 「副詞句」

that ザット conj. (so ...that) 非常に〜なので... 「副詞節」

one ワン pron 人は 「主語」

could have thought クッド・ハヴ・ソート 3 単過・完了形・可能性(think)

v.t 〜と思ったかもしれない 「動詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

'd been expecting ハッド・ビーン・イクスペクティング 3 単過・完了形・進行形(expect)

v.t 待っていた 「動詞句」

my question. マイ・クエスチョン n. 僕の質問を 「目的語」

それから彼は話し始めて、ずいぶんと喋った。

That started him off, and he became quite chatty.

「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」「補語」

That ザット pron それが 「主語」

started him off, スタートィット・ヒム・オフ 3 単過(start+「目的語」+ off)

v.t 彼に話を始めさせた 「動詞句」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

became ビケイム 3 単過(become)v.i 〜になった 「動詞」

quite chatty. クワイ・チャティ adj. まったくおしゃべりな 「補語」

Part 1 第 1 部

10 年前にもし誰かが、彼はマランゴの養老院で門衛として生涯を終えるだろう、と彼に言ったとしても、彼は決してそんなことを信じなかったに違いない。

If anyone had told him ten years ago that he'd end his days as doorkeeper at a home at Marengo, he'd never have believed it.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

If イ conj. もし～ならば

「副詞節」

anyone エニーワン pron 誰かが

「主語」

had told ハット・トウルト 3 単過・完了形・仮定法過去完了(tell)

v.t(that ～である) と言った

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

ten years ago テン・イヤーズ・アゴウ adv. 10 年前に

「副詞句」

that ザット conj. ～ということ

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd end ウット・アント 3 単過・過去における未来の推測(would+不定詞)

v.t 終えるだろう

「動詞句」

his days ヒズ・デイズ pl.n 彼の生涯を

「目的語」

as doorkeeper アズ・ドアキーパー adj. 門衛として

「補語」

at a home at Marengo, アット・ア・ホーム・アット・マレンゴ

adv. マランゴの養老院で

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd never have believed ウット・ネヴァー・ハヴ・ビリーヴト 3 単過・完了形・否定・推測

v.t 決して信じなかったに違いない

「動詞句」

it. イット pron そんなことを

「目的語」

would の用法 :

would+不定詞 : 仮定法の帰結で、過去における未来の弱い推量を表す「～するだろう」

would+不定詞・完了形 : 過去における未来完了の推量を表す「～していただろう」

彼が言うには、年齢は 64 歳でパリの出身だ。

He was sixty-four, he said, and hailed from Paris.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「主語」 「動詞」, and 「動詞」 「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

sixty-four, シクスティ・フォー n. 64 歳

「補語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

and アント conj. そして

Part 1 第 1 部

hailed ヘルトゝ 3 単過(hail)v.i (from の) 出身だった
from Paris. フロム・パリス adv. パリの

「動詞」

「補語」

彼がそう言ったとき、僕は話に割り込んだ。「ああ、あなたはここ出身ではないのです
ね？」

When he said that, I broke in. “Ah, you don’t come from here?”

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」, 《「感嘆」 「主語」 「動詞句」 「補語」》

When ホエン conj. ～するとき

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said, セットゝ 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

that, ザット pron それを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

broke in. ブロク・イン 1 単過(break in)v.i 話に割り込んだ

「動詞句」

“Ah, アー int. ああ

「感嘆」

you ユー pron あなたは

「主語」

don’t come ドント・カム 2 単現・否定(come)v.i(from ～の) 出身でない

「動詞句」

from here?” フロム・ヒア adv. この

「補語」

出身 : hail from, come from, be from, be born in

The cowboy **hails from** Texas. そのカウボーイはテキサス出身だ。

My family **come from** Scotland originally. 私の一族は元々スコットランド出身です。

came from... は「～からやって来た」の意味になるので注意が必要

I **am from** Aomori. 私は青森出身です。

I **was born in** Sapporo, Japan. 私は日本の札幌出身です。

僕はその時、思い出した。彼が僕を院長室に連れて行く前に、母さんについて何かを言っ
ていたのだ。

I remembered then that, before taking me to the warden, he’d told me something about
Mother.

「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

remembered リメンバートゝ 1 単過 v.t 思い出した

「動詞」

then セン adv. その時

「副詞」

that, ザット conj. ～ということ

「目的語」

before + 現在分詞 ビフォー adv. (時) ～する前に

「副詞句」

taking テイクグゝ 現在分詞(take)v.t ～を連れて行く

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

to the warden, トゥ・ザ・ウォーデン adv. 院長室に

「副詞句」

Part 1 第1部

he ヒー pron 彼は	「主語」
'd told ハッド・トゥルト 3 単過・完了形(tell)v.t 言っていた	「動詞句」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
something about Mother. サムシング・アバウト・マザー	
pron 母さんについて何かを	「直接目的語」

この地域は、特に平野部では暑さが厳しいので、母さんを急いで埋葬しなければならない、
と彼は言っていたのだった。

He had said she'd have to be buried mighty quickly because of the heat in these parts, especially down in the plain.

He ヒー pron 彼は	「主語」
had said ハッド・セッド 3 単過・完了形(say)v.t 言っていた	「動詞句」
n. ～ということを	「目的語」
she シー pron 母さんは	「主語」
'd have to be buried ウッド・ハフ・トゥ・ビー・ベアリート 3 単過・推量・必要 (would+have to+不定詞・受動) v.t 埋葬されなければならないだろう	「動詞句」
mighty quickly マイティ・クイックリー adv. 非常に急いで	「副詞句」
mighty マイティ adv. 非常に、ものすごく (副詞や形容詞を強調する)	
because of ビ・ユーズ・オブ prep ～のために、～の理由で	「副詞句」
the heat in these parts, サ・ヒート・イン・ジーズ・パート	
n. この地域の暑さ	「目的語」
especially down in the plain. エスヘ・シャリー・ダウン・イン・ザ・プレーン	
adv. 特に平地部では	「副詞句」
down ダウン n. 平原地 plain プレーン n. 平原、平野	

「パリでは、3 日間、時には 4 日間、遺体を埋葬しないで一緒に過ごします」

“At Paris they keep the body for three days, sometimes four.”

	《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》
“At Paris アット・パリス adv. パリでは	「副詞句」
they ゼイ pron 人々は	「主語」
keep キープ 3 複現 v.t 埋葬しないでおく、置いておく	「動詞」
the body サ・バディ n. 遺体を	「目的語」
for three days, フォー・スリー・デイズ adv. 3 日間	「副詞句」
sometimes four.” サムタイムズ・フォー adv. 時には 4 日間	「副詞句」

Part 1 第1部

そのあとで彼は、人生の最良の日々をパリで過ごし、パリは忘れがたいのだと言った。

After that he had mentioned that he'd spent the best part of his life in Paris, and could never manage to forget it.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

After that アフター・ザット adv. その後で

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had mentioned ハット・メンショント 3 単過・完了形 v.t (簡単に) ふれた、言った

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd spent ハット・スペント 3 単過・完了形(spend)v.t (時間を) 過ごした

「動詞句」

the best part of his life ザ・ベスト・パート・オブ・ヒズ・ライフ

n. 人生の最良の日々を

「目的語」

「人生の大部分」の意味もあるが、ここには当てはまらないと思う

in Paris, イン・パリス adv. パリで

「副詞句」

and アンド conj. そして

could never manage to forget クット・ネヴァ・マニッジ・トゥ・フォゲット 3 単過・可能・否定

(manage to+不定詞)v.t なんとか忘れようとしても出来なかった

「動詞句」

it. イット pron それを (パリを)

「目的語」

フランス語の原文では：文の順序が異なる

前文 “At Paris they keep the body for three days, sometimes four.” の前に置かれている。

そして、パリでの暮らしはあまり長くなかったことがうかがえる。

C'est alors qu'il m'avait appris qu'il **avait vécu à Paris** et qu'il avait du mal à l'oublier.

彼はパリで暮らしたことがあり、パリのことは忘れ難いと言ったのはその時だ。

「ここでは」と、彼が言った。「もの事は慌ただしく進まなければならない」

“Here,” he had said, “things have to go with a rush, like.”

《「副詞」》, 「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

“Here,” ヒア adv. ここでは

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had said, ハット・セッド 3 単過・完了形(say)v.t 言った

「動詞句」

“things シングズ pl.n 物事は

「主語」

have to go ハフ・トゥ・ゴウ 3 複現・必要(have to+不定詞)v.i 進まなければならない

「動詞句」

with a rush, like. ウイズ・ア・ラッシュ・ライク adv. 大急ぎのように

「副詞句」

Part 1 第1部

「葬儀場に連れていかれる前に、人の死を思いやる時間がほとんどないのです」

You've hardly time to get used to the idea that someone's dead, before you're hauled off to the funeral.》

《「主語」「動詞句」「目的語」,「副詞節」》

You ユー pron あなたは

「主語」

've hardly ハヴ・ハートリー 2 単現・否定(have)v.t ほとんどない

「動詞句」

time タイム n. 時間が

「目的語」

to get トゥ・ゲット 不定詞・目的(get used)v.i 〜になるための

「形容詞句」

used ユースト adj. 慣れた

「補語」

be used, get used, become used などは同義として使用される

「慣れた」は、「人の死を受け入れ、故人を思いやる」という意味

to the idea トズ・ズィ・アイデア adv. 考えに対して

「副詞」

that someone's dead, ザット・サムワンス・デット

pron (同格) 人が死んだという

「形容詞節」

before ビフォー conj. 〜する前に

「副詞節」

you ユー pron あなたが

「主語」

're hauled off アー・ホルト・オフ 2 単現・受動(haul off)

v.t 引っ張っていかれる

「動詞句」

to the funeral. トゥ・ザ・フネラル adv. 葬儀場に

「副詞句」

「もうお止めなさい！」と、彼の細君が割り込んだ。

"That's enough," his wife had put in.

《「命令」,「主語」「動詞句」

"That's enough," ザッツ・イフ adv. (禁止) もうやめなさい、もう十分だ

「命令」

his wife ヒズ・ワイフ n. 彼の細君が

「主語」

had put in. ハット・プット・イン 3 単過・完了形(put in)v.i 言葉を差しはさんだ

「動詞句」

「気の毒なこの青年に、そんなことを話さなくてもいいでしょうに」

"You didn't ought to say such things to the poor young gentleman."

《「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」》

"You ユー pron あなたは

「主語」

didn't ought to say デイトント・オウト・トゥ・セイ 2 単過・妥当・否定(ought to+不定詞)

v.t いうべきではなかった

「動詞句」

such things サッチ・シングズ pl.n そんなことを

「直接目的語」

to the poor young gentleman. トゥ・ザ・プア・ヤング・ジェントルマン

n. 気の毒な若者に

「間接目的語」

Part 1 第1部

老人は顔を赤らめて、弁解し始めた。僕は彼に、「問題ないですよ」と言った。

The old fellow had blushed and begun to apologize. I told him it was quite all right.

「主語」「動詞句」and「動詞句」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 The old fellow ズィ・オールド・フェロウ n. 老人は（門衛の代用） 「主語」
 had blushed ハッド・ブラッシュト 3 単過・完了形(blush)v.i 顔を赤らめた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 begun to apologize. ビギン・トゥ・アポロジズ 3 単過・完了形・開始(begin to+不定詞)
 v.i 弁解し始めた 「動詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トールド 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 it was quite all right. イット・ワズ・クワイ・オール・ライト n. 問題ないです 「直接目的語」

実際に、彼が僕に話していたことがむしろ興味深く思われた；これまでにそういうことについて考えたことがなかったのだ。

As a matter of fact, I found it rather interesting, what he'd been telling me; I hadn't thought of that before.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「目的語」;
 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」
 As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は、実際に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 found ファウンド 1 単過(find)v.t ~だと思った、分かった 「動詞」
 it イット pron 仮の目的語（真の目的語は what he'd been telling me）
 rather interesting, ラザー・インタレストィング adj. むしろ興味深い 「補語」
 what he'd been telling me; フォット・ビート・ビーン・テリング・ミー
 pron 彼が僕に話していたことは 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 hadn't thought ハドント・ソート 1 単過・完了形・否定(think)
 v.i(of について) 考えたことがなかった 「動詞句」
 of that オフ・ザット adv. そのことについて 「間接目的語」
 before. ビフォー adv. 以前に 「副詞」

Part 1 第1部

そして彼は話を続け、彼は通常の入院者としてこの老人ホームに入ったのだと言った。

Now he went on to say that he'd entered the Home as an ordinary inmate.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Now ナ adv. そこで

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

went on to say ウェント・オン・トゥ・セイ 3 単過・継続(go on to+不定詞)

v.t. ～を話続けた

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd entered ハッド・エンタード 3 単過・完了形 v.t. ～に入った

「動詞句」

the Home ザ・ホーム n. この老人ホームに

「目的語」

as an ordinary inmate. アズ・アン・オーディナリー・インメイト

adv. 通常の入居者として

「副詞句」

ordinary オーディナリー adj. 通常の inmate インメイト n. 収容者、入院者

しかし彼はまだとても元気だったので、門衛の仕事に空きができた時に、彼はそれを引き受けたいと申し出たのだ。

But he was still quite hale and hearty, and when the keeper's job fell vacant, he offered to take it on.

But 「主語」「動詞」「補語」 and 「副詞節」, 「主語」「動詞句」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i. ～だった

「動詞」

still quite hale and hearty, スティル・クワイ・ヘイル・アント・ハーティ

adj. まだとても元気な

「補語」

and アント conj. そして

when ホエン conj. ～するとき

「副詞節」

the keeper's job ザ・キーパーズ・ジョブ n. 門衛の仕事が

「主語」

fell フェル 3 単過(fall)v.i. (急に) ～になった

「動詞」

vacant, ヴェカント adj. 空いた

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

offered to take it on. オファード・トゥ・テイク・イット・オン 3 単過・申し出(offer to+不定詞+it)

v.t. それを引き受けたいと申し出た

「動詞句」

take on テイク・オン v.t. ～を引き受ける

Part 1 第1部

僕は、それでも彼は他の人たちと同様の入院者ですねと指摘したのだが、彼はそれを聞き入れようとしなかった。

I pointed out that, even so, he was really an inmate like the others, but he wouldn't hear of it. 「主語」「動詞」「目的語」 but 「主語」「動詞句」「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

pointed out ポイントアウト 1 単過(point out)v.t 指摘した 「動詞句」

that, ザット conj. ～ということ 「目的語」

even so, イヴン・ソ adv. たとえそうでも 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

really an inmate リアリー・アン・インメイト n. 実際に入院者 「補語」

like the others, ライク・ズィ・アザース adv. 他の入院者と同様に 「副詞句」

but バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は 「主語」

wouldn't hear ウドント・ヒア 3 単過・拒絶(would not+不定詞)

v.i(of を) 聞き入れようとしなかった 「動詞句」

of it. オフ・イット adv. それを 「間接目的語」

彼は準・職員だった。

He was "an official, like."

「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

"an official, like." アン・オフィシャル・ライク n. 準・職員 「補語」

養老院に住みながら、職員として門衛の仕事をしている

僕は、彼が「彼ら」という言い方や、ごくまれに自分より若い入院者たちに対しても「年寄連中」という言い方をすることに、前から違和感を感じていた。

I'd been struck before by his habit of saying "they" or, less often, "them old folks," when referring to inmates no older than himself. 「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd been struck ハット・ビーン・ストラック 1 単過・完了形・受動(strike)

v.t 印象を受けていた、感じていた 「動詞句」

before ビフォー adv. 前から 「副詞」

by his habit of saying バイ・ヒズ・ハビット・オブ・セイイング adv. ～の言い方に対して 「副詞句」

"they" ゼイ n. 「彼ら」 「目的語」

or, オア conj. または

Part 1 第 1 部

less often, レス・オフン adv. ごくまれに	「副詞句」
“them old folks,” セム・オールド・フォクス n. 「年寄連中」	「目的語」
when referring ホエン・リファリング adv. ～に触れる時に	「副詞句」
to inmates トゥ・インメイ츠 adv. 入院者たちに	「間接目的語」
no older than himself. ノウ・オールド・ザン・ヒムセルフ adj. 彼より若い	「形容詞句」

それでも、彼の態度を理解することはできた。

<u>Still, I could see his point of view.</u>	「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」
Still, スティル adv. それでも	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
could see クット・シー 1 単過・可能 v.t 理解できた	「動詞句」
his point of view. ヒズ・ポイント・オブ・ビュー n. 彼の考え方、意見、態度	「目的語」

門衛として彼には、他の入院者たちに対して、ある程度の立場といくらかの権限があった。

<u>As doorkeeper he had a certain standing, and some authority over the rest of them.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
As doorkeeper アズ・ドアーキーパー adv. 門衛として	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
had ハット 3 単過(have)v.t あった	「動詞」
a certain standing, ア・サートン・スタンディング n. ある程度の立場	「目的語」
and アンド conj. そして	
some authority サム・オーソリティ n. いくらかの権限	「目的語」
over the rest of them. オウヴァー・ザ・レスト・オブ・セム adv. 他の者に対して	「副詞句」

ちょうどその時、看護婦が戻ってきた。

<u>Just then the nurse returned.</u>	「副詞句」「主語」「動詞」
Just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時	「副詞句」
the nurse ザ・ナース n. 看護婦が	「主語」
returned. リターント 3 単過 v.i 戻ってきた	「動詞」

Part 1 第 1 部

夜は急速に訪れていた；あつという間に、明り取りのガラス窓の上の空は、真っ暗だった。

Night had fallen very quickly; all of a sudden, it seemed, the sky went black above the skylight.

「主語」「動詞句」「副詞句」；

「副詞句」「主語」「動詞」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Night ナイト n. 夜は

「主語」

had fallen ハット・フォーレン 3 単過・完了形(fall)v.i (夜が) 訪れていた

「動詞句」

very quickly; ウェリー・クイックリー adv. 非常に早く

「副詞句」

all of a sudden, オール・オブ・ア・サドン adv. 突然に

「副詞句」

it イット pron. それは

「主語」

seemed, シーム 3 単過 v.i ~のように思われた

「動詞」

the sky ザ・スカイ n. 空は

「主語」

went ウェント 3 単過(go)v.i (～の状態) だった

「動詞」

black ブラック adj. 真っ暗

「補語」

above the skylight. アバヴ・ザ・スカイト adv. 明り取りのガラス窓の上で

「副詞句」

門衛が照明のスイッチを入ると、閃光が走り、僕は目が眩んだ。

The keeper switched on the lamps, and I was almost blinded by the blaze of light.

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」

The keeper ザ・キーパー n.m 門衛が

「主語」

switched on スイッチ・オン 3 単過 v.t (電気器具の) スwitchを入れた

「動詞句」

the lamps, ザ・ランプス pl.n 照明を

「目的語」

and アンド conj. そして

I アイ pron. 私は

「主語」

was almost blinded ワズ・オールモスト・ブラインディット 1 単過・受動(blind)

v.t 目が眩んだ

「動詞句」

by the blaze of light. バイ・ザ・ブレイズ・オブ・ライト adv. 閃光のために

「副詞句」

彼は、食堂に行って夕食を食べたほうがいいと勧めてくれたが、僕は空腹でなかった。

He suggested I should go to the refectory for dinner, but I wasn't hungry.

「主語」「動詞」「目的語」 but 「主語」「動詞句」「補語」

He ヒー pron. 彼は

「主語」

suggested サジェスティット 3 単過 v.t (that ~を) 勧めた、提案した

「動詞」

n. ~ということ

「目的語」

I アイ pron. 私は

「主語」

should go シュット・ゴウ 1 単過・話者の推測

v.i 行ったほうが良いのではないか

「動詞句」

Part 1 第1部

to the refectory トゥ・ザ・リフェクトリー adv. 食堂へ 「間接目的語」
 for dinner, フォー・ディナー adv. (目的) 夕食を食べに 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i ~でなかった 「動詞句」
 hungry. ハングリー adj. 空腹な 「補語」

それから彼は、カフェ・オ・レをマグカップに1杯持ってきましたと言ってくれた。

Then he proposed bringing me a mug of café au lait. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 proposed プロポズド 3 単過 v.t (+現在分詞 ~しようと) 提案した 「動詞」
 bringing ブリンギング 現在分詞 n. 持ってくることを 「目的語」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 a mug of café au lait. ア・マグ・オブ・キャフェ・オ・レ
 n. カフェ・オ・レをマグカップに1杯 「直接目的語」

僕はカフェ・オ・レが大好きなので、言った、「お願いします」。すると、ほんの数分後に、彼はトレーに乗せて戻ってきた。

As I am very partial to café au lait I said, "Thanks," and a few minutes later he came back with a tray.

「副詞節」, 「主語」「動詞」, 《「応答」》 and 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 As アズ conj. ~なので 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 am アム 1 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 very partial ヴェリー・パーシャル adj.(to ~が) とても好きな 「補語」
 to café au lait トゥ・キャフェ・オ・レ adv. カフェ・オ・レに対して 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 "Thanks," サンクス adv. お願いします 「応答」
 and アンド conj. そして
 a few minutes later ア・フュー・ミニッツ・レイター adv. ほんの数分後に 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 came back ケイム・バック 3 単過(come back)v.i 戻ってきた 「動詞句」
 with a tray. ウイズ・ア・トレイ adv. トレーをもって、トレーに乗せて 「副詞句」

Part 1 第1部

僕はそれを飲んだ。すると今度は、タバコが吸いたくなった。

I drank the coffee, and then I wanted a cigarette.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

drank ドランク 1 単過(drink)v.t 飲んだ

「動詞」

the coffee, サ・コーヒー n. そのコーヒーを

「目的語」

and アンド conj. そして

then ゼン adv. それから

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

wanted ワンティット 1 単過 v.t 欲しくなった

「動詞」

a cigarette. ア・シガレット n. タバコを

「目的語」

だが、僕は母さんの前でタバコを吸ってもよいのかどうか分からなかった。

But I wasn't sure if I should smoke, under the circumstances—in Mother's presence.

But 「主語」「動詞」「補語」

But バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞」

sure シュア adj. 自信がある

「補語」

if イフ conj. ~かどうかについて

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

should smoke, シュット・スモク 1 単現・妥当性

v.i タバコをすっても構わない

「動詞句」

under the circumstances— アンダー・ザ・サーカマスタンス

adv. この状況で

「副詞句」

in Mother's presence. イン・マザース・プレゼンス adv. 母さんの前で

「副詞句」

僕はよく考えてみた；実のところ、それは問題はないと思われたので、僕は門衛にタバコを1本すすめて、一緒に吸った。

I thought it over; really, it didn't seem to matter, so I offered the keeper a cigarette, and we both smoked.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」；「副詞」「主語」「動詞句」，

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, and 「主語」「副詞」「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ...over; ソート...オウヴァー 1 単過(think over)v.t 熟考した

「動詞句」

it イット pron それを

「目的語」

Part 1 第1部

really, リアリー adv. 実のところ	「副詞」
it イット pron. それは	「主語」
didn't seem to matter, ディトント・シーム・トゥ・マター 3 単過・推測・否定 v.i 問題はないと思われた	「動詞句」
so ソー adv. それで	「副詞」
I アイ pron. 僕は	「主語」
offered オファート 1 単過 v.t(SVO-1 O-2) (O-1 に O-2 を) 勧めた	「動詞」
the keeper ザ・キーパー n. 門衛に	「間接目的語」
a cigarette, ア・シガレット n. タバコを 1 本	「直接目的語」
and アンド conj. そして	
we ウィー pron. 僕らは	「主語」
both ボス adv. 二人で、一緒に	「副詞」
smoked. スモクト 1 複過 v.i 吸った	「動詞」

しばらくすると、彼がまた話はじめた。

<u>After a while he started talking again.</u>	「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」
After a while アフター・ア・ホイル adv. しばらくして	「副詞句」
he ヒー pron. 彼が	「主語」
started talking スターテytt・トーキング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 話はじめた	「動詞句」
again. アゲン adv. また	「副詞」

「ところで、お母様のお友達もあなたと一緒にとお通夜をするために、じきに到着します」

“You know, your mother’s friends will be coming soon, to keep vigil with you beside the body.

《「語調緩和」, 「主語」「動詞句」「副詞句」》

“You know, ユー・ノウ adv. (文頭で) ねえ、時に、ところで 「語調緩和」

(文尾で) ～でしょ、～なのね「確認」

(文中で) えー、ほらあの「言いよどみ」

your mother’s friends ユア・マザーズ・フレンズ pl.n お母様のお友達が	「主語」
will be coming ウィル・ビー・カミング 3 複未・予定 v.i やって来る	「動詞句」
soon, スーン adv. じきに	「副詞」
to keep トゥ・キープ 不定詞・目的 v.t (動作を) 続けるために	「副詞句」
vigil ヴィジル n. 寝ずの番を	「目的語」
with you ウイズ・ユー adv. あなたと一緒に	「副詞句」
beside the body. ビサイド・ザ・ボディ adv. 棺のそばで	「副詞句」

Part 1 第 1 部

「誰かがなくなると、私たちはここでお通夜をすることになっています」

We always have a 'vigil' here, when anyone dies.

《「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞節」》

We	ウィー	pron	私たちは	「主語」
always	オールウェイズ	adv.	いつも	「副詞」
have	ハヴ	1 複現 v.t	(行為を) する	「動詞」
a 'vigil'	ア・ウエイジル	n.	お通夜を	「目的語」
here,	ヒア	adv.	ここで	「副詞」
when	ホエン	conj.	～するときは	「副詞節」
anyone	エニワン	pron	誰かが	「主語」
dies.	ダイズ	3 単現(die)v.i	亡くなる	「動詞」

「私は、椅子とブラック・コーヒーを取りにいかなければなりません」

I'd better go and get some chairs and a pot of black coffee."

《「主語」「動詞句」「目的語」》

I	アイ	pron	私は	「主語」
'd better +	ハット・ベター	1 単現・必要(had better +不定詞)		
v.	～しなければならぬ			「動詞句」
would better +	不定詞	も同様に使用される		
go and get	ゴウ・アント・ゲット	不定詞 v.t	取りに行く	「動詞句」
some chairs	サム・チェアズ	pl.n	椅子をなん脚か	「目的語」
and	アント	conj.	そして	
a pot of black coffee."	ア・ポット・オブ・ブラック・コーヒー	n.	ブラック・コーヒーのポットを	「目的語」

白壁から反射する強い光で、僕は目がヒリヒリしたので、電灯を 1 個だけ消すことはできないだろうか、と彼に尋ねた。

The glare off the white walls was making my eyes smart, and I asked him if he couldn't turn off one of the lamps.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 and 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

The glare	ザ・グレア	n.	まぶしい光は	「主語」
off the white walls	オフ・ザ・ホワイト・ウォールズ	adj.	白壁からの	「形容詞句」
was making	ワズ・メイキング	3 単過・進行形(make)v.t	(状態に) していた	「動詞句」
my eyes	マイ・アイズ	pl.n	僕の目を	「目的語」
smart,	スマート	adj.	ヒリヒリする、うずく	「補語」
and	アント	conj.	そして	
I	アイ	pron	僕は	「主語」

Part 1 第1部

asked アスクト 1 単過(ask)v.t 訊ねた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 couldn't turn off クドント・ターン・オフ 3 単過・可能・否定・依頼(turn off)
 v.t ～を消してもらえないだろうか 「動詞句」
 one of the lamps. ワン・オブ・ザ・ランプス n. 電灯を 1 個 「目的語」

「どうしようもないのです」と、彼は答えた。

“Nothing doing,” he said. 《「応答」》, 「主語」 「動詞」
 “Nothing doing,” ナシング・ドゥイング adv. 無駄である、手の施しようがない 「応答」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said. セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

電灯は、すべてを点灯するかまたはすべてを消灯するかのどちらかに配線されていた。

They'd arranged the lights like that; either one had them all on or none at all.
 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」
 They ゼイ pron 人々は 「主語」
 'd arranged ハット・アレインジド 3 複過・完了形(arrange)v.t 設計した、配線した 「動詞句」
 the lights ザ・ライツ pl.n 電灯を 「目的語」
 like that; ライク・ザット adv. 次のように 「副詞句」
 either one イザー・ワン n. どちらか一つ 「補語」
 had them all on ハット・ゼム・オール・オン adj. すべてを点灯した 「形容詞句」
 or オア conj. または
 none at all. ナン・アット・オール adj. 一つも点灯しない 「形容詞句」

その後は、僕はあまり彼が気にならなくなった。

After that I didn't pay much more attention to him.
 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」
 After that アフター・ザット adv. その後 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't pay デイ・ドント・ペイ 1 単過・否定 v.t (注意を) 払わなかった 「動詞句」
 much more attention マッチ・モア・アテンション n. (否定文で) あまり注意を 「直接目的語」
 to him. トゥ・ヒム adv. 彼に 「間接目的語」

Part 1 第 1 部

彼は出ていき、椅子を持ち帰ると、それらを棺の周りに並べた。

He went out, brought some chairs, and set them out round the coffin.

「主語」「動詞句」, 「動詞」「目的語」 and 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」	
He ひー pron 彼は	「主語」
went out, ウェント・アウト 3 単過(go out)v.i 出て行った	「動詞句」
brought ブロート 3 単過(bring)v.t ~を持ってきた	「動詞」
some chairs, サム・チェアズ pl.n 椅子を	「目的語」
and アンド conj. そして	
set ...out セット...アウト 3 単過(set out)v.t(arrange と同義) ~を並べた	「動詞句」
them ゼム pron それらを	「目的語」
round ラウント prep ~の周りに	「副詞句」
the coffin. ザ・コフィン n. 棺	「目的語」

椅子の一つの上に、彼はコーヒーポットと 10 個くらいのカップを置いた。

On one he placed a coffeepot and ten or a dozen cups.

	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
On one オン・ワン adv. 椅子の一つの上に	「副詞句」
he ひー pron 彼は	「主語」
placed プレイスト 3 単過 v.t 置いた	「動詞」
a coffeepot ア・コーヒーポット n. コーヒーポットを	「目的語」
and アンド conj. そして	
ten or a dozen cups. テン・オブ・ア・ダズン・カップス pl.n 10 個くらいのカップを	「目的語」

フランス語の原文では : コーヒーポットとカップの表現が異なる

Sur l'une d'elles, il a empilé des tasses autour d'une cafetière.

一つの椅子の上に、コーヒーポットをぐるりと囲んでカップを積み重ねた。

それから彼は母さんの向こう側の僕の正面に座った。

Then he sat down facing me, on the far side of Mother.

	「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
Then ゼン adv. それから	「副詞」
he ひー pron 彼は	「主語」
sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 座った	「動詞句」
facing me, ファイシング・ミー adv. 僕と向き合って、僕の正面に	「副詞句」
on the far side of Mother. オン・ザ・ファー・サイト・オブ・マザー adv. 母さんの向こう側に	「副詞句」

Part 1 第 1 部

看護婦は、部屋の反対側の端に僕に背を向けて座っていた。

The nurse was at the other end of the room, with her back to me.

「主語」「動詞」「副詞句」

The nurse ナース n. 看護婦は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜にいた

「動詞」

at the other end アット・スィ・アザー・エンド adv. 反対側の端に

「副詞句」

of the room, オフ・ザ・ルーム adj. 部屋の

「形容詞句」

with her back to me. ウイズ・ハー・バック・トゥ・ミー adv. 僕に背を向けて

「副詞句」

彼女が何をしているかは見えなかったが、彼女の腕の動き方から、編み物をしているのだ
ろうと思った。

I couldn't see what she was doing, but by the way her arms moved I guessed that she
was knitting.

「主語」「動詞句」「目的語」 but 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't see クント・シー 1 単過・可能・否定 v.t 見ることができなかった

「動詞句」

what she was doing, ファット・シー・ワズ・ドゥイング pron 彼女がしていたことを

「目的語」

but バット conj. しかし

by the way her arms moved バイ・ザ・ウェイ・ハー・アームズ・ムヴド

adv. 彼女の腕の動き方から

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

guessed ゲスト 1 単過 v.t 推測した、思った

「動詞」

that she was knitting. サット・シー・ワズ・ニッキング n. 彼女が編み物をしていると

「目的語」

僕はとても気持ち良かった；コーヒーは僕を暖めてくれたし、開け放たれたドアからは、
花の香りや夜の冷たい空気の流れが漂ってきた。

I was feeling very comfortable; the coffee had warmed me up, and through the open door
came scents of flowers and breaths of cool night air.

「主語」「動詞句」「補語」；「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

and 「副詞句」「動詞」「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was feeling ワズ・フィーリング 1 単過・進行形(feel)v.i 感じていた

「動詞句」

very comfortable; ヴェリー・カンファタブル adj. とても気持ちがいい

「補語」

the coffee ザ・コーヒー n. コーヒーが

「主語」

had warmed ...up, ハット・ウォームト ...アップ 3 単過・完了形(warm up)v.t を暖めた

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

through the open door スルー・ザ・オープン・ドアー adv. 開いたドアからは 「副詞句」
 came ケイム 3 複過(come)v.i やって来た、届いた 「動詞」
 scents of flowers センツ・オブ・フラワーズ pl.n 花の香りが 「主語」
 and アンド conj. そして
 breaths of cool night air. ブレス・オブ・クール・ナイト・エア pl.n 夜の冷たい空気の流れが 「主語」

僕は少したた寝をした気がする。

I think I dozed off for a while. 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 think シンク 1 単現 v.t(that ～と) 思う 「動詞」
 n. ～ということ 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 dozed off ドーズト・オフ 1 単過(doze off)v.i ついたた寝をした 「動詞句」
 for a while. フォー・ア・ホワイ adv. 少しの間 「副詞句」

奇妙なカサカサいう音が聞こえてきたので、僕は目が覚めた。

I was awakened by an odd rustling in my ears. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was awakened ワズ・ウェイクト 1 単過・受動(wake)v.t 起こされた 「動詞句」
 by an odd rustling バイ・アン・オッド・ラスリング adv. 奇妙なカサカサいう音で 「副詞句」
 odd オット adj. 奇妙な rustling ラスリング n. カサカサいう音
 in my ears. イン・マイ・イヤズ adv. 僕の耳に 「副詞句」

ずっと目を閉じていたので、光が前よりもさらに強くなった気がした。

After having had my eyes closed, I had a feeling that the light had grown even stronger than before. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」
 After +現在分詞・完了形 アフター adv. (理由) ～していたので 「副詞句」
 having had ハヴィング・ハット 1 単現・完了形・使役(have)v.t(SVO+過去分詞)
 v.t (Oを) ～させていた 「動詞句」
 my eyes マイ・アイズ pl.n 目を 「目的語」
 closed, クロズト 過去分詞 adj. 閉じた 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t 持った 「動詞」
 a feeling ア・フィーリング n. 感じを 「目的語」
 that ザット pron (同格) ～という 「形容詞節」
 the light ザ・ライト n. 光が 「主語」

Part 1 第1部

had grown ハット・グロウン 3 単過・完了形(grow)v.i 〜になった 「動詞句」

even stronger イーヴァン・ストロンガー adj. さらに強い 「補語」

than before. ザン・ビフォー adv. 前よりも 「副詞句」

どこにも影の痕跡さえなかった。それぞれの物が、それぞれの曲線や角が、人の目にその輪郭を刻み込んでいるように思われた。

There wasn't a trace of shadow anywhere, and every object, each curve or angle, seemed to score its outline on one's eyes.

「動詞句」「主語」「副詞」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

There wasn't ゼア・ワズント 3 単過・否定(there be)v.i 〜がなかった 「動詞句」

a trace of shadow ア・トレイス・オブ・シャドウ n. 影の痕跡が 「主語」

anywhere, エニウェア adv. (否定文で) どこにも 「副詞」

and アント conj. そして

every object, エヴリ・オブ・ジェクト n. それぞれの物が 「主語」

each curve or angle, イチ・カーヴ・オブ・アングル n. それぞれの曲線や角が 「主語」

seemed to score シームト・トゥ・スコア 3 単過・推量 v.t 刻み込んでいるように見えた 「動詞句」

score スコア v.t 刻み目をつける、印をつける

its outline イッツ・アウトライン n. その輪郭を 「目的語」

on one's eyes. オン・ワズ・アイズ adv. 人の目に 「副詞句」

母さんの友達の老人たちが入ってきた。

The old people, Mother's friends, were coming in. 「主語」「動詞句」

The old people, スィ・オールド・ヒーブル pl.n 老人たちが 「主語」

Mother's friends, マザーズ・フレンズ pl.n 母さんの友達が 「主語」

were coming in. ワー・カミング・イン 3 複過・進行形(come in)v.i 入ってきた 「動詞句」

僕は全部で10人が、まぶしい光の中を音もなく滑るように入ってくるのを数えた。

I counted ten in all, gliding almost soundlessly through the bleak white glare.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

counted カウンティット 1 単過 v.t 数えた 「動詞」

ten テン pl.n 10 人を 「目的語」

in all, イン・オール adv. 全部で 「副詞句」

gliding グライディング 現在分詞(glide)v.i 滑るように入ってくる 「形容詞句」

almost soundlessly オールモスト・サントレスリー adv. 音もなく 「副詞句」

through スルー prep 〜を通して 「副詞句」

Part 1 第1部

the bleak white glare. ザ・ブリーク・ホイト・グレア

n. 厳しく白いまぶしい光

「目的語」

bleak ブリーク adj. 厳しい glare グレア n. まぶしい光

彼らが座っても、きしむ椅子は一つもなかった。

None of the chairs creaked when they sat down.

「主語」「動詞」「副詞節」

None of the chairs ナン・オブ・ザ・チェアズ n. どの椅子も～ない

「主語」

creaked クリーク 3 単過 v.i (否定文で) きしまなかった

「動詞」

when ホエン conj. ～するとき

「副詞節」

they ゼイ pron 彼らが

「主語」

sat down. サット・ダウン 3 複過(sit down)v.i 座った

「動詞句」

きしむ : 軋む

固い物がこすれ合ってキィーキィーと音を立てる。

彼らを見た時のように人の姿が鮮明に見えたことは、未だかつてなかった；彼らの服や顔立ちのいかなる細部までも僕の記憶に刻まれたのだ。

Never in my life had I seen anyone so clearly as I saw these people; not a detail of their clothes or features escaped me.

「副詞句」「動詞句」「主語」「目的語」「副詞句」；「主語」「動詞」「目的語」

Never in my life ネヴァー・イン・マイ・ライフ

adv. (否定を強調) 未だかつて～ない、生まれてこのかた～ない

「副詞句」

had ...seen ハッド・...シーン 1 単過・完了形(see)v.t (否定文で) 見たことがない

「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

anyone エニーワン pron 誰かを

「目的語」

so clearly ソ・クリアー adv. これほどはっきりと

「副詞句」

as アス conj. ～するように

「副詞節」

I アイ pron 私が

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t 見た

「動詞」

these people; ジーズ・ピープル pl.n この人たちを

「目的語」

not a detail ノット・ア・ディテイル n. 細部が～ない

「主語」

否定の強調：どんな細部さえも～ない

of their clothes or features オフ・ゼア・クローゼズ・オブ・フィーチャーズ

adj. 彼らの服や顔立ちの

「形容詞句」

escaped エスケイプト 3 単過 v.t (否定文で) (人の) 記憶に残った

「動詞」

me. ミー pron 僕の

「目的語」

Part 1 第1部

文の強調：

文頭に副詞を置き、主語と動詞を倒置して強調している

主語の強調：

not+名詞 で示される「主語」は、否定の強調を表す

それでも彼らの声は聞こえなかったのも、彼らが実在しているとは思えなかった。

And yet I couldn't hear them, and it was hard to believe they really existed.

And 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞」「補語」「主語」

And アント conj. そして

yet イェット adv. それでも

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't hear クェント・ヒア 1 単過・可能・否定 v.t 聞こえなかった

「動詞句」

them, ゼム pron 彼らを

「目的語」

and アント conj. そして

it イット pron 仮の主語（真の主語は to believe 以降）

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

hard ハート adj. 困難な

「補語」

to believe トゥ・ビリーヴ 不定詞 n. 思うことは

「主語」

they really existed. ゼイ・リアリー・イクジステッド n. 「彼らは実在している」 「目的語」

女たちはほとんど全員が前掛けをしていた。そして腰の周りできつく縛られた前掛けの紐が、彼らの大きな腹部をさらに大きな膨らみに見せていた。

Nearly all the women wore aprons, and the strings drawn tight round their waists made their big stomachs bulge still more.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Nearly all the women ニアリー・オール・ザ・ウィメン pl.n 女たちはほとんど全員が

「主語」

wore ウォア 3 複過(wear)v.t 身に着けていた、着ていた

「動詞」

aprons, エイプ ロンズ pl.n エプロンを、前掛けを

「目的語」

and アント conj. そして

the strings ザ・ストリングス pl.n 紐は

「主語」

drawn トローン 過去分詞・受動(draw)v.t 引っ張られた

「形容詞句」

tight タイト adv. きつく、しっかりと

「副詞」

round their waists ラウンド・ゼア・ウェイズ adv. 腰の周りに

「副詞句」

made メイト 3 複過(make)v.t (状態に) していた

「動詞」

their big stomachs ゼア・ビグ・スタマック pl.n 彼らの大きな腹部を

「目的語」

bulge バルジ n. ふくらみ

「補語」

Part 1 第1部

still more. スティル・モア adj. さらに大きい

「形容詞句」

老婦人が当たり前のように、これほど大きな腹をしていることを、僕はいまだかつて気付いたことがなかった。

I'd never yet noticed what big paunches old women usually have.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd never yet noticed ハット・ネヴァ・イェット・ノウチスト 1 単過・完了形・否定(notice)

v.t いまだかつて気付いたことがなかった

「動詞句」

what big paunches ファット・ビグ・ポーンチズ

pl.n (感嘆) なんと大きな腹を~するかということ

「目的語」

old women オールド・ウィメン pl.n 老婦人が

「主語」

usually ユーヅィュアリー adv. 当たり前のように

「副詞」

have. ハヴ 3 複現(have)v.t (身体的特徴を) している

「動詞」

しかしながら男たちのほとんどは熊手の柄のように細くて、みんな杖を持っていた。

Most of the men, however, were as thin as rakes, and they all carried sticks.

「主語」「副詞」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「目的語」

Most of the men, モスト・オブ・ザ・メン pl.n 男たちのほとんどは

「主語」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

were ワー 3 複過(be)v.i ~だった

「動詞」

as thin as rakes, アズ・スィン・アズ・レイクス adj. 熊手のように細い

「補語」

and アンド conj. そして

they all ゼイ・オール pron. 彼らはみな

「主語」

carried キャリート 3 複過(carry)v.t 持っていた

「動詞」

sticks. スティックス pl.n 杖を

「目的語」



彼らの顔について最も僕の印象に残ったのは、彼らの目を見ることは出来ず、皺の巣窟のようなものの中にどんよりとした光だけが見えるということだった。

What struck me most about their faces was that one couldn't see their eyes, only a dull glow in a sort of nest of wrinkles.

「主語」「動詞」「補語」

What ファット pron (主語) ~するものは

「主語」

struck ストラック 3 単過(strike)v.t (人に) 印象を与えた

「動詞」

me ミー pron 私に

「間接目的語」

most モスト adv. 最も

「副詞」

Part 1 第 1 部

about their faces アバウト・ゼア・フェイスズ	adv. 彼らの顔について	「副詞句」
was ワズ	3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
that ザット	conj. ~ということ	「補語」
one ワン	pron 人は	「主語」
couldn't see クント・シー	3 単過・可能・否定・推量 v.t 見えないだろう	「動詞句」
their eyes, ゼア・アイズ	pl.n 彼らの目が	「目的語」
only a dull glow オンリー・ア・ダール・グロウ	n. どんよりとした光だけ	「目的語」
in a sort of nest イン・ナ・ソート・オブ・ネスト	adv. 巣窟のようなものの中に	「副詞句」
a sort of ア・ソート・オブ	prep ~のようなもの、一種の～	
of wrinkles. オフ・リンクル	adj. 皺の	「形容詞句」

椅子に座ると、彼らは僕をじっと見つめ、ぎこちなく頭を振った。彼らの唇は、歯のない
歯茎の間に吸い込まれていた。

On sitting down, they looked at me, and wagged their heads awkwardly, their lips sucked in between their toothless gums.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」「副詞」, 「主語」「補語」	
On sitting down, オン・シティング・ダウン adv. 椅子に座ると	「副詞句」
they ゼイ pron 彼らは	「主語」
looked ルクト 3 複過(look)v.i(at を) じっと見た	「動詞」
at me, アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
and アント conj. そして	
wagged ワググト 3 複過 v.t 振った	「動詞」
their heads ゼア・ヘッズ pl.n 頭を	「目的語」
awkwardly, オークワドリー adv. ぎこちなく	「副詞」
their lips ゼア・リップス pl.n 彼らの唇は	「主語」
sucked in サクト・イン 過去分詞(suck in)adj. 吸い込まれた	「補語」
between their toothless gums. ビトウィーン・ゼア・トウスレス・ガムズ adv. 歯のない歯茎の間に	「副詞句」

Part 1 第1部

彼らは僕に挨拶をして何かを言おうとしていたのか、それともあれは年齢からくる何かの病気のせいなのかが、僕には判断できなかった。

I couldn't decide if they were greeting me and trying to say something, or if it was due to some infirmity of age. 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

couldn't decide クドント・ディサイト 1 単過・可能・否定 v.t 判断できなかった 「動詞句」

if イフ conj. ～かどうかということ 「目的語」

they ゼィ pron 彼らは 「主語」

were greeting ワー・グリーティング 3 複過・進行形(greet)v.t 挨拶していた 「動詞句」

me ミー pron 僕に 「目的語」

and アント conj. そして

trying to say トライイング・トゥ・セイ 3 複過・進行形(try to+不定詞)

v.t ～を言おうとしていた 「動詞句」

something, サムシング pron 何かを 「目的語」

or オア conj. または

if イフ conj. ～かどうかということ 「目的語」

it イット pron あれは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

due to +名詞 デュー・トゥ adj. ～のために 「補語」

some infirmity サム・インファーマティ n. 何かの病気、弱点 「目的語」

of age. オフ・エイジ adj. (原因) 年齢からくる 「形容詞句」

フランス語の原文では：表現が異なる

それが、僕に挨拶しているのかそれとも妙な癖なのか僕には分からなかった。

sans que je puisse savoir s'ils me saluaient ou s'il s'agissait d'un tic.

Part 1 第1部

一応、彼らは挨拶していたと思うが、奇妙な印象があった。見ると、その老人たちは門衛を取り囲んで一か所に集まり、おごそかに僕をじろじろ見ては、頭を左右に振っていた。

I inclined to think that they were greeting me..after their fashion, but it had a queer effect, seeing all those old fellows grouped round the keeper, solemnly eying me and dandling their heads from side to side.

「主語」「動詞句」「目的語」 but 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 inclined to think インクライント・トゥ・シンク (incline to+不定詞)v.t ~と考えようと思った 「動詞句」
 that ザット conj. ~ということ 「目的語」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 were greeting ワー・グリーティング 3 複過・進行形(greet)v.t 挨拶していた 「動詞句」
 me, ミー pron 僕に 「目的語」
 after their fashion, アフター・ゼア・ファッション adv. なんとか、一応 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 it イット pron それは 「主語」
 had ハット 3 単過(have)v.t あった 「動詞」
 a queer effect, ア・クイア・イフェクト n. 奇妙な印象 「目的語」
 seeing シーイング 現在分詞・様態 v.t ~を見ると 「副詞句」
 all those old fellows オール・ジーズ・オールド・フェローズ pl.n その老人たちを 「目的語」
 grouped グループト 過去分詞(group)v.i 一か所に集まった 「形容詞」
 round the keeper, ラウンド・ザ・キーパー adv. 門衛を取り囲んで 「副詞句」
 solemnly ソレムリー adv. おごそかに 「副詞」
 eying アイイング 現在分詞 v.t じろじろ見つめて 「副詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 dandling ダントリング 現在分詞 v.t 上下に軽く振りながら 「副詞句」
 their heads ゼア・ヘッズ pl.n 頭を 「目的語」
 from side to side. フロム・サイト・トゥ・サイト adv. 左右に 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は一瞬、彼らは僕の審判に参加するためにやって来たという、おかしい印象を受けた。

For a moment I had an absurd impression that they had come to sit in judgment on me.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

For a moment フォー・ア・モメント adv. 一瞬、少しの間、しばらく 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t あった 「動詞」

an absurd impression アン・アブサート・インプレッション n. おかしい印象 「目的語」

absurd アブサート adj. 常識に反した、ばかげた、おかしい

that サット pron (同格) ～するという 「形容詞節」

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

had come ハット・カム 3 複過・完了形(come)v.i やって来た 「動詞句」

to sit トゥ・シット 不定詞・目的 v.i(in に) 参加するために 「副詞句」

in judgment on me. イン・ジャッジメント・オン・ミー

adv. 僕の審判に 「間接目的語」

数分後に、女たちの一人がしくしく泣き始めた。

A few minutes later one of the women started weeping. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」

A few minutes later ア・フュー・ミニッツ・レイター adv. 数分後に 「副詞句」

one of the women ワン・オブ・ザ・ウイメン n. 女たちの一人が 「主語」

started weeping. スターテイト・ウィーピング 3 単過・開始(start+現在分詞 weep)

v.i 泣き始めた 「動詞句」

泣く weep, cry, sob, wail :

weep ウィープ v.i しくしく泣く (泣き声よりも涙を流すことに力点が置かれる)

cry クライ v.i 声を上げて泣く、涙を流して泣く

sob ソブ v.i 泣きじゃくる、むせび泣く

wail ウェイル v.i 嘆き悲しむ、泣き叫ぶ

彼女は2列目に座っていたので、1列目の女に隠れて、顔は見えなかった

She was in the second row and I couldn't see her face because of another woman in front.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

She シー pron 彼女は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i (存在) にいた 「動詞」

in the second row イン・ザ・セカント・ロウ adv. 2列目に 「副詞句」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

couldn't see クアント・シー 1 単過・可能・否定(see)v.t 見えなかった 「動詞句」

Part 1 第1部

her face ハー・フェイス n. 彼女の顔が	「目的語」
because of ベ・ユーズ・オブ prep ~のために、~のせいで	「副詞句」
another woman アナザー・ウーマン n. 別の女	「目的語」
in front. イン・フロント adv. 前にいる	「副詞句」

規則的な間隔で彼女は息を詰まらせて、しゃくりあげていた；僕は決して泣き止まないだろうと感じていた。

At regular intervals she emitted a little choking sob; one had a feeling she would never stop. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」; 「主語」「動詞」「目的語」

At regular intervals アット・レギュラー・インターヴァル adv. 規則的な間隔で 「副詞句」

she シー pron 彼女は 「主語」

emitted エミット 3 単過 v.t ~を漏らした 「動詞」

a little choking sob; ア・リトル・チョキング・ソブ n. 息を詰まらせるようなむせび泣きを 「目的語」

choking チョキング adj. 息を詰まらせるような sob ソブ n. むせび泣き、泣きじゃくり

one ワン pron 僕は 「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t あった 「動詞」

a feeling ア・フィーリング n. 感覚 「目的語」

she シー pron (同格) 彼女は~するという 「形容詞節」

would never stop. ウット・ネヴァー・ストップ 3 単現・否定・推量(stop)

v.i(weeping が省略) 決して泣き止まないだろう 「動詞句」

フランス語の原文では

彼女は規則的にしゃくりあげて泣いていた：僕は彼女は泣き止まないように見えた。

Elle pleurait à petits cris, régulièrement : il **me** semblait qu'elle ne s'arrêterait jamais.

one は「一般的に人は」または「人は誰でも」のような意味で使うことがある。自分は「誰もが泣き止まないと思った」と想像していたが「他の人は気付いていなかった」

他の人たちは気が付かないようだった。

The others didn't seem to notice. 「主語」「動詞句」

The others スィ・アザーズ pron.pl 他の人たちは 「主語」

didn't seem to +不定詞 デイトント・シム・トゥ 3 単過・否定

v. ~しないように見えた 「動詞句」

notice. ノテイス 不定詞 v.t 気が付く 「動詞句」

Part 1 第 1 部

彼らはぐったりと椅子にもたれて、無言で座っていた。棺とか杖とか自分の前の何かをじっと見つめて、そこから決して目をそらさなかった。

They sat in silence, slumped in their chairs, staring at the coffin or at their walking sticks or any object just in front of them, and never took their eyes off it.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

They ゼイ pron 彼らは 「主語」
 sat サット 3 複過(sit)v.i 座っていた 「動詞」
 in silence, イン・サイレンス adv. 無言で 「副詞句」
 slumped スランプト 過去分詞(slump)v.i ぐったりもたれて 「副詞句」
 in their chairs, イン・ゼア・チェアズ adv. 椅子に 「副詞句」
 staring ステアリング 現在分詞(stare)v.i じっと見つめて 「副詞句」
 at the coffin アット・ザ・コフィン adv. 棺を 「間接目的語」
 or オア conj. または
 at their walking sticks アット・ゼア・ウォーキング・スティックス adv. 杖を 「間接目的語」
 or オア conj. または
 any object エニー・オブ・ジ・エクト n. 何かのものを 「間接目的語」
 just in front of them, ジャスト・イン・フロント・オブ・ゼム
 adj. 彼らの目の前の 「形容詞句」
 and アント conj. そして
 never took ...off ネヴァー・トック...オフ 3 複過・否定(take O-1 off O-2)
 v.t O-2 から O-1 を決して離さなかった 「動詞句」
 their eyes ゼア・アイズ pl.n 目を 「直接目的語」
 it. イット pron そのものから 「間接目的語」

そしてあの女はまだしゃくりあげていた。

And still the woman sobbed.

And 「副詞」「主語」「動詞」

And アント conj. そして
 still スティル adv. まだ 「副詞」
 the woman ザ・ウーマン n. あの女は 「主語」
 sobbed. ソブト 3 単過 v.i しゃくり上げていた 「動詞」

Part 1 第1部

僕は彼女のことを知らなかったの、少し驚いた。

I was rather surprised, as I didn't know who she was.

「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」, 「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ...surprised, ワズ...サプライズト 1 単過・受動(surprise)v.t 驚いた

「動詞句」

rather ラザー adv. 少し、かなり

「副詞」

as アズ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't know ディント・ノウ 1 単過・否定 v.t 知らなかった

「動詞句」

who she was. フー・シー・ワズ pron 彼女が誰なのかということ

「目的語」

僕は彼女に泣き止んでほしかったが、敢えて彼女に言うことはしなかった。

I wanted her to stop crying, but dared not speak to her.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」but 「動詞句」「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

wanted ワンテット 1 単過 v.t 望んだ

「動詞」

her ハー pron 彼女が

「目的語」

to stop トゥ・ストップ 不定詞・目的語の動作 v.t (+現在分詞 ~するのを) 止める

「補語」

crying, クライイング 現在分詞(cry)v.i 泣く

「動詞」

but バット conj. しかし

dared not speak デアド・ノット・スピーク 1 単過・意図・否定(dare+不定詞)

v.i 敢えて言わなかった

「動詞句」

to her. トゥ・ハー adv. 彼女に

「間接目的語」

しばらくして門衛が彼女の方へ身を屈めて、彼女の耳元でささやいた。しかし彼女は頭を振っただけだった。何かをつぶやいていたが、僕は聞き取れなかった。それから彼女は以前と同様に規則的に泣き続けた。

After a while the keeper bent toward her and whispered in her ear; but she merely shook her head, mumbled something I couldn't catch, and went on sobbing as steadily as before.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」and 「動詞」「副詞句」

but 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」and 「動詞句」「副詞句」

After a while アフター・ア・ホワイユ adv. しばらくして

「副詞句」

the keeper サ・キーパー n. 門衛が

「主語」

bent ベント 3 単過(bend)v.i(toward に向かって) 身を屈めた

「動詞」

toward her トゥワート・ハー adv. 彼女のほうへ

「副詞句」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

whispered	フイスパード° v.i	ささやいた	「動詞」
in her ear;	イン・ハー・イー°	adv. 耳元で	「副詞句」
but	バット° conj.	しかし	
she	シー° pron	彼女は	「主語」
merely shook	ミアリー・シュック° 3 単過(shake+merely)v.t	振っただけだった	「動詞句」
her head,	ハー・ヘッド° n.	頭を	「目的語」
mumbled	マンブルト° 過去分詞・譲歩 v.t	つぶやいていたが	「副詞句」
something	サムシグ° pron	何かを	「目的語」
I	アイ° pron	僕は	「主語」
couldn't catch,	クドント・キャッチ° 1 単過・可能・否定		
v.t	聞き取れなかった		「動詞句」
and	アント° conj.	そして	
went on sobbing	ウェント・オン・ソビング° 3 単過・継続(go on+現在分詞)		
v.i	泣き続けた		「動詞句」
as steadily as before.	アズ・ステディリ・アズ・ビフォー° adv.	前と同様に規則的に	「副詞句」

門衛は立ち上がり、自分の椅子を僕の隣に動かした。

The keeper got up and moved his chair beside mine.

			「主語」「動詞句」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」
The keeper	ザ・キーパー° n.	門衛は	「主語」
got up	ゴット・アップ° 3 単過(get up)	立ち上がった	「動詞句」
and	アント° conj.	そして	
moved	ムーヴト° 3 単過 v.t	動かした	「動詞」
his chair	ヒズ・チェア° n.	彼の椅子を	「目的語」
beside mine.	ビサイド・マイン° adv.	僕の隣に	「副詞句」

最初、彼は無言だったが、それから僕を見ないで、説明した。

At first he kept silent; then, without looking at me, he explained.

			「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」; 「副詞句」「主語」「動詞」
At first	アット・ファースト° adv.	最初は	「副詞句」
he	ヒー° pron	彼は	「主語」
kept	ケプト° 3 単過(keep)v.i	ずっと～のままだった	「動詞」
silent;	サイレント° adj.	無言の	「補語」
then,	ゼン° adv.	それから	「副詞句」
without looking at me,	ウイズアウト・ルキング・アット・ミー° adv.	僕を見ないで	「副詞句」
he	ヒー° pron	彼は	「主語」

Part 1 第1部

explained. イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した

「動詞」

「彼女はあなたの母上ととても仲良くしていました。母上はこの世でたった一人の友人だったけれど、今は、独りぼっちになってしまった、と言っています。」

“She was devoted to your mother. She says your mother was her only friend in the world, and now she’s all alone.”

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

“She シー pron 彼女は 「主語」
 was devoted ワズ・デヴィョウティット 3 単過・受動(devote)
 v.t(to を) ととても仲良くしていた、熱愛していた 「動詞句」
 to your mother. トゥ・ユア・マザー adv. 母上を 「間接目的語」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 says セズ 3 単現 v.t 言っている 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 your mother ユア・マザー n. 母上は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 her only friend ハー・オンリー・フレンド n. たった一人の友人 「補語」
 in the world, イン・ザ・ワールド adv. この世で 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 now ナウ adv. 今では 「副詞」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 all alone.” オール・アローン adj. 独りぼっちの 「補語」

僕は何も言うことがなかったので、沈黙がかなり長く続いた。

I had nothing to say, and the silence lasted quite a while.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t あった 「動詞」
 nothing to say, ナシング・トゥ・セイ n. いうべきことが何も～ない 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the silence ザ・サイレンス n. 沈黙が 「主語」
 lasted ラースティット 3 単過 v.i 続いた 「動詞」
 quite a while. クワイ・ア・ウィイル adv. かなり長く 「副詞句」

Part 1 第1部

やがてあの女のため息と嗚咽は間遠になってきた。そして数分間、涙をかんだりすすり上げてから、彼女も静かになった。

Presently the woman's sighs and sobs became less frequent, and, after blowing her nose and snuffling for some minutes, she, too, fell silent.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 and 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」
 Presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく 「副詞」
 the woman's sighs and sobs ザ・ウーマンズ・サイズ・アント・ソブズ
 pl.n あの女のため息と嗚咽は 「主語」
 became ビケム 3 複過(become)v.i 〜になった 「動詞」
 less frequent, レス・フリークワント adj. 間遠な 「補語」
 less レス adv. より少なく frequent フリークワント adj. 頻繁に起こる、頻繁な
 and, アント conj. そして
 after +現在分詞 アフター adv. 〜してから 「副詞句」
 blowing ブロウイング 現在分詞(blow)v.t (涙を) かむ 「動詞」
 her nose ハー・ノウズ n. 涙を 「目的語」
 and アント conj. そして
 snuffling スナフリング 現在分詞(snuffle)v.i 鼻をすすり上げる 「動詞」
 for some minutes, フォー・サム・ミニッツ adv. 数分間 「副詞句」
 she, too, シー・トゥー pron 彼女も 「主語」
 fell フェル 3 単過(fall)v.i (急に) 〜になった 「動詞」
 silent. サイレント adj. 静かな、無音の 「補語」

僕はもう眠気を感じなくなっていたが、とても疲れていて、足がひどくうずいていた。

I'd ceased feeling sleepy, but I was very tired and my legs were aching badly.

「主語」「動詞句」「補語」 but 「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd ceased feeling ハット・シースト・フィーリング 1 単過・完了形・停止(cease+現在分詞)
 v.t 〜を感じなくなった 「動詞句」
 sleepy, スリーピー adj. 眠そうな 「補語」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 very tired ヴェリー・タイド adj. とても疲れた 「補語」
 and アント conj. そして
 my legs マイ・レッグズ pl.n 僕の足は 「主語」
 were aching ワー・エイキング 3 複過・進行形(ache)v.i うずいていた、痛かった 「動詞句」

Part 1 第1部

badly. バドリー adv. ひどく

「副詞」

そして（静かになった）今は、人々の沈黙が僕の神経を逆なでしていることに気が付いた。

And now I realized that the silence of these people was telling on my nerves.

And 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

And アント conj. そして

now ナウ adv. 今は

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

realized リアライズト 1 単過 v.t (実感として) ～がよく分かった

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

the silence of these people ザ・サイレンス・オブ・ザ・ヒープル n. 人々の沈黙が 「主語」

was telling ワズ・テルング 3 単現・進行形(tell)

v.i(on に) ひどくこたえていた

「動詞句」

on my nerves. オン・マイ・ナーヴズ adv. 神経に

「副詞句」

唯一の音はすこし変な音だった。その音はほんのたまに聞こえてきたので、最初は何の音が分からなかった。

The only sound was a rather queer one; it came only now and then, and at first I was puzzled by it.

「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「動詞」「副詞句」

and 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

The only sound スィ・オンリー・サント n. 唯一の音は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

a rather queer one; ア・ラーザー・クィア・ワン n. すこし変な音

「補語」

it イット pron その音は

「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i 聞こえてきた

「動詞」

only now and then, オンリー・ナウ・アント・ゼン adv. ほんの時々

「副詞句」

and アント conj. そして

at first アット・ファースト adv. 最初は

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was puzzled ワズ・パズルト 1 単過・受動(puzzle)

v.t (答えが見抜けない困難さに) 困っていた

「動詞句」

by it. バイ・イット adv. その音に

「副詞句」

Part 1 第1部

しかし注意深く聞いていると、それが何なのか察しがついた；老人たちは自分の頬の内側を吸っていたのだ、これが僕を不思議がらせた、あの奇妙なぜいぜいいう音を引き起こしていたのだった。

However, after listening attentively, I guessed what it was; the old men were sucking at the insides of their cheeks, and this caused the odd, wheezing noises that had mystified me.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞句」「間接目的語」

and 「主語」「動詞」「目的語」

However, ハウエヴァー adv. かしながら

「副詞」

after listening attentively, アフター・リスニング・アテンティブリー adv. 注意深く聞くと

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

guessed ゲスト 1 単過 v.t 推測した、察しがついた

「動詞」

what it was; ファット・イット・ワズ n. それが何なのかを

「目的語」

the old men スィ・オールド・メン pl.n 老人たちは

「主語」

were sucking ワー・サッキング 3 複現 v.i 吸っていた

「動詞句」

at the insides アット・ザ・インサイズ adv. 内部を

「間接目的語」

of their cheeks, オフ・ゼア・チークス adj. 自分の頬の

「形容詞句」

and アンド conj. そして

this ズィズ pron これは

「主語」

caused コースト 3 単過 v.t 引き起こしていた

「動詞」

the odd, スィ・オッド adj. 奇妙な

「形容詞句」

wheezing ウィージンク adj. ぜいぜいいう

「形容詞」

noises ノイズズ pl.n 音を

「目的語」

that ザット pron (主語) ～する

「形容詞節」

had mystified ハッド・ミステファイト 3 単過・完了形 v.t 当惑させた

「動詞句」

me. ミー pron 僕を

「目的語」

彼らは自分たちの思いにあまりにも没頭していたので、自分たちが何をしているか気づいていなかった。

They were so much absorbed in their thoughts that they didn't know what they were up to.

「主語」「動詞句」「副詞句」 that 「主語」「動詞句」「目的語」

They ゼイ pron 彼らは

「主語」

were so much absorbed ワー・ソウ・マッチ・アブソーブト 3 複過・受動(be absorbed in)

v.t (～に) あまりにも没頭した

「動詞句」

in their thoughts イン・ゼア・ソウツ adv. 自分たちの思いに

「副詞句」

that ザット conj. (so...that) その結果～する、それで～

they ゼイ pron 彼らは

「主語」

Part 1 第1部

didn't know ディトント・ノウ 3 複過・否定 v.t 気づいていなかった 「動詞句」
 what ファット pron (目的語) 何を～するかということを 「目的語」
 they ゼイ pron 彼らが 「主語」
 were up to. ワー・アップ・トゥ 3 複過(be up to)v.t やっていた 「動詞句」

僕は、彼らの真ん中にいるこの死者は、彼らにとって何の意味もないのではないかという
 印象すら抱いた。

I even had an impression that the dead body in their midst meant nothing at all to them.

I アイ pron 僕は 「主語」
 even had イーヴン・ハット 1 単過(have)v.t 持ちさえした 「動詞句」
 an impression アン・インプレッション n. 印象を 「目的語」
 that ザット pron (同格) ～という 「形容詞節」
 the dead body ザ・デッド・バディ n. この死者は 「主語」
 in their midst イン・ゼア・ミッドスト adv. 彼らの中央にある 「副詞句」
 meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 意味する 「動詞」
 nothing at all ナシング・アット・オール
 pron まったく何も～ない 「直接目的語」
 to them. トゥ・ゼム adv. 彼らにとっては 「間接目的語」

しかし今、僕はこれは間違っていたを思っている。

But now I suspect that I was mistaken about this.

But 「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」

But バット conj. しかし
 now ナウ adv. 今 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 suspect サスペクト 1 単現 v.t (that ～だと) 思っている 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 mistaken ミステイクン adj. 誤った 「補語」
 about this. アバウト・ズィス adv. これについては 「副詞句」

Part 1 第1部

僕たちは皆、門衛が全員に手渡してくれたコーヒーを飲んだ。

We all drank the coffee, which the keeper handed round. 「主語」「動詞」「目的語」
 We all ウィー・オール pron 僕たちは皆 「主語」
 drank ドランク 1 複過(drink)v.t 飲んだ 「動詞」
 the coffee, サ・コーヒー n. コーヒーを 「目的語」
 which フィッチ pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 the keeper サ・キーパー n. 門衛が 「主語」
 handed ハンデイト 3 単過 v.t 手渡した 「動詞」
 round. ラウト adv. 周りの皆に 「間接目的語」

その後は、あまり思い出せない；なんとか夜が過ぎていった。

After that, I can't remember much; somehow the night went by.
 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」；「副詞」「主語」「動詞句」
 After that, アフター・ザット adv. その後は 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 can't remember キャント・リメンバー 1 単現・可能・否定 v.t 思い出せない 「動詞句」
 much; マッチ adv. (否定) あまり 「副詞」
 somehow サムハウ adv. どうか、なんとか 「副詞」
 the night サ・ナイト n. 夜が 「主語」
 went by. ウェント・バイ 3 単過(go by)v.i (時が) 経過した 「動詞句」

ある瞬間のことだけは覚えている；僕が目を開けると、一人を除いて、老人たちが背を丸めて椅子に座ったままで眠っているのが見えた。

I can recall only one moment; I had opened my eyes and I saw the old men sleeping hunched up on their chairs, with one exception.

「主語」「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞句」「目的語」
 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 can recall キャン・リコール 1 単現・可能 v.t 思い出すことができる 「動詞句」
 only one moment; オンリー・ワン・モメント n. ある瞬間のことだけ 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had opened ハット・オプント 1 単過・完了形(open)v.t 開けた 「動詞句」
 my eyes マイ・アイズ pl.n 眼を 「目的語」
 and アント conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 saw ソー 1 単過(see)v.t 見た 「動詞」

Part 1 第1部

the old men スィ・オールド・メン pl.n 老人たちが 「目的語」
 sleeping スリーピング 現在分詞・目的語の動作 v.i 眠っている 「補語」
 hunched up ハンチト・アップ 過去分詞 v.t (背を) 丸くして 「副詞句」
 on their chairs, オン・ゼア・チェアーズ adv. 椅子の上で 「副詞句」
 with one exception. ウィズ・ワン・イクセプション adv. 一人を除いて 「副詞句」

杖を握りしめた両手の上にあごを乗せて、まるで僕が目覚ますのを待っているかのよう
 に、彼はじっと僕を見つめていた。

Resting his chin on his hands clasped round his stick, he was staring hard at me, as if
he had been waiting for me to wake.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞節」

Resting レスティング 現在分詞 v.t ~を乗せながら 「副詞句」
 his chin ヒズ・チン n. あごを 「目的語」
 on his hands オン・ヒズ・ハンズ adv. 両手の上に 「副詞句」
 clasped クラスプト 過去分詞 v.t 握りしめた 「形容詞句」
 round his stick, ラウンド・ヒズ・スティック
 adv. 杖(の周り)を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was staring hard ワズ・ステアリング・ハート 3 単過・進行形(stare+hard)
 v.i じっと見つめていた 「動詞句」
 at me, アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」
 as if アズ・イフ conj. あかも~するかのよう 「副詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had been waiting ハット・ビー・ウェイティング 3 単過・完了形・進行形(wait)
 v.i 待っていた 「動詞句」
 for me フォー・ミー adv. 僕が 「間接目的語」
 to wake. トゥ・ウェイク 不定詞・me の動作 v.i 目を覚ます 「補語」

それからまた、僕は眠りに落ちた。

Then I fell asleep again. 「副詞」 「主語」 「動詞」 「補語」
 Then ゼン adv. それから 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 fell フェル 1 単過(fall)v.i (～の状態に) 陥った 「動詞」
 asleep アスリープ adj. 眠っている 「補語」
 again. アゲン adv. 再び 「副詞」
 fall asleep フォール・アスリープ 「ぐっすり寝いる、眠りに落ちる、永遠の眠りにつく」

Part 1 第 1 部

少しして、脚が痙攣を起こすくらいひどく痛んできたので目を覚ました。

I woke up after a bit, because the ache in my legs had developed into a sort of cramp.

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

woke up ウォーク・アップ 1 単過(wake up)v.i 目が覚めた

「動詞句」

after a bit, アフター・ア・ビット adv. 少し後で

「副詞句」

because ビ・コーズ conj. ～なので

「副詞節」

the ache ス・イ・エイク n. 痛みが

「主語」

in my legs イン・マイ・レッグズ adj. 脚の

「形容詞句」

had developed ハット・デ・イヴ・エロップト 3 単過・完了形(develop)v.i 発達した

「動詞句」

into a sort of cramp. イントゥ・ア・ソート・オブ・クランプ adv. 痙攣のように

「副詞句」

天窓の上に、夜明けの光が広がって来ていた。

There was a glimmer of dawn above the skylight.

「動詞句」「主語」「副詞句」

There was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ～があった

「動詞句」

a glimmer of dawn ア・グ・リマー・オブ・ドーン n. 夜明けの光が

「主語」

above the skylight. アバヴ・ザ・スカイライト adv. 天窓の上に

「副詞句」

1、2 分すると、老人たちの 1 人が目を覚まして、何度も咳をした。

A minute or two later one of the old men woke up and coughed repeatedly.

「副詞句」「主語」「動詞句」 and 「動詞」「副詞」

A minute or two later ア・ミニット・オア・トゥ・レイター adv. 1、2 分後に

「副詞句」

one of the old men ワン・オブ・ズ・イ・オールド・メン n. 老人たちの 1 人が

「主語」

woke up ウォーク・アップ 3 単過(wake up)v.i 目を覚ました

「動詞句」

and アンド conj. そして

coughed コフト 3 単過 v.i 咳をした

「動詞」

repeatedly. リピート・レイター adv. 繰り返して、何度も

「副詞」

Part 1 第 1 部

彼は格子縞の大きなハンカチに痰を吐き出したが、その度に、何かを吐き出そうとしてい
るように音を立てた。

He spat into a big check handkerchief, and each time he spat it sounded as if he were
retching.

「主語」「動詞」「間接目的語」and

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

spat スパット 3 単過(spit)v.i(into に) (痰を) 吐き出した

「動詞」

into a big check handkerchief, イントゥ・ア・ビック・チェック・ハンカチーフ

adv. 格子縞の大きなハンカチに

「間接目的語」

and アンド conj. そして

each time イチ・タイム adv. その度に

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

spat スパット 3 単過(spit)v.t 吐き出した

「動詞」

使役動詞的： それに音を立てさせた

it イット pron それを

「目的語」

sounded サウンデッド 過去分詞(sound)v.i 音がした

「補語」

as if アズ・イフ conj. まるで～のように

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

were retching. ワー・レチング 3 単過・仮定法・進行形(retch)

v.t (何かを) 吐こうとしている

「動詞句」

この音で他の老人たちも目を覚ましたので、門衛は彼らに自分の部屋に戻るように伝えた。

This woke the others, and the keeper told them it was time to make a move.

「主語」「動詞」「目的語」and 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

This スィス pron この音は

「主語」

woke ウォーク 3 単過(wake)v.t 起こした

「動詞」

the others, スィ・アザーズ pl.n ほかの老人たちを

「目的語」

and アンド conj. そして

the keeper サ・キーパー n. 門衛が

「主語」

told トゥルト 3 単過(tell)v.t 伝えた

「動詞」

them ゼム pron 彼らに

「間接目的語」

it was time to make a move. イット・ワズ・タイム・トゥ・メイク・ア・ムーヴ

n. 移動する時間である

「直接目的語」

Part 1 第1部

彼らは全員、一斉に立ち上がった。

They all got up at once.

「主語」「動詞句」「副詞句」

They all ゼイ・オール pron 彼らは全員

「主語」

got up ゴット・アップ 3 複過(get up)v.i 立ち上がった

「動詞句」

at once. アット・ワンス adv. 一斉に

「副詞句」

窮屈な姿勢で通夜を過ごしたために、彼らの顔は青白い灰色になっていた。

Their faces were ashen gray after the long, uneasy vigil.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Their faces ゼア・フェイス pl.n 彼らの顔は

「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ~になっていた

「動詞」

ashen gray アッセン・グレイ adj. 青白い灰色の

「補語」

after アフター prep ~の後で

「副詞句」

the long, uneasy vigil. ザ・ロング・アニージー・ウエイジナル n. 窮屈で長い寝ずの番「目的語」

驚いたことに、彼らはめいめい僕の手を握ってから出て行った。一言も交わさなかったこの夜が、あたかも僕たちの間にある種の親しさを作り上げたかのようにだった。

To my surprise each of them shook hands with me, as though this night together, in which we hadn't exchanged a word, had created a kind of intimacy between us.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

To my surprise トゥ・マイ・サプライズ adv. 驚いたことに

「副詞句」

each of them イーチ・オブ・セム n. 彼らはめいめいが

「主語」

shook シュック 3 単過(shake)v.t (手を) 握った

「動詞」

hands ハンズ pl.n 手を

「目的語」

with me, ウイズ・ミー adv. 僕と

「副詞句」

as though アズ・ゾウ conj. あたかも~のように

「副詞節」

this night together, スィス・ナイト・トゲザー n. 一緒にいたこの夜が

「主語」

in which イン・フィッチ adv. その間~する

「形容詞節」

we ウー pron 私たちは

「主語」

hadn't exchanged ハドント・イクスチェンジト 1 複過・完了形・否定(exchange)

v.t (言葉を) 交わさなかった

「動詞句」

a word, ア・ワード n. 一言も

「目的語」

had created ハット・クレイティット 3 単過・完了形(create)v.t 作った

「動詞句」

a kind of intimacy ア・カイント・オブ・インチャシー n. ある種の親しさを

「目的語」

between us. ビトウイン・アッス adv. 僕たちの間に

「副詞句」

Part 1 第1部

僕は疲れ果てていた。

I was quite done in.

「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

quite クワイ adv. すっかり

「副詞」

done in. ダン・イン adj. 疲れ切った、使い果たされた

「補語」

門衛が僕を彼の部屋に連れて行ってくれたので、少し身支度をする事ができた。

The keeper took me to his room, and I tidied myself up a bit.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

The keeper ザ・キーパー n. 門衛が

「主語」

took トック 3 単過(take)v.t 連れて行った

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

to his room, トゥ・ヒズ・ルーム adv. 彼の部屋に

「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

tidied ...up タイディット ...アップ 1 単過(tidy up)v.t 身支度をした

「動詞句」

myself マイセルフ pron 自分自身を

「目的語」

a bit. ア・ビット adv. 少し

「副詞句」

身支度 みじたく :

ある行動の準備として身なりを整えること。身ごしらえ。

彼はまたカフェ・オ・レをくれたので、僕は気分がすっきりした。

He gave me some more "white" coffee, and it seemed to do me good.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 〜をくれた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

some more "white" coffee, サム・モア・ホワイト・コーヒー n. またカフェ・オ・レを

「直接目的語」

and アンド conj. そして

it イット pron それは

「主語」

seemed to do シームト・トゥ・トゥ 3 単過・感想(seem to+不定詞)

v.t 〜をするように思われた

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

good. ゲット adj. 爽快な

「補語」

Part 1 第 1 部

外に出ると、太陽はすでに上がっており、マランゴと海の間にある丘の上の空には、まだ
ら雲が赤く輝いていた。

When I went out, the sun was up and the sky mottled red above the hills between Marengo and the sea. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」 and 「主語」 「補語」

When ホン conj. ～するとき 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

went out, ウェント・アウト 1 単過(go out)v.i 外に出た 「動詞句」

the sun ザ・サン n. 太陽は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

up アップ adv. (状態) 上がって 「補語」

and アンド conj. そして

the sky ザ・スカイ n. 空は 「主語」

mottled モットド adj. まだらの 「補語」

red レッド adv. 赤く 「副詞」

above the hills アバヴ・ザ・ヒルズ adv. 丘の上で 「副詞句」

between Marengo and the sea. ビトウィーン・マレンゴ・アント・ザ・シー

adv. マランゴと海の間で 「副詞句」

まだら雲 :

高積雲の俗名。まだらな斑紋状をして現れるので名付けられた。



参考 : 日の出直前のマンハッタンの朝焼け([日の出直前の朝焼けマンハッタン | YOLO! 人生は一度きり! NYから東京の生活 \(ameblo.jp\)](#))

Part 1 第 1 部

朝の潮風が吹いてきて、心地よい潮の香がした。

A morning breeze was blowing and it had a pleasant salty tang.

「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」

A morning breeze ア・モーニング・ブリーズ n. 朝の潮風が

「主語」

breeze ブリーズ n. 海風、微風

was blowing ワズ・ブローイング 3 単過・進行形(blow)v.i 吹いていた

「動詞句」

and アンド conj. そして

it イット pron. それは

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t あった

「動詞」

a pleasant salty tang. ア・プレザント・タング n. 心地よい潮の香り

「目的語」

pleasant プレザント adj. 心地よい tang タング n. 特有のにおい

よく晴れた 1 日になりそうだった。

There was the promise of a very fine day.

「動詞句」「主語」

There was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i 〜があった

「動詞句」

the promise ザ・プロミス n. 約束、見込み、きざし

「主語」

of a very fine day. オフ・ア・ヴェリー・ファイン・デイ adj. よく晴れた日の

「形容詞句」

fine ファイン adj. 晴れた、好天の

何年も田舎に来なかったので、これが母さんの葬儀でなかったら、どれほど楽しい散歩が
できただろうと考えていた。

I hadn't been in the country for ages, and I caught myself thinking what an agreeable
walk I could have had, if it hadn't been for Mother.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron. 僕は

「主語」

hadn't been ハント・ビーン 1 単過・完了形・否定(be)v.i 〜にいなかった

「動詞句」

in the country イン・ザ・カントリー adv. 田舎に

「副詞句」

for ages, フォー・エイジズ adv. 何年も

「副詞句」

and アンド conj. それで

I アイ pron. 僕は

「主語」

caught myself +現在分詞 コート・マイセルフ 1 単過・知覚動詞(catch onself+現在分詞)

v.t 自分自身が〜しているのに気付いた

「動詞句」

thinking シンキング 現在分詞(think)v.t 考える

「動詞句」

what an agreeable walk ファット・アン・アグリーアブル・ウォーク

n. どれほど楽しい散歩を

「目的語」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は	「主語」
could have had, クッド・ハヴ・ハット 1 単過・完了形・仮定法・可能	
v.t 持つことができただろう	「動詞句」
if イフ conj. (条件) ～ならば	「副詞節」
it イット pron (walk の代用) それが	「主語」
hadn't been ハント・ビーン 3 単過・完了形・否定(be)	
v.i ～でなかった	「動詞句」
for Mother. フォー・マザー adv. 母さんのため	「副詞句」

それでも、僕は中庭にある、プラタナスの木の下で待った。

As it was, I waited in the courtyard, under a plane tree.

	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
As アズ conj. ～のように	「副詞節」
it イット pron それが	「主語」
was, ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
→ いわば	

was ではなく were (仮定法過去) が正しい。As it were. (As if it were so.) より
ここでは、「こういう状況だったが」という感じを表す

I アイ pron 僕は	「主語」
waited ウェイティット 1 単過 v.i 待った	「動詞」
in the courtyard, イン・ザ・コートヤード adv. 中庭で	「副詞句」
under a plane tree. アンダー・ア・プレーン・TREE adv. プラタナスの木の下で	「副詞句」
plane tree プレーン・TREE n. (Platanus) プラタナスの木、篠懸の木	

朝のみずみずしい地面の香りをかぐと、もう眠気は失せていた。

I sniffed the smells of the cool earth and found I wasn't sleepy any more.

	「主語」 「動詞」 「目的語」 and 「動詞」 「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
sniffed スニフト 1 単過 v.t (においを) 嗅いでみた	「動詞」
the smells ザ・スメルズ pl.n 香りを	「目的語」
of the cool earth オフ・ザ・クール・アース adj. みずみずしい地面の	「形容詞句」
cool クール adj. 冷たい、みずみずしい、生きのいい	
フランス語 frais フレ、イタリア語・スペイン語 fresco フレスコ ドイツ語 frisch フリッシュ	
and アンド conj. そして	
found ファウント 1 単過(find)v.t 気づいた	「動詞」
n. ～ということ	「目的語」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は 「主語」
 wasn't ワズン't 1 単過・否定(be)v.i ~でなかった 「動詞」
 sleepy スリーピー adj. 眠い 「補語」
 any more. エニー・モア adv. もはや～ない 「副詞句」

それから、事務所の仲間たちのことを考えた。

Then I thought of the other fellows in the office. 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 thought ソート 1 単過(think)v.i (of ~のことを) 考えた 「動詞」
 of the other fellows オフ・ズィ・アザー・フェロー adv. 仲間たちのことを 「間接目的語」
 in the office. イン・ズィ・オフィス adv. 事務所の 「副詞句」

この時刻には、彼らは会社に行く準備をしながら起き始めているだろう；僕にとってはいつだって、一日のうちに最悪の時間だ。

At this hour they'd be getting up, preparing to go to work; for me this was always the worst hour of the day.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」；「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
 At this hour アット・ズィス・アワ adv. この時刻には 「副詞句」
 they セイ pron 彼らは 「主語」
 'd be getting up, ウット・ビー・ゲッティング・アップ 3 複現・進行形・推量(would+不定詞)
 v.i 起き始めているだろう 「動詞句」
 preparing to +不定詞 プレパリング・トゥ 現在分詞・同時
 adv. ~する準備をしながら 「副詞句」
 go ゴウ 不定詞 v.i 行く 「動詞」
 to work; トゥ・ワーク adv. 仕事に 「間接目的語」
 for me フォー・ミー adv. 僕にとっては 「副詞句」
 this ズィス pron これは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 always the worst hour of the day. オールウェイズ・ザ・ワースト・アワ・オブ・ザ・デイ
 n. いつでも一日のうちに最悪の時間 「補語」

Part 1 第 1 部

僕はこのように 10 分かそこら考え続けていた；すると建物の中で鐘の音が鳴り、僕の注意を引き付けた。

I went on thinking, like this, for ten minutes or so; then the sound of a bell inside the building attracted my attention.

「主語」「動詞句」「副詞句」；「副詞」「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

went on thinking, ウェント・オン・シンキング 1 単過・継続(go on+現在分詞)

v.i 考え続けた

「動詞句」

like this, ライク・ズ・イズ adv. このように

「副詞句」

for ten minutes or so; フォー・テン・ミニッツ・オア・ソウ adv. 10 分かそこら

「副詞句」

then ゼン adv. それから

「副詞」

the sound of a bell ザ・サウト・オブ・ア・ベル n. 鐘の音が

「主語」

inside the building インサイト・ザ・ビルディング adv. 建物の中で

「副詞句」

attracted アトラクティッド 3 単過 v.t 引き付けた

「動詞」

my attention. マイ・アテンション n. 僕の注意を

「目的語」

窓の向こう側に、何かの動きが見えた；それからまたすっかり静かになった。太陽はさらに高く昇り、僕の足を暖め始めた。

I could see movements behind the windows; then all was calm again. The sun had risen a little higher and was beginning to warm my feet.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」：「副詞」「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞句」「副詞句」and「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

could see クッド・シー 1 単過・可能 v.t 見ることができた

「動詞句」

movements ムーヴメント pl.n 何かの動きを

「目的語」

behind the windows; ビ・ハインド・ザ・ウィンドウズ adv. 窓の向こう側に

「副詞句」

then ゼン adv. それから

「副詞」

all オール pron すべてが

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜になった

「動詞」

calm again. カム・アゲン adj. また静かに

「補語」

The sun ザ・サン n. 太陽は

「主語」

had risen ハッド・リズン 3 単過・完了形(rise)v.i 昇っていた

「動詞句」

a little higher ア・リトル・ハイヤー adv. さらに高く

「副詞句」

and アンド conj. そして

was beginning to warm ワズ・ビギニング・トゥ・ウォーム 3 単過・進行形・開始(begin to+不定詞)

v.t 〜を暖め始めていた

「動詞句」

Part 1 第 1 部

my feet. マイ・フット pl.n 僕の足を

「目的語」

門衛が中庭を歩いてやって来て、院長が僕を呼んでいると告げた。

The keeper came across the yard and said the warden wished to see me.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」

The keeper ザ・キーパー n. 門衛が

「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た

「動詞」

across the yard アクロス・ザ・ヤード adv. 中庭を歩いて

「副詞句」

and アンド conj. そして

said セッド 3 単過(say)v.t(that と) 言った

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

the warden ザ・ワードン n. 院長が

「主語」

wished to see ウィッシュト・トゥ・シー 3 単過・願望(wish to+不定詞)

v.t 会いたがっている

「動詞句」

me. ミー pron 僕に

「目的語」

僕は院長室へ行った。院長は僕に、書類に署名させた。

I went to his office and he got me to sign some document.

「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

went ウェント 1 単過(go)v.i 行った

「動詞」

to his office トゥ・ヒズ・オフィス adv. 院長室へ

「間接目的語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

got ゴット 3 単過・使役(get)v.t(SVO to+不定詞) (O に～) させた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

to sign トゥ・サイン 不定詞 v.t 署名する

「補語」

some document. サム・ドキュメント pl.n 書類に

「目的語」

Part 1 第1部

僕は、院長が細縞のズボンに黒服を着ていることに気が付いた。

I noticed that he was in black, with pin-stripe trousers. 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ (be)v.i ～だった 「動詞」
 in black, イン・ブラック adv. 黒い服を着て 「補語」
 with ウイズ prep ～を穿いて 「副詞句」
 pin-stripe trousers. ピン・ストライプ・トラウザーズ
 n. 細縞のズボン 「目的語」

彼は受話器を手にとると、僕を見た。

He picked up the telephone receiver and looked at me.
 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞」「間接目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 picked up ピック・アップ 3 単過(pick up)v.t (物を) 手にとった 「動詞句」
 the telephone receiver ザ・テレフォン・レシーバー n. 受話器 「目的語」
 and アンド conj. そして
 looked ルクト 3 単過 v.i(at ～を) 見た 「動詞」
 at me. アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」

「葬儀屋の者たちが少し前に到着して、棺のふたをねじ止めするために葬儀場に行くことになっています」

“The undertaker’s men arrived some moments ago, and they will be going to the mortuary to screw down the coffin.

《「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

“The undertaker’s men スイ・アンダーテイカーズ・メン pl.n 葬儀屋の者たちが 「主語」
 undertaker アンダーテイカー n. 葬儀屋
 arrived アライヴト 3 複過 v.i 到着した 「動詞」
 some moments ago, サム・モウメンツ・アゴウ adv. 少し前に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 will be going ウィル・ビー・ゴウイング 3 複未・進行形・予定(go)v.i 行くことになっている 「動詞句」
 to the mortuary トゥ・ザ・モチュアリー adv. 葬儀場へ 「間接目的語」
 to screw down トゥ・スクリュー・ダウン 不定詞・目的 adv. ～をねじで止めるために 「副詞句」

Part 1 第1部

the coffin. ザ・コフィン n. 棺 (のふた) を

「目的語」

「あなたが母上に最後の対面をするまで待つようと、彼らに言いましょうか？」

Shall I tell them to wait for you to have a last glimpse of your mother?

《「動詞句」「主語」「目的語」「補語」》

Shall ...tell シャル...テル 1 単現・疑問文・相手の意思を確認(tell)

v.t(to+不定詞) ~しなさいと言いましょうか？

「動詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

them ゼム pron 彼らに

「目的語」

to wait, トゥ・ウェイト 不定詞・them の動作 v.i 待つ

「補語」

adv. (目的) ~するために

「副詞句」

for you フォー・ユー adv. あなたが

「主語」

to have トゥ・ハヴ 不定詞 v.t 持つ

「動詞句」

a last glimpse of your mother?" ア・ラスト・グリンプ ス・オブ・ユア・マザー

n. 母上との最後の対面を

「目的語」

「いえ、結構です」と、僕は答えた。

“No,” I said.

《「応答」》, 「主語」「動詞」

“No,” ノー adv. いえ、結構です

「応答」

I アイ pron 私は

「主語」

said. セッド 1 単過(say)v.t 答えた

「動詞」

彼は受話器に向かって、声を落として言った。

He spoke into the receiver, lowering his voice. 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

spoke スポーク 3 単過(speak)v.i 言った

「動詞」

into the receiver, イントゥ・ザ・レシーバー adv. 受話器に向かって

「間接目的語」

lowering ロウリグ 現在分詞(lower)v.t (声の音量を) 落として

「副詞句」

his voice. ヒズ・ヴォイス n. 声を

「目的語」

「フィジャック、いいぞ。彼らにすぐそこへ行くように言ってくれ」

“That’s all right, Figeac. Tell the men to go there now.”

《「主語」「動詞」「補語」「呼びかけ」 | 「動詞」「目的語」「補語」》

“That” ザット pron そのことは

「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

all right, オール・ライト adj. 心配のいらない

「補語」

Part 1 第1部

Figeac. フィジャック n. フィジャック	「呼びかけ」
Tell テル 命・2 単現 v.t 言ってくれ	「動詞」
the men ザ・メン pl.n 彼らに	「目的語」
to go トゥ・ゴウ 不定詞・men の動作 v.i 行く	「補語」
there now.” ゼア・ナウ adv. すぐそこへ	「副詞句」

それから院長は葬儀に参列するつもりだといったので、僕は礼を言った。

He then informed me that he was going to attend the funeral, and I thanked him.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」	
He ヒー pron 彼は	「主語」
then ゼン adv. それから	「副詞」
informed インフォームト 3 単過 v.t 告げた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
that ザット conj. ～ということを	「直接目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
was going to attend ワズ・ゴーイング・トゥ・アテンド 3 単過・進行形・意思 v.t 参列するつもりだ	「動詞句」
the funeral, ザ・フューネラル n. 葬儀に	「目的語」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
thanked サンクト 1 単過 v.t 礼を言った	「動詞」
him. ヒム pron 彼に	「目的語」

デスクの向こう側に座って、彼は短い脚を組んで、上体を後ろにそらした。

Sitting down behind his desk, he crossed his short legs and leaned back.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」	
Sitting down シティング・ダウン 現在分詞 adv. (様態) 座って	「副詞句」
behind his desk, ヒー・ハインド・ヒズ・デスク adv. デスクの向こう側に	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
crossed クロスト 3 単過 v.t 組んだ	「動詞」
his short legs ヒズ・ショート・レグズ pl.n 短い脚を	「目的語」
and アンド conj. そして	
leaned back. リント・バック 3 単過 v.t 上体を後ろにそらした	「動詞句」

Part 1 第1部

当番の看護婦の他には、と彼は僕に言った、葬儀の会葬者は彼と僕だけになるだろう。

Besides the nurse on duty, he told me, he and I would be the only mourners at the funeral.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」, 「主語」「動詞句」「補語」

Besides ビ・サイズ prep へのほかには

「副詞句」

the nurse ザ・ナース n. 看護婦

「目的語」

on duty, オン・デューティ adj. 当番の

「形容詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

told トルド 3 単過(tell)v.i 言った

「動詞」

me, ミー pron 僕に

「間接目的語」

he and I ヒー・アント・アイ pl.n 彼と僕が

「主語」

would be ウット・ビー 1 複過・推量 v.i ~だろう

「動詞句」

the only mourners ザ・オンリー・モナー pl.n ~だけの会葬者

「補語」

at the funeral. アット・ザ・フューネラル adv. 葬儀では

「副詞句」

この養老院の規則では、入寮者は葬儀に参列することはできない。しかし、葬儀の前夜にお通夜に出ることは許されている。

It was a rule of the Home that inmates shouldn't attend funerals, though there was no objection to letting some of them sit up beside the coffin the night before.

「動詞」「補語」「主語」, 「副詞」「動詞句」「主語」「副詞句」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that inmates shouldn't attend funerals)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~である

「動詞」

a rule of the Home ア・ルール・オブ・ザ・ホーム n. この養老院の規則

「補語」

that ザット conj. ~ということが

「主語」

inmates インメイツ pl.n 入寮者は

「主語」

shouldn't attend シュドント・アテント 3 複現・当然・否定(attend)

v.t 参列できない

「動詞句」

funerals, フューネラルズ pl.n 葬儀に

「目的語」

though ソウ adv. しかし

「副詞」

there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ~があつた

「動詞句」

no objection ノ・オブ・ジ・ェクション n. 反対が~ない

「主語」

to letting トゥ・レティング adv. (対象) ~させることについて

「副詞句」

some of them サム・オブ・ゼム pl.n 入寮者が

「目的語」

sit up シット・アップ 不定詞・some の動作 v.i 寝ずに起きている

「補語」

beside the coffin, ビ・サイト・ザ・コフィン adv. 棺のそばで

「副詞句」

the night before. ザ・ナイト・ビ・フォー adv. 葬儀の前夜に

「副詞句」

Part 1 第1部

「それは彼ら自身のためです」と、彼は説明した。「彼らの感情に気を配ってのことです」

“It’s for their own sakes.” he explained, “to spare their feelings.”

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞句」》

“It イット pron それは 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 for their own sakes,” フォー・セア・OWN・セイクス adv. 彼ら自身のため 「補語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 explained, イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」
 “to spare トゥ・SPA 不定詞・目的 v.t 〜に気を配る 「副詞句」
 their feelings. セア・フィーリングズ pl.n 彼らの感情を 「目的語」

しかし今回は特別、母上の友人に、私たちと一緒に葬儀に参列する許可を与えました。

But in this particular instance I’ve given permission to an old friend of your mother to come with us. 《But 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「補語」》

But バット conj. しかし

in this particular instance イン・ズ・イズ・パティキュラー・インスタンス adv. この特例では 「副詞句」

particular パティキュラー adj. 特別の instance インスタンス n. 例、場合

I アイ pron 私は 「主語」

’ve given ハヴ・ギヴン 1 単現・完了形(give)v.t 与えた 「動詞句」

permission ハ・ミッション n.(to+不定詞 〜してよいという) 許可を 「直接目的語」

to an old friend of your mother トゥ・アン・オールド・フレンド・オブ・ユア・マザー

adv. 母上の友人に 「間接目的語」

to come トゥ・カム 不定詞・friend の動作 v.i 来る 「補語」

with us. ウイズ・アス adv. 私たちと一緒に (葬儀に) 「副詞句」

「彼の名前は、トマ・ペレーズといいます」

His name is Thomas Pérez.”

《「主語」「動詞」「補語」》

His name ヒズ・ネーム n. 彼の名前は 「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

Thomas Pérez.” トーマス・ペレス n.m トマ・ペレーズ 「補語」

院長は微笑んだ。

The warden smiled.

「主語」「動詞」

The warden サ・ウォーデン n. 院長は 「主語」

smiled. スマイルト 3 単過 v.i 微笑んだ 「動詞」

Part 1 第1部

「まあ、ちょっとした話なんです」

‘It’s a rather touching little story in its way.

《「主語」「動詞」「補語」》

‘It イット pron それは

「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

a rather touching little story ア・ラーサー・タチング・リトル・ストーリー n. 少しは感動的な話

「補語」

in its way. イン・イツ・ウェイ adv. それなりに

「副詞句」

「二人はほとんどいつも一緒にいました」

He and your mother had become almost inseparable.

《「主語」「動詞句」「補語」》

He and your mother ヒー・アント・ユア・マザー pl.n 彼と母上は

「主語」

had become ハット・ビカム 3 複過・完了形 v.i ~になった

「動詞句」

almost inseparable. オールモスト・インセパラブル adj. ほとんどいつも一緒にいる

「補語」

「他の老人たちは、許嫁ができたのかと言って、ペレーズをよくからかっていました」

The other old people used to tease Pérez about having a fiancée.

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

The other old people スイ・アザー・オールド・ピープル pl.n ほかの老人たちは

「主語」

used to tease ユースト・トゥ・テイズ 3 複過・習慣(used to+不定詞)

v.t よくからかっていた

「動詞句」

Pérez ペレス n.m ペレーズを

「目的語」

about +現在分詞 アバウト adv. (関連) ~することについて

「副詞句」

having ハヴィング 現在分詞 v.t ある

「動詞」

a fiancée. ア・フィアンセ n. 許嫁

「目的語」

「いつ、彼女と結婚するんだ？」と、周りのもの達はよく聞いていたものです。

‘When are you going to marry her?’ they’d ask.

《「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「主語」「動詞句」

‘When ホエン adv. いつ

「副詞」

are ...going to marry アー...ゴウイング・トゥ・マリー 2 単現・近接未来・意思・疑問文

v.t 結婚するつもりなのだ

「動詞句」

you ユー pron お前さんは

「主語」

her?’ ハー pron 彼女と

「目的語」

they ゼイ pron 皆は

「主語」

’d ask. ウット・アスク 3 複過・過去の習慣(would+不定詞)v.t よく聞いていたものだ

「動詞句」

Part 1 第1部

彼は笑ってそれを受け流していました。それがいつもの冗談だったのです。

He'd turn it with a laugh. It was a standing joke, in fact.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

'd turn ウット・ターン 3 単過・過去の習慣(would+不定詞)

v.t よく受け流していたものだ

「動詞句」

turn ターン v.t (攻撃を) かわす、そらす

it イット pron それを

「目的語」

with a laugh. ウイズ・ア・ラーフ adv. (手段) 笑って

「副詞句」

It イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

a standing joke, ア・スタンディング・ジョーク n. お決まりの冗談

「補語」

in fact. イン・ファクト adv. 実のところ、実際は

「副詞句」

ですから、ご推測の通り、彼は母上の死をととても悲しんでいます。

So, as you can guess, he feels very badly about your mother's death.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

So, ソウ adv. それで

「副詞」

as アズ conj. 〜するように

「副詞節」

you ユー pron あなたが

「主語」

can guess, キャン・ゲス 2 単現・可能 v.t 推測できる

「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

feels フィールズ 3 単現 v.i 〜の感じを覚える

「動詞」

very badly ヴェリー・バッドリー adv. とても残念に思う

「補語」

about your mother's death. アバウト・ユア・マザーズ・デス adv. 母上の死を

「副詞句」

私は、彼が葬儀に参列する許可を断ることは出来ないと思ったのです。

I thought I couldn't decently refuse him permission to attend the funeral.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t (that 〜だと) 思った

「動詞」

n. 〜ということを

「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

couldn't decently refuse クント・デューセントリー・リフューズ 1 単過・可能・否定

v.t きちんと断ることはできない

「動詞句」

decently デューセントリー adv. 見苦しくなく、きちんとして

Part 1 第1部

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 permission パミション n. 許可を 「直接目的語」
 to attend トゥ・アテント 不定詞・同格 adj. 参加するという 「形容詞句」
 the funeral. ザ・フューネラル n. 葬儀に 「目的語」

しかし、診療所から来た医師の助言に従って、昨夜の通夜に参列することは禁じました。

But, on our medical officer's advice, I forbade him to sit up beside the body last night."

But 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」

But, バット conj. しかし
 on オン prep (根拠・条件) 〜に基づいて、〜に従って 「副詞句」
 our medical officer's アウ・メディカル・オフィサーズ adj. 診療所員の 「形容詞句」
 advice, アドヴァイス n. 意見、助言 「目的語」
 I アイ pron 私は 「主語」
 forbade フォーベイト 1 単過(forbid)v.t ーを禁じた 「動詞」
 him ヒム pron 彼が 「目的語」
 to sit up トゥ・シット・アップ 不定詞・him の動作 v.i 寝ずに起きている 「補語」
 beside the body ビサイド・ザ・ボディ adv. 棺のそばで 「副詞句」
 last night." ラスト・ナイト adv. 昨夜 「副詞句」

フランス語の原文では： 養老院の診療所員ではなく、通いの医師

Mais sur le conseil du **médecin visiteur**, しかし訪問医師の助言に従って、

僕たちはかなり長い間、黙り込んで、そこに座っていた。

For some time we sat there without speaking. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
 For some time フォー・サムタイム adv. かなりの間、しばらくの間 「副詞句」
 we ウィー pron 我々は 「主語」
 sat サット 1 複過(sit)v.i 座っていた 「動詞」
 there ゼア adv. そこで 「副詞」
 without speaking. ウィズアウト・スピーキング adv. 黙ったままで、何も話さずに 「副詞句」

それから院長は立ち上がり、窓のほうへ行き、やがて言った。

Then the warden got up and went to the window. Presently he said:

「副詞」 「主語」 「動詞句」 and 「動詞」 「間接目的語」 | 「副詞」 「主語」 「動詞」

Then ゼン adv. それから 「副詞」
 the warden ザ・ウォーデン n. 院長は 「主語」
 got up ゴット・アップ 3 単過(get up)v.i 立ち上がった 「動詞句」
 and アンド conj. そして

Part 1 第1部

went ウェント 3 単過(go)v.i 行った 「動詞」
 to the window. トゥ・ザ・ウィンドウ adv. 窓のほうに 「間接目的語」
 Presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said: セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

「ああ、マランゴの司祭様がもうお見えになっている。予定より少し早いな」

“Ah, there's the padre from Marengo. He's a bit ahead of time.”

《「感嘆」「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

“Ah, アー int. ああ 「感嘆」
 there's ゼア・ズ 3 単現(there be)v.i 〜がいる 「動詞句」
 the padre ザ・パトレ n. 司祭が 「主語」
 from Marengo. フロム・マレンゴ adj. マランゴからの 「形容詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 a bit ahead of time.” ア・ビット・アヘッド・オブ・タイム adv. 予定の時間より少し早い 「補語」

村の中にある教会まで歩いていくには、たっぷり 45 分はかかるだろうと教えてくれた。

He warned me that it would take us a good three quarters of an hour, walking to the church, which was in the village. 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 warned ウォント 3 単過 v.t (that 〜だと) 知らせた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 that ザット conj. 〜ということを 「直接目的語」
 it イット pron 仮の主語 (真の主語は walking to the church 以降)
 would take ウット・テイク 3 単現・推量 v.t (時間) 〜を取るだろう 「動詞句」
 us アッス pron 我々から 「間接目的語」
 a good three quarters of an hour, ア・グット・スリー・クォータ・ス・オブ・アン・アワー
 n. たっぷり 45 分くらい 「直接目的語」
 walking to the church, ウォーキング・トゥ・ザ・チャーチ 現在分詞
 n. 教会まで歩いていくことは 「主語」
 which フィッチ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜にある 「動詞」
 in the village. イン・ザ・ヴィレッジ
 adv. 村の中の 「副詞句」

Part 1 第 1 部

それから僕たちは階下に降りた。

Then we went downstairs.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞」

Then ゼン adv. それから

「副詞」

we ウー pron 僕たちは

「主語」

went ウェント 1 複過(go)v.i 行った

「動詞」

downstairs. ダウンステアズ adv. 階下に

「副詞」

司祭は葬儀場の入り口のすぐ前で待っていた。

The priest was waiting just outside the mortuary door.

「主語」「動詞句」「副詞句」

The priest サ・プリースト n. 司祭は

「主語」

was waiting ワズ・ウェイティング 3 単過・進行形(wait)v.i 待っていた

「動詞句」

just outside ジャスト・アウトサイト adv. すぐ前で、すぐ外側で

「副詞句」

the mortuary door. サ・モチュアリー・ドア n. 葬儀場の入り口

「目的語」

彼と一緒に、侍者が 2 人いて、その内の 1 人は吊り香炉を持っていた。

With him were two acolytes, one of whom had a censer.

「副詞句」「動詞」「主語」, 「主語」「動詞」「目的語」

With him ウイズ・ヒム adv. 彼と一緒に

「副詞句」

were ワー 3 複過(be)v.i 〜がいた

「動詞」

two acolytes, トゥ・アコライツ pl.n 侍者が 2 人

「主語」

one of whom ワン・オブ・フム pron 侍者の 1 人は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた

「動詞」

a censer. ア・センサー n. (宗教儀式で使う) 吊り香炉を

「目的語」

吊り香炉 : 「振り香炉」ともいう

キリスト教の礼拝(奉神礼・典礼)に用いられる香炉。金属製の鎖によって吊り下げられた金属製の香炉である。香炉内に乳香を入れて、火をつけて振ることで煙を発生させる。

司祭はかがみこんで、香炉をぶら下げる銀の鎖の長さを調節していた。

The priest was stooping over him, adjusting the length of the silver chain on which it hung.

「主語」「動詞句」「副詞句」

The priest サ・プリースト n. 司祭は

「主語」

was stooping ワズ・ストーピング 3 単過・進行形(stoop)v.i かがみこんでいた

「動詞句」

over him, オヴァー・ヒム adv. 香炉の上に

「副詞句」

adjusting アジャステイング 現在分詞(adjust)adv. 調整しながら

「副詞句」

the length サ・レングス n. 長さを

「目的語」

of the silver chain オブ・サ・シルヴァー・チェイン adj. 銀の鎖の

「形容詞句」

Part 1 第 1 部

on which it hung. オン・フィッチ・イト・ハンク

adv. それをぶら下げる

「副詞句」

僕たちを見かけると背筋を伸ばして立ち上がり、僕を「わが子よ」と呼んで、何か言った。

When he saw us he straightened up and said a few words to me, addressing me as, "My son." 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 and 「動詞」 「直接目的語」 「間接目的語」 「副詞句」

When ヘン conj. ～すると

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

saw ソー 3 単過(see)v.t 見た

「動詞」

us アス pron 僕たちを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

straightened up ストレイトント・アップ 3 単過(straighten up)

v.i 背筋を伸ばして立ち上がった

「動詞句」

and アント conj. そして

said セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

a few words ア・フュー・ワーズ pl.n 何かを

「直接目的語」

to me, トゥ・ミー adv. 僕に

「間接目的語」

addressing アドレッシング 現在分詞(address)v.t(SVOC O を C と) 呼んで

「副詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

as, "My son." アズ・マイソソ adv. わが子よ

「補語」

それから彼は、僕を先導して葬儀場に入っていった。

Then he led the way into the mortuary.

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

led the way レット・ザ・ウェイ 3 単過(lead the way)v.i 先導した

「動詞句」

into the mortuary. イントゥ・ザ・モチュアリー adv. 葬儀場に

「間接目的語」

僕はすぐに気づいたが、棺の向こう側に黒服を着た男 4 人が立っていて、棺のふたの木ネジはもうすでにしっかり締めつけられていた。

I noticed at once that four men in black were standing behind the coffin and the screws in the lid had now been driven home.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t に気づいた

「動詞」

at once アット・ワンス adv. すぐに

「副詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

Part 1 第1部

four men in black フォー・メン・イン・ブラック pl.n 黒服を着た男 4 人が 「主語」
 were standing ワー・スタンディング 3 複過・進行形(stand)v.i 立っていた 「動詞句」
 behind the coffin ヒズ・ハインド・ザ・コフィン adv. 棺の向こう側に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 the screws in the lid ザ・スクルズ・イン・ザ・リッド pl.n 棺のふたの木ねじは 「主語」
 had now been driven ハット・ナウ・ビー・ン・ドリヴン 3 複過・完了形・受動(drive)
 v.t (くぎなどが) もうすでに打ち込まれていた 「動詞句」
 home. ホーム adv. 適切な位置に 「副詞」

院長が「霊柩車が到着した」と言う声と、司祭が祈祷を始める声が同時に聞こえた。

At the same moment I heard the warden remark that the hearse had arrived, and the priest starting his prayers.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」 and 「目的語」「補語」

At the same moment アット・ザ・セイム・モメント adv. 同時に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 the warden ザ・ワートン n. 院長が 「目的語」
 remark リマーク 不定詞・warden の動作 v.t ~と言う 「補語」
 that ザット conj. ~ということ 「目的語」
 the hearse ザ・ハース n. 霊柩車が 「主語」
 had arrived, ハット・アライヴト 3 単過・完了形 v.i 着いた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 the priest ザ・プリースト n. 司祭が 「目的語」
 starting スターティング 現在分詞・priest の動作 v.t ~を始める 「補語」
 his prayers. ヒズ・プレイヤーズ pl.n 祈祷を 「目的語」

それから皆は行動を開始した。

Then everybody made a move. 「副詞」「主語」「動詞句」

Then セン adv. それから 「副詞」
 everybody エヴリボディ pron 皆は 「主語」
 made a move. メイト・ア・ムーヴ 3 単過(make a move)v.i 行動を開始した 「動詞句」

Part 1 第1部

細長い黒布を持って、4人の男が棺に歩み寄った。その一方で、司祭と侍者たちそれに僕自身はぞろぞろと外に出た。

Holding a strip of black cloth, the four men approached the coffin, while the priest, the boys, and myself filed out.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, while 「主語」 「動詞句」
 Holding ホルディング 現在分詞(hold)v.t ~を持って 「副詞句」
 a strip ア・ストリップ n. 細長い一片を 「目的語」
 of black cloth, オフ・ブラック・クロス adj. 黒い布の 「形容詞句」
 the four men ザ・フォー・メン pl.n 4人の男が 「主語」
 approached アプ ローチ 3 複過 v.t 歩み寄った、近づいた 「動詞」
 the coffin, ザ・コフィン n. 棺に 「目的語」
 while ホワイ conj. だが一方
 the priest, ザ・プリースト n. 司祭は 「主語」
 the boys, ザ・ボーイズ pl.n 侍者たちは 「主語」
 and アンド conj. そして
 myself マイセルフ n. 僕自身は 「主語」
 filed out. ファイルド・アウト 3 複過(file out)v.i 外に出た 「動詞句」
 file into 「列になって中に入る」 file out 「ぞろぞろ出ていく」

会ったことのない女性が入口あたりに立っていた。

A lady I hadn't seen before was standing by the door. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 A lady ア・レディ n. 女性が 「主語」
 (that ザット) pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 hadn't seen ハント・シエン 1 単過・完了形(see)
 v.t 一度も会ったことがない 「動詞句」
 before ビフォー adv. 以前に、これまでに 「副詞」
 was standing ワズ・スタンディング 3 単過・進行形(be+現在分詞)v.i 立っていた 「動詞句」
 by the door. バイ・ザ・ドア adv. 入口のあたりに 「副詞句」

「こちらはムルソーさんです」と、院長が彼女に言った。

"This is Monsieur Meursault," the warden said to her.

《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」
 "This スィズ pron こちらは 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 Monsieur Meursault, ムッシュ・メルソー n. ムルソーさん 「補語」

Part 1 第1部

the warden ザ・ウォーデン n. 院長が 「主語」
 said セッド 3 単過(say)v.i 言った 「動詞」
 to her. トゥ・ハー adv. 彼女に 「間接目的語」

彼女の名前は聞き取れなかったが、養老院に派遣された看護婦だということは分かった。

I didn't catch her name, but I gathered she was a nursing sister attached to the Home.

「主語」「動詞句」「目的語」 but 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't catch デイ・ント・キャッチ 1 単過・否定(catch)v.t (言葉)を聞き取れなかった 「動詞句」
 her name, ハー・ネム n. 彼女の名前を 「目的語」
 but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」
 gathered ギャザード 1 単過 v.t (that ~だと) 分かった 「動詞」
 (that ザット) conj. ~ということが 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 a nursing sister ア・ナシング・シスター n. 看護婦 「補語」
 attached アタッチ 過去分詞・受動(attach)adj. 派遣された 「形容詞句」
 to the Home. トゥ・ザ・ホーム adv. 養老院に 「副詞句」

僕が紹介されると、彼女はやせた面長の顔に微笑みを浮かべることもなくお辞儀をした。

When I was introduced, she bowed, without the trace of a smile on her long, gaunt face.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」

When ホエン conj. ~するとき 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」
 was introduced, ワズ・イントロジュースト 1 単過・受動(introduce)v.t 紹介された 「動詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 bowed, バウト 3 単過 v.i お辞儀をした 「動詞」
 without the trace of a smile ウイズアウト・ザ・トレイス・オブ・ア・スマイル
 adv. 微笑みのかけらもなしに 「副詞句」
 on her long, gaunt face. オン・ハー・ロング・ゴースト・フェイス
 adv. やせこけた面長の顔に 「副詞句」

Part 1 第1部

僕たちは、棺を通してやるために戸口から脇に寄った。それから、廊下を歩いて棺の担ぎ手について行き、霊柩車が待っている正門までやって来た。

We stood aside from the doorway to let the coffin by; then, following the bearers down a corridor, we came to the front entrance, where a hearse was waiting.

「主語」「動詞句」「副詞句」; 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 stood aside ストッド・アサイド 1 複過(stand aside)v.i 脇へ寄った 「動詞句」
 from the doorway フロム・ザ・ドアウェイ adv. 戸口から 「副詞句」
 to +不定詞 トゥ 不定詞・目的 adv. ～するために 「副詞句」
 let ...by; レット...バイ 不定詞(let by)v.t ～を通してやる 「動詞句」
 the coffin ザ・コフィン n. 棺を 「目的語」
 then, セン adv. それから 「副詞」
 following フォロウイング 現在分詞 v.i ～について行って 「副詞句」
 the bearers ザ・ビアーラーズ pl.n 棺の担ぎ手に 「目的語」
 down a corridor, ダウン・ザ・コリドー adv. 廊下を歩いて 「副詞句」
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 came ケイム 1 複過(come)v.i 来た 「動詞」
 to the front entrance, トゥ・ザ・フロント・エントランス adv. 正門に 「間接目的語」
 where ウェア adv. そこには 「副詞」
 a hearse ア・ハース n. 霊柩車が 「主語」
 was waiting. ワズ・ウェイティング 3 単過・進行形(wait)v.i 待っていた 「動詞句」

全体的に長方形で、光沢があり、ニス塗られて黒い色のその霊きゅう車は、僕に会社にあるペン皿を思い起こさせた。

Oblong, glossy, varnished black all over, it vaguely reminded me of the pen trays in the office.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」

Oblong, オブロンク adj. 長方形の 「形容詞」
 glossy, グロシー adj. 光沢のある 「形容詞」
 varnished ヴァーニッシュト 過去分詞・受動(varnish)adj. ニスを塗られた 「形容詞」
 black ブラック adj. 黒い 「形容詞」
 all over, オール・オヴァー adv. 全体的に 「副詞句」
 it イット pron それは 「主語」
 vaguely ヴェイグリー adv. ぼんやりと、少し 「副詞」
 reminded リマインデッド 3 単過 v.t 思い起こさせた 「動詞」
 me ミー pron 私に 「間接目的語」
 of the pen trays オフ・ザ・ペン・トレイズ adv. ペン皿のことを 「間接目的語」

Part 1 第1部

in the office. イン・スイ・オフィス adv. 会社にある

「副詞句」

霊きゅう車の隣には、奇妙な服装の小柄な男が立っていたが、その男の任務は儀式のリーダーとして葬儀の指揮をとることだと分かった。

Beside the hearse stood a quaintly dressed little-man, whose duty it was, I understood, to supervise the funeral, as a sort of master of ceremonies.

「副詞句」「動詞」「主語」「補語」, 「動詞」「副詞句」「主語」

Beside the hearse ビ・サイト・ザ・ハース adv. 霊きゅう車の隣に

「副詞句」

stood ストゥッド 3 単過(stand)v.i 立っていた

「動詞」

a quaintly dressed ア・クェイントリー・ドレスト adj. 奇妙な服装の

「形容詞句」

quaintly クェイントリー adv. 奇妙に dressed ドレスト adj. 服を着た

little-man, リトル・マン n. 小柄な男が

「主語」

whose duty フーズ・デューティー n. その男の任務は

「補語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は to supervise 以降)

was, ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

I understood, アイ・アンダー・ストゥット adv. 僕は分かった

「副詞句」

to supervise トゥ・スパーヴァイズ 不定詞 v.t 監督することが

「主語」

the funeral, ザ・フューネラル n. 葬儀を

「目的語」

as a sort of master アズ・ア・ソート・オブ・マスター adv. リーダーとして

「副詞句」

of ceremonies. オフ・セレモニーズ adj. 儀式的

「形容詞句」

彼のそばに、母さんの親友のペレーズ老人がぎこちなくはにかんでいた。

Near him, looking constrained, almost bashful, was old M. Pérez, my mother's special friend.

「副詞句」, 「補語」「動詞」「主語」

Near him, ニア・ヒム adv. 彼のそばで

「副詞句」

looking constrained, ルキング・コンストレイント adj. ぎこちなく見える

「補語」

almost bashful, オールモスト・バッシュフル adj. ほとんどはにかんでいる

「補語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

old M. Pérez, オールド・ミスター・ペレーズ n. ペレーズ老人

「主語」

my mother's special friend. マイ・マザーズ・スペシャル・フレント

n. 母さんの親友の

「形容詞句」

Part 1 第 1 部

彼は頭頂部が丸くてつばが広いフェルト帽をかぶり（棺が門から出る時、彼はそれをさっと脱いだ）、靴の上でたるんで畳まっているズボンを履き、白でダブルの高襟には小さすぎる黒のネクタイをしていた。

He wore a soft felt hat with a pudding-basin crown and a very wide brim—he whisked it off the moment the coffin emerged from the doorway—trousers that concertina'd on his shoes, a black tie much too small for his high white double collar.

「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」,
「目的語」, 「目的語」

He ひー pron 彼は 「主語」
wore ウア 3 単過(wear)v.t (帽子を) かぶっていた 「動詞」
a soft felt hat ア・ソフト・フェルトハット n. フェルト帽を 「目的語」
with a pudding-basin crown ウイズ・ア・プディング・バシン・クラウン
adv. 頭頂部が丸い 「副詞句」
pudding-basin プディング・バシン n. プリン用のボール crown クラウン n. 頭頂部
and アンド conj. そして
a very wide brim— ア・ウェリー・ワイド・ブリム n. (帽子の) つばが広い 「副詞句」
he ひー pron 彼は 「主語」
whisked ...off ウィスクト...オフ 3 単過 v.t さっと脱いだ 「動詞句」
it イット pron それを 「目的語」
the moment ザ・モメント n. その瞬間 「副詞句」
the coffin emerged from the doorway— ザ・コフィン・イマージト・フロム・ザ・トアウェイ
adj. 棺が門から出る 「形容詞節」
trousers トラウザーズ pl.n ズボン 「目的語」
that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」
concertina'd コンチーナト 3 複過(concertina)
v.i 畳まっていた 「動詞」
on his shoes, オン・ヒズ・シューズ adv. 靴の上で 「副詞句」
a black tie ア・ブラック・タイ n. 黒のネクタイ 「目的語」
much too small マッチ・トゥー・スモール
adj. 小さすぎる 「形容詞句」
for his high white double collar. フォー・ヒズ・ハイ・ホワイト・ダブル・カラー
adv. 白でダブルの高襟には 「副詞句」
襟が二重で幅が広めの白色のカラー

Part 1 第1部



吹き出物だらけの団子鼻の下で、彼の唇は震えていた。

Under a bulbous, pimply nose, his lips were trembling.

「副詞句」「主語」「動詞句」

Under アンダー prep 〜の下で

「副詞句」

a bulbous, ア・バルバス adj. 膨らんだ

「形容詞句」

a bulbous nose ア・バルバス・ノウズ n. 団子鼻

pimply ピンプリー adj.(= pimpled) 吹き出物だらけの

「形容詞」

nose, ノーズ n. 鼻

「目的語」

his lips ヒズ・リップス pl.n 彼の唇は

「主語」

were trembling. ワー・トレムリング 3 複過・進行形(tremble)v.i 震えていた

「動詞句」

しかし、格別に僕の注意を引き付けたのは彼の耳だった；真っ赤な色で垂れ下がった耳だ。

青白い頬の上では封蝋の雫のように見えた。耳は絹のような白髪の手で縁どられていた。

But what caught my attention most was his ears; pendulous, scarlet ears that showed up like blobs of sealing wax on the pallor of his cheeks and were framed in wisps of silky white hair.

But 「主語」「動詞」「補語」；「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

But バット conj. しかし

what ファット pron (主語) 〜するものは

「主語」

caught コート 3 単過(catch)v.t 捉えた

「動詞」

my attention マイ・アテンション n. 僕の注意を

「目的語」

most モスト adv. 最も、特別に

「副詞」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

his ears; ヒズ・イアズ pl.n 彼の耳

「補語」

pendulous, ペンジュラル adj. ぶら下がっている

「形容詞」

scarlet スカーレット adj. 緋色の、真っ赤な、深紅色の

「形容詞」

ears イアズ pl.n 耳は

「補語」

that サット pron.pl それが〜する

「主語」

Part 1 第 1 部

showed up ショウト・アップ 3 複過(show up)v.i	～に見えた	「動詞句」
like blobs ライク・ブロブズ adv.	雫のように	「副詞句」
of sealing wax オフ・シーリング・ワックス adj.	封蝋の	「形容詞句」
on the pallor オン・ザ・パラー adv.	青白さの上で	「副詞句」
of his cheeks オフ・ヒズ・チークス adj.	頬の	「形容詞句」
and アンド conj.	そして	
were framed ワー・フレイムド 3 複過・受動(frame)v.t	縁どられていた	「動詞句」
in wisps イン・ウィズプス adv.	(手段) (毛髪などの) 房によって	「副詞句」
of silky white hair. オフ・シルキー・ホワイトヘア adj.	絹のような白髪	「形容詞句」

葬儀屋の用務員が僕たちをそれぞれの位置に案内した。司祭は柩車の前、黒服の 4 人は柩車の両側についた。

<u>The undertaker's factotum</u> <u>shepherded us to our places, with the priest in front of the hearse, and the four men in black on each side of it.</u>		
「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」		
The undertaker's factotum スィ・アンダー・テイカーズ・ファクトウム n.	葬儀屋の用務員が	「主語」
undertaker アンダー・テイカー n.	葬儀屋 factotum ファクトウム n.	用務員、雑用係
shepherded シェパーデイト 3 単過 v.t	案内した	「動詞」
us アス pron	僕たちを	「目的語」
to our places, トゥ・アワ・プレイスィズ adv.	それぞれの位置に	「副詞句」
with the priest ウィズ・ザ・プリースト adv.	(様態) 司祭が〜で	「副詞句」
in front of the hearse, イン・フント・オフ・ザ・ハース adv.	柩車の前に	「副詞句」
and アンド conj.	そして	
the four men in black ザ・フォー・メン・イン・ブラック pl.n	黒服の 4 人は	「主語」
on each side of it. オン・イチ・サイト・オフ・イット adv.	柩車の両側に	「副詞句」

院長と僕はその後ろにやって来た。最後尾に行くのはペレーズ老人とあの看護婦になった。

<u>The warden and myself</u> <u>came next, and, bringing up the rear, old Pérez and the nurse.</u>		
「主語」「動詞」「副詞」 and 「副詞句」, 「主語」		
The warden and myself ザ・ウォーデン・アント・マイセルフ pl.n	院長と僕は	「主語」
came ケム 1 複過(come)v.i	来た	「動詞」
next, ネクスト adv.	その後ろに	「副詞」
and, アント conj.	そして	
bringing up the rear, ブリンキング・アップ・ザ・リア 現在分詞(bring up the rear)		
adv.	最後尾に行くのは	「副詞句」
old Pérez and the nurse. オールド・ペレス・アント・ザ・ナース		
pl.n	ペレーズ老人とあの看護婦	「主語」

Part 1 第1部

空はすでに燃えるような輝きになっていて、外気は急速に熱くなっていた。

The sky was already a blaze of light, and the air stoking up rapidly.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「補語」
 The sky ザ・スカイ n. 空は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 already オールディ adv. すでに 「副詞」
 a blaze of light, ア・ブレイズ・オブ・ライト n. 燃えるような輝き 「補語」
 and アンド conj. そして
 the air スイ・エア n. 外気は 「主語」
 stoking up ストウキング・アップ 現在分詞(stoke up)adj. 火を焚いたように熱い 「補語」
 rapidly. ラピッドリー adv. 急速に 「副詞」

僕は背中を包み込む熱の最初の波を感じたが、黒っぽい背広が状況をさらに悪くした。

I felt the first waves of heat lapping my back, and my dark suit made things worse.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 felt フェルト 1 単過(feel)v.t 感じた 「動詞」
 the first waves ザ・ファースト・ウェイヴ n. 最初の波を 「目的語」
 of heat lapping my back, オブ・ヒート・ラッピング・マイ・バック
 adj. 僕の背中を包み込む熱の 「形容詞句」
 and アンド conj. そして
 my dark suit マイ・ダーク・スーツ n. 僕の黒っぽい背広が 「主語」
 made メイト 3 単過(make)v.t(SVOC O を C に) した 「動詞」
 things シングズ n. 事態を 「目的語」
 worse. ワース adj. (比較級) さらに悪い 「補語」

歩き出すまでに、どうしてそんなに長く待ったのかはよくわからない。

I couldn't imagine why we waited so long for getting under way.

「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't imagine クアント・イマジン 1 単過・可能・否定 v.t 想像できなかった 「動詞句」
 why ホワイ conj. どうして〜するかということを 「目的語」
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 waited ウェイティット 1 複過 v.i 待った 「動詞」
 so long ソ・ロング adv. そんなに長く 「副詞句」

Part 1 第1部

for getting under way. フォー・ゲテイング・アンダー・ウェイ

adv. (目的) 歩き出すために

「副詞句」

get under way ゲット・アンダー・ウェイ v.i 出帆する、出港 → 出発する、歩き出す

帽子をかぶっていたペレーズ老人は、再びそれを脱いだ。

Old Pérez, who had put on his hat, took it off again. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」

Old Pérez, オールド・ペレス n. ペレーズ老人は

「主語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

had put on ハット・プット・オン 3 単過・完了形(put on)

v.t かぶっていた

「動詞句」

his hat, ヒズ・ハット n. 帽子を

「目的語」

took ...off トゥック...オフ 3 単過(take off)v.t (帽子を) 脱いだ

「動詞句」

it イット pron それを

「目的語」

again. アゲン adv. 再び

「副詞」

僕は、少しだけ彼のほうを向いて、彼をじっと見ていた。すると院長が僕に彼のことに
いて話し始めた。I had turned slightly in his direction and was looking at him when the warden started
telling me more about him. 「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞句」「間接目的語」

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had turned ハット・ターント 1 単過・完了形(turn)v.i (方向に) 向いた

「動詞句」

slightly in his direction スライトリー・イン・ヒズ・ディレクション adv. 少しだけ彼の方を

「副詞句」

and アンド conj. そして

was looking ワズ・ルキング 1 単過・進行形(look)v.i(at を) 見ていた

「動詞句」

at him アット・ヒム adv. 彼を

「間接目的語」

when ホエン adv. (非制限用法: 接続詞的) その時、それから、すると

「副詞」

the warden ザ・ウォーデーン n. 院長が

「主語」

started telling スターティット・テリング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.t 語り始めた

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

more about him. モア・アバウト・ヒム adv. 彼のことを

「副詞句」

Part 1 第1部

院長の話によると、ペレス老人と母さんは、一緒に涼しい夕方にやや長めの散歩をして、時には、もちろん看護婦に付き添われて、村まで行くこともあったそうだ。

I remember his saying that old Pérez and my mother used often to have a longish stroll together in the cool of the evening; sometimes they went as far as the village, accompanied by a nurse, of course.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

remember リメンバー 1 単現 v.t 覚えている

「動詞」

his saying ヒズ・セイイング n. 彼の話

「目的語」

that サット pron (同格) ~という

「形容詞節」

old Pérez and my mother オールト・ペレス・アント・マイ・マザー

pl.n ペレス老人と母さんは

「主語」

used often to have ユースト・オフン・トゥ・ハヴ 3 複過・習慣(used to+不定詞)

v.t (行動を) したものだ

「動詞句」

a longish stroll ア・ロンギッシュ・ストロウル n. やや長めの散歩を

「目的語」

together in the cool of the evening; トゲザー・イン・ザ・クール・オブ・ジ・イヴニング

adv. 一緒に涼しい夕方に

「副詞句」

sometimes サムタイムズ adv. 時には

「副詞」

they セイ pron.pl 彼らは

「主語」

went ウェント 3 複過(go)v.i 行った

「動詞」

as far as the village, アズ・ファー・ラス・ザ・ヴィレッジ

adv. (場所) 村まで

「副詞句」

accompanied アカンパニート 過去分詞・受動

adv. ~に付き添われて

「副詞句」

by a nurse, バイ・ア・ナース adv. 看護婦に

「副詞句」

of course. オフ・コース adv. もちろん

「副詞句」

Part 1 第1部

僕は、田園風景や背景の空に向かって登り坂に立ち並ぶ糸杉の長い列を眺めた。さらに、丘や、鮮やかな緑でまだらになった焼けた赤土や、あちこちに見える、逆光でくっきりと縁取りされた人里離れた家などを眺めた。こうして、僕は母さんを理解した。

I looked at the countryside, at the long lines of cypresses sloping up toward the skyline and the hills, the hot red soil dappled with vivid green, and here and there a lonely house sharply outlined against the light—and I could understand Mother's feelings.

「主語」「動詞」「間接目的語」, 「間接目的語」

and 「間接目的語」, 「間接目的語」

and 「副詞句」「間接目的語」, and 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

looked ルクト 1 単過(look)vi(at を) 眺めた、見つめた 「動詞」

at the countryside, アット・ザ・カントリーサイト° adv. 田園風景を 「間接目的語」

at the long lines of cypresses アット・ザ・ロング・ラインズ・オブ・サイプレスィズ°
adv. 糸杉の長い列を 「間接目的語」

sloping up toward the skyline スロウピング・アップ・トワード・ザ・スカイライン°
adj. 背景の空に向かって上昇している 「形容詞句」

and アント° conj. そして

the hills, ザ・ヒルズ° pl.n 丘 「間接目的語」

the hot red soil ザ・ホット・レッド・ソイル n. 焼けた赤土 「間接目的語」

dappled ダブルト° adj. まだらの 「形容詞句」

with vivid green, ウィズ・ヴィヴィット・グリーン°
adv. 鮮やかな緑で 「副詞句」

and アント° conj. そして

here and there ヒア・アント・ゼア° adv. あちこちに 「副詞句」

a lonely house ア・ロンリー・ハウス n. 人里離れた家 「間接目的語」

sharply outlined against the light シャープリー・アウトライント°・アゲンスト・ライト°
adv. 逆光によってくっきり縁取りされた 「形容詞句」

—and アント° conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

could understand クット°・アンダースタント° 1 単過・可能 v.t 理解できた 「動詞句」

Mother's feelings. マザーズ・フィーリングズ° pl.n 母さんの気持ちを 「目的語」

Part 1 第1部

この地域の夕暮れは、愁（うれ）いに満ちた安らぎのようなものに違いない。

Evenings in these parts must be a sort of mournful solace. 「主語」「動詞句」「補語」

Evenings イヴニングス pl.n 夕暮れは 「主語」

in these parts イン・ス・イズ・パート adv. この地域の 「形容詞句」

must be マスト・ビー 3 複現・必然 v.i 〜に違いない 「動詞句」

a sort of ア・ソート・オブ prep 一種の〜、〜のような 「形容詞句」

mournful モーンフル adj. 愁（うれい）に満ちた 「形容詞」

solace. ソラス n. 安堵、慰安、慰め 「補語」

愁い（うれい）：嘆き悲しむこと。

安らぎ：穏やかなゆったりとした気分。

今は、朝日のまぶしい光に包まれて、陽炎（かげろう）の中ですべてが揺らめいているが、この景色を無慈悲で悲観的なものにしている何かがあった。

Now, in the full glare of the morning sun, with everything shimmering in the heat haze, there was something inhuman, discouraging, about this landscape.

「副詞句」, 「動詞句」「主語」

Now, ナウ adv. 今は 「副詞」

in the full glare イン・ザ・フル・グレア adv. まぶしい光に包まれて 「副詞句」

of the morning sun, オフ・ザ・モーニング・サン adj. 朝日の 「形容詞句」

with everything shimmering ウイズ・エヴリシング・シマリング

adv. (様態) すべてが揺らめいて 「副詞句」

shimmer シマー v.i (反射して) かすかに光る、(大気が) 揺らめく

in the heat haze, イン・ザ・ヒート・ヘイズ adv. 陽炎の中で 「副詞句」

haze ヘイズ n. もや heat haze ヒート・ヘイズ n. 気温が高い時に生じるもや、陽炎

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i あった 「動詞句」

something サムシング n. 何か 「主語」

inhuman, インヒューマン adj. 冷酷な、無慈悲な 「形容詞」

discouraging, ディスカレジング adj. 落胆させる 「形容詞」

about this landscape. アバウト・ス・イズ・ランド・スケープ

adv. (関連) この景色を 「間接目的語」

やっとなんたちは出発した。

At last we made a move. 「副詞句」「主語」「動詞句」

At last アット・ラスト adv. ついに、とうとう、やっとなん 「副詞句」

we ウィー pron なんたちは 「主語」

made a move. メイト・ア・ムーヴ 1 複過(make a move)v.i 出発した、移動した 「動詞句」

Part 1 第 1 部

まさにその時、僕はペレーズが軽くびっこを引いていることに気づいた。

Only then I noticed that Pérez had a slight limp. 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Only then オンリー・ゼン adv. まさにその時 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気づいた 「動詞」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

Pérez ペレス n.m ペレーズが 「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t (身体的特徴) ～をしていた 「動詞」

a slight limp. ア・スライト・リンプ n. 軽くびっこを 「目的語」

slight スライト adj. 少しの、軽い limp リンプ n. 足を引きずること

びっこをひく : 足をひきずる

老人は、柩車が速度を上げるに従って、だんだんついていけなくなっていっていった。

The old chap steadily lost ground as the hearse gained speed.

「主語」「副詞」「動詞句」「副詞節」

The old chap スィ・オールド・チャップ n. その老人は 「主語」

chap チャップ n. (親しみを込めて) やつ

steadily ステディリー adv. 次第に、だんだんと 「副詞」

lost ground ロースト・グラウンド 3 単過(lose ground)v.i 元気がなくなった 「動詞句」

as アズ conj. ～するに従って 「副詞節」

the hearse サ・ハース n. 柩車が 「主語」

gained ゲイント 3 単過 v.t (速度を) 増した 「動詞」

speed. スピート n. 速度を 「目的語」

柩車の横にいた男たちの 1 人も遅れてきて、僕と同じ位置になった。

One of the men beside it, too, fell back and drew level with me.

「主語」「副詞」「動詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

One ワン pron 1 人は 「主語」

of the men beside it, オフ・ザ・メン・ビサイド・イット

adj. 柩車の横にいた男たちの 「形容詞句」

too, トゥー adv. 同様に 「副詞」

fell back フェル・バック 3 単過(fall back)v.i 後退した 「動詞句」

and アンド conj. そして

drew level トルー・レベル 3 単過(draw level)v.i 対等になった 「動詞句」

with me. ウイズ・ミー adv. 僕と 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は太陽がこれほど速く空を昇るのを見て驚いた。その時になって、かなり前から、虫の
声や暖められた葉のこすれる音などのざわめきが激しく鳴り響いていることに気が付いた。

I was surprised to see how quickly the sun was climbing up the sky, and just then it struck me that for quite a while the air had been throbbing with the hum of insects and the rustle of grass warming up.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞句」「動詞」「目的語」「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was surprised ワズ・サプライズト 1 単過・受動(surprise)v.t 驚いた

「動詞句」

to see トゥ・シー adv. (原因) ～を見て

「副詞句」

how quickly ハウ・クイックリー adv. どれほど速く～するかということを

「目的語」

the sun ザ・サン n. 太陽が

「主語」

was climbing ワズ・クライミング 3 単過・進行形・時制の一致 v.i 昇る

「動詞句」

up the sky, アップ・ザ・スカイ adv. 空を

「間接目的語」

and アンド conj. そして

just then ジャスト・ゼン adv. その時

「副詞句」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

struck ストラック 3 単過(strike)v.t (人の) 心に浮かんた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

that ザット conj. ～ということが

「主語」

for quite a while フォー・クワイ・ア・ホイル adv. かなり長い間、かなり前から

「副詞句」

the air ズィ・エア n. 大気が

「主語」

had been throbbing ハット・ビーン・スロビング 3 単過・完了形・進行形(throb)

v.i 激しく鳴り響いていた

「動詞句」

with the hum ウイズ・ザ・ハム adv. (原因) ざわめきによって

「副詞句」

of オフ prep ～の

「形容詞句」

insects オブ・インセツ pl.n 虫

「目的語」

and アンド conj. そして

the rustle ザ・ラスル n. カサカサいう音

「目的語」

of grass オブ・グラス adj. 草の

「形容詞」

warming up. ウォーミング・アップ

adj. 温まっていく

「形容詞句」

Part 1 第 1 部

汗が僕の顔を流れ落ちた。

Sweat was running down my face.

「主語」「動詞句」「目的語」

Sweat スエット n. 汗が

「主語」

was running down ワズ・ランニング・ダウン 3 単過・進行形(run down)v.t を流れ落ちた 「動詞句」

my face. マイ・フェイス n. 僕の顔を

「目的語」

僕は帽子がなかったので、ハンカチで顔をあおいでみた。

As I had no hat I tried to fan myself with my handkerchief.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

As アズ conj. ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t 持っていた

「動詞」

no hat ノウ・ハット n. 帽子を～ない

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

tried to fan トライド・トゥ・ファン 1 単過・試行(try to+不定詞)v.t あおいでみた

「動詞句」

myself マイセルフ n. 自分自身を

「目的語」

with my handkerchief. ウイズ・マイ・ハンカチーフ adv. (道具) ハンカチで

「副詞句」

葬儀社の社員が僕のほうに振り返って、何か言ったが、僕は聞き取れなかった。

The undertaker's man turned to me and said something that I didn't catch.

「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」

The undertaker's man ズィ・アンダーテイカーズ・マン n. 葬儀社の社員が

「主語」

turned ターント 3 単過 v.i 振り返った

「動詞」

to me トゥ・ミー adv. 僕のほうへ

「間接目的語」

and アンド conj. そして

said セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

something サムシング pron 何か

「目的語」

that サット pron (目的語) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't catch. デイトント・キャッチ 1 単過・否定

v.t 聞き取れなかった

「動詞句」

Part 1 第1部

それと同時に、彼は右手で帽子のつばを少しつまみ上げながら、左手に持ったハンカチで頭のでっぺんを拭った。

At that same time he wiped the crown of his head with a handkerchief that he held in his left hand, while with his right he tilted up his hat.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

At that same time アット・ザット・セム・タイム adv. それと同時に 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

wiped ワイプト 3 単過 v.t 拭った 「動詞」

the crown of his head ザ・クラウン・オブ・ヒズ・ヘット n. 彼の頭のでっぺんを 「目的語」

crown クラウン n. 頭頂部、でっぺん、王冠

with a handkerchief ウイズ・ア・ハンカチーフ adv. ハンカチで 「副詞句」

that ザット pron (目的語) ～する 「形容詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

held ヘルド 3 単過(hold)v.t 持っていた 「動詞」

in his left hand, イン・ヒズ・レフト・ハント adv. 左手に 「副詞句」

while ホワイ conj. ～しながら 「副詞節」

with his right ウイズ・ヒズ・ライト adv. 右手で 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

tilted up チルティット・アップ 3 単過(tilt up)

v.t (帽子のつばを持って) つまみ上げた 「動詞句」

帽子が斜めに持ち上がる程度で、帽子は脱がない

his hat. ヒズ・ハット n. 帽子を 「目的語」

僕が彼になんと言ったのかを尋ねると、彼は空のほうを指さした。

I asked him what he'd said. He pointed upward.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

what he'd said. ファット・ヒート・セッド n. 彼が何を言ったのかを 「直接目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

pointed ポイント 3 単過 v.i 指さした 「動詞」

upward. アップワート adv. 上のほうを 「間接目的語」

Part 1 第1部

「今日は日差しが強すぎるね?」、僕は答えた「ええ」。

“Sun’s pretty bad today, ain’t it?” “Yes,” I said.

《「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》, 《「応答」》, 「主語」「動詞」

“Sun” n. 太陽が

「主語」

’s 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

pretty bad プリティ・バッド adj. かなり (日照りが) 強い

「補語」

today, トゥデイ adv. 今日は

「副詞」

ain’t it?” エイント・イット adv. (同意を求める) そうじゃないか?

「副詞句」

“Yes,” イェス adv. ええ

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

said. セッド 1 単過(say)v.t 答えた

「動詞」

少し後で、彼が尋ねた:「これから葬儀をするのは、おふくろさんかい?」、僕はまた答えた、「ええ」

After a while he asked: “Is it your mother we’re burying?” “Yes,” I said again.

「副詞句」「主語」「動詞」: 《「動詞」「主語」「補語」》, 「主語」

《「応答」》, 「主語」「動詞」「副詞」

After a while アフター・ア・ホイル adv. 少し後で

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

asked: アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

“Is 3 単現・疑問文(be)v.i ~ですか?

「動詞」

it イット pron これは

「主語」

your mother ユア・マザー n. 君のおふくろさん

「補語」

we’re burying?” ウィー・ア・ベアライング n. これから葬儀をするのは

「主語」

“Yes,” イェス adv. ええ

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

said セッド 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

again. アゲン adv. また

「副詞」

「歳はいくつだったのかね?」

“What was her age?”

《「補語」「動詞」「主語」》

“What ファット pron (歳が) いくつ

「補語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

her age?” ハー・エイジ n. 歳は

「主語」

Part 1 第 1 部

「えー、結構な歳でした」実は、母さんが何歳だったかを正確には知らなかったから。

“Well, she was getting on.” As a matter of fact, I didn't know exactly how old she was.

《「言いよどみ」「主語」「動詞句」》, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

“Well, ウェル adv. えーと

「言いよどみ」

she シー pron 彼女は

「主語」

was getting on.” ワズ・ゲテイング・オン 3 単過・進行形(get on)

v.i (高齢に) 近づいていた

「動詞句」

As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実を言えば

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't know デイdn't・ノウ 1 単過・否定 v.t 知らなかった

「動詞句」

exactly エグザクトリー adv. 正確に

「副詞」

how old she was. ハウ・オールド・シー・ワズ n. 母さんが何歳だったかということを

「目的語」

その後、彼は黙り込んだ。

After that he kept silent.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

After that アフター・サット adv. その後

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

kept ケプト 3 単過(keep)v.i (状態を) 続けた

「動詞」

silent. サイレント adj. 沈黙

「補語」

振り返ると、およそ 50 メートル後方を、ペレーズがのろのろ歩いているのが見えた。

Looking back, I saw Pérez limping along some fifty yards behind.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Looking back, ルキング・ハック 現在分詞 adv. 振り返ると

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過・知覚動詞(see)v.t (SVO+現在分詞 : O が～するのが) 見えた

「動詞」

Pérez ペレス n. ペレーズが

「目的語」

limping リンピング 現在分詞・Pérez の動作(limp)v.i のろのろ歩いている

「補語」

along some fifty yards behind. アロング・サム・フィフティ・ヤーズ・ビハインド

adv. およそ 50 メートル後方を

「副詞句」

yard ヤード n. (長さの単位) 約 91cm

Part 1 第1部

彼は手に持った大きなフェルト帽を振って歩調を整えようとしていた。

He was swinging his big felt hat at arm's length, trying to make the pace.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was swinging ワズ・スイングィング 3 単過・進行形(swing)v.t 振っていた

「動詞句」

his big felt hat ヒズ・ビッグ・フェルト・ハット n. 大きなフェルト帽を

「目的語」

at arm's length, アット・アームズ・レングス adv. 手の先端に持った

「副詞句」

trying to make the pace. トライイング・トゥ・メイク・ザ・ペース 現在分詞

adv. (目的) 歩調を整えようとして

「副詞句」

腕を大きく振って、その遠心力と慣性力で歩くリズムを作ろうとした

僕は院長のほうも見た。

I also had a look at the warden.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

also had オールツウ・ハット 1 単過(have+also)v.t (行為を) ~もした

「動詞句」

a look ア・ルック n. 見ること、注視(at への)

「目的語」

at the warden. アット・ザ・ウォーデן adv. 院長への

「副詞句」

彼は、無駄な動作を省いて、非常に荘厳な足取りで歩いていた。

He was walking with carefully measured steps, economizing every gesture.

「主語」「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was walking ワズ・ウォーキング 3 単過・進行形(walk)v.i 歩いていた

「動詞句」

with carefully measured steps, ウイズ・ケアフリー・メジャー・ステップス

adv. (様態) 非常に荘厳な足取りで

「副詞句」

carefully ケアフリー adv. 入念に measured メジャー adj. 荘厳な、整然とした

economizing エコマイジング 現在分詞 adv. 節約して、省いて

「副詞句」

every gesture. エヴリ・ジ・ェスチャー n. 無駄な動作を

「目的語」

汗のしずくが彼の額で白く光っていたが、彼はそれを拭き取ろうとしなかった。

Beads of perspiration glistened on his forehead, but he didn't wipe them off.

「主語」「動詞」「副詞句」 but 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Beads ビーズ pl.n (汗などの) しずくが

「主語」

of perspiration オブ・パースピレーション adj. 汗の

「形容詞句」

glistened グリスント v.i (反射して) 白く光っていた

「動詞」

on his forehead, オン・ヒズ・フォーヘッド adv. 額の上に

「副詞句」

Part 1 第1部

but バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

didn't wipe ...off. ディトント・ワイフ ...オフ 3 単過・否定(wipe off)

v.t 拭き取ろうとしなかった

「動詞句」

them ゼム pron しずくを

「目的語」

僕は、我々の葬列の歩みが少し早くなったような印象を持った。

I had an impression that our little procession was moving slightly faster.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t 持った

「動詞」

an impression アン・インプレッション n. 印象を

「目的語」

that ザット pron (同格) ~という

「形容詞節」

our little procession アウ・リトル・プロセション n. 我々の葬列が

「主語」

was moving ワズ・ムーヴィング 3 単過・進行形(move)

v.i 進んでいる

「動詞句」

slightly faster. スライトリー・ファスター adv. 少し速く

「副詞句」

あたり一面、相変わらず日差しの強い田園風景が目に入った。空はひどくまぶしくて、目を上げられないほどだった。

Wherever I looked I saw the same sun-drenched countryside, and the sky was so dazzling that I dared not raise my eyes.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Wherever I looked ウェア・レヴアー・アイ・ルクト adv. 見渡す限り

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t 見えた

「動詞」

the same sun-drenched countryside, サム・セイム・サン・ドレンCHED・カンツリー・サイト

n. 相変わらず日差しの強い田園風景が

「目的語」

sundrenched サントレンCHED adj. 日差しの強い countryside カンツリー・サイト n. 田園風景

and アント conj. そして

the sky ザ・スカイ n. 空は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

so dazzling ソウ・ダズリング adj. 非常にまぶしい

「補語」

that ザット conj. (結果) (so...that あまりにも... で) ~しない

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

dared not raise デアード・ノット・レイズ 1 単過・大胆・否定(dare+不定詞)

Part 1 第1部

v.t 敢えて～を上げなかった 「動詞句」
 my eyes. マイ・アイズ pl.n 目を 「目的語」

やがて、我々は最近道路のアスファルトを補修をした場所に差し掛かった。

Presently we struck a patch of freshly tarred road. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
 Presently プレズントリー adv. やがて、まもなく 「副詞」
 we ウィー pron 我々は 「主語」
 struck スラック 1 複過(strike)v.t 突き当たった 「動詞」
 a patch ア・パッチ n. 傷あてに 「目的語」
 of freshly tarred road. オフ・フレッシュリー・タート・ロード
 adj. 最近タールを塗られた道路の 「形容詞句」
 freshly フレッシュリー adv. 最近 tarred タート adj. タールで覆われた

補修箇所あたりに熱のきらめきがまとわりついていて、1 歩ごとに、黒く輝く裂け目を残して、足がグニュグニュ音を立てた。

A shimmer of heat played over it and one's feet squelched at each step, leaving bright black gashes. 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「副詞句」
 A shimmer of heat ア・シマー・オブ・ヒート n. 熱のきらめきが 「主語」
 played プレイド 3 単過 v.i 戯れていた、反射していた 「動詞」
 over it オヴァー・イット adv. そのあたりで 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 one's feet ワンズ・フィート pl.n 足が 「主語」
 squelched スケルチド 3 複過 v.i グニュグニュ音を立てた 「動詞」
 at each step, アット・イチ・ステップ adv. 1 歩ごとに 「副詞句」
 leaving リーヴィング 現在分詞 v.t ～を残しながら 「副詞句」
 bright black gashes. ブライト・ブラック・ガッシュイズ pl.n 黒く輝く裂け目を 「目的語」

最前列では、御者のつやのある黒い帽子が、柩車の上に持ち上げられた粘りのある物質のかたまりのよう見えた。

In front, the coachman's glossy black hat looked like a lump of the same sticky substance, poised above the hearse. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」
 In front, イン・フロント adv. 最前列では 「副詞句」
 the coachman's glossy black hat ザ・コーチマンズ・グロシー・ブラック・ハット
 n. 御者のつやのある黒い帽子が 「主語」
 looked ルックト 3 単過 v.i 見えた 「動詞」
 like a lump ライク・ア・ランプ adj. かたまりのよう 「補語」

Part 1 第1部

of the same sticky substance, オブ・ザ・セム・スティッキー・サブスタンス

adj. 同様にネバつく物質の

「形容詞句」

poised ポイズト 過去分詞・受動(poise)adv. 持ち上げられた

「形容詞句」

above the hearse. アバヴ・ザ・ハース adv. 柩車の上に

「副詞句」

それが夢のような奇妙な印象を人に与えた。頭上の青と白のまぶしい光に対して人々の周りの漆黒：柩車のつやのある黒、喪服の鈍い黒そして道路にできた艶消しの黒い裂け目

It gave one a queer, dreamlike impression, that blue-white glare overhead and all this blackness round one: the sleek black of the hearse, the dull black of the men's clothes, and the silvery-black gashes in the road.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

It イット pron それ

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 与えた

「動詞」

one ワン pron 人に

「間接目的語」

a queer, dreamlike impression, ア・クワイ・ドリームライク・インプレッション

n. 奇妙な夢のような印象を

「直接目的語」

that ザット pron (同格) ～という

「形容詞節」

blue-white glare ブルー・ホワイト・グレア n. 青と白のまぶしい光

「主語」

overhead オウヴ・アーヘッド adv. 頭上の

「副詞」

and アンド conj. そして

all this blackness オール・ス・イズ・ブラックニス n. 漆黒

「主語」

round one: ラウント・ワン adv. 人の周りの

「副詞句」

the sleek black ザ・スリーク・ブラック n. つやのある黒

「主語」

of the hearse, オブ・ザ・ハース adj. 柩車の

「形容詞句」

the dull black ザ・ダール・ブラック n. 鈍い黒

「主語」

of the men's clothes, オブ・ザ・メンズ・クロウズ

adj. 喪服の

「形容詞句」

and アンド conj. そして

the silvery-black gashes ザ・シルヴァリー・ブラック・ガッシュイズ

pl.n 艶消しの黒い裂け目

「主語」

in the road. イン・ザ・ロート adv. 道路にできた

「副詞句」

Part 1 第1部

そしてその時、柩車が発する、熱くなった革と馬糞の匂い、そして香の煙の香りの細長い筋が周囲に漂っていた。

And then there were the smells, smells of hot leather and horse dung from the hearse, veined with whiffs of incense smoke. And 「副詞」「動詞句」「主語」

And アント conj. そして

then セン adv. その時 「副詞」

there were セア・ワー 3 複過(there be)v.i ~があった 「動詞句」

the smells, サ・スメルズ pl.n 匂いが 「主語」

smells スメルズ pl.n においが 「主語」

of オフ prep ~の 「形容詞句」

hot leather ホット・レザー n. 熱い革 「目的語」

and アント conj. そして

horse dung ホース・ダング n. 馬糞 「目的語」

from the hearse, フロム・ザ・ハース adv. 柩車が発する 「副詞句」

veined ヴェイント 過去分詞・受動(vein)

adj. 筋をつけられた 「形容詞」

with whiffs ウイズ・ウィフス adv. 匂いで 「副詞句」

of incense smoke. オフ・インセンス・スモーク

adj. 香の煙の 「形容詞句」

これらのことや寝不足のせいで、僕の視力も思考力もぼやけてきていることに気が付いた。

What with these and the hangover from a poor night's sleep, I found my eyes and thoughts growing blurred. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

What with (+A and B) ファット・ウィズ adv. ~やら... やらで 「副詞句」

these ジーズ pron これらのこと 「目的語」

and アント conj. そして

the hangover サ・ハンゴヴァー n. 後遺症 「目的語」

from フロム prep (原因) ~による 「副詞句」

a poor night's sleep, ア・プア・ナイト・スリープ n. 寝不足 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

found ファウント 1 単過(find)v.t 分かった、気づいた 「動詞」

my eyes マイ・アイズ pl.n 僕の目が 「目的語」

and アント conj. そして

thoughts ツーツ pl.n 思考力が 「目的語」

growing グロウイング 現在分詞・目的語の動作 v.i ~になっている 「補語」

blurred. ブラート adj. ぼやけた 「補語」

Part 1 第1部

僕はまた振り返ってみた。今や、ペレーズはずっと遠くに、ほとんど陽炎に飲み込まれて
いるように見えた。すると突然、彼の姿がまったく消えてしまった。

I looked back again. Pérez seemed very far away now, almost hidden by the heat haze;
then, abruptly, he disappeared altogether.

「主語」「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞」「補語」;
「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」

I	アイ pron	僕は	「主語」
looked back	ルクト・バック	1 単過(look back)v.i 振り返った	「動詞句」
again.	アゲン adv.	ふたたび	「副詞」
Pérez	ペレス n.	ペレーズは	「主語」
seemed	シームト°	3 単過 v.i ~のように見えた	「動詞」
very far away	ヴェリー・ファー・ラウェイ adv.	とても遠くに	「副詞句」
now,	ナウ adv.	今では	「副詞」
almost	オールモスト adv.	ほとんど	「副詞」
hidden by the heat haze;	ヒドゥン・バイ・ザ・ヒート・ヘイズ° adj.	陽炎に隠れた	「補語」
then,	ゼン adv.	それから	「副詞」
abruptly,	アブラプ°トリー adv.	突然	「副詞」
he	ヒー pron	彼は	「主語」
disappeared	ディイハピ°アト°	3 単過 v.i 姿を消した	「動詞」
altogether.	オールトウゲザー adv.	まったく、すっかり	「副詞」

僕は少し考えこんで、彼は道を出て、野原に入っていたのだと推測した。

After puzzling over it for a bit, I guessed that he had turned off the road into the fields.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

After +	現在分詞 adv.	~してから、~した後で	「副詞句」
puzzling	パズリング°	現在分詞(puzzle)v.i(over に) 頭を悩ます	「動詞」
over it	オウヴァー・イット adv.	それに対して	「間接目的語」
for a bit,	フォー・ア・ビット adv.	少しの間	「副詞句」
I	アイ pron	僕は	「主語」
guessed	ゲスト	1 単過 v.t 推測した	「動詞」
that	ザット conj.	~ということ	「目的語」
he	ヒー pron	彼は	「主語」
had turned	ハット°・ターント°	3 単過・完了形(turn)	
	v.i(off O-1 into O-2)	(O-1 から O-2 へ) 入った	「動詞句」
off the road	オフ・ザ・ロード°	道から	「副詞句」

Part 1 第1部

into the fields. イントゥ・ザ・フィールズ[°] adv. 野原に

「副詞句」

それから僕は、道の少し先に曲がり角があることに気づいた。明らかに、この地域をよく知っているペレーズは、僕たちに追いつくために、近道をしたのだ。

Then I noticed that there was a bend of the road a little way ahead. Obviously Pérez, who knew the district well, had taken a short cut, so as to catch up with us.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t 気づいた 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 there was ゼア・ワズ[°] 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ～がある 「動詞句」
 a bend of the road ア・ベント・オブ・ザ・ロード[°] n. 道の曲がり角 「主語」
 a little way ahead. ア・リトル・ウェイ・アヘッド[°] adv. 少し先のほうに 「副詞句」
 Obviously オブ・ビ・アスリー[°] adv. 明らかに 「副詞」
 Pérez, ペ・レーズ[°] n. ペレーズは 「主語」
 who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」
 knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている 「動詞」
 the district ザ・ディストリクト n. この地域を 「目的語」
 well, ウェル adv. よく 「副詞」
 had taken ハット・テイクン 3 単過・完了形(take)v.t (動作名詞と) ～をした 「動詞句」
 a short cut, ア・ショート・カット n. 近道を 「目的語」
 so as to +不定詞 ソ・アズ・トゥ adv. (目的) ～するために 「副詞句」
 catch up with キャッチ・アップ・ウィズ[°] 不定詞 v.t ～に追いつく 「動詞句」
 us. アッス pron 僕たちに 「目的語」

僕たちが角を曲がったところで、彼は僕たちに合流した；それからまた道を外れた。

He rejoined us soon after we were round the bend; then began to lose ground again.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」；「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 rejoined リー・ジョイント[°] 3 単過 v.t 合流した、再び一緒になった 「動詞」
 us アッス pron 我々と 「目的語」
 soon after スーン・アフター conj. ～したすぐに後に 「副詞節」
 we ウー pron 僕たちが 「主語」
 were ワー 1 複過(be)v.i ～に来た、～にいた 「動詞」
 round ラウント[°] prep (角など) を曲がったところに 「副詞句」

Part 1 第 1 部

the bend; ザ・ベント n. 曲がり角	「目的語」
then ゼン adv. それから	「副詞」
began to lose ビギン・トゥ・ルーズ 3 単過・開始(begin to+不定詞) v.t 失い始めた	「動詞句」
ground グラウンド n. 道を	「目的語」
again. アゲン adv. また	「副詞」

彼はもう一度近道をして、先のほうで我々と合流した；実際には、これがその後 30 分間に何度か繰り返された。

He took another short cut and met us again farther on; in fact, this happened several times during the next half hour.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」；
「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

He ヒー pron 彼は	「主語」
took トック 3 単過(take)v.t (ある行動を) した	「動詞」
another short cut アナザー・ショート・カット n. もう一度近道を	「目的語」
and アンド conj. そして	
met メット 3 単過(meet)v.t 合流した	「動詞」
us アス pron 我々と	「目的語」
again アゲン adv. ふたたび	「副詞」
farther on; ファーザー・オン adv. もっと先で	「副詞句」
in fact, イン・ファクト adv. 実際は	「副詞句」
this ズィス pron これが	「主語」
happened ハプント 3 単過 v.i 起こった	「動詞」
several times セヴラル・タイムズ adv. 何度か	「副詞句」
during the next half-hour. デュアリング・ザ・ネクスト・ハーフ・アウア adv. その後の 30 分の間に	「副詞句」

しかしまもなく僕は彼の行動に興味を失った；僕のこめかみが激しく脈打って、のろのろ歩くのがやっとだったのだ。

But soon I lost interest in his movements; my temples were throbbing and I could hardly drag myself along.

But 「副詞」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」；
「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞句」

But バット conj. しかし	
soon スーン adv. やがて、まもなく	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」

Part 1 第1部

lost ロスト 1 単過(lose)v.t 失った	「動詞」
interest インタレスト n. 関心を、興味を	「直接目的語」
in his movements; イン・ヒズ・ムーヴメンツ adv. 彼の行動に	「間接目的語」
my temples マイ・テンプレズ pl.n 僕のこめかみは	「主語」
were throbbing ワー・スロビング 3 複過・進行形(throb)v.i 脈打っていた	「動詞句」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
could hardly drag myself along. クット・ハートリー・トラッグ・マイセルフ・アロング	
v.t なんとかのろのろ歩いていた	「動詞句」
could hardly 「ほとんど～ない、満足に～しない」 drag oneself along のろのろ歩く	

その後は、すべてがあわただしく、しかも正確に進行したので、実のところ、僕は細かいことはほとんど何も覚えていない。

After that everything went with a rush; and also with such precision and matter-of-factness that I remember hardly any details.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 and 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」	
After that アフター・ザット adv. その後は	「副詞句」
everything エヴリシング pron すべてが	「主語」
went ウェント 3 単過(go)v.i 進行した	「動詞」
with a rush; ウイズ・ア・ラッシュ adv. あわただしく、大急ぎで	「副詞句」
and アンド conj. そして	
also with such precision オールソウ・ウイズ・サッチ・プリシジョン adv. 正確さもそなえて	「副詞句」
and アンド conj. そして	
matter-of-factness that マター・オブ・ファクトニス・ザット adv. 実のところ～	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
remember hardly リメンバー・ハートリー 1 単現・否定 v.t ほとんど覚えていない	「動詞句」
any details. エニー・デテイルズ pl.n どんな些細なことも～ない	「目的語」

ただ一つ違うのは、僕たちが村外れに来た時、例の看護婦が僕に何かを話しかけたことだ。

Except that when we were on the outskirts of the village the nurse said something to me.

「副詞句」	
Except イクセプト prep ～を除いて	「副詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
when ホエン conj. ～するとき	「副詞節」
we ウィー pron 僕たちが	「主語」
were ワー 1 複過(be)v.i ～にいた	「動詞」

Part 1 第1部

on the outskirts オン・ス・ォ・アウトスカーツ adv. 町はずれに 「副詞句」
 of the village オフ・ザ・ヴィレッジ adj. 村の 「形容詞句」
 the nurse ザ・ナース n. 看護婦が 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 something サムシング n. なにかを 「直接目的語」
 to me. トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」

僕は彼女の声に驚いた；彼女の顔と全く釣り合わなかった；音楽的で少し震えていた。

Her voice took me by surprise; it didn't match her face at all; it was musical and slightly tremulous. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」；

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」；「主語」「動詞」「補語」

Her voice ハー・ヴォイス n. 彼女の声は 「主語」
 took ...by surprise; トック...バイ・サプライズ 3 単過(take O by surprise O を)
 v.t 驚かせた 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 it イット pron その声は 「主語」
 didn't match デイ・ント・マッチ 3 単過・否定 v.t 調和しなかった 「動詞句」
 her face ハー・フェイス n. 彼女の顔に 「目的語」
 at all; アット・オール adv. (否定文で) まったく～ない 「副詞句」
 it イット pron それは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 musical ミュージカル adj. 音楽的な 「補語」
 and アンド conj. そして
 slightly tremulous. スライトリー・トレミュラス adj. 少し震えた 「補語」

彼女は言った：「歩くのがゆっくり過ぎると、日射病の危険性があります」

What she said was: "If you go too slowly there's the risk of a heatstroke.

「主語」「動詞」：《「副詞節」, 「動詞句」「主語」》

What ファット pron ～することは 「主語」
 she シー pron 彼女が 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 was: ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 "If イフ conj. もし～ならば 「副詞節」
 you ユー pron あなたが 「主語」
 go ゴー 2 単現 v.i 歩く 「動詞」
 too slowly トゥ・スロウリー adv. あまりにもゆっくりと 「副詞句」

Part 1 第1部

there's ゼア・ズ 3 単現(there be)v.i 〜がある 「動詞句」
 the risk ザ・リスク n. 危険が 「主語」
 of a heatstroke. オブ・ア・ヒートストローク adj. 熱射病の 「形容詞句」

しかし、急ぎすぎると、汗をかいて、教会の冷気で寒気がしてきます。

But, if you go too fast, you perspire, and the cold air in the church gives you a chill."

But 「副詞節」, 「主語」「動詞」 and
 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

But, バット conj. しかし
 if イフ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 you ユー pron あなたが 「主語」
 go ゴウ 2 単現 v.i 行く、歩く 「動詞」
 too fast, トゥ・ファースト adv. あまりにも速く 「副詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 perspire, パスパー 2 単現 v.i 汗をかく 「動詞」
 and アンド conj. そして
 the cold air ザ・コールド・エア n. 冷たい空気が 「主語」
 in the church イン・ザ・チャーチ adj. 教会内の 「形容詞句」
 gives ギヴズ 3 単現 v.t (SVO-1 O-2 O-1に O-2を) 生じさせる 「動詞」
 you ユー pron あなたに 「間接目的語」
 a chill." ア・チル n. 寒気を 「直接目的語」

彼女の指摘の意味が分かった；どちらにしても逃げ道はないのだ。

I saw her point; either way one was in for it.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」；「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 saw ソー 1 単過(see)v.t 理解した、分かった 「動詞」
 her point; ハー・ポイント n. 彼女の指摘が 「目的語」
 either way イザー・ウェイ adv. どちらにしても 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 was in for it. ワズ・イン・フォー・イット 3 単過・時制の一致(be in for it)
 v.i ひどいことになる 「動詞句」

Part 1 第1部

葬式のその他のいくつかの記憶が僕の心から離れない。

Some other memories of the funeral have stuck in my mind. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Some other memories サム・アザー・モリーズ pl.n その他のいくつかの記憶が 「主語」

of the funeral オブ・ザ・フューネラル adj. 葬式の 「形容詞句」

have stuck ハヴ・スタック 3 複現・完了形(stick)v.i (～に) くっついて離れない 「動詞句」

in my mind. イン・マイ・マインド adv. 僕の心に 「副詞句」

例えば、最後に村境あたりで僕たちに追いついた、あの老人の顔だ。

The old boy's face, for instance, when he caught up with us for the last time, just outside the village. 「主語」「副詞句」

The old boy's face, スィ・オールド・ボーイズ・フェイス n. 老人の顔 「主語」

for instance, フォー・インスタンス adv. たとえば 「副詞句」

when ホエン conj. ～するときの 「形容詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

caught up with コート・アップ・ウイズ 3 単過(catch up with)

v.t (～に) 追いついた 「動詞句」

us アス pron 僕たちに 「目的語」

for the last time, フォー・ザ・ラスト・タイム adv. 最後に 「副詞句」

just outside the village. ジャスト・アウトサイド・ザ・ヴィレッジ

adv. 村境あたりで 「副詞句」

彼の目は、極度の疲労によるのか、深い悲しみのせいなのか、あるいは両方ともなのか、涙が溢れだしていた。

His eyes were streaming with tears, of exhaustion or distress, or both together.

「主語」「動詞句」「副詞句」

His eyes ヒズ・アイズ pl.n 彼の目は 「主語」

were streaming ワー・ストリーミング 3 複過・進行形(stream)v.i(with が) 流れていた 「動詞句」

with tears, ウイズ・ティアズ adv. 涙が 「副詞句」

of オブ prep ～の 「形容詞句」

exhaustion イグゾースション n. 極度の疲労 「目的語」

or オア conj. それとも

distress, ディストレス n. 嘆き 「目的語」

or オア conj. それとも

both together. ボストゲザー pl.n 両方 「目的語」

Part 1 第 1 部

だが、しわのせいで涙は流れ落ちなかった。

But because of the wrinkles they couldn't flow down. But 「副詞句」「主語」「動詞句」

But バット conj. しかし

because of ビ・ユーズ・オブ adv. ~のために、~のせいで 「副詞句」

the wrinkles ザ・リンクルズ pl.n (皮膚の) しわ 「目的語」

they ゼイ pron 涙は 「主語」

couldn't flow down. クェント・フロウ・ダウン 3 複過・可能・否定(flow down)

v.i 流れ落ちることができなかった 「動詞句」

顔のしわ：

垂直方向のしわはあまり長くないが、水平方向のしわは、長く、深いものが多い。

涙はしわに沿って横に広がり、上から流れてくる隣の縦筋と交わると、年老いてぼろぼろの顔の上に滑らかで光沢のある 1 枚の膜が作られた。

They spread out, crisscrossed, and formed a smooth gloss on the old, worn face.

「主語」「動詞」, 「動詞」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

They ゼイ pron 涙は 「主語」

spread out, スプレッド・アウト 3 複過 v.i(spread) 横に広がった 「動詞」

crisscrossed, クリスクロスト 3 複過 v.i 隣の縦方向の流れと交差した 「動詞」

and アンド conj. そして

formed フォームド 3 複過 v.t ~を形作った 「動詞」

a smooth gloss ア・スムース・グロス n. 滑らかな光沢のある膜 「目的語」

on the old, worn face. オン・ズィ・オールド・ウォーン・フェイス

adv. 年老いてぼろぼろの顔の上に 「副詞句」

Part 1 第1部

そして僕は今でも思い出すことができる。教会や歩道の村人たち、墓地の赤いゼラニウム、ペレーズの卒倒（彼はぬいぐるみ人形のように崩れるように倒れた）、母さんの棺の上にパラパラ降ってくる赤褐色の土、そしてその土に混ざった白い根の破片などだ。

And I can remember the look of the church, the villagers in the street, the red geraniums on the graves, Pérez's fainting fit—he crumpled up like a rag doll—the tawny-red earth pattering on Mother's coffin, the bits of white roots mixed up with it;

And 「主語」「動詞句」「目的語」

And アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

can remember キャン・リメンバー 1 単現・可能 v.t ~を覚えている

「動詞句」

the look サ・ルック n. 様子を

「目的語」

of オフ prep ~の

「形容詞句」

the church, サ・チャーチ n. 教会

「目的語」

the villagers in the street, サ・ヴィレッジヤーズ・イン・サ・ストリート

pl.n 歩道の村人

「目的語」

the red geraniums on the graves, サ・レット・シエラニウムズ・オン・サ・グレイヴズ

pl.n 墓地の赤いゼラニウム

「目的語」

Pérez's fainting fit— ペレーズ・フェインティング・フィット

n. ペレーズの卒倒

「目的語」

fainting フェインティング adj. 失神する、卒倒する fit フィット n. 気絶

he ヒー pron 彼は

「主語」

crumpled up クランブルト・アップ 3 単過 v.i 崩れるように倒れた

「動詞句」

like a rag doll— ライク・ア・ラグ・ドール adv. ぬいぐるみ人形のように

「副詞句」

the tawny-red earth サ・トニー・レット・アース n. 赤褐色の土

「目的語」

tawny トニー adj. 茶褐色の tawny-red トニー・レット adj. 赤褐色の earth アース n. 土

pattering ハ・タリク 現在分詞(patter)

adj. パラパラ降ってくる

「形容詞句」

on Mother's coffin, オン・サ・マザーズ・コフィン

adv. 母さんの棺の上に

「副詞句」

the bits サ・ビッツ pl.n 破片

「目的語」

of white roots オフ・ホワイト・ルーツ adj. 白い根の

「形容詞句」

mixed up with it; ミクスト・アップ・ウィズ・イット

adj. その土に混ざった

「形容詞句」

Part 1 第1部

それから、さらに人々、人声、カフェの外でバスを待つ時間、エンジンの騒音、そして、
 僕たちのバスがアルジェの明るく照らされた最初の通りに入り、まっすぐベッドに行って、
 そのまま 12 時間ずっと眠られると考えた時の、ちょっと嬉しいようなワクワク感。

then more people, voices, the wait outside a café for the bus, the rumble of the engine,
and my little thrill of pleasure when we entered the first brightly lit streets of Algiers,
and I pictured myself going straight to bed and sleeping twelve hours at a stretch.

「副詞」「目的語」

then ゼン adv. それから

「副詞」

more people, モア・ピープル pl.n さらに人々

「目的語」

voices, ヴォイス pl.n 人声

「目的語」

the wait ザ・ウェイト n. 待ち時間

「目的語」

outside a café アウトサイト・ア・カフェ adv. カフェの外での

「副詞句」

for the bus, フォー・ザ・バス adv. バスを待ちながら

「副詞句」

the rumble of the engine, ザ・ランブル・オブ・ズィ・エンジン n. エンジンの騒音

「目的語」

and アンド conj. そして

my little thrill マイ・リトル・スリル n. ちょっとしたワクワク感

「目的語」

of pleasure オブ・プレジャー adj. 喜びの

「形容詞句」

when ホエン conj. ～するときの

「副詞節」

we ウィー pron 僕たちが

「主語」

entered エンタード 1 複過 v.t ～に入った

「動詞」

the first brightly lit streets of Algiers, ザ・ファースト・ブライトリー・リット・ストリート・オブ・アルジェ
 pl.n アルジェの明るく照らされた最初の通り 「目的語」

lit リット 過去分詞(light)adj. 照らされた

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

pictured ピクチャード 1 単過・知覚動詞 v.t 心に描いた

「動詞」

myself マイセルフ pron 自分が

「目的語」

going ゴウイング 現在分詞・myself の動作 v.i 行く

「補語」

straight to bed ストレイト・トゥ・ベッド

adv. まっすぐベッドへ

「間接目的語」

and アンド conj. そして

sleeping スリーピング 現在分詞・myself の動作 v.i 眠る

「補語」

twelve hours トエルヴ・アワズ adv. 12 時間

「副詞句」

at a stretch. アット・ア・ストレッチ adv. 一気に、連続して 「副詞句」

Part 1 第1部

II

目覚めるときに、僕が2日間の休暇を願い出たときに、社長がいくぶん怒ったように見えた訳が分かった；今日は土曜日なのだ。

ON WAKING I understood why my employer had looked rather cross when I asked for my two days off; it's a Saturday today.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」；「主語」「動詞」「補語」

ON WAKING オン・ウェイクン 現在分詞・同時(wake)adv. 目覚めるときに 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

understood アンダーストット 1 単過(understand)v.t 分かった 「動詞」

why ホワイ adv. なぜかということが 「目的語」

my employer マイ・エンプロイヤー n. 社長が 「主語」

had looked ハット・ルクト 3 単過・完了形(look)v.i 〜に見えた 「動詞句」

rather cross ラザー・クロス adj. いくぶん怒ったような 「補語」

when ホエン conj. 〜するときに 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

asked for アスク・フォー 1 単過(ask for)v.t 〜を頼んだ 「動詞句」

my two days off; マイ・トゥ・デイズ・オフ n. 2 日間の休暇を 「目的語」

it イット pron それは 「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

a Saturday ア・サタデイ n. 土曜日 「補語」

today. トゥデイ adv. 今日は 「副詞」

その時は、そのことを考えていなかった；ベッドから出ようとしていた時に、そのことが僕の頭に浮かんできただけなのだ。

I hadn't thought of this at the time; it only struck me when I was getting out of bed.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」；「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

hadn't thought ハドント・ソート 1 単過・完了形・否定(think)

v.i(of について) 考えていなかった 「動詞句」

of this オフ・スィズ adv. このことについて 「間接目的語」

at the time; アット・ザ・タイム adv. その時は 「副詞句」

it イット pron それが 「主語」

only オンリー adv. ただ〜だけ 「副詞」

struck ストラック 3 単過(strike)v.t (人の) 心に浮かんだ 「動詞」

me ミー pron 僕に 「目的語」

Part 1 第 1 部

when ホエン conj. ～するときに 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 was getting out リズ・ゲテイング・アウト 1 単過・進行形(get out)
 v.i(of から) 出ようとしていた 「動詞句」
 of bed. オフ・ベッド adv. ベッドから 「副詞句」

彼は、僕が 4 連休を要求していると考えたに違いないのだ。そうすると、社長の怒ったよ
 うな顔つきも納得がいく。

Obviously he had seen that it would mean my getting four days' holiday straight off, and
one couldn't expect him to like that.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」
 Obviously オブヴィアスリー adv. 明らかに 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had seen ハッド・シーン 3 単過・完了形(see)v.t ～と考えていた 「動詞句」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 it イット pron それは 「主語」
 would mean ウッド・ミン 3 単現・必然 v.t ～を意味するに違いない 「動詞句」
 my getting four days' holiday マイ・ゲッテイング・フォー・デイズ・ホリデイ
 n. 4 日間の休暇要求 「目的語」
 straight off, ストレイト・オフ adj. 連続した 「形容詞句」
 and アンド conj. そして
 one ワン pron 誰も 「主語」
 couldn't expect カント・イクスペクト 3 単過・可能・否定(expect)v.t(SVO to+不定詞)
 v.t (人が～するだろうと) 思えなかった 「動詞句」
 him ヒム pron 彼が 「目的語」
 to like トゥ・ライク 不定詞・him の動作 v.t 好む 「補語」
 that. ザット pron それを 「目的語」

Part 1 第1部

それでも一つには、母さんの葬儀が今日ではなく昨日だったとしても、それは僕のせいではない。それに、どちらにしても、僕は土日は休めたに違いないのだ。

Still, for one thing, it wasn't my fault if Mother was buried yesterday and not today; and then, again, I'd have had my Saturday and Sunday off in any case.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」「副詞節」;

and 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Still, スティル adv. それでも

「副詞」

for one thing, フォー・ワン・シング adv. 一つには

「副詞句」

it イット pron. それは

「主語」

wasn't ワズン't 3 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞」

my fault マイ・フォールト n. 僕の責任

「補語」

if イフ conj.(= even if) ~だとしても

「副詞節」

Mother マザー n. 母さんが

「主語」

was buried ワズ・ベアリード 3 単過・受動(bury)v.t 埋葬された

「動詞句」

yesterday イェスタデイ adv. 昨日

「副詞」

and アンド conj. そして

not today; ノット・トゥデイ adv. 今日ではなく

「副詞句」

and アンド conj. そして

then, セン adv. それに

「副詞」

again, アゲン adv. さらに

「副詞」

I アイ pron. 私は

「主語」

'd have had ウット・ハヴ・ハット 1 単現・完了形・推量(have)v.t ~を取ったに違いない 「動詞句」

my Saturday and Sunday off マイ・サタデイ・アント・サンデイ・オフ

n. 土日の休暇を

「目的語」

in any case. イン・エニー・ケイス adv. どちらにしても

「副詞句」

しかしもちろん、このことが社長の問題を理解する妨げにはならなかった。

But naturally this didn't prevent me from seeing my employer's point.

But 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

But バット conj. しかし

naturally ナチュラルー adv. もちろん

「副詞」

this ズィス pron. このことが

「主語」

didn't prevent デイトント・プリヴェント 3 単過・否定 v.t 妨げなかった

「動詞句」

me ミー pron. 私が

「目的語」

from seeing フロム・シーイング 現在分詞・me の動作(see)v.t 理解する、認める

「補語」

my employer's point. マイ・エンプロイヤーズ・ポイント n. 社長の問題を

「目的語」

Part 1 第1部

昨日の体験で疲れていたの、起きるのが一苦労だった。

Getting up was an effort, as I'd been really exhausted by the previous day's experiences.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」

Getting up ゲテイング・アップ 現在分詞(get up)n. 起きることは

「主語」

was ワズ (be)v.i ~だった

「動詞」

an effort, アン・エフォット n. 一苦労

「補語」

as アズ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd been really exhausted ハット・ビーン・レアリー・イグザースティット 1 単過・完了形・受動(exhaust)

v.t 本当に疲れていた

「動詞句」

by the previous day's experiences. バイ・ザ・プリウイアス・デイズ・イクスピアリアンス

adv. 昨日の体験によって

「副詞句」

髭をそっている間、午前中はどうやって過ごしたらよいかと考えていたが、水泳がよいだろうと決めた。それで、港に向かう路面電車に乗った。

While shaving, I wondered how to spend the morning, and decided that a swim would do me good. So I caught the streetcar that goes down to the harbor.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」

So 「主語」「動詞」「目的語」

While shaving, ホル・シェイヴィング adv. 髭をそっている間

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

wondered ワンダート 1 単過 v.t (～したらよい) だろうかと考えていた

「動詞」

how to +不定詞 ハウ・トゥ n. どのように～するかということ

「目的語」

spend スpend 不定詞 v.t (時間を) 過ごす

「動詞」

the morning, サ・モーニング n. 午前を

「目的語」

and アンド conj. そして

decided デイサイデイト 1 単過 v.t 決めた

「動詞」

that サット conj. ~ということ

「目的語」

a swim ア・スイム n. 水泳は

「主語」

would do ウット・トゥ 3 単現・推量 v.i (事が) よいだろう

「動詞句」

me ミ pron 僕にとって

「間接目的語」

good. グット adj. 良い

「補語」

So ソ conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

caught コト 1 単過(catch)v.t (乗り物に) 乗った

「動詞」

Part 1 第 1 部

the streetcar ザ・ストリート・カー n. 路面電車に 「目的語」
 that ザット pron (主語) ～する 「形容詞節」
 goes down ゴウズ・ダウン 3 単現 v.i ～に向かって行く 「動詞句」
 to the harbor. トゥ・ザ・ハーバー adv. 港に 「副詞句」

まったく昔のままだった (僕は水路の中に飛び込んだ) ; プールには大勢の若者がいて、
 その中に、以前同じ会社でタイピストをしていたマリー・カルドナを見つけた。

It was quite like old times; a lot of young people were in the swimming pool, amongst them Marie Cardona, who used to be a typist at the office.

「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」「主語」
 It イット pron そこは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 quite like old times; クワイ・ライク・オールド・タイムズ adj. まったく昔のまま 「補語」
 a lot of young people ア・ロット・オブ・ヤング・ピープル pl.n 大勢の若者が 「主語」
 were ワー 3 複過・存在(be)v.i ～にいた 「動詞」
 in the swimming pool, イン・ザ・スイミング・プール adv. 海水浴プールに 「副詞句」
 amongst them アマング・スト・ゼム adv. 彼らの中で 「副詞句」
 Marie Cardona, マリー・カルドナ n.f マリー・カルドナが 「主語」
 who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」
 used to be ユースト・トゥ・ビー 3 単過・以前(used to+不定詞)
 v.i 以前は～だった 「動詞句」
 a typist ア・タイピスト n. タイピスト 「補語」
 at the office. アット・ズィ・オフィス adv. 同じ会社の 「副詞句」

フランス語の原文では : It was quite like old times; の部分が異なる

Là, j'ai plongé dans la passe. それで僕は水路の中に飛び込んだ。

(港の中で、船が行き交う水路をプール代わりにして、海水浴をしていたのだろう。)

英語版の翻訳者は passe 「水路」 を passé 「古い」 と間違えたものと思われる。

Then, I have dived into the waterway. で良いと思う。

used to+不定詞 : 過去の習慣、または過去の状態を表す

- 過去の規則的習慣 : 「～するのを常とした、決まって～したものだ」

She used to play a piece or two on the piano before going to bed.

彼女は床に就く前に決まって 1, 2 曲ピアノを弾いたものだった。

- 現在と比べた過去の状態 : 「以前は～だった」

I used to smoke two packs of cigarettes a day, but I have given up smoking now.

私は以前 1 日に 2 箱タバコを吸っていましたが、今はもう吸うのを止めました。

Part 1 第1部

僕は彼女と親密になりたいと切望していた。また彼女のほうもそうだっただろうと今でも思っている。ところが、彼女がオフィスにいたのはほんの短期間だったので、そのようなことは起こらなかった。

I was rather keen on her in those days, and I fancy she liked me, too. But she was with us so short a time that nothing came of it.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」

But 「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 rather keen on her ラーザー・キン・オン・ハー adj. かなり彼女を熱望した 「補語」
 keen on... 「〜を熱望する、〜にのぼせた」
 in those days, イン・ゾ・ワズ・デイズ adv. その当時 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 fancy ファンシー 1 単現 v.t (that 〜だと) 思っている 「動詞」
 she liked me, too. シー・ライク・メイ・トゥ n. 彼女も僕を好きだった 「目的語」
 But バット conj. しかし
 she シー pron 彼女は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i 〜いた 「動詞」
 with us ウイズ・アッス adv. 一緒に 「副詞句」
 so short a time ソ・ショート・ア・タイム adv. ほんの短い間 「副詞句」
 that ザット conj.(so...that〜) (結果) 〜する 「副詞節」
 nothing ナシグ pron 何も〜ない 「主語」
 came ケイム 3 単過(come)v.t (否定分で) (結果として) 起こらなかった 「動詞」
 of it. オフ・イット adj. そのような 「形容詞句」

彼女が浮き台に上がるのを手伝いながら、僕はそれとなく彼女の胸に手を滑らせた。

While I was helping her to climb on to a raft, I let my hand stray over her breasts.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

While ホイル conj. 〜する間 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 was helping ワズ・ヘルピング 1 単過・進行形(help)v.t 手助けしていた 「動詞句」
 her ハー pron 彼女を 「目的語」
 to climb トゥ・クライム 不定詞・her の動作 v.i(on に) 登る 「補語」
 on to a raft, オン・トゥ・ア・ラフト adv. (水泳者用) 浮き台の上に 「副詞句」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は	「主語」
let レット 1 単過・使役(let)v.t ~させた	「動詞」
my hand マイ・ハント ^ゝ n. 僕の手を	「目的語」
stray ストレイ 不定詞・hand の動作 v.i さまよう	「補語」
over her breasts. オウヴァー・ハー・ブレストズ adv. 彼女の胸の上を	「副詞句」

僕がまだ水から上がろうとしているのに、彼女は浮き台の上でもう腹ばいになっていた。

<u>Then she lay flat on the raft, while I trod water.</u>	「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」
Then セン adv. それから	「副詞」
she シー pron 彼女は	「主語」
lay レイ 3 単過(lie)v.i 横になっていた	「動詞」
flat フラット adv. 腹ばいで	「副詞」
lie flat on one's back 「仰向けに寝る」	
on the raft, オン・ザ・ラフト adv. 浮き台の上に	「副詞句」
while ホワイ conj. (譲歩) ~なのに	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
trod トロット ^ゝ 1 単過(tread)v.t 踏んでいた	「動詞」
water. ウォーター n. 水を	「目的語」

すぐに、彼女は振り返って、僕をじっと見つめた。

<u>After a moment she turned and looked at me.</u>	「副詞句」「主語」「動詞」 and 「動詞」「間接目的語」
After a moment アフター・ア・モメント adv. すぐ後に	「副詞句」
she シー pron マリーは	「主語」
turned ターント ^ゝ 3 単過 v.i 振り向いた	「動詞」
and アント ^ゝ conj. そして	
looked ルクト 3 単過 v.i (at を) じっと見つめた	「動詞」
at me. アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」

彼女の髪は目の上にかぶさっていて、彼女は笑っていた。

<u>Her hair was over her eyes and she was laughing.</u>	「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」
Her hair ハー・ヘア n. 彼女の髪が	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i (存在) ~にあった	「動詞」
over her eyes オウヴァー・ハー・アイズ ^ゝ adv. 目の上に	「副詞句」
and アント ^ゝ conj. そして	

Part 1 第1部

she シー pron 彼女は 「主語」
 was laughing. ワズ・ラーフィング 3 単過・進行形(be+現在分詞)v.i 笑っていた 「動詞句」

僕は、浮き台の上の彼女の隣によじ登った。

I clambered up on to the raft, beside her. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 clambered up クランバート・アップ 1 単過 v.i よじ登った 「動詞句」
 on to the raft, オン・トゥ・ザ・ラフト adv. 浮き台の上に 「副詞句」
 beside her. ビサイド・ハー adv. 彼女のとなりに 「副詞句」

大気は心地よい暖かさだった。僕は冗談めかして彼女の膝の上に頭を載せた。

The air was pleasantly warm, and, half jokingly, I let my head sink back upon her lap.
 「主語」「動詞」「補語」 and 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 The air ズィ・エア n. 大気は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 pleasantly warm, プレザンツリー・ウォーム adj. 心地よく温かい 「補語」
 and, アント conj. そして
 half jokingly, ハーフ・ジョウキングリー adv. 冗談めかして 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 let レット 1 単過・使役 v.t(SVO+不定詞 O に) 〜させた 「動詞」
 my head マイ・ヘッド pron 頭を 「目的語」
 sink back シンク・バック 不定詞・head の動作 v.i 〜に倒れこむ 「補語」
 upon her lap. アポ・ン・ハー・ラップ adv. 彼女の膝の上に 「副詞句」

彼女が嫌がる様子を見せなかったのも、そのままにしておいた。

She didn't seem to mind, so I let it stay there.
 「主語」「動詞句」,so 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 didn't seem to mind, ディント・シム・トゥ・マインド 3 単過・推量・否定(seem to+不定詞)
 v.i 嫌がっているようには見えなかった 「動詞句」
 mind マインド v.i (主に否定文・疑問文で) いやだと思ふ、気にする
 so ソ conj. それで
 I アイ pron 僕は 「主語」
 let レット 1 単過・使役 v.t(SVO+不定詞 O に) 〜させた 「動詞」
 it イット pron 頭を 「目的語」
 stay ステイ 不定詞・it の動作 v.i とどまる 「補語」

Part 1 第1部

there. ゼア adv. そこに

「副詞」

僕の目一杯に、青色と金色の空が映り込んでいた。そして、僕の頭の下でマリーの腹が緩やかに上下するのを感じた。

I had the sky full in my eyes, all blue and gold, and I could feel Marie's stomach rising and falling gently under my head.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t 〜があった

「動詞」

the sky full ザ・スカイ・フル n. 溢れる空

「目的語」

in my eyes, イン・マイ・アイズ adv. 僕の目に

「副詞句」

all blue and gold, オール・ブルー・アンド・ゴールド adj. 青と金色の

「形容詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

could feel クット・フィール 1 単過・可能 v.t 感じられた

「動詞句」

Marie's stomach マリーズ・スタマック n. マリーの腹

「目的語」

rising and falling ライジング・アンド・フォールング adj. 上下に動く

「形容詞句」

gently ジェントリー adv. ゆるやかに

「副詞」

under my head. アンダー・マイ・ヘッド adv. 僕の頭の下で

「副詞句」

僕たちは、二人ともぼんやりした感覚で、上等な半時間を過ごしていたと思う。

We must have stayed a good half-hour on the raft, both of us half asleep.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

We ウィー pron 僕たちは

「主語」

must have stayed マスト・ハヴ・ステイト 1 複現・完了形・確信(stay)

v.t 〜を過ごしていたに違いない

「動詞句」

a good half-hour ア・グッド・ハーフ・アワ n. 上等な半時間を

「目的語」

on the raft, オン・ザ・ラフト adv. 浮き台の上で

「副詞句」

both of us half asleep. ボス・オブ・アッス・ハーフ・アスリープ adv. 二人ともぼんやりとして 「副詞句」

日差しが強くなりすぎたので、マリーが海に飛び込み、僕もそれに続いた。

When the sun got too hot she dived off and I followed.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」

When ホエン conj. 〜するとき

「副詞節」

the sun ザ・サン n. 太陽が、日差しが

「主語」

got ゴット 3 単過(get)v.i (状態に) なった

「動詞」

Part 1 第1部

too hot トゥー・ホット adj. 熱すぎる 「補語」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 dived off ダイヴ・オフ 3 単過(dive off)v.i (水に) 飛び込んだ 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 followed. フォロウド 1 単過 v.i 続いた 「動詞」

僕は彼女に追い付き、彼女の腰に手をまわして、並んで泳いだ。彼女はずっと笑っていた。

I caught up with her, put my arm round her waist, and we swam side by side. She was still laughing.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」「副詞句」
 and 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 caught up with ッコート・アップ・ウィズ 1 単過(catch up with)v.t 追いついた 「動詞句」
 her, ハー pron 彼女に 「目的語」
 put プット 1 単過 v.t 置いた 「動詞」
 my arm マイ・アーム n. 手を 「目的語」
 round her waist, ラウンド・ハー・ウェイト adv. 腰のあたりに 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 swam スワム 1 複過(swim)v.i 泳いだ 「動詞」
 side by side. サイト・バイ・サイト adv. (横に) 並んで 「副詞句」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 was still laughing. ワズ・スティル・ラーフィング 3 単過・進行形(laugh)v.i まだ笑っていた 「動詞句」

海水浴場のへりで体を乾かしていると、マリーが言った：「私のほうが日に焼けたわ」

While we were drying ourselves on the edge of the swimming pool she said: "I'm browner than you."

While ホワイ conj. ～する間 「副詞節」
 we ウィー pron 僕たちが 「主語」
 were drying ourselves ワー・トドライイング・アワセルフス 1 複過・進行形(dry oneself)
 v.pr 体を乾かしていた 「動詞句」
 on the edge オン・ズィ・エッジ adv. 縁で、へりで 「副詞句」
 of the swimming pool オフ・ザ・スイミング・プール adj. 海水浴場の 「形容詞句」
 she シー pron 彼女が 「主語」
 said: セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 "I アイ pron 私は 「主語」

Part 1 第1部

'm アム 1 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 browner than you.” ブラウナー・ザン・ユー adj. あなたより日に焼けた 「補語」
 brown ブラウン adj. 日焼けした

僕は、夜になったら、映画に行かないかと誘ってみた。

I asked her if she'd come to the movies with me that evening.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 asked アスト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 her ハー pron 彼女に 「間接目的語」
 if イフ conj. 〜かどうかということ 「直接目的語」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 'd come ウット・カム 3 単過・意志(would+不定詞)v.i 来るつもりがある 「動詞句」
 to the movies トゥ・ザ・ムーヴィーズ adv. 映画に 「間接目的語」
 with me ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に 「副詞句」
 that evening. サット・イブニング adv. その日の夜に 「副詞句」

彼女はまた笑った。そして、話題になっているフェルナンデルの喜劇映画に連れて行って
 くれるのなら、「行く」と答えた。

She laughed again and said, “Yes,” if I'd take her to the comedy everybody was talking
 about, the one with Fernandel in it.

「主語」「動詞」「副詞」 and 「動詞」「応答」「副詞節」

She シー pron 彼女は 「主語」
 laughed ラフト 3 単過 v.i 笑った 「動詞」
 again アゲン adv. また 「副詞」
 and アンド conj. そして
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “Yes,” イェス adv. 行く 「応答」
 if イフ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 'd take ウット・テイク 1 単過・推量(would+不定詞)v.t 連れていくならば 「動詞句」
 her ハー pron 彼女を 「目的語」
 to the comedy トゥ・ザ・コメディー adv. 喜劇映画に 「副詞句」
 everybody was talking about, エヴリバディーズ・トーキング・アバウト
 adj. 話題になっている 「形容詞節」
 the one ザ・ワン pron 映画に 「副詞句」

Part 1 第1部

with Fernandel in it. ウイズ・フェルナンデル・イン・イット

adj フェルナンデルが出ている 「形容詞句」

フェルナンデル :

ひょうきんな馬面が特徴で、フランスが生んだ最大のコメディアンの一。

僕たちが着替えを済ませると、マリーが僕の黒いネクタイをじっと見て、「喪中なの？」と、尋ねた。

When we had dressed, she stared at my black tie and asked if I was in mourning.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」

When ホン conj. ～したとき

「副詞節」

we ウー pron 僕たちが

「主語」

had dressed, ハッド・ドレスト 1 複過・完了形(dress)v.i 着替えた

「動詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

stared ステアド 3 単過 v.i(at を) じっと見つめた

「動詞」

at my black tie アット・マイ・ブラック・タイ adv. 僕の黒いネクタイを

「間接目的語」

and アンド conj. そして

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

if イフ conj. ～かどうかを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

in mourning. イン・モアニング adv. 喪中

「補語」

僕は、母さんが死んだと説明した。

I explained that my mother had died.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

my mother マイ・マザー n. 母さんが

「主語」

had died. ハッド・ダイト 3 単過・完了形(die)v.i 死んだ

「動詞句」

Part 1 第1部

「いつなの？」と、彼女が尋ねたので、僕は「昨日」と答えた。彼女は何も言わなかったが、僕は、彼女が少し尻込みしたと思った。

“When?” she asked, and I said, “Yesterday.” She made no remark, though I thought she shrank away a little.

《「質問」》, 「主語」「動詞」 and 「主語」「動詞」, 《「応答」》

「主語」「動詞」「目的語」 though 「主語」「動詞」「目的語」

“When?” ホェン adv. いつ？

「質問」

she シー pron 彼女は

「主語」

asked, アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

said, セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“Yesterday.” イェスタデイ adv. 昨日

「応答」

She シー pron 彼女は

「主語」

made メイト 3 単過(make)v.t 作った

「動詞」

no remark, ノウリマーク n. 感想、意見

「目的語」

though ヴウ conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t 思った

「動詞」

she シー pron 彼女は～するということを

「目的語」

shrank away シュランク・アウェイ 3 単過(shrink away)v.i 尻込みした

「動詞句」

a little. ア・リトル adv. 少し

「副詞句」

僕のせいじゃない、と危うく彼女に言うところだったが、なんとかこらえた。前に同じことを社長に言って、少しばかげたことを言ったと反省したことを思い出したからだ。

I was just going to explain to her that it wasn't my fault, but I checked myself, as I remembered having said the same thing to my employer, and realizing then it sounded rather foolish.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 but 「主語」「動詞句」「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was just going to explain ワズ・ジ ユアスト・ゴウイング・トゥ・イクスプレイン 1 単過・直前

(be going to+不定詞)v.t もう少しで説明するところだった

「動詞句」

to her トゥ・ハー adv. 彼女に

「間接目的語」

that サット conj. ～ということを

「直接目的語」

it イット pron それは

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない

「動詞」

my fault, マイ・フォルト n. 僕のせい、僕の責任

「補語」

Part 1 第1部

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

checked myself, チェクト・マイセルフ 1 単過 (check oneself) v.pr やめた

「動詞句」

check チェック v.t 抑制する、～を止める check oneself チェック・ワネルフ v.pr やめる

as アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

remembered リメンバート 1 単過 v.t 思い出した

「動詞」

having said ハヴ・イング・セツト 現在分詞・完了形 n. ～と言ったことを

「目的語」

the same thing サ・セム・シング n. 同じことを

「直接目的語」

to my employer, トゥ・マイ・エンプ・ロイヤー adv. 社長に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

realizing リアライズィング 現在分詞 n. 理解したことを

「目的語」

then セン adv. すぐに

「副詞」

it イット pron それは～であるということを

「目的語」

sounded サウンデッド 3 単過 v.i ～に思われた

「動詞」

rather foolish. ラーザー・フーリッシュ adj. しばかげた

「補語」

どちらにしても、いづらかは自分の責任だと感じるものだ、僕はそう思う。

Still, foolish or not, somehow one can't help feeling a bit guilty, I suppose.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」, 「主語」 「動詞」

Still, スティル adv. それでも

「副詞」

foolish or not, フーリッシュ・オア・ノット adv. 馬鹿げていようが、いまいが

「副詞句」

somehow サムハウ adv. いづらかは

「副詞」

one ワン pron 人は

「主語」

can't help feeling キャント・ヘルプ・フィーリング 3 単現・必然 (can't help+現在分詞)

v.t ～と感じるのは仕方がない

「動詞句」

a bit guilty, ア・ビット・ギルティ adj. いづらか責任がある

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

suppose. サップーズ 1 単現 v.t 思う

「動詞」

ともかく夜には、マリーはすべて忘れていた。

Anyhow, by evening Marie had forgotten all about it.

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Anyhow, エニハウ adv. とにかく

「副詞」

by evening バイ・イヴニング adv. 夜には

「副詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

Part 1 第1部

had forgotten ハットゝ・フォゴトウ 3 単過・完了形(forget)v.t 忘れていた 「動詞句」
all about it. オール・アバウト・イット pron すべてを 「目的語」

映画は、所々面白いところもあったが、まったくくだらないところもあった。

The film was funny in parts, but some of it was downright stupid.

「主語」「動詞」「補語」,but「主語」「動詞」「補語」

The film ザ・フィルム n. 映画は 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
funny ファニー adj. 面白い 「補語」
in parts, イン・パート adv. 時々、所々 「副詞句」
but バット conj. しかし
some of it サム・オブ・イット pron いくらかは 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
downright stupid. ダウンライト・スチュピッド adj. まったくくだらない 「補語」
downright ダウンライト adv. まったくの stupid スチュピッド adj. くだらない

映画館にいる間、彼女の脚を僕の脚に押し付けてきたので、僕は彼女の胸を愛撫した。

She pressed her leg against mine while we were in the picture house, and I was fondling her breast.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

She シー pron 彼女は 「主語」
pressed プレスト 3 単過 v.t 〜を押し付けた 「動詞」
her leg ハー・レッグ n. 彼女の脚を 「目的語」
against mine アゲンスト・マイン adv. 僕の脚に向けて 「副詞句」
while ホワイ conj. 〜する間に 「副詞節」
we ウー pron 僕たちが 「主語」
were ワー 1 複過(be)v.i 〜にいた 「動詞」
in the picture house, イン・ザ・ピクチャー・ハウス adv. 映画館に 「副詞句」
and アンド conj. そして
I アイ pron 僕は 「主語」
was fondling ワズ・フォントリング 1 単過・進行形(fondle)v.t 愛撫していた 「動詞句」
her breast. ハー・ブレスト n. 彼女の胸を 「目的語」

Part 1 第1部

映画が終わるころに、僕は彼女にキスしたが、少しぎこちなかった。

Toward the end of the show I kissed her, but rather clumsily.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, but 「副詞句」

Toward トゥワート° prep (時間的接近) ~の頃

「副詞句」

the end of the show スィ・ェント°・オブ°・ザ°・ショウ n. 映画の終わり

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

kissed キスト 1 単過 v.t キスした

「動詞」

her, ハー pron 彼女に

「目的語」

but バット conj. しかし

rather clumsily. ラーザー・クラムジリー adv. 少しぎこちなく

「副詞句」

その後で、彼女と一緒に僕のアパートに戻ってきた。

Afterward she came back with me to my place.

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「間接目的語」

Afterward アフターワート° adv. その後で

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

came back ケイム・バック 3 単過(come back)v.i 戻ってきた

「動詞句」

with me ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に

「副詞句」

to my place. トゥ・マイ・プレイス 僕のアパートに

「間接目的語」

僕が目覚めると、マリーはもう帰ってしまっていた。

When I woke up, Marie had gone.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

When ホエン conj. ~するとき

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

woke up, ウォク・アップ° 1 単過(wake up)v.i 目を覚ました

「動詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

had gone. ハット°・ゴウン 3 単過・完了形(go)v.i 帰ってしまっていた

「動詞句」

彼女の叔母さんが、マリーが朝一番にやって来るのを待っていると言っていた。

She'd told me her aunt expected her first thing in the morning.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

'd told ハット°・トゥルト° 3 単過・完了形(tell)v.t 言っていた

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

her aunt ハー・アUNT n. 彼女の叔母さんが~するというのを

「直接目的語」

expected イクスペクテット° 3 単過・時制の一致 v.t 来るのを待っている

「動詞」

Part 1 第1部

her first thing in the morning. ハー・ファースト・シング・イン・ザ・モーニング

adv. 朝一番に

「副詞句」

今日は日曜日だと思い出した。日曜日は僕をうんざりさせる。日曜日は関心がなかった。

I remembered it was a Sunday, and that put me off, I've never cared for Sundays.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」;

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

remembered リンバート 1 単過 v.t 思い出した

「動詞」

it イット pron ～ということを

「目的語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

a Sunday, ア・サンデイ n. 日曜日

「補語」

and アンド conj. そして

that サット pron それは

「主語」

put ...off; プット...ワ 3 単現(put off)v.t 不快にする、うんざりさせる

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

've never cared ハヴ・ネヴァ・ケアド 1 単現・完了形・否定(care)

v.i(for に、を) 関心がなかった、気にかける

「動詞句」

for Sundays. フォー・サンデイズ adv. 日曜日は

「副詞句」

それで僕は、頭の向を変え、マリーの頭が枕に残していった海水の匂いを物憂げにかいだ。

So I turned my head and lazily sniffed the smell of brine that Marie's head had left on the pillow.

So 「主語」「動詞」「目的語」 and 「副詞」「動詞」「目的語」

So ソ conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

turned タート 1 単過 v.t 向きを変えた

「動詞」

my head マイ・ヘット n. 僕の頭を

「目的語」

and アンド conj. そして

lazily レイジー adv. ものうげに

「副詞」

sniffed スニフト 1 単過 v.t 鼻で匂いをかいだ

「動詞」

the smell ザ・スメル n. 匂いを

「目的語」

of brine オブ・ブライン adj. 海水の

「形容詞句」

that サット pron (目的語) ～する

「形容詞節」

Marie's head マリーズ・ヘット n. マリーの頭が

「主語」

had left ハット・レフト 3 単過・完了形(leave)v.t 残した

「動詞句」

Part 1 第 1 部

on the pillow. オン・ザ・ヒ°ロウ adv. 枕に

「副詞句」

僕は 10 時まで眠った。その後もタバコを吸いながら、ベッドの中で正午まで過ごした。

I slept until ten. After that I stayed in bed until noon, smoking cigarettes.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

slept スレプト 1 単過(sleep)v.i 眠った

「動詞」

until ten. アンティル・テン adv. 10 時まで

「副詞句」

After that アフター・ザット adv. そのあと

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

stayed ステイト° 1 単過 v.i 過ごした、とどまっていた

「動詞」

in bed イン・ベット° adv. ベッドの中に

「副詞句」

until noon, アンティル・ヌーン adv. 正午まで

「副詞句」

smoking cigarettes. スモウキング°・シガレッツ adv. タバコを吸いながら

「副詞句」

今日は、いつものようにセレストの店で食事をしないことにした；皆は僕を質問攻めにするだろうが、僕は質問されるのは好きではない。

I decided not to lunch at Céleste's restaurant as I usually did; they'd be sure to pester me with questions, and I dislike being questioned.

「主語」「動詞句」「副詞句」；「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

decided not to lunch デ°イサデ°イット°・ノット°トゥ°ランチ 1 単過・決定・否定(decide to+不定詞)

v.i 昼食をとらないことにした

「動詞句」

at Céleste's restaurant アット°セレステズ°・レストラン adv. セレストのレストランで

「副詞句」

as I usually did; アズ°・アイ°ユージ°ュアリー°・デ°イット° adv. 僕がいつもしているように

「副詞句」

they ゼ°イ pron.pl 皆は

「主語」

'd be sure to pester ウット°・ビー°・シュア°・トゥ°・ペスター 3 複現・I の確信(be sure to+不定詞)

v.t 間違いなく困らせるだろう

「動詞句」

me ミ° pron 僕を

「目的語」

with questions, ウイズ°・クェスチョンズ° adv. 質問で

「副詞句」

and アンド° conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

dislike +現在分詞 デ°イスライク 1 単現 v.i ~するのが嫌いである

「動詞句」

being questioned. ビ°ーイング°・クェスチョント° 現在分詞・受動 v.t 質問される

「動詞句」

Part 1 第1部

僕は自分で卵をいくつか調理して、フライパンから直接それを取って食べた。

So I fried some eggs and ate them off the pan.

So 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

So ソ conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

fried フライト 1 単過(fry)v.t 調理した

「動詞」

some eggs サム・エッグズ pl.n 卵を

「目的語」

and アンド conj. そして

ate エイト 1 単過(eat)v.t 食べた

「動詞」

them ゼム pron.pl それを

「目的語」

off the pan. オフ・ザ・パン adv. フライパンから直接

「副詞句」

フランス語の原文では

Je me suis fait cuire des oeufs et je les ai mangés à même le plat,

僕は自分で卵を料理して、それを大皿から直接食べた。

フランスでは、料理は鍋などからいったん盛り皿 plat に盛り付けてテーブルに運び、そこから取り皿 assiette アシエット に取り分けて食べる習慣がある。しかし、あまり料理をしない独身男性なら、英文のように、フライパンから直接食べるほうが自然に思われる。

パンを切らしていたが、わざわざ買いに降りるのが面倒だったので、パンなしで済ませた。

I did without bread as there wasn't any left, and I couldn't be bothered going down to buy it.

「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

did ディット 1 単過(do)v.t (食事を) 済ませた

「動詞」

without bread ウイズアウト・ブレット adv. パンなしで

「副詞句」

as アス conj. ～なので

「副詞節」

there wasn't ゼア・ワズント 3 単過・否定(there be)v.i なかった

「動詞句」

any left, エニー・レフト pron 残ったものが何も～ない

「主語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't be bothered クント・ビー・ボザード 1 単過・願望・否定・受動

(could+不定詞・受動+現在分詞)v.i わざわざ～したくなかった

「動詞句」

can't be bothered+現在分詞/to 不定詞 「わざわざ～したくない」

直訳は「～することで悩まされたくなかった」

going down ゴウイング・ダウン 現在分詞 v.i 降りる

「動詞句」

to buy it. トゥ・バイ・イット adv. (目的) パンを買うために

「副詞句」

Part 1 第 1 部

昼食後、僕は何もすることが無いので、アパートの中を歩き回った。

After lunch I felt at loose ends and roamed about the little flat.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 and 「動詞」「副詞句」

After lunch アフター・ランチ adv. 昼食後

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.i 感じた

「動詞」

at loose ends アット・ルース・エンズ adv. 手持無沙汰な、何もすることがない

「補語」

and アンド conj. そして

roamed ロウムト 1 単過(roam)v.i(about) 歩き回った

「動詞」

about the little flat. アバウト・ザ・リトル・フラット adv. 小さなアパートの中を

「副詞句」

母さんが一緒に住んでいた頃は、この部屋は二人に丁度ぴったりだった。一人で住んでいる今となっては、この部屋は広すぎるので、僕の寝室に食卓を移動してきた。

It suited us well enough when Mother was with me, but now that I was by myself it was too large and I'd moved the dining table into my bedroom.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,

but 「副詞」「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

It イット pron それは (住んでいる部屋は)

「主語」

suited シューティット 3 単過 v.t 適合していた、丁度よかった

「動詞」

us アッス pron 僕たちに

「目的語」

well enough ウェル・イフ adv. 十分に、とてもよく

「副詞句」

when ホエン conj. ～するときに

「副詞節」

Mother マザー pron 母さんが

「主語」

was ワズ 3 単過・存在(be)v.i ～いた

「動詞」

with me, ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に

「副詞句」

but バット conj. しかし

now ナウ adv. 今では

「副詞」

that サット pron (同格) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致・状態(be)v.i ～でいる

「動詞」

by myself バイ・マイセルフ adv. 一人だけで

「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致・状態(be)v.i ～である

「動詞」

too large トゥー・ラージ adj. 大きすぎる

「補語」

and アンド conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 1 第1部

'd moved ハット・ムーヴト 1 単過・完了形 v.t 移動した 「動詞句」
 the dining table ダ・ダイニング・テーブル n. 食卓を 「目的語」
 into my bedroom. イントゥ・マイ・ベッドルーム adv. 僕の寝室に 「副詞句」

今となつては、寝室は僕が使っている唯一の部屋である；そこには僕が必要なすべての家具がある：真鍮のベッドフレームや化粧テーブル、そして座部がやや陥没したトウの椅子、それにくすんで映りが悪くなった姿見の付いた洋服ダンスなど。

That was now the only room I used; it had all the furniture I needed: a brass bedstead, a dressing table, some cane chairs whose seats had more or less caved in, a wardrobe with a tarnished mirror. 「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞」「目的語」；「目的語」

That ザット pron 寝室が 「主語」
 was ワズ 1 単過・時制の一致・状態(be)v.i ~である 「動詞」
 now ナウ adv. 今となつては 「副詞」
 the only room スイ・オンリー・ルーム n. 唯一の部屋 「補語」
 I used; アイ・ユーズト adj. (時制の一致) 僕が使っている 「形容詞節」
 it イット pron それは 「主語」
 had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ある 「動詞」
 all the furniture オール・ザ・ファニチャー n. (集合的・単数扱い) すべての家具 「目的語」
 I needed; アイ・ニード イット adj. (時制の一致) 僕が必要な 「形容詞節」
 a brass bedstead, ア・ブラース・ベッド・ステット n. 真鍮のベッドフレーム 「目的語」
 a dressing table, ア・ドレッシング・テーブル n. 化粧テーブル 「目的語」
 some cane chairs サム・ケイン・チェアズ pl.n トウの椅子 「目的語」
 whose seats フーズ・シート pron.pl その座部は 「主語」
 had more or less caved in, ハット・モア・オア・レス・ケイヴト・イン 3 複過・完了形(cave in)
 v.i やや陥没していた 「動詞句」
 a wardrobe ア・ウォート・ロウブ n. 洋服ダンス 「目的語」
 with a tarnished mirror. ウイズ・ア・ターニッシュト・ミラー
 adv. くすんで映りの悪い鏡が付いた 「形容詞句」
 tarnished ターニッシュト adj. 光沢を失った

Part 1 第1部

アパートの残りのスペースは全く使っていなかったので、わざわざ掃除したりしなかった。

The rest of the flat was never used, so I didn't trouble to look after it.

「主語」「動詞句」,so「主語」「動詞句」「目的語」

The rest ザ・レスト n. 残りは

「主語」

of the flat オフ・ザ・フラット adj. 住居の、アパートの

「形容詞句」

was never used, ワズ・ネヴァー・ユーズト 3 単過・受動・否定(use)

v.t 使われていなかった

「動詞句」

so ソ conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't trouble to look after デイ・ント・トラブル・トゥ・ルック・アフター 1 単過・意識・否定

(trouble to+不定詞 look after)v.t わざわざ掃除したりしなかった

「動詞句」

trouble to+不定詞 トラブル・トゥ 「～するように努力する、わざわざ～する」

look after ルック・アフター v.t (人・物) の世話をする、に気を付ける

it. イット pron 残りのスペースを

「目的語」

少ししてから、他にすることがないので、床に落ちていた古新聞を拾い上げて、読んだ。

A bit later, for want of anything better to do, I picked up an old newspaper that was lying on the floor and read it.

「副詞句」,「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞」「目的語」

A bit later, ア・ビット・レイター adv. 少し後で

「副詞句」

for want of フォー・Want・オブ adv. (理由) ～の欠乏のために

「副詞句」

anything better to do, エニシング・ベター・トゥ・ドゥ pron 他にやるべき事

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

picked up ピク・アップ 1 単過(pick up)v.t (物を) 拾い上げた

「動詞句」

an old newspaper アン・オールド・ニュースペーパー n. 古新聞を

「目的語」

that ザット pron (主語) ～する

「形容詞節」

was lying ワズ・ライイング 3 単過・進行形(lie)v.i ～にあった

「動詞句」

on the floor オン・ザ・フロア adv. 床に

「副詞句」

and アンド conj. そして

read レッド 1 単過(read)v.t 読んだ

「動詞」

it. イット pron それを

「目的語」

Part 1 第1部

クリュシャン塩の広告に目が留まり、それを切り抜いて、面白いと思った新聞記事を貼っておくスクラップブックにそれを貼り付けた。

There was an advertisement of Kruschen Salts and I cut it out and pasted in into an album where I keep things that amuse me in the papers.

「動詞句」「主語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞句」「副詞句」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 an advertisement アン・アドヴァタイズメント n. 広告が 「主語」
 of Kruschen Salts オフ・クリュシャン・ソールツ adj. クリュシャン塩の 「形容詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 cut ...out カット...アウト 1 単過(cut out)v.t (記事を) 切り抜いた 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 and アンド conj. そして
 pasted in ペイステッド・イン 1 単過(paste in)v.t (場所に) 貼り付けた 「動詞句」
 into an album イントゥ・アン・アルバム adv. アルバムに 「副詞句」
 where ウェア adv. (そこに) 〜する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 keep ケープ 1 単現 v.t (物を) 取っておく 「動詞」
 things シングズ pl.n 物を 「目的語」
 that サット pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 amuse アミューズ 3 単現 v.t 面白いと思わせる 「動詞」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 in the papers. イン・ザ・ペーパーズ
 adv. 新聞記事の中で 「副詞句」
 album アルバム :



英語では白紙のページを含むものを広くアルバムと称する。

写真帳の他に、サイン帳、備忘録、スクラップブック、切手帳、芳名帳などを示す。

それから僕は手を洗い、結局は、バルコニーに出た。

Then I washed my hands and, as a last resource, went out on to the balcony.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 and 「副詞句」「動詞句」「副詞句」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 washed ワッシュト 1 単過 v.t 洗った 「動詞」
 my hands マイ・ハズ pl.n 手を 「目的語」
 and, アンド conj. そして

Part 1 第 1 部

as a last resource, アズ・ア・ラスト・リソース adv. 最後の手段として、結局は 「副詞句」

went out ウェント・アウト 1 単過(go out)v.i 外に出た 「動詞句」

on to the balcony. オン・トウ・ザ・バルコニー adv. バルコニーへ 「副詞句」

balcony バルコニー :

西洋建築で、外へ張り出して作った、屋根のない手すりのついた台。

veranda ベランダ : アメリカでは porch ポーチ

建物の外に張り出した部分で、縁や柵で囲まれ屋根がかかっているもの。

terrace テラス :

建物の庭園に一段高く設けられた台。

僕の寝室はこの地区の目抜き通りに面している。

My bedroom overlooks the main street of our district. 「主語」「動詞」「目的語」

My bedroom マイ・ベッドルーム n. 僕の寝室は 「主語」

overlooks オヴ・アールクックス 1 単現 v.t 見渡している、面している 「動詞」

the main street ザ・メイン・ストリート n. 目抜き通りを 「目的語」

of our district. オフ・アウ・ディストリクト adj. この地域の 「形容詞句」

天気の良い午後だったが、歩道は黒光りしていた。

Though it was a fine afternoon, the paving blocks were black and glistening.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Though ゴウ conj. ~であるけれども 「副詞節」

it イット pron 天気は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」

a fine afternoon, ア・ファイン・アフタヌーン n. 天気の良い午後 「補語」

the paving blocks ザ・ペイヴィング・ブロック pl.n 舗装ブロックは 「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ~だった 「動詞」

black and glistening. ブラック・アント・グリスニング adj. 黒光りした 「補語」

人通りは少ないが、ひどく忙しそうに動き回っていた。

What few people were about seemed in an absurd hurry. 「主語」「動詞句」「副詞句」

What few people フォット・フュー・ピープル pl.n なんと少ない人々が 「主語」

were about ワー・アバウト 3 複過(be)v.i (be about) 動き回っていた、仕事をしていた 「動詞句」

seemed in an absurd hurry. シームト・イン・アン・アブサート・ハリー adv. ひどく忙しそうに 「副詞句」

Part 1 第1部

まず最初に、日曜の午後の散歩に出かける家族がやって来た。

First of all there came a family, going for their Sunday-afternoon walk;

「副詞句」, 「動詞」 「主語」

First of all ファースト・オブ・オール adv. まず最初に

「副詞句」

there ゼア adv. そこに

「副詞」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た

「動詞」

a family, ファミリー n. 家族が

「主語」

family : 「まとまり」としては単数扱い、「一人ひとり」については複数扱い

going ゴウイング 現在分詞(go)adj.(for+動作名詞) ~しに行く

「形容詞句」

go for a walk 「散歩に行く」

for their Sunday-afternoon walk; フォー・ゼア・サンデー・アフタヌーン・ウォーク

adv. 日曜の午後の散歩に

「間接目的語」

二人の男の子は、セーラー服を着て、やっとひざ下に届く半ズボンを穿いているが、その日曜日の晴れ着がやや窮屈そうに見えた；

two small boys in sailor suits, with short trousers hardly down to their knees, and looking rather uneasy in their Sunday best;

「主語」；

two small boys トゥ・スモール・ボーイズ pl.n 二人の男の子

「主語」

in sailor suits, イン・セイラー・スーツ adv. セーラー服を着た

「副詞句」

with short trousers ウイズ・ショート・トラウザーズ adv. 半ズボンを穿いて

「副詞句」

hardly down to their knees, ハードリー・ダウン・トゥ・ゼア・ニーズ

adv. やっとひざ下に届く

「副詞句」

and アンド conj. そして

looking ルキング 現在分詞(look)adj. ~のように見える

「形容詞句」

rather uneasy ラーザー・アニージー adv. やや窮屈そうな

「副詞句」

in their Sunday best; イン・ゼア・サンデー・ベスト

adv. 日曜日の晴れ着を着て

「副詞句」

best ベスト n. 晴れ着、よそいき

それから、ピンクの大きな蝶結びのリボンとエナメル革の黒い靴を身に着けた少女が一人。

then a little girl with a big pink bow and black patent-leather shoes.

「副詞」 「主語」

then セン conj. それと、それから

「副詞」

a little girl ア・リトル・ガール n. 少女が一人

「主語」

with ウイズ prep ~を身に着けた

「副詞句」

a big pink bow ア・ビッグ・ピンク・ボウ

n. ピンクの大きな蝶結びのリボン

「目的語」

Part 1 第 1 部

and アンド conj. そして

black patent-leather shoes. ブラック・パトント・レザー・シューズ

n. エナメル革の黒い靴

「目的語」

patent-leather パトント・レザー n. エナメル革、エナメル靴

エナメル革：

クロムなめした革の銀面（毛のはえていた表皮の面）にワニスやボイル亜麻仁油を塗って光沢や耐水性をもたせたもの。

クロムなめし：

塩基性硫酸クロムと呼ばれる化学薬品を使用して、皮を柔らかく鞣す（なめす）方法。時間と手間がかからないので、現在ではほとんどの革製品がクロムなめしを行っています。

植物タンニンなめし：

植物に含まれるタンニンという水溶性の化合物を動物性タンパク質と結合させることで、皮を柔らかく鞣す方法。手間と時間がかかるため、現在ではあまり利用されていない。しかし、使い込んだ時間と共に革が柔らかくなり色艶が増してくるので、自分で革製品を育てていく喜びがあります。デメリットは雨に弱く、変色・変化が激しいこと。

子供たちの後ろには、茶色の絹のドレスを着て、非常に太った母親がいて、さらにその後ろには、顔に見覚えのある、小柄で身なりのきちんとした父親がいた。

Behind them was their mother, an enormously fat woman in a brown silk dress, and their father, a dapper little man, whom I knew by sight.

「副詞句」, 「動詞」「主語」 and 「主語」

Behind them ヒー・ハインド・セム adv. 子供たちの後ろには

「副詞句」

was ワズ 3 単過・存在(be)v.i. ～がいた

「動詞」

their mother, セア・マザー n. 母親が

「主語」

an enormously fat woman アン・イノーマスリー・ファット・ウーマン

adj. (同格) 非常に太った

「形容詞句」

in a brown silk dress, イン・ナ・ブラウン・シルク・ドレス

adv. 茶色の絹のドレスを着た

「副詞句」

and アンド conj. そして

their father, セア・ファーザー n. 父親が

「主語」

a dapper little man, ア・ダパー・リトル・マン

adj. (同格) 小柄で身なりのきちんとした

「形容詞句」

dapper ダパー adj. 小柄でこざっぱりした、身なりのきちんとした

whom フム pron (目的語) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュー 1 単過(know)v.t 見分けがついた

「動詞」

Part 1 第1部

by sight. バイ・サイト adv. 一見して

「副詞句」

父親は、カンカン帽をかぶり、杖をつき、蝶ネクタイをしていた。

He had a straw hat, a walking stick, and a butterfly tie.

「主語」「動詞」「目的語」

He ヒー pron 父親は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた、身に着けていた

「動詞」

a straw hat, ア・ストロー・ハット n. カンカン帽、麦わら帽子

「目的語」

a walking stick, ア・ウォーキング・スティック n. 杖

「目的語」

and アンド conj. そして

a butterfly tie. ア・バタフライ・タイ n. 蝶ネクタイ

「目的語」

カンカン帽：

麦わら帽子の一種。西洋発祥の帽子で、英語ではボーター (Boater)、フランス語ではキャノチエ (Canotier) という。

フランス語の原文では

Il avait un **canotier**, un noeud papillon et une canne à la main.

父親は、カンカン帽をかぶり、蝶ネクタイを結び、そして手にステッキを持っていた。



彼が妻と並んでいるのを見ていると、どうして界限の人たちが、彼は良家の出身で自分より身分が低い妻と結婚した、と言っていたのかが理解できた。

Seeing him beside his wife, I understood why people said he came of a good family and had married beneath him.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Seeing him シーイング・ヒム 現在分詞(see+him)adv. (理由) 彼を見ていると

「副詞句」

beside his wife, ビ・サイト・ヒズ・ワイフ adv. 妻と並んでいる

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

understood アンダーstood 1 単過(understand)v.t 分かった

「動詞」

why ホワイ adv. どうして～かということ

「目的語」

people ピープル pron 人々が

「主語」

said セット 3 複過(say)v.t 言っていた

「動詞」

(that ザット conj. ～ということ

「目的語」)

he ヒー pron 彼は

「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i(of ～の) 出身である

「動詞」

of a good family オフ・ア・グッド・ファミリー adv. 良家の

「副詞句」

and アンド conj. そして

had married ハット・マリット 3 単過・完了形(marry)v.i 結婚した

「動詞句」

Part 1 第1部

beneath him. ビネース・ヒム adv. 自分より身分が低い人と 「間接目的語」

次にやって来たのは、近郊に住む血気盛んな者たちの一団だった。彼らは、油でテカテカに光らせた髪、赤いネクタイ、腰のあたりを非常にきつく絞った上着、モールで飾ったポケットそれにつま先が角ばった靴、という出で立ちだ。

Next came a group of young fellows, the local “bloods,” with sleek oiled hair, red ties, coats cut very tight at the waist, braided pockets, and square-toed shoes.

「副詞」「動詞」「主語」「副詞句」

Next ネスト adv. 次に

「副詞」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た

「動詞」

a group of young fellows, ア・グループ・オブ・ヤング・フェロウス n. 若者たちの一団が

「主語」

the local “bloods,” ザ・ロカル・ブラッス pl.n (同格) 近郊の血気盛んな者たち

「主語」

with ウイズ prep (様態) ～をして

「副詞句」

sleek oiled hair, スリーク・オイルド・ヘア n. 油でてかてかした髪

「目的語」

red ties, レッド・タイズ pl.n 赤いネクタイ

「目的語」

coats コーツ pl.n 上着

「目的語」

cut カット 過去分詞・受動(cut)adj. 切られた

「形容詞」

very tight ヴェリー・タイト adv. 非常にきつく

「副詞句」

at the waist, アット・ザ・ウェスト adv. 腰のあたりを

「副詞句」

braided pockets, ブレイデッド・ポケット pl.n モールで飾ったポケット

「目的語」

and アンド conj. そして

square-toed shoes. スクアード・トゥード・シューズ pl.n つま先が角ばった靴

「目的語」

モール :

金糸・銀糸などと細い針金とをより合わせ、ひも状にしたもの。手芸・装飾などに用いる。



彼らは、街の中心街の映画館に行くのだろうと推測した。

I guessed they were going to one of the big theaters in the center of the town.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

guessed ゲスト 1 単過 v.t 推測した

「動詞」

(that ザット conj. ～ということを

「目的語」)

they ゼイ pron 彼らは

「主語」

were going ワー・ゴウイング 3 複過・進行形(go)v.i 行くところだった

「動詞句」

to one of the big theaters トゥ・ワン・オブ・ザ・ビッグ・シアター

adv. 映画館の一つに

「間接目的語」

in the center of the town. イン・ザ・センター・オブ・ザ・タウン

Part 1 第1部

adv. 街の中心街にある

「副詞句」

彼らがこんなに早く出かけて来て、笑いながら大声でお喋りして、大急ぎで路面電車の停車場に急いでいたのは、そのためだったのだ。

That was why they had started out so early and were hurrying to the streetcar stop, laughing and talking at the top of their voices.

「主語」「動詞」「補語」

That ザット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

why ホワイ pron なぜ〜するかという理由

「補語」

they ゼイ pron 彼らが

「主語」

had started out ハット・スターティット・アウト 3 複過・完了形(start out)

v.i 出かけて来た

「動詞句」

so early ソウ・アーリー adv. こんなに早く

「副詞句」

and アント conj. そして

were hurrying ワー・ハイング 3 複過・進行形(hurry)v.i 急いでいた

「動詞句」

to the streetcar stop, トウ・ザ・ストリートカー・ストップ

adv. 路面電車の停車場へ

「間接目的語」

laughing and talking ラーフィング・アント・トーキング

adv. 笑いながらお喋りをして

「副詞句」

at the top of their voices. アット・ザ・トップ・オブ・セア・ヴァイス

adv. 大声で

「副詞句」

彼らが通り過ぎると、通りは次第に閑散となった。

After they had passed, the street gradually emptied.

「副詞節」, 「主語」「副詞」「動詞」

After アフター conj. 〜した後は、〜すると

「副詞節」

they ゼイ pron 彼らが

「主語」

had passed, ハット・パスト 3 複過・完了形(pass)v.i 通り過ぎてしまった

「動詞句」

the street ザ・ストリート n. 通りは

「主語」

gradually グラジユアリー adv. 次第に、やがて

「副詞」

emptied. エンプティート 3 単過(empty)v.i (場所が) 空になった

「動詞」

Part 1 第1部

この頃には、映画や劇などはすべて始まっていたに違いない。

By this time all the matinees must have begun. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

By this time バイ・ズ・イズ・タイム adv. この頃には 「副詞句」

all the matinees オール・ザ・マトゥーネーズ pl.n 映画や劇などはすべて 「主語」

matinee マトゥーネー n. (演劇・音楽などの) 昼興行、マチネー

soiree スワレー n. (演劇・音楽などの) 夜興行、夜の部

must have begun. マスト・ハヴ・ビ・ガソ 3 複現・完了形・必然性(must+不定詞・完了形)

v.i 始まっていたに違いない 「動詞句」

辺りには、わずかの商店主と猫しか残っていなかった。

Only a few shopkeepers and cats remained about. 「主語」 「動詞句」 「副詞」

Only a few オヴンリー・ア・フュー adj. 少しの～しかない 「形容詞句」

shopkeepers and cats ショップ・キーパーズ・アンド・キャッツ pl.n 商店主たちと猫 「主語」

remained レメイント 3 複過・否定文 v.i 残っていなかった 「動詞句」

about. アバウト adv. 辺りには 「副詞」

通りに接するシカモアいちじくの並木の上空は晴れ渡っていたが、日差しは柔らかかった。

Above the sycamores bordering the road the sky was cloudless, but the light was soft.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」, but 「主語」 「動詞」 「補語」

Above アバヴ prep (空間的位置) ～の上には 「副詞句」

the sycamores ザ・シカモーズ pl.n (植物) シカモア無花果の木 「目的語」

bordering ボーダリング 現在分詞(border)

adj. ～と境界をなしている 「形容詞句」

the road ザ・ロート n. 通り 「目的語」

the sky ザ・スカイ n. 空が 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

cloudless, クラウドレス adj. 雲のない 「補語」

but バット conj. しかし

the light ザ・ライト n. 光は、日差しは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

soft. ソフト adj. 柔らかい 「補語」

Part 1 第1部

通りの向こう側のタバコ屋は、戸口の前の歩道に椅子を運び出してきて、それをまたいで、両手を背もたれに乗せて（背もたれの方を向いて）反対向きに座った。

The tobacconist on the other side of the street brought a chair out on to the pavement in front of his door and sat astride it, resting his arms on the back.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「副詞句」

The tobacconist サ・タバコニスト n. タバコ屋は 「主語」
 on the other side オン・ス・イ・アサー・サイト adv. 向こう側の 「副詞句」
 of the street オフ・ザ・ストリート adj. 通りの 「形容詞句」
 brought ... out ブロート...アウト 3 単過(bring out)v.t 運び出していた 「動詞句」
 a chair ア・チェア n. 椅子を 「目的語」
 on to the pavement オン・トゥ・ザ・ペイヴメント adv. 歩道に 「副詞句」
 in front of his door イン・フロント・オブ・ヒズ・ドアー adv. 戸口の前の 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 sat サット 3 単過(sit)v.i 座った 「動詞」
 astride アストライト prep. (様態) ～をまたいで 「副詞句」
 it, イット pron それを 「目的語」
 resting レスティング 現在分詞(rest)adv. ～を置いて 「副詞句」
 his arms ヒズ・アームズ pl.n 両手を 「目的語」
 on the back. オン・ザ・バック adv. 背もたれの上に 「副詞句」

数分前は込み合っていた路面電車が、今や、ほとんど空っぽになっていた。

The streetcars which a few minutes before had been crowded were now almost empty.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」

The streetcars サ・ストリートカーズ pl.n 路面電車は 「主語」
 which フィッチ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 a few minutes before ア・フュー・ミニッツ・ビフォー adv. 数分前は 「副詞句」
 had been ハット・ビーン 3 複過・完了形(be)v.i ～だった 「動詞句」
 crowded クラウデッド adj. 込み合った 「補語」
 were ワー 3 複過(be)v.i ～になっていた 「動詞」
 now ナウ adv. 今では 「副詞」
 almost empty. オールモスト・エンpty adj. ほとんど空っぽの 「補語」

Part 1 第1部

タバコ屋の隣の小さなカフェ「ピエロの店」では、ボーイがおが屑で掃き掃除をしていた。
典型的な日曜日だ...

In the little café, Chez Pierrot, beside the tobacconist's, the waiter was sweeping up the sawdust in the empty restaurant. A typical Sunday afternoon. ...

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」

In the little café, イン・ザ・リトル・カフェ adv. 小さなカフェでは 「副詞句」

Chez Pierrot, シェ・ピエロウ n. (同格)「ピエロの店」 「形容詞句」

beside ビ・サイト prep (場所) 隣の隣にある 「副詞句」

the tobacconist's, ザ・タバコニスト n. タバコ屋 「目的語」

the waiter ザ・ウェイター n. ボーイが 「主語」

was sweeping ワズ・スイーピング 3 単過・進行形(sweep)v.i 掃き掃除をしていた 「動詞句」

up the sawdust アップ・ザ・ソーダスト adv. (手段) おがくずで 「副詞句」

in the empty restaurant. イン・ズィ・エン・ティ・レストラン adv. 客のいないレストランで 「副詞句」

A typical Sunday afternoon. ... ア・ティピカル・サンデイ・アフタヌーン n. 典型的な日曜の午後 「主語」

タバコ屋の座り方がくつろいだ感じだったので、自分の椅子も逆向きにして座ってみた。

I turned my chair round and seated myself like the tobacconist, as it was more comfortable that way. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

turned ...round ターント ...ラウンド 1 単過(turn round)v.t 逆向きにした 「動詞句」

my chair マイ・チェア n. 僕の椅子を 「目的語」

and アンド conj. そして

seated myself シーティット・マイセルフ 1 単過・再帰動詞(seat oneself)v.pr 座った 「動詞句」

like ライク prep (様態) と同じように 「副詞句」

the tobacconist, ザ・タバコニスト n. あのタバコ屋 「目的語」

as アス conj. (理由) だったので 「副詞節」

it イット pron それが 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i だった 「動詞」

more comfortable モア・カンファブル adj. もっとくつろいだ 「補語」

that way. ザット・ウェイ n. あのやり方が 「主語」

Part 1 第 1 部

タバコを 2 本吸ってから、僕は部屋に戻り、チョコレートを一とかけ手に取り、窓際に戻ってそれを食べた。その直後、空全体が暗くなったので、夕立になりそうだと思った。

After smoking a couple of cigarettes I went back to the room, got a tablet of chocolate, and returned to the window to eat it. Soon after, the sky clouded over, and I thought a summer storm was coming. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」,

「動詞」「目的語」 and 「動詞」「間接目的語」「副詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」

After + 現在分詞 アフター adv. ～した後で

「副詞句」

smoking スモウキング 現在分詞(smoke)v.i タバコを吸う

「動詞」

a couple of cigarettes ア・カプ・ル・オブ・シハレット pl.n タバコを 2 本

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

went back ウェント・バック 1 単過(go back)v.i 戻った

「動詞句」

to the room, トゥ・ザ・ルーム adv. 部屋に

「間接目的語」

got ゴット 1 単過(get)v.t 手に取った

「動詞」

a tablet of chocolate, ア・タブレット・オブ・チョコレート n. チョコレートを一とかけ

「目的語」

and アンド conj. そして

returned リターン 1 単過 v.i 戻ってきた

「動詞」

to the window トゥ・ザ・ウィンドウ adv. 窓辺に

「間接目的語」

to eat トゥ・イト adv. (結果) そして食べた

「副詞句」

it. イット pron それを

「目的語」

Soon after, スーン・アフター adv. そのあとすぐに、その直後

「副詞句」

the sky ザ・スカイ n. 空が

「主語」

clouded over, クラウデッド・オーバー 3 単過 v.i 曇った、暗くなった

「動詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t 思った

「動詞」

(that ザット conj. ～ということ

「目的語」)

a summer storm ア・サマー・ストーム n. 夏の嵐、夕立

「主語」

was coming. ワズ・カミング 3 単過・進行形・推量(come)v.i やって来そうだ

「動詞句」

しかしながら、雲はしだいに晴れていった。

However, the clouds gradually lifted.

「副詞」「主語」「副詞」「動詞」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

the clouds ザ・クラウドズ pl.n 雲は

「主語」

gradually グラデュアリー adv. 次第に

「副詞」

lifted. リフト 3 複過 v.i (雲が) 晴れた

「動詞」

Part 1 第1部

それにもかかわらず、雲は通りに雨の前兆のようなものを残していったので、路面はさらに黒ずんだ。

All the same, they had left in the street a sort of threat of rain, which made it darker.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 All the same, オール・ザ・セイム adv. (文・節の始めで) にもかかわらず、やはり 「副詞句」
 they セイ pron 雲は 「主語」
 had left ハット・レフト 3 複過・完了形(leave)v.t (物を) 残していった 「動詞句」
 in the street イン・ザ・ストリート adv. 通りに 「副詞句」
 a sort of ア・ソート・オブ n. ~のようなものを 「目的語」
 threat スレット n. 前兆 「目的語」
 of rain, オフ・レイン adj. 雨の 「形容詞句」
 which フィッチ pron (継続) (主語) ~する 「主語」
 made メイト 3 単過(make)v.t ~にした 「動詞」
 it イット pron (street の代用) 道路を 「目的語」
 darker. ダーカー adj. (比較級) より黒く 「補語」

僕はかなり長く空を見続けていた。

I stayed watching the sky for quite a while. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 stayed watching ステイト・ウォッチング 1 単過・継続(stay+現在分詞)v.t 見続けていた 「動詞句」
 stay+現在分詞 (動作の継続は、keep+現在分詞または continue 現在分詞が正式)
 She continued working after she got married. 彼女は結婚後も仕事を続けた。
 the sky ザ・スカイ n. 空を 「目的語」
 for quite a while. フォー・クワイ・ア・ホワイ adv. かなりの時間 「副詞句」

5 時になると、路面電車のガチャガチャいう大きな音が聞こえてきた。

At five there was a loud clanging of streetcars. 「副詞句」「動詞句」「主語」
 At five アット・ファイヴ adv. 5 時に 「副詞句」
 there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ~があった 「動詞句」
 a loud clanging ア・ラウド・クランジング n. ガチャガチャいう大きな音が 「主語」
 of streetcars. オフ・ストリートカース adj. 路面電車の 「形容詞句」

Part 1 第1部

サッカーの試合が行われた郊外の競技場から観客が戻ってきた。

They were coming from the stadium in our suburb where there had been a football match.

「主語」「動詞句」「副詞句」

They ゼイ pron 人々が

「主語」

were coming ワー・カミング 3 複過・進行形(come)v.i やって来た、戻ってきた

「動詞句」

from the stadium フロム・ザ・ステイディアム adv. 競技場から

「副詞句」

in our suburb イン・ア・サバール adv. 郊外にある

「副詞句」

where ウェア adv. そこで～する

「形容詞節」

there had been ゼア・ハット・ビーン 3 単過・完了形(there be)

v.i ～があった

「動詞句」

a football match. ア・フットボール・マッチ n. サッカーの試合が「主語」

後部デッキさえも混雑しており、人々は乗降ステップに立っていた。

Even the back platforms were crowded and people were standing on the steps.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」

Even イーヴン adv. ～さえも

「副詞」

the back platforms ザ・バック・プラットフォームズ pl.n 後部デッキ

「主語」

back platforms バック・プラットフォームズ n. (客車後部の) 乗降口、デッキ

were ワー 3 複過(be)v.i ～だった

「動詞」

crowded クラウデイト adj. 混雑した

「補語」

and アンド conj. そして

people ピー플 pron 人々は

「主語」

were standing ワー・スタンディング 3 複過・進行形(stand)v.i 立っていた

「動詞句」

on the steps. オン・ザ・ステップス adv. 乗降ステップに

「副詞句」

その時、別の路面電車が選手たちを乗せて戻ってきた。

Then another streetcar brought back the teams. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Then ゼン adv. その時

「副詞」

another streetcar アナザー・ストリートカー n. 別の路面電車が

「主語」

brought back フロート・バック 3 単過(bring back)v.t ～を連れて戻ってきた

「動詞句」

bring ブリング v.t ～を連れてくる back バック adv. (位置が) 元に戻る

the teams. ザ・チームズ

pl.n (チームの個々のメンバーを表すときは複数) 選手たちを

「目的語」

Part 1 第 1 部

僕は、一人一人が持ち歩いている小さな旅行かばんで、彼らが選手であると見分けられた。

I knew they were the players by the little suitcase each man carried.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュ 1 単過(know)v.t ～を見分けた

「動詞」

(that ザット conj. ～ということ

「目的語」)

they ゼイ pron.pl 彼らが

「主語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

the players ザ・プレイヤーズ pl.n 選手たち

「補語」

by バイ adv. (手段) ～によって

「副詞句」

the little suitcase ザ・リトル・スーツケース n. 小さな旅行かばん

「目的語」

that ザット pron (目的語) ～する

「形容詞節」

each man イーチ・マン pron 各選手が

「主語」

carried. キャリド 3 単過・時制の一致(carry)

v.t 持ち歩いている

「動詞」

彼らは、「ボールを転がし続けろ！」と、チームの歌を大声で叫んでいた。選手の 1 人が僕の方を見上げて、「勝ったぞ」と叫んだ。

They were bawling out their team song. “Keep the ball rolling, boys.” One of them looked up at me and shouted, “We licked them!”

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」

They ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

were bawling out ワー・ボウリング・アウト 3 複過・進行形(bawl out)v.t ～を叫んでいた

「動詞句」

their team song, ゼア・チーム・ソング n. 彼らのチームの歌を

「目的語」

“Keep the ball rolling, boys.” キープ・ザ・ボール・ロリング・ボーイズ

adv. ボールを転がし続けろ！

「副詞句」

One of them ワン・オブ・ゼム n. 選手の 1 人が

「主語」

looked up ルクト・アップ 3 単過(look up)v.i 見上げた

「動詞句」

at me アット・ミー adv. 僕の方を

「間接目的語」

and アンド conj. そして

shouted, シャウティット 3 単過 v.t 叫んだ

「動詞」

that ザット conj. ～ということ

「目的語」

“We ウィー pron 俺たちは

「主語」

licked リクト 3 単過 v.t 打ち負かした

「動詞」

them!” ゼム pron 奴らを

「目的語」

Part 1 第1部

僕は手を振って答えた、「よくやった！」この頃から、自家用車の流れが途切れなくなった。

I waved my hand and called back, “Good work!” From now on there was a steady stream of private cars.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」《「応答」》 | 「副詞句」「動詞句」「主語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 waved ウェイヴト 1 単過 v.t (手を) 振った 「動詞」
 my hand マイ・ハント n. 手を 「目的語」
 and アント conj. そして
 called back, コールト・バック 1 単過(call back)v.i 返事をした 「動詞句」
 “Good work!” ゲット・ワーク adv. よくやった！ 「応答」
 From now on フロム・ナウ・オン adv. この頃から 「副詞句」
 there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 a steady stream ア・ステディ・ストリーム n. 一定の流れが 「主語」
 of private cars. オブ・プライヴェイト・カース adj. 自家用車の 「形容詞句」

空がまた変化していた；燃えるような赤い色が、地表から家の屋根を越えて上空に向かって広がっていった。

The sky had changed again; a reddish glow was spreading up beyond the housetops.

「主語」「動詞句」「副詞」；「主語」「動詞句」「副詞句」
 The sky ザ・スカイ n. 空が 「主語」
 had changed ハット・チェンジト 3 単過・完了形(change)v.i 変わっていた 「動詞句」
 again; アゲン adv. また 「副詞」
 a reddish glow ア・レッディッシュ・グロウ n. 燃えるような赤い色が 「主語」
 was spreading up ワズ・スプレディング・アップ 3 単過・進行形(spread) v.i 上空に向かって広がっていった 「動詞句」
 beyond the housetops. ビヨント・ザ・ハウストップス adv. 家の屋根を越えて 「副詞句」

夕暮れが近づくにつれて、通りはますますにぎやかになっていった。

As dusk set in, the street grew more crowded. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」
 As アズ conj. (比例) 〜するにつれて 「副詞節」
 dusk ダスク n. 夕暮れが 「主語」
 set in, セット・イン 3 単現(set in)v.i 近づく、向かう 「動詞句」
 the street ザ・ストリート n. 通りは 「主語」
 grew グルー 3 単過(grow)v.i (状態の変化) 〜になった 「動詞」
 more crowded. モア・クラウディット adj. より混雑した、にぎやかな 「補語」

Part 1 第1部

人々が散歩から戻ってくるところだった。僕は通行人の間に、太った妻を連れたあの小太りの男を認めた。

People were returning from their walks, and I noticed the dapper little man with the fat wife amongst the passers-by.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 People ヒューブル n. 人々が 「主語」
 were returning ワー・リターニグ 3 複過・進行形(return)v.i 戻ってくるところだった 「動詞句」
 from their walks, フロム・ゼア・ウォークス adv. 散歩から 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t 認めた、気づいた 「動詞」
 the dapper little man ザ・ダパー・リトル・マン n. あの小太りの男を 「目的語」
 with the fat wife ウイズ・ザ・ファット・ワイフ adj. 太った妻を連れた 「形容詞句」
 amongst アマングスト prep (位置) への間に 「副詞句」
 the passers-by. ザ・パサース・バイ pl.n 通行人たち 「目的語」

子供たちは疲れて、親たちの後ろを、しくしく泣いたり、だらだら歩いたりしていた。

Children were whimpering and trailing wearily after their parents.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 Children チルドレン n.pl 子供たちは 「主語」
 were whimpering ワー・ウインパリング 3 複過・進行形(whimper)v.i しくしく泣いていた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 trailing トレイリング 3 複過・進行形(trail)v.i だらだら歩いていた 「動詞句」
 wearily ウィアリー adv. 疲れて 「副詞」
 after their parents. アフター・ゼア・ペアレンツ adv. 親たちの後ろを 「副詞句」

少したって、界隈の映画館が観客を吐き出した。

After some minutes the local picture houses disgorged their audiences.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 After some minutes アフター・サム・ミニッツ adv. 数分後に 「副詞句」
 the local picture houses ザ・ロカル・ピクチャー・ハウゼス pl.n 界隈の映画館が 「主語」
 disgorged ディスコージト 3 複過 v.t 吐き出した 「動詞」
 their audiences. ゼア・オーティエンス pl.n 観客を 「目的語」

Part 1 第1部

映画館から出てきた若者たちが、大またで歩き、いつもより力強い身振りをしていることに僕は気が付いた；恐らく、彼らは西部劇を見たのだろう。

I noticed that the young fellows coming from them were taking longer strides and gesturing more vigorously than at ordinary times; doubtless the picture they'd been seeing was of the wild-West variety.

I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t 気づいた 「動詞」
 that サット conj. ～ということを 「目的語」
 the young fellows サ・ヤング・フェロウズ pl.n 若者たちは 「主語」
 coming from them カミング・フロム・ゼム adj. 映画館から出てきた 「形容詞句」
 were taking ワー・テイキング 3 複過・進行形(take)v.t 取っていた 「動詞句」
 longer strides リンガー・ストライズ pl.n 大また 「目的語」
 and アント conj. そして
 gesturing ジェスチャリング 3 複過・進行形(gesture)v.i 身振りをしていた 「動詞句」
 more vigorously モア・ヴィガスリー adv. より力強く 「副詞句」
 than at ordinary times; サン・アット・オーディナリー・タイム
 adv. (比較) いつもの時より 「副詞句」
 doubtless ダウトリス adv. おそらく 「副詞」
 the picture サ・ピクチャー n. その映画は 「主語」
 they'd been seeing ゼイト・ビーン・シーイング adj. 彼らが見た 「形容詞節」
 was ワズ (be)v.i ～だった 「動詞」
 of the wild-West variety. オフ・ザ・ワイルド・ウェスト・ヴァリエティ adj. 西部劇の 「補語」

中心街にある映画館に行った人たちは、少し遅れて戻ってきた。彼らはより落ち着いた感じに見えたが、中にはまだ笑っているものもいた。

Those who had been to the picture houses in the middle of the town came a little later, and looked more sedate, though a few were still laughing.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「補語」, though 「主語」「動詞句」
 Those ザウス pron.pl 人々は 「主語」
 who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」
 had been ハット・ビーン 3 複過・完了形(be)v.i ～に行った 「動詞句」
 to the picture houses トゥ・サ・ピクチャー・ハウゼス
 adv. 映画館に 「間接目的語」
 in the middle of the town イン・ザ・ミドル・オブ・ザ・タウン
 adv. 中心街にある 「副詞句」
 came ケイム 3 複過(come)v.i やって来た 「動詞」

Part 1 第1部

a little later, ア・リトル・レイター adv. 少し遅れて 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 looked ルックト 3 複過 v.i ~に見えた 「動詞」
 more sedate, モア・シデイト adj. より穏やかな、落ち着いた 「補語」
 though ゾウ conj. けれども
 a few ア・フュー n. 中には～もある 「主語」
 were still laughing. ワー・スティル・ラーフィング 3 複過・進行形(laugh)v.i まだ笑っていた 「動詞句」

それでも全体として、彼らはけだるそうで疲れ切っているように見えた。

On the whole, however, they seemed languid and exhausted.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

On the whole, オン・ザ・ホウル adv. 大体は、全体から見て 「副詞句」
 however, ハウエヴァー adv. しかしながら、それでも 「副詞」
 they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 seemed シームト 3 複過 v.i ~のように見えた 「動詞」
 languid ラングィット adj. けだるい、無気力な 「補語」
 and アンド conj. そして
 exhausted. イグゾースティット adj. 疲れ切った 「補語」

中には、僕の部屋の下の通りを歩き回る者もいた。

Some of them remained loitering in the street under my window.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Some of them サム・オブ・ゼム pron あるものは 「主語」
 remained+現在分詞 リメイント 3 複過・継続(remain+不定詞)v. ~し続いていた 「動詞句」
 loitering ロイトリング 現在分詞(loiter)v.i ぶらぶら歩く 「動詞句」
 in the street イン・ザ・ストリート adv. 通りを 「副詞句」
 under my window. アンダー・マイ・ウインドウ adv. 僕の部屋の下を 「副詞句」

娘たちが、腕を組んで歩きながら通り過ぎて行った。

A group of girls came by, walking arm in arm.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

A group of girls ア・グループ・オブ・ガールズ pl.n 娘たちが 「主語」
 came by, ケム・バイ 3 複過(come by)v.i 通り過ぎて行った 「動詞句」
 walking ウォーキング 現在分詞・同時進行(walk)adv. 歩きながら 「副詞句」
 arm in arm. アーム・イン・アーム adv. 腕を組んで 「副詞句」

Part 1 第 1 部

僕の部屋の下の若者たちは、娘たちを通すために脇に寄って、冗談を叫んだ。それを相手にせず、娘たちは顔をそむけて、くすくす笑った。

The young men under my window swerved so as to brush against them, and shouted humorous remarks, which made the girls turn their heads and giggle.

「主語」「動詞」「副詞句」,and「動詞」「目的語」,「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 The young men ザ・ヤング・メン pl.n 若者たちは 「主語」
 under アンダー prep 〜の下 「副詞句」
 my window マイ・ウィンドウ n. 僕の部屋 「目的語」
 swerved スワート 3 複過 v.i (車・人が) 脇に寄った、それた 「動詞」
 so as to brush ソウ・アズ・トゥ・ブラッシュ 不定詞・目的 v.i(against を) かすめるために 「副詞句」
 against them, アゲンスト・ゼム adv. 彼女らを 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 shouted シャウティット 3 複過 v.t 叫んだ 「動詞」
 humorous remarks, ユーモラス・リマークス pl.n 冗談を 「目的語」
 which フィッチ pron (継続) (主語) 〜する 「主語」
 made メイト 3 複過・使役(make)v.t 〜させた 「動詞」
 the girls ザ・ガールズ pron.pl 娘たちを 「目的語」
 turn ターン 不定詞・girls の動作 v.t 向きを変える 「補語」
 their heads ゼア・ヘッズ pl.n 彼女たちの顔を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 giggle. キグル 不定詞・girls の動作 v.i くすくす笑う 「補語」

僕は彼女たちが同じ町内の娘だと分かった。そして僕が知っている数人の娘は、窓を見上げて、僕に手を振って合図してきた。

I recognized them as girls from my part of the town, and two or three of them, whom I knew, looked up and waved to me.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」 and 「主語」「動詞句」 and 「動詞」「間接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 recognized レコグナイズト v.t (誰であるかが) 分かった 「動詞」
 them ゼム pron.pl 彼らが 「目的語」
 as girls アズ・ガールズ adv. 娘たちだと 「補語」
 from my part of the town, フロム・マイ・パート・オブ・ザ・タウン
 adv. 僕と同じ町内から来た 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 two or three of them, トゥ・オー・スリー・オブ・ゼム pron.pl 彼らの 2、3 人は 「主語」
 whom I knew, フォム・アイ・ニュー adj. 僕が知っている 「形容詞節」

Part 1 第1部

looked up ルク・アップ 3 複過(look up)v.i 見上げた 「動詞句」

and アンド conj. そして

waved ウェイヴト 3 複過(wave)v.i 手を振って合図した 「動詞」

to me. トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」

ちょうどその時、街灯が一斉に点灯した。暮れかけの夜空で輝き始めていた星たちは、街灯の光のためになお更薄暗くなってしまった。

Just then the street lamps came on, all together, and they made the stars that were beginning to glimmer in the night sky paler still.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時 「副詞句」

the street lamps ザ・ストリート・ランプス pl.n 街灯が 「主語」

came on, ケム・オン 3 複過(come on)v.i (電灯が) ついた、点灯した 「動詞句」

all together, オール・トゲザー adv. 一斉に 「副詞句」

and アンド conj. そして

they セイ pron それらは 「主語」

made メイト 3 複過・状態変化(make)v.t (SVO+状態 O を～に) した 「動詞」

the stars ザ・スターズ pl.n 星たちに 「目的語」

that ザット pron (主語) ～する 「形容詞節」

were beginning to glimmer ワー・ビギニング・トゥ・グリマー 3 複過・進行形

v.i 輝き始める 「動詞句」

in the night sky イン・ザ・ナイト・スカイ adv. 夜空中で 「副詞句」

paler still. ペイラー・スティル adj. (比較級) さらに青白く、薄暗く 「補語」

僕は通りを眺めていて、街灯の明かりや人々の動きなどのせいで、目の疲れを覚えた。

I felt my eyes getting tired, what with the lights and all the movement I'd been watching in the street.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

felt フェルト 1 単過・知覚動詞(feel)

v.t (SVO+不定詞・現在分詞 O が～するのを) 感じた 「動詞」

my eyes マイ・アイズ pl.n 僕の目が 「目的語」

getting tired, ゲテイング・タイト 現在分詞・eyes の動作 (get tired)

v.i 疲れていく 「補語」

what with +A and B ファット・ウィズ adv. (原因・複数) ～によって 「副詞句」

the lights ザ・ライツ pl.n 街灯の明かり 「目的語」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

all the movement オール・ザ・ムーヴメント pl.n 人々の動き 「目的語」

I'd been watching in the street. アイド・ビーン・ワチング・イン・ザ・ストリート

adj. 通りを眺めていた 「形容詞節」

街灯の下には小さな光のたまり場があつて、時々、路面電車が通り過ぎる時に、少女の髪の毛や、微笑や、銀のブレスレットを輝かせていた。

There were little pools of brightness under the lamps, and now and then a streetcar passed, lighting up a girl's hair, or a smile, or a silver bangle.

「動詞句」「主語」「副詞句」 and 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

There were ゼア・ワー 3 複過(there be)v.i ~があった 「動詞句」

little pools リトル・プールズ pl.n 小さなたまり場が 「主語」

of brightness オフ・ブライイトニス adj. 明りの 「形容詞句」

under アンダー prep (下方の位置) ~の下に 「副詞句」

the lamps, ザ・ランプス pl.n 街灯 「目的語」

and アンド conj. そして

now and then ナウ・アント・ゼン adv. (不規則な間隔を置いて) 時々 「副詞句」

a streetcar ア・ストリートカー n. 路面電車が 「主語」

passed, パスト 3 単過 v.i 通り過ぎた 「動詞」

lighting up ライトイング・アップ 現在分詞・同時進行(light up)v.t ~を照らしながら 「副詞句」

a girl's hair, ア・ガールズ・ヘア n. 少女の髪の毛を 「目的語」

or オア conj. または

a smile, ア・スマイル n. ほほえみを 「目的語」

or オア conj. または

a silver bangle. ア・シルバ-・バングル n. 銀のブレスレットを 「目的語」

フランス語の原文では : 路面電車が規則的な間隔で通り過ぎた

Les lampes faisaient luire le pavé mouillé, et les tramways, **à intervalles réguliers**, mettaient leurs reflets sur des cheveux brillants, un sourire ou un bracelet d'argent.

街灯は濡れた歩道をきらめかせ、路面電車は規則的な間隔で輝く髪の毛や、微笑みや、銀のブレスレットに照り返しの輝きを与えた。

Part 1 第1部

少し時間がたって、路面電車がさらに少なくなり、木々や街灯の上の空がビロードの黒のよう
 に見えてくると、通りはさらにほとんど感知できないほど人けがなくなり、誰もい
 なくなった時に、ネコが1匹、その夜の最初として人気のない通りをゆっくり横切った。

Soon after this, as the streetcars became fewer and the sky showed velvety black above the trees and lamps, the street grew emptier, almost imperceptibly, until a time came when there was nobody to be seen and a cat, the first of the evening, crossed, unhurrying, the deserted street.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞」「目的語」		
Soon after this, スーン・アフター・ズィス adv. (時間) 少し後で		「副詞句」
as アズ conj. ～するに従って		「副詞節」
the streetcars ザ・ストリートカース pl.n 路面電車が		「主語」
became ビケム 3 複過(become)v.i (状態が) ～になった		「動詞」
fewer フューワー adj. (比較級) より少ない		「補語」
and アント conj. そして		
the sky ザ・スカイ n. 空が		「主語」
showed ショウト 3 単過 v.i(SVC) ～に見えた (C は色彩・形容詞)		「動詞」
velvety black ウェルヴェティ・ブラック adj. ビロードの黒		「補語」
above the trees and lamps, アバヴ・ザ・トリス・アンド・ランプ ス		
adv. 木々や街灯の上の		「副詞句」
the street ザ・ストリート n. 通りは		「主語」
grew グルー 3 単過(grow)v.i (状態変化) ～になった		「動詞」
emptier, エンプティヤー adj. (比較級) ますます人気のない		「補語」
almost imperceptibly, オールモウスト・インハーセプチブリー		
adv. ほとんど感知できないほど		「副詞句」
until アンティル conj. ～するまで		「副詞節」
a time ア・タイム n. 時間が		「主語」
came ケム 3 単過(come)v.i 来る		「動詞」
when ホエン adv. その時～する		「副詞節」
there was ゼア・ワズ 3 単過・時制の一致(there be)		
v.i ～がいない		「動詞句」
nobody ノバディ pron 誰も～ない		「主語」
to be seen トゥ・ビー・シエン 不定詞・受動(see)		
adj. 見られる		「形容詞句」
and アント conj. そして		
a cat, ア・キャット n. 猫が		「主語」
the first of the evening, ザ・ファースト・オブ・ズィ・イヴニング adv. その夜の初めに		「副詞句」

Part 1 第1部

crossed, クロスト 3 単過 v.t 横切った 「動詞」
 unhurrying, アンハライニング adv. ゆっくりと 「副詞」
 the deserted street. ザ・デイズーティット・ストリート n. 人気のない通りを 「目的語」

何か夕食の用意をしたほうがいいと思った。

It struck me that I'd better see about some dinner. 「動詞」「目的語」「主語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

struck ストラック 3 単過(strike)v.t(SVO) (人の) 心に浮かんだ 「動詞」

me ミー pron 私の 「目的語」

It seems to me that.... 「私には～と思われる」より口語的

that ザット conj. ～ということが 「主語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd better see ハド・ベター・シー 1 単現・妥当(had better+不定詞 see)

v.i(about ～の) 用意をしたほうが良い 「動詞句」

about some dinner. アバウト・サム・ディナー adv. 何か夕食の 「間接目的語」

僕はかなり長い間、窓から通りを見下ろしながら椅子の背にもたれていたの、背筋を伸ばして立ちあがると首が痛んだ。

I had been leaning so long on the back of my chair, looking down, that my neck hurt when I straightened myself up.

「主語」「動詞句」「副詞句」,that 「主語」「動詞」「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

had been leaning ハッド・ビーン・リーニング 1 単過・完了形・進行形(lean)

v.i もたれていた 「動詞句」

so long ソウ・ロング adv. かなり長く 「副詞句」

on the back オン・ザ・バック adv. 背に 「副詞句」

of my chair, オフ・マイ・チェア adj. 椅子の 「形容詞句」

looking down, ルキング・ダウン 現在分詞・同時(look down)adv. 見下ろしながら 「副詞句」

that ザット conj. (so...that) (結果) それで～する

my neck マイ・ネック n. 首が 「主語」

hurt ハート 3 単過(hurt)v.i 痛んだ 「動詞」

when ホエン conj. ～すると 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

straightened myself up. ストレイトカント・マイセルフ・アップ 1 単過・再帰動詞(straighten onself up)

v.pr 背筋を伸ばして立ちあがった 「動詞句」

Part 1 第1部

僕は下に行って、パンとスパゲティを買ってきて、調理して、立ったままで食事した。

I went down, bought some bread and spaghetti, did my cooking, and ate my meal standing.

「主語」「動詞句」、「動詞」「目的語」、「動詞」「目的語」、
and 「動詞」「目的語」「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」
went down, ウェント・ダウン 1 単過(go down)v.i 降りた 「動詞句」
bought ボート 1 単過(buy)v.t 買った 「動詞」
some bread and spaghetti, サム・ブレッド・アンド・スパゲッティ pl.n パンとスパゲティを 「目的語」
did ディット 1 単過(do)v.t (動作を) した 「動詞」
my cooking, マイ・クッキング n. 調理を 「目的語」
and アンド conj. そして
ate エイト 1 単過(eat)v.t 食べた 「動詞」
my meal マイ・ミール n. 食事を 「目的語」
standing. スタンディング 現在分詞・同時 adv. 立ったままで 「副詞」

窓辺でタバコをもう一本吸おうと思ったが、夜風が少し冷たくなっていたので、やめた。

I'd intended to smoke another cigarette at my window, but the night had turned rather chilly and I decided against it.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

but 「主語」「動詞句」「補語」 and 「主語」「動詞」「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
'd intended to smoke ハッド・インテンディット・トゥ・スモーク 1 単過・完了形・意図(intend to+不定詞)
v.t (タバコを) 吸おうと思った 「動詞句」
another cigarette アナザー・シガレット n. タバコをもう一本 「目的語」
at my window, アット・マイ・ウインドウ adv. 窓辺で 「副詞句」
but バット conj. しかし
the night ザ・ナイト n. 夜が 「主語」
had turned ハッド・ターント 3 単過・完了形(turn)v.i (状態変化) 〜になっていた 「動詞句」
rather chilly ラザー・チリー adv. 少し寒い 「補語」
chilly チリー adj. うすら寒い rather ラザー adv. 少し、かなり

「かなり寒い」なら、rather cold を用いる

and アンド conj. それで

I アイ pron 僕は 「主語」
decided デイザイデット 1 単過 v.i (against O 〜を) しないことに決めた 「動詞」
against it. アゲンスト・イット adv. そうしないことに 「間接目的語」

Part 1 第1部

窓を閉めて戻ろうとしていた時、僕は鏡をちらりと見た。すると、鏡に反射して、アルコールランプとその横には数切れのパンが乗っているテーブルの片隅が見えた。

As I was coming back, after shutting the window, I glanced at the mirror and saw reflected in it a corner of my table with my spirit lamp and some bits of bread beside it.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 and 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

As アズ^ゝ conj. ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was coming back, ワズ^ゝ・カミング^ゝ・バック 1 単過・進行形(come back)

v.i 戻ろうとしていた

「動詞句」

after shutting アフター・シャットイング^ゝ adv. ～を閉めてから

「副詞句」

the window, ザ^ゝ・ウインド^ゝウ n. 窓を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

glanced グランスト 1 単過 v.i (at 意図的に～を) ちらっと見た

「動詞」

at the mirror アット・ザ^ゝ・ミラー adv. 鏡を

「間接目的語」

and アント^ゝ conj. そして

saw ソー 1 単過(see)v.t ～が見えた

「動詞」

reflected リフレクティット^ゝ 過去分詞 adv. (様態) 反射して

「副詞句」

in it イン・イット adv. 鏡に

「間接目的語」

a corner of my table ア・コーナー・オブ^ゝ・マイ・テーブル n. テーブルの片隅が

「目的語」

with ウイズ^ゝ prep (様態) ～のある

「副詞句」

my spirit lamp マイ・スピリット・ランプ^ゝ n. アルコールランプ

「目的語」

spirit スピリット n. 精神、(工業用) アルコール、蒸留酒

and アント^ゝ conj. そして

some bits of bread サム・ビッツ・オブ^ゝ・ブレット^ゝ pl.n 数切れのパン

「目的語」

beside it. ビサイド^ゝ・イット adv. ランプの横に

「副詞句」

僕はなんとか相変わらずの日曜日を切り抜けることが出来たと思った。つまり、いまでは母さんは埋葬が終わったし、明日になれば僕はまた普段通りに仕事に戻る予定だ。本当に、僕の生活で変わったことは何もなかった。

It occurred to me that somehow I'd got through another Sunday, that Mother now was buried, and tomorrow I'd be going back to work as usual. Really, nothing in my life had changed.

「動詞」 「間接目的語」 「主語」, that 「主語」 「副詞」 「動詞句」,

and 「副詞」 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

「副詞」 「主語」 「副詞句」 「動詞句」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

occurred オカ-ト^ゝ 3 単過 v.i(to O 人に) 思い浮かんだ、思った

「動詞」

Part 1 第1部

to me トゥ・ミー adv. 僕の心に	「間接目的語」
It occurred to me that... → ～が僕の心に浮かんだ、僕は～と思った	
that ザット conj. ～ということが	「主語」
somehow サムハウ adv. なんとか、とにかく	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd got ハット・ゴット 1 単過・完了形(get)v.i(through) 切り抜けた	「動詞句」
through another Sunday, スルー・アナサデー・サンデー	
adv. 相変わらずの日曜日を	「間接目的語」
another アナサデー よく似た、もう一つの	
that ザット conj. (事実の提示) ～ということである	
Mother マザー n. 母さんは	「主語」
now ナウ adv. 今では	「副詞」
was buried, ワズ・ベアイト 3 単過・受動(bury)v.t 埋葬された	「動詞句」
and アンド conj. そして	
tomorrow トゥモロウ adv. 明日は	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd be going back ウット・ビー・ゴイング・バック 1 単未・意思(go back)v.i 戻る予定だ	「動詞句」
to work トゥ・ワーク adv. 仕事に	「間接目的語」
as usual. アズ・ユージュアル adv. 普段どおりに	「副詞句」
Really, リアリー adv. 実際は、本当に	「副詞」
nothing ナッシング pron 何も～ない	「主語」
in my life イン・マイ・ライフ adv. 僕の生活で	「副詞句」
had changed. ハット・チェンジト 3 単過・完了形・否定文(change)v.i 変わらなかった	「動詞句」

occur カ- : v.i おこる、生じる、思い出される、現れる

It never occurred to me that my words would hurt her feelings.

私の言ったことが彼女を傷つけるとは考えもつかなかった。

Didn't it occur to you to call me up? (否定疑問文は相手を責める気持ちが強く出る)

私に電話をかけることぐらい思いつかなかったのか?

Part 1 第 1 部

III

今朝は会社で忙しく働いた。社長は上機嫌だった。

I HAD a busy morning in the office. My employer was in a good humor.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

HAD ハット 1 単過(have)v.t (行動を) した

「動詞」

a busy morning ア・ビジー・モーニング n. 忙しい朝

「目的語」

in the office. イン・スイ・オフィス adv. 会社で

「副詞句」

My employer マイ・エンプロイヤー n. 社長は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

in a good humor. イン・ナ・グット・ヒューモア adv. 上機嫌の

「補語」

彼は僕に疲れたのではないかと尋ね、続けて、母さんの歳も尋ねてきた。

He even inquired if I wasn't too tired, and followed it up by asking what Mother's age was.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

even イヴン adv. ~さえ

「副詞」

inquired インクワイアド 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

if イフ conj. ~かどうかということ

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞」

too tired, トゥ・タイド adj. 疲れすぎた

「補語」

and アンド conj. そして

followed ...up フォロウト ...アップ 3 単過(follow up)v.i(by+現在分詞) 続けて~をした 「動詞句」

it イット pron それ

「目的語」

by asking バイ・アスキング adv. ~することを

「副詞句」

what ファット pron どれほど

「補語」

Mother's age モザーズ・エイジ n. 母さんの年は

「主語」

was. ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

Part 1 第1部

僕は少し考えて、間違えたくなかったので、「だいたい 60」と答えた。

I thought a bit, then answered, “Round about sixty,” as I didn’t want to make a blunder.

「主語」「動詞」「副詞句」、「副詞」「動詞」《「応答」》、「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソト 1 単過(think)v.i 考えた

「動詞」

a bit, ア・ビット adv. 少し

「副詞句」

then ゼン adv. それから

「副詞」

answered, アンサード 1 単過 v.t 答えた

「動詞」

“Round about sixty,” ラウン・ダバウト・シクスティ adv. だいたい 60

「応答」

as アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn’t want to make デイdn’t・ウント・トゥ・メイク 1 単過・願望・否定(want to+不定詞)

v.t. ～を作りたくなかった

「動詞句」

a blunder. ア・ブランダ－ n. 誤りを

「目的語」

なぜか分からないが、彼は何かにほっとしたように見えた。そして、この件は終わったと
考えているように見えた。

At which he looked relieved—why I can’t imagine—and seemed to think that closed the matter.

「間接目的語」「主語」「動詞」「補語」、「副詞節」、「動詞句」「目的語」

At which アット・フィッチ adv. 何に

「間接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

looked ルクト 3 単過 v.i. ～のように見えた

「動詞」

relieved—レリーヴト adj. ほっとした

「補語」

why, ホワイ adv. なぜか

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

can’t imagine—キャント・イマジン 1 単現・可能・否定 v.t 想像できない

「動詞句」

and アント conj. そして

seemed to think シームト・トゥ・シンク 3 単過・推測(seem to+不定詞)

v.t. 考えているように見えた

「動詞句」

that サット conj. ～ということ

「目的語」

closed クロズト 3 単過 v.i 終わった

「動詞」

the matter. サ・マター n. この件が

「主語」

Part 1 第1部

僕のデスクには山のように船荷証券があって、全部処理しなければならなかった。

There was a pile of bills of lading waiting on my desk, and I had to go through them all.

「動詞句」「主語」「副詞句」,and「主語」「動詞句」「目的語」

There was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ～があった 「動詞句」

a pile of bills ア・パイル・オブ・ビルズ n. 手形の山が 「主語」

of lading waiting オフ・レイディング・ウェイトイング adj. 船荷証券の 「形容詞句」

on my desk, オン・マイ・デスク adv. 私のデスクには 「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 私は 「主語」

had to go through ハット・トゥ・ゴウ・スルー 1 単過・必要(have to+不定詞 go through)

v.t 片づけなければならなかった、やりきる 「動詞句」

them all. ゼム・オール pron それらを全部 「目的語」

船荷証券（ふなにしょうけん）：a bill of lading

貿易における船積書類のひとつ。船会社など運送業者が発行し、貨物の引き受けを証明し、当該貨物受け取りの際の依拠とする。英語では B/L と略す。船積書類のうち、もっとも重要な書類である。

昼食に出る前に、僕は手を洗った。僕はいつも正午の手洗いを楽しみにしている。

Before leaving for lunch I washed my hands. I always enjoyed doing this at midday.

「副詞句」,「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

Before +現在分詞 ビ・フォー adv. ～する前に 「副詞句」

leaving リーヴィング 現在分詞(leave)v.i(for に) 出発する 「動詞」

for lunch フォー・ランチ adv. (目的) 昼食に 「間接目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

washed ウォッシュト 1 単過 v.t 洗った 「動詞」

my hands. マイ・ハズ pl.n 手を 「目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」

enjoyed エンジョイト 1 単過・時制の一致 v.t 楽しんでいる 「動詞」

doing トゥイング 現在分詞 n. ～することを 「目的語」

this スィズ pron 手洗いを 「目的語」

at midday. アット・ミッドエイ adv. 正午に 「副詞句」

Part 1 第1部

午後になると、大勢の人が使った回転タオルはびしょぬれになるので、手洗いがあまり楽しくなくなる。

In the evening it was less pleasant, as the roller towel, after being used by so many people, was sopping wet.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 「副詞節」

In the evening イン・ズィ・イヴニング adv. 夕方になると

「副詞句」

it イット pron 手洗いは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致・変化(be)v.i 〜になる

「動詞」

less pleasant, レス・プレザント adj. あまり楽しくない

「補語」

as アズ conj. (理由) 〜なので

「副詞節」

the roller towel, ザ・ローラー・タオル n. 回転タオルは

「主語」

after + 現在分詞・受動形 アフター adv. (時間) 〜された後では

「副詞句」

being used ビーイング・ユースト 現在分詞・受動形(use)

v.t 使われた

「動詞句」

by so many people, バイ・ソ・メニー・ピープル adv. (動作主) 大勢に

「副詞句」

was sopping ワズ・ソッピング 3 単過・進行形・時制の一致(sop)

v.i びしょぬれになる

「動詞句」

wet. ウェット adj. 湿った

「補語」

僕はこのことを1度社長に言ったことがある。

I once brought this to my employer's notice.

「主語」 「副詞」 「動詞」 「直接目的語」 「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

once ワンス adv. 1 度

「副詞」

brought ブロート 1 単過(bring)v.t(SV O-1 to O-2's notice) O-1 を O-2 に知らせた

「動詞」

this ズィス pron このことを

「直接目的語」

to my employer's notice. トゥ・マイ・エンプロイヤー・ズ・ノティス adv. 社長に

「間接目的語」

「それは遺憾なことだ」と、社長は認めた。「しかし、自分の考えでは、ほんの些細なことだ」僕はいつもより少し遅く12時半に、配送部門で働いているエマヌエルと一緒に会社を出た。

It was regrettable, he agreed—but, to his mind, a mere detail. I left the office building a little later than usual, at half-past twelve, with Emmanuel, who works in the Forwarding Department.

《「主語」 「動詞」 「補語」》, 「主語」 「動詞」 《but, 「副詞句」 「補語」》

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

It イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜である

「動詞」

Part 1 第1部

regrettable, リグレタブル adj. 遺憾な	「補語」
he ヒー pron 社長は	「主語」
agreed—アグリートゝ 3 単過 v.i 認めた	「動詞」
but, バット conj. しかし	
to his mind, トゥ・ヒズ・マインドゝ adv. 彼の考えでは	「副詞句」
a mere detail. ア・ミーア・ディテイル n. ほんの些細な事	「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
left レフト 1 単過(leave)v.t ~を出た	「動詞」
the office building スィ・オフィス・ビルディング n. 会社を	「目的語」
a little later than usual, ア・リトル・レイター・ザン・ユージュアル adv. いつもより少し遅く	「副詞句」
at half-past twelve, アット・ハーフ・パースト・トゥエルヴゝ adv. 12 時半に	「副詞句」
with Emmanuel, ウィズ・エマニュエル adv. エマヌエルと一緒に	「副詞句」
who フー pron (主語) ~する	「形容詞節」
works ワークス 3 単現 v.i 働いている	「動詞」
in the Forwarding Department. イン・ザ・フォーワードイング・ディパーチャー adv. 配送部門で	「副詞句」

フランス語の原文では

社長自身が「それは、ほんの些細な事」だと言ったことが、分かりやすく書かれている。
彼は、そのことは遺憾なことだと答えたが、続けて、それでも取るに足らない些細なこと
だと言った。

Il m'a répondu qu'il trouvait cela regrettable, mais que c'était tout de même un détail
sans importance.

この英文では、「but, ..., a mere detail」は、社長が続けて話した内容である。

「to his mind」は、挿入句で、ムルソーの推測を表している。

会社の建物からは海が見渡せる。僕たちは路肩の石段の上で少し立ち止まり、港に入っ
ている貨物船を眺めた。

Our building overlooks the sea, and we paused for a moment on the steps to look at the
shipping in the harbor. 「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」

Our building アウ・ビルディング n. 会社の建物は	「主語」
overlooks オヴアールックス 3 単現 v.t 見渡している	「動詞」
the sea, ザ・シー n. 海を	「目的語」
and アンド conj. そして	
we ウィー pron.pl 僕たちは	「主語」
paused ポースト 1 複過 v.i 立ち止まった	「動詞」

Part 1 第1部

for a moment	フォー・ア・モメント	adv. 少しの間	「副詞句」
on the steps	オン・ザ・ステップス	adv. 路肩の石段で	「副詞句」
to look	トゥ・ルック	不定詞・継続 adv. そして～を見た	「副詞句」
at the shipping	アット・ザ・シッピング	adv. 貨物船を	「間接目的語」
shipping	シッピング	n. 船積み、海運業、船舶 + 船荷証券 → 貨物船	
in the harbor.	イン・ザ・ハーバー	adv. 港にいる	「副詞句」

太陽は焼けつくように熱かった。ちょうどその時、大きいトラックがチェーンとエンジンの爆音を轟かせて近づいてきた。するとエマニュエルが、これに飛び乗らないかと誘ってきた。

The sun was scorching hot. Just then a big truck came up, with a din of chains and backfires from the engine, and Emmanuel suggested we should try to jump it.

「主語」「動詞」「補語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「目的語」

The sun	ザ・サン	n. 太陽は	「主語」
was	ワズ	3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
scorching hot.	スコーチング・ホット	adj. 焼けつくように熱い	「補語」
Just then	ジャスト・ゼン	adv. ちょうどその時	「副詞句」
a big truck	ア・ビッグ・トラック	n. 大きいトラックが	「主語」
came up,	ケイム・アップ	3 単過(come up)v.i 近づいてきた、やって来た	「動詞句」
with	ウィズ	prep (様態) ~をして	「副詞句」
a din	ア・デイン	n. 騒音	「目的語」
of chains	オブ・チェインズ	adj. チェーンの	「形容詞句」
and	アンド	conj. そして	
backfires	バックファイア	n. バックファイア	
	adj. バックファイアの		「形容詞句」
from the engine,	フロム・ズ・イ・エンジン	adv. エンジンの	「副詞句」
and	アンド	conj. そして	
Emmanuel	エマニュエル	n. エマニュエルは	「主語」
suggested	サジェスティッド	3 単過 v.t 提案した	「動詞」
we	ウィー	pron 僕たちが～することを	「目的語」
should try to jump	シュッド・トライ・トゥ・ジャンプ	1 複現・勧誘(should+不定詞)	
	v.t ~に飛び乗って見ないか		「動詞句」
it.	イト	pron これに	「目的語」

Part 1 第1部

僕は走り始めた。トラックは既にかかなり遠くに行ってしまったので、僕たちはかなりの距離を追いかける必要がなかった。

I started to run. The truck was well away, and we had to chase it for quite a distance.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 started to run. スタート・トゥ・ラン 1 単過・開始(start to+不定詞)v.i 走り始めた 「動詞句」
 The truck ザ・トラック n. トラックは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜にいた 「動詞」
 well away, ウェル・アウェイ adv. かなり離れて 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 we ウー pron 僕たちは 「主語」
 had to chase ハット・トゥ・チェイス 1 複現・必要(have to+不定詞)
 v.t 追いかける必要がなかった 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 for quite a distance. フォー・クワイ・ア・ディスタンス adv. かなりの距離を 「副詞句」

僕はエンジンの熱と騒音になかば目がくらんだ。

What with the heat and the noise from the engine, I felt half dazed.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」
 What with ファット・ウィズ adv. (原因) 〜によって 「副詞句」
 the heat ザ・ヒート n. 熱 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the noise ザ・ノイズ n. 騒音 「目的語」
 from the engine, フロム・ス・イ・エンジン adv. エンジンの 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 felt フェルト 1 単過(feel)v.i 感じた 「動詞」
 half dazed. ハーフ・デイズト adj. なかば呆然とした 「補語」
 フランス語の原文では
 僕は騒音と埃に包み込まれた。
 J'étais noyé dans le bruit et la poussière.

Part 1 第1部

僕が気付いたものといえば、黒い船体に横付けされたクレーンとウィンチに囲まれ、沖合には揺れるマストが見える埠頭での、無謀な疾走がすべてだった。

All I was conscious of was our mad rush along the water front, amongst cranes and winches, with dark hulls of ships alongside and masts swaying in the offing.

「主語」「動詞」「補語」

All オール pron すべては

「主語」

I アイ pron 僕が

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

conscious of コンシャス・オブ adj. 気づいた

「補語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

our mad rush アウワ・マッド・ラッシュ n. 無謀な疾走

「補語」

along the water front, アロング・ザ・ウォーター・フロント adv. 埠頭での

「副詞句」

amongst アマングスト prep(= among) ~の間で

「副詞句」

cranes and winches, クレイズ・アント・ウィンチズ

pl.n クレーンとウィンチ

「目的語」

with ウイズ prep (様態) ~の付いた

「副詞句」

dark hulls ダーク・フルズ pl.n 黒い船体

「目的語」

of ships オフ・シップス adj. 船の

「形容詞句」

alongside アロング・サイト adv. 横づけに

「副詞」

and アンド conj. そして

masts マスト pl.n マスト

「目的語」

swaying スウェイキング 現在分詞 adj. 揺れている

「形容詞」

in the offing. イン・ズィ・オフイング adv. 沖合で

「副詞句」

僕が最初にトラックに追いついた。飛びついて、無事に乗り移ると、エマヌエルが僕の隣に這い上がるのを手助けした。

I was the first to catch up with the truck. I took a flying jump, landed safely, and helped Emmanuel to scramble in beside me.

「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞句」 and 「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

the first ザ・ファースト n. 最初

「補語」

to catch up with トゥ・キャッチアップ・ウィズ 不定詞・同格 adj. ~に追いついた

「形容詞句」

the truck. ザ・トラック n. トラックに

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 1 第1部

took トゥック 1 単過(take)v.t (行動を) した	「動詞」
a flying jump, ア・フライング・ジャンプ n. 飛びつき、飛び乗り	「目的語」
flying jump フライング・ジャンプ n. 走り高跳び	
landed safely, ランデイト・セフリー 1 単過 v.i 無事に乗り移れた	「動詞句」
and アンド conj. そして	
helped ヘルプト 1 単過 v.t 助けた	「動詞」
Emmanuel エマニュエル n. エマヌエルを	「目的語」
to scramble in トゥ・スクランブル・イン 不定詞・Emmanuel の動作 v.i 這い上がる	「補語」
beside me. ビ・サイト・ミー adv. (位置) 僕の隣に	「副詞句」

僕らは二人とも息が切れてしまったが、凸凹に敷き詰められた敷石の上を走るトラックの
ものすごい振動が追い打ちをかけてきた。

<u>We were both of us out of breath</u> , and <u>the bumps of the truck on the roughly laid cobbles</u> <u>made things worse</u> .	「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
We ウィー pron 僕たちは	「主語」
were ワー 1 複過(be)v.i 〜だった	「動詞」
both of us ボス・オブ・アッス adv. 二人とも	「副詞句」
out of breath, アウト・オブ・ブレス adj. 息が切れた	「補語」
and アンド conj. そして	
the bumps ザ・バンプス pl.n 打撃は	「主語」
of the truck オブ・ザ・トラック adj. トラックの	「形容詞句」
on the roughly laid cobbles オン・ザ・ラフリー・レイト・コブルズ adv. 凸凹に敷き詰められた敷石の上での	「副詞句」
laid レイト 過去分詞・受動(lay)adj. 敷き詰められた cobbles コブルズ pl.n. 石炭、大礫	
made メイト 3 複過(make)v.t (状態を) した	「動詞」
things シングス pl.n 事態を	「目的語」
worse. ワース adj. (比較級) より悪い	「補語」

エマニュエルは満足そうに笑って、僕の耳元で言った。「やったぞ！」

<u>Emmanuel chuckled</u> , and <u>panted in my ear</u> , “ <u>We’ve made it!</u> ”	「主語」「動詞」 and 「動詞」「副詞句」《「主語」「動詞」「目的語」》
Emmanuel エマニュエル n. エマニュエルは	「主語」
chuckled, チャクルト 3 単過 v.i (気持ちよさそうに) くすくす笑った	「動詞」
and アンド conj. そして	
panted パンテイト 3 単過 v.t 息を切らして言った	「動詞」
in my ear, イン・マイ・イヤ adv. 僕の耳元で	「副詞句」

Part 1 第1部

“We ウィー pron 俺たちは 「主語」
 ’ve made ハヴ・メイト 1 複現・完了形(make)v.t (行動を) やった 「動詞句」
 it!” イット pron それを 「目的語」

僕たちはずっと汗まみれのままで、セレストの店に着いた。

By the time we reached Céleste’s restaurant we were dripping with sweat.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

By the time バイ・ザ・タイム conj. ～するまでずっと 「副詞節」
 we ウィー pron 僕たちが 「主語」
 reached リーチト 1 複過 v.t ～に着いた 「動詞」
 Céleste’s restaurant セステス・レストラン n. セレストのレストランに 「目的語」
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 were dripping ワー・ドリップング 1 複過・進行形(drip)v.i(with が) したたっていた 「動詞句」
 with sweat. ウイズ・スェット adv. 汗が 「間接目的語」

セレストは、大きな腹の上に前掛けを膨らまし、よく手入れした白い口髭という姿で、入り口のそばのいつもの場所にいた。

Céleste was at his usual place beside the entrance, with his apron bulging on his paunch, his white mustache well to the fore.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

Céleste セステ n. セレストは 「主語」
 was ワズ 3 単過・存在(be)v.i ～にいた 「動詞」
 at his usual place アット・ヒズ・ユージュアル・プレイス adv. いつもの場所に 「副詞句」
 beside the entrance, ビサイト・ザ・エントランス adv. 入口のそばの 「副詞句」
 with ウイズ prep (様態) ～の様子で 「副詞句」
 his apron ヒズ・エイプロン n. 前掛け 「目的語」
 bulging バルジング 現在分詞 adj. 膨らんでいる 「形容詞」
 on his paunch, オン・ヒズ・ポUNCH adv. 腹の上で 「副詞句」
 his white mustache ヒズ・ホワイ・マスターシュ n. 白い口髭 「目的語」
 well ウェル adv. よく 「副詞」
 to the fore. トゥ・ザ・フォー
 adj. 準備できている、手入れされた 「形容詞句」

Part 1 第1部

彼は僕を見ると、慰めてくれた。「あまり落ち込むなよ！」

When he saw me he was sympathetic and “hoped I wasn’t feeling too badly.”

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」 and 《「動詞」「目的語」》

When ヘン conj. ～すると

「副詞節」

he ヒ pron 彼が

「主語」

saw ソー 3 単過(see)v.t 見た

「動詞」

me ミ pron 僕を

「目的語」

he ヒ pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

sympathetic シンパセチック adj. 同情する、思いやりのある

「補語」

and アント conj. そして

“hoped ホプト 命・2 単現・助言(hope)v.t (that ～することを) 期待する

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

wasn’t feeling ワズント・フィーリング 1 単過・進行形・時制の一致(feel)

v.i 感じない

「動詞句」

too badly.” ツー・バドリー adv. (否定文で) あまりひどく

「副詞句」

僕は答えた：「元気だよ。でもひどく腹がへった」

I said, “No,” but I was extremely hungry.

「主語」「動詞」, 《「応答」, but 「主語」「動詞」「補語」》

I アイ pron 僕は

「主語」

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“No,” ノウ adv. 落ち込んでいない、大丈夫、元気だ

「応答」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

extremely hungry. イクストリームリー・ハングリー adj. ひどく腹が減った

「補語」

Part 1 第1部

僕は大きくて食べ、最後にコーヒーを何杯か飲んだ。

I ate very quickly and had some coffee to finish up.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

ate エイト 1 単過(eat)v.t 食べた

「動詞」

very quickly ヴェリー・クイックリー adv. 大きくて

「副詞句」

and アンド conj. そして

had ハット 1 単過(have)v.t (飲み物を) 飲んだ

「動詞」

some coffee サム・コーヒー n. ① コーヒーを何杯か

「目的語」

コーヒーの種類や具体的な数量が示される時は、n. ②である。

Will you make some coffee for me? コーヒーを入れてくれますか?

Two black coffees, please. ブラックコーヒーをふたつ、お願いします。

to finish up. トゥ・フィニッシュ・アップ 不定詞・目的 adv. 最後に

「副詞句」

それから自分の部屋に戻り、ワインを飲みすぎたので少し眠った。

Then I went to my place and took a short nap, as I'd drunk a glass of wine too many.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」「副詞節」

Then セン adv. それから

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

went ウェント 1 単過(go)v.i (元の場所へ) 戻った

「動詞」

to my place トゥ・マイ・プレイス adv. 僕の部屋に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

took トック 1 単過(take)v.t (動作を) した

「動詞」

a short nap, ア・ショート・ナップ n. 短い眠り、うたた寝

「目的語」

as アス conj. (理由) ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd drunk ハット・トランク 1 単過・完了形(drink)v.t 飲んだ

「動詞句」

a glass of wine ア・グラス・オブ・ワイン n. ワインを

「目的語」

too many. トゥ・メニー adv. あまりにも

「副詞句」

Part 1 第1部

僕は目が覚めるとすぐに、ベッドから出る前にタバコを吸った。

When I woke I smoked a cigarette before getting off my bed.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

When ホエン conj. ～してすぐに

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

woke ウォーク 1 単過(wake)v.i 目を覚ました

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

smoked スモウト 1 単過 v.t (タバコを) 吸った

「動詞」

a cigarette ア・シガレット n. タバコを

「目的語」

before +現在分詞 ビフォー adv. (時間・順序) ～する前に

「副詞句」

getting ゲティング 現在分詞 v.i (off 場所から) 離れる

「動詞句」

off my bed. オフ・マイ・ベッド n. ベッドから

「間接目的語」

僕は少し遅くなったので、バスに間に合うように走った。会社は息詰まるほど暑かった。

午後はずっと熱心に仕事をした。

I was a bit late and had to run for the streetcar. The office was stifling, and I was kept hard at it all the afternoon.

「主語」 「動詞」 「補語」 and 「動詞句」 「副詞句」

「主語」 「動詞」 「補語」 and 「主語」 「動詞」 「補語」 「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

a bit ア・ビット adv. 少しだけ

「副詞句」

late レイト adj. 遅れた

「補語」

and アンド conj. そして

had to run ガット・トゥ・ラン 1 単過・必要(have to+不定詞)

v.i 走らなければならなかった

「動詞句」

for the streetcar. フォー・ザ・ストリートカー adv. 電車に間に合うために

「副詞句」

The office スイ・オフィス n. 会社は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

stifling, スタイリング adj. 息詰まるほど暑い

「補語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

kept hard at it ケプト・ハード・アット・イット adj. 仕事を熱心にやった

「補語」

all the afternoon. オール・スイ・アフタヌーン adv. 午後はずっと

「副詞句」

Part 1 第 1 部

それで、会社が終わり、涼しい夕方に埠頭沿いをゆっくりぶらつくどほっとした。

So it came as a relief when we closed down and I was strolling slowly along the wharves in the coolness.

So ソ adv. それで 「副詞」
 it イット pron. それが 「主語」
 came ケム 3 単過(come)v.i 現れた、やってきた 「動詞」
 as a relief アズ・ア・リーフ adv. 慰めとして、救済として 「副詞句」
 when ホエン conj. ～すると 「副詞節」
 we ウー pron. 僕たちが 「主語」
 closed down クロズト・ダウン v.i (仕事が) 終業した 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron. 僕が 「主語」
 was strolling ワズ・ストロリング 1 単過・進行形(stroll)v.i ぶらついている 「動詞句」
 slowly スロリー adv. ゆっくりと 「副詞」
 along the wharves アロング・ザ・ワーヴズ adv.([複]warf) 埠頭沿いに 「副詞句」
 in the coolness. イン・ザ・クールニス adv. 夕方の涼しさのなかを 「副詞句」

空は緑色で、風通しの悪い会社の仕事が終わってから、屋外を歩くのは心地よかった。

The sky was green, and it was pleasant to be out-of-doors after the stuffy office.

「主語」「動詞」「補語」 and 「動詞」「補語」「主語」
 The sky ザ・スカイ n. 空は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 green, グリーン n. 緑色 「補語」
 and アンド conj. そして
 it イット pron. 仮の主語 (真の主語は to be 以降)
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 pleasant プレザント adj. 心地よい 「補語」
 to be トゥ・ビー 不定詞 n. ～にすることは 「主語」
 out-of-doors アウト・オブ・ドールズ adv. 屋外に 「副詞句」
 after the stuffy office. アフター・ザ・スタッフィー・オフィス
 adv. 風通しの悪い会社の後で 「副詞句」

Part 1 第1部

しかし、僕はジャガイモを茹でておきたかったので、真っすぐ家に帰った。

However, I went straight home, as I had to put some potatoes on to boil.

「副詞」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞節」

However, ハウエヴァー adv. しかし

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

went ウェント 1 単過(go)v.i (元の場所へ) 帰った

「動詞」

straight home, ストレイト・ホーム adv. まっすぐ家に

「間接目的語」

as アズ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

had to put ...on to boil. ハット・トウ・プット...オン・トゥ・ボイル 1 単過・必要(have to+不定詞)

v.t 茹でなければならなかった

「動詞句」

some potatoes サム・ポテイトズ pl.n ジャガイモを

「目的語」

階段を上がろうとした時、暗い踊り場で、同じ階に住んでいるサラマノ老人に出会った。

The hall was dark and, when I was starting up the stairs, I almost bumped into old Salamano, who lived on the same floor as I.

「主語」「動詞」「補語」and「副詞節」「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」

The hall サ・ホール n. (階段の) 踊り場は、廊下

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

dark ダーク adj. 暗い

「補語」

and, アント conj. そして

when ホエン conj. ~するとき

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was starting ワズ・スターティング 1 単過・進行形(start)v.i 動き始めた

「動詞句」

start スタート v.i(up) 動き始める

up the stairs, アップ・ザ・ステアーズ adv. 階段の上のほうへ

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

almost オールモスト adv. ほぼ

「副詞」

bumped バンプト 1 単過 v.i(into 人と) (偶然) 出会った

「動詞」

into old Salamano, イントゥ・オールド・サラマノ adv. サラマノ老人に

「間接目的語」

who フー pron (主語) ~する

「形容詞節」

lived リグト 3 単過・時制の一致 v.i 住んでいる

「動詞」

on the same floor オン・ザ・セム・フロア adv. 同じ階に

「副詞句」

as I. アズ・アイ adv. (比較) 僕と

「副詞句」

Part 1 第1部

いつものように犬を連れていた。

As usual, he had his dog with him. 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 As usual, アズ・ユージェアル adv. いつものように 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had ハット 3 単過(have)v.t ～を連れていた 「動詞」
 his dog ヒズ・トッグ n. 犬を 「目的語」
 with him. ウイズ・ヒム adv. 一緒に 「副詞句」

8 年の間、この老人と犬はいつも一緒にいた。

For eight years the two had been inseparable. 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」
 For eight years フォー・エイト・イヤーズ adv. 8 年の間 「副詞句」
 the two ザ・トゥ pl.n この老人と犬は 「主語」
 had been ハット・ビーン 3 複過・完了形(be)v.i ～だった 「動詞句」
 inseparable. インセパブル adj. 分離できない、離れられない 「補語」

サラマノのスパニエル犬は、疥癬だと思うが、皮膚病に苦しんでいる醜い獣だ。ともかく、その皮膚病のために全身の毛は抜けて、体は褐色のかさぶたに覆われている。

Salamano's spaniel is an ugly brute, afflicted with some skin disease—mange, I suspect; anyhow, it has lost all its hair and its body is covered with brown scabs.

「主語」「動詞」「補語」; 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」
 and 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Salamano's spaniel サラマノズ・スパニエル n. サラマノのスパニエル犬は 「主語」
 spaniel スパニエル n. スパニエル犬 (耳が長く脚の短い小・中形犬)
 is イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 an ugly brute, アン・アグリー・ブルート n. 醜い獣 「補語」
 afflicted アフリクティッド 過去分詞・受動(afflict)adj.(with に) 苦しむ 「形容詞句」
 with some skin disease—mange, ウイズ・サム・スキン・ディージーズ・メインジュ
 adv. (原因) 皮膚病、疥癬に 「副詞句」
 I アイ pron (主語) 僕は～する 「形容詞節」
 suspect; サスペクト 1 単現 v.t ～だろうと思う 「動詞」
 anyhow, エニハウ adv. とにかく 「副詞」
 it イット pron その皮膚病が 「主語」
 has lost ハズ・ロースト 3 単現・完了形(lose)v.t 失わせた 「動詞句」
 all its hair オール・イツ・ヘア n. 全身の毛を 「目的語」
 and アント conj. それで
 its body イツ・ボディ n. その体は 「主語」

Part 1 第1部

is covered イズ・カヴァート 3 単現・受動(cover)v.t 覆われている 「動詞句」
 with brown scabs. ウイズ・ブラウン・スカブズ adv. 褐色のかさぶたに 「副詞句」

恐らく、小さい部屋に犬と寄り添って住んでいるので、サラマノはその犬に似てきた。

Perhaps through living in one small room, cooped up with his dog, Salamano has come to resemble it. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Perhaps ハップス adv. おそらく 「副詞」

through スルー prep (原因) ーのために 「副詞句」

living リヴィング 現在分詞(live)v.i 生活している 「動詞」

in one small room, イン・ワン・スモール・ルーム adv. 小さい部屋で 「副詞句」

cooped up クープト・アップ 過去分詞・受動・理由(coop up)
 adv. 閉じ込められていたので 「副詞句」

with his dog, ウイズ・ヒズ・ドッグ adv. 犬と一緒に 「副詞句」

Salamano サラマノ n. サラマノは 「主語」

has come to resemble ハズ・カム・トゥ・レゼンブル 3 単現・完了形・推移(come to+不定詞)
 v.t ーに似てきた 「動詞句」

come to+不定詞 「ーするようになる、結局ーする」

it. イット pron その犬に 「目的語」

彼の亜麻色の髪はだいぶうすくなっていたし、顔には赤みがかった発疹があった。

His towy hair has gone very thin, and he has reddish blotches on his face. 「主語」 「動詞句」 「補語」 and 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

His towy hair ヒズ・トワイ・ヘア n. 彼の亜麻色の髪は 「主語」

has gone ハズ・ゴーン 3 単現・完了形 v.i (人・物が) ー (の状態に) なっていた 「動詞句」

He is going blind. 彼は目が見えなくなっている。

very thin, ヴェリー・スイン adj. とても薄い、まばらな 「補語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

has ハズ 3 単現(have)v.t ーがある 「動詞」

reddish blotches レディッシュ・ブロットス n. 赤みがかった発疹 「目的語」

on his face. オン・ヒズ・フェイス adv. 顔には 「副詞句」

Part 1 第1部

そしてその犬は、主人の体を丸めた奇妙な歩き方の癖を受け継ぎ始めた；この犬はいつも鼻ずらを前に突き出し、鼻を地面に近づける歩き方をするのだ。

And the dog has developed something of its master's queer hunched-up gait; it always has its muzzle stretched far forward and its nose to the ground.

And 「主語」「動詞句」「目的語」；

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「補語」 and 「目的語」「副詞句」

And アント conj. そして

the dog ザ・ドッグ n. その犬は 「主語」

has developed ハズ・ディヴェロッツト 3 単現・完了形 v.t (傾向などを) 持ち始めた 「動詞句」

something サムシグ pron 何かを 「目的語」

of its master's オブ・イツ・マスターズ adj. その主人の 「形容詞句」

queer hunched-up gait; クィア・ハント・アップ・ゲイト

n. 体を丸めた奇妙な歩き方 「目的語」

queer クィア adj. 奇妙な hunched-up ハント・アップ adj. 体を丸めた gait ゲイト n. 足取り

it イット pron それは 「主語」

always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」

has ハズ 3 単現・使役(have)v.t (SVO+過去分詞) ～させる 「動詞」

its muzzle イツ・マスル n. 鼻づらを、鼻の先端 「目的語」

stretched ストレッチト 過去分詞・muzzle の動作(stretch)v.i 突き出す 「補語」

far forward ファー・フォワード adv. ずっと前に 「副詞句」

and アント conj. そして

its nose イツ・ノーズ n. その鼻を 「目的語」

to the ground. トゥ・ザ・グラウンド adv. 地面に 「副詞句」

しかし、妙な話だが、これ程似ているというのに、彼らはお互いに憎みあっている。

But, oddly enough, though so much alike, they detest each other.

But 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

But, バット conj. しかし

oddly enough, オドリー・イフ adv. 妙な話だが、不思議なことに 「副詞句」

though so much alike, ゴウ・ソ・マッチ・アライク adv. これ程似ているというのに 「副詞句」

they ゼィ pron 彼らは 「主語」

detest ディテスト 3 複現 v.t 憎んでいる 「動詞」

each other. イーチ・アザー n. 互いを 「目的語」

each other イーチ・アザー n. お互い (副詞句ではないので注意)

Part 1 第 1 部

1 日に 2 回、11 時と 6 時に老人は犬を散歩に連れて行く。そして 8 年間、その道のりは変わったことがない。

Twice a day, at eleven and six, the old fellow takes his dog for a walk, and for eight years that walk has never varied.

「副詞句」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 and 「副詞句」「主語」「動詞句」
 Twice a day, トゥワイス・ア・デイ adv. 1 日に 2 回 「副詞句」
 at eleven and six, アット・イレヴン・アンド・シックス adv. 11 時と 6 時に 「副詞句」
 the old fellow スィ・オールド・フェロウ n. 老人は 「主語」
 takes テイクス 3 単現 v.t 連れていく 「動詞」
 his dog ヒズ・ドッグ n. 犬を 「直接目的語」
 for a walk, フォー・ア・ウォーク adv. 散歩に 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 for eight years フォー・エイト・イヤーズ adv. 8 年間 「副詞句」
 that walk ザット・ウォーク n. その道のりは 「主語」
 has never varied. ハズ・ネヴァー・ヴァリエード 3 単現・完了形・否定(vary)
 v.i 変わったことがない 「動詞句」

彼らはリヨン街で見かけられる。その犬は力いっぱい主人を引っ張り、ついには主人がまずいて転びそうになる。

You can see them in the rue de Lyon, the dog pulling his master along as hard as he can, till finally the old chap misses a step and nearly falls.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「目的語」「補語」
 You ユー pron 君たちは 「主語」
 can see キャン・シー 2 複現・可能性 v.t 見かけるかもしれない 「動詞句」
 them ゼム pron 彼らを 「目的語」
 in the **rue de Lyon**, イン・ザ・リュ・ドゥ・リヨン adv. リヨン街で 「副詞句」
 rue de Lyon はフランス語を英語に翻訳し忘れた → in the **street of Lyon**
 仏 rue, 英 street は、通り、街、街路を意味する
 the dog ザ・ドッグ n. その犬が 「目的語」
 pulling ...along プリンク ...アロンク 現在分詞・dog の動作(pull)adj. 引っ張っている 「補語」
 his master ヒズ・マスター n. 主人を 「目的語」
 as hard as he can, アズ・ハート・アズ・ヒー・キャン adv. 力いっぱい 「副詞句」
 till finally テイル・ファイナリー conj. 挙句の果てに～するまで 「副詞節」
 the old chap スィ・オールド・チャップ n. 老人が 「主語」
 misses ミスイズ 3 単現 v.t しそこなう 「動詞」
 a step ア・ステップ n. 歩みを 「目的語」

Part 1 第1部

and アンド conj. そして

nearly falls. ニアリー・フォールズ v.i 転びそうになる

「動詞句」

すると老人は犬を殴って、罵る。

Then he beats his dog and calls it names.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」and「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Then セン adv. すると、それで

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

beats ビーツ 3 単現 v.t 殴る

「動詞」

his dog ヒズ・ドッグ n. 犬を

「目的語」

and アンド conj. そして

calls コールズ 3 単現 v.t 呼ぶ

「動詞」

it イット pron それに

「間接目的語」

names. ネイズ pl.n 悪口を

「直接目的語」

call O names 「O をののしる、罵倒する、～の悪口を言う」

犬は怯えてすくみ、後ろをのろのろ歩く。すると今度は、主人のほうで犬を引きずる番だ。

The dog cowers and lags behind, and it's his master's turn to drag him along.

「主語」「動詞」and「動詞」「副詞」,and「動詞」「補語」「主語」

The dog サ・ドッグ n. 犬は

「主語」

cowers カウズ 3 単現 v.i (怯えて) すくむ、縮こまる

「動詞」

and アンド conj. そして

lags ラグズ 3 単現 v.i のろのろ歩く

「動詞」

behind, ビハインド adv. 後ろを

「副詞」

and アンド conj. そして

it イット pron 仮の主語 (真の主語は to drag 以降)

's イズ 3 単現 (be)v.i ～である

「動詞」

his master's turn ヒズ・マスターズ・ターン n. 主人の番

「補語」

to drag ...along. トゥ・トラッグ ...アロング 不定詞 n. 地面を引きずるのは

「主語」

him ヒム pron 犬を

「目的語」

Part 1 第 1 部

やがて犬は今のことを忘れて、また革ひもを引っ張り始める。そして再び殴られ、罵られる。

Presently the dog forgets, starts tugging at the leash again, gets another hiding and more abuse. 「副詞」「主語」「動詞」, 「動詞句」「間接目的語」「副詞」, 「動詞」「目的語」

Presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく 「副詞」

the dog ザ・ドッグ n. 犬は 「主語」

forgets, フォグッツ 3 単現 v.t (今のことを) 忘れる 「動詞」

starts tugging スタート・タッキング 3 単現・開始(start+現在分詞)

v.i(at を) 引き始める 「動詞句」

at the leash アット・ザ・リーシュ adv. (動物をつなぐ) 革ひもを 「間接目的語」

again, アゲン adv. ふたたび 「副詞」

gets ゲッツ 3 単現 v.t 受け取る 「動詞」

another hiding アナザー・ハディング n. またひっぱたきを 「目的語」

and アンド conj. そして

more abuse. モア・アビュース n. さらなる罵りを 「目的語」

そうすると、彼ら、人間と犬の 1 組は、歩道で立ち止まる。そして、犬は恐れを抱き、人は目に憎悪の念を浮かべて、お互いににらみ合う。

Then they halt on the pavement, the pair of them, and glare at each other; the dog with terror and the man with hatred in his eyes.

「副詞」, 「主語」「動詞」「副詞句」「主語」 and 「動詞」「間接目的語」;

「主語」「副詞句」 and 「主語」「副詞句」

Then セン adv. それから、そうすると 「副詞」

they セイ pron 彼らは 「主語」

halt ホルト 3 複現 v.i 立ち止まる 「動詞」

on the pavement, オン・ザ・ペヴメント adv. 歩道で、舗装道路で 「副詞句」

the pair of them, ザ・ペア・オブ・ゼム n. 人間と犬の 1 組は 「主語」

and アンド conj. そして

glare グレア 3 複現 v.i(at を) にらみつける 「動詞」

at each other; アット・イチ・アザー adv. お互いを 「間接目的語」

the dog ザ・ドッグ n. 犬は 「主語」

with terror ウイズ・テラー adv. (様態) 恐れを抱いて 「副詞句」

and アンド conj. そして

the man ザ・マン n. 人は 「主語」

with hatred in his eyes. ウイズ・ヘイトリット・イン・ヒズ・アイズ

adv. (様態) 目に憎悪の念を浮かべて 「副詞句」

Part 1 第1部

hatred ヘイトリット^ン n. 憎しみ、憎悪、嫌悪

毎日彼らは散歩に出ては、このようなことをしている。

Every time they're out, this happens. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞」, 「主語」 「動詞」
 Every time エヴリ・タイム adv. いつも、毎回、毎日 「副詞句」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 're アー 3 複現(be)v.i ~に行く 「動詞」
 out, アウト adv. 外に 「副詞」
 this ズィス pron これが 「主語」
 happens. ハプンス^ズ 3 単現 v.i 起こる 「動詞」

犬が街灯の柱のところで止まろうとしても、老人は犬を止まらせずに、引っ張り続ける。
 すると犬は自分の背後に小さなしずくの一筋の跡を残していく。

When the dog wants to stop at a lamppost, the old boy won't let him, and drags him on,
and the wretched spaniel leaves behind him a trail of little drops.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 and 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」
 and 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」
 When ホエン conj. (譲歩) ~しても 「副詞節」
 the dog ザ・ドッグ^ズ n. 犬が 「主語」
 wants to stop ワンツ・トゥ・ストップ^ズ 3 単現・願望(want to+不定詞)
 v.i 止まろうとする 「動詞句」
 at a lamppost, アット・ア・ランプ・ポスト adv. 街灯の柱のところで 「副詞句」
 the old boy ズィ・オールド・ボーイ n. 老人は 「主語」
 won't let ワント・レット 3 単現・使役・否定(let)v.t ~させない 「動詞句」
 him, ヒム pron 犬に 「目的語」
 and アンド^ズ conj. そして
 drags ...on, ドラッグズ...オン 3 単現 v.t 引き続ける 「動詞句」
 on は「ある動作を続ける」意味の「副詞」
 him ヒム pron 犬を 「目的語」
 and アンド^ズ conj. そして
 the wretched spaniel ザ・レッチャード・スパニエル n. 惨めなスパニエル犬は 「主語」
 leaves リーヴズ^ズ 3 単現 v.t 残していく 「動詞」
 behind him ビ・ハインド・ヒム adv. 自分の背後に 「副詞句」
 a trail ア・トレイル n. 一筋の跡を 「目的語」
 of little drops. オフ・リトル・ドロップス^ズ adj. 小さなしずくの 「形容詞句」

Part 1 第 1 部

フランス語の原文では

絶対分詞構文を使用して、犬が小粒の尿を垂れ流しながら引きずられる様を描写している。

Quand le chien veut uriner, le vieux ne lui en laisse pas le temps et il le tire, l'épagneul semant derrière lui une traînée de petites gouttes.

犬が尿をしたくなった時でも、老人はその時間を与えずに犬を引っ張っていくので、そのスパニエル犬は自分の後ろに小さなしずくの痕跡をまき散らしながら引きずられていく。

しかし、犬が室内でたれ流したりすれば、また殴られることになる。

But, if he does it in the room, it means another hiding.

But 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

But, バット conj. しかし

if イフ conj. (仮定) もし〜すると

「副詞節」

he ヒー pron 犬が

「主語」

does ダズ 3 単現(do) v.t ~をする

「動詞」

it イット pron それを

「目的語」

in the room, イン・ザ・ルーム adv. 室内で

「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

means ミーンズ 3 単現 v.t 意味する

「動詞」

another hiding. アナザー・ハイドイング n. さらなる殴打

「目的語」

それは 8 年間このように続いてきた。そしてセレストはいつも「ひどい話だ」と言い、それに対して何かがなされるべきだと言っている；しかし、実際は誰もよく分かっていない。

It's been going on like this for eight years, and Céleste always says it's a "crying shame," and something should be done about it; but really one can't be sure.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」, and 「主語」 「副詞」 「動詞」 「目的語」

and 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 but 「副詞」 「主語」 「動詞句」 「補語」

It イット pron それは

「主語」

's been going on ハズ・ビーン・ゴーイング・オン 3 単現・完了形・進行形(go on)

v.i (事が) 続いてきた

「動詞句」

like this ライク・ズ・イズ adv. このように

「副詞句」

for eight years, フォー・エイト・イヤーズ adv. 8 年間

「副詞句」

and アンド conj. そして

Céleste セステ n. セレストは

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

says セズ 3 単現 v.t 言っている

「動詞」

it's a "crying shame," イッツ・ア・クライイング・シェム n. 大変な恥だ

「目的語」

Part 1 第1部

and アント conj. そして	
something サムシング pron 何か	「主語」
should be done シュット・ビー・ダン 3 単現・妥当・受動 v.t なされるべきだ	「動詞句」
about it; アバウト・イット adv. それについて	「副詞句」
but バット conj. しかし	
really リアリー adv. 実際は	「副詞」
one ワン pron 人は	「主語」
can't be キャント・ビー 3 単現・可能性・否定 v.i ~でないに違いない	「動詞句」
sure. シュア adj. 確かな	「補語」

僕が階段の踊り場で彼に出会った時、サラマノは犬を怒鳴りつけていた。犬に向かって、くそつたれとか、小汚い雑種野郎とか呼びつけていた。犬は弱々しく泣いていた。

When I met him in the hall, Salamano was bawling at his dog, calling him a bastard, a lousy mongrel, and so forth, and the dog was whining.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」 and 「主語」 「動詞句」

When ホエン conj. ~するときに	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
met メット 1 単過(meet)v.t (偶然) 出会った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「目的語」
in the hall, イン・ザ・ホール adv. 階段の踊り場で	「副詞句」
Salamano サラマノ n. サラマノは	「主語」
was bawling ワズ・ボールング 3 単過・進行形(bawl)v.i(at に向かって) 怒鳴っていた	「動詞句」
at his dog, アット・ヒズ・ドッグ adv. 犬に	「間接目的語」
calling コーリング 現在分詞・同時 adv. 呼びつけながら	「副詞句」
him ヒム pron 犬を	「目的語」
a bastard, ア・バスタート n. くそつたれ	「補語」
a lousy mongrel, ア・ラウジー・モングレル n. 小汚い雑種野郎	「補語」
lousy ラウジー adj. 汚い mongrel モングレル n. 雑種犬	
and so forth, アント・ソウ・フォース adv. などなど	「補語」
and アント conj. そして	
the dog ザ・ドッグ n. 犬は	「主語」
was whining. ワズ・ワイニング 3 単過・進行形(whine)v.i 哀れっぽく泣いていた	「動詞句」

Part 1 第1部

「今晚は！」と、僕は言った。しかし老人は関心を示さず、ののしり続けた。

I said, "Good evening," but the old fellow took no notice and went on cursing.

「主語」「動詞」, 《「挨拶」》, but 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

"Good evening," ゲット・イブニング adv. 今晚は

「挨拶」

but バット conj. しかし

the old fellow スイ・オールド・フェロウ n. 老人は

「主語」

took トック 3 単過(take)v.t 持った

「動詞」

no notice ノ・ナチス n. 関心を～ない

「目的語」

and アンド conj. そして

went on cursing. ウェント・オン・カーシング 3 単過・継続(go on+現在分詞 curse)

v.i ののしり続けた

「動詞句」

curse カース v.i,v.t ののしる、のろう

それで僕は、犬が何をしたのかを聞くべきだと思った。

So I thought I'd ask him what the dog had done.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

So ソ adv. それで

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t 思った

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd ask シュット・アスク 1 単現・義務 v.t 聞くべきである

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

what ファット pron 何を～するかということ

「直接目的語」

the dog ザ・ドッグ n. 犬が

「主語」

had done. ハット・ダン 3 単過・完了形(do)v.t やった

「動詞句」

今回も彼は答えずに、叫び続けた。「いまいましい野良犬め！」

Again, he didn't answer, but went on shouting, "You bloody cur!" and the rest of it.

「副詞」, 「主語」「動詞句」, but 「動詞句」, 《「呼びかけ」》

Again, アゲン adv. また、再び

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

didn't answer, デイトント・アンサー 3 単過・否定 v.i 答えなかった

「動詞句」

but バット conj. しかし

went on shouting, ウェント・オン・シャウティング 3 単過・継続(go on+現在分詞)

Part 1 第1部

v.t 叫び続けた 「動詞句」
 “You ュー pron お前 「呼びかけ」
 bloody cur!” ブラディ・カール n. いまいましい野良犬 「呼びかけ」
 and アンド conj. そして
 the rest of it. ザ・レスト・オブ・イット n. などなど 「呼びかけ」

僕は、はっきりとは見えなかったが、犬の首輪あたりに何かを固定しているように思われた。

I couldn't see very clearly, but he seemed to be fixing something on the dog's collar.
 「主語」「動詞句」「副詞句」, but 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't see クエン・シー 1 単過・可能・否定 v.t 見えなかった 「動詞句」
 very clearly, ヴェリー・クリアー adv. (否定文で) はっきりとは～ない 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 seemed to be fixing シームト・トク・ビー・フィクシング 3 単過・推測(seem to+不定詞・進行形)
 v.t 固定しているように見えた 「動詞句」
 something サムシング pron 何かを 「目的語」
 on the dog's collar. オン・ザ・ドッグス・カラー adv. 犬の首輪あたりを 「副詞句」

僕は少し声を張り上げて言った。

I raised my voice a little. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 raised レイズト 1 単過 v.t 張り上げた 「動詞」
 my voice マイ・ヴォイス n. 声を 「目的語」
 a little. ア・リトル adv. 少し 「副詞句」

彼は、前を向いたまま、怒りを押し殺すように呟いた：「いつもこんな調子だ。こん畜生！」

Without looking round, he mumbled in a sort of suppressed fury: “He's always in the way, blast him!” 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」: 《「主語」「動詞」「補語」 | 「間投」》
 Without looking round, ウィズアウト・ルッキング・アラウンド adv. 周りを見回したりせずに 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 mumbled マンブルト 3 単過 v.i つぶやいた 「動詞」
 in a sort of suppressed fury: イン・ナ・ソート・オブ・サブレスト・フュアリー
 adv. 怒りを押し殺すように 「副詞句」

Part 1 第1部

“He は pron 奴は 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 always in the way, オルウェイズ・イン・ザ・ウェイ adv. いつもこんな調子の 「補語」
 blast him!” ブラスト・ヒム adv. こん畜生! 「間投」

それから彼は階段を降り始めたが、犬は逆らって、四肢を突っ張らせて床にへばりついた。
 それで老人は一步ごとに革ひもを引っ張って犬を立ち上がらせなければならなかった。

Then he started up the stairs, but the dog tried to resist and flattened itself out on the floor, so he had to haul it up on the leash, step by step.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」,but「主語」「動詞句」and「動詞句」「副詞句」
 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Then セン adv. それから 「副詞」
 he は pron 彼は 「主語」
 started スタート 3 単過 v.i 動き始めた 「動詞」
 up the stairs, アップ・ザ・ステアズ adv. 階段を上に向かって 「副詞句」
 start up the stairs 「階段を上る」→ start down the stairs 「階段を下りる」
 but バット conj. しかし
 the dog ザ・ドッグ n. 犬は 「主語」
 tried to resist トライト・トゥ・レジスト 3 単過・試行(try to+不定詞)v.t 逆らおうとした 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 flattened itself out フラットド・イットセルフ・アウト 3 単過・再帰動詞
 v.pr 自分自身の体を伸ばした 「動詞句」
 on the floor, オン・ザ・フロア adv. 床の上で 「副詞句」
 so ソ adv. それで 「副詞」
 he は pron 彼は 「主語」
 had to haul ...up ハット・トゥ・ホール...アップ 3 単過・必要(have to+不定詞 haul up)
 v.t 引っ張って立ち上がらせなければならなかった 「動詞句」
 it イット pron 犬を 「目的語」
 on the leash, オン・ザ・リーシュ adv. 革ひもで 「副詞句」
 step by step. ステップ・バイステップ adv. 一步一步 「副詞句」

フランス語の原文では

Puis il **est parti** en tirant la bête ...

それから彼は犬を引っ張りながら立ち去った...

→ サラマノ老人は部屋に戻ったのではなく、犬と散歩に出かけた → start down...

Part 1 第1部

丁度その時、僕と同じ階に住んでいるもう一人の男が通りから入ってきた。

Just then another man who lives on my floor came in from the street.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Just then ジャスト・ゼン adv. 丁度その時

「副詞句」

another man アナザー・マン n. もう一人の男が

「主語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

lives リヴズ 3 単現 v.i 住んでいる

「動詞」

on my floor オン・マイ・フロア adv. 僕と同じ階に

「副詞句」

came in ケイム・イン 3 単過 v.i 入ってきた

「動詞句」

from the street. フロム・ザ・ストリート adv. 通りから

「副詞句」

この界隈のうわさによれば、彼はひもらしい。

The general idea hereabouts is that he's a pimp.

「主語」「動詞」「補語」

The general idea ザ・ジェネラル・アイデア n. 世間一般の意見は

「主語」

hereabouts ヒアバウツ adv. この辺りの

「副詞」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

that ザット conj. ～ということ

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

a pimp. ア・ピンプ n. (売春婦の) ひも

「補語」

しかし、本人に仕事は何かと確認すると、倉庫の管理人とのことだ。

But if you ask him what his job is, he says he's a warehouseman.

But 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

if イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

you ユー pron 君が

「主語」

ask アスク 2 単現 v.t 聞く

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

what his job is, フォット・ヒズ・ジョブ・イズ n. 彼の仕事は何かと

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

says セイズ 3 単現 v.t 言う

「動詞」

he's a warehouseman. ヒー・イズ・ア・ウェアハウス・マン n. 倉庫の管理人であると

「目的語」

Part 1 第1部

一つ確かなこと：彼はこの界限ではあまり評判がよくない。

One thing's sure: he isn't popular in our street.

「主語」「動詞」「補語」：「主語」「動詞」「補語」

One thing ワン・シング n. 一つは

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i 〜である

「動詞」

sure: シュア adj. 確かな

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

isn't イズント 3 単現・否定(be)v.i 〜でない

「動詞」

popular ホピュラー adj. 評判の良い

「補語」

in our street. イン・アワ・ストリート adv. この界限では

「副詞句」

それでも、彼は時々僕に話をする。世間話をしに僕の部屋に立ち寄ることもたまにあるが、それは僕が彼の話を聞いてやるからだ。

Still, he often has a word for me, and drops in sometimes for a short talk in my room, because I listen to him.

「副詞」, 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

and 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「副詞節」

Still, スティル adv. それでも

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

often オフン adv. 時々

「副詞」

has ハズ 3 単現(have)v.t (行為を) する

「動詞」

a word for me, ア・ワート・フォー・ミー n. 私に話を

「目的語」

and アント conj. そして

drops in ドロップス・イン 3 単現 v.i 立ち寄る

「動詞句」

sometimes サムタイムズ adv. 時々

「副詞」

for a short talk フォー・ア・ショート・トーク adv. 世間話をしに

「副詞句」

in my room, イン・マイルーム adv. 僕の部屋に

「間接目的語」

because ビ・コーズ conj. 〜なので

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

listen リスン 1 単現 v.i 聞く

「動詞」

to him. トゥ・ヒム adv. 彼の話を

「間接目的語」

Part 1 第1部

実際のところ、彼の言うことはとても面白いと思う。

As a matter of fact, I find what he says quite interesting.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」

As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実際のところ

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

find ファインド 1 単現 v.t(SVOC O が C だと) 思う、分かる

「動詞」

what he says フワット・ヒー・セズ n. 彼の言うことが

「目的語」

quite interesting. クワイ・インテレスティング adj. とても面白い

「補語」

だから僕には、彼にそっけない態度をとる理由はない。

So, really I've no reason for freezing him off.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

So, ソウ adv. それで

「副詞」

really リアリー adv. 実際に

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

've ハヴ 1 単現(have)v.t ある

「動詞」

no reason ノ・リーズン n. 理由が～ない

「目的語」

for freezing ...off. フォー・フリージング ...オフ 現在分詞・目的

adj. ～に冷たい態度を示すための

「形容詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

彼の名前はサンテス；レーモン・サンテスだ。

His name is Sintès: Raymond Sintès.

「主語」 「動詞」 「補語」

His name ヒズ・ネム n. 彼の名前は

「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

Sintès; サンテス n. (フランス語読み) サンテス

「補語」

Raymond Sintès. レーモン・サンテス n. レーモン・サンテス

「補語」

彼は背が低く、小太りのがっしりした体で、鼻はボクサーのようだ。そしていつもこざれいな身なりをしている。

He's short and thick-set, has a nose like a boxer's, and always dresses very sprucely.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「動詞」 「目的語」, and 「副詞」 「動詞」 「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

short ショート adj. 背の低い

「補語」

and アンド conj. そして

thick-set, チック・セット adj. ずんぐりした、太くがっしりした

「補語」

Part 1 第1部

has ハズ 3 単現(have)v.t (身体的特徴を) している	「動詞」
a nose ア・ノーズ n. 鼻	「目的語」
like a boxer's, ライク・ア・ボクサーズ adj. ボクサーのような	「形容詞句」
and アンド conj. そして	
always オールウェイズ adv. いつも	「副詞」
dresses ドレスイズ 3 単現 v.i 服を着ている、身なりをしている	「動詞」
very sprucely. ウェリー・スプルスリー adv. とてもこざれいに	「副詞句」
spruce スプルス adj. こざれいな、着こなしのいい、しゃれた	

また彼はある時僕に、サ라마ノのことに触れて、「まったく残念なことだ」と言っていたことがある。それから彼は僕に、彼の犬の扱い方を見ていやにならないかと尋ねた。

He, too, once said to me, referring to Salamano, that it was “a damned shame,” and asked me if I wasn’t disgusted by the way the old man served his dog.

「主語」「副詞句」「動詞」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」,
and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He, ヒー pron 彼は	「主語」
too, トゥ adv. また	「副詞」
once ワンス adv. 一度、かつて	「副詞」
said セット 3 単過(say)v.t 言っていた	「動詞」
to me, トゥ・ミー adv. 僕に	「間接目的語」
referring リファリング 現在分詞・同時(refer)adv. ～に触れて、～に関して	「副詞句」
to Salamano, トゥ・サラマノ adv. サ라마ノのことに	「間接目的語」
that ザット conj. ～ということを	「直接目的語」
it イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
“a damned shame,” ア・ダムド・シェム n. 「ひどく残念なこと」	「補語」
and アンド conj. そして	
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
if イフ conj. ～かどうかということを	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
wasn’t disgusted ワズント・ディスクスティット 1 単過・受動・否定・時制の一致(disgust)	
v.t いやにならない	「動詞句」
by the way バイ・ザ・ウェイ adv. (原因) あのやり方に対して	「副詞句」
the old man スィ・オールド・マン n. あの老人が	「主語」
served サーヴト 3 単過・時制の一致 v.t 扱う	「動詞」

Part 1 第1部

his dog. ヒズ・ドッグ n. 犬を

「目的語」

「そんなことはない」と、僕は答えた。

I answered: “No.”

「主語」「動詞」:《「応答」》

I アイ pron 僕は

「主語」

answered: アンサード 1 単過 v.t 答えた

「動詞」

“No.” ノー adv. (否定) いや

「応答」

僕たち、サンテスと僕は一緒に階段を上がった。そして僕が自分の部屋の方へ向かおうとした時、彼が言った：

We went up the stairs together, Sintès and I, and when I was turning in at my door, he said:

「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」, and 「副詞節」, 「主語」「動詞」

We ウィー pron 僕たちは

「主語」

went ウェント 1 複過(go)v.i 行った、進んだ

「動詞」

up the stairs アップ・ザ・ステアズ adv. 階段の上のほうへ

「副詞句」

together, トギザザー adv. 一緒に

「副詞」

Sintès and I, サンテス・アント・アイ pl.n サンテスと僕は

「主語」

and アント conj. そして

when ホエン conj. ～すると

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was turning in ワズ・ターニング・イン 1 単過・進行形(turn in)

v.i 向かおうとした

「動詞句」

at my door, アット・マイ・ドアー adv. 僕の部屋のドアのほうへ

「副詞句」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said: セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

「ちょっと！おれの所でつまんで行きませんか？腸詰とワインがあるんだが」

“Look here! How about having some grub with me? I’ve a black pudding and some wine.”

《「呼びかけ」 | 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

“Look here! ルック・ヒア adv. (注意喚起) ちょっと！

「呼びかけ」

How about having ハウ・アバウト・ハヴィング

adv. (勧誘) ～を食べるのはどうですか？

「副詞句」

some grub サム・グラブ n. 食べ物を

「目的語」

with me? ウイズ・ミー adv. 俺と一緒に

「副詞句」

I アイ pron 俺は

「主語」

’ve ハヴ 1 単現(have)v.t ～がある

「動詞」

Part 1 第1部

a black pudding ア・ブラック・プディング n. 腸詰 「目的語」
 and アンド conj. そして
 some wine.” サム・ワイン n. ワイン 「目的語」

夕食を作る手間が省けそうだと、という考えが僕の頭に浮かんだ。それで、誘いに応じた。

It struck me that this would save my having to cook my dinner, so I said, “Thanks very much.” 「動詞」「目的語」「主語」, 「副詞」「主語」「動詞」, 《「応答」》

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 節)

struck スラック 3 単過(strike)v.t (考えが) (人) の心に浮かんだ 「動詞」

me ミー pron 私に 「目的語」

that サット conj. ～ということが 「主語」

this ズィス pron これは 「主語」

would save ウット・セイヴ 3 単過・推測 v.t ～を省くかもしれない 「動詞句」

my having to cook my dinner, マイ・ハヴィング・トゥ・クック・マイ・ディナー

n. 夕食を作らなければならない手間を 「目的語」

so ソー adv. それで 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“Thanks very much.” サクス・ヴェリー・マッチ adv. どうも有難う 「応答」

彼のところも、寝室が1つに、窓の無い小さい台所だけだった。

He, too, has only one room, and a little kitchen without a window.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

He, ヒー pron 彼は 「主語」

too, トゥ adv. ～も、同様に 「副詞」

has ハズ 3 単現(have)v.t ～があった 「動詞」

only one room, オンリー・ワン・ルーム n. 1 部屋だけ、寝室 「目的語」

and アンド conj. そして

a little kitchen ア・リトル・キッチン n. 小さな台所 「目的語」

without a window. ウィズアウト・ア・ウィントゥ adj. 窓のない 「形容詞句」

Part 1 第1部

ベッドの頭の上の方に白とピンク色の漆喰でできた天使像があるのが目に入った。そして、向かい側の壁にピンで留められたチャンピオンやヌード女性の写真なども見えた。

I saw a pink-and-white plaster angel above his bed, and some photos of sporting champions and naked girls pinned to the opposite wall.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t. ～が見えた

「動詞」

a pink-and-white plaster angel ア・ピ・ンク・アント・ホワイ・プ・ラスター・エイジ^{エル}

n. 白とピンク色の漆喰でできた天使像

「目的語」

above his bed, アバヴ・ヒズ・ヘット^{adv.} ベッドの上に

「副詞句」

and アント^{conj.} そして

some photos サム・フォツス^{pl.n} 何枚かの写真

「目的語」

of オフ^{prep} (限定) ～の

「形容詞句」

sporting champions スポーティング・チャンピオンズ^{pl.n} チャンピオンたち

「目的語」

and アント^{conj.} そして

naked girls ネイキッド・ガールズ^{pl.n} ヌードの女性たち

「目的語」

pinned ピント^{過去分詞・受動(pin)adj.} ピンで留められた

「形容詞句」

to the opposite wall. トゥ・ザ・オパジット・ウォール

adv. 向かい側の壁に

「副詞句」

ベッドは乱れたままで、部屋は汚かった。

The bed hadn't been made and the room was dirty.

「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」「補語」

The bed ザ・ヘット^{n.} ベッドは

「主語」

hadn't been made ハント・ビーン・メイド^{3 単過・完了形・受動(make)}

v.t. 整えられていなかった

「動詞句」

make a bed 「ベッドと整える、片付ける」

and アント^{conj.} そして

the room ザ・ルーム^{n.} 部屋は

「主語」

was ワズ^{3 単過(be)v.i} ～だった

「動詞」

dirty. ターティー^{adj.} 汚い

「補語」

Part 1 第1部

彼はまずパラフィンランプを点火した。それからポケットの中を探って、かなり汚れた包帯を取り出して、右手に巻き付けた。僕はなにかもめごとがあったのかと尋ねた。

He began by lighting a paraffin lamp; then fumbled in his pocket and produced a rather grimy bandage, which he wrapped round his right hand. I asked him what the trouble was. 「主語」「動詞句」「目的語」；「副詞」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」，

「目的語」「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

began by lighting ビギン・バイ・ライティング 3 単過・まず(begin by+現在分詞)

v.t まず点火した

「動詞句」

a paraffin lamp; ア・パ・ラフィン・ランプ n. パラフィンランプを

「目的語」

then ゼン adv. それから

「副詞」

fumbled ファンブルト 3 単過 v.i 手探りした

「動詞」

in his pocket イン・ヒズ・ポケット adv. ポケットの中を

「副詞句」

and アンド conj. そして

produced プロデュースト 3 単過 v.t 取り出した

「動詞」

a rather grimy bandage, ア・ラーサー・グリミー・バンディジ n. かなり汚れた包帯を

「目的語」

which フィッチ pron それを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

wrapped ラップト 3 単過 v.t 巻きつけた

「動詞」

round his right hand. ラウンド・ヒズ・ライト・ハント adv. 右手の周りに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

what フワット conj. 何が～するかということ

「直接目的語」

the trouble ザ・トラブル n. もめごとが

「主語」

was. ワズ 3 単過・存在(be)v.i ～あった

「動詞」

パラフィンランプ：

重油の留分から蠟分を除去した絞り油を真空蒸留した、パラフィン油を燃料とするランプ。



Part 1 第1部

彼は、自分をイライラさせる男がいて、喧嘩になったのだと言った。

He told me he'd been having a roughhouse with a fellow who'd annoyed him.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

told トルド 3 単過(tell)v.t(that ～と) 言った

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd been having ハット・ヒー・ン・ハウイング 3 単過・完了形・進行形(be)

v.i ～があった

「動詞句」

a roughhouse ア・ラフハウス n. 大ゲンカが

「目的語」

with a fellow ウイズ・ア・フェロウ adv. ある男と

「副詞句」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

'd annoyed ハット・アノイド 3 単過・完了形(annoy)

v.t イライラさせた

「動詞句」

him. ヒム pron 彼を

「目的語」

「俺は、もめごとを起こしたい訳じゃあない」と、彼は説明した。「ただ、おれは少し気が短いだけなんだ」

"I'm not one who looks for trouble," he explained, "only I'm a bit short-tempered.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞」「主語」「動詞」「補語」》

"I アイ pron 俺は

「主語」

'm not アム・ノット 1 単現・否定(be)v.i ～でない

「動詞」

one ワン pron 男、人間

「補語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

looks for ルックス・フォー 3 単現 v.t ～を招く、期待する

「動詞句」

trouble," トラブル n. もめごとを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

explained, イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した

「動詞」

"only オンリー adv. ただ

「副詞」

I アイ pron 俺は

「主語」

'm アム 1 単現(be)v.i ～である

「動詞」

a bit short-tempered. ア・ビット・ショート・テンパート adj. 少し気が短い

「補語」

Part 1 第1部

相手の奴は、《男なら、電車を降りろ！》と、挑発的な口調で俺に言ったんだ。

That fellow said to me, challenging-like, 'Come down off that streetcar, if you're a man.'

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

That fellow ザット・フェロウ n. 相手の奴は

「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

to me, トゥ・ミー adv. 俺に

「間接目的語」

challenging-like, チャレンジング・ライク adv. 挑発的な口調で

「副詞句」

'Come down カム・ダウン 命・2 単現 v.i 降りろ

「動詞句」

off that streetcar, オフ・ザット・ストリートカー adv. 路面電車から

「副詞句」

if イフ conj. ～ならば

「副詞節」

you ユー pron お前が

「主語」

're アー 2 単現(be)v.i ～である

「動詞」

a man. 'ア・マン n. 男

「補語」

俺は言ってやった。《静かにしているろ！お前には関係がない！》

I says, 'You keep quiet, I ain't done nothing to you.'

「主語」「動詞」,

“「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」”

I アイ pron 俺は

「主語」

says, セズ 1 単現 v.t 言った

「動詞」

'You ユー pron お前は

「主語」

keep ケーフ 2 単現・命令 v.i ～のままでいろ

「動詞」

quiet, クワイエット adj. おとなしい

「補語」

I アイ pron 俺は

「主語」

ain't done エイント・ダン 1 単現・完了形・否定(do)v.t しなかった

「動詞句」

ain't = am not または have not

nothing ナシング pron 何も～ない

「直接目的語」

to you. 'トゥ・ユー adv. お前に

「間接目的語」

→ お前には関係がない I have nothing to do with you.

それとも、→ まだお前に何もしていない、今のうちに止めておけ

Part 1 第1部

すると、奴は俺には根性がないと言った。それで、彼を落ち着かせた。

Then he said I hadn't any guts. Well, that settled it.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「動詞」「目的語」

Then ゼン adv. すると、それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 俺は

「主語」

hadn't ハドント 1 単過・否定・時制の一致(have)v.t ～がない

「動詞句」

any guts. エニー・ガッツ pl.n (否定文で) 根性が～ない

「目的語」

Well, ウェル adv. それで

「副詞」

that ザット pron そのため

「副詞」

settled セトルド 1 単過 v.t 落ち着かせた

「動詞」

it. イット pron 相手を

「目的語」

俺は路面電車から降りて、奴に言った：《口を閉じていろ、それとも、俺が閉じてやろうか？》

I got down off the streetcar and I said to him, 'You better keep your mouth shut, or I'll shut it for you.'

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞」「間接目的語」

“「主語」「動詞句」「目的語」「補語」, or 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」”

I アイ pron 俺は

「主語」

got down ゴット・ダウン 1 単過(get down)v.i (高いところから) 降りた

「動詞句」

off the streetcar オフ・ザ・ストリートカー adv. (分離) 路面電車から

「副詞句」

get off も「降りる」意味だが、down で「降りる様子」を表し、off は「～から」を表す
and アンド conj. そして

I アイ pron 俺は

「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

to him, トゥ・ヒム adv. 彼に

「間接目的語」

'You ユー pron お前は

「主語」

better keep ベター・キープ 2 単現・忠告(had better+不定詞: had が省略)

v.t ～のままにしたほうがいい

「動詞句」

your mouth ユア・マウス n. 口を

「目的語」

shut, シャット adj. 閉じた

「補語」

or アー conj. さもなければ

I アイ pron 俺が

「主語」

Part 1 第1部

'll shut ウィル・シャット 1 単未・意思 v.t 閉じてやろう 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 for you.' フォー・ユー adv. お前の代わりに 「副詞句」

「お前さんのお手並みを拝見したいものだ」と、彼が言う。

'I'd like to see you try!' says he. “「主語」「動詞句」「目的語」「補語」”, 「動詞」「主語」
 'I アイ pron 俺は 「主語」
 'd like to see ウッド・ライク・トゥ・シー 1 単現・願望・仮定・知覚動詞(would like to+不定詞)
 v.t 出来るなら見たいものだが 「動詞句」
 you ユー pron お前が 「目的語」
 try!' トライ 不定詞・you の動作 v.t (言ったことを) やる 「補語」
 → 出来るものなら、やってみろ。それを見てみたいものだ。
 says セズ 3 単現 v.t 言う 「動詞」
 he. ヒー pron 奴が 「主語」

それで奴の顔に平手打ちをお見舞いして、こっぴどく叩きのめしてやった。

Then I gave him one across the face, and laid him out good and proper.
 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, and 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Then セン adv. そこで、それで 「副詞」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 gave ゲイヴ 1 単過(give)v.t (パンチを) お見舞いした 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 one ワン pron 1 発 (パンチを) 「直接目的語」
 across the face, アクロス・ザ・フェイス adv. 顔を横切って 「副詞句」
 → 顔に平手打ちを食らわせた
 and アンド conj. そして
 laid ...out レイト...アウト 1 単過(lay out)v.t 叩きのめした 「動詞句」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 good and proper. グット・アント・プロパー adv. こっぴどく 「副詞句」
 good and+形容詞／副詞 「十分に～、心ゆくまで～」 proper フォーパ― adv. ひどく、完全に

Part 1 第 1 部

俺はその後すぐに、奴が起き上がるのを助けてやろうとしたんだが、奴は地面に横になったままで俺を蹴ってきたんだ。

After a bit I started to help him get up, but all he did was to kick at me from where he lay. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」,but 「主語」「動詞」「補語」

After a bit アフター・ア・ビット adv. そのすぐ後に 「副詞句」

I アイ pron 俺は 「主語」

started to help スターティット・トゥ・ヘルプ 1 単過・試行(start to+不定詞)

v.t 助けようとした 「動詞句」

start to+不定詞 「～し始める、～しかかる」

him ヒム pron 彼が 「目的語」

get up, ゲット・アップ 不定詞・him の動作 v.i 起き上がる 「補語」

but バット conj. しかし

all オール pron すべては 「主語」

he did ヒー・ディット adj. 彼が行った 「形容詞節」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

to kick トゥ・キック 不定詞 n. けること 「補語」

at me アット・ミー adv. 俺に対して 「副詞句」

from where he lay. フロム・ウェア・ヒー・レイ adv. 地面に横になったままで 「副詞句」

それで俺は、奴に膝蹴りを 1 発とパンチを 1 発食らわせてやった。

So I gave him one with my knee and a couple more swipes.

「副詞」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

So ソ adv. それで 「副詞」

I アイ pron 俺は 「主語」

gave ゲイヴ 1 単過(give)v.t 食らわせた 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

one ワン pron 1 発 「直接目的語」

with my knee ウイズ・マイ・ニー adv. (手段) 膝で 「副詞句」

and アンド conj. そして

a couple more swipes. ア・カップル・モア・スワイプス pl.n さらに強打を 2 発 「直接目的語」

couple カプル pron 2 個のもの swipe スワイプ n. 強打、すごい 1 撃

Part 1 第1部

勝負がついた時には、奴は血まみれだった。

He was bleeding like a pig when I'd done with him. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 was bleeding ワズ・ブリーディング 3 単過・進行形(bleed)v.i 血を流していた 「動詞句」
 like a pig ライク・ア・ピッグ adv. 豚みたいに 「副詞句」
 bleed like a pig 「たくさんの血を流す」
 when ホエン conj. ～したとき 「副詞節」
 I アイ pron 俺が 「主語」
 'd done with ハッド・ダン・ウイズ 1 単過・完了形(do with)
 v.t 済ました、やっつけた 「動詞句」
 him. ヒム pron 奴を 「目的語」

もう十分か？と奴に尋ねると、《ああ》と返事をした。

I asked him if he'd had enough, and he said, 'Yes.'
 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and 「主語」「動詞」「「応答」」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd had ハド・ハド 3 単過・完了形・時制の一致(have)
 v.t (行動を) やった 「動詞句」
 enough, イフ adv. 十分に 「副詞」
 and アンド conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 'Yes.' イェス adv. ああ 「応答」

サンテスは話している間中、忙しく包帯を留め直していた。僕はベッドに腰掛けていた。

"Sintès was busy fixing his bandage while he talked, and I was sitting on the bed.
 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」,and 「主語」「動詞句」「副詞句」
 "Sintès サンテス n.m サンテスは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 busy ビジー adj. 忙しい 「補語」
 fixing フィクシング 現在分詞・様態 adv. ～を留めるのに 「副詞句」
 his bandage ヒズ・バンディッジ n. 包帯を 「目的語」

Part 1 第1部

while ホワイル conj. ～する間中 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 talked, トークト 3 単過・時制の一致 v.i 話している 「動詞」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was sitting ワズ・シティング 1 単過・進行形(sit)v.i 腰かけていた 「動詞句」
 on the bed. オン・ザ・ベッド adv. ベッドに 「副詞句」
 sit on the bed 「ベッドの縁に腰掛ける」、足を床に下している様子
 sit in the middle of the bed 「ベッドの中央に座る」、足はベッドの外に出さない様子

「ねえ、分るでしょう」と、彼が言った。「あれは俺のせいじゃない；あいつが望んだことなんだ、そうでしょう？」

“So you see,” he said, “it wasn’t my fault; he was asking for it, wasn’t he?”

《「副詞」「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞句」「補語」; 「主語」「動詞句」「目的語」, 「呼びかけ」》

“So ヲ adv. それで 「副詞」

you see,” ユー・シー adv. 分るでしょう? 「呼びかけ」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said, セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“it イット pron あれは 「主語」

wasn’t ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない 「動詞句」

my fault; マイ・フォルト n. 俺のせい 「補語」

he ヒー pron 奴が 「主語」

was asking for ワズ・アスキング・フォー 3 単過・進行形(ask for)v.t 求めている 「動詞句」

it, イット pron あれを 「目的語」

wasn’t he?” ワズント・ヒー adv. (同意を求める) そうじゃないか? 「呼びかけ」

僕が同意してうなづくと、彼は続けて言った：

I nodded, and he added: 「主語」「動詞」, and 「主語」「動詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

nodded, ノット・イット 1 単過 v.i うなづいた 「動詞」

and アンド and そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

added: アディット 3 単過 v.t 続けていった 「動詞」

Part 1 第1部

「実は、この件に関係することで、是非とも君の助言を聞きたいことがあるんだ」

“As a matter of fact, I rather want to ask your advice about something; it’s connected with this business.

《「副詞句」, 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」;
「主語」「動詞句」「間接目的語」》

“As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は 「副詞句」
matter of fact と省略されることもある

I アイ pron 俺は 「主語」
rather ラーザー adv. 是非とも 「副詞」
want to ask ウォント・ト・アスク 1 単現・願望(want to+不定詞)v.t 尋ねたい 「動詞句」
your advice ユア・アドヴァイス n. 君の助言を 「目的語」
about something; アバウト・サムシング adv. 何かについて 「副詞句」
it イット pron それは 「主語」
’s connected イズ・コネクティッド 3 単現・受動(connect)v.t (with に) 関係がある 「動詞句」
with this business. ウイズ・ズ・イズ・ビズネス adv. この件に 「間接目的語」

「君は世間を見知っている。だから俺の力になれる」

You’ve knocked about the world a bit, and I daresay you can help me.

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」, and 「主語」「動詞句」「目的語」》

You ユー pron 君は 「主語」
’ve knocked ハヴ・ノックト 2 単現・完了形(knock)v.i(about) を歩き回った 「動詞句」
about the world アバウト・ザ・ワールド adv. 世間を 「間接目的語」
a bit, ア・ビット adv. 少し 「副詞句」
and アンド conj. そして
I アイ pron 俺は 「主語」
daresay デアセイ 1 単現(=dare say) あえて言う 「動詞句」
you can help me. ユー・キャン・ヘルプ・ミー n. 君は俺の力になれる 「目的語」

「そうしてくれたら、俺は君の生涯の友になる；俺は自分に親切にしてくれた人を決して忘れない」

And then I’ll be your pal for life; I never forget anyone who does me a good turn.”

《And 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」; 「主語」「動詞句」「目的語」》

And アンド conj. そして
then セン adv. その時は 「副詞」
I アイ pron 俺は 「主語」
’ll be ウィル・ビー 1 単未・意思 v.i ~になる 「動詞句」

Part 1 第1部

your pal for life; ユア・パル・フォー・ライフ n. 君の生涯の友に	「補語」
I アイ pron 俺は	「主語」
never forget ネバー・フォーゲット 1 単現・否定 v.t 決して忘れない	「動詞句」
anyone エニワン pron 人を	「目的語」
who フー pron (主語) ～する	「形容詞節」
does ダズ 3 単現 v.t ～する	「動詞」
me ミー pron 俺に	「間接目的語」
a good turn.” ア・グッド・ターン n. 親切な行いを	「直接目的語」

僕が彼の言うことに何も意見を言わないでいると、僕が友達になりたいと思うか尋ねた。

When I made no comment, he asked me if I'd like us to be pals.

	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」
When ホエン conj. ～していると	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
made メイト 1 単過(make)v.t (動作を) した	「動詞」
no comment, ノウ・コメント n. 意見を～ない	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
if イフ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
I アイ pron 僕が	「主語」
'd like ウット・ライク 1 単現・願望・推量 v.t 望むだろう	「動詞句」
us アッス pron 僕たちが	「目的語」
to be pals. トゥ・ビー・パルズ 不定詞句・us の動作 n. 友達になる	「補語」

反対する理由はないと僕が答えると、彼は満足げな様子だった。

I replied that I had no objection, and that appeared to satisfy him.

	「主語」 「動詞」 「目的語」 ,and 「主語」 「動詞句」 「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
replied リプライト 1 単過 v.t 返事をした	「動詞」
that サット conj. ～ということ	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ない	「動詞」
no objection, ノウ・オブ・ジェクション n. 反対する理由～がない	「目的語」
and アント conj. そして	
that サット pron その返事は	「主語」

Part 1 第 1 部

appeared to +不定詞 アピ°アド°・トッ 3 単過・推測(appear)v.i ~するように思われた 「動詞句」
 satisfy サイスファイ 不定詞 v.t 満足させる 「動詞句」
 him. ヒム pron 彼を 「目的語」

彼は肉の腸詰を取り出して来て、フライパンでそれを炒め、ワインを 2 本取り出して来て、食卓テーブルをセットした。

He got out the black pudding, cooked it in a frying pan, then laid the table, putting out two bottles of wine. 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」「副詞句」,
 「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 got out ガット・アウト 3 単過(get out)v.t (物を) 取り出した 「動詞句」
 the black pudding, ザ・ブラック・プディング n. 豚肉の黒ソーセージを、肉の腸詰 「目的語」
 cooked クックト 3 単過 v.t 焼いた、調理した 「動詞」
 it イット pron それを 「目的語」
 in a frying pan, イン・ナ・フライング・パン adv. (手段) フライパンで 「副詞句」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 laid レイト 3 単過(lay)v.t 置いた 「動詞」
 the table, ザ・テイブル n. 食卓テーブルを 「目的語」
 putting out プディング・アウト 現在分詞・同時(put out)adv. ~を取り出してきて 「副詞句」
 two bottles of wine. トゥ・ボトلز・オブ・ワイン pl.n ワインを 2 本 「目的語」

この一連の動作の間、彼は一言も話さなかった。

While he was doing this he didn't speak. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」
 While ホワイ conj. ~する間 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 was doing ワズ・トウイング 3 単過・進行形(do)v.t していた 「動詞句」
 this スィズ n. この動作を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 didn't speak. デイトント・スピーク 3 単過・否定 v.i 話さなかった 「動詞句」

Part 1 第 1 部

僕たちは夕食を始めた。すると、最初は少しためらいながらも、彼は事の顛末を語り始めた。

We started dinner, and then he began telling me the whole story, hesitating a bit at first.

「主語」「動詞」「目的語」 and

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」

We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 started スタート 1 複過 v.t (動作を) 始めた 「動詞」
 dinner, ディナー n. 夕食を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 began telling ビギン・テリング 3 単過・開始(begin+現在分詞)v.t 話し始めた 「動詞句」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 the whole story, サ・ホール・ストーリー n. 一部始終を 「直接目的語」
 hesitating ヘジテイティング 現在分詞・同時(hesitate)adv. ためらいながら 「副詞句」
 a bit ア・ビット adv. 少し 「副詞句」
 at first. アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」

事の顛末 (ことのてんまつ) :

物事の、最初から最後まで事情。一部始終。

「今回の 1 件の裏には、例によって、女が関わっているんだ。俺たちは、かなり定期的に共に夜を過ごしていた」

“There’s a girl behind it—as usual. We slept together pretty regular.

《「動詞句」「主語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」》

“There’s ゼア・ズ 3 単現・存在(there be)v.i ~がいる、ある 「動詞句」
 a girl ア・ガール n. 女が 「主語」
 behind it— ビ・ハインド・イット adv. 今回の出来事の裏には 「副詞句」
 as usual. アズ・ユージュアル adv. 例によって、いつものように 「副詞句」
 We ウィー pron 俺たちは 「主語」
 slept スレプト 1 複過(sleep)v.i 夜を過ごした 「動詞」
 together トゥギ・サザー adv. 一緒に 「副詞」
 pretty regular. プリティ・レギュラー adv. かなり定期的に 「副詞句」

Part 1 第1部

「実のところ、俺があいつを養っているんだが、相当な金がかかっている。」

I was keeping her, as a matter of fact, and she cost me a tidy sum.

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, and

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

I アイ pron 俺は

「主語」

was keeping ワズ・キープイング 1 単過・進行形(keep)v.t (家族などを) 養っていた

「動詞句」

her, ハー pron 彼女を

「目的語」

as a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は、実際は

「副詞句」

略式では、matter of fact が使用される

and アンド conj. そして

she シー pron 彼女は

「主語」

cost コスト 3 単過・時制の一致 v.t (費用) がかかる

「動詞」

me ミー pron 俺にとって

「間接目的語」

a tidy sum. ア・タイディ・サム n. かなりの金額が

「直接目的語」

「俺が殴り倒した男は、その女の兄弟なんだ」

That fellow I knocked down is her brother.”

《「主語」「動詞」「補語」》

That fellow サット・フェロウ n. あの男は

「主語」

I knocked down アイ・ナクト・ダウン adj. 俺が殴り倒した

「形容詞節」

is イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

her brother.” ハー・ブラザー n. 彼女の兄弟

「補語」

僕が何も返事しないのを確認すると、彼は続けて言った：「限界で俺のことをどう言っているかは知っているが、それは全くのでっち上げだ」

Noticing that I said nothing, he added that he knew what the neighbors said about him, but it was a filthy lie.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Noticing ノチシング 現在分詞・原因 adv. ~に気づいて

「副詞句」

that I said nothing, サット・アイ・セッド・ナシング n. 僕が何も返事しないこと

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

added アディッド 3 単過 v.t 続けて言った

「動詞」

that サット conj. ~ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

what the neighbors said about him, ファット・ザ・ネイバース・セッド・アバウト・ヒム

pron 隣人たちが彼について話していることを

「目的語」

but バット conj. しかし

Part 1 第1部

it イット pron その話は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(=be)v.i 〜である 「動詞」
 a filthy lie. ア・フィルイー・ライ n. 不正なうそ、全くのでっちあげ 「補語」

彼も他の人々と同様に生活の基盤があつて、倉庫で働いているそうだ。

He had his principles like everybody else, and a job in a warehouse.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, and 「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」
 his principles ヒズ・プリンシプ ルズ pl.n 自分の信条 「目的語」
 like everybody else, ライク・エヴリバディ・エルス adv. 他の人々と同様に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 a job ア・ジョブ n. 仕事 「目的語」
 in a warehouse. イン・ナ・ウェアハウス adv. 倉庫で 「副詞句」

「さて」と、彼が言った。「話を戻すと、女が俺を裏切っていることに気が付いたんだ」

“Well,” he said, “to go on with my story ... I found out one day that she was letting me down.”

《「副詞」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」》

“Well,” ウェル adv. (話題転換) さて、ところで 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “to go on トゥ・ゴウ・オン 不定詞(go on)adv. 〜を進めると 「副詞句」
 with my story ... ウイズ・マイ・ストーリー adv. 俺の話を 「間接目的語」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 found out ファウント・アウト 1 単過(find out)v.t 気づいた 「動詞句」
 one day ワン・デイ adv. ある日 「副詞句」
 that ザット conj. 〜ということを 「目的語」
 she シー pron 彼女が 「主語」
 was letting ...down.” ワズ・レイング ...ダウン 3 単過・進行形・時制の一致(let down)
 v.t 裏切っている 「動詞句」
 me ミー pron 俺を 「目的語」

Part 1 第 1 部

彼は、贅沢はできないとしても、女が生活を維持するのに十分な金を与えていた；女の部屋の家賃を払ってやり、食費として 1 日につき 20 フランやっていた。

He gave her enough money to keep her going, without extravagance, though; he paid the rent of her room and twenty francs a day for food.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」；

「主語」「動詞」「目的語」 and 「目的語」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t あげていた

「動詞」

her ハー pron 女に

「間接目的語」

enough money イフ・マネー n. 十分な金を

「直接目的語」

to keep トゥ・キープ 不定詞・目的 adv. 維持するために

「副詞句」

her going, ハー・ゴウイング n. 彼女の生活を

「目的語」

without extravagance, ウイズ・アウト・イクストラヴァガンス adv. 贅沢せずに

「副詞句」

though; ゴウ adv. けれども、しかし

「副詞」

He ヒー pron 彼は

「主語」

paid ペイド 3 単過(pay)v.t 払っていた

「動詞」

the rent ザ・レント n. 賃貸料を

「目的語」

of her room オフ・ハー・ルーム adj. 女の部屋の

「形容詞句」

and アンド conj. そして

twenty francs トゥエンティ・フラン pl.n 20 フラン

「目的語」

a day ア・デイ adv. 1 日につき

「副詞句」

for food. フォー・フード adv. 食費として

「副詞句」

「月に、家賃が 300 フランと食費が 600 フラン、それに時々、靴下を 1 足とかちよつとしたものを買ってやる」

“Three hundred francs for rent, and six hundred for her grub, with a little present thrown in now and then, a pair of stockings or whatnot.

《「目的語」 and 「目的語」, 「副詞句」》

“Three hundred francs スリー・ハント・レッド・フランス pl.n 300 フランを

「目的語」

for rent, フォー・レント adv. 家賃として

「副詞句」

and アンド conj. そして

six hundred シックス・ハント・レッド pl.n 600 フランを

「目的語」

for her grub, フォー・ハー・グラブ adv. 食費として

「副詞句」

grub グラブ n. 食物

with a little present ウイズ・ア・リトル・プレゼント adv. ちよつとした贈り物もある

「副詞句」

thrown in スロウン・イン 過去分詞・受動(throw)adj. 投げ込まれた

「形容詞句」

Part 1 第 1 部

now and then, ナウ・アント・ゼン adv. 時々 「副詞句」
 a pair of stockings ア・ペア・オブ・ストッキングズ pl.n 靴下 1 足 「目的語」
 or whatnot. オア・ファットノット n. またはその他 「目的語」

「全部あわせて、あの女に月に 1000 フランやっているんだ」

Say, a thousand francs a month. 《「副詞」「目的語」》
 Say, セイ adv. まとめて言えば 「副詞」
 a thousand francs ア・サザント・フランス pl.n 1000 フラン 「目的語」
 a month. ア・マス adv. 1 か月について 「副詞句」

だが、それではあのご婦人にとっては十分ではない；俺がやった金でやりくりすることはできないと、いつも不平ばかり言っている。

But that wasn't enough for my fine lady; she was always grumbling that she couldn't make both ends meet with what I gave her.

But 「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし
 that サット pron それは 「主語」
 wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i 〜でない 「動詞」
 enough イフ adj. 十分な 「補語」
 for my fine lady; フォー・マイ・ファイン・レイディ adv. あのご婦人にとっては 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 was always grumbling ワズ・オールウェイズ・グラムブリング 3 単過・進行形・時制の一致(grumble)
 v.t いつも不平を言っている 「動詞句」
 that サット conj. 〜ということを 「目的語」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 couldn't make クアント・メイク 3 単現・可能・否定・使役(make)v.t(SVO+不定詞)
 v.t O を〜することができない 「動詞句」
 both ends ボス・エンズ pl.n 帳尻を 「目的語」
 meet ミート 不定詞 v.t 合わせる 「動詞句」
 make both ends meet 「収入内でやりくりする、収支を合わせる」
 with what I gave her. ウイズ・ファット・アイ・ゲイヴ・ハー
 adv. 俺が女にやった金と 「副詞句」

Part 1 第 1 部

それでいつだったか、あいつに言ってやったんだ；「いいか！ どうして 1 日にほんの少しでも仕事をしないんだ？ そうすれば、俺だって少しは楽になるんだ」

So one day I says to her, 'Look here, why not get a job for a few hours a day? That'd make things easier for me, too.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」,
 ≪「呼びかけ」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」≫
 So ソ adv. それで 「副詞」
 one day ワン・デイ adv. ある日 「副詞句」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 says シズ 1 単過(say)v.t ~と言ってやったんだ 「動詞」
 I says (= says I) (歴史的現在) ~と言ってやったんだ
 to her, トゥ・ハー adv. 彼女に 「間接目的語」
 'Look here, ルック・ヒア adv. いいかい！ ほらちょっと 「呼びかけ」
 why not get おわい・ノット・ゲット 2 単現・疑問文(get)v.t どうして~しないんだ？ 「動詞句」
 a job ア・ジョブ n. 仕事を 「目的語」
 for a few hours a day? フォー・ア・フュー・アワズ・ア・デイ adv. 1 日にほんの少しでも 「副詞句」
 That ザット pron それは 「主語」
 'd make ウット・メイク 3 単現・推量(make)v.t ~にするだろう 「動詞句」
 things シングズ pl.n 物事を 「目的語」
 easier イージーアー adj. (比較級) より楽に 「補語」
 for me, too. フォー・ミー・トゥ adv. 俺にとっても 「副詞句」

「今月はワンピースを買ってやったし、お前の家賃を払った上に、1 日につき 20 フランもお前にやっている。」

I bought you a new dress this month, I pay your rent and give you twenty francs a day.

≪「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」≫
 and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 bought ボート 1 単過(buy)v.t 買ってやった 「動詞」
 you ユー pron お前に 「間接目的語」
 a new dress ア・ニュードレス n. 新しいワンピースを 「直接目的語」
 this month, スィス・マンス adv. 今月は 「副詞句」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 pay ペイ 1 単現 v.t 払っている 「動詞」
 your rent ユア・レント n. お前の家賃を 「目的語」
 and アンド conj. そして

Part 1 第 1 部

give ギヴ 1 単現 v.t やっている 「動詞」
 you ユー pron お前に 「間接目的語」
 twenty francs a day. トゥエンティ・フランズ・ア・デイ pl.n 1 日につき 20 フラン 「直接目的語」

「ところがお前は、大勢の友達とカフェに行って金を無駄遣いしている。」

But you go and waste your money at the café with a pack of girls.

《But 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

But バット conj. しかし
 you ユー pron お前は 「主語」
 go ゴ 2 単現 v.i 行く 「動詞」
 and アンド conj. そして
 waste ウェイスト 2 単現 v.t 浪費する 「動詞」
 your money ユア・マニー n. 金を 「目的語」
 at the café アット・ザ・キャフェ adv. カフェで 「副詞句」
 with a pack of girls. ウイズ・ア・パック・オブ・ガールズ adv. 大勢の友達と 「副詞句」
 a pack of 「多数の～、多量の～」

「お前は友達にコーヒーと砂糖をおごってやっている。そして、もちろんだが、その金は俺の懐から出たものだ。」

You give them coffee and sugar. And, of course, the money comes out of my pocket.

《「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

And 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」》

You ユー pron お前は 「主語」
 give ギヴ 2 単現 v.t 与えている 「動詞」
 them ゼム pron 彼らに 「間接目的語」
 coffee and sugar. コーヒー・アンド・シュガー pl.n コーヒーと砂糖を 「直接目的語」
 And, アンド conj. そして
 of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」
 the money ザ・マニー n. その金は 「主語」
 comes カムズ 3 単現 v.i 来ている 「動詞」
 out of my pocket. アウト・オブ・マイ・ポケット adv. (金銭を入れる場所) 俺の懐から 「副詞句」

Part 1 第1部

「俺はお前が不自由しないように十分なことをしてやっているんだ、それなのに、あんな無駄遣いをして、恩をあだで返すのか？」

I treat you on the square, and that's how you pay me back.

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,and「主語」「動詞」「補語」》

I	アイ pron	俺は	「主語」
treat	トリート 1 単現 v.t	待遇している	「動詞」
you	ユー pron	お前を	「目的語」
on the square,	オン・ザ・スクエア adv.	平等に	「副詞句」
and	アンド conj.	そして、(反語) それなのに	
that	ザット pron	あれが(無駄遣いすること)	「主語」
's	イズ 3 単現(be)v.i	～である	「動詞」
how	ハウ n.	(目的語) ～するやり方	「補語」
you	ユー pron	お前が	「主語」
pay ...back.	ペイ...バック 2 単現 v.t	借りを返す	「動詞句」
me	ミー pron	俺に	「間接目的語」

「だが彼女は俺が働けという言葉には耳を貸さず、俺の金だけでは間に合わないと言い張るんだ」

But she wouldn't hear of working, though she kept on saying she couldn't make do with what I gave her.

《But「主語」「動詞句」「間接目的語」,「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》

But	バット conj.	しかし	
she	シー pron	彼女は	「主語」
wouldn't hear	ウドント・ヒア 3 単過・意思・否定 v.i	聞こうとしない	「動詞句」
of working,	オブ・ワーキング adv.	働くことについて	「間接目的語」
though	ゾウ adv.	逆に	「副詞」
she	シー pron	彼女は	「主語」
kept on saying	ケプト・オン・セイキング 3 単過・継続(keep on+現在分詞)v.t	言い張った	「動詞句」
she	シー pron	彼女は～であるということを	「目的語」
couldn't make do with	ウドント・メイク・トゥ・ウィズ 3 単過・可能・否定・時制の一致 v.t	～で間に合わせることができない	「動詞句」
make do with...		「～で間に合わせる、～で済ませる」	
what I gave her.	ファット・アイ・ゲイヴ・ハー pron	俺が彼女にやったもの	「目的語」

Part 1 第1部

「それからある日、俺は女が裏切っている証拠を見つけたんだ。」

And then one day I found out she was doing me dirt.

《And 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

And アント conj. そして

then ゼン adv. それから

「副詞」

one day ワン・デイ adv. ある日

「副詞句」

I アイ pron 俺は

「主語」

found out ファウント・アウト 1 単過(find out)v.t. ~の不正を見抜いた

「動詞句」

n. ~ということ

「目的語」

she シー pron 女が

「主語」

was doing ワズ・ドゥイング 3 単過・進行形(do)v.t. していた

「動詞句」

me ミー pron 俺を

「目的語」

dirt.” ダート n. ごみ

「補語」

彼は続けて、女のバッグの中に宝くじの券を見つけたので、それを買う金はどこから来たのかと尋ねたが女は彼に答えようとしなかった、と説明した。

He went on to explain that he'd found a lottery ticket in her bag, and when he asked where the money'd come from to buy it, she wouldn't tell him.

「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

went on to explain ウェント・オン・トゥ・イクスプレイン 3 単過・継続(go on to+不定詞)

v.t(that ~と) 続けて説明した

「動詞句」

go on+現在分詞 「~し続ける」

He went on to say that life is not fair. 彼は続けて人生は公平でないと言った。

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd found ハット・ファウント 3 単過・完了形(find)v.t. 見つけた

「動詞句」

a lottery ticket ア・ロタリー・チケツト n. 宝くじの券を

「目的語」

in her bag, イン・ハー・バッグ adv. 女のハンドバッグの中で

「副詞句」

and, アント conj. そして

when ホエン conj. ~すると、~する時

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t. 尋ねた

「動詞」

where ウェア adv. どこで~するということ

「目的語」

the money ザ・マネー n. その金は

「主語」

'd come ハット・カム 3 単過・完了形 v.i. 来た

「動詞句」

Part 1 第1部

from フロム adv. ～から 「副詞」

to buy it, トゥ・バイ・イット 不定詞・目的

v.t それを買うために 「副詞句」

she シー pron 女は 「主語」

wouldn't tell ウォント・テル 3 単過・意思・否定

v.t 言おうとしなかった 「動詞句」

him. ヒム pron 彼に 「間接目的語」

それからある時は、彼が一度も見たことがないブレスレット 2 個分の質札を見つけた。

Then, another time, he'd found a pawn ticket for two bracelets that he'd never set eyes on. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Then, セン adv. それから 「副詞」

another time, アナザー・タイム adv. ある時 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

'd found ハット・ファウンド 3 単過・完了形(find)v.t 見つけた 「動詞句」

a pawn ticket ア・ポーン・チケット n. 質札 「目的語」

for two bracelets フォー・トゥ・ブレイスレッツ adv. ブレスレット 2 個分の 「形容詞句」

that サット pron (間接目的語) ～する 「形容詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

'd never set ... ハット・ネヴァー・セット...オン 3 単過・完了形・否定(set)

v.t 一度も向けたことがない 「動詞句」

eyes アイズ pl.n 目 「直接目的語」

on. オン adv. ～に 「副詞」

「それで、俺は裏切られたことに気が付いて、女に別れと言ってやった」

"So I knew there was dirty work going on, and I told her I'd have nothing more to do with her.

《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

"So ソ adv. それで 「副詞」

I アイ pron 俺は 「主語」

knew ニュー 1 単過(know)v.t 気づいた、分かった 「動詞」

n. ～ということ 「目的語」

there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ～があった 「動詞句」

dirty work ダーティ・ワーク n. 不正行為、裏切り 「主語」

going on, ゴウイング・オン 現在分詞(go on)adj. 進行中の 「形容詞句」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

I アイ pron 俺は	「主語」
told トルド 1 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
her ハー pron 女に	「間接目的語」
n. ～ということを	「直接目的語」
I アイ pron 俺は	「主語」
'd have ウッド・ハヴ 1 単現・意思(would have)v.t ～を持つ	「動詞句」
had の後ろに have は来ないから、'd は would の省略形である。	
nothing more ナンギン・モア pron もう何も～ない	「目的語」
to do トゥ・ドゥ 不定詞・目的 adj. ～すべき	「形容詞句」
with her. ウイズ・ハー adv. 女と	「副詞句」
have nothing to do with ... 「... と何の関係もない、... に関心がない」	
もう関係を持たない → 別れる	

「だがまず、女を思い切りひっぱたいてやった。それから、嫌味を言ってやった」

But, first, I gave her a good hiding, and I told her some home truths.

《But 「副詞」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,
and 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

But, バット conj. しかし	
first, ファースト adv. まず	「副詞」
I アイ pron 俺は	「主語」
gave ゲイヴ 1 単過(give)v.t (殴打を) 食らわした	「動詞」
her ハー pron 女に	「間接目的語」
a good hiding, ア・グッド・ハイドィング n. かなりの殴打を	「直接目的語」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 俺は	「主語」
told トルド 1 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
her ハー pron 女に	「間接目的語」
some home truths. サム・ホーム・トゥルースィズ pl.n 不愉快な事実を	「直接目的語」

「俺はあの女に言ってやったよ；お前が考えていることは一つしかない。それは機会があれば、男とベッドに入ることだろう、ってね。」

I said that there was only one thing interested her and that was getting into bed with men whenever she'd the chance.

《「主語」「動詞」「目的語」》

I アイ pron 俺は	「主語」
said セット 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」

Part 1 第1部

there was ゼア・ワズ 3 単過・時制の一致(there be)v.i	～がある	「動詞句」
only one thing オヴンリー・ワズ・シング n.	一つだけが	「主語」
interested インタレストィット adj.	興味を持たせる	「形容詞句」
her ハー pron	彼女に	「目的語」
and アント conj.	そして	
that ザット pron	それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i	～である	「動詞」
getting ゲティンク 現在分詞 n.(get into)	～に入ること	「補語」
into bed イントゥ・ベッド adv.	ベッドに	「間接目的語」
with men ウイズ・メン adv.	男と	「副詞句」
whenever she'd the chance. ホエネヴァー・ア・シート・ザ・チャンス		
adv. 機会があればいつでも		「副詞節」

「それから、俺は女をしっかりとした、《お前はいつか後悔するだろう、そして、俺が元に戻ることを望むだろう》」

And I warned her straight, 'You'll be sorry one day, my girl, and wish you'd got me back.

《And 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」,

“「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」「呼びかけ」,and 「動詞句」「目的語」”》

And アント conj. そして

I アイ pron	俺は	「主語」
warned ウォント 1 単過 v.t	戒めた、さとした	「動詞」
her ハー pron	女を	「目的語」
straight, ストレイト adv.	はっきりと	「副詞」
'You ユー pron	お前は	「主語」
'll be ウィル・ビー 2 単未・推量 v.i	～になるだろう	「動詞句」
sorry ソアリー adj.	後悔した	「補語」
one day, ワン・デイ adv.	いつか	「副詞句」
my girl, マイ・ガール n.	なあお前	「呼びかけ」
and アント conj.	そして	
wish ウィッシュ 2 単未・推量 v.t	望むだろう	「動詞句」
you ユー pron	お前が～ということ	「目的語」
'd got ハット・ゴット 3 単過・假定(=had)v.t(SVOC)	～にできたらなあ	「動詞句」
have got = have had got = had		
me ミー pron	俺が	「目的語」
back. バック adj.	戻った	「補語」

Part 1 第1部

界限の女たちは皆、お前が俺に養ってもらっているのは、運がいいと嫉妬しているんだ。

All the girls in the street, they're jealous of your luck in having me to keep you.'"

「主語」「動詞」「補語」

All the girls オール・ザ・ガールズ pl.n 女たちはみな

「主語」

in the street, イン・ザ・ストリート adv. 界限の

「副詞句」

they ゼイ pron 彼らは

「主語」

're アー 3 複現(be)v.i 〜である

「動詞」

jealous ジェラス adj. 嫉妬して

「補語」

of your luck オフ・ユア・ラック adv. (限定) お前の幸運に対して

「副詞句」

in having イン・ハウイング 現在分詞・使役 v.t 〜してもらっている

「副詞句」

me ミー pron 俺に

「目的語」

to keep トゥ・キープ 不定詞・me の動作 v.t 養う

「補語」

you.' ユー pron お前を

「目的語」

彼は血が出るまで女を殴った。それまで、彼は一度も女を殴ったことはなかった。

He'd beaten her till the blood came. Before that he'd never beaten her.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

'd beaten ハット・ビートン 3 単過・完了形(beat)v.t 殴った

「動詞句」

her ハー pron 女を

「目的語」

till テイル conj.(until と同じ) 〜するまで

「副詞節」

the blood ザ・ブラッド n. 血が

「主語」

came. ケイム 3 単過・時制の一致(come)v.i 出る

「動詞」

Before that ビフォー・ザット adv. それまでは、以前は

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd never beaten ハット・ネヴァー・ビートン 3 単過・完了形・否定(beat)

v.t 一度も殴ったことはなかった

「動詞句」

her. ハー pron 女を

「目的語」

「まあ、殴ると言っても、あまり強くなく、優しくだ」

"Well, not hard, anyhow; only affectionately-like.

《「副詞句」》

"Well, ウェル adv. まあ、言ってみれば

「副詞」

not hard, ノット・ハート adv. あまり強くなく

「副詞句」

anyhow; エニハウ adv. どんな方法だろうと

「副詞」

only affectionately-like. オンリー・アフェクショネリー・ライク adv. 優しくという感じで

「副詞句」

Part 1 第1部

「女は少しわめき声をあげたので、俺は窓を閉めた。そのあとは、いつも通りさ」

She'd howl a bit, and I had to shut the window. Then, of course, it ended as per usual.

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」》

She シー pron 女は 「主語」
 'd ハット 3 単過(have)v.t (声を) あげた 「動詞」
 howl ハウル n. わめき声を 「目的語」
 a bit, ア・ビット adv. 少しは 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 俺は 「主語」
 had to shut ハット・トウ・シャット 1 単過・必要(have to+不定詞 shut)
 v.t 閉めなければならなかった 「動詞句」
 the window. ザ・ウインドウ n. 窓を 「目的語」
 Then, セン adv. そのあとは、それから 「副詞」
 of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」
 it イット pron それは 「主語」
 ended エンデイト 3 単過 v.i 終わった 「動詞」
 as per usual. アズ・パー・ユージュアル adv. (= as usual) いつもの通り、例の通り 「副詞句」

「だが、今回はもうあいつとは縁を切った。だが俺としては、まだ十分じゃない。俺の言いたいことは分かるだろう？」

But this time I'm done with her. Only, to my mind, I ain't punished her enough. See what I mean?"

《But 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」
 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」 | 「動詞」「目的語」》

But バット conj. しかし
 this time スィス・タイム adv. 今回は 「副詞句」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 'm done with アム・ダン・ウィズ 1 単現・状態(be done with O)
 v.i 縁を切った、付き合いをやめた 「動詞句」
 be done with O (= have done with O) 「O と付き合いをやめる、O をやめる」
 done は be の「補語」
 her. ハー pron 彼女と 「間接目的語」
 Only, to my mind, オンリー・トゥ・マイ・マインド adv. 自分の考えでは 「副詞句」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 ain't punished エイント・パニッシュト 1 単現・完了形・否定(haven't punished)

Part 1 第1部

v.t 罰していない	「動詞句」
ain't は、am(is, are) not または have(has) not の縮約形	
her ハー pron あいつを	「目的語」
enough. 仕方 adv. 十分に	「副詞」
See シー 2 単現・疑問文 v.t 分かるだろう？	「動詞」
what I mean?" ファット・アイ・ミン pron 俺の言いたいことが	「目的語」

彼は、これについて僕に助言をして欲しいのだと打ち明けた。

<u>He explained that it was about this he wanted my advice.</u>	「主語」「動詞」「目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した、打ち明けた	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
it イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
about this アバウト・ズィス n. これについて～するということ	「補語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
wanted ワンティット 3 単過・時制の一致 v.t 望んでいる	「動詞」
my advice. マイ・アドヴァイス n. 僕の助言を	「目的語」

パラフィンランプが燻っていたので、彼は芯を上げ下げして調節した。

<u>The lamp was smoking, and he stopped pacing up and down the room, to lower the wick.</u>	「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞句」「目的語」
The lamp ザ・ランプ n. パラフィンランプは	「主語」
was smoking, ワズ・スモウキング 3 単過・進行形(smoke)v.i 燻（くすぶ）っていた	「動詞句」
and アント conj. そして	
he ヒー pron 彼は	「主語」
stopped +現在分詞 ストップト 3 単過(stop+現在分詞)v. ～するのを止めた	「動詞句」
pacing up and down ペイシング・アップ・アント・ダウン 現在分詞(pace)	
v.t 上げ下げして調節する	「動詞句」
the room, ザ・ルーム n. 余地を	「目的語」
to lower トゥ・ロワー 不定詞・目的 v.t 下げるための	「形容詞句」
the wick. ザ・ウィック n. (ランプの) 芯を	「目的語」

Part 1 第 1 部

僕は喋らずにもっぱら話を聞いた。ワインをまるまる 1 本飲んだので、頭がガンガンした。

I just listened, without speaking. I'd had a whole bottle of wine to myself and my head was buzzing.

「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

just ジャスト adv. ～だけ

「副詞」

listened, リストン 1 単過 v.i 聞いていた

「動詞」

without speaking. ウィズアウト・スピーキング adv. 喋らずに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t (飲み物を) 飲んだ

「動詞句」

a whole bottle of wine ア・ホウル・ボトル・オブ・ワイン n. ワインをまるまる 1 本

「目的語」

to myself トゥ・マイセルフ adv. 自分だけで

「副詞句」

and アント conj. そして

my head マイ・ヘッド n. 頭が

「主語」

was buzzing. リズ・バズィング 3 単過・進行形(buzz)v.i がんがんに音が響いた

「動詞句」

僕は自分のタバコが切れたので、レーモンのタバコを吸っていた。

As I'd used up my cigarettes I was smoking Raymond's.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

As アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd used up ハット・ユースト・アップ 1 単過・完了形(use up)v.t 吸い切った

「動詞句」

use up 「消費する、～を使い尽くす」

my cigarettes マイ・シガレッツ pl.n 自分のタバコを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was smoking リズ・スモウキング 1 単過・進行形(smoke)v.t 吸っていた

「動詞句」

Raymond's. レイモンズ n. レーモンのタバコを

「目的語」

最終に近い路面電車が通過すると、通りの最後の騒音も電車と共に消え去った。

Some late streetcars passed, and the last noises of the street died off with them.

「主語」「動詞」, and 「主語」「動詞句」「副詞句」

Some late streetcars サム・レイト・ストリートカーズ pl.n 最終に近い路面電車が

「主語」

some 「およそ、約」 late 「終わりごろの」 streetcar 「路面電車」

passed, パスト 3 複過 v.i 通過していった

「動詞」

and アント conj. そして

the last noises サ・ラスト・ノイズ pl.n 最後の騒音が

「主語」

Part 1 第1部

of the street オフ・ザ・ストリート adj. 通りの

「形容詞句」

died off ダイ・オフ 3 複過(die off)v.i 消え去った

「動詞句」

with them. ウイズ・ゼム adv. 電車の騒音と共に

「副詞句」

レーモンは話を続けた。

Raymond went on talking.

「主語」「動詞句」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

went on talking. ウェント・オン・トーキング 3 単過・継続(go on+現在分詞)

v.i 話続けた

「動詞句」

go on+現在分詞 「～し続ける」

困ったのは、彼は女に未練があったということだ。

What bored him was that he had “a sort of lech on her” as he called it.

「主語」「動詞」「補語」

What フワット pron (主語) ～することは

「主語」

bored ボアト 3 単過 v.t うんざりさせた

「動詞」

him ヒム pron 彼を

「目的語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

that サット conj. ～ということ

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t ～があった

「動詞」

“a sort of ア・ソート・オブ adj. 一種の

「形容詞句」

lech on her” レッチ・オン・ハー n. 彼女に性欲

「目的語」

as he called it. アズ・ヒー・コールト・イット adv. いわゆる

「副詞句」

しかし、彼は女に思い知らせてやろうと決心していた。

But he was quite determined to teach her a lesson.

But 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

was quite determined ワズ・クワイ・デターミント 3 単過・受動(determine)

v.t(to+不定詞 ～することを) しっかりと決心していた

「動詞句」

to teach トゥ・ティーチ 不定詞 v.t 分からせる、教える

「動詞句」

her ハー pron 女に

「間接目的語」

a lesson. ア・レスン n. 見せしめを、教訓を

「直接目的語」

Part 1 第1部

彼によると、彼は最初、女をホテルに連れていき、それから風紀警察を呼びつけることを考えていたようだ。

His first idea, he said, had been to take her to a hotel, and then call in the special police.

「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

His first idea, ヒズ・ファースト・アイデア n. 彼が最初に考えたことは

「主語」

he said, ヒー・セッド adv. 彼によると

「副詞句」

had been ハット・ビーン 3 単過・完了形(he)v.i 〜だった

「動詞句」

to take トゥ・テイク 不定詞 n. 連れていくこと

「補語」

her ハー pron 女を

「目的語」

to a hotel, トゥ・ア・ホテル adv. ホテルに

「副詞句」

and アンド conj. そして

then セン adv. それから

「副詞」

call in コール・イン 不定詞 n. 呼び寄せること

「補語」

the special police. ザ・スペシャル・ポリス n. 風紀警察を

「目的語」

彼は警官たちを説得して、女を売春婦として登録させようとしたに違いない。そうすれば女は激怒したに違いない。

He'd persuade them to put her on the register as a "common prostitute," and that would make her wild.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」,and「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

'd persuade シュット・ハンスウエイト 3 単過・推量(should+不定詞)

v.t(to+不定詞 〜するように) 説得しようとしたに違いない

「動詞句」

them ゼム pron 警察官たちを

「目的語」

to put トゥ・プット 不定詞・them の動作 v.t 書きつける

「補語」

her ハー pron 女を

「目的語」

on the register オン・ザ・レジスター adv. 記録簿に

「副詞句」

as a "common prostitute," アズ・ア・コモン・プロスチチュート adv. 売春婦として

「補語」

and アンド conj. そして

that ザット pron それは

「主語」

would make ウット・メイク 3 単過・推量(would+不定詞)v.t 〜するに違いない

「動詞句」

her ハー pron 女を

「目的語」

wild. ワイルト adj. 激怒した

「補語」

Part 1 第1部

それから彼は、脅しをかけて相手を利用するような輩がたむろする裏社会の知り合いに相談した。しかし彼らは事実上何も名案がなかった。

Then he'd looked up some friends of his in the underworld, fellows who kept tarts for what they could make out of them, but they had practically nothing to suggest.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd looked up ハット・・ルクト・アップ 3 単過・完了形(look)v.t (人を)訪ねた、相談した 「動詞句」

some friends of his サム・フレンズ・オブ・ヒズ pl.n 知り合いを 「目的語」

in the underworld, イン・スィ・アンダー・グラウンド adv. 暗黒街にいる 「副詞句」

fellows フェロウズ pl.n 男どもは 「同格」

who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」

kept ケプト 3 複過(keep)v.t ケプト 3 複過(keep)

v.i (状態を)続けた 「動詞」

tarts タート adj. しぶい、すっぱい、辛辣な 「補語」

for what フォー・フワット adv. 何に対して 「間接目的語」

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

could make out クット・・メイク・アウト 3 複過・可能・推量(make out)

v.i うまく利用できる 「動詞句」

of them, オフ・ゼム adv. 自分自身を 「間接目的語」

but バット conj. しかし

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

had ハット 3 複過(have)v.t ～があった 「動詞」

practically nothing プラクチカー・ナシグ pron 事実上何も～ない 「目的語」

to suggest. トゥ・サジェスト 不定詞・目的 adj. 提案すべき 「形容詞句」

フランス語の原文では： シンプルな表現だった

それから、その筋の知り合いに話を聞いてみた。彼らは何も名案を思いつかなかった。

Ensuite, il s'était adressé à des amis qu'il avait dans le milieu. Ils n'avaient rien trouvé.

さらにレーモンが言うように、それは彼らの世界では当然なのかもしれない；君が自分を裏切った女をどう扱えばよいか分からなくても、彼らの世界では何が正しいのだろうか？

Still, as he pointed out, that sort of thing should have been right up their street; what's the good of being in that line if you don't know how to treat a girl who's let you down?

「副詞句」,「主語」「動詞句」「補語」;「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Still, スティル adv. さらに 「副詞」

as アス conj. ～するように 「副詞節」

Part 1 第1部

he ヒー pron レーモンが	「主語」
pointed out, ポイント・アウト 3 単過(point out)v.t 指摘した	「動詞句」
that sort of thing ザット・ソート・オブ・シング n. そういうことは	「主語」
should have been シュット・ハヴ・ビーン 3 単現・完了形・推量(be)	
v.i 〜だったかもしれない	「動詞句」
right ライト adj. 正しい	「補語」
up their street; アップ・セア・ストリート adv. 彼らの世界では	「副詞句」
what ファット pron 何が	「主語」
that sort of thing の説明	
's イズ 3 単現(be)v.i 〜である	「動詞」
the good ゲット n. 良いこと	「補語」
of being in that line オブ・ビーイング・イン・ザット・ライン	
adj. (目的) その線の中にいるために	「形容詞句」
if イフ conj. もし〜ならば	「副詞節」
you ユー pron 君が	「主語」
don't know ドント・ノウ 2 単現・否定 v.t 知らない	「動詞句」
how to treat ハウ・トゥ・トリート	
n. どのように扱えばよいかということ	「目的語」
a girl ア・ガール n. 女を	「目的語」
who フー pron (主語) 〜する	「形容詞節」
's let ...down? ハズ・レット...ダウン 3 単現・完了形(let down)	
v.t 裏切った	「動詞句」
you ユー pron 君を	「目的語」

フランス語の原文では： シンプルな表現だった

レーモンが言うように、その稼業の人間だって、こういう時には何の役にも立たないのだ。

Et comme me le faisait remarquer Raymond, c'était bien la peine d'être du milieu.

レーモンが彼らにこのことを話すと、“女に烙印を押すのはどうだ”と勧めた。

When he told them that, they suggested he should “brand” her.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

When ホエン conj. 〜すると	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
told トルド 3 単過(tell)v.t 話した	「動詞」
them ゼム pron.pl 彼らに	「間接目的語」
that, ザット pron そのことを	「直接目的語」
they ゼイ pron 彼らは	「主語」

Part 1 第1部

suggested サヅェスティット 3 複過 v.t 勧めた、提案した 「動詞」
 he ヒー pron 彼は 「目的語」
 should “brand” シュット・ブランド 3 単現・推量 v.t 烙印を押したらいい 「動詞句」
 her. ハー pron 女に 「目的語」

しかし、それはどう見ても彼の望むところではなかった。

But that wasn't what he wanted, either. But 「主語」「動詞句」「補語」
 But バット conj. しかし
 that ザット pron それは 「主語」
 wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ~でなかった 「動詞句」
 what he wanted, フォット・ヒー・ウォント n. 彼の望むところ 「補語」
 either. イザー adv. (特に否定を強めるのに用いて) どうみても~でない 「副詞」

よく考える必要がありそうだ。

It would need a lot of thinking out. ... 「主語」「動詞句」「目的語」
 It イット pron それは 「主語」
 would need ウット・ニート 3 単現・推量(need)v.t ~が必要だろう 「動詞句」
 a lot of thinking out. ... ア・ロット・オブ・シンキング・アウト 現在分詞・受動
 n. 十分に考慮されることが 「目的語」
 The house needs **repairing**. 家は修繕が必要だ。(受動的)

しかし、その前に彼は僕に何かを頼みたいと言っている。

But, first, he'd like to ask me something. But 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 But, バット conj. しかし
 first, ファースト adv. その前に、まず 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd like to ask ウット・ライク・トゥ・アスク 3 単現・願望(would like to+不定詞)
 v.t 頼みたいと言っている 「動詞句」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 something. サムシング pron 何か 「直接目的語」

Part 1 第1部

だが、彼はそれを頼む前に、これまで彼がしてきた話について、僕の意見を聞きたがった。

Before he asked it, though, he'd like to have my opinion of the story he'd been telling, in a general way. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Before ビフォー conj. ～する前に 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

asked アスクト 3 単過・時制の一致 v.t 頼む 「動詞」

it, イット pron それを 「目的語」

though, ゾウ adv. しかし、けれども 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

'd like to have ウット・ライク・トゥ・ハヴ 3 単過・願望 (would like to+不定詞)

v.t (意見を) 聞きたがっていた 「動詞句」

my opinion of the story マイ・オピニオン・オブ・ザ・ストーリー n. この話に対する僕の意見を 「目的語」

he ヒー pron 彼が～した 「形容詞節」

'd been telling, ハット・ビーン・テリング 3 単過・完了形・進行形(tell)

v.t これまで話してきた 「動詞句」

in a general way. イン・ナ・ジェネラル・ウェイ adv. 一般的に、概して 「副詞句」

僕は、特に何も思わなかったけれど、面白い話だと思うと答えた。

I said I hadn't any, but I'd found it interesting. 「主語」 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

n. 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

hadn't ハット 1 単過・否定(have)v.t なかった 「動詞句」

any, エニー pron (否定文で) 特に～ない 「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」

'd found ハット・ファウンド 1 単過・完了形(find)v.t(SVOC O が C だと) 思った 「動詞句」

it イット pron それは 「目的語」

interesting. インタレストィング adj. 面白い 「補語」

女は本当に彼を陥れたと僕は思っているかと尋ねた。

Did I think she really had done him dirt? 「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Did ...think ティット ...シク 1 単過・疑問文 v.t 思ったか? 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

n. 「目的語」

Part 1 第1部

she シー pron 女は 「主語」
 really リアリー adv. 本当に 「副詞」
 had done ...dirt? ハット・ダン...ダート 3 単過・完了形(do O dirt)
 v.t(人を) 陥れた 「動詞句」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」

僕は、そのようだと答えるしかなかった。

I had to admit it looked like that. 「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had to admit ハット・トク・アドミット 1 単過・必要(have to+不定詞)
 v.t 認めるしかなかった 「動詞句」
 it looked like that. イット・ルクト・ライク・ザット n. そのように見える 「目的語」

それから彼は僕に、女は罰せられるべきだと思わないのかと尋ね、そして僕が彼の立場だったらどうするかと尋ねた。

Then he asked me if I didn't think she should be punished and what I'd do if I were in his shoes. 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 and 「直接目的語」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't think ディトント・シンク 1 単過・否定・時制の一致 v.t 思わない 「動詞句」
 n. 「目的語」
 she シー pron 女は 「主語」
 should be punished シュット・ビー・パニッシュト 3 単過・必然・受動
 v.t 罰せられるべきである 「動詞句」
 and アント conj. そして
 what ファット conj. 何をするかということ 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd do ウッド・トゥ 1 単過・推量(would+不定詞)v.t するだろうか 「動詞句」
 if イフ conj. もし～ならば 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 were ワー 1 単過・仮定法過去(be)v.i ～にいた 「動詞」
 in his shoes. イン・ヒズ・シューズ adv. 彼の立場に 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は、こんな場合にどうすればよいか全くわからないと彼に言った。だが、彼が女を懲らしめたいという気持ちはよく理解できる。

I told him one could never be quite sure how to act in such cases, but I quite understood his wanting her to suffer for it.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,but「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トルド 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 n. ～ということを 「直接目的語」
 one ワン pron 僕は 「主語」
 could never be クッド・ネバー 3 単現・否定・推量 「動詞句」
 v.i ～でないだろう 「補語」
 quite sure クワイ・シュア adj. まったく確信のある 「補語」
 how to act ハウ・トゥ・アクト adv. (関連) どう行動するかについて 「副詞句」
 in such cases, イン・サッチ・ケイズ adv. こんな場合に 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 quite understood クワイ・アンダーストゥッド 1 単過・時制の一致 v.t よく理解できる 「動詞句」
 his wanting ヒズ・ワンティンク n. 彼の希望を 「目的語」
 her ハー pron 女を 「目的語」
 to suffer トゥ・サファー 不定詞 v.t 懲らしめる 「動詞句」
 for it. フォー・イット adv. そのことで (彼を裏切ったこと) 「副詞句」

僕はもう少しワインを飲んだ。その間、レーモンは新しいタバコに火をつけ、彼がやろうとしていたことの説明を始めた。

I drank some more wine, while Raymond lit another cigarette and began explaining what he proposed to do.

「主語」「動詞」「目的語」,while「主語」「動詞」「目的語」and「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 drank ドランク 1 単過(drink)v.t 飲んだ 「動詞」
 some more wine, サム・モア・ワイン n. もう少しワインを 「目的語」
 while ホワイ conj. その間～
 Raymond レイモント n. レーモンは 「主語」
 lit リット 3 単過(light)v.t 火をつけた 「動詞」
 another cigarette アナザー・シガレット n. 新しいタバコに 「目的語」
 and アンド conj. そして

Part 1 第1部

began explaining ビ・ガン・イクスプレイング 3 単過・開始(begin+現在分詞)

v.t 説明を始めた

「動詞句」

what ファット pron 〜することを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

proposed to do. フ・ロウズト・トゥ・ドゥ 3 単過・意図(propose to+不定詞)

v.t しようと思っていた

「動詞句」

彼は、「女を丸裸にして、しかも自分がしたことを後悔させるような、女を強く非難する」手紙を書きたかった。

He wanted to write her a letter, “a real stinker that’ll get her on the raw.” and at the same time make her repent of what she’d done.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

wanted to write ウォンティット・トゥ・ライト 3 単過・願望(want to+不定詞)

v.t 書きたかった

「動詞句」

her ハー pron 女に

「間接目的語」

a letter, ア・レター n. 手紙を

「直接目的語」

“a real stinker, ア・リアル・スチンカー n. 徹底的に非難する手紙

「形容詞句」

that サット pron それは

「主語」

’ll get シャル・ゲット 3 単未・確信 v.t 〜にさせるだろう

「動詞句」

her ハー pron 女を

「目的語」

on the raw,” オン・サ・ロー adv. 丸裸の

「補語」

and アント conj. そして

at the same time アット・ザ・セイム・タイム adv. 同時に

「副詞句」

make メイク 3 単未・確信・使役 v.t 〜にさせるだろう

「動詞句」

her ハー pron 女を

「目的語」

repent リペント 不定詞・her の動作 v.i(of ことを) 後悔する

「補語」

of what she’d done. オフ・ファット・シード・タン

adv. 彼女のしたことを

「間接目的語」

Part 1 第1部

それから、女が戻ってきたら女と一緒にベッドに入り、女が十分に火が付いた頃に、女の顔につばを吐きかけて、部屋から放り出すつもりなのだ。

Then, when she came back, he'd go to bed with her and, just when she was "properly primed up," he'd spit in her face and throw her out of the room.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 and

「副詞節」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 and 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Then, セン adv. それから

「副詞」

when ホエン conj. (条件) 〜したら

「副詞節」

she シー pron 女が

「主語」

came back, ケイム・バック 3 単過(come back)v.i 戻ってきた

「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd go ウット・ゴウ 3 単過・意図(would+不定詞)v.i 行くつもりだ

「動詞句」

to bed トゥ・ベッド adv. ベッドに

「副詞句」

with her ウイズ・ハー adv. 女と一緒に

「副詞句」

and, アント conj. そして

just when ジャスト・ホエン conj. ちょうど〜するときに

「副詞節」

she シー pron 女が

「主語」

was "properly primed up," ワズ・プ ロパリー・プライムト・アップ 3 単過・受動(prime)

v.t 十分に火薬が詰め込まれた

「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd spit ウット・スピット 3 単過・意図(would+不定詞)v.i つばを吐きかけるつもりだ

「動詞句」

in her face イン・ハー・フェイス adv. 女の顔に

「副詞句」

and アント conj. そして

throw スロウ 3 単過・意図(would+不定詞)v.t 投げるつもりだ

「動詞句」

her ハー pron 女を

「目的語」

out of the room. アウト・オブ・ザ・ルーム adv. 部屋の外へ

「副詞句」

その計画は悪くない；そうすれば女も思い知るだろうと、僕は認めた。

I agreed it wasn't a bad plan; it would punish her. all right. 「主語」 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

agreed アグリード 1 単過 v.t (よいと) 認めた

「動詞」

n. 〜ということを

「目的語」

it イット pron それは

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i 〜でない

「動詞」

a bad plan; ア・バッド・プラン n. 悪い計画

「補語」

it イット pron それは

「主語」

Part 1 第1部

would punish ウッド・パニッシュ 3 単現・推量 v.t. こらしめるだろう 「動詞句」
 her, ハー pron 女を 「目的語」
 all right. オール・ライト adv. 十分に 「副詞句」

しかしレーモンは、肝心のその手紙が書けないので、僕に手伝って欲しいのだと言った。

But, Raymond told me, he didn't feel up to writing the kind of letter that was needed, and that was where I could help. But 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

But, バット conj. しかし

Raymond レイモント n. レーモンは 「主語」

told トルド 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

me, ミー pron 僕に 「間接目的語」

n. ～ということを 「直接目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

didn't feel up to writing デイ dont・フィール・アップ・トゥ・ライティング 3 単過・否定・気持ち
 v.t 書ける気がしない 「動詞句」

feel up to +現在分詞 ～する気がする、～する気になる

the kind of letter ザ・カインド・オブ・レター n. その種の手紙を 「目的語」

that was needed, ザット・ワズ・ニーデッド adj. 必要な 「形容詞節」

and アンド conj. そして

that ザット pron それが 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

where I could help. ウェア・アイ・クッド・ヘルプ

adv. 僕が手伝えるところ 「補語」

僕が何も言わないでいると、今すぐ手紙を書いてもらうのは迷惑だろうかと僕に尋ねた。

それで、「迷惑とは思わない」、やってみるよと答えた。

When I didn't say anything, he asked me if I'd mind doing it right away, and I said, "No," I'd have a shot at it. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,

and 「主語」「動詞」, 《「応答」》, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

When ホエン conj. ～すると 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

didn't say デイ dont・セイ 1 単過・否定 v.t 言わなかった 「動詞句」

anything, エニシング pron (否定文で) 何も～ない 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

Part 1 第1部

if イフ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd mind ウッド・マインド 1 単過・推量(would+不定詞 mind)	
v.t(+現在分詞) ～するのを迷惑だと思うだろう	「動詞句」
doing トゥイング 現在分詞(do) ～をすること	「目的語」
it イット pron それを	「目的語」
right away, ライト・アウェイ adv. 今すぐに	「副詞句」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
said, セッド 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
“No,” ノー adv. (否定) 迷惑とは思わない、構わない	「応答」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd have a shot ウッド・ハヴ・ア・ショット 1 単過・意思(have a shot at+目的語)	
v.i やってみる	「動詞句」
at it. アット・イット adv. それを	「間接目的語」

彼はワインを1杯飲み干して、立ち上がった。

<u>He drank off a glass of wine and stood up.</u>	「主語」「動詞句」「目的語」and「動詞句」
He ヒー pron 彼は	「主語」
drank off ドランク・オフ 3 単過(drink off)v.t (飲み物を一気に) 飲み干した	「動詞句」
drink down は、(さっさと、努力して) 飲み干す	
a glass of wine ア・グラス・オブ・ワイン n. ワインを1杯	「目的語」
and アンド conj. そして	
stood up. ストゥッド・アップ 3 単過(stand up)v.i 立ち上がった	「動詞句」

それから、皿と残っていた冷めた腸詰を押しつけて、テーブルにスペースを作った。

<u>Then he pushed aside the plates and the bit of cold pudding that was left, to make room on the table.</u>	「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
Then セン adv. それから	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
pushed aside プッシュ・アサイド 3 単過(push aside)v.t ～を押しつけた	「動詞句」
the plates ザ・プレート pl.n 皿を	「目的語」
and アンド conj. そして	
the bit of cold pudding ザ・ビット・オブ・コールド・プディング n. 冷めた腸詰を	「目的語」
that was left, ザット・ワズ・レフト adj. 残っていた	「形容詞節」
to make トゥ・メイク 不定詞・結果 adv. そして～を作った	「副詞句」

Part 1 第 1 部

room ルーム n. スペースを

「目的語」

on the table. オン・ザ・テーブル adv. テーブル上に

「副詞句」

防水のテーブルカバーを念入りに拭いてから、彼はナイトテーブルの引き出しから方眼入りの紙を 1 枚取ってきた；それから、封筒、赤い小さな木のペン軸、そして紫色のインクが入った四角いインク瓶を持ってきた。

After carefully wiping the oilcloth, he got a sheet of squared paper from the drawer of his bedside table; after that, an envelope, a small red wooden penholder and a square inkpot with purple ink in it.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」; 「副詞句」「目的語」

After carefully wiping アフター・ケアフルー・ワイピング

adv. (after+現在分詞) 念入りに拭いてから

「副詞句」

the oilcloth, シ・オイルクロス n. 防水のテーブルカバーを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

got ゴット 3 単過(get)v.t 取ってきた

「動詞」

a sheet of squared paper ア・シート・オブ・スクェアト・ペーパー n. 方眼入りの紙を

「目的語」

from the drawer フロム・ザ・ドローワー adv. 引き出しから

「副詞句」

of his bedside table; オフ・ヒズ・ベッド・サイト・テーブル

adj. ナイトテーブルの

「形容詞句」

after that, アフター・ザット adv. その後、それから

「副詞句」

an envelope, アン・エンヴェロプ n. 封筒

「目的語」

a small red wooden penholder, ア・スモール・レッド・ウツ・ウツ・ペンホルダー

n. 赤い小さな木のペン軸

「目的語」

and アンド conj. そして

a square inkpot ア・スクエア・インクポット n. 四角いインク瓶

「目的語」

with purple ink in it. ウイズ・パープル・インク・イン・イット

adj. 紫色のインクが入った

「形容詞句」

彼が女の名前を言った時、僕はそれがムーア人だと分かった。

The moment he mentioned the girl's name I knew she was a Moor.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

The moment ザ・モメント n. その時

「副詞句」

adj. ～する

「形容詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

mentioned メンショント 3 単過 v.t (名前を) 告げた

「動詞」

the girl's name ザ・ガールズ・ネーム n. 女の名前を

「目的語」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は	「主語」
knew ニュ 1 単過(know)v.t 分かった	「動詞」
n. ～ということが	「目的語」
she シー pron 彼女が	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
a Moor. ア・ムーア n. ムーア人	「補語」

ムーア人：

北西アフリカにすむイスラム教徒；ベルベル族とアラブ人との混血

僕は手紙を書いた。あまり苦労はなかったが、レーモンの意向に沿うように努力した。そうしない理由がなかったからだ。

I wrote the letter. I didn't take much trouble over it, but I wanted to satisfy Raymond, as I'd no reason not to satisfy him.

「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

I アイ pron 僕は	「主語」
wrote ロウト 1 単過(write)v.t 書いた	「動詞」
the letter. ザ・レター n. 手紙を	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
didn't take ディント・テイク 1 単過・否定 v.t ～がなかった	「動詞句」
much trouble マッチ・トラブル n. (否定文で) あまり苦労は～ない	「目的語」
over it, オヴァー・イット adv. それには	「副詞句」
but バット conj. しかし	

I アイ pron 僕は	「主語」
wanted to satisfy ワンティット・トゥ・サティファイ 1 単過・願望(want to+不定詞) v.t (希望を) 満たそうと試みた	「動詞句」
Raymond, レーモント n. レーモンの意向を	「目的語」
as アズ conj. (理由) ～なので	「副詞節」

I アイ pron 僕は	「主語」
'd ハット 1 単過(have)v.t ～があつた	「動詞」
no reason ノ・リーズン n. 理由が～ない	「目的語」
not to satisfy him. ノット・トゥ・サティファイ・ヒム 不定詞・否定形(satisfy+him) adj. (同格) 彼の意向に沿わないという	「形容詞句」

Part 1 第 1 部

それから、僕は今書いた物を読んで聞かせた。

Then I read out what I'd written.

Then 「主語」「動詞句」「目的語」

Then ゼン adv. それから

I アイ pron 僕は

「主語」

read out レッド・アウト 1 単過(read out)v.t (声を出して) 読み上げた

「動詞句」

what I'd written. ファット・アイト・リット pron 僕が書いた物を

「目的語」

彼は煙草をふかし、時々うなずきながら、聞いていた。

Puffing at his cigarette, he listened, nodding now and then.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Puffing パフイング 現在分詞・同時(puff)v.i(at を) プカプカとふかしながら

「副詞句」

at his cigarette, アット・ヒズ・シガレット adv. タバコを

「間接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

listened, リスト 3 単過 v.i 聞いていた

「動詞」

nodding ノディング 現在分詞・同時(nod)v.i うなずきながら

「副詞句」

now and then. ナウ・アンド・ゼン adv. 時々

「副詞句」

「もう一度読んでくれないか」と、彼は求めた。

“Read it again, please,” he said.

《「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「主語」「動詞」

“Read リード 命・2 複現・依頼 v.t 読んでくれ

「動詞」

it イット pron それを

「目的語」

again, please,” アゲン・プリーズ adv. どうかもう一度

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said. セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

彼は喜んでいるように見えた。「これこそ俺が望んでいたものだ」と、彼は嬉しそうに笑った。「君はよくできるやつだ。相棒！そして、物事をよく知っている」

He seemed delighted. “That’s the stuff,” he chuckled. “I could tell you was a brainy sort, old boy, and you know what’s what.”

「主語」「動詞」「補語」

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞句」「目的語」》

He ヒー pron 彼は

「主語」

seemed シーム 3 単過 v.i ~のように見えた

「動詞」

delighted. デライト adj. 喜んで

「補語」

“That サット pron これは

「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

Part 1 第1部

the stuff,” ザ・スタッフ n. まさにその通りのもの	「補語」
That's the stuff. 「その通りだ。それはいい。」(同意・是認を表す)	
he ヒー pron 彼は	「主語」
chuckled. チャクルト 3 単過 v.i 嬉しそうに笑った	「動詞」
“I アイ pron 俺は	「主語」
could tell クット・テル 1 単現・可能 v.t ～と言いたい	「動詞句」
n. ～ということを	「目的語」
you ユー pron 君は	「主語」
was ワズ 仮定法過去(be)v.i ～である	「動詞」
a brainy sort, old boy, ア・ブレイン・ボウイ・オヴ・ロ・ボウイ n. よくできる相棒	「補語」
and アント conj. そして	
you ユー pron 君は	「主語」
know ノウ 2 単現 v.t 知っている	「動詞」
what's what.” ファッツ・ファット pron 物事がなんであるかを	「目的語」

初めのうち、僕はあの“相棒”という馴れ馴れしい呼び方にほとんど気付かなかった。

<u>At first I hardly noticed that “old boy.”</u>	「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
At first アット・ファースト adv. 初めのうちは	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
hardly noticed ハートリー・ノチスト 1 単過・否定 v.t ほとんど気づかなかった	「動詞句」
that “old boy.” ザット・オールド・ボウイ n. あの“相棒”という馴れ馴れしい言い方	「目的語」

その記憶は、彼が僕の肩を軽く叩き、《これでもう、俺たちは相棒だな》と言った時、僕の脳裏によみがえった。

<u>It came back to me when he slapped me on the shoulder and said, “So now we're pals, ain't we?”</u>	「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」
It イット pron それは	「主語」
came back ケイム・バック 3 単過(come back)v.i(to 人に) よみがえってきた	「動詞句」
to me トゥ・ミー adv. 自分に	「間接目的語」
when ホエン conj. ～したとき	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
slapped スラップト 3 単過 v.t (平手で) ぴしやりと打った	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」
on the shoulder オン・ザ・ショルダー adv. 僕の肩を	「副詞句」
and アント conj. そして	
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」

Part 1 第1部

n. ～ということ	「目的語」
“So now ソウ・ナウ adv. これでもう	「副詞句」
we ウー pron 俺たちは	「主語」
're アー 1 複現(be)v.i ～である	「動詞」
pals, パルス pl.n 相棒	「補語」
ain't we?” エイント・ウィー adv. そうだろう？	「確認」

僕は黙っていたが、彼はまた同じことを言った。

I kept silence and he said it again.

	「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
kept ケプト 1 単過・継続(keep)v.t (動作・状態を) 続けた	「動詞」
silence サイレンス n. 沈黙	「目的語」
and アンド conj. そして	
he ヒー pron 彼は	「主語」
said セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
it イット pron それを	「目的語」
again. アゲン adv. また	「副詞」

フランス語の原文では

Il a répété sa phrase et j'ai dit: «Oui».

彼はその言葉を繰り返したので、僕は「まあね」とだけ答えた。

僕はどうしてもよかったが、彼がそれを強く望んでいるように見えたので、僕はうなずいて、その呼び方を受け入れた。

I didn't care one way or the other, but as he seemed so set on it, I nodded and said, “Yes.”

	「主語」「動詞句」「目的語」, but 「副詞節」, 「主語」「動詞」 and 「動詞」《「応答」》
I アイ pron 僕は	「主語」
didn't care ディント・ケア 1 単過・否定(care)v.t 構わなかった、気にしなかった	「動詞句」
one way or the other, ワン・ウェイ・オア・ズイ・アザー n. どちらでも	「目的語」
but バット conj. しかし	
as アス conj. ～なので	「副詞節」
he ヒー pron 彼は	「主語」
seemed シームト 3 単過 v.i ～のように見えた	「動詞」
so set on it, ソ・セット・オン・イット adj. かなりそれを望んでいた	「補語」
so ソ adv. それほど set セット過去分詞・受動(set)adj.(on に) 向かった、希望した	
I アイ pron 僕は	「主語」

Part 1 第1部

nodded ノッド 1 単過(nod)v.i うなずいた 「動詞」

and アンド conj. そして

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“Yes.” イェス adv. わかった 「応答」

彼は手紙を封筒に入れ、僕たちは残っていたワインを飲みつくした。

He put the letter into the envelope and we finished off the wine.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

put プット 3 単過(put)v.t (ある場所に) 入れた 「動詞」

the letter ザ・レター n. 手紙を 「直接目的語」

into the envelope イントゥ・スィ・エンヴェロウプ adv. 封筒の中に 「間接目的語」

and アンド conj. そして

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

finished off ファイニッシュ・オフ 1 複過(finish off)v.t (飲み物を) 飲みつくした 「動詞句」

the wine. ザ・ワイン n. ワインを 「目的語」

それから、僕たちは二人ともしばらく無言でタバコを吸っていた。

Then both of us smoked for some minutes, without speaking.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」

Then セン adv. それから 「副詞」

both of us ボス・オブ・アス pl.n 僕たちは2人とも 「主語」

both of + 限定複数名詞 「両者2人とも、両方とも、双方」

smoked スモウト 1 複過 v.i タバコを吸った 「動詞」

for some minutes, フォー・サム・ミニッツ adv. 数分間 「副詞句」

without speaking. ウィズアウト・スピーキング adv. 何も話さずに 「副詞句」

通りは静まり返っていたが、時々、車が通り過ぎる音が聞こえた。

The street was quite quiet, except when now and again a car passed.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」

The street ザ・ストリート n. 通りは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

quite quiet, クワイエット adj. 静まり返った 「補語」

except イクセプト conj. ただし、〜ということを除いて 「副詞節」

when ホエン conj. 〜する時 「副詞節」

now and again ナウ・アンド・アゲイン adv. 時々 「副詞句」

Part 1 第1部

a car ア・カー n. 車が

「主語」

passed. パスト 3 単過・時制の一致 v.i 通り過ぎる

「動詞」

やがて僕が、もう遅くなった、と言うと、レーモンが同意した。

Finally, I remarked that it was getting late, and Raymond agreed.

「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, and 「主語」 「動詞」

Finally, ファイナリー adv. やがて

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

remarked リマ-クト 1 単過 v.t 言った

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

it イット pron 天候・時間が

「主語」

was getting ワズ・ゲ-ティング 3 単過・進行形・時制の一致(get)

v.i (～の状態に) になっている

「動詞句」

late, レイト adj. 遅い

「補語」

and アンド conj. そして

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

agreed. アグ-リード 3 単過 v.i 同意した

「動詞」

「今晚は、時間がたつのが速かった」と、彼は付け加えたが、ある意味ではその通りだ。

“Time’s gone mighty fast this evening,” he added, and in a way that was true.

《「主語」 「動詞句」 「副詞句」》, 「主語」 「動詞」, and 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

Time タイム n. 時間は

「主語」

’s gone ハズ・ゴ-ン 3 単現・完了形(go)v.i (時が) 過ぎた、経過した

「動詞句」

mighty fast マイティ・ファースト adv. 非常に早く

「副詞句」

this evening,” ス-イス・イ-ニング n. 今晚は

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

added, ア-デ-ド 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

and アンド conj. そして

in a way イン・ナ・ウェイ adv. ある点で、ある意味、ある程度は

「副詞句」

that ザット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

true. トゥー adj. 真実の、正しい

「補語」

Part 1 第1部

僕はもう寝たかったが、移動するのは辛かった。

I wanted to be in bed, only it was such an effort making a move.

「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 wanted to be ウォンテッド・トゥ・ビー 1 単過・願望(want to+不定詞)v.i ~に行きたかった 「動詞句」
 in bed, イン・ベッド adv. ベッドに 「間接目的語」
 only オンリー conj. ただし~ 「副詞節」
 it イット pron 仮の主語 (真の主語は making 以降)
 was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 such an effort サッチ・アン・エフォット n. 大変な骨折り 「補語」
 making a move. メイキング・ア・ムーヴ 現在分詞 n. 移動することは 「主語」

僕は疲れたように見えたに違いない。レーモンが、《なげやりになるな》と言ったからだ。

I must have looked tired, for Raymond said to me, “You mustn’t let things get you down.”

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 must have looked マスト・ハヴ・ルクト 1 単現・完了形・必然性(must+look)
 v.i ~に見えたに違いない 「動詞句」
 tired, タイアド adj. 疲れた 「補語」
 for フォー conj. ~なので 「副詞節」
 Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 to me, トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」
 “You ユー pron 君は 「主語」
 mustn’t let マスト・レット 2 単現・禁止・使役(let+不定詞)
 v.t ~させてはならない 「動詞句」
 things シングズ pl.n 物事に 「目的語」
 get you down.” ゲット・ユー・ダウ 不定詞・things の動作(get down+you)
 v.t 君を落胆させる、うんざりさせる 「補語」
 → 物事にうんざりするな → なげやりになるな

最初、僕は意味が分からなかった。

At first I didn’t catch his meaning.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 At first アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn’t catch デイdn’t・キャッチ 1 単過・否定 v.t 分からなかった 「動詞句」

Part 1 第1部

his meaning. ヒズ・ミーニング n. 意味が

「目的語」

それで彼は説明した。《お袋さんが亡くなったと聞いた。いずれにせよ...》と、彼は言った。《いつかは起こることなんだ》

Then he explained that he had heard of my mother's death; anyhow, he said, that was something bound to happen one day or another.

「副詞」「主語」「動詞」〈「目的語」；「副詞」〉「主語」「動詞」〈「主語」「動詞」「補語」〉

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した

「動詞」

《なげやりになるな》という言葉の補足説明

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had heard ハット・ハート 3 単過・完了形(hear)v.t 聞いた

「動詞句」

of my mother's death; オフ・マザーズ・デス adv. 母さんの死について

「間接目的語」

anyhow, エニハウ adv. とにかく、いずれにせよ

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

that ザット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

something サムシング n. 事

「補語」

bound to happen バウンド・ト・ハプン

adj. (bound to+不定詞) 起こる運命の

「形容詞句」

one day or another. ワン・デイ・オア・アナザー adv. いつかは

「副詞句」

僕はその通りだと思って、彼にそう伝えた。

I appreciated that, and told him so.

「主語」「動詞」「目的語」,and「動詞」「目的語」「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

appreciated アプリーシエイテッド 1 単過 v.t 認めた、同意した

「動詞」

that, ザット pron 彼の言葉を

「目的語」

and アント conj. そして

told トルド 1 単過(tell)v.t 伝えた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「目的語」

so. ソウ adv. そのように

「副詞」

Part 1 第1部

立ち上がると、レーモンは僕の手を強く握って、男同士はいつでも分かり合えると言った。

When I rose, Raymond shook hands very warmly, remarking that men always understood each other. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」, 「副詞句」

When I rose, ホェン・アイ・ロプス adv. 僕が立ち上がると 「副詞節」

Raymond レイモント n. レーモンは 「主語」

shook シュック 3 単過(shake) v.t (手を) 握った 「動詞」

hands ハズ pl.n 両手を 「目的語」

very warmly, ウェリー・ウォームリー adv. 熱烈に、しっかりと 「副詞句」

remarking リマキング 現在分詞・継続 adv. そして～と言った 「副詞句」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

men メン pl.n 男同士は 「主語」

always オールウェイズ adv. いつでも 「副詞」

understood アンダーストット 3 複過・時制の一致 v.t 理解する 「動詞」

each other. イーチ・アザー pron お互いを 「目的語」

レーモンの部屋のドアを閉めた後も、僕はしばらく 2 階の廊下にたたずんでいた。

After closing the door behind me I lingered for some moments on the landing.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」

After closing アフター・クロウジング 現在分詞 (状況) ～を閉めた後で 「副詞句」

the door サ・ドア n. ドアを 「目的語」

behind me ビ・ハインド・ミー adv. 背後の 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

lingered リンカート 1 単過 v.i ぐずぐずしていた、居残っていた 「動詞」

for some moments フォー・サム・モメント adv. しばらく 「副詞句」

on the landing. オン・ザ・ランディング adv. 踊り場で、廊下 「副詞句」

アパート全体は墓場のように静かで、階段ホールから暗い湿ったにおいが立ち昇っていた。

The whole building was as quiet as the grave, a dank, dark smell rising from the well hole of the stairs. 「主語」 「動詞」 「補語」, 「副詞句」

The whole building サ・ホール・ビルディング n. 建物全体が 「主語」

was ワズ 3 単過(sein) v.i ～だった 「動詞」

as quiet as アズ・クワイエット・アズ adj. ～と同じくらい静かだった 「補語」

the grave, サ・グレイヴ n. 墓場 「目的語」

a dank, dark smell ア・ダンク・ダーク・スメル n. (主語) 湿って暗いにおいが～する 「副詞句」

rising ライジング 現在分詞 v.i (状況) 立ち上っていた 「動詞」

from the well hole of the stairs. フロム・ザ・ウェル・ホール・オブ・ザ・ステアーズ

Part 1 第1部

adv. 階段ホールから

「副詞句」

僕は耳の中で脈打つ血の音しか聞こえなかった。しばらくはじっとそれを聞いていた。

I could hear nothing but the blood throbbing in my ears, and for a while I stood still, listening to it. 「主語」「動詞句」「目的語」,and 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

could hear クット・ヒア 1 単過・可能 v.t 聞こえた

「動詞句」

nothing but ナシグ・ハット prep ～しか

「副詞句」

the blood ザ・ブラッド n. 血、血の音

「目的語」

throbbing in my ears, スロビング・イン・マイ・イアーズ

adj. 耳の中で脈打つ

「形容詞句」

and アンド conj. そして

for a while フォー・ア・ホワイル adv. しばらく

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

stood still, ストゥット・スティル 1 単過(stand still)v.i じっとしていた

「動詞句」

listening to it. リスニング・トゥ・イット 現在分詞(listen)adv. それを聞きながら

「副詞句」

その時、サラマノ老人の部屋で犬が唸りだすと、眠りに閉ざされたアパートから、静寂と暗闇の中から生まれてくる花のように、ゆっくりと、悲しげな小さな音が漏れてきた。

Then the dog began to moan in old Salamano's room, and through the sleep-bound house the little plaintive sound rose slowly like a flower growing out of the silence and the darkness. 「副詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Then セン adv. その時、それから

「副詞」

the dog ザ・ドッグ n. 犬が

「主語」

began to moan ビギン・トゥ・モーン 3 単過・開始(begin to+不定詞)v.i 唸りだした

「動詞句」

in old Salamano's room, イン・オールド・サラマノズ・ルーム adv. サラマノの部屋で

「副詞句」

and アンド conj. そして

through the sleep-bound house スルー・ザ・スリープ・バウンド・ハウス

adv. 眠りに閉ざされたアパートから

「副詞句」

sleep-bound スリープ・バウンド adj. 眠りに閉ざされた -bound adj. ～に閉ざされた

the little plaintive sound ザ・リトル・プレインティヴ・サウンド n. 悲しげな小さな音が

「主語」

rose ローズ 3 単過(rise)v.i 立ち上がった

「動詞」

slowly, スロウリー adv. ゆっくりと

「副詞」

like ライク prep (様態) ～のように

「副詞句」

a flower ア・フラワー n. 花

「目的語」

growing out of グロウイング・アウト・オブ 現在分詞(grow out of)

Part 1 第 1 部

adj. ～から生じる

「形容詞句」

the silence サ・サイレンス n. 静寂

「目的語」

and アンド conj. そして

the darkness. サ・ダークネス n. 暗闇

「目的語」

フランス語の原文では

だがサ라마ノ老人の部屋で、あの犬がかすかに唸った。

Mais dans la chambre du vieux Salamano, le chien a gémì **sourdement**.

英文の翻訳者が、sourdement（かすかに）に情景描写を追加したのだと思う。

Part 1 第 1 部

IV

僕は 1 週間ずっと事務所で忙しく働いた。

I HAD a busy time in the office throughout the week.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

HAD ハット 1 単過(have)v.t 持った、動作をした

「動詞」

a busy time ア・ビジー・タイム n. 忙しい時間を

「目的語」

in the office イン・ズィオフィス adv. 事務所で

「副詞句」

throughout the week. スルーアウト・ザ・ウィーク adv. 1 週間ずっと

「副詞句」

その間に 1 度レーモンがぶらりとやってきて、あの手紙は出したと報告していった。

Raymond dropped in once to tell me he'd sent off the letter. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Raymond レイモン n. レーモンは

「主語」

dropped in ドロップト・イン 3 単過(drop in)v.i (ぶらりと) 立ち寄った

「動詞句」

once ワンス adv. 1 度

「副詞」

to tell トゥ・テル 不定詞・目的 adv. 報告するために

「副詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd sent off ハット・セント・オフ 3 単過・完了形(send off)

v.t (手紙を) 投函した

「動詞句」

the letter. ザ・レター n. あの手紙を

「目的語」

僕はエマヌエルと 2 度映画を見に行った。彼はスクリーンの上で何が起きているかが分からないことがあり、僕にそれを説明してくれと頼む。

I went to the pictures twice with Emmanuel, who doesn't always understand what's happening on the screen and asks me to explain it.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

went to the pictures ウェント・トゥ・ザ・ピクチャーズ 1 単過(go to the pictures / movies)

v.i 映画を見に行った

「動詞句」

twice トゥワイス adv. 2 度

「副詞句」

with Emmanuel, ウィズ・エマヌエル adv. エマヌエルと

「副詞句」

who フー pron (補足説明) (主語) ～する

「形容詞節」

doesn't always understand ダズント・オールウェイズ・アンダースタント 3 単現・部分否定

Part 1 第1部

v.t わからないことがある	「動詞句」
what ファット pron 何が～するかということ	「目的語」
's happening イズ・ハプニング 3 単現・進行形(happen)	
v.i 起こっている	「動詞句」
on the screen オン・ザ・スクリーン adv. スクリーンの上で	「副詞句」
and アンド conj. そして	
asks アスク 3 単現 v.t 頼む、求める	「動詞」
me ミー pron 僕に	「目的語」
to explain トゥ・イクスプレイン 不定詞・me の動作 v.t 説明する	「補語」
it. イット pron それを	「目的語」

昨日は土曜日だったので、約束通りにマリーがやって来た。

Yesterday was Saturday, and Marie came as we'd arranged.

	「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」「副詞節」
Yesterday イェスタデイ n. 昨日は	「主語」
was ワズ 3 単現(be)v.i ～だった	「動詞」
Saturday, サタデイ n. 土曜日	「補語」
and アンド conj. そして	
Marie マリー n. マリーは	「主語」
came ケム 3 単過(come)v.i 来た	「動詞」
as アズ conj. ～のように	「副詞節」
we ウー pron 僕たちが	「主語」
'd arranged. ハッド・アレインジッド 1 複過・完了形(arrange)v.t 取り決めていた	「動詞句」

彼女は赤と白の縞模様のとても素敵なドレスを着て、革のサンダルを履いていた。それで僕の目は彼女にくぎ付けになった。

She had a very pretty dress, with red and white stripes, and leather sandals, and I couldn't take my eyes off her.

	「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
She シー pron 彼女は	「主語」
had ハッド 3 単過(have)v.t ～を身に着けていた	「動詞」
a very pretty dress, ア・ヴェリー・プリティ・ドレス n. とても素敵なドレスを	「目的語」
with red and white stripes, ウイズ・レッド・アンド・ホワイト・ストライプス	
adv. (様態) 赤と白の縞の	「副詞句」
and アンド conj. そして	
leather sandals, レザー・サントルズ pl.n 革のサンダルを	「目的語」

Part 1 第1部

and アンド conj. (結果) それで

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't take クント・テイク 1 単過・可能・否定(take off ～から)v.t 離せなかった 「動詞句」

my eyes マイ・アイズ pl.n 目を 「目的語」

off her. オフ・ハー adv. 彼女から 「副詞句」

フランス語の原文では

僕はたまらなく彼女が欲しくなったが、それは彼女が赤と白の縞模様のよく映えるドレスを着て、革のサンダルを履いていたからだ。

J'ai eu très envie d'elle parce qu'elle avait une belle robe à raies rouges et blanches et des sandales de cuir.

皮と革：

皮は動物の体から剥いだままのもので、そのままでは腐ってしまいます。

革は「なめし」加工により、皮の脂肪を除去し、コラーゲン蛋白質を変性したものです。

僕は彼女の引き締まった乳房の輪郭を窺うことができた。そして日に焼けた彼女の顔は、ビロードのように滑らかな茶色の花のようだった。

One could see the outline of her firm little breasts, and her sun-tanned face was like a velvety brown flower. 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞」「補語」

One ワン pron 僕は

「主語」

could see クッド・シー 1 単過・可能 v.t 見ることができた 「動詞句」

the outline スイ・アウトライン n. 輪郭を 「目的語」

of her firm little breasts, オフ・ハー・ファーム・リトル・ブレスツ

adj. 引き締まった乳房の

「形容詞句」

firm ファーム adj. 堅い、引き締まった

and アンド conj. そして

her sun-tanned face ハー・サン・タント・フェイス n. 彼女の日焼けした顔は 「主語」

sun-tanned サン・タント adj. 日焼けした suntan サンタン n. 日焼け、v.t 日焼けさせる

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

like a velvety brown flower. ライク・ア・ヴィェルヴェティ・ブラウン・フラウワ

adj. ビロードのように滑らかな茶色の花のような

「補語」

Part 1 第1部

僕たちはバスに乗り、アルジェから数マイル離れた砂浜へ行った。

We took the bus and went to a beach. I know some miles out of Algiers.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「間接目的語」

We ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

took トック 1 複過(take)v.t (乗り物に) 乗った

「動詞」

the bus ザ・バス n. バスに

「目的語」

and アンド conj. そして

went ウェント 1 複過(go)v.i(to に) 行った

「動詞」

to a beach トゥ・ア・ビーチ adv. 砂浜に

「間接目的語」

I know, アイ・ノウ adj. 僕が知っている

「形容詞節」

some miles out of Algiers. サム・マイルズ・アウト・オブ・アルジェ

adv. アリジェから数マイルのところに

「副詞句」

そこは波打ち際に沿って、2つの岩の突堤に挟まれたちょうど砂州のような場所で、背後は葦が連なっていた。

It's just a strip of sand between two rocky spurs, with a line of rushes at the back, along the tide line.

「主語」「動詞」「補語」

It イット pron. そこは

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

just a strip of sand ジャスト・ア・ストリップ・オブ・サンド n. ちょうど砂州のような場所

「補語」

between two rocky spurs, ビトウイン・トゥ・ロッキー・スパース

adv. 2つの岩の突堤に挟まれた

「副詞句」

with a line of rushes ウイズ・ア・ライン・オブ・ラッシュイズ adv. 葦が連なっている

「副詞句」

at the back, アット・ザ・バック adv. 背後は

「副詞句」

along the tide line. アロング・ザ・タイト・ライン adv. 波打ち際に沿って

「副詞句」

4時になると、太陽はそれほど暑くなかったが、水は心地よい生ぬるさで、さざ波がけだるく砂地まで這い上がって来ていた。

At four o'clock the sun wasn't too hot, but the water was pleasantly tepid, and small, languid ripples were creeping up the sand.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」, but 「主語」「動詞」「補語」

and 「主語」「動詞」「副詞句」

At four o'clock アット・フォー・オクロック adv. 4時には

「副詞句」

the sun ザ・サン n. 太陽は

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞」

too hot, トゥー・ホット adj. (部分否定) あまり暑い~でない

「補語」

Part 1 第1部

but バット conj. しかし

the water ザ・ウォーター n. 水は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

pleasantly tepid, プレザントリー・テピット adj. 心地よく生ぬるい

「補語」

and アント conj. そして

small, languid ripples スモール・ラングイット・リップルズ pl.n けだるいさざ波が

「主語」

languid ラングイット adj. けだるい ripple リプル さざ波、小波

were creeping ワー・クリーピング 3 複過・進行形(creep)

v.i(up に) 這い上がって来ていた

「動詞句」

up the sand. アップ・ザ・サント adv. 砂地に

「副詞句」

マリーが僕に新しい遊びを教えた。

Marie taught me a new game.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

taught トト 3 単過(teach)v.t 教えた

「動詞」

me ミ pron 僕に

「間接目的語」

a new game. ア・ニュー・ゲーム n. 新しい遊びを

「直接目的語」

ゲームのやり方はこうだ。まず泳ぎながら波から弾けた水しぶきの泡を吸い込む。そして、
口が泡で一杯になったら、仰向けになって、それを空に向かって吹き出すのだ。

The idea was, while one swam, to suck in the spray off the waves and, when one's mouth was full of foam, to lie on one's back and spout it out against the sky.

「主語」「動詞」, 「副詞節」, 「補語」 and, 「副詞節」, 「補語」

The idea スイ・アイデア n. その思い付きは

「主語」

was, ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

→ ゲームのやり方はこうだ

while ホイル conj. ~する一方で

「副詞節」

one ワン pron 一人が

「主語」

swam, スワム 3 単過・時制の一致(swim)v.i 泳ぐ

「動詞」

to suck トゥ・サック 不定詞 n. 吸い込こと

「補語」

in the spray イン・ザ・スプレイ adv. 水しぶきの中で

「副詞句」

off the waves オフ・ザ・ウェイヴズ adv. 波から弾けた

「副詞句」

and, アント conj. そして

when ホエン conj. ~したら

「副詞節」

one's mouth ワズ・マウス n. 口が

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(être)v.i ~になる

「動詞」

Part 1 第1部

full of foam, フル・オブ・フォーム adj. 泡で一杯の	「補語」
to lie トゥ・ライ 不定詞 n. 横になること	「補語」
on one's back オン・ワンス・バック adv. 背中の上に、仰向けに	「副詞句」
and アンド conj. そして	
spout ...out スパウト...アウト 不定詞 v.t 吹き出す	「動詞句」
it イット pron 泡を	「目的語」
against the sky. アゲinst・ザ・スカイ adv. 空に向かって	「副詞句」

それは泡状の霧になって、大気の中に消え去ったり、暖かいにわか雨になって頬に振り落ちてきたりした。

<u>It made a sort of frothy haze that melted into the air or fell back in a warm shower on one's cheeks.</u>	「主語」「動詞」「補語」, 「形容詞節」
It イット pron (吹き上げられた泡は) それは	「主語」
made メイト 3 単過(make)v.i(SVC) ~になった	「動詞」
a sort of frothy haze ア・ソート・オブ・フローシー・ヘイズ pron 泡状の霧	「補語」
a sort of... ア・ソート・オブ pron ~のようなもの	
that ザット pron (主語) そしてそれは~する	「形容詞節」
melted メルティット 3 単過 v.i (溶けて) なくなった	「動詞」
into the air イントゥ・ズィ・エア adv. 大気の中に	「副詞句」
or オア conj. または	
fell back フェル・バック 3 単過(fall back)v.i 降り落ちてきた	「動詞句」
in a warm shower イン・ナ・ウォーム・シャワ	
adv. (形状) 暖かいにわか雨になって	「副詞句」
on one's cheeks. オン・ワンス・チークス adv. その人の頬の上に	「副詞句」

しかしすぐに、僕の口は吸いこんだ塩のためにひりひりしてきた；すると、マリーが近づいてきて、水の中で僕を抱きしめて、僕の口に彼女の口を押し付けてきた。

But very soon my mouth was smarting with all the salt I'd drawn in; then Marie came up and hugged me in the water, and pressed her mouth to mine.

But 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」; 「副詞」「主語」「動詞句」
and 「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

But バット conj. しかし

very soon ヴェリー・スーン adv. すぐに、やがて	「副詞句」
my mouth マイ・マウス n. 僕の口は	「主語」
was smarting ワズ・スマーティング 3 単過・進行形(smart)v.i ひりひりしてきた	「動詞句」
with all the salt ウイズ・オール・ザ・ソルト adv. (原因) すべての塩によって	「副詞句」

Part 1 第1部

I'd drawn in; アイト・ドゥ・カロン・イン adj.(draw in) 僕が吸い込んだ	「形容詞節」
then セン adv. その時、すると	「副詞」
Marie マリー n. マリーは	「主語」
came up ケム・アップ 3 単過(come up)	
v.i 近づいてきた、やって来た	「動詞句」
and アンド conj. そして	
hugged ハグト 3 単過 v.t 抱きしめた	「動詞」
me ミ pron 僕を	「目的語」
in the water, イン・ザ・ウォーター adv. 水の中で	「副詞句」
and アンド conj. そして	
pressed プレスト 3 単過 v.t 押し付けた	「動詞」
her mouth ハー・マウス n. 彼女の口を	「目的語」
to mine. トゥ・マイン adv. 僕の口に	「副詞句」

彼女の舌が、僕の唇のひりつきを鎮めてくれた。それから僕たちは、浜へ泳いで戻る前に少しの間、波に身を任せて転げまわった。

Her tongue cooled my lips, and we let the waves roll us about for a minute or two before swimming back to the beach.

	「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」「補語」
Her tongue ハー・タング n. 彼女の舌が	「主語」
cooled クールト 3 単過 v.t (感情などを) 鎮めた、静めた、落ち着かせた	「動詞」
my lips, マイ・リップス pl.n 僕の唇 (のひりつき) を	「目的語」
and アンド conj. それから	
we ウィー pron 僕らは	「主語」
let レット 1 複過・使役・放任(SVO+不定詞 O に) ～させた	「動詞」
the waves ザ・ウェイヴズ pl.n 波に	「目的語」
roll ロール 不定詞・waves の動作 v.t 転がす	「補語」
us アス pron 僕たちを	「目的語」
波に僕たちを転がらせた → 僕たちは波の中を転がった (波に身を任せた)	
about for a minute or two アバウト・フォー・ア・ミニット・オア・トゥ	
adv. 数分間、少しの間	「副詞句」
before swimming back ビ・フォー・スイミング・バック	
adv. 泳いで戻る前に	「副詞句」
to the beach. トゥ・ザ・ビーチ adv. 浜へ	「間接目的語」

Part 1 第1部

僕たちが着替えを終えると、マリーが僕をじっと見つめた。

When we had finished dressing, Marie looked hard at me.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

When ホエン conj. ～するとき

「副詞節」

we ウィー pron.pl 僕たちが

「主語」

had finished ハット・フィニッシュト 1 複過・完了形(finish)

v.t(+現在分詞) ～し終えた

「動詞句」

dressing, ドレッシング 現在分詞(dress)v.i 着替える

「動詞句」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

looked hard ルクト・ハート 3 単過・強調(look+hard)v.i(at を) じっと見つめた

「動詞句」

at me. アット・ミー adv. 僕を

「間接目的語」

彼女の目はきらめいていた。

Her eyes were sparkling.

「主語」 「動詞句」

Her eyes ハー・アイズ pl.n 彼女の目は

「主語」

were sparkling. ワー・スパークリング 3 複過・進行形(sparkle)v.i きらめいていた

「動詞句」

僕は彼女にキスをした；その後かなり長い間、二人とも口をきかなかった。

I kissed her; after that neither of us spoke for quite a while.

「主語」 「動詞」 「目的語」 ; 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

kissed キスト 1 単過 v.t キスをした

「動詞」

her; ハー pron 彼女に

「目的語」

after that アフター・ザット adv. その後

「副詞句」

neither of us ニーザー・オブ・アッス pl.n 僕らのどちらも～ない

「主語」

spoke スポーク 1 複現・否定文(speak)v.i 口をきかなかった

「動詞」

for quite a while. フォー・クワイ・ア・ホワイ adv. かなり長い間

「副詞句」

quite a... 「かなりの～、並外れて～」

Part 1 第1部

前浜を駆け上がりながら、僕は彼女を僕の脇に引き寄せた。

I pressed her to my side as we scrambled up the foreshore.

	「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
pressed プレスト 1 単過 v.t 押し付けた	「動詞」
her ハー pron 彼女を	「目的語」
to my side トゥ・マイ・サイド adv. 僕の脇に	「副詞句」
as アズ conj. (時) ～しながら	「副詞節」
we ウィー pron 僕たちは	「主語」
scrambled up スクランブルト・アップ 1 複過 v.t 駆け上がった	「動詞句」
the foreshore. ザ・フォーショア n. 前浜を	「目的語」

二人で急いでバスに乗り、僕の部屋に戻って、ベッドに飛び込んだ。

Both of us were in a hurry to catch the bus, get back to my place, and tumble on to the bed.

	「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「副詞句」, and 「動詞句」「副詞句」
Both of us ボス・オブ・アス pl.n 二人とも	「主語」
were in a hurry to catch ワー・イン・ナ・ハリー・トゥ・キャッチ 1 複過・急ぎ	
v.t (乗り物に) 急いで乗った	「動詞句」
be in a hurry to+不定詞 「急いで～する」	
the bus, ザ・バス n. バスに	「目的語」
get back ゲット・バック 不定詞 v.i 戻った	「動詞句」
to my place, トゥ・マイ・プレイス adv. 僕の部屋に	「副詞句」
and アンド conj. そして	
tumble on タンブル・オン 不定詞 v.i 倒れこんだ	「動詞句」
to the bed. トゥ・ザ・ベット adv. ベッドに	「副詞句」

僕は部屋の窓を開けたままにしておいた。僕たちの日焼けした体の上を、冷たい夜の空気が流れる感じが心地よかった。

I'd left my window open, and it was pleasant to feel the cool night air flowing over our sunburned bodies.

	「主語」「動詞句」「目的語」「補語」, and 「動詞」「補語」「主語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd left ハット・レフト 1 単過・完了形(leave)v.t(SVOC O を C のままに) しておいた	「動詞句」
my window マイ・ウィンドウ n. 部屋の窓を	「目的語」
open, オプン adj. 開いた	「補語」
and アンド conj. そして	
it イット pron 仮の主語 (真の主語は to feel 以降)	

Part 1 第1部

was	ワズ 3 単過(be)v.i	～だった	「動詞」
pleasant	プレザント	adj. 心地よい	「補語」
to feel	トゥ・フィール	不定詞 n. 感じることは	「主語」
the cool night air	ザ・クール・ナイト・エア	n. 冷たい夜の空気を	「目的語」
flowing	フローイング	現在分詞 adj. 流れる	「形容詞句」
over our sunburned bodies.	オウヴァー・アウワ・サンバーント・ボデー・イズ		
adv.	僕たちの日焼けした体の上を		「副詞句」

マリーは、翌日の朝は暇があると言っていたので、僕は、一緒に昼食を食べようと誘った。

Marie said she was free next morning, so I proposed she should have luncheon with me.

			「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
Marie	マリー	n. マリーは	「主語」
said	セッド	3 単過(say)v.t 言っていた	「動詞」
n.	～ということを		「目的語」
she	シー	pron 彼女は	「主語」
was	ワズ	3 単過・時制の一致・予定・予定(be)v.i	「動詞」
free next morning,	フリー・ネクスト・モーニング	adj. 翌朝は暇な	「補語」
so	ソー	adv. それで	「副詞」
I	アイ	pron 僕は	「主語」
proposed	プロポズド	1 単過 v.t 提案した、誘った	「動詞」
n.	～ということを		「目的語」
she	シー	pron 彼女は	「主語」
should have	シュッド・ハヴ	3 単現・勧誘 v.t (動作を) したらどうか	「動詞句」
luncheon	ランチョン	n. 昼食を	「目的語」
with me.	ウィズ・ミー	adv. 僕と一緒に	「副詞句」

彼女が同意したので、僕は肉を買いに降りた。

She agreed, and I went down to buy some meat.

			「主語」「動詞」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」
She	シー	pron 彼女は	「主語」
agreed,	アグリード	3 単過 v.i 同意した	「動詞」
and	アンド	conj. そして	
I	アイ	pron 僕は	「主語」
went down	ウェント・ダウン	1 単過・しに降りる(go down)v.i(to+不定詞 ～しに) 降りた	「動詞句」
to buy	トゥ・バイ	不定詞・目的 adv. ～をかうために	「副詞句」
some meat.	サム・ミート	n. 肉を	「目的語」

Part 1 第1部

帰って来るとき、レーモンの部屋から女の声が聞こえた。

On my way back I heard a woman's voice in Raymond's room.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

On my way back オン・マイ・ウェイ・バック adv. 帰る途中で

「副詞句」

on one's way 途中で

I アイ pron 僕は

「主語」

heard ハート 1 単過(hear)v.t 聞こえた

「動詞」

a woman's voice ア・ウーマンズ・ヴォイス n. 女の声が

「目的語」

in Raymond's room. イン・レーモンズ・ルーム adv. レーモンの部屋で

「副詞句」

少ししてから、サラマノ老人が犬を叱り始めた。そして間もなく、木製の階段から靴と犬の足音が聞こえてきて、次に、「汚い畜生め、さっさと行け！」と叱責する声が聞こえてから、彼らはそろって通りへ出て行った。

A little later old Salamano started grumbling at his dog and presently there was a sound of boots and paws on the wooden stairs; then, "Filthy brute! Get on, you cur!" and the two of them went out into the street.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」 and 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」;

「副詞」, 《「叱責」》 and 「主語」「動詞句」「副詞句」

A little later ア・リトル・レイター adv. 少ししてから

「副詞句」

old Salamano オールド・サラマノ n.m サラマノ老人は

「主語」

started grumbling スターティット・グラムブリング 3 単過・開始(start+現在分詞)

v.i 不満を述べ始めた

「動詞句」

at his dog アット・ヒズ・ドッグ adv. 犬に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく

「副詞」

there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ~があった

「動詞句」

a sound of boots and paws ア・サント・オブ・ブーツ・アント・ホーズ

n. 靴と犬の足の音が

「目的語」

on the wooden stairs; オン・ザ・ウツン・ステアズ adv. 木製の階段で

「副詞句」

then, ゼン adv. それから

「副詞」

"Filthy brute! フィルシー・ブルート n. 汚らしい畜生め

「叱責」

Get on, ゲット・オン 命令 v.i さあ行け

「動詞句」

you cur!" ユー・カー n. 野良犬め

「叱責」

and アンド conj. そして

the two of them ザ・トゥ・オブ・ゼム pl.n 彼らは

「主語」

Part 1 第 1 部

went out ウェント・アウト 3 複過(go out)v.i 出て行った 「動詞句」
 into the street. イントゥ・ザ・ストリート adv. 通りへ 「副詞句」

僕はその老人の生活習慣についてマリーに話して聞かせた。すると彼女は笑った。

I told Marie about the old man's habits, and it made her laugh.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,and「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トルト 1 単過(tell)v.t(about について) (人に) 話した 「動詞」
 Marie マリー n. マリーに 「目的語」
 about the old man's habits, アバウト・スィ・オールド・マンズ・ハビッツ
 adv. 老人の生活習慣について 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 it イット pron それは 「主語」
 made メイト 3 単過・使役(make)v.t(+不定詞) (人を) ~させた 「動詞」
 her ハー pron 彼女を 「目的語」
 laugh. ラフ 不定詞・her の動作 v.i 笑う 「補語」

彼女は僕のパジャマの 1 枚を着て、袖をまくり上げていた。

She was wearing one of my pajama suits, and had the sleeves rolled up.

「主語」「動詞句」「目的語」,and「動詞」「目的語」「補語」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 was wearing ワズ・ウェアリング 3 単過・進行形(wear)v.t 着ていた 「動詞句」
 one of my pajama suits, ワン・オブ・マイ・パジャマ・スーツ pron. 僕のパジャマの 1 つを 「目的語」
 and アンド conj. そして
 had ハット 3 単過(have)v.t(SVOC) (O を C に) していた 「動詞」
 the sleeves ザ・スリーヴズ pl.n そでを 「目的語」
 rolled up. ロルト・アップ adj. (そでが) 巻き上げられた 「補語」

まくりあげる・たくしあげる：

まくり上げる：衣服の端をつかんで巻くように上に上げる事。→ roll up

たくしあげる：衣服の中ほどを掴んで上に引き上げる事。→ pull up

Part 1 第1部

彼女が笑った時、僕はまた彼女が欲しくなった。

When she laughed I wanted her again. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞」

When ホエン conj. ～するとき 「副詞節」

she シー pron 彼女が 「主語」

laughed ラーフト 3 単過 v.i 笑った 「動詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

wanted ウォンティット 1 単過 v.t 望んだ 「動詞」

her ハー pron 彼女を 「目的語」

again. アゲン adv. また 「副詞」

少ししてから、彼女は僕に自分を愛しているかと尋ねた。

A moment later she asked me if I loved her.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

A moment later ア・モメント・レイター adv. 少ししてから 「副詞句」

she シー pron 彼女が 「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

I アイ pron 僕が 「主語」

loved ラヴト 1 単過・時制の一致 v.t 愛している 「動詞」

her. ハー pron 彼女を 「目的語」

僕は、実際のところ、そういうことは余り意味がないけれど、愛していないと思うと答えた。

I said that sort of question had no meaning, really; but I supposed I didn't.

「主語」 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

n. ～ということ 「目的語」

that sort of question サット・ソート・オブ・クエスチョン n. そのような質問は 「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ある 「動詞」

no meaning, ノ・ミーニング n. 意味が～ない 「目的語」

really; リアリー adv. 実際は、本当は 「副詞」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」

supposed サップオズト 1 単過・時制の一致 v.t ～だと思う 「動詞」

Part 1 第1部

I didn't. アイ・デイドント n. 愛していないと

「目的語」

彼女は少し悲しそうな表情を見せたが、二人で昼食の支度をしていると、明るさを取り戻して、また笑顔を見せ始めた。それで彼女が笑うたびに、僕はキスしたくなった。

She looked sad for a bit, but when we were getting our lunch ready she brightened up and started laughing, and when she laughs I always want to kiss her.

「主語」「動詞」「補語」,but「副詞節」「主語」「動詞句」and「動詞句」,
and「副詞節」「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

She シー pron 彼女は 「主語」
looked ルクト 3 単過 v.i ~に見えた 「動詞」
sad サッド adj. (表情が) 悲しそうな 「補語」
for a bit, フォー・ア・ビット adv. 少し、少しの間、もう少し 「副詞句」
but バット conj. しかし
when ホエン conj. ~するとき 「副詞節」
we ウー pron 僕たちが 「主語」
were getting ...ready ワー・ゲティンク ...レディ 1 複過・進行形(get O ready O を)
v.t 準備していた 「動詞句」
our lunch アリ・ランチ n. 昼食を 「目的語」
she シー pron 彼女は 「主語」
brightened up ブライトント・アップ 3 単過・変化(brighten up)v.i 明るくなった 「動詞句」
and アンド conj. そして
started laughing, スターティット・ラーフィング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 笑い始めた 「動詞句」
and アンド conj. そして
when ホエン conj. ~するとき 「副詞節」
she シー pron 彼女が 「主語」
laughs ラース 3 単現 v.i 笑う 「動詞」
I アイ pron 僕は 「主語」
always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」
want to kiss ウォント・トゥ・キス 1 単現・願望 v.t キスしたくなった 「動詞句」
her. ハー pron 彼女に 「目的語」

Part 1 第1部

その時突然、レーモンの部屋で騒々しく喧嘩が始まった。

It was just then that the row started in Raymond's room. 「動詞」「補語」「主語」

It イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時 「補語」

ちょうどその時〜する、または、〜したのはちょうどその時だった

that ザット conj. 〜ということは 「主語」

the row ザ・ラウ n. （語源は rouse ラウス 怒らせる ?）騒々しい喧嘩が 「主語」

started スタート 3 単過 v.i 始まった 「動詞」

in Raymond's room. イン・レーモンズ・ルーム adv. レーモンの部屋で 「副詞句」

まず女が金切り声で何かを言っているのが聞こえ、次にレーモンが女に「この野郎、俺を裏切りやがって！俺を裏切ったらどうなるか分からせてやる」と、怒鳴っているのが聞こえた。

First we heard a woman saying something in a high-pitched voice; then Raymond bawling at her. "You let me down, you bitch! I'll learn you to let me down!"

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」；「副詞」「目的語」「補語」

First ファースト adv. まず、最初に 「副詞」

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

heard ハート 1 複過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた 「動詞」

a woman ア・ウーマン n. 女が 「目的語」

saying セイイング 現在分詞・woman の動作 v.t （言葉を）言っている 「補語」

something サムシング pron 何かを 「目的語」

in a high-pitched voice; イン・ナ・ハイ・ピッチト・ヴォイス adv. （手段）金切り声で 「副詞句」

then ゼン adv. 次に 「副詞」

Raymond レーモン n. レーモンが 「目的語」

bawling ボーリング 現在分詞・woman の動作 v.i(at に向かって) 怒鳴っている 「補語」

at her, アット・ハー adv. 彼女に向かって 「副詞句」

n. 〜ということを 「間接目的語」

"You ユー pron お前は 「主語」

let ...down, レット...ダウン 2 単過(let down)

v.t 裏切った 「動詞句」

me ミー pron 俺を 「目的語」

you bitch! ユー・ビッチ int. この野郎 「感嘆」

I アイ pron 俺は 「主語」

'll learn ウィル・ラーン 1 単未・意思(learn)

Part 1 第1部

v.t(to do ～したら) 懲らしめてやる 「動詞句」
 you ユー pron お前を 「目的語」
 to let me down! トゥ・レット・ミー・ダウ 不定詞句・条件
 adv. 俺を裏切ったら 「副詞句」

そこにドスンという物音が聞こえ、次に突き刺すような悲鳴が聞こえてきた--- それは人を
 ぞっとさせるほどだった --- すると、すぐ廊下に人だかりができた。

There came some thuds, then a piercing scream—it made one's blood run cold—and in a moment there was a crowd of people on the landing.

「副詞」「動詞」「主語」, 「副詞」「主語」 --- 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 ---
 and 「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」
 There ゼア adv. そこに 「副詞」
 came ケム 3 複過(come)v.i 来た、あった 「動詞」
 some thuds, サム・サツズ pl.n (ドスンと) 落ちる音が 「主語」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 a piercing scream— ア・ピアシング・スクリーム n. 突き刺すような悲鳴が 「主語」
 it イット pron それは 「主語」
 made メイト 3 単過・使役(make)v.t (SVO+不定詞 O を) ～させた 「動詞」
 one's blood ワンズ・ブラッド n. 人の血を 「目的語」
 run ラン 不定詞・blood の動作 v.i (状態に) なる 「補語」
 cold— コルト adj. 冷たい 「補語」
 run cold ラン・コルト v.i ぞっとする
 and アンド conj. そして
 in a moment イン・ナ・モメント adv. すぐに、あっという間に 「副詞句」
 there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i ～があった 「動詞句」
 a crowd of people ア・クラウド・オブ・ピープル n. 人だかりが 「主語」
 on the landing. オン・ザ・ランディング adv. 廊下に、2階の部屋への通路に 「副詞句」

Part 1 第1部

マリーと僕は部屋から出て、様子を見た。女はまだ叫び続けており、レーモンはまだ女を小突き回していた。

Marie and I went out to see. The woman was still screaming and Raymond still knocking her about.

「主語」「動詞句」

「主語」「動詞句」 and 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Marie and I マリー・アンド・アイ pl.n マリーと僕は 「主語」

went out ウェント・アウト 1 複過(go out)v.i 部屋の外に出た 「動詞句」

to see. トゥ・シー 不定詞・結果 v.t そして見た 「動詞句」

The woman ザ・ウーマン n. 女は 「主語」

was still screaming ワズ・スティル・スクリーミング 3 単過・進行形・継続(scream)

v.i まだ叫んでいた 「動詞句」

and アンド conj. そして

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」

still スティル adv. まだ 「副詞」

knocking ...about. ノッキング ...アバウト 3 単過・進行形(knock about)

v.t 小突き回していた 「動詞句」

her ハー pron 女を 「目的語」

マリーは言った、「ひどい！」僕は何も答えなかった。

Marie said, wasn't it horrible! I didn't answer anything.

「主語」「動詞」, 《「動詞句」「主語」「補語」》 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Marie マリー n. マリーは 「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i 〜でない 「動詞句」

it イット pron それは 「主語」

horrible! ホブル adj. ひどい、残酷な 「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」

didn't answer デイトント・アンサー 1 単過・否定 v.t 答えなかった 「動詞句」

anything. エニ・シング pron (否定文で) 何も〜ない 「目的語」

Part 1 第 1 部

それから彼女は、僕に警官を呼びに行つてと頼んだが、僕は警官は嫌いだと答えた。

Then she asked me to go and fetch a policeman, but I told her I didn't like policemen.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」,

but 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Then ゼン adv. それから

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

asked アスクト 3 単過・依頼 v.t(SVO to+不定詞 O に) ～するように頼んだ

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

to go and fetch トゥ・ゴウ・アンド・フェッチ 不定詞・me の動作 v. 行つて連れてくる

「補語」

a policeman, ア・ポ リースマン n. 警官を

「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ rpon 僕は

「主語」

told トゥルト 1 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

her ハー pron 彼女に

「間接目的語」

n. ～ということ

「直接目的語」

I アイ rpon 僕は

「主語」

didn't like デイdn't・ライク 1 単過・否定・時制の一致 v.t 嫌っている

「動詞句」

policemen. ポ リースマン n. 警官を

「目的語」

しかし、間もなく警官が一人到着した；3階に住む配管工の住人が連れてきたのだ。

However, one turned up presently; the lodger on the second floor, a plumber, came up, with him.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「副詞」; 「主語」「動詞句」「副詞句」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

one ワン pron 警官が一人

「主語」

turned up タント・アップ 3 単過(turn up)v.i 到着した、現れた

「動詞句」

presently; プレズントリー adv. (文頭・文尾で) 間もなく、やがて

「副詞」

the lodger ザ・ロジャー n. 住人が、下宿人

「主語」

on the second floor, オン・ザ・セカント・フロア adv. 3階の

「副詞句」

a plumber, ア・プラマー n. (同格) 配管工の

「形容詞句」

came up, ケイム・アップ 3 単過(come up)v.i やつて来た

「動詞句」

with him. ウイズ・ヒム adv. 警官と一緒に

「副詞句」

Part 1 第1部

警官がドアをドンドン叩くと、部屋の中の叫び声は止んだ。

When he banged on the door the noise stopped inside the room.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

When ホエン conj. ～すると

「副詞節」

he ヒー pron 警官が

「主語」

banged バントゝ 3 単過 v.i(on, at を) ドンドン叩いた

「動詞」

on the door オン・ザ・ドア adv. ドアを

「間接目的語」

the noise ザ・ノイズ n. 叫び声は

「主語」

stopped ストップト 3 単過 v.i 止んだ、中断した

「動詞」

inside the room. インサイト・ザ・ルーム adv. 部屋の中では

「副詞句」

警官がまたドアを叩いた。少しして、女が泣き出すと、レーモンがドアを開けた。

He knocked again, and, after a moment, the woman started crying, and Raymond opened the door.

「主語」 「動詞」 「副詞」 ,and 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 ,and 「主語」 「動詞」 「目的語」

He ヒー pron 警官が

「主語」

knocked ノックト 3 単過 v.i 叩いた

「動詞」

again, アゲン adv. また

「副詞」

and, アント conj. そして

after a moment, アフター・ア・モメント adv. 少したってから

「副詞句」

the woman ザ・ウーマン n. 女が

「主語」

started crying, スターティット・クライイング 3 単過・開始 v.i 泣き始めた

「動詞句」

and アント conj. そして

Raymond レーモン n. レーモンが

「主語」

opened オプントゝ 3 単過 v.t 開けた

「動詞」

the door. ザ・ドア n. ドアを

「目的語」

レーモンはタバコをくわえたまま、愛想笑いをしていた。

He had a cigarette dangling from his underlip and a rather sickly smile.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」 and 「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

had ハットゝ 3 単過(have)v.t (特徴を) していた

「動詞」

have O+現在分詞 O を～させる

a cigarette ア・シガレット n. タバコを

「目的語」

dangling ダングリング 現在分詞・cigarette の動作(dangle)v.i ぶら下がる

「補語」

from his underlip フロム・ヒズ・アンダーリップ adv. 下唇から

「副詞句」

Part 1 第1部

→ くわえタバコをしていた

and アンド conj. そして

a rather sickly smile. ア・ラーザー・シックリー・スマイル n. 愛想笑いを 「目的語」

rather ラーザー adv. いくぶん、やや sickly シックリー adj. 気のない、弱々しい

フランス語の原文では： 次の文が続いている

女が戸口まで駆け付けてきて、レーモンが自分を殴ったのだと警官に訴えた。

La fille s'est précipitée à la porte et a déclaré à l'agent que Raymond l'avait frappée.

「名前は？」レーモンは名前を伝えた。「私にものを言うときには、口のタバコを取れ！」と、警官は荒々しい口調で言った。

“Your name?” Raymond gave his name. “Take that cigarette out of your mouth when you’re talking to me,” the policeman said gruffly.

《「質問」》, 「主語」「動詞」「目的語」,

《「動詞句」「目的語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》,

「主語」「動詞」「副詞」

“Your name?” ユア・ネーム adv. 名前は？

「質問」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 告げた、伝えた

「動詞」

his name. ヒズ・ネーム n. 名前を

「目的語」

“Take ...out テイク...アウト 命・2 単現(take out)v.t 取り除け

「動詞句」

that cigarette サット・シガレット n. そのタバコを

「目的語」

of your mouth オフ・ユア・マウス adj. 口の

「形容詞句」

when ホエン conj. ～するときには

「副詞節」

you ユー pron お前が

「主語」

're talking アー・トーキング 2 単現・進行形(talk)v.i(to に) ものを言う

「動詞句」

to me,” トゥ・ミー adv. 俺に

「間接目的語」

the policeman サ・ポリスマン n. 警官が

「主語」

said セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

gruffly. グラフリー adv. 粗暴に、ぶっきらぼうに

「副詞」

Part 1 第1部

レーモンはためらって、僕のほうをちらっと見たが、タバコをくわえ続けていた。

Raymond hesitated, glanced at me, and kept the cigarette in his mouth.

「主語」「動詞」, 「動詞」「間接目的語」, and 「動詞」「目的語」「副詞句」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 hesitated, ヘジテイト 3 単過 v.i ためらった、躊躇した 「動詞」
 glanced グランスト 3 単過 v.i(at を) ちらりと見た 「動詞」
 at me, アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 kept ケプト 3 単過 v.t(in に) 持ち続けた 「動詞」
 the cigarette ザ・シガレット n. タバコを 「目的語」
 in his mouth. イン・ヒズ・マウス adv. 口に 「副詞句」

すぐに警官が腕を振り回して、レーモンの左頬に強烈な平手打ちを食らわせた。

The policeman promptly swung his arm and gave him a good hard smack on the left cheek.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 The policeman ザ・ホーリスマン n. 警官が 「主語」
 promptly プロンプトリー adv. すぐに 「副詞」
 swung スワング 3 単過(swing)v.t 振り回した 「動詞」
 his arm ヒズ・アーム n. 彼の腕を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 与えた 「動詞」
 him ヒム pron レーモンに 「間接目的語」
 a good hard smack ア・グット・ハート・スマック n. 強力な平手打ちを 「直接目的語」
 on the left cheek. オン・ザ・レフト・チーク adv. 左の頬に 「副詞句」

レーモンの唇の間からタバコが勢いよく飛び出して、少し離れたところに落ちた。レーモンは顔をしかめたが、少しの間何も言わなかった。

The cigarette shot from his lips and dropped a yard away. Raymond made a wry face, but said nothing for a moment.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「副詞句」
 「主語」「動詞」「目的語」, but 「動詞」「目的語」「副詞句」
 The cigarette ザ・シガレット n. タバコが 「主語」
 shot ショット 3 単過(shoot)v.i 勢いよく飛び出した 「動詞」
 from his lips フロム・ヒズ・リップス adv. 唇の間から 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 dropped ドロップト 3 単過 v.i 落ちた 「動詞」

Part 1 第1部

a yard away. ア・ヤード・アウェイ adv. 少し離れたところに	「副詞句」
Raymond レーモン n. レーモンは	「主語」
made メイト 3 単過(make)v.t (行為を) した	「動詞」
a wry face, ア・ライ・フェイス n. しかめっ面を	「目的語」
but バット conj. しかし	
said セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
nothing ナッシング pron 何も～ない	「目的語」
for a moment. フォー・ア・モーメント adv. 少しの間	「副詞句」

それから謙虚な口調で、タバコを拾っても構わないかと尋ねた。

Then in a humble tone he asked if he mightn't pick up his cigarette.

	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
Then セン adv. それから	「副詞」
in a humble tone イン・ナ・ハンプル・トゥン adv. 謙虚な口調で	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
if イフ conj. ～かどうかということ	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
mightn't pick up マイトント・ピック・アップ 3 単過・推量・否定(might+不定詞 pick up)	
v.t 拾ってもよい	「動詞句」
his cigarette. ヒズ・シガレット n. タバコを	「目的語」

警官は言った：「拾ってよろしい」そして付け加えた。「だが、この次は忘れるな！警官はお前たちのような木偶の坊ではないんだ！」

The officer said, "Yes," and added: "But don't you forget next time that we don't stand for any nonsense, not from guys like you."

	「主語」「動詞」《「応答」》and 「動詞」:
	《But 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」》
The officer スィ・オフィサー n. 警官は	「主語」
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
"Yes," イェス adv. よろしい	「応答」
and アント conj. そして	
added: アディト 3 単過 v.t 付け加えた	「動詞」
"But バット conj. だが	
don't ...forget トント...フォゲット 命・2 単現・否定 v.t 忘れるな	「動詞句」
you ユー pron お前は	「主語」

Part 1 第1部

next time ネクスト・タイム	「副詞句」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
we ウー pron 我々は	「主語」
don't stand ドント・スタント 1 複現・否定(stand)v.i(for) ～を意味しない	「動詞句」
stand for... スタント・フォー v.i ～を表す、意味する、象徴する	
for any nonsense, エニー・ナンセンス n. どんな役立たずな	「補語」
not from guys like you.” ノット・フロム・ガイズ・ライク・ユー	
adv. お前たちのような輩とは違って	「副詞句」

その間も、女は泣きじゃくり、繰り返言っていた：「あいつが私を殴ったんだ。臆病者が！あいつはひもなんだ！」

Meanwhile the girl went on sobbing and repeating: “He hit me, the coward. He’s a pimp.”
 「副詞」「主語」「動詞句」：《「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「主語」「動詞」「補語」》

Meanwhile ミンフワイ adv. その間に	「副詞」
the girl ザ・ガール n. 女は	「主語」
went on sobbing ウェント・オン・ソビング 3 単過・継続(go on+現在分詞 sob)	
v.i ずっと泣きじゃくっていた	「動詞句」
and アント conj. そして	
repeating: リピーティング 3 単過・継続(go on+現在分詞 repeat)v.i 繰り返していた	「動詞句」
“He ヒー pron あいつが	「主語」
hit ヒット 3 単遠 v.t 殴った	「動詞」
me, ミー pron 私を	「目的語」
the coward. ザ・カワワット n. 臆病者が	「主語」
He ヒー pron やつは	「主語」
's イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
a pimp.” ア・ピンプ n. ひも	「補語」

ひも：

自分は働かないで、女に働かせた金で暮らしている男。

Part 1 第1部

「ねえ、お巡りさん」と、レーモンが言葉を挟んだ。「しかし、他人が見ている所で、人のことをひもと呼んでも法に触れないんですか？」

“Excuse me, officer,” Raymond put in, “but is that in order, calling a man a pimp in the presence of witnesses?”

《「呼びかけ」》, 「主語」「動詞句」,
《but 「動詞」「補語」「主語」》

“Excuse me, officer,” エクスキューズ・ミー・オフィサー adv. ねえ、お巡りさん 「呼びかけ」
Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
put in, プット・イン 3 単過(put in)v.i 言葉をさしはさんだ 「動詞句」
“but バット conj. しかし
is イズ 3 単現・疑問文(be)v.i ～ですか? 「動詞」
that サット pron 仮の主語 (真の主語は calling 以降)
in order, イン・オーダー adv. 許されて、規則にかなって 「補語」
calling コーリング 現在分詞(call)n. ～を呼ぶことは 「主語」
a man ア・マン n. 人を 「目的語」
a pimp ア・ピンプ n. ひもと 「補語」
in the presence of witnesses? イン・ザ・プレゼンス・オブ・ウィットニスイズ
adv. 証人の存在下で 「副詞句」

警官はレーモンに口を閉じるように命じた。

The policeman told him to shut his trap. 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
The policeman サ・ホーリスマン n. 警官は 「主語」
told トウルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
him ヒム pron 彼に、レーモンに 「目的語」
to shut トゥ・シャット 不定詞・him の動作 v.t 閉じる 「補語」
his trap. ヒズ・トラップ n. (俗) 口を 「目的語」

すると、レーモンは女のほうへ振り向いた。

Raymond then turned to the girl. 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」
Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
then セン adv. それで、すると 「副詞」
turned ターント 3 単過 v.i 振り返った 「動詞」
to the girl. トゥ・ザ・ガール adv. (方向) 女のほうへ 「副詞句」

Part 1 第1部

「おい、お前、心配するな！また会うことになるさ！」

“Don’t you worry, my pet. We’ll meet again.”

《「動詞句」「主語」「動詞句」,「呼びかけ」 | 「主語」「動詞句」「副詞」》

“Don’t ...worry, ドント...ウオリ 命・2 単現・否定 v.i 気にするな 「動詞句」
 you ユー pron お前は 「主語」
 my pet. マイ・ペット adv. おい 「呼びかけ」
 We ウィー pron 俺たちは 「主語」
 ’ll meet ウィル・ミート 1 複未来 v.i 会うだろう 「動詞句」
 again.” アゲン adv. また 「副詞」

「もうやめろ！」と、警官は彼に命じ、女には帰るように言った。

“That’s enough,” the policeman said, and told the girl to go away.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, and 「動詞」「目的語」「補語」

“That サット pron それは 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 enough,” イフ adj. 十分な 「補語」
 → 十分だ → もうやめろ
 the policeman サ・ポリスマン n. 警官は 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 and アンド conj. そして
 told トゥルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 the girl サ・ガール n. 女に 「目的語」
 to go away. トゥ・ゴウ・アウェイ 不定詞・girl の動作(go away)v.i 立ち去る、帰る 「補語」

レーモンは警察署から呼び出されるまで、自分の部屋から出ないようにと言われた。

Raymond was to stay in his room till summoned to the police station.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 was to stay ワズ・トゥ・ステイ 3 単過・義務(be to+不定詞)
 v.i ~にいないならなかった 「動詞句」
 in his room イン・ヒズ・ルーム adv. 自分の部屋に 「副詞句」
 till テイル conj. ~するまで 「副詞節」
 summoned サマント 3 単過・未来・受動(would be summoned の省略形)
 v.t 召喚される 「動詞句」
 to the police station. トゥ・ザ・ポリス・ステーション adv. 警察署に 「副詞句」

Part 1 第1部

be to+不定詞：

予定・運命 ～することになっている

The next meeting **is to take place** in Tokyo.

次の会合は東京で行われることになっています。

He **was never to see** her again. 彼が彼女と二度と会うことにはなりませんでした。

義務・命令 ～することになっている

You **are to do** your homework before going to play.

あなたは遊びに行く前に宿題をすることになっています。

You **are to return** that umbrella to me.

あなたはあの傘を私に返すことになっています。

意図 ～するつもり

If you **are to succeed**, work hard. もし成功するつもりならば、一生懸命働きなさい。

「お前は、自分のことを恥ずかしいと思わなければいけない。」と、警官は付け加えた。

「しっかり立って居られないじゃあないか！体中、震えているじゃあないか？」

“You ought to be ashamed of yourself,” the policeman added, “getting so tight you can’t stand steady. Why, you’re shaking all over!”《「主語」「動詞句」「間接目的語」》, 「主語」「動詞」,
《「補語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」》

“You 主 pron お前は

「主語」

ought to be ashamed オト・トゥ・ビー・アシェイムト 2 単現・義務(ought to+不定詞・受動形)

v.t(of ～のことを) 恥ずかしいと思うべきである

「動詞句」

of yourself,” オフ・ユアセルフ adv. 自分自身のことを

「間接目的語」

the policeman サ・ポリスマン n. 警官が

「主語」

added, アディト 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

“getting ゲテイング 現在分詞(get)adj. ～になっている

「補語」

so tight ソウ・タイト adv. それほど困難な

「副詞句」

you 主 pron お前は

「主語」

can’t stand steady. キャント・スタント・ステディ 2 単現・可能・否定

v.i しっかり立ってられない

「動詞句」

Why, ホイ adv. どうして

「副詞」

you 主 pron お前は

「主語」

’re shaking アー・シェイキング 2 単現・進行形 v.i 震えている

「動詞句」

all over!” オール・オウヴァー adv. 体中

「副詞句」

Part 1 第1部

「俺はそれほど酔っぱらっちゃいませんよ」と、レーモンは言い訳をした。「ただ、あんたがそこに立って、俺を見つめていると、震えてしまうんだ。当たり前のことだ！」

“I’m not tight,” Raymond explained. “Only when I see you standing there and looking at me, I can’t help trembling. That’s only natural.”

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《「副詞節」, 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

“I アイ pron 俺は 「主語」
 ’m アム 1 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 not tight,” ノット・タイト adj. それほど困難な〜ない 「補語」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 explained. イクスプレイント° 3 単過 v.t 説明した、言い訳をした 「動詞」
 “Only オンリー adv. ただ、〜なだけ 「副詞」
 when ホエン conj. 〜すると 「副詞節」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 see シー 1 単現・知覚動詞 v.t(VO+現在分詞 O が〜するのを) 見る 「動詞」
 you ユー pron あんたが 「目的語」
 standing スタンディング° 現在分詞・you の動作 v.i 立つ 「補語」
 there ゼア adv. そこ 「副詞」
 and アンド° conj. そして
 looking ルキング° 現在分詞・you の動作 v.i(at を) 見つめる 「補語」
 at me, アット・ミー adv. 俺を 「間接目的語」
 I アイ pron 俺は 「主語」
 can’t help trembling. キャント・ヘルプ°・トレンブリング° 1 単現・不可避(can’t help+現在分詞)
 v.i 震えてしまう 「動詞句」
 That ザット pron それは 「主語」
 ’s イズ° 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 only natural.” オンリー・ナチュラル adj. 当たり前の 「補語」

Part 1 第 1 部

それから彼はドアを閉め、僕達は皆その場を立ち去った。マリーと僕は昼食の支度を終えた。

Then he closed his door, and we all went away. Marie and I finished getting our lunch ready.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞句」

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

closed クロウズト 3 単過 v.t 閉めた

「動詞」

his door, ヒズ・ドアー n. 自分の部屋のドアを

「目的語」

and アンド conj. そして

we all ウィー・オール pron.pl 我々は皆

「主語」

went away. ウェント・アウェイ 1 複過(go away)v.i 立ち去った

「動詞句」

Marie and I マリー・アンド・アイ n. マリーと僕は

「主語」

finished getting ... フィニッシュ・ゲテイング ...レディ 1 複過・完了(finish+現在分詞 get)

v.t ~の状態にするのを終えた

「動詞句」

get ゲット v.t(SVOC) O を C の状態にする

our lunch アー・ランチ n. 昼食を

「目的語」

ready. レディ adj. 準備ができた

「補語」

しかし彼女はほとんど食欲がなかったので、僕が 1 人でほとんど全部を食べた。彼女は 1 時に帰り、それから僕はひと眠りした。

But she hadn't any appetite, and I ate nearly all. She left at one, and then I had a nap.

But 「主語」「動詞句」「目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「副詞句」,and「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

she シー pron 彼女は

「主語」

hadn't ハドント 3 単過・否定(have)v.t ~がなかった

「動詞句」

any appetite, エニー・アペタイト n. (否定文で) ほとんど食欲が

「目的語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

ate エイト 1 単過(eat)v.t 食べた

「動詞」

nearly all. ニアリー・オール pron ほとんどすべてを

「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

left レフト 3 単過(leave)v.i 帰った、去った

「動詞」

at one, アット・ワン adv. 1 時に

「副詞句」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

then ゼン adv. それから	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t (動作を) した	「動詞」
a nap. ア・ナップ n. 居眠り	「目的語」

3 時頃、僕の部屋のドアを叩く音が聞こえて、レーモンが入って来た。

Toward three there was a knock at my door and Raymond came in.

	「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」
Toward three トワ・ド・スリー adv. (時間) 3 時頃に	「副詞句」
there was ゼア・ワズ 3 単過(there be)v.i 〜があった	「動詞句」
a knock ア・ノック n. ノックの音	「主語」
at my door アット・マイ・ドアー adv. 僕の部屋のドアで	「副詞句」
and アンド conj. そして	
Raymond レーモン n. レーモンが	「主語」
came in. ケム・イン 3 単過(come in)v.i 入ってきた	「動詞句」

彼は僕のベッドの縁に腰を下ろしたが、少しの間なにも言わないでいた。

He sat down on the edge of my bed and for a minute or two said nothing.

	「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞句」「動詞」「目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 腰を下ろした	「動詞句」
on the edge of my bed オン・スィ・エッジ・オブ・マイ・ベット	
adv. 僕のベッドの縁 (へり) に	「副詞句」
and アンド conj. そして	
for a minute or two フォー・ア・ミニット・オア・トゥ adv. 1~2 分の間	「副詞句」
said セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
nothing. ナンク pron 何も〜ない	「目的語」

僕が彼に、例の問題はどうなったのかと尋ねた。

I asked him how it had gone off.

	「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
how ハウ adv. どのように〜するかということを	「直接目的語」
it イット pron 例のことは	「主語」
had gone off. ハット・ゴーン・オフ 3 単過・完了形(go off)	

Part 1 第1部

v.i (事が) 進んだ

「動詞句」

彼の話では、最初のうちは予定通り非常に順調に進んだが、その後で、女が彼の顔に平手打ちを食らわしたので、彼は怒りに任せて、女を殴り始めたということだ。

He said it had all gone quite smoothly at first, as per program; only then she'd slapped his face and he'd seen red, and started thrashing her. 「主語」「動詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

said セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron それは

「主語」

had all gone ハット・オール・ゴーン 3 単過・完了形(go+all)v.i すべて進んだ

「動詞句」

quite smoothly クワイ・スーズリー adv. 非常に順調に

「副詞句」

at first, アット・ファースト adv. はじめのうちは

「副詞句」

as per アス・パー prep ～に従って

「副詞句」

program; プログラム n. 計画

「目的語」

only then オンリー・ゼン adv. (譲歩) ただそれから

「副詞句」

she シー pron 女が

「主語」

'd slapped ハット・スラップト 3 単過・完了形(slap)v.t 平手打ちをした

「動詞句」

his face ヒズ・フェイス n. 彼の顔を

「目的語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd seen ハット・シーン 3 単過・完了形(see)v.t 見た

「動詞句」

red, レッド n. 赤色を

「目的語」

see red シー・レット v.i 激怒する (闘牛が赤布を見て興奮することから)

and アンド conj. そして

started thrashing スターテイト・スラシグ 3 単過・開始(start+現在分詞)

v.t 殴り始めた

「動詞句」

her. ハー pron 女を

「目的語」

Part 1 第 1 部

その後の出来事については、僕もそこに居たので、彼が話す必要はない。

As for what happened after that, he needn't tell me, as I was there.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞節」

As for アズ・フォー prep (関連) ～に関しては

「副詞句」

what ファット pron (主語) ～する事

「目的語」

happened ハプント 3 単過 v.i 起こった

「動詞」

after that, アフター・ザット adv. その後に

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

needn't tell ニードント・テル 3 単現・必要・否定(need+不定詞)v.i 話す必要はない

「動詞句」

この need は助動詞なので、不定詞の前に to は不要

me, ミー pron 僕に

「間接目的語」

as アズ conj. ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・存在(be)v.i ～にいた

「動詞」

there. ゼア adv. そこに

「副詞」

～に関しては :

As for アズ・フォー ～に関しては、～については

As for future schedule, he says nothing is set in stone.

先のスケジュールについては、何も決まっていないと彼は言う。

regarding リガ・ディング prep ～に関して、～について

Regarding financial matters, income is personal matters and should not be used to start a conversation. 経済的な事柄に関しては、収入は個人的な問題なので会話を始める際には用いるべきでない。

in terms of イン・タームズ・オブ prep ～の点から、～の言葉で

The Republican majority opposes ratification out of concern that it would fall behind Russia in terms of nuclear capabilities.

共和党の大部分は核能力の点ではロシアに後れを取るという懸念から批准に反対している。

Part 1 第1部

「それじゃあ」と、僕は言った。「女に十分わからせることが出来て、満足しただろう？」

“Well,” I said, “you taught her a lesson, all right, and that’s what you wanted, isn’t it?”

《「副詞」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, and 「主語」「動詞」「補語」「念押し」》

“Well,” ウェル adv. それじゃあ、さて 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“you ユー pron 君は 「主語」

taught トート 2 単過(teach)v.t (教訓を) 悟らせた、教えた 「動詞」

her ハー pron 女に 「間接目的語」

a lesson, ア・レスン n. 教訓を 「直接目的語」

all right, オール・ライト adv. 十分だ 「副詞句」

and アンド conj. そして

that サット pron それは 「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

what you wanted, ファット・ユー・ウォンテッド n. 君が望んでいたもの 「補語」

isn’t it? イズント・イト adv. (念押し) そうだろう? 「念押し」

彼は同意して、警官が何をしたらって、女を懲らしめた事実は変わらないと主張した。

He agreed, and pointed out that whatever the police did, that wouldn’t change the fact she’d had her punishment. 「主語」「動詞」, and 「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

agreed, アグリード 3 単過 v.i 同意した 「動詞」

and アンド conj. そして

pointed out ポイント・アウト 3 単過(point out)v.t 指摘した 「動詞句」

that サット conj. 〜ということを 「目的語」

whatever ファットエヴァー pron 何を 「目的語」

the police サ・ポリス n. 警官が 「主語」

did, デッド 3 単過・時制の一致・仮定(do)v.t しても 「動詞」

that サット pron それは 「主語」

wouldn’t change ウント・チェンジ 3 単現・否定・推測

v.t 変えることはないだろう 「動詞句」

the fact サ・ファクト n. 事実を 「目的語」

she シー pron (同格) 女が〜するという 「形容詞節」

’d had ハット・ハット 3 単過・完了形(have)v.t 受けた 「動詞句」

’d は had または would の短縮形だが、would なら動詞の原形が続くはずである

Part 1 第1部

her punishment. ハー・パニッシュメント n. 罰を

「目的語」

彼は、警官については扱い方をよく心得ていた。

As for the police, he knew exactly how to handle them.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

As for アズ・フォー prep ~について言えば、~に関する限り

「副詞句」

the police, ザ・ポリース n. 警官

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

knew ニュー 3 単過 (know) v.t 知っていた

「動詞」

exactly イグザクトリー adv. よく、正確に

「副詞」

how to +不定詞 ハウ・トゥ n. ~するためのやり方を

「目的語」

handle ハンドル 不定詞 v.t 扱う

「動詞」

them. ゼム pron 彼らを

「目的語」

しかし彼は、警官が彼を殴った時に、自分も殴り返すことを僕が期待していたかと尋ねた。

But he'd like to know if I'd expected him to return the blow when the policeman hit him.

But 「主語」 「動詞句」 「目的語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd like to know ウット・ライク・トゥ・ノウ 3 単過・願望(would like to+不定詞)

v.t 知りたがった

「動詞句」

if イフ conj. ~かどうかを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd expected ハット・イクスペクティット 1 単過・完了形 v.t 期待した

「動詞句」

him ヒム pron 彼が

「目的語」

to return トゥ・リターン 不定詞・him の動作 v.t 返す

「補語」

the blow ザ・ブロウ n. 一撃を

「目的語」

when ホエン conj. ~するとき

「副詞節」

the policeman ザ・ポリースマン n. 警官が

「主語」

hit ヒット 3 単過 v.t 殴った

「動詞」

him. ヒム pron 彼を

「目的語」

Part 1 第1部

僕は、全く何も期待しなかったし、いずれにしても、警官は大嫌いだと答えた。

I told him I hadn't expected anything whatsoever and, anyhow, I had no use for the police.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and「副詞」「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

told トルド 1 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

I アイ pron 僕は～するというところを

「直接目的語」

hadn't expected ハント・イクス・クティット

1 単過・完了形・否定 v.t 期待しなかった

「動詞句」

anything whatsoever エシグ・ファットソウエアー

pron (否定文で強調) 全く何も

「目的語」

and, アント conj. そして

anyhow, エーハウ adv. いずれにせよ

「副詞」

I アイ pron 僕は～するというところを

「直接目的語」

had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある

「動詞」

no use ノ・ユース n. 使用目的～がない

「目的語」

for the police. フォー・ザ・ポリース adv. 警官については

「副詞句」

have no use for... 「～の必要がない、～に用はない、～は大嫌いだ」

レーモンは満足した様子で、一緒に散歩しないかと僕を誘った。

Raymond seemed pleased and asked if I'd like to come out for a stroll with him.

「主語」「動詞」「補語」and「動詞」「目的語」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

seemed シームト 3 単過 v.i ～のように見えた

「動詞」

pleased プリースト 過去分詞(please)adj. 満足した

「補語」

and アント conj. そして

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた、誘った

「動詞」

if イフ conj. ～かどうかを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd like to come out ウット・ライク・トゥ・カム・アウト 1 単現・願望・推量(would like to+不定詞)

v.i 外出したいと思う

「動詞句」

for a stroll フォー・ア・ストロール adv. (目的) 散歩に

「副詞句」

with him. ウイズ・ヒム adv. 彼と一緒に

「副詞句」

Part 1 第1部

僕はベッドから起きだして、髪にブラシをかけ始めた。

I got up from the bed and started brushing my hair.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

got up ゴット・アップ 1 単過(get up)v.i 起きた

「動詞句」

from the bed フロム・ザ・ベット adv. ベッドから

「副詞句」

and アンド conj. そして

started brushing スタート・ブッシング 1 単過・開始 v.t ブラシをかけはじめた

「動詞句」

my hair. マイ・ヘア n. 髪を

「目的語」

それからレーモンは、実は僕に証人になってもらいたいんだと言った。

Then Raymond said that what he really wanted was for me to act as his witness.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

said セット 3 単過 v.t 言った

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

what he really wanted ファット・ヒー・リアリー・ウオンティット

pron 彼が非常に希望していることは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

for me +to 不定詞 フォー・ミー n. 私が～すること

「補語」

to act トゥ・アクト 不定詞 v.i(as) ～の役目を務める

「動詞句」

as his witness. アズ・ヒズ・ウィットニス adv. 証人として

「補語」

僕は証人になって構わないと言った；ただ、彼が僕に何を言って欲しいのか分からない。

I told him I had no objection; only I didn't know what he expected me to say.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」；「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

told トゥル 1 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

I had no objection; アイ・ハット・ノウ・オブ・ジェクション n. 何も異議はないと

「直接目的語」

only オンリー adv. ただ

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't know ティント・ノウ 1 単過・否定・時制の一致 v.t 分からない

「動詞句」

what ファット pron (目的語) 何を～するかということ

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

Part 1 第1部

expected イクスペクテッド 3 単過・時制の一致 v.t 期待している 「動詞」
 me ミー pron 僕が 「目的語」
 to say トゥ・セイ 不定詞・me の動作 v.t 言う 「補語」

「簡単なことだ」と、彼は答えた。「君は、〈女が俺を裏切った〉と言うだけで十分だ」

“It’s quite simple,” he replied. “You’ve only got to tell them that the girl had let me down.”

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》

“It イット pron それは 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 quite simple,” クワイ・シンプル adj. まったく簡単な 「補語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 replied. リプライド 3 単過 v.i 答えた 「動詞」
 “You ユー pron 君は 「主語」
 ’ve only got to tell ハヴ・オンリー・ゴット・トゥ・テル 2 単現・必要・制限(have got to+不定詞+only)
 v.t 〜を言うだけでよい 「動詞句」
 have got to+不定詞 = have to+不定詞 「〜しなくてはならない」
 have only got to+不定詞 「〜すれば十分だ」
 them ゼム pron 彼らに 「間接目的語」
 that ザット conj. 〜ということを 「直接目的語」
 the girl ザ・ガール n. 女が 「主語」
 had let ...down.” ハッド・レット...ダウン (let down)v.t 裏切った 「動詞句」
 me ミー pron 俺を 「目的語」

それで僕は彼の証人になることを同意した。

So I agreed to be his witness. 「副詞」「主語」「動詞」「補語」
 So ソウ adv. それで 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 agreed アグリード 1 単過 v.i 同意した 「動詞」
 to be トゥ・ビー 不定詞・I (主語) の動作 v.i 〜になる 「補語」
 his witness. ヒズ・ウィットネス n. 証人 「補語」

agree to :

agree to+不定詞 主語が〜する行為に同意する

agree to+現在分詞 主語が〜しようとする考えに同意する

Part 1 第1部

僕たちは一緒に外出した。酒場で、レーモンがブランディを一杯おごってくれた。

We went out together, and Raymond stood me a brandy in a café.

「主語」「動詞」「副詞」	,and	「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」
We ウィー pron 僕たちは		「主語」
went out ウェント・アウト 1 複過(go out)v.i 外出した		「動詞句」
together, トゥギザー adv. 一緒に		「副詞」
and アンド conj. そして		
Raymond レーモン n. レーモンは		「主語」
stood ストゥッド 3 単過(stand)v.t おごった		「動詞」
me ミー pron 僕に		「間接目的語」
a brandy ア・ブランドィ n. ブランディを		「直接目的語」
in a café. イン・ナ・キャフェ adv. 酒場で		「副詞句」
café キャフェ n. 喫茶店、(酒類も出す) 軽食屋、酒場、ナイトクラブ		

それから僕たちはビリヤードをした；接戦だったが、わずかの差で僕が負けた。

Then we had a game of billiards; it was a close game and I lost by only a few points.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」；	「主語」「動詞」「補語」	and	「主語」「動詞」「副詞句」
Then セン adv. それから			「副詞」
we ウィー pron 僕たちは			「主語」
had ハット 1 複過(have)v.t (動作名詞と) ～をした			「動詞」
a game of billiards; ア・ゲイム・オブ・ビリヤズ n. ビリヤードを			「目的語」
it イット pron それは			「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった			「動詞」
a close game ア・クロース・ゲイム n. 接戦			「補語」
and アンド conj. そして			
I アイ pron 僕は			「主語」
lost ロスト 1 単過(lose)v.i 負けた			「動詞」
by only a few points. バイ・オンリー・ア・フュー・ポイント adv. わずかの差で			「副詞句」

Part 1 第1部

それから彼は、女郎屋へ行こうと僕を誘ったが、それは好きではないので断った。

After that he proposed going to a brothel, but I refused; I didn't feel like it.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」,

but 「主語」「動詞」; 「主語」「動詞句」「目的語」

After that アフター・ザット adv. それから、その後

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

proposed going プロポズト・ゴウイング 3 単過・勧誘(propose+現在分詞)

v.i 行こうと誘った

「動詞句」

to a brothel, トゥ・ア・ブラスル adv. 女郎屋へ、売春宿へ

「間接目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

refused; リフューズト 1 単過 v.t 断った

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't feel like デイットント・フィール・ライク 1 単過・否定(feel like)v.t 好きでなかった

「動詞句」

it. イット pron それを

「目的語」

僕たちがゆっくりと戻ってくる時に、彼は愛人に十分に思い知らせることができてどんなに満足かわからないほどだと僕に言った。

As we were walking slowly back he told me how pleased he was at having paid out his mistress so satisfactorily.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

As アズ conj. ～する時、～しながら

「副詞節」

we ウー pron 僕たちが

「主語」

were walking ...back ワー・ウォーキング... バック 1 複過・進行形(walk back)

v.i 歩いて戻っていた

「動詞句」

slowly スロウリー adv. ゆっくりと

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

told トールド 3 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

how pleased ハウ・プリーズト adj. (補語) どれほど満足した～ということを 「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

at having paid out アット・ハウイング・ペイト・アウト 現在分詞・完了形・理由(pay out)

adv. ～を支払ったので

「副詞句」

his mistress ヒズ・ミストレス n. 彼の愛人が

「主語」

so satisfactorily. ソウ・サティスファクトリー adv. 申し分なく

「副詞句」

Part 1 第1部

彼は僕に対してとても親切にしてくれたので、僕はとても楽しく散歩をした。

He made himself extremely amiable to me, and I quite enjoyed our walk.

	「主語」「動詞」「目的語」「補語」,and「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
made メイトゝ 3 単過・変化(make)v.t(SVOC) (O を C の状態に) 変えていた	「動詞」
himself ヒムセルフ pron 自分自身を	「目的語」
extremely amiable イクストリー・ミー・エイミャブル adj. とても優しい	「補語」
to me, トゥ・ミー adv. 僕に対して	「副詞句」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
quite クワイ adv. 非常に	「副詞」
enjoyed エンジョイトゝ v.t 楽しんだ	「動詞」
our walk. アウ・ウォーク n. 散歩を	「目的語」

家の近くに来ると、玄関口にサラマノ老人が見えた；とても興奮しているようだった。

When we were nearly home I saw old Salamano on the doorstep; he seemed very excited.

	「副詞節」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」;「主語」「動詞」「補語」
When ホエン conj. ～するとき	「副詞節」
we ウィー pron 僕たちが	「主語」
were ワー 1 複過(be)v.i ～に来た	「動詞」
nearly home ニアリー・ホーム adv. 家の近くまで	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
saw ソー 1 単過(see)v.t 見えた	「動詞」
old Salamano オールド・サラマノ n. サラマノ老人が	「目的語」
on the doorstep; オン・ザ・トアステップ adv. 玄関口に	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
seemed シームトゝ 3 単過 v.i ～のように見えた	「動詞」
very excited. ヴェリー・イクサイティトゝ adj. 非常に興奮した	「補語」

僕は、彼の犬が彼と一緒にいないことに気が付いた。

I noticed that his dog wasn't with him.

	「主語」「動詞」「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
noticed ノチスト 1 単過 v.t 気付いた	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
his dog ヒズ・ドッグ n. 彼の犬が	「主語」
wasn't ワズント 3 単過・存在・否定・時制の一致(be)v.i いない	「動詞」

Part 1 第1部

with him. ウイズ・ヒム adv. 彼と一緒に

「副詞句」

彼は、その場でコマのようにくると向きを変えて、あちこちをのぞき込んでいた。そして、時には、血走った小さな目で廊下の暗がりを目を凝らしていた。

He was turning like a teetotum, looking in all directions, and sometimes peering into the darkness of the hall with his little bloodshot eyes.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞」「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was turning ワズ・ターニング 3 単過・進行形(turn)v.i 振り返っていた

「動詞句」

like a teetotum, ライク・ア・ティートゥム adv. (指で回す) こまのように

「副詞句」

looking in ルキング・イン 現在分詞・同時 adv. 覗き込んで

「副詞句」

all directions, オール・ディレクションズ adv. あちこちを

「副詞句」

and アンド conj. そして

sometimes サムタイムズ adv. 時々

「副詞」

peering ピアリング 現在分詞・同時 adv.(into に) 目を凝らして

「動詞句」

into the darkness of the hall イントゥ・ザ・ダークネス・オブ・ザ・ホール

adv. 廊下の暗がり

「副詞句」

with his little bloodshot eyes. ウイズ・ヒズ・リトル・ブラッド・ショット・アイズ

adv. (手段) 血走った小さな目で

「副詞句」

それから自分自身に何かをつぶやき、また通りのあちこちをじっと見つめ始めた。

Then he'd mutter something to himself and start gazing up and down the street again.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「動詞句」「目的語」「副詞」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd mutter ウット・ムター 3 単過・推量(would+不定詞)v.t つぶやいたようだ

「動詞句」

something サムシング pron 何かを

「目的語」

to himself トゥ・ヒムセルフ adv. 自分自身に

「副詞句」

and アンド conj. そして

start gazing スタート・ゲイジング 3 単過・推量・開始(would+不定詞)

v.t じっと見つめ始めた

「動詞句」

up and down アップ・アンド・ダウン adv. あちこちを

「副詞句」

the street ザ・ストリート n. 通りを

「目的語」

again. アゲン adv. また

「副詞」

Part 1 第1部

レーモンは何か困ったことがあるのかと尋ねたが、サラマノはすぐには答えなかった。

Raymond asked him what was wrong, but he didn't answer at once.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, but 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 what ワット conj. 何が～するかを 「直接目的語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 wrong, ワング adj. 悪い、困った 「補語」
 but バット conj. しかし
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 didn't answer デイトント・アンサー 3 単過・否定 v.i 答えなかった 「動詞句」
 at once. アット・ワンス adv. すぐに 「副詞句」

その時、僕は彼がぶつぶつ言う声が聞こえた、「くそつたれ！汚い野良犬め！」

Then I heard him grunt, "The bastard! The filthy cur!"

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」, 《「罵声」》
 Then セン adv. その時 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t(SVO+不定詞 O が～するのが) 聞こえた 「動詞」
 him ヒム pron 彼が 「目的語」
 grunt, グラント 不定詞・him の動作 v.i ぶつぶつ言う 「補語」
 "The bastard! ザ・バスタート int. くそつたれ！ 「罵声」
 bastard バスタート n. くそつたれ、粗悪品
 The filthy cur!" ザ・フィルシー・カー int. 汚い野良犬め！ 「罵声」
 filthy フィルシー adj. 汚い cur カー n. 野良犬

僕が犬はどこにいるのかと尋ねると、彼は僕をにらみつけてから、吐き捨てるように言った、「いなくなった」

When I asked him where his dog was, he scowled at me and snapped out, "Gone!"

「副詞節」, 「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞句」, 《「応答」》
 When ホエン conj. ～すると 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 where his dog was, ウェア・ヒズ・ドッグ・ワズ n. 犬はどこにいるのかと 「直接目的語」

Part 1 第1部

he ヒー pron 彼は 「主語」
 scowled スカウルト 3 単過(scowl)v.i(at を) にらみつけた 「動詞」
 at me アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 snapped out, スナップト・アウト 3 単過(snap out)v.i (急に) 言った 「動詞句」
 “Gone!” ゴウン adv. いなくなった 「応答」

そう言うとともに、突然、犬のことをまくしたて始めた。

A moment later, all of a sudden, he launched out into it.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」
 A moment later, ア・モメント・レイター adv. すぐ後で、直後に 「副詞句」
 all of a sudden, オール・オブ・ア・サドゥン adv. 突然に、急に、不意に 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 launched out ロンチト・アウト 3 単過(launch out)v.i (into を) まくしたて始めた 「動詞句」
 into it. イントゥ・イット adv. (対象) それについて 「間接目的語」
 まくしたてる (捲し立てる)
 言いたいことを激しく、一気に言うこと

「いつものように、あれを軍事演習場へ連れて行きました。市が開かれていて、人ごみで身動きも出来ないほどでした」

“I’d taken him to the Parade Ground as usual. There was a fair on, and you could hardly move for the crowd. 《「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

「動詞句」 「主語」 「補語」 and 「主語」 「動詞句」 「副詞句」》

“I アイ pron 私は 「主語」
 ’d taken ハット・テイクン 1 単過・完了形(take)v.t ～を連れて行った 「動詞句」
 him ヒム pron あの犬を 「目的語」
 to the Parade Ground トゥ・ザ・パレイト・グラウンド adv. 軍事演習場へ、練兵場へ 「副詞句」
 as usual. アズ・ユージュアル adv. いつものように 「副詞句」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～があった 「動詞句」
 a fair ア・フェア n. 市が 「主語」
 on, オン adj. 始まっている 「補語」
 and アンド conj. そして
 you ユー pron あなたは 「主語」
 could hardly move クッド・ハートリー・ムーヴ 2 単過・推量・否定(move)
 v.i 身動きできなかっただろう 「動詞句」
 for the crowd. フォー・ザ・クラウド adv. (原因) 人ごみで 「副詞句」

Part 1 第1部

フランス語の原文では

いつものように、あれを軍事演習場に連れて行きました。

Je l'ai emmené au **Champ de Manoeuvres**, comme d'habitude.

「私は屋台の前で立ち止まり、《縄抜け名人》を見ていました。先に行こうとしたら、犬がいなくなっていたんです」

I stopped at one of the booths to look at the Handcuff King. When I turned to go, the dog was gone. 《「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》

I アイ pron 私は 「主語」

stopped ストップ 1 単過 v.i 立ち止まった 「動詞」

at one of the booths アット・ワン・オブ・ザ・ブース adv. (定期市の) 屋台の店で、売店 「副詞句」

to look トゥ・ルック 不定詞・結果 adv.(at を) 見た 「副詞句」

at the Handcuff King. アット・ザ・ハント・カフ・キング

adv. 《縄抜け名人》を 「間接目的語」

Handcuff ハント・カフ n. 手錠 「縄抜け名人」→縄抜けマジックの名称

When ホエン conj. ～すると 「副詞節」

I アイ pron 私は 「主語」

turned to go, ターン・トゥ・ゴウ 1 単過・開始(turn to+不定詞)

v.i 行こうとした 「動詞句」

the dog ザ・ドッグ n. 犬が 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

gone. ゴウ adj. 去った、なくなった 「補語」

「私はずっと前からもっと小さい首輪を買ってやろうと思っていたんです。でも、あの畜生が首輪を外して、逃げるかもしれないなんて、考えてもみませんでした」

I'd been meaning to get a smaller collar, but I never thought the brute could slip it and get away like that. 《「主語」「動詞句」「目的語」, but 「主語」「動詞句」「目的語」》

I アイ pron 私は 「主語」

'd been meaning to get ハット・ビーン・ミーニング・トゥ・ゲット 1 単過・完了形・進行形・予定

(mean to+不定詞 get)v.t (物を) 買おうと思っていた 「動詞句」

a smaller collar, ア・スモラー・カラー n. (犬などの) もっと小さい首輪 「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 私は 「主語」

never thought ネヴァー・ソート 1 単過・否定(think)v.t 考えてもみなかった 「動詞句」

n. ～ということを 「目的語」

the brute ザ・ブルート n. あの畜生が 「主語」

Part 1 第1部

could slip クット・スリップ 3 単過・可能性

v.t (留め具を) はずすかもしれない

「動詞句」

it イット pron 首輪を

「目的語」

and アンド conj. そして

get away ゲット・アウェイ 3 単過・可能性(could+不定詞 get away)

v.i 逃げるかもしれない

「動詞句」

like that.” ライク・ザット adv. あんな風に

「副詞句」

レーモンは、犬は帰り道を見つけるだろうと彼に言って安心させた。そしてさらに、飼い主のもとに戻るために相当な距離を旅した犬たちの話もしてやった。

Raymond assured him the dog would find its way home, and told him stories of dogs that had traveled miles and miles to get back to their masters.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

assured アシュアード 3 単過 v.t(that ~ということ)を) 安心させた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

n. ~ということ

「直接目的語」

the dog ザ・ドッグ n. 犬は

「主語」

would find ウット・ファインド 3 単過・推量(would+不定詞)

v.t 見つけるだろう

「動詞句」

its way home, イッツ・ウェイ・ホーム n. 帰り道を

「目的語」

and アンド conj. そして

told トゥルト 3 単過(tell)v.t 話して聞かせた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

stories of dogs ストーリーズ・オブ・ドッグス pl.n 犬たちの話を

「直接目的語」

that ザット pron.pl (dogs の代用) ~する

「形容詞節」

had traveled ハット・トラヴェルト 3 複過・完了形 v.i 旅をした 「動詞句」

miles and miles マイルズ・アンド・マイルズ adv. 相当な距離を 「副詞句」

to get back トゥ・ゲット・バック 不定詞・目的 adv. 戻るために 「副詞句」

to their masters. トゥ・ゼア・マスタース

adv. 飼い主のもとへ

「副詞句」

Part 1 第 1 部

しかしそれでも、老人は前よりもっと心配そうな様子になった。

But this seemed to make the old fellow even more worried than before.

But 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

But バット conj. しかし

this ズィス pron このことは

「主語」

seemed to make シムト・トゥ・メイク 3 単過・推測・使役(seem to+不定詞 make)

v.t(SVOC O を C に) させたように見えた

「動詞句」

the old fellow ズィ・オールド・フェロウ n. 老人を

「目的語」

even more worried イヴン・モア・ウオリート adj. さらに心配そうな

「補語」

than before. ザン・ビフォー adv. 以前よりも

「副詞句」

「お分かりでしょう？ 奴らがあれを始末するでしょう；つまり警察官が」

“Don't you understand, they'll do away with him; the police, I mean.

《「動詞句」「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」; 「目的語」「主語」「動詞」》

“Don't ...understand, トント...アンダースタント 2 単現・反語(understand)

v.t 分るでしょう？

「動詞句」

you ユー pron あなたは

「主語」

they ゼィ pron 彼らは

「主語」

'll do away with ウィル・トゥ・アウェイ・ウィズ 3 複未・推量(do away with)

v.t (動物を) 始末するだろう

「動詞句」

him; ヒム pron あの犬を

「目的語」

the police, ザ・ポリース n. 警察官を

「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

mean. ミン 1 単現 v.t ~を指して言っている

「動詞」

Part 1 第1部

「誰かがあれを拾って、世話をしてくれるなんてありえませんよ；だって瘡蓋だらけの姿を見れば、誰も近づかないでしょうから」

It's not likely anyone will take him in and look after him; with all those scabs he puts everybody off.》 《「動詞」「補語」「主語」；「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

It イット pron 仮の主語（真の主語は anyone will take him in and look after him）

's イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

not likely ノット・ライクリー adj. ありそうもない 「補語」

n. ～ということは 「主語」

anyone エニワン pron 誰かが 「主語」

will take ... in ウィル・テイク...イン 3 単未・可能性(will+不定詞 take in)

v.t 拾っていく、受け入れる 「動詞句」

him ヒム pron あれを 「目的語」

and アンド conj. そして

look after ルックアフター 3 単未・可能性(will+不定詞 look after)

v.t 世話をする 「動詞句」

him; ヒム pron あれを 「目的語」

with all those scabs ウイズ・オール・ゾース・スカブズ adv. (条件) 瘡蓋だらけなので 「副詞句」

he ヒー pron あれは 「主語」

puts ...off. プッツ...オフ 3 単現(put off)v.t 遠ざける 「動詞句」

everybody エブリーバディ pron 皆を 「目的語」

僕は彼に、警察本部には、迷子犬が連れてこられる収容所があると教えてあげた。

I told him that there was a pound at the police station, where stray dogs are taken.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

told トールド 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

that サット conj. ～ということを 「直接目的語」

there was ゼア・ワズ 3 単過・時制の一致(there be)v.i ～がある 「動詞句」

a pound ア・パウンド n. (犬などの) 収容所 「主語」

at the police station, アット・ザ・ポリス・ステーション adv. 警察本部に 「副詞句」

where ウェア conj. そこに～する 「形容詞節」

stray dogs ストレイ・ドッグズ pl.n 迷子犬が 「主語」

are taken. アー・テイン 3 複現・受動

v.t 連れてこられる 「動詞句」

Part 1 第1部

彼の犬はきっとそこにいるから、多少の手数料を支払えば取り戻せるだろう。

His dog was certain to be there and he could get it back on payment of a small charge.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

His dog ヒズ・ドッグ n. 彼の犬は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

certain to be there サトウ・トウ・ビー・ゼア adj. きっとそこにいる

「補語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

could get ...back クッド・ゲット...バック 3 単過・可能・推量(get back)

v.t 取り戻せるだろう

「動詞句」

it イット pron 犬を

「目的語」

on payment of a small charge. オン・ペイメント・オブ・ア・スモール・チャージ

adv. (条件) 多少の手数料を支払えば

「副詞句」

彼は僕に、手数料はどれ位なのかと尋ねたが、それは僕には分からない。すると、彼はまた激しく怒り始めた。

He asked me how much the charge was, but there I couldn't help him. Then he flew into a rage again.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,but 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

how much ハウ・マッチ adv. どれ位〜かということ

「直接目的語」

the charge サ・チャージ n. 手数料は

「主語」

was, ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

but バット conj. しかし

there ゼア adv. それについては

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't help クント・ヘルプ 1 単過・可能・否定 v.t 助けられない

「動詞句」

him. ヒム pron 彼を

「目的語」

Then ゼン adv. すると

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

flew フルー 3 単過・状態変化(flow)v.i(into に) なった

「動詞」

into a rage イントウ・ア・レイジ adv. (状態) 激怒に

「補語」

again. アゲン adv. また

「副詞」

Part 1 第1部

「そんな馬鹿げたことに金を払わなければならないなんて、あり得るのか？いや、まっぴらだ！警察はあれを始末するかもしれないが、知ったことじゃない」

“Is it likely I'd give money for a mutt like that? No damned fear! They can kill him, for all I care.”

《「動詞」「補語」「主語」 | 「感嘆」 | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」》

“Is イズ 3 単現・疑問文(be)v.i ~なのか？

「動詞」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は I'd give money for a mutt like that)

likely ライクリー adj. ありそう

「補語」

I アイ n. 私が~するということは

「主語」

'd give シュット・ギヴ 1 単過・義務(should+不定詞)

v.t (金を) 払わなければならない

「動詞句」

money マニー n. 金を

「目的語」

for a mutt like that? フォー・ア・マット・ライク・ザット

adv. そんな馬鹿なことのために

「副詞句」

No damned fear! ノ・ダムド・フィア int. そんなことは有り得ない、まっぴらだ

「感嘆」

They ゼイ pron.pl 警察は

「主語」

can kill キャン・キル 3 複現・可能性 v.t 始末するだろう

「動詞句」

him, ヒム pron あれを

「目的語」

for all I care.” フォー・オール・アイ・ケア

adv. どんなに心配しても、いずれにしても、おれの知ったことじゃない

「副詞句」

for all S cares (人) にはどうでもよいことだ

あり得る

「起こりそうだ」という可能性を表す。読み方は「ありえる」でも「ありうる」でも良い。

そして、自分の犬をいつもの蔑称で呼び続けた。

And he went on calling his dog the usual names.

And 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

And アント conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

went on calling ウェント・オン・コーリング 3 単過・継続(go on+現在分詞)v.t 呼び続けた

「動詞句」

his dog ヒズ・ドッグ n. 犬を

「目的語」

the usual names. ザ・ユージュアル・ネイムズ n. いつもの蔑称で

「補語」

names ネイムズ pl.n 蔑称、悪口

Part 1 第1部

レーモンは笑って、向きを変え、アパートの階段口に入っていった。

Raymond gave a laugh and turned into the hall.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「副詞句」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t (動作を) した

「動詞」

a laugh ア・ラーフ n. 笑い

「目的語」

and アンド conj. そして

turned ターント 3 単過 v.i(into に) 向きを変えて～に入っていた

「動詞」

into the hall. イントゥ・ザ・ホール adv. アパートの階段口に

「副詞句」

hall ホール n. 玄関の広間、廊下

僕は彼を追って 2 階に上がり、階段の踊り場で僕たちは別れた。

I followed him upstairs, and we parted on the landing.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞」,and 「主語」「動詞」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

followed フォロウト 1 単過 v.t ついていった

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「目的語」

upstairs, アップ ステアズ adv. 2 階へ

「副詞」

and アンド conj. そして

we ウー pron 僕たちは

「主語」

parted パーティット 1 複過 v.i 別れた

「動詞」

on the landing. オン・ザ・ランディング adv. 階段の踊り場で

「副詞句」

すぐ後に、サラマノの足音が聞こえ、次に、僕の部屋のドアを叩く音がした。

A minute or two later I heard Salamano's footsteps and a knock on my door.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

A minute or two later ア・ミニット・オア・トゥ・レイター adv. 1～2 分後に、すぐ後に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

heard ハート 1 単過(hear)v.t 聞こえた

「動詞」

Salamano's footsteps サラマノズ・フットステップス pl.n サラマノの足音が

「目的語」

and アンド conj. そして

a knock ア・ノック n. たたく音が

「目的語」

on my door. オン・マイ・ドア adv. 僕の部屋のドアを

「副詞句」

Part 1 第1部

僕がドアを開けると、彼は一瞬戸口で立ち止まってから、言った。「すみません、お邪魔でなければ...」

When I opened it, he halted for a moment in the doorway. "Excuse me ... I hope I'm not disturbing you."

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」 | 《「挨拶」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

When ホエン conj. ～すると

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

opened オプント 1 単過 v.t 開けた

「動詞」

it, イット pron ドアを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

halted ホルテット 3 単過 v.i 立ち止まった、停止した

「動詞」

for a moment フォー・ア・モメント adv. 一瞬

「副詞句」

in the doorway. イン・ザ・ドアウェイ adv. 戸口で

「副詞句」

"Excuse me ... イクスキューズ・ミー adv. すみません

「挨拶」

I アイ pron 私は

「主語」

hope ホフ 1 単現 v.t 希望する

「動詞」

I アイ n. 私は～することを

「目的語」

'm not disturbing アム・ノット・ディスタービング 1 単現・進行形・否定(disturb)

v.t 邪魔をしない

「動詞句」

you." ユー pron あなたを

「目的語」

僕は彼に部屋に入るようにと勧めたが、彼は断った。

I asked him in, but he shook his head.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞」, but 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 招いた

「動詞」

him ヒム pron 彼を

「目的語」

in, イン adv. 部屋の中に

「副詞」

but バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

shook シュック 3 単過(shake)v.t 振った

「動詞」

his head. ヒズ・ヘット n. 頭を

「目的語」

Part 1 第1部

彼は靴のつま先をじっと見つめていた。そして、かさぶただけの手が震えていた。

He was staring at his toe caps, and the gnarled old hands were trembling.

「主語」「動詞句」「間接目的語」, and 「主語」「動詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was staring ワズ・ステアリング 3 単過・進行形(stare)v.i(at を) じっと見つめていた 「動詞句」

at his toe caps, アット・ヒズ・トー・キャップス adv. 靴のつま先を 「間接目的語」

and アンド conj. そして

the gnarled old hands ザ・グナレッド・オールド・ハズ pl.n 節くれだった手は 「主語」

were trembling. ワー・トレムブリング 3 単過・進行形(tremble)v.i 震えていた 「動詞句」

フランス語の原文では

犬の皮膚とサラマノの手の様子が同じ単語 *croûte* (かさぶた) を使用して表現されている。この英語版では犬は *scabs* (かさぶた) を使用し、サラマノの手は *gnarled* (ふしくれだった) を使用しているけれど、原文に合わせて「かさぶただけの手」と翻訳する。

僕と視線を交えることなく、彼は話し始めた。

Without meeting my eyes, he started talking.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Without +現在分詞 ウイズアウト adv. ～しないで、～せずに

「副詞句」

meeting ミーティング 現在分詞(meet)v.t 交える

「動詞」

my eyes, マイ・アイズ pl.n 僕の目と

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

started talking. スターテッド・トーキング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 話し始めた 「動詞句」

「私からあれを取り上げたりしませんよね？ムルソーさん」

“They won’t really take him from me, will they, Monsieur Meursault?”

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「念押し」, 「呼びかけ」》

“They ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

won’t really take ウウント・リアリー・テイク 3 複未・否定・確認(will+不定詞 take+really)

v.t 本当に取り上げないですよ？

「動詞句」

take テイク v.t 捕まえる、連れていく、持っていく → 取り上げる

him ヒム pron あの犬を

「目的語」

from me, フロム・ミー adv. 私から

「副詞句」

will they, ウィル・ゼイ adv. (念押し) そうですね？

「念押し」

Monsieur Meursault? ムッシュ・メルソー n. ムルソーさん

「呼びかけ」

Part 1 第1部

「きっと、彼らはそんなことはしませんよね。そうなったら、私はどうなるかわかりません」

Surely they wouldn't do a thing like that. If they do—I don't know what will become of me. 《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」》

Surely シュアリー adv. きっと 「副詞」

they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

wouldn't do ウ゛ン゛ト・ドゥ 3 複現・推量・否定 v.t しないだろう 「動詞句」

a thing like that. ア・シグ・ライク・ザット n. そんなことを 「目的語」

If they do— イフ・ゼイ・ドゥ adv. もしそんなことをしたら 「副詞節」

I アイ pron 私 「主語」

don't know ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」

what ファット pron (主語) 何が 「目的語」

will become ウィル・ビカム 3 単未・変化 v.i ~になる、起こる 「動詞句」

of me.” オヴ・ミー adj. (関連) 私について 「形容詞句」

become of+O (what, whatever を主語として) O はどうなるのか

What has become of him? 彼はどうなったのだろうか？

僕は彼に、自分が知っている限りでは、迷子になった犬は、飼い主が迎えに来るのを待つために収容所に 3 日間保護されると、話してやった。

I told him that, so far as I knew, they kept stray dogs in the pound for three days, waiting for their owners to call for them. 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

told トゥルト 1 単過(tell)v.t 話して聞かせた 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

that, ザット conj. ~ということ 「直接目的語」

so far as I knew, ソウ・ファー・ラス・アイ・ニュー

adv. 僕の知っている限りでは 「副詞節」

they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

kept ケプト 3 複過・時制の一致(keep)v.t 預かる 「動詞」

stray dogs ストレイ・ドッグズ pl.n 迷った犬を 「目的語」

in the pound イン・ザ・パウンド adv. 収容所に 「副詞句」

for three days, フォー・スリー・デイズ adv. 3 日間 「副詞句」

waiting ウェイティング 現在分詞(wait)adv. ~を待つ 「副詞句」

for their owners フォー・ゼア・オーナーズ adv. 飼い主たちを 「目的語」

to call トゥ・コール 不定詞・owners の動作 v.i(for を) 迎えに来る 「補語」

for them. フォー・ゼム adv. 犬たちを 「間接目的語」

Part 1 第1部

その期間が過ぎると、適切な方法で犬たちを処分することになっている。

After that they disposed of the dogs as they thought fit.

	「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞節」
After that アフター・ザット adv. その期間が過ぎると	「副詞句」
they ゼイ pron 彼らは	「主語」
disposed ディスポーズド 3 複過・時制の一致 v.i(of を) 処分する	「動詞」
of the dogs オフ・ザ・ドッグズ adv. 犬たちを	「間接目的語」
as アズ conj. ～のように	「副詞節」
they ゼイ pron 彼らが	「主語」
thought ソート 3 複過・時制の一致(think)v.i 考える	「動詞」
fit. フィット adj. 適切な	「補語」

彼は少しの間黙って僕を見つめ、それから言った。「おやすみなさい」

He stared at me in silence for a moment, then said, "Good evening."

	「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」, 「副詞」「動詞」, 《「挨拶」》
He ヒー pron 彼は	「主語」
stared ステアド 3 単過 v.i(at を) じっと見つめた	「動詞」
at me アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
in silence イン・サイレンス adv. 黙って	「副詞句」
for a moment, フォー・ア・モメント adv. 少しの間	「副詞句」
then ゼン adv. それから	「副詞」
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
"Good evening." ゲット・イブニング adv. 今晩は、おやすみなさい	「挨拶」

その後、しばらくの間、彼が部屋の中を行ったり来たりしている音が聞こえた。

After that I heard him pacing up and down his room for quite a while.

	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
After that アフター・ザット adv. その後で	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた	「動詞」
him ヒム pron 彼が	「目的語」
pacing up and down ペイシング・アップ・アンド・ダウン 現在分詞・him の動作(pace up and down) v.i 行ったり来たりする	「補語」
his room ヒズ・ルーム n. 部屋を	「目的語」
for quite a while. フォー・クワイ・ア・ホイル adv. しばらくの間	「副詞句」

Part 1 第1部

その時、彼のベッドが軋んだ。すると壁を通して、小さなぜいぜいいう音が僕の耳に届いた。それで僕は、彼が声を押して泣いているのだろうと察した。

Then his bed creaked. Through the wall there came to me a little wheezing sound, and I guessed that he was weeping.

「副詞」「主語」「動詞」

「副詞句」「動詞」「間接目的語」「主語」 and 「主語」「動詞」「目的語」

Then ゼン adv. それから、その時 「副詞」
 his bed ヒズ・ベット n. 彼のベッドが 「主語」
 creaked. クリーク 3 単過 v.i きしんだ (軋んだ) 「動詞」
 Through スルー prep (貫通) ～を通して 「副詞句」
 the wall ザ・ウォール n. 壁 「目的語」
 there ゼア adv. そこに 「副詞」
 came ケム 3 単過(come)v.i ～が達した 「動詞」
 to me トゥ・ミー adv. 僕の耳に 「間接目的語」
 a little wheezing sound, ア・リトル・ウィージング・サウンド n. 小さなぜいぜいいう音が 「主語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 guessed ゲスト 1 単過 v.t(that ～だと) 思った 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was weeping. ワズ・ウィーピング 3 単過・時制の一致(weep)
 v.i しくしく泣いている 「動詞句」

軋む :

物と物とがすれ合って、きしきし、みしみしなどと音を立てる。

なぜか分からないが、僕は母さんのことを考えていた。

For some reason, I don't know what, I began thinking of Mother.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

For some reason, フォー・サム・リーズン adv. なぜか、何らかの理由で 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 don't know ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」
 what, ファット pron 何 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 began thinking ホギャン・シンキング 1 単過・開始(begin+現在分詞)
 v.i(of について) 考え始めた 「動詞句」

Part 1 第1部

of Mother. マザ- adv. 母さんのことを

「間接目的語」

しかし、明日は早く起きなければならなかった；そして空腹ではなかったので、夕食は無
しで済ませて、すぐに寝た。

But I had to get up early next day; so, as I wasn't feeling hungry, I did without supper,
and went straight to bed.

But 「主語」「動詞句」「副詞句」；

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「副詞」「間接目的語」

But バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

had to get up ハット・トゥ・ゲット・アップ 1 単過・必要(have to+不定詞 get up)

v.i 起きなければならなかった

「動詞句」

early アーリー adv. 早く

「副詞」

next day; ネクスト・デイ adv. 翌日は

「副詞句」

so, ソウ adv. それで

「副詞」

as アズ conj. ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

wasn't feeling ワズント・フィーリング 1 単過・進行形(feel)

v.i(SVC) ～の感じを覚えなかった

「動詞句」

hungry, ハングリー adj. 空腹な

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

did デット 1 単過(do)v.t (事を) 済ませた

「動詞」

without supper, ウイズアウト・サパー adv. 夕食なしで

「副詞句」

and アンド conj. そして

went ウェント 1 単過(go)v.i 行った

「動詞」

straight ストレイト adv. まっすぐに

「副詞」

to bed. トゥ・ベッド adv. ベッドに

「間接目的語」

Part 1 第1部

V

レーモンが会社に電話をかけてきた。

RAYMOND rang me up at the office. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」
 RAYMOND レーモン n. レーモンが 「主語」
 rang ...up ラング°...アップ° 3 単過(ring up)v.t (事務所に) 電話をかけてきた 「動詞句」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 at the office. アット・ズィ・オフィス adv. 会社に 「副詞句」

彼の友人の一人が（彼はその友人に僕のことを話していたのだ）アルジェからすぐ近くにある浜辺の小さな別荘で次の日曜日を過ごすように、と僕を招待するということだった。

He said that a friend of his—to whom he'd spoken about me—invited me to spend next Sunday at his little seaside bungalow just outside Algiers. 「主語」「動詞」「目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 said セット° 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 a friend of his ア・フrent°・オブ°・ヒズ° n. 彼の友人の一人が 「主語」
 —to whom he'd spoken about me— トゥ・フーム・ヒート°・スプ° ウン・アバウト・ミー
 adv. (挿入句) 彼はその友人に僕のことを話していたのだ 「副詞節」
 invited インヴァイティット° 3 単過・時制の一致 v.t 招待する 「動詞」
 me ミー pron 僕が 「目的語」
 to spend トゥ・スペント° 不定詞・me の動作 v.t 過ごす 「補語」
 next Sunday ネクスト・サンデイ n. 次の日曜日を 「目的語」
 at his little seaside bungalow アット・ヒズ°・リトル・シーサイト°・バンガロウ
 adv. 彼の小さな海辺の別荘で 「副詞句」
 just outside Algiers. ジャスト・アウトサイト°・アルジェーズ°
 adv. アルジェからすぐ近くにある 「副詞句」

それは嬉しい話だが、実は日曜日は既に女友達と過ごす約束がある、と彼に答えた。

I told him I'd have been delighted; only I had promised to spend Sunday with a girl.
 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トールド° 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 I アイ pron 僕は～するということ 「直接目的語」
 'd have been ウット°・ハヴ°・ビーン 1 単現・完了形・推量

Part 1 第1部

v.i 〜だったのだろうか	「動詞句」
delighted; デイライトィット adj. 喜んだ	「補語」
only オンリー conj. だがしかし〜、〜さえなければ	「副詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
had promised to spend ハット・プロミスト・トゥ・スペント 1 単過・完了形・約束(promise to+不定詞)	
v.t 過ごす約束をしていた	「動詞句」
Sunday サンデー n. 日曜日を	「目的語」
with a girl. ウイズ・ア・ガール adv. 女友達と	「副詞句」

レーモンは即座に、彼女も一緒に来ればいい、と返事をした。

<u>Raymond promptly replied that she could come, too.</u>	「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
Raymond レーモン n. レーモンは	「主語」
promptly プロンプトリー adv. 即座に	「副詞」
replied リプライト 3 単過 v.t 返答した	「動詞」
that サット conj. 〜ということを	「目的語」
she シー pron 彼女は	「主語」
could come, クット・カム 3 単現・許可 v.i 来れば良い	「動詞句」
too. トゥ adv. 〜も、一緒に	「副詞」

つまり、友人の細君は男連中のなかで一人きりの女にならずに済むので楽しく過ごせるだろう。

<u>In fact, his friend's wife would be very pleased not to be the only woman in a party of men.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」
In fact, イン・ファクト adv. 実際は、つまり、さらに言えば、要するに	「副詞句」
his friend's wife ヒズ・フレンズ・ワイフ n. 友人の細君は	「主語」
would be ウット・ビー 3 単未・推量・変化 v.i 〜になるだろう	「動詞句」
very pleased ヴェリー・プリーズト adj. とても楽しい	「補語」
not to be ノット・トゥ・ビー 不定詞・変化・否定・理由 adv. 〜にならないので	「副詞句」
the only woman ズィ・オンリー・ウーマン n. 一人きりの女	「補語」
in a party of men. イン・ナ・パーティ・オブ・メン adv. 男連中のなかで	「副詞句」

Part 1 第1部

社長が社内電話を私用で使うのをよく思わないので、僕はすぐに切りたかったのだが...

I'd have liked to hang up at once, as my employer doesn't approve of my using the office phone for private calls. 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd have liked to hang up ウット・ハヴ・ライク・トゥ・ハング・アップ 1 単過・完了形・願望

(would like to+不定詞 hang up)v.t (電話を) 切りたかったのだが

「動詞句」

hang up ハング・アップ v.t (電話を) 切る (受話器を電話機の台に乗せて切る)

at once, アット・ワンス adv. すぐに

「副詞句」

as アズ conj. ~なので

「副詞節」

my employer マイ・エンプロイヤー n. 社長が

「主語」

doesn't approve ダズント・アプルーヴ 3 単現・否定 v.i(of を) よく思わない「動詞句」

of my using オフ・マイ・ユージング adv. 使用について

「間接目的語」

the office phone スイ・オフィス・フォーン n. 社内電話を

「目的語」

for private calls. フォー・プライベート・コールズ adv. 私用で

「副詞句」

しかし、レーモンは電話を切らないでくれと僕に頼んだ；他に話したいことがあるという。

招待の件は、夜まで待っても良かったのだが、電話をしたのは別の用件だったのだ。

But Raymond asked me to hold on; he had something else to tell me, and that was why he'd rung me up, though he could have waited till the evening to pass on the invitation.

But 「主語」「動詞」「目的語」「補語」；「主語」「動詞」「目的語」,
and 「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」

But バット conj. しかし

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 頼んだ

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

to hold on; トゥ・ホールド・オン 不定詞・me の動作 v.i 電話を切らないでおく

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t ~があった

「動詞」

something else サムシング・エルズ pron 他に何か

「目的語」

to tell トゥ・テル 不定詞・目的 adj. 言うべき

「形容詞句」

me, ミー pron 僕に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

that サット pron それが

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

why ホワイ n. ~する理由

「補語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

Part 1 第1部

'd rung me up, ハットゝ・ラングゝ・ミー・アップゝ 3 単過・完了形(ring+me)

v.t 僕に電話をかけてきた

「動詞句」

though ソウ conj. ～ではあるが

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

could have waited クットゝ・ハウゝ・ウェイテッドゝ 1 単過・完了形・可能(could wait)

v.i(+to+不定詞 ～するのを) 待つことが出来たのだが

「動詞句」

till the evening テイル・ザゝ・イヴニングゝ adv. 夜まで

「副詞句」

to pass トゥ・パス 不定詞(pass on)v.i 伝えることを

「間接目的語」

on the invitation. オン・ズィ・インヴ イテーション adv. 招待の件を

「間接目的語」

「それはこういうことだ」と、彼は言った。「午前中ずっと、数人のアラブ人に付け回されたのだ」

“It's like this,” he said. “I've been shadowed all the morning by some Arabs.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞句」「副詞句」》

“It イット pron それは

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

like this,” ライク・ズィズ adj. このような

「補語」

he ヒー pron 彼 (レーモン) は

「主語」

said. セットゝ 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

I アイ pron 俺は

「主語」

've been shadowed ハヴゝ・ビーン・シャドウトゝ 1 単現・完了形・受動(shadow)

v.t 付け回されていた

「動詞句」

all the morning オール・ザゝ・モーニングゝ adv. 午前中ずっと

「副詞句」

by some Arabs. バイ・サム・アラブズゝ adv. (動作主) 数人のアラブ人に

「副詞句」

「その中の一人はあの女の兄弟で、俺が喧嘩した相手だ」

One of them's the brother of that girl I had the row with.

《「主語」「動詞」「補語」》

One of them ワン・オブ・ゼム pron その中の一人が

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

the brother ザゝ・ブラザー n. 兄弟

「補語」

of that girl オフ・ザット・ガール adj. あの女の

「形容詞句」

n. (間接目的語) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 俺が

「主語」

had ハットゝ 1 単過(have)v.t (行為を) した

「動詞」

the row ザゝ・ラウ n. 喧嘩を

「直接目的語」

with. ウイズゝ adv. それと

「間接目的語」

Part 1 第1部

「君が戻った時に、奴が家の近くをうろついているのを見かけたら、ひと言教えてくれ」

If you see him hanging round the house when you come back, pass me the word.”

《「副詞節」, 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」》

If	イフ conj.	もし～ならば	「副詞節」
you	ユー pron	君が	「主語」
see	シー 2 単現・知覚動詞 v.t (仮定法)	見た	「動詞」
him	ヒム pron	彼が	「目的語」
hanging	ハンギング	現在分詞・him の動作(hang)	
	v.i(round 近くを)	うろついている	「補語」
round the house	ラウンド・ザ・ハウス adv.	家の近くを	「副詞句」
when	ヘン conj.	～するときに	「副詞節」
you	ユー pron	君が	「主語」
come back,	カム・バック 2 単現・仮定 v.i	戻った	「動詞句」
pass	パス 命・2 単現 v.t	伝えてくれ	「動詞」
me	ミー pron	俺に	「間接目的語」
the word.”	ザ・ワード n.	ひと言	「直接目的語」

僕はそのようにすると約束した。ちょうどその時、社長が僕を呼んだ。

I promised to do so. Just then my employer sent for me.

「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

I	アイ pron	僕は	「主語」
promised	プロミスト 1 単過 v.t	約束した	「動詞」
to do	トゥ・ドゥ 不定詞 n.	～することを	「目的語」
so.	ソウ adv.	そのように	「副詞」
Just then	ジャスト・ゼン adv.	ちょうどその時	「副詞句」
my employer	マイ・エンプロイヤー n.	社長が	「主語」
sent for	セント・フォー 3 単過(send for)v.t	呼んだ	「動詞句」
	send for	は、電話・手紙などで人を呼ぶこと	
me.	ミー pron	僕を	「目的語」

Part 1 第1部

一瞬、僕は不安な感じがした。というのは、社長は僕に、電話で友達とお喋りをして時間を無駄遣いしないで、仕事に集中するようにと注意するつもりだろうと思ったからだ。

For a moment I felt uneasy, as I expected he was going to tell me to stick to my work and not waste time chattering with friends over the phone.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

For a moment フォー・ア・モメント adv. 一瞬

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.i ~の感じがした

「動詞」

uneasy, アニージー adj. 不安な

「補語」

as アズ conj. (理由) ~なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

expected イクスペクティッド 1 単過 v.t(that ~だと) 思った

「動詞」

he ヒー pron 彼は~すること

「目的語」

was going to tell ワズ・ゴウイング・トゥ・テル 3 単過・近接未来・時制の一致(be going to+不定詞)

v.t 言うつもりである

「動詞句」

me ミー pron 僕が

「目的語」

to stick トゥ・スティック 不定詞・me の動作

v.i (to に) くつつく、(仕事に) 集中して励む

「補語」

to my work トゥ・マイ・ワーク adv. 自分の仕事に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

not waste ノット・ウェイスト 不定詞・否定形・me の動作 v.t 浪費しない 「補語」

time タイム n. 時間を

「目的語」

chattering with friends チャタリング・ウィズ・フレンズ 現在分詞・方法

adv. 友達とお喋りをして

「副詞句」

over the phone. オヴァー・ザ・フォン adv. (手段) 電話で 「副詞句」

Part 1 第1部

しかしながら、そのような事ではなかった。社長は頭の中に思い描いていたけれど、いまだに結論を出せないでいたある計画について僕と話し合いたかったのだ。

However, it was nothing of the kind. He wanted to discuss a project he had in view, though so far he'd come to no decision.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

it イット pron. それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i. ~だった

「動詞」

nothing of the kind. ナンク・オブ・ザ・カインド n. その種のことは~ない

「補語」

He ヒー pron. 彼は

「主語」

wanted to discuss ウォンテイト・トゥ・ディスカス 3 単過・願望(wanto to+不定詞)

v.t. ~について話し合おうと思っていた

「動詞句」

a project ア・プロジェクト n. ある計画について

「目的語」

he ヒー pron. 彼が~する

「形容詞節」

had ハット 3 単過(have)v.t. 持っていた

「動詞」

in view, イン・ビュー adv. 頭の中に

「副詞句」

though ソウ conj. だが、しかし

「副詞節」

so far ソウ・ファー adv. 今のところ

「副詞句」

he ヒー pron. 彼は

「主語」

'd come ハット・カム 3 単過・完了形(come)

v.i(to に) 達した

「動詞句」

to no decision. トウ・ノウ・デシジョン

adv. 何の結論にも~ない

「間接目的語」

連絡時間のかからない現地で大企業と取引ができるように、パリに支店を開設する話だった。それで、彼は僕が現地で勤務しても良いと思うかどうかを知りたがっていたのだ。

It was to open a branch at Paris, so as to be able to deal with the big companies on the spot, without postal delays, and he wanted to know if I'd like a post there.

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞句」「目的語」

It イット pron. 話は

「主語」

was ワズ 3 単過 v.i. ~だった

「動詞」

to open トウ・オープン 不定詞 n. 開設する件

「補語」

a branch ア・ブランチ n. 支店を

「目的語」

at Paris, アット・パリス adv. パリに

「副詞句」

so as to +不定詞 ソウ・アズ・トゥ adv. (目的) ~できるように

「副詞句」

be able to deal ビー・エイブル・トゥ・デール 不定詞(be able to+不定詞)

Part 1 第1部

v.i(with と) 取引できる	「動詞句」
with the big companies ウイズ・ザ・ビッグ・カンパニーズ	
adv. 大企業と	「間接目的語」
on the spot, オン・ザ・スポット adv. 現地で	「副詞句」
without postal delays, ウイズアウト・ポストアル・ディレイズ	
adv. 郵便連絡の遅れなしに	「副詞句」
and アンド conj. そして、それで	
he ヒー pron 彼は	「主語」
wanted to know ワンティット・トゥ・ノウ 3 単過・願望(want to+不定詞)	
v.t 知りたがっていた	「動詞句」
if イフ conj. ～かどうかということ	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd like ウット・ライク 1 単現・推量(would+不定詞)v.t ～をしたいと思う	「動詞句」
a post ア・ポスト n. 職務、地位	「目的語」
there. ゼア adv. そこで	「副詞」

「君は若い」と、彼は言った。「それに、君がパリでの生活を気に入ると確信している。
その上、もちろん、年に数か月は、フランスのあちこちを旅行することもできるだろう」

“You’re a young man,” he said, “and I’m pretty sure you’d enjoy living in Paris. And, of course, you could travel about France for some months in the year.”

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《and 「主語」「動詞」「補語」 | And 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」》

“You ユー pron 君は	「主語」
're アー 2 単現(be)v.i ～である	「動詞」
a young man,” ア・ヤング・マン n. 若者	「補語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
“and アンド conj. それに	
I アイ pron 私は	「主語」
'm アム 1 単現(be)v.i ～である	「動詞」
pretty sure フリテイ・シュア adj.(that ～を) 確信した	「補語」
you ユー pron 君は～だろうと	「副詞節」
'd enjoy ウット・エンジョイ 2 単現・推量(would+不定詞)	
v.t 楽しむだろう	「動詞句」
living in Paris. リヴィング・イン・パリス n. パリでの生活を	「目的語」
And, アンド conj. それに	

Part 1 第1部

of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」
 you ユー pron 君は 「主語」
 could travel クッド・トラベル 2 単現・推量・可能性(could+不定詞)
 v.i 旅行できるだろう 「動詞句」
 about France アバウト・フランス adv. フランスのほうぼうを 「副詞句」
 for some months フォー・サム・マンツ adv. 数か月間 「副詞句」
 in the year.” イン・ズィ・イア adv. 年に 「副詞句」

構文 「主語」「be 動詞」「補語」「名詞節」「(副詞節)」

この「名詞節」は「補語」の原因、目的、願望、可能性などを表し、副詞句的に「補語」を修飾する。「補語」「名詞節」を一体として、「主語」「be 動詞」「補語」と考えて良い。

「補語」は「感情」(sorry, glad, content, thankful, surprised, pleased, delighted) や「確信、疑惑」(sure, certain, confident, convinced, doubtful, afraid) を表す形容詞または過去分詞が使用される。「名詞節」を導く that は省略されることが多い。疑惑を表す補語の場合は that の代わりに whether, what, if, when, where, why, how などが用いられる。

僕は行く覚悟は出来ているが、実を言うと、どちらにしても余り関心がないと言った。

I told him I was quite prepared to go; but really I didn't care much one way or the other.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」; but 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トルド 1 単過(tell)v.t ~と告げた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 I アイ n. 僕は~ということ を 「直接目的語」
 was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 quite prepared to go; クワイ・プリアード・トゥ・ゴウ adj. 行く覚悟は十分の「補語」
 prepared プリアード adj. ~する用意のできた、覚悟のできた
 but バット conj. しかし
 really リアリー adv. 実をいうと 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't care much デイdn't・ケア・マッチ 1 単過・否定・時制の一致(care)
 v.t あまり関心がない 「動詞句」
 one way or the other. ワン・ウェイ・オア・ズィ・アザー pron どちらでも 「目的語」

Part 1 第1部

彼は今度は、「生活を変えること」は、彼はそう言っていたが、僕の気に入らないのか？、と尋ねた。それで僕は、人は決して自分の生活様式を変えない；どの生活もそれぞれ快適だし、自分の現在の生活はとても気に入っている、と答えた。

He then asked if a “change of life,” as he called it, didn’t appeal to me, and I answered that one never changed his way of life; one life was as good as another, and my present one suited me quite well.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

He	ヒ	pron	彼は		「主語」
then	ゼン	adv.	今度は、それから		「副詞」
asked	アスクト	3 単過 v.t	尋ねた		「動詞」
if	イフ	conj.	～かどうかということ		「目的語」
a “change of life,”	ア・チェンジ・オブ・ライフ	n.	生活の変更は		「主語」
as he called it,	アズ・ヒ・コールド・イット	adv.	(譲歩) 彼はそう呼んでいたが		「副詞節」
didn’t appeal	ディント・アピール	3 単過・否定・時制の一致			
	v.i(to の)		気に入らない		「動詞句」
to me,	トゥ・ミー	adv.	僕の		「間接目的語」
and	アント	conj.	それで		
I	アイ	pron	僕は		「主語」
answered	アンサード	1 単過 v.t	答えた		「動詞」
that	ザット	conj.	～ということ		「目的語」
one	ワン	pron	人は		「主語」
never changed	ネヴァ・チェンジド	3 単過・否定・時制の一致			
	v.t		決して変えない		「動詞句」
his way of life;	ヒズ・ウェイ・オブ・ライフ	n.	生活様式を、生き方を		「目的語」
one life	ワン・ライフ	n.	ある生活は		「主語」
was	ワズ	3 単過・時制の一致(be)v.i	～である		「動詞」
as good as another,	アズ・グッド・アズ・アナザー	adj.	他と同様に快適な		「補語」
and	アント	conj.	そして		
my present one	マイ・プレゼント・ワン	n.	僕の現在の生活は		「主語」
suited	シュエイット	3 単過・時制の一致(suit)v.t	に似合っている		「動詞」
me	ミー	pron	僕に		「目的語」
quite well.	クワイ・ウェル	adv.	とても		「副詞句」

Part 1 第1部

これを聞いて、彼はかなり機嫌を損ねたように見えた。そして彼は、僕は優柔不断で、野心がない—それは商売の世界に身を置く者にとっては大きな欠点だ—と僕に言った。

At this he looked rather hurt, and told me that I always shilly-shallied, and that I lacked ambition—a grave defect, to his mind, when one was in business.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」, and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

At this アト・ズィス adv. (感情の原因となる接点) これを聞いて、知って 「副詞句」

at +感情を表す動詞・形容詞・名詞 「～を見て、聞いて、知って」

at +ある種の名詞 「～して」

He hesitated at the sight of her face. 彼は彼女の顔を見てためらった。

he ヒー pron 彼は 「主語」

looked ルクト 3 単過 v.i (様子が) ～に見えた 「動詞」

rather hurt, ラーザー・ハート adj. かなり感情を害した 「補語」

and アンド conj. そして

told トウルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

that ザット conj. ～ということを 「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

always オールウェイズ adv. いつでも 「副詞」

shilly-shallied, 1 単過・時制の一致(shilly-shally)

v.i ためらう、なかなか物事を実行しない 「動詞」

and アンド conj. そして

that ザット conj. ～ということを 「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

lacked ラクト 1 単過・時制の一致 v.t ～を欠いている 「動詞」

ambition— アンビション n. 野心を 「目的語」

a grave defect, ア・グレイヴ・ディフェクト n. (同格) それは大きな欠点 「補語」

to his mind, トゥ・ヒズ・マインド adv. 彼の考え方では 「副詞節」

when ホエン conj. ～するときには 「副詞節」

one ワン pron 人が 「主語」

was ワズ 3 単過・存在・時制の一致(be)

v.i ～にいる 「動詞」

in business. イン・ビジネス adv. 商売の世界に 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は自分の仕事に戻った。僕は彼を怒らせないほうがよかったのかもしれないが、それでも、自分の生活を変える理由は見当たらなかった。

I returned to my work. I'd have preferred not to vex him, but I saw no reason for "changing my life."

「主語」「動詞」「間接目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」,but 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

returned リターント 1 単過 v.i(to へ) 戻った 「動詞」

to my work. トゥ・マイ・ワーク adv. 自分の仕事に 「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd have preferred ウッド・ハヴ・プリアード 1 単現・完了形・推量(would+不定詞・完了形)

v.t(+to 不定詞) ～したほうがよかったかもしれない 「動詞句」

not to vex ノット・トゥ・ヴェックス to 不定詞・否定形 v.t 怒らせない 「動詞句」

him, ヒム pron 彼を 「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t 見えた 「動詞」

no reason ノー・リーズン n. 理由が～ない 「目的語」

for "changing my life." フォー・チェンジング・マイ・ライフ

adv. 自分の生活を変えるための

「副詞句」

全体的に見ても、僕の生活はあまり不愉快なものではなかった。学生だった時には、社長が言うような野心がたくさんあった。

By and large it wasn't an unpleasant one. As a student I'd had plenty of ambition of the kind he meant.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

By and large バイ・アント・ラージ adv. 概して、一般的に、全体的に見て 「副詞句」

it イット pron (my life の代用) 僕の生活は 「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ～でなかった 「動詞」

an unpleasant one. アン・アンプレズント・ワン n. 不愉快なもの 「補語」

As a student アズ・ア・スチューデント adv. (時) 学生だったときは 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t ～があった 「動詞句」

plenty of ambition プレンティ・オブ・アンビション n. たくさんの野心が 「目的語」

of the kind he meant. オフ・カイント・ヒー・メント adj. 社長が言うような 「形容詞句」

Part 1 第1部

フランス語の原文では

自分の生活を振り返ってみても、僕は不幸ではなかった。

En y réfléchissant bien, je n'étais pas malheureux. (y は à ma vie の代用)

しかし、僕が学業を断念しなければならなかった時、僕はすぐに、そんなことは取るに足らないことだと悟った。

But, when I had to drop my studies, I very soon realized all that was pretty futile.

But 「副詞節」, 「主語」 「副詞句」 「動詞」 「目的語」

But, バット conj. しかし

when ホエン conj. ～したとき

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

had to drop ハット・トウ・ドロップ 1 単過・必要(have to+不定詞 drop)

v.t 中断しなければならなかった

「動詞句」

my studies, マイ・スタディーズ pl.n 学業を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

very soon ヴェリー・soon adv. すぐに

「副詞句」

realized リアライズト 1 単過 v.t 悟った

「動詞」

all オール pron すべてを

「目的語」

that サット pron (主語) ～する

「形容詞節」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

pretty futile. プリティ・フュートル adj. まったくつまらない

「補語」

その日の夕方、マリーがやって来て、僕に自分と結婚する気があるのかと尋ねた。僕はそういうことは気にしたことがないけれど、彼女が望むのなら、結婚してもいいと答えた。

Marie came that evening and asked me if I'd marry her. I said I didn't mind; if she was keen on it, we'd get married.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 and 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

「主語」 「動詞」 「目的語」 ; 「副詞節」 「主語」 「動詞句」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た

「動詞」

that evening サット・イヴニング adv. その日の夕方に

「副詞句」

and アンド conj. そして

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 1 第1部

'd marry ウット・マリ 1 単現・意思(would+不定詞)

v.t 結婚するつもりである

「動詞句」

her. ハー pron 彼女と

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

I アイ pron 僕は～するということを

「目的語」

didn't mind; デイトント・マイント 1 単過・否定・時制の一致

v.t 気にしていない

「動詞句」

if イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

she シー pron 彼女が

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

keen on it, キーン・オン・イット adj. それを熱望して

「補語」

we ウー pron 僕たちは

「主語」

'd get married. ウット・ゲット・マリット 1 複現・受動・推量(would+不定詞 get+過去分詞)

v.t 結婚するだろう

「動詞句」

それからまた、彼女は僕に自分を愛しているのかと尋ねた。僕は、前回と同じように、その質問はあまり意味がないけれど、僕は多分愛していないと思うと答えた。

Then she asked me again if I loved her. I replied, much as before, that her question meant nothing or next to nothing—but I supposed I didn't.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞」「直接目的語」

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

again アゲン adv. また

「副詞」

if イフ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

loved ラウト 1 単過・時制の一致 v.t 愛している

「動詞」

her. ハー pron 彼女を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

replied, リプライト 1 単過 v.t 答えた

「動詞」

much as before, マッチ・アズ・ビフォー adv. 前回と同様に

「副詞句」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

her question ハー・クエスチョン n. 彼女の質問は

「主語」

Part 1 第1部

meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t	～を意味する	「動詞」
nothing or next to nothing— ナシグ・オ・ネスト・トゥ・ナシグ		
pron	ほとんど何も～ない	「目的語」
but バット conj.	しかし	
I アイ pron	僕は	「主語」
supposed サッウズト 1 単過・時制の一致 v.t(that ～だと)	想像する	「動詞」
I アイ pron	僕は～するということを	「目的語」
didn't. デイトント 1 単過・時制の一致(do)v.t	愛していない	「動詞句」

「もしそうなら、どう思っているの？」と、彼女は言った。「私と結婚することを」

“If that's how you feel,” she said, “why marry me?”

《「副詞節」「副詞」「主語」「動詞」》, 「主語」「動詞」, 《「目的語」》

If イフ conj.	もし～ならば	「副詞節」
that サット pron	それは	「主語」
's イズ 3 単現(be)v.i	～である	「動詞」
how ハウ adv.	どのように	「副詞」
you ユー pron	あなたは	「主語」
feel,” フィール 2 単現 v.t	思う	「動詞」
she シー pron	彼女は	「主語」
said, セット 3 単過(say)v.t	言った	「動詞」
“why ホワイ adv.	どうして～するということを	「目的語」
marry マリー 2 単現 v.t	結婚する	「動詞」
me?” ミー pron	私と	「目的語」

僕は説明した。理由は全く重要ではないが、彼女が結婚したいなら、すぐにでも結婚しよう。

I explained that it had no importance really, but, if it would give her pleasure, we could get married right away.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron	僕は	「主語」
explained イクスプレイント 1 単過 v.t	説明した	「動詞」
that サット conj.	～ということを	「目的語」
it イット pron	理由は	「主語」
had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t	～がある	「動詞」
no importance ノ・インポータンス n.	重要性が～ない	「目的語」
really, リアリー adv.	(否定文で) まったく～ない	「副詞」
but, バット conj.	しかし	

Part 1 第1部

if イフ conj. もし～ならば	「副詞節」
it イット pron 結婚が	「主語」
would give ウット・ギヴ 3 単現・推量 v.t 与える	「動詞句」
her ハー pron 彼女に	「間接目的語」
pleasure, プレジャー n. 喜びを	「直接目的語」
we ウー pron.pl 僕たちは	「主語」
could get married クット・ゲット・マリット 1 複現・許容	
v.i 結婚してもよい	「動詞句」
right away. ライト・アウェイ adv. すぐに	「副詞句」

その提案は彼女のほうから持ち出したもので、僕としては「承知した」と言っただけだと、僕は彼女に指摘した。

<u>I pointed out that, anyhow, the suggestion came from her; as for me, I'd merely said, "Yes."</u>	「主語」「動詞句」「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
pointed out ポイント・アウト 1 単過 v.t 指摘した	「動詞句」
that, ザット conj. ～ということを	「目的語」
anyhow, エニハウ adv. とにかく、いずれにせよ	「副詞」
the suggestion ザ・サジェスチョン n. 提案は	「主語」
came ケム 3 単過(come)v.i 来た	「動詞」
from her; フロム・ハー adv. 彼女から	「副詞句」
as for me, アズ・フォー・ミー adv. 僕については、僕にしてみれば	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd merely said, ハット・ミリー・セッド 1 単過・完了形(say)v.t 単に言った	「動詞句」
merely ミリー adv. (動詞の前で) 単に、ただ	「副詞」
"Yes." イェス adv. 承知した	「応答」

すると彼女は、結婚というのは重要なことだと言った。それに対して僕は、「違う」と返事をした。

<u>Then she remarked that marriage was a serious matter. To which I answered: "No."</u>	「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 「間接目的語」「主語」「動詞」: 《「応答」》
Then セン adv. すると	「副詞」
she シー pron 彼女は	「主語」
remarked リマート 3 単過 v.t (所見を) 言った	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
marriage マリッジ n. 結婚は	「主語」

Part 1 第1部

was ワズ 3 単過・時制の一致(=)v.i ~である	「動詞」
a serious matter. ア・シリアス・マター n. 重要なこと	「補語」
To which トゥ・フィッチ adv. それに対して	「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
answered: アンサード 1 単過 v.i 返事をした	「動詞」
“No.” ノウ adv. 違う、そうじゃない	「応答」

僕の返事を聞くと、彼女は不思議そうな顔つきで、黙ってじっと僕を見つめていた。

She kept silent after that, staring at me in a curious way.

	「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
She シー pron 彼女は	「主語」
kept ケプト 3 単過(keep)v.i (状態を) 続けた、~のままだった	「動詞」
silent サイレント adj. 沈黙した、無言の	「補語」
after that, アフター・ザット adv. そのあとで (僕の返事の後で)	「副詞句」
staring ステアリング 現在分詞・同時 adv. じっと見つめながら	「副詞句」
at me アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
in a curious way. イン・ナ・キュリアス・ウェイ adv. 不思議そうな様子で	「副詞句」
curious キュリアス adj. 奇妙な、不思議な → 僕の返事が理解できないことを表す	

それから彼女は尋ねた：「もし他の女性が、つまり私と同じように付き合っている他の女性が、あなたに結婚して欲しいと言ったとしたら、あなたは同じように承諾するの？」

Then she asked: “Suppose another girl had asked you to marry her—I mean, a girl you liked in the same way as you like me—would you have said ‘Yes’ to her, too?”

	「副詞」「主語」「動詞」：《「副詞節」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》
Then セン adv. それから	「副詞」
she シー pron 彼女は	「主語」
asked: アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
“Suppose サッ・ウズ adv. (仮定: Suppose that SV) もし~ならば	「副詞節」
another girl アナザー・ガール n. ほかの女性が	「主語」
had asked ハット・アスクト 3 単過・完了形 v.t 求めた	「動詞句」
you ユー pron あなたに	「目的語」
to marry トゥ・マリー 不定詞・you の動作 v.t 結婚する	「補語」
her ハー pron 彼女と	「目的語」
—I mean, アイ・ミン adv. つまり	「副詞句」
a girl ア・ガール n. 女性が	「主語」
you ユー pron あなたが~する	「形容詞節」

Part 1 第1部

liked ライト 2 単過・時制の一致 v.t 付き合う	「動詞」
in the same way イン・ザ・セム・ウェイ	
adv. 同じように	「副詞句」
as you like me— アズ・ユー・ライク・ミー	
adv. (比較) あなたが私と付き合うのと	「副詞句」
would ...have said ウットゝ...ハヴゝセツトゝ 2 単過・完了形・推量(say)	
v.t 言っただろうか	「動詞句」
you ユー pron あなたは	「主語」
'Yes' to her, too?" イェス・トゥ・ハー・トゥ n. 彼女にも承知した	「目的語」

「もちろん、承知したさ」

“Naturally.”	「応答」
“Naturally.” ナチュラリー adv. もちろん	「応答」

するとマリーは、本当に僕を愛しているのかが分からなくなった、と言った。もちろん、その点については、僕は何とも言うことができない。

Then she said she wondered if she really loved me or not. I, of course, couldn't enlighten her as to that.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」「副詞句」	
Then セン adv. すると	「副詞」
she シー pron 彼女は	「主語」
said セツトゝ 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
she シー pron 彼女は	「主語」
wondered ワンダートゝ 3 単過・時制の一致 v.t(if 節 ～かどうか) 疑わしい	「動詞」
wonder は自問する様子を表す	
if イフ conj. ～かどうかということを	「目的語」
she シー pron 彼女は	「主語」
really loved リアリー・ラガトゝ 3 単過・時制の一致	
v.t 本当に愛している	「動詞句」
me ミー pron 僕を	「目的語」
or not. オア・ノット adv. そうでないのか	「副詞句」
I, アイ pron 僕は	「主語」
of course, オブ・コース adv. もちろん	「副詞句」
couldn't enlighten クアント・エンライトン 1 単過・可能・時制の一致	
v.t 教えることは出来ない	「動詞句」

Part 1 第1部

her ハー pron 彼女に

「目的語」

as to that. アズ・トウ・ザット adv. その点については

「副詞句」

それから、また黙り込んでから彼女は、僕が風変わりだということをつぶやいていた。

And, after another silence, she murmured something about my being “a queer fellow.”

And 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

And, アント conj. そして

after another silence, アフター・アナザー・サイレンス adv. また黙り込んでから

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

murmured マーマート 3 単過 v.t つぶやいた

「動詞」

something サムシング pron 何かを

「目的語」

about my being アバウト・マイ・ビーイング adv. 僕が～であることについて 「副詞句」

“a queer fellow.” ア・クワイ・フェロウ n. 風変わりな男

「補語」

「それで、敢えて言うと、そうだから私はあなたを愛しているのだと思う」と、彼女は付け加えた。「けれど、もしかしたら、そのために私はあなたを嫌いになるかもしれない」

“And I daresay that’s why I love you,” she added. “But maybe that’s why one day I’ll come to hate you.”

《And 「主語」 「動詞句」 「目的語」》, 「主語」 「動詞」,

《But 「副詞」 「主語」 「動詞」 「補語」》

“And アント conj. そして

I アイ pron 私は

「主語」

daresay デア・セイ 1 単現・意思(= dare say)v.t 敢えて言う

「動詞句」

that ザット pron (主語) それが～ということを

「目的語」

’s イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

why ホワイ pron ～する理由・原因

「補語」

I アイ pron 私は

「主語」

love ラヴ 1 単現 v.t 愛する

「動詞」

you,” ユー pron あなたを

「目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

added. アディト 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

“But バット conj. しかし

maybe メイベー adv. もしかしたら

「副詞」

that ザット pron それが

「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

why ホワイ pron ～する理由・原因

「補語」

one day ワン・デイ adv. いつか

「副詞句」

Part 1 第1部

I アイ pron 私は

「主語」

I'll come to hate ウィル・カム・トゥ・ヘイト 1 単未・推量・変化(come to+不定詞)

v.t 嫌うようになるかもしれない

「動詞句」

you.” ユー pron あなたを

「目的語」

それに対して何も言うことがなかったので、僕は黙っていた。

To which I had nothing to say, so I said nothing.

「間接目的語」「主語」「動詞」「直接目的語」, 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

To which トゥ・フィッチ adv. それに対して

「間接目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ~があった

「動詞」

nothing ナシング pron 何も~ない

「直接目的語」

to say, トゥ・セイ 不定詞・目的 adj. 言うべき

「形容詞句」

so ソ adv. それで

「副詞」

I アイ pron 私は

「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

nothing. ナシング pron 何も~ない

「目的語」

彼女は少しの間考えていたが、それから微笑んで、僕の腕を取り、本気だと言った。つまり本当に僕と結婚したいと言った。

She thought for a bit, then started smiling and, taking my arm, repeated that she was in earnest; she really wanted to marry me.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞」「動詞句」

and 「動詞句」「目的語」, 「動詞」「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

thought トート 3 単過(think)v.i 考えていた

「動詞」

for a bit, フォー・ア・ビット adv. 少しの間

「副詞句」

then ゼン adv. それから

「副詞」

started smiling スターティット・スマイリング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 笑い出した

「動詞句」

and, アント conj. そして

taking テイクング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.t ~を取った

「動詞句」

my arm, マイ・アーム n. 僕の腕を

「目的語」

repeated リピーテッド 3 単過 v.t 繰り返して言った

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

Part 1 第1部

in earnest; イン・アーネスト adv. (状態) 本気で 「補語」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 really wanted to marry リアリー・ウォンティッド・トゥ・マリー 3 単過・時制の一致(want to+不定詞)
 v.t 本当に結婚したい 「動詞句」
 me. ミー pron 僕と 「目的語」

「分かった。そうしよう」と、僕は答えた。「君がそうしたくなったら、いつでも結婚しよう」それから僕は、社長に提案されたことをマリーに話した。すると彼女は、出来ることならパリに行きたいと言った。

“All right,” I answered. “We’ll get married whenever you like.” I then mentioned the proposal made by my employer, and Marie said she’d love to go to Paris.

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞句」「副詞節」》

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「目的語」

“All right,” オール・ライト adv. 分かった。そうしよう 「応答」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 answered. アンサード 1 単過 v.t 答えた 「動詞」
 “We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 ’ll get married ウィル・ゲット・マリッド 1 複未(will+不定詞 get married)
 v.i 結婚するだろう 「動詞句」
 get married 「結婚する」 get は (状態になる) married は形容詞 (結婚している状態)
 whenever フェネヴァー conj. いつでも 「副詞節」
 you ユー pron 君が 「主語」
 like.” ライク 2 単現 v.i 好きな 「動詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 mentioned メンショント 1 単過 v.t (簡単に) 話した 「動詞」
 the proposal ザ・プロポザル n. 提案を 「目的語」
 made by my employer, メイト・バイ・マイ・エンプロイアー adj. 社長に言われた 「形容詞句」
 and アント conj. そして
 Marie マリー n. マリーは 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 ’d love to go ウット・ラヴ・トゥ・ゴウ 3 単現・願望(would+不定詞)v.i 行きたい 「動詞句」
 仮定の条件が省略された条件法の帰結文「出来ることなら行きたい」
 to Paris. トゥ・パリス adv. パリへ 「間接目的語」

Part 1 第1部

僕はしばらくの間パリで暮らしていたことがあると彼女に言うと、パリはどんなところだったのかと僕に尋ねた。

When I told her I'd lived in Paris for a while, she asked me what it was like.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

When ホエン conj. ～した時

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

told トルト 1 単過(tell)v.t 話した

「動詞」

her ハー pron 彼女に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd lived ハッド・リヴド 1 単過・完了形

v.i 暮らしていたことがある

「動詞句」

in Paris イン・パリス adv. パリで

「副詞句」

for a while, フォー・ア・ホワイ adv. しばらくの間、少しの間

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

what ...like. ファット...ライク n. (補語) どのような～ということを

「直接目的語」

it イット pron パリは

「主語」

was ワズ 3 単過 (be)v.i ～だった

「動詞」

「僕の感じでは、なんというか汚い街さ。ハトがたくさんいて、暗い中庭があつて、みんな真っ白い顔をしている」

"A dingy sort of town, to my mind. Masses of pigeons and dark courtyards. And the people have washed-out, white faces." 《「主語」 | And 「主語」 「動詞句」 「補語」》

"A dingy sort of town, ア・ディンギー・ソート・オブ・タウン n. なんというか汚い街

「主語」

to my mind. トゥ・マイ・マインド adv. 僕の考えでは

「副詞句」

Masses of マスズ・オブ adj. たくさんの

「形容詞句」

pigeons ピジヤンズ pl.n はと

「主語」

and アント conj. そして

dark courtyards. ダーク・コートヤーズ pl.n 暗い中庭

「主語」

And アント conj. そして

the people ザ・ピープル pl.n 人々は、みんなは

「主語」

have washed-out, ハヴ・ウォッシュト・アウト 3 複現・完了形(wash out)

v.i (色を) 洗い落としている

「動詞句」

Part 1 第1部

white faces.” ホワイト・フェイスズ pl.n 真っ白い顔 「補語」

a sort of... ~のようなもの、~の一種

a sort of wine ワインの一種

He is a sort of politician. 彼は、なんというか一種の政治家ですね。

A dingy sort of town なんというか汚い街 dingy ディンギー adj. 薄汚い、黒ずんだ

それから、僕たちは大通り沿いにずっと街を横切って歩いた。

Then we went for a walk all the way across the town by the main streets.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Then セン adv. (順序) それから 「副詞」

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

went ウェント 1 複過(go)v.i(for ちょっと) ~しに行った 「動詞」

for a walk フォー・ア・ウォーク adv. ちょっと散歩を 「間接目的語」

all the way オール・ザ・ウェイ adv. ずっと、完全に 「副詞句」

across the town アクロス・ザ・タウン adv. 街を横切って 「副詞句」

by the main streets. バイ・ザ・メイン・ストリート adv. (通過・そば) 大通り沿いに 「副詞句」

女たちはきれいだった。それで僕は、そう思わないかとマリーに尋ねた。

The women were good-lookers, and I asked Marie if she, too, noticed this.

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

The women ザ・ウィメン pl.n 女たちは 「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ~だった 「動詞」

good-lookers, グット・ルカーズ pl.n 美女 「補語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

Marie マリー n. マリーに 「間接目的語」

if イフ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」

she, too, シー・トゥー pron 彼女も 「主語」

noticed ノチスト 3 単過・時制の一致 v.t 気づく、感じる 「動詞」

this. スィス pron このことを 「目的語」

Part 1 第1部

彼女は「ええ」と答えて、僕の言いたいことが分かったと続けた。

She said, "Yes," and that she saw what I meant.

「主語」「動詞」「[応答]」and「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

said, セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

"Yes," イェス adv. ええ

「応答」

and アント conj. そして

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

saw ソー 3 単過・時制の一致(see)v.t わかる、理解する

「動詞」

what I meant. ファット・アイ・メント pron 僕の言いたいことを

「目的語」

その後しばらくの間、僕たちは何も話さないでいた。

After that we said nothing for some minutes.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

After that アフター・ザット adv. その後は

「副詞句」

we ウー pron.pl 僕たちは

「主語」

said セッド 1 複過(say)v.t 話した

「動詞」

nothing ナシング pron 何も～ない

「目的語」

for some minutes. フォー・サム・ミニッツ adv. しばらくの間

「副詞句」

しかしながら、僕は彼女を返したくなかったので、セレストのレストランで食事をしないかと誘ってみた。

However, as I didn't want her to leave me, I suggested we should dine together at Céleste's.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

as アス conj. (理由) ～なので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't want デイdn't・ウント 1 単過・願望・否定 v.t 望まなかった

「動詞句」

her ハー pron 彼女が

「目的語」

to leave トゥ・リーヴ 不定詞・her の動作 v.t (場所を) 去る

「補語」

me, ミー pron 僕のところを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

suggested サジエスティット 1 単過 v.t 提案した

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

we ウー pron 二人で

「主語」

Part 1 第1部

should dine シュット・ダイン 1 複現・提案 v.i 食事をするのはどうだろう 「動詞句」

together トゲザー adv. 一緒に 「副詞」

at Céleste's. アット・セレスツ adv. セレストのレストランで 「副詞句」

彼女は喜んで僕と食事をしたかっただろうが、彼女は晩には用事があるとだけ言った。

She'd have loved to dine with me, she said, only she was booked up for the evening.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

She シー pron 彼女は 「主語」

'd have loved to dine ウット・ハヴ・ラヴト・トゥ・ダイン 3 単過・完了形・推量(love to+不定詞)

v.t 喜んで食事をしたかっただろう (が出来なかった) 「動詞句」

love to+不定詞 「喜んで～する」 dine 「食事をする」

with me, ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に 「副詞句」

she シー pron 彼女は 「主語」

said, セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

n. ～ということを 「目的語」

only オンリー adv. ～とだけ 「副詞」

she シー pron 彼女は 「主語」

was booked up ワズ・ブクト・アップ 3 単過・受動(book up)v.t 予約があった 「動詞句」

for the evening. フォー・ザ・イブニング adv. 晩には、夕方には 「副詞句」

僕たちは、僕のアパートの近くまで来ていたので、僕は言った。「じゃあ、さようなら」

We were near my place, and I said, "Au revoir, then."

「主語」「動詞」「副詞句」, and 「主語」「動詞」《「挨拶」「副詞」》

We ウィー pron 僕たちは 「主語」

were ワー 1 複過・存在(be)v.i ～にいた 「動詞」

near my place, ニア・マイ・プレイス adv. 僕のアパートの近くに 「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

"Au revoir, オ・ルヴ・わ・ル adv. (フランス語：別れの挨拶) さようなら 「挨拶」

then." ゼン adv. じゃあ 「副詞」

Part 1 第1部

彼女は僕の目をじっと見つめた。

She looked me in the eyes.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

She シー pron 彼女は

「主語」

looked ルクト 3 単過 v.t 見つめた

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

in the eyes. イン・ズィ・アイズ adv. 目を

「副詞句」

「今晚、どんな用事があるのか知りたくないの？」

“Don't you want to know what I'm doing this evening?”

《「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

“Don't ...want to know ドント...ウオント・トゥ・ノウ 2 単現・願望・否定・疑問文(want to+不定詞)

v.t 知りたくないの？

「動詞句」

you ユー pron あなたは

「主語」

what ファット pron (目的語) 何を～するかということ

「目的語」

I アイ pron 私が

「主語」

'm doing アム・ドゥイング 1 単現・近接未来・意思(be+現在分詞)

v.t するつもりである

「動詞句」

this evening? スィス・モーニング adv. 今晚

「副詞句」

be + 現在分詞

進行形 : 動作が(最近)進行中であることを表す。

The ship is sinking. 船が沈んでいく。

Mary is sitting up late this week to prepare for her finals.

今週メリーは期末試験の準備のために夜遅くまで起きている。

意思 : 未来時を表す副詞語句を伴って、「～する意思、予定」を示す。

I'm leaving you tomorrow. 君とは明日お別れだ。

習慣 : always, continuallyなどを伴って、習慣的な行為を表す。

She is always complaining about my small salary.

彼女はいつも私の安い給料の不満ばかり言っている。

見せかけ : be being + 形容詞・名詞の形式で、様態や～のふりをするさまを表す。

～のようにふるまっている、～のふりをしている

She is being as nice as she can. 彼女はできるだけ優しく振舞っていた。

He is being Admiral Nelson tonight. 彼は今晚ネルソン提督に扮している。

Part 1 第1部

もちろん僕は知りたいと思った。だが彼女に尋ねることは思いつかなかった。そのことで彼女は僕を責めているのだらうと思った。

I did want to know, but I hadn't thought of asking her, and I guessed she was making a grievance of it.

「主語」「動詞句」,but「主語」「動詞句」「間接目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

did want to know, ディット・ウウント・トゥ・ノウ 1 単過・強調・願望(do+不定詞 want to know)

v.t もちろん知りたいと思った 「動詞句」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」

hadn't thought ハドント・ソート 1 単過・完了形・否定(think)

v.i(of について) 想像しなかった、思わなかった 「動詞句」

of asking her, オフ・アスキング・ハー adv. 彼女に尋ねることを 「間接目的語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

guessed ゲスト 1 単過 v.t 推測した 「動詞」

n. ～ということを 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」

was making ワズ・メイキング 3 単過・進行形・時制の一致(make)

v.t (行為を) している 「動詞句」

a grievance of it. ア・グリーヴァンス・オブ・イット n. そのことで苦情を 「目的語」

僕が当惑しているように見えたに違いない。彼女は急に笑いだして、キスをするために唇を突き出しながら、僕のほうへ体をかがめた。

I must have looked embarrassed, for suddenly she started laughing and bent toward me, pouting her lips for a kiss.

「主語」「動詞句」「補語」,「副詞句」「主語」「動詞句」and「動詞」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

must have looked マスト・ハヴ・ルクト 1 単現・完了形・必然性(must+不定詞・完了形)

v.i(SVC) ～に見えたに違いない 「動詞句」

embarrassed, エンバラスト adj. 当惑した 「補語」

for suddenly フォー・サドゥンリー adv. 突然 「副詞句」

she シー pron 彼女は 「主語」

started laughing スターティット・ラーフィング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 笑い始めた 「動詞句」

and アンド conj. そして

bent ベント 3 単過(bend)v.i 体をかがめた 「動詞」

Part 1 第1部

toward me, トゥワート・ミー adv. 僕のほうへ 「副詞句」
 pouting パウティング 現在分詞・同時(pout)v.t (唇を) 突き出して 「副詞句」
 her lips ハー・リップス pl.n 唇を 「目的語」
 for a kiss. フォー・ア・キス adv. キスするために 「副詞句」

僕は自分一人だけでセレストのレストランに行った。ちょうど夕食を始めた時に、奇妙な
 風貌の小柄な女が入ってきて、相席しても構わないかと僕に尋ねた。

I went by myself to Céleste's. When I had just started my dinner an odd-looking little woman came in and asked if she might sit at my table.

「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 and 「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 went ウェント 1 単過(go)v.i 行った 「動詞」
 by myself バイ・マセルフ adv. 自分一人だけで 「副詞句」
 to Céleste's. トゥ・セステス adv. セレストのレストランに 「間接目的語」
 When ホエン conj. ～するとき、～すると 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 had just started ハッド・ジャスト・スターテッド 1 単過・完了形(start+just)
 v.t ちょうど始めた 「動詞句」
 my dinner マイ・ディナー n. 夕食を 「目的語」
 an odd-looking little woman アン・オット・ルキング・リトル・ウーマン n. 奇妙な風貌の小柄な女が 「主語」
 came in ケイム・イン 3 単過(come in)v.i 入ってきた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 if イフ conj. ～かどうかということを 「目的語」
 she シー pron 彼女が 「主語」
 might sit マイト・シット 3 単現・仮定・許可 v.i 座っても構わない 「動詞句」
 at my table. アット・マイ・テーブル adv. 僕のテーブルに 「副詞句」

Part 1 第1部

もちろん相席して構わない。彼女は熟れたリンゴのようにふっくらした顔で、目はキラキラ輝いていた。そして、まるで綱渡りをしているように、妙にぎくしゃくした仕草だった。

Of course she might. She had a chubby face like a ripe apple, bright eyes, and moved in a curiously jerky way, as if she were on wires.

「副詞句」「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」, and 「動詞」「副詞句」
 Of course オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 might. マイト 3 単現・許可 v.i 相席してかまわない 「動詞」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 had ハット 3 単過(have)v.t (身体的特徴) ~をしていた 「動詞」
 a chubby face ア・チャビー・フェイス n. 丸々した顔を 「目的語」
 like a ripe apple, ライク・ア・ライプ・アップル adj. 熟れたリンゴのような 「形容詞句」
 bright eyes, ブライト・アイズ pl.n 輝いた目を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 moved ムーヴト 3 単過 v.i 動いた、動作をする、仕草をする 「動詞」
 in a curiously jerky way, イン・ナ・キュアリアスリー・ジャキー・ウェイ
 adv. 妙にぎくしゃくした様子で 「副詞句」
 as if アズ・イフ conj. まるで~のように 「副詞節」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 were ワー 3 単過・仮定法過去・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 on wires. オン・ワイヤーズ adv. 綱渡りの綱の上に 「副詞句」
 → 綱渡りの綱の上でバランスをとるために、体を右や左に動かしたりする様

フランス語の原文では

もちろん、それは構わない。彼女は仕草がぎくしゃくしており、リンゴみたいに小さな顔にぎらぎら光る眼をしていた。

Naturellement, elle le pouvait. Elle avait des gestes saccadés et **des yeux brillants dans une petite figure de pomme.**

彼女は体にぴったりジャケットを脱いでから座ると、一心不乱にメニューを調べだした。

After taking off her closefitting jacket she sat down and started studying the bill of fare with a sort of rapt attention.

「副詞句」「主語」「動詞句」 and 「動詞句」「目的語」「副詞句」
 After +現在分詞 アフター adv. ~した後で、~してから 「副詞句」
 taking off テイク・オフ 現在分詞(take off)v.t (衣類を) 脱ぐ 「動詞句」
 her closefitting jacket ハー・クローズフィッティング・ジャケット
 n. 体にぴったりしたジャケットを 「目的語」

Part 1 第1部

she シー pron 彼女は 「主語」
 sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 座った 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 started studying スターティット・スタディング 3 単過・開始(start+現在分詞 study)
 v.t (詳しく) 調べ始めた 「動詞句」
 the bill of fare サ・ビル・オブ・フェア n. メニューを 「目的語」
 with a sort of ウイズ・ア・ソート・オブ adv. 一種の～を持って 「副詞句」
 rapt attention. ラプト・アテンション n. 没頭した注意力 「目的語」
 rapt ラプト adj. 没頭している attention アテンション n. 注意力、注意
 → 一心不乱に

それから女はセレストを呼び、非常に早口だが、まったく明確に、注文を伝えた。

Then she called Céleste and gave her order, very fast but quite distinctly; one didn't lose a word. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

and 「動詞」「目的語」「副詞句」; 「主語」「動詞句」「目的語」

Then セン adv. それから 「副詞」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 called コールト 3 単過 v.t 呼んだ 「動詞」
 Céleste セルステ n. (人名) セレストを 「目的語」
 and アンド conj. そして
 gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 伝えた 「動詞」
 her order, ハー・オーダー n. 注文を 「目的語」
 very fast ヴェリー・ファースト adv. 非常に早口で 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 quite distinctly; クワイ・ディスタクツリー adv. 非常に明確に 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 didn't lose デイdn't・ルズ 3 単過・否定 v.t 聞き落とさなかった 「動詞句」
 a word. ア・ワード n. 一言も 「目的語」

フランス語の原文では

彼女はセレストを呼ぶと、すぐに、几帳面かつあわただしい口調で、すべての料理を一気に注文した。

Elle a appelé Céleste et a commandé immédiatement tous ses plats **d'une voix à la fois** précise et précipitée.

この英語版では、「明確さ」を補足説明していることが原文とは異なる。

Then she called Céleste and gave immediately her order, very fast but quite distinctly without a pause. と翻訳したほうがフランス語原文に近いと思う。

Part 1 第1部

オードヴルを待っている間、女はハンドバッグを開けて、紙と鉛筆を取り出して、前もって勘定を計算していた。

While waiting for the hors d'oeuvre she opened her bag, took out a slip of paper and a pencil, and added up the bill in advance.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,「動詞句」「目的語」

and 「動詞句」「目的語」「副詞句」

While +現在分詞 adv. ～している間

「副詞句」

waiting ウェイティング 現在分詞(wait)v.i(for を) 待っている

「動詞」

for the hors d'oeuvre フォー・ザ・オー・ドゥ・ウーヴル adv. オードヴルを

「間接目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

opened オプント 3 単過 v.t 開けた、開いた

「動詞」

her bag, ハー・バッグ n. ハンドバッグを

「目的語」

took out トゥック・アウト 3 単過(take out)v.t (物を) 取り出した

「動詞句」

a slip of paper ア・スリップ・オブ・ペーパー n. 紙を 1 枚

「目的語」

and アンド conj. そして

a pencil, ア・ペンスル n. 鉛筆を

「目的語」

and アンド conj. そして

added up アディット・アップ 3 単過(add up / add)v.t 合計を計算した

「動詞句」

the bill ザ・ビル n. 勘定を

「目的語」

in advance. イン・アドヴァンス adv. 前もって

「副詞句」

女はまたハンドバッグに手を突っ込んで財布を取り出し、チップを加えたびっりの合計金額を取って、自分の前のテーブルクロスの上に置いた。

Diving into her bag again, she produced a purse and took from it the exact sum, plus a small tip, and placed it on the cloth in front of her.

「副詞句」,「主語」「動詞」「目的語」

and 「動詞」「副詞句」「目的語」,and 「動詞」「目的語」「副詞句」

Diving ダイビング 現在分詞(dive)v.i(into に) (手を) 突っ込んで

「副詞句」

into her bag イントゥ・ハー・バッグ adv. ハンドバッグに

「間接目的語」

again, アゲン adv. また

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

produced プロデュースト 3 単過 v.t (物を) 取り出した

「動詞」

produce プロデュース v.t (証拠を) 示す、提出する、(物を) (from ～から) 取り出す

a purse ア・パース n. 財布を

「目的語」

and アンド conj. そして

Part 1 第1部

took トゥック 3 単過(take)v.t 取った	「動詞」
from it フロム・イット adv. そこから	「副詞句」
the exact sum, スイ・イクザクト・サム n. 正確な合計金額を	「目的語」
plus a small tip, プラス・ア・スモール・ティップ adv. チップを加えた	「副詞句」
and アンド conj. そして	
placed プレイスト 3 単過 v.t 置いた	「動詞」
it イット pron それを	「目的語」
on the cloth オン・ザ・クロス adv. テーブル掛けの上に	「副詞句」
in front of her. イン・フロント・オブ・ハー adv. 自分の前の	「副詞句」

ちょうどその時、ウェイターが前菜を運んできた。女はそれをがつがつ食べ始めた。

<u>Just then the waiter brought the hors d'oeuvre, which she proceeded to wolf down voraciously.</u>	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞句」「副詞」
Just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時	「副詞句」
the waiter ザ・ウェイター n. ウェイターが	「主語」
brought ブロート 3 単過(bring)v.t 持ってきた、運んできた	「動詞」
the hors d'oeuvre, ザ・オートゥール n. 前菜、オードブル	「目的語」
which フィッチ pron それを	「目的語」
she シー pron 彼女は	「主語」
proceeded to wolf down プロシーデッド・トゥ・ウルフ・ダウン 3 単過・開始(proceed to+不定詞) v.i がつがつ食べ始めた	「動詞句」
voraciously. ヴォレイシャスリー adv. 食欲に、すごい勢いで	「副詞」

次の料理を待っている間、女はハンドバッグから今度は青の鉛筆とその週のラジオ番組の雑誌を取り出すと、日々の番組のほとんどの項目に印をつけ始めた。

<u>While waiting for the next course, she produced another pencil this time a blue one, from her bag, and the radio magazine for the coming week, and started making ticks against almost all the items of the daily programs.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, and 「動詞句」「目的語」
While waiting for ホワイル・ウェイティング・フォー adv. ～を待っている間	「副詞句」
the next course, ザ・ネクスト・コース n. (一連の料理の) 次の一品	「目的語」
she シー pron 女は	「主語」
produced プロデュースト 3 単過 v.t (物を) 取り出した	「動詞」
another pencil, アナザー・ペンスル n. 別の鉛筆を	「目的語」
this time スィス・タイム adv. 今回は	「副詞句」
a blue one, ア・ブルー・ワン n. 青鉛筆を	「目的語」

Part 1 第 1 部

from her bag, フロム・ハー・バッグ adv. ハンドバッグから 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 the radio magazine サ・レディオ・マガジン n. ラジオ番組の雑誌を 「目的語」
 for the coming week, フォー・ザ・カミング・ウィーク adj. 今週の 「形容詞句」
 and アンド conj. そして
 started making スタート・メイキング 3 単過・開始(start+現在分詞 make)
 v.t (印を) 付け始めた 「動詞句」
 ticks チックス pl.n 印を、マークを 「目的語」
 against almost all the items アゲinst・オールモスト・オール・スィ・アイテムズ
 adv. ほとんどすべての項目に 「副詞句」
 of the daily programs. オフ・ザ・デイリー・プログラムズ
 adj. 日々の番組の 「形容詞句」
 produce プロデュース v.t
 製造する、生産する、(実を) 実らせる、(経済価値を) 創り出す、(物を) 取り出す
 the coming week
 来週または既に始まっている今週。この文では、今週またはその週の意味。
 今週は this week, 来週は next week, 翌週は the next week または the following week
 先週は last week

雑誌はおよそ 10 ページほどだったが、女は食事の間中ずっと念入りに番組を調べていた。

There were a dozen pages in the magazine, and she continued studying them closely throughout the meal.

「動詞句」「主語」「副詞句」,and「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 There were ゼア・ワ 3 複過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 a dozen pages ア・ダズン・ページズ pl.n およそ 10 ページが 「主語」
 in the magazine, イン・ザ・マガジン adv. 雑誌には 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 she シー porn 彼女は 「主語」
 continued studying コンティニュート・スタディイング 3 単過・継続(continue+現在分詞 study)
 v.t 調べ続けた 「動詞句」
 them ゼム pron 番組を 「目的語」
 closely クロウスリー adv. 念入りに 「副詞句」
 throughout スルーアウト prep (時) 〜の間中 「副詞句」
 the meal. サ・ミール n. 食事 「目的語」

Part 1 第 1 部

僕が食事を終えても、女は相変わらずの集中力で番組に印を付け続けていた。

When I'd finished mine she was still ticking off items with the same meticulous attention.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

When ホエン conj. ～した時

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd finished ハット・フィニッシュト 1 単過・完了形(finish)v.t 終えた

「動詞句」

mine マイン pron(my meal の代用) 自分の食事を

「目的語」

she シー pron 女は

「主語」

was still ticking off リス・ステイル・ティキング・オフ 3 単過・進行形(tick off+still)

v.t まだ印をつけていた

「動詞句」

items アイテムズ pl.n 番組に

「目的語」

with the same meticulous attention. ウイズ・ザ・セム・メチキュラス・アテンション

adv. 相変わらずの集中力で

「副詞句」

same セム adj. 相変わらずの meticulous メチキュラス adj. 細心な attention アテンション n. 注意力

それから女は立ち上がり、機械人間みたいに忙しそうな動作で上着を着て、きびきびとレストランを出て行った。

Then she rose, put on her jacket again with the same abrupt, robot-like gestures, and walked briskly out of the restaurant.

「副詞」 「主語」 「動詞」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」, and 「動詞句」 「副詞句」

Then セン adv. それから

「副詞」

she シー pron 女は

「主語」

rose, ロズ 3 単過(rise)v.i 立ち上がった

「動詞」

put on プット・オン 3 単過(put on)v.t (服を) 着た

「動詞句」

her jacket ハー・ジャケット n. 上着を

「目的語」

again アゲン adv. また

「副詞」

with ウイズ prep (様態) ～の様子で

「副詞句」

the same abrupt, ザ・セム・アブラプト adj. 同様に性急な

「形容詞句」

robot-like ロボット・ライク adj. 機械人間みたいな

「形容詞句」

gestures, ジェスチャーズ pl.n 動作

「目的語」

and アント conj. そして

walked ウォークト 3 単過 v.i(out) 出て行った

「動詞」

briskly ブリスクリー adv. きびきびと

「副詞」

out of the restaurant. アウト・オブ・ザ・レストラン adv. レストランの外へ

「副詞句」

Part 1 第1部

何もすることがなかったので、少しの間、僕は女の後をついて行った。

Having nothing better to do, I followed her for a short distance.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Having ハヴ イング 現在分詞・理由(have)v.t ~があつたので

「副詞句」

nothing better ナシグ・ベター pron 何も良いことが~ない

「目的語」

to do, トゥ・トゥ 不定詞・目的 adj. するべき

「形容詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

followed フォロウト 1 単過 v.t 後をついて行った

「動詞」

her ハー pron 彼女を

「目的語」

for a short distance. フォー・ア・ショート・ディスタンス adv. 少しの間

「副詞句」

女は歩道の縁石の上のって、まっすぐに、落ちたり振り返ったりせずに歩いて行った。

女の小柄な体付きからすると、驚くべき速度で彼女の運動場を踏破した。

Keeping on the curb of the pavement, she walked straight ahead, never swerving or looking back, and it was extraordinary how fast she covered the ground, considering her smallness.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」, and 「動詞」 「補語」 「主語」

Keeping on キーピング・オン 現在分詞・継続 adv. (動作を) し続けながら

「副詞句」

the curb of the pavement, ザ・カーブ・オブ・ザ・ペイヴメント

n. (動作名詞) 舗道の縁石にのること

「目的語」

she シー pron 女は

「主語」

walked ウォークト 3 単過 v.i 歩いて行った

「動詞」

straight ahead, ストレイト・アヘッド adv. まっすぐ前に

「副詞句」

never swerving or looking back, ネヴァー・スワ-ving・オア・ルギング・バック

現在分詞・否定形・様態 adv. 縁石から落ちたり振り返ったりしないで

「副詞句」

and アンド conj. そして

it イット pron 仮の主語 (真の主語は how fast 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

extraordinary イクストロージナリー adj. 驚くべき

「補語」

how fast ハウ・ファースト adv. どれほど速いかということは

「主語」

she シー pron 女は

「主語」

covered カバート 3 単過 v.t 踏破した

「動詞」

the ground, ザ・グラウンド n. 運動場を

「目的語」

considering her smallness. コンシダリング・ハー・スモールニス

adv. 小柄な体付きを考えると

「副詞句」

Part 1 第1部

実際、僕には速すぎたので、間もなく女の姿を見失い、家に向かって引き返した。

In fact, the pace was too much for me, and I soon lost sight of her and turned back homeward. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」, and 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
and 「動詞句」「副詞」

In fact, イン・ファクト adv. 実際 「副詞句」
the pace ザ・ペイス n. その速度は 「主語」
was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
too much for me, トゥー・マッチ・フォー・ミー adj. 僕には速すぎる 「補語」
and アンド conj. そして
I アイ pron 僕は 「主語」
soon スーン adv. まもなく 「副詞」
lost ロスト 1 単過(lose)v.t 見失った 「動詞」
sight of her サイト・オブ・ハー n. 女の姿を 「目的語」
and アンド conj. そして
turned back ターント・バック 1 単過(turn back)v.i 引き返した 「動詞句」
homeward. ホムワート adv. (方向) 家に向かって 「副詞」

少しの間、あの小さいロボットは（僕は女のことをそんな風に思っていた）僕に強い印象を与えていたが、すぐに彼女のことは忘れてしまった。

For a moment the “little robot” (as I thought of her) had much impressed me, but I soon forgot about her. 「副詞句」「主語」（「副詞節」）「動詞句」「間接目的語」,
but 「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」

For a moment フォー・ア・モメント adv. 少しの間 「副詞句」
the “little robot” ザ・リトル・ロボット n. あの小さいロボットは 「主語」
(as I thought of her) アズ・アイ・ソート・オブ・ハー adv. そんな風に女のことを思っていた 「副詞節」
had much impressed ハット・マッチ・インプレス 3 単過・完了形(impress)
v.t 強い印象を与えていた 「動詞句」
me, ミー pron 僕に 「間接目的語」
but バット conj. しかし
I アイ pron 僕は 「主語」
soon スーン adv. すぐに 「副詞」
forgot フォーゴット 1 単過(forget)v.i(about 〜のことを) 忘れた 「動詞」
about her. アバウト・ハー adv. 彼女のことを 「間接目的語」

Part 1 第1部

僕の部屋の戸口に向かって進んでいくと、そこにサラマノ老人がいた。

As I was turning in at my door I ran into old Salamano.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

As アズ^ㇰ conj. ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was turning in ワズ^ㇰ・ターニング^ㇰ・イン 1 単過・進行形(turn in)

v.i (階段の踊り場で向きを変えて) 進んでいった

「動詞句」

at my door アット・マイ・ドアー adv. 僕の部屋の戸口に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

ran into ラン・イントゥ 1 単過(run into)v.i (偶然) 出会った

「動詞句」

old Salamano. オールド・サラマノ n. サラマノ老人に

「目的語」

僕は彼を部屋の中に招き入れた。彼は犬が行方不明だと僕に言った。

I asked him into my room, and he informed me that his dog was definitely lost.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 ,and 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 招待した

「動詞」

him ヒム pron 彼を

「目的語」

into my room, イントゥ・マイ・ルーム adv. 部屋の中に

「副詞句」

and アント^ㇰ conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

informed インフォームト^ㇰ v.t 知らせた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

that サット conj. ～ということを

「直接目的語」

his dog ヒズ^ㇰ・トッグ^ㇰ n. 彼の犬は

「主語」

was ワズ^ㇰ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

definitely lost. デフィニトリー・ロスト adj. 完全に道に迷った

「補語」

Part 1 第1部

彼は確認のために野犬収容所に行ってみたが、そこにはいなかった。すると職員は、たぶん車に轢かれてしまったのだろうと言った。

He'd been to the pound to inquire, but it wasn't there, and the staff told him it had probably been run over.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」,but「主語」「動詞句」「副詞」,
and「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He	ヒ	pron	サラマノは	「主語」
'd been	ハット・ビーン	3 単過・完了形・移動	(be)v.i 行ってみた	「動詞句」
to the pound	トゥ・ザ・パウンド	adv.	野犬収容所に	「間接目的語」
to inquire,	トゥ・インクワイア	不定詞・目的	adv. 確認のために	「副詞句」
but	バット	conj.	しかし	
it	イト	pron	犬は	「主語」
wasn't	ワズント	3 単過・存在・否定	(be)v.i 〜にいなかった	「動詞句」
there,	ゼア	adv.	そこに	「副詞」
and	アント	conj.	そして	
the staff	ザ・スタッフ	n.	職員は	「主語」
staffは単数形でも複数扱いされることもある。				
told	トルド	3 単過	(tell)v.t 言った	「動詞」
him	ヒム	pron	彼に	「間接目的語」
n.	〜ということを			「直接目的語」
it	イト	pron	犬は	「主語」
had probably been run over.	ハット・プロバブリー・ビーン・ラン・オウガァー 3 単過・完了形・受動			
(run over)v.t	たぶん車に轢かれたのだろう			「動詞句」

Part 1 第1部

警察でそれを確認したら分かるだろうか、と職員たちに尋ねると、彼らは、警察は車に轢かれた迷子犬の記録を残すよりもっと大事な仕事があると言った。

When he asked them whether it was any use inquiring about it at the police station, they said the police had more important things to attend to than keeping records of stray dogs run over in the streets.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

When ホエン conj. ～すると

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

them ゼム pron.pl 職員たちに

「間接目的語」

whether ウェザー conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は inquiring about it at the police station)

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

any use エニー・ユース n. 役に立つこと

「補語」

inquiring about it at the police station, インクワイアリング・アバウト・イット・アット・ザ・ポリス・ステーション

現在分詞 n. 警察でそれを確認することは

「主語」

they ゼイ pron 彼らは

「主語」

said セット 3 複過(say)v.t 言った

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

the police ザ・ポリス n. 警察は

「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ～がある

「動詞」

more important things モア・インポータント・シングス pl.n もっと重要なことが 「目的語」

to attend to トゥ・アテント・トゥ 不定詞・必要 adj. 処理すべき

「形容詞句」

than ザン conj. (比較) ～よりも

「副詞句」

keeping キーピング 現在分詞 v.t (記録を) 残す

「動詞」

records レコーズ pl.n 記録を

「目的語」

of stray dogs オフ・ストレイ・ドッグス

adj. 迷子犬の

「形容詞句」

run over ラン・オヴァー 過去分詞・受動

adj. 車に引かれた

「形容詞句」

in the streets. イン・ザ・ストリート adv. 路上で

「副詞句」

Part 1 第1部

僕は彼に、別の犬を飼ってはどうか、と勧めてみた。しかしもっともなことだが、彼はあの犬に馴染んでいたの、ほかの犬ではそうはいかないだろうと指摘した。

I suggested he should get another dog, but, reasonably enough, he pointed out that he'd become used to this one, and it wouldn't be the same thing.

「主語」「動詞」「目的語」, but 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

suggested サジエスエイツト 1 単過 v.t 勧めた

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

should get シュット・ゲット 3 単現・妥当 v.t (動物を) 飼う

「動詞句」

should は要求・提案・必要を表す動詞に続く名詞節で使われる。「～する、であるよう」

another dog, アナザー・ドッグ n. 別の犬を

「目的語」

but, バット conj. しかし

reasonably enough, リースナブリー・イフ adv. もっともなことだが

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

pointed out ポインティット・アウト 3 単過(point out)v.t 指摘した

「動詞句」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd become ハット・ビカム 3 単過・完了形(become)v.i (状態) ～になった

「動詞句」

used to this one, ウースト・トゥ・ズイス・ワズ adj. この犬に慣れた、馴染んだ

「補語」

and アンド conj. だから

it イット pron ほかの犬は

「主語」

wouldn't be ウント・ビー 3 単現・否定・推量(be)v.i ～でないだろう

「動詞句」

the same thing. サ・セイム・シング n. 同じもの

「補語」

Part 1 第1部

僕はベッドであぐらをかき、サラマノはテーブル横の椅子に腰かけ、両手は膝に置いていた。

I was seated on my bed, with my legs up, and Salamano on a chair beside the table, facing me, his hands spread on his knees.

「主語」「動詞句」「副詞句」, and 「主語」「副詞句」, 「主語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was seated ワズ・シーテッド 1 単現・受動(seat)v.t 座った

「動詞句」

on my bed, オン・マイ・ベッド adv. ベッドの上に

「副詞句」

with my legs up, ウイズ・マイ・レッグズ・アップ adv. (様態) 脚をベッドの上にのせて

「副詞句」

→ あぐらをかいて

and アンド conj. そして

Salamano サラマノ n. サラマノは

「主語」

on a chair オン・ナ・チェア adv. 椅子に (座った)

「副詞句」

beside the table, ビサイド・ザ・テーブル adv. テーブルの隣の

「副詞句」

facing me, フェイシング・ミー 現在分詞(face)adv. 向かい合って

「副詞句」

his hands ヒズ・ハズ pl.n 両手は

「主語」

spread スプレッド 過去分詞・受動(spread)adj. 並べられた

「補語」

on his knees. オン・ヒズ・キーズ adv. 膝の上に

「副詞句」

彼は使い古したフェルト帽をかぶったままでいた。そして黄色く薄汚れた口ひげの裏側で何かつぶやいていた。

He had kept on his battered felt hat and was mumbling away behind his draggled yellowish mustache.

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

had kept on ハット・ケプト・オン 3 単過・完了形・維持(keep on)

v.t (帽子を) かぶったままでいた

「動詞句」

his battered felt hat ヒズ・バタート・フェルト・ハット n.m 使い古したフェルト帽を

「目的語」

battered バタート adj. 使い古した

and アンド conj. そして

was mumbling away ワズ・マンブリング・アウェイ 3 単過・進行形(mumble away)

v.i つぶやいていた

「動詞句」

behind ヒー・ハインド prep (場所) ~の裏側で

「副詞句」

his draggled yellowish mustache. ヒズ・ドラグレルト・イエロウイッシュ・マスターシュ

n. 薄汚れて黄ばんだ口ひげ

「目的語」

フランス語の原文では

彼は、黄ばんだ口髭の下で、言葉尻をもぐもぐと噛むようにつぶやいた。

Part 1 第1部

Il mâchonnait des bouts de phrases sous sa moustache jaunie.

僕は彼にはいくぶんうんざりしたが、他にすることがなかったし、眠くもなかった。

I found him rather boring, but I had nothing to do and didn't feel sleepy.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」,but「主語」「動詞」「目的語」and「動詞句」「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 found ファウンド 1 単過(find)v.t(SVOC) 〜と思った、分かった 「動詞」
 him ヒム pron 彼が 「目的語」
 rather boring, ラーザー・ボアリング adj. いくぶんうんざりした 「補語」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t 〜がある 「動詞」
 nothing to do ナシング・トゥ・ドゥ pron することが〜ない 「目的語」
 and アンド conj. それに
 didn't feel デイトント・フィール 1 単過・否定 v.i 感じなかった 「動詞句」
 sleepy. スリーピー adj. 眠い 「補語」

それで会話を続けるために、いつからあの犬を飼っているのかとかいくつか質問してみた。

So, to keep the conversation going, I asked some questions about his dog—how long he had had it and so forth.

--- 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」and「副詞句」
 So, ソ adv. それで 「副詞」
 to keep トゥ・キープ 不定詞・目的 adv. 〜を維持するために 「副詞句」
 the conversation ザ・カンヴァーセーション n. 会話を 「目的語」
 going, ゴウイング 現在分詞・conversation の動作 v.i 続く 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 some questions サム・クエスチョンズ pl.n いくつかの質問を 「目的語」
 about his dog—アバウト・ヒズ・ドッグ adv. 犬について 「副詞句」
 how long ハウ・ロング adv. いつから 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had had ハット・ハット 3 単過・完了形(have)v.t 飼っていた 「動詞句」
 it イット pron あの犬を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 so forth. ソ・フォース adv. そのようなことなど 「副詞句」

Part 1 第1部

彼は奥さんが亡くなってすぐに犬を飼い始めたと言った。結婚はかなり遅かった。

He told me he had got it soon after his wife's death. He'd married rather late in life.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 told トルド 3 単過(tell)v.t 語った 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 n. ～ということを 「直接目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had got ハット・ゴット 3 単過(= had)v.t (犬を) 飼った 「動詞句」
 it イット pron あの犬を 「目的語」
 soon after スーン・アフター conj. ～のすぐ後に 「副詞句」
 his wife's death. ヒズ・ワイフ・デス n. 奥さんの死 「目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 'd married ハット・マリット 3 単過・完了形(marry)v.i 結婚した 「動詞句」
 rather late in life. ラーザー・レイト・イン・ライフ adv. 人生のかなり終盤で 「副詞句」

若い頃、彼は演劇をやりたいかった；軍隊時代には連隊の演劇でよく芝居をして、なかなか上手く演じられて、評判は良かった。

When a young man, he wanted to go on the stage; during his military service he'd often played in the regimental theatricals and acted rather well, so everybody said.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」; 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

and 「動詞」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞」

When a young man, ホエン・ア・ヤング・マン adv. (時) 若い頃 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 wanted to go ウォンテッド・トゥ・ゴウ 3 単過・願望(want to+不定詞 go on)
 v.i ～に出たかった 「動詞句」
 on the stage; オン・ザ・ステージ adv. 舞台に、演劇に 「間接目的語」
 during his military service デュアリンク・ヒズ・ミリタリー・サーヴィス adv. 軍隊時代は 「副詞句」
 military service ミリタリー・サーヴィス n. 軍務
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd often played ハット・オフン・プレイト 3 単過・完了形(play)v.i よく芝居をした 「動詞句」
 in the regimental theatricals イン・ザ・レジメンタル・テアトリカルズ adv. 連隊の演劇で 「副詞句」
 regimental レジメンタル adj. 連隊の theatrical テアトリカル n. (しろうとの) 演劇
 and アンド conj. そして
 acted アクティット 3 単過 v.t 演じた 「動詞」
 rather well, ラーザー・ウェル adv. なかなか上手く 「副詞句」

Part 1 第1部

so サ adv. そのように 「副詞」
 everybody エヴリバディ pron 皆が 「主語」
 said. セッド 3 単過(say)v.t 言っていた 「動詞」

しかし結局は鉄道での仕事だったが、今ではわずかな年金があるので、後悔はしていない。

However, finally, he had taken a job in the railway, and he didn't regret it, as now he had a small pension.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 ,and 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」
 However, ハウエヴァー adv. しかし 「副詞」
 finally, ファイナリー adv. 結局は 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had taken ハット・テイクン 3 単過・完了形(take)v.t (仕事に) ついた 「動詞句」
 a job ア・ジョブ n. 仕事 「目的語」
 in the railway, イン・ザ・レイルウェイ adv. 鉄道での 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 didn't regret デイdn't・リグレット 3 単過・否定・時制の一致 v.t 後悔していない 「動詞句」
 it, イット pron そのことを 「目的語」
 as アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 now ナウ adv. 今では 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ~がある 「動詞」
 a small pension. ア・スモール・ペンション n. わずかな年金が 「目的語」

彼と妻はあまり仲良く暮らすことはなかったが、お互いに馴染んではいた。だから妻が亡くなった時には、彼は独りぼっちは寂しいと感じた。

He and his wife had never hit it off very well, but they'd got used to each other, and when she died he felt lonely. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 ,but 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 ,
 and 「副詞節」 「主語」 「動詞」 「補語」

He and his wife ヒー・アント・ヒズ・ワイフ pl.n 彼と妻は 「主語」
 had never hit it off ハット・ネヴァー・ヒット・イット・オフ 3 複過・完了形・否定(hit it off)
 v.i 楽しく過ごすことはなかった 「動詞句」
 hit it off しっかり働く、祝う、楽しく過ごす、意気投合する
 very well, ヴェリー・ウェル adv. (否定文で) あまりうまく~ない 「副詞句」
 but バット conj. しかし

Part 1 第 1 部

they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 'd got used ハット・ゴット・ユースト 3 複過・完了形(get used to)v.i 〜に馴染んでいた 「動詞句」
 get used to ... 「〜に慣れる、馴染む」 get の代わりに、be や become も使用可
 to each other, トゥ・イチ・アザー adv. お互いに 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 when she died ホエン・シー・ダイト adv. 妻が死んだ時には 「副詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 felt フェルト 3 単過(feel)v.i (〜であると) 感じた 「動詞」
 lonely. ロンリー adj. 孤独な、寂しい 「補語」

鉄道の同僚が彼の犬が産んだばかりの子犬を 1 匹くれたので、彼はそれを話し相手としてもらってきた。

One of his mates on the railway whose bitch had just had pups had offered him one, and he had taken it, as a companion.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」,and「主語」「動詞句」「目的語」「補語」
 One of his mates ワン・オブ・ヒズ・メイツ pron 彼の仲間には一人は 「主語」
 on the railway オン・ザ・レイルウェイ adv. 鉄道での 「副詞句」
 whose bitch フーズ・ビッチ pron (主語) 彼の雌犬が〜する 「形容詞節」
 had just had ハット・ジャスト・ハット 3 単過・完了形(have)
 v.t ちょうど生んだ 「動詞句」
 pups ハップス pl.n 子犬を 「目的語」
 had offered ハット・オファート 3 単過・完了形(offer)v.t くれた 「動詞句」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 one, ワン pron 子犬を 1 匹 「直接目的語」
 and アンド conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had taken ハット・テイク 3 単過・完了形(take)v.t もらってきた 「動詞句」
 it, イット pron それを 「目的語」
 as a companion. アズ・ア・コンパニオン adv. (資格) 話し相手として 「補語」

Part 1 第 1 部

最初は哺乳瓶で育てなければならなかった。だが犬の寿命は人間よりも短いので、両者は、
いわば、共に年老いていった。

He'd had to feed it from the bottle at first. But, as a dog's life is shorter than a man's, they'd grown old together, so to speak.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | But, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 'd had to feed ハットゝ・ハットゝ・トゥ・フィートゝ 3 単過・完了形・必要(have to+不定詞 feed)
 v.t 育てなければならなかった 「動詞句」
 it イット pron その子犬を 「目的語」
 from the bottle フロム・ザ・ボトル adv. (手段) 哺乳瓶で 「副詞句」
 at first. アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」
 But, バット conj. しかし
 as アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 a dog's life ア・ドッグス・ライフ n. 犬の寿命は 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 shorter ショーター adj. (比較) より短い 「補語」
 than a man's, ザン・ア・マンスゝ adv. (比較) 人間の寿命よりも 「副詞句」
 they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 'd grown ハットゝ・グロウン 3 複過・完了形・変化(grow)v.i ~になっていった 「動詞句」
 old together, オールド・トゲザー adj. 共に年老いた 「補語」
 so to speak. ソウ・トゥ・スピーク adv. いわば 「副詞句」

犬の寿命

犬は生後 2 年位で大人になり、人間の 24 歳程度の年齢に達します。その後は 1 年ごとに人間の 4 歳～7 歳の歳をとります。小型犬は 10 歳で、大型犬は 6～7 歳で（人間で言うと 60 歳以上の）シニア犬と呼ばれるようになります。

Part 1 第1部

「あれは扱いずらい犬でした」と、サラマノは言った。「時々、本当のいがみ合いもしました。それでも、やはり、奴はいい犬でした」

“He was a cantankerous brute,” Salamano said. “Now and then we had some proper set-tos, he and I. But he was a good mutt all the same.”

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「主語」 | But 「主語」「動詞」「補語」》

“He ひー pron あの犬は 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
a cantankerous brute,” ア・カンタンケラス・ブルト n. 扱いずらいやつ 「補語」
cantankerous カンタンケラス adj. 怒りっぽい、扱いずらい brute ブルト n. 獣、畜生、やつ
Salamano サラマノ n. サラマノは 「主語」
said. セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
“Now and then ナウ・アント・ゼン adv. 時々 「副詞句」
we ウィー pron/pl 私たちは 「主語」
had ハット 1 複過(have)v.t (行為を) した 「動詞」
some proper set-tos, サム・プロパー・セット・トウズ pl(set-to).n 全くのいがみ合いを 「目的語」
proper プロパー adj. まったくの set-to セット・トゥ 口喧嘩、いさかい
he and I. ヒー・アント・アイ pl.n やつと私は 「主語」
But バット conj. それでも
he ひー pron やつは 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
a good mutt ア・グット・マット n. いい犬 「補語」
all the same.” オール・ザ・セイム adv. やはり、にもかかわらず 「副詞句」

僕があれは血統の良い犬でしたねと言うと、老人はそれを聞いて明らかに満足していた。

I said he looked well bred, and that evidently pleased the old man.

「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
n. 〜ということを 「目的語」
he ひー pron あの犬は 「主語」
looked ルクト 3 単過 v.i 〜のように見えた 「動詞」
well bred, ウェル・ブレット adj. 育ちが良い、よい血統の 「補語」
and アント conj. そして
that ザット pron その言葉は 「主語」
evidently エヴィデントリー adv. 明らかに 「副詞」

Part 1 第1部

pleased プリースト 3 単過 v.t 満足させた

「動詞」

the old man. スィ・オールド・マン n. 老人を

「目的語」

the old man を主語として翻訳する

「そうですとも！ですが、あなたは病気になる前のあの姿を見たことがない」

“Ah, but you should have seen him before his illness!” he said.

《「感嘆」,but「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》,「主語」「動詞」

“Ah, アー int. そうですとも！

「感嘆」

but バット conj. しかし

you ユー pron あなたは

「主語」

should have seen シュット・ハヴ・シーン 2 単未・義務(should have+過去分詞)

v.t 見るべきだった (のに出来なかった)

「動詞句」

him ヒム pron あれを

「目的語」

before his illness!” ビフォー・ヒズ・イルニス adv. 病気になる前に

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said. セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

「あの犬は素晴らしい毛並みをしていた；実際、本当にそれがあの一番良い所でした」

“He had a wonderful coat; in fact, that was his best point, really.

《「主語」「動詞」「目的語」；「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

“He ヒー pron あの犬は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t (身体的特徴を) していた

「動詞」

a wonderful coat; ア・ワンダフル・コート n. 素晴らしい毛を

「目的語」

coat コート n. (動物の) 毛、(植物の) 皮、殻

in fact, イン・ファクト adv. 実際

「副詞句」

that ザット pron それが

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

his best point, ヒズ・ベスト・ポイント n. あの一番良いところ

「補語」

really. リアリー adv. 本当に

「副詞」

Part 1 第1部

私は一生懸命治療しました；犬があの皮膚病になってからは毎晩軟膏を塗ってやりました。
 ですが、あれの本当の病気は老いだったのです。そして老いを治すことはできないのです。

I tried hard to cure him; every mortal night after he got that skin disease I rubbed an ointment in. But his real trouble was old age, and there's no curing that.”

《「主語」「動詞句」「目的語」；「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

But 「主語」「動詞」「補語」,and 「動詞句」「主語」》

I アイ pron 私は 「主語」
 tried hard to cure トライト・ハート・トゥ・キュア 1 単過・試行(try to+不定詞+hard)
 v.t 一生懸命に治療しようとした 「動詞句」
 him; ヒム pron あれを 「目的語」
 every mortal night エヴリ・モートル・ナイト adv. 毎晩 「副詞句」
 mortal モータル adj. (強調) およそ考えられる
 after アフター conj. ～してから 「副詞節」
 he ヒー pron あれが 「主語」
 got ゴット 3 単過(get)v.i (～の状態に) なった 「動詞」
 that skin disease サット・スキン・ディーズ n. あの皮膚病 「補語」
 I アイ pron 私は 「主語」
 rubbed ...in. ラブト...イン 1 単過(rub in)v.t すりこんだ、塗った 「動詞句」
 an ointment アン・オイントメント n. 軟膏を 「目的語」
 But バット conj. しかし
 his real trouble ヒズ・リアル・トラブル n. 本当の病気は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 old age, オールド・エイジ n. 老齢、古い 「補語」
 and アンド conj. そして
 there's no curing that.” セア・ズ・ノウ・キュアリング・サット
 n. それを治療する薬はない。 「動詞句」「主語」
 There's no medicine for curing that. の省略。

その時、僕があくびをすると、老人はもうそろそろ帰りますと言った。

Just then I yawned, and the old man said he'd better make a move.

「副詞句」「主語」「動詞」,and 「主語」「動詞」「目的語」

Just then ジャスト・ゼン adv. その時、ちょうどその時、まさにその時 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 yawned, ヨント 1 単過 v.i あくびをした 「動詞」
 and アンド conj. すると
 the old man スィ・オールド・マン n. 老人は 「主語」

Part 1 第1部

said セツト 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
'd better make ウット・ベター・メイク 3 単過・意志(make)	
v.t (動作を) しようと思う	「動詞句」
a move. ア・ムーヴ n. 移動、帰宅	「目的語」
make a move 移動する、出発する	

僕は彼にまだ居らせて下さい、それから犬のことではお気の毒に思いますと言った。

I told him he could stay, and that I was sorry about what had happened to his dog.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は	「主語」
told トルド 1 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
he could stay, ヒー・クット・ステイ n. 居ても構わない	「直接目的語」
and アンド conj. そして	
that サット conj. ～ということを	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was ワズ 1 単過・自制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
sorry ソーリー adj. 気の毒に思う	「補語」
about what had happened to his dog. アバウト・ファット・ハット・ハブ・ント・トゥ・ヒズ・トック	
adv. (関連) 犬に起こったことについて	「副詞句」

彼は僕に礼を言ってから、母さんはあの犬が大好きだったと話してくれた。

He thanked me, and mentioned that my mother had been very fond of his dog.

「主語」「動詞」「目的語」,and「動詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は	「主語」
thanked サンクト 3 単過 v.t 礼を言った	「動詞」
me, ミー pron 僕に	「目的語」
and アンド conj. そして	
mentioned メンショント 3 単過 v.t ～を話した	「動詞」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
my mother マイ・マザー n. 母さんは	「主語」
had been ハット・ビーン 3 単過・完了形・状態(be)v.i ～だった	「動詞句」
very fond ヴェリー・フォント adj.(of ～のことが) 大好きな	「補語」
of his dog. オフ・ヒズ・トック adv. (関連) 彼の犬が	「副詞句」

Part 1 第1部

彼は、母さんのことを「亡くなられた母上」と言っていた。そして、母さんの死に対して、僕がひどく落ち込んでいるに違いないと気遣ってくれた。

He referred to her as “your poor mother,” and was afraid I must be feeling her death terribly. 「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」 and 「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

referred リファート³ 単過(refer)v.i(to+人 ~のことを) ~と言っていた 「動詞」

to her トゥ・ハー adv. (関連) 母さんのことを 「間接目的語」

as “your poor mother,” アズ・ユア・プア・マザー avd. 「亡くなられた母上」 「補語」

poor プア adj. 貧しい、粗末な、かわいそうな、死んだ、故人の

and アンド conj. そして

was ワズ³ 単過(be)v.i ~だった 「動詞」

afraid アフレイト³ adj. 気遣った、心配した 「補語」

adv. ~するのではないかと 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

must be feeling マスト・ビー・フィーリング¹ 単現・強い推量・進行形(must+進行形 feel)

v.t ~の影響を受けているに違いない 「動詞句」

her death ハー・デス n. 母さんの死に 「目的語」

terribly テリブリー adv. ひどく 「副詞」

僕が何も言わないでいると、彼は急いで、きまり悪そうに付け加えた。界限の人の中には、僕が母さんを養老院に入れたので、僕のことを悪く言う人がいることは知っている。

When I said nothing he added hastily and with a rather embarrassed air that some of the people in the street said nasty things about me because I'd sent my mother to the Home. 「副詞節」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

When ホエン conj. ~すると 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

said セット¹ 単過(say)v.t 言った 「動詞」

nothing ナシング³ pron 何も~ない 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

added アディット³ 単過 v.t 付け加えた 「動詞」

hastily ヘイステイリー adv. 慌てて、急いで 「副詞」

and アンド conj. そして

with a rather embarrassed air ウイズ・ア・ラーザー・エンバラスト・エア

adv. (様態) かなりきまり悪そうな様子で 「副詞句」

that ザット conj. ~ということ 「目的語」

Part 1 第1部

some of the people	サム・オブ・ザ・ピープル pl.n	いくつかの人々が	「主語」
in the street	イン・ザ・ストリート adv.	界隈の	「副詞句」
said	セッド 3 複過・時制の一致(say)v.t	言っている	「動詞」
nasty things	ナスティ・シングズ pl.n	意地の悪いことを	「目的語」
about me	アバウト・ミー adv.	(関連) 僕について	「副詞句」
because	ビ・コーズ conj.	(理由) ～なので	「副詞節」
I	アイ pron	僕が	「主語」
'd sent	ハッド・セント 1 単過・完了形(send)v.t	(施設に) 入れた	「動詞句」
my mother	マイ・マザー n.	母さんを	「目的語」
to the Home.	トゥ・ザ・ホーム adv.	養老院へ	「副詞句」

しかし彼はよく知っていた；僕がどれほど母さんに献身的だったかを知っている。

But he, of course, knew better; he knew how devoted to my mother I had always been.

But 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞」；「主語」「動詞」「目的語」

But ハット conj. しかし

he,	ヒー pron	彼は	「主語」
of course,	オブ・コース adv.	もちろん	「副詞句」
knew	ニュー 3 単過(know)v.t	知っていた	「動詞」
better;	ベター adv.	よく	「副詞」
he	ヒー pron	彼は	「主語」
knew	ニュー 3 単過(know)v.t	知っていた	「動詞」
n.	～ということ		「目的語」
how devoted	ハウ・デヴィウ・オウティット adj.	どれほど献身的な	「補語」
to my mother	トゥ・マイ・マザー adv.	母さんに対して	「副詞句」
I	アイ pron	僕が	「主語」
had always been.	ハッド・オールウェイズ・ビーン 1 単過・完了形・状態(be) v.i	いつも～だった	「動詞句」

未だにどうしてか分からないのだが、僕は自分がそれほど悪い印象を生み出していたと聞いて驚いている、と答えた。

I answered—why, I still don't know—that it surprised me to learn I'd produced such a bad impression.

「主語」「動詞」 — 「副詞」「主語」「副詞」「動詞句」 — 「目的語」

I	アイ pron	僕は	「主語」
answered	アンサート 1 単過 v.t	答えた	「動詞」
—why,	ホワイ adv.	どうしてか	「副詞」
I	アイ pron	僕は	「主語」

Part 1 第1部

still スティル adv. いまだに	「副詞」
don't know—ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない	「動詞句」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
it イット pron 仮の主語（真の主語は to learn 以降）	
surprised サプライズド 3 単過 v.t 驚かせた	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」
to learn トゥ・ラーン n. ～に気づいたことは、～を聞くことは	「主語」
n. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd produced ハット・プロデュースト 1 単過・完了形	
v.t 作り出していた	「動詞句」
such a bad impression. サッチ・ア・バッド・インプレッション	
n. そんな悪い印象を	「目的語」

僕にはこの部屋で母さんを世話をする余裕がなかったから、母さんを養老院に入れることはしかたがないと思っていた。

<u>As I couldn't afford to keep her here, it seemed the obvious thing to do, to send her to a home.</u>	「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」
As アズ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
couldn't afford to keep クドント・アフォード・トゥ・キープ 1 単過・可能・否定	
v.t 世話をする余裕がなかった	「動詞句」
can afford to+不定詞 「～する余裕がある」 keep v.t 養う、面倒を見る、世話をする	
her ハー pron 母さんを	「目的語」
here, ヒア adv. この部屋で	「副詞」
it イット pron 仮の主語（真の主語は to do 以降）	
seemed シームド 3 単過 v.i ～に思われた	「動詞」
the obvious thing ザ・オブビナス・シング n. わかりきったこと	「補語」
to do, トゥ・ドゥ 不定詞 n. ～することは	「主語」
to send トゥ・セント 不定詞 n. ～に入れること	「目的語」
her ハー pron 母さんを	「目的語」
to a home. トゥ・ア・ホーム adv. 養老院へ	「副詞句」

Part 1 第1部

「兎に角」と、僕は付け加えた。「何年も、母さんは僕に何も言うことがなかった。そして、母さんは話し相手もいなくて、ふさぎ込んでいたのを分かっていたと思う」

“In any case,” I added, “for years she’d never had a word to say to me, and I could see she was moping with no one to talk to.”

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」,

《「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」, and 「主語」「動詞句」「目的語」》

“In any case,” イン・エー・ケイス adv. いずれにせよ、兎に角 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

added, アディド 1 単過 v.t 付け加えた 「動詞」

“for years” フォー・イヤーズ adv. 何年も 「副詞句」

she シー pron 母さんは 「主語」

’d never had ハッド・ネヴァー・ハッド 3 単過・完了形・否定(have)v.t ~がなかった 「動詞句」

a word ア・ワート n. 言葉が 「目的語」

to say トゥ・セイ 不定詞・目的 v.t 言うための 「副詞句」

to me, トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

could see クッド・シー 1 単過・推量 v.t(that ~と) 分かっていたと思う 「動詞句」

n. ~ということ を 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」

was moping, ワズ・モピング 3 単過・進行形(mope)v.i ふさぎこんでいた 「動詞句」

with no one to talk to.” ウイズ・ノウ・ワン・トゥ・トーク・トゥ adv. 話し相手も無く 「副詞句」

「そうです」と、彼は言った。「それで、老人ホームなら、ともかく、友達ができます」

“Yes,” he said, “and at a home one makes friends, anyhow.”

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞」》

“Yes,” イェス adv. その通りです 「応答」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said, セイド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“and” アント conj. それで

at a home アット・ア・ホーム adv. 老人ホームでは 「副詞句」

one ワン pron 人は 「主語」

makes メイクス 3 単現・可能性 v.t 作れる 「動詞」

friends, フレンズ pl.n 友達を 「目的語」

anyhow.” エニーハウ adv.(= anyway) いずれにせよ、ともかく 「副詞」

Part 1 第1部

彼はもう寝る時間だと言って立ち上がった。それから、新しい状況の下では、彼の生活は困ったことになりそうだと付け加えた。

He got up, saying it was high time for him to be in bed, and added that life was going to be a bit of a problem for him, under the new conditions.

「主語」「動詞句」「副詞句」,and「動詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

got up, ゴット・アップ 3 単過(get up)v.i 立ち上がった

「動詞句」

saying セイイング 現在分詞・同時 adv. ～と言って

「副詞句」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron 時間は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

high time ハイ・タイム n. ちょうどいい時間

「補語」

high time ハイ・タイム n. 頃合い、～すべき時

It's high time we went to bed. (仮定法過去の文を繋げる) もうとつくに寝る時間だ。

for him to be in bed, フォー・ヒム・トウ・ビー・イン・ベッド

adv. (目的) 彼が寝るのに

「副詞句」

and アンド conj. そして

added アディット v.t 付け加えた

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

life ライフ n. 生活は

「主語」

was going to be ワズ・ゴウイング・トゥ・ビー 3 単過・近接未来・変化(be going to+不定詞)

v.i ～になろうとしていた

「動詞句」

a bit of a problem ア・ビット・オブ・ア・プロブレム n. 少しの問題

「補語」

for him, フォー・ヒム adv. 彼にとって

「副詞句」

under the new conditions. アンダー・ザ・ニュー・コンディションズ

adv. 新しい状況の下で

「副詞句」

彼と顔見知りになって以来初めて、彼は僕に手を差し出した、僕には恐る恐るのように思われた。すると、彼の皮膚がうろこのような感触がした。

For the first time since I'd known him he held out his hand to me—rather shyly. I thought—and I could feel the scales on his skin.

「副詞句」「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」—「副詞句」—

and「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

For the first time フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 初めて

「副詞句」

since シンス conj. (時) ～して以来

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

Part 1 第 1 部

'd known	ハットゝ・ノウ 1 単過・完了形(know)v.t	面識を持った	「動詞句」
him	ヒム pron	彼と	「目的語」
he	ヒー pron	彼は	「主語」
held out	ヘルトゝ・アウト 3 単過(hold out)v.t	(手を) 差し出した	「動詞句」
his hand	ヒズゝ・ハントゝ n.	彼の手を	「直接目的語」
to me	トゥ・ミー adv.	僕に	「間接目的語」
—rather shyly,	ラーザー・シャイリー adv.	ややおずおずと	「副詞句」
I thought—	アイ・ソート adv.	僕はそう思ったが	「副詞句」
and	アントゝ conj.	そして	
I	アイ pron	僕は	「主語」
could feel	クットゝ・フィール 1 単過・推量 v.t	感じたかもしれない	「動詞句」
the scales	ザゝ・スケイルズ pl.n	うろこを	「目的語」
on his skin.	オン・ヒズゝ・スキン adv.	皮膚に	「副詞句」

彼はドアから出て行くときに振り返り、少し微笑んで、言った：

<u>Just as he was going out of the door, he turned and, smiling a little, said:</u>			
	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 and, 「副詞句」, 「動詞」		
Just as	ジャスト・アズ conj.	(時) ちょうど～する時に	「副詞節」
he	ヒー pron	彼が	「主語」
was going out	ワズゝ・ゴウイングゝ・アウト 3 単過・進行形(go out)		
	v.i	出て行こうとしていた	「動詞句」
of the door,	オブゝ・ザゝ・ドアー adv.	ドアから	「副詞句」
he	ヒー pron	彼は	「主語」
turned	ターントゝ 3 単過 v.i	振り返った	「動詞」
and,	アントゝ conj.	そして	
smiling a little,	スマイルングゝ・ア・リトル 現在分詞・同時 adv.	少し笑いながら	「副詞句」
said:	セットゝ 3 単過(say)v.t	言った	「動詞」

Part 1 第1部

「今夜も犬が吠えなければよいのですが。聞こえると、どれも自分の犬ではと思うので」

“Let’s hope the dogs won’t bark again tonight. I always think it’s mine I hear. ...”

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」》

“Let’s hope レッツ・ホフ 1 複現・希望 v.t 期待しましょう

「動詞句」

n. ～ということを

「目的語」

the dogs サ・ドッグズ pl.n 犬が

「主語」

won’t bark ウウント・バーク 3 複未・否定 v.i 吠えないだろう

「動詞句」

again tonight. アゲン・トゥナイト adv. 今夜も

「副詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

think シンク 1 単現 v.t 思う

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は I hear）

’s イズ 3 単現 (be) v.i ～である

「動詞」

mine マイン pron 私の犬

「補語」

I hear. ...” アイ・ヒア n. 聞こえているのは

「主語」

Part 1 第1部

VI

その朝、僕は起きるのがとても辛くて、マリーは僕の肩を揺さぶって、僕の名前を叫ばなければならぬ程だった。

IT was an effort waking up that Sunday morning; Marie had to jog my shoulders and shout my name.

「動詞」「補語」「主語」; 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞句」「目的語」

IT イット pron 仮の主語 (真の主語は waking up 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」

an effort アン・エフォット n. 骨折り、苦闘 「補語」

waking up ウェイクング・アップ 現在分詞(wake up)v.t 起きることは 「主語」

that Sunday morning; サット・サンデー・モーニング n. その日曜日 「目的語」

Marie マリー n. マリーは 「主語」

had to jog ハット・トゥ・ジョグ 3 単過・必要(have to+不定詞 jog)
v.t 揺り動かさなければならなかった 「動詞句」

my shoulders マイ・ショウルダース pl.n 僕の肩を 「目的語」

and アンド conj. そして

shout シャウト 3 単過・必要(have to+不定詞 shout)v.t 叫ばなければならなかった 「動詞句」

my name. マイ・ネーム n. 僕の名前を 「目的語」

僕たちは早く水に入りたかったので、朝食のことは頭になかった。

As we wanted to get into the water early, we didn't trouble about breakfast.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

As アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」

we ウー pron.pl 僕たちは 「主語」

wanted to get ワンティット・トゥ・ゲット 1 複過・願望(want to+不定詞 get)

v.i(into に) 入りたかった 「動詞句」

into the water イントゥ・ザ・ウォーター adv. 水に 「副詞句」

early, アーリー adv. 早く 「副詞」

we ウー pron.pl 僕たちは 「主語」

didn't trouble デイトント・トラブル 1 複過・否定 v.i(about ~のことで) 心配しなかった 「動詞句」

about breakfast. アバウト・ブレックファスト adv. 朝食のことを 「間接目的語」

Part 1 第1部

僕は少し頭痛がした。今朝は煙草が苦かった。

My head was aching slightly and my first cigarette had a bitter taste.

「主語」「動詞句」「副詞」 and 「主語」「動詞」「目的語」

My head マイ・ヘッド^ˈ n. 僕の頭は

「主語」

was aching ワズ^ˈ・エイキング^ˈ 3 単過・進行形(ache)v.i 痛んでいた

「動詞句」

slightly スライトリー^ˈ adv. 少し

「副詞」

and アンド^ˈ conj. そして

my first cigarette マイ・ファースト・シガレット^ˈ n. 今朝の最初の煙草は

「主語」

had ハット^ˈ 3 単過(have)v.t (特徴) 〜だった

「動詞」

a bitter taste. ア・ビター・テイスト^ˈ n. 苦い味

「目的語」

マリーは僕が葬式の会葬者みたいだと言ったが、確かに僕はすごく体がだるかった。

Marie told me I looked like a mourner at a funeral, and I certainly did feel very limp.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and 「主語」「副詞」「動詞句」「補語」

Marie マリー^ˈ n. マリーは

「主語」

told トゥルド^ˈ 3 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

me ミー^ˈ pron 僕に

「間接目的語」

n. 〜ということを

「直接目的語」

I アイ^ˈ pron 僕は

「主語」

looked ルクト^ˈ 1 単過・時制の一致 v.i 〜のように見える

「動詞」

like a mourner ライク・ア・マーナー^ˈ adj. 会葬者のような

「補語」

at a funeral, アット・ア・フューネラル^ˈ adv. 葬式の

「副詞句」

and アンド^ˈ conj. そして

I アイ^ˈ pron 僕は

「主語」

certainly サートゥンリー^ˈ adv. 確かに

「副詞」

did feel デイット^ˈ・フィール^ˈ 1 単過・強調(feel → felt)v.i 〜の感じを覚えた

「動詞句」

very limp. ウェリー・リンプ^ˈ adj. とてもだるい

「補語」

彼女は白いドレスを着て、髪は束ねていなかった。

She was wearing a white dress and had her hair loose.

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞」「目的語」「補語」

She シー^ˈ pron 彼女は

「主語」

was wearing ワズ^ˈ・ウェアリング^ˈ 3 単過・進行形(wear)v.t 着ていた

「動詞句」

a white dress ア・ホワイト・ドレス^ˈ n. 白いドレスを

「目的語」

and アンド^ˈ conj. そして

had ハット^ˈ 3 単過(have)v.t(SVOC O を C の状態に) していた

「動詞」

Part 1 第1部

her hair ハー・ヘア n. 髪を

「目的語」

loose. ルース adj. 束ねていない

「補語」

僕が彼女にとってもきれいだと言うと、嬉しそうに笑った。

I told her she looked quite ravishing like that, and she laughed happily.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and「主語」「動詞」「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

told トルド 3 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

her ハー pron 彼女に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

looked ルト 3 単過・時制の一致 v.i ～に見える

「動詞」

quite ravishing クワイ・ラヴィシグ adj. とても美しい

「補語」

like that, ライク・ザット adv. その様子は、髪型は

「副詞句」

and アンド conj. すると

she シー pron 彼女は

「主語」

laughed ラフト 3 単過 v.i 笑った

「動詞」

happily. ハピリー adv. 嬉しそうに

「副詞」

僕たちは、出がけにレーモンの部屋をノックした。彼は、すぐ行くと大声で返事した。

On our way out we banged on Raymond's door, and he shouted that he'd be with us in a jiffy.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

On our way out オン・アウ・ウェイ・アウト adv(= on the way out) 出る途中で、出がけに「副詞句」

we ウー pron.pl 僕たちは

「主語」

banged バングト 1 複過(bang)v.i(on を) どんどん叩いた、ノックした

「動詞」

on Raymond's door, オン・レーモンズ・ドアー adv. レーモンの部屋のドアを

「間接目的語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

shouted シャウト 3 単過 v.t 叫んだ

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd be ウット・ビー 3 単現・意志(would be)v.i 行くつもりである

「動詞句」

with us ウイズ・アッス adv. 一緒に

「副詞句」

in a jiffy. イン・ナ・ジフィー adv. すぐに、ちょっとした間に

「副詞句」

Part 1 第1部

僕たちは通りへ降りた。僕の体調が不十分なことと部屋のブラインドをずっと下げたままにしていたことで、朝日の眩しい光が拳骨のような激しさで僕の目に射しつけた。

We went down to the street and, because of my being rather under the weather and our having kept the blind down in my room, the glare of the morning sun hit me in the eyes like a clenched fist. 「主語」「動詞句」「副詞句」,

and, 「副詞句」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

We ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」

went down ウェント・ダウン 1 複過(go down)v.i 降りた 「動詞句」

to the street トゥ・ザ・ストリート adv. 通りへ 「副詞句」

and, アント conj. そして

because of ビ・コース・オブ prep (理由) ~のために 「副詞句」

my being rather under the weather マイ・ビーイング・ラーサー・アンダー・ザ・ウェザー

n. 僕の体調

「目的語」

be under the weather 「かげんが悪い、元気がない」

and アント conj. そして

our having kept the blind down in my room,

アウア・ハヴィング・ケプト・ザ・ブラインド・ダウン・イン・マイ・ルーム

n. 部屋のブラインドを下げっぱなしにしていたこと 「目的語」

the glare of the morning sun ザ・グレア・オブ・ザ・モーニング・サン

n. 朝日の眩しい光が 「主語」

hit ヒット 3 単過(hit)v.t 射しつけた 「動詞」

me ミー pron 僕の 「直接目的語」

in the eyes イン・ズィ・アイズ adv. 目に 「間接目的語」

like a clenched fist. ライク・ア・クレンチド・フィスト adv. げんこつ (握り拳) のように 「副詞句」

フランス語の原文では

通りに出ると、疲れのせいもあるが、窓のよろい戸を開けないでいたせいで、すでに太陽がいつぱいの日差しが、平手打ちのように僕を叩きつけた。

Dans la rue, à cause de ma fatigue et aussi parce que nous n'avions pas ouvert les persiennes, le jour, déjà tout plein de soleil, m'a frappé comme **une gifle**.

Part 1 第 1 部

しかしながら、マリーはあわや踊りだしそうな程の勢いで喜んで、ずっと繰り返して言い続けていた。「なんていいお天気なの！」

Marie, however, was almost dancing with delight, and kept repeating, "What a heavenly day!"

Marie, マリー n. マリーは 「主語」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」

was almost dancing ワズ・オールモスト・ダンシング 3 単過・進行形・同然(dance)

v.i あわや踊りだしそうだった 「動詞句」

with delight, ウイズ・ディライト adv. 大喜びで 「副詞句」

and アンド conj. そして

kept repeating, ケプト・リピートイング 3 単過・継続・繰り返し(keep+現在分詞)

v.t 〜を繰り返し言っていた 「動詞句」

"What a heavenly day!" ファット・ア・ヘヴンリー・デイ

adv. なんて素晴らしい日なの！、なんて素敵なお天気！ 「感嘆」

少しすると、僕は少し気分が良くなってきて、自分が空腹だと気付いた。

After a few minutes I was feeling better, and noticed that I was hungry.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」,and「動詞」「目的語」

After a few minutes アフター・ア・フュー・ミニッツ adv. 少しすると 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was feeling ワズ・フィーリング 1 単過・進行形・変化(feel)v.i 〜の感じになってきた 「動詞句」

better, ベター adj. より良い 「補語」

and アンド conj. そして

noticed ノチスト 1 単過 v.t(that に) 気が付いた 「動詞」

that サット conj. 〜ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

hungry. ハングリー adj. 空腹な 「補語」

Part 1 第1部

僕はこのことをマリーに伝えたが、彼女は気に留めなかった。

I mentioned this to Marie, but she paid no attention.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」,but「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 mentioned メンショントゝ 1 単過 v.t 言った、伝えた 「動詞」
 this ズィス pron このことを 「直接目的語」
 to Marie, トゥ・マリー adv. マリーに 「間接目的語」
 but バット conj. しかし
 she シー pron 彼女は 「主語」
 paid ペイトゝ 3 単過(pay)v.t (注意を) 払った 「動詞」
 no attention. ノウ・アテンション n. 注意を〜ない 「目的語」

マリーは、防水布でできたビーチバッグを持ってきていたが、その中に、僕たちの海水浴用具一式とタオルを1枚詰め込んであった。

She was carrying an oilcloth bag in which she had stowed our bathing kit and a towel.

「主語」「動詞句」「目的語」
 She シー pron 彼女は 「主語」
 was carrying リズ・キャーリング 3 単過・進行形(carry)v.t 〜を持ってきた 「動詞句」
 an oilcloth bag アン・オイルクロス・バッグ n. 防水布のバッグを、ビーチバッグを 「目的語」
 in which イン・フィッチ adv. その中に〜する 「形容詞節」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 had stowed ハット・ストウトゝ 3 単過・完了形(stow)
 v.t 詰め込んでいた 「動詞句」
 our bathing kit アウ・ベィジング・キット
 n. 僕たちの海水浴用具一式 「目的語」
 and アントゝ conj. そして
 a towel. ア・タワル n. タオル1枚 「目的語」

ビーチバッグ：



ビーチバッグとは海辺やプールなどで用いられるバッグのことで、防水加工した素材やビニールなどの防水性のある素材が使われる。夏らしい色調で大胆な柄のことが多い。



Part 1 第1部

間もなく、レーモンが部屋のドアを閉める音が聞こえた。

Presently we heard Raymond shutting his door.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Presently プレズントリー adv. (文頭・文尾で) やがて、間もなく

「副詞」

we ウィー pron 僕たちは

「主語」

heard ハート 1 複過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた

「動詞」

Raymond レーモン n. レーモンが

「目的語」

shutting シャーティング 現在分詞・Raymond の動作(shut)v.t 閉める

「補語」

his door. ヒズ・ドアー n. 部屋のドアを

「目的語」

フランス語の原文では

もう待つしかなかった。レーモンが自分の部屋のドアを閉める音が聞こえた。

Je n'avais plus qu'à attendre et nous avons entendu Raymond fermer sa porte.

英語の翻訳文では、最初の節を **Presently** という単語だけで済ませている。

彼は、青いズボンを穿き、白の半そでシャツを着て、カンカン帽をかぶっていた。

He was wearing blue trousers, a short-sleeved white shirt, and a straw hat.

「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was wearing ワズ・ウェアリング 3 単過・進行形(wear)v.t 身に着けていた、着ていた

「動詞句」

blue trousers, ブルー・トラウザーズ pl.n 青いズボンを

「目的語」

a short-sleeved white shirt, ア・ショート・スリーヴド・ホワイト・シャツ n. 白の半そでシャツ

「目的語」

and アンド conj. そして

a straw hat. ア・ストロー・ハット n. 麦わら帽子、カンカン帽

「目的語」

かんかん帽：

麦わら帽子の一種。西洋発祥の帽子で、英語ではボーター (Boater)。海や川の水しぶきで帽子が柔らかくなって損傷するのを防ぐため、麦藁を平たくつぶして真田紐のように編んだ麦稈真田 (ばっかんさなだ) などの素材をプレスで固く成型し、ニスや糊などで塗り固めることにより軽くて耐久性のある帽子となっている。

天井とブリム (つば) が平らなのが特徴で、クラウン (帽子の山の部分) は円筒形である。多くの場合ハットバンド (リボン状の帯) が付いており、黒が正式な色とされている。



Part 1 第1部

僕は、彼の前腕がかなり毛深いことと対照的に、その下の肌が真っ白いことに気付いた。

I noticed that his forearms were rather hairy, but the skin was very white beneath.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that ザット conj. ～ということに

「目的語」

his forearms ヒズ・フォーラムズ pl.n 彼の前腕は

「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ～だった

「動詞」

rather hairy, ラーザー・ヘアリー adj かなり毛深い

「補語」

but バット conj. しかし

the skin ザ・スキン n. 肌は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

very white beneath. ヴェリー・ホワイト・ビネース adj. 毛の下で真っ白な

「補語」

前腕（ぜんわん）

ひじから手首までの部分

肌（はだ）

人のからだを覆う表皮。皮膚。

マリーはカンカン帽を見て笑った。僕は、彼の身なりに少し気持ち悪くなった。

The straw hat made Marie giggle. Personally, I was rather put off by his getup.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

The straw hat ザ・ストロー・ハット n. カンカン帽は

「主語」

made メイト 3 単過・使役(SVO+不定詞)v.t O に～させた

「動詞」

Marie マリー n. マリーを

「目的語」

giggle. ジグル 不定詞・Marie の動作 v.i 笑う

「補語」

Personally, パースナリー adv. (文頭で) 自分としては

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

was rather put off ワズ・ラーザー・プット・オフ 1 単過・受動(put off)

v.t 少し気持ち悪くなった、不快になった

「動詞句」

rather ラーザー adv. 少し、かなり put off プット・オフ v.t 不快にする

by his getup. バイ・ヒズ・ゲラップ adv. (動作主) 彼の身なりに

「副詞句」

Part 1 第1部

彼は上機嫌なようだった。口笛を吹きながら降りてきた。

He seemed in high spirits and was whistling as he came down the stairs.

「主語」「動詞」「補語」 and 「動詞句」「副詞節」

He ヒー pron 彼は

「主語」

seemed シームトゝ 3 単過 v.i 〜のように見えた

「動詞」

in high spirits イン・ハイ・スピリッツ adv. (状態) 上機嫌に

「補語」

and アントゝ conj. そして

was whistling ワズ・ワイズリングゝ 3 単過・進行形(whistle)v.i 口笛を吹いていた

「動詞句」

as アズゝ conj. (同時) 〜する時に

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i やって来た

「動詞句」

down the stairs. ダウン・ザ・ステアーズゝ adv. (方向) 階下に

「副詞句」

up the stairs 階上に

彼は僕には「やあ、あいぼう」と挨拶し、マリーのことは「お嬢さん」と呼んだ。

He greeted me with, "Hello, old boy!" and addressed Marie as "Mademoiselle."

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」「補語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

greeted グリーティットゝ 3 単過 v.t 挨拶した

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

with, "Hello, old boy!" ウイズ・ヘロー・オールド・ボーイ

adv. (手段) 「やあ、あいぼう」と言って

「副詞句」

and アントゝ conj. そして

addressed アドレスト 3 単過 v.t (as 〜と敬称で) 呼んだ

「動詞」

Marie マリー n. マリーを

「目的語」

as "Mademoiselle." アズ・マドモワゼル adj. 「お嬢さん」と

「補語」

Part 1 第1部

前日の午後、僕たちは警察署に出向き、そこで、僕は「あの女がレーモンを裏切った」のだと証言をした。それで、彼は注意を受け、放免された。

On the previous evening we had visited the police station, where I gave evidence for Raymond—about the girl's having been false to him. So they let him off with a warning.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 On the previous evening オン・ザ・プリーヴィアス・イブニング adv. 前日の午後 「副詞句」
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 had visited ハッド・ヴィジッテッド 1 複過・完了形(visit)v.t (場所へ) 行った 「動詞句」
 the police station, ザ・ポリース・ステイション n. 警察署に 「目的語」
 where ウェア adv. そこで～する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 gave ゲイヴ 1 単過(give)v.t 与えた 「動詞」
 evidence エヴィデンス n. 証拠を 「目的語」
 for Raymond— フォー・レーモン adv. レーモンのために 「副詞句」
 about アバウト prep (関連) ～について 「副詞句」
 the girl's ザ・ガールズ adj. あの女の 「形容詞句」
 having been ハヴィング・ビーン 現在分詞・完了形(be)
 v.i ～だった 「動詞句」
 false フォールス adj. 裏切った 「補語」
 to him. トゥ・ヒム adv. 彼を 「間接目的語」
 So ソ adv. それで 「副詞」
 they ゼイ pron 警察は 「主語」
 let ...off レット...オフ 3 複過(let off)v.t 放免した 「動詞句」
 受動態に翻訳する
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 with a warning. ウイズ・ア・ウォーニング adv. 注意を与えて 「副詞句」

警察は僕の証言を検証しなかった。

They didn't check my statement. 「主語」「動詞句」「目的語」
 They ゼイ pron.pl 警察は 「主語」
 didn't check デイdn't・チェック 3 複過・否定 v.t 検証しなかった、確認 「動詞句」
 my statement. マイ・ステイメント n. 僕の証言を 「目的語」

Part 1 第 1 部

警察署の玄関先で少し話してから、僕たちはバスに乗ることにした。

After some talk on the doorstep we decided to take the bus.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

After アフター prep (時間・順序) ~の後で

「副詞句」

some talk サム・トーク n. いくつかの会話

「目的語」

on the doorstep オン・ザ・ドアステップ adv. 玄関先で

「副詞句」

we ウー pron.pl 僕たちは

「主語」

decided to take デイサイド・ト・タ・テイク 1 複過・決定 v.t (乗り物に) 乗ることにした 「動詞句」

the bus. ザ・バス n. バスに

「目的語」

フランス語の原文では

僕らは玄関先でそのことについてレーモンと話した。それからバスに乗ることにした。

Devant la porte, nous en avons parlé avec Raymond, puis nous avons décidé de prendre l' autobus.

その浜はさほど遠くなかったのだが、早く着いたほうがいいだろうと思ったのだ。

The beach was within easy walking distance, but the sooner we got there the better.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 ,but 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「副詞句」

The beach ザ・ビーチ n. その浜は

「主語」

was ワズ 3 単過・存在(be)v.i ~にあった

「動詞」

within easy walking distance, ウィズ イン・イージー・ウォーキング・ディスタンス

adv. (程度) 楽に歩いて行ける距離に

「副詞句」

but バット conj. しかし

the sooner ザ・スナー adv. (比較級...比較級) 早ければ早いほど

「副詞句」

we ウー pron.pl 僕たちが

「主語」

got ゴット 1 複過・条件(get)v.i 着くならば

「動詞」

there ゼア adv. そこに

「副詞」

the better. ザ・ベター adv. (比較級) より良いだろう

「副詞句」

Part 1 第1部

ちょうど僕たちがバス停に向かって歩き始めた時、レーモンが僕の袖を引っ張って、僕に通りの向こう側を見ろと言った。

Just as we were starting for the bus stop, Raymond plucked my sleeve and told me to look across the street.

	「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」「補語」
Just as ジャスト・アズ [°] conj. ちょうど〜した時に	「副詞節」
we ウー pron.pl 僕たちが	「主語」
were starting ワー・スターティング [°] 1 複過・進行形(start)v.i 歩き始めた	「動詞句」
for the bus stop, フォー・ザ・バス・ストップ [°] adv. バス停に向かって	「副詞句」
Raymond レーモン n. レーモンが	「主語」
plucked プラクト 3 単過 v.t 引っ張った	「動詞」
my sleeve マイ・スリーヴ [°] n. 僕の袖を	「目的語」
and アンド [°] conj. そして	
told トゥルト [°] 3 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
me ミー pron 僕に	「目的語」
to look トゥ・ルック 不定詞・me の動作 v.i 見る	「補語」
across the street. アクロス・ザ・ストリート [°] adv. 通りの向こう側を	「副詞句」

僕は数人のアラブ人がタバコ屋のショーウィンドーにもたれかかっているのが見えた。

I saw some Arabs lounging against the tobacconist's window.

	「主語」「動詞」「目的語」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
saw ソー 1 単現・知覚動詞(see)v.t 見えた	「動詞」
some Arabs サム・アラブズ [°] pl.n 数人のアラブ人が	「目的語」
lounging ラウジング [°] 現在分詞・Arabs の動作 v.i(against に) もたれかかっている	「補語」
against the tobacconist's window. アゲンスト・ザ・タバコニスト・ウィンドウ [°]	
adv. (対象) タバコ屋のショーウィンドーに	「副詞句」

彼らは無言で僕たちをじっと見つめていた。それは、僕たちをまるで石ころや枯れ木と見なしているような、彼らの民族独特のやり方だった。

They were staring at us silently, in the special way these people have—as if we were blocks of stone or dead trees.

	「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
They ゼイ pron.pl 彼らは	「主語」
were staring ワー・ステアリング [°] 3 複過・進行形(stare)v.i(at を) じっと見ていた	「動詞句」
at us アット・アッス [°] adv. 僕たちを	「間接目的語」
silently, サイレントリー [°] adv. 無言で	「副詞」

Part 1 第 1 部

in the special way	イン・ザ・スペシャル・ウェイ adv. 特別のやり方で	「副詞句」
these people have—	ジーズ・ピープル・ハヴ adj. この民族が持つ	「形容詞節」
as if	アズ・イフ conj. まるで～のように	「副詞節」
we	ウィー pron 僕たちは	「主語」
were	ワー 3 複過・時制の一致・推測(be)v.i ～である	「動詞」
blocks of stone	ブロックス・オブ・ストーン pl.n 石ころ	「補語」
or	アア conj. それとも	
dead trees.	デッド・トゥリーズ pl.n 枯れ木	「補語」

レーモンは、左から 2 番目のアラブ人があいつだ、と小声で言った。それで、僕は彼が少し心配していると思った。しかし彼は、あれは終わったことだと言って僕を安心させた。

Raymond whispered that the second Arab from the left was “his man,” and I thought he looked rather worried. However, he assured me that all that was ancient history.

「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

However「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Raymond	レーモン n. レーモンは	「主語」
whispered	ウイスポード 3 単過 v.t(that と) 小声で言った	「動詞」
that	ザット conj. ～ということを	「目的語」
the second Arab	ザ・セカント・アラブ n. 2 番目のアラブ人が	「主語」
from the left	フロム・ザ・レフト adv. 左から	「副詞句」
was	ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
“his man,”	ヒズ・マン n. 奴、問題の相手	「補語」
and	アント conj. そして	
I	アイ pron 僕は	「主語」
thought	ソート 1 単過(think)v.t 思った	「動詞」
n.	～ということを	「目的語」
he	ヒー pron 彼は	「主語」
looked	ルクト 3 単過 v.i(SVC) ～に見えた	「動詞」
rather worried.	ラーザー・ウオリット adj. 少し心配そうな	「補語」
However,	ハウエヴァー conj. しかし	
he	ヒー pron 彼は	「主語」
assured	アシュアト 3 単過 v.t 安心させた	「動詞」
me	ミー pron 僕に	「間接目的語」
that	ザット conj. ～ということを	「直接目的語」
all that	オール・ザット pron あのことは全部	「主語」
was	ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」

Part 1 第1部

ancient history. エインシェント・ヒストリー n. 昔の話、終わったこと

「補語」

レーモンの話のいきさつを聞いていなかったマリーが尋ねた、《どうということなの?》

Marie, who hadn't followed his remarks, asked, "What is it?"

「主語」「動詞」, 《「補語」「動詞」「主語」》

Marie, マリー n. マリーは

「主語」

who フー pron (主語) ~する

「形容詞節」

hadn't followed ハドント・フォロウド 3 単過・完了形・否定

v.t (話のいきさつを) 聞いていなかった

「動詞句」

his remarks, ヒズ・リマークス pl.n レーモンの話を

「目的語」

asked, アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

"What ファット pron 何

「補語」

is イズ 3 単過(be)v.i ~である

「動詞」

it?" イット pron それは

「主語」

僕は、通りの向かい側のアラブ人たちはレーモンに恨みを抱いているんだと説明した。

I explained that those Arabs across the way had a grudge against Raymond.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した

「動詞」

that ザット conj. ~ということを

「目的語」

those Arabs ゴウス・アラブズ pl.n あのアラブ人たちは

「主語」

across the way アクロス・ザ・ウェイ adv. 通りの向こう側にいる

「副詞句」

had ハット 3 複過・時制の一致(have)v.t ~がある

「動詞」

a grudge ア・グラッジ n. 恨み

「目的語」

against Raymond. アゲンスト・レーモン adv. レーモンに対して

「副詞句」

彼女はすぐにここを立ち去ろうと熱望した。それからレーモンは笑い、肩を怒らせて気持ちを切り替えた。

She insisted on our going at once. Then Raymond laughed, and squared his shoulders.

「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞」 and 「動詞」「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

insisted インシステイト 3 単過 v.i(on を) 主張した

「動詞」

on our going at once. オン・アウ・ゴウイング・アット・ワンス adv. すぐに立ち去ることを「間接目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

Part 1 第1部

laughed, ラフト 3 単過 v.i 笑った 「動詞」
 and アンド conj. そして
 squared スクェアト 3 単過 v.t (肩を) 角ばらせた 「動詞」
 his shoulders. ヒズ・ショルダーズ pl.n 肩を 「目的語」

「その娘さんの言う通りだ」と、レーモンは言った。ここにはうろつく場所がなかった。

The young lady was quite right, he said. There was no point in hanging about here.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」 | 「動詞句」「主語」「副詞」

The young lady ザ・ヤング・レディ n. その娘さんは 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 quite right, クワイ・ライト adj. 全く正しい 「補語」
 he ヒー pron レーモンは 「主語」
 said. セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 no point ノ・ポイント n. 場所が〜ない 「主語」
 in hanging about イン・ハンギング・アバウト adv. (目的) うろつくための 「副詞句」
 here. ヒア adv. ここには 「副詞」

バス停に向かう間に、彼は肩越しに後ろを見て、アラブ人たちはつけて来ていないと言った。

Halfway to the bus stop he glanced back over his shoulder and said the Arabs weren't following.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」

Halfway to the bus stop ハーフウェイ・トゥ・ザ・バス・ストップ

adv. バス停に向かって行く途中で 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 glanced back グランスト・バック 3 単過 v.i 振り返って見た 「動詞句」
 over his shoulder オヴァー・ヒズ・ショルダー adv. 肩越しに 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. 〜ということ 「目的語」
 the Arabs ズィ・アラブズ pl.n アラブ人たちは 「主語」
 weren't following. ワrent・フォロウイング 3 複過・進行形・時制の一致(follow)
 v.i つけて来ていない 「動詞句」

Part 1 第1部

僕も振り返った。彼らは相変わらず同じ場所にいて、先ほどと同じあいまいな様子で、僕たちがいた場所を見つめていた。

I, too, looked back. They were exactly as before, gazing in the same vague way at the spot where we had been. 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」

I, アイ pron 僕は 「主語」

too, トゥー adv. とも 「副詞」

looked back. ルク・バック 1 単過(look back)v.i 振り返った 「動詞句」

They ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

were ワー 3 複過・存在(be)v.i 〜にいた 「動詞」

exactly as before, イグザクトリー・アズ・ビフォー adv. 先ほどと同じ場所に 「副詞句」

gazing ゲイジング 現在分詞・同時(gaze)v.i(at を) 見つめながら 「副詞句」

in the same vague way イン・ザ・セム・ウェイグ・ウェイ adv. 同じあいまいな様子で 「副詞句」

at the spot アット・ザ・スポット adv. その場所を 「間接目的語」

where ウェア adv. そこで〜する 「形容詞節」

we ウー pron.pl 僕たちが 「主語」

had been. ハッド・ビーン 1 複過・存在・完了形(be)

v.i 〜にいた 「動詞句」

僕たちがバスに乗ると、今ではすっかり安心した様子のレーモンが、マリーを喜ばせようと冗談を連発していた。

When we were in the bus, Raymond, who now seemed quite at ease, kept making jokes to amuse Marie. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

When ホエン conj. 〜すると、〜する時 「副詞節」

we ウー pron.pl 僕たちが 「主語」

were ワー 1 複過・移動(be)v.i (乗り物) 〜にのった 「動詞」

in the bus, イン・ザ・バス adv. バスに 「間接目的語」

Raymond, レーモン n.m レーモンが 「主語」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

now ナウ adv. 今は 「副詞」

seemed シームト 3 単過 v.i 〜に見えた 「動詞」

quite at ease, クワイット・アット・イーズ adj. 非常に安心した 「補語」

kept making ケプト・メイキング 3 単過・継続(keep+現在分詞 make)

v.t (行為を) し続けていた 「動詞句」

jokes ジョックス pl.n 冗談を 「目的語」

to amuse トゥ・アミューズ 不定詞・目的 adv. 楽しませる 「副詞句」

Marie. マリー n. マリーを 「目的語」

Part 1 第1部

彼はマリーが気に入ったように見えた。しかしマリーは、彼とほとんど言葉を交わさなかった。時々、僕の視線をとらえようとして、笑った。

I could see he was attracted by her, but she had hardly a word for him. Now and again she would catch my eye and smile.

「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」and「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 could see クッド・シー 1 単過・可能 v.t 分かった 「動詞句」
 n. ～ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was attracted ワズ・アトラクティッド 3 単過・受動 v.t 魅惑された、気に入った 「動詞句」
 by her, バイ・ハー adv. 彼女が 「間接目的語」
 but バット conj. しかし
 she シー pron 彼女は 「主語」
 had hardly ハッド・ハーディー 3 単過・否定(have)v.t (動作を) ほとんどしなかった 「動詞句」
 a word ア・ワート n. 話を、言葉を 「直接目的語」
 for him. フォー・ヒム adv. 彼に 「間接目的語」
 Now and again ナウ・アンド・アゲイン adv. 時々 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 would catch ウッド・キャッチ 3 単過・願望・意志(would+不定詞)v.t とらえようとした 「動詞句」
 my eye マイ・アイ n. 僕の視線を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 smile. スマイル 3 単過・意志(would+不定詞)v.i 笑った 「動詞句」

フランス語の原文では

elle le regardait en riant. 笑いながら彼を見ていた。

僕たちはアルジェの郊外でバスを降りた。

We alighted just outside Algiers. 「主語」「動詞」「副詞句」

We ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」

alighted アライティッド 1 複過 v.i 降りた 「動詞」

just outside Algiers. ジャスト・アウトサイド・アルジェーズ adv. アルジェの郊外で 「副詞句」

just outside ジャスト・アウトサイド prep (位置) ～を出てすぐのところ

Part 1 第1部

浜はバス停から遠くない所にある；しかし、海を見渡す高台を横切っていかなければならない。それから、岩棚が急勾配で砂地まで下っている。

The beach is not far from the bus stop; one has only to cross a patch of highland, a sort of plateau, which overlooks the sea and shelves down steeply to the sands.

「主語」「動詞」「副詞句」；「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」
 The beach ザ・ビーチ n. 浜は 「主語」
 is イズ 3 単現・存在(be)v.i 〜にある 「動詞」
 not far from the bus stop; ノット・ファー・フロム・ザ・バス・ストップ° adv. バス停から遠くない 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 has only to cross ハズ・オンリー・ハズ・トゥ・クロス 3 単現・必要(have to+不定詞)
 v.t 横切らなくてはならない 「動詞句」
 a patch of highland, ア・パッチ・オブ・ハイレント° n. 高地を 「目的語」
 a sort of plateau, ア・ソート・オブ・プラトー adj. 台地のような 「形容詞句」
 which フィッチ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 overlooks オヴャールクス 3 単現 v.t 見渡す 「動詞」
 the sea ザ・シー n. 海を 「目的語」
 and アント° conj. そして
 shelves シェルヴズ° pl(shelf).n 岩棚が 「主語」
 down ダウン 3 複現 v.i 下っている 「動詞」
 steeply スティープリー adv. 急角度で 「副詞句」
 to the sands. トゥ・ザ・サント° adv. 砂地へ 「副詞句」

ここの地面は、暑い日が続いて激しくぎらつく空の青に対して雪のような白さを見せる野生のユリと黄色っぽい小石に覆われていた。

The ground here was covered with yellowish pebbles and wild lilies that showed snow-white against the blue of the sky, which had already the hard, metallic glint it gets on very hot days.

The ground here ザ・グラウンド・ヒア n. ここの地面は 「主語」
 was covered ワズ・カヴァード° 3 単過・受動 v.t 覆われていた 「動詞句」
 with ウイズ° prep (動作主) 〜によって 「副詞句」
 yellowish pebbles イェロウイッシュ・ペブルズ° pl.n 黄色っぽい小石 「目的語」
 and アント° conj. そして
 wild lilies ワイルド・リリーズ° pl.n 野生のユリ 「目的語」
 that ザット pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 showed ショウト° 3 単過 v.t 見せた 「動詞」
 snow-white スノウ・ホワイト n. 雪のような白さを 「目的語」

Part 1 第 1 部

against the blue of the sky, アゲンスト・ザ・ブルー・オブ・ザ・スカイ

adv. 空の青に対して

「副詞句」

which フィッチ pron (主語) ～する

「形容詞節」

had ハット 3 単過(have)

v.t (状態を) していた

「動詞」

already オールディ adv. すでに

「副詞」

the hard, metallic glint ザ・ハート・メタリック・グリント

n. 激しくきらつく輝き

「目的語」

it イット pron 天気は

「主語」

gets on ゲッツ・オン 3 単現

v.i 進行している

「動詞句」

very hot days. ウェリー・ホット・デイズ

pl.n 暑い日

「補語」

フランス語の原文では

既に目に痛いほどの明るい青空の下で、そこは黄色い石と真っ白いアスフォデルで覆われていました。

Il était couvert de pierres jaunâtres et d'asphodèles tout blancs sur le bleu déjà dur du ciel.

アスフォデル

ススキノキ科(旧分類=ユリ科)の水仙の一種で、白い花が房状に咲く。

マリーは、ビーチバッグを花に叩きつけて、花びらを辺り一面に散らせて喜んでいた。

Marie amused herself swishing her bag against the flowers and sending the petals showering in all directions.

「主語」「動詞句」「副詞句」and「副詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

amused herself アミューズト・ハーセルフ 3 単過・再帰(amuse oneself)

v.pr 喜んでいた、楽しんでいた

「動詞句」

swishing スイシグ 現在分詞・同時(swish)adv. (手段) 振り回して

「副詞句」

her bag ハー・バック n. ビーチバッグを

「目的語」

against the flowers アゲンスト・ザ・フラウワーズ adv. 花に向って

「副詞句」

and アンド conj. そして

sending センディング 現在分詞・同時・使役(send O+現在分詞)adv. O に～させて

「副詞句」

the petals ザ・ペタルズ pl.n 花びらを

「目的語」

showering シャウリング 現在分詞・petals の動作(shower)

v.i 雨のように降り注ぐ

「補語」

in all directions. イン・オール・ディレクションズ adv. 四方八方に

「副詞句」

Part 1 第1部

それから僕たちは、木製のバルコニーと緑や白の柵のある、2列になった小さな家並みの間を歩いた。

Then we walked between two rows of little houses with wooden balconies and green or white palings. 「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」

Then ゼン adv. それから 「副詞」

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

walked ウォークト 1 複過 v.i 歩いた 「動詞」

between two rows of little houses ビトウイン・トゥ・ロウス・オブ・リトル・ハウゼス

adv. 2列になった小さな家並みの間を 「副詞句」

with ウィズ prep (様態) ーのある 「副詞句」

wooden balconies ウッド・カン・バルコニーズ pl.n 木製のバルコニー 「目的語」

and アンド conj. そして

green or white palings. グリーン・オブ・ホワイ・ペ イリクス

pl. 緑や白の柵 「目的語」

ある家はタマリスクの茂みに埋もれそうになっていた；またある家は石ころだらけの高台からむき出しの状態で立ち上がっている有様だった。

Some of them were half hidden in clumps of tamarisks; others rose naked from the stony plateau. 「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞」「補語」

Some of them サム・オブ・ゼム pron.pl いくつかの家は 「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ーだった 「動詞」

half hidden ハーフ・ヒドゥン adj. 半分隠れた 「補語」

in clumps of tamarisks; イン・クランプ ス・オブ・タマリスク

adv. タマリスクの茂みの中に 「副詞句」

others アザース pron.pl そのほかは 「主語」

rose ローズ 3 複過(rise)v.i 立ち上がっていた 「動詞」

naked ネイクト adj. むき出しの状態で、飾りのない 「補語」

from the stony plateau. フロム・ザ・ストーン・プラトゥ

adv. 石ころだらけの大地から 「副詞句」

タマリスク tamarisk : 学名 Tamarix tetrandra ギョリュウ属
高さは2~3m程度。中国産の Tamarix chinensis の高さは3~5m程度。



Part 1 第1部

僕たちが高台の終わりに着く前に、海はもう全体を見渡すことが出来た；海は鏡のように滑らかで、遠くの方に、大きな岬が、それ自身が映り込んでいる海面の上方に張り出していた。

Before we came to the end of it, the sea was in full view; it lay smooth as a mirror, and in the distance a big headland jutted out over its black reflection.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」 ; 「主語」 「動詞」 「補語」 ,
and 「副詞節」 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Before ビフォー conj. ～する前に 「副詞節」
we ウー pron.pl 僕たちが 「主語」
came ケム 1 複過(come)v.i 来る 「動詞」
to the end of it, トゥ・ザ・エンド・オブ・イット adv. 高台の終わりに 「間接目的語」
it は plateau の代用
the sea ザ・シー n. 海は 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
in full view; イン・フル・ビュー adv. 丸見えの 「補語」
it イット pron(sea の代用) 海は 「主語」
lay レイ 3 単過(lie)v.i 横たわっていた、～の状態だった 「動詞」
smooth スムーズ adj. 穏やかな、波の無い 「補語」
as a mirror, アズ・ア・ミラー adv. 鏡のように 「副詞句」
and アンド conj. そして
in the distance イン・ザ・ディスタンス adv. 遠くには 「副詞句」
a big headland ア・ビグ・ヘッドランド n. 大きな岬が 「主語」
jutted out ジャッテイト・アウト 3 単過(jut out)v.i 突き出していた、張り出していた 「動詞句」
over its black reflection. オウヴァー・イツ・ブラック・リフレクション
adv. それ自身が映り込む海面の上方に 「副詞句」

静かな大気の向こうから、エンジンの音がかすかに伝わって来た。そしてはるか遠くの穏やかな眩しい海上を一隻の漁船が非常にゆったりと進んでいるのが見えた。

Through the still air came the faint buzz of a motor engine and we saw a fishing boat very far out, gliding almost imperceptibly across the dazzling smoothness.

「副詞句」 「動詞」 「主語」 and 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 「補語」

Through スルー prep (貫通) ～を通して 「副詞句」
the still air ザ・スチル・エア n. 静かな大気 「目的語」
came ケム 3 単過(come)v.i 達した 「動詞」
the faint buzz ザ・フェイント・バズ n. かすかな響きが 「主語」
of a motor engine オブ・ア・モーター・エンジン adj. エンジンの 「形容詞句」

Part 1 第1部

and アンド conj. そして

we ウー pron.pl 僕たちは

「主語」

saw ソー 1 複過・知覚動詞(see)v.t 見えた

「動詞」

a fishing boat ア・フィッシング・ボート n. 漁船が

「目的語」

very far out, ヴェリー・ファー・アウト adv. はるか遠くに

「副詞句」

gliding グライディング 現在分詞・boat の動作(glide)v.i 滑るように進んでいる

「補語」

almost imperceptibly オールモウスト・インパ・セプ・チブリー

adv. ほとんど気付かないほどに

「副詞句」

across アクロス prep (運動) ～を横切って

「副詞句」

the dazzling smoothness. ザ・ダズリング・スムースニス

n. 穏やかで眩しい海面を

「目的語」

マリーは岩アヤメを摘んだ。海へ続く急こう配の小道を降りていくと、砂浜にはすでに何人かの海水浴客の姿があった。

Marie picked some rock irises. Going down the steep path leading to the sea, we saw some bathers already on the sands.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

picked ピックト 3 単過(pick)v.t (花を) 摘んだ

「動詞」

some rock irises. サム・ロック・アイリシーズ pl.n ロック・アイリスの花を

「目的語」

岩場に咲く、小柄なアヤメ

Going ゴウイング 現在分詞・様態(go)v.i(down) 降りていくと

「副詞句」

down the steep path ダウン・ザ・スティープ・パス

adv. 急こう配の小道を(降りて)

「間接目的語」

leading リーディング 現在分詞(lead)v.t 導く、～に至る

「形容詞句」

to the sea, トゥ・ザ・シー adv. 海に

「間接目的語」

we ウー pron 僕たちは

「主語」

saw ソー 1 複過(see)v.t 見えた

「動詞」

some bathers サム・ベ・イザーズ pl.n 海水浴をする人たちが

「目的語」

bather ベ・イザー n. 海水浴をする人

already on the sands. オール・レディ・オン・ザ・サント adv. すでに砂浜には

「副詞句」

Part 1 第1部

レーモンの友人は浜のはずれ辺りに小さな木造の別荘を所有していた。

Raymond's friend owned a small wooden bungalow at the near end of the beach.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Raymond's friend レーモンズ・フレンド n. レーモンの友人は

「主語」

owned オウンド 3 単過 v.t 所有していた、持っていた

「動詞」

a small wooden bungalow ア・スモール・ウド・カン・バンガロウ n. 小さな木造の別荘を

「目的語」

at the near end of the beach. アット・ザ・ニア・エンド・オブ・ザ・ビーチ

adv. 浜のはずれ辺りに

「副詞句」

家の裏側は岸壁に面して設置されていた。一方、家の正面は杭の上に立っていたが、海水がすでに杭にひたひたと打ち寄せていた。

Its back rested against the cliffside, while the front stood on piles, which the water was already lapping.

「主語」「動詞」「副詞句」, while 「主語」「動詞」「副詞句」

Its back イッツ・バック n. 家の裏側は

「主語」

rested レステット 3 単過(rest)v.i (～に) 置かれていた

「動詞」

against the cliffside, アゲンスト・ザ・クリフサイド adv. (対照) 岸壁に面して

「副詞句」

while ホワイ conj. 一方～

the front ザ・フロント n. 家の正面は

「主語」

stood ストゥッド 3 単過(stand)v.i 立っていた

「動詞」

on piles, オン・パイルズ adv. 杭の上に

「副詞句」

which フィッチ pron (目的語) ～する

「形容詞節」

the water ザ・ウォーター n. 海水が

「主語」

was already lapping. ワズ・オールディ・ラッピング 3 単過・進行形(lap)

v.t ひたひたと打ち付けていた

「動詞句」

レーモンが友人に僕たちを紹介した。友人はマソンという名前だ。

Raymond introduced us to his friend, whose name was Masson.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, 「主語」「動詞」「補語」

Raymond レーモン n. レーモンが

「主語」

introduced イントロデュースト 3 単過 v.t 紹介した

「動詞」

us アッス pron.pl 僕たちを

「直接目的語」

to his friend, トゥ・ヒズ・フレンド adv. 彼の友人に

「間接目的語」

whose name フーズ・ネーム n. 友人の名前は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

Masson. マッソ n. マソン

「補語」

Part 1 第 1 部

マソンは背が高く、肩幅が広く、太くがっしりした体格だ；彼の奥さんは小柄でぽっちゃりした愛嬌のある女性で、パリなまりがあった。

He was tall, broad-shouldered, and thick-set; his wife was a plump, cheerful little woman who spoke with a Paris accent. 「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron マソンは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

tall, トール adj. 背が高い 「補語」

broad-shouldered, ブロード・ショルダート adj. 肩幅の広い 「補語」

and アンド conj. そして

thick-set; チックセット adj. 太くがっしりした 「補語」

his wife ヒズ・ワイフ n. 彼の奥さんは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

a plump, ア・プランプ adj. ぽっちゃりした 「形容詞句」

cheerful little チアフル・リトル adj. 小柄で愛嬌のある 「形容詞句」

woman ウーマン n. 女性 「補語」

who フー pron 彼女は 「主語」

spoke スポーク 3 単過・時制の一致(speak)v.i 話す 「動詞」

with a Paris accent. ウイズ・ア・パリス・アクセント adv. パリなまりで 「副詞句」

紹介が終わるとすぐに、マソンは僕たちにくつろいでくれと言った。

Masson promptly told us to make ourselves at home.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「補語」

Masson マソン n. マソンは 「主語」

promptly プロンプトリー adv. すぐに 「副詞」

told トールド 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

us アス pron 僕たちに 「目的語」

to make ourselves トゥ・メイク・アワセルヴズ 不定詞(make onself)・us の動作

v.pr 〜のように振舞う 「補語」

at home. アット・ホーム adv. 気楽に、くつろいで、自宅のように 「補語」

Part 1 第1部

朝一番で釣りに行って来たから、と彼が言った、昼には魚のフライを出せるだろう。

He had gone out fishing, he said, first thing in the morning, and there would be fried fish for lunch.

「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」, 「副詞句」, and 「動詞句」「主語」「副詞句」
 He は pron 彼は 「主語」
 had gone out fishing, ハッド・ゴウン・アウト・フィッシング 3 単過・完了形・しに行く (go out+現在分詞)
 v.i 釣りに出かけていた 「動詞句」
 he は pron 彼は 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 first thing in the morning, ファースト・シング・イン・ザ・モーニング adv. 朝一番で 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 there would be ゼア・ウット・ビー 3 複未・予定(there be)v.i 〜があるだろう 「動詞句」
 fried fish フライド・フィッシュ n. 魚のフライ 「主語」
 for lunch. フォー・ランチ adv. 昼食に 「副詞句」

フランス語の原文では

午前中に釣った魚のフライも用意してあると告げた。

il y avait une friture de poissons qu'il avait pêchés le matin même.

→ 紹介が終わった時はもう昼食の時間が迫っていて、魚のフライはすでに出来ていた

僕は彼に良い別荘ですねと祝辞を述べた。すると彼は、週末と休暇はいつもここで過ごしていると答えた。

I congratulated him on his little bungalow, and he said he always spent his week ends and holidays here.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, and 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 congratulated コングラチュレイティッド 1 単過 v.t(on 〜のことで) お祝いの述べた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「直接目的語」
 on his little bungalow, オン・ヒズ・リトル・バンガロウ adv. (関連) 別荘について 「間接目的語」
 bungalow バンガロウ n. 平屋住宅、小別荘 (summer cottage)
 and アンド conj. そして
 he は pron 彼は 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 答えた 「動詞」
 n. 〜ということを 「目的語」
 he は pron 彼は 「主語」
 always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」
 spent スpent 3 単過・時制の一致(spend)v.t 過ごしている 「動詞」

Part 1 第1部

his week ends and holidays ヒズ・ウィーク・エンズ・アント・ホリデイズ

pl.n 週末と休暇を

「目的語」

here. ヒア adv. ここで、この別荘で

「副詞」

「妻とは、誰でも気が合うんです」と、彼は付け加えた。

“With the missus, needless to say,” he added.

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」

“With the missus, ウイズ・ザ・ミスズ adv. (対象) 家内となら

「副詞句」

missus ミスズ n.(= missis) 家内、妻

needless to say,” ニードレス・トゥ・セイ

adv. 話す必要がない、もちろん

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

added. アディト 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

フランス語の原文では

「妻は、誰とでも仲良くなるんです」と、彼が付け加えた。

«Avec ma femme, on **s’entend** bien», a-t-il ajouté.

s’entendre ソントントゥル v.pr(avec と) 理解しあう、仲が良い、気が合う

彼の奥さんの方をちらっと見ると、マリーと一緒に笑ったりおしゃべりをして、互いに気が合っているように見えた。

I glanced at her, and noticed that she and Marie seemed to be getting on well together; laughing and chattering away. 「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

glanced グランスト 1 単過 v.i(at を) ちらっと見た

「動詞」

at her, アット・ハー adv. 彼女を

「間接目的語」

and アント conj. そして

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

she and Marie シー・アント・マリー pl.n 彼の奥さんとマリーが

「主語」

seemed to be getting on シームト・トゥ・ビー・ゲティング・オン 3 複過・変化(seem+to 不定詞・進行形)

v.i ～になっているように見えた

「動詞句」

well together; ウェル・トギザザー adv. 互いに気が合う

「補語」

laughing and chattering away. ラーフィング・アント・チャタリング・アウェイ 現在分詞・様態

adv. 笑ったりお喋りをして

「副詞句」

Part 1 第 1 部

恐らく初めて、まもなく彼女と結婚するのだと、本気で考えた。

For the first time, perhaps, I seriously considered the possibility of my marrying her.

「副詞句」、「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

For the first time, フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 初めて

「副詞句」

perhaps, ハップス adv. 多分、恐らく

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

seriously シリアスリー adv. 真剣に、本気で

「副詞」

considered コンシダート 1 単過 v.t よく考えた

「動詞」

the possibility ザ・ポッシビリティ n. 可能性を

「目的語」

of my marrying her. オフ・マイ・マリイング・ハー

adj. 僕が彼女と結婚しそうな

「形容詞句」

マソンはすぐにひと泳ぎしたいと言ったが、彼の妻とレーモンは動きたがらなかった。

Masson wanted to have a swim at once, but his wife and Raymond were disinclined to move.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, but 「主語」「動詞」「補語」

Masson マソン n. マソンは

「主語」

wanted to have ウンテイト・トゥ・ハヴ 3 単過・願望(want to+不定詞 have)

v.t (動作を) したがった

「動詞句」

a swim ア・スィム n. ひと泳ぎ

「目的語」

at once, アット・ワンス adv. すぐに

「副詞句」

but バット conj. しかし

his wife and Raymond ヒズ・ワイフ・アント・レーモン pl.n 彼の妻とレーモンは

「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ~だった

「動詞」

disinclined ディスインクライント adj. 乗り気でない

「補語」

to move. トゥ・ムーヴ adv. (目的) 体を動かすことに

「副詞句」

それで、マリーとマソンそして僕の 3 人だけで浜へ降りて行った。

So only the three of us, Marie, Masson, and myself, went down to the beach.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」

So ソ adv. それで

「副詞」

only the three of us, オンリー・ザ・スリー・オフ・アッス pl.pron 僕たちは 3 人だけで

「主語」

Marie, Masson, and myself, マリー・マソン・アント・マイセルフ

pl.n マリーとマソンそして僕は

「主語」

went down ウェント・ダウン 1 複過 go down)v.i 降りて行った

「動詞句」

to the beach. トゥ・ザ・ビーチ adv. 浜へ

「間接目的語」

Part 1 第1部

マリーはすぐ海に飛び込んだが、マソンと僕は少しの間待った。

Marie promptly plunged in, but Masson and I waited for a bit.

「主語」「副詞」「動詞句」,but「主語」「動詞」「副詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

promptly プロンプトリー adv. すぐに

「副詞」

plunged in, プランジト・イン 3 単過(plunge in)v.i 飛び込んだ

「動詞句」

but バット conj. しかし

Masson and I マソン・アント・アイ pl.n マソンと僕は

「主語」

waited ウェイトット 1 複過 v.i 待った

「動詞」

for a bit. フォー・ア・ビット adv. 少しの間

「副詞句」

彼はかなりゆっくり話した。そして、気付いたのだが、話の途中で「そしてさらに言えば」という癖があった。そして、最初の言葉に何も追加しなくてもそう言っていた。

He was rather slow of speech and had, I noticed, a habit of saying “and what’s more” between his phrases—even when the second added nothing really to the first.

「主語」「動詞」「補語」 and 「動詞」, 「副詞句」, 「目的語」「副詞節」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

rather slow of speech ラーサー・スロウ・オブ・スピーチ adj. 話し方がかなり遅い

「補語」

and アント conj. そして

had, ハット 3 単過(have)v.t 〜があった

「動詞」

I noticed, アイ・ノウチスト adv. 気付いたのだが

「副詞句」

a habit ア・ハビット n. 癖が

「目的語」

of saying “and what’s more” オフ・セイイング・アント・ファッツ・モア

adj. (同格)「そしてさらに言えば」と言う

「形容詞句」

between his phrases—ヒトウイン・ヒズ・フレイジズ

adv. 言葉の間に

「副詞句」

even when イーヴン・ヘン conj. (時) 〜の時ですえ

「副詞節」

the second サ・セカント pron 次の言葉が

「主語」

added アディット 3 単過・時制の一致 v.t 追加する

「動詞」

nothing really ナシング・リアリー pron 実際には何も〜ない

「直接目的語」

to the first. トゥ・ザ・ファースト adv. 最初の言葉に

「間接目的語」

Part 1 第1部

マリーについては、彼は言っていた：「とても素敵だ、さらに言えば魅力的だ」

Talking of Marie, he said: “She’s an awfully pretty girl, and what’s more, charming.”

「副詞句」, 「主語」「動詞」: «「主語」「動詞」「補語」, and 「副詞句」「補語」»

Talking of Marie, トーキング・オブ・マリー adv. マリーについては 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said: セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “She シー pron 彼女は 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 an awfully pretty girl, アン・オーフリー・プリーティ・ガール n. とても素敵な女性 「補語」
 and アンド conj. そして
 what’s more, ファッツ・モア adv. さらに言えば 「副詞句」
 charming.” チャーミング adj. 魅力的な 「補語」

しかし、間もなく彼のその癖があまり気にならなくなった；僕は日向で日光浴をしていたが、それがとても気持ちよかったせいだと思う。

But I soon ceased paying attention to this trick of his; I was basking in the sunlight, which, I noticed, was making me feel much better.

But 「主語」「副詞」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」;

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」「目的語」「補語」

But バット conj. しかし

I アイ pron 僕は 「主語」
 soon スーン adv. まもなく、すぐに 「副詞」
 ceased paying シースト・ペイキング 1 単過・中止(cease+現在分詞)
 v.t (注意を) 払うのを止めた 「動詞句」
 attention アテンション n. 注意を 「直接目的語」
 to this trick of his; トゥ・スィス・トリック・オブ・ヒズ adv. 彼のこの癖に 「間接目的語」
 I アイ pron (原因・理由) 僕は 「主語」
 was basking ワズ・バースキング 1 単過・進行形(bask)v.i 寝そべっていた 「動詞句」
 in the sunlight, イン・ザ・サンライト adv. 日向で 「副詞句」
 which, フィッチ pron (sunlight の代用) 〜する 「形容詞節」
 I noticed, アイ・ノウチスト adv. 気が付いたのだが 「副詞節」
 was making ワズ・メイキング 3 単過・使役(make)〜していた 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 feel フィール 不定詞・me の動作 v.i 感じを覚える 「補語」
 much better. マッチ・ベター adj. とても良い 「補語」

Part 1 第1部

足元では、砂が熱くなり始めていた。それで、僕はすごく水に浸かりたかったのだが、少しの間、それを先に延ばした。

The sand was beginning to stoke up underfoot and, though I was eager for a dip, I postponed it for a minute or two more.

「主語」「動詞句」「副詞」and, 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 The sand サ・サント n. 砂は 「主語」
 was beginning to stoke up ワズ・ビギニング・トゥ・ストーク・アップ 3 単過・開始(begin to+不定詞)
 v.i 熱くなり始めていた 「動詞句」
 underfoot アンダーフット adv. 足元では 「副詞」
 and, アント conj. そして
 though ソウ conj. ～ではあるが 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 eager イカー adj. (be eager for... ～を) 熱望する 「補語」
 for a dip, フォー・ア・ディップ adv. (水に) 浸かることを 「間接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 postponed ホウストポント 1 単過 v.t 延期した 「動詞」
 it イット pron それを 「目的語」
 for a minute or two more, フォー・ア・ミニット・オア・トゥ・モア adv. 数分間 「副詞句」

とうとう僕はマゾンに言った：「行きませんか？」そして、僕は飛び込んだ。

At last I said to Masson: "Shall we go in now?" and plunged.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」:
 《「動詞句」「主語」「副詞句」「動詞句」》and 「動詞」
 At last アット・ラスト adv. ついに、とうとう 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 to Masson: トゥ・マゾン adv. マゾンに 「間接目的語」
 "Shall ...go シャル・ゴウ 1 複現・勧誘 v.i 行きませんか? 「動詞句」
 we ウィー pron 僕たちは 「主語」
 in now?" イン・ナウ adv. いますぐ 「副詞句」
 and アント conj. そして
 plunged. プランジト 1 複過(plunge)v.i (水に) 飛び込んだ 「動詞」

Part 1 第1部

マソンは慎重に歩いて水の中に入り、足が立たなくなるところまで進んでからようやく泳ぎ始めた。

Masson walked in gingerly and only began to swim when he was out of his depth.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞」「動詞句」「副詞節」

Masson マソン n. マソンは

「主語」

walked in ウォーク・イン 3 単過 v.i 歩いて水に入った

「動詞句」

gingerly ジンジャーリー adv. 非常に慎重に

「副詞句」

and アンド conj. そして

only オンリー adv. (時の表現を強調する) ～してようやく

「副詞」

began to swim ビギン・トゥ・スィム 3 単過・開始(begin to+不定詞)

v.i 泳ぎ始めた

「動詞句」

when ホエン adv. ～した時

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・移動(be)v.i ～に行った

「動詞」

out of his depth. アウト・オブ・ヒズ・デプス

adv. 自分の身長を超えた、背が立たない

「副詞句」

out of... 「～の範囲を超えて、～の届かないところに」

彼は平泳ぎで泳いだが、ひどく遅いので、僕は彼を後ろに残して、マリーに追いついた。

He swam hand over hand and made slow headway, so I left him behind and caught up with Marie.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」,

so 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」 and 「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

swam スィム 3 単過(swim)v.i 泳いだ

「動詞」

hand over hand ハント・オヴァー・ハント adv. 平泳ぎで

「副詞句」

and アンド conj. そして

made メイト 3 単過(make)v.t 作った

「動詞」

slow headway, スロウ・ヘッドウェイ n. 遅い速度を

「目的語」

so ソ conj. それで

I アイ pron 私は

「主語」

left レフト 1 単過(leave)v.t 残した

「動詞」

him ヒム pron 彼を

「目的語」

behind ビハインド adv. 後ろに

「副詞」

and アンド conj. そして

caught up with コート・アップ・ウィズ 1 単過(catch up with)v.t ～に追いついた

「動詞句」

Marie. マリー n. マリーに

「目的語」

Part 1 第1部

水は冷たかったが、泳ぐにはそのほうがかえって気持ちよく感じた。

The water was cold and I felt all the better for it.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「補語」

The water ザ・ウォーター n. 水は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

cold コルト adj. 冷たい

「補語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.i 感じた

「動詞」

all the better オール・ザ・ベター adj. (for... ~のために) かえって良い

「補語」

for it. フォー・イット adv. (理由) 泳ぐには

「副詞句」

マリーと僕は横に並んでずっと沖の方まで泳いだ。彼女と僕の動作が調和して、二人とも同じ気分で楽しむことが楽しい感覚だった。

We swam a long way out, Marie and I, side by side, and it was pleasant feeling how our movements matched, hers and mine, and how we were both in the same mood, enjoying every moment.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」, and 「動詞」「補語」「主語」

We ウィー pron 僕たちは

「主語」

swam スワム 1 複過(swim)v.i 泳いだ

「動詞」

a long way out, ア・ロング・ウェイ・アウト adv. ずっと沖の方まで

「副詞句」

Marie and I, マリー・アント・アイ pl.n マリーと僕は

「主語」

side by side, サイト・バイ・サイト adv. 横に並んで

「副詞句」

and アンド conj. そして

it イット pron 仮の主語 (真の主語は how 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

pleasant feeling プレザント・フィーリング n. 楽しい感覚

「補語」

how ハウ conj. ~することは

「主語」

our movements アウ・ムーヴメンツ pl.n 僕たちの動作が

「主語」

matched, マッチト 3 複過・時制の一致 v.i 調和する

「動詞」

hers and mine, ハーズ・アント・マイン pl.n 彼女と僕の動作が

「主語」

and アンド conj. そして

how ハウ conj. ~することは

「主語」

we ウィー pron 僕たちが

「主語」

were ワー 1 複過・時制・状態(be)v.i ~である

「動詞」

both in the same mood, ボス・イン・ザ・セイム・ムード adv. 二人とも同じ気分の

「補語」

Part 1 第 1 部

enjoying every moment. エンジョイイング・エヴリ・モメント

adv. ずっと楽しむことで

「副詞句」

いったん沖まで泳いで行き、僕たちは浮き身をした。空を見上げていると、僕の唇や頬に付いた塩水の薄膜を太陽が乾かしていくのが感じ取れた。

Once we were out in the open, we lay on our backs and, as I gazed up at the sky, I could feel the sun drawing up the film of salt water on my lips and cheeks.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」, 「副詞節」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」

Once ワンス conj. 一度～して

「副詞節」

we ウー pron 僕たちは

「主語」

were ワー 1 複過・移動(be)v.i ～に行った

「動詞」

out in the open, アウト・イン・ズィ・オブン adv. 沖の方まで

「副詞句」

we ウー pron 僕たちは

「主語」

lay レイ 1 複過(lie)v.i 横になった

「動詞」

on our backs オン・アウ・バックス adv. 背中の上に、仰向けに

「副詞句」

and, アント conj. そして

as アス conj. ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

gazed up ゲイズト・アップ 1 単過 v.i 見上げた

「動詞句」

at the sky, アット・ザ・スカイ adv. 空を

「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

could feel クット・フィール 1 単過・知覚動詞・可能(can+不定詞)

v.t(+O+現在分詞) (O が～するのを) 感じられた

「動詞句」

the sun ザ・サン n. 太陽が

「目的語」

drawing up トローイング・アップ 現在分詞・sun の動作 v.t 取り除く、～を引き寄せる 「補語」

the film of salt water ザ・フィルム・オブ・ソルト・ウォーター n. 塩水の薄膜を

「目的語」

on my lips and cheeks. オン・マイ・リップス・アント・チークス

adv. 僕の唇や頬についた

「副詞句」

浮き身：

支持物に頼ることなく、身体の浮力を利用して水面に浮いて静止する泳法。浮き方には、顔を水面につけて浮く伏せ浮き、顔を水面上に出してあおむけに浮く背浮き、立ったままの姿勢の立ち浮き、横体の横浮き、初心者用のくらげ浮き（上体を前屈させ、膝を曲げて浮く）などがある。この場面では、背浮きに相当する。

Part 1 第1部

僕たちは、マソンが泳いで浜に戻り、甲羅干しをするのが見えた。

We saw Masson swim back to the beach and slump down on the sand under the sun.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

We ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

saw ソー 1 複過・知覚動詞(see)v.t(O+不定詞 O が～するのが) 見えた

「動詞」

Masson マソン n. マソンが

「目的語」

swim スイム 不定詞・Masson の動作 v.i 泳ぐ

「補語」

back to the beach バック・トゥ・ザ・ビーチ adv. 浜に向かって

「副詞句」

and アンド conj. そして

slump down スランプ・ダウン 不定詞・Masson の動作 v.i パタンと倒れ込む

「補語」

on the sand オン・ザ・サント adv. 砂の上に

「副詞句」

under the sun. アンダー・ザ・サン adv. 日差しの下で

「副詞句」

→ 甲羅干しをする

遠目にも、彼は岸に打ち上げられたクジラのような巨体に見えた。

In the distance he looked enormous, like a stranded whale.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

In the distance イン・ザ・ディスタンス adv. (位置・譲歩) 遠くからでも

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

looked ルクト 3 単過 v.i(+C) ～のように見えた

「動詞」

enormous, イーマス adj. 巨大な

「補語」

like ライク prep (類似) ～のように

「副詞句」

a stranded whale. ア・ストランデイト・ヘイル

n. 岸に打ち上げられたクジラ

「目的語」

stranded スランデイト 過去分詞・受動(strand)adj. 岸に打ち上げられた

その時、マリーが二人で前後に連なって泳ごうと提案した。

Then Marie proposed that we should swim tandem.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. その時

「副詞」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

proposed プロポズト 3 単過 v.t 提案した、～しようと提案した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

we ウィー pron 僕たちは

「主語」

should swim シュット・スイム 1 複過・提案 v.i 泳ぐのはどうだろう

「動詞句」

tandem. タンテム adv. 前後につながって

「副詞」

Part 1 第 1 部

彼女は前を泳ぎ、僕は後ろから彼女の腰のあたりを手で抱え込む。そして彼女は手で水を掻いて僕を前に引っ張り、僕は後ろからバタ足で協力した。

She went ahead and I put my arms round her waist, from behind, and while she drew me forward with her arm strokes, I kicked out behind to help us on.

「主語」「動詞」「副詞」 and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」,

and 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

She シー pron 彼女は	「主語」
went ウェント 3 単過・時制の一致(go)v.i 泳ぐ	「動詞」
ahead アヘッド adv. 前を	「副詞」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
put プット 1 単現 v.t 置く	「動詞」
my arms マイ・アームズ pl.n 手を	「目的語」
round her waist, ラウンド・ハー・ウェイト adv. 彼女の腰の周りに	「副詞句」
from behind, フロム・ビ・ハインド adv. 後ろから	「副詞句」
and アンド conj. そして	
while ホワイル conj. ～する間一方で	「副詞節」
she シー pron 彼女が	「主語」
drew ドルー 3 単過・時制の一致(draw)v.t 引っ張る	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」
forward フォーワード adv. 前に	「副詞」
with her arm strokes, ウィズ・ハー・アーム・ストロークス adv. (手段) 腕の水掻きで	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
kicked out キット・アウト 1 単過・時制の一致 v.i 蹴り出す	「動詞句」
behind ビ・ハインド adv. 後ろで	「副詞」
to help us on. トゥ・ヘルプ・アッス・オン adv. お互い協力しながら	「副詞句」
on オン adv. (継続) ～を続けて、ずっと	

水しぶきの小さい音が長時間僕の耳に入って来たので、僕はもう十分だと感じてきた。

That sound of little splashes had been in my ears for so long that I began to feel I'd had enough of it.

「主語」「動詞句」「副詞句」 that 「主語」「動詞句」「目的語」

That sound サット・サント n. その音が	「主語」
of little splashes オフ・リトル・スプラッシュ adj. 小さい水しぶきの	「形容詞句」
had been ハット・ビ・ーン 3 単過・完了形・存在(be)v.i ～あった	「動詞句」
in my ears イン・マイ・イアーズ adv. 僕の耳に	「副詞句」
for so long フォー・ソ・ロング adv. かなり長い間	「副詞句」

Part 1 第1部

that サット conj. (so...that) (結果) それで～する

I アイ pron 僕は 「主語」

began to feel ビギン・トゥ・フィール 1 単過・開始(begin to+不定詞)

v.t 感じ始めた 「動詞句」

I アイ pron 僕は～であると 「目的語」

'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t (動作を) した 「動詞句」

enough of it. ｲﾌ・ｵﾌ・ｲｯﾄ pron 十分なそれを 「目的語」

have enough of ... 「～はもううんざりだ、うんざりするほど十分だ」

それで僕はマリーから離れて、呼吸を整えながらゆっくりした速度で泳いで戻った。

So I let go off Marie and swam back at an easy pace, taking long, deep breaths.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」「目的語」 and 「動詞句」「副詞句」

So ソ adv. それで 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

let レット 1 単過・使役(let)v.t (SVO+不定詞 O に～を) させた 「動詞」

go off ゴｳ・ｵﾌ 不定詞・Marie の動作 v.i 去る、行く、離れる 「補語」

Marie マリー n. マリーを 「目的語」

and アﾝﾄﾞ conj. そして

swam back スわム・バック 1 単過(swim back)v.i 泳いで戻った 「動詞句」

at an easy pace, アット・アン・イジー・ペ イズ adv. 楽な速度で 「副詞句」

taking テｲｷﾝｸﾞ 現在分詞・同時(take)v.t ～をとりながら 「副詞句」

long, deep breaths. ロﾝｸﾞ・ﾃﾞｨｰﾌﾞ・ﾌﾞﾚｽ pl.n 長くて深い呼吸を 「目的語」

浜に上がると、僕はマソンの隣に腹ばいで横になり、砂に顔を埋めた。

When I made the beach I stretched myself belly downward beside Masson, resting my face on the sand.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」

When ｹﾝ conj. ～して (すぐに) 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

made メｲﾄﾞ 1 単過(make)v.t (目的地に) 着いた、(浜に) 上がった 「動詞」

the beach ザ・ﾋｰﾁ n. 浜に 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

stretched myself スﾄﾚｯﾁﾄﾞ・ﾏｲｾﾙﾌ 1 単過(stretch oneself)

v.pr 横になった、伸びをした 「動詞句」

belly downward ﾍﾞﾘｰ・ﾀﾞｳﾝﾜｰﾄﾞ adv. (様態) 腹を下にして、腹ばいで 「副詞句」

belly ﾍﾞﾘｰ n. 腹部

beside Masson, ﾋﾞｻｲﾄﾞ・ﾏｿﾝ adv. マソンの隣に 「副詞句」

Part 1 第1部

resting レスティング 現在分詞・様態・継続 adv. ～を置いて 「副詞句」
 my face マイ・フェイス n. 顔を 「目的語」
 on the sand. オン・ザ・サント adv. 砂の上に 「副詞句」

僕は彼に言った：「いい天気ですね」、すると彼は同意した。やがてマリーが戻って来た。

I told him “it was fine” here, and he agreed. Presently Marie came back.

「主語」「動詞」「間接目的語」, 《「主語」「動詞」「補語」》, and 「主語」「動詞」
 「副詞」「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 told トルト 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 “it イット pron 天候が 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～だった 「動詞」
 fine” ファイン adj. 好天の 「補語」
 here, ヒア adv. ここは 「副詞」
 and アント conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 agreed. アグリード 3 単過 v.i 同意した 「動詞」
 Presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく 「副詞」
 Marie マリー n. マリーが 「主語」
 came back. ケム・バック 3 単過 v.i 戻って来た 「動詞句」

僕は頭を持ち上げて、彼女が近づいてくるのを眺めた。

I raised my head to watch her approach. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 raised レイズト 1 単過 v.t 持ち上げた 「動詞」
 my head マイ・ヘット n. 頭を 「目的語」
 to watch トゥ・ウォッチ 不定詞・目的・継続 v.t そして眺めた 「副詞句」
 her approach. ハー・アプ ローチ n. 彼女の接近を 「目的語」

Part 1 第1部

彼女は塩水で濡れていて、髪は後ろに束ねていた。

She was glistening with brine and holding her hair back.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞句」「目的語」「副詞」

She シー pron 彼女は

「主語」

was glistening ワズ・グリスニング 3 単過・進行形(glisten)v.i (with で) 濡れていた 「動詞句」

with brine ウイズ・ブライン adv. 塩水で

「副詞句」

and アント conj. そして

holding ホルディング 3 単過・進行形(hold)v.t 支えていた、固定していた

「動詞句」

her hair ハー・ヘア n. 髪を

「目的語」

back. バック adv. 後ろに、後ろで

「副詞」

それから彼女は僕のすぐ脇へ寝そべったので、二人の体と太陽の温もりによって、僕は自分が眠り込んでいくのを感じた。

Then she lay down beside me, and what with the combined warmth of our bodies and the sun, I felt myself dropping off to sleep.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Then セン adv. それから

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

lay down レイ・ダウン 3 単過(lie down)v.i 横たわった、寝そべった

「動詞句」

beside me, ビサイド・ミー adv. 僕の脇に

「副詞句」

and アント conj. そして

what with the combined warmth フォット・ウィズ・ザ・コンバインド・ウォームス

adv. (原因・理由) 混ざり合った温もりによって

「副詞句」

of our bodies and the sun, オフ・アウ・ボディーズ・アント・ザ・サン

adj. ぼくらの体と太陽の

「形容詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過・知覚動詞(feel)v.t 感じた

「動詞」

myself マイセルフ pron 自分が

「目的語」

dropping off ドロッピング・オフ 現在分詞・myself の動作 v.i (状態に) 入り込んでいく 「補語」

to sleep. トゥ・スリープ adv. 睡眠状態に

「副詞句」

Part 1 第1部

しばらくして、マリーが僕の腕を引っ張って言った；「マソンは別荘に戻ったわ。そろそろ、昼食にしなければ」

After a while Marie tugged my arm, and said Masson had gone to his place; it must be nearly lunchtime.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 | and 「動詞」

《「主語」「動詞句」「間接目的語」; 「主語」「動詞句」「副詞」「補語」》

After a while	アフター・ア・ホイル adv. しばらくして	「副詞句」
Marie	マリー n. マリーが	「主語」
tugged	タグトゝ 3 単過 v.t 引っ張った	「動詞」
my arm.	マイ・アーム n. 僕の腕を	「目的語」
and	アンド conj. そして	
said	セツトゝ 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
Masson	マソン n. マソンが	「主語」
had gone	ハット・ゴーン 3 単過・完了形(go)v.i 行ってしまった	「動詞句」
to his place;	トゥ・ヒズ・プレイス adv. 彼の別荘に	「間接目的語」
it	イット pron 時間は	「主語」
must be	マス・ビー 推量 v.i 〜に違いない	「動詞句」
nearly	ニアリー adv. まもなく	「副詞」
lunchtime.	ランチ n. 昼食	「補語」

僕は空腹だったのですぐに起き上がったが、マリーは僕が今朝からまだ一度もキスしてくれていないと言った。

I rose at once, as I was feeling hungry, but Marie told me I hadn't kissed her once since the early morning.

「主語」「動詞」「副詞句」, but 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I	アイ pron 僕は	「主語」
rose	ロズゝ 1 単過(rise)v.i 立ち上がった、起き上がった	「動詞」
at once,	アット・ワンス adv. すぐに	「副詞句」
as	アズ conj. (理由) 〜なので	「副詞節」
I	アイ pron 僕は	「主語」
was feeling	ワズ・フィーリングゝ 1 単過・進行形(feel)v.i 〜の感じがした	「動詞句」
hungry,	ハングリー adj. 空腹な	「補語」
but	バット conj. しかし	
Marie	マリー n. マリーは	「主語」
told	トゥルトゝ 3 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
me	ミー pron 僕に	「間接目的語」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕は～するということを 「直接目的語」
 hadn't kissed ハドント・キスト 1 単過・完了形・否定・時制の一致(kiss)
 v.t キスしていない 「動詞句」
 her ハー pron 彼女に 「目的語」
 once ワンス adv. (否定文で) まだ、一度も 「副詞」
 since the early morning. シンス・ザ・アーリー・モーニング adv. 今朝から 「副詞句」

それはそうだった... けれども、そうしたいとは思っていたのだが。

That was so—though I'd wanted to, several times.

「主語」「動詞」「補語」 ---though 「主語」「動詞句」「副詞句」
 That ザット pron それは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 so ソ adv. その通り 「補語」
 —though ザウ conj. けれども
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd wanted to, ハット・ウォンテッド・トゥ 1 単過・完了形(want to+不定詞)
 v.t したいとは思っていたのだが 「動詞句」
 several times. セヴラル・タイムズ adv. 何度か 「副詞句」

「また水の中に入りましょう」と、彼女が言った。それで僕たちは海の中に駆け込み、しばらくの間小さな波がしらに腹ばいで浮かんでいた。

“Let's go into the water again,” she said, and we ran into the sea and lay flat amongst the ripples for a moment. 《「動詞句」「副詞句」》, 「主語」「動詞」,

and 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞句」「副詞句」
 “Let's go レッツ・ゴウ 1 複現・勧誘(let us+不定詞)v.i(into に) 入りましょう 「動詞句」
 into the water イントゥ・ザ・ウォーター adv. 水の中に 「副詞句」
 again,” アゲン adv. また 「副詞」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 said, セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 and アント conj. そして
 we ウー pron.pl 僕たちは 「主語」
 ran ラン 1 複過(run)v.i(into に) 駆け込んだ 「動詞」
 into the sea イントゥ・ザ・シー adv. 海の中に 「副詞句」
 and アント conj. そして
 lay flat レイ・フラット 1 複過(lie flat)v.i 腹ばいになった 「動詞句」
 amongst アマングスト prep (位置) ～の中に 「副詞句」

Part 1 第1部

the ripples ザ・リプルス pl.n さざ波

「目的語」

for a moment. フォー・ア・モメント adv. しばらくの間

「副詞句」

それから僕たちはほんの数掻き泳いだ。背が立たないところまで来ると、マリーが僕の体に両腕を回して、僕を抱きしめた。

Then we swam a few strokes, and when we were almost out of our depth she flung her arms round me and hugged me.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」,

and 「副詞節」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」

Then ゼン adv. それから

「副詞」

we ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

swam スム 1 複過(swim)v.i 泳いだ

「動詞」

a few strokes, ア・フュー・ストロクス adv. ほんの数掻き

「副詞句」

and アンド conj. そして

when ホエン conj. ～すると

「副詞節」

we ウィー pron.pl 僕たちが

「主語」

were ワー 1 複過・移動(be)v.i ～に来た

「動詞」

almost out of our depth オールモスト・アウト・オブ・アウワ・デプス

adv. ほとんど背が立たない

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

flung フランク 3 単過(fling)v.t 投げつけた

「動詞」

her arms ハー・アームズ pl.n 彼女の腕を

「目的語」

round me ラウンド・ミー adv. 僕の体の周りに

「副詞句」

and アンド conj. そして

hugged ハグト 3 単過(hug)v.t 抱きしめた

「動詞」

me. ミー pron 僕を

「目的語」

フランス語の原文では：腕ではない

僕たちは平泳ぎで数かきした。するとマリーが僕にぴったり体を押し付けてきた。

Nous avons fait quelques brasses et elle s'est collée contre moi.

僕はマリーの脚が僕の脚に絡みつく感じがして、彼女が欲しくなった。

J'ai senti ses jambes autour des miennes et je l'ai désirée.

Part 1 第 1 部

僕は彼女の脚が僕の脚に絡みついてくるのを感じた、そして僕の感覚は欲望でうずいた。

I felt her legs twining round mine, and my senses tingled.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」,and「主語」「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過・知覚動詞(feel)v.t 感じた

「動詞」

her legs ハー・レッグズ pl.n 彼女の脚が

「目的語」

twining トわイング 現在分詞・legs の動作(twine)v.i 絡みついてくる

「補語」

round mine, ラウント・マイン adv. 僕の脚に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

my senses マイ・センシズ pl.n 僕の感覚は

「主語」

tingled. テイングルト 3 複過 v.i うずいた、欲望でうずいた

「動詞」

僕たちが戻ると、マソンは別荘の階段に腰を下ろして、僕たちに来るようにと叫んでいた。

When we got back, Masson was on the steps of his bungalow, shouting to us to come.

「副詞節」,「主語」「動詞」「副詞句」

When ホエン conj. ～する時

「副詞節」

we ウー pron.pl 僕たちが

「主語」

got back, ゴット・バック 1 複過(get back)v.i 戻った

「動詞句」

Masson マソン n. マソンは

「主語」

was ワズ 3 単過・存在(be)v.i ～にいた

「動詞」

on the steps オン・ザ・ステップス adv. 階段に

「副詞句」

of his bungalow, オブ・ヒズ・バンガロウ adj. 別荘の

「形容詞句」

shouting シャウティング 現在分詞・同時(shout)

v.i(+to 不定詞 ～するようにと) 叫びながら

「副詞句」

to us トゥ・アス adv. 僕たちに向かって

「間接目的語」

to come. トゥ・カム 不定詞・us の動作 v.i 来る

「補語」

Part 1 第1部

僕はがつがつ食べたいほど腹ペコですと、彼に言った。すると彼はすぐに奥さんの方へ振り向いて、僕のことがとても気に入ったと言った。

I told him I was ravenously hungry, and he promptly turned to his wife and said he'd taken quite a fancy to me.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,

and 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」

I	アイ	pron	僕は		「主語」
told	トルド	1 単過(tell)	v.t	言った	「動詞」
him	ヒム	pron	彼に		「間接目的語」
I	アイ	pron	僕は～ということを		「直接目的語」
was	ワズ	1 単過・時制の一致(be)	v.i	～である	「動詞」
ravenously hungry,	レイヴナスリー・ハングリー	adj.	すごく腹ペコな		「補語」
ravenously	レイヴナスリー	adv.	がつがつと食べたいほど、どん欲に		
and	アント	conj.	すると		
he	ヒー	pron	彼は		「主語」
promptly	プロンプトリー	adv.	すぐに		「副詞」
turned	ターント	3 単過(turn)	v.i(to に)	振り返った	「動詞」
to his wife	トゥ・ヒズ・ワイフ	adv.	奥さんの方へ		「副詞句」
and	アント	conj.	そして		
said	セッド	3 単過(say)	v.t	言った	「動詞」
he	ヒー	pron	彼は～ということを		「目的語」
'd taken	ハット・テイクン	3 単過・完了形(take)			
	v.t	(ある感覚を) 持った、感じた			「動詞句」
quite a fancy	クワイ・ア・ファンシー	n.	非常に好みを		「目的語」
to me.	トゥ・ミー	adv.	(対象) 僕に対して		「副詞句」

パンが美味しかった。僕は自分の分の魚のフライをすべて平らげた。

The bread was excellent, and I had my full share of the fish.

「主語」「動詞」「補語」, and 「主語」「動詞」「目的語」

The bread	ザ・ブレッド	n.	パンが		「主語」
was	ワズ	3 単過(be)	v.i	～だった	「動詞」
excellent,	エクセレント	adj.	素晴らしい、美味しい		「補語」
and	アント	conj.	そして		
I	アイ	pron	僕は		「主語」
had	ハット	1 単過(have)	v.t	食べた	「動詞」
my full share	マイ・フル・シェア	n.	僕の分をすべて		「目的語」

Part 1 第1部

of the fish. オフ・ザ・フィッシュ adj. 魚の

「形容詞句」

次に焼肉とフライドポテトが出された。僕たちは皆、ものも言わずに食べた。

Then came some steak and potato chips. None of us spoke while eating.

「副詞」「動詞」「主語」 | 「主語」「動詞」「副詞」

Then ゼン adv. 次に

「副詞」

came ケム 3 複過(come)v.i (物が) 現れた、出された

「動詞」

some steak サム・ステイク n. 焼肉が

「主語」

and アンド conj. そして

potato chips. ホ・テイトウ・チップス pl.n フライドポテトが

「主語」

None of us ナン・オブ・アス pron (単数扱い) 誰一人として～ない

「主語」

spoke スポーク 3 単過・否定文で(speak)v.i 口をきかなかった

「動詞」

while eating. ホイル・イーティング adv. 食べている間中

「副詞」

マソンは大いにワインを飲み、僕のグラスがからになる度すぐに注ぎ続けていた。

Masson drank a lot of wine and kept refilling my glass the moment it was empty.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」「目的語」「副詞節」

Masson マソン n. マソンは

「主語」

drank ドランク 3 単過(drink)v.t 飲んだ

「動詞」

a lot of wine ア・ロット・オブ・ワイン n. たくさんのワインを

「目的語」

and アンド conj. そして

kept refilling ケプト・リフィリング 3 単過・継続(keep+現在分詞 refill)v.t 注ぎ続けた

「動詞句」

my glass マイ・グラス n. 僕のグラスに

「目的語」

the moment+(that)節 ザ・モメント adv. ～するとすぐに

「副詞節」

it イット pron (glass の代用) それが

「主語」

was ワズ 3 単過・変化・時制の一致(be)v.i ～になる

「動詞」

empty. エンプティ adj. からの

「補語」

Part 1 第1部

コーヒーが配られた頃には、僕は少し頭がだるい感じがして、次々にタバコを吸った。

By the time coffee was handed round I was feeling slightly muzzy, and I started smoking one cigarette after another.

「副詞節」「主語」「動詞句」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

By the time バイ・ザ・タイム conj. ～するまでに、～した頃には 「副詞節」

coffee コーフィー n. コーヒーが 「主語」

was handed round ワズ・ハンデイト・ラウンド 3 単過・受動(hand round)

v.t 配られた 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was feeling ワズ・フィーリング 1 単過・進行形 v.i ～と感じていた 「動詞句」

slightly muzzy, スライトリー・マジー adj. すこしだるい 「補語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

started smoking スターテイト・スモウキング 1 単過・開始(start+現在分詞)

v.t (タバコを) 吸い始めた 「動詞句」

one cigarette after another. ワン・シガレット・アフター・アナザー n. タバコを次々と 「目的語」

マソンとレーモンと僕は、8月に割り勘で、一緒に浜辺で過ごす計画を練った。

Masson, Raymond, and I discussed a plan of spending the whole of August on the beach together, sharing expenses.

「主語」「動詞」「目的語」

Masson, マソン n. マソンは 「主語」

Raymond, レーモン n. レーモンは 「主語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

discussed ディスカスト 1 複過 v.t 話し合った 「動詞」

a plan ア・プラン n. 計画を 「目的語」

of spending オフ・スペンディング 現在分詞・同格 adj. 過ごすという 「形容詞句」

the whole of August ザ・ホール・オーガスト n. 8月を 「目的語」

on the beach オン・ザ・ビーチ adv. 浜辺で 「副詞句」

together, トゲザー adv. 一緒に 「副詞」

sharing expenses. シェアリング・イクスペンシズ 現在分詞・条件

adv. 割り勘で、費用を出し合って 「副詞句」

Part 1 第 1 部

突然、マリーが叫んだ。「ねえ、今何時か分かる？まだ 11 時半よ！」

Suddenly Marie exclaimed: “I say! Do you know the time? It’s only half-past eleven!”

「副詞」「主語」「動詞」:

《「呼びかけ」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Suddenly サドゥンリー adv. 突然、急に 「副詞」

Marie マリー n. マリーが 「主語」

exclaimed: エクスクレイムト 3 単過 v.i 叫んだ 「動詞」

“I say! アイ・セイ adv. ねえ 「呼びかけ」

Do ...know ドゥ...ノウ 2 複現・疑問文 v.t 分かる？ 「動詞句」

you ユー pron.pl あなたたちは 「主語」

the time? ザ・タイム n. 時間を 「目的語」

It イット pron 時間は 「主語」

’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

only half-past eleven!” オンリー・ハーフ・パースト・イレヴン adv. まだ 11 時半 「補語」

only オンリー adv. (時の副詞を強調して) つい、やっと、〜にすぎない

皆はそのことに驚いたが、マソンは、とても早い昼食だったけれど、昼食の時間に決まりはないんだから、食べたい時に食べれば良い、と言った。

We were all surprised at that, and Masson remarked that we’d had a very early lunch, but really lunch was a movable feast, you had it when you felt like it.

「主語」「動詞句」「副詞句」,and「主語」「動詞」「目的語」

We ウィー pron 僕たちは 「主語」

were all surprised ワー・オール・サプライズト 1 複過・受動(surprise)v.t(at に) 皆驚いた 「動詞句」

at that, アット・ザット adv. (原因) そのことに 「副詞句」

and アント conj. そして

Masson マソン n. マソンは 「主語」

remarked リマート 3 単過 v.t 言った 「動詞」

that ザット conj. 〜ということを 「目的語」

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

’d had ハット・ハット 1 複過・完了形(have)v.t (食事を) した 「動詞句」

a very early lunch, ア・ヴァーリー・アーリー・ランチ n. とても早い昼食を 「目的語」

but バット conj. しかし

really リアリー adv. 実の所は 「副詞」

lunch ランチ n. 昼食は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

a movable feast, ア・ムーヴァブル・フィースト n. 時間が決まっていない食事 「補語」

Part 1 第1部

you ユー pron 君たちは 「主語」
 had ハット 2 複過・仮定・時制の一致(have)v.t (食事を) しても構わない 「動詞」
 it イット pron ランチを 「目的語」
 when you felt like it. ホエン・ユー・フェルト・ライク・イット adv. したい時に 「副詞節」

なぜか分からないが、マリーはこれを聞いて笑い出した。彼女は少し飲み過ぎたのだと思う。

This set Marie laughing, I don't know why. I suspect she'd drunk a bit too much.

「主語」「動詞」「目的語」, 「補語」「副詞節」 | 「主語」「動詞」「目的語」
 This スィズ pron この言葉は 「主語」
 set セット 3 単過・使役・状態(set)v.t(SVO+現在分詞) O を～の状態にした 「動詞」
 set O+to 不定詞 「O に～をさせる」(動作)
 set oneself to+不定詞 「～しようとして取り掛かる、～するように努める」
 Marie マリー n. マリーを 「目的語」
 laughing, ラーフィング 現在分詞・Marie の動作・状態(laugh)v.i 笑っている 「補語」
 I アイ pron 僕は～だが 「副詞節」
 don't know ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」
 why. ホワイ adv. どうしてか 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 suspect サスペクト 1 単現 v.t(that) ～だと思う 「動詞」
 she シー pron 彼女は～するという事を 「目的語」
 'd drunk ハット・トランク 3 単過・完了形(drink)v.i 飲んだ 「動詞句」
 a bit too much. ア・ビット・トゥー・マッチ adv. 少し多すぎる位 「副詞句」

それからマソンは、一緒に海岸を散歩しないか、と僕を誘った。

Then Masson asked if I'd like to come with him for a stroll on the beach.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
 Then セン adv. それから 「副詞」
 Masson マソン n. マソンが 「主語」
 asked アスクト 3 単過 v.t (that ～することを) 尋ねた、誘った 「動詞」
 if イフ conj. ～しないかと 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd like to come ウット・ライク・トゥ・カム 1 単現・願望 v.i 行きたい 「動詞句」
 with him ウイズ・ヒム adv. 彼と一緒に 「副詞句」
 for a stroll フォー・ア・ストロール adv. (目的) 散歩のために 「副詞句」
 on the beach. オン・ザ・ビーチ adv. 海岸を 「副詞句」

Part 1 第1部

「妻は昼食後はいつも昼寝をするんだ」と、彼は言った。

“My wife always has a nap after lunch,” he said.

《「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」》, 「主語」「動詞」
 “My wife マイ・ワイフ n. 妻は 「主語」
 always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」
 has ハズ 3 単現・習慣(have)v.t (行為を) する 「動詞」
 a nap ア・ナップ n. 昼寝を 「目的語」
 after lunch,” アフター・ランチ adv. 昼食後に 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said. セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

「私には、昼寝は合わない；散歩が必要なんだ。家内にはいつもその方が健康にいいと言っているんだ。けれど、決めるのは彼女だから」

“Personally I find it doesn’t agree with me; what I need is a short walk. I’m always telling her it’s much better for the health. But, of course, she’s entitled to her own opinion.”

《「副詞」「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

But, 「主語」「動詞句」「間接目的語」》

“Personally パーソナリー adv. 自分としては 「副詞」
 I アイ pron 私は 「主語」
 find ファインド 1 単現 v.t(that ～だと) 思っている 「動詞」
 it イット pron (nap の代用) 昼寝は～ということを 「目的語」
 doesn’t agree ダズント・アグリー 3 単現・否定 v.i(with 体質に) 合わない 「動詞句」
 with me; ウイズ・ミー adv. 僕の体質に、僕にとって 「間接目的語」
 what I need ファット・アイニート n. 私に必要なのは 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 a short walk. ア・ショート・ワーク n. 散歩 「補語」
 I アイ pron 私は 「主語」
 ’m always telling アム・オールウェイズ・テリング 1 単現・進行形(tell)v.t いつも言っている 「動詞句」
 her ハー pron 彼女に 「間接目的語」
 it イット pron(walk の代用) 散歩は～ということを 「直接目的語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 much better for the health. マッチ・ベター・フォー・ザ・ヘルス
 adj. もっと健康に良い 「補語」
 But, バット conj. しかし

Part 1 第 1 部

of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 's entitled イズ・エンタイトル 3 単現・受動(entitle)
 v.t(to+名詞 〜に対して) 権利がある 「動詞句」
 to her own opinion.” トゥ・ハー・OWN・オピニオン adv. 自分の意見に 「間接目的語」
 be entitled to+不定詞 「～する権利／資格がある」

マリーはここに残って、皿洗いを手伝うと言った。

Marie proposed to stay and help with the washing up. 「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Marie マリー n. マリーは 「主語」
 proposed プロポズド 3 単過・意志(propose)
 v.t(to+不定詞) 〜するつもりだと言った 「動詞句」
 to stay and help トゥ・ステイ・アンド・ヘルプ 不定詞 v.i ここに留まって手伝いをする 「動詞句」
 with ウイズ adv. (関連) 〜について 「間接目的語」
 the washing up. ザ・ウォッシング・アップ n. 食器洗いを 「目的語」
 1 点だけの食器を洗う時は up は使わない

マソン夫人は微笑んで、それではまず男どもを外に出さないと、と言った。それで、僕たちは 3 人一緒に外に出た。

Mme Masson smiled and said that, in that case, the first thing was to get the men out of the way. So we went out together, the three of us.
 「主語」「動詞」 and 「動詞」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Mme Masson マダム・マソン n. マソン夫人は 「主語」
 smiled スマイルド 3 単過 v.i 微笑んだ 「動詞」
 and アンド conj. そして
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 that, ザット conj. ～ということ 「目的語」
 in that case, イン・ザット・ケイス adv. それならば、その場合は 「副詞句」
 the first thing ザ・ファースト n. 最初のことは 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 to get トゥ・ゲット 不定詞(get out)v.t 外に出すこと 「補語」
 the men ザ・メン pl.n 男たちを 「目的語」
 out of the way. アウト・オブ・ザ・ウェイ adv. 邪魔にならない所へ 「副詞句」
 So ソ adv. それで 「副詞」
 we ウー pron.pl 我々は、僕たちは 「主語」
 went out ウェント・アウト 1 複過(go out)v.i 外に出た 「動詞句」

Part 1 第1部

together, トゲザー adv. 一緒に

「副詞句」

the three of us. ザ・スリー・オブ・アス pl.n 僕たち 3 人は

「目的語」

日差しはほぼ真上から降り注ぎ、海面からの照り返しが僕らの目を焼き付けた。

The light was almost vertical and the glare from the water seared one's eyes.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「目的語」

The light ザ・ライト n. 日差しは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

almost vertical オルモウス・ヴァーチカル adj. ほとんど垂直の

「補語」

and アンド conj. そして

the glare ザ・グレア n. ぎらぎらする光は

「主語」

from the water フロム・ザ・ウォーター adv. 海面からの

「副詞句」

seared シアド 3 単過 v.t 焼き付けた

「動詞」

one's eyes. ワンズ・アイズ pl.n 目を

「目的語」

浜は、今はもう全く人氣が無くなっていた。

The beach was quite deserted now.

「主語」「動詞」「補語」

The beach ザ・ビーチ n. 浜は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

quite deserted クワイ・デイザ・ティット adj. 全く人氣のない

「補語」

now. ナウ adv. 今では

「副詞」

前浜に一行に立ち並ぶ丸太小屋や別荘の中から、ナイフとフォーク、それに食器類の微かな音が聞こえて来た。

One could hear a faint tinkle of knives and forks and crockery in the shacks and bungalows lining the foreshore.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

One ワン pron 人は

「主語」

could hear クット・ヒア 3 単過・可能性 v.t 聞こえただろう

「動詞句」

a faint tinkle ア・フェイント・ティンクル n. 微かな音が

「目的語」

of オフ adj. 〜の

「形容詞句」

knives and forks ナイヴズ・アント・フォーヴズ

pl.n ナイフとフォーク

「目的語」

and アンド conj. そして

crockery クロカリー n. 陶器類

「目的語」

in the shacks and bungalows イン・ザ・シャックス・アント・バンガロウス

adv. 丸太小屋や別荘の中で

「副詞句」

Part 1 第1部

lining ライニング 現在分詞(line)v.t 一列に立ち並ぶ 「副詞句」
 the foreshore. サ・フォアショア n. 前浜に 「目的語」

熱を貯め込んだ岩から、熱気が噴き出していたので、呼吸をするのも大変だった。

Heat was welling up from the rocks, and one could hardly breathe.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」
 Heat ヒート n. 熱気が 「主語」
 was welling up ワズ・ウェリング・アップ 3 単過・進行形(well up)v.i 湧き出していた 「動詞句」
 from the rocks, フロム・ザ・ロックス adv. (熱を貯め込んだ) 岩から 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 one ワン pron 僕は、僕たちは 「主語」
 could hardly breathe. クット・ハートリー・ブリーズ 3 単過・可能 v.i やっと息をしていた 「動詞句」

初めは、レーモンとマソンは僕の知らない事や人のことを話していた。

At first Raymond and Masson talked of things and people I didn't know.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」
 At first アット・ファースト adv. 初めは 「副詞句」
 Raymond and Masson レモン・アント・マソン pl.n レーモンとマソンは 「主語」
 talked トークト 3 複過 v.i (of のことを) 話していた 「動詞」
 of things and people オブ・シングズ・アント・ピープル adv. 事物や人のことを 「間接目的語」
 I アイ pron 僕が～する 「形容詞節」
 didn't know. ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 知らない 「動詞句」

彼らは相当昔に知り合い、しばらく一緒に住んでいたことさえあると知った。

I gathered that they'd been acquainted for some time and had even lived together for a while.

「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 gatheredギャザード 1 単過 v.t 知った 「動詞」
 that サット conj. ～ということを 「目的語」
 they セイ pron.pl 彼らは 「主語」
 'd been acquainted ハット・ビー・ン・アクェインティット 3 複過・完了形・受動(acquaint)
 v.t 知り合った 「動詞句」
 for some time フォー・サム・タイム adv. かなり前に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 had even lived ハット・イー・ヴァン・リヴト 3 複過・完了形(live)
 v.t 住んでいたことさえあった 「動詞句」

Part 1 第1部

together トゲサー adv. 一緒に

「副詞」

for a while. フォー・ア・ホワイ adv. しばらくの間

「副詞句」

私たちは水際まで降りて、水際に沿って歩いた；時々、足の長い波がズック靴を濡らした。

We went down to the water's edge and walked along it; now and then a longer wave wet our canvas shoes.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞」「副詞句」；「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

We ウィー pron 僕たちは

「主語」

went down ウェント・ダウン 1 複過(go down)v.i 降りて行った

「動詞句」

to the water's edge トウ・ザ・ウォーターズ・エッジ adv. 水際に

「副詞句」

and アンド conj. そして

walked ウォークト 1 複過 v.i 歩いた

「動詞」

along it; アロング・イット adv. 水際に沿って

「副詞句」

now and then ナウ・アント・ゼン adv. 時々

「副詞句」

a longer wave ア・ロンガー・ウェイヴ n. (複数集合名詞扱い) 長い波が

「主語」

wet ウェット 3 複過 v.t ぬらした

「動詞」

our canvas shoes. アウ・キャンバス・シューズ pl.n 僕たちのズック靴を

「目的語」

僕は剥き出しの頭にもろに日差しを浴び、もうろうとして、何も考えられなかった。

I wasn't thinking of anything, as all that sunlight beating down on my bare head made me feel half asleep.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

wasn't thinking ワズント・シンキング 1 単過・進行形・否定(think)

v.i(of を) 考えていなかった

「動詞句」

of anything, オフ・エニシング adv. 何についても～ない

「間接目的語」

as アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

all that sunlight オール・ザット・サンライト n. あの日差しのすべてが

「主語」

beating down ビーティング・ダウン 現在分詞 v.i 照り付ける

「形容詞句」

on my bare head オン・マイ・ヘア・ヘッド

adv. 剥き出しの頭上に

「副詞句」

made メイト 3 単過・使役(make)v.t(SVO+不定詞 O に～を) させた

「動詞」

me ミー pron 私に「目的語」

feel フィール 不定詞・me の動作 v.i 感じる

「補語」

half asleep. ハーフ・アスリープ adj. 半睡眠状態の、うとうとした

「補語」

Part 1 第 1 部

丁度その時、レーモンがマソンに何か言ったが、僕は良く聞き取れなかった。

Just then Raymond said something to Masson that I didn't quite catch.

「副詞句」「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, 「目的語」「主語」「動詞句」
 Just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時 「副詞句」
 Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 something サムシング pron 何かを 「直接目的語」
 to Masson トゥ・マソン adv. マソンに 「間接目的語」
 that サット pron それを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't quite catch. ディトント・クワイ・キャッチ 1 単過・否定
 v.t よく聞き取れなかった 「動詞句」
 not quite ノット・クワイ adv. あまり～でない、完全には～でない

しかし同時に、青の作業服を着た 2 人のアラブ人が遠くの浜のはずれから、僕たちのほうへ近づいてくるのに気が付いた。

But at the same moment I noticed two Arabs in blue dungarees a long way down the beach coming in our direction. But 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし
 at the same moment アット・ザ・セム・モメント adv. 同時に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t 気付いた 「動詞」
 two Arabs トゥ・アラブズ n. 2 人のアラブ人が～するのを 「目的語」
 in blue dungarees イン・ブルー・ダンガリース adv. 青の作業服を着た 「副詞句」
 a long way ア・ロング・ウェイ adv. 遠くに 「副詞句」
 down the beach, ダウン・ザ・ビーチ adv. 浜のはずれに 「副詞句」
 coming カミング 現在分詞・様態(come)v.i(in に) 近づいてくる 「副詞句」
 in our direction. イン・アウ・ディレクション adv. 僕たちの方へ 「副詞句」

Part 1 第1部

僕はレーモンをちらっと見た。すると彼はうなづいて、言った。「奴だ！」僕たちは同じ歩調で歩き続けた。

I gave Raymond a look and he nodded, saying, "That's him." We walked steadily on.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」

《「主語」「動詞」「補語」》 | 「主語」「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 gave ゲイヴ 1 単過(give)v.t 与えた 「動詞」
 Raymond レーモント n. レーモンに 「間接目的語」
 a look ア・ルック n. 一瞥を 「直接目的語」
 and アンド conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 nodded, ノット v.i うなづいた 「動詞」
 saying, セイイング 現在分詞・結果 adv. そして言った 「副詞句」
 "That サット pron あれは 「主語」
 's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 him." ヒム pron 彼、奴 「補語」
 We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 walked steadily on. ウォーク・ステディリー・オン 1 複過(walk on+ steadily)
 v.i 冷静に歩き続けた 「動詞句」
 steadily ステディリー adv. しっかりと、冷静に、落ち着いて

マソンは、彼らがどうやって僕たちをここまで追跡できたのかを不思議がった。

Masson wondered how they'd managed to track us here. 「主語」「動詞」「目的語」

Masson マソン n. マソンは 「主語」
 wondered ワンダート 3 単過 v.t 〜だろうかと思った 「動詞」
 how ハウ adv. どうやって〜するかということを 「目的語」
 they セイ pron 彼らは 「主語」
 'd managed to track ハット・マニッジト・トゥ・トラック 3 複過・完了形・達成(manage to+不定詞)
 v.t 追跡できた 「動詞句」
 manage マニッジ v.t (+to 不定詞) なんとか〜する track トラック v.t 追跡する
 us アッス pron 僕たちを 「目的語」
 here. ヒア adv. ここまで 「副詞」

Part 1 第1部

僕の考えでは、彼らは僕たちがバスに乗るところを見て、マリーのビーチバッグに気付いたのだと思った；しかし僕は何も言わなかった。

My impression was that they had seen us taking the bus and noticed Marie's oilcloth bathing bag; but I didn't say anything.

「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞句」「目的語」

My impression マイ・インプレッション n. 僕の印象は、考え 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 that サット conj. 〜ということ 「補語」
 they セイ pron 彼らは 「主語」
 had seen ハット・シーン 3 複過・完了形・知覚動詞(see)v.t 見た 「動詞句」
 us アッス pron 僕たちが 「目的語」
 taking テイクング 現在分詞・us の動作(take)v.t (乗り物に) 乗る 「補語」
 the bus ザ・バス n. バスに 「目的語」
 and アンド conj. そして
 noticed ノチスト 3 複過 v.t 気付いた 「動詞」
 Marie's oilcloth bathing bag; マリース・オイルクロス・ベイジンク・バッグ
 n. マリーのビーチバッグに 「目的語」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't say デイント・セイ 1 単過・否定 v.t 言わなかった 「動詞句」
 anything. エニシグ pron 何も〜ない 「目的語」

アラブ人たちはかなりゆっくり歩いていたが、彼らはすでにかかなり近くまで来ていた。

Though the Arabs walked quite slowly, they were much nearer already.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Though ヴウ conj. (譲歩) しかし、けれども 「副詞節」
 the Arabs ズィ・アラブズ pl.n アラブ人たちは 「主語」
 walked ウォークト 3 複過 v.i 歩いていた、進んで来た 「動詞」
 quite slowly, クワイト・スロウリー adv. 非常にゆっくりと 「副詞句」
 they セイ pron.pl 彼らは 「主語」
 were ワー 3 複現・存在(be)v.i 〜にいた 「動詞」
 much nearer already. マッチ・ニアラー・オールディ adv. すでにかかなり近くにまで 「副詞句」

Part 1 第 1 部

僕たちは歩調を変えずに歩いていた。しかし、レーモンが言った：

We didn't change our pace, but Raymond said:

「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞」

We ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

didn't change デイ dont・チェンジ 1 複過・否定 v.t 変えなかった

「動詞句」

our pace, アウ・ペイス n. 歩調を、歩く速度を

「目的語」

but バット conj. しかし

Raymond レーモント n. レーモンが

「主語」

said: セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

「聞いてくれ！もし喧嘩になったら、マソン、君は 2 番目の奴を引き受けてくれ。俺は例の奴を相手にする」

“Listen! If there's a roughhouse, you, Masson, take on the second one. I'll tackle the fellow who's after me.”

《「呼びかけ」「副詞節」,「呼びかけ」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」》

“Listen! リスン 命・2 複現 v.t 聞いてくれ、いいか？

「呼びかけ」

If イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

there's ゼア・ズ 3 単現・存在・近接未来・発生(there be)v.i ～になる

「動詞句」

a roughhouse, ア・ラフハウス n. 大喧嘩、乱暴騒ぎ

「主語」

you, Masson, ユー・マソン n. マソン、君は

「呼びかけ」

take on テイク・オン 命・2 複現・依頼 v.t (仕事を) 引き受けてくれ、担当する

「動詞句」

the second one. ザ・セカント・ワン n. 2 番目の奴を

「目的語」

I アイ pron 俺は

「主語」

I'll tackle ウィル・タックル 1 単未・意志 v.t (人と) 渡り合う、相手をする

「動詞句」

the fellow ザ・フェロウ n. 奴を

「目的語」

who's after me. フーズ・アフター・ミー adj. 俺を狙っている

「形容詞節」

be after... 「～を探す、～をねらう」

Part 1 第1部

そしてムルソー、君はもう一人が来たら手助けできるように待ち構えていてくれ、その時には、そいつをやっつけてくれ。

And you, Meursault, stand by to help if another one comes up, and lay him out.”

And 「呼びかけ」「動詞句」「副詞句」, and 「動詞句」「目的語」

And アント conj. そして

you, Meursault, ユー・メルソー n. ムルソー、君は 「呼びかけ」

stand by スタンド・バイ 命・2 単現・依頼 v.i 待ち構えてくれ、傍観する 「動詞句」

to help トゥ・ヘルプ 不定詞・目的 v.t 手を貸すために 「副詞句」

if イフ conj. もし～ならば 「副詞節」

another one アナザー・ワン pron もう一人が 「主語」

comes up, カムズ・アップ 3 単現 v.i やって来る、現れる 「動詞句」

and アント conj. そして

lay ...out.”レイ...アウト 命・2 単現・依頼 v.t やっつけてくれ 「動詞句」

him ヒム pron そいつを 「目的語」

僕は言った、「引き受けた」。マソンは緊張をほぐそうと、両手をそれぞれポケットに入れた。

I said, “Right,” and Masson put his hands in his pockets.

「主語」「動詞」, 《「応答」》, and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“Right,” ライト adv. 分かった、了解 「応答」

and アント conj. そして

Masson マソン n. マソンは 「主語」

put プット 3 単過(put)v.t 入れた、置いた 「動詞」

his hands ヒズ・ハズ pl(hand).n 手を 「目的語」

in his pockets. イン・ヒズ・ポケット adv. ポケットに 「副詞句」

ポケットに手を入れる心理

緊張する時などに、心を落ち着かせたくてポケットに手を入れることがある。

自分自身を威勢よく見せて、相手を威圧したい気持ちの表れの場合もある。

自分の不安な心理状態を隠そうとする意図もある。

Part 1 第1部

砂は火のように熱くて、真っ赤に燃えていると断言しても良いほどだった。

The sand was as hot as fire, and I could have sworn it was glowing red.

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞句」「目的語」

The sand サ・サント n. 砂は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

as hot as fire, アズ・ホット・アズ・ファイ adj. 火のように熱い

「補語」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

could have sworn クッド・ハヴ・スOWN 1 単過・完了形・可能・妥当(swear)

v.t 断言できただろう

「動詞句」

n. ~ということを

「目的語」

it イット pron それは

「主語」

was glowing ワズ・グロウイング 3 単過・進行形・時制の一致(glow)

v.i 燃えている

「動詞句」

red. レッド adj. 赤く

「補語」

僕たちとアラブ人たちの間の距離はじわじわと縮まっていった。

The distance between us and the Arabs was steadily decreasing.

「主語」「動詞句」

The distance サ・ディスタンス n. 距離は

「主語」

between us and the Arabs ビトウイン・アッス・アント・ズィ・アラブズ

adv. 僕たちとアラブ人たちの間の

「副詞句」

was steadily decreasing. ワズ・ステディリー・ディクリーシング 3 単過・進行形

v.i(decrease) 着々と縮まっていった

「動詞句」

僕たちがあと数歩の所まで来ると、アラブ人たちは立ち止まった。

When we were only a few steps away the Arabs halted.

「副詞節」,「主語」「動詞」

When ホエン conj. ~する時

「副詞節」

we ウィー pron 僕たちが

「主語」

were ワー 1 複過・移動(be)v.i ~に来た

「動詞」

only a few steps away オウンリー・ア・フュー・ステップ ス・アウェイ

adv. ほんの数歩の位置に

「副詞句」

the Arabs スィ・アラブズ pl.n アラブ人たちは

「主語」

halted. ホールテット 3 複過(halt)v.i 立ち止まった

「動詞」

Part 1 第1部

マソンと僕は歩調を落としたが、レーモンは真っすぐ自分の相手に近付いて行った。

Masson and I slowed down, while Raymond went straight up to his man.

「主語」「動詞句」,while「主語」「動詞句」「間接目的語」

Masson and I マソ・アント・アイ pl.n マソンと僕は

「主語」

slowed down, スロウ・ダウン 1 複過(alow down)v.i スピードを落とした

「動詞句」

while ホワイ conj. 一方～、けれども

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

went straight up ウェント・ストレイト・アップ 3 単過・接近(go up+ straight)

v.i 真っすぐ近付いて行った

「動詞句」

to his man. トゥ・ヒズ・マン adv. 自分の相手に

「間接目的語」

僕は彼が何を言ったのかは聞き取れなかった。だが、相手の奴がレーモンの胸に頭突きしようとして頭を下げるのが見えた。

I couldn't hear what he said, but I saw the native lowering his head, as if to butt him in the chest.

「主語」「動詞句」「目的語」,but「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

couldn't hear クエン・ト・ヒア 1 単過・可能・否定 v.t 聞き取れなかった

「動詞句」

what ファット pron ～することを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said, セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過・知覚動詞(see)v.t 見えた

「動詞」

the native ザ・ネイティヴ n. (侮蔑的意味) そいつが (アラブ人が)

「目的語」

lowering ロウリング 現在分詞・native の動作 v.t ～を下げる

「補語」

his head, ヒズ・ヘット n. 頭を

「目的語」

as if +to 不定詞 アズ・イフ adv. まるで～するように

「副詞句」

to butt トゥ・バット 不定詞 v.t 頭をぶつける

「動詞句」

him ヒム pron 彼の

「間接目的語」

in the chest. イン・ザ・チェスト adv. 胸に

「副詞句」

Part 1 第1部

レーモンはすぐに殴り掛かってから、来てくれとマソンに叫んだ。

Raymond lashed out promptly and shouted to Masson to come.

「主語」「動詞句」「副詞」 and 「動詞」「間接目的語」「補語」

Raymond レーモン n. レーモンは

「主語」

lashed out ラッシュアウト 3 単過(lash out)v.i 殴りかかった

「動詞句」

promptly プロンプトリー adv. すぐに、即座に

「副詞」

and アンド conj. そして

shouted シャウト 3 単過 v.i 叫んだ

「動詞」

to Masson トゥ・マソン adv. マソンに

「間接目的語」

to come. トゥ・カム 不定詞・Masson の動作・依頼 v.i 来る、来い

「補語」

マソンは注目していた男に近付いて行き、全力で男を2回殴った。

Masson went up to the man he had been marking and struck him twice with all his might.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

Masson マソンは

「主語」

went up ウェント・アップ 3 単過(go up)v.i 近付いて行った

「動詞句」

to the man トゥ・ザ・マン adv. 男に

「間接目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

had been marking ハット・ビーン・マーキング 3 単過・完了形・継続(mark)

v.t 注目していた

「動詞句」

and アンド conj. そして

struck ストラック 3 単過(strike)v.t 殴った

「動詞」

him ヒム pron 男を

「目的語」

twice トゥワイス adv. 2回

「副詞」

with all his might. ウイズ・オール・ヒズ・マイト adv. 全力で

「副詞句」

男は海水にばったり倒れ込んで、数秒間そのままじっとしていた。男の頭の周りの水面に泡が湧き上がっていた。

The fellow fell flat into the water and stayed there some seconds with bubbles coming up to the surface round his head.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞」「副詞句」

The fellow ザ・フェロウ n. 男は

「主語」

fell flat フェル・フラット 3 単過(fall flat)v.t ばったり倒れた

「動詞句」

into the water イントゥ・ザ・ウォーター adv. 海水に

「副詞句」

and アンド conj. そして

stayed ステイ 3 単過 v.i そのままでいた

「動詞」

there ゼア adv. そこに

「副詞」

Part 1 第 1 部

some seconds サム・セカンズ	adv. 数秒間	「副詞句」
with bubbles ウイズ・バブルズ	adv. (様態) 泡が〜する	「副詞句」
coming up カミング・アップ	現在分詞(come up)v.i 湧き上がってくる	「動詞句」
to the surface トゥ・サー・サーフェイス	adv. 水面に	「副詞句」
round his head. ラウンド・ヒズ・ヘッド	adv. 彼の頭の周りの	「副詞句」

一方、レーモンはもう一人の男を激しく殴り続けていたので、相手の顔は血が流れていた。

Meanwhile Raymond had been slogging the other man, whose face was streaming with blood. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Meanwhile ミンホイル adv. 同時に、一方では 「副詞」

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」

had been slogging ハット・ビーン・スロギング 3 単過・完了形・継続(slog)
v.t 激しく殴り続けていた 「動詞句」

the other man, スィ・アザー・マン n. もう一人を 「目的語」

whose face フーズ・フェイス n. その顔は 「主語」

was streaming ワズ・ストリーミング 3 単過・進行形(stream)v.i(with が) 流れていた 「動詞句」

with blood. ウイズ・ブラット adv. 血が 「間接目的語」

彼は肩越しに僕の方をちらっと見て、叫んだ：

He glanced at me over his shoulder and shouted:

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」 and 「動詞」：

He ヒー pron レーモンは 「主語」

glanced グランスト 3 単過 v.i ちらっと見た 「動詞」

at me アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」

over his shoulder オヴァー・ヒズ・ショウルダー adv. 肩越しに 「副詞句」

and アンド conj. そして

shouted: シャウティット 3 単過 v.i 叫んだ 「動詞」

「見ろ！もっと痛め付けてやる！」「気を付けろ！」僕は叫んだ。「ナイフをもってるぞ」

“Just you watch! I ain’t finished with him yet!” “Look out!” I cried. “He’s got a knife.”

《「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」》

《「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞」「目的語」》

“Just you watch! ジャスト・ユー・ウォッチ 命・2 単現(watch)v.t 見てろ！ 「動詞句」

I アイ pron 俺は 「主語」

ain’t finished エイント・フィニッシュト 1 単現・完了形・否定(finish)v.i(with) 片付いてない 「動詞句」

ain’t エイント 「(is, are) not または(have, has) not の短縮形」

Part 1 第 1 部

with him ウイズ・ヒム adv. 彼に対して	「間接目的語」
yet!” イェット adv. まだ	「副詞」
“Look out!” ルック・アウト 命・2 単現(look out)v.t 気を付けろ！	「呼びかけ」
I アイ pron 僕は	「主語」
cried. クライト 1 単過(cry)v.i 叫んだ	「動詞」
“He ヒー pron 奴が	「主語」
's got ハズ・ゴット 3 単過(have got = have)v.t 持っている	「動詞」
a knife.” ア・ナイフ n. ナイフを	「目的語」

僕が言うのが遅すぎた。男はその時すでに、レーモンの腕とさらに口も切り裂いていた。

I spoke too late. The man had gashed Raymond's arm and his mouth as well.

「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「目的語」「副詞句」	
I アイ pron 僕は	「主語」
spoke スポーク 1 単過(speak)v.i 言った	「動詞」
too late. トゥ・レイト adv. あまりにも遅く	「副詞句」
→ 結果 「～したが、遅すぎた」	
The man ザ・マン n. 男は	「主語」
had gashed ハット・ギヤッシュト 3 単過・完了形(gash)v.t すでに深く傷つけていた	「動詞句」
Raymond's arm レモンス・アーム n. レーモンの腕を	「目的語」
and アンド conj. そして	
his mouth ヒズ・マウス n. 彼の口を	「目的語」
as well. アズ・ウェル adv. おまけに、その上	「副詞句」

マソンが前に踏み出した。もう一人のアラブ人は水の中から起き上がっていて、ナイフを持った仲間の背後に移動していた。

Masson sprang forward. The other Arab got up from the water and placed himself behind the fellow with the knife.

「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「動詞句」「副詞句」	
Masson マソン n. マソンは	「主語」
sprang スプリング 3 単過(spring)v.i はねた、跳んだ	「動詞」
forward. フォワード adv. 前方へ	「副詞」
The other Arab スィ・アザー・アラブ n. もう一人のアラブ人は	「主語」
got up ゴット・アップ 3 単過(get up)v.i 起き上がっていた	「動詞句」
from the water フロム・ザ・ウォーター adv. 水の中から	「副詞句」
and アンド conj. そして	
placed himself プレイスト・ヒムセルフ 3 単過 v.t 自分の体を置いていた	「動詞句」

Part 1 第 1 部

behind the fellow ビ・ハイン・ザ・フェロウ adv. 仲間の背後に 「副詞句」

with the knife. ウィズ・ザ・ナイフ adv. ナイフを持った 「副詞句」

僕たちは動こうにも動けなかった。アラブ人 2 人は、ナイフで僕たちを釘付けにして、僕たちから目をそらさずにゆっくりと後ずさりして行った。

We didn't dare to move. The two natives backed away slowly, keeping us at bay with the knife and never taking their eyes off us.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

We ウィー pron 僕たちは 「主語」

didn't dare to move. デイdn't・デア・トゥ・ムー 1 複過・意志・否定(dare+不定詞)

v.i 動くに動けなかった 「動詞句」

The two natives ザ・トゥ・ネイティヴズ pl.n アラブ人 2 人は 「主語」

backed away バックト・アウェイ 3 複過(back away)v.i 後ずさりして行った 「動詞句」

slowly, スロウリー adv. ゆっくりと 「副詞」

keeping キーピnグ 現在分詞・様態 v.t(keep+O at bay) (O を) 食い止めながら 「副詞句」

us アッス pron 僕たちを 「目的語」

at bay アット・ベイ adv. 窮地に、土壇場に 「副詞句」

keep O at bay 「O を食い止めておく、寄せ付けない」

with the knife ウィズ・ザ・ナイフ adv. (手段) ナイフで 「副詞句」

and アンド conj. そして

never taking ネヴァー・テイキング 現在分詞・否定・様態(take O-1 off O-2)

v.t (O-2 から O-1 を) 取り去らずに 「副詞句」

their eyes ゼア・アイズ pl.n 彼らの目を 「直接目的語」

off us. オフ・アッス adv. 僕たちから 「間接目的語」

安全圏まで離れると、彼らは急に向きを変え、大急ぎで逃げて行った。

When they were at a safe distance they swung round and took to their heels.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」 and 「動詞句」

When ホエン conj. ～すると 「副詞節」

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

were ワー 3 複過・移動(be)v.i ～行った 「動詞」

at a safe distance アット・ア・セイフ・ディスタンス adv. 安全な距離に 「副詞句」

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

swung round スワング・ラウンド 3 複過(swing round)v.i 急に振り向いた 「動詞句」

and アンド conj. そして

took to their heels. トゥック・トゥ・ゼア・ヒールズ v.i(take to one's heels) 急いで逃げた 「動詞句」

Part 1 第1部

僕たちは、陽光が照り付ける中で、じっと立ち尽くしていた。

We stood stock-still, with the sunlight beating down on us.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」

We ウィー pron 僕たちは

「主語」

stood ストゥッド 1 複過(stand)v.i(C ~の状態) 立っていた

「動詞」

stock-still, スtock・スチル adj. じっとしている

「補語」

with ウイズ adv. (周囲の状況) ~の状況で

「副詞句」

the sunlight ザ・サンライト n. 陽光

「目的語」

beating down ビーティング・ダウン 現在分詞 v.i(on に) 照り付ける

「動詞句」

on us. オン・アッス adv. 僕たちに

「間接目的語」

レーモンの負傷した腕からは、血が滴っていた。彼は肘の上を押さえていた。

Blood was dripping from Raymond's wounded arm, which he was squeezing hard above the elbow.

「目的語」「主語」「動詞句」「副詞句」

Blood ブラッド n. 血が

「主語」

was dripping ワズ・ドレピング 3 単過・進行形・継続(drip)v.i 滴っていた

「動詞句」

from Raymond's wounded arm, フロム・レーモンス・ウンディット・アーム

adv. レーモンの負傷した腕から

「副詞句」

which フィッチ pron (目的語) ~する

「形容詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was squeezing ワズ・スクイーディング 3 単過・進行形(squeeze)

v.t 握っていた

「動詞句」

hard ハート adv. 強く、ぎゅっと

「副詞」

above the elbow. アバヴ・スィ・エルボゥ adv. 肘の上を

「副詞句」

マソンが、いつもここで日曜日を過ごしている医者がいると言った。するとレーモンは、

「よし、すぐにその医者の中へ行こう！」と、言った。

Masson remarked that there was a doctor who always spent his Sundays here, and Raymond said: "Good. Let's go to him at once."

「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞」:

《「応答」 | 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

Masson マソン n. マソンが

「主語」

remarked リマート 3 単過 v.t(that ~だと) 言った

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がいる

「動詞句」

Part 1 第1部

a doctor ア・ドクター n. 医者が	「主語」
who フー pron (主語) ～する	「形容詞節」
always オールウェイズ adv. いつも	「副詞」
spent スpent 3 単過・時制の一致(spend)	
v.i (時間を) 過ごしている	「動詞」
his Sundays ヒズ・サンデイズ pl.n 日曜日を	「目的語」
here, ヒア adv. ここで	「副詞」
and アンド conj. すると	
Raymond レーモン n. レーモンは	「主語」
said: セット 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
“Good. グット” adv. よし!	「応答」
Let's go レッツ・ゴウ 命・1 複現・勧誘 v.i 行こう	「動詞句」
to him トゥ・ヒム adv. 彼の所へ	「間接目的語」
at once.” アット・ワンス adv. すぐに	「副詞句」

レーモンは、もう一方の傷口から流れ出す血が口の中で泡になっていたので、満足に話すことが出来なかった。

He could hardly get the words out, as the blood from his other wound made bubbles in his mouth.

He ヒー pron 彼は	「主語」
could hardly get ...out, クット・ハートリー・ゲット...アウト 3 単過・可能・否定(get out)	
v.t (言葉を) 述べることがほとんど出来なかった	「動詞句」
the words ザ・ワーズ pl.n 言葉を	「目的語」
as アス conj. (理由) ～なので	「副詞節」
the blood ザ・ブラッド n. 血が	「主語」
from his other wound フロム・ヒズ・アザー・ウント	
adv. 他方の傷口からの	「副詞句」
レーモンは腕の他に口にも傷を負っていた	
made メイト 3 単過(make)v.t ～を形成していた	「動詞」
bubbles ハブルズ pl.n 泡を	「目的語」
in his mouth. イン・ヒズ・マウス adv. 口の中で	「副詞句」

Part 1 第1部

僕たちは彼に肩を貸して支え、彼がバンガローに戻るのを手助けした。

We each gave him an arm and helped him back to the bungalow.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 and 「動詞」「目的語」「補語」
 We ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」
 each イチ pron それぞれ 「主語」
 gave ゲイヴ 1 複過(give)v.t (手を) 貸した 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 an arm アン・アーム n. 腕を 「直接目的語」
 and アンド conj. そして
 helped ヘルプト 1 複過 v.t 手助けした 「動詞」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 back バック 不定詞・him の動作 v.i(to に) 戻る 「補語」
 to the bungalow. トゥ・ザ・バンガロー adv. バンガロー (別荘) に 「間接目的語」

一度別荘に戻ると、傷はそれほどひどくないから、自分一人で医者の方へ行けると、レーモンが僕たちに言った。マリーは真っ青になり、マソンの奥さんは泣き出した。

Once we were there he told us the wounds weren't so very deep and he could walk to where the doctor was. Marie had gone quite pale, and Mme Masson was in tears.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 「主語」「動詞句」「補語」 and 「主語」「動詞」「補語」
 Once ワンス conj. 一度～すると、～するやいなや 「副詞節」
 we ウィー pron 僕たちが 「主語」
 were ワー 1 複過・移動(be)v.i 戻った 「動詞」
 there ゼア adv. 別荘に 「副詞」
 he ヒー pron レーモンは 「主語」
 told トルド 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 us アッス pron 僕たちに 「間接目的語」
 the wounds ザ・ウンズ pl.n 傷は～だということを 「直接目的語」
 weren't ワrent 3 複過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない 「動詞句」
 so very deep ソ・ヴェリー・ディープ adj. (否定文で) それほどひどくない 「補語」
 and アンド conj. そして
 he ヒー pron 彼は～ということを 「直接目的語」
 could walk クッド・ウォーク 3 単過・可能・時制の一致 v.i 歩ける 「動詞句」
 to where the doctor was. トゥ・ウェア・ザ・ドクター・ワズ
 adv. 医者の方のところまで 「副詞句」
 Marie マリー n. マリーは 「主語」

Part 1 第1部

had gone ハット・ゴウン 3 単過・完了形(go)

v.i (状態が) ~になっていた

「動詞句」

quite pale, クワイ・ペイル adj. 真っ青な

「補語」

and アンド conj. そして

Mme Masson マダム・マソン n. マソンの奥さんは

「主語」

was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ~になった

「動詞」

in tears. イン・ティアズ adv. 泣いた状態に

「補語」

マソンとレーモンは、医者の方へ出かけて行った。一方、僕は後に残って、別荘で女たちに状況を説明した。

Masson and Raymond went off to the doctor's while I was left behind at the bungalow to explain matters to the women.

「主語」「動詞句」「間接目的語」, while 「主語」「動詞」「補語」

Masson and Raymond マソン・アント・レーモン pl.n マソンとレーモンは

「主語」

went off ウェント・オフ 3 複過(go off)v.i 出かけて

「動詞句」

to the doctor's トゥ・ザ・ドクターズ adv. 医者の方へ

「間接目的語」

while ホワイ conj. 一方

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

left レフト adj. 残った

「補語」

behind ビ・ハインド adv. 後に

「副詞」

at the bungalow アット・ザ・バンガロー adv. 別荘に

「副詞句」

to explain トゥ・イクスプレイン 不定詞・結果 v.t そして説明した

「動詞句」

matters マターズ pl.n 事態を

「直接目的語」

to the women. トゥ・ズィ・ウィミン adv. 彼女たちに

「間接目的語」

二人に説明するのにうんざりして、僕はやがて黙り込み、海を見つめてタバコを吸い始めた。

I didn't much relish the task and soon dried up and started smoking, staring at the sea.

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「副詞」「動詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't much relish デイトント・マッチ・リッシュ 1 単過・否定(relish)

v.t あまり楽しまなかった

「動詞句」

the task ザ・タスク n. その仕事を、説明することを

「目的語」

and アンド conj. そして

soon スーン adv. すぐに

「副詞」

Part 1 第1部

dried up ドライト・アップ 1 単過(dry up)v.i 黙り込んだ 「動詞句」
 dry up ドライ・アップ v.i 干上がる、枯渇する、黙り込む
 and アンド conj. そして
 started smoking, スタート・スモウキング 1 単過・開始(start+現在分詞)
 v.i タバコを吸い始めた 「動詞句」
 staring ステアリング 現在分詞・同時 v.i(at を) 見つめながら 「副詞句」
 at the sea. アット・ザ・シー adv. 海を 「間接目的語」

レーモンがマソンに付き添われて、1時半ごろに戻って来た。

Raymond came back at about half-past one, accompanied by Masson.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 came back ケイム・バック 3 単過(come back)v.i 戻って来た 「動詞句」
 at about half-past one, アット・アバウト・ハーフ・パースト・ワン adv. (時間) 1時半ごろに 「副詞句」
 accompanied アカンパニート 過去分詞・様態・受動(accompany)v.t 付き添われて 「副詞句」
 by Masson. バイ・マソン adv. (動作主) マソンに 「副詞句」

彼は腕に包帯を巻いてもらい、口の端には絆創膏を貼っていた。

He had his arm bandaged and a strip of sticking plaster on the corner of his mouth.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」and「目的語」「副詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 had ハット 3 単過・使役(have)v.t(SVO+過去分詞)v.t ~してもらっていた 「動詞」
 have ハヴ v.t (性質など) ~をしていた、付けていた
 his arm ヒズ・アーム n. 腕を 「目的語」
 bandaged バンディッジト 過去分詞・受動・arm の動作(bandage)v.t 包帯を巻かれた 「補語」
 and アンド conj. そして
 a strip ア・ストリップ n. (布) 切れを 「目的語」
 of sticking plaster オフ・スティッキング・プラスター adj. 絆創膏の 「形容詞句」
 on the corner オン・ザ・コーナー adv. (口の) 端に 「副詞句」
 of his mouth. オフ・ヒズ・マウス adj. 口の 「形容詞句」

Part 1 第1部

医者は彼に大した傷ではないと保証したが、レーモンはかなり落ち込んでいるようだった。

The doctor had assured him it was nothing serious, but he was looking very glum.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,but「主語」「動詞句」「補語」
 The doctor ザ・ドクター n. 医者は 「主語」
 had assured ハッド・アシュアード 3 単過・完了形(assure)v.t ～を保証した、言明した 「動詞句」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 it イット pron. ～ということ 「直接目的語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 nothing serious, ナンギン・シアリス pron 何も重大なもの～でない 「補語」
 but バット conj. しかし
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was looking ワズ・ルギン 3 単過・進行形(look)v.i ～のように見えた 「動詞句」
 very glum. ヴェリー・グラム adj. 非常に憂鬱そうな、ふさぎ込んだ 「補語」

マソンはレーモンを笑わせようとしてみたが、うまくいかなかった。

Masson tried to make him laugh, but without success.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」,but「副詞句」
 Masson マソン n. マソンは 「主語」
 tried to make トライト・トゥ・メイク 3 単過・試行・使役(try to make)
 v.t (O+不定詞) ～させようとした 「動詞句」
 him ヒム pron 彼に 「目的語」
 laugh, ラフ 不定詞・him の動作 v.i 笑う 「補語」
 but バット conj. しかし
 without success. ウイズ・アウト・サセス adv. 上手くいかないで 「副詞句」

間もなく、レーモンが浜辺を散歩に行くと言った。

Presently Raymond said he was going for a stroll on the beach.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」
 Presently プレゼントリー adv. やがて、間もなく 「副詞」
 Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 he ヒー pron 彼は～ということ 「目的語」
 was going ワズ・ゴウイング 3 単過・近接未来・意志(go)v.i 行こうと思う 「動詞句」
 for a stroll フォー・ア・ストロウル adv. 散歩に 「間接目的語」
 on the beach. オン・ザ・ビーチ adv. 浜辺を 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は彼にどこへ行くつもりかと尋ねた。すると彼は、『散歩に行く』みたいなことを呟いた。

I asked him where he proposed to go, and he mumbled something about “wanting to take the air.” 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

where ウェア adv. どこに～するかということ 「直接目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

proposed to go, プロポズト・トゥ・ゴウ 3 単過・意図・時制の一致(propose to+不定詞)

v.i 行くつもりである 「動詞句」

and アント conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

mumbled マンブルト 3 単過 v.t 呟いた 「動詞」

something サムシング pron 何かを 「目的語」

about “wanting to take the air.” アバウト・ウォンティング・トゥ・テイク・スィ・エア

adv. 『散歩に行きたい』みたいな 「副詞句」

それで僕たちは彼と一緒にいきたいと言うと、彼は突然激しく怒りだして、僕たちに自分の事だけ心配している、と悪態をついた。

We— Masson and I—then said we’d go with him, but he flew into a rage and told us to mind our own business. 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」,

but 「主語」「動詞」「補語」 and 「動詞」「目的語」「補語」

We— Masson and I— ウィー・マソン・アント・アイ pron. 僕たち—マソンと僕は— 「主語」

then セン adv. それで 「副詞」

said セット 1 複過(say)v.t 言った 「動詞」

n. ～ということ 「目的語」

we ウィー pron 僕たちは 「主語」

’d go ウット・ゴウ 1 複過・時制の一致(will+不定詞)

v.i (意向・願望) 行きたい 「動詞句」

with him, ウイズ・ヒム adv. 彼と一緒に 「副詞句」

but バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は 「主語」

flew フルー 3 単過(fly)v.i(into 突然～に) なった 「動詞」

into a rage イントゥ・ア・レイジ adv. 激怒した状態に 「補語」

fly into a rage 「烈火のごとく怒る」

Part 1 第 1 部

and アンド conj. そして

told トルド 3 単過(tell)v.t(SVO to+不定詞 O に～するように) 言った 「動詞」

us アス pron 僕たちに 「目的語」

to mind トゥ・マインド 不定詞・us の動作 v.t ～を気にする 「補語」

our own business. アウ・OWN・ブズニス n. 自分たちの事を 「目的語」

マソンは、彼の様子を見ると、これ以上何も言わない方がいいと言った。しかし、彼が出て行くと、僕は彼の後を追った。

Masson said we mustn't insist, seeing the state he was in. However, when he went out, I followed him. 「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Masson マソン n. マソンは 「主語」

said セット 1 複過(say)v.t 言った 「動詞」

n. ～ということを 「目的語」

we ウー pron 僕たちは 「主語」

mustn't insist, マスト・インスト 1 複現・否定・妥当(must+不定詞)

v.i これ以上言わない方がいいだろう 「動詞句」

seeing シーイング 現在分詞・理由 adv. ～を見ると 「副詞句」

the state ザ・ステイト n. 状態、様子 「目的語」

he was in. ヒー・ワズ・イン adv. 彼の居る 「副詞句」

However, ハウエヴァー adv. けれども、それでも 「副詞」

when ホエン conj. ～すると 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

went out, ウェント・アウト 3 単過(go out)v.i 出て行った 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

followed フォロウト 1 単過 v.t ～の後について行った 「動詞」

him. ヒム pron 彼に 「目的語」

外は、日光が粉々に砕けて砂や海に降り注ぎ、まるでオーブンの中のような暑さだった。

It was like a furnace outside, with the sunlight splintering into flakes of fire on the sand and sea. 「動詞」「補語」, 「副詞句」

It イット pron 天気など

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

like a furnace ライク・ア・ファナス adj. 炉のような 「補語」

outside, アウトサイト adv. 外は 「副詞」

with the sunlight ウイズ・ザ・サンライト adv. (様態) 日光が 「副詞句」

splintering スプリンタリング 現在分詞(splinter)v.i 粉々に砕ける 「動詞」

Part 1 第1部

into flakes イントゥ・フレイクス adv. (変化) 破片になって 「副詞句」

of fire オフ・ファイ adj. 火の 「形容詞句」

on the sand and sea. オン・ザ・サント・アント・シー adv. (場所) 砂や海に 「副詞句」

僕たちはかなり長い間歩き続けた。僕は、レーモンには決まった行先があるものと思って
いたのだが、どうやらそれは間違いだったらしい。

We walked for quite a while, and I had an idea that Raymond had a definite idea where
he was going; but probably I was mistaken about this.

「主語」「動詞」「副詞句」,and「主語」「動詞」「目的語」;

but「副詞」「動詞」「主語」「補語」

We ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」

walked ウォークト 1 複過 v.i 歩いた 「動詞」

for quite a while, フォー・クワイ・ア・ホワイル adv. かなり長い間 「副詞句」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t 〜があった 「動詞」

an idea アン・アイデア n. 考え、見当 「目的語」

that サット conj. (同格) 〜という 「形容詞節」

Raymond レモン n. レーモンは 「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」

a definite idea ア・デフイニット・アイデア n. しっかりした考えを 「目的語」

where ウェア adv. どこに〜するかという 「形容詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was going; ワズ・ゴウイング 3 単過・進行形・時制の一致(go)

v.i 行こうとしている 「動詞句」

but バット conj. しかし

probably プロバブリー adv. たぶん 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

mistaken ミステイクン adj. 誤った 「補語」

about this. アバウト・ズィス adv. これについて 「副詞句」

Part 1 第 1 部

浜のはずれで結局、僕たちは、大きな岩の裏から湧き出して、砂の上に水路を造り出して
いる小さな泉に辿り着いた。

At the end of the beach we came to a small stream that had cut a channel in the sand,
after coming out from behind a biggish rock. 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

At the end of the beach アット・ズィ・エント・オブ・ザ・ビーチ adv. 浜のはずれで 「副詞句」

we ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」

came ケム 1 複過(come)v.i (to 結局～に) 辿り着いた 「動詞」

to a small stream トゥ・ア・スモール・ストリーム adv. 小さな流れ、泉に 「間接目的語」

that サット pron (主語) ～する 「形容詞節」

had cut ハット・カット 3 単過・完了形(cut)v.t 切り開いた 「動詞句」

a channel ア・チャネル n. 水路、流れ 「目的語」

in the sand, イン・ザ・サント adv. 砂の上に 「副詞句」

after coming out アフター・カミング・アウト adv. 湧き出した後で 「副詞句」

from behind a biggish rock. フロム・ビ・ハインド・ア・ビギッシュ・ロック

adv. 大きな岩の裏から 「副詞句」

そこでまた、例のアラブ人 2 人に会った。彼らは菜っ葉服を着て砂の上に寝ていた。

There we found our two Arabs again, lying on the sand in their blue dungarees.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」

There ゼア adv. そこで 「副詞」

we ウィー pron.pl 僕たちは 「主語」

found ファウンド 1 複過(find)v.t (偶然に) 会った 「動詞」

our two Arabs アウ・トゥ・アラブズ pl.n 例のアラブ人 2 人に 「目的語」

again, アゲン adv. また 「副詞」

lying ライイング 現在分詞・様態 v.i 横になっている 「副詞句」

on the sand オン・ザ・サント adv. 砂の上に 「副詞句」

in their blue dungarees. イン・ゼア・ブルー・ダンガリース adv. 菜っ葉服を着て 「副詞句」

Part 1 第1部

彼らは全く悪意を抱いていないかのように無害に見えた。そして、僕らが近づいても何も動きを見せなかった。

They looked harmless enough, as if they didn't bear any malice, and neither made any move when we approached.

「主語」「動詞」「補語」,and「動詞句」「目的語」「副詞節」

They ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 looked ルクト 3 複過 v.i ~のように見えた 「動詞」
 harmless enough, ハームレス・イフ adj. まったく害のない 「補語」
 as if アズ・イフ conj. まるで~のように 「副詞節」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 didn't bear デイトント・ベア 3 複過・否定・時制の一致 v.t 抱かない 「動詞句」
 any malice, エニー・マリス n. どんな悪意も 「目的語」
 and アント conj. そして
 neither made ニーザー・メイト 3 複過・否定(make)v.t 作りもしなかった 「動詞句」
 any move エニー・ムーヴ n. どんな動きも 「目的語」
 when we approached. ホエン・ウィー・アプ ローチ adv. 僕たちが近づいた時に 「副詞節」

レーモンを切りつけた男は、無言でじっと彼を見つめていた。

The man who had slashed Raymond stared at him without speaking.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

The man ザ・マン pron 男は 「主語」
 who フー pron (主語) ~する 「形容詞節」
 had slashed ハット・スラッシュト 3 単過・完了形(slash)v.t 切りつけた 「動詞句」
 Raymond レーモン n. レーモンを 「目的語」
 stared ステアド 3 単過 v.i じっと見つめていた 「動詞」
 at him アット・ヒム adv. 彼を 「間接目的語」
 without speaking. ウイズアウト・スピーキング adv. 無言で 「副詞句」

Part 1 第 1 部

もう一方の男は葦笛を吹いていた。そして、僕たちを横目で監視しながら、3つの音程を何度も何度も吹き鳴らしていた。

The other man was blowing down a little reed and extracting from it three notes of the scale, which he played over and over again, while he watched us from the corner of an eye.

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「動詞句」「副詞句」「目的語」

The other man ズィ・アザー・マン n. もう一方の男は 「主語」

was blowing down ワズ・ブローイング・ダウン 3 単過・進行形(blow down)

v.t 吹き鳴らしていた 「動詞句」

a little reed ア・リトル・リート n. 葦笛を 「目的語」

and アンド conj. そして

extracting エクストラクティング 3 単過・進行形(extract)v.t (音を) 出していた 「動詞句」

from it フロム・イット adv. その葦笛から 「副詞句」

three notes of the scale, スリー・ノウ pl.n 3つの音程を 「目的語」

which フィッチ pron それを 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

played プレイト 3 単過 v.i 吹いていた 「動詞」

over and over again, オウヴァー・アノヴァー・アゲイン

adv. 何度も何度も 「副詞句」

while ホワイ conj. (同時) ～しながら 「副詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

watched ウォッチト v.t 監視していた 「動詞」

us アス pron 僕たちを 「目的語」

from the corner of an eye. フロム・ザ・コーナー・オブ・アン・アイ

adv. (方法) 横目で 「副詞句」

しばらくの間、誰も動かなかった；泉のせせらぎとあの寂しげな 3つの音程は別にすると、太陽と静寂がすべてだった。

For a while nobody moved; it was all sunlight and silence except for the tinkle of the stream and those three little lonely sounds.

「副詞句」, 「主語」「動詞」; 「動詞」「補語」「主語」「動詞句」「副詞句」

For a while フォー・ア・ホワイ adv. しばらくの間 「副詞句」

nobody ノバディ pron 誰も～ない 「主語」

moved; ムーヴト 3 単過・否定文 v.i 動かなかった 「動詞」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は sunlight and silence)

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

all オール pron すべて 「補語」

Part 1 第1部

sunlight and silence サンライト・アント・サイレンス pl.n 太陽と静寂が 「主語」
 except for イクセプト・フォー prep (除外) 〜のほかは、〜は別として 「副詞句」
 the tinkle of the stream ザ・チンクル・オブ・ザ・ストリーム n. 泉のせせらぎ 「目的語」
 and アント conj. そして
 those three little lonely sounds. ゴウス・スリー・リトル・ロウソリー・サウズ
 pl.n あの寂しげな3つの音程 「目的語」

その時、レーモンが尻ポケットに手をやった。しかし、アラブ人たちは動かなかった。

Then Raymond put his hand to his revolver pocket, but the Arabs still didn't move.
 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,but 「主語」「副詞」「動詞句」
 Then ゼン adv. その時 「副詞」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 put プット 3 単過(put)v.t 動かした 「動詞」
 his hand ヒズ・ハント n. 手を 「目的語」
 to his revolver pocket, トゥ・ヒズ・レヴオルバー ール adv. 尻ポケットに 「副詞句」
 ポケットの拳銃ではなくて、尻ポケット
 but バット conj. しかし
 the Arabs ズィ・アラブズ pl.n アラブ人たちは 「主語」
 still スティル adv. まだ 「副詞」
 didn't move. デイトント・ムーヴ 3 複過・否定 v.i 動かなかった 「動詞句」

フランス語の原文では

それからレーモンは尻ポケットに手をやった。

Puis Raymond a porté la main à sa poche revolver,

フランス語 poche revolver は英語では hip pocket 「ズボンの尻ポケット」である

僕は、葦笛を吹いている男の足の指が、付け根から外側にほとんど直角に広がっていることに気が付いた。

I noticed the man playing on the reed had his big toes splayed out almost at right angles to his feet.
 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed ノチスト 1 単過 v.t に気が付いた 「動詞」
 n. 〜ということ 「目的語」
 the man ザ・マン n. その男は 「主語」
 playing プレイイング 現在分詞(play)adj. 吹いている 「形容詞句」
 on the reed オン・ザ・リート adv. 葦笛を 「間接目的語」
 had ハット 3 単過(have)v.t (特徴) をしていた 「動詞」

Part 1 第1部

his big toes ヒズ・ビグ・トーズ pl(big toe).n 足の指 「目的語」

splayed out スプレイト・アウト 過去分詞(splay out)

adj. 外側に広がった 「形容詞句」

almost at right angles オールモウスト・アット・ライト・アングルズ

adv. ほとんど直角に 「副詞句」

to his feet. トゥ・ヒズ・フィート adv. 足に対して 「副詞句」

フランス語の原文では

僕は、葦笛を吹いている奴の足の指どうしがやけに離れていることに気が付いた。

J'ai remarqué que celui qui jouait de la flûte avait les doigts des pieds très écartés.

指と指が広がっている。→ 外側に 90 度開いているとは書いていない。

まだ相手から視線をそらさずに、レーモンは僕に言った：「一発お見舞いするか？」

Still keeping his eyes on his man, Raymond said to me: "Shall I plug him one?"

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」:

《「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞」》

Still keeping スティル・キープィング adv. (様態) (動作の強調) さらに保ち続けて 「副詞句」

his eyes ヒズ・アイズ pl.n 視線を 「直接目的語」

on his man, オン・ヒズ・マン adv. 相手の男に 「間接目的語」

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」

said 3 単過(say)v.i 言った 「動詞」

to me: トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」

"Shall ...plug シャル...プラグ 1 単未・疑問文・確認(shall+不定詞)v.t 殴るか? 「動詞句」

I アイ pron 俺が 「主語」

him ヒム pron 奴を 「目的語」

one?" ワン pron 一発、一度 「副詞」

僕は瞬時に考えた。彼の今の心理状態を考慮すれば、もし僕が彼に止めろと言え、彼は間違いなく頭に血がのぼって、銃を撃ってしまうだろう。

I thought quickly. If I told him not to, considering the mood he was in, he might very well fly into a temper and use his gun.

「主語」 「動詞」 「副詞」

「副詞節」, 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 and 「動詞句」 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

thought ヲト 1 単過(think)v.i 考えた 「動詞」

quickly. クイックリー adv. 瞬時に、敏速に 「副詞」

If イ conj. (仮定) もし~ならば 「副詞節」

Part 1 第1部

I アイ pron 僕が	「主語」
told トルド 1 単過・假定(tell)v.t 言った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「目的語」
not to, ノット・トゥ 不定詞・否定形・動詞省略・him の動作 v.t しない	「補語」
considering コンシダリング 現在分詞・条件(consider)v.t ～を考慮すると	「副詞句」
the mood he was in, ザ・ムード・ヒー・ワズ・イン n. 彼の今の心理状態を	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
might very well fly マイト・ヴェリー・ウェル・フライ 3 単現・推量(might well+不定詞) v.i 突然～の状態になるに違いない	「動詞句」
into a temper イントゥ・ア・テンパー adv. かつとなって	「補語」
and アンド conj. そして	
use ユーズ 3 単現・推量(might well+不定詞)v.t (銃を) 撃つに違いない	「動詞句」
his gun. ヒズ・ガン n. 拳銃を	「目的語」

それで僕は、真っ先に頭に浮かんだ事を言った。

<u>So I said the first thing that came into my head.</u>	「副詞」「主語」「動詞」「目的語」
So ソ adv. それで	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
said セット 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
the first thing ザ・ファースト・シング n. 最初の事を	「目的語」
that ザット pron (主語) ～する	「形容詞節」
came ケム 3 単過(come) v.i(into ～に) (頭に) 浮かんだ、入って来た	「動詞」
into my head. イントゥ・マイ・ヘッド adv. 頭に	「間接目的語」

「相手はまだ君に何も言っていない。ここで冷酷にも相手を撃てば、卑劣な行為になる」

<u>“He hasn’t spoken to you yet. It would be a lowdown trick to shoot him like that, in cold blood.”</u>	《「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」 「動詞句」「補語」「主語」》
“He ヒー porn 相手は	「主語」
hasn’t spoken ハズント・スポークン 3 単現・完了形・否定(speak)v.i 言っていない	「動詞句」
to you トゥ・ユー adv. 君に	「間接目的語」
yet. イェット adv. まだ	「副詞」
It イット pron 仮の主語 (真の主語は to shoot 以降)	
would be ウッド・ビー 3 単現・変化・過去における未来の推量(would+不定詞) v.i ～になるだろう	「動詞句」
a lowdown trick ア・ローダウン・トリック n. 卑劣な行為	「補語」

Part 1 第1部

lowdown ロウダウ^ン adj. 卑劣な trick トリック n. わるさ、悪い行為
 to shoot トゥ・シュート 不定詞 n. (条件) 撃つことは 「主語」
 him ヒム pron 相手を 「目的語」
 like that, ライク・ザット adv. そんな風に 「副詞句」
 in cold blood.” イン・コールド・ブラッド^ド adv. 平然と、冷酷に 「副詞句」

またしばらくの間、泉のせせらぎの音と葦笛の音が、熱く静かな空気を通り抜けて聞こえてくるだけで、他は何も聞こえなかった。

Again, for some moments one heard nothing but the tinkle of the stream and the flute notes weaving through the hot, still air.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 ,but 「目的語」
 Again, アゲ^ン adv. 再び、また 「副詞」
 for some moments フォー・サム・モメンツ^ツ adv. 少しの間 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 heard ハート^ド 3 単現(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 nothing ナシグ^グ pron 何も～ない 「目的語」
 but バット conj. しかし
 the tinkle ザ・チンクル n. 小さな音 「目的語」
 of the stream オフ・ザ・ストリーム adj. 泉の 「形容詞句」
 and アンド conj. そして
 the flute notes ザ・フルトウ・ノウツ pl.n 葦笛の音 「目的語」
 weaving ウィーヴ^{ィング} 現在分詞・様態(weave)
 v.t(through ～を) 縫うように進んでくる 「形容詞句」
 through the hot, still air. スルー・ザ・ホット・スティル・エア
 adv. 熱く静かな空気を通り抜けて 「副詞句」

「それじゃあ」と、ようやくレーモンが答えた。「君の言う通りなら、何か侮辱すること
 を言ってやろう。そして奴が何か言い返して来たら、撃ってやる」

“Well,” Raymond said at last, “if that’s how you feel, I’d better say something insulting,
 and if he answers back I’ll loose off.”

《「副詞」》, 「主語」 「動詞」 「副詞句」,
 《「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 ,and 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」》
 “Well,” ウェル adv. (譲歩・代替案の提示) それじゃあ 「副詞」
 Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
 said セット^ド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 at last, アット・ラスト adv. (多少の安堵) やっと 「副詞句」

Part 1 第1部

“if イフ conj. (条件) もし～ならば	「副詞節」
that サット pron 状況が	「主語」
's イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
how ハウ adv. ～のような	「補語」
you ユー pron 君が	「主語」
feel, フィール 2 単現 v.t 思う、感じる	「動詞」
I アイ pron 俺は	「主語」
'd better say ウット・ベター・セイ 1 単現・意志(would better+不定詞)v.t 言おうと思う	「動詞句」
something insulting, サムシング・インサルティング n. 何か侮辱することを	「目的語」
and アンド conj. そして	
if イフ conj. (条件) もし～ならば	「副詞節」
he ヒー pron 相手が	「主語」
answers back アンサーズ・バック 3 単現 v.i 口答えする、言い返す	「動詞句」
I アイ pron 俺は	「主語」
'll loose off.” ウィル・ルース・オフ 1 単未・意志(loose off)v.i 撃ってやる	「動詞句」
loose off ルース・オフ v.i 発射する、放つ、緩む	

「それなら良い」と、僕は答えた。「ただ、相手がナイフを取り出さなければ、君は撃つな」

“Right,” I said. “Only, if he doesn't get out his knife you've no business to fire.”

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞」「副詞節」》, 「主語」「動詞」「目的語」

“Right,” ライト adv. よし、わかった 「応答」

I アイ pron 僕は 「主語」

said. セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“Only, オンリー adv. (限定) ただ 「副詞」

if イフ conj. (条件) もし～ならば 「副詞節」

he ヒー pron 相手が 「主語」

doesn't get out ダズント・ゲット・アウト 3 単現・否定(get out)v.t 取り出さない 「動詞句」

his knife ヒズ・ナイフ n. ナイフを 「目的語」

you ユー pron 君は 「主語」

've ハヴ 2 単現(have)v.t ～がある 「動詞」

no business ノウ・ブズニス n. 用事が～ない 「目的語」

to fire.” トゥ・ファイ 不定詞・目的 v.i 撃つための 「副詞句」

Part 1 第1部

レーモンが落ちつかなくなってきた。葦笛のアラブ人はまだ吹き続けていた。そしてアラブ人は二人とも僕たちの動きを注視していた。

Raymond was beginning to fidget. The Arab with the reed went on playing, and both of them watched all our movements.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 was beginning to fidget. ワズ・ビギニング・トゥ・フィジエツト 3 単過・開始(begin to+不定詞)
 v.i そわそわし始めた、落ち着きが無くなって来た 「動詞句」
 fidget フィジエツト v.i (落ち着かず) そわそわする、気をもむ
 The Arab スィ・アラブ n. アラブ人は 「主語」
 with the reed ウィズ・ザ・リート adv. 葦笛を吹いている 「副詞句」
 went on playing, ウェント・オン・プレイイング 3 単過・継続 v.i 吹き続けていた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 both of them ボス・オブ・ゼム pl.n 2 人とも 「主語」
 watched ウォッチト 3 複過 v.t 見ていた 「動詞」
 all our movements. オール・アウワ・ムーヴメント pl.n 僕たちの動きをすべて 「目的語」

「待て！」と、僕はレーモンに言った。

“Listen,” I said to Raymond.

《「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」「間接目的語」
 “Listen,” リスン 命・2 単現 v.i ちょっと待て、まで！ 「呼びかけ」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 to Raymond. トゥ・レーモン adv. レーモンに 「間接目的語」

「君は右側の奴を引き受けてくれ。拳銃を渡してくれ。もう一人が加勢したり、ナイフを取り出したら、僕が撃つ」

“You take on the fellow on the right, and give me your revolver. If the other one starts making trouble or gets out his knife, I’ll shoot.”

《「主語」「動詞句」「目的語」, and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」》
 “You ュー pron 君は 「主語」
 take on テイク・オン 2 単現・依頼 v.t 引き受けてくれ 「動詞句」
 the fellow ザ・フェロー n. 男を、奴を 「目的語」
 on the right, オン・ザ・ライト adv. 右側の 「副詞句」
 and アンド conj. そして

Part 1 第1部

give キヴ 2 単現・命令 v.t	～をよこせ	「動詞」
me ミー pron	僕に	「間接目的語」
your revolver. ユア・レヴョルヴァー n.	君の拳銃を	「直接目的語」
If イフ conj.	(条件) もし～ならば	「副詞節」
the other one スイ・アザー・ワン n.	もう一人が	「主語」
starts making スターツ・メイキング 3 単現・開始(start+現在分詞)v.t	～し始める	「動詞句」
trouble トラブル n.	もめごと、面倒	「目的語」
or オア conj.	または	
gets out ゲッツ・アウト 3 単現 v.t	～を取り出す	「動詞句」
his knife, ヒズ・ナイフ n.	ナイフを	「目的語」
I アイ pron	僕が	「主語」
'll shoot. ウィル・シュート 1 単未・意志(will+不定詞)v.t	撃つ	「動詞句」

レーモンが僕に拳銃を渡すとき、太陽がその上できらめいた。だがまだ誰も動かなかつた；それはまるで僕たちが完全に包囲されて、身動き出来ないようだった。

The sun glinted on Raymond's revolver as he handed it to me. But nobody made a move yet; it was just as if everything had closed in on us so that we couldn't stir.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」 | But 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」
「主語」「動詞」「補語」

The sun ザ・サン n.	太陽が	「主語」
glinted グリンティッド 3 単過 v.t	きらめいた	「動詞」
on Raymond's revolver オン・レーモンズ・レヴョルヴァー adv.	レーモンの拳銃の上を	「副詞句」
as アズ conj.	～する時に	「副詞節」
he ヒー pron	彼が	「主語」
handed ハンデイト 3 単過 v.t	手渡した	「動詞」
it イット pron	それを	「直接目的語」
to me. トゥ・ミー adv.	僕に	「間接目的語」
But バット conj.	しかし	
nobody ノバディ pron	誰も～ない	「主語」
made メイト 3 単過(make)v.t	(否定文で)(動作を)しなかった	「動詞」
a move ア・ムー n.	動きを	「目的語」
yet; イェット adv.	まだ	「副詞」
it イット pron	それは	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i	～だった	「動詞」
just as if ジャスト・アズ・イフ adv.	まるで～するような	「補語」
everything エヴリシング pron	すべてが	「主語」

Part 1 第1部

had closed in ハット・クロズト 3 単過・完了形 v.i(in を) 包囲した 「動詞句」
 on us オン・アス adv. 我々を 「間接目的語」
 so that ソ・ザット conj. (結果) それで～する 「副詞節」
 we ウー pron.pl 僕たちは 「主語」
 couldn't stir. クド・ウント・スター 1 複過・可能・否定(stir)
 v.i 動けなかった 「動詞句」

僕たちは、視線を下げずに、互いを見つめ合うしかなかった；太陽と海と葦笛の音と泉の
 音の二重の静寂に囲まれたこの狭い砂地で、すべてが静止したかのようだった。

We could only watch each other, never lowering our eyes; the whole world seemed to
 have come to a standstill on this little strip of sand between the sunlight and the sea.
 the twofold silence of the reed and stream.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」；「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」
 We ウー pron.pl 僕たちは 「主語」
 could only watch クッド・オンリー・ウォッチ 1 複過・可能・限定 v.t 見つめるしかなかった 「動詞句」
 each other, イーチ・アザー n. お互いを 「目的語」
 never lowering ネヴァー・ロウリソグ 現在分詞・同時・否定 adv. ～を下げずに 「副詞句」
 our eyes; アウア・アイズ pl.n 視線を 「目的語」
 the whole world ザ・ホル・ワールド n. 周囲はすべてが 「主語」
 seemed to have come シームト・トゥ・ハヴ・カム 3 単過・推量(seem to have+過去分詞)
 v.i ～になったかのようだった 「動詞句」
 seem to have+不定詞 「～したようである」 come カム v.i (状態が) ～になる
 to a standstill トゥ・ア・スタント スティル adv. 静止状態に 「補語」
 on this little strip of sand オン・スィス・リトル・ストリップ・オブ・サント adv. このせまい砂地で 「副詞句」
 between ビトワイン prep (場所) ～に囲まれた 「副詞句」
 the sunlight ザ・サンライト n. 陽光 「目的語」
 and アント conj. そして
 the sea, ザ・シー n. 海 「目的語」
 the twofold silence of the reed and stream. ザ・トゥー・サイレンス・オブ・ザ・リート・アント・ストリーム
 n. 葦笛と流れの音の二重の静寂 「目的語」

Part 1 第1部

そしてその時、撃つことになるかも知れない、または撃たないで済むかも知れない、けれどそのようなことになるだろう、という考えが頭をよぎった。

And just then it crossed my mind that one might fire, or not fire—and it would come to absolutely the same thing.

And 「副詞句」, 「動詞」 「目的語」 「主語」

And アント conj. そして

just then ジャスト・ゼン adv. ちょうどその時

「副詞句」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 節)

crossed クロスト 3 単過 v.t ~をよぎった、横切る

「動詞」

my mind マイ・マインド n. 僕の頭を

「目的語」

that サット conj. ~という事が

「主語」

one ワン pron 誰かが、レーモンが

「主語」

might fire, マイト・ファイ 3 単現・推量 v.t 撃つかもしれない

「動詞句」

or オア conj. または

not fire— ノット・ファイ 3 単現・推量・否定 v.t 撃たないかも知れない

「動詞句」

and アント conj. そして

it イット pron それは

「主語」

would come ウット・カム 3 単現・推量 v.i ~になるだろう

「動詞句」

to absolutely the same thing. トゥ・アブソルトリィ・ザ・セイム・シング

adv. 全く同じようなことに

「補語」

その時突然、アラブ人たちが見えなくなった；彼らはトカゲのようにそっと岩陰に身を潜めて消えてしまったのだ。

Then, all of a sudden, the Arabs vanished; they'd slipped like lizards under cover of the rock.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」; 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Then, ゼン adv. その時

「副詞」

all of a sudden, オール・オブ・ア・サドゥン adv. 突然に、急に、不意に

「副詞句」

the Arabs ズィ・アラブズ pl.n アラブ人たちは

「主語」

vanished; ヴァニッシュト 3 複過 v.i 消えた、見えなくなった

「動詞」

they ゼィ pron.pl 彼らは

「主語」

'd slipped ハット・スリプト 3 複過・完了形(slip)v.i こっそりと動いた

「動詞句」

like lizards ライク・リザーズ adv. トカゲのように

「副詞句」

lizards リザーズ pl(lizard).n トカゲ、トカゲの皮

under cover of the rock. アンダー・カバー・オブ・ザ・ロック adv. 岩陰に

「副詞句」

Part 1 第1部

それでレーモンと僕は、来た道を引き返した。彼は気が晴れたと見えて、帰りのバスのことを話し始めた。

So Raymond and I turned and walked back. He seemed happier, and began talking about the bus to catch for our return.

「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」,and「動詞句」「間接目的語」
 So ソ adv. それで 「副詞」
 Raymond and I レモン・アント・アイ pl.n レーモンと僕は 「主語」
 turned and walked back. タート・アント・ウォーク・バック 1 複過(turn back+walk)
 v.i 来た道を引き返した 「動詞句」
 turn back 「来た道を引き返す」 walk back 「歩いて帰る、引き返す」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 seemed シームト 3 単過 v.i 〜に見えた 「動詞」
 happier, ハピアー adj. (比較級) 気持ちが晴れた 「補語」
 and アント conj. そして
 began talking ビギン・トキング 3 単過・開始(begin+現在分詞)v.i 話し始めた 「動詞句」
 about the bus アバウト・ザ・バス adv. バスのことを 「間接目的語」
 to catch トゥ・キャッチ 不定詞・目的 v.t 乗るための 「形容詞句」
 for our return. フォー・アウ・リターン adv. 戻るために 「副詞句」

僕たちが別荘に着くと、レーモンはすぐに木の階段を登って行った、しかし僕は一番下の段の上でふと立ち止まった。

When we reached the bungalow Raymond promptly went up the wooden steps, but I halted on the bottom one.

「副詞節」,「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」,but「主語」「動詞」「副詞句」
 When ホエン conj. 〜すると 「副詞節」
 we ウィー pron 僕たちが 「主語」
 reached リーチト 1 複過 v.t 着いた 「動詞」
 the bungalow ザ・バンガロー n. 別荘に 「目的語」
 Raymond レモン n. レーモンは 「主語」
 promptly プロンプトリー adv. すぐに 「副詞」
 went ウェント 3 単過(go)v.i(up を) 上がって行った 「動詞」
 up the wooden steps, アップ・ザ・ウツ・カン・ステップス adv. 木の階段を 「間接目的語」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 halted ホールテット 1 単過(halt)v.i (急に) 立ち止まった 「動詞」
 on the bottom one. オン・ザ・ボトム・ワン adv. 一番下の段の上で 「副詞句」

Part 1 第1部

日光が僕の頭にながんと打ちつけるような感じがして、これから階段を登って、女たちに状況を説明する骨折りに向き合うことが出来なかった。

The light seemed thudding in my head and I couldn't face the effort needed to go up the steps and make myself amiable to the women.

「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

The light ザ・ライト n. 日光が 「主語」

seemed シームト 3 単過 v.i (SVC 名詞・形容詞・現在分詞・過去分詞) 〜に思われた 「動詞」

thudding ティング 現在分詞(thud)adj. あたる、打ちつける 「補語」

in my head イン・マイ・ヘッド adv. 僕の頭に 「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

couldn't face クント・フェイス 1 単過・可能・否定(face)v.t 〜に立ち向かえなかった 「動詞句」

the effort スイ・エフォート n. 骨折り 「目的語」

needed to go ニーデイト・トゥ・ゴー 過去分詞・受動・目的(need to+不定詞)

adj. 行かなければならない 「形容詞句」

up the steps アップ・ザ・ステップス adv. 階段をあがって 「副詞句」

and アンド conj. そして

make myself メイク・マイセルフ 不定詞(make oneself)

v.pr 〜にならなければならない 「形容詞句」

amiable エミアブル adj. 好意的な 「補語」

to the women. トゥ・ザ・ウィメン adv. 女たちに 「副詞句」

しかし暑さは、空から降り注ぐ目もくらむような光の洪水を浴びたままで、今いるところに留まるのも具合が悪くなるほど厳しかった。

But the heat was so great that it was just as bad staying where I was, under that flood of blinding light falling from the sky.

But 「主語」「動詞」「補語」

But バット conj. しかし

the heat ザ・ヒート n. 暑さは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

so great ソウ・グレイト adj. すごい 「補語」

that ザット conj.(so...that) 〜するほど、それで〜する 「副詞節」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は staying 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

just as bad ジャスト・アズ・バット adj. まずい 「補語」

staying where I was, ステイニング・ウェア・アイ・ワズ 現在分詞

Part 1 第1部

n. 今いるところに留まることは 「主語」
 under that flood アンダー・ザ・フラット adv. 洪水の下で 「副詞句」
 of blinding light オブ・ブラインディング・ライト
 adj. 目もくらむような光の 「形容詞句」
 falling from the sky. フォールリング・フロム・ザ・スカイ
 adj. 空から降り注ぐ 「形容詞句」

たとえここに留まろうが、または移動しようが、それは同じことだ。

To stay or to make a move—it came to much the same.

「副詞句」 --- 「主語」「動詞」「補語」
 To stay, トゥ・ステイ 不定詞・譲歩・仮定 adv. 例え留まったとしても 「副詞句」
 or オア conj. または
 to make a move— トゥ・メイク・ア・ムーヴ 不定詞・譲歩 adv. 例え動いたとしても 「副詞句」
 it イット pron. それは 「主語」
 came ケイム 3 単過・時制の一致・帰結・推量(come)v.i (状態が) ~になるだろう 「動詞」
 to much the same. トゥ・マッチ・ザ・セイム adv. 同じ事 「補語」

少ししてから、僕は浜に戻って、歩き始めた。

After a moment I returned to the beach, and started walking.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」, and 「動詞句」
 After a moment アフター・ア・モメント adv. 少ししてから 「副詞句」
 I アイ pron. 私は 「主語」
 returned リターンズ 1 単過 v.i 戻った 「動詞」
 to the beach, トゥ・ザ・ビーチ adv. 浜へ 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 started walking. スターテイト・ウォーキング 1 単過・開始(start+現在分詞)v.i 歩き始めた 「動詞句」

見渡す限り、同じ赤い光がぎらぎら照り付けて、小さい波は少し喘いだように力なく熱い砂に打ち寄せていた。

There was the same red glare as far as eye could reach, and small waves were lapping the hot sand in little, flurried gasps.

「動詞句」「主語」「副詞節」, and 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~があった 「動詞句」
 the same red glare ザ・セイム・レッド・グレア n. 同じ赤い光のぎらつきが 「主語」
 as far as アズ・ファー・ラス conj. ~する限り 「副詞節」
 eye アイ n. 目が 「主語」

Part 1 第1部

could reach, クトゝ・リーチ 3 単過・可能・仮定 v.i 届く 「動詞」
 and アントゝ conj. そして
 small waves スモール・ウェイヴズ pl(wave)n. 小さな波が 「主語」
 were lapping ワー・ラピング 3 複過・進行形(lap)v.t 打ち寄せていた 「動詞句」
 the hot sand ザゝ・ホット・サントゝ n. 熱い砂に 「目的語」
 in little, flurried gasps. イン・リトル・フラリートゝ・ギヤスプス
 adv. (様態) 少しあえいだ息遣いで 「副詞句」

浜の外れにある岩場に向かって歩いていると、僕は強い日差しを受けて側頭部が腫れあがるような感覚を覚えた。

As I slowly walked toward the boulders at the end of the beach I could feel my temples swelling under the impact of the light. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」
 As アズゝ conj. (時) ～すると、～する時 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 slowly スロウリー adv. ゆっくりと 「副詞」
 walked ウォークト 1 単過 v.i 歩いていた 「動詞」
 toward the boulders トゥワートゝ・ザゝ・ブルダース
 adv. (方向) 岩場に向かって 「間接目的語」
 at the end of the beach アット・ズィ・エントゝ・オブ・ザゝ・ビーチ
 adv. 浜の外れにある 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 could feel クトゝ・フィール 1 単過・可能 v.t(SVO+現在分詞) ～を感じられた 「動詞句」
 my temples マイ・テンプゝルズ pl.n 側頭部が、こめかみが 「目的語」
 swelling スェリング 現在分詞・temples の動作(swell)v.i 膨らんでいく 「補語」
 under the impact アンダー・ズィ・インパクト adv. (負担) 衝撃を受けて 「副詞句」
 of the light. オフ・ザゝ・ライト adj. 日光の 「形容詞句」

それは僕の体にのしかかり、僕の前進を妨害した。

It pressed itself on me, trying to check my progress.
 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」
 It イット pron それは (強い日差し) 「主語」
 pressed itself プレスト・イットセルフ 3 単過・再帰動詞 v.pr のしかかって来た 「動詞句」
 on me, オン・ミー adv. 僕の体に 「間接目的語」
 trying to check トライニング・トゥ・チェック 現在分詞・結果(try to+不定詞)
 v.t ～を阻止しようとした 「副詞句」
 check チェック v.t 阻止する、～を妨害する

Part 1 第1部

my progress. マイ・プログレス n. 僕の前進を

「目的語」

そして、その熱風が僕の額に襲い掛かるのを感じるたびに、僕は歯を食いしばり、ズボンのポケットの中で拳を握りしめ、太陽と暗い泥酔が僕の中に流れ込むのをかわすために全神経を緊張させた。

And each time I felt a hot blast strike my forehead, I gritted my teeth, I clenched my fists in my trouser pockets and keyed up every nerve to fend off the sun and the dark befuddlement it was pouring into me.

And 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

and 「動詞句」「目的語」「副詞句」

And アント conj. そして

each time イチ・タイム adv. (時間) その度に

「副詞句」

I アイ pron 僕が～する

「形容詞節」

felt フェルト 1 単過・知覚動詞・時制の一致(feel)

v.t (SVO+不定詞) 感じる

「動詞」

a hot blast ア・ホット・ブラスト n. 熱風が

「目的語」

strike ストライク 不定詞・blast の動作 v.t 襲い掛かる

「補語」

my forehead, マイ・フォーヘッド n. 僕の額を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

gritted グリテイト 1 単過 v.t 歯ざしりした、歯を食いしばった

「動詞」

my teeth, マイ・テース pl(tooth).n 歯を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

clenched クレンチ 1 単過 v.t ～を固く握りしめた

「動詞」

my fists マイ・フィスツ pl(fist).n 握り拳を

「目的語」

in my trouser pockets イン・マイ・トラウザー・ポケット adv. ズボンのポケットの中で

「副詞句」

and アント conj. そして

keyed up キード・アップ 1 単過 v.t ～を緊張させた

「動詞句」

every nerve エヴリ・ナーヴ n. 全神経を

「目的語」

to fend off トゥ・フェント・オフ 不定詞・目的 adv. ～をかわすために

「副詞句」

the sun ザ・サン n. 太陽を

「目的語」

and アント conj. そして

the dark befuddlement ザ・ダーク・ベフトゥルメント n. 暗い泥酔

「目的語」

it イット pron (主語) ～する

「形容詞節」

was pouring わず・ポアリング 3 単過・進行形(pour)

v.i (into に) 流れ込む

「動詞句」

into me. イントゥ・ミー adv. 僕の中に

「副詞句」

Part 1 第1部

砂の上に転がっている貝殻のかけらやガラスの破片からまばゆい光の刃が立ち昇る度に、僕の顎は引きつった。

Whenever a blade of vivid light shot upward from a bit of shell or broken glass lying on the sand, my jaws set hard. 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Whenever 何れに conj. ～する時はいつも、～する度に 「副詞節」

a blade of vivid light ア・ブレイト・オブ・ヴィヴィット・ライト n. まばゆい光の刃が 「主語」

shot upward ショット・アップ・ワード 3 単過(shoot up)v.i 立ち昇った 「動詞句」

from フロム prep (場所・起点) ～から 「副詞句」

a bit of shell ア・ビット・オブ・シェル n. 貝殻のかけら 「目的語」

or オア conj. または

broken glass ブロークン・ガラス n. ガラスの破片 「目的語」

lying on the sand, ライイング・オン・ザ・サンド

adj. 砂の上に転がっている 「形容詞句」

my jaws マイ・ジョーズ pl(jaw).n (上と下の) あごが 「主語」

set セット 3 単過(set:不変)v.i (特定の状態に) なった 「動詞」

hard. ハート adj. かたい、固まった 「補語」

僕はへこたれず、着実に歩き続けた。

I wasn't going to be beaten, and I walked steadily on.

「主語」 「動詞句」 ,and 「主語」 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

wasn't going to be beaten, ワズント・ゴーイング・トゥ・ビー・ビートゥン 1 単過・進行形・受動・否定

v.t 打ち負かされなかった、へこたれなかった 「動詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

walked steadily on. ウォークト・ステディリー・オン 1 単過・継続(walk on+ steadily)

v.i 着々と歩き続けた 「動詞句」

はるか下の浜に、岩の小さな黒い塊りが視界に入ってきた。

The small black hump of rock came into view far down the beach.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

The small black hump ザ・スモール・ブラック・ハンプ n. 小さな黒いこぶが 「主語」

of rock オフ・ロック adj. 岩の 「形容詞句」

came ケイム 3 単過(come)v.i (into ～の中に) 入ってきた 「動詞」

into view イントゥ・ビュー adv. 視界に 「副詞句」

Part 1 第1部

far down the beach. ファー・ダウン・ザ・ビーチ adv. はるか下の浜に

「副詞句」

岩の塊りは、光と柔らかな霧が作るまばゆい輝きに縁どられていた。しかし、僕は岩の後ろの冷たく澄んだ泉のことを考え、水の流れの微かな音をもう一度聞きたいと思っていた。

It was rimmed by a dazzling sheen of light and feathery spray, but I was thinking of the cold, clear stream behind it, and longing to hear again the tinkle of running water.

「主語」「動詞句」「副詞句」,but「主語」「動詞句」「間接目的語」,
and「動詞句」「副詞」「目的語」

It イット pron その岩の塊りは

「主語」

was rimmed ワズ・リムド 3 単過・受動(rim)v.t 縁どられていた

「動詞句」

by バイ prep (動作主) ~によって

「副詞句」

a dazzling sheen ア・ダズリング・シェン n. まばゆい輝き

「目的語」

of オフ prep (限定) ~の

「形容詞句」

light ライト adj. 光

「目的語」

and アンド conj. そして

feathery spray, フェザリー・スプレイ n. 柔らかな霧

「目的語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

was thinking ワズ・シンキング 1 単過・進行形(think)v.i 考えていた

「動詞句」

of オフ prep (関連) ~について

「間接目的語」

the cold, clear stream ザ・コールド・クリア・ストリーム n. 冷たく澄んだ泉

「目的語」

behind it, ビhind イット adv. 岩の後ろの

「副詞句」

and アンド conj. そして

longing to hear ロング・トゥ・ヒア 1 単過・進行形・切望(long to+不定詞)

v.t 聞きたかった

「動詞句」

again アゲン adv. もう一度

「副詞」

the tinkle ザ・チンクル n. 小さな音を

「目的語」

of running water. オフ・ランニング・ウォーター adj. 水の流れの

「形容詞句」

Part 1 第1部

眩しい光や、涙を浮かべた女たちの姿や、疲労と骨折りなどが取り除かれることを望んでいた。そして、岩が作る日陰とその冷たい静けさを取り戻したいと思った。

Anything to be rid of the glare, the sight of women in tears, the strain and effort—and to retrieve the pool of shadow by the rock and its cool silence!

「目的語」「動詞句」「副詞句」, 「目的語」, 「目的語」

and 「動詞句」「目的語」 and 「目的語」

Anything エニシング pron 何かを

「目的語」

to be rid トゥ・ビー・リッド 1 単過・受動・切望(long to+不定詞・受動 rid)

v.t(of が) 除去されることを望んでいた

「動詞句」

was longing to be rid の省略 「～が除去されることを望んでいた」

of オフ prep (関連) ～について、～を

「副詞句」

the glare, ザ・グレア n. 眩しい光

「目的語」

the sight ザ・サイト n. 光景、視野

「目的語」

of women in tears, オフ・ウィミン・イン・ティアズ adj. 涙を浮かべた女たちの

「形容詞句」

the strain and effort— ザ・ストレイン・アンド・エフォート n. 疲労と骨折り

「目的語」

and アンド conj. そして

to retrieve トゥ・リトリヴ 1 単過・切望(long to+不定詞 retrieve)v.t 取り戻したかった

「動詞句」

the pool ザ・プール n. たまり

「目的語」

of shadow オフ・シャドウ adj. 日陰の

「形容詞句」

by バイ adv. (動作主) ～による

「副詞句」

the rock ザ・ロック n. 岩

「目的語」

and アンド conj. そして

its cool silence! イッツ・クール・サイレンス n. その冷たい沈黙

「目的語」

しかしさらに近付くと、レーモンの相手が戻ってきているのが見えた。

But when I came nearer I saw that Raymond's Arab had returned.

But 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

when ホエン conj. ～すると

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

came ケム 1 単過(come)v.i (相手の方へ) 行った

「動詞」

nearer ニアラー adv. (比較級) さらに近くに

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t ～が見えた

「動詞」

that ザット conj. ～ということが

「目的語」

Raymond's Arab レーモンス・アラブ n. レーモンの相手のアラブ人が

「主語」

Part 1 第1部

had returned. ハットゝ・リターントゝ 3 単過・完了形(return)v.i 戻って来ていた 「動詞句」

今度は彼は一人だけで、腕枕をして、顔を岩陰に入れて、仰向けに寝転んでいたが、体の他の部分は日差しに打ち付けられていた。

He was by himself this time, lying on his back, his hands behind his head, his face shaded by the rock while the sun beat on the rest of his body.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」, 「主語」, 「主語」「副詞節」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ 3 単過・存在(be)v.i 〜でいた 「動詞」
 by himself バイ・ヒムセルフ adv. (様態) 一人だけで 「副詞句」
 this time, スィス・タイム adv. 今度は 「副詞句」
 lying ライイング 現在分詞(lie)adv. 横たわっていた 「副詞句」
 on his back, オン・ヒズ・バック adv. 背中の上に、仰向けに 「副詞句」
 his hands ヒズ・ハズ pl.n 両手は 「主語」
 behind his head, ヒー・ハインド・ヒズ・ヘッド adv. 頭の後ろに 「副詞句」
 his face ヒズ・フェイス n. 彼の顔は 「主語」
 shaded シェイデイト 過去分詞(shade)adj. 遮られた 「形容詞句」
 by the rock バイ・ザ・ロック adv. (動作主) 岩によって 「副詞句」
 while ホワイ conj. 一方 「副詞節」
 the sun ザ・サン n. 太陽は 「主語」
 beat ビート 3 単過(beat: 無変)v.i 打ち付けていた 「動詞」
 on the rest of his body. オン・ザ・レスト・オブ・ヒズ・ボディ
 adv. 体のその他全体に 「副詞句」

僕は、彼の菜っ葉服が、暑さで湯気を立てているのが見えていた。

One could see his dungarees steaming in the heat.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

One ワン pron 僕は 「主語」
 could see クッド・シー 1 単過・可能・知覚動詞 v.t 見えていた 「動詞句」
 his dungarees ダンガリース pl.n 彼の菜っ葉服が 「目的語」
 steaming スチーミング 現在分詞・dungarees の動作 v.i 湯気を立てている 「補語」
 in the heat. イン・ザ・ヒート adv. (原因) 暑さのために 「副詞句」

Part 1 第1部

僕は少し時間を引き戻された；僕の認識ではあの件はもう終わったことなので、ここに来る道すがら、それについては何も意識していなかったのだ。

I was rather taken aback; my impression had been that the incident was closed, and I hadn't given a thought to it on my way here.

「主語」「動詞句」「副詞」；「主語」「動詞句」「補語」，
and 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was rather taken ワズ・ラーサー・テイクン 1 単過・受動(take back)

v.t 少し引き戻された、思い出させられた

「動詞句」

aback; アバック adv. 後ろへ

「副詞」

my impression マイ・インプレッション n. 僕の考えは、印象

「主語」

had been ハット・シーン 3 単過・完了形(be)v.i 〜だった

「動詞句」

that サット conj. 〜ということ

「補語」

the incident スィ・インシデント n. あの件は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

closed, クロウズト adj. 終結した、終わった

「補語」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't given ハドント・ギヴン 1 単過・完了形(give)v.t 与えていなかった

「動詞句」

a thought ア・ソット n. 考えを、心配を

「直接目的語」

to it トゥ・イト adv. それに対して

「間接目的語」

on my way here. オン・マイ・ウェイ・ヒア adv. ここに来る途中で

「副詞句」

僕を見ると、そのアラブ男は少し体を起こして、片手をポケットに突っ込んだ。

On seeing me, the Arab raised himself a little, and his hand went to his pocket.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」, and 「主語」「動詞」「間接目的語」

On seeing me, オン・シーイング・ミー 現在分詞・様態 adv. 僕を見ると

「副詞句」

the Arab スィ・アラブ n.m そのアラブ人は

「主語」

raised himself レイズト・ヒムセルフ 3 単過・再帰(raise oneself)v.pr 体を起こした

「動詞句」

a little, ア・リトル adv. (程度) 少し

「副詞句」

and アント conj. そして

his hand ヒズ・ハント n. 彼の手が

「主語」

went ウェント 3 単過・移動(go)v.i(to へ) 行った

「動詞」

to his pocket. トゥ・ヒズ・ポケット adv. ポケットへ

「間接目的語」

Part 1 第1部

当然、僕は上着のポケットの中のレーモンの拳銃を掴んだ。

Naturally, I gripped Raymond's revolver in the pocket of my coat.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Naturally, ナチュラリー adv. 当然、ひとりでに

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

gripped グリップト 1 単過 v.t しっかりと掴んだ

「動詞」

Raymond's revolver レモンズ・レヴオルヴァー n. レーモンの拳銃を

「目的語」

in the pocket of my coat. イン・ザ・ポケット・オブ・マイ・コート adv. 上着のポケットの中の 「副詞句」

するとアラブ人はまた横たわったが、手はポケットに入れたままだった。

Then the Arab let himself sink back again, but without taking his hand from his pocket.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Then セン adv. すると

「副詞」

the Arab スィ・アラブ n. アラブ人は

「主語」

let himself sink back レット・ヒムセルフ・シンク・バック 3 単過・使役・再帰動詞(let onself+不定詞)

v.pr 横たわった

「動詞句」

自分自身を倒れ込ませた → 横たわった

again, アゲン adv. また

「副詞」

but バット conj. しかし

without taking ウイズアウト・テイキング adv. (様態)(動作を) しないで

「副詞句」

his hand ヒズ・ハント n. 手を

「目的語」

from his pocket. フロム・ヒズ・ポケット adv. ポケットから

「副詞句」

僕は彼からかなり離れた所にいた。少なくとも10メートルはあった。それでもずっと、彼が灼熱の陽炎の中で、かすんだ暗い姿のように揺れ動くのが見えていた。

I was some distance off, at least ten meters, and most of the time I saw him as a blurred dark form wobbling in the heat haze.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・存在(be)v.i ~にいた

「動詞」

some distance off, サム・ディスタンス・オフ adv. かなり離れて

「副詞句」

at least ten meters, アット・リスト・テン・ミーツ adv. 少なくとも10メートル

「副詞句」

and アント conj. そして

most of the time モスト・オブ・ザ・タイム adv. ほとんどいつも、しょっちゅう

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過・知覚動詞(see)v.t 見えた

「動詞」

Part 1 第1部

him ヒム pron 彼が 「目的語」
 as a blurred dark form アズ・ア・ブラート・ダーク・フォーム
 adv. かすんだ暗い姿のように 「副詞句」
 wobbling ウォブリング 現在分詞・him の動作(wobble)v.i 揺れる 「補語」
 in the heat haze. イン・ザ・ヒート・ヘイズ adv. 灼熱の陽炎の中で 「副詞句」

しかし時々、彼の目が半ば閉じた瞼の隙間で輝くのがちらりと見えた。

Sometimes, however, I had glimpses of his eyes glowing between the half-closed lids.
 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」
 Sometimes, サムタイムズ adv. 時々 「副詞」
 however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had glimpses of ハット・ゲリンプス・オブ 1 単過・知覚動詞(have glimpse of)
 v.t(SVO+現在分詞 O が...するのが) ちらりと見えた 「動詞句」
 his eyes ヒズ・アイズ pl.n 彼の目が 「目的語」
 glowing グロウイング 現在分詞・eyes の動作 v.i 輝く 「補語」
 between the half-closed lids. ビトウイーン・ザ・ハーフ・クロウスト・リズ
 adv. 半ば閉じた瞼の隙間で 「副詞句」

波の音は、正午に比べると、かなり間延びして、ずっと弱々しくなっていた。

The sound of the waves was even lazier, feebler, than at noon.
 「主語」 「動詞」 「補語」
 The sound of the waves ザ・サント・オブ・ザ・ウェイヴズ n. 波の音は 「主語」
 was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ~になっていた 「動詞」
 even lazier, イーヴン・レイジー adj. (比較級・強調) さらにゆったりとした 「補語」
 feebler, フィーブラー adj. (比較級) さらに弱々しく 「補語」
 than at noon. ザン・アット・ヌーン adv. (比較) 正午よりも 「副詞句」

Part 1 第1部

しかし日差しは変わっていなかった；それは岩場まで長く伸びる砂地に相変わらず激しく打ち付けていた。

But the light hadn't changed; it was pounding as fiercely as ever on the long stretch of sand that ended at the rock.

But 「主語」「動詞句」；「主語」「動詞句」「副詞句」

But バット conj. しかし

the light ザ・ライト n. 日差しは

「主語」

hadn't changed; ハドント・チェンジト 3 単過・完了形・否定(change)

v.i 変わっていなかった

「動詞句」

it イット pron それは

「主語」

was pounding ワズ・パウンディング 3 単過・進行形(pound)v.i 打ち付けていた

「動詞句」

as fiercely as ever アズ・フィアスリー・アズ・エヴァー adv. 相変わらず激しく

「副詞句」

on the long stretch of sand オン・ザ・ロング・ストレッチ・オブ・サント adv. 長く伸びる砂地に

that ended at the rock. ザット・エンデイト・アット・ザ・ロック adj. 岩場まで届く 「形容詞節」

2 時間たっても、太陽は少しも前進しなかった；煮えたぎるはがねの海で止まっていた。

For two hours the sun seemed to have made no progress; becalmed in a sea of molten steel.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」; 「副詞句」

For two hours フォー・トゥー・アウズ adv. 2 時間

「副詞句」

the sun ザ・サン n. 太陽は

「主語」

seemed to have made シームト・トゥ・ハヴ・メイト 3 単過・推量(seem to+不定詞・完了形 make)

v.t (動作を) したように思われた

「動詞句」

no progress; ノ・プログレス n. 何も前進しない

「目的語」

becalmed ビカームト adj. 止まっていた

「副詞句」

in a sea イン・ナ・シー adv. 海で

「副詞句」

of molten steel. オフ・モルテン・スチール

molten 熱で融けた steel 鋼鉄、はがね

adj. 煮えたぎるはがねの

「形容詞句」

Part 1 第1部

水平線のはるか彼方に、汽船が通っていた；横目で黒くて小さな航跡をなんとか認めることが出来た。アラブ人から視線をそらせなかったからだ。

Far out on the horizon a steamer was passing; I could just make out from the corner of an eye the small black moving patch, while I kept my gaze fixed on the Arab.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」; 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「副詞節」
 Far out ファー・ラウト adv. はるか彼方に、ずっと遠くに 「副詞句」
 on the horizon オン・ザ・ホライズン adv. 水平線の 「副詞句」
 a steamer ア・スチーマー n. 汽船が 「主語」
 was passing; ワズ・パッシング 3 単過・進行形(pass)v.i 通っていた 「動詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 could just make out クッド・ジャスト・メイク・アウト 1 単過・可能・やっとな(make out)
 v.t 何とか認めることができた 「動詞句」
 from the corner of an eye フロム・ザ・コーナー・オブ・アン・アイ adv. (手段) 横目で 「副詞句」
 the small black moving patch, ザ・スモール・ブラック・ムーヴィング・パッチ
 n. 黒くて小さい航跡を 「目的語」
 while ホワイ conj. ~だけれども、だが一方 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 kept ケプト 1 単過・継続(keep)v.t ~のままにしていた 「動詞」
 my gaze マイ・ゲイズ n. 視線を 「目的語」
 fixed フィクスト adj. 固定された 「補語」
 on the Arab. オン・ズィ・アラブ adv. アラブ人に 「副詞句」

向きを変えて立ち去り、これ以上考えないことが最善だと思った。

It struck me that all I had to do was to turn, walk away, and think no more about it.

「動詞」「間接目的語」「主語」「補語」
 It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)
 struck ストラック 3 単過(strike)v.t (人の) 心に浮かんだ 「動詞」
 me ミー pron 僕の 「間接目的語」
 that ザット conj. ~ということが 「主語」
 all オール pron 全ては 「主語」
 pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 had to do ハット・トゥ・ドゥ 1 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞)
 v.t するべきである 「動詞句」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 to turn, トゥ・ターン 不定詞 n. 向きを変えること 「補語」

Part 1 第1部

walk away, ウォーク・アウェイ 不定詞 n. 立ち去ること 「補語」

and アンド conj. そして

think シンク 不定詞 n. 考えること 「補語」

no more ノー・モア adv. これ以上～しない 「副詞句」

about it. アバウト・イット adv. それについて 「間接目的語」

しかし、灼熱の太陽で脈打つ浜全体が、僕の背後に迫って来ていた。

But the whole beach, pulsing with heat, was pressing on my back.

But 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

But バット conj. しかし

the whole beach, ザ・ホール・ビーチ n. 浜全体が 「主語」

pulsing パルシング 現在分詞・様態 adv. 脈打つ 「副詞句」

with heat, ウイズ・ヒート adv. (原因) 灼熱で 「副詞句」

was pressing リズ・プレス 3 単過・進行形(press)v.i 迫って来ていた 「動詞句」

on my back. オン・マイ・バック adv. 僕の背後に 「副詞句」

僕は泉の方へ数歩進んだ。アラブ人は動かなかった。

I took some steps toward the stream. The Arab didn't move.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

took トゥック 1 単過(take)v.t (動作を) した 「動詞」

some steps サム・ステップス pl.n 数歩 「目的語」

toward the stream. トゥワード・ザ・ストリーム adv. (方向) 泉に向かって 「副詞句」

The Arab スィ・アラブ n. アラブ人は 「主語」

didn't move. デイトント・ムーヴ 3 単過・否定 v.i 動かなかった 「動詞句」

Part 1 第1部

いずれにせよ、僕たちはまだかなり離れていた。恐らく彼の顔に影が射しているせいで、彼は僕を見てにやっと笑っているように見えた。

After all, there was still some distance between us. Perhaps because of the shadow on his face, he seemed to be grinning at me.

「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」
 After all, アフター・オール adv. 結局、いずれにせよ、ついに 「副詞句」
 there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~があった 「動詞句」
 still スティル adv. まだ、依然として 「副詞」
 some distance サム・ディスタンス n. かなりの距離が 「主語」
 some サム adj. いくらかの、かなりの、相当な
 between us. ビトゥーイン・アッス adv. 僕たちの間に 「副詞句」
 Perhaps ハップス adv. ことによると、あるいは 「副詞」
 because of the shadow ビコーズ・オブ・ザ・シャドウ adv. 影のせいで 「副詞句」
 on his face, オン・ヒズ・フェイス adv. 顔に射した 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 seemed to be grinning シームト・トゥ・ビー・グリニング 3 単過・推量(seem to+不定詞・進行形)
 v.i (at に) にやりと笑っているように見えた 「動詞句」
 at me. アット・ミー adv. 僕に対して 「間接目的語」

僕は待った。灼熱の日差しが僕の頬を焦がし始め、汗の滴が眉に溜まって来た。

I waited. The heat was beginning to scorch my cheeks; beads of sweat were gathering in my eyebrows.

「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞句」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 waited. ウェイティット 1 単過 v.i 待った 「動詞」
 The heat ザ・ヒート n. 熱は 「主語」
 was beginning to scorch エアズ・ビギニング・トゥ・スコーチ 3 単過・進行形(begin to+不定詞)
 v.t 焦がし始めていた 「動詞句」
 my cheeks; マイ・チークス pl.n 僕の頬を 「目的語」
 beads ビーズ pl(bead).n しずくが 「主語」
 of sweat オブ・スウェット adj. 汗の 「形容詞句」
 were gathering ワー・ギャザリング 3 複過・進行形 v.i 溜まって来た 「動詞句」
 in my eyebrows. イン・マイ・アイブロウス adv. 眉に 「副詞句」

Part 1 第1部

それは母さんの葬儀の日と全く同じ暑さだった。特に額のあたりに、あの日と同じ不快感を覚えた。皮膚の上からでも、すべての血管が激しく脈打つのが感じられた。

It was just the same sort of heat as at my mother's funeral, and I had the same disagreeable sensations—especially in my forehead, where all the veins seemed to be bursting through the skin.

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

It イット pron 暑さは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 just the same sort of heat ジュスト・サ・セイム・ソート・オブ・ヒート adj. 全く同じ暑さ 「補語」
 as at my mother's funeral, アズ・アット・マイ・マザーズ・フューネラル
 adv. (比較) 母さんの葬儀の時と 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t (感覚を) 感じた 「動詞」
 the same disagreeable sensations— サ・セイム・ディサグリーアブル・センセーションズ
 n. 同じ不快な感覚を 「目的語」
 especially in my forehead, エスペシヤリー・イン・マイ・フォーヘッド adv. 特に額のあたりに 「副詞句」
 where ウェア adv. そこで〜する 「副詞節」
 all the veins オール・ザ・ヴェインズ pl(vein).n すべての血管が 「主語」
 seemed to be bursting シームト・トゥ・ビー・バースティング 3 複過・印象(seem to+不定詞・進行形)
 v.i 激しく脈打っているように思われた 「動詞句」
 through the skin. スルー・ザ・スキン adv. (手段) 皮膚を通じて 「副詞句」

僕は暑さに耐えられなくなって、一歩前に踏み出した。

I couldn't stand it any longer, and took another step forward.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」,and「動詞」「目的語」「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't stand クント・スタント 1 単過・可能・否定
 vt 〜に耐えられなかった、我慢できなかった 「動詞句」
 it イット pron (単数) 暑さを 「目的語」
 any longer, エニー・ロンガー adv. もはや〜ない 「副詞句」
 and アンド conj. それで
 took トゥック 1 単過(take)v.t (動作を) した 「動詞」
 another step アナザー・ステップ n. もう一歩 「目的語」
 forward. フォーワード adv. 前に 「副詞」

Part 1 第 1 部

僕はそんなことをするのは馬鹿げていると分かっていた；1 歩やそこら動いたところで、太陽の熱から逃れることは出来ないのだ。

I knew it was a fool thing to do; I wouldn't get out of the sun by moving on a yard or so.

「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュ 1 単過・理解(know)v.t 分かっていた

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は to do）

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

a fool thing ア・フル・シング n. 馬鹿げたこと

「補語」

to do; トゥ・ドゥ 不定詞 n. することは

「主語」

do の内容に対する自分自身の評価

I アイ pron 僕は

「主語」

wouldn't get ウント・ゲット 1 単現・推量・移動・否定

v.i 移動できないに決まっている

「動詞句」

out of the sun アウト・オブ・ザ・サン adv. 暑さの外に

「副詞句」

by moving on バイ・ムーヴィング・オン adv. (手段) 動くことで

「副詞句」

a yard or so. ア・ヤード・オア・ソ adv. (程度) 1 歩やそこら

「副詞句」

それでも僕は 1 歩、たった 1 歩、前へ進んだ。するとその時、アラブ人はナイフを取り出すと、僕に向かって日差しを反射させながらナイフを持ち上げた。

But I took that step, just one step, forward. And then the Arab drew his knife and held it up toward me, athwart the sunlight.

But 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」

And 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」and 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

But バット conj. それでも

I アイ pron 僕は

「主語」

took トゥック 1 単過(take)v.t (行動を) した

「動詞」

that step, サット・ステップ n. 1 歩

「目的語」

just one step, ジャスト・ワン・ステップ n. たった 1 歩

「目的語」

forward. フォーワード adv. 前へ

「副詞」

And アント conj. すると

then セン adv. その時

「副詞」

the Arab ズィ・アラブ n. アラブ人が

「主語」

drew ドルー 3 単過(draw)v.t 引き出した、取り出した

「動詞」

his knife ヒズ・ナイフ n. ナイフを

「目的語」

Part 1 第1部

and アンド conj. そして

held... up ヘルド... アップ 3 単過(hold up)v.t 持ち上げた

「動詞句」

it イット pron ナイフを

「目的語」

toward me, トワード・ミー adv. 僕に向かって

「副詞句」

athwart アスワート prep ～を斜めに横切って

「副詞句」

the sunlight. ザ・サンライト n. 日差し

「目的語」

ナイフから上向きに、一筋の光が放たれ、僕はまるで、細長い光の針が僕の額を貫いたという印象を持った。

A shaft of light shot upward from the steel, and I felt as if a long, thin blade transfixed my forehead.

「主語」「動詞」「副詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」

A shaft ア・シャフト n. (光の) 一筋が

「主語」

of light オフ・ライト adj. 光の

「形容詞句」

shot ショット 3 単過(shoot)v.i 発射された、放たれた

「動詞」

upward from the steel, アップワード・フロム・ザ・スチール adv. 鋼から上向きに

「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.t ～だと感じた、思った

「動詞」

as if アズ・イフ conj. まるで～であると

「目的語」

a long, thin blade ア・ロング・シン・ブレイド n. 長く細い刃が、切っ先が

「主語」

transfixed トランスフィクスト 3 単過 v.t 突き通した、貫いた

「動詞」

my forehead. マイ・フォーヘッド n. 僕の額を

「目的語」

同時に、眉に溜まっていた汗という汗が、堰を切って臉に流れ込んできて、生暖かい水の薄膜で僕の臉を覆いつくした。

At the same moment all the sweat that had accumulated in my eyebrows splashed down on my eyelids, covering them with a warm film of moisture.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

At the same moment アット・ザ・セム・モメント adv. 同時に

「副詞句」

all the sweat オール・ザ・スウェット n. すべての汗が

「主語」

that ザット pron (主語) ～する

「形容詞節」

had accumulated ハット・アキュムレイティッド 3 単過・完了形(accumulate)

v.i 溜まっていた

「動詞句」

in my eyebrows イン・マイ・アイブローズ adv. (場所) 眉に

「副詞句」

splashed down スプラッシュ・ダウン 3 単過 v.i 堰を切って流れ落ちてきた

「動詞句」

on my eyelids, オン・マイ・アイリズ adv. 臉の上に

「副詞句」

Part 1 第1部

covering カヴアーリング 現在分詞・結果 adv. そして～を覆った 「副詞句」

them ゼム pron.pl 顔を 「目的語」

with a warm film ウイズ・ア・ウォーム・フィルム adv. (手段) 温かい薄膜で 「副詞句」

of moisture. オフ・モイシュア adj. 湿気の、水分の 「形容詞句」

フランス語の原文では

同時に、眉にたまっていた汗が、一挙に瞼の上に流れ落ちて、それらを生ぬるくて分厚いヴェールで覆った。

Au même instant, la sueur amassée dans mes sourcils a coulé d'un coup sur les paupières et les a recouvertes d'un voile tiède et **épais**.

塩水と涙の膜に覆われて、僕の目は盲いた；頭上で鳴り響く太陽のシンバルと、かすかだが、僕の睫毛をいじめ、僕の目玉を穿つ、ナイフから放たれる光の鋭い刃しか感じなかった。

Beneath a veil of brine and tears my eyes were blinded; I was conscious only of the cymbals of the sun clashing on my skull, and, less distinctly, of the keen blade of light flashing up from the knife, scarring my eyelashes, and gouging into my eyeballs.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」; 「主語」「動詞」「補語」

Beneath ベニース prep (位置) ～の下では 「副詞句」

a veil ア・ヴェイル n. 薄膜 「目的語」

of brine and tears オフ・ブライン・アント・ティアズ adj. 塩水と涙の 「形容詞句」

my eyes マイ・アイズ pl(eye).n 僕の目は 「主語」

were blinded; ワー・ブラインデッド 3 複過・受動(blind)v.t 盲いた 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

conscious コンシャス adj.(of を) 気付いた、意識している 「補語」

only of the cymbals of the sun オンリー・オブ・ザ・シンバルズ・オブ・ザ・サン

adv. 太陽のシンバルだけを 「副詞句」

clashing on my skull, クラッシング・オン・マイ・スカル 現在分詞・様態

adv. 頭上で打ち鳴らされる 「副詞句」

and, アント conj. そして

less distinctly, レス・ディストンクトリー

adv. あまりはつきりしない、かすかに 「副詞句」

of the keen blade オフ・ザ・キン・ブレイト adj. 鋭い刃の 「形容詞句」

of light flashing up from the knife, オフ・ライト・フラッシング・アップ・フロム・ザ・ナイフ

adj. ナイフから放たれる光の 「形容詞句」

scarring スカリング 現在分詞・様態

Part 1 第1部

adv. 傷跡を付ける 「副詞句」

my eyelashes, マイ・アイラッシュイズ

pl.n 僕のまつ毛に 「目的語」

and アンド conj. そして

gouging ガウジング 現在分詞・様態(gouge)

adv. 穴をあける 「副詞句」

into my eyeballs. イントゥ・マイ・アイボールズ

adv. 僕の目玉に 「間接目的語」

その時、僕の目の前で、すべてが揺らめき始め、燃えるような突風が海から吹き込んで来た。一方、空は端から端まで真っ二つに裂け、巨大な炎のカーテンが割れ目から流れ落ちてきた。

Then everything began to reel before my eyes, a fiery gust came from the sea, while the sky cracked in two, from end to end, and a great sheet of flame poured down through the rift. 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Then セン adv. その時 「副詞」

everything エヴリシング pron すべてが 「主語」

began to reel ビギン・トゥ・リール 3 単過・開始(begin to+不定詞)

v.i 動揺し始めた、よろめいた 「動詞句」

before my eyes, ビフォー・マイ・アイズ adv. (位置) 僕の目の前で 「副詞句」

a fiery gust ア・ファイアリー・ガスト n. 燃えるような突風が 「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た 「動詞」

from the sea, フロム・ザ・シー adv. (起点) 海から 「副詞句」

while ホワイ conj. だが一方 「副詞節」

the sky ザ・スカイ n. 空は 「主語」

cracked クラックト 3 単過 v.i 裂けた 「動詞」

in two, イン・トゥ adv. (様態) 真っ二つに 「副詞句」

from end to end, フロム・エンド・トゥ・エンド adv. (範囲) 端から端まで 「副詞句」

and アンド conj. そして

a great sheet ア・グレート・シート n. 巨大な海が、薄い広がり 「主語」

of flame オフ・フレイム adj. 炎の 「形容詞句」

poured down ポアト・ダウン 3 単過(pour down)v.i 流れ落ちてきた 「動詞句」

through the rift. スルー・ザ・リフト adv. (通路) その裂け目を通して 「副詞句」

rift リフト n.m 亀裂、裂け目

Part 1 第 1 部

僕の全神経は鋼のバネのように張り詰め、僕の手は拳銃を握りしめていた。

Every nerve in my body was a steel spring, and my grip closed on the revolver.

	「主語」「副詞句」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」「副詞句」
Every nerve エヴリ・ナーヴ n. 全神経は	「主語」
in my body イン・マイ・ボデー adv. 僕の体内の	「副詞句」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった	「動詞」
a steel spring, ア・スチール・スプリング n. 鋼のバネ	「補語」
and アンド conj. そして	
my grip マイ・グリップ n. 僕の手は	「主語」
closed クロースト 3 単過 v.i 閉じていた	「動詞」
on the revolver. オン・ザ・レヴolver adv. 拳銃の上で	「副詞句」

引き金が引かれ、握りの滑らかな腹が僕の手の手ひらを押し返した。

The trigger gave, and the smooth underbelly of the butt jogged my palm.

	「主語」「動詞」,and「主語」「動詞」「目的語」
The trigger ザ・トリガー n. 引き金が	「主語」
gave, ゲイヴ 3 単過(give)v.i (圧力を受けて) たわむ、引かれる	「動詞」
and アンド conj. そして	
the smooth underbelly ザ・スムース・アンダーベリー n. 滑らかな下腹が	「主語」
of the butt オブ・ザ・バット adj. 握りの、取っ手の	「形容詞句」
jogged ジョグト 3 単過 v.t 押した	「動詞」
my palm. マイ・パーム n. 僕の手の手ひらを	「目的語」

それで、その乾いた鞭打つような音と共に、すべてが始まった。

And so, with that crisp, whipcrack sound, it all began.

	「副詞句」,「主語」「動詞」
And so, アンド・ソ adv. それで	「副詞句」
with ウイズ prep (随伴) 〜と共に	「副詞句」
that crisp, whipcrack ザット・クリस्प・ウィップ クラック	
adj. その乾いた鞭打つような	「形容詞句」
sound, サウンド n. 音	「目的語」
it all イット・オール n. すべてが	「主語」
began. ビギン 3 単過(begin)v.i 始まった	「動詞」

Part 1 第1部

僕は汗と、体にまとわりついた日差しの薄いベールを振り払った。

I shook off my sweat and the clinging veil of light. 「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 shook off シュック・オフ 1 単過(shake off)v.t 振り払った、振り落とした 「動詞句」
 my sweat マイ・スウェット n. 汗を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the clinging veil ザ・クリズング・ヴェイル n. 体にまとわりついたベールを 「目的語」
 of light. オフ・ライト adj. 日差しの 「形容詞句」

僕は気付いた。僕は昼間の均衡を、そして僕が幸せだったこの浜辺の果てしない静寂を破壊してしまったのだ。

I knew I'd shattered the balance of the day, the spacious calm of this beach on which I had been happy. 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 knew ニュー 1 単過(know)v.t 気付いた、分った 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd shattered ハット・シャート 1 単過・完了形(shatter)v.t 粉砕してしまった 「動詞句」
 the balance of the day, ザ・バランス・オブ・ダ・デイ n. 昼間の均衡を 「目的語」
 the spacious calm of this beach ザ・スぺイシャス・カーム・オブ・ズィス・ビーチ
 n. この浜辺の果てしない静寂を 「目的語」
 on which オン・フィッチ adv. そこで～する 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had been ハット・ビーン 1 単過・完了形(be)v.i ～だった 「動詞句」
 happy. ハッピー adj. 幸せな 「補語」

Part 1 第 1 部

それでも僕は動かない体に向けてさらに 4 発発射したが、弾は痕跡を残さなかった。

But I fired four shots more into the inert body, on which they left no visible trace.

But 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

But バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

fired ファイト 1 単過 v.t 発射した、撃った

「動詞」

four shots more フォー・ショット・モア pl.n さらに 4 発

「目的語」

into the inert body, イントゥ・ズィ・イート・ボディ adv. 動かない体に向けて

「副詞句」

inert イート adj. 動けない、不活性の

on which オン・フィッチ adv. そこで～する

「副詞節」

they ゼィ pron.pl (shots の代用) 弾は

「主語」

left レフト 3 複過(leave)v.t 残した

「動詞」

no visible trace. ノ・ヴィズィブル・トレイス n. 目に見える痕跡を～ない

「目的語」

そして 4 発はそれぞれ、僕が力任せに自滅のドアを叩いた運命を決めるノックだった。

And each successive shot was another loud, fateful rap on the door of my undoing.

And 「主語」「動詞」「補語」

And アント conj. そして

each successive shot イチ・サクセシヴ・ショット n. 連続するそれぞれの 1 発は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

another loud, fateful アナザー・ラウド・フェイトフル adj. 音が大きく運命的な

「形容詞句」

rap ラップ n. (ドアを叩く) ノック

「補語」

on the door オン・ザ・ドア adv. ドアの

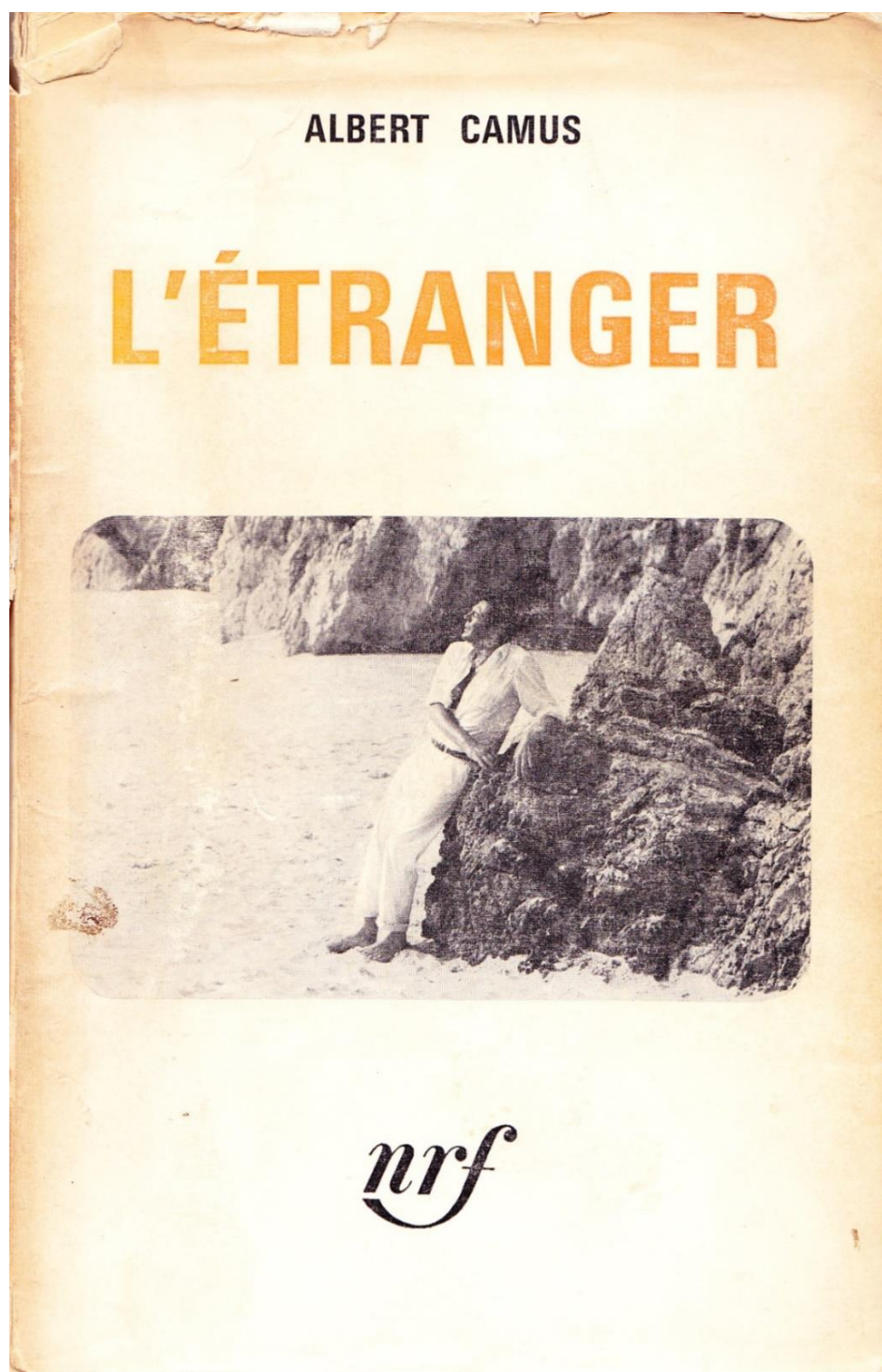
「副詞句」

of my undoing. オフ・マイ・アントゥイング adj. 自滅の

「形容詞句」

ALBERT CAMUS
THE STRANGER

Part 2 第2部



Part 2 第2部

I

僕は逮捕されるとすぐに、何度か尋問を受けた。

I was questioned several times immediately after my arrest.

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was questioned ワズ・クェスチョント 1 単過・受動(question)

v.t (証人などを) 尋問された

「動詞句」

several times セヴラル・タイムズ adv. 何度か

「副詞句」

immediately after イミティアトリー・アフター prep (時) ~のすぐ後で、~して直ぐに

「副詞句」

my arrest. マイ・アレスト n. 僕の逮捕

「目的語」

しかしそれらは僕の身元を確認するための人定尋問だった。

But they were all formal examinations, as to my identity and so forth.

But 「主語」「動詞」「補語」

But バット conj. しかし

they ゼィ pron(questions の代用) それは

「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ~だった

「動詞」

all formal examinations, オール・フォーマル・イグザミネーションズ pl.n どれも形式的な尋問

「補語」

as to アズ・トゥ adv. (関連) ~に関する

「副詞句」

my identity マイ・アイデンティティ n. 本人証明、身元

「目的語」

and so forth. アント・ソ・フォース adv.(= and so on) ~など

「副詞句」

人定尋問

証人などが、本人かどうかを確かめるために行う尋問

警察署で尋問が行われた最初の頃は、誰も僕の事件に興味が無いように思われた。

At the first of these, which took place at the police station, nobody seemed to have much interest in the case.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

At the first of these, アット・ザ・ファースト・オブ・ジーズ adv. これらの最初に

「副詞句」

which フィッチ pron (主語) ~する

「形容詞節」

took place トゥック・プレイス 3 複過(take place)v.i 行われた

「動詞句」

at the police station, アット・ザ・ポリース・ステーション adv. 警察署で

「副詞句」

nobody ノバディ pron 誰も~ない

「主語」

seemed to have シームト・トゥ・ハウ 3 単過・見える(seem to+不定詞)

v.i (否定文で) ~があるように見えなかった

「動詞句」

much interest マッチ・インタレスト n. 大いに興味が

「直接目的語」

Part 2 第2部

in the case. イン・ザ・ケース adv. 僕の事件に

「間接目的語」

しかし、1 週間後に予審判事の前に連れて来られた時、僕は彼が好奇の目で僕を見つめて
いることに気が付いた。

However, when I was brought before the examining magistrate a week later, I noticed that he eyed me with distinct curiosity.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

However, ハウエヴァー adv. かししながら

「副詞」

when ホエン conj. ～した時

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was brought ワズ・ブrought 1 単過・受動(bring)v.t 連れて来られた

「動詞句」

before the examining magistrate ビフォー・ザ・イクザミニング・マジストリット

adv. 予審判事の前に

「副詞句」

a week later, ア・ウィーク・レイター adv. 1 週間後に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

eyed アイト 3 単過 v.t じろじろ（注意深く）見た

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

with distinct curiosity. ウイズ・ディストinct・キュリオシティ

adv. (手段) 明らかに好奇の目で

「副詞句」

予審判事

フランス固有の予審判事は、例えば、刑事事件などで警官や刑事による捜査に基づき証拠調べや被疑者・証人らの尋問を行い、容疑を認めた時はそれぞれ該当の裁判所に送致し、容疑を認めない場合は免訴にすることもできる。予審判事は日本では 1947 年に廃止された。

他の人達と同様に、彼も僕の名前と住所、職業、それに生年月日と出生地を尋ね始めた。

Like the others, he began by asking my name, address, and occupation, the date and place of my birth.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Like the others, ライク・スィ・アザース adv. (様態) 他の人のように

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

began ビギン 3 単過・開始(begin)v.i(by+現在分詞) ～することを始めた

「動詞句」

by asking バイ・アスキング 現在分詞 v.t 尋ねる

「動詞句」

my name, address, and occupation, マイ・ネーム・アドレス・アント・オキュペイション

n. 名前、住所、職業を

「目的語」

Part 2 第2部

the date and place of my birth. ザ・デイト・アンド・プレイス・オブ・マイ・バース

n. 生年月日と出生地を

「目的語」

それから彼は、もう弁護士は決めたのかと尋ねた。

Then he inquired if I had chosen a lawyer to defend me.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

inquired インクワイアト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

if イフ conj. ～かどうかということ

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had chosen ハッド・チョウゼン 1 単過・完了形(choose)v.t 選んだ、決めた

「動詞句」

a lawyer ア・ローヤー n. 弁護士を

「目的語」

to defend トゥ・ディフェント 不定詞・目的 adv. (法律) 弁護するために

「副詞句」

me. ミー pron 自分を

「目的語」

僕は、「まだ決めていない」と答えた。そんなことは考えたこともなかったから。それで、
弁護士は絶対に必要なのかと彼に尋ねた。

I answered, "No," I hadn't thought about it, and asked him if it was really necessary for me to have one.

「主語」「動詞」, 《「応答」》, 「主語」「動詞句」「間接目的語」,
and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

answered, アンサード 1 単過 v.t 答えた

「動詞」

"No," ノウ adv. (否定) 決めていない

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't thought ハドント・ソート 1 単過・完了形・否定(think)

v.i(about について) 考えたことが無かった

「動詞句」

about it, アバウト・イット adv. そのようなことは

「間接目的語」

and アンド conj. それで

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は for me 以降)

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

really necessary リアリー・ネサリー adj. 絶対に必要な

「補語」

for me フォー・ミー adv. 僕にとって、僕が～することが

「主語」

Part 2 第2部

次の to 不定詞の 「主語」
 to have トゥ・ハヴ 不定詞・me の動作 v.t 〜を持つ、つける 「動詞句」
 one. ワン pron 弁護士を 「目的語」

「どうしてそんなことを聞くのですか？」と、彼は言った。僕は、自分の事件は実に単純なものだと見なしているから、と返事をした。

“Why do you ask that?” he said. I replied that I regarded my case as very simple.

《「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「主語」「動詞」
 「主語」「動詞」「目的語」

“Why ホワイ adv. (理由) どうして 「副詞」
 do ...ask トゥ...アスク 2 単現・疑問文 v.t 尋ねるのか? 「動詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 that?” ザット pron そんなことを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said. セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 replied リプライト 1 単過 v.t (that 〜と) 答えた、返事をした 「動詞」
 that ザット conj. 〜ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 regarded リガーディット 1 単過 v.t(SVO as C) O を C と見なしていた 「動詞」
 my case マイ・ケイス n. 僕の事件を 「目的語」
 as アズ prep (補語を導いて) 〜として 「補語」
 very simple. ヴァーリー・シンプル adj. 実に単純な 「形容詞句」

彼は微笑んで言った。「確かに、あなたはそう思われるかもしれませんが。しかし、私たちは、法律に従わなければなりません。もしあなたが弁護士をつけないのならば、裁判所があなたに代わって、弁護士を指名することになります」

He smiled. “Well, it may seem so to you. But we’ve got to abide by the law, and, if you don’t engage a lawyer, the court will have to appoint one for you.”

「主語」「動詞」

《「応答」, 「主語」「動詞句」「補語」 | But 「主語」「動詞句」「間接目的語」

,and, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

He ヒー pron 彼は 「主語」
 smiled. スマイルト 3 単過 v.i 微笑んだ 「動詞」
 “Well, ウェル adv. (談話・譲歩) なるほど 「応答」
 it イット pron それは 「主語」

Part 2 第2部

may seem メイ・シーム 3 単現・推量 v.i 思われるかもしれない	「動詞句」
so ソー adv. そのように	「補語」
to you. トゥ・ユー adv. あなたにとっては	「副詞句」
But バット conj. しかし	
we ウー pron 私たちは	「主語」
've got to abide ハヴ・ゴット・トゥ・アバイド 1 複現・義務(have got to+不定詞)	
v.i(by を) 遵守しなければならない	「動詞句」
by the law, バイ・ザ・ロー adv. 法律を	「間接目的語」
and, アント conj. それで	
if イフ conj. もし～ならば	「副詞節」
you ユー pron あなたが	「主語」
don't engage ドント・エンゲイジ 2 単現・否定 v.t 雇わない	「動詞句」
a lawyer, ア・ローヤー n. 弁護士を	「目的語」
the court ザ・コート n. 裁判所が	「主語」
will have to appoint ウィル・ハフ・トゥ・アポイント 3 単未・必要	
v.t 指名しなければならないことになる	「動詞句」
one ワン pron 弁護士を	「目的語」
for you.” フォー・ユー adv. あなたのために	「副詞句」

司法当局がそんな些細なことまで面倒を見るとは、素晴らしい決まりだと僕は思った。それで、彼にそう伝えた。彼はうなづいて、法律は望まれうるすべてであると同意した。

It struck me as an excellent arrangement that the authorities should see to details of this kind, and I told him so. He nodded, and agreed that the Code was all that could be desired.

「動詞」「間接目的語」「補語」「主語」,and「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞」	
「主語」「動詞」,and「動詞」「目的語」	
It イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）	
struck ストラック 3 単過(strike)v.t (as ～の) 印象を与えた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
as an excellent arrangement アズ・アン・エクセレント・アレインジメント	
adj. (主格補語) 素晴らしい取り決め	「補語」
that ザット conj. ～ということは	「主語」
the authorities ズィ・オーソリティー n. 司法当局が	「主語」
should see シュット・シー 3 複現・驚き(should+不定詞)	
v.i 気を配るとは、面倒を見るとは	「動詞句」
to details of this kind, トゥ・ディテイルズ・オブ・ズィ・カイント	

Part 2 第2部

adv. こんな些細なことにまで	「間接目的語」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
told トルド 1 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
so. ソウ adv. そのように	「副詞」
He ヒー pron 彼は	「主語」
noded, ノッテイト 3 単過(nod)v.i うなづいた	「動詞」
and アンド conj. そして	
agreed アグリード 3 単過(agree)v.t (that ～と) 認めた、同意した	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
the Code ザ・コード n. 法律は	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
all オール pron すべての物	「補語」
that ザット pron (主語) ～する	「形容詞節」
could be desired. クット・ビー・デザイアト 3 単現・受動・可能(desire)	
v.t 望まれうる	「動詞句」

始めの内、僕は彼のことをあまり深刻に捉えていなかった。

At first I didn't take him quite seriously.

	「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
At first アット・ファースト adv. 最初の内は	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
didn't take デイットント・テイク 1 単過・否定(take)	
v.t(SVOM) (O のことを M のように) 受け止めていなかった	「動詞句」
him ヒム pron 彼を	「目的語」
quite seriously. クワイ・シリアスリー adv. (否定文で) (方法・程度) あまり深刻に	「副詞句」

Part 2 第2部

彼が僕を尋問したのは、カーテンを降ろし、机の上にはランプが一つだけある、ごくありふれた執務室だった。その光が射し込む椅子に僕を座らせたが、彼の顔は暗がりの中だった。

The room in which he interviewed me was much like an ordinary sitting room, with curtained windows, and a single lamp standing on the desk. Its light fell on the armchair in which he'd had me sit, while his own face stayed in shadow.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

The room ザ・ルーム n. その部屋は 「主語」
 in which イン・フィッチ adv. そこに～する 「形容詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 interviewed インタヴュード 3 単過 v.t 尋問した 「動詞」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 much like an ordinary sitting room, マッチ・ライク・アソ・オーディナリー・シッティング・ルーム
 n. ごくありふれた執務室のような 「補語」
 with ウイズ adv. (様態) ～のある 「副詞句」
 curtained windows, カートゥント・ウインドゥズ
 pl.n カーテンを降ろした窓 「目的語」
 and アンド conj. そして
 a single lamp ア・シングル・ランプ n. 一つだけのランプ 「目的語」
 standing on the desk. スタンディング・オン・ザ・デスク
 adv. 机の上にある 「副詞句」
 Its light イッツ・ライト n. その光が 「主語」
 fell フェル 3 単過(fall)v.i (光が) 射していた 「動詞」
 on the armchair オン・スィ・アームチェア adv. 肘掛椅子の上に 「副詞句」
 in which イン・フィッチ adv. そこに～する 「形容詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd had ハット・ハット 3 単過・完了形・使役(have+O+不定詞)
 v.t (O に) ～をさせた 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 sit, シット 不定詞・me の動作 v.i 座る 「補語」
 while ホワイ conj. その一方で～する 「副詞節」
 his own face ヒズ・オン・フェイス n. 彼自身の顔は 「主語」
 stayed ステイド 3 単過・状態 v.i ～に留まっていた 「動詞」
 in shadow. イン・シャドウ adv. 暗がりの中 「副詞句」

Part 2 第2部

僕はこのような場面の描写を本で読んだことがあったので、最初はすべてが遊びのように思われた。

I had read descriptions of such scenes in books, and at first it all seemed like a game.

「主語」「動詞句」「目的語」,and「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had read ハット・レット 1 単過・完了形・経験(read)v.t かつて読んだことがあった 「動詞句」

descriptions ディスクリプションズ pl.n 記述、描写 「目的語」

of such scenes オフ・サッチ・シーンズ adj. このような場面の 「形容詞句」

in books, イン・ブックス adv. 本で 「副詞句」

and アンド conj. そして、それで

at first アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」

it all イット・オール pron すべてが 「主語」

seemed シームト 3 単過 v.i 〜に思われた 「動詞」

like a game. ライク・ア・ゲーム adj. 遊びのように 「補語」

しかしながら話の後で、僕は彼のことをじつくりと見た。

After our conversation, however, I had a good look at him.

「副詞句」,「主語」「動詞」「目的語」

After アフター prep (時間) 〜の後で 「副詞句」

our conversation, アウワ・カンヴァァーション n. 私たちの話 「目的語」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t (動作名詞) 〜をした 「動詞」

a good look ア・グット・ルック n. じつくりと見る事 「目的語」

good ゲット adj. 注意深い、たっぷりな look ルック n. 注視、見る事

at him. アット・ヒム adv. (方向) 彼に対して 「副詞句」

Part 2 第2部

彼は、整った目鼻立ちで、深く窪んだ青い目と灰色の長い口髭そしてほとんど白髪豊かな髪という風貌の長身の男だった。それで僕は彼に対して、かなり聡明で、全体的には好感が持てるという印象を受けた。

He was a tall man with clean-cut features, deep-set blue eyes, a big gray mustache, and abundant, almost snow-white hair, and he gave me the impression of being highly intelligent and, on the whole, likable enough.

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

a tall man ア・トル・マン n. 背の高い男 「補語」

with ウイズ prep (様態) 〜をした 「副詞句」

clean-cut features, クリーン・カット・フィーチャーズ pl.n 整った目鼻立ち 「目的語」

deep-set blue eyes, ディープ・セット・ブルー・アイズ pl.n 深く窪んだ青い目 「目的語」

a big gray mustache, ア・ビグ・グレイ・マスターシュ n. 灰色の長い口髭 「目的語」

and アンド conj. そして

abundant, almost snow-white hair, アバンダント・オールモスト・スノウ・ホワイト・ヘア

n. ほとんど白髪の豊かな髪 「目的語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 〜を与えた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

the impression スイ・インプレッション n. 印象を 「直接目的語」

of being オブ・ビーイング adj. (同格) 〜であるという 「形容詞句」

highly intelligent ハイリー・インテリジェント adj. かなり聡明な 「補語」

and, アンド conj. そして

on the whole, オン・ザ・ホール

adv. 概して、全体的に見て 「副詞句」

likable enough. ライカブル・イフ adj. 好感の持てる 「補語」

Part 2 第2部

ひとつだけ、人を不快にさせるところがあった：かれの口が、時々、多少見苦しくひきつるのだ；しかしそれはほんの神経性の癖のように思われた。

There was only one thing that put one off : his mouth had now and then a rather ugly twist; but it seemed to be only a sort of nervous tic.

「動詞句」「主語」：「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」；

but 「主語」「動詞句」「補語」

There was ゼア・ワズ 3 単現・存在(there be)v.i ～があった 「動詞句」

only one thing オウンリー・ワン・シング n. 一つだけが 「主語」

that サット pron (主語) ～する 「形容詞節」

put ...off : プット...オフ 3 単過・時制の一致(put off)

v.t (人を) 不快にする 「動詞句」

one ワン pron 人を 「目的語」

his mouth ヒズ・マウス n. 彼の口が 「主語」

thing の内容を説明

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t (+動作名詞) ～をする 「動詞」

now and then ナウ・アント・ゼン adv. 時々 「副詞句」

a rather ugly twist; ア・ラーサー・アグリー・ツイスト n. 多少見苦しい引きつりを 「目的語」

but バット conj. しかし

it イット pron それは 「主語」

seemed to be シームト・ト・ビー 3 単過(seem to+不定詞)v.i ～であるように思われた 「動詞句」

only a sort of オウンリー・ア・ソート・オブ adj. ほんの～のような 「形容詞句」

nervous tic. ナーヴ・アス・チック n. 神経性の癖 「補語」

部屋を出る時、もう少しで手を差し出して「さようなら」と挨拶しそうになった；けれどもすんでの所で、自分が人を殺していたことを思い出した。

When leaving, I very nearly held out my hand and said, "Good-by"; just in time I remembered that I'd killed a man.

「副詞句」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 and 「動詞」, 《「挨拶」》；

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

When leaving, ホエン・リービング adv. 僕が部屋を出る時に 「副詞句」

「主語」は主節と同じ

I アイ pron 僕は 「主語」

very nearly ウェリー・ニアリー

adv. (動詞を修飾) ほとんど～するところだった、あやうく～しそうになった 「副詞句」

held out ヘルト・アウト 1 単過(hold out)v.t (手を) 差し出す、伸ばす 「動詞句」

my hand マイ・ハント n. 手を 「目的語」

Part 2 第2部

and アンド conj. そして

said, セッド 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“Good-by”; グット・バイ adv. (挨拶) さようなら

「挨拶」

just in time ジャスト・イン・タイム adv. ぎりぎり間に合って、なんとか間に合って

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

remembered リメンバード 1 単過 v.t 思い出した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd killed ハット・キルト 1 単過・完了形 v.t 殺していた

「動詞句」

a man. ア・マン n. 人を

「目的語」

翌日、弁護士が僕の独房にやってきた；小柄の太った若い男で、黒髪を撫でつけていた。

Next day a lawyer came to my cell; a small, plump, youngish man with sleek black hair.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」; 「主語」

Next day ネクスト・デイ adv. 翌日

「副詞句」

a lawyer ア・ローヤー n. 弁護士が

「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i やって来た、訪ねてきた

「動詞」

to my cell; トゥ・マイ・セル adv. 僕の独房へ

「間接目的語」

a small, ア・スモール adj. 小柄な

「形容詞句」

plump, プランプ adj. 丸々と太った

「形容詞」

youngish ヤングィッシュ adj. 若い

「形容詞」

man マン n. 男

「主語」

with ウィズ prep (様態) ～の様子の

「副詞句」

sleek black hair. スリーク・ブラック・ヘア n. 滑らかな黒髪

「目的語」

暑さにも関わらず (僕は上着を脱いでいた) 彼はウィング・カラーの付いた黒っぽい上着を着て、白黒の縞で幅広の少し派手なネクタイをしていた。

In spite of the heat—I was in my shirt sleeves—he was wearing a dark suit, stiff collar, and a rather showy tie, with broad black and white stripes.

「副詞句」, 《「主語」「動詞」「副詞句」》, 「主語」「動詞」「目的語」

In spite of イン・スパイト・オブ prep ～にも関わらず

「副詞句」

the heat ザ・ヒート n. 暑さ

「目的語」

—I アイ pron 僕は (たとえば)

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

in my shirt sleeves— イン・マイ・シャツ・スリーヴズ

adv. 上着を脱いで、ワイシャツ 1 枚になって

「副詞句」

Part 2 第2部

he ヒー pron 彼は (彼の方は) 「主語」
 was wearing ワズ・ウェアリング 3 単過・進行形(wear)v.t ~を着ていた 「動詞句」
 a dark suit, ア・ダーク・スーツ n. 黒っぽい上着 「目的語」
 stiff collar, スティッフ・カラー n. ウィング・カラー 「目的語」
 翼のように前部が浮いて開き、後部は首にそった襟型
 and アンド conj. そして
 a rather showy tie, ア・ラーザー・ショウイー・タイ n. 少し派手なネクタイ 「目的語」
 rather ラーザー adv. 少し showy ショウイー adj. 人目を引く
 with broad black and white stripes. ウイズ・ブロード・ブラック・アント・ホワイ・ストライプ
 adv. (様態) 白黒の縞で幅広の 「形容詞句」

僕のベッドの上に書類かばんを置いてから、彼は自己紹介をして、僕の事件の資料は注意深く目を通しましたと付け加えた。

After depositing his brief case on my bed, he introduced himself, and added that he'd perused the record of my case with the utmost care.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 ,and 「動詞」 「目的語」
 After depositing アフター・デポジション adv. (時間) ~を置いたあとで 「副詞句」
 his brief case ヒズ・ブリーフ・ケース n. 書類かばん 「目的語」
 on my bed, オン・マイ・ベッド adv. 僕のベッドに 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 introduced himself, イントロジユースト・ヒムセルフ 3 単過・再帰動詞(introduce oneself)
 v.pr 自己紹介した 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 added アディット 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」
 that サット conj. ~ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd perused ハット・ペルースト 3 単過・完了形(peruse)
 v.t ざっと読んだ、目を通した 「動詞句」
 the record サ・レコード n. 記録、資料を 「目的語」
 of my case オフ・マイ・ケース adj. 僕の事件の 「形容詞句」
 with the utmost care. ウイズ・サ・アットモオスト・ケア
 adv. (様態) 細心の注意を持って 「副詞句」

Part 2 第2部

彼の見解によると、僕の事件は注意深いやり取りが必要だが、僕が彼の助言に従えば、無罪を勝ち取れる可能性があるとのことだった。

His opinion was that it would need cautious handling, but there was every prospect of my getting off, provided I followed his advice.

「主語」「動詞」「補語」

His opinion ヒズ・オピニオン n. 彼の見解は、意見は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「補語」

it イット pron 僕の事件は

「主語」

would need ウット・ニード 3 単現・必要・推測(would+不定詞)

v.t ~が必要と思われる

「動詞句」

cautious handling, コーティアス・ハントリング n. 注意深い処理

「目的語」

but バット conj. しかし

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がある

「動詞句」

every prospect エヴリ・プロスペクト n. 間違いなく可能性が

「主語」

of my getting off, オフ・マイ・ゲティング・オフ adj. 無罪の

「形容詞句」

get off ゲット・オフ v.i 無罪になる、逃れる

provided プロヴァイデッド conj. (条件) もし~ならば

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

followed フォロウト 1 単過・仮定法 v.t 従った (とすれば)

「動詞」

his advice. ヒズ・アドヴァイス n. 彼の助言に

「目的語」

僕は彼に礼を言った。すると彼は言った「よろしい、それでは本題に入りましょう」

I thanked him, and he said: "Good. Now let's get down to it."

「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」:

《「間投」 | 「話題転換」「動詞句」「間接目的語」》

I アイ pron 僕は

「主語」

thanked サンクト 1 単過 v.t 礼を言った

「動詞」

him, ヒム pron 彼に

「目的語」

and アント conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

said: セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

"Good. グット adv. よろしい

「間投」

Now ナウ adv. それでは

「話題転換」

let's get down レッツ・ゲット・ダウ 1 複現・勧誘(let's+不定詞 get down)

v.i(to に) 取り掛かりましょう

「動詞句」

to it." トゥ・イット adv. そのことに、本題に

「間接目的語」

Part 2 第2部

彼は、ベッドに腰を下ろすと、当局は僕の私生活に関する情報を調査していると言った。

Sitting on the bed, he said that they'd been making investigations into my private life.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Sitting シティング 現在分詞・同時(sit)adv. 腰かけながら、腰掛けて 「副詞句」

on the bed, オン・ザ・ベッド adv. ベッドに 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

they ゼイ pron 当局は 「主語」

'd been making ハッド・ビーン・メイキング 3 複過・完了形・進行形・時制の一致(make)

v.t (動作を) している 「動詞句」

investigations インヴェシゲイションズ pl.n 調査を 「目的語」

into my private life. イントゥ・マイ・プライヴァイト・ライフ

adv. (対象) 僕の私生活に関する 「副詞句」

最近母さんが養老院で死んだという情報も得ている。

They had learned that my mother died recently in a home.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

They ゼイ pron 彼らは 「主語」

had learned ハッド・ラント 3 複過・完了形(learn)v.t ～を知った 「動詞句」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

my mother マイ・マザー n. 母さんが 「主語」

died ダイト 3 単過(die)v.i 死んだ 「動詞」

recently リセントリー adv/ 最近 「副詞」

in a home. イン・ナ・ホーム adv. 養老院で 「副詞句」

マレンゴで調査が行われ、警察は、僕が母さんの葬儀で「非情さを」露わにしたことを書面で報告した。

Inquiries had been conducted at Marengo and the police informed that I'd shown "great callousness" at my mother's funeral.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 and 「主語」 「動詞」 「目的語」

Inquiries インクワイアリーズ pl(inquiry).n 調査が 「主語」

had been conducted ハッド・ビーン・コンダクティッド 3 複過・完了形・受動(conduct)

v.t (業務が) 行われた 「動詞句」

at Marengo アット・マレンゴ adv. (場所) マレンゴで 「副詞句」

Part 2 第2部

and アンド conj. そして

the police ザ・ポリース n. 警察は

「主語」

informed インフォームド 3 単過 v.t (書面で) 通知した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd shown ハッド・ショウン 1 単過・完了形(show)v.t 露わにした

「動詞句」

“great callousness” グレイト・カラスネス n. 「非情さ」を

「目的語」

at my mother's funeral. アット・マイ・マザーズ・フューネラル

adv. (場所) 母さんの葬儀で

「副詞句」

「いいですか？」と、弁護士は言った、「私も、こんなことを質問したくはないのです」

“You must understand,” the lawyer said, “that I don't relish having to question you about such a matter.”

《「呼びかけ」》, 「主語」 「動詞」, 《「目的語」》

“You ユー pron あなたは

「呼びかけ」

must understand,” マスト・アンダースタント 2 単現・必要・依頼

v.t 分かって下さい、いいですか

「呼びかけ」

the lawyer ザ・ローヤー n. 弁護士は

「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

don't relish having to question トント・レリッシュ・ハヴィング・トゥ・クエスチョン 1 単現・否定・本意

(relish+現在分詞 have to+不定詞)v.t 質問したくはない

「動詞句」

you ユー pron あなたに

「直接目的語」

about such a matter. アバウト・サッチ・ア・マター adv. こんなことについて

「間接目的語」

Part 2 第2部

「しかしこれは大変重要なことです。そして、もし私が検察側の冷淡な追及に反論することが出来なければ、あなたの弁護を行う上で、不利な状況に陥ってしまうのです。」

But it has much importance, and, unless I find some way of answering the charge of 'callousness,' I shall be handicapped in conducting your defense.

《But 「主語」「動詞」「目的語」, and, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」》

But バット conj. しかし

it イット pron それは 「主語」

has ハズ 3 単現(have)v.t 〜がある 「動詞」

much importance, マッチ・インポータンス n. 重要性 「目的語」

and, アント conj. そして

unless アンルス conj. (仮定) もし〜しなければ 「副詞節」

I アイ pron 私が 「主語」

find ファインド 1 単現 v.t 見つける 「動詞」

some way サム・ウェイ n. 何か方法を 「目的語」

of answering オフ・アンサーング adj. (目的) 〜に答えるための 「形容詞句」

the charge of 'callousness,' ザ・チャージ・オブ・カラスニス

n. 冷淡な追及、攻撃 「目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

shall be handicapped シャル・ビー・ハンデイヤップト 1 単未・受動・推量(handicap)

v.t 不利な状況になるだろう 「動詞句」

in conducting イン・コンダクティング adv. (目的) 〜を行う上で 「副詞句」

your defense. ユア・デフエンス n. あなたの弁護を 「目的語」

「そしてそれは、あなたしか私を助けることは出来ないということなのです」

And that is where you, and only you, can help me.”

《And 「主語」「動詞」「補語」》

And アント conj. そして

that ザット pron それは 「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

where ウェア adv. 〜というところ 「補語」

you, and only you, ユー・アント・オソリー・ユー pron あなただけが 「主語」

can help キャン・ヘルプ 2 単現・可能 v.t 助けることが出来る 「動詞句」

me.” ミー pron 私を 「目的語」

Part 2 第2部

続けて彼は、葬儀の日は辛かったかと僕に尋ねた。

He went on to ask if I had felt grief on that “sad occasion.”

「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

went on to ask ウェント・オン・トゥ・アスク 3 単過・継続(go on to+不定詞)v.t 質問を続けた 「動詞句」

if イフ conj. ～かどうかという事を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had felt ハット・フェルト 1 単過・完了形(feel)v.t 感じた

「動詞句」

grief グリーフ n. 深い悲しみを

「目的語」

on that “sad occasion.” オン・ザット・サット・オカジヨン adv. (時) 葬儀の日に

「副詞句」

sad サット adj. 悲しい occasion オカジヨン n. 儀式

その質問を聞いて僕はひどく驚いた；もし僕自身が、誰かにそのような事を聞かなければならなかったとしたら、僕はもっと申し訳ない気持ちになっただろう。

The question struck me as an odd one; I'd have been much embarrassed if I'd had to ask anyone a thing like that.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」；「主語」「動詞句」「補語」「副詞節」

The question ザ・クェスチョン n. その質問は

「主語」

struck ストラック 3 単過(strike)v.t (驚きを) 起こさせた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

as an odd one; アズ・アン・オット・ワン adv. 異常なものとして

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd have been ウット・ハヴ・ビーン 1 単現・完了形・推量(be)v.i ～だっただろう

「動詞句」

much embarrassed マッチ・エンバラスト adj. もっと当惑した、恥じ入った

「補語」

if イフ conj. (仮定) もし～だったとしたら

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd had to ask ハット・ハット・トゥ・アスク 1 単過・完了形・仮定法(have to+不定詞)

v.t 聞かなければならなかったとしたら

「動詞句」

anyone エニワン pron 誰かに

「間接目的語」

a thing like that. ア・シング・ライク・ザット n. そのような事を

「直接目的語」

Part 2 第2部

最近は自分の気持ちを心に書き留めておく習慣もなくなったので、何と答えれば良いか分からない、と答えた。

I answered that, of recent years, I'd rather lost the habit of noting my feelings, and hardly knew what to answer.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

answered アンサート 1 単過 v.t 答えた

「動詞」

that, ザット conj. ～ということ

「目的語」

of recent years, オブ・リースト・ヤーズ adv. このところ、最近

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd rather lost ハット・レーザー・ロスト 1 単過・完了形(lose)v.t 無くした

「動詞句」

the habit ザ・ハビット n. 習慣を

「目的語」

of noting オブ・ノテイング

adj. (同格) ～を書き留めておくという

「形容詞句」

my feelings, マイ・フィーリングズ pl.n. 自分の気持ちを

「目的語」

and アンド conj. それで

hardly knew ハードリー・ニュー 1 単過・否定(know)v.t 分からない

「動詞句」

what to answer. フワット・トゥ・アンサー pron 答えるべきことが

「目的語」

正直な所、僕は母さんをととても愛していた。しかし現実、そんなことはあまり意味がない。

I could truthfully say I'd been quite fond of Mother— but really that didn't mean much.

「主語」「動詞句」「目的語」 ---- but 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

could truthfully say クッド・トゥルースフリー・セイ 1 単現・可能性・推量(could+不定詞)

v.t 正直に言えるだろう

「動詞句」

n. ～ということ

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd been ハット・ビーン 1 単過・完了形(be)v.i ～だった

「動詞句」

quite fond of Mother— クワイ・フォント・オブ・マザー adj. 母さんがとても好きな「補語」

but バット conj. しかし

really リアリー adv. 実際は

「副詞」

that ザット pron それは

「主語」

didn't mean ディトント・ミン 3 単過・否定・時制の一致 v.t 意味がない

「動詞句」

much. マッチ adv. (否定文で) あまり

「副詞」

Part 2 第2部

僕はあとから思いついたように付け加えた。普通の人は皆、いつかは愛する者の死を多かれ少なかれ望んだことがあるはずだ。

All normal people, I added as on afterthought, had more or less desired the death of those they loved, at some time or another.

「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

All normal people, オール・ノーマル・ピープル pron.pl 普通の人は皆 「主語」
 I added アイ・アディッド adv. (挿入節) 僕は付け加えた 「副詞節」
 as on afterthought, アズ・オン・アフターthought adv. あとから思いついたように 「副詞句」
 had more or less desired ハッド・モア・オア・レス・ディザイアト 1 単過・完了形・推量(desire)
 v.t 多かれ少なかれ望んだだろう 「動詞句」
 the death ザ・デス n. 死を 「目的語」
 of those they loved, オフ・ゾース・ゼイ・ラヴト adj. 愛する者の 「形容詞句」
 at some time or another. アット・サム・タイム・オア・アナザー adv. いつかは 「副詞句」
 at some time or other 「そのうちに、いつか」

ここで、弁護士はひどく慌てた様子で僕の話を書いた。

Here the lawyer interrupted me, looking greatly perturbed.

「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Here ヒア adv. (時点) ここで 「副詞」
 the lawyer ザ・ローヤー n. 弁護士は 「主語」
 interrupted インタラプトゥット 3 単過 v.t ~を中断させた、遮った 「動詞」
 me, ミー pron 僕の話 「目的語」
 looking ルキング 現在分詞・様態 adv. ~の様子で 「副詞句」
 greatly perturbed. グレイトリー・パターブト 過去分詞(perturb)
 adj. ひどく混乱した 「補語」

「そのような事を、公判や予審判事の所では決して言わないと、私に約束して下さい」

“You must promise me not to say anything of that sort at the trial, or to the examining magistrate.”

《「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」》

“You ユー pron あなたは 「主語」
 must promise マスト・プロミス 2 単現・要請(must+不定詞)
 v.t (SVO to+不定詞) O に~すると約束して下さい 「動詞句」
 me ミー pron 私に 「間接目的語」
 not to say ノット・トゥ・セイ 不定詞・否定 n. ~を言わないということを 「直接目的語」
 anything of that sort エニシング・オブ・サット・ソート
 pron そのような事を何も~ない 「目的語」

Part 2 第2部

at the trial, アット・ザ・トライアル adv. (場所) 公判で、法廷で

「副詞句」

or オア conj. または

to the examining magistrate.” トゥ・ザ・イクザミニング・マジストレイト

adv. 予審判事のところで

「副詞句」

examining イクザミニング adj. 予審の、予診の magistrate マジストレイト n. 行政官、判事

彼を安心させるために、僕は約束した。しかし、感情が体調によって影響を受けやすい傾向があることを付け加えておいた。

I promised, to satisfy him, but I explained that my physical condition at any given moment often influenced my feelings.

「主語」「動詞」「副詞句」, but 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

promised, プロミスト 1 単過 v.t 約束した

「動詞」

to satisfy him, トゥ・サティスファイ・ヒム 不定詞・目的 adv. 彼を安心させるために

「副詞句」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した

「動詞」

that ザット conj. ～ということ

「目的語」

my physical condition マイ・フィジカル・コンディション n. 僕の体調は

「主語」

at any given moment アット・エニー・ギヴン・モメント adv. 何かの時には

「副詞句」

often オフン adv. しばしば

「副詞」

influenced インフランチスト 3 単過・時制の一致 v.t 影響を及ぼす

「動詞」

my feelings. マイ・フィーリングス pl.n 僕の感情に

「目的語」

例えば、母さんの葬儀に参列した日は、僕は疲れ果てていて、半睡状態だった。だから実際の所、何が起きているのか分からなかった。

For instance, on the day I attended Mother's funeral, I was fagged out and only half awake. So, really, I hardly took stock of what was happening.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 and 「動詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

For instance, フォー・インスタンス adv. 例えば

「副詞句」

on the day オン・ザ・デイ adv. その日に

「副詞句」

I アイ pron 僕が～する

「形容詞節」

attended アテンデイト 1 単過 v.t 参列した

「動詞」

Mother's funeral, マザーズ・フューネラル n. 母さんの葬儀

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was fagged out ワズ・ファグト・アウト 1 単過・受動(fag out)v.t へとへとに疲れていた

「動詞句」

Part 2 第2部

and アント conj. そして

only half awake. オウソリー・ハーフ・アウェイ adj.(be+形容詞) 半睡状態だった

「動詞句」

So, really, ソ・リアリー adv. だから実際には

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

hardly took ハートリー・トゥック 1 単過・否定(take)v.t 分からなかった

「動詞句」

stock ストック n. 蓄え、意味

「目的語」

of what was happening. オフ・フワット・ワズ・ハプニング

adj. 何が起きているかの

「形容詞句」

ともかく、僕は彼に母さんが死ななかったほうが良かったと思うと保証できたと思う。

Anyhow, I could assure him of one thing: that I'd rather Mother hadn't died.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」

Anyhow, エニーハウ adv. (= anyway) とにかく、いずれにせよ

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

could assure クッド・アシュア 1 単過・可能・推量(could+不定詞)

v.t(of を) 保証できたと思う

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

of one thing: オフ・ワン・シング adv. 1 つの事を

「間接目的語」

that サット conj. (同格) ~という

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd rather ウッド・ラーザー 1 単過・推量(would rather than)

v.t 良かったと思う

「動詞句」

Mother マザー n. 母さんが~することが

「目的語」

hadn't died. ハント・ダイト 3 単過・完了形・否定(die)

v.i 死ななかった (ほうが)

「動詞句」

しかし、弁護士は不満げな顔色だった。「それでは、不十分です」と、不愛想に言った。

The lawyer, however, looked displeased. "That's not enough," he said curtly.

「主語」「副詞」「動詞」「補語」 | 《「主語」「動詞句」「補語」》, 「主語」「動詞」「副詞」

The lawyer, サ・ローヤ n. 弁護士は

「主語」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

looked ルクト 3 単過 v.i ~に見えた

「動詞」

displeased. ディスプリーズト adj. 不満足な

「補語」

"That サット pron それは

「主語」

's not イズ・ノット 3 単現・否定(be)v.i ~でない

「動詞句」

enough, イフ adj. 十分な

「補語」

Part 2 第2部

he ヒ pron 彼は 「主語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 curtly. カートリー adv. そっけなく、不愛想に 「副詞」

彼は少し考えてから、あの日僕は、自分の感情を抑え込んでいたといえるのではないかと、僕に尋ねた。

After considering for a bit he asked me if he could say that on that day I had kept my feelings under control. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」

After +現在分詞 アフター adv. (時間) ～してから 「副詞句」

considering コンシダリング 現在分詞 v.i 考える 「動詞」

for a bit フォー・ア・ビット adv. (時間) 少しの間、ちょっと 「副詞句」

he ヒ pron 彼は 「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

me ミ pron 僕に 「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

he ヒ pron 彼は 「主語」

could say クッド・セイ 3 単過・可能・確認(could+不定詞)

v.t ～と言えるだろうか 「動詞句」

that ザット conj. ～ということ 「目的語」

on that day オン・ザット・デイ adv. あの日は 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

had kept ハット・ケプト 1 単過・完了形・維持(keep)

v.t ～を保っていた 「動詞句」

my feelings マイ・フィーリングズ pl.n 自分の感情を 「目的語」

under control. アンダー・コントロール

adv. 制御下に、統制した、抑え込んだ 「補語」

「いやそうではない」と、僕は言った。「それは全く真実ではない」

“No,” I said. “That wouldn’t be true.”

《「応答」》, 「主語」 「動詞」, 《「主語」 「動詞句」 「補語」》

“No,” ノー adv. (否定) そんなことはない 「応答」

I アイ pron 僕は 「主語」

said. セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“That ザット pron それは 「主語」

wouldn’t be ウェン’t ビ 3 単過・強調・時制の一致 v.i 断固として～でない 「動詞句」

true.” トゥルー adj. 真実の 「補語」

Part 2 第2部

彼は、まるで僕が彼に不快感を抱かせたからというような、奇妙な目つきで僕を見つめた；それから、ほとんど敵意のこもった口調で、どちらにしても養老院の院長も職員たちも証人として召喚されるだろうと僕に告げた。

He gave me a queer look, as if I slightly revolted him; then informed me, in an almost hostile tone, that in any case the head of the Home and some of the staff would be cited as witnesses.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, 「副詞節」;

「副詞」「動詞」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」

He	ヒ	pron	彼は		「主語」
gave	ゲイヴ	3 単過(give)v.t	与えた		「動詞」
me	ミ	pron	僕に		「間接目的語」
a queer look,	ア・クイア・ルック	n.	奇妙な視線を		「直接目的語」
as if	アズ・イフ	conj.	まるで～のように		「副詞節」
I	アイ	pron	僕は		「主語」
slightly	スライトリー	adv.	わずかに		「副詞」
revolted	リヴォルティット	1 単過(revolt)v.t	ムカつかせた		「動詞」
him;	ヒム	pron	彼を		「目的語」
then	ゼン	adv.	そして、それから		「副詞」
informed	インフォームド	3 単過 v.t	知らせた、告げた		「動詞」
me,	ミ	pron	僕に		「間接目的語」
in an almost hostile tone,	イン・アン・オールノスト・ホストル・トーン				
adv.			ほとんど敵意のこもった口調で		「副詞句」
that	ザット	conj.	～ということを		「直接目的語」
in any case	イン・エニー・ケイス	adv.	どちらにしても		「副詞句」
the head of the Home	ザ・ヘッド・オブ・ザ・ホーム	n.	養老院の院長は		「主語」
and	アント	conj.	そして		
some of the staff	サム・オブ・ザ・スタッフ	pl.n	職員が		「主語」
would be cited	ウット・ビー・サイティット	3 複過・受動・推測・時制の一致(cite)			
v.t			召喚されるだろう		「動詞句」
as witnesses.	アズ・ウィットネスイズ	adv.	証人として		「副詞句」

Part 2 第2部

「そして、それは君に非常に不都合な展開をもたらすだろう」と、彼は結論付けた。

“And that might do you a very nasty turn,” he concluded.

《And「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》, 「主語」「動詞」

“And アント conj. そして

that ザット pron そのことは

「主語」

might do マイト・トゥ 3 単過・推量・時制の一致(may+不定詞 do)

v.t ~をもたらすだろう

「動詞句」

you ユー pron 君に

「間接目的語」

a very nasty turn,” ア・ヴェリー・ナスティ・ターン n. 非常に不都合な展開を

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

concluded. コンクルーデイト 3 単過 v.t 結論付けた

「動詞」

母さんの死は僕の告訴とは関係がないと言うと、彼は僕の意見は今までに一度も裁判に関わったことが無いと言っているようなものだ、とだけ答えた。

When I suggested that Mother's death had no connection with the charge against me, he merely replied that this remark showed I'd never had any dealings with the law.

「副詞節」, 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

When ホエン conj. ~する時、~すると

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

suggested サジェスティット 1 単過 v.t 提案した、示唆した、意見を言った

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

Mother's death マザーズ・デス n. 母さんの死は

「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ~がある

「動詞」

no connection ノウ・コネクション n. 関係が~ない

「目的語」

with the charge against me, ウイズ・ザ・チャージ・アゲinst・ミー

adv. 僕の告訴とは

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

merely ミアリー adv. 単に

「副詞」

replied リプライト 3 単過(reply)v.t 答えた

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

this remark スィス・リマーク n. この意見は

「主語」

showed ショウト 3 単過・時制の一致 v.t ~を示している

「動詞」

I アイ pron 僕は~するということ

「目的語」

'd never had ハット・ネヴァー・ハット 1 単過・完了形・否定(have)

v.t 一度も~をもたなかった

「動詞句」

any dealings エニー・ディールグズ pl(dealing).n どのような関係も

「目的語」

Part 2 第2部

with the law. ウィズ・ザ・ロー adv. (関連) 裁判と、法律と 「副詞句」

このあとすぐに、彼は帰って行った。

Soon after this he left, looking quite vexed. 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Soon after this スーン・アフター・ズ・イズ adv. (時間・順序) このすぐ後で 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

left, レフト 3 単過(leave)v.i 帰った、去った 「動詞」

looking ルキング adv. (様態) ~の様子で 「副詞句」

quite vexed. クワイ・ヴェクスト adj. ひどく苛立った 「形容詞句」

vexed ヴェクスト adj. 苛立った、怒った、悩んだ

僕は彼がもっと長くいてくれたらよかったのにと考えた。そうすれば、僕は彼の支援を望んでいると説明できたのだが。それは彼に僕の弁護を上手くやってもらうためではなく、いわば自然な気持ちからである。

I wished he had stayed longer and I could have explained that I desired his sympathy, not for him to make a better job of my defense, but, if I might put it so, spontaneously.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

wished ウィッシュト 1 単過・願望 v.t(that ~であれば) 良かったのにと考えた 「動詞」

n. ~という事を 「目的語」

he ヒー pron 彼が 「主語」

had stayed ハット・ステイト 3 単過・完了形(stay)v.i 滞在していたら 「動詞句」

longer ロンガー adv. もっと長い間 「副詞」

and アンド conj. (期待に対する帰結) そうすれば

I アイ pron 僕は 「主語」

could have explained クッド・ハヴ・イクスプレイント 1 単過・可能・完了形

v.t 説明出来ていただろう (しかし出来なかった) 「動詞句」

that サット conj. ~ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

desired デザイアド 1 単過・時制の一致 v.t 望んでいる 「動詞」

his sympathy, ヒズ・シンパシー n. 彼の支援を、支持を 「目的語」

not for ノット・フォー prep (理由) ~と言うためではなく 「副詞句」

him ヒム pron 彼が 「目的語」

to make トゥ・メイク 不定詞・him の動作 v.t する 「動詞句」

a better job ア・ベター・ジョブ n. よりよい仕事を 「目的語」

of my defense, オフ・マイ・ディフェンス

Part 2 第2部

adj. 僕の弁護の	「形容詞句」
but, バット conj. そうではなく	
if イフ conj. (仮定) もし～ならば	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
might put マイト・プット 1 単過・推量(put)v.t 表現した	「動詞」
it イット pron そのことを	「目的語」
so, ソウ adv. そのように	「副詞」
spontaneously. スポンテニアスリー adv. 自発的に	「副詞」

僕が彼の神経を逆撫でしたのだらうと思う；彼は僕の言うことが理解できなかったに違いない。それで、彼は苛々したのだ。何度かは、僕は他の人達と全く同じ、全く普通の人間だと、彼にはっきり伝えたい気持ちがあった。

I could see that I got on his nerves; he couldn't make me out, and, naturally enough, this irritated him. Once or twice I had a mind to assure him that I was just like everybody else; quite an ordinary person.

「主語」「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞句」,and,

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は	「主語」
could see クッド・シー 1 単現・推量(could+不定詞)v.t ～が分かった気がする	「動詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
got ゴット 1 単過(get)v.i(on one's nerves) ～を苛々させた	「動詞」
on his nerves; オン・ヒズ・ナーヴズ adv. 彼の神経を	「間接目的語」
get on one's nerves 「人の神経を逆なです、イライラさせる」	
he ヒー pron 彼は	「主語」
couldn't make me out, クドント・メイク・ミー・アウト 3 単過・推量・否定(can+不定詞 make out+me)	
v.t 僕の言うことが理解できなかったらう	「動詞句」
make out メイク・アウト (can を伴い否定.疑問文で)「なんとか理解する」	
and, アント conj. そして	
naturally enough, ナチュラリー・イフ adv. 当然のことだが	「副詞句」
this ズィス pron この事が	「主語」
irritated イリテイト 3 単過 v.t 苛立たせた	「動詞」
him. ヒム pron 彼を	「目的語」
Once or twice ワンス・オブ・トゥワイス adv. 1 度や 2 度は、何回かは	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t ～があった	「動詞」

Part 2 第2部

a mind ア・マインド n. 考え方、気持ち 「目的語」
 to assure トゥ・アシュア 不定詞・同格 adj. (同格) はっきりと言うという 「形容詞句」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 that ザット conj. ～ということを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 just like everybody else; ジャスト・ライク・エヴリバディ・エルス
 adj. 他の人と全く同じ 「補語」
 quite an ordinary person. クワイ・アン・オーデ・イネアリー・パーソン
 n. 全く普通の人 「補語」

しかし、そんなことをしてもあまり役には立たないと思い、面倒になって、放っておいた。

But really that would have served no great purpose, and I let it go—out of laziness as much as anything else. But 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」,
 and 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

But バット conj. しかし
 really リアリー adv. 実際には、本当は 「副詞」
 that ザット pron それは 「主語」
 would have served ウット・ハヴ・サーヴト 3 単現・完了形・推量(would+不定詞・完了形)
 v.t 役立っただろう 「動詞句」
 no great purpose, ノ・グレイト・パー・ハース n. (否定文で) あまり目的に、結果に 「目的語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 let ...go レット...ゴ 1 単過・放任(let+不定詞)v.i 行かせておいた 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 —out of laziness アウト・オブ・レイジネス adv. 怠惰から 「副詞句」
 as much as anything else. アズ・マッチ・アズ・エニシング・エルス adv. その他のことで 「副詞句」

後ほど日中に、僕はまた予審判事の執務室へ連れていかれた。

Later in the day I was taken again to the examining magistrate's office.
 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Later レイター adv. 後ほど 「副詞」
 in the day イン・ザ・デイ adv. 日中に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was taken ワズ・テイクン 1 単過・受動(take)v.t 連れていかれた 「動詞句」
 again アゲン adv. また、もう一度 「副詞」

Part 2 第2部

to the examining magistrate's office. トゥ・ザ・イクザミニング・マジストレイツ・オフィス

adv. 予審判事の執務室へ

「副詞句」

時刻は午後 2 時だった。今回は、窓には薄いカーテンしかかかっていなかったのも、部屋は光で溢れ、そしてひどく暑かった。

It was two in the afternoon and, this time, the room was flooded with light—there was only a thin curtain on the window—and extremely hot.

「主語」「動詞」「補語」 and, 「副詞句」,

「主語」「動詞」「補語」 — 「動詞句」「主語」「副詞句」 — and 「補語」

It イット pron 時刻は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

two in the afternoon トゥ・イン・スィ・アフタヌン n. 午後 2 時

「補語」

and, アント conj. そして

this time, スィ・タイム adv. 今回は

「副詞句」

the room ザ・ルーム n. 部屋は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

flooded with light フラッデイト・ウィズ・ライト adj. 光で溢れた

「補語」

—there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~があった

「動詞句」

only a thin curtain オンリー・ア・スィン・カートゥン n. 薄いカーテンだけが

「主語」

on the window— オン・ザ・ウィンドウ adv. 窓には

「副詞句」

and アント conj. そして

extremely hot. イクストリームリー・ホット adj. ひどく暑い

「補語」

僕に座るように促してから、予審判事は丁寧な口調で、「僕の弁護士が想定外の事情で出席できなくなった」と告げた。

After inviting me to sit down, the magistrate informed me in a very polite tone that, "owing to unforeseen circumstances," my lawyer was unable to be present.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」《「直接目的語」》

After +現在分詞 アフター adv. ~してから

「副詞句」

inviting インヴァイティング 現在分詞(invite)v.t (～するように) うながす

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

to sit down, トゥ・シット・ダウ 不定詞・me の動作 v.i 座る

「補語」

the magistrate ザ・マジストレイト n. 予審判事は、行政官

「主語」

informed インフォームト 3 単過 v.t 告げた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

in a very polite tone イン・ア・ヴァー・ポリート・トゥン adv. 丁寧な口調で

「副詞句」

Part 2 第2部

that, ザット conj. ～ということを 「直接目的語」
 “owing to オウイング・トゥ prep (理由) ～のために 「副詞句」
 unforeseen circumstances,” アンフォーシーン・サーカムスタンス
 pl.n 想定外の事情 「目的語」
 my lawyer マイ・ローヤー n. 僕の弁護士が 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 unable to be present. アネイブル・トゥ・ビー・プレゼント adj. 出席できない 「補語」

「僕には権利がある」と、弁護士は付け加えた。「僕の弁護士が来られるようになるまで、彼の質問に対する返事を留保できるのだ」

I should be quite entitled, he added, to reserve my answers to his questions until my lawyer could attend. 《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」, 《「補語」》

I アイ pron 僕は 「主語」
 should be quite entitled, シュット・ビー・クワイ・エンタイトルト 1 単現・受動・当然(entitle)
 v.t (to do ～する) 権利がある、権利が当然与えられる 「動詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 added, アデイト 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」
 to reserve トゥ・リザーヴ 不定詞・I の動作 v.t (答えを) 留保する 「補語」
 my answers マイ・アンサー n. 僕の返事、答え 「目的語」
 to his questions トゥ・ヒズ・クエスチョン adv. (対象) 彼の質問に対して 「副詞句」
 until my lawyer could attend. アンティル・マイ・ローヤー・クト・アテント
 adv. (継続の終了) 僕の弁護士が出席できるまで 「副詞句」

これに対して、僕は自分一人だけで答えられると言った。

To this I replied that I could answer for myself. 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 To this トゥ・ズィズ adv. (対象) これに対して 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 replied リプライト 1 単過(reply)v.t(that ～と) 答えた 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 could answer クト・アンサー 1 単過・可能・時制の一致(can+不定詞 answer)
 v.i 答えられる 「動詞句」
 for myself. フォー・マイセルフ adv. 自分一人だけで 「副詞句」

Part 2 第2部

彼がデスクの上の押しボタンを押すと、若い書記が入って来て、僕の真後ろに座った。

He pressed a bell push on his desk and a young clerk came in and seated himself just behind me. 「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

pressed プレスト 3 単過 v.t 押した

「動詞」

a bell push ア・ベルプ° ッシュ n. ベルの押しボタンを

「目的語」

on his desk オン・ヒズ°・デスク adv. 机の上の

「副詞句」

and アンド° conj. (結果) すると

a young clerk ア・ヤング°・クラーク n. 若い書記が

「主語」

came in ケイム・イン 3 単過(come in)v.i 入って来た

「動詞句」

and アンド° conj. そして

seated himself シーティット°・ヒムセルフ 3 単過(seat oneself)v.pr 座った

「動詞句」

just behind me. ジャスト・バ・ハインド°・ミー adv. (位置) 僕の真後ろに

「副詞句」

それで僕たち— 僕と予審判事 — は、それぞれの肘掛椅子にゆったりと座り直してから、取り調べが始まった。

Then we—I and the magistrate—settled back in our chairs and the examination began.

「副詞」「主語」 --- 「主語」 --- 「動詞句」「副詞句」 and 「主語」「動詞」

Then セン adv. それで

「副詞」

we ウー pron.pl 僕たちは

「主語」

—I and the magistrate— アイ・アント°・ザ°・マジストレイト pl.n 僕と予審判事は

「主語」

settled back セトル°・バック 1 複過(settle back)v.i (椅子に) ゆったりと座った

「動詞句」

in our chairs イン・アウ°・チェアズ° adv. それぞれの肘掛椅子に

「副詞句」

and アンド° conj. そして

the examination スィ・イクザミネーション n. 取り調べが

「主語」

began. ビギン 3 単過(begin)v.i 始まった

「動詞」

start の方が口語的

Part 2 第2部

彼はまず、僕には無口でやや自己中心的な人物であるという世評があると述べた。そして彼は、それに対して僕が何と言うかを知りたがった。

He led off by remarking that I had the reputation of being a taciturn, rather self-centered person, and he'd like to know what I had to say to that.

「主語」「動詞句」「副詞句」,and「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

led off レッド・オフ 3 単過(lead off)v.i 口火を切った、まず～した

「動詞句」

by remarking バイ・リマキング adv. (手段) ～と述べて

「副詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある

「動詞」

the reputation ザ・レピュテーション n. 評判、うわさ、世評

「目的語」

of being オブ・ビーイング adj. ～であるという

「形容詞句」

a taciturn, ア・タシターン n. (同格) 無口

「補語」

rather self-centered person, ラーサー・セルフ・センタード・パーソン

n. やや自己中心的な人物

「補語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd like to know ウット・ライク・トゥ・ノウ 3 単過・願望・推測(would like to+不定詞)

v.t 知りたかったのだろう

「動詞句」

what ファット pron 何を～するかということを

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

had to say ハット・トゥ・セイ 1 単過・推量(have to+不定詞)v.t 言うだろうか

「動詞句」

to that. トゥ・ザット adv. それに対して

「副詞句」

僕は答えた：「ええ、話すことがあまりないのです。それで当然、口を閉じています」

I answered: Well, I rarely have anything much to say. So, naturally I keep my mouth shut.

「主語」「動詞」:

《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」》

I アイ pron 僕は

「主語」

answered: アンサード 1 単過 v.i 答えた

「動詞」

Well, ウェル adv. ええ

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

rarely have レアリー・ハヴ 1 単現・否定 v.t ほとんど～が無い

「動詞句」

anything much to say. エニシング・マッチ・トゥ・セイ

Part 2 第2部

pron (否定文で) 言うべきことがあまり～ない	「目的語」
So, naturally ソ・ナチュラー adv. それで当然	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
keep キープ 1 単現・維持 v.t ～の状態のままにしている	「動詞」
my mouth マイ・マウス n. 口を	「目的語」
shut.” シャット adj. 閉じた	「補語」

彼は前回と同様に微笑み、それはもっともな理由だと認めた。

<u>He smiled as on the previous occasion</u> , and <u>agreed that that was the best of reasons</u> .	「主語」「動詞」「副詞句」, and 「動詞」「目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
smiled スマイルトゝ 3 単過 v.i 微笑んだ	「動詞」
as アスゝ conj. (様態) ～と同様に	「副詞句」
on オン prep (時点) ～の時	「副詞句」
the previous occasion, ザ・プリヴィアウ・オカジヨン n. 前の時、前回	「目的語」
and アントゝ conj. そして	
agreed アグリートゝ 3 単過 v.t 同意した	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
that ザット pron それは	「主語」
was ワズゝ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
the best of reasons. ザ・ベスト・オブ・リーズン n. 最良の理由	「補語」

「どちらにしても」と、彼は付け加えた。「それはあまり重要なことではありません」

<u>“In any case,” he added, “it has little or no importance.”</u>	《「副詞句」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞」「目的語」》
“In any case,” イン・エニー・ケイス adv. とにかく、どちらにしても	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
added, アディトゝ 3 単過 v.t 付け加えた	「動詞」
“it イット pron それは	「主語」
has ハズゝ 3 単現(have)v.t ～がある	「動詞」
little or no importance.” リトル・オブ・ノウ・インポータンス n. あまり重要性が～ない	「目的語」

Part 2 第2部

短い沈黙の後で、彼は急に前のめりになり、僕の目を覗き込むと、少し大きな声で言った：「私にとって、本当に興味があるのはあなたという人間です！」

After a short silence he suddenly leaned forward, looked me in the eyes, and said, raising his voice a little: What really interests me is—you!”

「副詞句」「主語」「副詞」「動詞句」, 「動詞」「目的語」, and 「動詞」「副詞句」:

《「主語」「動詞」「補語」》

After アフター prep (時間・順序) ~の後で	「副詞句」
a short silence ア・ショート・サイレンス n. 短い沈黙	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
suddenly サッドンリー adv. 突然、急に	「副詞」
leaned forward, リント・フォワード 3 単過(lean+ forward)v.i 前のめりになった	「動詞句」
looked ルックト 3 単過 v.t 見つめた	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」
in the eyes, イン・ズ・ィ・アイズ adv. 目の中を	「副詞句」
and アント conj. そして	
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
raising レイジング 現在分詞・同時(raise)v.t ~を上げながら	「副詞句」
his voice ヒズ・ヴォイス n. 声を	「目的語」
a little: ア・リトル adv. 少し	「副詞句」
What ファット pron ~するものは	「主語」
really リアリー adv. 本当に	「副詞」
interests インタレス 3 単現 v.t 興味を持たせる	「動詞」
me ミー pron 私に	「目的語」
is— イズ 3 単現(be)v.i ~である	「動詞」
you!” ユー pron あなたという人間	「補語」

僕は、彼が何を言いたかったのか良く分からなかったので、返事をしなかった。

I wasn't quite clear what he meant, so I made no comment.

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は	「主語」
wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i ~でなかった	「動詞句」
quite clear クワイ・クリア adj. (否定文で) あまりよく分からない	「補語」
what ファット adv. (= as to what... ~については) 何を~するかについて	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
meant, メント 3 単過(mean)v.t 言おうとしていた	「動詞」
so ソ adv. それで	「副詞」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は 「主語」
 made メイト 1 単過(make)v.t (動作を) した 「動詞」
 no comment. ノウ・コメント n. 返事を〜ない 「目的語」

「いくつかの点があります」と、彼は続けた。「あなたの犯罪では、その点で困っています。あなたは、私がそれらを理解する手助けをしてくれると確信しています」

“There are several things,” he continued, “that puzzle me about your crime. I feel sure that you will help me to understand them.”

《「動詞句」「主語」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

“There are ゼア・ラー 3 複現(there be)v.i 〜がある 「動詞句」
 several things,” セヴラル・シングズ pl.n いくつかの点が 「主語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 continued, コンティニュート 3 単過 v.i 続けた 「動詞」
 “that サット pron.pl それらが 「主語」
 puzzle パズル 3 複現 v.t 悩ませる 「動詞」
 me ミー pron 私を 「目的語」
 about your crime. アバウト・ユア・クライム adv. あなたの犯罪について 「副詞句」
 I アイ pron 私は 「主語」
 feel フィール 1 単現 v.i 感じを覚えている、と思っている 「動詞」
 sure シュア adj.(that 〜ということが) 確かな 「補語」
 that サット conj. (関連) 〜について 「副詞節」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 will help ウィル・ヘルプ 2 単未・推量 v.t 助けるだろう 「動詞句」
 me ミー pron 私を 「目的語」
 to understand トゥ・アンダースタント 不定詞・me の動作 v.t 理解する 「補語」
 them.” ゼム pron それらを 「目的語」

Part 2 第2部

僕は、それは至って単純な事だと答えた。すると彼は僕に、あの日僕がしたことを残らず並べあげるようにと求めた。

When I replied that really it was quite simple, he asked me to give him an account of what I'd done that day.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

When ホヱ conj. ～すると

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

replied リプライト 1 単過(reply)v.t 答えた

「動詞」

that サット conj. ～ということ

「目的語」

really リアリー adv. 本当に

「副詞」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

quite simple, クワイ・シンプル adj. 全く単純な

「補語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 求めた、尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

to give トゥ・ギヴ 不定詞・me の動作 v.t ～を与える

「補語」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

an account of アン・アカウント・オブ n. ～の明細を

「直接目的語」

what ファット pron 事

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd done ハット・ダン 1 単過・完了形(do)v.t 行った

「動詞句」

that day. サット・デイ adv. あの日

「副詞句」

実は、既に最初の面談の時に手短にまとめて、レーモンや、浜辺、海水浴、乱闘、それからまた浜辺、そして僕が発射したあの5発について、彼に話していた。

As a matter of fact, I had already told him at our first interview—in a summary sort of way, of course—about Raymond, the beach, our swim, the fight, then the beach again, and the five shots I'd fired.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」「間接目的語」

As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は、実際は

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had already told ハット・オールデイ・トゥルト 1 単過・完了形(tell+already)

v.t すでに話していた

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

at our first interview アット・アウ・ファースト・インタヴュー adv. (時点) 最初の面談で

「副詞句」

—in a summary sort of way, of course— イン・ナ・サマリー・ソート・オブ・ウェイ・オブ・コース

Part 2 第2部

adv. もちろん手短にまとめて	「副詞句」
about アバウト prep (関連) ーについて	「間接目的語」
Raymond, レーモン n. レーモン	「目的語」
the beach, サ・ビーチ n. 浜辺	「目的語」
our swim, アウ・スィム n. 海水浴	「目的語」
the fight, サ・ファイト n. 乱闘	「目的語」
then セン adv. それから	
the beach again, サ・ビーチ・アゲン n. また浜辺	「目的語」
and アンド conj. そして	
the five shots サ・ファイヴ・ショット pl.n 5 発	「目的語」
I'd fired. アイト・ファイト adj. 僕が発射した	「形容詞節」

それでも、僕は全体をもう一度話した。すると彼は、一区切りごとにうなづいた。

But I went over it all again, and after each phrase he nodded.

But 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞」 ,and 「副詞句」 「主語」 「動詞」	
But バット conj. しかし	
I アイ pron 僕は	「主語」
went over ウェント・オウヴァー 1 単過(go over)v.t 再び話した	「動詞句」
it all イット・オール pron すべてを	「目的語」
again, アゲン adv. もう一度	「副詞」
and アンド conj. すると	
after each phrase アフター・イチ・フレーズ adv. 一区切りごとに	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
nodded. ノデッド 3 単過 v.i うなづいた	「動詞」

「まったくその通り」

“Quite so, quite so.”	「応答」
“Quite so, quite so.” クワイ・ソ・クワイ・ソ adv. 全くその通り	「応答」

Part 2 第2部

僕が砂の上に横たわった死体のことを話すと、彼は力強く頷いて言った、「よろしい！」

When I described the body lying on the sand, he nodded more emphatically, and said, "Good!" 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」, and 「動詞」 《「応答」》

When ホヰ conj. ～すると 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

described ディスクライブト 1 単過 v.t を話した 「動詞」

the body ザ・ボディ n. 死体を 「目的語」

lying ライイング 現在分詞(lie)adj. 横たわっている 「形容詞句」

on the sand, オン・ザ・サント adv. 砂の上に 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

noded ノデイト 3 単過 v.i うなづいた 「動詞」

more emphatically, モア・エンファティカリー adv. より力強く 「副詞句」

and アント conj. そして

said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

"Good!" ゲット adv. よろしい！ 「応答」

僕は同じ話を繰り返すことに飽きてしまった；今までこんなに話したことは無いと思った。

I was tired of repeating the same story; I felt as if I'd never talked so much in all my life before. 「主語」 「動詞」 「補語」；「主語」 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

tired タイアド adj.(of に) 飽きた、疲れた 「補語」

of repeating オフ・リピーティング 現在分詞・原因(repeat)

adv. ～を繰り返すことに 「副詞句」

the same story; ザ・セム・ストーリー n. 同じ話を 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.t 感じた、思った 「動詞」

as if アズ・イフ conj. まるで～ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd never talked ハット・ネヴァー・トークト 1 単過・完了形・否定(talk)

v.t 話したことが無かった 「動詞句」

so much ソウ・マッチ adv. こんなにも 「副詞句」

in all my life before. イン・オール・マイ・ライフ・ビフォー adv. 今までに 「副詞句」

Part 2 第2部

また沈黙してから、彼は立ち上がり、僕の手助けをしたいと言った；僕は彼の興味を引く。
 神のご加護があれば、困った時に僕のために何かできるだろうということだ。

After another silence he stood up and said he'd like to help me; I interested him, and, with God's help, he would do something for me in my trouble.

「副詞句」「主語」「動詞句」and「動詞」「目的語」；

「主語」「動詞」「目的語」,and「副詞句」,「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

After another silence アフター・アナザー・サイレンス adv. また沈黙してから 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 stood up ストゥッド・アップ 3 単過(stand up)v.i 立ち上がった 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということ 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 'd like to help ウット・ライク・トゥ・ヘルプ 1 単過・願望(would like to+不定詞)
 v.t 手助けしたい 「動詞句」
 me; ミー pron 僕を 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 interested インタレストィット 1 単過・時制の一致 v.t 関心を引く 「動詞」
 him, ヒム pron 彼の 「目的語」
 and, アンド conj. そして
 with God's help, ウイズ・ゴッズ・ヘルプ adv. (条件) 神のご加護があれば 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 would do ウット・ドゥ 3 単過・推量(would+不定詞)v.t 出来るだろう 「動詞句」
 something for me サムシング・フォー・ミー pron 僕のために何かを 「目的語」
 in my trouble. イン・マイ・トラブル adv. 悩み事があれば 「副詞句」

しかし、その前に、あと少し質問がしたい。

But, first, he must put a few more questions. But 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

But, バット conj. しかし

first, ファースト adv. まず最初に 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

must put マスト・プット 3 単現・必要・願望(must+不定詞 put)v.t (質問を) したい 「動詞句」

a few more questions. ア・フュー・モア・クエスチョンズ pl.n あと少し質問を 「目的語」

Part 2 第2部

彼はいきなり、僕は母さんを愛していたかと尋ねた。

He began by asking bluntly if I'd loved my mother.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

began by asking ビギン・バイ・アスキング 3 単過・開始(begin by+現在分詞)

v.t ーを聞くことから始めた

「動詞句」

bluntly ブラントリー adv. 無遠慮に、ぶっきらぼうに

「副詞」

if イフ conj. ーかどうかという事を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd loved ハッド・ラヴト 1 単過・完了形(love)v.t 愛していた

「動詞句」

my mother. マイ・マザー n. 母さんを

「目的語」

「ええ」と、僕は答えた。「みんなと同じです」

“Yes,” I replied, “like everybody else.”

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞句」》

“Yes,” イェス adv. ええ

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

replied, リプライト 1 単過(reply)v.i 答えた

「動詞」

“like everybody else.” ライク・エヴリバディ・エルス adv. みんなと同じに

「副詞句」

それまで一定のリズムでタイプを打っていた書記がキーを打ち間違えたに違いないと思った。というのは、彼が紙送りを戻して、何かを取り消しているのが聞こえたから。

The clerk behind me, who had been typing away at a steady pace, must just then have hit the wrong keys, as I heard him pushing the carrier back and crossing something out.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

The clerk ザ・クラーク n. 書記は

「主語」

behind me, ビハインド・ミー adv. (位置) 僕の背後の

「副詞句」

who フー pron (主語) ーする

「形容詞節」

had been typing away ハッド・ビー・ン・タイピング・アウェイ 3 単過・完了形・進行形(type away)

v.i タイプを打っていた

「動詞句」

at a steady pace, アット・アステディ・ペース

adv. 一定の調子で

「副詞句」

must just then have hit マスト・ジャスト・ゼン・ハウ・ヒット 3 単現・完了形・推量

(must+不定詞・完了形+ just then)v.t 丁度その時に打ったに違いない

「動詞句」

the wrong keys, ザ・ロング・キーズ pl.n 違うキーを

「目的語」

as アズ conj. (理由) ーなので

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 2 第2部

heard ハート` 1 単過(hear)v.t 聞こえた	「動詞」
him ヒム pron 彼が	「目的語」
pushing ...back プシグ` ...バック 現在分詞・him の動作(push back)	
v.t 戻している	「補語」
the carrier サ`・キャリア n. 紙送りを	「目的語」
and アンド` conj. そして	
crossing ...out. クロシグ` ...アウト 現在分詞・him の動作(cross out)	
v.t 取り消している	「補語」
something サムシグ` pron 何かを	「目的語」

次にいかなる明確な論理的脈絡も無しに、判事は別の質問を始めた。

Next, without any apparent logical connection, the magistrate sprang another question.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Next, ネクスト adv. 次に	「副詞」
without ウイズ`アウト prep ~無しに	「副詞句」
any apparent logical connection, エニー・アパ`レント・ロジ`カル・コネクション	
n. いかなる明確な論理的脈絡	「目的語」
the magistrate サ`・マジストレイト n. 判事は	「主語」
sprang スプ`ラング` 3 単過(spring)v.t (急に) 持ち出した	「動詞」
another question. アナサ`ー・クェスチョン n. 別の質問を	「目的語」

「どうして、5 発を連続して発射したのですか？」

“Why did you fire five consecutive shots?”

《「副詞」 「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」》

“Why ホワイ adv. どうして

「副詞」

did ...fire ティット` ...ファイア 2 単過・疑問文 v.t 発射したのですか？

you ユー あなたは

「主語」

five consecutive shots?” ファイヴ`・コンセキューティヴ`・ショット pl.n 連続の 5 発を

「目的語」

フランス語の原文では

判事は僕がたて続けに 5 発の銃弾を撃ったのかと尋ねた。

le juge m'a alors demandé si j'avais tiré les cinq coups de revolver à la suite.

5 発を発射する時間の間隔を尋ねている。

英文の翻訳では、連続は自明で、発射した理由を尋ねている。

Part 2 第2部

僕は少し考えた；それから、全てを連続して撃ったのではない、と説明した。

I thought for a bit; then explained that they weren't quite consecutive.

「主語」「動詞」「副詞句」；「副詞」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.t 考えた

「動詞」

for a bit; フォー・ア・ビット adv. 少し

「副詞句」

then ゼン adv. それから

「副詞」

explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

they ゼイ pron.pl 5 発は

「主語」

weren't ワrent 3 複過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない

「動詞句」

quite consecutive. クワイ・コンセキューティヴ adv. 全く連続の

「補語」

最初に 1 発を撃ち、少し間をおいてから、残りの 4 発を続けて発射した。

I fired one at first, and the other four after a short interval.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,and「主語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

fired ファイト 1 単過 v.t 発射した

「動詞」

one ワン pron 1 発を

「目的語」

at first, アット・ファースト adv. 最初は

「副詞句」

and アント conj. そして

the other four スイ・アザー・フォー pl.n 他の 4 発は

「主語」

after a short interval. アフター・ア・ショート・インターヴァル adv. 少し間をおいてから

「副詞句」

どうしてあなたは、1 発目から 2 発目の間に時間を空けたのですか？

“Why did you pause between the first and second shot?”

《「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

“Why ホイ adv. どうして

「副詞」

did ...pause ディット ...ポーズ 2 単過・疑問文(pause)v.i 中断したのですか？

「動詞句」

you ユー pron あなたは

「主語」

between the first and second shot?” ヒトワイン・ザ・ファースト・アント・セカント・ショット

adv. 1 発目と 2 発目の間に

「副詞句」

Part 2 第2部

僕の目にまた浜辺の赤い輝きがよみがえり、頬にはあの焼けつくような息吹が感じられた。
それでも今回は、何も答えなかった。

I seemed to see it hovering again before my eyes, the red glow of the beach, and to feel that fiery breath on my cheeks—and, this time, I made no answer.

「主語」「動詞句」「補語」「目的語」,and「動詞句」「目的語」

---and,「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
seemed to see シムト・トゥ・シー 1 単過(seem to+不定詞)v.t 見える気がした 「動詞句」
it イット pron 仮の目的語 (真の目的語は以降)
hovering again ホヴァリング・アゲン 現在分詞・it の動作 v.i さまよっている 「補語」
before my eyes, ビフォー・マイ・アイズ adv. 僕の目の前を 「副詞句」
the red glow of the beach, ザ・レッド・グロウ・オブ・ザ・ビーチ n. 砂浜の赤い輝き 「目的語」
and アンド conj. そして
to feel トゥ・フィール 1 単過(seem to+不定詞)v.t 感じる気がした 「動詞句」
that fiery breath ザット・ファイアー・ブレス n. あの焼けつくような息吹 「目的語」
on my cheeks—オン・マイ・チークス adv. 頬に 「副詞句」
and, アンド conj. そして
this time, スィス・タイム adv. 今回は、今度は 「副詞句」
I アイ pron 僕は 「主語」
made メイト 1 単過(make)v.t (動作を) した 「動詞」
no answer. ノ・アンサー n. 答えを〜ない 「目的語」

その後に続いた沈黙の間ずっと、判事は髪の毛に指を走らせて、少し掻き揚げたり、再び腰かけたりして、イライラした様子だった。

During the silence that followed, the magistrate kept fidgeting, running his fingers through his hair, half rising, then sitting down again.

「副詞句」,「主語」「動詞」「補語」

During ドゥアリング adv. (期間) ~の間 (ずっと) 「副詞句」
the silence ザ・サイレンス n. 沈黙 「目的語」
that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」
followed, フォロウト 3 単過 v.i (その後に) 続いた 「動詞」
the magistrate ザ・マジストレイト n. 判事は 「主語」
kept ケプト 3 単過・維持(keep)v.i (状態を) 続けた 「動詞」
fidgeting, フィジティング adj. そわそわした、不安な、イライラした 「補語」
running ラニング 現在分詞・同時(run)v.t(through) (指を~に) 走らせて 「副詞句」
his fingers ヒズ・フィンガーズ pl.n 指を 「目的語」

Part 2 第2部

through his hair, スルー・ヒズ・ヘア adv. 髪の毛に 「副詞句」
 half rising, ハーフ・ライジング adv. (方法) 少しかき揚げて 「副詞句」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 sitting down again. シティング・ダウン・アゲン
 adv. (様態) 再び腰かけて 「副詞句」

ついには両肘を机に突いて、奇妙な表情で僕の方へかがみこんで来た。

Finally, planting his elbows on the desk, he bent toward me with a queer expression.
 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」
 Finally, ファイナリー adv. 最終的に、ついには 「副詞」
 planting プランティング 現在分詞・方法(plant)v.t (ものを) 立てながら 「副詞句」
 his elbows ヒズ・エルボウス pl.n 両肘を 「目的語」
 on the desk, オン・ザ・デスク adv. 机に 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 bent ベント 3 単過(bend)v.i かがみこんだ 「動詞」
 toward me トゥワード・ミー adv. 僕の方へ 「副詞句」
 with a queer expression. ウイズ・ア・クイア・エクスプレッション adv. (様態) 奇妙な表情で 「副詞句」

「しかしなぜ、なぜあなたは倒れた者に対して発砲し続けたのですか？」

“But why, why did you go on firing at a prostrate man?”

《But 「副詞句」 「動詞句」 「主語」 「間接目的語」》

“But バット conj. しかし
 why, ホワイ adv. どうして、なぜ 「副詞」
 why ホワイ adv. どうして、なぜ 「副詞」
 did ...go on firing デイット ...ゴウ・オン・ファイファイリング 2 単過・継続・疑問文(go on+現在分詞 fire)
 vi.(at に) 発砲し続けたのか? 「動詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 at a prostrate man?” アット・ア・プロストレイト・マン adv. (目標) 倒れた者に対して 「間接目的語」

またしても、僕は何も答えられなかった。

Again I found nothing to reply. 「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」
 Again アゲン adv. 再び、またしても 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 found ファウンド 1 単過(find)v.t 見つけた 「動詞」
 nothing to reply. ナシング・トゥ・リプライ pron 答えるべき何も～ない 「目的語」

Part 2 第2部

判事は手を伸ばして額に手を当て、繰り返して言ったが、声の調子が変わっていた。

The magistrate drew his hand across his forehead and repeated in a slightly different tone: 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」 and 「動詞」「副詞句」

The magistrate サ・マジストレイト n. 判事は 「主語」

drew トゥールー 3 単過(draw)v.t 引き伸ばした 「動詞」

his hand ヒズ・ハント n. 手を 「直接目的語」

across his forehead アクロス・サ・フォーヘッド adv. (接触) 額に接触して 「間接目的語」

and アント conj. そして

repeated リピートエイツ 3 単過 v.t 繰り返した 「動詞」

in a slightly different tone: イン・ナ・スライリー・ディファレント・トーン adv. 少し変化した声で 「副詞句」

「なぜかが知りたいのです。是非とも、話して下さい」僕は以前として沈黙を続けた。

“I ask you ‘Why?’ I insist on your telling me.” I still kept silent.

《「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」》,
「主語」「副詞」「動詞」「補語」

“I アイ pron 私は 「主語」

ask アスク 1 単現 v.t 尋ねる 「動詞」

you ユー pron あなたに 「間接目的語」

‘Why?’ ホイ pron なぜかということを 「直接目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

insist インシスト 1 単現 v.i(on ～を) 要求する、強く求める 「動詞」

on your telling オン・ユア・テリング adv. あなたが述べることを 「間接目的語」

me.” ミー adv. 私に 「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

still スティル adv. まだ、依然として 「副詞」

kept ケプト 1 単過・継続(keep)v.i (状態を) 続けた 「動詞」

silent. サイレント adj. 沈黙した 「補語」

Part 2 第2部

急に、彼は立ち上がり、向かい側の壁に寄りかかっている書類戸棚まで進んで、引き出しを開けて、そこから銀の十字架を取り出すと、それを振り回しながら机に戻って来た。

Suddenly he rose, walked to a file cabinet standing against the opposite wall, pulled a drawer open, and took from it a silver crucifix, which he was waving as he came back to the desk.

「副詞」「主語」「動詞」, 「動詞」「間接目的語」, 「動詞」「目的語」「補語」,

and 「動詞」「副詞句」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞句」「副詞節」

Suddenly サドゥンリー adv. 急に、突然

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

rose, ロズ 3 単過(raise)v.i 立ち上がった

「動詞」

walked ウォークト 3 単過 v.i(to ～に) 歩いて行った

「動詞」

to a file cabinet トゥ・ア・ファイル・キャビネット adv. 書類戸棚まで

「間接目的語」

standing against the opposite wall, スタンディング・アゲinst・ザ・オポジット・ウォール

adj. (様態) 向かい側の壁に寄りかかって立っている

「形容詞句」

pulled プルト 3 単過 v.t (SVOC) O を引いて C にした

「動詞」

a drawer ア・ドローワー n. 引き出しを

「目的語」

open, オプン adj. 開いた

「補語」

and アンド conj. そして

took トゥック 3 単過(take)v.t(from ～から) 取り出した

「動詞」

from it フロム・イト adv. そこから

「副詞句」

a silver crucifix, ア・シルバークルシフィックス n. 銀の十字架を

「目的語」

which フィッチ pron それを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was waving ワズ・ウェイヴィング 3 単過・進行形(wave)v.t 振り回しながら

「動詞句」

as アズ conj. ～する時に、～しながら

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

came back ケイム・バック 3 単過(come back)v.i 戻って来る

「動詞句」

to the desk. トゥ・ザ・デスク adv. 机の方へ

「間接目的語」

Part 2 第2部

「これが誰か、知っていますか？」彼の声はすっかり変わっていた；興奮して震えていた。

“Do you know who this is?” His voice had changed completely; it was vibrant with emotion.

《「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》「主語」「動詞句」「副詞」；

「主語」「動詞」「補語」

“Do ...know トゥ...ノウ 2 単現・疑問文 v.t 知っていますか？ 「動詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 who フー pron (補語) 誰ということ を 「目的語」
 this スィズ pron これが 「主語」
 is?” イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 His voice ヒズ・ヴォイス n. 彼の声は 「主語」
 had changed ハット・チェンジト 3 単過・完了形 v.i 変化していた 「動詞句」
 completely; コンプリートリー adv. まったく 「副詞」
 it イット pron その声は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 vibrant ヴァイブロン adj. 震えた 「補語」
 with emotion. ウイズ・イモーション adv. (原因) 興奮して 「副詞句」

「もちろん、知っています」と、僕は答えた。

“Of course I do.” I answered. 《「応答」「主語」「動詞」》, 「主語」「動詞」

“Of course オフ・コース adv. (肯定) もちろん 「応答」

I アイ pron 私は 「主語」

do,” トゥ 1 単現(understand の代用)v.t 知っている 「動詞」

I アイ pron 私は 「主語」

answered. アンサート 1 単過 v.i 答えた 「動詞」

僕の返事が彼を解き放ったようだ、彼は猛烈な早口で話し始めた。

That seemed to start him off; he began speaking at a great pace.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

That ザット pron 僕の返事が 「主語」

seemed to start シームト・トウ・スタート 3 単過・推量(seem to +不定詞)v.t 〜させ始めた 「動詞句」

him ヒム pron 彼を 「目的語」

off; オフ adj. 外れた、解き放った 「補語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

began speaking ビギン・スピーキング 3 単過・開始(begin+現在分詞)v.i 話し始めた 「動詞句」

at a great pace. アット・ア・グレート・ペース adv. 猛烈な早口で 「副詞句」

Part 2 第2部

彼は僕に、自分は神を信じている、またどんな極悪人でも神の許しを得られると言った。

He told me he believed in God, and that even the worst of sinners could obtain forgiveness of Him. 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and「直接目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

told トゥルド 3 単過(tell)v.t (that ～と) 言った 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

n. (that 省略) ～ということ 「直接目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

believed ビーリーヴド 3 単過・時制の一致 v.i(in ～の存在を) 信じている 「動詞」

in God, イン・ゴット adv. 神の存在を 「間接目的語」

and アンド conj. そして

that ザット conj. ～ということ 「直接目的語」

even the worst of sinners イーヴン・ザ・ワースト・シナー

pl.n 最悪の罪人でさえも 「主語」

could obtain クッド・オブテイン 3 複過・可能性・時制の一致

v.t 得られるだろう 「動詞句」

forgiveness フォーギヴネス n. 許しを 「目的語」

of Him. オフ・ヒム adj. 神の 「形容詞句」

Him ヒム pron 王や神などを表すとき h は大文字で書かれる

しかし、その者はまず悔い改めて、有罪判決であっても受け入れるような、純粹で信頼する心を持った子供のようになる必要がある。

But first he must repent, and become like a little child, with a simple, trustful heart, open to conviction. But 「副詞」「主語」「動詞句」,and「動詞句」「補語」

But バット conj. しかし

first ファースト adv. まず 「副詞」

he ヒー pron その者は 「主語」

must repent, マスト・リペント 3 単現・必要(must+不定詞)

v.i 悔い改めなければならない 「動詞句」

and アンド conj. そして

become ビカム 3 単現・必要(must+不定詞)v.i ～にならねばならぬ 「動詞句」

like a little child, ライク・ア・リトル・チャイルド adv. 子供のように 「補語」

with ウイズ prep (所有・性質) ～を持った 「副詞句」

a simple, trustful heart, ア・シンプル・トラストフル・ハート

n. 純真で信頼する心 「目的語」

open オフン adj. (to ～を) 受け入れる 「形容詞句」

Part 2 第2部

to conviction. トゥ・コンヴィクシヨン

adv. 有罪判決に対して

「副詞句」

彼はテーブルに覆いかぶさり僕に寄りかかると、十字架を振り回して眼前に突き付けた。

He was leaning right across the table, brandishing his crucifix before my eyes.

「主語」「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was leaning ワズ・リーニング 3 単過・進行形(lean)

v.i(across ～に) もたれかかっていた

「動詞句」

right ライト adv. (程度) まさに

「副詞句」

across the table, アクロス・ザ・テーブル

adv. テーブルに覆いかぶさって、テーブル越しに

「副詞句」

brandishing ブランディング 現在分詞・同時(brandish)v.i 振り回しながら

「副詞句」

his crucifix ヒズ・クルシフィックス n. 十字架を

「目的語」

before my eyes. ヒフォー・マイ・アイズ adv. (位置) 僕の目の前に

「副詞句」

実を言うと、僕は彼の意見について行くことが困難になっていた。一つには、執務室が息苦しいほど暑かったから。そして大きなハエが何匹もブンブン音を立てて飛び回り、僕の頬にとまってきたから。それからまた僕は彼が少し怖かったからだ。

As a matter of fact, I had great difficulty in following his remarks, as, for one thing, the office was so stiflingly hot and big flies were buzzing round and settling on my cheeks; also because he rather alarmed me.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は、実を言うと

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ～があった

「動詞」

great difficulty グレイト・ディフィカルティー n. 大変な困難を

「目的語」

in following his remarks, イン・フォロウイング・ヒズ・リマークス

adv. (原因) 彼の意見を聞くことに

「副詞句」

as, アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

for one thing, フォー・ワン・シング adv. 一つには

「副詞句」

the office スィ・オフィス n. 執務室が

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

so stiflingly hot ソウ・スティフリングリー・ホット adj. 息苦しいほど暑い

「補語」

and アンド conj. そして

big flies ビッグ・フライズ pl.n 大きなハエが

「主語」

Part 2 第2部

were buzzing ワー・バズィンク 3 複過・進行形(buzz)

v.i ブンブン音を立てて飛んでいた

「動詞句」

round ラウント adv. 辺りを

「副詞」

and アンド conj. そして

settling セトリンク 3 複過・進行形(settle)v.i とまって来た

「動詞句」

on my cheeks; オン・マイ・チークス adv. 僕の頬に

「副詞句」

also because オールソウ・ビ・ユーズ conj. (理由) そしてまた～だから

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

rather ラーザー adv. 少し

「副詞」

alarmed アラームト 3 単過 v.t 怯えさせた、不安にさせた

「動詞」

me. ミー pron 僕を

「目的語」

もちろん、こんな風に感じるのは馬鹿げていると思った。考えてみれば、結局、犯罪者は僕なのだから。

Of course, I realized it was absurd to feel like this, considering that, after all, it was I who was the criminal.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「副詞句」 「動詞」 「補語」 「主語」

Of course, オフ・コース adv. もちろん、確かに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

realized リアライズト 1 単過 v.t 思った、理解した

「動詞」

n.(that 節) ～ということ

「目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は to feel 以降)

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

absurd アブサート adj. 馬鹿げた

「補語」

to feel トゥ・フィール 不定詞 n. 感じることは

「主語」

like this, ライク・ジス adv. このように

「副詞句」

considering that, コンシダリング・サット adv. (条件) 考えてみると

「副詞句」

after all, アフター・オール adv. 結局は

「副詞句」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は who 以降)

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

I アイ pron 僕は

「補語」

who フー pron (主語) ～である人は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

the criminal. サ・クリミナル n. 犯罪者

「補語」

Part 2 第2部

しかしながら彼は話を続けたので、僕は何とか理解しようとした。それで、僕の告白には明らかにしなければならないことが1つだけあって、それは2発目を発射する前に待ったことだと分かった。

However, as he continued talking, I did my best to understand, and I gathered that there was only one point in my confession that badly needed clearing up—the fact that I'd waited before firing a second time.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞」「目的語」
 However, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」
 as アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 continued talking, コンティニュート・トーキング 3 単過・継続(continue+現在分詞)
 v.i 話し続けた 「動詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 did ディット 1 単過(do)v.t (行為を) 行った 「動詞」
 my best to understand, マイ・ベスト・トウ・アンダースタント n. 理解するための最善策を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 gathered ギャザード 1 単過 v.t 分かった、理解した 「動詞」
 that ザット conj. ~ということを 「目的語」
 there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がある 「動詞句」
 only one point オンリー・ワン・ポイント n. 1つの点が 「主語」
 in my confession イン・マイ・コンフェッション adv. 僕の告白には 「副詞句」
 that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」
 badly needed バドリー・ニーデイト 3 単過・時制の一致
 v.t とても必要がある 「動詞句」
 clearing up— クリアリング・アップ n. 明らかにすることが 「目的語」
 the fact ザ・ファクト n. 事実を 「目的語」
 that ザット conj. (同格) ~という 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 'd waited ハット・ウェイティット 1 単過・完了形
 v.i 待った 「動詞句」
 before firing ビフォー・ファイアリング
 adv. 発射する前に 「副詞句」
 a second time. ア・セコント・タイム
 adv. 2 回目に 「副詞句」

Part 2 第2部

その他は全て、いわば、筋が通っていた；しかしそこだけが彼には納得がいかなかった。

All the rest was, so to speak, quite in order; but that completely baffled him.

「主語」「動詞」「補語」；but 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

All the rest オール・ザ・レスト n. その他は全て

「主語」

was, ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

so to speak, ソウ・トウ・スピーク adv. いわば

「副詞句」

quite in order; クワイ・イ・オーダー adj. 全く整然とした

「補語」

but バット conj. しかし

that ザット pron そのことは

「主語」

completely コンプリートリー adv. 完全に、まったく

「副詞」

baffled バフルト 3 単過(baffle)v.t 当惑させた

「動詞」

him. ヒム pron 彼を

「目的語」

僕は彼に、それに拘るのは間違っている；その点は全く重要ではない、と言おうとした。

I started to tell him that he was wrong in insisting on this; the point was of quite minor importance.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

started to tell スターテイト・トゥ・テル 1 単過・開始(start to+不定詞)v.t 話し始めた

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

that ザット conj. ~ということを

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

wrong ロング adj. 間違った

「補語」

in insisting イン・インシスティング adv. (限定) 主張することは

「副詞句」

on this; オン・スィズ adv. (関連) このことについて

「副詞句」

the point ザ・ポイント n. その点は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

of quite minor importance. オフ・クワイ・マイナー・インポータンス

adj. 全く重要でない

「補語」

Part 2 第2部

しかし彼は、仁王立ちになって僕の話を通り、神を信じているかと真剣に僕に尋ねた。

But, before I could get the words out, he had drawn himself up to his full height and was asking me very earnestly if I believed in God.

But 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 and 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」
 But, バット conj. しかし
 before ビフォー conj. ～する前に 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 could get ...out, クット・ゲット...アウト 1 単過・可能(get out)
 v.t (言葉を) 述べる 「動詞句」
 the words ザ・ワーズ pl.n 言葉を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 had drawn himself up to his full height ハット・トウ・ローン・ヒムセルフ・アップ・トゥ・ヒズ・フル・ハイト
 3 単過・完了形・再帰動詞(draw oneself up to one's full height)
 v.pr (威嚇するために) ぐっと全身を伸ばして立った 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 was asking ワズ・アスキング 3 単過・進行形(ask)v.t 尋ねた 「動詞句」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 very earnestly ヴェリー・アーネストリー adv. とても真剣に 「副詞句」
 if イフ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 believed ビリーヴト 1 単過・時制の一致(believe)
 v.i(in ～の存在を) 信じている 「動詞」
 in God. イン・ゴット adv. 神の存在を 「間接目的語」

それで、僕が「いや信じていない」と答えると、彼は憤然として椅子に崩れ落ちた。

When I said, "No," he plumped down into his chair indignantly.

「副詞」「主語」「動詞」, 《「応答」》, 「主語」「動詞句」「副詞句」
 When ホエン adv. その時、それで 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 "No," ノウ adv. (否定の答え) いいえ、信じていない 「応答」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 plumped down プランプト・ダウン 3 単過(plump down)
 v.i (いきなり) ドスンと座った 「動詞句」
 into his chair イントゥ・ヒズ・チェア adv. 椅子に 「副詞句」
 indignantly. インディグナントリー adv. 憤然として 「副詞」

Part 2 第2部

それはあり得ない、と彼は言った；誰だって、神を拒絶する者でさえ、神を信じている。

That was unthinkable, he said; all men believe in God, even those who reject Him.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」; 「主語」「動詞」「間接目的語」, 「主語」
 That ザット pron それは 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 unthinkable, アン・シンカブル adv. 考えられない、有り得ない 「補語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said; セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 all men オール・メン pl.n 誰もが 「主語」
 believe ビリーヴ 3 複現 v.i 信じている 「動詞」
 in God, イン・ゴット adv. 神の存在を 「間接目的語」
 even those イーヴン・ゾーズ pl.n そのような人でさえも 「主語」
 who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 reject リジェクト 3 複現 v.t 拒絶する 「動詞」
 Him. ヒム pron 神を 「目的語」

彼はその事を絶対的に確信していた；従って、彼がそれを疑わなければならないとしたら、彼の人生は意味の無いものになってしまうだろう。

Of this he was absolutely sure; if ever he came to doubt it, his life would lose all meaning.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」; 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 Of this オフ・ズィズ adv. (関連) このことに関して 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 absolutely sure; アブソルutely・シュア adj. 絶対的に確信した 「補語」
 if ever イフ・エヴァー conj. (仮定) もし〜するとしたら 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 came to doubt ケイム・トゥ・ダウト 3 単過・変化・時制の一致(come to+不定詞)
 v.t 疑うことになる 「動詞句」
 it, イット pron それを 「目的語」
 his life ヒズ・ライフ pron 彼の人生は 「主語」
 would lose ウット・ルーズ 3 単過・推量(would+不定詞)v.t 失うことになるだろう 「動詞句」
 all meaning. オール・ミーニング n. まったく意味を 「目的語」

Part 2 第2部

「あなたは望むのですか？」と、彼は憤然として言った。「私の人生が無意味になることを」

“Do you wish,” he asked indignantly, “my life to have no meaning?”

《「動詞句」「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞」, 《「目的語」「補語」》

“Do ...wish,” ドゥ...ウィッシュ 2 単現・疑問文 v.t 望むのですか？ 「動詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 indignantly, インディグナントリー adv. ムツとして、憤然として 「副詞」
 “my life マイ・ライフ n. 私の人生が 「目的語」
 to have トゥ・ハヴ 不定詞・life の動作 v.t 持つ 「補語」
 no meaning?” ノ・ミーニング n. 意味～のない 「目的語」

実の所、僕の言葉がそれとどう関係するのか理解できなかったので、彼にそう言った。

Really I couldn't see how my wishes came into it, and I told him as much.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」, and 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Really リアリー adv. 実の所 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't see クント・シー 1 単過・可能・否定(could+不定詞)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 how ハウ conj. どのように～するかという事を 「目的語」
 my wishes マイ・ウィッシュズ pl.n 僕の願望が、言葉 「主語」
 came ケイム 3 複過・関係・時制の一致(come)v.i(into に) 関係がある 「動詞」
 into it, イントゥ・イット adv. そのことに 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トールド 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 as much. アズ・マッチ adv. そのように 「副詞句」

Part 2 第2部

僕が話している間に、彼は僕の鼻先に十字架を突き付けて、叫んだ：「私は、何だろうと、キリストを信じる」

While I was talking, he thrust the crucifix again just under my nose and shouted: "I, anyhow, am a Christian. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」: 《「主語」「動詞」「副詞」「補語」》

While	オイル conj. ～する間に	「副詞節」
I	アイ pron 僕が	「主語」
was talking,	ワズ・トークン 1 単過・進行形・時制の一致(talk)v.i 話している	「動詞句」
he	ヒ pron 彼は	「主語」
thrust	スラスト 3 単過・時制の一致(thrust)v.t 突き付けていた	「動詞」
the crucifix	ザ・クルシフィックス n. 十字架を	「目的語」
again	アゲン adv. また	「副詞」
just under my nose	ジャスト・アンダー・マイ・ノーズ adv. (位置) 僕の鼻先へ	「副詞句」
and	アント conj. そして	
shouted:	シャウティット 3 単過 v.i 叫んだ	「動詞」
"I,	アイ pron 私は	「主語」
anyhow,	エニハウ adv. なにがなんでも	「副詞」
am	アム 1 単現(be)v.i ～である	「動詞」
a Christian.	ア・クリスチャン n. キリスト教信者	「補語」

「そして私は彼に君の罪を許してくれるように懇願する。」

And I pray Him to forgive you for your sins. 《And 「主語」「動詞」「目的語」「補語」》
 And アント conj. そして

I	アイ pron 私は	「主語」
pray	プレイ 1 単現 v.t 懇願する	「動詞」
Him	ヒム pron 彼に	「目的語」
to forgive	トゥ・フォーギヴ 不定詞・Him の動作 v.t(for ～を) 許す	「補語」
you	ユー pron 君を	「目的語」
for your sins.	フォー・ユア・シンズ adv. (原因) 君の罪のために	「副詞句」

Part 2 第2部

「不幸な若者よ！ どうして君は信じられないんだ？、彼が君のために苦しんでいることを」

My poor young man, how can you not believe that He suffered for your sake?

《「呼びかけ」、「副詞」「動詞句」「主語」「目的語」》

My poor young man, マイ・プア・ヤング・マン n. 不幸な若者よ

「呼びかけ」

how ハウ adv. どうして

「副詞」

can ...not believe キャン...ノット・ビリーヴ 2 単現・可能・否定(can+不定詞)

v.t 信じられない

「動詞句」

you ユー pron 君は

「主語」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

He ヒー pron 彼が

「主語」

suffered サファート 3 単過・時制の一致 v.i 苦しんでいる

「動詞」

for your sake? フォー・ユア・セイク adv. (目的) 君のために

「副詞句」

彼が「不幸な若者よ」と言った時、彼が僕のことを心から気配りをしていることに気付いた。しかし、もうたくさんだ。

I noticed that his manner seemed genuinely solicitous when he said, "My poor young man"—but I was beginning to have enough of it.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」 ---but 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

his manner ヒズ・マナー n. 彼の態度が

「主語」

seemed シームト 3 単過・時制の一致 v.i ～のように思われる

「動詞」

genuinely solicitous ジェニュイナリー・ソリシタス adj. 本心から気配りしている

「補語」

when ホエン conj. ～する時

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

"My poor young man" マイ・プア・ヤング・マン n. 不幸な若者よ

「呼びかけ」

—but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

was beginning to have ワズ・ビギニング・トゥ・ハヴ 1 単過・進行形(begin to+不定詞)

v.t 持ち始めていた

「動詞句」

enough of it. Enough of it. ヌフ・オブ・イット pron それを十分に

「目的語」

→ もうたくさんだ！

Part 2 第2部

フランス語の原文では

彼が僕に対して親し気な口をきいていることに気付いたが、もうたくさんだった。

J'ai bien remarqué qu'il me **tutoyait**, mais j'en avais assez.

tutoyer チュトゥワイ v.t 親しげな口をきく → 英語では too friendly 馴れ馴れしい

「親身な、気遣いをする」という意味はない。

部屋はじわじわと暑くなっていった。

The room was growing steadily hotter.

「主語」「動詞句」「補語」

The room サ・ルーム n. 部屋は

「主語」

was growing ワズ・グロウイング 3 単過・進行形・変化(grow)v.i (状態に) なっていった「動詞句」

steadily hotter. ステディリー・ホットー adj. じわじわと暑く

「補語」

僕は退屈な話をする相手から逃れたい時にいつもするように、同意するふりをした。

As I usually do when I want to get rid of someone whose conversation bores me, I pretended to agree.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」

As アズ conj. (方法・様態) ～するように

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

usually ユージ ユアリー adv. いつも

「副詞」

do ドゥ 1 単現 v.t (動作を) する

「動詞」

when ホエン conj. ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

want to get rid of ウォント・トゥ・ゲット・リット・オブ 1 単現・願望(want to+不定詞 get rid of)

v.t ～を逃れたいと望む

「動詞句」

someone サムワン pron 誰か

「目的語」

whose conversation フーズ・カンヴァーセーション

adj. その人の会話が～する

「形容詞節」

bores ボアズ 3 単現 v.t 退屈させる

「動詞」

me, ミ pron 僕を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

pretended to agree. プレテンディート・トゥ・アグリー 1 単過・装った(pretend to+不定詞)

v.i 同意するふりをした

「動詞句」

Part 2 第2部

驚いたことに、僕の応答に対して、彼の顔が輝いた。

At which, rather to my surprise, his face lit up. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

At which, アット・フィッチ adv. この動作に対して 「副詞句」

rather to my surprise, ラーザー・トゥ・マイ・サプ・ライズ adv. 驚いたことに 「副詞句」

his face ヒズ・フェイス n. 彼の顔が 「主語」

lit up. リット・アップ 3 単過(light up)v.i 輝いた 「動詞句」

「そうです、分かったのですね！あなたはもう、彼を信じて信頼しようと思ったのではありませんか？」

“You see! You see! Now won’t you own that you believe and put your trust in Him?”

《「応答」 | 「副詞」 「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」》

“You see! You see! ユー・シー・ユー・シー adv. そうです、分かったのですね 「応答」

Now ナウ adv. もう、今では 「副詞」

won’t... own ウォント...OWN 2 単現・意志・確認(will+不定詞 own)

v.t (that ~を) 認めようと思ったのではないですか？ 「動詞句」

you ユー pron あなたは 「主語」

that ザット conj. ~ということ を 「目的語」

you ユー pron あなたは 「主語」

believe ビリーヴ 2 単現 v.i 信じる 「動詞」

and アンド conj. そして

put プット 2 単現 v.t 置く 「動詞」

your trust ユア・トラスト n. 信頼を 「目的語」

in Him? イン・ヒム adv. 彼に 「副詞句」

僕はもう一度頭を振らなければならなかった。すると彼は疲れて意気消沈したように椅子に崩れ落ちた。

I must have shaken my head again, for he sank back in his chair, looking limp and dejected. 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞」 ,for 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

must have shaken マスト・ハヴ・シェイクン 1 単現・完了形・必要(must+不定詞・完了形 shake)

v.t ~を振らなければならなかった 「動詞句」

my head マイ・ヘット n. 頭を 「目的語」

again, アゲン adv. もう一度 「副詞」

for フォー conj. その結果~する

he ヒー pron 彼は 「主語」

sank back サंक・バック 3 単過(sink back)v.i 崩れ落ちた 「動詞句」

Part 2 第2部

in his chair, イン・ヒズ・チェア adv. 椅子に 「副詞句」

looking ルキンク adv. (様態) ーのように 「副詞句」

limp and dejected. リンプ・アント・ディジエクトィット adj. 疲れて意気消沈した 「補語」

しばらく沈黙があり、僕たちが話している間中タイプを打ち続けていた書記は、その間に最後の言葉に追いついた。

For some moments there was a silence during which the typewriter, which had been clicking away all the time we talked, caught up with the last remark.

「副詞句」「動詞句」「主語」「副詞節」, 「動詞句」「目的語」

For some moments フォー・サム・モメンツ adv. 少しの間、しばらく 「副詞句」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ーがあった 「動詞句」

a silence ア・サイレンス n. 沈黙が 「主語」

during which デュアリング・フィッチ adv. その間中ーする 「副詞節」

the typewriter, ザ・タイプライター n. 書記は 「主語」

which フィッチ pron 書記は 「主語」

had been clicking away ハット・ヒーーン・クリッキング・アウェイ 3 単過・完了形・進行形(click)

v.i キーを打ち続けていた 「動詞句」

all the time オール・ザ・タイム adv. その時間中 「副詞句」

we ウー adj. 僕たちがーする 「形容詞節」

talked, トークト 1 複過・時制の一致 v.i 話している 「動詞」

caught up with コート・アップ・ウイズ 3 単過(catch up with)v.t ーに追いついた 「動詞句」

the last remark. ザ・ラスト・リマーク n. 最後の言葉に 「目的語」

それから彼は、少し悲しげな顔つきで、まじまじと僕を見つめた。

Then he looked at me intently and rather sadly.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Then ゼン adv. (順序) それから 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

looked ルクト 3 単過 v.i(at を) 見つめた 「動詞」

at me アット・ミー adv. 僕を 「間接目的語」

intently インテントリー adv. 熱心に、まじまじと 「副詞」

and アント conj. そして

rather sadly. ラーザー・サドリー adv. 少し悲しげに 「副詞句」

Part 2 第2部

「あなたほど頑なな魂に出会った経験はありません」と、彼は低く声を漏らした。

“Never in all my experience have I known a soul so case-hardened as yours,” he said in a low tone.

《「動詞句」「副詞句」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「「主語」動詞」「副詞句」

“Never... have ...known ネア...ハウ...ノウ 1 単現・完了形・否定(know)

v.t 一度も見たことが無い

「動詞句」

in all my experience イン・オール・マイクスビ°アリアンス adv. 今までの経験では

「副詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

a soul ア・ソウル n. 魂を

「目的語」

so case-hardened ソ・ケイサードント° adj. これほど頑なな

「形容詞句」

as yours,” アズ°・ユアズ° adv. (比較) あなたの魂ほど

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said セット° 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

in a low tone. イン・ナ・ロウ・トーン adv. 低い声で、弱々しい声で

「副詞句」

「今まで私の前に現れた犯罪者は誰でも、この苦しみの姿を見ると涙を流したものです」

“All the criminals who have come before me until now wept when they saw this symbol of our Lord’s sufferings.”

《「主語」「動詞」「副詞節」》

“All the criminals オール・ザ°・クリミナルズ° pl.n すべての犯罪者は

「主語」

who フー pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

have come ハヴ°・カム 3 複現・完了形 v.i 現れた、やって来た

「動詞句」

before me ビ°フォー°ミー adv. 私の前に

「副詞句」

until now アンティル°ナウ adv. これまで、今までは

「副詞句」

wept ウェプト 3 複過(weep)v.i 涙を流した

「動詞」

when ホエン conj. ～すると

「副詞節」

they セイ pron 彼らが

「主語」

saw ソー 3 複過・時制の一致(see)v.t 見る

「動詞」

this symbol ス°イス°シンボル n. この像を

「目的語」

of our Lord’s sufferings.” オフ°・アウラ°ロース°・サファリングス°

adj. 神の苦しみの

「形容詞句」

Part 2 第2部

僕は危うく、それはまさに彼らが犯罪者だからだ、と言うところだった。

I was on the point of replying that was precisely because they were criminals.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was on the point of replying ワズ・オン・ザ・ポイント・オブ・リプライング 1 単過・寸前(reply)

v.t ~と答えるところだった

「動詞句」

that ザット n. (主語) それは~ということを

「目的語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

precisely because プリサイズリー・ビコーズ conj. (理由) まさに~であるから 「副詞節」

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

criminals. クリミナルズ pl.n 犯罪者

「補語」

しかしその時、僕自身も彼らと同じたぐいなのだと気が付いた。

But then I realized that I, too, came under that description.

But 「副詞」, 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

then ゼン adv. その時

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

realized リアライズト 1 単過 v.t (that ~に) 気が付いた、理解した

「動詞」

that ザット conj. ~ということを

「目的語」

I, too, アイ・トゥ pron 僕自身も

「主語」

came ケム 1 単過・時制の一致(come)v.i (under ~に) 分類される

「動詞」

under that description. アンダー・ザット・デイスクリプション

adv. (分類) そういった類に

「間接目的語」

しかし、それは僕にとってなかなか馴染めない考えだ。

Somehow it was an idea to which I never could get reconciled.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Somehow サムハウ adv. なぜか

「副詞」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

an idea アン・アイデア n. 考え

「補語」

to which トゥ・フィッチ adv. それに~する

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

never could get ネヴァー・クッド・ゲット 1 単過・可能・変化・否定(can+不定詞 get)

Part 2 第2部

v.i (状態に) ～になることができない

「動詞句」

reconciled. レコンサイルド 過去分詞(reconcile)adj. 馴染んだ、和解した「補語」

あたかも、取り調べはもう終わったと知らせようとするように、判事は立ち上がった。

To indicate, presumably, that the interview was over, the magistrate stood up.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

To indicate, トゥ・インディケイト 不定詞・目的語 adv. ～を示すように

「副詞句」

presumably, プレジューマブリー adv. もっともらしく、たぶん、あたかも

「副詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

the interview ズィ・インタヴュー n. 聞き取りは、取り調べ

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

over, オヴァー adv. 終わって

「補語」

the magistrate ザ・マジストレイト n. 判事は

「主語」

stood up. ストゥッド・アップ 3 単過(stand up)v.i 立ち上がった

「動詞句」

相変わらず疲れた調子で、彼は僕に尋ねた：「自分がしたことを悔やんでいるか？」と。

In the same weary tone he asked me a last question: Did I regret what I had done?

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」:

「動詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

In the same weary tone イン・ザ・セイム・ウィアリー・トーン adv. 相変わらず疲れた調子で

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

a last question: ア・ラスト・クエスチョン n. 最後の質問を

「直接目的語」

Did ...regret ディット ...リグレット 1 単過・疑問文・時制の一致 v.t 悔やんでいる

「動詞句」

I アイ pron 僕が

「主語」

what フワット pron ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

had done? ハット・ダン 1 単過・完了形 v.t やった

「動詞句」

Part 2 第2部

少し考えた。適切な言葉が浮かばなかったので、後悔というよりむしろ厄介ごとになったと
 感じるしていると答えた。だが、彼が理解しているようには見えなかった。

After thinking a bit, I said that what I felt was less regret than a kind of vexation—I
couldn't find a better word for it. But he didn't seem to understand.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 | But 「主語」 「動詞句」

After thinking a bit, アフター・シンキング・ア・ビット adv. 少し考えてから 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

what I felt ファット・アイ・フェルト n. 僕が感じたことは 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

less regret レス・リグレット n. より少ない後悔、(less...than)後悔よりむしろ... 「補語」

than ザン conj. (比較) ～より

a kind of vexation— ア・カインド・オブ・ベ・ケイション n. 悩みの種 「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」

couldn't find クドント・ファインド 1 単過・可能・否定

v.t 見つけられなかった 「動詞句」

a better word for it. ア・ベター・ワード・フォー・イット adv. 適切な言葉を 「目的語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は 「主語」

didn't seem to understand. デイトント・シム・トゥ・アンダースタント 3 単過・否定・見える

v.i(seem to+不定詞) 分かっているように見えなかった 「動詞句」

その日の取り調べはここまでだった。

... This was as far as things went at that day's interview. 「主語」 「動詞」 「副詞節」

... This スィズ pron これが 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

as far as アズ・ファー・ラス conj. (限定) ～に関する限りでは 「副詞節」

things シングズ pl(thing).n 物事が 「主語」

went ウェント 3 複過(go)v.i 進んだ 「動詞」

at that day's interview. アット・ザット・デイズ・インタヴュー

adv. その日の取り調べで 「副詞句」

Part 2 第2部

僕はその後なんども予審判事と顔を合わせたが、その度に、弁護士が僕に同席した。

I came before the magistrate many times more, but on these occasions my lawyer always accompanied me.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」,but「副詞句」「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は「主語」
 came ケム 1 単過(come)v.i やって来た「動詞」
 before ビフォー prep 〜の前に「間接目的語」
 the magistrate ザ・マジストレイト n. 予審判事「目的語」
 many times more, メニー・タイムズ・モア adv. その後何度も「副詞句」
 but バット conj. しかし
 on these occasions オン・ジーズ・オカジヨン adv. その度に「副詞句」
 my lawyer マイ・ローヤ n. 僕の弁護士は「主語」
 always オールウェイズ adv. いつも「副詞」
 accompanied アカンパニート 3 単過 v.t 付き添った、同席した「動詞」
 me. ミ pron 僕に「目的語」

尋問では、以前の供述を詳しく説明するように求められただけだった。

The examinations were confined to asking me to amplify my previous statements.

「主語」「動詞句」「間接目的語」
 The examinations スイ・イクザミネーションズ pl(examination).n 尋問は「主語」
 were confined ワー・コンファインド 3 複過・受動・限定(confine)v.t(to+現在分詞)
 v.t 〜に限定されていた「動詞句」
 to asking トゥ・アスキング adv. 求めることに「間接目的語」
 me ミ pron 僕に「目的語」
 to amplify トゥ・アンプリファイ 不定詞・me の動作 v.t 詳しく述べる「補語」
 my previous statements. マイ・プリアヴィウス・ステイトメンツ
 pl(statement).n 以前の供述を「目的語」

他には、判事と僕の弁護士が細目を議論していた。

Or else the magistrate and my lawyer discussed technicalities.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 Or else オア・エルズ adv. 他には、または「副詞句」
 the magistrate ザ・マジストレイト n. 判事は「主語」
 and アンド conj. そして
 my lawyer マイ・ローヤ n. 僕の弁護士は「主語」
 discussed ディスカスト 3 複過 v.t 議論していた「動詞」

Part 2 第2部

technicalities. テクニカティーズ^テ pl(technicality).n 細目を

「目的語」

フランス語の原文では

あるいはまた、判事は弁護士と一緒に**検察が主張する証拠**を検討していた。

Ou bien encore le juge discutait **les charges** avec mon avocat.

ここで charges は「攻撃」を意味する → 検察が主張する証拠

そのような時は、彼らは僕に対してほとんど関心が無かった。そして、いずれにせよ時が進むにつれて、尋問の雰囲気は変わって行った。

At such times they took very little notice of me, and, in any case, the tone of the examinations changed as time went on.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,and「副詞句」「主語」「動詞」「副詞節」

At such times アット・サッチ・タイムズ^ア adv. そのような時には

「副詞句」

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

took トゥック 3 複過(take)v.t (考えを) 持った

「動詞」

very little notice ウェリー・リトル・ノウチス^ウ n. ほとんど関心～ない

「目的語」

of me, オブ・ミー adv. (関連) 僕に対して

「副詞句」

and, アント conj. そして

in any case, イン・エニー・ケイス^イ adv. いずれにしても

「副詞句」

the tone ザ・トゥン n. 雰囲気は

「主語」

of the examinations オブ・スィ・イクザミネーションズ^オ adj. 尋問の

「形容詞句」

changed チェインジド 3 単過 v.i 変わった

「動詞」

as アズ conj. (比例) ～するにつれて

「副詞節」

time タイム n. 時が

「主語」

went on. ウェント・オン 3 単過・時制の一致(go on)v.i 進む

「動詞句」

go by も同じ意味

判事はすでに僕に対する興味を失い、僕の事件に関して何らかの結論に達したようだ。

The magistrate seemed to have lost interest in me, and to have come to some sort of decision about my case.

「主語」「動詞句」「目的語」,and「動詞句」「間接目的語」

The magistrate ザ・マジストレイト n. 判事は

「主語」

seemed to have lost シームト・トゥ・ハヴ・ロスト 3 単過・推量(seem to+不定詞・完了形)

v.i ～を失ったように見えた

「動詞句」

interest インタレスト n. 興味を

「目的語」

in me, イン・ミー adv. (対象) 僕に

「副詞句」

and アント conj. そして

to have come トゥ・ハヴ・カム 3 単過・推量(seem to+不定詞・完了形)

Part 2 第2部

v.i 〜に至ったように見えた 「動詞句」
 to some sort-of decision トゥ・サム・ソート・オブ・デイズィョン adv. 何らかの結論に 「間接目的語」
 about my case. アバウト・マイ・ケイス adv. (関連) 僕の事件に関して 「副詞句」

彼はもう神について語らないし、最初の尋問でひどく厄介だと思った宗教に対する熱情を示すことも全くない。

He never mentioned God again or displayed any of the religious fervor I had found so embarrassing at our first interview.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」 or 「動詞」「目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 never mentioned ネバー・メンショント 3 単過・否定・時制の一致 v.t 話さない 「動詞句」
 God ゴット n. 神を 「目的語」
 again アゲン adv. もう～ない 「副詞」
 or オア conj. または
 displayed ディスプレイト 3 単過・時制の一致 v.t 示さない 「動詞」
 any of the religious fervor エニー・オブ・ザ・レリジヤス・フィーヴァー
 n. 宗教的な情熱を一切～ない 「目的語」
 I アイ pron 僕が～した 「形容詞節」
 had found ハット・ファウンド 1 単過・完了形(find)
 v.t 見つけた、思った 「動詞句」
 so embarrassing ソウ・エンバラシング adj. ひどく厄介な 「補語」
 at our first interview. アット・オウリ・ファースト・インタヴュー
 adv. 最初の尋問で 「副詞句」

その結果、僕たちはより打ち解けた間柄になった。

The result was that our relations became more cordial. 「主語」「動詞」「補語」
 The result ザ・リザルト n. 結果は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 that ザット conj. 〜ということ 「補語」
 our relations アウリ・レイションズ pl.n 僕たちの関係が 「主語」
 became ビケム 3 複過・変化(become)v.i 〜になった 「動詞」
 more cordial. モア・コージヤル adj. 思いやりのある、親密な 「補語」

Part 2 第2部

いくつかの質問に続き、弁護士と意見の交換があり、それから判事は尋問を終える。

After a few questions, followed by an exchange of remarks with the lawyer, the magistrate closed the interview. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

After a few questions, アフター・ア・フュー・クェスチョンズ adv. いくつかの質問の後 「副詞句」

followed フォロウト 過去分詞・受動(follow)adv(by が) 続く 「副詞句」

by an exchange バイ・アン・エクスチェンジ adv. (動作主) (言葉の) やり取りによって 「副詞句」

of remarks オフ・リマークス adj. 意見の 「形容詞句」

with the lawyer, ウイズ・ザ・ローヤー adv. 弁護士と 「副詞句」

the magistrate サ・マジストレイト n. 判事は 「主語」

closed クロウスト 3 単過・時制の一致(close)v.t (議論を) 終える 「動詞」

the interview. スイ・インタヴュー n. 面談を、尋問を 「目的語」

僕の件は、判事の想定通り、順調に進行していた。時々、会話が世間話になることもあり、そんな時には、判事と弁護士は僕をそれに参加させてくれた。

My case was “taking its course,” as he put it. Sometimes, too, the conversation was of a general order, and the magistrate and lawyer encouraged me to join in it.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」 ,and 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」

My case マイ・ケイス n. 僕の件は 「主語」

was “taking” ワズ・テイキング 3 単過・進行形・時制の一致(take)v.t ~を取っていた 「動詞句」

its course,” イツ・コース n. その進路を 「目的語」

→ be taking its cours 「順調に進んでいる」

as アズ conj. (様態) ~するように 「副詞節」

he ヒー pron (magistrate の代用) 彼が 「主語」

put プット 3 単過(put)v.t 評価した 「動詞」

it. イット pron (course の代用) それを 「目的語」

Sometimes, サムタイムズ adv. 時々 「副詞」

too, トゥ adv. もまた 「副詞」

the conversation サ・カンヴァーセーション n. 会話が 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

of a general order, オフ・ア・ジェネラル・オーダー adj. 世間話の 「補語」

and アンド conj. そして

the magistrate and lawyer サ・マジストレイト・アンド・ローヤー pl.n 判事と弁護士が 「主語」

encouraged エンカリッジト 3 複過・使役(encourage)v.t(SVO to+不定詞)

v.t ~するように仕向けた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「目的語」

Part 2 第2部

to join トゥ・ジョイン 不定詞・me の動作 v.i(in に) 参加する
in it. イン・イット adv. その会話に

「補語」
「副詞句」

僕は一息つけるようになった。

I began to breathe more freely.

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

began to breathe ビギン・トゥ・ブリーズ 1 単過・開始(begin to+不定詞 breathe)

v.i 呼吸し始めた

「動詞句」

more freely. モア・フリーー adv. より楽に、障害なしに、自由に

「副詞句」

世間話の間には、二人とも僕に対して全く敵対心を表さなかったし、全てのことがとても
順調で心地よく運んだので、僕は「家族の一員」みたいだという馬鹿げた印象を持った。

Neither of the two men, at these times, showed the least hostility toward me, and
everything went so smoothly, so amiably, that I had an absurd impression of being “one
of the family.”

「主語」「副詞句」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」,

and 「主語」「動詞」「副詞句」,that 「主語」「動詞」「目的語」

Neither of the two men, ニーサー・オブ・ザ・トゥ・メン pl.n 二人のどちらも～ない

「主語」

at these times, アット・シーズ・タイムズ adv. 世間話の間には

「副詞句」

showed ショウト 3 複過・否定文で v.t 表さなかった、見せなかった

「動詞」

the least hostility ザ・リースト・ホスティリティ n. 全く敵対心を～ない

「直接目的語」

least 最小の → 全く～ない

toward me, トゥワート・ミー adv. 僕に対して

「間接目的語」

and アンド conj. そして

everything エヴリシング pron すべての事が

「主語」

went ウェント 3 単過(go)v.i 進んだ、運んだ

「動詞」

so smoothly, ソウ・スムズリー adv. とても順調に

「副詞句」

so amiably, ソウ・エイミアブリー adv. とても心地よく

「副詞句」

that ザット conj. (結果) それで～する

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ～を持った

「動詞」

an absurd impression アン・アブサート・インプレッション n. 馬鹿げた印象、考え

「目的語」

of being “one of the family.” オフ・ビーイング・ワン・オブ・ザ・ファミリー

adj. (同格) 家族の一員であるという

「形容詞句」

Part 2 第2部

僕は正直に言うことができる。この審問が続いたこの11か月の間に、判事が僕を執務室の戸口まで付き添ってから、僕の肩を軽くたたいて親しげな口調で言う、あの滅多にない瞬間を何より楽しみにする様になっていたことにほとんど驚いた。

I can honestly say that during the eleven months these examinations lasted I got so used to them that I was almost surprised at having ever enjoyed anything better than those rare moments when the magistrate, after escorting me to the door of the office, would pat my shoulder and say in a friendly tone:

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

can honestly say キャン・オホストリー・セイ 1 単現・可能(can+不定詞 say+ honestly)

v.t 正直に言うことができる

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

during the eleven months デュアリング・ザ・エレブン・マンツ

adv. この11か月の間に

「副詞句」

these examinations スィーズ・イクザミネーションズ

pl.n この審問が～する

「形容詞節」

lasted ラースティット 3 複過 v.i 続いた

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

got so used to ゴット・ツウ・ユースト・トゥ 1 単過(get used to)v.i ～に慣れた

「動詞句」

get used to ... 「～に慣れる」 be used to ... 「～に慣れている」

used to+不定詞 「～したものだ」

them ゼム pron それらに、彼らに

「間接目的語」

that ザット conj. (同格) ～という

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

almost surprised オールモウスト・サプライズト

adj. ほとんど驚いた

「補語」

at +現在分詞 adv. (原因) adv. ～して 「副詞句」

having ever enjoyed ハヴィング・エヴァー・エンジョイト 現在分詞・完了形

v.t とても楽しんだ

「動詞句」

ever は強調

anything エニシング pron 何かを

「目的語」

better than those rare moments ベター・ザン・ゾウス・レア・モメント

adv. あのまれな瞬間より

「副詞句」

when ホエン conj. ～する

「副詞節」

the magistrate, ザ・マジストレイト

Part 2 第2部

n. 判事が 「主語」
 after +現在分詞 アフター
 adv. ～した後で 「副詞句」
 escorting エスコーティング 現在分詞
 v.t 付き添う 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 to the door of the office, トゥ・ザ・ドア・オブ・ズィ・オフィス
 adv. ドアまで 「副詞句」
 would pat ウット・パット 3 単過・回想(would+不定詞)
 v.t 軽くたたいた 「動詞句」
 my shoulder マイ・ショルダー
 n. 僕の肩を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 say セイ 3 単過・回想(would+不定詞)
 v.t 言う 「動詞句」
 in a friendly tone: イン・ナ・フレントリー・トゥン
 adv. 親しげに 「副詞句」

「今日はこれまでにしましょう、アンチキリスト君」その後、僕は看守たちに引き渡された。

“Well, Mr. Antichrist, that’s all for the present!” After which I was made over to my jailers.

《「呼びかけ」, 「主語」「動詞」「補語」》 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」
 “Well, Mr. Antichrist, ウェル・ミスター・アンチ・クライスト adv. さて、アンチキリスト君 「呼びかけ」
 that ザット pron それは 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 all オール pron 全て 「補語」
 for the present!” フォー・ザ・プレゼント adv. 今の所、今日の所は 「副詞句」
 After which アフター・フィッチ adv. その後で 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was made over ワズ・メイト・オヴァー 1 単過・受動(make over)
 v.t (to に) 引き渡された 「動詞句」
 to my jailers. トゥ・マイ・ジエラーズ adv. 看守たちに 「間接目的語」

Part 2 第2部

II

決して話したいとは思わない事がある。

THERE are some things of which I've never cared to talk. 「動詞句」「主語」

THERE are ゼア・ラー 3 複現・存在(there be)v.i ~がある 「動詞句」

some things サム・シングズ pl(thing).n 事が 「主語」

of which オフ・フィッチ adv. それについて~する 「形容詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

've never cared to talk. ハヴ・ネヴァ・アー・ケアド・トゥ・トーク 1 単現・完了形・願望・否定

(care to+不定詞 talk)v.i(of のことを) 決して話したくない 「動詞句」

care to+不定詞 「(疑問文・否定文で) ~したいと思う」

talk of (about) ... 「~について話す」

拘置所に入れられて数日後に、僕は自分の生活の姿はそういう事の1つだと思った。

And, a few days after I'd been sent to prison, I decided that this phase of my life was one of them. And, 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

And, アント conj. そして

a few days ア・フュー・デイズ pl(day).n 数日に 「副詞句」

after アフター conj. ~した後で 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

'd been sent ハット・ビーン・セント 1 単過・完了形・受動(send)

v.t 送られた、入れられた 「動詞句」

to prison, トゥ・プリズン adv. 拘置所に 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

decided デイサイディット 1 単過 v.t 決心した、思った 「動詞」

that サット conj. ~ということを 「目的語」

this phase of my life ス・イス・フェイス・オブ・マイ・ライフ n. 自分の生活の姿は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

one of them. ワン・オブ・ゼム pron それらの一つ、その他大勢 「補語」

Part 2 第2部

しかしながら時がたつにつれて、このような嫌悪感には実体がないと思うようになった。

However, as time went by, I came to feel that this aversion had no real substance.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

as アズ conj. (比例) ~につれて

「副詞節」

time タイム n. 時間が

「主語」

went by, ウェント・バイ 3 単過・時制の一致(go by)v.i (時間が) たつ、過ぎる 「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

came to feel ケイム・トゥ・フィール 1 単過・結局(come to+不定詞 feel)v.t 思うようになった 「動詞句」

that サット conj. ~ということ

「目的語」

this aversion スィス・アヴァージョン n. この嫌悪感

「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ~がある

「動詞」

no real substance. ノ・リアル・サブスタンス n. 実体、本質

「目的語」

実際、最初の数日は拘置所に入っているという自覚が無かった。僕は相変わらず、何か楽しい出来事が起こるだろうという、漠然とした期待を抱いていた。

In point of fact, during those early days, I was hardly conscious of being in prison; I had always a vague hope that something would turn up, some agreeable surprise.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」; 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

In point of fact, イン・ポイント・オブ・ファクト adv. 事実上、実の所

「副詞句」

during those early days, シュアリング・ゾウス・アーリー・デイズ adv. 最初の数日は

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

hardly conscious ハートリー・コンシャス adj. ほとんど自覚のない

「補語」

of being in prison; オフ・ビーイング・イン・プリズン

adv. (対象) 拘置所に入っていることに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ~があった

「動詞」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

a vague hope ア・ウエイグ・ホフ n. 漠然とした期待を

「目的語」

that サット conj. (同格) ~という

「形容詞節」

something サムシング pron 何か

「主語」

would turn up, ウット・ターン・アップ 3 単過・推量(would+不定詞 turn up)

v.i 訪れるだろう、起こるだろう

「動詞句」

some agreeable surprise. サム・アグリーアブル・サプライズ

n. 何か好ましい驚きが

「主語」

Part 2 第2部

マリーの最初で最後の面会の直後から、変化が始まった。

The change came soon after Marie's first and only visit. 「主語」「動詞」「副詞句」

The change ザ・チェンジ n. 変化は 「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i 訪れた、やって来た 「動詞」

soon after prep (時間) ~のすぐ後に 「副詞句」

Marie's first and only visit. マリーズ・ファースト・アント・オヴ・イジット

n. マリーの最初で最後の面会 「目的語」

彼女は僕の妻ではないので、これ以上僕に面会することが許されないと書かれたマリーからの手紙を受け取ったその日から

From the day when I got her letter telling me they wouldn't let her come to see me any more, because she wasn't my wife 「副詞句」

From the day フロム・ザ・デイ adv. (起点) その日から 「副詞句」

when ホエン conj. ~した 「形容詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

got ゴット 1 単過(get)v.t 受け取った 「動詞」

her letter ハー・レター n. 彼女の手紙を 「目的語」

telling テリング 現在分詞(tell)adj. ~と書いてある 「形容詞句」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

they ゼイ pron.pl 拘置所は 「主語」

wouldn't let ウント 3 複過・許可・否定(let)

v.t(SVO+不定詞)

O に~させない 「動詞句」

her ハー pron 彼女に 「目的語」

come to see カム・トゥ・シー 不定詞・her の動作

v.t 面会に来る 「補語」

me ミー pron 僕に 「目的語」

any more, エニー・モア

adv. もう~ない 「副詞句」

because ビコーズ

conj. (理由) ~なので 「副詞節」

she シー pron 彼女は 「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)

v.i ~でない 「動詞句」

my wife マイ・ワイフ

Part 2 第2部

n. 僕の妻 「補語」

その日から、この独房が僕の最後の居場所で、いわば行き止まりだと悟った。

—it was from that day that I realized that this cell was my last home, a dead end, so to speak. 《「動詞」「副詞句」「主語」》

—it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

from that day フロム・ザット・デイ adv. その日から 「副詞句」

that ザット conj. 〜ということは 「主語」

I アイ pron 僕が 「主語」

realized リアライズト 1 単過 v.t 理解した、悟った 「動詞」

that ザット conj. 〜ということ を 「目的語」

this cell スィス・セル n. この独房が 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

my last home, マイ・ラスト・ホーム n. 僕の最後の居場所 「補語」

a dead end, so to speak. ア・デット・エンド・ソ・トゥ・スピーク

n. いわば行き止まり 「補語」

僕は逮捕されたその日に、ほとんどがアラブ人の囚人ばかりいる大部屋に入れられた。

On the day of my arrest they put me in a biggish room with several other prisoners, mostly Arabs. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

On the day オン・ザ・デイ adv. その日に 「副詞句」

of my arrest オフ・マイ・アレスト adj. 僕が逮捕された 「形容詞句」

they セイ pron 彼らは 「主語」

受動態に翻訳する

put プット 3 複過(put)v.t 入れた 「動詞」

me ミー pron 僕を 「目的語」

in a biggish room イン・ナ・ビギッシュ・ルーム adv. かなり大きな部屋に 「副詞句」

with several other prisoners, ウィズ・セヴラル・アザー・プリズナース

adv. 他の囚人が居る 「副詞句」

mostly Arabs. モストリー・アラブス adj. ほとんどアラブ人の 「形容詞句」

Part 2 第2部

彼らは僕が入るのを見てにやりと笑い、僕になにをしたのかと尋ねた。

They grinned when they saw me enter, and asked me what I'd done.

「主語」「動詞」「副詞節」,and「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 They ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 grinned グリント 3 複過 v.i にやりと笑った 「動詞」
 when ホエン conj. ～して、～した時 「副詞節」
 they ゼイ pron.pl 彼らが 「主語」
 saw ソー 3 複過・知覚動詞(see)v.t(SVO+不定詞) O が～するのを見た 「動詞」
 me ミー pron 僕が 「目的語」
 enter, エンター 不定詞・me の動作 v.i 入る 「補語」
 and アンド conj. そして
 asked アスクト 3 複過 v.t 尋ねた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 what ファット pron (目的語) ～をしたかということを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 'd done. ハット・ダン 1 単過・完了形(do)v.t した 「動詞句」

僕はアラブ人を殺したと答えた。すると彼らはしばらく黙り込んだ。

I told them I'd killed an Arab, and they kept mum for a while.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トルト 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 them ゼム pron.pl 彼らに 「間接目的語」
 I アイ pron 僕が～するということを 「直接目的語」
 'd killed ハット・キルト 1 単過・完了形 v.t 殺した 「動詞句」
 an Arab, アン・アラブ n. アラブ人を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 kept ケプト 3 複過・継続(keep)v.t (状態を)続けた 「動詞」
 mum マム n. 沈黙を 「目的語」
 for a while. フォー・ア・ホワイ adv. しばらくの間 「副詞句」

Part 2 第2部

しかし間もなく日が暮れ始めると、彼らの1人が僕に寝床の作り方を教えてくれた。

But presently night began to fall, and one of them explained to me how to lay out my sleeping mat.

But 「副詞」「主語」「動詞句」,and 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 But バット conj. しかし
 presently プレズントリー adv. 間もなく 「副詞」
 night ナイト n. 夜が 「主語」
 began to fall, ビギン・トゥ・フォール 3 単過・開始(begin to+不定詞)v.i 暮れ始めた 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 one of them ワン・オブ・ゼム pron 彼らの1人が 「主語」
 explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」
 to me トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」
 how to lay out ハウ・トゥ・レイ・アウト pron 整え方を 「直接目的語」
 my sleeping mat. マイ・スリーピング・マツ n. 寝床の 「目的語」
 → どの様に寝床を整えるかという方法を mat マツ n. むしろ

むしろの一端を巻けば、枕ができる。

By rolling up one end one makes a sort of bolster. 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 By rolling up バイ・ロリング・アップ 現在分詞・方法(roll up)v.t ~を巻くことで 「副詞句」
 one end ワン・エンド n. むしろの一端を 「目的語」
 one ワン pron 人は 「主語」
 makes メイクス 3 単現 v.t 作れる 「動詞」
 a sort of bolster. ア・ソート・オブ・ボルスター n. 長まくらのようなもの 「目的語」

一晩中、南京虫が僕の顔の上を這いまわって、良く眠れなかった。

All night I felt bugs crawling over my face.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 All night オール・ナイト adv. 一晩中 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 felt フェルト 1 単過・知覚動詞(feel)v.t(SVO+現在分詞) O が~するのを感じた 「動詞」
 bugs バグズ pl(bug).n(= bedbug) 南京虫が 「目的語」
 crawling クローリング 現在分詞・bugs の動作(crawl)v.i 這いまわる 「補語」
 over my face. オヴァー・マイ・フェイス adv. 僕の顔の上を 「副詞句」

Part 2 第2部

数日後、僕は独房に移されて、蝶番で壁に取り付けられた布団の無い木製ベッドに寝ることになった。

Some days later I was put by myself in a cell, where I slept on a plank bed hinged to the wall. 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Some days later サム・デイズ・レイター adv. 数日後に 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was put ワズ・プット 1 単過・受動(put)v.t 入れられた 「動詞句」

by myself バイ・マセルフ adv. 一人だけ 「副詞句」

in a cell, イン・ナ・セル adv. 独房に 「副詞句」

where ウェア adv. そこで～した 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

slept スレプト 1 単過(sleep)v.i 寝た 「動詞」

on a plank bed オン・ナ・プランク・ベット

adv. (刑務所のふとんのない) 板床に 「副詞句」

hinged ヒンジド 過去分詞・受動(hinge)adj. 蝶番で接続された 「形容詞句」

to the wall. トゥ・ザ・ウォール adv. 壁に 「副詞句」

その他には、便器用の桶が一つとブリキの洗面器が一つあるだけだった。

The only other furniture was a latrine bucket and a tin basin. 「主語」「動詞」「補語」

The only other furniture スイ・オウソリー・ファニチャー n. その他の備品は～だけ 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

a latrine bucket ア・ラトリーヌ・バケット n. 便器用の桶 「補語」

latrine ラトリーヌ n. 臨時の便所 bucket バケット n. 手桶

and アンド conj. そして

a tin basin. ア・ティン・ベイスン n. ブリキの洗面器 「補語」

tin ティン n. スズ、ブリキ basin ベイスン n. 洗面器

拘置所は小高い所にあり、独房の小窓からは海が見えた。

The prison stands on rising ground, and through my little window I had glimpses of the sea. 「主語」「動詞」「副詞句」,and 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

The prison サ・プリズン n. 拘置所は 「主語」

stands スタンズ 3 単現 v.i (場所に) ある 「動詞」

on rising ground, オン・ライジング・グラウンド adv. 小高い場所に 「副詞句」

rising ライジング adj. 登った ground グラウンド n. 場所

and アンド conj. そして

through my little window スルー・マイ・リトル・ウィンドウ adv. 僕の独房の小窓から 「副詞句」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハットゝ 1 単過(have)v.t (+動作名詞) 〜できた 「動詞」
 glimpses of the sea. グリンプス・オブ・ザ・シー n. 海を一目 「目的語」

僕が波の上で揺れる日差しに目を向けながら、窓の鉄格子にすがりついていたある日、看守が入って来て、僕に面会人がいると告げた。

One day when I was hanging on the bars, straining my eyes toward the sunlight playing on the waves, a jailer entered and said I had a visitor.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 and 「動詞」 「目的語」

One day ワン・デイ n. ある日 「副詞句」

when ホエン conj. 〜する 「形容詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

was hanging ワズ・ハンギング 1 単過・進行形(hang)

v.i(on に) すがりついていた 「動詞句」

on the bars, オン・ザ・バーズ adv. 窓の鉄格子に 「間接目的語」

straining ストレイニング 現在分詞・同時(strain)

v.t 引っ張りながら、変形させながら 「副詞句」

my eyes マイ・アイズ pl.n 目を 「目的語」

toward the sunlight トゥワート・ザ・サンライト

adv. 日差しに向かって 「副詞句」

playing on the waves, プレイイング・オン・ザ・ウェイヴズ

adj. 波の上で揺れる 「形容詞句」

a jailer ア・ジェイラー n. 看守が 「主語」

entered エンタートゝ 3 単過 v.i 入って来た 「動詞」

and アンド conj. そして

said セットゝ 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

I アイ pron 僕は〜するということを 「目的語」

had ハットゝ 1 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」

a visitor. ア・ヴィジター n. 面会人 「目的語」

Part 2 第2部

僕は、マリーに違いないと思った。やはり、その通りだった。

I thought it must be Marie, and so it was.

	「主語」「動詞」「目的語」,and「補語」「主語」「動詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
thought ソト 1 単過(think)v.t 思った	「動詞」
it イット pron それは～すること	「目的語」
must be マスト・ビー 3 単現・必要(must+不定詞 be)v.i ～に違いない	「動詞句」
Marie, マリー n. マリー	「補語」
and アンド conj. そして	
so ソウ adv. そのような	「補語」
it イット pron それは	「主語」
was. ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」

面会室に行くために、僕は廊下を進み、階段をあがってから、別の廊下を歩いた。

To go to the Visitors' Room, I was taken along a corridor, then up a flight of steps, then along another corridor.

	「副詞句」,「主語」「動詞句」「副詞句」,
	「副詞」「動詞」「目的語」,「副詞」「間接目的語」
To go トウ・ゴウ 不定詞・目的 adv. ～に行くために	「副詞句」
to the Visitors' Room, トウ・ザ・ヴィジターズ・ルーム adv. 面会室へ	「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was taken ワズ・テイケン 1 単過・受動(take)v.t 連れていかれた、進んだ	「動詞句」
along a corridor, アロング・ア・コリドー adv. 廊下に沿って	「副詞句」
then セン adv. それから	「副詞」
up アップ 1 単過(go up)v.t ～をのぼった	「動詞」
a flight of steps, ア・フライト・オブ・ステップス n. 一続きの階段を	「目的語」
then セン adv. それから	「副詞」
along another corridor. アロング・アナザー・コリドー n. 別の廊下を	「間接目的語」

Part 2 第2部

面会室はとても大きな部屋で、張り出し窓からの光に照らされ、縦方向に走る高い鉄格子によって3つの区画に分割されていた。

It was a very large room, lit by a big bow window, and divided into three compartments by high iron grilles running transversally. 「主語」「動詞」「補語」

It イット pron (Visitors' Room の代用) 面会室は、面会所 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

a very large room, ア・ウ・ェリー・ラージ・ルーム n. 非常に大きな部屋 「補語」

lit リット 過去分詞(light)・受動.adj 照らされた 「形容詞句」

by a big bow window, バイ・ア・ビック・バウ・ウインドウ

adv. (動作主) 弓型の張り出し窓によって 「副詞句」

and アンド conj. そして

divided デイヴ・ァイテ・ィット 過去分詞(divide)・受動 adj. 分割された 「形容詞句」

into three compartments イントウ・スリー・コンパ・ートメント

adv. 3つの区画に 「間接目的語」

by high iron grilles バイ・ハイ・アイアン・グリス

adv. (動作主) 高い鉄格子によって 「副詞句」

running transversally. ラニグ・・トランスウ・ァーサリー 現在分詞(run)

adj. 横方向に走る 「形容詞句」

フランス語の原文では

そこは、縦方向に部屋を切り分ける2の大きな鉄格子で、3つの区画に分割されていた。

La salle était séparée en trois parties par deux grandes grilles qui la coupaient dans sa longueur.

2つの鉄格子の間には幅が約9メートルの空間があり、それが囚人と面会者の間にいわば無人の領域を作ってお互いを隔てていた。

Between the two grilles there was a gap of some thirty feet, a sort of no man's land between the prisoners and their friends. 「副詞句」, 「動詞句」「主語」, 「主語」

Between the two grilles ビトウ・ィン・ザ・トウ・グリス adv. 2つの鉄格子の間には 「副詞句」

there was ゼ・ア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」

a gap of ア・ビ・ギャップ・オブ n. 〜の隙間、空間 「主語」

some thirty feet, サム・サーティ・フィート adj. 約9メートルの 「形容詞句」

a sort of no man's land ア・ソート・オブ・ノウ・マンス・ランド n. いわば無人の領域 「主語」

between the prisoners and their friends. ビトウ・ィン・ザ・プリズナース・アンド・ゼ・ア・フレンズ

adv. 囚人と面会者の間にある 「副詞句」

Part 2 第2部

僕は、縞のドレスを着たマリーの真正面の位置まで連れていかれた。

I was led to a point exactly opposite Marie, who was wearing her striped dress.

「主語」「動詞句」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was led ワズ・レドト 1 単過・受動(lead)v.t 連れていかれた

「動詞句」

to a point トゥ・ア・ポイント adv. (場所) 地点に

「副詞句」

exactly opposite Marie, イグザクトリー・オパジット・マリー

adj. マリーの真正面の

「形容詞句」

who フー pron マリーは

「主語」

was wearing ワズ・ウェアリング 3 単過・進行形(wear)v.t 着ていた

「動詞句」

her striped dress. ハー・ストライフト・ドレス n. 縞のドレス

「目的語」

鉄格子の僕の側には、他に 10 人ほどの囚人がいて、大部分はアラブ人だった。

On my side of the rails were about a dozen other prisoners, Arabs for the most part.

「副詞句」「動詞」「主語」

On my side of the rails オン・マイ・サイト・オブ・ザ・レイルス adv. 鉄格子の僕の側には

「副詞句」

were ワー 3 複過・存在(be)v.i ~がいた

「動詞」

about a dozen other prisoners, アバウト・ア・ダズン・アザー・プリズナース

pl.n 他に 10 人ほどの囚人が

「主語」

Arabs アラブズ pl.n アラブ人たちが

「主語」

for the most part. フォー・ザ・モスト・パート adv. 大部分は

「副詞句」

マリーの側には、大部分はムーア人の女たちがいた。

On Marie's side were mostly Moorish women.

「副詞句」「動詞」「主語」

On Marie's side オン・マリーズ・サイト adv. マリーの側には

「副詞句」

were ワー 3 複過・存在(be)v.i ~がいた

「動詞」

mostly Moorish women. モウストリー・ムーアリッシュ・ウィミン

pl(woman).n 大部分はムーア人の女たちが

「主語」

Part 2 第2部

彼女は、唇を固く閉じた小柄な老婆と甲高い声でしゃべり、しじゅう身振り手振りをする帽子を被っていない太った女に挟まれていた。

She was wedged between a small old woman with tight-set lips and a fat matron, without a hat, who was talking shrilly and gesticulated all the time. 「主語」「動詞句」「副詞句」

She シー pron 彼女は 「主語」

was wedged ワズ・ウェッジド 3 単過・受動(wedge)

v.t 囲まれていた、押し込まれていた 「動詞句」

between ビトワイン prep 〜の間に 「副詞句」

a small old woman ア・スモール・オールド・ウーマン n. 小柄な老婆 「目的語」

with tight-set lips ウイズ・タイト・セット・リップ

adv. (様態) 唇を固く閉じた 「形容詞句」

and アンド conj. そして

a fat matron, ア・ファット・マトン n. 太った婦人 「目的語」

without a hat, ウイズアウト・ア・ハット

adv. (様態) 帽子を被っていない 「副詞句」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

was talking ワズ・トキング 3 単過・進行形・時制の一致(talk)

v.i 話をする 「動詞句」

shrilly シュリリー adv. 甲高い声で 「副詞」

and アンド conj. そして

gesticulated ジェスティキュレイティット 3 単過・時制の一致(gesticulate)

v.i 身振り手振りをする 「動詞」

all the time. オールザ・タイム adv. ずっと 「副詞句」

面会者と囚人の間に距離があるので、僕自身も大声で話さなければならぬと分かった。

Because of the distance between the visitors and prisoners I found I, too, had to raise my voice. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Because of ビ・コース・オブ prep. (理由) 〜のせいで、〜のために 「副詞句」

the distance ザ・ディスタンス n. 距離 「目的語」

between ビトワイン prep (場所) 〜の間の 「副詞句」

the visitors and prisoners ザ・ヴィジターズ・アント・プリズナース

pl.n 面会者と囚人 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

found ファウンド 1 単過(find)v.t 気付いた、分った 「動詞」

I, too, アイ・トゥ pron 僕自身も〜ということ 「目的語」

had to raise ハット・トゥ・レイズ 1 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞)

Part 2 第2部

v.t (声を) 張り上げなければならない 「動詞句」
 my voice. マイ・ヴォイス n. 声を 「目的語」

僕が部屋に入ると、剥き出しの壁に反射する騒々しい話声と、部屋に射し込み、全てをど
 ぎつい光の中に溢れさせる陽光のせいで、僕は激しいめまいを感じた。

When I came into the room the babel of voices echoing on the bare walls, and the sunlight streaming in, flooding everything in a harsh white glare, made me feel quite dizzy.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」

When ホエン conj. ～した時 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

came ケム 1 単過(come)v.i 来た 「動詞」

into the room イントウ・ザ・ルーム adv. 部屋の中に 「副詞句」

the babel of voices ベイブル・オブ・ヴォイスズ n. 騒々しい話声が 「主語」

echoing エコーイング 現在分詞(echo)adj. 反射する 「形容詞句」

on the bare walls, オン・ザ・ベア・ウォールズ

adv. (対象) 剥き出しの壁に 「間接目的語」

and アンド conj. そして

the sunlight ザ・サンライト n. 陽光が 「主語」

streaming in, ストリーミング・イン 現在分詞(stream)adj. 部屋に射し込む 「形容詞句」

flooding フラディング 現在分詞(flood)adj. 溢れさせる 「形容詞句」

everything エヴリシング pron すべてを 「目的語」

in a harsh white glare, イン・ナ・ハーシュ・ホワイト・グレア

adv. どぎつい光の中に 「副詞句」

made メイト 3 複過・使役(make)v.t(SVO+不定詞) O に～させた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「目的語」

feel フィール 不定詞・me の動作 v.i 感じる 「補語」

quite dizzy. クワイ・デイズー adj. ひどくめまいがする 「補語」

Part 2 第2部

僕の独房は比較的暗くて静かだったので、環境に慣れるのに少し時間がかかった。

After the relative darkness and the silence of my cell it took me some moments to get used to these conditions.

「副詞句」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「主語」

After アフター prep (結果) ~したのだから、(時間) ~の後で 「副詞句」

the relative darkness and the silence ザ・レラティヴ・ダークネス・アンド・ザ・サイレンス

n. 相対的な暗さと静けさ 「目的語」

of my cell オフ・マイ・セル adj. 僕の独房の 「形容詞句」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は to get 以降)

took トゥック 3 単過(take)v.t (時間が) かかった 「動詞」

me ミー pron 僕にとって 「間接目的語」

some moments サム・モメンツ pl.n 少しの時間が 「直接目的語」

to get used トゥ・ゲット・ユースト 不定詞(get used)n. ~に慣れることは 「主語」

to these conditions. トゥ・ジーズ・コンディションズ adv. 周囲の状況に 「間接目的語」

しかし少し時間が経つと、まるでスポットライトが射し込んでいるかのように照らし出されたそれぞれの顔が非常にくっきりと見えるようになった。

After a bit, however, I came to see each face quite clearly, lit up as if a spotlight played on it.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

After a bit, アフター・ア・ビット adv. 少しあとで 「副詞句」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

came to see ケイム・トゥ・シー 1 単過・開始(come to+不定詞 see)v.t 見えるようになった 「動詞句」

each face イーチ・フェイス n. それぞれの顔が 「目的語」

quite clearly, クワイ・クアリー adv. 非常にくっきりと 「副詞句」

lit up リット・アップ 過去分詞・受動(light up)adj. 照らし出された 「形容詞句」

as if アズ・イフ adv. まるで~のように 「副詞節」

a spotlight ア・スポットライト n. スポットライトが 「主語」

played プレイド 3 単過・時制の一致 v.t 照らしている 「動詞」

on it. オン・イット adv. その上を 「間接目的語」

Part 2 第2部

僕は、鉄格子の間の無人地帯の両端に、それぞれ看守が 1 人座っていることに気が付いた。

I noticed a prison official seated at each end of the no man's land between the grilles.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気付いた

「動詞」

a prison official ア・プリズン・オフィシャル n. 1 人の看守に

「目的語」

seated シーティット 過去分詞・様態 adv. 座っている

「副詞句」

at each end アット・イチ・エンド adv. それぞれの端に

「副詞句」

of the no man's land オブ・ザ・ノウ・マンス・ランド adj. 無人地帯の「形容詞句」

between the grilles. ビトウイン・ザ・グレルズ

adv.(grille) 鉄格子の間の

「副詞句」

フランス語の原文では

僕は、2つの鉄格子に挟まれた通路の端っこに、**看守が一人**座っていることに気が付いた。

J'ai observé qu'**un gardien** se tenait assis à l'extrémité du couloir entre les deux grilles.

地元の囚人と反対側にいるその家族は、互いに向き合ってしゃがんでいた。

The native prisoners and their relations on the other side were squatting opposite each other.

「主語」「動詞句」「補語」

The native prisoners ザ・ネイティヴ・プリズナース pl(prisoner).n 地元の囚人たちは

「主語」

and アンド conj. そして

their relations セア・リレイションズ pl(relation).n その親族たちは

「主語」

on the other side オン・スィ・アザー・サイト adv. 反対側の

「副詞句」

were squatting ワー・スクワッティング 3 複過・進行形(squat)v.i しゃがんでいた

「動詞句」

opposite オパジット adj. 向き合った

「補語」

each other. イーチ・アザー adv. 互いに

「副詞句」

フランス語の原文では

大部分のアラブ人の囚人たちとその家族は、向かい合ってしゃがんでいた。

La plupart des prisonniers arabes ainsi que leurs familles s'étaient accroupis en vis-à-vis.

Part 2 第2部

彼らは声を張り上げない。喧騒の中でも、ほとんど囁き声で何とか会話できるのだ。

They didn't raise their voices and, in spite of the din, managed to converse almost in whispers. 「主語」「動詞句」「目的語」 and 「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」

They ェイ pron.pl 彼らは 「主語」

didn't raise デイトント・レイズ 3 複過・否定・時制の一致(raise)

v.t (声を) 張りあげない 「動詞句」

their voices ェア・ウ・ォイスズ pl(voice).n 声を 「目的語」

and, アント conj. そして

in spite of イン・スパ・イト・オブ prep (譲歩) 〜にもかかわらず 「副詞句」

the din, ザ・デイン n. 騒音、喧噪 「目的語」

managed to converse マンジト・トゥ・コンヴァース 3 複過・遂行・時制の一致(manage to+不定詞)

v.i なんとか会話できる 「動詞句」

almost in whispers. オールモウスト・イン・ウィスパーズ adv. (手段) ほとんど囁き声で 「副詞句」

下から湧き上がるこの呟き声は、彼らの頭の上で繰り広げられる会話に対して一種の通奏低音を形成していた。

This murmur of voices coming from below made a sort of accompaniment to the conversations going on above their heads. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

This murmur of voices ズィス・マー・マ・オブ・ウ・ォイスズ n. この呟き声は 「主語」

coming カミング 現在分詞 adj. やって来る 「形容詞句」

from below フロム・ビロウ adv. 下から 「副詞句」

made メイト 3 単過(make)v.t 作っていた 「動詞」

a sort of ア・ソート・オブ prep 一種の〜を 「目的語」

accompaniment アカンパニメント n. 伴奏部を 「目的語」

to the conversations トゥ・ザ・カンバセーションズ adv. (対抗) 会話に対して 「副詞句」

going on ゴーイング・オン 現在分詞 adv. 進行する 「形容詞句」

above their heads. アバヴ・セア・ヘッズ adv. 彼らの頭の上で 「副詞句」

フランス語の原文では

低い位置から湧き上がる彼らの鈍いつぶやきは、彼らの頭の上で交錯しあう会話に、**ずっと鳴り続ける低音部**のようなものを形成していた。

Leur murmure sourd, parti de plus bas, formait comme **une basse continue** aux conversations qui s'entrecroisaient au-dessus de leurs têtes.

通奏低音

バロック音楽の演奏で、チェンバロなどの奏者が低音旋律と和音を示す数字に基づいて即興的に和音を補いながら伴奏部を弾くこと。また、その低音部。

Part 2 第2部

僕はこれらすべての事に素早く気付いた。それから、マリーに向かって一歩前に出た。

I took stock of all this very quickly and moved a step forward toward Marie.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

took トゥック 1 単過(take)v.t 判断した、気付いた

「動詞」

stock of all this ストック・オブ・オール・スィズ n. このすべての評価を

「目的語」

take stock of ... 「判断する、評価する」

very quickly ヴェリー・クイックリー adv. 非常に素早く

「副詞句」

and アンド conj. そして

moved ムーヴド 1 単過 v.t 移動した、動いた

「動詞」

a step ア・ステッピ n. 1 歩

「目的語」

forward フォーワード adv. 前方へ

「副詞句」

toward Marie. トゥワード・マリー adv. マリーの方へ

「副詞句」

彼女は褐色に日焼けした顔を鉄格子に押し付けながら、精一杯笑顔を見せていた。

She was pressing her brown, sun-tanned face to the bars and smiling as hard as she could.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「動詞句」「副詞句」

She シー pron 彼女は

「主語」

was pressing ワズ・プレッシング 3 単過・進行形(press)v.t 押し付けていた

「動詞句」

her brown, sun-tanned face ハー・ブラウン・サンタンド・フェイス n. 褐色に日焼けした顔を

「目的語」

to the bars トゥ・ザ・バーズ adv. 鉄格子に

「副詞句」

and アンド conj. そして

smiling スマイルング 3 単過・進行形(smile)v.i 笑っていた

「動詞句」

as hard as she could. アズ・ハート・アズ・シー・クッド adv. (程度) 出来るだけ一生懸命

「副詞句」

僕は彼女がとてもきれいに見えた。しかしなぜか、彼女にそう言う気になれなかった。

I thought she was looking very pretty, but somehow couldn't bring myself to tell her so.

「主語」「動詞」「目的語」,but 「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought ツート 1 単過(think)v.t 思った

「動詞」

she シー pron 彼女は～であるという事を

「目的語」

was looking ワズ・ルッキング 3 単過・進行形・時制の一致(look)v.i ～に見える

「動詞句」

very pretty, ヴェリー・プリティ adj. とてもきれいな

「補語」

but バット conj. しかし

somehow サムハウ adv. なぜか、どういうわけか

「副詞」

Part 2 第2部

couldn't bring myself クト・カント・ブリング・マイセルフ 1 単過・可能・やる気

(can+不定詞 bring oneself)v.pr(+to+不定詞) ~する気になれなかった 「動詞句」

bring oneself to+不定詞 「~する気になる」

bring O to+不定詞 「O に~するようにさせる」

to tell トゥ・テル 不定詞 v.t 言う

「動詞句」

her ハー pron 彼女に

「目的語」

so. ソウ adv. そのように

「副詞」

フランス語の原文では

僕は彼女がとても美しく見えたが、そのことを彼女に伝えることは出来なかった。

Je l'ai trouvée très belle, mais je **n'ai pas su** le lui **dire**.

→ ムルソーが言う気にならないのではなく、喧噪のせいで伝えられなかった。

「それで？」と、彼女は大声で尋ねた。「どうなの？大丈夫なの？必要なものはあるの？」

“Well?” she asked, pitching her voice very high. “What about it? Are you all right, have you everything you want?”

《「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」「副詞句」

《「質問」 | 「動詞」「主語」「補語」「動詞」「主語」「目的語」》

“Well?” ウェル adv. (談話標識) では、それで

「呼びかけ」

she シー pron 彼女は

「主語」

asked, アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

pitching ピッチング 現在分詞・同時(pitch)v.t 調節しながら

「副詞句」

her voice ハー・ヴォイス n. 声を

「目的語」

very high. ヴェリー・ハイ adj. (声が) 非常に甲高い

「形容詞句」

“What about it?” ファット・アバウト・イット adv. どうなの？

「質問」

Are アー 2 単現・疑問文(be)v.i ~なの？

「動詞」

you ユー pron あなたは

「主語」

all right, オール・ライト adj. 大丈夫

「補語」

have ハヴ 2 単現・疑問文 v.t ~があるの？

「動詞」

you ユー pron あなたは

「主語」

everything you want?” エヴリシング・ユー・ワント pron 必要なもの全て

「目的語」

「ああ、あるよ。必要なものはみなあるよ」

“Oh, yes. I've everything I want.”

《「応答」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

“Oh, yes. オー・イエス adv. ああ、あるよ

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

've ハヴ 1 単現(have)v.t ~がある

「動詞」

Part 2 第2部

everything I want.” エヴリシング・アイ・ウアント pron 必要なもの全て

「目的語」

僕たちはしばらくの間黙り込んだ；それでもマリーは微笑み続けていた。

We were silent for some moments; Marie went on smiling.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」

We ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

were ワー 1 複過・変化(be)v.i 〜になった

「動詞」

silent サイレント adj. 無言の

「補語」

for some moments; フォー・サム・モメンツ adv. しばらく

「副詞句」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

went on smiling. ウェント・オン・スマイリング 3 単過・継続(go on+現在分詞 smiling)

v.i 微笑み続けていた

「動詞句」

あの太った女が、僕の隣にいる留置人に向かって怒鳴っていた。どうも女の夫らしいが、背の高い、金髪の方のよい男だ。

The fat woman was bawling at the prisoner beside me, her husband presumably, a tall, fair, pleasant-looking man.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

The fat woman ザ・ファット・ウーマン n. あの太った女が

「主語」

was bawling ワズ・ボーリング 3 単過(bawl)・進行形 v.i 大声で怒鳴っていた

「動詞句」

at the prisoner アット・ザ・プリズナー adv. (対象) 留置人に

「間接目的語」

beside me, ビサイド・ミー adv. 僕の横の

「副詞句」

her husband ハー・ハズバンド n. 女の夫に

「間接目的語」

presumably, プレジューマブリー adv. どうも〜らしい

「副詞」

a tall, ア・トル adj. 背の高い

「形容詞」

fair, フェア adj. (髪が) 金髪の

「形容詞」

pleasant-looking プレザント・ルッキング adj. 感じの良い

「形容詞」

man. マン n. 男

「間接目的語」

「ジャンヌがあれを引き取らないって言うんだよ」と、女が叫んだ。「それはまずいな」と、男が答えた。

“Jeanne refused to have him,” she yelled. “That’s just too bad,” the man replied.

《「主語」「動詞句」「目的語」》, 「主語」「動詞」

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」

“Jeanne ジャンヌ n.f ジャンヌが

「主語」

refused to have リフューズト・トゥ・ハヴ 3 単過・拒絶・時制の一致(refuse to+不定詞 have)

v.t 連れて行かないと言っている

「動詞句」

Part 2 第2部

him,” ヒム pron 彼を 「目的語」
 she シー pron 女は 「主語」
 yelled. イェルト 3 単過(yell)v.i 叫んだ 「動詞」
 “That サット pron それは 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 just too bad,” ジャスト・トゥー・バッド adj. まずい 「補語」
 the man サ・マン n. 男は 「主語」
 replied. リプライト 3 単過(reply)v.i 答えた 「動詞」

「それで、あんたが出てこれたら、また引き取るからって言っても聞き入れないんだよ」

“Yes, and I told her you’d take him back the moment you got out; but she wouldn’t hear of it.”

《「応答」,and「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」;

but「主語」「動詞句」「間接目的語」》

“Yes, イェス adv. そうなんだよ 「応答」
 and アンド conj. それで
 I アイ pron 私は 「主語」
 told トルド 1 単過(tell)v.t 言った、伝えた 「動詞」
 her ハー pron 彼女に 「間接目的語」
 you ユー pron あなたが〜することを 「直接目的語」
 ’d take ...back ウッド・テイク...バック 2 単未・推量(take...back)
 v.t 連れ戻すだろう 「動詞句」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 the moment サ・モメント adv. (時点) 〜する時に 「副詞節」
 you ユー pron あんたが 「主語」
 got out; ゴット・アウト 2 単過・条件(get out)v.i 出てこれたら 「動詞句」
 but バット conj. しかし
 she シー pron 彼女は 「主語」
 wouldn’t hear ウドント・ヒア 3 単過・意志・否定・時制の一致(will+不定詞)
 v.i(of 事を) 聞き入れようとしない 「動詞句」
 of it.” オフ・イト adv. それを 「間接目的語」

Part 2 第2部

レーモンが僕によろしく言っていると、マリーが叫んだので、僕は「有難う」と言った。

Marie shouted across the gap that Raymond sent me his best wishes, and I said, "Thanks."

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」, and 「主語」「動詞」, 《「応答」》

Marie マリー n. マリーは

「主語」

shouted シャウト 3 単過(shout)v.t(that ～と) 叫んだ

「動詞」

across the gap アクロス・ザ・ギャップ adv. 鉄格子の向こうから

「副詞句」

across 「～を横切って」 gap 「隙間」 → 2 つの鉄格子によって隔てられた空間

that サット conj. ～ということを

「目的語」

Raymond レーモン n. レーモンが

「主語」

sent セント 3 単過(send)v.t 届けさせた

「動詞」

me ミー pron 私に

「間接目的語」

his best wishes, ヒズ・ベスト・ウィッシュズ pl.n 彼の挨拶を

「直接目的語」

and アンド conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

said, セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

"Thanks." サンクス adv. 有難う

「応答」

しかし僕の声は、「元気にしているのか？」と尋ねる隣の男の声でかき消された。

But my voice was drowned by my neighbor's, asking "if he was quite fit."

But 「主語」「動詞句」「副詞句」

But バット conj. しかし

my voice マイ・ヴォイス n. 僕の声は

「主語」

was drowned ワズ・ドrown 3 単過・受動(drown)v.t かき消された

「動詞句」

by my neighbor's, バイ・マイ・ネイバース adv. (動作主) 隣の男の声によって

「副詞句」

asking アスキング 現在分詞(ask)adv. ～と尋ねる

「形容詞句」

"if イフ conj. ～かどうか (疑問文)

he ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

quite fit." クワイ・フィット adj. 体の調子がいい、元気な

「補語」

Part 2 第2部

太った女は笑って見せた。「元気かって？この通り、元気そのものよ！」

The fat woman gave a laugh. “Fit? I should say he is! The picture of health.”

「主語」「動詞」「目的語」 《「補語」 「主語」「動詞句」「目的語」 「補語」》	
The fat woman ザ・ファット・ンマン n. 太った女は	「主語」
gave ケイヴ 3 単過(give)v.t 与えた	「動詞」
a laugh. ア・ラーフ n. 笑いを	「目的語」
“Fit? フィット adj. 体の調子が良い、元気な	「補語」
I アイ pron 私は	「主語」
should say シュット・セイ 1 単現・当然(should+不定詞)v.t ～と言って当然	「動詞句」
he is! ヒー・イズ n. その通り元気である	「目的語」
The picture of health.” ザ・ピクチャー・オブ・ヘルス n. 元気そのもの	「補語」

一方、僕の左隣の痩せて華奢な手をした若者は、一言も話さなかった。

Meanwhile the prisoner on my left, a youngster with thin, girlish hands, never said a word.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」	
Meanwhile ミンホワイル adv. その一方、一方では	「副詞」
the prisoner ザ・プリズナー n. 囚人は	「主語」
on my left, オン・マイ・レフト adv. 僕の左隣の	「副詞句」
a youngster ア・ヤングスター n. 若者は	「主語」
with ウイズ prep (様態・特徴) ～の	「副詞句」
thin, シン adj. やせた	「形容詞」
girlish hands, ガーリッシュ・ハンス pl(hand).n 華奢な手をした	「形容詞句」
never said ネヴァー・セッド 3 単過・否定(say)v.t 話さなかった	「動詞句」
a word. ア・ワート n. 一言も	「目的語」

僕は気付いたのだが、彼の視線は向かい側にいる小柄な老婆に向けられており、彼女はそれに対して飽くなき愛情のごとく答えていた。

His eyes, I noticed, were fixed on the little old woman opposite him, and she returned his gaze with a sort of hungry passion.

「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」「間接目的語」, and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」	
His eyes, ヒズ・アイズ pl(eye).n 彼の眼は、視線は	「主語」
I noticed, アイ・ノウチスト adv. 気が付いたのだが	「副詞節」
were fixed ワー・フィクスト 3 複過・受動(fix)v.t 向けられていた	「動詞句」
on the little old woman オン・ザ・リトル・オールド・ウーマン adv. 小柄な老婆に	「間接目的語」
opposite him, オポジット・ヒム adv. 彼の向かい側にいる	「副詞句」
and アンド conj. そして	

Part 2 第2部

she シー pron 彼女は 「主語」
 returned リターント° 3 単過 v.t 応じていた、答えていた 「動詞」
 his gaze ヒズ°・ゲイズ° n. 彼の凝視に 「目的語」
 with a sort of hungry passion. ウイズ°・ア・ソート・オブ°・ハングリー・パッション
 adv. (手段) 飽くなき愛情によって 「副詞句」

しかし、彼らを観察するのを止めなければならなかった。マリーが希望を失ってはいけな
 いと叫んだからだ。

But I had to stop looking at them as Marie was shouting to me that we mustn't lose hope.

But 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

But バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had to stop ハット°・トゥ・ストップ° 1 単過・必要(have to+不定詞 stop)
 v.t ~を止めなければならなかった 「動詞句」
 looking ルキング° 現在分詞(look)n.(at を) 見ること、観察を 「目的語」
 at them アット・ゼム adv. 彼らを 「間接目的語」
 as アズ° conj. (理由・原因) ~なので 「副詞節」
 Marie マリー n. マリーが 「主語」
 was shouting ワズ°・シャウティング° 3 単過・進行形(shout)v.t(that と) 叫んだ 「動詞句」
 to me トゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」
 that サット conj. ~ということ を 「直接目的語」
 we ウー pron.pl 私たちは 「主語」
 mustn't lose マスト・ルーズ° 1 複現・禁止(must not+不定詞)
 v.t 失ってはならない 「動詞句」
 hope. ホプ° n. 希望を 「目的語」

「もちろん、捨てないさ」と、僕は答えた。

“Certainly not,” I answered. 《「応答」》, 「主語」「動詞」

“Certainly not,” サートゥンリー・ノット adv. もちろん捨てないさ 「応答」

I アイ pron 僕は 「主語」

answered. アンサード° 1 単過 v.i 答えた 「動詞」

Part 2 第2部

僕の視線は彼女の肩の上で動きを止め、突然、ドレスの薄い生地の上から肩を抱きしめた
いという願望が込み上げた。

My gaze fell on her shoulders, and I had a sudden longing to squeeze them through the thin dress. 「主語」「動詞」「間接目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

My gaze マイ・ゲイズ^ゝ n. 僕の視線は、注視 「主語」

fell フェル 3 単過(fall)v.i (視線が) 向けられた 「動詞」

on her shoulders, オン・ハー・ショウルダース^ゝ adv. 彼女の肩に 「間接目的語」

and アンド^ゝ conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット^ゝ 1 単過(have)v.t (感情を) 持った 「動詞」

a sudden longing ア・サドゥン・ロンギング^ゝ n. 突然の願望を 「目的語」

to squeeze トゥ・スクイズ^ゝ 不定詞・目的 adj. 抱きしめるという 「形容詞句」

them, ゼム pron.pl それを 「目的語」

through スルー prep (貫通) 〜の上から、〜を通して 「副詞句」

the thin dress. ザ・シン・ドレス n. ドレスの薄い生地 「目的語」

僕は絹のような生地の質感に魅了された。そして彼女がなぜか集中的に話した希望の感覚を感じた。

Its silky texture fascinated me, and I had a feeling that the hope she spoke of centered on it somehow. 「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

Its silky texture イッツ・シルキー・テクスチャー n. その絹のような生地の質感は 「主語」

fascinated ファシネイティット^ゝ 3 単過 v.t 魅了した 「動詞」

me, ミ pron 僕を 「目的語」

and アンド^ゝ conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット^ゝ 1 単過(have)v.t (感覚を) 感じた 「動詞」

a feeling ア・フィーリング^ゝ n. 感覚 「目的語」

that ザット conj. (同格) 〜という 「形容詞節」

the hope ザ・ホープ n. 希望 「目的語」

she シー pron 彼女が 「主語」

spoke スポーク 3 単過(speak)v.t 話した 「動詞」

of centered on it, オフ・センタート・オン・イット adv. それに集中的に 「副詞句」

somehow. サムハウ adv. なぜか 「副詞」

Part 2 第2部

僕は同じ気持ちがマリーの心にもあったと想像する。なぜなら彼女は僕をじっと見つめて、
微笑み続けていたから。

I imagine something of the same sort was in Marie's mind, for she went on smiling, looking straight at me.

I アイ pron 僕は

「主語」

imagine イマジン 1 単現 v.t 想像する

「動詞」

something of the same sort サムシング・オブ・ザ・セイム・ソート

n. (主語) 同種の何かが～することを

「目的語」

was ワズ 3 単過・存在・時制の一致(be)v.i (存在) がある

「動詞」

in Marie's mind, イン・マリーズ・マインド adv. マリーの心に

「副詞句」

for フォー conj. (理由) ～なので

「副詞節」

she シー pron 彼女は

「主語」

went on smiling, ウェント・オン・スマイリング 3 単過・継続(go on+現在分詞 smile)

v.i 笑い続けていた

「動詞句」

looking ルキング 現在分詞・同時 adv. 見ながら

「副詞句」

straight at me. ストレイト・アット・ミー adv. 僕をまっすぐに

「副詞句」

「きっと、無罪になるわ。そうしたら、私たちは結婚するのよ」

"It'll all come right, you'll see, and then we shall get married."

《「主語」「動詞句」「補語」「呼びかけ」,and「副詞」「主語」「動詞句」「補語」》

"It イット pron それは

「主語」

'll all come ウィル・オール・カム 3 単未・予測(will+不定詞 come)v.i ～になるだろう

「動詞句」

right, ライト adj. 好ましい

「補語」

you'll see, ユー・ル・シー adv. ねえ

「呼びかけ」

and アンド conj. そして

then セン adv. そうしたら

「副詞」

we ウー pron.pl 私たちは

「主語」

shall get シャル・ゲット 1 複未・意志・変化(shall+不定詞 get)v.i ～になる

「動詞句」

married." マリット adj. 結婚した

「補語」

Part 2 第2部

いま僕の目に入るのは、マリーの歯のきらめく白さと目の周りの小さな皺だけだった。

All I could see of her now was the white flash of her teeth, and the little puckers round her eyes. 「主語」「動詞」「補語」

All オール pron (目的語) ～する全ては、～するのは (... だけだ) 「主語」

I アイ pron 僕が 「主語」

could see クット・シー 1 単過・可能(could+不定詞)v.t 見ることが出来た 「動詞句」

of her オフ・ハー adv. 彼女について 「間接目的語」

now ナウ adv. 今 「副詞」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

the white flash ザ・ホワイト・フラッシュ n. きらめく白さ 「補語」

of her teeth, オフ・ザ・ティース adj. 歯の 「形容詞句」

and アンド conj. そして

the little puckers ザ・リトル・パカズ pl(pucker).n 小さな皺 「補語」

round her eyes. ラウント・ハー・アイズ adv. 目の周りの 「副詞句」

フランス語の原文では

この文と前の文の順序が逆になっている。

僕にはもう、彼女の歯の輝きと目許の小さなしわしか見えなかった。

Je ne voyais plus que l'éclat de ses dents et les petits plis de ses yeux.

マリーがもう一度叫んだ：「あなたが出てきたら、私たちは結婚するのよ！」

Elle a crié de nouveau: «Tu sortiras et on se mariera!»

僕は答えた：「本当にそう思っているのかい?」、しかしなによりも、何かを答えようとしてその言葉が湧いてくるのを感じたからだ。

I answered: "Do you really think so?" but chiefly because I felt it up to me to answer something. 「主語」「動詞」：《「動詞句」「主語」「副詞」「動詞句」「副詞」》,

but 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

answered: アンサード 1 単過 v.t 答えた 「動詞」

"Do ...think トゥ...シンク 2 単現・疑問文 v.t 思っているの? 「動詞句」

you ユー pron 君は 「主語」

really リアリー adv. 本当に 「副詞」

so?" ソウ adv. そのように 「副詞」

but バット conj. しかし

chiefly because チーフリー・ビコーズ adv. (理由) なによりも～だから 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.t 感じた 「動詞」

Part 2 第2部

it イット pron. それが 「目的語」
 up アップ 不定詞・it の動作 v.i 湧いてきた 「補語」
 to me トゥ・ミー adv. 僕の心に 「副詞句」
 to answer トゥ・アンサー 不定詞・目的 adv. 答えるために 「副詞句」
 something. サムシング pron. 何かを 「目的語」

彼女は、とても早口で、相変わらずの金切り声で話し始めた。「そうよ、結婚するわ。あなたは無罪になって、日曜日には海水浴に行けるようになるのよ」

She started talking very fast in the same high-pitched voice.

“Yes, you’ll be acquitted, and we’ll go bathing again. Sundays.”

「主語」「動詞句」「副詞句」

《「応答」「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞句」「副詞句」》

She シー pron. 彼女は 「主語」
 started talking スターテイト・トークング 3 単過・開始(start+現在分詞)v.i 話し始めた 「動詞句」
 very fast ヴェリー・ファースト adv. とても早口で 「副詞句」
 in the same high-pitched voice. イン・ザ・セイム・ハイレッド・ヴォイス
 adv. (手段) 相変わらずの金切り声で 「副詞句」
 “Yes, イェス adv. (肯定) 結婚するわ! 「応答」
 you ユー pron. あなたは 「主語」
 ‘ll be acquitted, ウィル・ビー・アクワイティッド 2 単未・受動・推量(will+不定詞・受動)
 v.t 無罪を宣告される 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 we ウィー pron. 私たちは 「主語」
 ‘ll go bathing ウィル・ゴウ・ベイング 1 複未・可能性(will 不定詞 go+現在分詞)
 v.i 海水浴に行ける 「動詞句」
 again, アゲイン adv. また 「副詞」
 Sundays.” サンデイズ adv. 日曜日に 「副詞」

だが、マリーの隣の別の女が、刑務所の受付で、夫宛に差し入れのバスケットを置いてきたと大声をあげた。

The woman beside me was still yelling away, telling her husband that she’d left a basket for him in the prison office.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

The woman ザ・ウーマン n. 女が 「主語」
 beside me ビーズァイト・ミー adv. 僕の隣の 「副詞句」

僕は「囚人の場所」にいるので、隣に女がいるのはおかしい! → マリーの隣の

was still yelling away, ワズ・スティル・イェリング・アウェイ 3 単過・進行形(yell)

Part 2 第2部

v.i だが大声を上げた	「動詞句」
still スティル adv. しかし、それでも	
telling テリング 3 単過・進行形(tell)v.t 言っていた	「動詞」
her husband ハー・ハズ・バント n. 夫に	「間接目的語」
that ザット conj. ～ということを	「直接目的語」
she シー pron 女は	「主語」
'd left ハット・レフト 3 単過・完了形(leave)v.t 置いてきた	「動詞句」
a basket ア・バスケット n. バスケットを	「目的語」
for him フォー・ヒム adv. 彼当てに	「副詞句」
in the prison office. イン・ザ・プリズン・オフィス adv. 刑務所の受付に	「副詞句」

フランス語の原文では

だがマリーの隣の別の女が、わめき声をあげて、書記課に差し入れを預けたと言った。

Mais l'autre femme hurlait de son côté et disait qu'elle avait laissé un panier au greffe.

女は持ってきた品物の目録を数え上げて、どれもとても高かったのだから、注意深く確認
しなさいと夫に言った。

She gave a list of the things she'd brought and told him to mind and check them carefully,
as some had cost quite a lot.

	「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」「補語」「副詞節」
She シー pron 彼女は	「主語」
gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 伝えた、数え上げた	「動詞」
a list of the things ア・リスト・オブ・ザ・シングズ n. 物の目録を	「目的語」
she'd brought シー・ハット・ブrought adj. 彼女が持ってきた	「形容詞節」
and アント conj. そして	
told トルド 3 単過(tell)v.t (SVO to+不定詞) O に～しなさいと言った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「目的語」
to mind and check トゥ・マインド・アント・チェック 不定詞・him の動作	
v.t しっかり調べる	「補語」
them ゼム pron.pl 物を	「目的語」
carefully, ケアフルー adv. 注意深く	「副詞」
as アズ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
some サム pron.pl どれもが	「主語」
had ハット 3 複過・時制の一致(have)v.t ～がある	「動詞」
cost コスト n. 値段	「目的語」
quite a lot. クワイ・ア・ロット adj. とても高い	「形容詞句」

Part 2 第2部

僕の隣の若者とその母親はまだ悲し気に見つめ合っていた。そして僕たちの足元ではアラブ人たちの喧きがだらだらと続いていた。

The youngster on my other side and his mother were still gazing mournfully at each other, and the murmur of the Arabs droned on below us.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」, and 「主語」「動詞句」「副詞句」
 The youngster ザ・ヤングスター n. その若者は 「主語」
 on my other side オン・マイ・アザー・サイト adv. (位置) 僕のもう一方の隣の 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 his mother ヒズ・マザー n. その母親は 「主語」
 were still gazing ワー・スティル・ゲイジング 3 複過・進行形(gaze+still)
 v.i まだ見つめていた 「動詞句」
 mournfully モーンフリー adv. 悲し気に 「副詞」
 at each other, アット・イチ・アザー adv. お互いに 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 the murmur ザ・マーマー n. 喧きは 「主語」
 of the Arabs オブ・ズィ・アラブズ adj. アラブ人たちの 「形容詞句」
 droned on ドロント・オン 3 単過・継続(drone on)v.i だらだらと続いていた 「動詞句」
 below us. ビロウ・アッス adv. (位置) 僕たちの足元で 「副詞句」

足元と足下（あしもと）

足元：立っている場所の付近

足下：立っている場所

「足下」よりも、「足元」の方が広い範囲を指します。

外の光が窓に向かって湧きあがり、そこから漏れ出して、光に向き合った人々の顔に黄色い油を塗りつけているように思われた。

The light outside seemed to be surging up against the window, seeping through, and smearing the faces of the people facing it with a coat of yellow oil.

「主語」「動詞句」「補語」, 「補語」 and 「補語」
 The light ザ・ライト n. 光が 「主語」
 outside アウトサイト adj. 外の 「形容詞」
 seemed to be+現在分詞 シームト・トゥ・ビー 3 単過・感想(seem)
 v.i ~するように思われた 「動詞句」
 surging up サージング・アップ 現在分詞 adj. 湧き上がっている 「補語」
 against the window, アゲンスト・ザ・ウインドウ adv. 窓に向かって 「副詞句」
 seeping through, シーピング・スルー 現在分詞 adj. 漏れ出している 「補語」
 and アンド conj. そして

Part 2 第2部

smearing スミアリング 現在分詞 adj. 塗りつけている 「補語」
 the faces ザ・フェイスズ pl.n 顔を 「目的語」
 of the people オフ・ザ・ピープル adj. 人々の 「形容詞句」
 facing フェイシング 現在分詞(face)v.t 向き合っている 「形容詞句」
 it イット pron 光に 「目的語」
 with a coat ウイズ・ア・コート adv. (手段) 塗装で 「副詞句」
 of yellow oil. オフ・イエロウ・オイル adj. 黄色い油の 「形容詞句」

僕は少し気分が悪くなってきたので、この場を離れたいと思った。

I began to feel slightly squeamish, and wished I could leave.

「主語」「動詞句」「補語」,and「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 began to feel ビギン・トゥ・フィール 1 単過・開始(begin to+不定詞)
 v.i(SVC) ～だと感じ始めた 「動詞句」
 slightly スライトリー adv. 少し 「副詞」
 squeamish, スクイミッシュ adj. 気持ちが悪い 「補語」
 and アンド conj. そして
 wished ウィッシュト 1 単過・願望(wish)v.t (that 節) ～を望んだ 「動詞」
 I アイ pron 僕が～することを 「目的語」
 could leave. クット・リーヴ 1 単過・可能性・時制の一致(can+不定詞)
 v.i 離れられる 「動詞句」

僕の近くのかん高い話声が耳障りだった。

The strident voice beside me was jarring on my ears.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 The strident ザ・ストライデント adj. かん高い 「形容詞句」
 voice ヴォイス n. 声が 「主語」
 beside me ビサイド・ミー adv. (場所) 僕の近くの 「副詞句」
 was jarring ワズ・ジャリング 3 単過・進行形(jar)
 v.i (音が耳に) さわった、不快感を与えた 「動詞句」
 on my ears. オン・マイ・イヤーズ adv. 僕の耳に 「副詞句」

しかし、一方では、できるだけ長くマリーと一緒にいたいと思っていた。

But, on the other hand, I wanted to have the most I could of Marie's company.

But, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 But, バット conj. しかし
 on the other hand, オン・スィ・アザー・ハント adv. 一方では 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」

Part 2 第2部

wanted to have ウォンテイト・トゥ・ハヴ 1 単過・願望(want to+不定詞)

v.t 持ちたいと思っていた

「動詞句」

the most I could ザ・モスト n. 僕が持てる最大限を

「目的語」

of Marie's company. オフ・マリズ・カンパニー adj. マリーの同席の

「形容詞句」

どれほど時間が経ったのか分からない。

I've no idea how much time passed.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

've ハヴ 1 単現(have)v.t ~がある

「動詞」

no idea ノ・アイデア n. 考えが~ない

「目的語」

how much time ハウ・マッチ・タイム adv. どれほどの時間が~するかという 「形容詞節」

passed. パスト 3 単過(pass)v.i(時間が) 経った

「動詞」

マリーがいつもの笑顔で僕に仕事のことを話してくれたことを覚えている。

I remember Marie's describing to me her work, with that set smile always on her face.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

remember リメンバー 1 単現 v.t(that) ~を覚えている

「動詞」

n. ~ということ

「目的語」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

's describing ワズ・デイスクリベイング 3 単過・進行形(describe)

v.t 話していた

「動詞句」

to me トゥ・ミー adv. 僕に

「間接目的語」

her work, ハー・ワーク n. 彼女の仕事のことを

「直接目的語」

with that set smile ウイズ・ザット・セット・スマイル

adv. (様態) いつもの笑顔で

「副詞句」

→ その設定された笑顔で

always on her face. オールウェイズ・オン・ハー・フェイス

adv. いつでも顔に浮かべている

「副詞句」

叫びと会話と例の小声の呟きが入り混じるざわめきは一瞬も途絶えることはなかった。

There wasn't a moment's letup in the noise—shouts, conversations, and always that muttering undertone.

「動詞句」「主語」「副詞句」

There wasn't ゼア・ワズント 3 単過・存在・否定(there be)v.i ~がなかった

「動詞句」

a moment's ア・モメンツ adj. 一瞬の

「形容詞句」

letup レットアップ n. 停止

「主語」

Part 2 第2部

in the noise— インザ・ノイズ n. ざわめきの中で 「副詞句」
 shouts, conversations, シャウト・カンヴァーゼーションズ pl.n 叫びと会話 「目的語」
 and アンド conj. そして
 always オールウェイズ adv. 相変わらずの 「副詞」
 that muttering サット・マタリグ n. あの呟き 「目的語」
 undertone. アンダー トーン adj. 小声の 「形容詞」

あの若者と老婆がお互いに見つめ合って、唯一の静寂のオアシスを作り出していた。

The only oasis of silence was made by the young fellow and the old woman gazing into each other's eyes. 「主語」「動詞句」「副詞句」

The only oasis スィ・オアシス n. 唯一のオアシスは 「主語」
 of silence オフ・サイレンス adj. 沈黙の 「形容詞句」
 was made ワズ・メイド 3 単過・受動(make)v.t 作られていた 「動詞句」
 by バイ prep (動作主) 〜によって 「副詞句」
 the young fellow ザ・ヤング・フェロー n. あの若者 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the old woman スィ・オールド・ウーマン n. あの老婆 「目的語」
 gazing ゲイジング 現在分詞(gaze)v.i(into を) 見つめている 「形容詞句」
 into each other's eyes. イントゥ・イチ・アサース・アイズ
 adv. お互いの目を 「間接目的語」

それからアラブ人たちが一人ずつ連れていかれた；最初の一人が出ていくと、ほとんど全員が黙り込んだ。

Then, one by one, the Arabs were led away; almost everyone fell silent when the first one left. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」; 「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Then, セン adv. それから 「副詞」
 one by one, ワン・バイ・ワン adv. 一人ずつ 「副詞句」
 the Arabs スィ・アラブズ pl.n アラブ人たちが 「主語」
 were led ワー・レド 3 複過・受動(lead)v.t(away) 連れていかれた 「動詞句」
 away; アウェイ adv. 外へ 「副詞」
 almost everyone オールモスト・エヴリワン n. ほとんど全員が 「主語」
 fell フェル 3 単過・状態変化(fall)v.i(SVC) 〜になった 「動詞」
 silent サイレント adj. 沈黙した 「補語」
 when ホエン conj. 〜すると 「副詞節」
 the first one ザ・ファースト・ワン n. 最初の一人が 「主語」
 left. レフト 3 単過・時制の一致(leave)v.i 立ち去る、出ていく 「動詞」

Part 2 第2部

あの小柄な老婆が鉄格子にすがりつくと、同時に、看守が息子の肩を叩いた。

The little old woman pressed herself against the bars and at the same moment a jailer tapped her son's shoulder.

「主語」「動詞句」「副詞句」 and 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」
 The little old woman ザ・リトル・オールド・ウーマン n. あの小柄な老婆が 「主語」
 pressed herself プレスト・ハーセルフ 3 単過・再帰動詞(press oneself)
 v.pr 自分自身を押し付けた 「動詞句」
 against the bars アゲンスト・ザ・バーズ adv. 鉄格子に向かって 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 at the same moment アット・ザ・セム・モメント adv. 同時に 「副詞句」
 a jailer ア・ジェイラー n. 看守が 「主語」
 tapped タップト 3 単過(tap)v.t 軽くたたいた 「動詞」
 her son's shoulder. ハー・サンズ・ショウルダ― n. 息子の肩を 「目的語」

息子は「さようなら、お母さん」と声に出して言った。すると老婆は、鉄格子の間に手を滑り込ませて、小さくゆっくりと手を振り別れの合図を送った。

He called, “Au revoir, Mother,” and, slipping her hand between the bars, she gave him a small, slow wave with it.

「主語」「動詞」, 《「挨拶」》, and,
 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「副詞句」
 He ヒー pron 息子は 「主語」
 called, コールト 3 単過 v.t 声に出して言った 「動詞」
 “Au revoir, Mother,” オールヴワール・マザー adv. さようなら、お母さん 「挨拶」
 and, アンド conj. そして
 slipping スリッピン グ 現在分詞・同時(slip)v.t ～を滑り込ませながら 「副詞句」
 her hand ハー・ハント n. 片手を 「目的語」
 between the bars, ビトウイン adv. (場所) 鉄格子の間に 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 gave ケイヴ 3 単過(give)v.t 与えた 「動詞」
 him ヒム pron 息子に 「間接目的語」
 a small, slow wave ア・スモール・スロウ・ウェイヴ n. 小さくゆっくりとした振る合図を 「直接目的語」
 with it. ウイズ・イット adv. (手段) その手で 「副詞句」

Part 2 第2部

老婆が出ていくとすぐに、帽子を手を持った男が彼女のいた場所に入った。

No sooner was she gone than a man, hat in hand, took her place.

No sooner 「動詞」「主語」「補語」 than 「主語」「動詞」「目的語」

No sooner ノウ・スナー adv. (no sooner ... than ...) ... するとすぐに～する

was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ～になった

「動詞」

she シー pron 彼女が

「主語」

→ No sooner が「副詞句」なので was she のように「動詞」「主語」の順に倒置される

gone ゴン adj. 出て行った

「補語」

than ザン conj. ～よりも

a man, ア・マン n. 男が

「主語」

hat in hand, ハット・イン・ハント adj. 手に帽子を持った

「形容詞句」

took トック 3 単過(take)v.t (場所に) 入った、取った

「動詞」

her place. ハー・プレイス n. 彼女のいた場所

「目的語」

ひとりの囚人が僕のそばの空いた場所に連れてこられ、二人は盛んに会話を始めた。しかし、面会所がすでに比較的静かになっていたので、あまり大声ではなかった。

A prisoner was led up to the empty place beside me, and the two started a brisk exchange of remarks—not loud, however, as the room had become relatively quiet.

「主語」「動詞句」「副詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」 --- 「副詞句」

A prisoner ア・プリズナー n. 一人の囚人が

「主語」

was led ワズ・レット 3 単過・受動(lead)v.t 連れてこられた

「動詞句」

up to アップ・トゥ prep (場所) ～まで

「副詞句」

the empty place ズィ・エンpty・プレイス n. その空いた場所

「目的語」

beside me, ビ・サイト・ミー adv. 僕のそばの

「副詞句」

and アント conj. そして

the two ザ・トゥ pron 二人は

「主語」

started スターテット 3 複過 v.t 始めた

「動詞」

a brisk exchange ア・ブリス・イクスチェンジ n. 活発な交換を

「目的語」

of remarks— オブ・リマークス adj. 意見の

「形容詞句」

→ さかんに会話を始めた

not loud, ノット・ラウト adv. あまり大声ではなく

「副詞句」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

as アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

the room ザ・ルーム n. 面会所は

「主語」

had become ハット・ビカム 3 単過・完了形・状態変化(become)

v.i ～になっていた

「動詞句」

Part 2 第2部

relatively quiet. レラティヴリー・クワイエット adj. わりあい静かな

「補語」

看守がやって来て、僕の右側の男を呼び出した。するとその妻が彼に向かって叫んだ。

---彼女はまだ叫ぶ必要がないことに気づいていないようだった---

「体に気を付けて、軽はずみなことはしないように注意するんだよ！」

Someone came and called away the man on my right, and his wife shouted at him—she didn't seem to realize it was no longer necessary to shout—“Now, mind you look after yourself, dear, and don't do anything rash!”

「主語」「動詞」and「動詞句」「目的語」「副詞句」,and「主語」「動詞」「間接目的語」
 ---「主語」「動詞句」「目的語」---《「副詞」「動詞」「目的語」》

Someone サムワン pron 看守が、誰かが

「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i やってきた

「動詞」

and アンド conj. そして

called away コールト・アウェイ 3 単過(call away)v.t 呼び出した

「動詞句」

the man ザ・マン n. 男を

「目的語」

on my right, オン・マイ・ライト adv. 僕の右側の

「副詞句」

and アンド conj. そして

his wife ヒズ・ワイフ n. その妻は

「主語」

shouted シャウト 3 単過 v.i 叫んだ

「動詞」

at him—アット・ヒム adv. 彼に向かって

「間接目的語」

she シー pron 彼女は

「主語」

didn't seem to realize デイ・ント・シム・トゥ・リアライズ 3 単過・否定(seem to+不定詞 realize)

v.t 気づかないようだった

「動詞句」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は to shout）

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

no longer necessary ノウ・ロウガ―・ネサリ adj. もう必要ない

「補語」

to shout—トゥ・シャウト 不定詞 n. 叫ぶことは

「主語」

“Now, ナウ adv. ところで

「副詞」

mind マインド 命・2 単現 v.t 覚えておきなさい

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

you ユー pron あなたは

「主語」

look after yourself, ルック・アフター・ユアセルフ 2 単現(look after oneself)

v.pr 自分の体に気を付ける

「動詞句」

dear, デア n. あんた

「呼びかけ」

and アンド conj. そして

Part 2 第2部

don't do トント・ドゥ 命・2 単現・否定 v.t するな 「動詞句」
 anything エニシング pron 何も 「目的語」
 rash! ラッシュ adj. 軽はずみな 「形容詞」

次に僕の番が来た。マリーは僕に投げキスをした。僕は出ていくときに振り向いた。

My turn came next. Marie threw me a kiss. I looked back as I walked away.

「主語」「動詞」「副詞」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 「主語」「動詞句」「副詞節」

My turn マイ・ターン n. 僕の順番が 「主語」
 came ケム 3 単過(come)v.i やって来た 「動詞」
 next. ネクスト adv. 次に 「副詞」
 Marie マリー n. マリーは 「主語」
 threw スルー 3 単過(through)v.t 投げた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 a kiss. ア・キス n. キスを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 looked back ルクト・バック 1 単過(look back)v.i 振り返った 「動詞句」
 as アズ conj. (時) ~する時に 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 walked away. ウォークト・アウェイ 1 単過・時制の一致(go away)v.i 立ち去る 「動詞句」

彼女は動かずにいた；彼女はまだ鉄格子に顔を押し付けていたし、彼女の唇は、緊張で歪んだあの微笑みのせいで半開きのままだった。

She hadn't moved; her face was still pressed to the rails, her lips still parted in that tense, twisted smile.

「主語」「動詞句」；「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」

She シー pron 彼女は 「主語」
 hadn't moved; ハント・ムート 3 単過・完了形・否定(move)v.i 動かずにいた 「動詞句」
 her face ハー・フェイス n. 彼女の顔は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 still スティル adv. まだ 「副詞」
 pressed プレスト 過去分詞・受動(press)adj. 押し付けられた 「補語」
 to the rails, トゥ・ザ・レイルズ adv. 鉄格子に 「副詞句」
 her lips ハー・リップス pl(lip).n 彼女の唇は 「主語」
 still スティル adv. まだ 「副詞」
 parted パーティット 3 複過 v.i 離れていた 「動詞」

Part 2 第2部

in イン prep (様態) 〜で 「副詞句」

that tense, twisted ザット・テンス・トワイステッド

adj. あの緊張して歪んだ 「形容詞句」

smile. スマイル n. 微笑み 「目的語」

その後すぐに、僕は彼女からの手紙を受け取った。そしてこの時、僕が決して話す気にならない物事が始まった。

Soon after this I had a letter from her. And it was then that the things I've never liked to talk about began.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」 | And 「動詞」 「副詞」 「主語」

Soon after this スーン・アフター・ズィス adv. この後すぐに 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t (手紙を) 受け取った 「動詞」

a letter ア・レター n. 手紙を 「目的語」

from her. フロム・ハー adv., 彼女から 「副詞句」

And アント conj. そして

it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

then ゼン adv. その時 「副詞」

that ザット conj. 〜ということは 「主語」

the things ザ・シングズ pl(thing).n 物事が 「主語」

(that ザット pron (目的語) 〜する) 「形容詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

've never liked to talk about ハヴ・ェ・ネヴァ・アー・ライク・ト・ク・アバウト 1 単現・完了形・否定

(like to+不定詞 talk)

v.i(about について) 話したいと思わない 「動詞句」

began. ビギン 3 複過(begin)v.i 始まった 「動詞」

それらが特にひどいのではない；僕は誇張したいと思わないし、それほど辛くもない。

Not that they were particularly terrible; I've no wish to exaggerate and I suffered less than others.

「補語」; 「主語」 「動詞」 「目的語」 and 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Not that ノット・ザット conj. 〜ということではない 「補語」

they ゼイ pron.pl それらは 「主語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

particularly terrible; パティキュラー・テリブル adj. 特にひどく悪い 「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」

Part 2 第2部

've ハヴ` 1 単現(have)v.t	～がある	「動詞」
no wish ノウ・ウィッシュ n.	希望～がない	「目的語」
to exaggerate トゥ・エグザジャレイト	不定詞・目的 adv. 誇張する	「形容詞句」
and アンド` conj.	そして	
I アイ pron	僕は	「主語」
suffered サファート` 1 単過・時制の一致 v.i	苦しんでいる	「動詞」
less than others. レス・ザン・アサース` adv.	他人より少なく	「副詞句」

それでも、最初の頃は 1 つ辛いことがあった。それはまったく面倒な問題、つまり僕の自由人のような考え方の癖だった。

Still, there was one thing in those early days that was really irksome: my habit of thinking like a free man.

「副詞」, 「動詞句」「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」: 「補語」		
Still, スティル adv.	それでも	「副詞」
there was ゼア・ワズ` 3 単過・存在(there be)v.i	～があった	「動詞句」
one thing ワン・シング` n.	(辛い事が) 一つ	「主語」
in those early days イン・ゾウ・ウス・アーリー・デイズ` adv.	最初の頃は	「副詞句」
that ザット pron	それは	「主語」
was ワズ` 3 単過(be)v.i	～だった	「動詞」
really irksome: リアリー・イルクサム adj.	まったく面倒な	「補語」
my habit of thinking マイ・ハビット・オブ・シンキング` n.	僕の考え方の癖	「補語」
like a free man. ライク・ア・フリー・マン adj.	自由人のような	「形容詞句」

例えば、僕は急に浜辺に降りて行って泳ぎたいという欲望にかられることがある。

For instance, I would suddenly be seized with a desire to go down to the beach for a swim.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」		
For instance, フォー・インスタンス adv.	例えば	「副詞句」
I アイ pron	僕は	「主語」
would suddenly be seized ウット・サト・ンリー・ビー・シズト` 1 単現・可能性・受動		
(would +不定詞・受動)v.t(with に)	突然とらえられるかもしれない	「動詞句」
with a desire ウイズ・ア・ディザイア` adv.	(原因) 欲望に	「副詞句」
to go down トゥ・ゴウ・ダウン` 不定詞・同格 adj.	降りていくという	「形容詞句」
to the beach トゥ・ザ・ビーチ` adv.	浜辺に	「間接目的語」
for a swim. フォー・ア・スイム` adv.	(目的) 泳ぎに	「副詞句」

Part 2 第2部

そこでもし、足元のさざ波の音や泳ぐ時に体に触れる水の滑らかさや解放感を想像しよう
ものなら、残酷にも僕の独房の狭さを思い知らされるのだった。

And merely to have imagined the sound of ripples at my feet, the smooth feel of the water on my body as I struck out, and the wonderful sensation of relief it gave brought home still more cruelly the narrowness of my cell.

And 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

And アント conj. そして

merely to have imagined ミアリー・トゥ・ハヴ・イマジント to 不定詞・完了形・仮定・条件

adv. ただ～を想像したとすると

「副詞句」

merely は強調 「～したりすれば、～しようものなら」

the sound of ripples ザ・サント・オブ・リップルズ n. さざ波の音を

「目的語」

at my feet, アット・マイ・フィート adv. 僕の足元の

「副詞句」

the smooth feel ザ・スムース・フィール n. なめらかな感触を

「目的語」

of the water オフ・ザ・ウォーター adj. 水の

「形容詞句」

on my body オン・マイ・ボデー adv. 体に触れる

「副詞句」

as アズ conj. (時) ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

struck out, ストラック・アウト 1 単過・時制の一致(strike out)

v.i (特に) 泳ぐ

「動詞句」

and アント conj. そして

the wonderful sensation ザ・ワンダフル・センセーション n. 素晴らしい感覚を

「目的語」

of relief オフ・リリーフ adj. 解放の

「形容詞句」

it イット pron そのことは

「主語」

gave brought home ゲイヴ・ブrought・ホーム 3 単過(bring home)

v.t 分からせる、思い知らせる

「動詞句」

still more cruelly スティル・モア・クルーエリー adv. さらに残酷に

「副詞句」

the narrowness ザ・ナウネス n. 狭さを

「目的語」

of my cell. オフ・マイ・セル adj. 僕の独房の

「形容詞句」

しかし、そのような時期は数か月しか続かなかった。その後は、囚人の思考になった。

Still, that phase lasted a few months only. Afterward, I had prisoner's thoughts.

「副詞」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Still, スティル adv. (接続詞に) それでも

「副詞」

that phase ザット・フェーズ n. そのような時期は

「主語」

lasted ラースティット 3 単過 v.i (ある時期が) 続いた

「動詞」

a few months only. ア・フュー・マンツ・オンリー adv. 数か月だけ

「副詞句」

Part 2 第2部

Afterward, アフターワート^{adv} その後は 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット¹ 単過・変化(have)v.t ~を持った 「動詞」
 prisoner's thoughts. プリズナース・ソーズ pl(thought).n 囚人の考えを 「目的語」

僕は、中庭での日課の散歩や弁護士との接見を待ち望むようになった。

I waited for the daily walk in the courtyard or a visit from my lawyer.

「主語」「動詞」「間接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 waited ウェイティット¹ 単過・変化 v.i(wait ~を望んで) 待った 「動詞」
 for フォー prep (動詞の後で) (目標) ~を望んで 「間接目的語」
 the daily walk ザ・デ・イリー・ウォーク n. 日課の散歩 「目的語」
 in the courtyard イン・ザ・コートヤード^{adv} 中庭での 「副詞句」
 or オア conj. または
 a visit ア・ヴィジット n. 面会、(被疑者との) 接見 「目的語」
 from my lawyer. フロム・マイ・ローヤー^{adv} 弁護士の 「副詞句」
 待ち望む

期待するものや希望するものが早く来てほしいと、望んで待つ。

残りの時間は、なんとか上手く過ごすことが出来た。

As for the rest of the time, I managed quite well, really.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」
 As for アズ・フォー prep (関連) ~について言えば 「副詞句」
 the rest of the time, ザ・レスト・オブ・ザ・タイム n. 残りの時間 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 managed マニッジト¹ 単過 v.i うまくやった、やり繰りした 「動詞」
 quite well, really. クワイ・ウェル・リアリー^{adv} 非常に上手く 「副詞句」

Part 2 第2部

もしも頭上の空の一部を見上げる事以外は何も出来ない枯れ木の幹の中で暮らせと言われたとしても、僕は徐々にそれに慣れただろうと、しばしば考えたものだった。

I've often thought that had I been compelled to live in the trunk of a dead tree with nothing to do but gaze up at the patch of sky just overhead I'd have got used to it by degrees. 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

've often thought ハヴ・オフン・ソート 1 単現・完了形・習慣(think+often)

v.t よく考えたものだ 「動詞句」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

had I been compelled ハット・アイ・ビーン・コンパルト 1 単過・完了形・受動・仮定(compel)

v.t(+to+不定詞 ～するように) 強制されたとすると 「副詞節」

to live トゥ・リヴ 不定詞・I の動作 v.i 暮らす 「補語」

in the trunk of a dead tree, イン・ザ・トランク・オブ・ア・デッド・トリー

adv. 枯れ木の幹の中で 「副詞句」

with nothing ウイズ・ナシング adv. (様態) 何も無い 「副詞句」

to do トゥ・ドゥ adj. (目的) するべき 「形容詞句」

but gaze up バット・ゲイズ・アップ

adv. 見上げる以外は 「副詞句」

at the patch of sky アット・ザ・パッチ・オブ・スカイ

adv. 空の一部を 「間接目的語」

just overhead, ジャスト・オウガ・アヘッド

adv. 頭上の 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd have got used ウット・ハヴ・ゴット・ユースト 1 単過・完了形・推量(would +不定詞 get used)

v.i(to に) 慣れただろう 「動詞句」

to it トゥ・イト adv. それに 「間接目的語」

by degrees. バイ・ディグリース adv. 徐々に 「副詞句」

Part 2 第2部

弁護士の奇妙なネクタイを待ちわびるようになったのと同様に、また、別の世界で、マリーを抱きしめる束の間のために辛抱強く待ちわびるようになったのと同様に、僕は鳥の通過や流れる雲を待ちわびるようになっただろう。

I'd have learned to watch for the passing of birds or drifting clouds, as I had come to watch for my lawyer's odd neckties or in another world to wait patiently till Sunday for a spell of love-making with Marie.

I アイ pron 僕は

「主語」

'd have learned to watch ウットゝ・ハヴ・ラーントゝ 1 単現・完了形・期待・推量

(would+不定詞・完了形 learn to+不定詞)v.i ~を期待して待つようになった 「動詞句」

learn to+不定詞 「～するようになる」 watch for +O 「Oを期待して待つ」

for フォー prep (目的) ~を求めて

「間接目的語」

the passing of birds ザ・パッシング・オブ・バーズ n. 鳥の通過を

「目的語」

or オア conj. または

drifting clouds, トリフティング・クラウドズ pl(cloud).n 流れる雲を

「目的語」

as アズ conj. (類似) ~のように

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

had come to watch ハットゝ・カム・トゥ・ウォッチ 1 単過・完了形・変化(come to+不定詞)

v.i ~を期待して待つようになった

「動詞句」

come to+不定詞 「～するようになる」

for my lawyer's odd neckties, フォー・マイ・ローヤーズ・オットゝ・ネクタイズ

adv. 弁護士の奇妙なネクタイを

「間接目的語」

or, オア conj. または

in another world, イン・アナザー・ワールドゝ adv. 別の世界で

「副詞句」

to wait トゥ・ウェイト 1 単過・完了形・変化(come to+不定詞)

v.i 期待して待つようになった

「動詞句」

patiently ヘイシェントリー adv. 辛抱強く

「副詞」

till Sunday テイル・サンデー adv. 日曜日まで

「副詞句」

for a spell フォー・ア・スペル adv. しばらくの間

「間接目的語」

of love-making with Marie. オブ・ラヴ・メイキング・ウィズ・マリー

adj. マリーを抱きしめる

「形容詞句」

Part 2 第2部

ところで、僕は空木の幹の中に閉じ込められている訳ではない。

Well, here, anyhow, I wasn't penned in a hollow tree trunk.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Well, here, anyhow, ウェル・ヒア・エニーハワ adv.(話題転換) ところで、いずれにしても 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

wasn't penned ワズント・ペンント 1 単過・受動・否定・時制の一致(pen)

v.t 閉じ込められていない 「動詞句」

in a hollow tree trunk. イン・ナ・ホー・トリー・トランク adv. (場所) 空木の幹の中に 「副詞句」

空木 (うつぎ)

アジサイ科ウツギ属の落葉低木。茎が中空であることから命名された。まったく科や属の異なる種でも幹が中空な植物はウツギと呼ばれることがあります。

世間には僕より不幸な人々がいる。

There were others in the world worse off than I.

「動詞句」 「主語」

There were ゼア・ワー 3 複過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がいる 「動詞句」

others アザース pron 人々が 「主語」

in the world イン・ザ・ワールド adv. 世間には 「副詞句」

worse off ワース・オフ adj (強調) いっそう悪い 「形容詞句」

than I. サン・ナイ conj. (比較) 僕よりも 「副詞句」

母さんの口癖を思い出す。人は結局は何にでも慣れるということだ。

I remembered it had been one of Mother's pet ideas—she was always voicing it—that in the long run one gets used to anything.

「主語」 「動詞」, 「副詞節」, 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

remembered リンバート 1 単過・時制の一致(remember)v.t 覚えている、思い出す 「動詞」

挿入節 「副詞節」

it イット pron それは 「主語」

had been ハット・ビーン 3 単過・完了形(be)v.i ~だった 「動詞」

one ワン pron 一つ 「補語」

of Mother's pet ideas— オフ・マザース・ペット・アイデア

adj. 母さんの口癖の 「形容詞句」

pet idea 「持論、口癖、お気に入りの考え」 pet phrase も同様

n. ~ということ 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」

was always voicing ワズ・オールウェイズ・ヴォイシング 3 単過・進行形(voice)

v.i いつも言っていた 「動詞句」

Part 2 第2部

it— イット pron それを	「目的語」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
in the long run イン・ザ・ロング・ラン	
adv. 結局は、長い目で見れば	「副詞句」
one ワン pron 人は	「主語」
gets used ゲッツ・ウースト 3 単現・習性(get used)	
v.i(to に) 慣れるものである	「動詞句」
to anything. トゥ・エニシング adv. 何にでも	「間接目的語」

しかし普通は、物事をそこまで深く考え抜くことはなかった。

Usually, however, I didn't think things out so far.

	「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」
Usually, ユージ ュアリー adv. 普通は、いつもは	「副詞」
however, ハウエヴァー adv. しかしながら	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
didn't think ...out デイドント・シク...アウト 1 単過・否定・経験(think out)	
v.t ～を考え抜いたことはなかった	「動詞句」
things シングズ pl(thing).n 物事を	「目的語」
so far. ソ・ファー adv. そこまで、それほど深く	「副詞句」

最初の数か月は辛かった；しかし僕がやらなければならなかったまさにその奮闘が、数か月の間、僕を救ってくれた。

Those first months were trying, of course; but the very effort I had to make helped me through them.

	「主語」 「動詞」 「補語」 ; but 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」
Those first months ゴーズ・ファースト・マンツ adv. 初めの数か月は	「主語」
were ワー 3 複過(be)v.i ～だった	「動詞」
trying, トライイング adj. 苦しい、辛い	「補語」
of course; オフ・コース adv. もちろん	「副詞句」
but バット conj. しかし	
the very effort サ・ウェリー・エフォット n. まさにその奮闘が	「主語」
very ウェリー adj. まさにその	
I アイ adj. 僕が～した	「形容詞節」
had to make ハット・トゥ・メイク 1 単過・必要(have to+不定詞 make)	
v.t (行為を) しなければならなかった	「動詞句」
helped ヘルプト 3 単過 v.t 助けた	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」

Part 2 第2部

through them. スルー・ゼム adv. (時) その数か月の間

「副詞句」

例えば、僕は女に対する欲望に悩まされた。しかしそれは、年齢相応で、当然のことだ。

For instance, I was plagued by the desire for a woman—which was natural enough, considering my age.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 --- 「主語」「動詞」「補語」

For instance, フォー・インスタンス adv. 例えば

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was plagued ワズ・プレイグド 1 単過・受動(plague)v.t 悩まされた

「動詞句」

by the desire バイ・ザ・デザイア adv. (動作主) 欲望によって

「副詞句」

for a woman— フォー・ア・ウマン adv. 女に対する

「副詞句」

which フィッチ pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

natural enough, ナチュラル・イフ adj. まったく当然の

「補語」

considering コンシダリング prep (条件) ~を考えると

「副詞句」

my age. マイ・エイジ n. 自分の年齢

「目的語」

しかし、マリーの事だけを考えていたわけではない。

I never thought of Marie especially.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

never thought ネヴァ・ソート 1 単過・否定・時制の一致(think)

v.i (～のことを) 考えていたわけではない

「動詞句」

of Marie オフ・マリー adv. マリーのことを

「間接目的語」

especially. エスペシヤリー adv. とりわけ、～だけを

「副詞」

僕は一人ひとりの女の事や、関係があったすべての女のことだけでなく、彼女らを愛した時の状況なども妄想した；あまりにも妄想に取りつかれたので、僕の独房は彼女らの顔と僕の過去の欲望の亡霊で埋め尽くされた。

I was obsessed by thoughts of this woman or that, of all the ones I'd had, all the circumstances under which I'd loved them; so much so that the cell grew crowded with their faces, ghosts of my old passions.

「主語」「動詞句」「副詞句」; so much so that 「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was obsessed ワズ・オブセスト 1 単過・受動(obsess)v.t 取りつかれていた

「動詞句」

by バイ prep (動作主) ~によって

「副詞句」

thoughts バイ・ソーツ pl.n 考え

「目的語」

Part 2 第2部

of this woman or that, オブ・スィズ・ウーマン・オア・ザット

adj. この女やあの女の

「形容詞句」

of all the ones I'd had, オブ・オール・ズィ・ワンス・アイド・ハット

adj. 僕と関係があったすべての女の

「形容詞節」

all the circumstances オール・ズィ・サーカムスタンスイズ

pl.n 状況

「目的語」

under which I'd loved them; アンダー・フイッチ・アイト・ラヴト・ゼム

adv. (場面) 彼女らを愛した時の

「副詞句」

so much so that ソウ・マッチ・ソウ・ザット

conj. (so...that) (結果) あまりにも取りつかれたので～する

the cell ザ・セル n. 独房は

「主語」

grew グルー 3 単過・状態変化(grow)v.i (～の状態に) なった

「動詞」

crowded クラウデッド adj. 満員の、すし詰め

「補語」

with ウィズ prep (手段) ～で

「副詞句」

their faces, ゼア・フェイス pl.n 彼女らの顔

「目的語」

ghosts of my old passions. ゴウスト・オブ・マイ・オールド・パッションズ

pl.n 僕の過去の欲望の幻

「目的語」

確かに、それは僕の精神状態を不安定にした；しかし、少なくとも、暇つぶしになった。

That unsettled me, no doubt; but, at least, it served to kill time.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」；but「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

That ザット pron それは

「主語」

unsettled アンセトルト 3 単過 v.t 不安定にした

「動詞」

me, ミー pron 僕を

「目的語」

no doubt; ノウ・ダウト adv. 確かに、疑いもなく

「副詞句」

but, バット conj. しかし

at least, アット・リースト adv. 少なくとも、ともかく

「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

served to kill サーヴト・ト・キル 3 単過・有効(serve to+不定詞)

v.t (時間を) つぶす役に立った

「動詞句」

time. タイム n. 時間を

「目的語」

Part 2 第2部

僕は、食事の時間に賄い係に同行してやってくる看守長と少しずつ仲良くなっていった。

I gradually became quite friendly with the chief jailer, who went the rounds with the kitchen hands at mealtimes.

I アイ pron 僕は 「主語」
 gradually グラジ ュアリー adv. だんだんと、徐々に 「副詞」
 became ビケム 1 単過・状態変化(become)v.i ~になった 「動詞」
 quite friendly クワイ ト・フレンドリー adj. とても友好的な 「補語」
 with the chief jailer, ウイズ・ザ・チーフ・ジェイラー adv. 看守長と 「副詞句」
 who フー pron (主語) ~する 「形容詞節」
 went the rounds ウェント・ラウンス 3 単過・時制の一致(go round)
 v.i 周回にやってくる 「動詞句」
 with the kitchen hands ウイズ・ザ・キチン・ハンス
 adv. (同伴) 賄い係と一緒に 「副詞句」
 at mealtimes. アット・ミール・タイムズ adv. 食事の時間に 「副詞句」

女の問題を持ち出したのは彼のほうだった。「ここの囚人たちが一番不平を言うのはそのことだ」と、彼は僕に教えてくれた。

It was he who brought up the subject of women. “That’s what the men here grumble about most,” he told me.

「動詞」「補語」「主語」 | 《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」「間接目的語」
 It イット pron 仮の主語 (真の主語は who 以降)
 was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 he ヒー pron 彼 「補語」
 who フー pron (主語) ~する者は 「主語」
 brought up ブロート・アップ 3 単過(bring up)v.t (問題を) 持ち出した 「動詞句」
 the subject ザ・サブジェクト n. 話題、テーマ 「目的語」
 of women. オフ・ウィミン adj. 女の 「形容詞句」
 “That ザット pron 女の事は 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 what ファット pron (目的語) ~する事 「補語」
 the men here ザ・メン・ヒア pl.n ここの囚人たちが 「主語」
 grumble about グランブル・アバウト 3 複現 v.t 不平を言う 「動詞句」
 most,” モスト adv. 一番 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 told トルト 3 単過(tell)v.t 話した、教えた 「動詞」
 me. ミー pron 僕に 「間接目的語」

Part 2 第2部

僕は、自分もそう思うと言った。「何か不当なところがある、倒れている人を殴るような」と、僕は付け加えた。

I said I felt like that myself. “There’s something unfair about it,” I added, “like hitting a man when he’s down.”

「主語」「動詞」「目的語」 | 《「動詞句」「主語」》, 「主語」「動詞」, 《「形容詞句」》
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 (that) n. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 felt フェルト 1 単過(feel)v.i(SVC) C と思った 「動詞」
 like that ライク・ザット adj. そのような 「補語」
 myself. マイセルフ adv. 僕自身も 「副詞句」
 “There’s セア・ズ 3 複現・存在(there be)v.i ～がある 「動詞句」
 something サムシング pron 何か 「主語」
 unfair アンフェア adj. 不公平な、不当な 「形容詞」
 about it,” アバウト・イット adv. (関連) それについて 「副詞句」
 I アイ rpon 僕は 「主語」
 added, アデイト 1 単過 v.t 付け加えた 「動詞」
 “like +現在分詞 ライク adj. ～するような 「形容詞句」
 hitting ヒッティング 現在分詞 v.t 殴る 「動詞」
 a man ア・マン n. 人を 「目的語」
 when he’s down.” ホエン・ヒーズ・ダウン adj. 倒れている 「形容詞節」

「しかし、その不当さこそが罰則の目的なんだよ」と、彼は言った；「それが君たちが刑務所に閉じ込められている理由なんだ」

“But that’s the whole point of it,” he said; “that’s why you fellows are kept in prison.”

《But 「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞」「補語」》

“But バット conj. しかし

that ザット pron その不当さが 「主語」
 ’s イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」
 the whole point ザ・ホール・ポイント n. 目的のすべて 「補語」
 of it,” オフ・イット adj. 罰則の、規則の 「形容詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said; セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “that ザット pron それが 「主語」

Part 2 第2部

's イズ 3 単現(be)v.i ~である	「動詞」
why ホワイ conj. ~する理由	「補語」
you fellows ユー・フェロウズ pl.n 君たちが	「主語」
are kept アー・ケプト 2 複現・受動(keep)v.t(in に) 閉じ込められている	「動詞句」
in prison. イン・プリズン adv. (場所) 刑務所に	「副詞句」

「僕は理解できなかった」

“I don't follow.” 《「主語」「動詞句」》

“I アイ pron 僕は” 「主語」

don't follow.” トント・フォロウ 1 単現・否定 v.t 理解できなかった 「動詞句」

「自由だよ」と、彼は言った。「不当の意味は、君たちから自由を奪うということだよ」

“Liberty,” he said, “means that. You're being deprived of your liberty.”

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「動詞」「主語」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」》

“Liberty,” リバティー n. 自由だよ 「応答」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

“means ミーンズ 3 単現 v.t 意味する 「動詞」

that. ザット pron 罰則が 「主語」

You ユー pron.pl 君たちは 「主語」

're being deprived アー・ビーイング・テイブライヴト 2 複現・進行形・受動(deprive)
v.t(of を) 奪われている 「動詞句」

of your liberty.” オブ・ユア・リバティ adv. 自由を 「間接目的語」

そういう視点では、まったく思いつかなかった。しかし、彼の指摘は理解できた。「その通りだ」と、僕は言った。「さもないと、罰ではなくなってしまう」

It had never before struck me in that light, but I saw his point. “That's true,” I said.
“Otherwise it wouldn't be a punishment.”

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, but 「主語」「動詞」「目的語」

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞」「主語」「動詞句」「補語」》

It イット pron それは 「主語」

had never before struck ハット・ネヴァー・フォー・ストラック 3 単過・完了形・否定(strike)

v.t 全く心に浮かんだことが無かった 「動詞句」

me ミー pron 僕の心に 「目的語」

in that light, イン・ザット・ライト adv. そういう視点で 「副詞句」

but バット conj. しかし

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
saw ソー 1 単過(see)v.t 分かった	「動詞」
his point. ヒズ・ポイント n. 彼の指摘が	「目的語」
“That サット pron それは	「主語」
's イズ 3 単現(be)v.i 〜である	「動詞」
true,” トルー その通り	「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
said. セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
“Otherwise アザーワイズ adv. さもなければ	「副詞」
it イット pron それは	「主語」
wouldn't be ウット・ビー 3 単現・否定・変化・推量(would+不定詞 be)	
v.i 〜でなくなるだろう	「動詞句」
a punishment.” ア・パニッシュメント n. 罰	「補語」

看守長はうなずいた。「お前さんは違う！物分かりがいい。他の奴らはそうじゃない」

The jailer nodded. “Yes, you're different, you can use your brains. The others can't.

「主語」「動詞」

《「応答」「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」》

The jailer ザ・ジェイラー n. 看守長は	「主語」
noded. ノット 3 単過(nod)v.i うなずいた	「動詞」
“Yes, イェス adv. そうだ	「応答」
you ユー pron お前さんは	「主語」
're アー 2 単現(be)v.i 〜である	「動詞」
different, ディファレント adj. 違う	「補語」
you ユー pron あんたは	「主語」
can use キャン・ユーズ 2 単現・可能(can+不定詞 use)v.t 〜が使える	「動詞句」
your brains. ユア・ブレインズ n. 頭を	「目的語」
The others スィ・アザーズ pl(other).n ほかの奴らは	「主語」
can't. キャント 3 複現・可能・否定 v.t できない	「動詞句」

Part 2 第2部

「それでも、奴らは方法を見つけ出す；自分自身でなんとかするんだ」

Still, those fellows find a way out; they do it by themselves.”

《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

Still, スティル adv. (接続詞的) それでも 「副詞」
 those fellows ゾウズ・フェロズ n. 奴らは 「主語」
 find ...out; ファインド ...アウト 3 複現(find out)v.t 見つけ出す 「動詞句」
 a way ア・ウェイ n. 方法を 「目的語」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 do ドゥ 3 複現 v.t やる 「動詞」
 it イット pron (問題解決を) それを 「目的語」
 by themselves.” バイ・ゼムセルヴズ adv. 自分自身で 「副詞句」

そう見解を述べながら、看守長は去っていった。翌日、僕はほかの連中と同様に処理した。

With which remark the jailer left my cell. Next day I did like the others.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

With which remark ウイズ・フィッチ・リマーク
 adv. (付帯状況) そういった見解を述べながら 「副詞句」
 the jailer サ。ジェイラー n. 看守長は 「主語」
 left レフト 3 単過(leave)v.t 去っていった 「動詞」
 my cell. マイ・セル n. 僕の独房を 「目的語」
 Next day ネクスト・デイ adv. 翌日 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 did デイット 1 単過(do)v.t やった 「動詞」
 like the others. ライク・スィ・アザース adv. 他の連中と同様に 「副詞句」

煙草の禁止も苦痛だった。

The lack of cigarettes, too, was a trial.

「主語」「動詞」「補語」

The lack サ・ラック n. 欠如は 「主語」
 of cigarettes, オフ・シガレッツ adj. 煙草の 「形容詞句」
 too, トゥー adv. ～も 「副詞」
 was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 a trial. ア・トライアル n. 苦難 「補語」

Part 2 第2部

拘置所に入れられた時、僕はベルトや靴紐や、煙草を含めてポケットの中身をすべて取り上げられた。

When I was brought to the prison, they took away my belt, my shoelaces, and the contents of my pockets, including my cigarettes.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

When ホエン conj. ～した時

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was brought ワズ・ブrought 1 単過・受動(bring)

v.t(to に) 連れてこられた、入れられた

「動詞句」

to the prison, トゥ・ザ・プリズン adv. 拘置所に

「間接目的語」

they ゼイ pron 彼らは

「主語」

took away トゥック・アウェイ 3 複過(take away)v.t 取り上げた

「動詞句」

受動態に翻訳する

my belt, マイ・ベルト n. n. ベルトを

「目的語」

my shoelaces, マイ・シューレイズ pl(shoelace).n 靴ひもを

「目的語」

and アンド conj. そして

the contents ザ・コンテンツ pl(content).n 中身を

「目的語」

of my pockets, オフ・マイ・ポケット adj. ポケットの

「形容詞句」

including インクルーディング prep ～を含めて

「副詞句」

my cigarettes. マイ・シガレッツ pl(cigarette).n 煙草

「目的語」

独房を与えられた時、僕はなんとかタバコを返してもらえないかと頼んでみた。

Once I had been given a cell to myself I asked to be given back, anyhow, the cigarettes.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Once ワンス conj. いったん～すると

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

had been given ハット・ビーン・ギヴン 1 単過・完了形・受動(give)

v.t 与えられた

「動詞句」

a cell ア・セル n. 独房を

「目的語」

to myself トゥ・マイセルフ adv. (対象) 僕自身用として

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked to be given back, アスクト・トゥ・ビー・ギヴン・バック 1 単過・依頼(ask to+不定詞・受動)

v.t 戻されるように頼んだ

「動詞句」

anyhow, エニハウ adv. ともかく

「副詞」

the cigarettes. ザ・シガレッツ pl(cigarette).n タバコを

「目的語」

Part 2 第2部

喫煙は禁じられている。彼らは僕にそう伝えた。多分、それが僕を一番落ち込ませたものだ；実際に、最初の数日はかなり苦しんだ。

Smoking was forbidden, they informed me. That, perhaps, was what got me down the most; in fact, I suffered really badly during the first few days.

「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「補語」;
「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Smoking スモウキング[°] n. 喫煙は 「主語」
was forbidden, ワズ・フォービドゥン[°] 3 単過・受動・時制の一致(forbid)v.t 禁じられている 「動詞句」
they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
informed インフォームト[°] 3 複過 v.t 告げた 「動詞」
me. ミー pron 僕に 「間接目的語」
That, ザット pron それは 「主語」
perhaps, パハプス[°] adv. 多分、おそらく 「副詞」
was ワズ[°] 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
what ファット pron (主語) 〜する物 「補語」
got ゴット 3 単過(get)v.t (〜の状態に) した 「動詞」
me ミー pron 僕を 「目的語」
down ダウン adj. 落ち込んだ 「補語」
the most; ザ・モスト[°] adv. 一番、最も 「副詞句」
in fact, イン・ファクト[°] adv. 実際に 「副詞句」
I アイ pron 僕は 「主語」
suffered サファート[°] 1 単過 v.i 苦しんだ 「動詞」
really badly リアリー・バドリー[°] adv. かなりひどく 「副詞句」
during the first few days. テュアリング・ザ・ファースト・フュー・デイズ[°] adv. 最初の数日は 「副詞句」

僕は、木製ベッドから木っ端を剥ぎ取り、それを吸うことまでした。

I even tore off splinters from my plank bed and sucked them.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
even イヴン[°] adv. 〜さえ 「副詞」
tore off トア・オフ 1 単過(tear off)v.t 引き剥がした 「動詞句」
splinters スプリンターズ[°] pl(splinter).n (木の) かけらを 「目的語」
from my plank bed フロム・マイ・プランク・ベット[°] adv. 木製のベッドから 「副詞句」
and アンド[°] conj. そして
sucked サクト 1 単過(suck)v.t 吸った 「動詞」
them. ゼム prom.pl それを 「目的語」

Part 2 第2部

一日中、頭が朦朧として吐き気がした。

All day long I felt faint and bilious.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

All day long オール・デ・イロング adv. 一日中

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

felt フェルト 1 単過(feel)v.i. ~の感じを覚えた

「動詞」

faint フェイント adj. ぼんやりした、おぼろな

「補語」

and アンド conj. そして

bilious. ビリアス adj. 吐き気がする

「補語」

喫煙は誰にも害を与えないというのに、どうして僕は煙草を吸うことさえ許されないのか、理解できなかった。

It passed my understanding why I shouldn't be allowed even to smoke; it could have done no one any harm.

「動詞」「目的語」「主語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は why 以降)

passed パスト 3 単過(pass)v.t. ~を越えていた

「動詞」

my understanding マイ・アンダー・スタンディング n. 私の理解を

「目的語」

→ 理解できなかった

why ホワイ adv. なぜ~するかということは

「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

shouldn't be allowed シュドント・ビー・アラウド 1 単現・否定・義務・受動(should+不定詞・受動)

v.t. 許されないのだ

「動詞句」

even イヴン adv. ~さえ

「副詞」

to smoke; トゥ・スモーク 不定詞・I の動作 v.i. 煙草を吸う

「補語」

it イット pron 喫煙は

「主語」

could have done クッド・ハヴ・ダン 3 単現・完了形・可能性(could+不定詞・完了形 do)

v.t. (行為を) するだろう

「動詞句」

no one ノー・ワン pron 誰にも~ない

「間接目的語」

any harm. エニー・ハーム n. (否定文で) どんな害も~ない

「直接目的語」

Part 2 第2部

後になって、僕はその背後にある意図を理解した；この不自由さも、僕の罰の一部なのだ。

Later on, I understood the idea behind it; this privation, too, was part of my punishment.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞」「補語」

Later on, レイター・オン adv. もっとあとで、後になって 「副詞句」

earlier on アーリアー・オン adv. 前もって

I アイ pron 僕は 「主語」

understood アンダー・ストゥット 1 単過(understand)v.t 理解した 「動詞」

the idea スィ・アイデア n. 意図を、目的 「目的語」

behind it; ビ・ハインド・イット adv. その背後にある 「副詞句」

this privation, スィス・プライヴエーション n. この不自由さは 「主語」

too, トゥー adv. ～もまた 「副詞」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

part パート n. 一部 「補語」

of my punishment. オフ・マイ・パニッシュメント adj. 僕の罰の 「形容詞句」

しかしその頃には、喫煙に対する切望を失っていたので、これは罰ではなくなっていた。

But, by the time I understood, I'd lost the craving, so it had ceased to be a punishment.

But 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

But, バット conj. しかし

by the time バイ・ザ・タイム adv. その時まで、その頃には 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

understood, アンダー・ストゥット 1 単過(understand)v.t 分かっていた 「動詞」

I アイ pron 僕が～することを 「目的語」

'd lost ハット・ロスト 1 単過・完了形(lose)v.t 失っていた 「動詞句」

the craving, ザ・クレイヴィング n. (喫煙の) 切望を 「目的語」

so ソー adv. それで 「副詞」

it イット pron 禁煙は 「主語」

had ceased to be ハット・シースト・トゥ・ビー 3 単過・完了形・停止(cease to+不定詞)

v.i ～であることを止めていた 「動詞句」

a punishment. ア・パニッシュメント n. 罰 「補語」

Part 2 第2部

これらの不自由な点を除けば、僕はそれほど不幸ではなかった。けれど、またしても、問題のすべてはどうやって時間を潰すかということだった。

Except for these privations I wasn't too unhappy. Yet again, the whole problem was: how to kill time. 「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 | Yet 「副詞」「主語」「動詞」「補語」
 Except for イクセプト・フォー prep (条件) 〜は別として、〜を除いて、〜の他は 「副詞句」
 these privations スェイズ・プライヴァーエーションズ

pl(privation).n これらの不自由 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 wasn't ワズント 1 単過・否定(be)v.i 〜でなかった 「動詞句」
 too unhappy. トゥ・アンハピ― adj. (否定文で) それほど不幸な 「補語」
 Yet イェット conj. けれども
 again, アゲン adv. また 「副詞」
 the whole problem ザ・ホウル・プロブレム n. 問題のすべては 「主語」
 was: ワズ 3 単過・変化(be)v.i 〜になった 「動詞」
 how to kill ハウ・トゥ・キル 不定詞 n. どのように〜を潰すかということ 「補語」
 time. タイム n. 時間を 「目的語」

しかし、いったん物を記憶するコツを覚えてしまうと、まったく退屈しなくなった。

After a while, however, once I'd learned the trick of remembering things, I never had a moment's boredom. 「副詞句」「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

After a while, アフター・ア・ホイル adv. (時間) しばらくしてから 「副詞句」
 however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」
 once ワンス conj. 一度〜すると 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 'd learned ハッド・ラーント 1 単過・完了形(learn)v.t 覚えた 「動詞句」
 the trick ザ・トリック n. こつを、秘訣 「目的語」
 of remembering オフ・リメンバリング adj. 記憶するための 「形容詞句」
 things, シングズ pl(thing).n 物を 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 never had ネヴァー・ハッド 1 単過・否定(have)v.t 持たなかった 「動詞句」
 a moment's boredom. ア・モウメンツ・ホアダム n. 一瞬の退屈も 「目的語」

Part 2 第2部

僕は時々僕の部屋について記憶力を訓練してみた。部屋のある一角から始めて、途中で見かける物をすべて記憶にとどめながら部屋を一巡するのだ。

Sometimes I would exercise my memory on my bedroom and, starting from a corner, make the round, noting every object I saw on the way.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 and, 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」
 Sometimes サムタイムズ adv. 時々 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 would exercise ウット・エクサイズ 1 単過・意思(will+不定詞)v.t 訓練してみた 「動詞句」
 my memory マイ・メモリー n. 僕の記憶を 「目的語」
 on my bedroom オン・マイ・ベッドルーム adv. (関連) 僕の部屋について 「副詞句」
 and, アント conj. そして
 starting スターティング adv. (順序) 〜から始めて 「副詞句」
 from a corner, フロム・ア・コーナー adv. (起点) 部屋のある一角から 「副詞句」
 make メイク 不定詞 v.t (動作を) する 「動詞」
 the round, ザ・ラウンド n. (部屋を) 1 周り 「目的語」
 noting ノーティング 現在分詞・同時(note)v.t 〜を記憶にとどめながら 「副詞句」
 every object エヴリ・オブジェクト n. 全ての物を 「目的語」
 I アイ pron 〜する 「形容詞節」
 saw ソー 1 単過・時制の一致(see)v.t 見かける 「動詞」
 on the way. オン・ザ・ウェイ adv. その途中で 「副詞句」

最初は、この訓練は 1 分かそこらで終わってしまった。しかし訓練を繰り返すたびに、少しずつ長く時間をかけられるようになっていった。

At first it was over in a minute or two. But each time I repeated the experience, it took a little longer.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | But 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」
 At first アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」
 it イット pron (round の代用) 一巡は (訓練) 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 over オヴァー adj. 終わって 「補語」
 in a minute or two. イン・ア・ミニット・オア・トゥ adv. (期間) 1・2 分で 「副詞句」
 But バット conj. しかし
 each time イチ・タイム conj. 〜するごとに 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 repeated リピーテイト 1 単過・時制の一致 v.t 繰り返す 「動詞」
 the experience, スィ・エクスピリエンス n. 経験を 「目的語」

Part 2 第2部

it イット pron それは 「主語」
 took トゥック 3 単過・変化(take)v.t (必要) (時間が) かかるようになった 「動詞」
 a little longer. ア・リトル・ロンガー adv. 少し長く 「副詞句」

僕のやり方はこうだ。1 つ 1 つの家具を思い浮かべる。次に、家具の上や中にあるそれぞれの物を、さらに、それぞれの物の各細部を思い浮かべる。最終に、細部の細部を：例えば、小さなへこみや汚れあるいは縁の欠けを思い浮かべ、ついには木工品の精密な肌理や色合いまで心の中に映像化するのだ。

I made a point of visualizing every piece of furniture, and each article upon or in it, and then every detail of each article, and finally the details of the details, so to speak: a tiny dent or incrustation, or a chipped edge, and the exact grain and color of the woodwork.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

made a point of メイト・ア・ポイント・オブ 1 単過・重要視・時制の一致(make a point of+O)

v.t 〜を重視する 「動詞句」

visualizing ヴァイジユライジング 現在分詞.n 心に描くことを 「目的語」

every piece of furniture, エヴリ・ピース・オブ・ファニチュア n. 1 つ 1 つの家具を 「目的語」

and アンド conj. そして

each article イーチ・アーティクル n. それぞれの物を 「目的語」

upon or in it, アポン・ア・イン・イット adv. 家具の上や中にある 「副詞句」

and アンド conj. そして

then ゼン adv. それから、次に 「副詞」

every detail of each article, エヴリ・ディテイル・オブ・イチ・アーティクル

n. それぞれの物の各細部を 「目的語」

and アンド conj. そして

finally ファイナリー adv. 最終的に 「副詞」

the details of the details, ザ・ディテイルズ・オブ・ザ・ディテイルズ

pl.n 細部の細部を 「目的語」

so to speak: ソウトゥ・スピーク adv. いわば、言ってみれば、例えば 「副詞句」

a tiny dent ア・タニー・デント n. 小さなへこみ 「目的語」

or アー conj. または

incrustation, インクルステイション n. かさぶた、汚れ 「目的語」

or アー conj. または

a chipped edge, ア・チップト・エッジ n. 縁の欠け 「目的語」

and アンド conj. そして

the exact スイ・イクザクト adj. 精密な 「形容詞句」

Part 2 第2部

grain and color グレイン・アント・カラー n. 肌理（きめ）や色合いを 「目的語」
 of the woodwork. オフ・ザ・ウッドワーク adj. 木工品の 「形容詞句」

同時に僕は、記憶の中の目録を、最初から最後まで、順序正しく、どんな項目も漏らさずに保つように努めた。

At the same time I forced myself to keep my inventory in mind from start to finish, in the right order and omitting no item. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

At the same time アット・ザ・セム・タイム adv. 同時に 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

forced myself to keep フォースト・マイセルフ・トゥ・キープ 1 単過・再帰動詞・使役

(force oneself to+不定詞)v.t. ～を保つように努めた 「動詞句」

自分自身に～を保つようにさせる

my inventory マイ・インヴェントリー n. 目録を 「目的語」

in mind イン・マインド adv. 記憶の中の 「副詞句」

from start to finish, フロム・スタート・トゥ・フィニッシュ adv. 最初から最後まで 「副詞句」

in the right order イン・ザ・ライト・オーダー adv. (様態) 正しい順序に 「副詞句」

and アンド conj. そして

omitting オミッティング 現在分詞・様態 adv. 除外するように 「副詞句」

no item. ノ・アイテム n. どんな項目も～ない 「目的語」

その訓練の結果、数週間後には部屋の中にある物を列挙するだけで何時間も過ごせるようになった。

With the result that, after a few weeks, I could spend hours merely in listing the objects in my bedroom. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

With the result that, ウイズ・ザ・リザルト・ザット adv. その訓練の結果 「副詞句」

after a few weeks, アフター・ア・フュー・ウィークス adv. 数週間後には 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

could spend クット・スペント 1 単過・可能・変化(can+不定詞 spend)

v.t. (時間を) 過ごせるようになった 「動詞句」

hours アウズ pl(hour).n 何時間を 「目的語」

merely ミアリー adv. ～だけで 「副詞句」

in listing イン・リスティング 現在分詞(list)v.t. ～を列挙する 「動詞句」

the objects サ・オブジェクト pl(object).n 物を 「目的語」

in my bedroom. イン・マイ・ベッドルーム adv. 部屋の中にある 「副詞句」

Part 2 第2部

考えれば考えるほど、忘れかかったり気づかなかった細部が自分の記憶の中から湧き上がって来ることが分かった。記憶には限りがないように思われる。

I found that the more I thought, the more details, half-forgotten or malobserved, floated up from my memory. There seemed no end to them.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞句」「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

found ファウンド 1 単過(find)v.t 分かった

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

the more サ・モア adv. ～するほど

「副詞句」

I アイ pron 僕が

「主語」

thought, ソト 1 単過・時制の一致(think)v.t 考える

「動詞」

the more サ・モア adv. ますます～する

「副詞句」

details, ディーテイルズ pl(detail).n 細部が

「主語」

half-forgotten or malobserved, ハーフ・フォゴットン・オア・マルオブ・サー・ウト

adj. 忘れかかったり気づかなかった

「形容詞句」

floated up フローテット・アップ 3 複過・時制の一致(float up)

v.i 湧き上がってくる

「動詞句」

from my memory. フロム・マイ・メモリー adv. 記憶の中から

「副詞句」

There seemed ゼア・シーム 3 単過(there seem)v.i ～があるように思われる

「動詞句」

no end ノウ・エンド ノウ・エント n. 終わり～がない

「主語」

to them. トゥ・ゼム adv. (対象) 湧き上がってくるものには

「副詞句」

そこで僕は、たった1日しか外の世界の経験が無い人間であっても、容易に100年間牢獄で暮らすことが出来るだろうと思った。

So I learned that even after a single day's experience of the outside world a man could easily live a hundred years in prison.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

So ソ adv. それで

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

learned ラント 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

even イヴン adv. ～でさえも

「副詞」

after a single day's experience アフター・ア・シングル・デイズ・イクス・リアンス

adv. (時間) たった1日の経験の後で

「副詞句」

of the outside world オフ・スィ・アウトサイト・ワールド adj. 外の世界の「形容詞句」

a man ア・マン n. 人は

「主語」

could easily live クッド・イージーリー・リヴ 3 単過・可能・推量(can+不定詞)

Part 2 第2部

v.i 容易に暮らせるだろう	「動詞句」
a hundred years ア・ハント`レツト`・イヤーズ` adv. 100 年間	「副詞句」
in prison. イン・プリズン` adv. 牢獄で	「副詞句」

彼はすでに退屈しないだけの十分な記憶を溜め込んでいるはずだ。ある意味で、これは明らかに強みだ。

He'd have laid up enough memories never to be bored. Obviously in one way, this was a compensation. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

'd have laid up ウット`・ハウ`・レイト`・アップ` 3 単現・完了形・推量(lay up)

v.t すでに溜め込んだだろう 「動詞句」

enough memories Enough`メモリーズ` pl(memory).n 十分な記憶を 「目的語」

never to be bored. ネヴァ`アー・トゥ`ビー`ボアト` 不定詞・目的(be+bored)

adj. 退屈しないための 「形容詞句」

Obviously, オブ`ビ`アスリー` adv. 言うまでもなく、明らかに 「副詞」

in one way, イン・ワン`ウェイ` adv. ある意味で 「副詞句」

in a way, in some ways, in a sense などにも利用される

this ズィス` pron これは 「主語」

was ワズ` 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

a compensation. ア`コンペン`セーション` n. 埋め合わせ、補償 「補語」

→ advantage アド`ヴァン`テイジ` n. 有利、強み

フランス語の原文では

ある意味で、これは有利な状況だった。

Dans un sens, c'était un avantage.

それから、睡眠の問題があった。最初は、夜はあまりよく眠れなかったし、昼間は全く眠れなかった。

Then there was sleep. To begin with, I slept badly at night and never in the day.

「副詞」「動詞句」「主語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 and 「副詞句」

Then セン` adv. それから 「副詞」

there was ゼア`ワズ` 3 単過・存在(there be)v.i ~があった 「動詞句」

sleep. スリープ` n. 睡眠 (の問題) が 「主語」

To begin with, トゥ`ビギン`ウイズ` adv. 最初は、まず最初に 「副詞句」

I アイ` pron 僕は 「主語」

slept スレプト` 1 単過(sleep)v.i 眠った 「動詞」

badly バドリー` adv. 良く~ない 「副詞」

Part 2 第2部

at night アット・ナイト adv. 夜は 「副詞句」

and アンド conj. そして

never ネバー adv. 決して～ない 「副詞」

in the day. イン・ザ・デイ adv. 昼間は 「副詞句」

それでも次第に夜はよく眠れるようになり、それから、昼間も同様に眠れるようになった。

But gradually my nights became better, and I managed to doze off in the daytime as well.

But 「副詞」「主語」「動詞」「補語」, and 「主語」「動詞句」「副詞句」

But バット conj. だが

gradually グラジユアリー adv. 徐々に、次第に 「副詞」

my nights マイ・ナイツ pl(night).n 夜は 「主語」

became ビケム 3 複過・状態変化(become).v.i へになった 「動詞」

better, ベター adj. より良い、よく眠れる 「補語」

and アンド conj. そして、それから

I アイ pron 僕は 「主語」

managed to doze off マニッジト・トゥ・ドゥズ・オフ 1 単過・達成(manage to+不定詞)

v.i なんとか眠れるようになった 「動詞句」

in the daytime イン・ザ・デイトゥ adv. 昼間に 「副詞句」

as well. アズ・ウェル adv. 同様に 「副詞句」

最後の数か月は実際に、1 日の内 16 時間から 18 時間眠ったに違いない。

In fact, during the last months, I must have slept sixteen or eighteen hours out of the twenty-four. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

In fact, イン・ファクト adv. 実際に 「副詞句」

during the last months, トゥアラング・ザ・ラスト・マンツ adv. 最後の数か月は 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

must have slept マスト・ハヴ・スレプト 1 単現・完了形・必然性・推量(must+不定詞・完了形)

v.t 眠ったに違いない 「動詞句」

sixteen or eighteen hours シクステーン・オー・エイティーン・アウズ pl.n 16 時間から 18 時間 「目的語」

out of the twenty-four. アウト・オブ・ザ・トゥエンティ・フォー adv. 24 時間の内で 「副詞句」

Part 2 第2部

あと 6 時間残っていたので、食事や排便や記憶の訓練やチェコのあの話で時間を潰した。

So there remained only six hours to fill—with meals, relieving nature, my memories ... and the story of the Czech.

So 「動詞句」「主語」

So ヲ conj. (結果) だから

there remained セア・リメント 3 複過(there+不定詞・存在 remain)

v.i ーが残っていた

「動詞句」

only six hours オウソリー・シックス・アウズ pl(hour).n 6 時間だけが

「主語」

to fill— トゥ・フィル 不定詞・必要(fill)v.t (時間を) 満たすべき

「形容詞句」

→ (結果) それで、満たした → 時間を潰した

with ウイズ prep (手段) ーによって

「副詞句」

meals, ミールズ pl(meal).n 食事

「目的語」

relieving nature, リイリーヴ・イング・ネチャー n. 排便

「目的語」

my memories ... マイ・メモリーズ pl.n 記憶の訓練

「目的語」

and アンド conj. そして

the story of the Czech. サ・ストーリー・オブ・サ・チェック

n. チェコのあの話

「目的語」

ある日わら布団を調べていると、その底面に新聞の切れ端が貼りついているのを見つけた。

One day, when inspecting my straw mattress, I found a bit of newspaper stuck to its underside.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

One day, ワン・デイ adv. ある日

「副詞句」

when inspecting ホエン・インスペクティング

adv. (when+現在分詞 inspect) ーを調べていた時に

「副詞句」

my straw mattress, マイ・ストロー・マットレス n. 僕のわら布団を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

found ファウンド 1 単過(find)v.t 見つけた

「動詞」

a bit of newspaper ア・ビット・オブ・ニュース・ペーパー n. 新聞の切れ端を

「目的語」

stuck スタック 過去分詞(stick)v.i(to に) 貼りついた

「形容詞句」

to its underside. トゥ・イツ・アンダー・サイト adv. 布団の底面に

「副詞句」

Part 2 第2部

その新聞紙は年を経て黄ばみほとんど透けていたが、記事の内容はなんとか判読できた。
それはある犯罪の話だった。

The paper was yellow with age, almost transparent, but I could still make out the letter print. It was the story of a crime.

「主語」「動詞」「補語」,but「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」
The paper ザ・ペーパー n. その新聞紙は 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
yellow イェロウ adj. 黄ばんだ 「補語」
with age, ウイズ・エイジ adv. 年を経て 「副詞句」
almost transparent, オールモスト・トランスパレント adj. ほとんど透けた 「補語」
but バット conj. しかし
I アイ pron 僕は 「主語」
could still make out クッド・スティル・メイク・アウト 1 単過・可能(can+不定詞 make out+still)
v.t それでもなんとか判読できた 「動詞句」
make out メイク・アウト v.t (can を伴って) なんとか判読する
the letter print. ザ・レター・プリント n. 印字を 「目的語」
It イット pron それは 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
the story ザ・ストーリー n. 話 「補語」
of a crime. オブ・ア・クライム adj. 犯罪の 「形容詞句」

記事の最初の部分は欠けていたが、事件の現場はチェコスロバキアのある村だと推察した。

The first part was missing, but I gathered that its scene was some village in Czechoslovakia.

「主語」「動詞」「補語」,but「主語」「動詞」「目的語」
The first part ザ・ファースト・パート n. 記事の最初の部分は 「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
missing, ミッシング adj. 欠けている 「補語」
but バット conj. しかし
I アイ pron 僕は 「主語」
gathered ギャザード 1 単過(gather)v.t (推測して) 分かった 「動詞」
that ザット conj. 〜ということを 「目的語」
its scene イツ・シーン n. (事件の) 現場は 「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
some village サム・ヴィレッジ n. ある村 「補語」
in Czechoslovakia. イン・チェコスロヴァキア adv. チェコスロバキアの 「副詞句」

Part 2 第2部

1 人の村人が、外国でひと財産稼ごうと思って故郷を離れた。

One of the villagers had left his home to try his luck abroad.

	「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
One ワン pron 1 人が	「主語」
of the villagers オフ・ザ・ヴィレッジヤーズ adj. 村人の	「形容詞句」
had left ハット・レフト 3 単過・完了形(leave)v.t 離れた	「動詞句」
his home ヒズ・ホーム n. 故郷を	「目的語」
to try トゥ・トライ 不定詞・目的 v.t 試すために	「副詞句」
his luck ヒズ・ラック n. 運を	「目的語」
abroad. アブロード adv. 外国で	「副詞」

25 年後、一財産が出来たので彼は妻と子供を連れて故郷に戻って来た。

After twenty-five years, having made a fortune, he returned to his country with his wife and child.

	「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」
After twenty-five years, アフター・トエンティ・ファイヴ・イヤーズ adv. (時間) 25 年後	「副詞句」
having made ハヴィング・メイット 現在分詞・完了形・理由(make)v.t 〜が出来たので	「副詞句」
a fortune, ア・フォーチュン n. 一財産	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
returned リターント 3 単過 v.i (元の場所に) 戻った	「動詞」
to his country トゥ・ヒズ・カントリー adv. 故郷へ	「間接目的語」
with ウイズ prep (同伴) 〜と共に	「副詞句」
his wife and child. ヒズ・ワイフ・アンド・チャイルド n. 妻と子供	「目的語」

その頃、彼の母親と妹は故郷の村で小さい旅館を営んでいた。

Meanwhile his mother and sister had been running a small hotel in the village where he was born.

	「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
Meanwhile ミンホワイ adv. その頃、その当時、そうしている時に	「副詞」
his mother and sister ヒズ・マザー・アント・シスター pl.n 彼の母親と妹は	「主語」
had been running ハット・ビーン・ランニング 3 複過・完了形・進行形(run) v.t (会社を) 営んでいた	「動詞句」
a small hotel ア・スモール・ホテル n. 小さい旅館を	「目的語」
in the village イン・ザ・ヴィレッジ adv. (場所) 村で	「副詞句」
where he was born. ウェア・ヒー・ワズ・ボーン adv. 彼が生まれた	「副詞節」

Part 2 第2部

彼は二人を驚かしてやろうと考えて、妻と子供を別の旅館に残して、偽名で部屋を予約して母親の旅館に泊まりに行った。

He decided to give them a surprise and, leaving his wife and child in another inn, he went to stay at his mother's place, booking a room under an assumed name.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

and, 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

He は pron 彼は

「主語」

decided to give ディサィディット・トゥ・ギヴ 3 単過・決断(decide to+不定詞)

v.t 与えようと考えた

「動詞句」

them ゼム pron.pl 彼らに

「間接目的語」

a surprise ア・サプ・ライズ n. 驚きを

「直接目的語」

and, アント conj. そして

leaving リーヴィング 現在分詞・手段(leave)v.t ~を残して、置いて

「副詞句」

his wife and child ヒズ・ワイフ・アント・チャイルド pl.n 妻と子供を

「目的語」

in another inn, イン・アナザー・イン adv. 別の旅館に

「副詞句」

he は pron 彼は

「主語」

went to stay ウェント・トゥ・ステイ 3 単過・しに行く(go to+不定詞)v.i 泊まりに行った

「動詞句」

at his mother's place, アット・ヒズ・マザーズ・プレイス adv. 母親の旅館へ

「間接目的語」

booking ブッキング 現在分詞・手段(book)v.t 予約して

「副詞句」

a room ア・ルーム n. 部屋を

「目的語」

under アンダー prep (包含) ~のもとに

「副詞句」

an assumed name. アン・アシュムト・ナム n. 偽名

「目的語」

彼の母親と妹は彼が誰なのか、まったく気づかなかった。

His mother and sister completely failed to recognize him.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

His mother and sister ヒズ・マザー・アント・シスター pl.n 彼の母親と妹は

「主語」

completely コンプリートリー adv. 全く～ない

「副詞」

failed to recognize フェイルト・トゥ・レコグナイズ 3 複過・出来ない(fail to+不定詞)

v.t 誰か分からなかった

「動詞句」

recognize レコグナイズ v.t (人が) 誰であるか分かる

him. ヒム n. 彼が

「目的語」

Part 2 第2部

その晩の食事の時に、彼は持ち歩いていた大枚の所持金を二人に見せた。すると、その夜の内に二人は彼を金槌で殴り殺した。

At dinner that evening he showed them a large sum of money he had on him, and in the course of the night they slaughtered him with a hammer.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」,

and 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

At dinner アット・ディナー adv. 夕食の時に 「副詞句」
 that evening サット・イヴニング adv. その晩の 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 showed ショウト 3 単過 v.t 見せた 「動詞」
 them ゼム pron.pl 二人に 「間接目的語」
 a large sum of money ア・ラージ・サム・オブ・マネー n. 大枚の所持金を 「直接目的語」
 he ヒー pron (主語) 彼が～する 「形容詞節」
 had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた 「動詞」
 on him, オン・ヒム adv. (所持) 身に着けて 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 in the course of the night イン・ザ・コース・オブ・ザ・ナイト adv. その夜の内に 「副詞句」
 they ゼイ pron.pl 二人は 「主語」
 slaughtered スロータート 3 複過 v.t 殺した 「動詞」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 with ウイズ prep (道具) ～で、～を使って 「副詞句」
 a hammer. ア・ハマー n. 金槌 「目的語」

彼らは金を奪ってから、死体を川へ放り込んだ。

After taking the money they flung the body into the river.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

After taking アフター・テイキング adv. (時・順序) ～を取ってから 「副詞句」
 the money サ・マネー n. 金を 「目的語」
 they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 flung フランク 3 複過(fling)v.t 放り出した 「動詞」
 the body サ・バティ n. 死体を 「目的語」
 into the river. イントゥ・ザ・リヴァー adv. 川に 「副詞句」

Part 2 第2部

翌朝、彼の妻がやって来て、何も知らずに、客の身元を明らかにした。

Next morning his wife came and, without thinking, betrayed the guest's identity.

「副詞句」, 「主語」「動詞」 and, 「副詞句」「動詞」「目的語」

Next morning ネクスト・モーニング adv. 翌朝 「副詞句」

his wife ヒズ・ワイフ n. 彼の妻が 「主語」

came ケム 3 単過(come)v.i やって来た 「動詞」

and, アント conj. そして

without thinking, ウイズアウト・シンキング adv. 考えずに、何も分からずに 「副詞句」

betrayed ビトレイト 3 単過 v.t (秘密を) 暴いた、明らかにした 「動詞」

the guest's identity. ザ・ゲスト・アイデンティティ n. 客の身元を 「目的語」

彼の母親は首を吊って死んだ。妹は井戸に身を投げて死んだ。

His mother hanged herself. His sister threw herself into a well.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

His mother ヒズ・マザー n. 彼の母親は 「主語」

hanged herself. ハングト・ハーセルフ 3 単過・再帰動詞(hang oneself)

v.pr 首を吊って死んだ 「動詞句」

His sister ヒズ・シスター n. 彼の妹は 「主語」

threw herself スルー・ハーセルフ 3 単過・再帰動詞(throw oneself)

v.pr 身投げをして死んだ 「動詞句」

into a well. イントウ・ア・ウェル adv. 井戸に 「副詞句」

僕はその記事をなん千回も読んだに違いない。

I must have read that story thousands of times. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

must have read マスト・ハヴ・レット 1 単現・完了形・必然性(must+不定詞・完了形 read)

v.t 読んだにちがいない 「動詞句」

that story ザット・ストーリー n. その記事を 「目的語」

thousands of times. ザウザンズ・オブ・タイムズ adv. なん千回も 「副詞句」

ある点では、まったく本当だとは思えない；別の点では、まったくもつともだ。

In one way it sounded most unlikely; in another, it was plausible enough.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」；「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

In one way イン・ワン・ウェイ adv. ある点では 「副詞句」

it イット pron それは 「主語」

sounded サウンデイト 3 単過・時制の一致 v.i ~のように思われる 「動詞」

Part 2 第2部

most unlikely; モスト・アンライクリー adj. まったく本当らしくない	「補語」
in another, イン・アナザー adv. 他の点では	「副詞句」
it イット pron. それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i. ～である	「動詞句」
plausible enough. プラウジブル・イフ adj. まったくもつともらしい	「補語」

いずれにせよ僕の考えでは、あの男は自ら災難を呼び込んだのだ。人は、あのような馬鹿げた悪戯をすべきではない。

<u>Anyhow, to my mind, the man was asking for trouble; one shouldn't play fool tricks of that sort.</u>	「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」; 「主語」 「動詞句」 「目的語」
Anyhow, エニハウ adv. いずれにせよ	「副詞」
to my mind, トゥ・マイ・マインド adv. 僕の考えでは	「副詞句」
the man ザ・マン n. あの男は	「主語」
was asking ワズ・アスキング 3 単過・進行形(ask)v.i(for) を 呼び込んだ	「動詞句」
for trouble; フォー・トラブル adv. 災難を	「間接目的語」
ask for trouble 「自ら災難を招くような余計な事をする、軽率な事をする」	
one ワン pron. 人は	「主語」
shouldn't play シュッドント・プレイ 3 単現・禁止(shouldn't+不定詞)	
v.t (遊びを) してはならない	「動詞句」
fool tricks フール・トリックス n. 馬鹿げた悪戯を	「目的語」
of that sort. オフ・ザットソート adj. あのような	「形容詞句」

このように、長時間の睡眠やら、記憶の訓練、あの新聞の切れ端の読書それに光と闇の往来やらで、日々の時間は滑るように過ぎていった。

<u>So, what with long bouts of sleep, my memories, readings of that scrap of newspaper, the tides of light and darkness, the days slipped by.</u>	「副詞句」, 「主語」 「動詞句」
So, ソウ adv. このようにして	「副詞」
what with ファット・ウィズ prep (手段) ～やら... やらで	「副詞句」
what with A and B 「A やら B やらで」 (A, B は名詞・動名詞)	
long bouts of sleep, ロング・バウト・オブ・スリープ n. 長時間の睡眠	「目的語」
my memories, マイ・メモリーズ pl.n 記憶の訓練	「目的語」
readings リーディングス pl.n 読書	「目的語」
of that scrap of newspaper, オフ・ザット・スクラップ・オブ・ニュースペーパー	
adj. あの新聞の切れ端の	「形容詞句」
the tides of light and darkness, ザ・タイズ・オブ・ライツ・アント・ダークネス	
pl.n 光と闇の往来	「目的語」

Part 2 第2部

the days ザ・デイズ pl.n 日々は 「主語」
 slipped by. スリプト・バイ 3 複過 v.i 滑るように過ぎていった 「動詞句」

確かに僕は、刑務所では時間の感覚が次第に失われていくという話を読んだことがあった。

I'd read, of course, that in jail one ends up by losing track of time.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd read, ハット・レット 1 単過・完了形(read)v.t 読んだことがあった 「動詞句」
 of course, オブ・コース adv. もちろん、確かに 「副詞句」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 in jail イン・ジェイル adv. 刑務所では 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 ends up エンズ・アップ 3 単現・結局(end up)
 v.i(by+現在分詞) ついには～するようになる 「動詞句」
 by losing バイ・ルーゼンク 現在分詞(lose)v.t 失う 「動詞句」
 track トラック n. 流れを 「目的語」
 of time. オフ・タイム adj. 時間の 「形容詞句」

しかし、僕にはその意味が十分に分からなかった。

But this had never meant anything definite to me. But 「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし
 this ズィス pron これは 「主語」
 had never meant ハット・ネヴァ・メント 3 単過・完了形・否定(mean)v.t 表わさなかった 「動詞句」
 anything エニシグ pron. (否定文で) 何も～ない 「目的語」
 definite デフィニット adj. はっきりした、明確な 「形容詞」
 to me. トゥ・ミー adv. 僕にとって 「副詞句」

僕は、日々がどれほどまで長く、そして同時に短くなれるのかを理解できなかった。

I hadn't grasped how days could be at once long and short. 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 hadn't grasped ハント・グ래스プト 1 単過・完了形・否定(grasp)v.t 理解できなかった 「動詞句」
 how ハウ adv. (程度) どれ位～するかということ 「目的語」
 days デイズ pl.n 日々が 「主語」
 could be クット・ビー 3 複過・可能・変化・時制の一致(can+不定詞)
 v.i ～になれる 「動詞句」
 at once アット・ワンス adv. 同時に 「副詞句」

Part 2 第2部

long and short. ロング・アント・ショート adj. 長くそして短く

「補語」

生き抜くための時間としては恐らく長い。しかし、あまりにも膨らみすぎて、やがて日々はお互いに重なり合うようになる。

Long, no doubt, as periods to live through, but so distended that they ended up by overlapping on each other. 「補語」, but 「副詞句」 that 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Long, ロング adj. 長い

「補語」

no doubt, ノ・ダウト adv. おそらく、多分

「副詞句」

as アズ prep (資格) ～としては

「副詞句」

periods ピリオド n. 時間

「目的語」

to live through, トゥ・リヴ・スルー 不定詞・目的

adj. 生き抜くための

「形容詞句」

but バット conj. しかし

so distended ソ・ディステンデイト 過去分詞(distend)adv. あまりにも膨らみすぎて 「副詞句」

that サット conj. (so...that) (結果) それで～する

they ゼイ pron.pl 日々は

「主語」

ended up by overlapping エンデイト・アップ・バイ・オヴラップィング 3 複過・結局

(end up by+現在分詞)v.i ついには重なるようになる

「動詞句」

on each other. オン・イチ・アザー adv. お互いに

「副詞句」

実際に、日々がそういうものだと考えたことが無かった；結局、「昨日」や「今日」という言葉だけがいくらかの意味を持ち続けている。

In fact, I never thought of days as such; only the words “yesterday” and “tomorrow” still kept some meaning. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」;

「主語」 「副詞」 「動詞」 「目的語」

In fact, イン・ファクト adv. 実際に、その証拠に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

never thought ネヴァー・ソート 1 単過・否定(think)

v.i(of について) 考えたことが無かった

「動詞句」

of days オフ・デイズ adv. 日々について

「間接目的語」

as such; アズ・サッチ adv. そういうものとして

「副詞句」

only the words オンリー・ザ・ワーズ pl.n 言葉だけは

「主語」

“yesterday” and “tomorrow” イェスタデイ・アント・トモロウ

adj. 「昨日」や「今日」という

「形容詞句」

still スティル adv. まだ、依然として

「副詞」

kept ケプト 3 複過・時制の一致(keep)v.t ～がある、持ち続けている

「動詞」

Part 2 第2部

some meaning. サム・ミーニング n. いくらかの意味を

「目的語」

ある朝、あの看守長が僕が拘置所に入ってからもう 6 か月になると僕に言った時、僕はその通りだと思ったが、格別な印象は何も無かった。

When, one morning, the jailer informed me I'd now been six months in jail, I believed him—but the words conveyed nothing to my mind.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」, but 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

When, ホエン conj. ～する時に

「副詞節」

one morning, ワン・モーニング adv. ある朝

「副詞句」

the jailer ザ・ジェイラー n. あの看守長が

「主語」

informed インフォームト 3 単過 v.t 知らせた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

n. ～ということ

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd now been ハット・ナウ・ビーン 1 単過・完了形・存在(be)

v.i ～に居た

「動詞句」

six months シックス・マンツ adv. 6 か月

「副詞句」

in jail, イン・ジェイル adv. 拘置所に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

believed ビリーヴト 1 単過 v.t 信じた

「動詞」

him— ヒム pron 彼の言うことを

「目的語」

but バット conj. しかし

the words ザ・ワーズ pl.n その言葉は

「主語」

conveyed コンヴェイト 3 複過 v.t 伝えた

「動詞」

nothing ナシング pron 何も～ない

「直接目的語」

to my mind. トゥ・マイ・マインド adv. 僕の心に

「間接目的語」

Part 2 第2部

僕にとっては、その期間は、僕がこの独房に入ってからずっと 1 日中同じことをやっていたその 1 日、まさにその同じ 1 日のように思われる。

To me it seemed like one and the same day that had been going on since I'd been in my cell, and that I'd been doing the same thing all the time.

「間接目的語」「主語」「動詞」「補語」

To me トゥ・ミー adv. 僕にとっては

「間接目的語」

it イット pron その期間は

「主語」

seemed シームトゝ 3 単過・時制の一致 v.i 〜のように思われる

「動詞」

like ライク prep (類似) 〜のような

「補語」

one ワン pron 1 日

「目的語」

and アンド conj. そして

the same day ザ・セイム・デイ n. 同じ 1 日

「目的語」

that ザット conj. 〜する

「形容詞節」

had been going on ハットゝ・ビーン・ゴーイング・オン 1 単過・完了形・進行形(go)

v.i 続けていた

「動詞句」

since シンス conj. 〜してから

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd been ハットゝ・ビーン 1 単過・完了形・存在(be)

v.i 〜に居た

「動詞句」

in my cell, イン・マイ・セル adv. 僕の独房に

「副詞句」

and アンド conj. そして

that ザット conj. 〜する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd been doing ハットゝ・ビーン・ドゥーイング 1 単過・完了形・進行形(do)

v.t やっていた

「動詞句」

the same thing ザ・セイム・シング

n. 同じことを

「目的語」

all the time. オール・ザ・タイム adv. 1 日中 「副詞句」

Part 2 第2部

看守長が僕を残して立ち去ってから、僕はスズ製のお椀を磨いて、それに映った自分の顔をじっと見つめた。

After the jailer left me I shined up my tin pannikin and studied my face in it.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 and 「動詞」 「目的語」

After アフター conj. ～した後で

「副詞節」

the jailer ザ・ジェイラー n. 看守長が

「主語」

left レフト 3 単過(leave)v.t 置いて立ち去った

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

shined up シャイント・アップ 1 単過(shine up)v.t 磨き上げた

「動詞句」

my tin pannikin マイ・ティン・パニキン n. スズ製のお椀を

「目的語」

tin ティン n. スズ pannikin パニキン n. 金属製小杯

and アンド conj. そして

studied スタディート 1 単過(study)v.t じっと見つめた

「動詞」

my face マイ・フェイス n. 自分の顔を

「目的語」

in it. イン・イット adv. それに映った

「副詞句」

僕は、笑おうとしたはずなのに、僕の表情はひどく真剣だった。

My expression was terribly serious. I thought, even when I tried to smile.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「主語」 「動詞」, 「副詞節」

My expression マイ・エクスプレッション n. 僕の表情は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

terribly serious, テリブリー・シリアス adj. 非常に真剣な

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

thought, ソート 1 単過(think)v.t 思った

「動詞」

even when イーヴン・ヘン adv. (譲歩) ～したのに

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

tried to smile. トライト・トゥ・スマイル 1 単過・試行(try to+不定詞)

v.i 笑おうとした

「動詞句」

Part 2 第2部

お椀の角度を変えても、相変わらず、僕の顔は同じ悲し気で緊張した表情をたたえていた。

I held the pannikin at different angles, but always my face had the same mournful, tense expression. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,but 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

held ヘルト 1 単過(hold)v.t 持った 「動詞」

the pannikin サ・パニキン n. お椀を 「目的語」

at different angles, アット・ディファレント・アングルス adv. 違う角度に 「副詞句」

but バット conj. しかし

always オールウェイズ adv. 相変わらず 「副詞」

my face マイ・フェイス n. 僕の顔は 「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた 「動詞」

the same mournful, サ・セイム・モンフル adj. 同じ悲し気な 「形容詞句」

tense expression. テンス・エクスプレッション n. 緊張した表情を 「目的語」

日が沈みかけていた。僕はそれについて話す気になれない「名前のない時刻」だった。夕方のざわめきが人目を忍ぶ行列になって監獄のあらゆる階から這い上がって来るのだ。

The sun was setting and it was the hour of which I'd rather not speak—"the nameless hour." I called it—when evening sounds were creeping up from all the floors of the prison in a sort of stealthy procession. 「主語」「動詞句」 and 「主語」「動詞」「補語」

The sun サ・サン n. 太陽が、日が 「主語」

was setting ワズ・セティング 3 単過・進行形(set)v.i (太陽が) 沈むところだった 「動詞句」

and アンド conj. そして

it イット pron それは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」

the hour ス・イ・アウ n. 時間 「補語」

of which オフ・フィッチ adj. それについて~する 「形容詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd rather not speak— ウット・ラーサー・ノット・スピーク 1 単現・願望・否定(would rather+不定詞)

v.i むしろ話したくない 「動詞句」

“the nameless hour,” サ・ネームレス・アウ n. 「名前のない時刻」 「補語」

I called it— アイ・コールド・イット adv. 僕がそれと呼んでいる 「副詞節」

when ホエン conj. ~する時に 「副詞節」

evening sounds イヴニング・サウズ

pl(sound).n 夕方の騒音が 「主語」

were creeping up ワー・クリーピング・アップ 3 複過・進行形(creep)

v.i 這い上がって来る 「動詞句」

Part 2 第2部

from all the floors フロム・オール・ザ・フロアズ

adv. 全ての階から

「副詞句」

of the prison オフ・ザ・プリズン adj. 監獄の 「形容詞句」

in a sort of イン・ナ・ソート・オブ

adv. (様態) ある種の〜で

「副詞句」

stealthy procession. ステルシー・プロセッション

n. ひそかな行列

「目的語」

僕は格子窓へ歩み寄り、最後の光の中で、窓ガラスに映りこんだ自分の顔をまた見つめた。

I went to the barred window and in the last rays looked once again at my reflected face.

「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「副詞句」「動詞」「副詞句」「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

went ウェント 1 単過(go)v.i 進んだ

「動詞」

to the barred window トゥ・ザ・バート・ウィントゥ adv. (方向) 格子窓の方へ

「間接目的語」

and アンド conj. そして

in the last rays イン・ザ・ラスト・レイズ adv. 最後の光の中で

「副詞句」

looked ルックト 1 単過(look)v.i(at を) 見つめた、眺めた

「動詞」

once again ワンスアゲン adv. もう一度

「副詞句」

at my reflected face. アット・マイ・リフレクティッド・フェイス adv. そこに映りこんだ顔を

「間接目的語」

それは相変わらず真剣な顔だった。しかし、それは驚くには当たらない、僕は、そのときまさに真剣な感情だったのだから。

It was as serious as before; and that wasn't surprising, as just then I was feeling serious.

「主語」「動詞」「補語」; and 「主語」「動詞句」「補語」

It イット pron (face の代用) それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

as serious as before; アズ・シアリアス・アズ・ビフォー adj. 相変わらず真剣な

「補語」

and アンド conj. そして

that サット pron そのことは

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i 〜でなかった

「動詞句」

surprising, サプリアジング adj. 驚くべき

「補語」

as アズ conj. (理由) 〜なので

「副詞節」

just then ジャスト・ゼン adv. その時まさに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was feeling ワズ・フィーリング 1 単過・進行形(feel)

v.i 〜の感じを覚えていた

「動詞句」

Part 2 第2部

serious. シリアス adj. 真剣な

「補語」

しかし、同時に、僕はここ何か月も聞いたことがない何かを聞いた。

But, at the same time, I heard something that I hadn't heard for months.

But 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

But, バット conj. しかし

at the same time, アット・ザ・セム・タイム adv. 同時に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

heard ハート 1 単過(hear)v.t 聞いた

「動詞」

something サムシング pron 何かを

「目的語」

that サット pron (目的語) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

hadn't heard ハント・ハート 1 単過・完了形・否定(hear)

v.t 聞いたことが無い

「動詞句」

for months. フォー・マンツ adv. 何か月も

「副詞句」

それは人の声；僕自身の声だ。間違いない。

It was the sound of a voice; my own voice. there was no mistaking it.

「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」

It イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

the sound of a voice; サ・サント・オブ・ア・ヴォイス n. 人声の音色

「補語」

my own voice, マイ・オン・ヴォイス n. 僕自身の声

「補語」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～があった

「動詞句」

no mistaking it. ノ・ミステイキング・イット n. それを間違えることはないということが

「主語」

そして、僕はそれがここ数日の間ずっと僕の耳の中で鳴り響いていた声だと気づいた。

And I recognized it as the voice that for many a day of late had been sounding in my ears.

And 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

And アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

recognized レクグナイズト 1 単過 v.t 気づいた

「動詞」

it イット pron それを

「目的語」

as アズ prep (資格) ～として

「補語」

the voice サ・ヴォイス n. 声

「目的語」

that サット pron (主語) ～する

「形容詞節」

Part 2 第2部

for many a day of late フォー・メニー・ア・デイ・オブ・レイト

adv. ここ数日の間ずっと

「副詞句」

had been sounding ハッド・ビーン・サウンディング 3 単過・完了形・進行形(sound)

v.i 鳴り響いていた

「動詞句」

in my ears. イン・マイ・イヤーズ adv. 僕の耳の中で

「副詞句」

それで、この間じゅうずっと、僕は独り言をいっていたと気づいた。

So I knew that all this time I'd been talking to myself. 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

So ソ adv. それで

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュー 1 単過(know)v.t 知った、気づいた

「動詞」

that サット conj. ～ということ

「目的語」

all this time オール・ス・イズ・タイム adv. この間じゅうずっと

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd been talking ハッド・ビーン・トーキング 1 単過・完了形・進行形(talk)

v.i(to に) 話しかけていた

「動詞句」

to myself. トゥ・マイセルフ adv. 自分自身に

「間接目的語」

talk to oneself 「独り言を言う」

そこで、僕に言われた言葉が頭に浮かんだ；母さんの葬儀で、あの看護婦が言った意見だ。

And something I'd been told came back; a remark made by the nurse at Mother's funeral.

And 「主語」「動詞句」；「主語」

And アント conj. そして

something サムシング pron 何か

「主語」

I'd been told アイド・ビーン・トルト adj. 言われた

「形容詞節」

came back; ケム・バック 3 単過(come back)

v.i よみがえった、頭に浮かんだ

「動詞句」

a remark ア・リマーク n. 注意

「主語」

made メイト 過去分詞・受動 adj. 言われた

「形容詞句」

by the nurse バイ・ザ・ナース adv. (動作主) 看護婦に

「副詞句」

at Mother's funeral. アット・マザース・フューネラル adv. 母さんの葬儀で

「副詞句」

Part 2 第2部

そうだ、逃げ道はない。そして誰も牢獄の夕暮れがどんなものを想像できないだろう。

No, there was no way out, and no one can imagine what the evenings are like in prison.

「感嘆」, 「動詞句」 「主語」, and 「主語」 「動詞句」 「目的語」

No, ノ adv. いや、そうだ

「感嘆」

there was ゼア・ワズ 3 単過・時制の一致 (there be) v.i ~はある

「動詞句」

no way ノ・ウェイ n. 道は~ない

「主語」

out, アウト adv. 外に出る、逃げ出す

「副詞」

and アンド conj. そして

no one ノ・ワン pron 誰も~ない

「主語」

can imagine キャン・イマジン 3 単現・可能(can+不定詞) v.t 想像できる

「動詞句」

what ファット pron 何に~するかということを

「目的語」

→ like what 何に似ている、何のようなもの

the evenings ザ・イヴニングズ pl(evening) n 夕暮れが

「主語」

are アー 3 複現(be) v.i ~である

「動詞」

like ライク adj. 似ている

「補語」

in prison. イン・プリズン adv. 牢獄では

「副詞句」

看護婦の言葉（第1部第1章）

彼女は言った：「歩くのがゆっくり過ぎると、日射病の危険性があります。

しかし、急ぎすぎると、汗をかいて、教会の冷気で寒気がしてきます。」

What she said was: "If you go too slowly there's the risk of a heatstroke.

But, if you go too fast, you perspire, and the cold air in the church gives you a chill."

Part 2 第2部

III

結局、この数か月はあっという間に過ぎ去ったと言えるだろう；つまり、次の夏は今の夏が終わったと気が付くかどうかという頃にもう近づいていた。

ON THE whole I can't say that those months passed slowly; another summer was on its way almost before I realized the first was over.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞」「補語」

ON THE whole オン・ザ・ホール adv. 概して、全体から見て 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

can't say キャント・セイ 1 単現・可能・否定(can+不定詞)v.t(that へと) 言えない 「動詞句」

反語による強調 → 反対の意味に翻訳する

that サット conj. ～ということを 「目的語」

those months ジーズ・マンツ pl(month).n この数か月は 「主語」

passed パスト 3 複過(pass)v.i (時が) 過ぎ去った 「動詞」

slowly; スロウリー adv. ゆっくりと 「副詞」

another summer アナザー・サマー n. 次の夏は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

on its way オン・イツ・ウェイ adv. 近づいて 「補語」

almost before オールモスト・ビフォー conj. ほとんど～する前に 「副詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

realized リアライズト 1 単過・時制の一致 v.t 気が付く 「動詞」

the first ザ・ファースト n. 最初の夏が～することを 「目的語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

over. オヴァー adv. 終わって 「補語」

そして、最初の本格的な暑さと共に、何かが僕を待ち構えていることは分かっていた。

And I knew that with the first really hot days something new was in store for me.

And 「主語」「動詞」「目的語」

And アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

knew ニュー 1 単過(know)v.t 知っていた 「動詞」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

with ウイズ prep (随伴) ～と共に 「副詞句」

the first really hot days ザ・ファースト・リアリー・ホット・デイズ

pl.n 最初の本格的な暑さ 「目的語」

something new サムシング・ニュー n. 何か、何か新しい事 「主語」

Part 2 第2部

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 in store イン・ストア adv. (人) 待ち構えた 「補語」
 for me. フォー・ミー adv. 僕を 「間接目的語」

僕の裁判は重罪院の最終日程に予定されていた。その日程は、6 月末までに終わる予定だ。

My case was down for the last sessions of the Assize Court, and those sessions were due to end some time in June. 「主語」「動詞」「補語」, and 「主語」「動詞」「補語」

My case マイ・ケイス n. 僕の裁判は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

down for the last sessions ダウン・フォー・ザ・ラスト・セッション
 adv. (予定) 最終日程に予定された 「補語」

of the Assize Court, オブ・スィ・アサイズ・コート adj. 重罪院の 「形容詞句」

and アンド conj. そして

those sessions ザーズ・セッションズ pl(session).n その日程は 「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i 〜だった 「動詞」

due to end デュー・トゥ・エンド adj.(due to+不定詞) (予定) 終わることになっていた 「補語」

some time in June. サム・タイム・イン・ジュン adv. 6 月末までに 「副詞句」

僕の審理は、日差しの強い日に開始された。

The day on which my trial started was one of brilliant sunshine. 「主語」「動詞」「補語」

The day ザ・デイ n. その日は 「主語」

on which オン・フィッチ adv. その日に〜する 「形容詞節」

my trial マイ・トライアル n. 僕の審理が 「主語」

started スタート 3 単過 v.i 始まった 「動詞」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

one of brilliant sunshine. ワン・オブ・ブリリヤント・サンシャイン n. 日差しの眩しい日 「補語」

僕の弁護士は、裁判は 2〜3 日で終わるだろうと保証した。

My lawyer assured me the case would take only two or three days.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

My lawyer マイ・ローヤー n. 僕の弁護士は 「主語」

assured アシュアト 3 単過 v.t 保証した、請け負った 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

n. 〜ということを 「直接目的語」

the case ザ・ケイス n. 裁判は 「主語」

would take ウット・テイク 3 単現・推量(would+不定詞)

Part 2 第2部

v.t (時間が) かかるだろう 「動詞句」
 only two or three days. オヴンリー・トゥ・オア・スリー・デイズ
 pl.n 2〜3 日しか〜ない 「目的語」

「私が聞いたところでは」と、彼は付け加えた。「裁判所はあなたの裁判を出来るだけ手早く済ませるでしょう。あなたの裁判は、事件表の中で最重要の件ではないからです」

“From what I hear,” he added, “the court will dispatch your case as quickly as possible, as it isn’t the most important one on the Cause List.”

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」》
 “From フロム adv. (理由) 〜からすると 「副詞句」
 what フアット pron 〜すること 「目的語」
 I アイ pron 私が 「主語」
 hear,” ヒア 1 単現 v.t 聞いている 「動詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 added, アデイト 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」
 “the court ザ・コート n. 裁判所は 「主語」
 will dispatch ウィル・デイスパッチ 3 単未・推量(eill+不定詞)v.t 手早く済ませるだろう 「動詞句」
 your case ユア・ケイス n. あなたの裁判を 「目的語」
 as quickly as possible, アズ・クイックリー・アズ・ポッシブル adv. 出来るだけ早く 「副詞句」
 as アズ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」
 it イット pron (your case の代用) それは 「主語」
 isn’t イズント 3 単現・否定(be)v.i 〜でない 「動詞句」
 the most important one ザ・モスト・インポータント・ワン n. 最重要の件 「補語」
 on the Cause List. オン・ザ・コース・リスト adv. 事件表の中で 「副詞句」

すぐ後に父親殺しの裁判がある。これは時間がかかるだろう。

There’s a case of parricide immediately after, which will take them some time.”

「動詞句」「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」
 There’s ゼアズ 3 単現・存在(there be)v.i 〜がある 「動詞句」
 a case ア・ケイス n. (法律) 裁判 「主語」
 of parricide オフ・パリスサイト adj. 父親殺しの 「形容詞句」
 immediately after, イミディエイトリー・アフター adv. すぐ後に 「副詞句」
 which フィッチ pron これは 「主語」
 will take ウィル・テイク 3 単未・必要・推量(will+不定詞)v.t 必要になるだろう 「動詞句」
 them ゼム pron.pl 彼らにとって 「間接目的語」
 some time.” サム・タイム n. かなりの時間 「直接目的語」

Part 2 第2部

朝の7時半に迎えがやって来て、僕は護送車で裁判所へ連れていかれた。

They came for me at half-past seven in the morning and I was conveyed to the law courts in a prison van.

「主語」	「動詞」	「間接目的語」	「副詞句」	and	「主語」	「動詞句」	「間接目的語」	「副詞句」
They	ゼイ	pron	彼らは					「主語」
came	ケム	3 複過(come)	v.i(for を) 迎えにやって来た					「動詞」
for me	フォー・ミー	adv.	僕を					「間接目的語」
at half-past seven	アット・ハーフ・パースト・セヴン	adv.	7時半に					「副詞句」
in the morning	イン・ザ・モーニング	adv.	朝の					「副詞句」
and	アンド	conj.	そして					
I	アイ	pron	僕は					「主語」
was conveyed	ワズ・コンヴェイト	1 単過・受動(convey)	v.t 運ばれた					「動詞句」
to the law courts	トゥ・ザ・ロー・コート	adv.	裁判所へ					「間接目的語」
in a prison van.	イン・ナ・プリズン・ヴァン	adv.	(手段) 護送車で					「副詞句」

2人の警察官が僕を陰湿なにおいのする小さい部屋に入れた。

The two policemen led me into a small room that smelled of darkness.

					「主語」	「動詞」	「目的語」	「副詞句」
The two policemen	ザ・トゥ・ポリスマン	pl.n	2人の警察官が					「主語」
led	レッド	3 複過(lead)	v.t 誘導した、導いた					「動詞」
me	ミー	pron	僕を					「目的語」
into a small room	イントゥ・ア・スモール・ルーム	adv.	小さな部屋に					「副詞句」
that	ザット	pron	(主語) ～する					「形容詞節」
smelled	スメルト	3 単過・時制の一致(smell)						
		v.i (of ～の)	においがする					「動詞」
of darkness.	オブ・ダークネス	adj.	陰湿な					「補語」

Part 2 第2部

僕たちは扉の近くに座った。扉の向こうから、人声や叫び声や椅子が床に擦れる音が聞こえてきた；そういったざわめきから、コンサートが終わった後に懇親会でダンスが出来るように会場を片付けている様子が想像できた。

We sat near a door through which came sounds of voices, shouts, chairs scraping on the floor; a vague hubbub which reminded me of one of those small- town “socials” when, after the concert’s over, the hall is cleared for dancing.

「主語」「動詞」「副詞句」；「主語」

We ウィー pron.pl 僕たちは

「主語」

sat サット 1 複過(sit)v.i 座った

「動詞」

near a door ニア・ア・ドアー adv. 扉の近くに

「副詞句」

through which スルー・フィッチ adv. そこから～する

「形容詞節」

came ケム 3 複過・時制の一致(come)

v.i やって来る、聞こえてくる

「動詞」

sounds サウンズ pl(sound).n 音が

「主語」

of オフ prep (根源) ～の

「形容詞句」

voices, ヴォイスィズ pl(voice).n 声、人声

「目的語」

shouts, シャウト pl(shout).n 叫び声

「目的語」

chairs scraping チェアズ・スクラピング

pl(chair).n 椅子のこすれる音

「目的語」

on the floor; オン・ザ・フロア

adv. 床の上で

「副詞句」

a vague hubbub ア・ヴァイク・ハバブ

n. 曖昧なざわめき

「主語」

which フィッチ pron (主語) ～する

「形容詞節」

reminded リマインデイト 3 単過 v.t 連想させる

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

of one of those small- town “socials” オブ・ワン・オブ・ソーズ・スモール・タウン・ソシアルス

adv. 町内会の懇親会のようなものを

「直接目的語」

when, ヘン conj. ～する時に

「副詞節」

after the concert’s over, アフター・ザ・コンサート・オウアー

adv. コンサートが終わった後で

「副詞節」

the hall ザ・ホール n. 会場が

「主語」

is cleared イズ・クリアト 3 単現・受動(clear)

v.t 片付けられる

「動詞句」

for dancing. フォー・ダンシング

adv. (目的) ダンスをするために

「副詞句」

Part 2 第2部

警官の一人が、まだ開廷しないからと言って僕に煙草を差し出したが、僕は断った。

One of my policemen told me the judges hadn't arrived yet, and offered me a cigarette, which I declined. 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,

and 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」, 「目的語」「主語」「動詞」

One of my policemen ワン・オブ・マイ・ポリスマン pron 警官の一人が 「主語」

told トールド 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

n. ～ということを 「直接目的語」

the judges サ・ジャッジズ pl(judge).n 判事が 「主語」

hadn't arrived ハント・アライヴト 3 複過・完了形・否定・時制の一致(arrive)

v.i 来ていない 「動詞句」

yet, イェット adv. まだ 「副詞」

→ まだ開廷しない

and アント conj. そして

offered オファート 3 単過(offer)v.t すすめた、差し出した 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

a cigarette, ア・シガレット n. タバコを 「直接目的語」

which フィッチ pron (cigarette の代用) それを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

declined. デイクライント 1 単過 v.t 断った 「動詞」

少ししてから、彼は僕に、「緊張しているのか？」と尋ねた。

After a bit he asked me if I was feeling nervous.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

After a bit アフター・ア・ビット adv. 少ししてから 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was feeling ワズ・フィーリング 1 単過・進行形・時制の一致(feel)

v.i(SVC) ～の感じである 「動詞句」

nervous. ナーバス adj. 緊張した 「補語」

Part 2 第2部

僕は「大丈夫だ」と答え、「裁判を見るのはとても興味深い」と続けた；僕はこれまでに一度も裁判に参列したことがなかった。

I said, “No,” and that the prospect of witnessing a trial rather interested me; I’d never had occasion to attend one before.

「主語」「動詞」「応答」,and「目的語」；「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “No,” ノウ adv. いや 「応答」
 and アンド conj. そして
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 the prospect ザ・プロスペクト n. 眺めは 「主語」
 of witnessing a trial オブ・ウィーネシグ・ア・トライアル
 adj. 裁判を目撃する 「形容詞句」
 rather ラーザー adv. とても 「副詞」
 interested インタレストィット 3 単過 v.t 興味を起こさせた 「動詞」
 me; ミー pron 僕に 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 ’d never had ハット・ネヴァー・ハット 1 単過・完了形・否定(have)
 v.t 一度も持ったことがない 「動詞句」
 occasion カジヨン n. 機会を、チャンス 「目的語」
 to attend トゥ・アテント 不定詞・目的 adj. 参列する、参加する 「形容詞句」
 one ワン pron (trial の代用) それに 「目的語」
 before. ビフォー adv. これまでに 「副詞」

「そうかもな」と、別の警官が言った。「だが、1時間もすれば、うんざりするだろう」

“Maybe,” the other policeman said. “But after an hour or two one’s had enough of it.”

《「応答」》,「主語」「動詞」 | 《But「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》
 “Maybe,” メイベー adv. そうかもな 「応答」
 the other policeman スイ・アザー・ポリスマン n. 別の警官が 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “But バット conj. しかし
 after an hour or two アフター・アン・ワー・ア・トゥ adv. 1時間かそこらで 「副詞句」
 one ワン pron 人は 「主語」
 ’s had ハズ・ハット 3 単現・完了形・未来の推量(have)v.t 持ってしまうだろう 「動詞句」
 enough イフ n. 十分な量を 「目的語」
 of it.” オブ・イット adv. それについて 「副詞句」

Part 2 第2部

→ もううんざり、もうたくさん

しばらくしてから、その部屋で小さい電動ベルの音が鳴り響いた。

After a while a small electric bell purred in the room.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

After a while アフター・ア・ホワイユ adv. しばらくしてから

「副詞句」

a small electric bell ア・スモール・エレクトリック・ベル n. 小さい電動ベルが

「主語」

purred パート 3 単過(purr)v.i 鳴った

「動詞」

in the room. イン・ザ・ルーム adv. 部屋で

「副詞句」

警官たちは僕の手錠を外し、扉を開けて、僕を被告人席へ導いた。

They unfastened my handcuffs, opened the door, and led me to the prisoner's dock.

「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」, and 「動詞」「目的語」「副詞句」

They ゼイ pron.pl 警官たちは

「主語」

unfastened アンファースント 3 複過 v.t (繋がれたものを) 外した

「動詞」

my handcuffs, マイ・ハント・カフス pl(handcuff).n 手錠を

「目的語」

opened オプント 3 複過 v.t 開けた

「動詞」

the door, ザ・ドアー n. 扉を

「目的語」

and アント conj.そして

led レット 3 複過(lead)v.t 導いた

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

to the prisoner's dock. トゥ・ザ・プリズナース・ドック adv. 被告人席へ

「副詞句」

法廷内には大勢の傍聴人がいた。ベネチア風の日除けが降ろされていたが、隙間から日差しが漏れ入り、空気はすでに息苦しいほどになっていた。

There was a great crowd in the courtroom. Though the Venetian blinds were down, light was filtering through the chinks, and the air stiflingly hot already.

「動詞句」「主語」「副詞句」

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, and 「主語」「補語」

There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～がいた

「動詞句」

a great crowd ア・グレイト・クラウド n. 大勢の傍聴人が

「主語」

in the courtroom. イン・ザ・コートルーム adv. 法廷内には

「副詞句」

Though ヴウ conj. (譲歩) ～だが

「副詞節」

the Venetian blinds ザ・ヴェネチアン・ブラインズ

pl(blind).n ベネチア風の日除けは

「主語」

were ワー 3 複過(be)v.i ～だった

「動詞」

Part 2 第2部

down, ダウン adj. 下がった、降りた

「補語」

light ライト n. 日差しは

「主語」

was filtering ワズ・フィルタリング 3 単過・進行形(filter)v.i 漏れてきていた

「動詞句」

through the chinks, スルー・ザ・チンクス adv. 隙間を通して

「副詞句」

and アンド conj. そして

the air ズィ・エア n. 空気は

「主語」

stifflingly スタイフリングリー adv. 息苦しいほどに

「副詞」

hot ホット adj. 暑い

「補語」

already. オールディ adv. すでに

「副詞」

ベネチアン・ブラインド

金属やプラスチックの薄く横に細長い板を、板の幅より少し狭いくらいの間隔で重ねるように何枚も紐(ひも)でつなぎ、窓の内側などに上から吊るして日よけや目隠しとするブラインド。



窓はみな閉め切られていた。僕が座ると、警官たちは僕の椅子の両脇に席を構えた。

The windows had been kept shut. I sat down, and the police officers took their stand on each side of my chair.

「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「動詞句」,and「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

The windows ザ・ウインドウズ pl(window).n 窓は

「主語」

had been kept ハット・ビーン・ケプト 3 複過・完了形・受動(keep)

v.t (状態を) 続けられていた

「動詞句」

shut. シャット adj. 閉じた

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

sat down, サット・ダウン 1 単過(sit down)v.i 腰を降ろした、座った

「動詞句」

and アンド conj. そして

the police officers ザ・ポリス・オフィサーズ pl(police officer).n 警官たちは

「主語」

took トゥック 3 複過(take)v.t 取った

「動詞」

their stand ゼア・スタント n. 彼らの位置を

「目的語」

on each side オン・イチ・サイド adv. 両側に

「副詞句」

of my chair. オフ・マイ・チェア adj. 僕の椅子の

「形容詞句」

Part 2 第2部

僕の目の前に横 1 列に並んだ顔に気が付いたのはこの時だった。彼らは僕の顔をじっと見つめていたので、彼らは陪審員だろうと思った。

It was then that I noticed a row of faces opposite me. These people were staring hard at me, and I guessed they were the jury.

「動詞」「補語」「主語」

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」,and「主語」「動詞」「目的語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

then ゼン adv. その時

「補語」

that ザット conj. ~ということは

「主語」

I アイ pron 僕が

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気づいた

「動詞」

a row of faces ア・ロウ・オブ・フェイスズ n. 1 列に並んだ顔に、顔の列

「目的語」

opposite me. オパジット・ミー adv. 僕の向かい側にいる、僕に向かって

「副詞句」

These people ジーズ・ピープル n. この人たちは

「主語」

were staring ワー・ステアリング 3 複過・進行形(stare)v.i (at を) 見つめていた

「動詞句」

hard ハート adv. じっと

「副詞」

at me, アット・ミー adv. 僕を

「間接目的語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

guessed ゲスト 1 単過 v.t 推測した

「動詞」

n. ~ということ

「目的語」

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

were ワー 3 複過・推量(be)v.i ~だろう

「動詞」

the jury. ザ・ジュアリー n. 陪審員

「補語」

しかしなぜか、彼ら一人一人を個別に識別することは出来なかった。

But somehow I didn't see them as individuals.

But「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

But バット conj. しかし

somehow サムハウ adv. なぜか

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't see ディント・シー 1 単過・否定 v.t 見えなかった

「動詞句」

them ゼム pron.pl 彼らを

「目的語」

as individuals. アズ・インディヴィジュアルズ adv. 個別の者として

「補語」

Part 2 第2部

僕は、電車に乗った直後に、向かいの座席の人々が何かおかしいことが無いか探してしている事に気づくのと同様な印象を持った。

I felt as you do just after boarding a streetcar and you're conscious of all the people on the opposite seat staring at you in the hope of finding something in your appearance to amuse them.

I	アイ	pron	僕は		「主語」
felt	フェルト	1 単過(feel)v.t	感じた		「動詞」
as	アズ	conj.	～と同様に		「副詞節」
you	ユー	pron	君が		「主語」
do	ドゥ	2 単現 v.t (feel の代用)	感じる		「動詞」
just after	ジャスト・アフター	conj.	～する直後に		「副詞句」
boarding	ボーディング	現在分詞(board)v.t	乗り込む		「動詞」
a streetcar	ア・ストリートカー	n.	電車に		「目的語」
and	アンド	conj.	そして		
you	ユー	pron	君は		「主語」
're	アー	2 単現(be)v.i	～である		「動詞」
conscious	コンシャス	adj.	気づく		「補語」
of all the people	オブ・オール・ザ・ピープル	adv.	人々に		「副詞句」
on the opposite seat	オン・ス・イ・オパジット・シート				
	adv.		向かいの座席にいる		「副詞句」
staring	ステアリング	現在分詞(stare)v.t	見つめている		「動詞」
at you	アット・ユー	adv.	君の事を		「間接目的語」
in the hope of finding	イン・ザ・ホープ・オブ・ファインディング				
	adv.		(目的) 見つけようとして		「副詞句」
something	サムシング	pron	何かを		「目的語」
in your appearance	イン・ユア・アピアランス				
	adv.		君の外見に		「副詞句」
to amuse them.	トゥ・アミューズ・セム	不定詞・目的			
	adj.		彼らを楽しませる		「形容詞句」

Part 2 第2部

勿論、これが馬鹿げた例えだと分かっていた；彼らが僕を見て探していたのは、おかしいことではなく、有罪の徴候だったのだから。

Of course, I knew this was an absurd comparison; what these people were looking for in me wasn't anything to laugh at, but signs of criminality.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」; 「主語」 「動詞句」 「補語」

Of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

knew ニュー 1 単過(know)v.t 分かっていた 「動詞」

n. ～ということを 「目的語」

this ズィス pron これは 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

an absurd comparison; アン・アブサート・コンパリスン n. 馬鹿げたたとえ 「補語」

what ファット pron (目的語) するものは 「主語」

these people ジーズ・ヒープル pl.n その人たちが 「主語」

were looking for ワー・ルキング・フォー 3 複過・進行形(look for)v.t 探していた 「動詞句」

in me イン・ミー adv. 僕の中に 「副詞句」

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ～ではなかった 「動詞句」

anything to laugh at, エンシング・トゥ・ラフ・アット pron 笑うための物～でない 「補語」

but バット conj. そうではなく

signs サインズ pl.n 徴候、証拠 「補語」

of criminality. オフ・クリミナリティ adj. 有罪の 「形容詞句」

それでも違いはあまり大きくない。いずれにせよ、それは僕が抱いた感想だ。

Still, the difference wasn't so very great, and, anyhow, that's the idea I got.

「副詞」, 「主語」 「動詞」 「補語」, and, 「副詞」 「主語」 「動詞」 「補語」

Still, スティル adv. それでも 「副詞」

the difference ザ・ディフェランス n. 違いは 「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない 「動詞」

so very great, ソ・ヴェリー・グレート adj. あまり大きい 「補語」

and, アント conj. そして

anyhow, エニハウ adv. ともかく、いずれにせよ 「副詞」

that ザット pron それは 「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

the idea スィ・アイデア n. 考え、感想 「補語」

I got. アイ・ゴット adj. 僕が抱いた 「形容詞節」

Part 2 第2部

大勢の聴衆と不十分な換気のせいで廷内はむせ返り、僕は少し混乱していた。

What with the crowd and the stuffiness of the air I was feeling a bit dizzy.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

What with フォット・ウィズ[°] prep (+A and B) (原因) A やら B やらで 「副詞句」
= because of A and B

the crowd ザ・クラウト[°] n. 聴衆、人ごみ 「目的語」

and アンド[°] conj. そして

the stuffiness ザ・スタフィニス[°] n. 風通しの悪さ 「目的語」

of the air オフ・ズィ・エア[°] adj. 空気の 「形容詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was feeling ワズ・フィーリング[°] 1 単過・進行形(feel)v.i (感覚を) 感じていた 「動詞句」

a bit dizzy. ア・ビット・ディジー[°] adj. 少し当惑した 「補語」

僕は法廷内のあちこちに視線を走らせたが、どの顔も識別できなかった。

I ran my eyes round the courtroom but couldn't recognize any of the faces.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 but 「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

ran ラン 1 単過(run)v.t (目を) 走らせた 「動詞」

my eyes マイ・アイズ[°] pl(eye).n 目を 「目的語」

round ラウント[°] prep ~のあちこちに 「副詞句」

the courtroom ザ・コートヤート[°] n. 法廷 「目的語」

but バット conj. しかし

couldn't recognize クアント・レコグナイズ[°] 1 単過・可能・否定(can+不定詞 recognize)
v.t 識別できなかった 「動詞句」

any of the faces. エニー・オブ・ザ・フェイスズ[°] n. どの顔も 「目的語」

最初は、この全員が僕の裁判を見るためにやって来たとはほとんど信じられなかった。

At first I could hardly believe that all these people had come on my account.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

At first アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

could hardly believe クット・ハートリー・ビリーヴ[°] 1 単過・可能・否定(can+不定詞 believe)
v.t ほとんど信じられなかった 「動詞句」

that ザット conj. ~ということ 「目的語」

all these people オール・ジーズ・ピープル[°] pl.n これらの人が全員 「主語」

had come ハット・カム 3 複過・完了形(come)v.i 来た 「動詞句」

Part 2 第2部

on my account. オン・マイ・アカウント adv. (場所) 僕の弁明、裁判 「間接目的語」

自分が関心のまよになっているのは、初めての経験だった；普通なら、誰も僕に関心を払わないからだ。

It was such a new experience, being a focus of interest; in the ordinary way no one ever paid much attention to me.

「動詞」「補語」「主語」；「副詞句」「主語」「副詞」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」
 It イット pron 仮の主語 (真の主語は being a focus of interest)
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 such a new experience, サッチ・ア・ニュー・エクスビ°アリアンス n. 初めての経験 「補語」
 being ビーイング 現在分詞(be)v.i 〜でいることは 「主語」
 a focus ア・フォーカス n. まと、焦点 「補語」
 of interest; オフ・インタレスト adj. 関心の 「形容詞句」
 in the ordinary way イン・スィ・オーデ°イナリー・ウェイ adv. 普通なら 「副詞句」
 no one ノーワン pron 誰も〜ない 「主語」
 ever エヴァー adv. (否定文で) 決して〜ない 「副詞」
 paid ペイト° 3 単過・時制の一致(pay)v.t (注意を) 払わない 「動詞」
 much attention マッチ・アテンション n. (否定文で) それほど注意を 「直接目的語」
 to me. トゥ・ミー adv. 僕に対して 「間接目的語」

「何という混雑だ！」と、左側の警官に言った。すると彼は、それは新聞のせいだと答えた。

“What a crush!” I remarked to the policeman on my left, and he explained that the newspapers were responsible for it.

《「感嘆」》「主語」「動詞」「間接目的語」, and 「主語」「動詞」「目的語」
 “What a crush!” ファット・ア・クラッシュ int. 何という人ごみだ！ 「感嘆」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 remarked リマート 1 単過(remark)v.t 言った 「動詞」
 to the policeman トゥ・ザ・ポーリスマン adv. 警官に 「間接目的語」
 on my left, オン・マイ・レフト adv. 僕の左側の 「副詞句」
 and アント° conj. そして
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 explained イクスプレイント° 3 単過 v.t 説明した 「動詞」
 that サット conj. 〜とということ 「目的語」
 the newspapers サ°・ニューズ°ヘイパーズ° pl.n 新聞が 「主語」
 were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

Part 2 第2部

responsible for it. レスポンジブル・フォー・イット adj. それに責任がある、のせいだ「補語」

彼は陪審席の真下のテーブルにいる男たちの一団を指し示した。「あそこに彼らがいる！」

He pointed to a group of men at a table just below the jury box. “There they are!”

「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞」

He ヒー pron 彼は

「主語」

pointed ポイント 3 単過 v.i(to を) 指し示した

「動詞」

to a group トゥ・ア・グループ adv. 1 団を

「間接目的語」

of men オブ・メン adj. 男たちの

「形容詞句」

at a table アット・ア・テーブル adv. テーブルにいる

「副詞句」

just below the jury box. ジャスト・ビロウ・ザ・ジュアリー・ボックス

adv. 陪審席のすぐ下の

「副詞句」

“There セア adv. あそこに

「副詞」

they セイ pron.pl 彼らが

「主語」

are!” アー 3 複現(be)v.i 〜がいる

「動詞」

「誰が？」と、僕は尋ねた。すると彼は答えた、「新聞だ」。記者の一人は、彼は付け加えた、彼の古い友人だった。

“Who?” I asked, and he replied, “The press.” One of them, he added, was an old friend of his.

《「主語」》, 「主語」「動詞」, and 「主語」「動詞」, 《「応答」》

「主語」, 「動詞」「主語」, 「動詞」「補語」

“Who?” フー pron 誰が

「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked, アスクト 1 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

replied, リプライト 3 単過(reply)v.t 答えた

「動詞」

“The press.” ザ・プレス n. 新聞だ

「応答」

One of them, ワン・オブ・セム pron 彼らの1人は

「主語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

added, アディト 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

an old friend of his. アン・オールド・フレント・オブ・ヒズ n. 彼の古い友人

「補語」

Part 2 第2部

少しして、警官が指さした記者が僕らの方を見て、被告人席へやって来て警官と握手した。

A moment later the man he'd mentioned looked our way and, coming to the dock, shook hands warmly with the policeman.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」 and, 「副詞句」, 「動詞」「目的語」「副詞句」
 A moment later ア・モメント・レイター adv. 少し後で 「副詞句」
 the man ザ・マン n. その男が、その記者が 「主語」
 he ヒー pron 警官が 「主語」
 'd mentioned ハット・メンショント 3 単過・完了形 v.t 言った 「動詞句」
 looked ルクト 3 単過 v.t 見た 「動詞」
 our way アリ・ウェイ adv. 僕たちの方を 「間接目的語」
 and, アント conj. そして
 coming カング 現在分詞・同時(come)adv. やって来て 「副詞句」
 to the dock, トゥ・ザ・ドック adv.(= to the prisoner's dock) 被告人席へ 「間接目的語」
 shook シュック 3 単過(shake)v.t 振った 「動詞」
 hands ハンズ pl(hand).n 手を 「目的語」
 shake hands 「握手する」
 warmly ウォームリー adv. 心から、念入りに 「副詞」
 with the policeman. ウイズ・ザ・ポリスマン adv. その警官と 「副詞句」

その記者は少し険しい表情をした年配の男だったが、その態度はとても好感がもてた。

The journalist was an elderly man with a rather grim expression, but his manner was quite pleasant.

「主語」「動詞」「補語」, but 「主語」「動詞」「補語」
 The journalist ザ・ジャーナリスト n. その記者は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 an elderly man アン・エルダリー・マン n. 年配の男 「補語」
 with ウイズ adv. (様態) 〜の様子の 「副詞句」
 a rather grim ア・ラーサー・ゲリム adj. 少し険しい 「形容詞句」
 expression, エクスプレション n. 表情、見かけ 「目的語」
 but バット conj. しかし
 his manner ヒズ・マナー n. 彼の態度は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 quite pleasant. クワイ・プレザント adj. とても感じの良い 「補語」

Part 2 第2部

その時僕は気づいた。法廷内のほとんど全員がお互いに挨拶し、意見を交換し、1 団を作り、嗜好や立場の異なる人々が気楽につどうクラブのように振舞っているのだ。

Just then I noticed that almost all the people in the courtroom were greeting each other, exchanging remarks and forming groups—behaving, in fact, as in a club where the company of others of one's own tastes and standing makes one feel at ease.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Just then ジャスト・ゼン adv. 丁度その時

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t に気づいた

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

almost all the people オールモスト・オール・サ・ヒーフル pl.n ほとんど全員が

「主語」

in the courtroom イン・サ・コートルーム adv. 法廷内にいた

「副詞句」

were greeting ワー・グリーティング 3 複過・進行形(greet)v.t 挨拶していた

「動詞句」

each other, イーチ・アサー pron. お互いに

「目的語」

exchanging イクスチェンジング 現在分詞・同時(exchange)v.t 交換しながら

「副詞句」

remarks リマークス pl.n 意見を

「目的語」

and アンド conj. そして

forming フォーミング 現在分詞・同時(form)v.t 作りながら

「副詞句」

groups—グループス pl.n 1 団を

「目的語」

behaving, ビ・ヘイヴィング 現在分詞・同時(behave)v.i 振舞いながら

「副詞句」

in fact, イン・ファクト adv. さらに

「副詞句」

as in a club アズ・イン・ナ・クラブ adv. クラブにいるように

「副詞句」

where ウェア adv. ～する

「形容詞節」

the company サ・カンパニー n. (単数扱い) 人の集まりが

「主語」

of others オブ・アサース adj. 他人の

「形容詞句」

of one's own tastes and standing オブ・ワンス・オウン・テイスト・アンド・スタンディング

adj. 各自の嗜好や立場の

「形容詞句」

makes メイクス 3 単現 v.t 作る

「動詞」

one feel ワン・フィール n. 一つの雰囲気

「目的語」

at ease. アット・イーズ adv. 気楽に

「副詞句」

Part 2 第2部

それは恐らく、自分はここでは邪魔者で、招かれざる客なのだという奇妙な印象を抱いていた理由を物語っているのだろう。

That, no doubt, explained the odd impression I had of being de trop here, a sort of gate-crasher.

That, ザット pron それは 「主語」
 no doubt, ノ・ダウト adv. 多分、おそらく 「副詞句」
 explained イクスプレイント 3 単過・時制の一致 v.t 説明する、明らかにする 「動詞」
 the odd impression ザ・オッド・インプレッション n. 奇妙な印象を 「目的語」
 that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t 持っていた、抱いていた 「動詞」
 of being オフ・ビーイング 現在分詞(be)
 adj. ～であるという 「形容詞句」
 de trop here, デ・トロップ・ヒア adj. この邪魔者 「補語」
 a sort of gate-crasher. ア・ソート・オブ・ゲイトクラッシャー
 n. 招かれざる客、ある種の不正入場者 「補語」

しかしその記者はとても親し気に僕に話しかけてきて、万事が僕にとって都合よく進行するように願っていると言った。

However, the journalist addressed me quite amiably, and said he hoped all would go well for me.

However, ハウエヴァー adv. しかし 「副詞」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, and 「動詞」「目的語」
 the journalist ザ・ジャーナリスト n. その記者は 「主語」
 addressed アドレスト 3 単過(address)v.t(SVO) に話しかけた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 quite amiably, クワイ・エイミアブリー adv. とても親し気に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 hoped ホプト 3 単過・時制の一致 v.t 望んでいる 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 all オール pron (単数扱い) 万事が、全てが 「主語」
 would go ウッド・ゴウ 3 単現・願望(would+不定詞 go)v.i 進む 「動詞句」
 well for me. ウェル・フォー・ミー adv. 僕にとって都合よく 「副詞句」

Part 2 第2部

僕は彼に礼を言った。すると彼は微笑んで付け加えた：「実は、私どもはあなたの事件を少し特集してきました」

I thanked him, and he added with a smile: “You know, we’ve been featuring you a bit.”

「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞」「副詞句」:
《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

I アイ pron 僕は	「主語」
thanked サント 1 単過 v.t 礼を言った	「動詞」
him, ヒム pron 彼に	「目的語」
and アント conj. そして	
he ヒー pron 彼は	「主語」
added アディト 3 単過 v.t 付け加えた	「動詞」
with a smile: ウイズ・ア・スマイル adv. (様態) 笑顔で、微笑んで	「副詞句」
“You know, ユー・ノウ adv. ところで、実は	「副詞句」
we ウー pron 私どもは	「主語」
’ve been featuring ハヴ・ビーン・フィーチャリング 1 複現・完了形・進行形(feature)	
v.t 特集してきた、特集を組んできた	「動詞句」
you ユー pron あなたの事件を	「目的語」
a bit. ア・ビット adv. 少し、少し大袈裟に	「副詞句」

Part 2 第2部

「夏場はいつもほとんど記事になる事柄が無くて、あなたの件とその次に始まる 1 件以外は書くものがなかったのです。」

We're always rather short of copy in the summer, and there's been precious little to write about except your case and the one that's coming on after it.

《「主語」「動詞」「補語」, and 「動詞句」「主語」》

We ウィー pron 私たちは 「主語」
 're アー 1 複現(be)v.i ~である 「動詞」
 always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」
 rather short of copy ラーザー・ショート・オブ・コピー adj. 記事になる事柄がかなり不足した「補語」
 copy コピー n. 新聞記事になる事柄、原稿
 in the summer, イン・ザ・サマー adv. 夏には 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 there's been ゼア・ズ・ビーン 3 単現・完了形(there be)v.i ~があった 「動詞句」
 precious little プレシャス・リトル n. ほとんど何も~ない 「主語」
 to write about トゥ・ライト・アバウト 不定詞・目的 adj. 書くべき 「形容詞句」
 except イクセプト prep ~を除いて 「副詞句」
 your case ユア・ケイス n. あなたの件 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the one ザ・ワン pron 1 件 「目的語」
 that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」
 's coming イス・カミング 3 単現・進行形・近接未来(come)
 v.i やって来る、始まる 「動詞句」
 on after it. オン・アフター・イット
 adv. その後に 「副詞句」

「聞いたことがあると思いますが、父親殺しの件です」

I expect you've heard about it; it's a case of parricide."

《「主語」「動詞」「目的語」; 「主語」「動詞」「補語」》

I アイ pron 私は 「主語」
 expect イクスペクト 1 単現 v.t 期待する、~だと思ふ 「動詞」
 n. ~ということ 「目的語」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 've heard ハヴ・ハート 2 単現・完了形(hear)
 v.i (about について) 聞いたことがある 「動詞句」
 about it; アバウト・イット adv. それについて 「間接目的語」
 it イット pron それは 「主語」

Part 2 第2部

's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 a case of parricide.” ア・ケイス・オブ・パ・リサイド n. 親殺しの件 「補語」

彼は僕の注意を、記者席の 1 団の中で太ったイタチを思わせる、大きな黒縁の眼鏡をかけた太って小柄な男に向けさせた。

He drew my attention to one of the group at the press table, a plump, small man with huge black-rimmed glasses, who made me think of an overfed weasel.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 drew トルー 3 単過(draw)v.t(SV O-1 to O2 O1 を O2 に) 引き付けた 「動詞」
 my attention マイ・アテンション n. 僕の注意を 「直接目的語」
 to one of the group トゥ・ワン・オブ・ザ・グループ adv. 1 団の 1 人に 「間接目的語」
 at the press table, アット・ザ・プレス・テーブル adv. 記者席の 「副詞句」
 a plump, small man ア・プ ランプ・スモール・マン
 n. (同格) 太って小柄な男 「形容詞句」
 with huge black-rimmed glasses, ウイズ・ヒュージ・ブラック・リムト・グラス
 adv. (様態) 大きな黒縁の眼鏡をかけた 「形容詞句」
 who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 made メイト 3 単過・使役(make)
 v.t(SVO+不定詞) O に〜させた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 think シンク 不定詞・me の動作
 v.i(of のことを) 想像する 「補語」
 of an overfed weasel. オブ・アン・ウィーズル
 adv. 食べ過ぎのイタチのことを「間接目的語」
 overfed オウヴァーフェット 過去分詞(overfeed)adj. 食べ過ぎた、太った

「その男はパリのある日刊新聞の特派員だ」と、教えてくれた。

“That fellow’s the special correspondent of one of the Paris dailies.

《「主語」「動詞」「補語」》

“That fellow ザット・フェロウ n. その男は 「主語」
 's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 the special correspondent ザ・スペシャル・コレスポネント n. 特派員 「補語」
 of one of the Paris dailies. オブ・ワン・オブ・ザ・パリス・デイリース
 adj. パリのある日刊新聞の 「形容詞句」

Part 2 第2部

「もっとも、彼はあなたの件できたわけではありません。父親殺しのために派遣されたのですが、ついでにあなたの件も取材するように命じられたのです」

As a matter of fact, he didn't come on your account. He was sent for the parricide case, but they've asked him to cover yours as well.

《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞句」「副詞句」, but 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》

As a matter of fact, アズ・ア・マター・オブ・ファクト adv. 実は、もっとも 「副詞句」
 he ヒー pron その特派員は 「主語」
 didn't come ディント・カ 3 単過・否定・時制の一致 v.i 来たのではない 「動詞句」
 on your account. オン・ユア・アカウント adv. (目的) あなたの件で 「副詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 was sent ワズ・セント 3 単過・受動(send)v.t 派遣された 「動詞句」
 for the parricide case, フォー・ザ・パリスайд・ケイス adv. (目的) 父親殺しのために 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 they ゼイ pron.pl 会社は 「主語」
 've asked ハヴ・アスクト 3 複現・完了形 v.t 頼んだ、命じた 「動詞句」
 him ヒム pron 彼に 「目的語」
 to cover トゥ・カヴァー 不定詞・him の動作 v.t 担当する、扱う 「補語」
 yours ユアズ pron あなたの件を 「目的語」
 as well. アズ・ウェル adv. おまけに、ついでに 「副詞句」

僕は危うく礼を言うところだったが、その時、馬鹿げていると思い直した。

It was on the tip of my tongue to say, "That was very kind of them," but then I thought it would sound silly. 「動詞」「副詞句」「主語」, but 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は to say, "That was very kind of them,")
 was ワズ 3 単過・存在(be)v.i ~にあった 「動詞」
 on the tip オン・ザ・チップ adv. 先端に 「副詞句」
 of my tongue オフ・マイ・タンク adj. 舌の 「形容詞句」
 on the tip of one's tongue 「喉まで出かかつて」
 to say, トゥ・セイ 不定詞 n. ~とすることが 「主語」
 "That was very kind of them," サット・ワズ・ウェリー・カイント・オブ・セム
 adv. ありがとう 「目的語」
 but バット conj. しかし
 then ゼン adv. その時 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 thought トート 1 単過(think)v.t 思った 「動詞」

Part 2 第2部

n. ～ということを	「目的語」
it イット pron それは	「主語」
would sound ウット・サント 3 単現・推量(would+不定詞)	
v.i 聞こえるかもしれない	「動詞句」
silly. シリー adj. 馬鹿げた	「補語」

彼は親しげに手を振って僕たちの所を去っていった。僕たちは数分間そのままでいた。

With a friendly wave of his hand he left us, and for some minutes nothing happened.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」,and「副詞句」「主語」「動詞」	
With ウイズ prep (手段) ～によって	「副詞句」
a friendly wave ア・フレンドリー・ウェイヴ n. 友好的な振る合図	「目的語」
of his hand オフ・ヒズ・ハント adj. 彼の手の	「形容詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
left レフト 3 単過(leave)v.t 去った	「動詞」
us, アッス pron 僕たちから	「目的語」
and アント conj. そして	
for some minutes フォー・サム・ミニッツ adv. 数分間	「副詞句」
nothing ナシング pron 何も～ない	「主語」
happened. ハプント 3 単過 v.i 起こらなかった	「動詞」

その時、弁護士が法服を着て数人の同僚に囲まれて急ぎ足で入って来た。彼は記者席に近づいて行き、記者たちと握手した。

Then, accompanied by some colleagues, my lawyer bustled in, in his gown. He went up to the press table and shook hands with the journalists.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」	
「主語」「動詞」「間接目的語」 and 「動詞句」「間接目的語」	
Then, セン adv. その時	「副詞」
accompanied アカンパニート 過去分詞・受動(accompany)adv. (様態) ～に囲まれて	「副詞句」
by some colleagues, バイ・サム・コリーグズ adv. (動作主) 数人の同僚に	「副詞句」
my lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士が	「主語」
bustled in, バスルト・イン 3 単過(bustle in)v.i 急ぎ足で入って来た	「動詞句」
in his gown. イン・ヒズ・ガウン adv. (様態) 法服を着て	「副詞句」
He ヒー pron 彼は	「主語」
went ウェント 3 単過(go)v.i 行った	「動詞」
up to the press table アップ・ト・ザ・プレス・テーブル adv. 記者席に近づいて	「間接目的語」
and アント conj. そして	

Part 2 第2部

shook hands シュック・ハンス 3 単過(shake hands)v.i 握手した 「動詞句」
 with the journalists. ウィズ・ザ・ジャーナリスト adv. 記者たちと 「間接目的語」

彼らは笑いおしゃべり続け、皆とてもくつろいでいるように見えたが、やがてベルが鋭く鳴り響き、それぞれ自分の席へ戻った。

They remained laughing and chatting together, all seemingly very much at home here, until a bell rang shrilly and everyone went to his place.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「補語」,

until 「主語」「動詞」「副詞」 and 「主語」「動詞」「間接目的語」

They ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

remained レイント 3 複過・継続(remein+現在分詞)v.i ~し続いていた 「動詞句」

laughing and chatting ラーフィング・アント・チャッティング 現在分詞

v.i 笑い、おしゃべりする 「動詞句」

together, トゥゲザー adv. 一緒に 「副詞句」

all オール pron 皆 「主語」

seemingly シーミングリー adv. 見たところ 「副詞句」

very much at home here, ヴェリー・マッチ・アット・ホーム・ヒア adj. とてもくつろいだ 「補語」

until アンティル conj. ~するまで、ついに~する

a bell ア・ベル n. ベルが 「主語」

rang ラング 3 単過(ring)v.i 鳴った 「動詞」

shrilly シュリー adv. 鋭く 「副詞」

and アント conj. そして

everyone エヴリワン pron 皆は 「主語」

went ウェント 3 単過(go)v.i 行った 「動詞」

to his place. トゥ・ヒズ・プレイス adv. 自分の席に 「間接目的語」

Part 2 第2部

弁護士が僕の所へやって来て握手した。それから、質問には出来るだけ簡潔に答え、質問される前に自分から話さず、後は彼に任せるようにと助言した。

My lawyer came up to me, shook hands, and advised me to answer all the questions as briefly as possible, not to volunteer information, and to rely on him to see me through.

「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」, and 「動詞」「目的語」「補語」
 My lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士が 「主語」
 came up ケイム・アップ° 3 単過(come up)v.i やって来た 「動詞句」
 to me, トゥ・ミー adv. 僕の所へ 「間接目的語」
 shook hands, シュック・ハズ° 3 単過(shake hands)v.i 握手した 「動詞句」
 and アンド° conj. そして
 advised アドヴァイズト° 3 単過 v.t 助言した 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 to answer トゥ・アンサー 不定詞・me の動作 v.t 答える 「補語」
 all the questions オール・ザ・クエスチョンズ° pl.n 全ての質問に 「目的語」
 as briefly as possible, アズ・ブリーフリー・アズ・ポッシブル adv. 出来るだけ簡潔に 「副詞句」
 not to volunteer ノット・トゥ・ヴォルンティア 不定詞・me の動作・否定
 v.t 自分から話さない 「補語」
 information, インフォメーション n. 情報を 「目的語」
 and アンド° conj. そして
 to rely ライ 不定詞・me の動作 v.i(on に) に任せる、頼る 「補語」
 on him オン・ヒム adv. 彼に 「間接目的語」
 to see ...through. トゥ・シー...スルー 不定詞・him の動作(see ...through)
 v.i 終わりまで面倒を見る 「補語」
 me ミー pron 僕を 「目的語」

僕の左側で椅子を引く音が聞こえた。すると、鼻眼鏡をかけた背の高い痩せた男が着席する時に赤い法服の折り目を正していた。

I heard a chair scrape on my left, and a tall, thin man wearing pince-nez settled the folds of his red gown as he took his seat.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート° 1 単過(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 a chair scrape ア・チェア・スクレイプ° n. 椅子を引く音、擦れる音 「目的語」
 on my left, オン・マイ・レフト adv. 僕の左側で 「副詞句」
 and アンド° conj. そして
 a tall, thin man ア・トゥール・シン・マン n. 背の高い痩せた男が 「主語」

Part 2 第2部

wearing pince-nez ウェアリング・ピンスネス	adj. 鼻眼鏡をかけた	「形容詞句」
settled セトルト	3 単過(settle)v.t 落ち着かせた	「動詞」
the folds ザ・フォルズ	pl.n 折り目を	「目的語」
of his red gown オフ・ヒズ・レッド・ガウン	adj. 赤い法服の	「形容詞句」
as アズ	conj. ～する時に	「副詞節」
he ヒー	pron 彼が	「主語」
took トゥック	3 単過(take)v.t (場所を) 取る	「動詞」
his seat. ヒズ・シート	n. 座席	「目的語」

検事だと分かった。廷吏が裁判官が入廷すると伝えた。それと同時に、2 台の大型扇風機が頭上で唸り始めた。

The Public Prosecutor, I gathered. A clerk of the court announced that Their Honors were entering, and at the same moment two big electric fans started buzzing overhead.

「目的語」「主語」「動詞」

「主語」「動詞」「目的語」,and「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」

The Public Prosecutor, ザ・パブリック・プロセキューター	n. 検事だと	「目的語」
I アイ	pron 僕は	「主語」
gathered. ギャサート	1 単過 v.t 分かった	「動詞」
A clerk ア・クラーク	n. 事務員が	「主語」
of the court オフ・ザ・コート	adj. 法廷の	「形容詞句」
→ 廷吏が		
announced アナウンスト	3 単過 v.t 告げた	「動詞」
that ザット	conj. ～ということを	「目的語」
Their Honors セア・オナース	pl(Honor).n 裁判官が	「主語」
were entering, ワー・エンタリシグ	3 複過・進行形(enter)v.i 入廷する	「動詞句」
and アント	conj. そして	
at the same moment アット・ザ・セイム・モメント	adv. 同時に	「副詞句」
two big electric fans トゥ・ビグ・エレクトリック・ファンズ	pl.n 2 台の大型扇風機が	「主語」
started buzzing スターテイト・バズィング	3 複過・開始(start+現在分詞)	
v.i 唸りはじめた		「動詞句」
overhead. オヴァーヘッド	adv. 頭上で	「副詞」

Part 2 第2部

3人の裁判官が、2人は黒服であと1人は赤服で、書類カバンを脇に抱えて入って来て、法廷の床より50～60センチ高い位置にある裁判官席へ足早に進んだ。

Three judges, two in black and the third in scarlet, with brief cases under their arms, entered and walked briskly to the bench, which was several feet above the level of the courtroom floor.

Three judges, スリー・ジャッヂズ pl.n 3人の裁判官が 「主語」
 two in black トゥ・イン・ブラック adv. (様態) 2人は黒服で 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 the third in scarlet, ザ・サード・イン・スカーレット adv. (様態) あと1人は赤服で 「副詞句」
 with brief cases ウイズ・ブリーフ・ケイセス adv. (所持) 書類カバンを持って 「副詞句」
 under their arms, アンダー・ゼア・アームズ adv. 腕に抱えて 「副詞句」
 entered エンタート 3 複過 v.i 入って来た 「動詞」
 and アンド conj. そして
 walked ウォークト 3 複過 v.i(to に向かつて) 進んだ 「動詞」
 briskly ブリスクリー adv. きびきびと、足早に 「副詞」
 to the bench, トゥ・ザ・ベンチ adv. 裁判官席へ 「間接目的語」
 which フィッチ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 was リズ 3 単過・存在・時制の一致(be)v.i ～にある 「動詞」
 several feet セヴラル・フィート
 adv. 50～60 センチ、数フィート 「副詞句」
 above アバヴ prep (位置) ～の上に 「副詞句」
 the level ザ・レヴェル n. 高さ 「目的語」
 of the courtroom floor. オフ・ザ・コートルーム・フロア
 adj. 法廷の床の 「形容詞句」

赤服を着た裁判官は中央の背もたれの高い椅子に座り、帽子をテーブルの上に置き、小ぶりの禿げ頭をハンカチで拭いてから、開廷すると宣言した。

The man in scarlet took the central, high-backed chair, placed his cap of office on the table, ran a handkerchief over his small bald crown, and announced that the hearing would now begin.

and 「動詞」 「目的語」
 The man ザ・マン n. その男は 「主語」
 in scarlet イン・スカーレット adv. (様態) 赤服を着た 「副詞句」
 took トゥック 3 単過(take)v.t (席に) 座った 「動詞」
 the central, high-backed chair, ザ・セントラル・ハイ・バックト・チェア
 n. 中央の背もたれの高い椅子 「目的語」

Part 2 第2部

placed プレイスト 3 単過 v.t 置いた	「動詞」
his cap of office ヒス・キャップ・オブ・オフィス n. 裁判官帽子を	「目的語」
on the table, オン・ザ・テーブル adv. テーブルの上に	「副詞句」
ran ラン 3 単過(run)v.t 走らせた	「動詞」
a handkerchief ア・ハンカチーフ n. ハンカチを	「目的語」
over his small bald crown, オウヴァー・ヒス・スモール・ボールド・クラウン adv. 小ぶりの禿げ頭の上を	「副詞句」
and アンド conj. そして	
announced アナウンスト 3 単過 v.t 告げた、知らせた、宣言した	「動詞」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
the hearing サ・ヒアリング n. 聴聞会が	「主語」
would now begin. ウット・ナウ・ビギン 3 単現・話者の意思(would+不定詞 begin) v.i 始まる	「動詞句」

記者たちはすでに万年筆を手にして待ち構えていた。彼らはみな、わずかに皮肉めいた無関心の表情をしていたが、一人だけ例外がいた。グレーのフランネルに青のネクタイをした、同僚に比べて特段に若い男だ。彼はテーブルの上に万年筆を置いたままで、僕をじっと見つめていた。

The journalists had their fountain pens ready; they all wore the same expression of slightly ironical indifference, with the exception of one, a much younger man than his colleagues, in gray flannels with a blue tie, who, leaving his pen on the table, was gazing hard at me. 「主語」「動詞」「目的語」「補語」; 「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」

The journalists サ・ジャーナリスト pl(journalist).n 記者たちは	「主語」
had ハット 3 複過(have)v.t ～を持っていた	「動詞」
their fountain pens セア・ファウンテン・ペンス pl.n 万年筆を	「目的語」
ready; レディ adj. (状態) 準備が出来た、いつでも使える	「補語」
they all セイ・オール pron.pl 彼らはみな	「主語」
wore ウア 3 複過(wear)v.t (表情を) 示していた	「動詞」
the same expression サ・セム・イクスプレッション n. (顔の) 同じ表情を	「目的語」
of slightly ironical indifference, オフ・スライトリー・アイロニカル・インディフェランス adj. わずかに皮肉めいた無関心の	「形容詞句」
with the exception of one, ウイズ・ズ・イクセプション adv. 一人の例外がいた	「副詞句」
a much younger man ア・マッチ・ヤンガー・マン n. 特別若い男が	「主語」
than his colleagues, サン・ヒス・コリーグズ adv. 同僚に比べて	「副詞句」
in gray flannels イン・グレイ・フラネルズ adv. (様態) グレーのフランネルを着た	「副詞句」

Part 2 第2部

with a blue tie, ウイズ・ア・ブルー・タイ adv. 青のネクタイをして	「副詞句」
who, フー pron (主語) 彼は	「主語」
leaving リーヴィング 現在分詞・同時(leave)v.t ~のままだにしている	「動詞」
his pen ヒズ・ペン n. 万年筆を	「目的語」
on the table, オン・ザ・テーブル adv. 座席の上に	「副詞句」
was gazing ワズ・ゲイジング 3 単過・進行形(gaze)v.i じっと見つめていた	「動詞」
hard ハート adv. 熱心に	「副詞」
at me. アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」

彼は肥大気味で地味な顔をしていた；僕の注意を引いたのは彼の青ざめた目、僕にくぎ付けされた澄んだ目だ。しかし、それは一切の明確な感情をさらけ出さない。

He had a plain, rather chunky face; what held my attention were his eyes, very pale, clear eyes, riveted on me, though not betraying any definite emotion.

「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞」「補語」, 「補語」

He ヒー pron 彼は	「主語」
had ハット 3 単過(have)v.t (特徴を) していた	「動詞」
a plain, rather chunky ア・プレーン・ラーサー・チャンキー adj. 肥大気味で地味な	「形容詞句」
face; フェイス n. 顔	「目的語」
what フワット pron (主語) ~するものは	「主語」
held ヘルト 3 単過(hold)v.t (人の注意を) 引き付けた	「動詞」
my attention マイ・アテンション n. 僕の注意を	「目的語」
were ワー 3 複過(be)v.i ~だった	「動詞」
his eyes, ヒズ・アイズ pl(eye).n 彼の目	「補語」
very pale, ヴェリー・ペイル adj. とても青ざめた	「形容詞句」
clear eyes, クリア・アイズ pl(eye).n 澄んだ目	「補語」
riveted リヴ・エティット 過去分詞・受動(rivet)adj. 釘付けされた	「形容詞」
on me, オン・ミー adv. 僕に	「間接目的語」
though ソウ conj. けれども~する	「形容詞句」
not betraying ノット・ビ・トレイニング 現在分詞・同時・否定(betray)	
v.t さらけ出さない	「動詞句」
any definite emotion. エニー・デフィニット・イモーション	
n. 一切の明確な感情を~ない	「目的語」

Part 2 第2部

一瞬、僕はまるで自分自身に調べられているような奇妙な印象を持った。

For a moment I had an odd impression, as if I were being scrutinized by myself.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

For a moment フォー・ア・モメント adv. 一瞬

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ~を持った

「動詞」

an odd impression, アン・オッド・インプレッション n. 奇妙な印象を

「目的語」

as if アズ・イフ conj. まるで~であるような

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

were being scrutinized ワー・ビーイング・スクルナイズト 1 単過・進行形・受動・時制の一致

(scrutinize)v.t 調査されている

「動詞句」

by myself. バイ・マイセルフ adv. (動作主) 自分自身に

「副詞句」

そのことが、そして僕が次のような裁判の手続きをよく知らなかったという事実が、僕が開始の段階をあまりよく理解できなかった説明になるだろう。

That—and the fact that I was unfamiliar with court procedure—may explain why I didn't follow very well the opening phases:

「主語」「動詞句」「目的語」

That ザット pron そのことが

「主語」

—and アント conj. そして

the fact ザ・ファクト n. 事実が

「主語」

that ザット conj. (同格) ~という

「形容詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過 (be)v.i ~だった

「動詞」

unfamiliar アンファミリア adj. 慣れていない、よく知らない

「補語」

with court procedure— ウイズ・コート・プロシージャ—

adv. (関連) 裁判の手続きに

「副詞句」

may explain メイ・イクスプレイン 3 単現・推量(may+不定詞 explain)v.t 説明するだろう 「動詞句」

why ホワイ adv. どうして~かという理由を

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't follow デイトント・フォロウ 1 単過・否定 v.t 理解できなかった

「動詞句」

very well ヴェリー・ウェル adv. (否定文で) あまりよく~ない

「副詞句」

the opening phases: スィ・オプニング・フェイズ pl(phase).n 開始の段階を 「目的語」

Part 2 第2部

陪審員を決めるためのくじ引き、検事と陪審長と僕の弁護人に対して裁判長から出された質問（その度に陪審員全員と一緒に裁判官席の方へ振り向いた）、いくつか馴染みのある人や場所の名前が含まれる告訴状の早口での読み上げ、それから、弁護士への補足質問。

the drawing of lots for the jury, the various questions put by the presiding judge to the Prosecutor, the foreman of the jury, and my counsel (each time he spoke all the jurymen's heads swung round together toward the bench), the hurried reading of the charge sheet, in the course of which I recognized some familiar names of people and places; then some supplementary questions put to my lawyer.

「主語」, 「主語」(「副詞節」「主語」「動詞句」「副詞句」), 「主語」; 「副詞」「主語」
 the drawing of lots サ・ドローイング n. くじ引き 「主語」
 for the jury, フォー・サ・ジュアリー adv. 陪審員を決めるための 「副詞句」
 the various questions サ・ヴァリアス・クエスチョンズ pl.n 様々な質問 「主語」
 put プット 過去分詞・受動(put)adj. 出された 「形容詞」
 by the presiding judge バイ・サ・プリサイディング・ジャッジ
 adv. (動作主) 裁判長によって 「副詞句」
 to トゥ adv. (対象) 〜に対する 「副詞句」
 the Prosecutor, サ・プロシキューター n. 検事 「目的語」
 the foreman of the jury, サ・フォアマン・オブ・サ・ジュアリー n. 陪審長 「目的語」
 and アンド conj. そして
 my counsel マイ・カウンスル n. 僕の弁護人 「目的語」
 (each time イチ・タイム conj. 〜するたびに 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が、裁判長が 「主語」
 spoke スポーク 3 単過(speak)v.i 話す 「動詞」
 all the jurymen's heads オール・サ・ジュアリーメンズ・ヘッズ pl.n 全陪審員の頭が 「主語」
 swung round スワング・ラウンド 3 複過(swing round)v.i 振り向いた 「動詞句」
 together トゲザー adv. 一緒に 「副詞」
 toward the bench), トゥワート・サ・ベンチ adv. 裁判官席の方へ 「副詞句」
 the hurried reading サ・ハーリット・リーディング n. 早口の読み上げ 「主語」
 of the charge sheet, オフ・サ・チャージ・シート adj. 告訴状の 「形容詞句」
 in the course of which イン・サ・コース・オブ・フィッチ
 adv. その読み上げの過程で 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 recognized レコグナイズト 1 単過 v.t 認識した、気づいた 「動詞」
 some familiar names サム・ファミリー・ネイズ
 pl.n いくつかの馴染みのある名前に 「目的語」
 of people and places; オフ・ヒ・プル・アント・プレイス

Part 2 第2部

adj. 人や場所の	「形容詞句」
then ゼン adv. それから	「副詞」
some supplementary questions サム・サブ・リメンタリー・クエスチョンズ pl.n いくつかの補足質問	「主語」
put プット 過去分詞 adj. 出された	「形容詞」
to my lawyer. トウ・マイ・ローヤー adv. 僕の弁護士へ	「間接目的語」

次に、裁判長が承認名簿を読み上げると告げた。

Next, the Judge announced that the court would call over the witness list.

	「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」
Next, ネスト adv. 次に	「副詞」
the Judge ザ・ジ・ジャジ n. 裁判長が	「主語」
announced アナウンスト 3 単過 v.t 告げた	「動詞」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
the court ザ・コート n. 法廷は	「主語」
would call over ウット・コール・オウヴァー 3 単現・意思(would+不定詞 call over)	
v.t 読み上げる	「動詞句」
the witness list. ザ・ウィットニス・リスト n. 証人名簿を	「目的語」

廷吏が読んだいくつかの名前を聞いて、僕は少し驚いた。

Some of the names read out by the clerk rather surprised me.

	「主語」 「副詞」 「動詞」 「目的語」
Some of the names サム・オブ・ザ・ネイズ pl.n いくつかの名前は	「主語」
read out レット・アウト 過去分詞・受動(read out)adj. 読まれた	「形容詞句」
by the clerk バイ・ザ・クラーク adv. (動作主) 廷吏によって	「副詞句」
rather ラーザー adv. いくぶん、少し、かなり	「副詞」
surprised サプライズト 3 複過 v.t 驚かせた	「動詞」
me. ミ pron 僕を	「目的語」

Part 2 第2部

今まで単なるぼやけた顔にしか見えなかった群衆の中から、レーモン、マソン、サラマノ、養老院の門衛、ペレーズ老人そしてマリーが次々に立ち上がった。マリーは、他の証人たちについて脇の扉から出ていく前に、不安そうに僕に手で合図をした。

From amongst the crowd, which until now I had seen as a mere blur of faces, rose, one after the other, Raymond, Masson, Salamano, the doorkeeper from the Home, old Pérez, and Marie, who gave me a little nervous wave of her hand before following the others out by a side door.

「副詞句」, 「動詞」 「副詞句」 「主語」,

「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「直接目的語」 「副詞句」

From amongst the crowd, フロム・アマンゲスト・ザ・クラウト^{adv.} その群衆の中から 「副詞句」

which フィッチ^{pron} (crowd の代用、目的語) ~する 「形容詞節」

until now アンティル・ナウ^{adv.} 今まで 「副詞句」

I アイ^{pron} 僕は 「主語」

had seen ハット・シーン 1 単過・完了形(see)

v.t ~だと思っていた、見ていた 「動詞句」

as a mere blur of faces, アズ・ア・ミア・ブラー・オブ・フェイス

adv. 単なるぼやけた顔として 「補語」

rose, ローズ 3 単過(rise)v.i 立ち上がった 「動詞」

one after the other, ワン・アフター・ズィ・アサー^{adv.} 次々に 「副詞句」

Raymond, Masson, Salamano, the doorkeeper from the Home, old Pérez, and Marie,

レーモン・マソン・サラマノ・ザ・ドアキーパー・フロム・ザ・ホーム・オールド・ペレス・アント・マリー

n. レーモン、マソン、サラマノ、養老院の門衛、ペレーズ老人そしてマリーが 「主語」

who フー^{pron} (Marie の代用) マリーは 「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t (動作を) した 「動詞」

me ミー^{pron} 僕に 「間接目的語」

a little nervous wave ア・リトル・ナーヴ・アス・ウェイヴ

n. 不安そうな合図を 「直接目的語」

of her hand オフ・ハー・ハント^{adj.} 手による 「副詞句」

before following ...out ビ・フォー・フォロウイング

adv. ついて出て行く前に 「副詞句」

the others スィ・アサース^{pl.n} 他の証人たち 「目的語」

by a side door. バイ・ア・サイト・トーア^{adv.} 脇の扉から 「副詞句」

Part 2 第2部

僕は、最後にセレストの名前が呼ばれるまで、どうして彼らの誰一人として気が付かなかったのかを不思議に思っていた。

I was thinking how strange it was I hadn't noticed any of them before when I heard the last name called, that of Céleste.

「主語」「動詞句」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was thinking ワズ・シンキング 1 単過・進行形(think)v.t 考えていた、思っていた

「動詞句」

how strange ハウ・ストレインジ adj. なんと奇妙な

「補語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は I hadn't noticed 以降)

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

n. ~ということは

「主語」

I アイ pron 僕が

「主語」

hadn't noticed ハドント・ノチスト 1 単過・完了形(notice)

v.t 気付かなかった

「動詞句」

any of them エニー・オブ・ゼム pron 彼らの誰にも~ない

「目的語」

before ビフォー conj. ~する前に

「副詞節」

when ホエン conj. ~する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

heard ハート 1 単過・時制の一致(hear)v.t 聞く

「動詞」

the last name ザ・ラスト・ネーム n. 最後の名前を

「目的語」

called, コールト adj. 呼ばれた

「形容詞」

that of Céleste. ザット・オブ・セステ

pron セレストの名前

「目的語」

セレストが立ち上がった時、彼のレストランで相席した、男っぽい上着を着てきびきびした様子のあの奇妙な小柄な女が彼の隣にいることに気付いた。

As he rose, I noticed beside him the quaint little woman with a mannish coat and brisk, decided air, who had shared my table at the restaurant.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

As アズ conj. ~する時に

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

rose, ローズ 3 単過(rise)v.i 立ち上がった

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた

「動詞」

beside him ビサイド・ヒム adv. 彼の隣に

「副詞句」

the quaint little woman ザ・クェイント・リトル・ウーマン n. あの奇妙な小柄な女に

「目的語」

with a mannish coat ウイズ・ア・マニッシュ・コート

Part 2 第2部

adv. (様態) 男っぽい上着を着た 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 brisk, decided air, ブリスク・デサイデイト・エア adj. きびきびした様子の 「形容詞句」
 who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」
 had shared ハット・シェアド 3 単過・完了形(share)v.t 共有した 「動詞句」
 my table マイ・テーブル n. 席を 「目的語」
 at the restaurant. アット・ザ・レストラン adv. レストランで 「副詞句」

彼女が僕に視線をくぎ付けしていることに気づいた。しかし、彼女の事をあれこれ考える
 時間が僕には無かった。裁判長がまた話始めたからである。

She had her eyes fixed on me, I noticed. But I hadn't time to wonder about her; the Judge
had started speaking again. 「主語」「動詞」「目的語」「補語」, 「主語」「動詞」

But 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞句」「副詞」

She シー pron 彼女は 「主語」
 had ハット 3 単過・使役(have)v.t(SVO+過去分詞) O を～させていた 「動詞」
 her eyes ハー・アイズ pl.n 目を 「目的語」
 fixed フィクスト 過去分詞・eyes の動作 v.t 固定した 「補語」
 on me, オン・ミー adv. 僕に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 noticed. ノチスト 1 単過 v.t 気付いた 「動詞」
 But バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 hadn't ハドント 1 単過・否定(have)v.t ～がなかった 「動詞句」
 time タイム n. 時間が 「目的語」
 to wonder トゥ・ワンダー 不定詞・目的 adv. あれこれ考える 「副詞句」
 about her; アバウト・ハー adv. 彼女のことを 「間接目的語」
 the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長が 「主語」
 had started speaking ハット・スターテイト・スピーキング 3 単過・完了形・開始(start+現在分詞)
 v.i 話し始めた 「動詞句」
 again. アゲン adv. また 「副詞」

Part 2 第2部

裁判長はこれより厳格な審理を開始すると宣言し、さらに続けて、傍聴人に如何なる示威行動も慎むよう求めるには及ばないと言った。

He said that the trial proper was about to begin, and he need hardly say that he expected the public to refrain from any demonstration whatsoever.

「主語」「動詞」「目的語」,and「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 裁判長は、彼は 「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that ザット conj. ～とということを 「目的語」

the trial proper ザ・トライアル・プロパー n. 適切な裁判が 「主語」

was about to begin, ワズ・アバウト・トゥ・ビギン 3 単過・近接未来・時制の一致

(be about to+不定詞)v.i 始まる場所である 「動詞句」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

need hardly say ニード・ハートリー・セイ 3 単現・**仮定法現在**・必要・否定(need+不定詞)

v.t 言うには及ばない 「動詞句」

need (to) + 不定詞 「～する必要がある」疑問文・否定文では need+不定詞 も可能

that ザット conj. ～とということを 「目的語」

he ヒー pron 彼が 「主語」

expected イクスペクティッド 3 単過・時制の一致 v.t 期待する 「動詞」

the public ザ・パブリック n. (法廷の) 傍聴人に 「目的語」

to refrain トゥ・リフレイン 不定詞・public の動作 v.i 慎む 「補語」

from any demonstration whatsoever. フロム・エニー・デモンストレーション・フワットエヴァー

adv. 如何なる示威行動を 「間接目的語」

仮定法現在

提案・要求・禁止・願望を表す名詞節の中で用いられ、動詞は**原形**が使われる。

Part 2 第2部

彼は、自分はいわば審判として審理の進行を監督し、事件に関する誠実で偏見の無い見解を採用するつもりであると説明した。

He explained that he was there to supervise the proceedings, as a sort of umpire, and he would take a scrupulously impartial view of the case. 「主語」「動詞」「目的語」

He ひー pron 裁判長は 「主語」

explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

he ひー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過・存在・時制の一致(be)v.i ～にいる 「動詞」

there セア adv. そこに 「副詞」

to supervise トゥ・スーパ・ヴァイズ 不定詞・目的 v.t ～を監督するために 「副詞句」

the proceedings, ザ・プロシーディングス pl.n 審理の進行を 「目的語」

as a sort of umpire, アス・ア・ソート・オブ・アンパイア

adv. (資格) いわば審判として 「副詞句」

as a sort of... 「～の一種、～のようなもの、一種の～」

and アンド conj. そして

he ひー pron 彼は 「主語」

would take ウット・テイク 3 単過・意思(will+不定詞 take)

v.t 選択するつもりだ 「動詞句」

a scrupulously impartial view ア・スクルーピュラスリー・インパ・シャル・ビュー

n. 誠実で偏見の無い見解を 「目的語」

scrupulously スクルーピュラスリー adv. 誠実に impartial インパ・シャル adj. 偏見のない

view ヴュー n. 見解、意見

of the case. オブ・ザ・ケイス adj. 事件の 「形容詞句」

陪審員による評決は裁判長により正義の精神において下される。

The verdict of the jury would be interpreted by him in a spirit of justice.

「主語」「動詞句」「副詞句」

The verdict ザ・ヴァーディクト n. 評決は 「主語」

of the jury オブ・ザ・ジュアリー adj. 陪審員の 「形容詞句」

would be interpreted ウット・ビー・インタープリティット 3 単現・受動・推量(interpret)

v.t 下されるだろう、実行される 「動詞句」

by him バイ・ヒム adv. 裁判長によって 「副詞句」

in a spirit of justice. イン・ア・スピリット・オブ・ジャスティス adv. 正義の精神において 「副詞句」

verdict

verdict は (陪審員が下す) 評決、verdict に基づいて裁判官が下す判決は judgement, また

Part 2 第2部

は decision。刑の宣告は sentence

最後に、いかなる騒動であろうと、退廷を命ずる。

Finally, at the least sign of a disturbance he would have the court cleared.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Finally, ファイナリー adv. 最後に

「副詞」

at the least sign アット・ザ・リースト・サイン adv. (条件) 最小限の徴候においても

「副詞句」

of a disturbance オブ・ア・ディスタバランス adj. 妨害の、騒動の

「形容詞句」

he ヒー pron その者は

「主語」

would have ウット・ハヴ 3 単現・推量(would+不定詞)v.t ~を持つだろう

「動詞句」

the court ザ・コート n. 法廷

「目的語」

cleared. クリアト 過去分詞・受動(clear)adj. 消された

「形容詞」

使役と考えられる → 退廷させられるだろう

日差しは増々強くなっていた。何人かの傍聴人が新聞紙で顔をあおいでいたので、紙が折れ返る音がずっと聞こえていた。

The day was stoking up. Some of the public were fanning themselves with newspapers, and there was a constant rustle of crumpled paper.

「主語」 「動詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 ,and 「動詞句」 「主語」

The day ザ・デイ n. 日差しは

「主語」

was stoking up. ワズ・ストウキング・アップ 3 単過・進行形(stoke up)v.i 強さを増していた 「動詞句」

stoke up ストウク・アップ 「燃料をくべる」

Some of the public サム・オブ・ザ・パブリック pl.n 数人の傍聴者は

「主語」

were fanning themselves ワー・ファンニング・ゼムセルヴズ 3 複過・進行形(fan oneself)

v.pr 顔をあおいでいた

「動詞句」

with newspapers, ウイズ・ニュース・ヘイパース adv. (道具) 新聞紙で

「副詞句」

and アンド conj. そして

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~があった

「動詞句」

a constant rustle ア・コンスタント・ラッスル n. 絶え間のない摩擦音が

「主語」

of crumpled paper. オブ・クランプルド・ペーパー adj. しわくちゃになった紙の 「形容詞句」

Part 2 第2部

裁判長の合図と同時に、廷吏が麦藁で編んだうちわを 3 個持ってきた。3 人の裁判官はそれをすぐに使った。

On a sign from the presiding judge the clerk of the court brought three fans of plaited straw, which the three judges promptly put in action.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「目的語」「主語」「副詞」「動詞」「補語」

On オン prep (時点) ーと同時に

「副詞句」

a sign ア・サイン n. 合図

「目的語」

from the presiding judge フロム・ザ・プリーザイディング・ジャッジ

adv. 裁判長からの

「副詞句」

the clerk of the court ザ・クレーク・オブ・ザ・コート n. 廷吏が

「主語」

brought ブロート 3 単過(bring)v.t 持ってきた

「動詞」

three fans スリー・ファンズ pl.n 3 個のうちわを

「目的語」

of plaited straw, オブ・プレイトッド・ストロー adj. 麦わらを編んだ

「形容詞句」

which フィッチ pron それを

「目的語」

the three judges ザ・スリー・ジャッジャズ n. 3 人の裁判官は

「主語」

promptly プロンプトリー adv. すぐに

「副詞」

put プット 3 複過(put)v.t (状態に) した

「動詞」

in action. イン・アクション adv. 実行の

「補語」

僕に対する尋問がまもなく始まった。裁判長は非常に穏やかにそして思いやりが感じられるほど丁寧に僕に質問した。

My examination began at once. The Judge questioned me quite calmly and even. I thought, with a hint of cordiality.

My examination マイ・イクザミネーション n. 僕に対する尋問は

「主語」

began ビギン 3 単過(begin)v.i 始まった

「動詞」

at once. アット・ワンス adv. すぐに、まもなく

「副詞句」

The Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は

「主語」

questioned クェスチョント 3 単過 v.i 質問した

「動詞」

me ミー pron 僕に「間接目的語」

quite calmly クワイト・カムリー adv. 非常に穏やかに

「副詞句」

and アンド conj. そして

even, イーヴン adv. ーさえ

「副詞」

I thought, アイ・ソート adv. 僕は思ったのだが

「副詞節」

with a hint ウイズ・ア・ヒント adv. かすかな兆候があると

「副詞句」

of cordiality. オブ・コर्टイアリティ adj. 思いやりの

「形容詞句」

Part 2 第2部

またもや僕は身元の詳細を述べさせられた。この儀礼的行為にはうんざりしているが、法廷が違う人間を審理してしまうと大変なことになるので、結局これは当然なのだと思った。

For the nth time I was asked to give particulars of my identity and, though heartily sick of this formality, I realized that it was natural enough; after all, it would be a shocking thing for the court to be trying the wrong man.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 and,

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」; 「副詞句」「動詞句」「補語」「主語」

For the nth time フォー・ザ・エンズ・タイム adv. 何回目かに、またもや 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was asked to give ワズ・アスクト・トゥ・ギヴ 1 単過・受動・要請(ask to+不定詞 give)

v.t ~を述べるように要請された 「動詞句」

give ギヴ v.t 述べる、伝える

particulars パーティキュラーズ pl.n 詳細を 「目的語」

of my identity オフ・マイ・アイデンティティ adj. 僕の身元の 「形容詞句」

and, アント conj. そして

though ソウ conj. ~ではあるが 「副詞句」

heartily sick ハーティリー・シック adj.(of が) 心からうんざりした 「補語」

of this formality, オフ・ズ・イス・フォーマリティ adv. この儀礼的行為が 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

realized リアライズト 1 単過 v.t 分かった 「動詞」

that ザット conj. ~ということ を 「目的語」

it イット pron それは 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

natural enough; ナチュラル・イフ adj. 当然な 「補語」

after all, アフター・オール adv. 結局 「副詞句」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は for the court 以降)

would be ウット・ビー 3 単現・推量(would+不定詞 be)v.i ~になるだろう 「動詞句」

a shocking thing ア・ショッキング・シング n. 衝撃的な事 「補語」

for the court フォー・ザ・コート adv. (不定詞の意味上の主語) 法廷が~することは 「主語」

to be trying トゥ・ビー・トライイング 不定詞・進行形 v.t 審理するかもしれない 「動詞句」

the wrong man. ザ・ロング・マン n. 違う人間を 「目的語」

Part 2 第2部

次に裁判長は僕がした事をまくしたて始めたが、段落ごとに「それで間違いはありませんか」と僕に尋ねた。

The Judge then launched into an account of what I'd done, stopping after every two or three sentences to ask me, "Is that correct?"

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

The Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は

「主語」

then ゼン adv. それから、次に

「副詞」

launched ロンチト 3 単過 v.i(into を) まくしたて始めた

「動詞」

into an account イントゥ・アン・アカウント adv. 口述を、報告

「間接目的語」

of what I'd done, オフ・フワット・アイ・ド・タン adj. 僕がした事の

「形容詞句」

stopping ストッピング 現在分詞・同時 v.i 停止しながら

「副詞句」

after every two or three sentences アフター・エヴリ・トゥ・オー・スリー・センテンス

adv. 段落ごとに

「副詞句」

to ask me, トゥ・アスク・ミー 不定詞・継続 adv. そして僕に尋ねた

「副詞句」

"Is イズ 3 単現・疑問文(be)v.i ~ですか？

「動詞」

that ザット pron. それは

「主語」

correct?" コレクト adj. 正しい

「補語」

それに対して、僕は弁護士の指示に従っていつも「はいその通りです」と答えた。

To which I always replied, "Yes, sir," as my lawyer had advised me.

「副詞句」「主語」「副詞」「動詞」「応答」「副詞節」

To which トゥ・フィッチ adv. それに対して

「副詞句」

I アイ pron. 私は

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

replied, リプライト 1 単過(reply)v.i 答えた

「動詞」

"Yes, sir," イェス・サー adv. はいその通りです

「応答」

as アズ conj. ~のように

「副詞節」

my lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士が

「主語」

had advised ハット・アトヴァイズト 3 単過・完了形(advise)v.t 助言した

「動詞句」

me. ミ pron. 僕に

「間接目的語」

Part 2 第2部

裁判長の話は個々の細部に亘っていたので、非常に時間がかかった。

It was a long business, as the Judge lingered on each detail.

It イット pron それは 「主語」 「動詞」 「補語」 「副詞節」
 was ワズ 3 単過・変化(be)v.i 〜になった 「動詞」
 a long business, ア・ロング・ビズニス n. 長い仕事 「補語」
 as アズ conj. (理由) 〜なので 「副詞節」
 the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」
 lingered リンガート 3 単過 v.i 手間取った 「動詞」
 on each detail. オン・イチ・ディテイル adv. 個々の細部にわたって 「間接目的語」

その間に、記者たちは成り行きを大急ぎでなぐり書きしていた。

Meanwhile the journalists scribbled busily away.

Meanwhile ミンホイル adv. その間に 「副詞」 「主語」 「動詞句」
 the journalists ザ・ジャーナリスト pl.n 記者たちは 「主語」
 scribbled busily away. スクリブルト・ビジリー・アウェイ 3 複過(scribble away+ busily)
 v.i 大急ぎでなぐり書きしていた 「動詞句」

しかし僕は時々、一番若い記者とあの小柄で奇妙な自動人形のような女の視線に気付いた。

But I was sometimes conscious of the eyes of the youngest fixed on me; also those of the queer little robot woman.

But バット conj. しかし But 「主語」 「動詞」 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 sometimes サムタイムズ adv. 時々 「副詞」
 conscious コンシャス adj.(of に) 気付いた 「補語」
 of the eyes オフ・ズィ・アイズ adv. 視線に 「間接目的語」
 of the youngest オフ・ザ・ヤングスト adj. 一番若い記者の 「形容詞句」
 fixed フィクスト adj. 定められた 「形容詞句」
 on me; オン・ミー adv. (対象) 僕に 「間接目的語」
 also オールソ adv. 〜も 「副詞」
 those ゾーズ pron 視線に 「間接目的語」
 of the queer little robot woman. オフ・ザ・クワイ・リトル・ロボット・ウーマン
 adj. あの奇妙な小柄な自動人形のような女の 「形容詞句」

Part 2 第2部

しかしながら陪審員たちはみな赤服の裁判長を見つめていた。そして僕はまた電車の片側にいる乗客の座席のことを思い起こしていた。

The jurymen, however, were all gazing at the red-robed judge, and I was again reminded of the row of passengers on one side of a tram.

「主語」「副詞」「動詞句」「間接目的語」 and 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
 The jurymen, ザ・ジュリーメン pl(juryman).n 陪審員たちは 「主語」
 however, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」
 were all gazing ワー・オール・ゲイジンズ 3 複過・進行形(gaze+all)v.i 皆見つめていた 「動詞句」
 at the red-robed judge, アット・ザ・レッド・ロブド・ジャッジ adv. 赤服の裁判長を「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was again reminded ワズ・アゲイン・リマインデイト 1 単過・受動(remind+again)
 v.t また思い起こしていた 「動詞句」
 of the row of passengers オフ・ザ・ロウ・オブ・パセンジャーズ
 adv. 乗客の座席のことを 「間接目的語」
 on one side of a tram. オン・ワン・サイト・オブ・ア・トラム adv. 電車の片側にいる 「副詞句」

やがて裁判長は咳払いをして、書類のページをめくった。そしてまた顔をあおぎながら僕に向かって重々しく話しかけた。

Presently he gave a slight cough, turned some pages of his file, and, still fanning his face, addressed me gravely.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」,
 and 「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞」
 Presently プレズントリー adv. やがて、まもなく 「副詞」
 he ヒー pron 裁判長は 「主語」
 gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t ~を発した 「動詞」
 a slight cough, ア・スライト・コフ n. 咳払いを 「目的語」
 turned ターンド 3 単過 v.t (本のページを) めくった 「動詞」
 some pages サム・ペイジズ pl.n ページを 「目的語」
 of his file, オフ・ヒズ・ファイル adj. 資料の、書類の 「形容詞句」
 and, アンド conj. そして
 still スティル adv. さらに 「副詞」
 fanning ファニング 現在分詞・同時(fan)v.t あおぎながら 「副詞句」
 his face, ヒズ・フェイス n. 顔を 「目的語」
 addressed アドレスド 3 単過 v.t 話しかけた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「目的語」
 gravely. グレイヴリー adv. 重々しく 「副詞」

Part 2 第2部

彼は今度は、外見上は事件と無関係に見えるが、実際には密接な関係があるかもしれない問題について話を進める、と言った。

He now proposed, he said, to trench on certain matters which, on a superficial view, might seem foreign to the case, but actually were highly relevant.

「主語」「副詞」「動詞句」, 「主語」「動詞」, 「動詞句」「間接目的語」

He ひー pron 彼は 「主語」
 now ナウ adv. 今 「副詞」
 proposed, プロポウズト 3 単過・時制の一致 v.t(+不定詞 ～しようと) 提案する 「動詞句」
 he ひー pron 彼は 「主語」
 said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 to trench トゥ・トレンチ 不定詞 v.t 掘り起こす 「動詞句」
 on certain matters オン・サートゥン・マターズ adv. (関連) いくらかの問題に関して 「間接目的語」
 which, フィッチ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」
 on a superficial view, オン・ナ・スパーフィシャル・ビュー
 adv. 外見上は 「副詞句」
 might seem マイト・シーム 3 複現・推量 v.i 見えるかもしれない 「動詞句」
 foreign フォリン adj. 無関係な 「補語」
 to the case, トゥ・ザ・ケイス adv. (対象) 事件とは 「副詞句」
 but バット conj. しかし
 actually アクチュアリー adv. 実際には 「副詞」
 were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 highly relevant. ハイリー・レヴァント adj. 密接な関連がある 「補語」

僕は彼が母さんの事を話そうとしているらしいと思った。そして同時に、僕にとって全く不愉快なことだと思った。

I guessed that he was going to talk about Mother, and at the same moment realized how odious I would find this.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 guessed ゲスト 1 単過 v.t (根拠はないがなんとなく) ～らしいと思った 「動詞」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 he ひー pron 彼は 「主語」
 was going to talk ワズ・ゴーイング・トゥ・トーク 3 単過・近接未来・時制の一致
 (be going to+不定詞 talk)v.i 話そうとしている 「動詞句」
 about Mother, アバウト・マザー adv. 母さんの事を 「間接目的語」
 and アント conj. そして

Part 2 第2部

at the same moment	アット・ザ・セイム・モメント adv. 同時に	「副詞句」
realized	リアライズト 1 単過・時制の一致 v.i 気付く	「動詞」
how odious	ハウ・オディアス adv. どれほど不愉快だと～するかに	「間接目的語」
I	アイ pron 僕は	「主語」
would find	ウット・ファインド 1 単現・推量(would+不定詞 find)	
v.t	思うだろう	「動詞句」
this	スィス pron このことを	「目的語」

最初の質問はこうだ：なぜ僕は母さんを養老院へ入れたのか？僕は、理由は単純だと答えた；つまり、母さんが自宅で適切に介護を受けられのに十分な金がなかったからだ。

His first question was: Why had I sent my mother to an institution? I replied that the reason was simple; I hadn't enough money to see that she was properly looked after at home.

「主語」「動詞」：「副詞」「動詞句」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞句」「目的語」

His first question	ヒズ・ファースト・クエスチョン n. 彼の最初の質問は	「主語」
was:	ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
Why	ホワイ adv. どうして、なぜ	「副詞」
had ...sent	ハット...セント 1 単過・完了形・疑問文(send)v.t 行かせた、入れた	「動詞句」
I	アイ pron 僕は	「主語」
my mother	マイ・マザー n. 母さんを	「目的語」
to an institution?	トゥ・アン・インスティテュション adv. 養老院へ	「副詞句」
I	アイ pron 僕は	「主語」
replied	リプライト 1 単過(reply)v.t 答えた	「動詞」
that	ザット conj. ～ということを	「目的語」
the reason	ザ・リーズン n. 理由は	「主語」
was	ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
simple;	シンプル adj. 単純な	「補語」
I	アイ pron 僕は	「主語」
hadn't	ハント 1 単過・否定(have)v.t ～がなかった	「動詞句」
enough money	イフ・マニー n. 十分な金が	「目的語」
to see	トゥ・シー 不定詞・目的 v.t 見るための	「形容詞句」
that	ザット conj. ～ということを	「目的語」
she	シー pron 彼女が	「主語」
was properly looked after	ワズ・プロパリー・ルクト・アフター 3 単過・受動・時制の一致	
(look after+ properly)	v.t 適切に世話される	「動詞句」
at home.	アット・ホーム adv. 自宅で	「副詞句」

Part 2 第2部

養老院に入れないで、自宅で

それから、別れて暮らすことは辛くはなかったのかと尋ねた。

Then he asked if the parting hadn't caused me distress.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

if イフ conj. ～かどうかと

「目的語」

the parting ザ・パーティング n. その別れは

「主語」

hadn't caused ハドント・コースト 3 単過・完了形・否定(cause)

v.t もたらさなかった

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

distress. ディストレス n. 悩み、悲しみ、苦しみ

「直接目的語」

母さんも僕も、お互いに、さらには誰にも、多くを望まなかった；それで 2 人ともすでに新しい生活に馴染んでいた、と僕は説明した。

I explained that neither Mother nor I expected much of one another—or, for that matter, of anybody else; so both of us had got used to the new conditions easily enough.

「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

neither Mother nor I ニーザー・マザー・ノア・アイ pl.n 母さんも僕も～ない

「主語」

expected イクスペクテイト 1 複過・時制の一致・否定文 v.t 期待していない

「動詞」

much of one another— マッチ・オブ・ワン・アナザー

n. (否定文で) 互いにあまり多くを

「目的語」

or, オア conj. または

for that matter, フォー・ザット・マター adv. さらに言えば

「副詞句」

of anybody else; オブ・エニバディ・エルス adv. 誰にも

「副詞句」

so ソ adv. それで、だから

「副詞」

both of us ボス・オブ・アス pl.n 2 人とも

「主語」

had got used ハット・ゴット・ユースト 1 複過・完了形(get used)

v.i(to に) すでに馴染んでいた

「動詞句」

to the new conditions トゥ・ザ・ニュー・コンディションス adv. 新しい状況に

「間接目的語」

easily enough. イージーリー・イフ adv. ごく自然に

「副詞句」

Part 2 第2部

検事はそこでこの点にこだわるつもりは無いと言い、それから検事にこの段階で僕に関して他に質問はないかと尋ねた。

The Judge then said that he had no wish to press the point, and asked the Prosecutor if he could think of any more questions that should be put to me at this stage.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」,and「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

The Judge ザ・ジャッヂ n. 裁判長は 「主語」

then ゼン adv. そこで 「副詞」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

had ハット 3 単過(have)・時制の一致 v.t ～がある 「動詞」

no wish ノウ・ウィッシュ n. 希望は～ない 「目的語」

to press トゥ・プレス 不定詞・目的 v.t 主張する、こだわる 「形容詞句」

the point, ザ・ポイント n. その点を 「目的語」

and アンド conj. そして

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

the Prosecutor ザ・プロセキュータ n. 検事に 「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかを 「直接目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

could think クッド・シンク 3 単現・可能性

v.i(of ～のことを) 考えられる 「動詞句」

of any more questions オフ・エニー・モア・クエスチョンズ adv. 他の質問を「間接目的語」

that ザット pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

should be put シュット・ビー・プット 3 複現・必要・受動(put)

v.t 持ち出されるべき 「動詞句」

to me トゥ・ミー adv. 僕に対して 「間接目的語」

at this stage. アット・スィス・ステイジ

adv. この段階で 「副詞句」

Part 2 第2部

僕の方へ半分背を向けていた検事は、僕のほうは見ないで、裁判長の許可が得られれば、僕がアラブ人を殺すつもりで、泉に戻ったのかどうかを知りたいと言った。

The Prosecutor, who had his back half turned to me, said, without looking in my direction, that, subject to His Honor's approval, he would like to know if I'd gone back to the stream with the intention of killing the Arab.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

The Prosecutor, サ・プロセキュータ n. 検事は

「主語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

had ハット 3 単過・使役(have)v.t(VO+過去分詞 O を) ～させた

「動詞」

his back ヒズ・バック n. 背中を

「目的語」

half turned ハーフ・ターント 過去分詞(turn)v.t 半ば回転させた

「補語」

to me, トゥ・ミー adv. (方向) 僕の方へ

「副詞句」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

without+現在分詞 ウイズアウト adv. ～しないで

「副詞句」

looking ルキング 現在分詞(look)v.i 見る

「動詞」

in my direction, イン・マイ・ディレクション adv. 僕の方を

「副詞句」

that, ザット conj. ～ということ

「目的語」

subject to サブジェクト・トゥ adv. (条件) ～を条件として

「副詞句」

His Honor's approval, ヒズ・オナーズ・アプルーヴァル n. 裁判長の許可

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

would like to know ウット・ライク・トゥ・ノウ 3 単現・願望(would like to+不定詞)

v.t 知りたい

「動詞句」

if イフ conj. ～かどうかということ

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd gone back ハット・ゴウオン・バック 1 単過・完了形(go back)

v.i 戻った

「動詞句」

to the stream トゥ・ザ・ストリーム adv. 泉へ

「間接目的語」

with the intention ウイズ・ズィ・インテンション adv. 意図をもって

「副詞句」

of killing the Arab. オフ・キリング・ズィ・アラブ

adj. アラブ人を殺すという

「形容詞句」

Part 2 第2部

僕は「そんなつもりは有りませんでした」と、答えた。「それならば、どうして拳銃を携帯したのか、さらに、どうして正確にその地点に戻る事が出来たのか？」

I said, “No.” In that case, why had I taken a revolver with me, and why go back precisely to that spot? 「主語」「動詞」《「応答」》

《「副詞句」, 「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, and
「副詞」「動詞句」「副詞句」》

I アイ pron 僕は 「主語」
said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
“No.” ノウ adv. そんなつもりは無かった 「応答」
In that case, イン・ザット・ケイス adv. それならば、その場合 「副詞句」
why ホイ adv. (疑問文) どうして? 「副詞」
had ...taken ハット ...テイクン 1 単過・完了形(take)v.t 持って行った 「動詞句」
I アイ pron 僕は 「主語」
a revolver ア・レヴolver n. 拳銃を 「目的語」
with me, ウイズ・ミー adv. 携帯して 「副詞句」
and アンド conj. そして
why ホイ adv. (疑問文) どうして? 「副詞」
go back ゴウ・バック 1 単過・可能・完了形(had I been able to go back の略)
v.i 戻れた 「動詞句」
precisely プレサイズリー adv. 正確に 「副詞句」
to that spot? トゥ・ザット・スポット adv. その地点に 「間接目的語」

僕は、それはただの偶然だと言った。すると検事は陰悪な口調で言った。「よろしい。今の所、これだけです」

I said it was a matter of pure chance. The Prosecutor then observed in a nasty tone: “Very good. That will be all for the present.”

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」:
《「応答」 | 「主語」「動詞句」「補語」》

I アイ pron 僕は 「主語」
said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
n. ～ということを 「目的語」
it イット pron それは 「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
a matter ア・マター n. 事 「補語」
of pure chance. オブ・ピュア・チャンス adj. 全く偶然の 「形容詞句」
The Prosecutor サ・プロセキュータ n. 検事は 「主語」

Part 2 第2部

then ゼン adv. すると	「副詞」
observed オブザバト 3 単過 v.t (考えを) 述べた、言った	「動詞」
in a nasty tone: イン・ナ・ナスティ・トゥン adv. 陰悪な口調で	「副詞句」
“Very good. ヴェリー・グット” adv. よろしい	「応答」
That ザット pron. それは	「主語」
will be ウィル・ビー 3 単未(be)v.i ~ということになる	「動詞句」
all オール pron. すべて、これだけ	「補語」
for the present.” トー・ザ・プレゼント adv. 今の所	「副詞句」

僕はその後の事がほとんど理解できなかった。

<u>I couldn't quite follow what came next.</u>	「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」「目的語」
I アイ pron. 僕は	「主語」
couldn't ...follow クェント...フォロウ 1 単過・可能・否定(can+不定詞 follow)	
v.t 理解できなかった	「動詞句」
quite クワイ adv. (否定文で) ほとんど、まったく	「副詞」
what フワット pron. (主語) ~することを	「目的語」
came ケイム 3 単過(come)v.i 起こった	「動詞」
next. ネクスト adv. 次に、その後	「副詞」

検事と弁護士が裁判官席でなにやら議論した後で、裁判長は直ちに閉会して、午後まで休
延し、それから証人尋問を行うと告げた。

Anyhow, after some palavering among the bench, the Prosecutor, and my counsel, the
presiding judge announced that the court would now rise; there was an adjournment till
the afternoon, when evidence would be taken.

	「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」
Anyhow, エニハウ adv. ともかく	「副詞」
after some palavering アフター・サム・パラーヴアリグ adv. 少し議論した後で	「副詞句」
among the bench, アマング・ザ・ベンチ adv. 裁判官席で	「副詞句」
the Prosecutor, ザ・プロセキュータ n. 検事は	「主語」
and アント conj. そして	
my counsel, マイ・カウンスル n. 僕の弁護人は	「主語」
the presiding judge ザ・プリサイディング・ジャッジ n. 裁判長は	「主語」
announced アナウンスト 3 複過 v.t 告げた	「動詞」
that ザット conj. ~ということ	「目的語」
the court ザ・コート n. 法廷は	「主語」
would ...rise; ウット...ライズ 3 単過・意思(would+不定詞 rise)	

Part 2 第2部

v.i (法廷が) 閉会する	「動詞句」
now ナウ adv. 今、直ちに	「副詞」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がある	「動詞句」
an adjournment アン・アジヤーンメント n. 休廷	「主語」
till the afternoon, テイル・ズ・イ・アフタヌーン adv. 午後まで	「副詞句」
when ホエン adv. その時に	「副詞」
evidence エヴィデンス n. 証言が	「主語」
would be taken. ウット・ビー・テイクン 3 単現・受動・推量(take)	
v.t 取られるだろう	「動詞句」

何が起きているか分からないうちに、僕は護送車に載せられて、独房に戻り、昼食を与えられた。

Almost before I knew what was happening I was rushed out to the prison van, which drove me back, and I was given my midday meal.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」、「主語」「動詞句」「目的語」,
and 「主語」「動詞句」「目的語」

Almost before オールモスト・ビフォー conj. ~する前に、~しないうちに	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 知る	「動詞」
what was happening ファット・ワズ・ハプニング pron 何が起きているかを	「目的語」
I アイ prono 僕は	「主語」
was rushed out ワズ・ラッシュト・アウト 1 単過・受動(rush out)v.t 連れ出された	「動詞句」
to the prison van, トゥ・ザ・プリズン・ヴァン adv. 護送車に	「間接目的語」
which フィッチ pron (主語) それが~する	「主語」
drove ...back, ドロウ ...バック 3 単過(drive back)v.t 車で戻した	「動詞句」
me ミー pron 僕を	「目的語」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
was given ワズ・ギヴン 1 単過・受動(give)v.t 与えられた	「動詞句」
my midday meal. マイ・ミッドイ・ミール n. 昼食を	「目的語」

Part 2 第2部

短時間の内に、かなり疲れたと感じた矢先に、また僕を迎えに来た。

After a short time, just enough for me to realize how tired I was feeling, they came for me. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「間接目的語」

After a short time, アフター・ア・ショート・タイム adv. 短い時間の後で 「副詞句」

just enough ジャスト・イフ adj. 辛うじて足りる 「形容詞句」

for me フォー・ミー adv. 僕にとって 「副詞句」

to realize トゥ・リアイズ 不定詞・目的 adv. 気が付くために 「副詞句」

how tired ハウ・タイド adj. どれほど疲れたかを 「目的語」

I アイ pron 僕が 「主語」

was feeling, ワズ・フィーリング 1 単過・進行形・時制の一致(feel)

v.t 感じる 「動詞句」

they ゼイ pron 彼らは 「主語」

came ケイム 3 複過(come)v.i(for ~を迎えに) やって来た 「動詞」

for me. フォー・ミー adv. 僕を迎えに 「間接目的語」

僕は同じ法廷に戻り、同じ顔ぶれと向き合い、何もかもがまた繰り返された。

I was back in the same room, confronting the same faces, and the whole thing started again. 「主語」 「動詞句」 「副詞句」, and 「主語」 「動詞」 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

was back ワズ 1 単過・移動(be)v.i(back) 戻った 「動詞句」

back バック adv. (位置が) もとへ、逆戻りして

in the same room, イン・ザ・セム・ルーム adv. (場所) 同じ法廷へ 「副詞句」

confronting コンフロンティング 現在分詞(confront)adv. ~と向かい合って 「副詞句」

the same faces, ザ・セム・フェイス pl.n 同じ顔ぶれ 「目的語」

and アンド conj. そして

the whole thing ザ・ホール・シング n. 何もかもが 「主語」

started スターテイト 3 単過 v.i 始まった 「動詞」

again. アゲン adv. また 「副詞」

Part 2 第2部

しかし、その一方で、暑さはかなり増していた。しかし奇跡的に、陪審員、僕の弁護士、検事そして新聞記者など、誰もがうちわを手を持っていた。

But the heat had meanwhile much increased, and by some miracle fans had been procured for everyone: the jury, my lawyer, the Prosecutor, and some of the journalists, too.

But 「主語」「動詞句」,and 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

But ハット conj. しかし

the heat サ・ヒート n. 暑さは

「主語」

had meanwhile much increased, ハット・ミンホワイ・マッチ・インクリーズト 3 単過・完了形(increase)

v.i その一方でかなり増していた

「動詞句」

and アント conj. そして

by some miracle バイ・サム・ミラクル adv. 奇跡的に

「副詞句」

fans ファンズ pl.n. うちわが

「主語」

had been procured ハット・ビーン・プロキュアト 3 複過・受動(procure)v.t 獲得されていた 「動詞句」

for everyone: フォー・エヴリワン adv. (動作主) 誰もが

「副詞句」

the jury, サ・ジュアリー n. 陪審員

「目的語」

my lawyer, マイ・ローヤー n. 僕の弁護士

「目的語」

the Prosecutor, サ・プロセキュータ n. 検事

「目的語」

and アント conj. そして

some of the journalists, サム・オブ・サ・ジャーナリスト pl.n 新聞記者

「目的語」

too. トゥ adv. なども

「副詞句」

あの若い記者とロボット女はまだ彼らの席にいた。

The young man and the robot woman were still at their places.

「主語」「動詞」「副詞句」

The young man サ・ヤング・マン n. あの若い記者は

「主語」

and アント conj. そして

the robot woman サ・ロボット・ウーマン n. ロボットのような女は

「主語」

were ワー 3 複過・存在(be)v.i ~にいた

「動詞」

still スティル adv. まだ

「副詞」

at their places. アット・ゼア・プレイス adv. 彼らの席に

「副詞句」

Part 2 第2部

しかし彼らはうちわを使わず、相変わらず僕から視線を外さなかった。

But they were not fanning themselves and, as before, they never took their eyes off me.

But 「主語」「動詞句」 and, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

But バット conj. しかし

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

were not fanning themselves ワー・ノット・ファニング・ゼムセルヴズ 3 複過・進行形・否定

(fan oneself)v.pr うちわを使わないでいた

「動詞句」

and, アント conj. そして

as before, アス・ビフォー adv. 相変わらず

「副詞句」

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

never took ネヴァー・トック 3 複過・否定(take)

v.t(SV O1 +off O2 O2 から) 取り去らなかった

「動詞句」

their eyes ゼア・アイズ pl.n 視線を

「目的語」

off me. オフ・ミー adv. 僕から

「副詞句」

僕は顔の汗を拭った。しかし、養老院の院長が証人席へ呼ばれるのを聞くまで、僕がどこにいるのかそして自分が誰なのかほとんど分からない状態だった。

I wiped the sweat from my face, but I was barely conscious of where or who I was until I heard the warden of the Home called to the witness box.

「主語」「動詞」「目的語」,but 「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

wiped ワイプト 1 単過 v.t 拭った、拭いた

「動詞」

the sweat ザ・スエット n. 汗を

「目的語」

from my face, フロム・マイ・フェイス adv. 顔から

「副詞句」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

barely conscious バアリー・コンシャス adj.(of に) ほとんど気づかない、分からない

「補語」

of where or who I was オフ・ウェア・オア・フー・アイ・ワズ

adv. 自分がどこにいるのかそして誰なのか

「副詞句」

until アンティル conj. ~するまで

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

heard ハート 1 単過・知覚動詞・時制の一致(hear)v.t 聞く

「動詞」

the warden of the Home ザ・ウォーデン・オブ・ザ・ホーム n. 院長が

「目的語」

called コールト 過去分詞(call)・受動・目的語の動作 v.t 呼ばれる

「補語」

to the witness box. トゥ・ザ・ウィットニス・ボックス adv. 証人席へ

「副詞句」

Part 2 第2部

裁判長が、母さんは僕の行為に不満を言っていたかと尋ねると、院長は「はい、ですが大した意味はありません。ほとんどの入寮者は近親者に不満を持つものですから」と答えた。

When asked if my mother had complained about my conduct, he said, “Yes,” but that didn’t mean much; almost all the inmates of the Home had grievances against their relatives.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」,

《「応答」, but 「主語」 「動詞句」; 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」》

When ホエン conj. ～した時

「副詞節」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

if イフ conj. ～かどうかということ

「目的語」

my mother マイ・マザー n. 母さんは

「主語」

had complained ハット°・コンプレイント° 3 単過・完了形

v.i(about に) 不満を言っていた

「動詞句」

about my conduct, アバウト・マイ・コンダクト adv. 僕の行為に

「間接目的語」

he ヒー pron 院長は

「主語」

said, セット° 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“Yes,” イェス adv. はい

「応答」

but バット conj. しかし

that サット pron それは

「主語」

didn’t mean much; デイトント・ミン・マッチ 3 単過・否定 v.t 大した意味はない

「動詞句」

almost all the inmates of the Home オールモスト・オール・ズィ・インメイツ・オブ°・ザ°・ホーム

pl.n 養老院のほとんどの入寮者は

「主語」

had ハット° 3 複過・時制の一致(have)v.t 持っている

「動詞」

grievances グリーヴァンシズ° pl.n 苦情、不満

「目的語」

against their relatives. アゲンスト・ゼア・レラティヴズ° adv. 近親者に対して

「副詞句」

Part 2 第2部

裁判長はより明確にするように院長に尋ねた；母さんは養老院へ入れたことで僕を非難して
いましたか？院長はまた「はい」と答えた。

The Judge asked him to be more explicit; did she reproach me with having sent her to the Home, and he said, "Yes," again.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」；

「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」,and「主語」「動詞」,「応答」「副詞」

The Judge ザ・ジャッジ 裁判長は 「主語」
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
him ヒム pron 院長に 「間接目的語」
to be トゥ・ビー 不定詞・目的 v.i 〜になるように 「副詞句」
more explicit; モア・エクスプリシット adj. より明確な 「補語」
did ...reproach ディット ...リプ ローチ 3 単過・疑問文 v.t 非難していたか？ 「動詞句」
she シー pron 母さんは 「主語」
me ミー pron 僕を 「目的語」
with +現在分詞・完了形 ウイズ adv. 〜したことで 「副詞句」
having sent ハヴ イング・セント 現在分詞・完了形(send)
v.t (養老院へ) 入れた 「動詞句」
her ハー pron 彼女を 「目的語」
to the Home, トゥ・ザ・ホーム adv. 養老院へ 「副詞句」
and アンド conj. そして
he ヒー pron 彼は 「主語」
said, セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
"Yes," イェス adv. はい 「応答」
again. アゲン adv. また 「副詞」

しかし、今回は答えに補足を加えなかった。

But this time he didn't qualify his answer. But 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし

this time スィス・タイム adv. 今回は 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

didn't qualify ディント・クオリファイ 3 単過・否定 v.t 補足しなかった、修正しなかった 「動詞句」

his answer. ヒズ・アンサー n. 答えを 「目的語」

Part 2 第2部

別の質問に対して、葬儀の日に僕の冷静さに彼はいくぶん驚いたと答えた。

To another question he replied that on the day of the funeral he was somewhat surprised by my calmness. 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

To another question トゥ・アナザー・クエスチョン adv. 別の質問に対して 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

replied リプライト 3 単過(reply)v.t 答えた 「動詞」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

on the day of the funeral オン・ザ・デイ・オブ・ザ・フューネラル adv. 葬儀の日に 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was somewhat surprised ワズ・サムフワット・サプライズト 3 単過・受動(surprise)

v.t いくぶん驚いた 「動詞句」

by my calmness. バイ・マイ・カームニス adv. (原因) 僕の冷静さに 「副詞句」

裁判長は、冷静さとはどういう意味なのか院長に説明を求めた。院長は視線を下げて、少しの間自分の靴を見つめていた。

Asked to explain what he meant by “my calmness,” the warden lowered his eyes and stared at his shoes for a moment.

「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「間接目的語」「副詞句」

Asked to explain アスクト・トゥ・イクスプレイン 3 単過・要求(ask to+不定詞)

v.t 説明を求めた 「動詞句」

what ファット pron (目的語) ～するということを 「目的語」

he ヒー pron 院長が 「主語」

meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 意味する 「動詞」

by “my calmness,” バイ・マイ・カームニス adv. (手段) 僕の冷静さが 「副詞句」

the warden ザ・ウォーデン n. 院長は 「主語」

lowered ロウト 3 単過(lower)v.t 下げた 「動詞」

his eyes ヒズ・アイズ pl.n 視線を 「目的語」

and アンド conj. そして

stared ステアド 3 単過(stare)v.i(at を) 見つめた 「動詞」

at his shoes アット・ヒズ・シューズ adv. 自分の靴を 「間接目的語」

for a moment. フォー・ア・モウメント adv. 少しの間 「副詞句」

Part 2 第2部

そして院長は、僕は母さんと対面しようと思わず一滴の涙も見せなかったと説明し、さらに、葬儀が終わると母親の墓前で物思いに耽ることもなくすぐに立ち去ったと付け加えた。

Then he explained that I hadn't wanted to see Mother's body or shed a single tear, and that I'd left immediately the funeral ended, without lingering at her grave.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, and 「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 院長は

「主語」

explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't wanted to see ハント・ウント・トゥ・シー 1 単過・完了形・願望・否定(want to+不定詞 see)

v.t 見ようとしなかった

「動詞句」

Mother's body, マザーズ・ボディ n. 母さんを

「目的語」

or オア conj. そして

shed シェット 1 単過・完了形・否定(shed)v.t (涙を) 流さなかった

「動詞句」

a single tear, ア・シングル・ティア n. 1 滴の涙も

「目的語」

and アンド conj. そして

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd left ハット・レフト 1 単過・完了形(leave)v.i 立ち去った

「動詞句」

immediately イミディアトリー adv. すぐに

「副詞」

the funeral ended, ザ・フューネラル・エンデッド adv. 葬儀が終わった時に

「副詞節」

when the funeral ended の省略

without lingering ウイズアウト・リンガリング

adv. (様態) 物思いに耽ることなく

「副詞句」

at her grave. アット・ハー・グレイヴ adv. (場所) 母の墓前で

「副詞句」

院長は他の事でも驚ろかされた。葬儀社の社員の 1 人が、僕が母さんの年齢を知らなかったと彼に告げていたのだ。

Another thing had surprised him. One of the undertaker's men told him that I didn't know my mother's age.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Another thing アナザー・シング n. 他の事が

「主語」

had surprised ハット・サプライズト 3 単過・完了形 v.t 驚かせた

「動詞句」

him. ヒム pron 彼を

「目的語」

受動態に翻訳する

Part 2 第2部

One of the undertaker's men ワン・オブ・ザ・アンダーテイカーズ・メン pron 葬儀社の社員が 「主語」
 told トゥルド 3 単過(tell)v.t 告げた 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 that サット conj. ～ということを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 didn't know デイdn't・ノウ 1 単過・否定 v.t 知らなかった 「動詞句」
 my mother's age. マイ・マザーズ・エイジ n. 母さんの年齢を 「目的語」

短い沈黙があった。それから裁判長は院長に、それは本当に被告人席にいる囚人の事を話したのかと尋ねた。

There was a short silence; then the Judge asked him if he might take it that he was referring to the prisoner in the dock.

「動詞句」「主語」; 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～があった 「動詞句」
 a short silence; ア・ショート・サイレンス n. 短い沈黙が 「主語」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 the Judge サ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 him ヒム pron 院長に 「間接目的語」
 if イフ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 might take マイト・テイク 3 単過・推量 v.t 例として挙げた 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 that サット conj. (同格) ～ということ 「形容詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was referring ワズ・リファerring 3 単過・進行形(refer)
 v.i(to を) 言及した 「動詞句」
 to the prisoner トゥ・ザ・プリズナー
 adv. 囚人の事を 「間接目的語」
 in the dock. イン・ザ・ドック
 adv. 被告人席にいる 「副詞句」

Part 2 第2部

院長はこの質問に困惑したようだった。そこで裁判長は言った：「これは公式の質問です」

The warden seemed puzzled by this, and the Judge explained: "It's a formal question. I am bound to put it."

「主語」「動詞」「補語」,and「主語」「動詞」:
《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」》

The warden ザ・ウォーデン n. 院長は 「主語」
seemed シームト 3 単過 v.i 〜のように見えた 「動詞」
puzzled パズルト adj. 困惑した 「補語」
by this, バイ・ズ・イズ adv. この質問に対して 「副詞句」
and アント conj. そして
the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」
explained: イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」
"It イット pron これは 「主語」
's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
a formal question. ア・フォーマル・クエスチョン n. 公式の質問 「補語」
I アイ pron 私は 「主語」
am bound アム・バウンド 1 単現・受動(bind)v.t(+to+不定詞) 〜する義務がある 「動詞句」
to put it." トゥ・プット・イット 不定詞句 v.t それを持ち出す 「動詞句」

それから検事は、他に質問はないかと尋ねられたので、声高に答えた：「いえ、ありません！必要なことは全て揃いました」

The Prosecutor was then asked if he had any questions to put, and he answered loudly: "Certainly not! I have all I want."

「主語」「動詞句」「目的語」,and「主語」「動詞」「副詞」:
《「応答」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

The Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は 「主語」
was then asked ワズ・ゼン・アスクト 3 単過・受動(ask+then)v.t それから尋ねられた 「動詞句」
if イフ conj. 〜かどうかということ 「目的語」
he ヒー pron 彼は 「主語」
had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」
any questions エニー・クエスチョンズ pl.n 何か質問が 「目的語」
to put, トゥ・プット 不定詞・必要 adj. 出すべき 「形容詞句」
and アント conj. そして
he ヒー pron 彼は 「主語」
answered アンサート 3 単過 v.i 答えた 「動詞」
loudly: ラウトリー adv. 声高に 「副詞」

Part 2 第2部

“Certainly not! サートゥンリー・ノット adv. いえありません	「応答」
I アイ pron 私は	「主語」
have ハヴ 1 単現 v.t ~がある	「動詞」
all オール pron 全て	「目的語」
I want.” アイ・ウアント adj. 私が望む	「形容詞節」

そう言う彼の口調と、僕をちらっと見た時に浮かべた勝ち誇った顔つきは、僕が何年も感じたことがないほど辛辣だった。

His tone and the look of triumph on his face, as he glanced at me, were so marked that I felt as I hadn't felt for ages.

His tone ヒズ・トーン n. 彼の口調は	「主語」
and アンド conj. そして	
the look ザ・ルック n. 顔つきは	「主語」
of triumph オフ・トライアンフ adj. 勝利の	「形容詞句」
on his face, オン・ヒズ・フェイス adv. 彼の顔に浮かんだ	「副詞句」
as アズ conj. ~する時に	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
glanced グランスト 3 単過 v.i(at を) ちらっと見た	「動詞」
at me, アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
were ワー 3 複過(be)v.i ~だった	「動詞」
so marked ソウ・マート adj. それほど際立っていた	「補語」
that ザット conj.(so...that 結果) それで~する程	「副詞節」
I アイ pron 私は	「主語」
felt フェルト 1 単過(feel)v.i 感じた	「動詞」
as アズ conj. ~するように	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
hadn't felt ハント・フェルト 1 単過・完了形・否定(feel)	
v.i 感じなかった	「動詞句」
for ages. フォー・エイジズ adv. 何年も	「副詞句」

Part 2 第2部

愚かしくも、僕は突然泣きたい衝動にかられた。その時初めて、僕はここにいる皆からどれほど嫌われているかを悟った。

I had a foolish desire to burst into tears. For the first time I'd realized how all these people loathed me. 「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハットゝ 1 単過(have)v.t 〜を持った 「動詞」
 a foolish desire ア・フーリッシュ・デザイア n. 馬鹿げた願望を 「目的語」
 to burst トウ・バースト 不定詞・同格 adj. 突然し始めるという 「形容詞句」
 into tears. イントウ・ティアズ adv. 涙を 「間接目的語」
 For the first time フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 初めて 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd realized ハットゝ・リアライズトゝ 1 単過・完了形(realize)v.t 気が付いた 「動詞句」
 how ハウ adv. どれほど〜かということ 「目的語」
 all these people オール・ジーズ・ヒープル pl.n この皆が 「主語」
 loathed ロズトゝ 3 複過・時制の一致(loathe)v.t ひどく嫌っている 「動詞」
 me. ミー pron 僕を 「目的語」

陪審員と僕の弁護士に他に質問がないかと聞いた後で、裁判長は門衛の証言を聞いた。

After asking the jury and my lawyer if they had any questions, the Judge heard the doorkeeper's evidence. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」
 After asking アフター・アスキング 現在分詞・順序 adv. 聞いてから 「副詞句」
 the jury and my lawyer ザ・ジュアリー・アント・マイ・ローヤー
 pl.n 陪審員と僕の弁護士に 「間接目的語」
 if イフ conj. 〜かどうかということ 「直接目的語」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 had ハットゝ 3 複過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」
 any questions, エニー・クエスチョンズ pl.n 他に質問が 「目的語」
 the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」
 heard ハートゝ 3 単過(hear)v.t 聞いた 「動詞」
 the doorkeeper's evidence. ザ・ドアキーパーズ・エヴィデンス n. 門衛の証言を 「目的語」

フランス語の原文では

この文の後に次の文がある。

他のすべての証人に対してと同様に、彼にも同じ儀礼が繰り返された。

Pour lui comme pour tous les autres, le même cérémonial s'est répété.

Part 2 第2部

証人席に着くとすぐに、門衛は僕のほうを一度見てから、目をそらした。

On stepping into the box the man threw a glance at me, then looked away.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞」「動詞句」

On stepping オン・ステッピング 現在分詞・即時(step into)

adv. (場所に) 着くとすぐに 「副詞句」

into the box イントゥ・ザ・ボックス adv. 証人席に 「副詞句」

the man ザ・マン n. 門衛は 「主語」

threw スルー 3 単過(throw)v.t 投げた 「動詞」

a glance ア・グランス n. 視線を、一瞥を 「目的語」

at me, アット・ミー adv. 僕の方へ 「副詞句」

then ゼン adv. それから 「副詞」

looked away. ルックト・アウェイ 3 単過(look away)v.i 目をそらした 「動詞句」

門衛は質問に答えて、僕が母さんとの対面を断わり、煙草を吸い、眠り、そしてカフェ・オ・レを飲んだ事を次々に述べていった。

Replying to questions, he said that I'd declined to see Mother's body. I'd smoked cigarettes and slept, and drunk café au lait.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Replying リプライング 現在分詞(reply)・同時 v.i(to に) 答えながら 「副詞句」

to questions, トゥ・クエスチョンズ adv. 質問に 「間接目的語」

he ヒー pron 門衛は 「主語」

said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd declined to see ハッド・ディクлайント・トゥ・シー 1 単過・完了形・拒否(decline to+不定詞 see)

v.t 見ることを断った 「動詞句」

Mother's body, マザース・ボディ n. 母さんを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd smoked ハッド・スモウト 1 単過・完了形(smoke)v.t タバコを吸った 「動詞句」

cigarettes シガレッツ pl(cigarette).n タバコを 「目的語」

and アンド conj. そして

slept, スレプト 1 単過・完了形(sleep)v.i 眠った 「動詞句」

and アンド conj. そして

drunk ドランク 1 単過・完了形(drink)v.t 飲んだ 「動詞句」

café au lait. カフェ・オ・レ n. カフェ・オ・レを 「目的語」

Part 2 第2部

その時、憤りのうねりが法廷全体に伝搬してゆくを感じた。そして始めて、僕は有罪なのだと理解した。

It was then I felt a sort of wave of indignation spreading through the courtroom, and for the first time I understood that I was guilty.

「動詞」「副詞」「主語」,and「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は I felt の節)

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

then ゼン adv. その時 「副詞」

n. 〜ということは 「主語」

I アイ pron 僕は 「主語」

felt フェルト 1 単過・知覚動詞(feel)v.t(SVO+現在分詞 O が〜するのを) 感じた 「動詞」

a sort of wave ア・ソート・オブ・ウェイヴ n. ある種の波が 「目的語」

of indignation オブ・インディグネーション adj. 憤りの 「形容詞句」

spreading スプレディング 現在分詞・wave の動作(spread)v.i 広がっていく 「補語」

through the courtroom, スルー・ザ・コートルーム adv. 法廷全体に 「副詞句」

and アンド conj. そして

for the first time フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 始めて 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

understood アンダーstood 1 単過(understand)v.t 分かった 「動詞」

that サット conj. 〜ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

guilty. ギルティ adj. 有罪 「補語」

Part 2 第2部

門衛はすでに証言したコーヒーと僕の喫煙について、もう一度述べさせられた。

They got the doorkeeper to repeat what he had said about the coffee and my smoking.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

They ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

got ゴット 3 複過・使役(SVO to+不定詞 O に～) させた

「動詞」

受動態に翻訳する

the doorkeeper ザ・ドアキーパー n. 門衛に

「目的語」

to repeat トゥ・リピート 不定詞・doorkeeper の動作 v.t 繰り返し述べる

「補語」

what ファット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

had said ハッド・セッド 3 単過・完了形(say)v.t 言った

「動詞句」

about アバウト prep ～について

「間接目的語」

the coffee ザ・コーヒー n. コーヒー

「目的語」

and アンド conj. そして

my smoking. マイ・スモッキング n. 喫煙

「目的語」

検事は目に満足げな表情を浮かべて、また、僕の方へ振り向いた。

The Prosecutor turned to me again, with a gloating look in his eyes.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」

The Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

turned ターント 3 単過(turn)v.i 振り返った

「動詞」

to me トゥ・ミー adv. (方向) 僕の方へ

「間接目的語」

again, アゲン adv. また

「副詞」

with ウイズ adv. (付帯状況) ～して

「副詞句」

a gloating look ア・グローティング・ルック n. にんまりした様子

「目的語」

gloating グローティング adj. にんまりした

in his eyes. イン・ヒズ・アイズ adv. 目に

「副詞句」

僕の弁護士が門衛に、彼もタバコを吸ったのではなかったかと確認した。

My counsel asked the doorkeeper if he, too, hadn't smoked.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

My counsel マイ・カンスル n. 僕の弁護士が

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

the doorkeeper ザ・ドアキーパー n. 門衛に

「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

he, ヒー pron 彼は

「主語」

Part 2 第2部

too, トゥー adv. ～も

「副詞」

hadn't smoked. ハドント・スモーク 3 単過・完了形・強調(smoke)

v.t 吸ったではないか

「動詞句」

しかし検事は、これに対して激しく抗議した。

But the Prosecutor took strong exception to this.

But 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

But バット conj. しかし

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

took トック 3 単過(take)v.t (行為を) した

「動詞」

strong exception ストロング・イクセプション n. 強い抗議を、異議を

「目的語」

to this. トゥ・ズィス adv. これに対して

「副詞句」

「私は知りたい」と、彼は憤然として大声で言った。「本法廷では、一体誰が審理されているのか？」

“I'd like to know,” he cried indignantly, “who is on trial in this court.”

《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞」, 《「主語」「動詞」「補語」》

“I アイ pron 私は

「主語」

’d like to know,” ウット・ライク・トゥ・ノウ 1 単現・願望(would like to+不定詞)v.t 知りたい 「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

cried クライト 3 単過(cry)v.i 大声で言った

「動詞」

indignantly, インデイクナントリー adv. 怒って

「副詞」

“who フー pron 誰が

「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

on trial オン・トライアル adv. 審理中の

「補語」

in this court. イン・ズィス・コート adv. 本法廷では

「副詞句」

「それとも、私の友人は、検察側の証人を誹謗することでその証拠を、有り余るほど説得力のある証拠を弱められるとでも思っていると言うのか？」

Or does my friend think that by aspersing a witness for the prosecution he will shake the evidence, the abundant and cogent evidence, against his client?”

《Or 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

Or オア conj. または、それとも

does ...think ダズ ...シンク 3 単現・疑問文 v.t 思うのか？

「動詞句」

my friend マイ・フレント n. 私の友人は

「主語」

→ 皮肉を込めて、検事が弁護士のことを「友人」と言っている

Part 2 第2部

that サット conj. ～ということを	「目的語」
by aspersing バイ・アスパーシグ 現在分詞・手段(asperse)	
adv. 誹謗することで	「副詞句」
a witness ア・ウィットニス n. 証人を	「目的語」
for the prosecution フォー・ザ・プロセキューション	
adj. 検察側の	「形容詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
will shake ウィル・シェイク 3 単未(will+不定詞 shake)v.t 弱めるだろう	「動詞句」
the evidence, スイ・エヴィデンス n. 証拠を	「目的語」
the abundant and cogent スイ・アバウンダント・アント・コジエント	
adj. 有り余るほど説得力のある	「形容詞句」
evidence, エヴィデンス n. 証拠を	「目的語」
against his client? アゲンスト・ヒズ・クライアント adv. 検察の証人に対して	「副詞句」

それでも、裁判長は門衛に質問に答えるよう求めた。

None the less, the Judge told the doorkeeper to answer the question.

	「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「補語」
None the less, ナン・ザ・レス adv.(= nonetheless) それでも	「副詞句」
the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は	「主語」
told トルト 3 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
the doorkeeper ザ・ドアキーパー n. 門衛に	「目的語」
to answer トゥ・アンサー 不定詞・doorkeeper の動作 v.t 答える	「補語」
the question. ザ・クエスチョン n. 質問に	「目的語」

老人は少し動揺してから、「はい、良くないだろうと思っていました」と呟いた。「ですが、この方が勧めてくださるので、タバコを受け取ってしまいました。礼儀として」

The old fellow fidgeted a bit. Then, “Well, I know I didn’t ought to have done it,” he mumbled, “but I did take a cigarette from the young gentleman when he offered it—just out of politeness.”

	「主語」 「動詞」 「副詞句」
	「副詞」, 《「言いよどみ」 「主語」 「動詞」 「目的語」》, 「主語」 「動詞」, 《but 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」》
The old fellow スイ・オールド・フェロウ n. 老人は、門衛は	「主語」
fidgeted フィジエッテイト 3 単過(fidget)v.i もじもじした、動揺した	「動詞」
a bit. ア・ビット adv. 少し	「副詞句」
Then, セン adv. それから	「副詞」
“Well, ウェル adv. えー、あの	「言いよどみ」

Part 2 第2部

I アイ pron 私は	「主語」
know ノウ 1 単現 v.t 分かっていた	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 私は	「主語」
didn't ought to have done ディトント・オウト・トゥ・ハヴ・ダント 1 単過・否定・義務(ought to+不定詞)	
v.t するべきではなかった	「動詞句」
it, イット pron それを	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
mumbled, マンブルト 3 単過(mumble)v.i 呟いた	「動詞」
“but バット conj. しかし	
I アイ pron 私は	「主語」
did take ディット・テイク 1 単過・強調(do+不定詞)v.t 受け取った	「動詞句」
a cigarette ア・シガレット n. タバコを	「目的語」
from the young gentleman フロム・ザ・ヤング・ジェントルマン adv. この方から	「副詞句」
when ホエン conj. (理由) ～なので	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
offered オファート 3 単過(offer)v.t 勧めた	「動詞」
it— イット pron それを	「目的語」
just ジャスト adv. ただ	「副詞」
out of politeness.” アウト・オブ・ポライトニス adv. 礼儀から	「副詞句」

裁判長は僕に他に付け加えることはありますかと尋ねた。「ありません」と、僕は答えた。

「ただ、証人の言う通りです。僕が彼にタバコを進めたのは事実です」

The Judge asked me if I had any comment to make. “None,” I said, “except that the witness is quite right. It's true I offered him a cigarette.”

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞節」》 | 「動詞」「補語」「主語」

The Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は	「主語」
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
if イフ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある	「動詞」
any comment エニー・コメント n. 何か解説が	「目的語」
to make. トゥ・メイク 不定詞・必要 v.t するべき	「形容詞句」
“None,” ナン pron 何も～ない	「応答」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
said, セッド 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
“except that イクセプト・ザット conj. ～と言うこと以外は	「副詞節」
the witness ザ・ウィットネス n. 証人は	「主語」
is イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
quite right. クワイ・ライト adj. 全く正しい	「補語」
It イット pron 仮の主語 (真の主語は I offered 以降)	
's イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
true トゥルー adj. 真実の	「補語」
n. ～ということは	「主語」
I アイ pron 僕が	「主語」
offered オファート 1 単過 v.t 勧めた	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
a cigarette.” ア・シガレット n. タバコを	「直接目的語」

門衛は、驚きとある種感謝の表情で僕を見つめた。

The doorkeeper looked at me with surprise and a sort of gratitude.

	「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」
The doorkeeper ザ・トアキーパー n. 門衛は	「主語」
looked ルクト 3 単過 v.i(at を) 見つめた	「動詞」
at me アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
with ウイズ prep (様態) ～の様子で	「副詞句」
surprise サプライズ n. 驚き	「目的語」
and アンド conj. そして	
a sort of gratitude. ア・ソート・オブ・グレイチチュート n. ある種の感謝	「目的語」

それから、少しためらってから、僕にコーヒーを勧めたのは自分のほうだと述べた。

Then, after hemming and hawing for a bit, he volunteered the statement that it was he who'd suggested I should have some coffee.

Then, セン adv. それから	「副詞」
after +現在分詞 アフター prep (時間・順序) ～した後で	「副詞句」
hemming and hawing ヘミング・アング・ホーイング 現在分詞(hem and haw)	
v.i ためらう	「動詞句」
for a bit, フォー・ア・ビット adv. 少しの間	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
volunteered ヴォランティエート 3 単過 v.t 自分から話した	「動詞」

Part 2 第2部

the statement ザ・ステイトメント n. 陳述を	「目的語」
that ザット conj. (同格) ~という	「形容詞節」
it イット pron 仮の主語 (真の主語は who 以降)	
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
he ヒー pron 彼	「補語」
who フー pron ~した人は	「主語」
'd suggested ハット・サジェステイト 3 単過・完了形	
v.t 提案した、勧めた	「動詞句」
n. ~ということを	「目的語」
I アイ pron 僕が	「主語」
should have シュット・ハウ 1 単現・妥当(should+不定詞)	
v.t 飲んだ方がよい	「動詞句」
some coffee. サム・コーヒー n. コーヒーを	「目的語」

弁護士は勝ち誇って言った。「陪審員の方々はこの証言の意味を認めて下さるでしょう」

My lawyer was exultant. "The jury will appreciate," he said, "the importance of this admission."

「主語」「動詞」「補語」 《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」, 《「目的語」》	
My lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士は	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
exultant. イグザルタント adj. 勝ち誇った	「補語」
"The jury ザ・ジュアリー n. 陪審員は	「主語」
will appreciate," ウィル・アプリーシエイト 3 単未・推量 v.t 認めるだろう	「動詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
"the importance スイ・インポータンス n. 重要性を、意味を	「目的語」
of this admission." オブ・スイス・アドミション adj. この証言の	「形容詞句」

しかし検事はまた即座に立ち上がった。

The Prosecutor, however, was promptly on his feet again.

「主語」「副詞」「動詞」「補語」	
The Prosecutor, ザ・プロセキューター n. 検事は	「主語」
however, ハウエヴァー adv. かししながら	「副詞」
was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ~になった	「動詞」
promptly プロンプトリー adv. 即座に	「副詞」
on his feet オン・ヒズ・フィート adv. 立ち上がった	「補語」

Part 2 第2部

again. アゲン adv. 再び

「副詞」

「確かに、その通り」と、彼は僕たちの頭上で怒鳴った。「陪審員の皆さんはその証言の意味を認めるでしょう」

“Quite so,” he boomed above our heads. “The jury will appreciate it.

《「応答」, 「主語」「動詞」「副詞句」, 《「主語」「動詞句」「目的語」》

“Quite so,” クワイ・ソ adv. 確かにその通り！

「応答」

he ヒー pron 彼は

「主語」

boomed ブーモト 3 単過 v.t 大声で言った

「動詞」

above our heads. アバウ・アウ・ヘッズ adv. 僕たちの頭上で

「副詞句」

“The jury サ・ジュアリー n. 陪審員は

「主語」

will appreciate, ウィル・アプリーシエイト 3 単未・推量 v.t 認めるだろう

「動詞句」

it. イット pron そのことを

「目的語」

「そして陪審員の皆さんは決断を下すでしょう。第三者であればコーヒーを勧めても良いかもしれないが、この被告は、彼を産んだ哀れな母親の遺体に対する尊敬の念からしても、一般的な礼儀としてはそれを断るべきであったと。」

And they will draw the conclusion that, though a third party might inadvertently offer him a cup of coffee, the prisoner, in common decency, should have refused it, if only out of respect for the dead body of the poor woman who had brought him into the world.”

《And 「主語」「動詞句」「目的語」》

And アント conj. そして

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

will draw ウィル・ドロー 3 複未・推量(will+不定詞)v.t 引き出すだろう

「動詞句」

the conclusion サ・コンクルージョン n. 決断を

「目的語」

that, ザット conj. (同格) ~という

「形容詞節」

though ソウ conj. ~であるが

「副詞節」

a third party ア・サード・パーティ n. 他人は、第三者は

「主語」

might inadvertently offer マイト・イヴァージェントリー・オファー 3 単現・推量(might+不定詞)

v.t うっかりして勧めて良いだろう

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

a cup of coffee, ア・カップ・オブ・コーヒー n. コーヒーを

「直接目的語」

the prisoner, サ・プリズナー n. この被告は、この囚人

「主語」

in common decency, イン・コモン・デューセンシー

adv. 一般的な礼儀において

「副詞句」

should have refused シュット・ハヴ・リフュースト 3 単現・完了形・義務(should+不定詞・完了形)

Part 2 第2部

v.t 断るべきだった	「動詞句」
it, イット pron それを	「目的語」
if イフ conj. もし～であれば	「副詞節」
only out of respect オンリー・アウト・オブ・リスぺクト	
adv. 単に尊敬の念から	「副詞句」
for the dead body フォー・ザ・デッド・ボデー	
adv. 死体に対する	「副詞句」
of the poor woman オフ・ザ・プア・ウーマン	
adj. 哀れな女性の	「形容詞句」
who フー pron (主語) ～する	「形容詞節」
had brought ハット・ブrought 3 単過・完了形(bring)	
v.t 連れ出した	「動詞句」
him ヒム pron 彼を	「目的語」
into the world.” イントゥ・ザ・ワールド	
adv. この世に	「副詞句」
→ 彼を産んだ	

それから、門衛は自分の席へ戻った。

After which the doorkeeper went back to his seat.

	「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」
After which アフター・フィッチ adv. それから、その後	「副詞句」
the doorkeeper ザ・ドアキーパー n. 門衛は	「主語」
went back ウェント・バック 3 単過(go back)v.i (元の所に) 戻った	「動詞句」
to his seat. トゥ・ヒズ・シート adv. 自分の席へ	「間接目的語」

トーマス・ペレーズが呼ばれた時、廷吏が彼を証人席まで支えて行かねばならなかった。

When Thomas Pérez was called, a court officer had to help him to the box.

	「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
When ホエン conj. ～した時	「副詞節」
Thomas Pérez トマ・ペレス n. トーマス・ペレーズが	「主語」
was called, ワズ・コールト 3 単過・受動 v.t 呼ばれた	「動詞句」
a court officer ア・コート・オフィサー n. 廷吏が	「主語」
had to help ハット・トゥ・ヘルプ 3 単過・必要(have to+不定詞)	
v.t 手助けしなければならなかった	「動詞句」
him ヒム pron 彼を	「目的語」
to the box. トゥ・ザ・ボックス adv. 証人席まで	「副詞句」

Part 2 第2部

ペレーズは、母さんとは親しい友人だったが、僕とは葬儀の日に一度会ったきりだと述べた。

Pérez stated that, though he had been a great friend of my mother, he had met me once only, on the day of the funeral. 「主語」「動詞」「目的語」

Pérez ペレス n. ペレーズは 「主語」

stated ステイト^ト 3 単過 v.t (that ～と) 述べた 「動詞」

that, ザット conj. ～ということ 「目的語」

though ゴウ conj. (逆接) ～だけれども 「副詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

had been ハット^ト・ビーン 3 単過・完了形(be)v.i ～だった 「動詞句」

a great friend of my mother, ア・グレイト・フレント^ト・オブ^ト・マイ・マザー

n. 母さんの一番の友人 「補語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

had met ハット^ト・メット 3 単過・完了形(meet)v.t 会った 「動詞句」

me ミー pron 僕に 「目的語」

once only, ワンス・オンリー adv. 1 度だけ 「副詞句」

on the day of the funeral. オン・ザ・デイ・オブ^ト・ザ・フューネラル adv. 葬儀の日に 「副詞句」

その日、僕がどのように振舞っていたかと尋ねられて、彼は答えた：

Asked how I had behaved that day, he said: 「副詞句」, 「主語」「動詞」

Asked アスク 過去分詞・受動・原因(ask)adv. 尋ねられたので 「副詞句」

how ハウ adv. どのように～するかということ 「目的語」

I アイ pron 僕が 「主語」

had behaved ハット^ト・ビヘイヴト^ト 1 単過・完了形(behave)

v.i 振舞っていた 「動詞句」

that day, ザット・デイ adv. その日、葬儀の日に 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said: セット^ト 3 単過(say)v.t 答えた 「動詞」

「あの、私は落ち込んでいました。あまりの落ち込みで、何も気づきませんでした」

“Well, I was most upset, you know. Far too much upset to notice things.

《「言いよどみ」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「動詞句」「目的語」》

“Well, ウェル adv. あの、えー 「言いよどみ」

I アイ pron 私は 「主語」

was ワズ (be)v.i ～だった 「動詞」

Part 2 第2部

most upset, モスト・アップ°セツト adj. (感情的に) 落胆した、落ち込んだ	「補語」
you know. ユー・ノウ adv. ご存じの通り	「副詞句」
Far too much upset ファー・トゥー・マッ・アップ°セツト adv. 余りの落ち込みで	「副詞句」
to notice トゥ・ノウズ 不定詞・不可能(far...to+不定詞)v.t 気付かない	「動詞句」
things. シングズ° pl(thing).n (否定文) 何も	「目的語」

「悲嘆から少し目が見えなくなったと思います。親友の死は衝撃でした；実際、私は葬儀の間じゅう気絶していましたから、この方のことはほとんど何も気が付きませんでした」

My grief sort of blinded me, I think. It had been a great shock, my dear friend's death; in fact, I fainted during the funeral. So I didn't hardly notice the young gentleman at all.

《「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞節」 | 「動詞句」「補語」「主語」；

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

My grief マイ・グリーフ n. 私の悲嘆は	「主語」
sort of ソート・オブ° adv. いくらか	「副詞句」
blinded ブラインディット° 3 単過(blind)v.t 見えなくした	「動詞」
me, ミー pron 私を	「目的語」
I think. アイ・シンク adv. そう思う	「副詞節」
It イット pron 仮の主語 (真の主語は my dear friend's death)	
had been ハット°・ビーン 3 単過・完了形(be)v.i 〜だった	「動詞句」
a great shock, ア・グレイト・ショック n. 激しい衝撃	「補語」
my dear friend's death; マイ・デア・フレンズ°・デス n. 私の親友の死は	「主語」
in fact, イン・ファクト adv. 実際に	「副詞句」
I アイ pron 私は	「主語」
fainted フェインティット° 1 単過(faint)v.i 気絶した、卒倒した	「動詞」
during the funeral. デュアリソグ°・ザ°・フューネラル adv. 葬儀の間じゅう	「副詞句」
So ソ adv. だから、それで	「副詞」
I アイ pron 私は	「主語」
didn't hardly notice デイトント・ハートリー°・ノウズ 1 単過・否定(notice+hardly)	
v.t ほとんど気づかなかった	「動詞句」
the young gentleman ザ°・ヤング°・ジェントルマン n. この方に	「目的語」
at all.” アット・オール adv. (否定文) まったく〜ない	「副詞句」

Part 2 第2部

検事は彼に、僕が泣いているのを見たかどうか法廷に証言するように求めた。

The Prosecutor asked him to tell the court if he'd seen me weep.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

The Prosecutor サ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t(SVO to+不定詞 O に～するように) 頼んだ

「動詞」

him ヒム pron ペレーズに

「目的語」

to tell トゥ・テル 不定詞・him の動作 v.t 話す

「補語」

the court サ・コート n. 法廷に

「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd seen ハット・シーン 3 単過・完了形・知覚動詞(see)v.t(SVO+不定詞)

v.t 見た

「動詞句」

me ミー pron 僕が

「目的語」

weep. ウィーフ 不定詞・me の動作 v.i 泣く

「補語」

そして、ペレーズが見ていないと答えると、検事は力強く付け加えた：「陪審員の皆さんは、この証言に注目してください」

And when Pérez answered, “No,” added emphatically: “I trust the jury will take note of this reply.” And 「副詞節」, 「動詞」「副詞」: 《「主語」「動詞」「目的語」》

And アント conj. そして

when ホエン conj. ～すると

「副詞節」

Pérez ペレス n. ペレーズが

「主語」

answered, アンサート 3 単過 v.t 答えた

「動詞」

“No,” ノウ adv. 見ていない

「応答」

added アッディット 3 単過 v.t 付け加えた

「動詞」

「主語」は検事

emphatically: エンファティカリー adv. 力強く、断固として

「副詞」

“I アイ pron 私は

「主語」

trust トラスト 1 単現 v.t 信頼している

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

the jury サ・ジュアリー n. 陪審員の皆さんは

「主語」

will take note ウィル・テイク 3 単未・期待(will+不定詞 take note)

v.i(of に) 注目するだろう

「動詞句」

of this reply.” オブ・スイス・リプライ adv. この証言に

「間接目的語」

Part 2 第2部

弁護士はすぐに立ち上がり、僕には不必要に強引と思われる口調でペレーズに尋ねた：

My lawyer rose at once, and asked Pérez in a tone that seemed to me needlessly aggressive: 「主語」「動詞」「副詞句」,and 「動詞」「間接目的語」「副詞句」
 My lawyer マイ・ローヤ N. 僕の弁護士は 「主語」
 rose ローズ 3 単過(rise)v.i 立ち上がった 「動詞」
 at once, アット・ワンス adv. すぐに 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 Pérez ペレス n. ペレーズに 「間接目的語」
 in a tone イン・ナ・トーン adv. 口調で 「副詞句」
 that サット pron (主語) ～する 「形容詞節」
 seemed シームト 3 単過・時制の一致 v.i ～と思われる 「動詞」
 to me トゥ・ミー pron 僕には 「間接目的語」
 needlessly aggressive: ニードレスリー・アグ्रेसィヴ adj. 不必要に強引な 「補語」

「それでは、よく言考えてください！あなたは彼が泣いていないのを見たと言えますか？」

ペレーズは答えた、「いいえ」

“Now, think well, my man! Can you swear you saw he didn't shed a tear?” Pérez answered, “No.” 《「副詞」「呼びかけ」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》, 「主語」「動詞」《「応答」》

“Now, ナウ adv. それでは 「副詞」
 think well, my man! シンク・ウェル・マイ・マン adv. よく考えてくださいよ！ 「呼びかけ」
 Can ...swear キャソ...スウェア 2 単現・可能・疑問文(can+不定詞)v.t 誓えますか？ 「動詞句」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 n. ～ということを 「目的語」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 saw ソー 2 単過(see)v.t 見た 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 didn't shed デイトント・シェット 3 単過・否定(shed)
 v.t (不変) (涙を) 流さなかった 「動詞句」
 a tear?” ア・ティア n. 涙を 「目的語」
 Pérez ペレス n. ペレーズは 「主語」
 answered, アンサード 3 単過 v.t 答えた 「動詞」
 “No.” ノウ adv. いいえ 「応答」

Part 2 第2部

これに対して、傍聴者たちがくすくす笑ったので、弁護士は法服の袖を引き上げながら厳かな口調で言った：

At this some people tittered, and my lawyer, pushing back one sleeve of his gown, said sternly: 「副詞句」「主語」「動詞」,and 「主語」「副詞句」「動詞」「副詞」
 At this アット・ズィス adv. これに対して 「副詞句」
 some people サム・ピープル pron.pl 傍聴者たちが 「主語」
 tittered, ティタート 3 複過 v.i くすくす笑った 「動詞」
 and アンド conj. そして
 my lawyer, マイ・ローヤー n. 弁護士は 「主語」
 pushing back プッシング・バック 現在分詞・同時 adv. 戻しながら、引き上げて 「副詞句」
 one sleeve of his gown, ワン・スリーヴ・オブ・ヒズ・ガウン n. 法服の袖を 「目的語」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 sternly: スターンリー adv. 厳格に、いかめしく 「副詞」

「これがこの裁判の実態です。真実を引き出すために、いかなる努力もなされていない」

“That is typical of the way this case is being conducted. No attempt is being made to elicit the true facts.” 《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》
 “That サット pron それが、これが 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 typical ティピカル adj. 象徴的な 「補語」
 of the way オブ・ザ・ウェイ adj. 方法の 「形容詞句」
 this case スィズ・ケイス n. この裁判が 「主語」
 is being conducted. イズ・ビーイング・コンダクト 3 単現・進行形・受動(conduct) v.t 進められている、行なわれている 「動詞句」
 No attempt ノウ・アテンプト n. 如何なる努力も~ない 「主語」
 is being made イズ・ビーイング・メイト 3 単現・進行形・受動(make)v.t なされていない 「動詞句」
 to elicit トゥ・エリシット 不定詞・目的 adv. 引き出すために 「副詞句」
 the true facts.” ザ・トゥルー・ファクツ pl.n 真実を 「目的語」

フランス語の原文では

「これがこの裁判の姿だ。すべてが真実であり、同時に、何ひとつとして真実ではない」
 «Voilà l'image de ce procès. Tout est vrai et rien n'est vrai!»

Part 2 第2部

検事はこの意見を無視した；彼は鉛筆で書類綴りの表紙をつついていた。全く無関心のように見えた。

The Prosecutor ignored this remark; he was making dabs with his pencil on the cover of his brief, seemingly quite indifferent.

「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」，「補語」
 The Prosecutor サ・プロセキューター n. 検事は 「主語」
 ignored イグノア 3 単過 v.t 無視した 「動詞」
 this remark; スィス・リマーク n. この意見を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was making ワズ・メイキング 3 単過・進行形(make)v.t (行為を) していた 「動詞句」
 dabs ダブズ pl.n 打撃を、軽くたたくこと 「目的語」
 with his pencil ウィズ・ヒズ・ペンシル adv. (道具) 鉛筆で 「副詞句」
 on the cover of his brief, オン・ザ・カバー・オブ・ヒズ・ブリーフ adv. 書類綴りの表紙を 「副詞句」
 seemingly シーミングリー adv. 見たところでは 「副詞」
 quite indifferent. クワイト・インディフエレント adj. 全く無関心な 「補語」

フランス語の原文では

検事はむっとした表情をして、書類一式の表題の文字を鉛筆でつついていた。

Le procureur avait le visage fermé et piquait un crayon dans les titres de ses dossiers.

5 分間の中断があり、その間に弁護士は僕に、裁判は全く順調に進んでいると告げた。

There was a break of five minutes, during which my lawyer told me the case was going very well indeed.

「動詞句」「主語」，「副詞節」
 There was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 a break of five minutes, ア・ブレイク・オブ・ファイヴ・ミニッツ n. 5 分間の中断が、休憩が 「主語」
 during which デュアリング・フィッチ adv. その間に 「副詞節」
 my lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士が 「主語」
 told トールド 3 単過(tell)v.t 告げた 「動詞」
 me ミー pron 僕に 「間接目的語」
 n. 〜ということ 「直接目的語」
 the case サ・ケイス n. 裁判は 「主語」
 was going ワズ・ゴウイング 3 単過・進行形(go)v.i 進んでいる 「動詞句」
 very well indeed. ヴェリー・ウェル・インディート adv. 全く順調に 「副詞句」
 well ウェル adv. うまく、申し分なく、順調に
 indeed インディート adv. まったく (very+形容詞・副詞で very の意味を強める)

Part 2 第2部

次に、セレストが呼ばれた。彼は弁護側の証人として知らされた。弁護側とは僕のことだ。

Then Céleste was called. He was announced as a witness for the defense. The defense meant me.

「副詞」「主語」「動詞句」	「主語」「動詞句」「補語」	「主語」「動詞」「目的語」
Then セン adv. 次に		「副詞」
Céleste セステ n. セレストが		「主語」
was called. ワズ・コールト 3 単過・受動(call)v.t 呼ばれた		「動詞句」
He ヒー pron 彼は		「主語」
was announced ワズ・アナウンスト 3 単過・受動(announce)v.t 知らされた		「動詞句」
as a witness アズ・ア・ウィットネス adv. 証人として		「補語」
for the defense. フォー・ザ・ディフェンス adv. 弁護側に対する		「副詞句」
The defense ザ・ディフェンス n. 弁護側は		「主語」
meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 意味する		「動詞」
me. ミー pron 僕		「目的語」

セレストは時々僕に視線を投げかけた；彼は証言しながら、両手でパナマ帽を捻っていた。

Now and again Céleste threw me a glance; he kept squeezing his Panama hat between his hands as he gave evidence.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」；「動詞句」「目的語」「副詞句」	
Now and again ナウ・アンド・アゲン adv. 時々	「副詞句」
Céleste セステ n. セレストは	「主語」
threw スルー 3 単過(throw)v.t 投げた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
a glance; ア・グランス n. 視線を、一瞥を	「直接目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
kept squeezing ケプト・スクイジング 3 単過・継続(keep+現在分詞 squeeze) v.t 捻り続けていた	「動詞句」
his Panama hat ヒズ・パナマ・ハット n. パナマ帽を	「目的語」
between ビトワイン prep (場所) ～の間で	「副詞句」
his hands ヒズ・ハンズ pl.n 両手	「目的語」
as アズ conj. ～しながら	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
gave ゲイヴ 3 単過・時制の一致(give)v.t 述べる	「動詞」
evidence. エヴィデンス n. 証言を	「目的語」

Part 2 第2部

パナマ帽

パナマソウの葉を細く裂いた紐で作られる、夏用のつば付の帽子。「パナマ帽」と呼ばれているが、起源はパナマではなくエクアドルである。高級なものでは数十年使い続けることができる。



彼は、日曜日に時々、僕と一緒に競馬に行くときに着る、一張羅の背広を着ていた。

He was in his best suit, the one he wore when sometimes of a Sunday he went with me to the races.

「主語」「動詞」「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

in his best suit, イン・ヒズ・ベスト・スーツ adv. 一張羅の中に

「副詞句」

the one ザ・ワン pron 背広、服

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

wore ウォア 3 単過・時制の一致(wear)v.t 着る

「動詞」

when ホエン conj. ~する時に

「副詞節」

sometimes of a Sunday サムタイムズ・オブ・ア・サンデイ

adv. 日曜日に時々

「副詞句」

he ヒー pron 彼が

「主語」

went ウェント 3 単過・時制の一致(go)v.i 行く

「動詞」

with me ウイズ・ミー adv. 僕と一緒に

「副詞句」

to the races. トゥ・ザ・レイセス adv. 競馬に

「間接目的語」

一張羅 (いっちょうら)

その人が持っている衣服のなかで、最もよいもの。

たった1着だけ持っている衣服。

Part 2 第2部

しかし、彼はカラーを取り付けられなかったようだ；気が付いたのだが、シャツの襟元が真鍮の飾りボタン1個だけでとめられていたからだ。

But evidently he hadn't been able to get his collar on; the top of his shirt, I noticed, was secured only by a brass stud.

But 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」；
「主語」, 「主語」「動詞」, 「動詞句」「副詞句」

But バット conj. しかし

evidently エヴイデントリー adv. 見たところ〜らしい、明らかに 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

hadn't been able to get ...on; ハドント・ビーン・エイブル・トゥ・ゲット...オン 3 単過・完了形・可能・否定

v.t.(be able to+不定詞 get on) 取り付けられなかった 「動詞句」

get on 「取り付け、身に着ける、着る、かぶる、履く」

his collar ヒズ・カラー n. (服の) カラーを、えりを 「目的語」

the top of his shirt, ザ・トップ・オブ・ヒズ・シャツ n. シャツの襟元は 「主語」

I アイ pron (挿入句) 僕は 「主語」

noticed, ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた 「動詞」

was secured リズ・セキヤト 3 単過・受動(secure)v.t とめられていた 「動詞句」

only by a brass stud. オンリー・バイ・ア・ブラス・スタッド adv. 真鍮の飾りボタンだけで 「副詞句」

彼は僕が客の一人だったのかと尋ねられて、答えた。「はい、そして友人でもあります」

Asked if I was one of his customers, he said, "Yes, and a friend as well."

「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」, 《「応答」》

Asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

受動態に翻訳する

if イフ conj. 〜かどうかということ 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was リズ 1 単過 (be)v.i 〜だった 「動詞」

one of his customers, ワン・オブ・ヒズ・カスタマーズ pron 客の一人 「補語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

"Yes, イェス adv. はい 「応答」

and アント conj. そして

a friend ア・フレント n. 友人 「応答」

as well." アス・ウェル adv. 同様に 「副詞句」

Part 2 第2部

僕のことをどう思っているかと尋ねられて、まともな男だと答えた。それはどういう意味かと尋ねられると、その意味は誰だって分かっていると答えた。

Asked to state his opinion of me, he said that I was “all right” and, when told to explain what he meant by that, he replied that everyone knew what that meant.

「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」 and,

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」

Asked to state アスクト・トゥ・ステイト 3 単過・要望(ask+不定詞)

v.t 述べるように求めた

「動詞句」

受動態に翻訳する

his opinion ヒズ・オピニオン n. 彼の意見を

「目的語」

of me, オフ・ミー adv. 僕に対する

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

“all right” オール・ライト adj. 申し分のない、まともな

「補語」

and, アント conj. そして

when ホエン conj. ～すると、～した時に

「副詞節」

told to explain トゥルト・トゥ・イクスプレイン 3 単過・要請(tell to+不定詞 explain)

v.t 説明するように求めた

「動詞句」

what ファット pron (目的語) 何を～するかを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 言おうとしている

「動詞」

by that, バイ・ザット adv. それで

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

replied リプライト 3 単過 v.t 答えた

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

everyone エヴリワン pron 誰でも

「主語」

knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

what ファット pron (目的語) 何を～するかを

「目的語」

that ザット pron それが

「主語」

meant. メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 意味する

「動詞」

Part 2 第2部

「僕は秘密主義の男なのか？」「そんなことはない」と、彼は答えた。「彼のことをそんな風に呼んだことはない。しかし、他の連中のように無駄話をする男ではない」

“Was I a secretive sort of man?” “No,” he answered, “I shouldn’t call him that. But he isn’t one to waste his breath, like a lot of folks.”

《「動詞」「主語」「補語」》《「応答」》, 「主語」「動詞」

《「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | But 「主語」「動詞句」「補語」》

“Was ワズ 1 単過・時制の一致・疑問文 v.i ~なのか？

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

a secretive sort of man?” ア・セクリテイヴ・ソート・オブ・マン n. 秘密主義の男

「補語」

“No,” ノウ adv. そうではない

「応答」

he ヒー pron 彼は

「主語」

answered, アンサード 3 単過 v.t 答えた

「動詞」

“I アイ pron 私は

「主語」

shouldn’t call ショウドント・コール 1 単現・否定・意思(should+不定詞 call)

v.t 断じて呼ばない

「動詞句」

him ヒム pron 彼を

「目的語」

that. ザット pron そんな風に

「補語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

isn’t イズント 3 単現・否定(be)v.i ~でない

「動詞句」

one to waste ワン・トゥ・ウェイスト pron 無駄遣いする男

「補語」

his breath, ヒズ・ブレス n. 息を

「目的語」

like a lot of folks.” ライク・ア・ロット・オブ・フォークス adv. その他大勢の人々の様に

「副詞句」

セレストがそう証言するとすぐに、検事は彼に、僕はレストランの月々の支払いをきちんと清算していたかと尋ねた。彼は笑って答えた。

The Prosecutor asked him if I always settled my monthly bill at his restaurant when he presented it. Céleste laughed.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「副詞節」 | 「主語」「動詞」

The Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

if イフ conj. ~かどうかということ

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

settled セトルド 1 単過 v.t (勘定を) 清算していた、支払っていた

「動詞」

Part 2 第2部

my monthly bill	マイ・マンスリー・ビル n. 月々の支払を	「目的語」
at his restaurant	アット・ヒズ・レストラン adv. レストランの	「形容詞句」
when	ヘン conj. ～する時	「副詞節」
he	ヒー pron 彼が	「主語」
presented	プレゼンテイト 3 単過 v.t 証言した	「動詞」
it.	イト pron それを	「目的語」
Céleste	セステ n. セレストは	「主語」
laughed.	ラフテイト 3 単過 v.i 笑った	「動詞」

「ああ、即金で払っていた。なんの問題もない。しかし、勘定なんて我々には些細な事だ」

“Oh, <u>he paid on the nail, all right.</u> But <u>the bills were just details-like, between him and me.</u> ”	《「感嘆」「主語」「動詞」「副詞句」 But「主語」「動詞」「補語」》
“Oh, ー int. ああ	「感嘆」
he ヒー pron 彼は	「主語」
paid ペイト 3 単過(pay)v.t 支払っていた	「動詞」
on the nail, オン・ザ・ネイル adv. (手段) 即金で	「副詞句」
all right. オール・ライト adv. 問題ない	「副詞句」
But バット conj. しかし	
the bills ザ・ビルズ pl(bill).n 勘定は	「主語」
were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i 〜である	「動詞」
just details-like, ジャスト・ディテイルズ・ライク adj. 些細な問題	「補語」
between him and me.” ビトウイン・ヒム・アント・ミー adv. 2 人の中では	「副詞句」

それから彼は、僕の犯罪についてどう思うかを述べるように求められた。

Then he was asked to say what he thought about the crime.

	「副詞」「主語」「動詞句」「補語」
Then ゼン adv. それから	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
was asked ワズ・アスクト 3 単過・受動・要求(ask)	
v.t(SVO to+不定詞) ～するように求められた	「動詞句」
They asked him to say... が受動態になった文 (him が he に変化している)	
to say トゥ・セイ 不定詞・he の動作 v.t 述べる	「補語」
能動態における「目的語」の動作を表わす	
what フワット pron (目的語) 何を～するかということ	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
thought ソート 3 単過・時制の一致(think)v.t 思った	「動詞」

Part 2 第2部

about the crime. アバウト・ザ・クライム adv. 犯罪について

「副詞句」

彼は証言台の手すりに両手を置いた。彼が証言を準備しているのは明らかだ。

He placed his hands on the rail of the box and one could see he had a speech all ready.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「主語」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

placed プレイスト 3 単過 v.t 置いた

「動詞」

his hands ヒズ・ハズ pl(hand).n 両手を

「目的語」

on the rail オン・ザ・レール adv. 手すりの上に

「副詞句」

of the box オフ・ザ・ボックス adj. 証言台の

「形容詞句」

and アント conj. そして

one ワン pron 人は

「主語」

could see クッド・シー 3 単過・可能・推量(can+不定詞 see)v.t 見て取れただろう

「動詞句」

n. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた

「動詞」

a speech ア・スピーチ n. 証言を

「目的語」

all ready. オール・レディ adv. すでに、前もって

「副詞句」

「私の考えでは、言ってみれば、あれは事故か運命だ。そして、運命は突然やって来る」

“To my mind it was just an accident, or a stroke of bad luck, if you prefer. And a thing like that takes you off your guard.”

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

And 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

“To my mind トゥ・マイ・マインド adv. 私の考えでは

「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～である

「動詞」

just an accident, ジャスト・アン・アクシデント n. 事故にすぎない

「補語」

or オア conj. または

a stroke ア・ストローク n. 一撃

「補語」

of bad luck, オフ・バッド・ラック adj. 不運の

「形容詞句」

if イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

you ユー pron あなたが

「主語」

prefer. プリファー 2 単現 v.t 好む

「動詞」

And アント conj. そして

a thing like that ア・シング・ライク・ザット n. そういうものは、運命は

「主語」

Part 2 第2部

takes ...off テイクス...オフ 3 単現(take off)v.t 不意打ちする 「動詞句」

take O off O's guard 「人を不意打ちする、人の油断しているところを襲う」

you ユー pron あなたの 「間接目的語」

your guard.” ユア・ガード n. あなたの警戒を 「直接目的語」

彼は証言を続けようとしたが、裁判長が遮った。「結構です。ありがとうございました」

He wanted to continue, but the Judge cut him short. “Quite so. That’s all, thank you.”

「主語」「動詞句」,but 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | 《「応答」》

He ヒー pron 彼は 「主語」

wanted to continue, ウンテイト・トオウ・コンティニュー 3 単過・願望(want to+不定詞)

v.t 証言を続けようとしていた 「動詞句」

but バット conj. しかし

the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」

cut カット 3 単過(cut)v.t(SVOC O を C の)状態にした 「動詞」

him ヒム pron 彼の話 「目的語」

short. ショート adj. 簡潔な、短い 「補語」

cut him short 彼の話邪魔する、中断させる

“Quite so. クワイ・ソウ adv. まったくその通りです 「応答」

That’s all, ザッツ・オール adv. 結構です 「応答」

thank you.” サンキュー adv. ありがとうございました 「応答」

しばらくの間、セレストは口がきけない程落ち込んでいるように見えた；それから彼は、まだ話が終わっていないと説明した。彼は手短かに証言するように命じられた。

For a bit Céleste seemed flabbergasted; then he explained that he hadn’t finished what he wanted to say. They told him to continue, but to make it brief.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」；「副詞」「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

For a bit フォー・ア・ビット adv. 少しの間 「副詞句」

Céleste セステ n. セレストは 「主語」

seemed シームト 3 単過 v.i ~のように見えた 「動詞」

flabbergasted; フラバー・ヘギヤスティト adj. 口がきけない 「補語」

then ゼン adv. それから 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」

that ザット conj. ~ということ 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

Part 2 第2部

hadn't finished ハドント・フィニッシュト 3 単過・完了形・否定・時制の一致(finish)

v.t 終わっていない

「動詞句」

what he wanted to say. フワット・ヒー・ウオンテイト・トゥ・セイ pron 言いたいことを「目的語」

They ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

told トルド 3 複過(tell)v.t(SVO to+不定詞 O に～しなさいと) 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「目的語」

to continue, トゥ・コンティニュー 不定詞・him の動作 v.t 続ける

「補語」

but バット conj. しかし

to make トゥ・メイク 不定詞・him の動作 v.t ～にする

「補語」

it イット pron 証言を

「目的語」

brief. ブリーフ adj. 簡潔な

「補語」

彼は、「あれは偶然の事故だった」とだけ繰り返した。

He only repeated that it was "just an accident."

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

only オンリー adv. ただ～だけ

「副詞」

repeated リピート 3 単過 v.t 繰り返した

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

it イット pron あれは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

"just an accident." ジャスト・アン・アクシデント n. ただの事故、偶然の事故

「補語」

「そういうことかもしれません」と、裁判長は述べた。「しかし、我々がここにいるのは、そのような偶然を、法律に従って裁くためなのです。どうも有難う御座いました」

"That's as it may be," the Judge observed. "But what we are here for is to try such accidents, according to law. You can stand down."

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《But 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」》

"That サット pron それは

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

as it may be," アズ・イト・メイ・ビー adv. それがあるだろう姿

「補語」

the Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は

「主語」

observed. オブザーヴト 3 単過 v.t 述べた

「動詞」

"But バット conj. しかし

what ...for ファット...フォー adv. (目的) 何のために～するかということは

「主語」

Part 2 第2部

we ウィー pron 我々が	「主語」
are アー 1 複現・存在(be)v.i ~にいる	「動詞」
here ヒア adv. ここに	「副詞」
is イズ 3 単現(be)v.i ~である	「動詞」
to try トゥ・トライ 不定詞・目的 n. 裁くため	「補語」
such accidents, サッチ・アクシデント pl.n そのような偶然を	「目的語」
according to law. アコデイング・トゥ・ロー adv. 法律に従って	「副詞句」
You ユー pron あなたは	「主語」
can stand down.” キャン・スタント・ダウン 2 単現・可能(can+不定詞 stand down)	
v.i (法律) 証人台から降りて下さい	「動詞句」

セレストは振り返り、僕を見つめた。彼の目は涙ぐみ、唇は震えていた。

Céleste turned and gazed at me. His eyes were moist and his lips trembling.

	「主語」「動詞」 and 「動詞」「間接目的語」
	「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「補語」
Céleste セステ n. セレストは	「主語」
turned タント 3 単過 v.i 振り向いた	「動詞」
and アント conj. そして	
gazed ゲイズト 3 単過 v.i(at を) 見つめた	「動詞」
at me. アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
His eyes ヒズ・アイズ pl(eye).n 彼の目は	「主語」
were ワー 3 複過(be)v.i ~だった	「動詞」
moist モイスト adj. 涙ぐんだ	「補語」
and アント conj. そして	
his lips ヒズ・リップス pl(lip).n 彼の唇は	「主語」
trembling. トレングリング adj. 震えた	「補語」

それはまるで彼が「俺は君のために出来る限りやった。友よ。だけどそれが役に立ったかどうかわからない。すまない」と言っているかのようだった。

It was exactly as if he'd said: "Well, I've done my best for you, old man. I'm afraid it hasn't helped much. I'm sorry."

	「主語」「動詞」「補語」
It イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
exactly as if イグザクティー・アズ・イフ adv. まさに~というような	「補語」
he ヒー pron 彼は	「主語」

Part 2 第2部

'd said: ハット・セッド 3 単過・完了形(say)v.t 言った	「動詞句」
"Well, ウェル adv. ところで	「副詞」
I アイ pron 俺は	「主語」
've done ハヴ・ダン 1 単現・完了形(do)v.t やった	「動詞句」
my best マイ・ベスト n. 最善を、出来る限りのことを	「目的語」
for you, フォー・ユー adv. 君のために	「副詞句」
old man. オールド・マン adv. 友よ	「呼びかけ」
I アイ pron 俺は	「主語」
'm アム 1 単現(be)v.i 〜である	「動詞」
afraid アフレイト adj.(that 〜ではないかと) 心配する	「補語」
(that サット conj. (原因) 〜するのではないかと)	「副詞節」
it イット pron それが	「主語」
hasn't helped ハズント・ヘルプト 3 単現・完了形・否定(help)	
v.t 役に立たなかった	「動詞句」
much. マッチ adv. (否定文) あまり〜ない	「副詞」
I'm sorry." アイム・ソリー adv. すまない	「感嘆」

僕は何も言わなかったし、どんな身振りもしなかった。だが、生まれて初めて、1 人の男を抱きしめたいと思った。

I didn't say anything, or make any movement, but for the first time in my life I wanted to kiss a man.

「主語」「動詞句」「目的語」,or「動詞句」「目的語」,
but「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ rpon 僕は	「主語」
didn't say デイトント・セイ 1 単過・否定 v.t 言わなかった	「動詞句」
anything, エニシング pron (否定文で) 何も〜ない	「目的語」
or オア conj. また	
make メイク 1 単過・否定 v.t (動作を) しなかった	「動詞句」
any movement, エニー・ムーヴメント n. 身振りを〜ない	「目的語」
but バット conj. しかし	
for the first time フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 初めて	「副詞句」
in my life イン・マイ・ライフ adv. 人生で	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
wanted to kiss ウォンテイト・トウ・キス 1 単過・願望(want to+不定詞)	
v.t 抱擁したいと思った	「動詞句」
a man. ア・マン n. 1 人の男を	「目的語」

Part 2 第2部

また裁判長が証言台から降りるように命じたので、セレストは傍聴席へ戻った。

The Judge repeated his order to stand down, and Céleste returned to his place amongst the crowd. 「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞」「副詞句」

The Judge サ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」

repeated リピート 3 単過 v.t 繰り返した 「動詞」

his order ヒズ・オーダー n. 彼の命令を 「目的語」

to stand down, トゥ・スタント・ダウン 不定詞・同格

adj. 証人台から降りるという

「形容詞句」

and アンド conj. そして

Céleste セステ n. セレストは 「主語」

returned リターン 3 単過 v.i 戻った 「動詞」

to his place トゥ・ヒズ・プレイス adv. 自分の座席へ 「副詞句」

amongst the crowd. アマング・スト・ザ・クラウド adv. 傍聴者たちの間の 「副詞句」

その後の審理の間中、彼は前屈みになり、膝に両手を載せ、パナマ帽を両手で握り締め、
交わされる言葉を聞き逃すまいとして、ずっとそこに留まっていた。

During the rest of the hearing he remained there, leaning forward, elbows on knees and his Panama between his hands, not missing a word of the proceedings.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

During トゥアリング prep (期間) ~の間中 「副詞句」

the rest サ・レスト n. 残り 「目的語」

of the hearing オフ・ザ・ヒアリング adj. (法律) 審理の 「形容詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

remained リメイント 3 単過 v.i 留まっていた 「動詞」

there, ゼア adv. そこに 「副詞」

leaning forward, リーニング・フォーワード 現在分詞・様態 adv. 前屈みになって 「副詞句」

elbows エルボウス pl.n 肘は 「主語」

on knees オン・キーズ adv. 膝の上に置いて 「副詞句」

and アンド conj. そして

his Panama ヒズ・パナマ n. パナマ帽は 「主語」

between his hands, ビトゥーイン・ヒズ・ハズ adv. 両手で持って 「副詞句」

not missing ノット・ミッシング 現在分詞・否定 adv. 聞き逃さないようにして 「副詞句」

a word ア・ワード n. 言葉を 「目的語」

of the proceedings. オフ・ザ・プロシーディングス

adj. 進行の

「形容詞句」

Part 2 第2部

次の証人はマリーだった。彼女は帽子を被っていた。相変わらずきれいだったが、僕は髪を結わず奔放な様子のマリーの方が好きだ。

It was Marie's turn next. She had a hat on and still looked quite pretty, though I much preferred her with her hair free.

「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

and 「副詞」「動詞」「補語」, though 「主語」「動詞句」「目的語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は next)

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

Marie's turn マリーズ・ターン n. マリーの番

「補語」

next. ネスト pron 次は、次の証人は

「主語」

She シー pron 彼女は

「主語」

had ...on ハット ...オン 3 単過(have on)v.t 身に着けていた、着ていた

「動詞句」

a hat ア・ハット n. 帽子を

「目的語」

and アンド conj. そして

still スティル adv. いまだに、いまでも、あいかわらず

「副詞」

looked ルクト 3 単過 v.i ~に見えた

「動詞」

quite pretty, クワイ・プリティ adj. きれいな

「補語」

though ヴァ conj. しかし、けれども

I アイ pron 僕は

「主語」

much preferred マッチ・プリファート 1 単過・時制の一致 v.t ~より好きだ

「動詞句」

her ハー pron 彼女が

「目的語」

with her hair free. ウイズ・ハー・ヘア・フリー adv. 髪を結っていない

「副詞句」

僕のいるところから、彼女の胸の滑らかなカーブがちらりと見えた。そして、いつも僕を魅了する彼女の下唇は少し腫れていた。彼女はとても神経質に見えた。

From where I was I had glimpses of the soft curve of her breasts, and her underlip had the little pout that always fascinated me. She appeared very nervous.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」, and 「主語」「動詞」「目的語」「主語」

「主語」「動詞」「補語」

From フロム prep (起点・場所) ~から

「副詞句」

where ウェア pron ~する場所

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

was ワズ 1 単過・存在(be)v.i いた

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t(+glimpse) ちらりと見えた

「動詞句」

have a glimpse of... 「~がちらりと見える」

Part 2 第2部

glimpses of the soft curve グリンプスイズ・オブ・サ・ソフト・カーブ

pl(glimpse).n なめらかな曲線が

「目的語」

of her breasts, オブ・ハー・ブレスツ adj. 胸の

「形容詞句」

and アンド conj. そして

her underlip ハー・アンダーリップ n. 彼女の下唇は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t (特徴) 〜だった

「動詞」

the little pout サ・リトル・パウ adj. 少し腫れた

「目的語」

that サット pron (主語) 〜する

「形容詞節」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

fascinated ファシネイト 3 単過・時制の一致(fascinate)

v.t 魅了する

「動詞」

me. ミ pron 僕を

「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

appeared アピート 3 単過 v.i 〜に見えた

「動詞」

very nervous. ヴェリー・ナーヴス adj. とても神経質な

「補語」

最初の質問があった：「いつ、僕と知り合ったのですか？」「同じ会社にいる時からです」と、彼女は答えた。

The first question was: How long had she known me? Since the time when she was in our office, she replied.

「主語」「動詞」：《「副詞句」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」

The first question サ・ファースト・クエスチョン n. 最初の質問が

「主語」

was: ワズ 3 単過・存在(be)v.i あった

「動詞」

How long ハウ・ロング adv. (期間) いつから

「副詞句」

had ...known ハット...ノウン 3 単過・完了形(know)v.t 知り合った

「動詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

me? ミ pron 僕と

「目的語」

Since シンス prep (起点) 〜から

「副詞句」

the time サ・タイム n. 時

「目的語」

when ホエン conj. 〜する時

「副詞節」

she シー pron 彼女が

「主語」

was ワズ 3 単過・存在(be)v.i 〜にいた

「動詞」

in our office, イン・アウ・オフィス adv. 僕らの会社に

「副詞句」

she シー pron 彼女は

「主語」

replied. リプライト 3 単過(reply)v.i 答えた

「動詞」

Part 2 第2部

それから裁判長は、彼女と僕はどういう関係なのかと尋ねた。彼女は友達ですと答えた。

Then the Judge asked her what were the relations between us, and she said she was my girl friend.

「副詞」	「主語」	「動詞」	「間接目的語」	「直接目的語」	,and	「主語」	「動詞」	「目的語」
Then	ゼン	adv.	それから					「副詞」
the Judge	ザ・ジャッジ	n.	裁判長は					「主語」
asked	アスクト	3 単過 v.t	尋ねた					「動詞」
her	ハー	pron	彼女に					「間接目的語」
what	ファット	pron	(補語) どんなものかを					「直接目的語」
were	ワー	3 複過・時制の一致(be)v.i	～である					「動詞」
the relations	ザ・レイションズ	pl.n	関係					「主語」
between us,	ビトゥween・アッス	adv.	僕たちの間の					「副詞句」
and	アント	conj.	そして					
she	シー	pron	彼女は					「主語」
said	セッド	3 単過(say)v.t	言った					「動詞」
n.	～		～ということを					「目的語」
she	シー	pron	彼女は					「主語」
was	ワズ	3 単過・時制の一致(be)v.i	～である					「動詞」
my girl friend.	マイ・ガール・フレンド	n.	友達					「補語」

別の質問に答えて、僕と結婚の約束をしていると認めた。

Answering another question, she admitted promising to marry me.

								「副詞句」, 「主語」	「動詞」	「目的語」
Answering	アンサリング	現在分詞・同時	adv.	～に答えて						「副詞句」
another question,	アナザー・クエスチョン	n.	別の質問に							「目的語」
she	シー	pron	彼女は							「主語」
admitted	アドミット	3 単過 v.t(+現在分詞	～していることを)	認めた						「動詞」
promising	プロミシング	現在分詞(promise)								
n.	(+to+不定詞	～すると)	約束をしていることを							「目的語」
to marry me.	トゥ・マリー・ミー	不定詞	n.	僕と結婚すると						「目的語」

Part 2 第2部

すると、目の前の書類をずっと調べていた検事が、突然、僕たちの関係はいつ始まったのかと尋ねた。

The Prosecutor, who had been studying a document in front of him, asked her rather sharply when our “liaison” had begun.

「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」
 The Prosecutor, サ・フ・ロセキューター n. 検事は 「主語」
 who フー pron (主語) ～する 「形容詞節」
 had been studying ハッド・ビーンスタディイング 3 単過・完了形・進行形(study)
 v.t ずっと調べていた 「動詞句」
 a document ア・ドキュメント n. 資料を、書類を 「目的語」
 in front of him, イン・フロント・オブ・ヒム adv. 彼の目の前の 「副詞句」
 asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
 her ハー pron 彼女に 「間接目的語」
 rather sharply ラーザー・シャープリー adv. 突然 「副詞句」
 when ホエン conj. いつ～するということを 「直接目的語」
 our “liaison” アウ・リエゾン n. 僕たちの関係が 「主語」
 had begun. ハッド・ビガン 3 単過・完了形(begin)v.i 始まった 「動詞句」

マリーはその日付を答えた。すると検事は何気なさそうに、それは葬儀の翌日のように思われるがと述べた。

She gave the date. He then observed with a would-be casual air that apparently she meant the day following my mother’s funeral.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「副詞」「動詞」「副詞句」「目的語」
 She シー pron.f 彼女は 「主語」
 gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t (質問に対する答えを) 言った、告げた 「動詞」
 the date. ザ・デイト n. 日付を 「目的語」
 He ヒー pron 検事は 「主語」
 then セン adv. そこで 「副詞」
 observed オブザーブト 3 単過(observe)v.t (観察によって意見を) 述べた 「動詞」
 with a would-be casual air ウイズ・ア・ウット・ビー・カジュアル・エア
 adv. 何気なさそうな様子で 「副詞句」
 would-be ウット・ビー adj. ～になるつもり of casual air カジュアル・エア n. 何気ない様子
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 apparently アパレントリー adv. ～のように思われる 「副詞」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 meant メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t ～のことを言っている 「動詞」

Part 2 第2部

the day ザ・デイ n. 日付を

「目的語」

following フォロウイング adj. 〜に続く

「形容詞」

my mother's funeral. マイ・マザーズ・フューネラル

n. 母さんの葬儀

「目的語」

この日付の意味が陪審員に理解されるのを待ってから、検事は少し皮肉を込めた口調で言った。確かにデリケートな問題ですが、若い婦人の気持ちに踏み込まなければなりません。しかし（ここで彼の声は一段と厳しくなった）義務感が礼節を放棄せよと彼に命ずるのだと。

After letting this sink in he remarked in a slightly ironic tone that obviously this was a “delicate topic” and he could enter into the young lady’s feelings, but—and here his voice grew sterner—his duty obliged him to waive considerations of delicacy.

「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」,

but (and 「副詞」「主語」「動詞」「補語」) 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

After +現在分詞 アフター adv. 〜してから

「副詞句」

letting レッティング 現在分詞・使役(let)v.t(SVO+不定詞)v.t O に〜させる

「動詞」

this ズィス pron これを

「目的語」

sink in シンク・イン 不定詞・this の動作 v.i 理解される

「補語」

→ この日付の意味が陪審員に理解されるのを待ってから

he ヒー pron 検事は

「主語」

remarked リマート 3 単過 v.t 述べた、言った

「動詞」

in a slightly ironic tone イン・ナ・スライトリー・アイロニック・トーン adv. 少し皮肉を込めた口調で

「副詞句」

that ザット conj. 〜ということを

「目的語」

obviously オブウィアスリー adv. 明らかに、確かに

「副詞」

this ズィス pron これは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である

「動詞」

a “delicate topic” ア・デリケート・トピック n. デリケートな問題

「補語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

could enter クッド・エンター 3 単現・可能 v.i 入ることが出来る

「動詞句」

into the young lady’s feelings, イントゥ・ザ・ヤング・レイディーズ・フィーリング

adv. 若い婦人の気持ちに

「間接目的語」

but バット conj. しかし

—and アンド conj. そして

here ヒア adv. ここで

「副詞」

his voice ヒズ・ヴォイス n. 彼の声が

「主語」

Part 2 第2部

grew グルー 3 単過・変化(grow)v.i (～の状態に) なった	「動詞」
sterner— スターナー adj. (比較級) 一段と厳しく	「補語」
his duty ヒズ・デューティ n. 彼の義務感が	「主語」
obliged オブライグト 3 単過(oblige)v.t 命ずる	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「目的語」
to waive トゥ・ウェイヴ 不定詞・him の動作 v.t ～を放棄する	「補語」
considerations コンシダレイションズ pl.n 考慮を、思いやり	「目的語」
of delicacy. オフ・デリカシー adj. 慎み深さの、礼節に対する	「形容詞句」

そう通告してから、検事は僕が初めて彼女と関係をもった日の僕たちのすべての行動について述べるようにマリーに求めた。

After making this announcement he asked Marie to give a full account of our doings on the day when I had “intercourse” with her for the first time.

	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
After +現在分詞 adv. ～した後で	「副詞句」
making メイキング 現在分詞(make)v.t ～を行った	「動詞」
this announcement スィス・アナウンスメント n. この通知を	「目的語」
he ヒー pron 検事は	「主語」
asked アスクト 3 単過 v.t 求めた、尋ねた	「動詞」
Marie マリー n. マリーに	「目的語」
to give トゥ・ギヴ 不定詞・Marie の動作 v.t (行為を) 述べる、証言する	「補語」
a full account ア・フル・アカウント n. 全体像を	「目的語」
of our doings オフ・アウワ・トゥイングス adj. 僕たちの行為の	「形容詞句」
on the day オン・ザ・デイ adv. その日の	「副詞句」
when ホエン conj. ～する	「形容詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t ～をもった	「動詞」
“intercourse” インターコース n. 肉体関係を	「目的語」
with her ウィズ・ハー adv. 彼女と	「副詞句」
for the first time. フォー・ザ・ファースト・タイム	
adv. 初めて	「副詞句」

Part 2 第2部

マリーは最初答えたがらなかったが、検事がしつこく証言を迫ったので、僕らは偶然に海水浴場で出会い、一緒に映画に行ってから僕のアパートへ行ったと答えた。

Marie wouldn't answer at first, but the Prosecutor insisted, and then she told him that we had met at the baths, gone together to the pictures, and then to my place.

「主語」「動詞句」「副詞句」, but 「主語」「動詞」,

and 「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Marie マリー n. マリーは

「主語」

wouldn't answer ウォン't・アンサー 3 単過・否定・意思(will+不定詞 answer)

v.t 答えようとしなかった

「動詞句」

at first, アット・ファースト adv. 最初は

「副詞句」

but バット conj. しかし

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

insisted, インシスティッド 3 単過 v.i 執拗に要求した

「動詞」

and アンド conj. そして

then セン adv. それで

「副詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

told トゥルド 3 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

that ザット conj. ～ということを

「直接目的語」

we ウィー pron 僕たちは

「主語」

had met ハット・メット 1 複現・完了形(meet)v.t (偶然) 出会った

「動詞句」

at the baths, アット・ザ・バス adv. 海水浴場で

「副詞句」

gone ゴン 1 複現・完了形(go)v.i ～に行った

「動詞句」

together トゥゲザー adv. 一緒に

「副詞句」

to the pictures, トゥ・ザ・ピクチャーズ adv. 映画に

「間接目的語」

and アンド conj. そして

then セン adv. それから

「副詞」

to my place. トゥ・マイ・プレイス adv. 僕のアパートへ

「間接目的語」

Part 2 第2部

そこで彼は裁判官と陪審員に、マリーが予審で供述した事に基づいて、その日の映画名を調べてみたと言った。それから、マリーの方に振り返り、僕たちが見に行った映画名を言うように求めた。

He then informed the court that, as a result of certain statements made by Marie at the proceedings before the magistrate, he had studied the movie programs of that date, and turning to Marie asked her to name the film that we had gone to see.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」,
and 「副詞句」「動詞」「目的語」「補語」

He ひー pron 彼は 「主語」
then ゼン adv. そして、そこで 「副詞」
informed インフォームトゝ 3 単過 v.t(SVO that 節 人に〜と) 告げた 「動詞」
the court サ・コート n. 裁判官と陪審員に 「間接目的語」
that, ザット conj. 〜ということ 「直接目的語」
as a result of アズ・ア・リザルト・オブゝ adv. 〜の結果として 「副詞句」
certain statements サートゥン・ステイトメント
pl(statement).n ある供述 「目的語」
made by Marie メイト・バイ・マリー adj. マリーの 「形容詞句」
at the proceedings アット・ザ・プ ロシーディングゝ adv. 手続きで 「副詞句」
before the magistrate, ビフォー・ザ・マジストレイト
adv. 治安判事の前の 「副詞句」
→ 予審で
he ひー pron 彼は 「主語」
had studied ハット・スタディトゝ 3 単過・完了形(study)v.t 調べた 「動詞」
the movie programs of that date, ザ・ムービー・プログラム・オブ・ザット・デート
n. その日の映画を 「目的語」
and アンド conj. そして
turning to Marie ターニング・トゥ・マリー 現在分詞・同時 adv. マリーの方へ振り返って 「副詞句」
asked アスクト 3 単過(ask)v.t(SVO+to 不定詞 O に〜するように) 求めた 「動詞」
her ハー pron 彼女に 「目的語」
to name トゥ・ネーム 不定詞・her の動作 v.t 名前を言う 「補語」
the film ザ・フィルム n. その映画を 「目的語」
that ザット pron (目的語) 〜する 「形容詞節」
we ウー pron.pl 僕たちが 「主語」
had gone to see. ハット・ゴウン・トゥ・シー 1 複過・完了形・しに行く(go to 不定詞)
v.t 見に行った 「動詞句」

Part 2 第2部

マリーは、か細い声で、フェルナンデルの映画ですと答えた。

In a very low voice she said it was a picture with Fernandel in it.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

In a very low voice イン・ナ・ウ゛ェリー・ロウ・ウ゛ォイス adv. (方法) 非常に小さい声で 「副詞句」
 she シー pron.f 彼女は 「主語」
 said セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 it イット pron それは 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 a picture ア・ピクチャー n. 映画 「補語」
 with Fernandel in it. ウィズ・フェルナンデル・イン・イット
 adv. (随伴) フェルナンデルが出ている 「副詞句」

彼女が証言を終えた時には、法廷は針が落ちる音が聞こえる程に静まり返っていた。

By the time she had finished, the courtroom was so still you could have heard a pin drop.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

By the time バイ・ザ・タイム adv. (接続詞的) ～する時には 「副詞節」
 she シー pron 彼女が 「主語」
 had finished, ハット・フィニッシュト 3 単過・完了形(finish)v.t 話を終えた 「動詞句」
 the courtroom サ・コートルーム n. 法廷は 「主語」
 was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ～になった 「動詞」
 so still ソ・スタイル adj. 非常に静かな 「補語」
 (so...that の省略 それで～するほど) 「副詞節」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 could have heard クッド・ハヴ・ハート 2 単過・完了形・可能・推量(can+不定詞・完了形)
 v.t 聞き取れただろう 「動詞句」
 a pin drop. ア・ピン・ドロップ n. 針が落ちる音を 「目的語」

厳粛な面持ちで検事が立ち上がり、僕を指差して、感極まったと思われる口調で言った：

Looking very grave, the Prosecutor drew himself up to his full height and, pointing at me, said in such a tone that I could have sworn he was genuinely moved:

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 and, 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

Looking ルキング 現在分詞・様態(look)v.i ～の様子で 「副詞句」
 very grave, ヴェリー・グレイヴ adj. 厳粛な 「補語」
 the Prosecutor プロセキューター n. 検事が 「主語」
 drew himself up トゥー・ウル・ヒムセルフ・アップ 3 単過(draw oneself up)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

Part 2 第2部

draw up トゥロー・アップ v.t 引き上げる → draw oneself up 立ち上がる
 to his full height トゥ・ヒズ・フル・ハイト adv. 直立して 「副詞句」
 and, アンド conj. そして
 pointing at me, ホ インテイング・アット・ミー 現在分詞・同時 adv. 僕を指さして 「副詞句」
 said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 in such a tone イン・サッチ・ア・トーン adv. そのような口調で 「副詞句」
 that サット conj. (目的語) ～する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 could have sworn クッド・ハヴ・スウォン 1 単過・完了形・可能・時制の一致(can+不定詞・完了形)
 v.t 断言できる 「動詞句」
 he ヒー pron 彼は～ということ 「目的語」
 was genuinely moved: ワズ・ジ エニュインリー・ムーヴド 3 単過・受動(move)
 v.t 本当に感動した 「動詞句」

「陪審員の皆さん！記憶に留めていただきたい。この被告は、母親の葬儀の翌日に海水浴
 に行き、異性関係を開始して、喜劇映画を見に行ったのです。私の言いたい事は以上です」

“Gentlemen of the jury, I would have you note that on the next day after his mother’s
 funeral that man was visiting the swimming pool, starting a liaison with a girl, and going
 to see a comic film. That is all I wish to say.”

《「呼びかけ」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」 | 「主語」 「動詞」 「補語」》

“Gentlemen of the jury, ジェントルメン・オブ・ザ・ジュアリー
 pl(gentleman).n 陪審員の皆さん 「呼びかけ」
 I アイ pron 私は 「主語」
 would have ウッド・ハヴ 1 単現・使役・依頼(would have)
 v.t(SVO+不定詞) O に～してもらいたい 「動詞句」
 you ユー pron.pl あなた方に 「目的語」
 note ノット 不定詞・you の動作 v.t 気付く 「補語」
 that サット conj. ～ということ 「目的語」
 on the next day オン・ザ・ネクスト・デイ adv. 翌日に 「副詞句」
 after his mother’s funeral アフター・ヒズ・マサース・フューネラル
 adj. 母親の葬儀の 「形容詞句」
 that man サット・マン n. 被告は 「主語」
 was visiting ワズ・ウヰジティング 3 単過・進行形(visit)v.t 訪れた 「動詞句」
 the swimming pool, ザ・スイミング・プール n. 海水浴場を 「目的語」
 starting スターティング 3 単過・進行形(start)v.t 開始した 「動詞句」
 a liaison ア・リエゾン n. 異性関係を 「目的語」

Part 2 第2部

with a girl, ウイズ・ア・ガール adv. 女と 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 going to see ゴーイング・チヤ・シー 3 単過・進行形・しに行く (go to+不定詞 see)
 v.t 見に行った 「動詞句」
 a comic film. ア・コミック・フィルム n. 喜劇映画を 「目的語」
 That ザット pron. これが 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 all I wish to say.” オール・アイ・ウィッシュ・トゥ・セイ pron. 私が言いたいことの全て 「補語」

彼が着席した時、延内は相変わらず静まり返っていた。

When he sat down there was the same dead silence. 「副詞節」, 「動詞句」 「主語」
 When ホエン conj. ~した時 「副詞節」
 he ヒー pron. 検事が 「主語」
 sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 着席した 「動詞句」
 there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~があった 「動詞句」
 the same dead silence. ザ・セム・デット・サイレンス n. 相変わりの静寂が 「主語」

その時突然、マリーが泣き出した。

Then all of a sudden Marie burst into tears. 「副詞句」 「主語」 「動詞句」
 Then セン adv. その時 「副詞」
 all of a sudden オール・オブ・ア・サドゥン adv. 突然、急に 「副詞句」
 Marie マリー n. マリーが 「主語」
 burst into tears. バースト・イントゥ・ティアズ 3 単過・開始(burst into O)
 v.i (急に) 泣き出した 「動詞句」

彼は全く間違えている、と彼女は言った。まったくそうではない。彼は無理やり自分の思っていることとは逆の事を言わせた。

He'd got it all wrong, she said; it wasn't a bit like that really, he'd bullied her into saying the opposite of what she meant.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」, 「主語」 「動詞」; 「主語」 「動詞句」 「補語」,
 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」
 He ヒー pron. 検事は 「主語」
 'd got ハット・ゴット 3 単過(get)v.t (～の状態に) した 「動詞句」
 it イット pron. それを 「目的語」
 all wrong, オール・ロング adj. まったく間違えた 「補語」
 she シー pron. 彼女は 「主語」

Part 2 第2部

said; セッド 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
it イット pron それは	「主語」
wasn't ワズント 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜でない	「動詞句」
a bit like that really, ア・ビット・ライク・ザット・リアリー	
adj. (否定文で) まったくそういう事〜ではない	「補語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
'd bullied ハット・ブリート 3 単過・完了形・強制(bull)v.t(SVO+into 現在分詞)	
v.t O に無理やり〜させた	「動詞句」
her ハー pron 彼女に	「目的語」
into saying イントゥ・セイイング 現在分詞・her の動作 v.t 言う	「補語」
the opposite ザ・オポジット n. 逆の事を	「目的語」
of what she meant. オフ・ファット・シー・メント adj. 彼女が思う事の	「形容詞句」

彼女は僕の事を良く知っているし、僕が何も悪いことをしていないと確信している。

<u>She knew me very well</u> , and <u>she was sure I hadn't done anything really wrong</u> —and so on.	「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,and「主語」「動詞」「補語」--and「副詞句」
She シー pron 彼女は	「主語」
knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている	「動詞」
me ミー pron 僕のことを	「目的語」
very well, ヴェリー・ウェル adv. とても良く	「副詞句」
and アント conj. そして	
she シー pron 彼女は	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である	「動詞」
sure シュア adj.(+that 〜を) 確信した	「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
hadn't done ハント・ダント 1 単現・完了形・否定・時制の一致(do)	
v.t していない	「動詞句」
anything エニシング pron 何も	「目的語」
really wrong リアリー・ロンク adj. 本当に悪い	「形容詞句」
—and アント conj. そして	
so on. ソウ・オン adv. 〜など	「副詞句」

Part 2 第2部

裁判長の合図により、廷吏が彼女を連れ出して、審理は続行された。

At a sign from the presiding judge, one of the court officers led her away, and the hearing continued. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」, and 「主語」 「動詞」

At a sign アット・ア・サイン adv. 合図によって 「副詞句」

from the presiding judge, フロム・ザ・プリサイディング・ジャッジ

adj. 裁判長からの 「形容詞句」

preside プリサイド v.i 統轄する

one of the court officers ワン・オブ・ザ・コート・オフィサーズ pron 廷吏の一人が 「主語」

led ...away, レッド ...アウェイ 3 単過(lead away)v.t 連れ去った 「動詞句」

her ハー pron 彼女を 「目的語」

and アンド conj. そして

the hearing ザ・ヒアリング n. (法律) 審理は 「主語」

continued. コンティニュート 3 単過(continue)v.i 続けられた 「動詞」

次にマソンが証言したが、ほとんど誰も聞いていないようだった。

Hardly anyone seemed to listen to Masson, the next witness.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Hardly anyone ハードリー・エワソン pron ほとんど誰も～ない 「主語」

seemed to listen シームト・トゥ・リスン 3 単過・推量(seem to+不定詞)

v.i (否定文で) 聞いていないようだった 「動詞句」

to Masson, トゥ・マソン adv. マソンの話を 「間接目的語」

the next witness. ザ・ネクスト・ウィットニス n. (同格) 次の証人である 「形容詞句」

彼は、僕は尊敬すべき若者で、その上、誠実な男だと述べた。

He stated that I was a respectable young fellow; "and, what's more, a very decent chap."

「主語」 「動詞」 「目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

stated ステイトット 3 単過 v.t 述べた 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

a respectable young fellow; ア・リスパクタブル・ヤング・フェロウ n. 尊敬すべき若者 「補語」

"and, アント conj. そして

what's more, フォツ・モア adv. その上 「副詞句」

a very decent chap." ア・ヴェリー・デイスント・チャップ n. 誠実な男 「補語」

decent デイスント adj. 礼儀正しい chap チャップ n. (親しみを込めて) やつ

Part 2 第2部

サラマノが、僕はいつも彼の犬に親切だったと言ったときも、さらには、母さんと僕自身についての質問に答えて、僕と母さんには共通の話題は無かったので、僕が母さんが養老院へ入る手続きをしたと説明した時も、ほとんど誰も彼の話を聞いていなかった。

Nor did they pay any more attention to Salamano, when he told them how kind I'd always been to his dog, or when, in answer to a question about my mother and myself, he said that Mother and I had very little in common and that explained why I'd fixed up for her to enter the Home.

Nor did ...pay ノア・ディット ...ペイ 3 複過・否定 v.t (注意を) 払いもしなかった 「動詞句」

they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

any more attention エニー・モア・アテンション n. (否定文で) ほとんど何も注意を 「目的語」

to Salamano, トゥ・サラマノ adv. サラマノの話に 「副詞句」

when ホエン conj. ～する時 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

told トゥルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

them ゼム pron 彼らに 「間接目的語」

how kind ハウ・カインド adj. どれ程親切に～するかということを 「直接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd always been ハット・オールウェイズ・ビーン 1 単現・完了形(be)

v.i いつも～だった 「動詞句」

to his dog, トゥ・ヒズ・ドッグ adv. (対象) 彼に犬に対して 「副詞句」

or オア conj. また

when ホエン conj. ～する時 「副詞節」

in answer to a question about my mother and myself,

イン・アンサー・トゥ・ア・クエスチョン・アバウト・マイ・マザー・アント・マイセルフ

adv. 母さんと僕自身についての質問に答えて 「副詞句」

he ヒー pron 彼が 「主語」

said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

Mother and I マザー・アント・アイ n. 母さんと僕は 「主語」

had ハット 1 複過(have)v.t ～があった 「動詞」

very little ヴェリー・リトル n. ほとんど何も～ない 「目的語」

in common イン・コモン adv. (分野) 共通の話題は 「副詞句」

and アント conj. そして

that サット conj. ～ということを 「目的語」

explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」

Part 2 第2部

why 何イ n. どうして～するかということ を 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd fixed up ハット・フィックス・アップ 1 単過・完了形(fix up)

v.t 手配した 「動詞句」

for her フォー・ハー adv. 彼女のために 「間接目的語」

to enter トゥ・エンター 不定詞・her の動作 v.t に入る 「補語」

the Home. ザ・ホーム n. 養老院へ 「目的語」

「理解してあげなければいけません」と、彼は付け加えた。「理解してあげなければ」

しかし、誰も理解したようには見えなかった。彼は証言台から降りるように命じられた。

“You’ve got to understand,” he added. “You’ve got to understand.” But no one seemed to understand. He was told to stand down.

《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」, 《「発言」》

But 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」

“You ユー pron.pl 皆は 「主語」

’ve got to understand,” ハヴ・ゴット・トゥ・アンダースタント 2 複現・必要(have got to+不定詞)

v.t 理解しなければならない 「動詞句」

have got to+不定詞 = have to+不定詞 「～しなくてはならない」

he ヒー pron 彼は 「主語」

added. アディット 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」

“You’ve got to understand.” ユー・ヴ・ゴット・トゥ・アンダースタント 理解しなければならない 「発言」

But バット conj. しかし

no one ノーワン pron 誰も～ない 「主語」

seemed to understand. シームト・トゥ・アンダースタント 3 単過(seem to+不定詞)

v.i 理解したように見えた 「動詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」

was told ワズ・トゥルト 3 単過・受動(tell)v.t 言われた 「動詞句」

to stand down. トゥ・スタント・ダウン 不定詞・he の動作(stand down)v.i 証人台から降りる 「補語」

Part 2 第2部

次はレーモンの番だ。彼が最後の証人だ。僕に手で小さく合図すると、いきなり僕は無実だと言った。裁判長が彼を叱責した。

Raymond was the next, and last, witness. He gave me a little wave of his hand and led off by saying I was innocent. The Judge rebuked him.

「主語」「動詞」「補語」,and「補語」

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」and「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞」「目的語」

Raymond	レーモン n. レーモンは	「主語」
was	ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
the next,	ザ・ネクスト n. 次の順番	「補語」
and	アンド conj. そして	
last, witness.	ラスト・ウィットネス n. 最後の証人	「補語」
He	ヒ pron 彼は	「主語」
gave	ゲイヴ 3 単過(give)v.t (行為を) した	「動詞」
me	ミー pron 僕に	「間接目的語」
a little wave of his hand	ア・リトル・ウェイヴ・オブ・ヒズ・ハント n. 小さい手振りの合図を	「直接目的語」
and	アンド conj. そして	
led off	レッド・オフ 3 単過(lead off)v.i(by で) 口火を切った	「動詞句」
by saying	バイ・セイイング adv. (方法) ~と言って	「副詞句」
I was innocent.	アイ・ワズ・イノセント n. 僕は無実だ	「目的語」
The Judge	ザ・ジャッジ n. 裁判長は	「主語」
rebuked	リビュート 3 単過 v.t 叱責した	「動詞」
him.	ヒム pron 彼を	「目的語」

「あなたは証拠を述べるためにここに来ています。本件に対する意見ではありません。従って、聞かれたことにだけ答えてください」

“You are here to give evidence, not your views on the case, and you must confine yourself to answering the questions put you.”

《「主語」「動詞」「副詞句」,and「主語」「動詞句」「間接目的語」》

“You	ユー pron あなたは	「主語」
are	アー 2 単現・存在(be)v.i ~にいる	「動詞」
here	ヒア adv. ここに	「副詞」
to give	トゥ・ギヴ 不定詞・目的 v.t 述べるために	「副詞句」
evidence,	エヴィデンス n. 証拠を	「目的語」
not your views	ノット・ユア・ヴューズ pl(view).n あなたの意見~でない	「目的語」

Part 2 第2部

on the case, オン・ザ・ケイス adv. (対象) 本件に関する 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 you ユー pron あなたは 「主語」
 must confine yourself マスト・コンファイン・ユアセルフ 2 単現・義務(must+不定詞 confine oneself)
 v.pr(to ～に) 限定しなければならない 「動詞句」
 to answering トゥ・アンサーング adv. 答えることに 「間接目的語」
 the questions ザ・クエスチョンズ pl(question).n 質問に 「目的語」
 put you.” プット・ユー 過去分詞・受動 adj. あなたに出された 「形容詞句」

レーモンは被害者との関係を説明するように求められた。彼はこの機会を利用して、自分が被害者の姉をぶちのめしたのだから、被害者が恨んでいたのは自分のほうだと説明した。

He was then asked to make clear his relations with the deceased, and Raymond took this opportunity of explaining that it was he, not I, against whom the dead man had a grudge, because he, Raymond, had beaten up his sister.

「主語」「動詞句」「補語」,and「主語」「動詞」「目的語」
 He ヒー pron 彼は (レーモン) 「主語」
 was then asked ウズ・ゼン・アスクト 3 単過・受動(ask+then)
 v.t(+to 不定詞 ～するように) 求められた 「動詞句」
 to make トゥ・メイク 不定詞・He の動作 v.t (状態を) ～にする 「補語」
 clear クリア adj. 明らかな 「補語」
 his relations ヒズ・レレイションズ pl.n 関係を 「目的語」
 with the deceased, ウイズ・ザ・デ・イシスト adv. 死亡した男との 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 Raymond レモン n. レーモンは 「主語」
 took トゥック 3 単過(take)v.t 捉えた～そして説明した 「動詞」
 this opportunity of explaining ス・イス・オパ・チュニティ・オブ・イクスプレイング
 n. 説明のチャンス 「目的語」
 that ザット conj. (結果) そして～ということ 「形容詞節」
 it イット pron 仮の主語 (真の主語は against whom the dead man had a grudge)
 was ウズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 he, not I, ヒー・ノット・アイ pron レーモンであって僕～ではない 「補語」
 against whom アゲンスト・フーム pron ～した相手は 「主語」
 the dead man ザ・デット・マン n. 被害者が 「主語」
 had ハット 3 単過(have)v.t 持っていた 「動詞」
 a grudge, ア・グレンジ n. 恨み 「目的語」
 because ビ・コーズ conj. (理由) ～だから 「副詞節」

Part 2 第2部

he, Raymond, ヒイ・レーモン n. レーモンが 「主語」

had beaten up ハット・ビートン・アップ 3 単過・完了形(beat up)

v.t ぶちのめした 「動詞句」

his sister. ヒズ・シスター n. 被害者の姉を 「目的語」

裁判長は彼に、被害者には僕も嫌う理由が無かったのかどうか尋ねた。

The judge asked him if the deceased had no reason to dislike me..too.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

The judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」

him ヒム pron 彼に 「間接目的語」

if イフ conj. ～かどうかを 「直接目的語」

the deceased ザ・デイスースト n. 被害者は 「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t あった 「動詞」

no reason ノ・リーズン n. 理由が～ない 「目的語」

to dislike me, too. トゥ・ディスライク・ミー・トゥ 不定詞・目的

v.t 僕も嫌うための 「副詞句」

レーモンは、僕があ朝浜辺に居たのは全くの偶然だと裁判長に言った。

Raymond told him that my presence on the beach that morning was a pure coincidence.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」

told トゥルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」

him ヒム pron 裁判長に 「間接目的語」

that ザット conj. ～ということを 「直接目的語」

my presence マイ・プレズンス n. 僕が居たことは 「主語」

on the beach オン・ザ・ビーチ adv. 浜に 「副詞句」

that morning ザット・モーニング adv. あの朝 「副詞句」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

a pure coincidence. ア・ピュア・コインシデンス n. 全くの偶然 「補語」

coincidence コインシデンス n. (出来事が)同時に起こること、同時発生、偶然の一致

Part 2 第2部

「それでは、どうして」と、検事が尋ねた。「この悲劇に繋がる手紙を彼が書いたのですか？」

“How comes it then,” the Prosecutor inquired, “that the letter which led up to this tragedy was the prisoner’s work?”

《「副詞」「動詞」「副詞」》, 「主語」「動詞」, 《「主語」》

“How ハウ adv. どのように 「副詞」
comes カズ 3 単現・疑問文 v.i 進行したのか? 「動詞」
it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)
then,” セン adv. それでは 「副詞」
the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は 「主語」
inquired, インクワイアド 3 単過 v.t 尋ねた 「動詞」
“that ザット conj. ～ということは 「主語」
the letter ザ・レター n. あの手紙が 「主語」
which フィッチ pron (主語) ～する 「形容詞節」
led up レッド・アップ 3 単過(lead up)v.i(to に) 結びついた 「動詞句」
to this tragedy トゥ・スイストラジティ adv. この悲劇に 「間接目的語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
the prisoner’s work?” ザ・プリズナース・ワーク
n. 被告の仕事 「補語」

レーモンは、それもやっぱり偶然だと答えた。

Raymond replied that this, too, was due to mere chance.

「主語」「動詞」「目的語」

Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
replied リプライト 3 単過(reply)v.t 答えた 「動詞」
that ザット conj. ～ということを 「目的語」
this, too, スイストゥ n. これも 「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
due to デュー・トゥ adv. ～のために 「補語」
mere chance. ミア・チャンス n. ほんの偶然 「目的語」

Part 2 第2部

これに対して検事は、「この事件については『偶然』や『単なる同時発生』なるものがか
 かなりの部分を演じているように思われる」と言い返した。

To which the Prosecutor retorted that in this case “chance” or “mere coincidence” seemed
 to play a remarkably large part. 「副詞句」「主語」「動詞」《「目的語」》

To which トゥ・フィッチ adv. これに対して 「副詞句」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事が 「主語」

retorted リトテイト 3 単過(retort)v.t 言い返した 「動詞」

that ザット conj. ～ということ 「目的語」

in this case イン・ズ・イス・ケイス adv. この事件では 「副詞句」

“chance” チャンス n. 偶然が 「主語」

or オア conj. または

“mere coincidence” ミア・コインシデンス n. 単なる同時発生は 「主語」

seemed to play シームト・トゥ・プレイ 3 単過・思われる・時制の一致(seem to+不定詞 play)

v.t 演じているように思われる 「動詞句」

a remarkably large part. ア・リマーカーブリー・ラージ・パート n. かなりの部分を 「目的語」

「レーモンが愛人を殴っていた時に、僕が仲裁しなかったことも偶然なのですか？」

Was it by chance that I hadn't intervened when Raymond assaulted his mistress?

《「動詞」「補語」「主語」》

Was ワズ 3 単過・疑問文(be)v.i ～だったのか? 「動詞」

it イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）

by chance バイ・チャンス adj. 偶然の 「補語」

that ザット conj. ～ことは 「主語」

I アイ pron 僕が 「主語」

hadn't intervened ハント・インターヴイント 1 単過・完了形・否定(intervene)

v.t 仲裁をしなかった 「動詞句」

when ホエン conj. ～する時 「副詞節」

Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」

assaulted アソールテイト 3 単過(assault)v.t 暴行した 「動詞」

his mistress? ヒズ・ミスレス n. 愛人を 「目的語」

Part 2 第2部

「この『偶然』という都合の良い言葉は、僕が警察署でレーモンの証言をするために、そしてその時に、彼にとって都合の良いすぎる陳述をするために使われたのですか？」

Did this convenient term “chance” account for my having vouched for Raymond at the police station and having made, on that occasion, statements extravagantly favorable to him?
 《「動詞句」「主語」「副詞句」 and 「副詞句」》

Did ...account ディット ...アカウント 3 単過・疑問文 v.t 説明したか？

「動詞句」

this convenient term “chance” スィ・コンヴィーニエント・ターム・チャンス

n. この『偶然』という都合の良い言葉は

「主語」

for my having vouched フォー・マイ・ハヴィング・ヴァウト adv. (目的) 僕が保証するために「副詞句」

for Raymond フォー・レーモン adv. レーモンのために

「副詞句」

at the police station アット・ザ・ポリス・ステーション adv. 警察署で

「副詞句」

and アンド conj. そして

having made, ハヴィング・メイド adv. (目的) ～をするために

「副詞句」

on that occasion, オン・ザット・オカジヨン adv. その時に

「副詞句」

statements ステイトメント pl(statements).n 陳述を

「目的語」

extravagantly favorable エクストラヴァガントリー・フォヴァーブル

adj. 過剰に都合の良い

「形容詞句」

to him? トゥ・ヒム adv. 彼にとって

「副詞句」

最後に検事はレーモンに、生計の手段は何なのかを述べるように求めた。

In conclusion he asked Raymond to state what were his means of livelihood.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

In conclusion イン・コンクルージョン adv. 終わりに、最後に、要するに

「副詞句」

he ヒー pron 検事は

「主語」

asked アスクト 3 単過 v.t 求めた

「動詞」

Raymond レーモン n. レーモンに

「目的語」

to state トゥ・ステイト 不定詞・Raymond の動作 v.t 述べる、供述する

「補語」

what ファット pron (主語) 何が～ということを

「目的語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

his means ヒズ・ミーンズ pl.n. 手段、方法

「補語」

of livelihood. オフ・ライヴリフット adj. 生計の

「形容詞句」

Part 2 第2部

レーモンが自分は「倉庫の管理人」だと答えると、検事はすぐに陪審員に対して、この証人が「ひも稼業」で生計を立てていることは周知の事実であると告げた。

On his describing himself as a warehouseman, the Prosecutor informed the jury it was common knowledge that the witness lived on the immoral earnings of women.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

On+現在分詞 on adv. ～するとすぐに

「副詞句」

his describing ヒズ・デイスクリイヅィンク 現在分詞 v.t 彼が述べる、説明する 「動詞句」

himself ヒムセルフ pron 自分を

「目的語」

as a warehouseman, アズ・アウェアハウスマン adj. 倉庫管理者と

「補語」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

informed インフォームド 3 単過 v.t 告げた

「動詞」

the jury ザ・ジュアリー n. 陪審員に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

common knowledge コモン・ナリッジ n. 周知の事実、常識

「補語」

that ザット conj. ～ということは

「主語」

the witness ザ・ウィットニス n. 証人（レーモン）が

「主語」

lived リグド 3 単過・時制の一致(live)v.i 生活している

「動詞」

on the immoral earnings オン・ズィ・イモラル・アーニング

adv. (手段) 不道德な稼ぎで

「副詞句」

of women. オフ・ウィミン adv. 女からの

「副詞句」

彼は言った。「僕はこの証人の親しい友人であり共犯者である。要するに、この事件は最も下劣な類が背景にあるのだ。」

I, he said, was this man's intimate friend and associate; in fact, the whole background of the crime was of the most squalid description.

《「主語」》, 「主語」「動詞」, 《「動詞」「補語」; 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

I, アイ pron 僕は

「主語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said, セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

this man's intimate friend スィズ・マンズ・インチミット・フレンド n. この証人の親しい友人

「補語」

and アント conj. そして

associate; アソシエイト n. 仲間、共犯者

「補語」

in fact, イン・ファクト adv. 要するに

「副詞句」

Part 2 第2部

the whole background ザ・ホウル・バックグラウンド n. 背景のすべては 「主語」
 of the crime オフ・ザ・クライム adj. この事件の 「形容詞句」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 of the most squalid description. オフ・ザ・モスト・スクワリッド・デイスクリプション
 adj. 最も下劣な類の 「補語」
 squalid スクワリッド adj. 下劣な、卑しい description デイスクリプション n. たぐい、説明

「そして、事件をさらに悲惨なものにしたのは、ほとんど道徳観念が無く、冷酷な被告の人格なのです」

And what made it even more odious was the personality of the prisoner, an inhuman monster wholly without a moral sense. 《And 「主語」「動詞」「補語」》

And アント conj. そして
 what ファット pron 〜するものは 「主語」
 made メイト 3 単過・変化(make)v.t 〜にした 「動詞」
 it イット pron 物事を 「目的語」
 even more odious イーガン・モア・オウディアス adj. さらに憎むべき 「補語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 the personality ザ・パーソナリティ n. 人格 「補語」
 of the prisoner, オフ・ザ・プリズナー adj. 被告の 「形容詞句」
 an inhuman monster アン・インヒューマン・モンスター n. (同格) 冷酷な人間 「補語」
 wholly without a moral sense. ホウリー・ウイズアウト・ア・モラル・センス
 adv. ほとんど道徳観念のない 「副詞句」

レーモンは反論を開始し、弁護士も抗議した。しかし、検事の発言を最後まで聞くように命じられた。

Raymond began to expostulate, and my lawyer, too, protested. They were told that the Prosecutor must be allowed to finish his remarks.

「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」
 Raymond レーモン n. レーモンは 「主語」
 began to expostulate, ビギン・トゥ・イクスプステイト 3 単過・開始(begin to+不定詞)
 v.t 反論を始めた 「動詞句」
 and アント conj. そして
 my lawyer, too, マイ・ローヤー・トゥー n. 弁護士も 「主語」
 protested. プロテस्टイト 3 単過 v.t 抗議した 「動詞」
 They ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 were told ワー・トウルド 3 複過・受動(tell)v.t 告げられた、命じられた 「動詞句」

Part 2 第2部

that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は 「主語」
 must be allowed to finish マスト・ビー・アラウト・トゥ・フィニッシュ 3 単現・必要・受動 (must+不定詞)
 v.t 終えることを許されなければならない 「動詞句」
 his remarks. ヒズ・リマークス pl(remark).n 彼の意見を 「目的語」

「言うべきことはほとんど残っていません」と、彼は言った。それから、レーモンの方に
 振り返って尋ねた。「被告はあなたの友人でしたか？」

“I have nearly done,” he said; then turned to Raymond. “Was the prisoner your friend?”

《「主語」「動詞句」》, 「主語」「動詞」; 「副詞」「動詞」「間接目的語」,
 《「動詞」「主語」「補語」》

“I アイ pron 私は 「主語」
 have nearly done,” ハヴ・ニアリー・ダン 1 単現・完了形(done+ nearly)
 v.t 言うべきことはほとんど言った 「動詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said: セッド 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 then ゼン adv. それから 「副詞」
 turned ターント 3 単過 v.i 振り返った 「動詞」
 to Raymond. トゥ・レーモン adv. レーモンのほうへ 「間接目的語」
 “Was ワズ 3 単過・疑問文(be)v.i ～でしたか? 「動詞」
 the prisoner ザ・プリズナー n. 被告は 「主語」
 your friend?” ユア・フレンド n. あなたの友人 「補語」

「その通り！俺たちは最高の仲間だ」

“Certainly. We were the best of pals, as they say.”

《「応答」 | 「主語」「動詞」「補語」》

“Certainly. サートゥンリー adv. もちろん 「応答」
 We ウィー pron.pl 俺たちは 「主語」
 were ワー 1 複過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 the best of pals, ザ・ベスト・オブ・パルス pl.n 最高の仲間 「補語」
 as they say.” アズ・ゼイ・セイ adv. よく言われるように 「副詞句」

Part 2 第2部

それから検事は僕にも同じ質問をした。僕はじっとレーモンを見つめた。彼は目をそらさなかった。

The Prosecutor then put me the same question. I looked hard at Raymond, and he did not turn away.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」,and「主語」「動詞句」

The Prosecutor サ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

then セン adv. それから

「副詞」

put プット 3 単過(put)v.t (質問を) した

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

the same question. サ・セム・クエスチョン n. 同じ質問を

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

looked ルクト 1 単過 v.i 見た

「動詞」

hard ハート adv. じっと

「副詞」

at Raymond, アット・レーモン adv. レーモンを

「間接目的語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

did not turn away. デイト・ノット・ターン・アウェイ 3 単過・否定(turn away)

v.i そっぽを向かなかった、目をそらさなかった

「動詞句」

それから、「はい」と僕は答えた。

Then, “Yes,” I answered.

「副詞」,《「応答」》,「主語」「動詞」

Then, セン adv. それから

「副詞」

“Yes,” イェス adv. はい

「応答」

I アイ pron 僕は

「主語」

answered. アンサード 1 単過 v.i 答えた

「動詞」

検事は陪審員のほうへ振り返った。

The Prosecutor turned toward the jury.

「主語」「動詞」「副詞句」

The Prosecutor サ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

turned ターント 3 単過 v.i 振り返った

「動詞」

toward the jury. トワワード・サ・ジュアリー adv. 陪審員の方へ

「副詞句」

Part 2 第2部

「被告席であなた方の目の前にいるその被告は、おのれの母親の死の翌日に、最も恥ずべき放蕩に耽っていたというだけではないのです」

“Not only did the man before you in the dock indulge in the most shameful orgies on the day following his mother’s death.

《「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」》

“Not only did ...indulge ノット・オヴンリー・ディット ...インダルジ 3 単過・否定・限定(indulge)

v.t へに耽っただけではない

「動詞句」

the man ザ・マン n. その男は、被告は

「主語」

before you ビ・フォー・ユー adv. あなた方の目の前にいる

「副詞句」

in the dock イン・ザ・ドック adv. (刑事法廷の) 被告席に

「副詞句」

in the most shameful orgies イン・ザ・モスト・シェイムフル・オージーズ

adv. 最も恥ずべき放蕩に

「間接目的語」

on the day オン・ザ・デイ adv. まさにその日に

「副詞句」

following his mother’s death. フォロウイング・ヒズ・マザース・デス

adj. 母の死の次の

「形容詞句」

「彼は、風俗上の問題で浅はかな仕返しを遂行して、冷酷にも殺人を犯しました」

He killed a man cold-bloodedly in pursuance of some sordid vendetta in the underworld of prostitutes and pimps.

《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

He ヒー pron 彼は

「主語」

killed キルト 3 単過 v.t 殺した

「動詞」

a man ア・マン n. 人を

「目的語」

cold-bloodedly, コルト・ブラディットリー adv. 冷酷にも

「副詞」

in pursuance of イン・パシュアンス・オブ adv. ～を遂行して

「副詞句」

some sordid vendetta サム・ソーディット・ヴェンデッタ n. 浅ましい清算、仕返し 「目的語」

in the underworld イン・ザ・アンダーワールド adv. 悪の世界で

「副詞句」

of prostitutes and pimps. オブ・プロスチチュツ・アント・ピンプス

adj. 風俗の

「形容詞句」

Part 2 第2部

「陪審員の皆さん、彼は典型的な犯罪者なのです」

That, gentlemen of the jury, is the type of man the prisoner is.

《「主語」, 「呼びかけ」, 「動詞」 「補語」》

That, サット pron それは

「主語」

gentlemen of the jury, ジェントルメン・オブ・ザ・ジュアリー pl.n 陪審員の皆さん 「呼びかけ」

is イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

the type of man サ・タイプ・オブ・ザ・マン n. 人間の典型

「補語」

the prisoner is.” サ・プリズナー・イズ adj. (同格) 犯罪者がそうである 「形容詞節」

検事が座るとすぐに、僕の弁護士は忍耐袋の緒を切らして両手を高く振り上げた。それで、彼の法服の袖が垂れ下がり、糊のきいたシャツの袖口全体が露わになった。

No sooner had he sat down than my lawyer, out of all patience, raised his arms so high that his sleeves fell back, showing the full length of his starched shirt cuffs.

「動詞句」 「主語」 「動詞句」 than 「主語」, 「副詞句」,

「動詞」 「目的語」 「副詞句」 that 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

No sooner had ...sat down ノ・スナー... ハット ...サット・ダウン 3 単過・完了形・近接未来

(No sooner +過去完了 sit down)v.i 座るとすぐに

「動詞句」

No sooner +過去完了,than... 「~するとすぐに、... した」

he ヒー pron 検事が

「主語」

than ザン conj. (比較) ~よりも

my lawyer, マイ・ローヤー n. 僕の弁護士は

「主語」

out of all patience, アウト・オブ・オール・ペ イシェンス adv. 忍耐袋の緒を切らして

「副詞句」

raised レイズト 3 単過 v.t (体の一部を) 振り上げた

「動詞」

his arms フイズ・アームズ pl.n 両腕を

「目的語」

so high ソ・ハイ adv. 高く

「副詞句」

that サット conj. (結果) それで~する

his sleeves ヒズ・スリーヴス pl.n 彼の服の袖が

「主語」

fell back, フェル・バック 3 複過(fall back)v.i 垂れ下がった

「動詞句」

showing ショウイング 現在分詞・結果 adv. そして~を露わにした

「副詞句」

the full length サ・フル・レンクス n. 全体を

「目的語」

of his starched shirt cuffs. オフ・ヒズ・スターチド・シャツ・カフス

adj. 糊付けされたシャツの袖口の

「形容詞句」

starched スターチド 過去分詞・受動(starch)adj. 糊付けされた cuff カフ n. 袖口

Part 2 第2部

「被告人は、母親を埋葬したために起訴されたのでしょうか？それとも人を殺したからでしょうか？」

“Is my client on trial for having buried his mother, or for killing a man?” he asked.

《「動詞」「主語」「補語」》, 「主語」「動詞」

“Is イズ 3 単現・疑問文(be)v.i ~なのですか？

「動詞」

my client マイ・クライアント n. 私の依頼人は、被告は

「主語」

on trial オン・トライアル

adv.(for の容疑で、のために) (状態) 起訴された、裁判に掛けられている 「補語」

for having buried フォー・ハビング・ベリト adv. (理由) 埋葬したために 「副詞句」

his mother, ヒズ・マザー n. 母親を

「目的語」

or オア conj. それとも

for killing フォー・キリング adv. (理由) 殺したために

「副詞句」

a man?” ア・マン n. 人を

「目的語」

he ヒー pron 弁護士は

「主語」

asked. アスクト 3 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

庭内で、くすくす笑いが起こった。

There were some titters in court.

「動詞句」「主語」「副詞句」

There were ゼア・ワー 3 複過・存在(there be)v.i ~があった、起こった

「動詞句」

some titters サム・チターズ pl.n くすくす笑いが、しのび笑い

「主語」

in court. イン・コート adv. 法廷では、庭内は

「副詞句」

しかし検事は急に立ち上がると、法服をゆったり整えてから、弁護人がこの件のこれら 2 つの間にきわめて重要な関連があることを見落とした純真さには驚かされたと言った。

But then the Prosecutor sprang to his feet and, draping his gown round him, said he was amazed at his friend's ingenuousness in failing to see that between these two elements of the case there was a vital link.

But 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

then セン adv. その時

「副詞」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

sprang to his feet スプ ラング・トゥ・ヒズ・フィート 3 単過(spring to one's feet)

v.t 急に立ち上がった

「動詞句」

and, アント conj. そして

draping トレパレング 現在分詞・同時(drape)v.t ~をゆったり垂らして掛けながら 「副詞句」

his gown ヒズ・ガウン n. (裁判) 法服を

「目的語」

Part 2 第2部

round him, ラウンド・ヒム adv. 体の周りに	「副詞句」
→ 法服にくるまった、法服をゆったりまとった	
said セッド 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
he ヒー pron 彼が～するということを	「目的語」
was amazed ワズ・アメイズド 3 単過・受動(amaze)v.t 驚いた	「動詞句」
at his friend's ingenuousness アット・ヒズ・フレンズ・インジ エニュアスニス	
adv. (対象) 弁護人の純真さに	「副詞句」
in failing to see イン・フェイリング・トゥ・シー adv. (理由) ～を見落とす	「副詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
between these two elements ビョウイー・ン・ジーズ・トゥ・エレメント	
adv. これら 2 つの間には	「副詞句」
of the case オブ・ザ・ケース adj. この件の	「形容詞句」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)	
v.i ～がある	「動詞句」
a vital link. ア・ヴァイタル・リンク	
n. きわめて重要な関連が	「主語」
vital ヴァイタル adj. きわめて重要な link リンク n. つながり、関連性	

弁護人がそのように並べ立てるなら、それらは心理的に一緒に並んでいます。

They hung together psychologically, if he might put it so.

	「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」
They ゼイ pron.pl それらは	「主語」
hung ハング 3 複過(hang)v.i ぶら下がっていた	「動詞」
together トゥゲザー adv. 一緒に	「副詞」
psychologically, サイコロジカー adv. 心理的に	「副詞」
if イフ conj. もし～ならば	「副詞節」
he ヒー pron 彼が、弁護士が	「主語」
might put マイト・プット 3 単過・推量(may+不定詞 put)v.t 並べた	「動詞句」
it イット pron 関連性を	「目的語」
so. ソ adv. そのように	「副詞」

Part 2 第2部

「要するに」と、検事は厳しい口調で結論を下した。「私は被告人を、心の底ではすでに犯罪者であることを示すような振る舞いによって母親を弔ったことで、告発するのです」

“In short,” he concluded, speaking with great vehemence, “I accuse the prisoner of behaving at his mother’s funeral in a way that showed he was already a criminal at heart.” 《「副詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞句」, 《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

“In short,” イン・ショート adv. 要するに、要約すると、手短に言うとき 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

concluded, コンクルーデイト 3 単過 v.t 結論を下した 「動詞」

speaking スピーキング 現在分詞・手段 v.t 話して 「副詞句」

with great vehemence, ウイズ・グレート・ヴィーエメンス adv. (方法) 激しく 「副詞句」

“I アイ pron 私は 「主語」

accuse アキューズ 1 単現 v.t(of ~の理由で) 告発する、弾劾する 「動詞」

the prisoner ザ・プシズナー n. 被告を、囚人を 「目的語」

of behaving オフ・ビヘイヴィング adv. (理由) 振舞ったことで 「副詞句」

at his mother’s funeral アット・ヒズ・マザーズ・フューネラル adv. 母親の葬儀で 「副詞句」

in a way イン・ナ・ウェイ adv. (手段) ある方法で 「副詞句」

that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」

showed ショウト 3 単過 v.t 示した 「動詞」

n. ~ということを 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

already オールディ adv. すでに 「副詞」

a criminal ア・クリミナル n. 犯罪者 「補語」

at heart.” アット・ハート adv. 心の底では 「副詞句」

告発と弾劾

告発とは、犯罪の被害者や犯人でない第三者が同様に犯罪事実を申告し、犯罪者の処罰を求める意思表示のことをいいます。

弾劾とは、大統領・大臣・裁判官などのように、特に身分保障を必要とする官吏の非行に対し、国会の訴追によって罷免あるいは処罰をする手続き。

この言葉は陪審員と傍聴人に対してかなりの影響を与えたようだ。

These words seemed to take much effect on the jury and public.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

These words ジーズ・ワズ pl.n この言葉は 「主語」

seemed to take シームト・トゥ・テイク 3 複過・推量(seem to+不定詞 take)

v.t ~を獲得したように思われる 「動詞句」

Part 2 第2部

much effect マッチ・エフェクト n. かなりの効果を 「目的語」

on the jury and public. オン・ザ・ジュアリー・アント・パブリック

adv. (対象) 陪審員と傍聴人に 「副詞句」

弁護士はただ肩をすくめ、額の汗をぬぐうしかなかった。

My lawyer merely shrugged his shoulders and wiped the sweat from his forehead.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「目的語」

My lawyer マイ・ローヤー n. 僕の弁護士は 「主語」

merely ミアリー adv. (動詞の前で) ただ (～するだけ) 「副詞」

shrugged シュラッグト 3 単過(shrug)v.t (肩を) すくめた 「動詞」

his shoulders ヒズ・ショウルダース pl.n 肩を 「目的語」

and アント conj. そして

wiped ワipt 3 単過 v.t ぬぐった、拭いた 「動詞」

the sweat ザ・スエット n. 汗を 「目的語」

from his forehead. フロム・ヒズ・フォーヘッド adv. 額の 「副詞句」

しかし明らかに弁護士が動揺していたので、僕にとって都合の悪い状況だと分かった。

But obviously he was rattled, and I had a feeling things weren't going well for me.

But 「副詞」「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

obviously オビヴィアスリー adv. 明らかに 「副詞」

he ヒー pron 彼は、弁護士は 「主語」

was rattled, ワズ・ラトルト 3 単過・受動(rattle)v.t 混乱した、動揺した 「動詞句」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ～を持った 「動詞」

a feeling ア・フィーリング n. 感触を 「目的語」

things シングズ pl(thing).n (同格) 物事は～であるという 「形容詞節」

weren't going ワント・ゴウイング 3 複過・進行形・否定・時制の一致(go)

v.i 進行していない 「動詞句」

well ウェル adv. 上手い具合に 「副詞」

for me. フォー・ミー adv. 僕にとって 「副詞句」

Part 2 第2部

この後すぐ閉廷した。

Soon after this incident the court rose.

「副詞句」「主語」「動詞」

Soon after this incident スーン・アフター・ズィス・インシデント adv. この後すぐ

「副詞句」

the court サ・コート n. 法廷は

「主語」

rose. ロズ 3 単過(rise)v.i (法廷が) 閉会した、閉廷した

「動詞」

僕は裁判所から護送車に連れていかれる時、ほんの一瞬だが、戸外の夏の夕暮れのかつての懐かしい感触を味わった。

As I was being taken from the courthouse to the prison van, I was conscious for a few brief moments of the once familiar feel of a summer evening out-of-doors.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

As アズ conj. ～する時に

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was being taken ワズ・ビーイング・テイクン 1 単過・進行形・受動・時制の一致(take)

v.t(from から) 連れ出される

「動詞句」

from the courthouse フロム・サ・コートハウス adv. 裁判所から

「副詞句」

to the prison van, トゥ・サ・プリズン・ヴァン adv. 護送車に

「副詞句」

van ヴァン n. トラック

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

conscious コンシャス adj.(of に) 気付いている

「補語」

for a few brief moments フォー・ア・フュー・ブリーフ・モウメンツ adv. ほんの少しの間

「副詞句」

of the once familiar feel オフ・サ・ワンス・ファミリアル・フィール

adv. かつての懐かしい感触に

「間接目的語」

of a summer evening out-of-doors. オフ・ア・サマー・イヴニング・アウト・オブ・ト・アズ

adj. 戸外の夏の夕暮れの

「形容詞句」

そして走る独房の暗闇に座り、僕の脳の中で響く僕が愛する街の特徴的な音や、僕がいつも特別気に入っていた1日のある時間の音を聞き分けていた。

And, sitting in the darkness of my moving cell, I recognized, echoing in my tired brain, all the characteristic sounds of a town I'd loved, and of a certain hour of the day which I had always particularly enjoyed.

And, 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

And, アント conj. そして

sitting シッティング 現在分詞(sit)・様態 adv. 座って

「副詞句」

in the darkness イン・サ・ダークネス adv. 暗闇の中で

「副詞句」

Part 2 第2部

of my moving cell, オフ・マイ・ムーヴィング・セル	adj. 走る独房の	「形容詞句」
I アイ	pron 僕は	「主語」
recognized, レコグナイズト	1 単過 v.t 識別した	「動詞」
echoing エコーイング	adj. 響く	「形容詞句」
in my tired brain, イン・マイ・タイアト・ブレイン		
adv. 僕の疲れた脳の中で		「副詞句」
all the characteristic sounds オール・ザ・キャラクタースティック・サウンス		
pl.n 全てのすべての特徴的な音を		「目的語」
of a town オフ・ア・タウン	adj. 街の	「形容詞句」
I'd loved, アイト・ラヴト	adj. 僕が愛した	「形容詞節」
and アンド	conj. そして	
of a certain hour of the day オフ・ア・サートウン・アワー・オブ・ザ・デイ		
adj. 1 日のある時間の		「形容詞句」
which フィッチ	pron (目的語) ~する	「形容詞節」
I アイ	pron 僕が	「主語」
had always particularly enjoyed. ハット・オールウェイズ・ハ・テイクユラー・エンジョイト		
v.t いつも特別に楽しんだ		「動詞句」

すでに気だるい大気の中で聞こえる新聞売りの叫び声、公園の小鳥の最後の鳴き声、サンドイッチ売りの呼び声、街の高台の急カーブでの路面電車の甲高い音、そして港の上に闇が降って来る時の頭上のあのざわめき。これらすべての音が僕の監獄への帰り道を隅々まで分かっている盲人の旅の様に変えた。

The shouts of newspaper boys in the already languid air, the last calls of birds in the public garden, the cries of sandwich vendors, the screech of streetcars at the steep corners of the upper town, and that faint rustling overhead as darkness sifted down upon the harbor—all these sounds made my return to prison like a blind man's journey along a route whose every inch he knows by heart.

「目的語」 --- 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

The shouts of newspaper boys	ザ・シャウト・オブ・ニュース・ヘイパー・ボーイズ	
pl.n 新聞売りの叫び声		「目的語」
in the already languid air, イン・ザ・オールディ・ラングイット・エア		
adv. すでに気だるい大気の中で		「副詞句」
the last calls of birds	ザ・ラスト・コールズ・オブ・バーズ	pl.n 小鳥の最後の鳴き声
		「目的語」
in the public garden, イン・ザ・パブリック・ガーデン	adv. 公園の中の	「副詞句」
the cries of sandwich vendors, ザ・クライズ・オブ・サントウィッチ・ヴァンダーズ		
pl.n サンドイッチ売りの呼び声		「目的語」

Part 2 第2部

the screech of streetcars サ・スクリーチ・オブ・サ・ストリートカース

n. 路面電車の甲高い音

「目的語」

at the steep corners of the upper town, アット・サ・スティープ・コーナース・オブ・ス・ィ・アッパ・ータウン

adv. 街の高台の急カーブでの

「副詞句」

and アンド conj. そして

that faint rustling overhead サ・ット・フェイント・ラスリング・オウヴ・アーヘット

n. 頭上のあのざわめき

「目的語」

faint フェイント adj. かすかな rustling ラスリング n. さらさという音

overhead オウヴ・アーヘット adj. 頭上の

as アス conj. する時の

「副詞節」

darkness ダークネス n. 闇が

「主語」

sifted down シフト・ドゥン 3 単過(sift down)

v.i 降って来た、落ちてきた

「動詞句」

upon the harbor アボン・サ・ハーバー adv. 港の上に

「副詞句」

—all these sounds オール・ジーズ・サント pl.n これらすべての音が

「主語」

made メイト 3 複過・変化(make)v.t 変えた

「動詞」

my return to prison マイ・リターン・トゥ・プリズン n. 僕の監獄への帰り道を

「目的語」

like a blind man's journey ライク・ア・ブラインド・マンズ・ジャーニー adj. 盲人の旅の様に

「補語」

along a route アロング・ア・ルート adv. 行程に沿った

「副詞句」

whose every inch he knows by heart. フー・ジ・エヴリ・インチ・ヒー。ノウズ・バイ・ハート

adj. その隅々まで心で知っている

「形容詞節」

そうだ。これは、随分前の様に思われるが、僕がいつも幸せを感じていたあの夕暮れ時だ。

Yes, this was the evening hour when—how long ago it seemed!—I always felt so well content with life.

「肯定」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Yes, イェス adv. そうだ

「肯定」

this ス・ィス pron これは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

the evening hour ス・ィ・エヴニング・アウ n. 夕暮れ時

「補語」

when ホエン adv. ~する時の

「副詞節」

—how long ago ハウ・ロング・アゴウ adv. かなり以前に

「補語」

it イット pron それは

「主語」

seemed!—シムト 3 単過・時制の一致(seem)v.i ~に思われる

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

felt フェルト 1 単過(feel)v.i ~と感じていた

「動詞」

Part 2 第2部

so well content ツウ・ウェル・コンテンツ adj. とても満足した 「補語」
 with life. ウイズ・ライフ adv. 生活に、人生に 「副詞句」

その頃僕を待っていたのは、夢の無い、ゆったりとした眠りだった。

Then, what awaited me was a night of easy, dreamless sleep.

「副詞」, 「主語」 「動詞」 「補語」
 Then, セン adv. その時、その頃 「副詞」
 what ファット pron (主語) ~するものは 「主語」
 awaited アウェイティット° 3 単過(await)v.t 待っていた 「動詞」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 was ワズ° 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」
 a night ア・ナイト n. 夜 「補語」
 of easy, オブ・イージー adj. ゆったりとした 「形容詞句」
 dreamless sleep. ドゥームレス・スリープ° n. (同格) 夢の無い眠り 「補語」

これは同じ時間だが、何かが違う；今僕は独房に戻るところだ。そして僕を待っているのは来るべき日の不吉な予感にとりつかれた夜なのだから。

This was the same hour, but with a difference: I was returning to a cell, and what awaited me was a night haunted by forebodings of the coming day.

「主語」 「動詞」 「補語」, but 「副詞句」;
 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」, and 「主語」 「動詞」 「補語」
 This スィズ pron これは 「主語」
 was ワズ° 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 the same hour, サ・セイム・アウ n. 同じ時間 「補語」
 but バット conj. しかし
 with a difference; ウイズ・ア・ディフェレンス adv. どこか違う 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was returning ワズ・リターニング° 1 単過・進行形(return)v.i 戻るところだ 「動詞句」
 to a cell, トゥ・ア・セル adv. 独房へ 「間接目的語」
 and アンド° conj. そして
 what awaited me ファット・アウェイティット°・ミー pron 僕を待っているのは 「主語」
 was ワズ° 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 a night ア・ナイト n. 夜 「補語」
 haunted ホンティット° adj. 何かにとりつかれた 「形容詞句」
 by forebodings バイ・フォアボウディングス°
 adv. (動作主) 不吉な予感に 「副詞句」

Part 2 第2部

of the coming day. オフ・ザ・カミング・デイ

adj. 来るべき日の

「形容詞句」

それで僕は、夏の夕暮れの中に描き出された通い慣れた道は、監獄にもそして無垢で穏やかな眠りにも同様に通じているだろうと気づいた。

And so I learned that familiar paths traced in the dusk of summer evenings may lead as well to prisons as to innocent, untroubled sleep.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

And so アント・ソ adv. それで

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

learned ラント 1 単過 v.t ~に気付いた、分かった

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「目的語」

familiar paths ファミリア・パス pl(path).n 通い慣れた道は

「主語」

traced トレスト 3 複過・受動(trace)adj. 描き出された

「形容詞」

in the dusk of summer evenings イン・ザ・ダスク・オブ・サマー・イヴニングス

adv. 夏の夕暮れの中に

「副詞句」

may lead メイ・リート 3 複現・推量(may+不定詞 lead)

v.i(to に) 通じているだろう

「動詞句」

as well to prisons アズ・ウェル・トゥ・プリズンズ adv. 監獄にも同様に

「間接目的語」

as to innocent, untroubled sleep. アズ・トゥ・イノセント・アントラブルト・スリープ

adv. 無垢で穏やかな眠りにも

「間接目的語」

Part 2 第2部

IV

たとえば被告席に居ようと、自分のことが話されるのを聞くことはいつでも興味深い。

IT is always interesting, even in the prisoner's dock, to hear oneself being talked about.

「動詞」「補語」「主語」

IT イット pron 仮の主語（真の主語は even 以降）

is イズ 3 単現(be)v.i 〜である

「動詞」

always interesting, オールウェイズ・インタレスティング adj. いつでも興味深い

「補語」

n. 〜ということは

「主語」

even イヴン adv. たとえ〜でも

「副詞句」

in the prisoner's dock, イン・ザ・プリズナース・ドック adv. 被告席の中

「副詞句」

to hear トゥ・ヒア 不定詞 n. 聞くことは

「主語」

oneself ワンセルフ pron 自分自身を

「目的語」

being talked about. ビーイング・トークト・アバウト 不定詞・進行形・受動

adj. 話されている

「形容詞句」

そしてもちろん、弁護士と検事の弁論では僕について多くの事が語られた。実際には、僕の犯罪についてよりも僕の人間性についてより多く語られたと言える。

And certainly in the speeches of my lawyer and the prosecuting counsel a great deal was said about me; more, in fact, about me personally than about my crime.

And 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

And アント conj. そして

certainly サートゥンリー adv. もちろん

「副詞」

in the speeches イン・ザ・スピーチズ adv. 弁論においては

「副詞句」

of オフ adj. 〜の

「形容詞句」

my lawyer マイ・ローヤ n. 僕の弁護士

「目的語」

and アント conj. そして

the prosecuting counsel ザ・プロセキューティング・カウンスル n. 検事

「目的語」

a great deal ア・グレート・ディール pron 多くの事が

「主語」

was said ワズ・セッド 3 単過・受動(say)v.t 語られた

「動詞句」

about me; アバウト・ミー adv. 僕について

「副詞句」

more, in fact, モア・イン・ファクト adv. 実際には

「副詞句」

about me アバウト・ミー adv. 僕について

「副詞句」

personally パーソナリー adv. 人間性について

「副詞」

than ザン conj. (比較) 〜よりも

「副詞句」

about my crime. アバウト・マイ・クライム adv. 僕の犯罪について

「副詞句」

Part 2 第2部

実際の所、二人の弁論にはそれほど相違は無かったと言える。

Really there wasn't any very great difference between the two speeches.

「副詞」「動詞句」「主語」

Really リアリー adv. 実際の所

「副詞」

there wasn't ゼア・ワズント 3 単過・存在・否定(there be)v.i ~が無かった

「動詞句」

any very great difference エニー・ヴァー・グレイト・ディフェレンス

n. (否定文で) それほどの相違が

「主語」

between the two speeches. ビトウィーンザ・トゥ・スピーチ adv. 二人の弁論の間に 「副詞句」

弁護人は両腕を突き上げて、罪を認めつつ、情状酌量を求めた。

Counsel for the defense raised his arms to heaven and pleaded guilty, but with extenuating circumstances.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 and 「動詞」「補語」「副詞句」

Counsel for the defense カンズル・フォー・ザ・ディフェンス n. 弁護人は

「主語」

raised レイズト 3 単過 v.t 上げた

「動詞」

his arms ヒズ・アームズ pl.n 両腕を

「目的語」

to heaven トゥ・ヘヴン adv. 上に

「副詞句」

and アンド conj. そして

pleaded プリーデイト 3 単過(plead)v.i(SVC) ~であると認めた

「動詞」

guilty, ギルティ adj. 有罪の

「補語」

but バット conj. しかし

with +現在分詞 ウイズ prep (随伴) ~することを含めて

「副詞句」

extenuating エクステニュエイティング 現在分詞・条件(extenuate)v.t 情状酌量する 「動詞」

circumstances. サークামスタンス pl.n 事情を

「目的語」

検事も同様の仕草で、僕が有罪ということは同意したが、情状酌量は認めなかった。

The Prosecutor made similar gestures; he agreed that I was guilty, but denied extenuating circumstances.

「主語」「動詞」「目的語」; 「主語」「動詞」「目的語」, but 「動詞句」「目的語」

The Prosecutor サ・プロセキューター n. 検事は

「主語」

made メイト 3 単過(make)v.t (動作を) した

「動詞」

similar gestures; シミラー・ジェスチャー n. 同様の仕草を

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

agreed アグリード 3 単過 v.t 同意した

「動詞」

that サット conj. ~ということ

「目的語」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕が 「主語」
 was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 guilty, ギルティー adj. 有罪の 「補語」
 but バット conj. しかし
 denied+現在分詞 デンイト 3 単過・しない(deny+現在分詞)v.t 〜しないと言った 「動詞句」
 extenuating circumstances. エクステニュエイティング・サーカスタンシズ 現在分詞 n. 情状酌量 「目的語」

裁判のこの段階で、ある1点がもどかしく感じられた。

One thing about this phase of the trial was rather irksome. 「主語」「動詞」「補語」
 One thing ワン・シング n. 1 点が 「主語」
 about this phase アバウト・ズイズ・フェイス adv. この段階における 「副詞句」
 of the trial オフ・ザ・トライアル adj. 裁判の 「形容詞句」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 rather irksome. ラーザー・イクサム adj. もどかしい、どこかイライラする 「補語」

僕は集中して聞いていたが、話の中に僕が登場すると、時々自分自身で発言したい誘惑にかられた。

Quite often, interested as I was in what they had to say, I was tempted to put in a word, myself. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」
 Quite often, クワイト・オフン adv. 何度も、時々 「副詞句」
 interested インタレスト 過去分詞・様態 adv. 関心を持っていた 「副詞句」
 as アズ conj. 〜する時に 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was ワズ 1 単過・存在(be)v.i 〜にいた 「動詞」
 in what they had to say, イン・ファット・ゼイ・ハット・トゥ・セイ
 adv. 彼らが話す内容に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was tempted to put in ワズ・テンプト・トゥ・プット・イン 1 単過・受動(tempt to+不定詞)
 v.t (言葉を) さしはさむ誘惑にかられた 「動詞句」
 a word, ア・ワート n. 言葉を 「目的語」
 myself. マイセルフ adv. 自分自身で 「副詞」

Part 2 第2部

しかし弁護士が僕に喋るなど助言した。「話しても裁判が有利にならないだろう」、と彼は僕に警告した。

But my lawyer had advised me not to. “You won’t do your case any good by talking,” he had warned me.

But 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》, 「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし

my lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士が

「主語」

had advised ハッド・アドヴァイズド 3 単過・完了形(advise)v.t 助言した

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「目的語」

not to. ノット・トゥ 不定詞・否定・me の動作 v.t 喋らない

「補語」

“You ユー pron あなたは

「主語」

won’t do ウォント・ドゥ 2 単現・可能性・否定(will+不定詞)v.t しないだろう

「動詞句」

your case ユア・ケイス n. あなたの裁判を

「目的語」

any good エニー・グット adj. (否定文で) 何も良く

「補語」

by talking,” バイ・トーキング adv. 話すことで

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had warned ハッド・ウォント 3 単過・完了形(warn)v.t 警告した

「動詞句」

me. ミー pron 僕に

「目的語」

要するに、僕を裁判の進行から排除する陰謀があるように思われた；僕には何も発言権は無く、僕の運命は僕とは関係なしに決定されることになっていた。

In fact, there seemed to be a conspiracy to exclude me from the proceedings; I wasn’t to have any say and my fate was to be decided out of hand.

「副詞句」「動詞句」「主語」；

「主語」「動詞句」「目的語」 and 「主語」「動詞句」「副詞句」

In fact, イン・ファクト adv. 実際は、つまり、要するに

「副詞句」

there seemed to be ゼア・シームト・トゥ・ビー 3 単過・推量(there seem to+不定詞)

v.i 〜があるように思われた

「動詞句」

a conspiracy ア・コンスピラシー n. 陰謀が

「主語」

to exclude トゥ・エクスクルード 不定詞・目的 adv. 排除する、締め出す

「副詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

from the proceedings; フロム・ザ・プロシーディングス

adv. 裁判の進行から

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

wasn’t to have ワズント・トゥ・ハヴ 1 単過・予定・否定(be to+不定詞 have)

Part 2 第2部

v.t 持たないことになっていた	「動詞句」
be to+不定詞 「～することになっている」(予定)	
any say エー・セイ n. (否定文で) 何の発言権も～ない	「目的語」
and アンド conj. そして	
my fate マイ・フェイト n. 僕の運命は	「主語」
was to be decided ワズ・ト・ビー・ディイディット 3 単過・予定・否定(be to+不定詞・受動 decide)	
v.t 決められることになっていた	「動詞句」
out of hand. アウト・オブ・ハント adv. 僕の手の届かないところで	「副詞句」

他人の発言を遮って、自分で発言するのをこらえるのは大変だった。

It was quite an effort at times for me to refrain from cutting them all short, and saying:
「動詞」「補語」「主語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は for me to refrain 以降)	
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」
quite an effort クワイ・アン・エフォット n. かなりの骨折り	「補語」
at times アット・タイムズ adv. 時々、時には	「副詞句」
for me to refrain フォーミー・ト・リフレイン 不定詞 n.(from を) 僕がこらえることは	「主語」
from cutting フロム・カティング adv. 中断させることを、遮る	「間接目的語」
them ゼム pron 人の発言を	「目的語」
all short, オール・ショート adj. 短く	「補語」
and アンド conj. そして	
saying: セイイング 不定詞 adv. 自分で発言するのを	「間接目的語」

「しかし、なんてことだ。この法廷では、誰が裁判にかけているというのか？殺人で告訴されるということは、重大な事だし、僕にも言いたいことはある」

“But, damn it all, who’s on trial in this court, I’d like to know? It’s a serious matter for a man, being accused of murder. And I’ve something really important to tell you.”

《But 「感嘆」「主語」「動詞」「補語」「副詞節」
「動詞」「補語」「主語」 | And 「主語」「動詞」「目的語」》

“But, バット conj. しかし	
damn it all, ダム・イット・オール adv. かまわん、ちくしょう、なんてこった、知るか	「感嘆」
who フー pron 誰が	「主語」
’s イズ 3 単現・疑問文(be)v.i ～であるというのか？	「動詞」
on trial オン・トライアル adv. 審理中の、裁判にかけられた	「補語」
in this court, イン・ズィス・コート adv. この法廷で	「副詞句」
I’d like to know? アイド・ライク・トゥ・ノウ adv. (思い) 知りたい、教えてくれ	「副詞節」

Part 2 第2部

It イット pron 仮の主語 (真の主語は for a man 以降)

's イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

a serious matter ア・シリアス・マター n. 重大な事 「補語」

for a man, フォー・ア・マン adv. 人間にとって 「副詞句」

being accused of murder. ビーイング・アキューズド・オブ・マダー 不定詞・受動(accuse)

n. 殺人で告訴されることは 「主語」

accuse O-1 of O-2 「O-1 を O-2 の理由で告訴する」

And アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

've ハヴ 1 単現(have)v.t 〜がある 「動詞」

something really important サムシング・リアリー・インポータント pron 本当に重要な事 「目的語」

to tell you.” トゥ・テル・ユー adj. 君たちに言うべき 「形容詞句」

しかし考え直してみると、僕には言いたいことなどないことに気付いた。

However, on second thoughts, I found I had nothing to say.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

However, ハウエヴァー adv. しかしながら 「副詞」

on second thoughts, オン・セカント・ソート adv. 考え直してみると 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

found ファウンド 1 単過(find)v.t 気付いた、分かった 「動詞」

I アイ pron 僕は〜ということを 「目的語」

had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある 「動詞」

nothing to say. ナシング・トゥ・セイ pron 言うべきことが何も〜ない 「目的語」

いずれにしても、自分の事が話されるのを聞くのは興味深い、すぐに関心が無くなると認めるしかない。

In any case, I must admit that hearing oneself talked about loses its interest very soon.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

In any case, イン・エニー・ケイス adv. いずれにしても 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

must admit マスト・アドミット 1 単現・必要(must+不定詞 admit)

v.t 認めなければならない 「動詞句」

that サット conj. 〜ということを 「目的語」

hearing ヒアリング 現在分詞(hear)n. 聞くことは 「主語」

oneself ワンセルフ pron 自分のことを 「目的語」

talked about トークト・アバウト 過去分詞・受動(talk)

Part 2 第2部

adj. 話されている	「形容詞句」
loses ルーズ 3 単現(lose)v.t 失う	「動詞」
its interest イツ・インタレスト n. その関心を	「目的語」
very soon. ウェリー・スン adv. 非常に早く	「副詞句」

特に検事の論告だが、その半ばに達する前に僕は退屈し始めた。

The Prosecutor's speech, especially, began to bore me before he was halfway through it.

	「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞節」
The Prosecutor's speech, サ・プロセキューターズ・スピーチ n. 検事の論告は	「主語」
especially, エスペシヤリー adv. 特に	「副詞」
began to bore ビギン・トゥ・ボア 3 単過・開始(begin to+不定詞 bore)	
v.t 退屈させ始めた	「動詞句」
me ミー pron 僕を	「目的語」
before ビフォー conj. ～するまえに	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
was ワズ 3 単過・移動・時制の一致(be)v.i ～に達する	「動詞」
halfway through it. ハーフウェイ・スルー・イット adv. その半ばに	「副詞句」

僕が本当に興味を引かれたのは、時折発せられる彼の言葉や身振りだけだった。中には手の込んだ長い演説もあったが前後の脈絡のない言葉だった。

The only things that really caught my attention were occasional phrases, his gestures, and some elaborate tirades—but these were isolated patches.

	「主語」「動詞」「補語」,and「補語」---but「主語」「動詞」「補語」
The only things スイ・オンリー・シングズ pl.n 唯一の物は	「主語」
that サット pron (主語) ～する	「形容詞節」
really リアリー adv. 本当に	「副詞」
caught コート 3 複過(catch)v.t つかんだ、捕らえた	「動詞」
my attention マイ・アテンション n. 僕の注意を、興味を	「目的語」
were ワー 3 複過(be)v.i ～だった	「動詞」
occasional phrases, オカシヨナル・フレイズ pl.n 時々言葉	「補語」
his gestures, ヒズ・ジェスチャーズ pl.n 彼の身振り	「補語」
and アント conj. そして	
some elaborate tirades—サム・イボレイト・タイイズ pl.n 手の込んだ演説	「補語」
elaborate イボレイト adj. 手の込んだ tirade タイレイト n. 長い演説	
but バット conj. しかし	
these ジーズ pron.pl それらは	「主語」

Part 2 第2部

were ワー 3 複過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 isolated アイソレイテッド adj. 分離した、孤立した 「形容詞」
 patches. パッチズ pl.n (文の) 断片 「補語」

彼が意図していたのは、僕の推測では、僕の犯罪はあらかじめ準備されていたということを示すことである。

What he was aiming at, I gathered, was to show that my crime was premeditated.

「主語」, 「主語」「動詞」, 「動詞」「補語」

What ファット pron 何かは 「主語」

he ヒー pron 彼が〜する 「形容詞節」

was aiming at, ワズ・エイミング・アット 3 単過・進行形(aim at)

v.t 意図していた 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

gathered, ギャザート 1 単過 v.t 推測した 「動詞」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

to show トゥ・ショウ 不定詞 n. 示すこと 「補語」

that ザット conj. 〜ということを 「目的語」

my crime マイ・クライム n. 僕の犯罪は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

premeditated. プリメデイトゥイット adj. あらかじめ準備された 「補語」

ある時彼が、「陪審員の皆さん、私はこれを徹底的に証明することが出来ます」、と言ったのを覚えている。

I remember his saying at one moment, "I can prove this, gentlemen of the jury, to the hilt.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,

《「主語」「動詞句」「目的語」, 「呼びかけ」, 「副詞句」》

I アイ pron 僕は 「主語」

remember リメンバー 1 単現 v.t 覚えている 「動詞」

his saying ヒズ・セイイング n. 彼の言葉を、言った事 「目的語」

at one moment, アット・ワン・モメント adv. ある時 「副詞句」

"I アイ pron 私は 「主語」

can prove キャン・プルーヴ 1 単現・可能(can+不定詞 prove)v.t 証明できる 「動詞句」

this, スィズ pron これを 「目的語」

gentlemen of the jury, ジェントルメン・オブ・ザ・ジャリー n.m 陪審員の皆さん 「呼びかけ」

to the hilt. トゥ・ザ・ヒルト adv. (程度) 徹底的に、完全に 「副詞句」

Part 2 第2部

「まず犯罪の事実ですが、それは火を見るよりも明らかなです」

First, you have the facts of the crime; which are as clear as daylight.

《「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」; 「主語」 「動詞」 「補語」》

First, ファースト adv. まず最初に

「副詞」

you ユー pron.pl 皆さんは

「主語」

have ハヴ 2 複現 v.t 持っている、知っている

「動詞」

the facts of the crime; ザ・ファクツ・オブ・ザ・クライム n. 犯罪の事実

「目的語」

which フィッチ pron.pl(facts の代用) それは

「主語」

are アー 3 複現(be)v.i ~である

「動詞」

as clear as daylight. アズ・クリアー・アズ・デイト adj. 日光のように明白な

「補語」

「そしてその後、あなたたちは私が本件の闇の部分と考えている、罪深い知性の闇の行為が何か分かるでしょう。」

And then you have what I may call the night side of this case, the dark workings of a criminal mentality.

《And 「副詞」 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「目的語」》

And アント conj. そして

then セン adv. それから

「副詞」

you ユー pron.pl あなた方は

「主語」

have ハヴ 2 複現 v.t 知るでしょう

「動詞」

what ファット pron (目的語) ~ということ

「目的語」

I アイ pron 私が

「主語」

may call メイ・コール 1 単現・推量(may+不定詞)v.t ~と考えている

「動詞句」

the night side ザ・ナイト・サイト n. 闇の部分

「補語」

of this case, オフ・ジス・ケイス adj. 本件の

「形容詞句」

the dark workings ザ・ダーク・ワーキング pl.n 闇の仕事

「目的語」

of a criminal mentality.” オフ・ア・クリミナル・メンタリティ adj. 罪深い知性の

「形容詞句」

彼は母さんの死後に起こったことを要約し始めた。

He began by summing up the facts, from my mother's death onward.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

He ヒー pron 彼は

「主語」

began ビギン 3 単過(begin)v.t 始めた

「動詞」

by summing up バイ・サミング・アップ adv. (手段) 要約しながら

「副詞句」

the facts, ザ・ファクツ pl.n 事実を

「目的語」

from my mother's death フロム・マイ・マザーズ・デス

adv. (時点) 母さんの死から

「副詞句」

Part 2 第2部

onward. オンワート^{adv} 前へ

「副詞」

彼は僕の冷酷さ、母さんの年齢を言えなかったこと、プールに行ってマリーに出会った事、フェルナンデルの映画を見た事、そして最後にマリーを連れて帰宅したことを強調した。

He stressed my heartlessness, my inability to state Mother's age, my visit to the swimming pool where I met Marie, our matinee at the pictures where a Fernandel film was showing, and finally my return with Marie to my rooms.

「主語」「動詞」「目的語」, and 「副詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

stressed ストレスト 3 単過 v.t ーを強調した

「動詞」

my heartlessness, マイ・ハートリスネス n. 僕の冷酷さ

「目的語」

my inability マイ・イナビリティ n. 無力さ

「目的語」

to state トゥ・ステイト 不定詞・目的 adj. はっきりと述べるための

「形容詞句」

Mother's age, マザーズ・エイジ n. 母さんの年齢を

「目的語」

my visit マイ・ヴィジット n. 訪問したこと

「目的語」

to the swimming pool トゥ・ザ・スイミング・プール adv. プールへ

「間接目的語」

where ウェア conj. そこで～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

met メット 1 単過(meet)v.t 出会った

「動詞」

Marie, マリー n. マリーに

「目的語」

our matinee at the pictures アウ・マチネイ・アット・ザ・ピクチャーズ n. 昼間の映画鑑賞

「目的語」

where ウェア adv. そこで～する

「形容詞節」

a Fernandel film ア・フェルナンデル・フィルム n. フェルナンデルの映画が

「主語」

was showing, ワズ・ショウイング 3 単過・進行形(show)

v.i 上映されていた

「動詞句」

and アンド conj. そして

finally ファイナリー adv. 最後に

「副詞」

my return マイ・リターン n. 帰宅

「目的語」

with Marie ウイズ・マリー adv. マリーを連れて

「副詞句」

to my rooms. トゥ・マイ・ルーム adv. 僕の部屋に

「間接目的語」

Part 2 第2部

僕は検事が「被告の愛人」という言葉を連発したので、最初はよく理解できなかった、僕にとっては、マリーはマリー以外の何者でもない。

I didn't quite follow his remarks at first, as he kept on mentioning "the prisoner's mistress," whereas for me she was just "Marie."

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, whereas 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't quite follow ディトント・クワイ・フォロウ 1 単過・部分否定(follow)
 v.t あまり理解できなかった 「動詞句」
 his remarks ヒズ・リマクス pl.n 彼の指摘を、意見、見解 「目的語」
 at first, アット・ファースト adv. 最初は 「副詞句」
 as アズ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
 he ヒー pron 彼が 「主語」
 kept on mentioning ケプト・オン・メンショニング 3 単過・継続(keep on+現在分詞 mention)
 v.t 言い続けた 「動詞句」
 "the prisoner's mistress," ザ・プリズナース・ミストレス n. 被告の愛人 「目的語」
 whereas ウェアラス conj. しかし
 for me フォー・ミー adv. 僕にとっては 「副詞句」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 just "Marie." ジャスト・マリー n. マリー以外の何者でもない 「補語」

それから、検事の話はレーモンに移った。僕には、彼の事実関係の取りまとめ方は全くそつがないと思われた。

Then he came to the subject of Raymond. It seemed to me that his way of treating the facts showed a certain shrewdness.

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「動詞」「間接目的語」「主語」
 Then セン adv. (順序) それから、次に 「副詞」
 he ヒー pron 彼は、検事の話 「主語」
 came ケム 3 単過(come)v.i ～という話に入った 「動詞」
 to the subject トゥ・ザ・サブジェクト adv. 話に、話題に 「間接目的語」
 of Raymond. オフ・レーモン adj. レーモンの 「形容詞句」
 It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)
 seemed シームト 3 単過 v.i ～に思われた 「動詞」
 to me トゥ・ミー adv. 僕には 「間接目的語」
 that ザット conj. ～ということが 「主語」
 his way ヒズ・ウェイ n. 彼のやり方は、方法 「主語」

Part 2 第2部

of treating オフ・トリートイング adj. (目的) ~を扱うための 「形容詞句」
 the facts ザ・ファクツ pl.n 事実を、事実関係を 「目的語」
 showed ショウト 3 単過 v.t 示した 「動詞」
 a certain shrewdness. ア・サートゥン・シュルドニス n. たしかなそつのなさを 「目的語」
 certain サートゥン adj. 確かな shrewdness シュルドニス n. そつのなさ、利口さ

彼の発言は全てもっともらしく聞こえた。僕はレーモンと共謀して、彼の愛人をおびき出し、評判の悪い人物の虐待を受けさせる目的で、手紙を書いたと言うのだ。

All he said sounded quite plausible. I'd written the letter in collusion with Raymond so as to entice his mistress to his room and subject her to ill-treatment by a man "of more than dubious reputation."

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

All he said オール・ヒー・セッド pron 彼の発言は全て 「主語」
 sounded サウンデッド 3 単過 v.i ~に聞こえた 「動詞」
 quite plausible. クワイ・プーラズブル adj. まったくもっともらしい 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd written ハッド・リト 1 単過・完了形(write)v.t 書いた 「動詞句」
 the letter ザ・レター n. 手紙を 「目的語」
 in collusion イン・コリュージョン adv. (手段) (with と) 共謀して 「副詞句」
 with Raymond ウイズ・レーモン adv. レーモンと 「副詞句」
 so as to entice ソ・アズ・トゥ・エンタイス 不定詞・目的・結果(so as to+不定詞)
 adv. しておびき出すために 「副詞句」
 in order to... とは異なり、純粋な目的以外に自然な成り行き・結果が含まれる
 his mistress ヒズ・ミストレス n. 彼の愛人を 「目的語」
 to his room トゥ・ヒズ・ルーム adv. 彼の部屋に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 subject サブジェクト 不定詞・目的・結果 adv. 受けさせるために 「副詞句」
 her ハー pron 彼女に 「間接目的語」
 to ill-treatment トゥ・イル・トリートメント adv. 虐待を 「直接目的語」
 by a man バイ・ア・マン adv. (動作主) 人物による 「副詞句」
 "of more than dubious reputation." オフ・モア・サン・ジュービアス・レピュテーション
 adj. 評判の悪い 「形容詞句」

Part 2 第2部

「その後、僕は浜辺でレーモンの敵対者と喧嘩をして、その間にレーモンが負傷した。」

Then, on the beach, I'd provoked a brawl with Raymond's enemies, in the course of which Raymond was wounded. 《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

Then, ゼン adv. それから、その後 「副詞」
 on the beach, オン・ザ・ビーチ adv. 浜辺で 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd provoked ハット・プ・ロウ・オウト 1 単過・完了形(provoke)v.t ~を起こした 「動詞句」
 a brawl ア・ブ・ロール n. 口論、喧嘩 「目的語」
 with Raymond's enemies, ウイズ・レーモンズ・エヌミズ adv. レーモンの敵対者と 「副詞句」
 in the course of which イン・ザ・コース・オブ・フィッチ adv. その成り行きで~する 「副詞節」
 Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」
 was wounded. リズ・ウンディット 3 単過・受動 (wound)
 v.t 負傷した 「動詞句」

「僕は彼の拳銃をもらい、それを使うつもりで、独りだけで敵対者の所に戻った」

I'd asked him for his revolver and gone back by myself with the intention of using it.

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 and 「動詞句」「副詞句」》

I アイ pron 僕は 「主語」
 'd asked ...for ハット・アスクト...フォー 1 単過・完了形(ask for)v.t(~をくれと)頼んだ 「動詞句」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 his revolver ヒズ・レヴ・オルヴァー n. 彼の拳銃を 「直接目的語」
 and アンド conj. そして
 gone back ゴウン・バック 1 単過・完了形(go back)v.i (元の場所に) 戻った 「動詞句」
 by myself バイ・マイセルフ adv. 僕独りで 「副詞句」
 with the intention ウイズ・ズィ・インテンション adv. 意図を持って 「副詞句」
 of using it. オブ・ユージング・イット adj. (同格) それを使うという 「形容詞句」

「それから僕はそのアラブ人を撃った。1 発撃った後で、僕は待った。そして、仕上げを確実にするために...」

Then I'd shot the Arab. After the first shot I waited. Then, "to be certain of making a good job of it,"

《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」 | 「副詞句」》

Then ゼン adv. それから 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd shot ハット・ショット 1 単過・完了形(shoot)v.t 撃った 「動詞句」
 the Arab. スィ・アラブ n. そのアラブ人を 「目的語」

Part 2 第2部

After the first shot アフター・ザ・ファースト・ショット adv. 1 発撃った後で 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 waited. ウェイト 1 単過 v.i 待った 「動詞」
 Then, セン adv. それから 「副詞」
 “to be トゥ・ビー 不定詞・変化・目的 v.i 〜にするために 「副詞句」
 certain サトウ adj. 確かな、確実な 「補語」
 of making a good job of it,” オフ・メイキング・ア・グッド・ジョブ・オブ・イト
 adj. (関係) 事の仕上げを 「副詞句」

「僕は犠牲者に対して、至近距離から入念に、平然として、さらに4発撃ち込んだ。」

I fired four more shots deliberately, point-blank, and in cold blood, at my victim.
 《「主語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」「間接目的語」》
 I アイ pron 僕は 「主語」
 fired ファイト 1 単過 v.t 発砲した 「動詞」
 four more shots フォー・モア・ショット pl.n さらに4発 「直接目的語」
 deliberately, デリバリトリー adv. 入念に 「副詞」
 point-blank, ポイント・ブランク adv. 至近距離で 「副詞」
 and アンド conj. そして
 in cold blood, イン・コールド・ブラッド adv. 平然と 「副詞句」
 at my victim. アット・マイ・ヴィクティム adv. 僕の犠牲者に 「間接目的語」

「以上です」と、彼は言った。「私は皆さんに事件のあらましを順を追って説明しました。」

この男は自分の行為を十分承知の上で被害者を殺すに至った。私はこの点を強調します」

“That is my case,” he said. “I have described to you the series of events which led this man to kill the deceased, fully aware of what he was doing. I emphasize this point.

《「主語」「動詞」「補語」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

“That ザット pron 以上が 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 my case,” マイ・ケイス n. 僕の事件 「補語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 said. セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “I アイ pron 私は 「主語」
 have described ハヴ・デイスクライブト 1 単現・完了形 v.t 描写した、物語った 「動詞句」
 to you トゥ・ユー adv. 皆さんに 「間接目的語」
 the series of events ザ・シリーズ・オブ・イベント pl.n 事件のあらましを 「直接目的語」

Part 2 第2部

which フィッチ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
led レッド 3 単過(lead)	
v.t (SVO to+不定詞) ～するに至らしめた	「動詞」
this man スィス・マン n. この男が	「主語」
to kill トゥ・キル 不定詞・man の動作 v.t 殺す	「補語」
the deceased, ザ・ディシースト n. 被害者を	「目的語」
fully aware of フリー・アウェア・オブ	
prep (様態) 十分承知の上で	「副詞句」
what ファット	
pron (目的語) 何を～することを	「目的語」
he ヒー peon 彼は	「主語」
was doing. ワズ・ドゥイング 3 単過・進行形・時制の一致(do)	
v.t している	「動詞句」
I アイ pron 私は	「主語」
emphasize エンファサイズ 1 単現 v.t 強調する	「動詞」
this point. スィス・ポイント n. この点を	「目的語」

「私たちは、情状酌量の可能性がある、突発的な衝動による殺人行為に対する審議をしている訳ではないのです」

We are not concerned with an act of homicide committed on a sudden impulse which might serve as extenuation.

《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

We ウィー pron.pl 私たちは

「主語」

are not concerned アー・ノット・コンサーント 1 複現・受動・否定(concern)

v.t 関係していない

「動詞句」

with ウィズ prep (関連) ～に関して

「間接目的語」

an act アン・アクト n. 行為

「目的語」

of homicide committed オフ・ホミサイド・コミット

adj. 実行された殺人の

「形容詞句」

on a sudden impulse オン・ナ・サッド・アン・インパルス

adv. (原因) 突発的な衝動によって

「副詞句」

which フィッチ pron (主語) ～する

「形容詞節」

might serve マイト・サーヴ 3 単現・推量(might+不定詞)

v.i 働くかもしれない

「動詞句」

as extenuation. アズ・エクステニュエイション

adv. 情状酌量として

「副詞句」

Part 2 第2部

「陪審員の皆さん、被告が頭脳明晰であることを記憶に留めて下さい」

I ask you to note, gentlemen of the jury, that the prisoner is an educated man.

《「主語」「動詞」「目的語」「補語」, 「呼びかけ」》

I アイ pron 私は

「主語」

ask アスク 1 単現 v.t (SVO to+不定詞) (O に～することを) 求める

「動詞」

you ユー pron.pl 皆さんに

「目的語」

to note, トゥ・ノット 不定詞/you の動作 v.t 注意する、記憶に留める

「補語」

gentlemen of the jury, ジェントルメン・オブ・ザ・ジュアリー adv. 陪審員の皆さん

「呼びかけ」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

the prisoner ザ・プリズナー n. 被告は

「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

an educated man. アン・エデュケイティッド・マン

n. 教養のある男、知識のある男

「補語」

「皆さんは、私の質問に対する彼の答え方に気付かれていますと思います。彼は聡明で、言葉の重要性を心得ています」

You will have observed the way in which he answered my questions; he is intelligent and he knows the value of words.

《「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞」「補語」 and 「主語」「動詞」「目的語」》

You ユー pron.pl 皆さんは

「主語」

will have observed ウィル・ハヴ・オブザーヴド 2 複未・完了形・推量(will+不定詞・完了形 observe)

v.t 気付いていると思う

「動詞句」

the way ザ・ウェイ n. やり方に

「目的語」

in which イン・フィッチ adv. それによって～する

「形容詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

answered アンサード 3 単過・時制の一致 v.t 答える

「動詞」

my questions; マイ・クエスチョンズ pl.n 私の質問に

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

intelligent インテリジェント adj. 聡明な

「補語」

and アンド conj. そして

he ヒー pron 彼は

「主語」

knows ノズ 3 単現 v.t 知っている

「動詞」

the value of words. ザ・ヴァリュー・オブ・ワート n. 言葉の重要性を

「目的語」

Part 2 第2部

「ですから繰り返しますが、彼が犯罪を実行した時に、自分のしていることが分からなかったと言う返答はあり得ません」

And I repeat that it is quite impossible to assume that, when he committed the crime, he was unaware what he was doing. 《And 「主語」「動詞」「目的語」》

And アント conj. そして

I アイ pron 私は 「主語」

repeat リピート 1 単現 v.t 繰り返します 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は to assume 以降）

is イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

quite impossible クワイ・インポッシブル adj. 全くあり得ない 「補語」

to assume トゥ・アシューム 不定詞 v.t ～を本当だと思うことは、見なすことは 「主語」

that, ザット conj. ～ということを 「目的語」

when he committed the crime, ホエン・ヒー・コミットェド・ザ・クライム

adv. 彼が犯罪を実行した時 「副詞節」

he ヒー pron 彼は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

unaware アンアウェア adj. ～に気付かない 「補語」

what he was doing.” ファット・ヒー・ワズ・ドゥイング

adv. 自分が何をしているかに 「副詞句」

僕は検事が「僕は聡明である」というくだりを強調したことに気付いた。

I noticed that he laid stress on my “intelligence.” 「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気が付いた 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

he ヒー pron 彼は 「主語」

laid レイト v.t 置いた 「動詞」

stress ストレス n. 強勢を 「直接目的語」

on my “intelligence.” オン・マイ・インテリジエンス

adv. 僕が聡明だという言葉に 「間接目的語」

Part 2 第2部

普通の人間であれば長所とみなされるものが、被告に対しては一体どうして犯罪の完全な証拠として扱われるのか、僕は理解できず困惑した

It puzzled me rather why what would count as a good point in an ordinary person should be used against an accused man as an overwhelming proof of his guilt.

「動詞」「目的語」「副詞」「主語」

It イット pron 仮の主語（真の主語は why 以降）

puzzled パズル^ト 3 単過(puzzle)v.t 困惑させた

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

rather ラーザー adv. むしろ、かなり

「副詞」

why ホワイ pron どうして～するかということは

「主語」

what ファット pron ～するものが

「主語」

would count ウット・カウト 3 単現・妥当(would+不定詞 count)

v.i(as ～と) みなされるべきである

「動詞句」

as a good point アズ・ア・グット・ポイント adv. 長所として

「補語」

in an ordinary person イン・アン・オーディナリー・パーソン

adv. 普通の人に対しては

「副詞句」

should be used シュット・ビー・ウーズト 3 単現・受動・感情(should+不定詞・受動)

v.t 一体どうして使われるのか

「動詞句」

against アゲンスト prep (対象) ～に対しては

「副詞句」

an accused man アン・アキューズト・マン n. 被告

「目的語」

as an overwhelming proof アズ・アン・オウガ^クアウエルミンク^ク・プルーフ

adv. 完全な証拠として

「補語」

of his guilt. オフ・ヒズ・ギルト adj. 犯罪の

「形容詞句」

僕はこのことをじっくり考えていて、彼がその後何を話したか聞いていなかったが、やがて彼が憤然として話す声が耳に入った。

While thinking this over, I missed what he said next, until I heard him exclaim indignantly:

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞節」

While+現在分詞 ホワイル adv. ～している間

「副詞句」

thinking ...over, シンキング...オウアー 現在分詞(think over)v.t 熟考する

「動詞句」

this ズィス pron このことを

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

missed ミスト 1 単過 v.t 聞きそこなった

「動詞」

what フワット pron ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

Part 2 第2部

next, ネクスト adv. その後に	「副詞」
until アンティル conj. ～するまで	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
heard ハート 1 単過・知覚動詞・時制の一致(hear) v.t(SVO+不定詞) (O が～のを) 聞く	「動詞」
him ヒム pron 彼が	「目的語」
exclaim エクスクレイム 不定詞・him の動作 v.i 言う	「補語」
indignantly: インディグナントリー adv. 憤然として	「副詞」

「この男は最も憎むべき犯罪に対して後悔の言葉を発したでしょうか？皆さん、一言もありません。この被告は、予審の間にただの一度も、後悔の素振りさえ見せなかったのです」

“And has he uttered a word of regret for his most odious crime? Not one word, gentlemen. Not once in the course of these proceedings did this man show the least contrition.”

《And 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「呼びかけ」 | 「副詞句」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

“And アント conj. そして

has ...uttered ハズ ...アタート 3 単現・完了形・疑問文(utter)v.t 発しただろうか？	「動詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
a word of regret ア・ワート・オブ・リグレット n. 後悔の言葉を	「目的語」
for his most odious crime? フォー・ヒズ・モウスト・オウデアス・クライム	
adv. (対象) 自分自身の最も憎むべき犯罪に対して	「副詞句」
Not one word, ノット・ワン・ワート n. 一言も無い	「呼びかけ」
gentlemen. ジェントルメン pl.n 皆さん	「呼びかけ」
Not once ノット・ワンス adv. 一度も～無い	「副詞句」
in the course of these proceedings イン・ザ・コース・オブ・スィーズ・プロシーディングス	
adv. 予審の間に	「副詞句」
did ...show デイト ...ショウ 3 単過・強調・否定文で v.t 見せなかった	「動詞句」
this man スィスマン n. この被告は	「主語」
the least contrition.” ザ・リースト・コントリション n. 最小の悔恨を	「目的語」

彼は被告席の方へ振り返ると、僕を指差して同じ口調で話を続けた。

Turning toward the dock, he pointed a finger at me, and went on in the same strain.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, and 「動詞句」「副詞句」

Turning ターニング 現在分詞(turn)adv. (方法・様態) 振り返って 「副詞句」

toward the dock, トゥワート・ザ・ドック

adv. (方向) (刑事法廷の) 被告席の方へ 「副詞句」

Part 2 第2部

he ヒー pron 彼は 「主語」
 pointed ポイント 3 単過 v.t(at に) 向けた、指し示した 「動詞」
 a finger ア・フィンガー n. 指を 「直接目的語」
 at me, アット・ミー adv. 僕に 「間接目的語」
 and アンド conj. そして
 went on ウェント・オン 3 単過(go on)v.i (話を) 続けた 「動詞句」
 in the same strain. イン・ザ・セム・ストrein adv. (手段) 同じ口調で 「副詞句」

彼がこの点についてなぜそれほどくどくど言うのか、僕には全く分からなかった。

I really couldn't understand why he harped on this point so much.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 really リアリー adv. 本当に、まったく～ない 「副詞」
 couldn't understand クラント・アンダースタント 1 単過・可能・否定(can+不定詞)
 v.t 理解できなかった 「動詞句」
 why ホワイ adv. どうして～かということ 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 harped ハープト 3 単過・時制の一致 v.i(on) くどくど言う 「動詞」
 on this point オン・ズ・イス・ポイント adv. この点について 「間接目的語」
 so much. ソウ・マッチ adv. それ程までに 「副詞句」

確かに、彼は正しいと認めなければならない；僕は自分のしたことをあまり後悔していない。

Of course, I had to own that he was right; I didn't feel much regret for what I'd done.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Of course, オフ・コース adv. もちろん、確かに 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had to own ハット・トゥ・オン 1 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 own)
 v.t (欠点などを) 認めなければならない 「動詞句」
 own オン v.t(物を) 所有する、自分の物と認める、(欠点を) 認める、(人に) 服従する
 that サット conj. ～ということ 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 right; ライト adj. 正しい 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 didn't feel デイント・フィール 1 単過・否定・時制の一致 v.t 感じていない 「動詞句」

Part 2 第2部

much regret マッチ・リグレット n. (否定文で) あまり後悔の念を 「目的語」
 for フォー prep (対象) 〜に対して 「副詞句」
 what I'd done. フワット・アイ・ド・ダン n. 自分がした事 「目的語」

それでも彼はそのことを言い過ぎたと思う。そして僕は、僕の人生で何かを後悔出来たことは一度も無いと、ほとんど愛情を込めて友好的に彼に説明する機会が欲しかったと思う。

Still, to my mind he overdid it, and I'd have liked to have a chance of explaining to him, in a quite friendly, almost affectionate way, that I have never been able really to regret anything in all my life.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞句」「目的語」
 Still, スティル adv. それでも 「副詞」
 to my mind トゥ・マイ・マインド adv. 僕の考えでは 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 overdid オヴァー・ディッド 3 単過(overdo)v.t やりすぎた、誇張した 「動詞」
 it, イット pron それを 「目的語」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd have liked to have ウット・ハヴ・ライク・トゥ・ハヴ 1 単過・願望
 (would+不定詞・完了形 like to+不定詞)v.t 出来れば〜が欲しかった 「動詞句」
 a chance ア・チャンス n. 機会、チャンス 「目的語」
 of explaining オブ・エクスプレイング adj. (目的) 説明するための 「形容詞句」
 to him, トゥ・ヒム adv. 彼に 「間接目的語」
 in a quite friendly, イン・ナ・クワイ・フントリー
 adv. (様態) 友好的に 「副詞句」
 almost affectionate way, オールモスト・アフエクシヨニット・ウェイ
 adv. ほとんど愛情を込めて 「副詞句」
 that サット conj. 〜ということを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 have never been able really to regret ハヴ・ネヴァー・ビー・ン・エイブル・リアリー・トゥ・リグレット
 1 単現・完了形・可能・否定
 v.t 一度も後悔出来たことが無い 「動詞句」
 anything エニシング pron 何も〜ない 「目的語」
 in all my life. イン・オール・マイ・ライフ
 adv. 僕の人生において 「副詞句」

Part 2 第2部

僕は思い出すためにいつも今日や明日の事に気を取られ過ぎていた。

I've always been far too much absorbed in the present moment, or the immediate future, to think back. 「主語」「動詞句」「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」

've always been ハヴ・オールウェイズ・ビーン 1 単現・完了形(be)v.i いつも～だった 「動詞句」

far too much absorbed トゥ・マッチ・アブソーブト adj. 夢中になりすぎた 「補語」

in イン prep (対象) ～に対して 「間接目的語」

the present moment, ザ・プレズント・モメント

adv. (対象) 現在 「目的語」

or オア conj. または

the immediate future, スイ・イミディエイト・フューチャー n. 明日 「目的語」

to think back. トゥ・シンク・バック 不定詞・目的 adv. 思い出すために 「副詞句」

もちろん、僕が置かれた状況では、僕がそんな口調で誰かに話すことは出来ない。

Of course, in the position into which I had been forced, there was no question of my speaking to anyone in that tone. 「副詞句」, 「動詞句」「主語」

Of course, オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」

in the position イン・ザ・ポジション adv. その立場では、状況 「副詞句」

into which イントゥ・フィッチ adv. そこに～する 「形容詞節」

I アイ pron 僕が 「主語」

had been forced, ハット・ビーン・フォースト 1 単過・完了形・受動(force)

v.t 押し込まれた 「動詞句」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ～がある 「動詞句」

no question ノウ・クエスチョン n.(of ～という) 可能性が～ない 「主語」

question クエスチョン n. 質問、疑問、可能性、問題、論点

of my speaking オフ・マイ・スピーキング adj. 僕が話すという 「形容詞句」

to anyone トゥ・エニワン adv. 誰かに 「間接目的語」

in that tone. イン・ザット・トーン adv. そんな口調で 「副詞句」

僕には好意を示したり、善意を抱くいかなる権利もない。

I hadn't the right to show any friendly feeling or possess good intentions.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

hadn't ハドント 1 単過・否定・時制の一致(have)v.t ～がない 「動詞句」

the right ザ・ライト n. 権利 「目的語」

to show トゥ・ショウ 不定詞・目的 adj. (目的) 見せるための 「形容詞句」

Part 2 第2部

any friendly feeling エニー・フレントリ-・フィーリング n. 好意 「目的語」

or オア conj. または

possess ポセズ 不定詞・目的 v.t 持つ、所有する 「動詞句」

good intentions. ゲット・インテンションズ pl.n 善意 「目的語」

それで僕は次に何が話されるか耳を傾けようとした。今度は、検事が僕の魂について話し始めたからだ。

And I tried to follow what came next, as the Prosecutor was now considering what he called my “soul.” 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

And アント conj. そして

I アイ pron 僕は 「主語」

tried to follow トライト・トゥ・フォロウ 1 単過・試行(try to+不定詞 follow)

v.t 耳を傾けようとした 「動詞句」

follow フォロウ v.t ついて行く、追跡する、理解する、耳を傾ける、興味を持つ

what ファット pron ～するものを 「目的語」

came next, ケイム・アウト 3 単過・時制の一致(come out)

v.i 現れる、明らかにされる 「動詞句」

as アズ conj. (理由) ～なので 「副詞節」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事が 「主語」

was now considering ワズ・ナウ・コンシダリング 3 単過・進行形・時制の一致(consider)

v.t 今度は話している 「動詞句」

consider コンシダー v.t よく考える、考える、論議する

what ファット pron ～するものを 「目的語」

he ヒー pron 彼が 「主語」

called コールト 3 単過・時制の一致 v.t 呼ぶ 「動詞」

my “soul.” マイ・ソウル n. 僕の魂 「補語」

彼は言った。「念入りに調べましたが、何も発見できませんでした。文字通り、何もありませんでした。陪審員の皆さん」

He said he'd studied it closely—and had found a blank, “literally nothing, gentlemen of the jury.”

「主語」「動詞」「目的語」-and「動詞句」「目的語」,《「目的語」「呼びかけ」》

He ヒー pron 彼は 「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

he ヒー pron 彼は～ということを 「目的語」

'd studied ハット・ステイト 3 単過・完了形(study)

Part 2 第2部

v.t 詳しく調べた、注視した	「動詞句」
it イット pron(my soul の代用) それを	「目的語」
closely— クロウズリー adv. 念入りに、綿密に	「副詞」
and アンド conj. そして	
had found ハット・ファウンド 3 単過・完了形(find)v.t 発見した	「動詞句」
a blank, ア・ブランク n. 空白を、何もない	「目的語」
“literally リテラリー adv. 文字通り	「副詞」
nothing, ナシング pron 何も～ない	「目的語」
gentlemen of the jury.” ジェントルメン・オブ・ザ・ジュアリー adv. 陪審員の皆さん	「呼びかけ」

「実際の所」、と彼は言った。「僕に関しては人間的なものは何もない、さらに、普通の人なら持っている道徳的な気質の一つさえも僕の知性に居場所が無い。」

Really, he said, I had no soul, there was nothing human about me, not one of those moral qualities which normal men possess had any place in my mentality.

《「副詞」, 「主語」「動詞」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞句」「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

Really, リアリー adv. 実は、実際の所	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
said, セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある	「動詞」
no soul, ノウ・ソウル n. 魂が～ない	「目的語」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ～がある	「動詞句」
nothing human ナシング・ヒューマン pron 人間的な物がなにも～ない	「主語」
about me, アバウト・ミー adv. 僕に関しては	「副詞句」
not one of those moral qualities ノット・ワン・オブ・ゾ・ウズ・モラル・クオリティーズ	
pron 道徳的な気質の一つさえも～ない	「主語」
which フィッチ pron (目的語) ～する	「形容詞節」
normal men ノーマル・メン pl.n 普通の人	「主語」
possess ポゼス 3 複現 v.t 持っている	「動詞」
had ハット 3 単過・否定文(have)v.t ～がない	「動詞」
any place エニー・プレイス n. 場所、居場所	「目的語」
in my mentality. イン・マイ・メンタリティ adv. 僕の知性には	「副詞句」

Part 2 第2部

「おそらく」と、彼は続けて言った。「そのことで彼を非難すべきではないでしょう。彼には獲得できない道徳性が欠落しているという理由で彼を責めることはできません」

“No doubt,” he added, “we should not reproach him with this. We cannot blame a man for lacking what it was never in his power to acquire.”

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

“No doubt,” ノウ・ダウト adv. おそらく、たぶん 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 added, アディド 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」
 “we ウー pron.pl 我々は 「主語」
 should not reproach シュット・ノット・リプ ロウチ 1 複現・義務・否定(should+不定詞 reproach)
 v.t 非難すべきではないのだろう 「動詞句」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 with this. ウイズ・スィズ adv. このことで 「副詞句」
 We ウー pron.pl 我々は 「主語」
 cannot blame キャノット・ブレ임 1 複現・可能・否定(can+不定詞 blame)
 v.t 責めることは出来ない 「動詞句」
 a man ア・マン n. この男を 「目的語」
 for lacking フォー・ラッキング adv. (理由) 欠いているという理由で 「副詞句」
 what ファット pron ～するものを 「目的語」
 it イット pron それが 「主語」
 was never ワズ・ネヴァー 3 単過・存在・否定(be)v.i ～がない 「動詞句」
 in his power イン・ヒズ・パワー adv. 彼の能力に 「副詞句」
 to acquire. トゥ・アクワイア 不定詞・目的
 adv. 獲得するための 「副詞句」

「しかし、寛容というまったく消極的な理想というものは、正義というより厳しく更に高い理想に役割を譲らなければなりません。」

But in a criminal court the wholly passive ideal of tolerance must give place to a sterner, loftier ideal, that of justice.

《But 「副詞句」「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」》

But バット conj. しかし
 in a criminal court イン・ナ・クリミナル・コート adv. 本法廷においては、刑事裁判所では「副詞句」
 the wholly passive ideal サ・ホリー・パッシヴ・アイデアール n. まったく消極的な理想は「主語」
 of tolerance オフ・トレランス adj. (同格) 寛容という 「形容詞句」
 must give マスト・ギヴ 3 単現・必要(must+不定詞 give)v.t 与えなければならない「動詞句」

Part 2 第2部

place プレイス n. 役割を、場所を	「直接目的語」
to トゥ prep (対象) 〜へ	「間接目的語」
a sterner, loftier ア・スターネー・ロフティアー	
adj. より厳しく更に高い	「形容詞句」
ideal, イデアール n. 理想	「目的語」
that of justice. サット・オブ・ジャスティス	
adj. (同格) 正義という	「形容詞句」

「特に、あらゆる礼節の欠落が皆さんの目の前の男のように、社会の厄介者という場合には」

<u>Especially when this lack of every decent instinct is such as that of the man before you, a menace to society.</u>	《「副詞句」》
Especially エスペシャリー adv. 特に	「副詞」
when ホエン adv. 〜する時は	「副詞節」
this lack スイス・ラック n. この欠落が	「主語」
of every decent instinct オブ・エヴリ・デューセント・インスチント	
adj. あらゆる礼儀正しい本能の	「形容詞句」
is イズ 3 単現(be)v.i 〜である	「動詞」
such as that サッチ・アズ・サット adj. そのように	「副詞句」
of the man before you, オブ・ザ・マンビフォーユー	
adj. 皆さんの目の前の男の	「形容詞句」
a menace to society.” ア・メナス・トゥ・サイアティ n. 社会の厄介者	「補語」

彼は審理の時に言ったことを繰り返して、母さんに対する僕の態度を議論し始めた。

<u>He proceeded to discuss my conduct toward my mother, repeating what he had said in the course of the hearing.</u>	「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
He ヒー pron 検事は	「主語」
proceeded to discuss プロシーデイト・トゥ・ディスカス 3 単過・進行(proceed to+不定詞 discuss)	
v.t 議論にとりかかった	「動詞句」
my conduct マイ・コンダクト n. 僕の態度	「目的語」
toward my mother, トゥワード・マイ・マザー adv. 母さんに対する	「副詞句」
repeating リピーティング 現在分詞・手段 adv.(repeat) 〜を繰り返して	「副詞句」
what フワット pron (目的語) 〜を	「目的語」
he ヒー pron 彼が	「主語」
had said ハット・セット 3 単過・完了形(say)v.t 言った	「動詞句」
in the course of the hearing. イン・ザ・コース・オブ・ザ・ヒアリング	

Part 2 第2部

adv. 審理の時に

「副詞句」

しかし彼は僕の犯罪についてよりずっと長く話した—余りの長さのため、僕は本当に話の脈絡が分からなくなり、着実に上昇する熱しか気づかなかった。

But he spoke at much greater length of my crime—at such length, indeed, that I lost the thread and was conscious only of the steadily increasing heat.

But 「主語」「動詞」「副詞句」「間接目的語」 -

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞」「補語」

But バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

spoke スポウク 3 単過(speak)v.i(of ~について) 話した

「動詞」

at much greater length アット・マッチ・グレイター・レングス adv. (程度) ずっと長く

「副詞句」

of my crime— オフ・マイ・クライム adv. 僕の犯罪について

「間接目的語」

at such length, アット・サッチ・レングス adv. (原因) 余りの長さのために

「副詞句」

indeed, インディート adv. 本当に

「副詞」

that サット conj. (結果) そして～する

I アイ pron 僕は

「主語」

lost ロースト 1 単過(lose)v.t 失った

「動詞」

the thread ザ・スレッド n. 脈絡を

「目的語」

and アント conj. そして

was ワズ 1 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

conscious コンシャス adj.(of ~ということに) 気付いた

「補語」

only of the steadily increasing heat. オンリー・オブ・ザ・ステディリー・インクリーシング・ヒート

adv. 着実に上昇する熱だけに

「副詞句」

やがて検事は話を中断した。短い沈黙の後で、低く震える声で言った：

A moment came when the Prosecutor paused and, after a short silence, said in a low, vibrant voice:

「主語」「動詞」「副詞節」 and, 「副詞句」, 「動詞」「副詞句」

A moment ア・モメント n. 時が

「主語」

came ケイム 3 単過(come)v.i 来た

「動詞」

when ホエン adv. ~する

「副詞節」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事が

「主語」

paused ポースト 3 単過・時制の一致 v.t 中断する

「動詞」

and, アント conj. そして

after a short silence, アフター・ア・ショート・サイレンス adv. 短い沈黙の後で

「副詞句」

said セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

Part 2 第2部

in a low, vibrant voice: イン・ナ・ロウ・ヴァイブラント・ヴォイス adv. (手段) 低く震える声で 「副詞句」

「皆さん、明日この同じ法廷では、犯罪の中で最も憎むべき父親殺しを裁く予定です」

“This same court, gentlemen, will be called on to try tomorrow that most odious of crimes, the murder of a father by his son.”

《「主語」, 「呼びかけ」, 「動詞句」 「副詞句」》

“This same court, スィス・セム・コート n. この同じ法廷は 「主語」

gentlemen, ジェントルメン pl.n 皆さん 「呼びかけ」

will be called on ウィル・ビー・コールド・オン 3 単未・受動(will+不定詞・受動形 call on)

v.t 求められるだろう 「動詞句」

to try トゥ・トライ 不定詞・目的 adv. 裁くために 「副詞句」

tomorrow トゥモロウ adv. 明日 「副詞句」

that most odious of crimes, サット・モスト・オウディウス・オブ・クライムズ

adj. 犯罪の中で最も憎むべき 「形容詞句」

the murder サ・マダー n. 殺人を 「目的語」

of a father オフ・ア・ファーザー adj. 父親の 「形容詞句」

by his son.” バイ・ヒズ・サン adv. 息子による 「副詞句」

彼の考えでは、そのような犯罪はほとんど想像不可能だった。

To his mind, such a crime was almost unimaginable.

「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

To his mind, トゥ・ヒズ・マインド adv. 彼の考えでは 「副詞句」

such a crime サッチ・ア・クライム n. そのような犯罪は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった 「動詞」

almost unimaginable. オールモスト・アンイマジナブル adj. ほとんど想像不能な 「補語」

しかし、彼は正義が誤魔化すことなく分配されることを敢えて望んだ。

But, he ventured to hope, justice would be meted out without paltering.

But 「主語」 「動詞句」 「目的語」

But, バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は 「主語」

ventured to hope, ウェンチャート・トゥ・ホプ 3 単過・敢えて(venture to+不定詞)

v.t 敢えて望んだ 「動詞句」

justice ジャスティス n. 正義が~することを 「目的語」

would be meted out ウット・ビー・ミテット・アウト 3 単過・妥当・受動(will+不定詞 mete out)

v.t 与えられる 「動詞句」

Part 2 第2部

without paltering. ウィズアウト・ホールティング adv. ごまかすことなく 「副詞句」

そしてさらに、彼は敢えて言う。その父親殺しが彼に抱かせる恐怖感でさえも、僕の冷淡さが呼び起こす嫌悪感に比べると見劣りがする。

And yet, he made bold to say, the horror that even the crime of parricide inspired in him paled beside the loathing inspired by my callousness.

And 「副詞」, 「主語」 「動詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

And アント conj. そして

yet, イェット adv. さらに 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

made bold to say, メイト・ボウルト・トゥ・セイ 3 単過・敢えてする (make bold to+不定詞 say)

v.t 敢えて言った 「動詞句」

the horror ザ・ホラー n. その恐怖 「主語」

that ザット conj. (同格) 「形容詞節」

even イーヴン adv. ～でさえ 「副詞」

the crime of parricide ザ・クライム・オブ・パリスイト n. その父親殺しが 「主語」

inspired インスパイト 3 単過・時制の一致 v.t 抱かせる 「動詞」

in him イン・ヒム adv. 彼に 「副詞句」

paled ペイルト 3 単過・時制の一致 v.i 弱くなる、蒼ざめる 「動詞」

beside ビサイド prep ～と比べると、～の隣で 「副詞句」

the loathing ザ・ロウジング n. 嫌悪 「目的語」

inspired インスパイト 過去分詞・受動 adj. 抱かされた 「形容詞」

by my callousness. バイ・マイ・カスネス

adv. (動作主) 僕の冷淡さによって 「副詞句」

「母親の死に関して道徳的に有罪と言えるこの男は、地域社会で自分の居場所を持つことは、自分の父親を殺した他の人間と同様に不適格である」

“This man, who is morally guilty of his mother’s death, is no less unfit to have a place in the community than that other man who did to death the father that begat him.

《「主語」 「動詞」 「補語」》

“This man, スイ・マン n. この男は

「主語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

morally guilty モラリー・ギルティ adv. 道徳的に有罪の

「補語」

of his mother’s death, オブ・ヒズ・マザーズ・デス

adv. (関連) 母親の死に関して

「副詞句」

Part 2 第2部

is イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
no less ノ・レス adv.(+than) ～と同様に	「副詞句」
unfit アンフィット adj. 不適格な	「補語」
to have トゥ・ハヴ 不定詞・目的 v.t ～を持つには	「副詞句」
a place ア・プレイス n. 場所を	「目的語」
in the community イン・ザ・コミュニティ adv. 地域社会で	「副詞句」
than ザン conj.(no less...than) ～と同様に	「副詞句」
that other man ザット・アザー・マン conj. そのような別の人間	「目的語」
who フー pron (主語) ～する	「形容詞節」
did to death デイト・トゥ・デス 3 単過(do O to death)	
v.t ～を殺した	「動詞句」
the father ザ・ファーザー n. 父親を	「目的語」
that ザット pron (主語) ～する	「形容詞節」
begat ビガット 3 単過(beget) (好ましくないものを)	
v.t 生んだ	「動詞」
him. ヒム pron 彼を	「目的語」

「そして実際、一つの犯罪が別の犯罪を引き起こします；これら 2 つの犯罪の前者は、私の理解が許されるならば、被告席に居る男が前例を作り、後者を正当化するのです」

And, indeed, the one crime led on to the other; the first of these two criminals, the man in the dock, set a precedent, if I may put it so, and authorized the second crime.

《And 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」；「主語」「動詞」「目的語」》

And, アント conj. そして	
indeed, インディート adv. 確かに、本当に	「副詞」
the one crime ザ・ワン・クライム n. 1 つの犯罪が	「主語」
led on レット・オン 3 単過(lead on)v.i(to を) 引き起こした、に結びついた	「動詞句」
to the other; トゥ・スィアザー adv. 別の犯罪を	「間接目的語」
the first of these two criminals, ザ・ファースト・オブ・ジーズ・トゥ・クリミナルズ	
pron これら 2 つの犯罪の前者は	「主語」
the man ザ・マン n. この男	「主語」
in the dock, イン・ザ・ドック adv. 被告席にいる	「副詞句」
set セット 3 単過(set)v.t 作った、用意した	「動詞」
a precedent, ア・プレデント n. 前例を、先例を	「目的語」
if イフ conj. (仮定) もし～ならば	「副詞節」
I アイ pron 私が	「主語」
may put メイ・プット 1 単現・許可(may+不定詞)v.t 評価してよい	「動詞句」

Part 2 第2部

it イット pron それを	「目的語」
so, ヲ adv. そのような	「補語」
and アンド conj. そして	
authorized オーライズド 3 単過・時制の一致 v.t 正当化する	「動詞」
the second crime. ザ・セカント・クライム n. 後者を	「目的語」

「皆さん、私は確信しています」と、ここで彼は声の調子を高くした。「もし私が、この被告は本法廷で明日裁かれる殺人の罪についても同様に有罪であると言ったとしても、皆さんは被告の事件について私が誇張していると思わないだろうと」

Yes, gentlemen, I am convinced—here he raised his voice a tone—“that you will not find I am exaggerating the case against the prisoner when I say that he is also guilty of the murder to be tried tomorrow in this court. And I look to you for a verdict accordingly.”

《「呼びかけ」, 「主語」「動詞句」》, 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」, 《「目的語」》

Yes, gentlemen, イェス・ジェントルメン adv. 皆さん 「呼びかけ」

I アイ pron 私は 「主語」

am convinced” アム・コンヴィンスト 1 単現・状態受動(convince)

v.t(that へと) 確信している 「動詞句」

—here ヒア adv. ここで 「副詞」

he ヒー pron 彼は 「主語」

raised レイズド 3 単過 v.t 高くした 「動詞」

his voice a tone— ヒズ・ヴォイス・ア・トーン n. 声の調子を 「目的語」

“that ザット conj. ～ということを 「目的語」

you ユー pron.pl 皆さんは 「主語」

will not find ウィル・ノット・ファインド 2 複未・推量・否定(will+不定詞)

v.t 思わないだろう 「動詞句」

n. ～ということを 「目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

am exaggerating アム・イクザジャレイティング 1 単現・進行形(exaggerate)

v.t 誇張している、大げさに言っている 「動詞句」

the case ザ・ケイス n. 本件を 「目的語」

against アゲンスト prep (対象) ～について、関して 「副詞句」

the prisoner ザ・プリズナー n. 被告 「目的語」

when ホエン conj. (譲歩) ～しても 「副詞節」

I アイ pron 私が 「主語」

say セイ 1 単現 v.t 言う 「動詞」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

Part 2 第2部

he ヒー pron 彼は 「主語」
 is イズ 3 単現(be)v.i ~である 「動詞」
 also guilty オールソウ・ギルティ adj. 同様に有罪の 「補語」
 of the murder オフ・ザ・マダー
 adv. (関連) 殺人について 「副詞句」
 to be tried tomorrow トゥ・ビー・トライト・トゥモロウ 不定詞・必要
 adj. あす裁かれるべき 「形容詞句」
 in this court. イン・ス・イス・コート
 adv. 本法廷で 「副詞句」
 And アント conj. そして
 I アイ pron 私は 「主語」
 look ルック 1 単現(look)v.i(to 人に for 何を) 期待する 「動詞」
 to you トゥ・ユー adv. 皆さんに 「間接目的語」
 for a verdict フォー・ア・ヴァーディクト adv. 評決を 「間接目的語」
 accordingly.” アコーデイングリー adv. ふさわしい 「副詞」

検事はまた話を中断して、顔の汗を拭った。

The Prosecutor paused again, to wipe the sweat off his face.

「主語」「動詞」「副詞」、「動詞句」「目的語」「副詞句」
 The Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事は 「主語」
 paused ポーズト 3 単過 v.i 中断した 「動詞」
 again, アゲン adv. また 「副詞」
 to wipe トゥ・ワイフ 不定詞・結果 v.t(off) そして拭い取った 「動詞句」
 the sweat ザ・スエット n. 汗を 「目的語」
 off his face. オフ・ヒズ・フェイス adv. 顔から 「副詞句」

それから彼は、自分の職務は辛いものであるが、断固として遂行するつもりだと言った。

He then explained that his duty was a painful one, but he would do it without flinching.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 then セン adv. それから、次に 「副詞」
 explained イクスプレイント 3 単過 v.t 説明した 「動詞」
 that ザット conj. ~ということ 「目的語」
 his duty ヒズ・デューティ n. 彼の職務は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 a painful one, ア・ペインフル・ワン pron 辛いもの 「補語」

Part 2 第2部

but バット conj. しかし

he ヒー pron 彼は

「主語」

would do ウット・ドゥ 3 単過・意思(will+不定詞 do)v.t するつもりだ

「動詞句」

it イット pron 職務を

「目的語」

without flinching. ウイズアウト・フリンチング

adv. 尻込みすることなく、断固として

「副詞句」

「被告には、繰り返しますが、基本原則を平気で破っている地域社会の中に自分の居場所はありません」

“This man has, I repeat, no place in a community whose basic principles he flouts without compunction.

《「主語」「動詞」,「副詞節」,「目的語」「副詞句」》

“This man スィス・マン n. 被告は

「主語」

has, ハズ 3 単現(have)v.t ～がある

「動詞」

I repeat, アイ・リピート adv. 繰り返すが

「副詞節」

no place ノウ・プレイス n. 場所が～ない

「目的語」

in a community イン・ナ・コミュニティ adv. 地域社会では

「副詞句」

whose basic principles フーズ・ベイスック・プリンスィプルス

pl(principle).n (目的語) その基本原則を～する

「形容詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

flouts フラウト 3 単現 v.t 破る、逆らう

「動詞」

without compunction. ウイズアウト・コンパクション

adv. 良心の呵責に苛まれずに、平気で

「副詞句」

「彼の冷酷さを考慮すれば、赦免や減刑などの要求はあり得ない。」

Nor, heartless as he is, has he any claim to mercy.

《「副詞」,「副詞節」,「動詞」「主語」「目的語」》

Nor, ノア adv. (否定) ～もない

「副詞」

heartless ハートレス adj. 冷酷な

「補語」

as アス conj. (理由) ～なので

「副詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

is, イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

has ハズ 3 単現(have)v.t (否定文で) ～がない

「動詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

any claim エニー・クレイム n. いかなる要求も～ない

「目的語」

to mercy. トゥ・マーシー adv. 赦免に対する、救済

「副詞句」

Part 2 第2部

「皆さんが法のもとで極刑を課すことを求めます。しかも迷うことなくそれを求めます。」

I ask you to impose the extreme penalty of the law; and I ask it without a qualm.

《「主語」「動詞」「目的語」「補語」; and 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

I アイ pron 私は 「主語」
ask アスク 1 単現 v.t 要求する 「動詞」
you ユー pron.pl 陪審員に 「目的語」
to impose トゥ・インポーズ 不定詞・you の動作 v.t 課す 「補語」
the extreme penalty スイ・エクストリーム・ペナルティ n. 最高の刑を 「目的語」
of the law; オフ・ザ・ロー adv. 法のもとで 「副詞句」
and アンド conj. そして
I アイ pron 私は 「主語」
ask アスク 1 単現 v.t 要求する 「動詞」
it イット pron それを 「目的語」
without a qualm. ウイズアウト・アクワム adv. 迷うことなく、安心して 「副詞句」

「私の長い職歴において死刑宣告を求めることがしばしば私の職責であったが、私の気持ちとして、本来重い責務が本件ほど軽いと感じたことはなかった。」

In the course of a long career, in which it has often been my duty to ask for a capital sentence, never have I felt that painful duty weigh so little on my mind as in the present case.

《「副詞句」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

In the course of イン・ザ・コース・オブ prep (時・期間) ~の間に 「副詞句」
a long career, ア・ロング・キャリア n. 長い経歴 「目的語」
in which イン・フィッチ adv. その中で~する 「形容詞節」
it イット pron 仮の主語 (真の主語は to ask for a capital sentence)
has often been ハズ・オフン・ビーン 3 単現・完了形
v.i 度々~だった 「動詞句」
my duty マイ・デューティ n. 私の職責 「補語」
to ask トゥ・アスク 不定詞(ask for).n ~を求めることが 「主語」
for a capital sentence, フォー・ア・キャピタル・センテンス
adv. 極刑、死刑宣告 「間接目的語」
capital キャピタル adj. 最も重要な sentence センテンス n. 判決、宣告
never have ...felt ネヴァー・ハヴ・...フェルト 1 単現・完了形・否定(feel)
v.t 感じたことは無かった 「動詞句」
I アイ pron 私は 「主語」
that ザット conj. ~ということを 「目的語」
painful duty ペインフル・デューティ n. 辛い職務が 「主語」

Part 2 第2部

weigh ウェイ v.i 重い	「動詞」
so little ソ・リトル adj. わずかな	「補語」
on my mind オン・マイ・マインド adv. 私の気持ちとして	「副詞句」
as in the present case. アズ・イン・ザ・プレゼント・ケース adv. 本件の場合と同様に	「副詞句」

「情状を酌量せずに殺人の評決を要求することで、私は自分の良心と神聖な職責の命令に従っているだけでなく、人情のかけらもない犯罪者を見た時に感じる自然で正しい憤慨の命令にも従っています。」

In demanding a verdict of murder without extenuating circumstances, I am following not only the dictates of my conscience and a sacred obligation, but also those of the natural and righteous indignation I feel at the sight of a criminal devoid of the least spark of human feeling.”

《「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」》

In イン prep(+現在分詞) (手段) ～することで	「副詞句」
demanding デマンドイング 現在分詞(demand)v.t ～を要求する	「動詞」
a verdict of murder ア・ヴァーディクト・オブ・マーダー n. 殺人の評決を	「目的語」
without ウイズアウト prep(+現在分詞) (条件) ～せずに	「副詞句」
extenuating エクステニュエイトイング 現在分詞(extenuate)v.t 酌量する	「動詞」
circumstances, サーカムスタンス pl.n 状況を	「目的語」
I アイ pron 私は	「主語」
am following アム・フォロウイング 1 単現・進行形(follow)v.t 従っている	「動詞句」
not only the dictates ノット・オンリー・ザ・ディクテイツ pl(dictate).n 命令だけでなく	「目的語」
of my conscience オフ・マイ・コンシャンス adj. 自分の良心の	「形容詞句」
and アンド conj. そして	
a sacred obligation, ア・セイクリット・オブ・リゲイション n. 神聖な職責	「目的語」
but also those バット・オールソ・ゾ・ウス pl.pron 命令にも	「目的語」
of the natural and righteous indignation オフ・ザ・ナチュラル・アント・ライチヤス・インディグネーション adj. 自然で正しい憤慨の	「形容詞句」
I アイ pron 私が	「主語」
feel フィール 1 単現 v.t 感じる	「動詞」
at the sight of アット・ザ・サイト・オブ prep ～を見て	「副詞句」
a criminal ア・クリミナル n. 犯罪者	「目的語」
devoid of デイヴ・オイト・オブ adj. ～を欠いた	「形容詞句」
the least spark ザ・リースト・スパーク n. 最小の火花を	「目的語」

Part 2 第2部

of human feeling.” オフ・ヒューマン・フィーリング

adj. 人情の 「形容詞句」

検事が腰をおろすと、やや長い沈黙があった。

When the Prosecutor sat down there was a longish silence.

「副詞節」「動詞句」「主語」

When ホエン conj. ～すると

「副詞節」

the Prosecutor ザ・プロセキューター n. 検事が

「主語」

sat down サット・ダウン 3 単過・時制の一致(sit down)v.i 腰をおろす

「動詞句」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i(+不定名詞) ～があった

「動詞句」

a longish silence. ア・ロンギッシュ・サイレンス n. やや長い沈黙が

「主語」

longish ロンギッシュ adj. やや長い、いくぶん長めの

僕個人としては、暑さと聞いていたことに対する驚きのためにぐったりしていた。

Personally I was quite overcome by the heat and my amazement at what I had been hearing.

「主語」「動詞」「補語」

Personally パーソナリー adv. 僕は、個人的には

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

quite overcome クワイ・オヴワ・アム 過去分詞(overcome)

adj. (精神的に) 参った、ぐったりした

「補語」

by バイ prep (理由) ～のために

「副詞句」

the heat ザ・ヒート n. 暑さ

「目的語」

and アンド conj. そして

my amazement マイ・アメイズメント n. 驚き

「目的語」

at what アット・フワット adv. (関連) ～に対する

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

had been hearing. ハット・ビーン・ヒアリング 1 単過・完了形・進行形(hear)

v.t 聞いていた

「動詞句」

裁判長は軽く咳をしてから、非常に低い声で何か話しておくことはないかと僕に尋ねた。

The presiding judge gave a short cough, and asked me in a very low tone if I had anything to say.

The presiding judge ザ・プリサiding・ジャッジ n. 裁判長は

「主語」

presiding プリサiding 現在分詞(preside)adj. 議長を務める

gave ケイヴ 3 単過(give)v.t (+動作名詞) ～をした

「動詞」

Part 2 第2部

a short cough, ア・ショート・コフ n. 小さい咳を	「目的語」
and アンド conj. そして	
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
in a very low tone イン・ナ・ガ ^ニ ェリー・ロー・トゥン adv. (方法) 非常に低い声で	「副詞句」
if イフ conj. ～かどうかということ	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある	「動詞」
anything エニシング ^ニ pron 何か	「目的語」
to say. トゥ・セイ 不定詞・目的 adj. 話すべき	「形容詞句」

僕は立ち上がった。そして何か話したい気分だったので、最初に僕の脳裏をよぎったことを話した：アラブ人を殺す意図はありませんでした。

I rose, and as I felt in the mood to speak, I said the first thing that crossed my mind: that I'd had no intention of killing the Arab.

「主語」「動詞」「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」: 「目的語」

I アイ pron 僕は	「主語」
rose, ローズ 1 単過(rise)v.i 立ち上がった	「動詞」
and アンド conj. そして	
as アズ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
felt フェルト 1 単過(feel)v.t 感じた	「動詞」
in the mood イン・ザ・ムード adv. ～しようという気分	「副詞句」
to speak, トゥ・スピーク 不定詞・目的 adj. 話すという	「形容詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
said セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
the first thing ザ・ファースト・シング n. 最初の事を	「目的語」
that ザット pron (主語) ～する	「形容詞節」
crossed クロスト 3 単過 v.t 横切った、よぎった	「動詞」
my mind: マイ・マインド n. 僕の頭を	「目的語」
that ザット conj. ～ということ	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t ～があった	「動詞句」
no intention ノ・インテンション n. 意図は～ない	「目的語」
of killing the Arab. オフ・キリング・ズィ・アラブ	
adj. アラブ人を殺すという	「形容詞句」

Part 2 第2部

裁判長は、この陳述は法廷で考慮されるだろうと応じた。

The Judge replied that this statement would be taken into consideration by the court.

「主語」「動詞」「目的語」

The Judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は

「主語」

replied リプライト 3 単過(reply)v.t 応じた

「動詞」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

this statement スィス・ステイメント n. この陳述は

「主語」

would be taken ウット・ビー・テイク 3 単過・受動・妥当(will+不定詞・受動 take)

v.t 取り入れられるだろう

「動詞句」

into consideration イントゥ・コンシダレーション adv. 考慮に

「副詞句」

by the court. バイ・ザ・コート adv. 法廷により

「副詞句」

一方で、弁護人が法廷で演説する前に、何が僕の犯罪の動悸だったのかを喜んで聞きたい。

Meanwhile he would be glad to hear, before my counsel addressed the court, what were the motives of my crime.

「副詞」「主語」「動詞句」, 「副詞節」, 「目的語」

Meanwhile ミンホワイ adv. 一方では、同時に

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

would be glad to hear, ウット・ビー・グラッド・トゥ・ヒア 3 単現・願望(would be glad to+不定詞 hear)

v.t 喜んで聞きたい

「動詞句」

before ビフォー conj. ～する前に

「副詞節」

my counsel マイ・カウンスル n. 僕の弁護人が

「主語」

addressed アドレスト 3 単過・時制の一致 v.t 演説する

「動詞」

the court, ザ・コート n. 法廷で

「目的語」

what フォット pron(主語) 何が～するということを

「目的語」

were ワー 3 複過(be)v.i ～だった

「動詞」

the motives ザ・モティヴス pl.n 動機

「補語」

of my crime. オフ・マイ・クライム adj. 僕の犯罪の

「形容詞句」

今の所、彼は僕の弁護の基盤が十分に理解できなかったと認めるだろう。

So far, he must admit, he hadn't fully understood the grounds of my defense.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

So far, ソウ・ファー adv. これまでの所、今の所

「副詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

must admit, マスト・アット・ミット 3 単現・推量(must+不定詞 admit)v.t 認めるに違いない

「動詞句」

he ヒー n. 彼が～することを

「目的語」

Part 2 第2部

hadn't fully understood ハドント・フリー・アンダーストゥット

v.t 十分に理解できなかった

「動詞句」

the grounds ザ・グラウンス pl.n 基盤を、土台、根拠

「目的語」

of my defense. オフ・マイ・ディフェンス adj. 弁護の

「形容詞句」

僕はそれは太陽のせいだと説明しようとした。しかし早口で話したので、言葉が混ざり合ってしまった。

I tried to explain that it was because of the sun, but I spoke too quickly and ran my words into each other.

「主語」「動詞句」「目的語」,

but 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「主語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

tried to explain トライト・トク・イクスプレイン 1 単過・試行(try to+不定詞 explain)

v.t 説明しようとした

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

it イット pron 事件は

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

because of the sun, ビ・コーズ・オフ・ザ・サン adv. 太陽のせい

「補語」

but バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

spoke スポーク 1 単過(speak)v.i 話した

「動詞」

too quickly トク・クイックリー adv. 早口で

「副詞句」

and アンド conj. そして

ran ラン 3 複過(run)v.i 走った

「動詞」

my words マイ・ワーズ pl.n 僕の言葉は

「主語」

into each other. イントゥ・イチ・アザー adv. お互いの中に

「副詞句」

馬鹿げた事と思われる自覚はあった。そして実際、傍聴者がくすくす笑う声が聞こえた。

I was only too conscious that it sounded nonsensical, and, in fact, I heard people tittering.

「主語」「動詞」「補語」, and 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

only too conscious オンリー・トク・コンシャス adj. 十分に自覚した

「補語」

only too = too 十分に

that ザット adv. ～ということに

「副詞節」

it イット pron それは

「主語」

sounded サウンデイト 3 単過・時制の一致 v.i ～に聞こえる

「動詞」

Part 2 第2部

nonsensical, ノン・センシカル adj. 無意味な、馬鹿げた	「補語」
and, アンド conj. そして	
in fact, インファクト adv. 実際	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t(SVO+現在分詞) 聞いた	「動詞」
people ヒー・プル pron 傍聴者が	「目的語」
tittering. チタリグ 現在分詞・people の動作(titter)v.i くすくす笑う	「補語」

僕の弁護士は肩をすくませた。それから彼の順番になり、法廷で演説するように指示された。

My lawyer shrugged his shoulders. Then he was directed to address the court. in his turn.

	「主語」「動詞」「目的語」 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」
My lawyer マイ・ローヤー 僕の弁護士は	「主語」
shrugged シュラグト 3 単過 v.t ~をすくめた	「動詞」
his shoulders. ヒズ・ショウルダース pl.n 肩を	「目的語」
Then セン adv. それから	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
was directed ワズ・ディレクティド 3 単過・受動 v.t(to do ~するように) 指図された	「動詞句」
to address トゥ・アドレス 不定詞・he の動作 v.t 演説する	「補語」
the court, ザ・コート n. 法廷に	「目的語」
in his turn. イン・ヒズ・ターン adv. 彼の順番で	「副詞句」

だが彼は時間が遅いと指摘し、弁論を午後に延期するよう求めた。裁判長はこれを認めた。

But all he did was to point out the lateness of the hour and to ask for an adjournment till the following afternoon. To this the judge agreed.

	But 「主語」「動詞」「補語」 「副詞句」「主語」「動詞」
But バット conj. しかし	
all he did オール・ヒー・ディット pron 彼が行ったすべては	「主語」
文型 all he did was to 不定詞 「彼は～しただけだった、～しかなかった」	
was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
to point out トゥ・ポイントアウト 不定詞.n ~を指摘する事	「補語」
the lateness of the hour ザ・レイテニス・オブ・スィ・アウ n. 時間の遅さ	「目的語」
and アンド conj. そして	
to ask for トゥ・アスク・フォー 不定詞.n ~を要求する事	「補語」
an adjournment アン・アジャーンメント n. 延期	「目的語」
till the following afternoon. テイル・ザ・フォロウイング・アフタヌン adv. 午後まで	「副詞句」

Part 2 第2部

To this トゥ・ズィス adv. (対象) これに対して 「副詞句」
 the judge ザ・ジャッジ n. 裁判長は 「主語」
 agreed. アグリート 3 単過 v.i 認めた 「動詞」

翌日、僕が連れ戻された時、扇風機が相変わらずむっとする空気を攪拌していた。そして
 陪審員たちは派手な小さいうちわを一定のリズムで扇いでいた。

When I was brought back next day, the electric fans were still churning up the heavy air
and the jurymen plying their gaudy little fans in a sort of steady rhythm.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 and 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 When ホエン conj. ～する時 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 was brought back ワズ・ブロート・バック 1 単過・受動(bring back)
 v.t 連れ戻された 「動詞句」
 next day, ネクスト・デイ adv. 翌日 (午後) 「副詞句」
 the electric fans ズィ・エレクトリック・ファンズ pl.n 扇風機は 「主語」
 were still churning up ワー・スティル・チャーニング・アップ 3 複過・進行形(churn)
 v.t まだ攪拌していた 「動詞句」
 the heavy air ザ・ヘヴィー・エア n. むっとする空気を 「目的語」
 and アンド conj. そして
 the jurymen ザ・ジュアリーメン pl(juryman).n 陪審員は 「主語」
 plying プライイング 3 複過・進行形(ply)v.t せっせと使っていた 「動詞句」
 their gaudy little fans ゼア・ゴーディ・リトル・ファンズ pl.n 派手な小さいうちわを 「目的語」
 in a sort of イン・ナ・ソート・オブ adv. (方法) ある種の～で 「副詞句」
 steady rhythm. ステディ・リズム n. 一定のリズム 「目的語」

フランス語の原文では

午後になっても、相変わらず、大型扇風機が庭内の淀んだ空気を攪拌していた。そして
 陪審員たちの色とりどりのうちわは皆同じ方向に揺れていた。

L'après-midi, les grands ventilateurs brassaient toujours l'air épais de la salle et les
 petits éventails multicolores des jurés s'agitaient tous dans le même sens.

弁護の弁論は果てしなく続いた。

The speech for the defense seemed to me interminable.

「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「補語」
 The speech ザ・スピーチ n. 弁論は 「主語」
 for the defense フォー・ザ・ディフェンス adv. 弁護のための 「副詞句」
 seemed シームト 3 単過・に見える v.i ～に思われた 「動詞」

Part 2 第2部

to me トゥ・ミー adv. 僕には

「間接目的語」

interminable. インターミナブル adj. 果てしない、終わりのない

「補語」

しかしながらある時、僕は聞き耳を立てました；それは「私が人を殺したのは事実です」と彼が言った時です。

At one moment, however, I pricked up my ears; it was when I heard him saying: "It is true. I killed a man."

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」; 「主語」 「動詞」 「補語」

At one moment, アット・ワン・モメント adv. ある時

「副詞句」

however, ハウエヴァー adv. しかしながら

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

pricked up プリクト・アップ 1 単過(prick up)v.t ~をピンと立てた

「動詞句」

my ears; マイ・イヤーズ pl.n 耳を

「目的語」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

when ホエン conj. ~した時の事

「補語」

I アイ pron 僕が

「主語」

heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)

v.t (SVO+現在分詞) O が~するのを聞いた

「動詞句」

him ヒム pron 彼が

「目的語」

saying: セイイング 現在分詞・him の動作 v.t 言う

「補語」

"It イット pron 仮の主語 (真の主語は I killed a man.)

「目的語」

is イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

true トゥルー adj. 事実の

「補語」

n. ~ということは

「主語」

I アイ pron 私が

「主語」

killed キルト 1 単過 v.t 殺した

「動詞」

a man." ア・マン n. 人を

「目的語」

彼はずっと同じ調子で、僕のことを話すときに「私は」と言い続けた。

He went on in the same strain, saying "I" when he referred to me.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞節」

He ヒー pron 彼は

「主語」

went on ウェント・オン 3 単過・継続(go on)v.i(+現在分詞) (行為を) し続けた

「動詞句」

in the same strain, イン・ザ・セム・ストrein adv. (手段) 同じ調子で

「副詞句」

saying セイイング 現在分詞(say)v.t ~と言う

「動詞句」

Part 2 第2部

“I” アイ pron 私は	「目的語」
when ホエン conj. ～する時は	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
referred リファート° 3 単過・時制の一致(refer)	
v.t(to ～について) 話す	「動詞」
to me. トゥ・ミー adv. 僕について	「間接目的語」

とても奇妙に思われたので、僕の右側にいた警官の方へ屈みこんで、説明してくれと頼んだ。

It seemed so queer that I bent toward the policeman on my right and asked him to explain.

「主語」「動詞」「補語」 that 「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」「補語」	
It イット pron それは	「主語」
seemed シームト° 3 単過 v.i ～に見えた	「動詞」
so queer ソウ・クイアー adj. とても奇妙な	「補語」
that サット conj (so...that) それで～する	
I アイ pron 僕は	「主語」
bent ベント 1 単過(bend)v.i 屈んだ	「動詞」
toward the policeman トゥワート°・ザ°・ホ° リースマン adv. 警官の方へ	「副詞句」
on my right オン・マイ・ライト adv. 僕の右側にいた	「副詞句」
and アント° conj. そして	
asked アスクト 1 単過 v.t 頼んだ	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「目的語」
to explain. トゥ・イクスプレイン 不定詞・him の動作 v.t 説明する	「補語」

彼は僕に、静かにしろと言った。それから少し間をおいて、ささやいた：「弁護士は皆あ言いうんだ」

He told me to shut up; then, after a moment, whispered: “They all do that.”

「主語」「動詞」「目的語」「補語」；「副詞句」, 「動詞」：《「主語」「動詞」「目的語」》	
He ヒー pron 彼は	「主語」
told トゥルト° 3 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
me ミー pron 僕に	「目的語」
to shut up; トゥ・シャ・タップ° 不定詞・me の動作(shut up)v.i 黙れ、静かにしろ	「補語」
then,ゼン adv. それから	「副詞」
after a moment, アフター・ア・モメント adv. 少し間をおいて	「副詞句」
whispered: ウィスパート° 3 単過 v.i ささやいた	「動詞」

Part 2 第2部

“They all ^{ゼイ・オール} pron.pl 弁護士は皆 「主語」
do ^{ドゥ} 3 複現 v.t (say の代用) 言う 「動詞」
that.” ^{ザット} pron そのように 「目的語」

そのような話し方の狙いは、弁護士に僕の代理をさせることで、僕を事件から締め出して、
いわば僕を蚊帳の外に置いておくためではないかと僕には思われた。

It seemed to me that the idea behind it was still further to exclude me from the case, to put me off the map, so to speak, by substituting the lawyer for myself.

「動詞」「間接目的語」「主語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)
seemed ^{シームト} 3 単過 v.i 〜に思われた 「動詞」
to me ^{トゥ・ミー} adv. 僕には 「間接目的語」
that ^{ザット} conj. 〜ということは 「主語」
the idea ^{スィ・アイデア} n. その考えは 「主語」
behind it ^{ビ・ハインド・イット} adv. 背後にある 「副詞句」
was ^{ワズ} 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
still further ^{スティル・ファーザー} adv. さらに 「副詞句」
to exclude ^{トゥ・エクスクルード} 不定詞・目的 adv. 締め出すため 「補語」
me ^{ミー} pron 僕を 「目的語」
from the case, ^{フロム・ザ・ケイス} adv. 事件から 「副詞句」
to put ^{トゥ・プット} 不定詞・目的 adv. 置いておくため 「補語」
me ^{ミー} pron 僕を 「目的語」
off the map. ^{オフ・ザ・マップ} adv. 蚊帳の外に 「副詞句」
so to speak, ^{ソウ・トゥ・スピーク} adv. いわば 「副詞句」
by substituting ^{バイ・サブスチテューティング} (手段) (SVO for...) 「副詞句」
adv. O に〜の代理をさせることで
the lawyer ^{ザ・ローヤー} n. 弁護士に 「目的語」
for myself. ^{フォー・マイセルフ} adv. 僕の 「副詞句」

とにかく、そんなことは重要ではない；僕は既にこの法廷とその退屈な進行から遥か遠くに
いると感じていた。

Anyway, it hardly mattered; I already felt worlds away from this courtroom and its tedious “proceedings.” 「副詞」, 「副詞」「動詞」；「主語」「副詞」「動詞」「補語」

Anyway, ^{エニウェイ} adv. ともかく、いずれにせよ 「副詞」

it イット pron 形式主語

hardly ^{ハートリー} adv. ほとんど〜ない 「副詞」

Part 2 第2部

mattered; マタード 3 単過・時制の一致 v.i 重要である、問題である	「動詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
already オールディ adv. すでに	「副詞」
felt フェルト 1 単過(feel)v.i 感じていた	「動詞」
worlds away ワールズ・アウェイ adv. はるか遠くに	「補語」
from フロム prep (起点) 〜から	「副詞句」
this courtroom フロム・スイス・コートルーム n. この法廷	「目的語」
and アンド conj. そして	
its tedious “proceedings.” イッツ・ティーディ・アス・プロシーディングス pl.n その退屈な進行	「目的語」

ともかく、僕の弁護士はバカバカしいほど弱々しく見えた。

My lawyer, in any case, struck me as feeble to the point of being ridiculous.

	「主語」「副詞句」「動詞」「間接目的語」「補語」
My lawyer, マイ・ローヤー n. 僕の弁護士は	「主語」
in any case, イン・エニー・ケース adv. ともかく、少なくとも	「副詞句」
struck ストラック 3 単過(strike)v.t(SVO as C) O に C という印象を与えた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
as feeble アズ・フィーブル adj. 弱々しいという	「補語」
to the point of being ridiculous. トゥ・ザ・ポイント・オブ・ビーイング・リディキュラス adv. (限度) バカバカしいという点まで	「副詞句」

彼は挑発の申し立てを急いで切り上げ、次に、僕の魂についても非難し始めた。

He hurried through his plea of provocation, and then he, too, started in about my soul.

	「主語」「動詞」「間接目的語」,and「副詞」「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
hurried ハリット 3 単過(hurry)v.i(through 〜を) 急いで済ませた	「動詞」
through his plea スルー・ヒズ・プリー adv. (手段) 申し立てを	「間接目的語」
of provocation, オフ・プロウ・オケーション adj. 挑発の	「形容詞句」
and アンド conj. そして	
then セン adv. それから	「副詞」
he, ヒー pron 彼は	「主語」
too, トゥ adv. 〜も、同様に	「副詞」
started スタート 3 単過(start)v.i(in を) 非難し始めた	「動詞」
in about my soul. イン・アバウト・マイ・ソウル adv. 僕の魂について	「間接目的語」

Part 2 第2部

しかし、検事と比べて僕の弁護士はかなり能力が劣ると感じた。

But I had an impression that he had much less talent than the Prosecutor.

But 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

I アイ pron 僕は

「主語」

had ハット 1 単過(have)v.t ~を持った

「動詞」

an impression アン・インプレッション n. 印象を

「目的語」

that サット conj. (同格) ~という

「形容詞節」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ~がある

「動詞」

much less talent マッチ・レス・タレント n. 非常に劣る才能

「目的語」

than the Prosecutor. サン・ザ・プロセキューター

conj. (比較) 検事に比べて

「副詞句」

「私も」と、弁護士が言った。「この男の魂を入念に調べました。しかし、経験豊かな検事殿と違って、私はそこにあるものを見出しました」

“I, too,” he said, “have closely studied this man’s soul; but, unlike my learned friend for the prosecution, I have found something there.”

《「主語」》, 「主語」「動詞」, 《「動詞句」「目的語」;

but, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」》

“I, too,” アイ・トゥ pron 私も

「主語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said, セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“have closely studied ハグ・クロウスリー・ステディト 1 単現・完了形(study+closely)

v.t 入念に調べた

「動詞句」

this man’s soul; スィス・マンス・ソウル n. この男の魂を

「目的語」

but, バット conj. しかし

unlike アンライク conj. ~と違って

「副詞句」

my learned friend マイ・ラント・フレント n. 造詣の深い友

「目的語」

for the prosecution, フォー・ザ・プロセキューション adv. 裁判に対し

「副詞句」

I アイ pron 私は

「主語」

have found ハグ・ファウント 1 単現・完了形(find)v.t 見つけた

「動詞句」

something サムシング pron 何かを

「目的語」

there. ゼア adv. そこに

「副詞」

Part 2 第2部

「実際、私は本を読むように被告の心を読み取れたと言えます」

Indeed, I may say that I have read the prisoner's mind like an open book.

《「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」》

Indeed, インディート adv. 確かに、本当に

「副詞」

I アイ pron 私は

「主語」

may say マイ・セイ 1 単現・可能性(may+不定詞 say)v.t 言えるでしょう

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

have read ハヴ・レット 1 単現・完了形(read)v.t 読み取った

「動詞句」

the prisoner's mind ザ・プリズナース・マインド n. 被告の心を

「目的語」

like ライク conj. ～のように

「副詞句」

an open book.” アン・オブ・ン・ブック n. 開いた本

「目的語」

彼がそこに見たものは、僕が優秀な若者で、会社に忠実で真面目な勤め人であること、それから、僕が誰にも評判が良くて、他人の災難に同情を惜しまないと言う事だった。

What he had read there was that I was an excellent young fellow, a steady, conscientious worker who did his best by his employer; that I was popular with everyone and sympathetic in others' troubles.

「主語」 「動詞」 「補語」; 「補語」

What ファット pron (目的語) ～する事は

「主語」

he ヒー pron (弁護士の代用) 彼が

「主語」

had read ハッド・レット 3 単現・完了形(read)v.t 読み取った

「動詞句」

there ゼア adv. そこに

「副詞」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

that ザット conj. ～ということ

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

an excellent young fellow, アン・エクセレント・ヤング・フェロウ n. 優秀な若者

「補語」

a steady, conscientious worker ア・ステディ・コンシアンシャス・ワーカー n. 真面目な勤め人

「補語」

who フー pron (主語) ～する

「形容詞節」

did ディット 3 単過・時制の一致(do)v.t する

「動詞」

his best ヒズ・ベスト n. 最善、全力

「目的語」

by his employer; バイ・ヒズ・エンプロイヤー

adv. (対象) 雇い主に対して

「副詞句」

that ザット conj. ～ということ

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

Part 2 第2部

popular ホピュラー adj. 評判の良い 「補語」

with everyone ウイズ・エヴリワン

adv. 誰に対しても 「副詞句」

and アンド conj. そして

sympathetic シンパセチック adj. 同情に満ちた 「補語」

in others' troubles. イン・アサーズ・トラブル

adv. (状況) 他人の困りごとに対して 「副詞句」

彼の意見では、僕は出来る限り母親を支えてきた良く出来た息子だ。

According to him I was a dutiful son, who had supported his mother as long as he was able. 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

According to him アコーデイング・トウ・ヒム adv. 彼の意見によると 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

a dutiful son, ア・ジューティフル・サン n. 義務を果たす息子 「補語」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

had supported ハット・サポータート 3 単過・完了形(support)

v.t 支えてきた 「動詞句」

his mother ヒズ・マザー n. 母親を 「目的語」

as long as アズ・ロング・アズ conj. (時) 〜する限り 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

able. エイブル adj. 出来る 「補語」

いろいろ考えた結果、僕の収入では母さんに与えられない快適な生活を、養老院に入ること
とで母さんは手に入れられるだろうという結論に至った。

After anxious consideration I had reached the conclusion that, by entering a home, the old lady would have comforts that my means didn't permit me to provide for her.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

After anxious consideration アフター・アンクシャス・コンシタレーション adv. 心配事を考慮すると 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

had reached ハット・リーチト 1 単過・完了形(reach)v.t 〜に達した 「動詞句」

the conclusion ザ・コンクルージョン n. 結論 「目的語」

that, ザット conj. (同格) 〜という 「形容詞節」

by entering a home, バイ・エンタリング・ア・ホーム

adv. (手段) 老人ホームに入ること 「副詞句」

Part 2 第2部

the old lady スィ・オールド・レディ n. 母さんは 「主語」

would have ウット・ハヴ 3 単現・推量(would+不定詞 have)

v.t 得るだろう 「動詞句」

comforts コンフォット n. 快適さ、安楽 「目的語」

that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」

my means マイ・ミーンズ pl.n 僕の収入が 「主語」

didn't permit デイトント・パミット 3 複過・否定・時制の一致(permit)

v.t 許さない 「動詞句」

me ミー pron 僕に 「目的語」

to provide トゥ・プrouヴァイト 不定詞・me の動作

v.i 与える 「補語」

for her. フォー・ハー adv. 彼女に「間接目的語」

「皆さん」と、彼は付け加えた。「親愛なる検事殿がこの養老院に言及するために取られた態度に、私は大変驚きました」

"I am astounded, gentlemen," he added, "by the attitude taken up by my learned friend in referring to this Home.

《「主語」「動詞句」「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」, 《「副詞句」》

"I アイ pron 私は 「主語」

am astounded, アム・アスタウンデイト 1 単現・受動(astound)v.t びっくり仰天した 「動詞句」

gentlemen," ジェントルメン pl.n 皆さん 「呼びかけ」

he ヒー pron 彼は 「主語」

added, アデイト 3 単過 v.t 付け加えた 「動詞」

"by the attitude バイ・スィ・アティチュート adv. (動作主) 態度に 「副詞句」

taken up テイクン・アップ 過去分詞・受動(take up)adj. 取られた 「形容詞句」

by my learned friend バイ・マイ・ラーント・フレント

adv. 親愛なる検事殿が 「副詞句」

in referring イン・リファerring

adv. (目的) (to に) 言及するために 「副詞句」

to this Home. トゥ・スィス・ホム adv. この養老院に 「間接目的語」

Part 2 第2部

「実際には、養老院の優秀さの証拠が必要であれば、それらが国家機関によって推奨され、融資を受けていることを思い出せば十分です」

Surely if proof be needed of the excellence of such institutions, we need only remember that they are promoted and financed by a government department.

《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」》

Surely シュアリー adv. 確かに

「副詞」

if イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

proof プルフ n. 証拠が

「主語」

be needed ビー・ニードェィト 3 単現・受動(need)

v.t 必要とされる

「動詞句」

of the excellence オフ・ズィ・エクセランス adv. 優秀さを

「形容詞句」

of such institutions, オフ・サッチ・インスチューションズ

adj. そのような施設の、養老院の

「形容詞句」

we ウィー pron.pl 私たちは

「主語」

need only remember ニード・オンリー・リメンバー 1 複現・十分(need only+不定詞 remember)

v.t 思い出せば十分である

「動詞句」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

they ゼィ pron 養老院というものは

「主語」

are promoted and financed アー・プロモウティト・アント・ファイナンス 3 複現・受動(promote / finance)

v.t 奨励され、融資されている

「動詞句」

by a government department.” バイ・ア・ガヴァーンメント・デパートメント

adv. 国家の省庁により

「副詞句」

僕は彼が葬儀について言及しなかったことに気付いた。そしてこれは僕には不十分な弁論に思われた。

I noticed that he made no reference to the funeral, and this seemed to me a serious omission.

「主語」「動詞」「目的語」, and 「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

noticed ノチスト 1 単過 v.t 気付いた

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

made メイト 3 単過(make)v.t (行為を) した

「動詞」

no reference ノ・リフェランス n.(to ～への) 言及を～ない

「目的語」

to the funeral, トゥ・ザ・フューネラル adv. 葬儀への

「副詞句」

and アント conj. そして

this ズィス pron このことは

「主語」

Part 2 第2部

seemed シームトゝ 3 単過 v.i 思われた 「動詞」
 to me トゥ・ミー adv. 僕には 「間接目的語」
 a serious omission. ア・シリアス・オミッション n. ひどい怠慢 「補語」

しかし、彼の長話や、彼らは何日も何時間も延々と僕の魂を議論してきたことなどで、僕は自分の心がぼんやりして、全てが溶けて灰色がかった水のような霧になったと思った。

But, what with his long-windedness, the endless days and hours they had been discussing my “soul,” and the rest of it, I found that my mind had gone blurred; everything was dissolving into a grayish, watery haze.

But, 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

But, バット conj. しかし
 what with ファット・ウィズ prep (原因・理由) 〜のせいで 「副詞句」
 what with A and B 「A やら B やらで」
 his long-windedness, ヒズ・ロング・ワインデイトニス n. 彼の長話 「目的語」
 the endless days and hours ズィ・エントレス・デイズ・アント・アウズ
 adv. 何日も何時間も延々と 「副詞句」
 they ゼィ pron.pl 彼らが 「主語」
 had been discussing ハット・ビーン・ディスカシング 3 複過・完了形・進行形(discuss)
 v.t 議論していた 「動詞句」
 my “soul,” マイ・ソウル n. 僕の魂を 「目的語」
 and アント conj. そして
 the rest of it, ザ・レスト・オブ・イット n. その他なにもかも 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 found ファウント 1 単過(find)v.t 気付いた 「動詞」
 that ザット conj. 〜ということを 「目的語」
 my mind マイ・マインド n. 僕の心は 「主語」
 had gone ハット・ゴーン 3 単過・完了形(go)
 v.i (SV+過去分詞) (状態に) になった 「動詞句」
 blurred; ブラート adj. ぼんやりした 「補語」
 everything エヴリシング pron 全てが 「主語」
 was dissolving ワズ・テイゾルヴィング 3 単過・進行形(dissolve)
 v.i(into に) 溶けていった 「動詞句」
 into a grayish, watery haze. イントゥ・ア・ウォーター・ヘイズ
 adv. 灰色がかった水のような霧に 「補語」

Part 2 第2部

ちょっとした事が気になった；僕の審議がだらだら続いた終盤に、路上からアイスクリーム売りのブリキのラッパの短くかん高い音が言葉の流れを断ち切るのが聞こえた。

Only one incident stands out; toward the end, while my counsel rambled on, I heard the tin trumpet of an ice-cream vendor in the street, a small, shrill sound cutting across the flow of words.

Only オンリー adv. ～だけ 「副詞」
 one incident ワン・インシデント n. 小さな出来事が 「主語」
 stands out; スタンズ・アウト 3 単現 v.i 目立っていた 「動詞句」
 toward the end, トワード・ズィ・エンド adv. 終わりごろに 「副詞句」
 while ホワイ conj. ～している間に 「副詞節」
 my counsel マイ・カウンスル n. 僕の審議が 「主語」
 rambled on, ランブルド・オン 3 単過 v.i だらだらと続いていた 「動詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 the tin trumpet ザ・チン・トランペット n. ブリキのラッパが 「目的語」
 of an ice-cream vendor オフ・アン・アイスクリームヴァンダー
 adj. アイスクリーム売りの 「形容詞句」
 in the street, イン・ザ・ストリート adv. 路上で 「副詞句」
 a small, shrill sound ア・スモール・シュリル・サウンド n. 短くかん高い音を 「目的語」
 cutting カッティング 現在分詞・trumpet の動作 v.i 切る 「補語」
 across アクロス prep 横切って 「副詞句」
 the flow of words. ザ・フロー・オブ・ワーズ n. 言葉の流れを 「目的語」

それから大量の記憶が僕の頭の中を駆け抜けた——それはもはや僕のものではない。だがかつて僕にささやかだが確実な喜びを与えてくれた。夏の暖かい匂いや僕の好きな街や夕暮れの空やマリーのドレスと彼女の笑い声など過去の日常の記憶だ。

And then a rush of memories went through my mind—memories of a life which was mine no longer and had once provided me with the surest, humblest pleasures: warm smells of summer, my favorite streets, the sky at evening, Marie's dresses and her laugh.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」——「主語」
 And then アント・ゼン adv. それから 「副詞句」
 a rush of memories ア・ラッシュ・オブ・メモリーズ pl.n 大量の記憶が、記憶の突撃が 「主語」
 went ウェント 3 複過(go)v.i(through) 駆け抜けた、通り抜けた 「動詞」
 through my mind スルー・マイ・マインド adv. 僕の頭の中を 「間接目的語」
 —memories of a life メモリーズ・オブ・ア・ライフ pl.n 生活の記憶 「主語」
 which フィッチ pron (life:主語) ～する 「形容詞節」

Part 2 第2部

was ワズ 3 単過・時制の一致(=be)v.i ~である 「動詞」

mine マイン pron 僕のもの 「補語」

no longer ノ・ロンガー adv. もはや～でない 「副詞句」

and アンド conj. そして

had once provided ハット・ワンス・プ ロウアイデイト 3 単過・完了形(=provide)

v.t (with を) かつて与えてくれた 「動詞句」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

with ウイズ prep (包含) ~を含めて 「副詞句」

the surest, humblest pleasures: ザ・シュアレスト・ハムブルレスト・プレジャーズ

pl.n 確実に貧しい喜び 「目的語」

warm smells of summer, ウォーム・スメルズ・オブ・サマー

pl.n 夏の暖かい匂い 「目的語」

my favorite streets, マイ・フェイヴァリット・ストリート

pl.n 僕の好きな街 「目的語」

the sky at evening, ザ・スカイ・アット・イブニング n. 夕暮れの空 「目的語」

Marie's dresses マリーズ・ドレスィズ pl.n マリーのドレス 「目的語」

and アンド conj. そして

her laugh. ハー・ラフ n. 彼女の笑い声 「目的語」

ここで起きていることの無意味さは、僕の喉をつかむことのように思われた。僕は吐きそうになり、1つの考えしかなかった。これを終わらせて独房に戻りひたすら眠ることだ。

The futility of what was happening here seemed to take me by the throat. I felt like vomiting, and I had only one idea: to get it over, to go back to my cell, and sleep....and sleep. 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞」「目的語」

The futility ザ・フューチリティ n. 無意味さは、くだらなさ 「主語」

of オフ prep (所属) ~の 「形容詞句」

what ファット pron ~する事 「目的語」

was happening ワズ・ハプニング 3 単過・進行形・時制の一致(happen)

v.i 起こっている 「動詞句」

here ヒア adv. ここで 「副詞」

seemed シームト 3 単過・時制の一致 v.i ~のように思われる 「動詞」

to take トゥ・テイク 不定詞・futility の動作 v.t つかまえる 「補語」

me ミー pron 僕を 「目的語」

by the throat, バイ・ザ・スロート adv. 喉で 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

felt like vomiting, フェルト・ライク・ウォミテイング 1 単過・しそうになる(=feel like+現在分詞 vomit)

Part 2 第2部

v.i 吐きそうになった 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過(have)v.t 〜があった 「動詞」
 only one idea: オウソー・ワン・アイデア n. 1つの考えだけ 「目的語」
 to get it over, トゥ・ゲット・イット・オウヴァー 不定詞(get over)v.t それを終わらせること 「目的語」
 to go back to my cell, トゥ・ゲット・バック・トゥ・マイ・セル 不定詞(go back)v.i 独房に戻る 「目的語」
 and sleep ... and sleep. アント・スリープ・アント・スリープ 不定詞 v.i 眠り続ける 「動詞句」

僕の弁護人が最後の弁論をするのがかすかに聞こえた。

Dimly I heard my counsel making his last appeal.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Dimly デイムリー adv. ぼんやりと、かすかに 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞いた 「動詞」
 my counsel マイ・カンسل n. 僕の弁護人が 「目的語」
 making メイキング 現在分詞・counsel の動作(make)v.t (動作を) している 「補語」
 his last appeal. ヒズ・ラスト・アピール n. 最後の弁論を 「目的語」

「陪審員の皆さん、真面目で働き者の若者が一度自制心を失ったという悲劇だけで、皆さんはまさか死なせはしないでしょう」

“Gentlemen of the jury, surely you will not send to his death a decent, hard-working young man, because for one tragic moment he lost his self-control?”

《「呼びかけ」, 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞句」》

“Gentlemen of the jury, ジェントルメン・オブ・ザ・ジュアリー pl.n 陪審員の皆さん 「呼びかけ」
 surely シュアリー adv. 確かに、きっと、まさか 「副詞」
 you ユー pron.pl 皆さんは 「主語」
 will not send ウィル・ノット・セント 2 複未・意思・否定 v.t(to 〜の状態に) しないだろう 「動詞句」
 to his death トゥ・ヒズ・デス adv. (man の状態) 死に 「補語」
 a decent, hard-working young man, ア・デイスント・ハート・ワーキング・ヤング・マン
 n. 真面目で働き者の若者を 「目的語」
 because for ビ・コズ・フォー adv. 〜という理由で 「副詞句」
 one tragic moment ワン・トラジック・モメント n. 悲劇的な瞬間 「目的語」
 he ヒー pron (同格) 彼が〜するという 「形容詞節」
 lost ロスト 3 単過(loose)v.t 失った 「動詞」
 his self-control? ヒズ・セルフ・コントロール n. 自制心を 「目的語」

Part 2 第2部

「彼が背負う永遠の悔恨でさえも、まだ足りないと言うのか？」

Is he not sufficiently punished by the lifelong remorse that is to be his lot?

《「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」》

Is ...not sufficiently punished イズ ...ノット・サフィシエントリー・ハ° ニッシュト 3 単現・受動・否定・疑問文

(punish)v.t 十分に罰せられていいないのか?

「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

by the lifelong remorse バイ・ザ・ライフロング・リモース adv. (手段) 永遠の悔恨によって 「副詞句」

that サット pron (主語) ~する

「形容詞節」

is イズ 3 単現(be)v.i ~である

「動詞」

to be トゥ・ビー 不定詞 n. ~であること

「補語」

his lot? ヒズ・ロット n. 彼の宿命

「補語」

「私は自信をもって皆さんの評決を待ちます。最良の評決だけ。情状酌量を願います」

I confidently await your verdict, the only verdict possible—that of homicide with extenuating circumstances.”

《「主語」「副詞」「動詞」「目的語」》

I アイ pron 私は

「主語」

confidently コンフィデントリー adv. 自信を持って

「副詞」

await アウェイト 1 単現 v.t 待つ

「動詞」

your verdict, ユア・ヴァーディクト n. あなたの評決を

「目的語」

the only verdict possible スイ・オンリー・ヴァーディクト・ホ° シブル n. 最良の評決だけを

「目的語」

—that サット pron 評決を

「目的語」

of homicide オフ・ホ° サイト° adj. 殺人の

「形容詞句」

with extenuating circumstances.” ウイズ・エクステニュエイティング・サーカムスタンス

adv. 情状酌量した

「副詞句」

法廷は休憩に入り、弁護士は疲れ切った様子で着席した。

The court rose, and the lawyer sat down, looking thoroughly exhausted.

「主語」「動詞」,and「主語」「動詞句」「副詞句」

The court サ°・コート n. 裁判官と陪審員は

「主語」

rose, ロズ 3 複過(rise)v.i 立ち上がった、(法廷が) 散会した

「動詞」

→ 法廷が休廷に入ったことを表わす

sit シット v.i (法廷が) 開かれる、開廷する

and アント° conj. そして

the lawyer サ°・ローヤ n. 弁護士は

「主語」

sat down, サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 着席した

「動詞句」

Part 2 第2部

looking ルク^グ 現在分詞・様態(look)adv. への様子で 「副詞句」
 thoroughly サリー adv. まったく 「副詞」
 exhausted. イグザースティット^ド adj. 疲れ切った 「形容詞」

同僚が彼の所へやって来て、握手した。

Some of his colleagues came to him and shook his hand.

「主語」「動詞」「副詞句」 and 「動詞」「目的語」
 Some of his colleagues サム・オブ・ヒズ・コリーグズ^ズ pl.n 彼の同僚らが 「主語」
 came ケイム 3 複過(come)v.i やって来た 「動詞」
 to him トゥ・ヒム adv. 彼のところへ 「副詞句」
 and アンド^ド conj. そして
 shook シュック 3 複過(shake)v.t 振り動かした 「動詞」
 his hand. ヒズ・ハント^ド n. 彼の手を 「目的語」

「素晴らしい弁論だったよ、君！」と、彼らの1人が言うのが聞こえた。

“You put up a magnificent show, old man,” I heard one of them say.

《「主語」「動詞句」「目的語」, 「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 “You ユー pron 君は 「主語」
 put up プット・アップ 2 単過(put up)v.t (劇を) 上演した、演じた 「動詞句」
 a magnificent show, ア。マグニフィセント・ショウ n. 素晴らしい弁論 「目的語」
 old man,” オールド・マン n. ご老人 「呼びかけ」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート^ド 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 one of them ワン・オブ・ゼム pron 彼らの1人が 「目的語」
 say. セイ 不定詞・one の動作 v.t 言う 「補語」

ある弁護士は僕に認めさせようとさえした：「そうだろう？」僕は同意したが、本心ではなかった；疲れすぎていて、素晴らしいのかどうか判断できなかったのだ。

Another lawyer even called me to witness: “Fine, wasn’t it?” I agreed, but insincerely; I was far too tired to judge if it had been “fine” or otherwise.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」：《「問いかけ」》
 「主語」「動詞」, but 「副詞」; 「主語」「動詞」「補語」
 Another lawyer アナザー・ローヤー n. 一人の弁護士は 「主語」
 even イヴン adv. へさえ 「副詞」
 called ...to witness: コールト^ド ...トゥ・ウィットニス 3 単過(call O to+不定詞 witness)
 v.t O に認めさせようとした 「動詞句」

Part 2 第2部

call O to witness	「Oに証明してもらう、Oを証人として呼ぶ」	
me ミ pron 僕に		「目的語」
“Fine, ファイン adj. 素晴らしい		「問いかけ」
wasn't ワズント 3 単過・否定・疑問文・時制の一致(be)v.i	～じゃないか?	「動詞」
it? イット pron それは		「主語」
I アイ pron 僕は		「主語」
agreed, アグリード 1 単過 v.i	同意した	「動詞」
but バット conj. しかし		
insincerely; インシンシアリー adv. 本心ではなく、不誠実に		「副詞」
I アイ pron 僕は		「主語」
was ワズ 1 単過(be)v.i	～だった	「動詞」
far too tired ファー・トゥ・タイド adj. 疲れすぎた		「補語」
to judge トゥ・ジャッジ 不定詞(too) (結果) それで判断できない		「副詞句」
if イフ conj. ～かどうかということ		「目的語」
it イット pron それが		「主語」
had been ハット・ビーン 3 単過・完了形(be)v.i	～だった	「動詞句」
“fine” or otherwise. ファイン・オア・アザーワイズ		
adj. 素晴らしかそうでないか		「補語」

一方で、日が傾いてきて、暑さもそれ程ではなくなってきた。

Meanwhile the day was ending and the heat becoming less intense.

	「副詞」「主語」「動詞句」	and 「主語」「動詞」「補語」
Meanwhile ミンホワイ adv. 一方で		「副詞」
the day ザ・デイ n. 日は		「主語」
was ending ワズ・エンディング 3 単過・進行形(end)v.i	終わろうとしていた	「動詞句」
and アンド conj. そして		
the heat ザ・ヒート n. 暑さは		「主語」
becoming ビカミング 3 単過・変化・進行形(become)v.i	～になるところだ	「動詞」
less intense. レス・インテンス adj. あまり強烈でない		「補語」

通りから聞こえてきたいくつかの音によって、僕は夕暮れの冷気が既に流れ始めていたことに気付いた。

By some vague sounds that reached me from the street I knew that the cool of the evening had set in.

By バイ prep (理由) ～によって		「副詞句」
some vague sounds サム・ウェイグ・サウズ pl.n	いくつかのぼんやりした音	「目的語」

Part 2 第2部

that サット pron.pl(主語) ～する	「形容詞節」
reached リーチ 3 複過・時制の一致 v.i 届く	「動詞」
me ミー pron 僕のところに	「間接目的語」
from the street フロム・ザ・ストリート adv. 通りから	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
knew ニュー 1 単過(know)v.t 知った	「動詞」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
the cool ザ・クール n. 冷気が	「主語」
of the evening オフ・ズイ・イブニング adj. 夕暮れの	「形容詞句」
had set in. ハット・セット・イン 3 単過・完了形(set in) v.i (風が) 流れ始めていた	「動詞句」

みんな座って待った。そして待ち望んでいたものは、僕だけに関するものだった。

We all sat on, waiting. And what we all were waiting for really concerned nobody but me.

	「主語」「動詞句」「副詞」 And 「主語」「動詞」「目的語」
We all ウィー・オール pron.pl 僕たちは皆	「主語」
sat on, サット・オン 1 複過(sit on)v.i 座り続けていた	「動詞句」
waiting. ウェイティング 現在分詞・同時 v.i 待つ	「副詞」
And アント conj. そして	
what フワット pron ～するものは	「主語」
we all ウィー・オール pron.pl 僕たちが	「主語」
were waiting for ワー・ウェイティング・フォー 1 複過・進行形(wait for) v.t 待ち望んでいた	「動詞句」
really リアリー adv. とても、本当に	「副詞」
concerned コンサント 3 単過 v.t ～に関わる	「動詞」
nobody ノバディ pron 誰にも～ない	「目的語」
but me. バット・ミー adv. (除外) 僕以外は	「副詞句」

僕は法廷全体を見回した。それはまさしく最初の日のもまだった。

I looked round the courtroom. It was exactly as it had been on the first day.

	「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
looked ルクト 1 単過 v.i 見た	「動詞」
round the courtroom. ラウンド・ザ・コートルーム adv. 法廷全体を	「副詞句」
It イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった	「動詞」

Part 2 第2部

exactly イグザクトリー adv. まさしく	「副詞」
as アズ conj. (比較) ーのような	「補語」
it イット pron 法廷が	「主語」
had been ハット・ビーン 3 単過・完了形(he)v.i ーだった	「動詞」
on the first day. オン・ザ・ファースト・デイ adv. 最初の日に	「副詞句」

僕は、グレーの背広を着た新聞記者とあの機械仕掛けの女と目が合った。

I met the eyes of the journalist in gray and the robot woman.

I アイ pron 僕は	「主語」
met メット 1 単現・相互(meet)v.t 目が合った、目にとまった	「動詞」
the eyes スィ・アイズ pl(eye).n 目が	「目的語」
of オフ prep (所有) ーの	「形容詞句」
the journalist ザ・ジャーナリスト n. 新聞記者	「目的語」
in gray イン・グレイ adv. (服装) グレーの背広の	「副詞句」
and アンド conj. そして	
the robot woman. ザ・ロボット・ウーマン n. 機械仕掛けの女	「目的語」

このことで、僕は裁判の間中、一度もマリーの視線を探そうとしなかったことに気付いた。

This reminded me that not once during the whole hearing had I tried to catch Marie's eye.

This スィズ pron これは	「主語」
reminded リマインデイト 3 単過(remind)v.t (SVO-1 O-2) O1 に O2 を気付かせた	「動詞」
me を主語として翻訳する	
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
that ザット conj. ーということに	「直接目的語」
not once ノット・ワンス adv. (強調) 1 度もーない	「副詞句」
during the whole hearing トゥアリンク・ザ・ホール・ヒアリング	
adv. 裁判全体を通して	「副詞句」
had ...tried to catch ハット...トライト・トゥ・キャッチ 1 単過・完了形・試行・倒置(try to+不定詞 catch)	
v.t ーを捕らえようとしなかった	「動詞句」
文の先頭が「副詞句」なので、主語と動詞が倒置している	
I アイ pron 僕は	「主語」
Marie's eye. マリーズ・アイ n. マリーの視線を	「目的語」

Part 2 第2部

それは彼女を忘れていたと言う事ではない；僕は気を取られていただけだ。

It wasn't that I'd forgotten her; only I was too preoccupied.

「主語」「動詞句」「補語」；「副詞」「主語」「動詞」「補語」

It イット pron それは

「主語」

wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～ではない

「動詞句」

that ザット conj. ～ということ

「補語」

I アイ pron 私は

「主語」

'd forgotten ハット・フォゴトン 1 単過・完了形(forget)v.t 忘れていた

「動詞句」

her; ハー pron 彼女を

「目的語」

only オンリー adv. ただ～

「副詞」

I アイ pron 私は

「主語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

too preoccupied. トゥー・プリキユハイト adj. 上の空の、心を奪われた

「補語」

僕は、今度は、セレステとレーモンの中に着席しているマリーを見た。

I saw her now, seated between Céleste and Raymond.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞」「目的語」

I アイ pron 私は

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t 見た、見えた

「動詞」

her ハー pron 彼女を

「目的語」

now, ナウ adv. 今度は

「副詞」

seated シーテイト 過去分詞(seat)adj. 着席した

「形容詞句」

between ビトウィーン prep(場所) ～の間に

「副詞句」

Céleste セステ n. セレステ

「目的語」

and アント conj. そして

Raymond. レモン n. レーモン

「目的語」

彼女は、まるで「いよいよね」と言うように、手で小さく合図をした。彼女は微笑んでいたが、僕は彼女はむしろ不安だったのではないかと思う。

She gave me a little wave of her hand, as if to say, "At last!" She was smiling, but I could tell that she was rather anxious.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

「主語」「動詞句」,but 「主語」「動詞句」「目的語」

She シー pron 彼女は

「主語」

gave ゲイヴ 3 単過(give)v.t 与えた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

a little wave ア・リトル・ウェイヴ n. 小さい合図を

「直接目的語」

Part 2 第2部

of her hand, オフ・ハー・ハント adv. (根源) 手から	「副詞句」
as if to+不定詞 アズ・イフ conj. まるで～するように	「副詞節」
to say, トゥ・セイ 不定詞 v.t 言う	「動詞句」
“At last!” アット・アースト adv. ついに、いよいよ！	「副詞句」
She シー pron 彼女は	「主語」
was smiling, ワズ・スマイリング 3 単過・進行形(smile)v.i 微笑んでいた	「動詞句」
but バット conj. しかし	
I アイ pron 僕は	「主語」
could tell クット・テル 1 単過・推量(can+不定詞 tell)v.t 言えるだろう	「動詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
she シー pron 彼女は	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
rather anxious. ラーザー・アネクシャス adj. むしろ不安な	「補語」

しかし僕の心が石になったように思われて、彼女の微笑みに応答する事さえできなかった。

But my heart seemed turned to stone, and I couldn't even return her smile.

But 「主語」「動詞」「補語」,and 「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし	
my heart マイ・ハート n. 僕の心が	「主語」
seemed シームト 3 単過 v.i(+補語・過去分詞) ～したように思われた	「動詞」
turned タント 過去分詞(turn)adj. ～になった	「補語」
to stone, トゥ・ストーン adv. 石に	「間接目的語」
and アント conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
couldn't even return クント・イーゲン・リターン 1 単過・可能・否定(can+不定詞)v.t に応じることさえできなかった	「動詞句」
her smile. ハー・スマイル n. 彼女の微笑みに	「目的語」

裁判官が裁判官席へ戻り、陪審員に対して、早口で、一連の質問が読み上げられた。

The judges came back to their seats. Someone read out to the jury, very rapidly, a string of questions.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」

The judges ザ・ジャッジイズ pl(judge).n 裁判官が	「主語」
came back クム・バック 3 複過(come back)v.i 戻って来た	「動詞句」
to their seats. トゥ・ゼア・シート adv. 裁判官席に	「間接目的語」
Someone サムワン pron 誰かが	「主語」

Part 2 第2部

受動態に翻訳する

read out レッド・アウト 3 単過(read out)v.t 読み上げた	「動詞句」
to the jury, トゥ・ザ・ジュアリー adv. 陪審員に対して	「間接目的語」
very rapidly, ヴェリー・ラピッドリー adv. 早口で	「副詞句」
a string of questions. ア・ストリング・オブ・クエスチョンズ n. 一連の質問を	「直接目的語」

僕はあちこちで単語を捕らえた。「殺人、 予謀、 挑発、 情状酌量」

I caught a word here and there. “Murder of malice aforethought ... Provocation ... Extenuating circumstances.”	「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 《「目的語」》
I アイ pron 僕は	「主語」
caught コト 1 単過(catch)v.t 捉えた	「動詞」
a word ア・ワード n. 単語を	「目的語」
here and there. ヒア・アント・セア adv. あちこちで	「副詞句」
“Murder マーダー n. 殺人	「目的語」
of malice オフ・マリス adj. 敵意のある	「形容詞句」
aforethought ... アフォアソート n. 事前の考慮、予謀	「目的語」
Provocation ... フロウ・オケイション n. 挑発	「目的語」
Extenuating エクステニュエーティング adj. 酌量すべき	「形容詞」
circumstances.” サーカムスタンス pl.n 事情	「目的語」

陪審員は退廷した。僕は前に待たされたあの小さい部屋に連れて行かれた。

The jury went out, and I was taken to the little room where I had already waited.	「主語」「動詞句」, and 「主語」「動詞句」「間接目的語」
The jury ザ・ジュアリー n. 陪審員は	「主語」
went out, ウェント・アウト 3 単過(go out)v.i 退廷した、出て行った	「動詞句」
and アント conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
was taken ワズ・テイクン 1 単過・受動(take)v.t(toへ) 連れて行かれた	「動詞句」
to the little room トゥ・ザ・リトル・ルーム adv. 小さな部屋へ	「間接目的語」
where ウェア adv. (場所)へする	「形容詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
had already waited. ハット・オールデ・イ・ウェイト 1 単過・完了形(wait)	
v.i 前に待っていたことがある	「動詞句」

Part 2 第2部

弁護士が面会に来た；彼はひどく饒舌で、かつてないほどの思いやりと信頼を示した。

My lawyer came to see me; he was very talkative and showed more cordiality and confidence than ever before.

「主語」「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞」「補語」and「動詞」「目的語」「副詞句」
 My lawyer マイ・ローヤ n. 僕の弁護士が 「主語」
 came to see ケイム・トゥ・シー 3 単過・しに来る(come to+不定詞 see)
 v.t 会いに来た、面会に来た 「動詞句」
 me; ミ pron 僕に 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 very talkative ヴェリー・トーカーティヴ adj. とても饒舌な 「補語」
 and アンド conj. そして
 showed ショウト 3 単過 v.t 見せた、示した 「動詞」
 more cordiality and confidence モア・コージ・アリティ・アント・コンフィデンス
 n. より多くの思いやりと信頼 「目的語」
 than ever before. ザン・エヴァー・ビフォー adv. (比較) 今までになく 「副詞句」

彼は僕に万事うまく運んで、僕は数年の懲役または禁錮刑で済むだろうと保証した。

He assured me that all would go well and I'd get off with a few years' imprisonment or transportation.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 assured アシュアード 3 単過 v.t 保証した 「動詞」
 me ミ pron 僕に 「間接目的語」
 that ザット conj. 〜ということを 「直接目的語」
 all オール pron 全ては 「主語」
 would go ウット・ゴウ 3 単現・推量(would+不定詞 go)v.i 進行するだろう 「動詞句」
 well ウェル adv. うまく 「副詞」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd get off ウット・ゲット・オフ 1 単現・推量(would+不定詞 get off)
 v.i 〜で済むだろう 「動詞句」
 with a few years' imprisonment ウイズ・ア・フュー・イヤーズ・インプリズンメント
 adv. 懲役数年 「補語」
 or オア conj. または
 transportation. トランスポートेशन n. (裁判) 禁固刑 「補語」

Part 2 第2部

僕は彼に、判決を破棄するチャンスはあるのかと尋ねた。

I asked him what were the chances of getting the sentence quashed.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

asked アスクト 1 単過 v.t 尋ねた

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

what ファット pron (主語) 何が～であるかということ

「直接目的語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

the chances ザ・チャンス pl.n チャンス

「補語」

of getting オフ・ゲッティング 現在分詞・目的(get)

adv. (～の状態に) するための

「副詞句」

the sentence ザ・センテンス n. 判決を

「目的語」

quashed. クワッシュト adj. 無効な、破棄された

「補語」

彼はそのチャンスは無いと答えた。それは陪審員の心証を損ねるので、法律のどんな事柄も示さなかった。

He said there was no chance of that. He had not raised any point of law, as this was apt to prejudice the jury.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

He ヒー pron 彼は

「主語」

said セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

n. ～ということ

「目的語」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ～がある

「動詞句」

no chance of that. ノウ・チャンス・オブ・ザット n. そのチャンスは～ない

「主語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

had not raised ハット・ノット・レイズト 3 単過・完了形・否定(raise)v.t あげなかった

「動詞句」

any point of law, エニー・ポイント・オブ・ロー n. 法律のどんな事柄も

「目的語」

as アズ conj. (理由) ～なので

「副詞節」

this ズィス pron これは、破棄することは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

apt to prejudice アプト・トゥ・プレジューデイス adj. ～を害する傾向がある

「補語」

the jury. ザ・ジュリー n. 陪審員を

「目的語」

Part 2 第2部

それに、技術論を別にすれば、判決を破棄させることは困難である。

And it was difficult to get a judgment quashed except on technical grounds.

And 「動詞」「補語」「主語」

And アント conj. そして

it イット pron 仮の主語（真の主語は to get 以降）

was ワズ 3 単過・時制の一致(=be)v.i ~である

「動詞」

difficult ディフィカルト adj. 困難な

「補語」

to get トゥ・ゲット 不定詞 n. ~を得ることは

「主語」

a judgment quashed ア・ジャッジメント・クワッシュト n. 判決の破棄を

「目的語」

except イクセプト prep ~以外は

「副詞句」

on technical grounds. オン・テクニカル・グラウンド adv. 技術分野で

「副詞句」

僕は彼の意見を理解して同意した。冷静に考えて、僕は彼の意見を受け入れた。

I saw his point, and agreed. Looking at the matter dispassionately, I shared his view.

「主語」「動詞」「目的語」,and「動詞」 | 「副詞句」,「主語」「動詞」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

saw ソー 1 単過(see)v.t 理解した

「動詞」

his point, ヒズ・ポイント n. 彼の意見を

「目的語」

and アント conj. そして

agreed. アグリード 1 単過 v.t 同意した

「動詞」

Looking ルキンク 現在分詞・手段(look)v.i 見ると

「副詞句」

at the matter アット・ザ・マター adv. 問題について

「間接目的語」

dispassionately, ディスパッショントリー adv. 冷静に

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

shared シェアト 1 単過 v.t 共有した

「動詞」

his view. ヒズ・ビュー n. 彼の意見を

「目的語」

そうでなければ、山ほどの訴訟が発生するだろう。

Otherwise there would be no end to litigation.

「副詞」「動詞句」「主語」

Otherwise アサーワイズ conj. もしそうでなければ

「副詞」

there would be ゼア・ウット・ビー 3 単現・存在・推量(there be)v.i ~があるだろう

「動詞句」

no end to ノウ・エンド・トゥ prep 多数の~

「主語」

litigation. リチゲイション n. 訴訟

「目的語」

Part 2 第2部

「いずれにしても」と、弁護士が言った。「普通の方法で上訴することは出来ます。しかし、私は有利な判決がでると確信しています」

“In any case,” the lawyer said, “you can appeal in the ordinary way. But I’m convinced the verdict will be favorable.”

《「副詞句」》, 「主語」「動詞」,

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | But 「主語」「動詞」「補語」》

“In any case,” イン・エー・ケイス adv. いずれにしても 「副詞句」
 the lawyer サ・ローヤ n. 弁護士が 「主語」
 said, セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 “you ユー pron あなたは 「主語」
 can appeal キャン・アピール 2 単現・可能(can+不定詞)v.t 上訴することが出来る 「動詞句」
 in the ordinary way. イン・ズィ・オーデ・イナリー・ウェイ adv. (手段) 通常の方法で 「副詞句」
 But バット conj. しかし
 I アイ pron 私は 「主語」
 ’m アム 1 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
 convinced コンヴィンスト adj.(that 〜を) 確信した 「補語」
 the verdict サ・ヴァーディクト n. 判決は〜ということを 「目的語」
 will be ウィル・ビー 3 単未・変化・推量(be)v.i 〜になるだろう 「動詞句」
 favorable.” フェイヴァラブル adj. 有利な 「補語」

僕たちはかなり長い間、おそらくたつぷり 45 分は待った。その時、ベルが鳴った。

We waited for quite a while, a good three quarters of an hour, I should say. Then a bell rang.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「主語」「動詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞」

We ウィー pron 僕たちは 「主語」
 waited ウェティット 1 複過 v.i 待った 「動詞」
 for quite a while, フォー・クワイ・ア・ホワイ adv. かなりの時間 「副詞句」
 a good three quarters of an hour, ア・グット・スリー・クォータース・オブ・アン・アワー
 adv. たつぷり 45 分 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 should say. ショット・セイ 1 単現・可能性(should+不定詞)v.t 言えるだろう 「動詞句」
 Then セン adv. そこで、その時 「副詞」
 a bell ア・ベル n. ベルが 「主語」
 rang. ラング 3 単過(ring)v.i 鳴った 「動詞」

Part 2 第2部

弁護士は僕を残していく前に言った：「陪審長が回答を読み上げてから、あなたが呼ばれて、判決を聞くことになります」

My lawyer left me, saying: “The foreman of the jury will read out the answers. You will be called on after that to hear the judgment.”

「主語」「動詞」「目的語」「副詞」:

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」》

My lawyer マイ・ローヤー n. 弁護士は 「主語」
 left レフト 3 単過(leave)v.t 〜から離れた、去った 「動詞」
 me, ミー pron 僕 「目的語」
 saying: セイイング 現在分詞・同時(say)adv. 〜と言いながら 「副詞」
 “The foreman ザ・フォアマン n. 〜の長が 「主語」
 of the jury オブ・ザ・ジュアリー adj. 陪審の 「形容詞句」
 will read out ウィル・リート・アウト 3 単未・予定(will+不定詞 read out)v.t 読み上げる 「動詞句」
 the answers. スイ・アンサーズ pl.n 回答を 「目的語」
 You ユー pron あなたは 「主語」
 will be called on ウィル・ビー・コールト・オン 2 単未・受動・予定(will+不定詞・受動 call on)
 v.t 呼ばれる 「動詞句」
 call on コール・オン v.t (人) に前に来るように命じる
 after that アフター・ザット adv. その後で 「副詞句」
 to hear トゥ・ヒア 不定詞・結果 adv. そして聞く 「副詞句」
 the judgment.” ザ・ジャッジメント n. 判決を 「目的語」

ドアがいくつかバタンと閉まった。人々が階段を駆け下りる音が聞こえたが、それが近いのか遠いのかは分からなかった。

Some doors banged. I heard people hurrying down flights of steps, but couldn't tell whether they were near by or distant.

「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」「補語」,but 「動詞句」「目的語」

Some doors サム・ドアーズ pl.n いくつかのドアが 「主語」
 banged. バンゲト 3 複過(bang)v.i バタンと閉まった 「動詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 people ピープル pron.pl 人々が 「目的語」
 hurrying down ハイキング・ダウン 現在分詞・people の動作(hurry down)v.t 駆け降りる 「補語」
 flights of steps, フライツ・オブ・ステップス pl.n 階段を 「目的語」
 but バット conj. しかし
 couldn't tell クント・テル 1 単過・可能・否定(can+不定詞 tell)v.t 分からない 「動詞句」

Part 2 第2部

whether ウェザー conj. ～かどうかということ	「目的語」
they ゼイ pron.pl それらは、彼らは	「主語」
were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
near by or distant. ニア・バイ・オア・ディスタント adv. 近いのか遠いのか	「補語」

その時、法廷内でモゾモゾと喋る声が漏れ聞こえた。

Then I heard a voice droning away in the courtroom.

	「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
Then セン adv. その時	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた	「動詞」
a voice ア・ヴォイス n. 声が	「目的語」
droning away ドロウニング・アウェイ 現在分詞・voice の動作(drone away)	
v.i 低い声でだらだらしゃべる	「補語」
in the courtroom. イン・ザ・コートルーム adv. 法廷内で	「副詞句」

またベルが鳴り、被告人席に戻ると、法廷の沈黙が僕を包み込み、その沈黙と共に奇妙な感情が沸き上がった。その時、あの若い記者が初めて目をそらしているのに気づいた。

When the bell rang again and I stepped back into the dock, the silence of the courtroom closed in round me, and with the silence came a queer sensation when I noticed that, for the first time, the young journalist kept his eyes averted.

	「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, and 「副詞句」「動詞」「主語」
when 「主語」「動詞」「目的語」	
When ホエン conj. ～する時	「副詞節」
the bell ザ・ベル n. ベルが	「主語」
rang ラング 3 単過(ring)v.i 鳴った	「動詞」
again アゲン adv. また	「副詞」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕が	「主語」
stepped back ステップト・バック 1 単過(step back)v.i 後ずさりした、後退した	「動詞句」
into the dock, イントゥ・ザ・ドック adv. 被告人席に	「副詞句」
the silence ザ・サイレンス n. 沈黙が	「主語」
of the courtroom オフ・ザ・コートルーム adj. 法廷の	「形容詞句」
closed in クロスト・イン 3 単過(close in)v.i 忍び寄って来た	「動詞句」
round me, ラウンド・ミー adv. 僕を取り巻くように	「副詞句」
and アンド conj. そして	

Part 2 第2部

with the silence ウイズ・ザ・サイレンス adv. 沈黙と共に	「副詞句」
came ケム 3 単過(come)v.i やって来た	「動詞」
a queer sensation ア・クイア・センセーション n. 奇妙な感情が	「主語」
when ホエン conj. その時～する	
I アイ pron 僕は	「主語」
noticed ノチスト 1 単過 v.t 気付いた	「動詞」
that, ザット conj. ～ということ	「目的語」
for the first time, フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 始めて	「副詞句」
the young journalist ザ・ヤング・ジャーナリスト n. あの若い記者が	「主語」
kept ケプト 3 単過(keep)v.t ～のままにした	「動詞」
his eyes ヒズ・アイズ pl.n 目を	「目的語」
averted. アヴァーテイト 過去分詞(avert)adj. そむけた、そらした	「補語」

僕はマリーの方向を見なかった。

<u>I didn't look in Marie's direction.</u>	「主語」「動詞句」「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
didn't look デイット・ント・ルック 1 単過・否定 v.i(in ～のほうを) 見なかった	「動詞句」
in Marie's direction. イン・マリーズ・ディレクション adv. マリーのほうを	「間接目的語」

実際には僕には見ている時間は無かった。なぜなら、裁判長がもうすでに宣言を読み始めていて、その趣旨は、僕はフランス国民の名において公共の広場で首を切断されるという内容だったからだ。

<u>In fact, I had no time to look, as the presiding judge had already started pronouncing a rigmarole to the effect that "in the name of the French people" I was to be decapitated in some public place.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「副詞節」
In fact, イン・ファクト adv. 実際には	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t ～があった	「動詞」
no time ノウ・タイム n. 時間が～ない	「目的語」
to look, トゥ・ルック 不定詞・目的 adj. 見るための	「形容詞句」
as アズ conj. (理由) ～なので	「副詞節」
the presiding judge ザ・プレジディング・ジャッジ n. 裁判長が	「主語」
had already started ハット・オールディ・スターテイト 3 単過・完了形(start) v.t もう始めていた	「動詞句」
pronouncing プロナンシング 現在分詞 n. 読み上げを、宣言を	「目的語」
a rigmarole ア・リグマロウル n. 長文を	「目的語」

Part 2 第2部

to the effect that トゥ・ズィ・イフェクト・ザット

adj. ～という趣旨の

「形容詞句」

“in the name of the French people” イン・ザ・ネーム・オブ・ザ・フレンチ・ピープル

adv. フランス国民の名において

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

was to be decapitated ワズ・トゥ・ビー・デカピテイット 1 単過・予定・時制の一致

(be to+不定詞・受動 decapitate)v.t 首を切断されることになっている 「動詞句」

in some public place. イン・サム・パブリック・プレイス

adv. 公共の広場において

「副詞句」

その時、僕はその場にいた人々の顔に現れた表情を理解できた気がした；それは最も尊敬すべき同情の表情だった。警官も僕をととても優しく扱ってくれた。

It seemed to me then that I could interpret the look on the faces of those present; it was one of almost respectful sympathy. The policemen, too, handled me very gently.

「動詞」「間接目的語」「副詞」「主語」；「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

It イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）

seemed シームト 3 単過 v.i ～に思われた

「動詞」

to me トゥ・ミー adv. 僕には

「間接目的語」

then ゼン adv. その時

「副詞」

that ザット conj. ～ということが

「主語」

I アイ pron 僕は

「主語」

could interpret クット・インタープリット 1 単過・可能(can+不定詞 interpret)

v.t 理解できた

「動詞句」

the look ザ・ルック n. 表情を

「目的語」

on the faces of those present; オン・ザ・フェイス・オブ・ゾウス・プレゼント

adv. その場にいた人々の顔に現れた

「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

one of almost respectful sympathy. ワン・オブ・モウスト・リスパクトフル・シンパシー

pron 最も尊敬すべき同情の表情

「補語」

The policemen, too, ザ・ポリスマン・トゥ n. 警官も

「主語」

handled ハントル 3 単過 v.t 扱った

「動詞」

me ミー pron 僕を

「目的語」

very gently. ヴェリー・ジェントリー adv. ととても優しく

「副詞句」

Part 2 第2部

弁護士が僕の手首に手を置いた。僕は完全に思考を停止していた。

The lawyer placed his hand on my wrist. I had stopped thinking altogether.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」

The lawyer ザ・ローヤー n. 弁護士が 「主語」
 placed プレイスト 3 単過 v.t 置いた 「動詞」
 his hand ヒズ・ハント n. 彼の手を 「目的語」
 on my wrist. オン・マイ・リスト adv. (場所) 僕の手首に 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had stopped ハット・ストップト 1 単過・完了形(stop)v.t 停止していた 「動詞句」
 thinking シンキング n. 思考を 「目的語」
 altogether. オールトゲザー adv. 完全に 「副詞」

裁判長が他に言うことはないかと尋ねる声が聞こえた。少し考えて、「ありません」と答えた。そこで、警官は僕を連れ出した。

I heard the Judge's voice asking if I had anything more to say. After thinking for a moment, I answered, "No." Then the policemen led me out.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「応答」

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 heard ハート 1 単過・知覚動詞(hear)v.t 聞こえた 「動詞」
 the Judge's voice ザ・ジャジズ・ヴォイス n. 裁判長の声が 「目的語」
 asking アスキング 現在分詞・voice の動作 v.t 尋ねる 「補語」
 if イフ conj. ～かどうかということ 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t ～がある 「動詞」
 anything more エニシング・モア pron 他に何か 「目的語」
 to say. トゥ・セイ 不定詞・目的 adj. 言うべき 「形容詞句」
 After thinking for a moment, アフター・シンキング・フォー・ア・モメント adv. 少し考えてから 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 answered, アンサート 1 単過 v.t 答えた 「動詞」
 "No." ノウ adv. ありません 「応答」
 Then セン adv. それで 「副詞」
 the policemen ザ・ポリスマン pl.n 警官が 「主語」
 led ...out. レット...アウト 3 複過(lead out)v.t 連れ出した 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」

Part 2 第2部

V

これで3回目になるが、僕は教誨師（きょうかいし）に会うのを断ったところだ。

I HAVE just refused, for the third time, to see the prison chaplain.

「主語」「動詞句」、「副詞句」、「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

HAVE just refused, ハヴ・ジャスト・リフューズト 1 単現・完了形(refuse)v.t(+to+不定詞)

v.t へするのを断ったところだ

「動詞句」

for the third time, フォー・ザ・サード・タイム adv. これで3回目になる

「副詞句」

to see トゥ・シー 不定詞 n. へと会うことを

「目的語」

the prison chaplain. ザ・プリズン・チャプリン n. (刑務所の) 教誨師に

「目的語」

教誨師（きょうかいし）

刑務所において、服役中の囚人に対して、過ちを悔い改め徳性を養うための道を説く者。多くは宗教家がこれに任ぜられる。

彼に話すことは無いし、話したくも無い。いずれ近いうちに会うことになるだろう。

I have nothing to say to him, don't feel like talking—and shall be seeing him quite soon enough, anyway.

「主語」「動詞」「目的語」、「動詞句」「目的語」---and「動詞句」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

have ハヴ 1 単現 v.t へがある

「動詞」

nothing ナシグ pron 何もへない

「目的語」

to say to him, トゥ・セイ・トゥ・ヒム 不定詞・目的 adj. 彼に話すべき

「形容詞句」

don't feel like ドント・フィール・ライク 1 単現・意欲・否定(feel like)

v.t(+現在分詞) へしたくない

「動詞句」

talking— トーキング 現在分詞 n. 会話を

「目的語」

and アンド conj. そして

shall be seeing シャル・ビー・シーイング 1 単未・推量(shall+不定詞・進行形)

v.t 会うことになるだろう

「動詞句」

him ヒム pron 彼に

「目的語」

quite soon enough, クワイ・スーン・イフ adv. 近いうちに

「副詞句」

anyway. エニウェイ adv. いずれにせよ

「副詞」

Part 2 第2部

今、僕にとって関心があることは、システムを出し抜くための問題、すなわち、不可避のシステムに抜け穴が存在するかどうかを知ることだけである。

The only thing that interests me now is the problem of circumventing the machine, learning if the inevitable admits a loophole.

「主語」「動詞」「補語」, 「補語」

The only thing ズィ・ウソリー・シング n. 唯一の物は 「主語」

that ザット pron (主語) ～する 「形容詞節」

interests インタレスト 3 単現 v.t 興味を抱かせる 「動詞」

me ミー pron 僕に 「目的語」

now ナウ adv. 今 「副詞」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

the problem ザ・プロブレム n. 問題 「補語」

of circumventing オフ・サーカムヴンテイング adj. (目的) 出し抜くための 「形容詞句」

the machine, ザ・マシーン n. 組織を 「目的語」

learning ラーニング 現在分詞(learn)n. ～を知ること 「補語」

if イフ conj. ～かどうかということ 「目的語」

the inevitable ズィ・イネヴァイタブル n. 不可避のシステムが 「主語」

admits アドミツ 3 単現 v.t 許す 「動詞」

a loophole. ア・ループ ホル n. 抜け穴を 「目的語」

僕は別の独房へ移された。この独房で仰向けに寝ていると、空が見える。そして他には何も見えない。

They have moved me to another cell. In this one, lying on my back, I can see the sky, and there is nothing else to see.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

,and 「動詞句」「主語」

They ゼイ pron 彼らは 「主語」

have moved ハヴ・ムーヴド 3 複現・完了形(move)v.t 移した 「動詞句」

me ミー pron 僕を 「目的語」

to another cell. トゥ・アナザー・セル adv. 別の独房へ 「副詞句」

In this one, イン・スィス・ワン adv. この独房で 「副詞句」

lying on my back, ライニング・オン・マイ・バック adv. 仰向けに寝て 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

can see キャン・シー 1 単現・可能(can+不定詞 see) v.t 見える 「動詞句」

the sky, ザ・スカイ n. 空 「目的語」

and アンド conj. そして

there is ゼア・リーズ 3 単現・存在(there be)v.i ～がある 「動詞句」

Part 2 第2部

nothing else ナシング・エルス pron 他に何も～ない 「主語」
to see. トゥ・シー adj. 見るための 「形容詞句」

昼が夜に移り変わるに連れて、ゆっくり変化する空の色を眺めて僕の 1 日が過ぎて行く。
僕は仰向けに寝そべり、頭の後ろに両手をあてがい、空を見上げ、ただ待つ。

All my time is spent in watching the slowly changing colors of the sky as day moves on to night. I put my hands behind my head, gaze up, and wait.

「主語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「動詞句」 and 「動詞」

All my time オール・マイ・タイム n. 僕の全ての時間は 「主語」

is spent イズ・スペント 3 単現・受動(spend)v.t 使われる 「動詞句」

in watching イン・ウォッチング adv. (手段) 眺めることで 「副詞句」

the slowly changing colors サ・スロウリー・チェインジング・カラーズ

n. ゆっくり変化する色を 「目的語」

of the sky, オフ・ザ・スカイ adj. 空の 「形容詞句」

as アズ conj. ～につれて 「副詞節」

day デイ n. 昼が 「主語」

moves on ムーヴズ・オン 3 単現(move on)

v.i(to に) 移り変わる 「動詞句」

to night. トゥ・ナイト adv. 夜に 「間接目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

put プット 1 単現 v.t 置く 「動詞」

my hands マイ・ハンズ pl.n 両手を 「目的語」

behind my head, ビ・ハインド・マイ・ヘッド adv. 頭の後ろに 「副詞句」

gaze up, ゲイズ・アップ 1 単現 v.i 見上げる 「動詞句」

and アンド conj. そして

wait. ウェイト 1 単現 v.i 待つ 「動詞」

僕は小窓から空を眺めて、悩んでいる；断頭台が落ちる寸前に非情のシステムから脱走して姿をくらました死刑囚の実例があるのではないかと、僕はいつも自問している。

This problem of a loophole obsesses me; I am always wondering if there have been cases of condemned prisoners' escaping from the implacable machinery of justice at the last moment, breaking through the police cordon, vanishing in the nick of time before the guillotine falls.

「主語」「動詞」「目的語」; 「主語」「動詞句」「目的語」

This problem ス・イス・プロブレム n. この問題は 「主語」

of a loophole オフ・ア・ループホール adj. 小穴の、小窓の 「形容詞句」

Part 2 第2部

obsesses オブセズ 3 単現 v.t 悩ませている	「動詞」
me; ミ pron 僕を	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
am always wondering アム・オールウェイズ・ワンダリング 1 単現・進行形(wonder)	
v.i いつも不思議に思っている、自問している	「動詞句」
if イフ conj. ～かどうかということ	「目的語」
there have been ゼア・ハヴ・ビーン 3 複現・完了形(there be)v.i ～があった	「動詞句」
cases ケイズ pl(case).n 実例が	「主語」
of condemned prisoners' escaping オブ・コンデムト・プリズナース・エスケイピング	
adj. 死刑囚の脱走の	「形容詞句」
from the implacable machinery of justice フロム・ズィ・インプラカブル・マシーナリー・オブ・ジ・ジャスティス	
adv. 非情のシステムから	「副詞句」
the machinery of law 司法機構	
at the last moment, アット・ザ・ラスト・モメント adv. 最後の瞬間に	「副詞句」
breaking ブレイキング 現在分詞・手段(break)	
adv.(through を) 突破して	「副詞句」
through the police cordon, スルー・ザ・ポリス・コードン	
adv. 警察の非常線を	「間接目的語」
vanishing ヴァニシング 現在分詞・結果(vanish)adv. 姿を消した	「副詞句」
in the nick of time イン・ザ・ニック・オブ・タイム adv. 間に合って	「副詞句」
before the guillotine falls. ビフォー・ザ・ギロチン・フォールズ	
adv. 断頭台が落ちる前に	「副詞節」

僕はしばしば公開処刑の記録文書にあまり注意を払っていなかったことで自分を責める。

Often and often I blame myself for not having given more attention to accounts of public executions.

Often and often オフン・アント・オフン adv. 時々、しばしば	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
blame myself ブレイム・マイセルフ 1 単現 v.pr 自分自身を責める	「動詞句」
for +現在分詞 adv. (理由) ～したことで	「副詞句」
not having given ノット・ハヴィング・ギブン 現在分詞・完了形・否定(give)	
v.t (時間を) 割り当てなかった	「動詞句」
more attention モア・アテンション n. もっと注意を	「直接目的語」
to accounts トゥ・アカウンツ adv. 記述に、文書に	「間接目的語」
of public executions. オブ・パブリック・エグゼキューション	
adj. 公開処刑の	「形容詞句」

Part 2 第2部

人は常にそういう問題に関心を抱くべきである。何が起こるか分からないのだから。

One should always take an interest in such matters. There's never any knowing what one may come to. 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 | 「動詞句」「主語」

One ワン pron 人は 「主語」

should always take シュット・オールウェイズ・テイク 3 単現・妥当(should+不定詞 take)

v.t (関心を) いつでも～を抱くべきである 「動詞句」

an interest アン・インタレスト n. 関心を 「直接目的語」

in such matters. イン・サッチ・マターズ adv. そのような問題には 「間接目的語」

There's never ゼアズ・ネヴァー 3 単現・否定(there be)v.i ～がない 「動詞句」

any knowing エニー・ノウイング n. どんな情報も 「主語」

what one ファット・ワン pron どんなものが～するという 「形容詞節」

may come to. メイ・カム・トゥ 3 単現・可能性(may+不定詞 come to)

v.t 起こるかもしれない 「動詞句」

他の人と同様に、僕も新聞で死刑執行の記事を読んだことがある。

Like everyone else I'd read descriptions of executions in the papers.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Like everyone else ライク・エヴリワン・エルス adv. 他の人と同様に 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

'd read ハット・レッド 1 単過・完了形(read)v.t 読んだことがある 「動詞句」

descriptions ディスクリプションズ pl.n 記事を 「目的語」

of executions オフ・エグゼキューションズ adj. 死刑執行の 「形容詞句」

in the papers. イン・ザ・ペーパーズ adv. 新聞で 「副詞句」

しかし、この問題を扱う専門書が絶対に存在するはずだ；ただ、僕はそれを調べることに関心を持たなかった。

But technical books dealing with this subject must certainly exist; only I'd never felt sufficiently interested to look them up.

But 「主語」「動詞句」；only 「主語」「動詞句」「補語」

But ハット conj. しかし

technical books テクニカル・ブックス pl.n 専門書籍は 「主語」

dealing with this subject デイリング・ウィズ・スィズ・サブジェクト

adj. この問題を扱う 「形容詞句」

must certainly exist; マスト・サートンリー・イグジスト 3 複現・必然(exist)

v.i 絶対に存在するはずだ 「動詞句」

Part 2 第2部

only オンリー conj. ただし

I アイ pron 僕が

「主語」

'd never felt ハット・ネヴァー・フェルト 1 単過・完了形・否定(feel)

v.i 感触を持ったことが無かった

「動詞句」

sufficiently interested サフィシャントリー・インタレストィド adj. 十分に関心を持った

「補語」

to look them up. トゥ・ルック・ゼム・アップ 不定詞・目的

adv. それらを調べ上げることに

「副詞句」

もしその本を読んでいたら、僕は脱出の話をみつけていたかも知れないのだ。

And in these books I might have found escape stories.

And 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

And アント conj. そして

in these books イン・ジーズ・ブックス adv. その本の中に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

might have found マイト・ハヴ・ファウンド 1 単過・完了形・推量(might+不定詞・完了形)

v.t 見つけていたかもしれない

「動詞句」

escape stories. エスケイプ・ストーリーズ pl.n 脱出の話を

「目的語」

きっと専門書は、ともかく 1 つの事例では歯車が停止したことがあり、避けられない出来事
 の連続の中で、1 度、たとえ 1 度だけとしても、偶然または幸運が好都合な役割を演じた
 ことを語っていただろう。

Surely they'd have told me that in one case, anyhow, the wheels had stopped; that once,
 if only once, in that inexorable march of events, chance or luck had played a happy part.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」; 「直接目的語」

Surely シュアリー adv. たしかに、きっと

「副詞」

They ゼイ pron (books の代用) 本は

「主語」

'd have told ウット・ハヴ・トゥット 3 複現・完了形・推量(tell)v.t 話していただろう

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

that ザット conj. ～ということを

「直接目的語」

in one case, イン・ワン・ケース adv. 1 つの事例で

「副詞句」

anyhow, エニーハウ adv. とにかく

「副詞」

the wheels ザ・フィールズ pl.n 歯車は、車輪は

「主語」

had stopped; ハット・ストップト 3 複過・完了形(stop)v.i 停止した

「動詞句」

that ザット conj. ～ということを

「直接目的語」

once, ワンス adv. 1 度

「副詞」

if only once, イフ・オンリー・ワンス adv. 1 度限りとしても

「副詞句」

Part 2 第2部

in that inexorable march イン・ザット・イネクサブル・マーチ

adv. あの容赦ない行進の中で

「副詞句」

of events, オフ・イヴェンツ adj. 事件の、出来事の

「形容詞句」

chance or luck チャンス・オア・ラック n. 偶然か幸運かが

「主語」

had played ハット・プレイト 3 単過・完了形(play)v.t 演じた

「動詞句」

a happy part. ア・ハピ―・パート n. 幸運な役割を

「目的語」

1 度だけ！ある意味、1 つでも実例があれば、僕は満足していただろう。

Just once! In a way I think that single instance would have satisfied me.

「感嘆」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Just once! ジャスト・ワンス adv. 1 度だけ！

「感嘆」

In a way イン・ナ・ウェイ adv. ある意味、ある程度は

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

think シンク 1 単現 v.t 思う

「動詞」

that ザット conj. ～ということ

「目的語」

single instance シングル・インスタンス n. 1 つの実例が

「主語」

would have satisfied ウット・ハヴ・サティスファイト 3 単現・完了形・推量

(would+不定詞・完了形 satisfy)v.t 満足させただろう

「動詞句」

me. ミ pron 僕を

「目的語」

その他の事は、僕の感情が処理できただろう。

My emotion would have done the rest.

「主語」「動詞句」「目的語」

My emotion マイ・イェウシヨン n. 僕の感情は

「主語」

would have done ウット・ハヴ・ダン 1 単現・完了形・推量((would+不定詞・完了形 do)

v.t やっただろう

「動詞句」

the rest. ザ・レスト n. 残りを

「目的語」

新聞はよく社会に対する借りについて述べる。それは、新聞によれば、借りた者が返さなければならないのだ。だが、その種の話は想像力に訴えない。

The papers often talk of “a debt owed to society”—a debt which, according to them, must be paid by the offender. But talk of that sort doesn’t touch the imagination.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」--「主語」 | But 「主語」「動詞句」「目的語」

The papers ザ・ペイパーズ pl.n 新聞は

「主語」

often オフン adv. よく、しばしば

「副詞」

talk トーク 3 複現 vi(of について) 言う

「動詞」

of “a debt オフ・ア・デット adv. 借りについて

「間接目的語」

Part 2 第2部

owed to society” オウト・トゥ・サイエティ adj. 社会に対して負った 「形容詞句」
 a debt ア・デット n. 借りは 「主語」
 which, フィッチ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 according to them, アコ・ディング・トゥ・セム adv. 新聞によれば 「副詞句」
 must be paid マスト・ベイ・ペイト 3 単現・受動・必要(must+不定詞・受動形)
 v.t 返されなければならない 「動詞句」
 by the offender. バイ・ズィ・オフエンダー
 adv. (動作主) 犯罪者、借主によって 「副詞句」
 But バット conj. しかし
 talk of that sort トーク・オブ・ザット・ソート n. その種の話は 「主語」
 doesn't touch ダズント・タッチ 3 単現・否定 v.t 触れない 「動詞句」
 the imagination. スィ・イマジネーション n. 想像力に 「目的語」

いや、僕にとって重要なことは疾走して残虐な儀式を打ち破る可能性だった。自由に向かう狂った暴走はともかく一瞬の希望、ばくち打ちの最後の一振りを僕に与えるだろう。

No, the one thing that counted for me was the possibility of making a dash for it and defeating their bloodthirsty rite; of a mad stampede to freedom that would anyhow give me a moment's hope, the gambler's last throw.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 No, ノ adv. いや 「副詞」
 the one thing ザ・ワン・シング n. ただ一つだけが 「主語」
 that ザット pron (主語) ～する 「形容詞節」
 counted カウンティト 3 単過・時制の一致(count)
 v.i 価値がある、重要である 「動詞」
 for me フォー・ミー adv. 僕にとって 「副詞句」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 the possibility ザ・ポジビリティ n. 可能性 「補語」
 of making オブ・メイキング 現在分詞・同格 adj. (動作を) ～する 「形容詞句」
 a dash for it ア・ダッシュ・フォー・イット n. それに向かう疾走を 「目的語」
 and アント conj. そして
 defeating ディフィエーティング 現在分詞・同格 adj. ～を打ち破る 「形容詞句」
 their bloodthirsty rite; ゼア・ブラット・サースティ・ライト n. 残虐な儀式を 「目的語」
 of a mad stampede オブ・ア・マッド・スタンピード
 adj. 狂った暴走の 「形容詞句」
 to freedom トゥ・フリーダム adv. 自由を求めて 「副詞句」
 that ザット pron それは 「主語」

Part 2 第2部

would anyhow give ウット・エニハウ・ギヴ 3 単現・推量(would+不定詞 give)

v.t ともかく与えるだろう

「動詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

a moment's hope, ア・モメント・ホプ n. 一瞬の希望を

「直接目的語」

the gambler's last throw. ザ・ギャンブラーズ・ラスト・スロー

n. ばくち打ちの最後のさいの目を

「直接目的語」

もちろん、得られるかもしれない「幸運」はどれも、街角で打ち倒されるか、背中を銃弾で狙い撃ちされることになるのだ。

Naturally, all that “hope” could come to was to be knocked down at the corner of a street or picked off by a bullet in my back.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 or 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Naturally, ナチュラルー adv. もちろん、当然

「副詞」

all オール pron 全ては

「主語」

that ザット conj. (同格) ～する

「形容詞節」

“hope” ホプ n. 希望が

「主語」

could come to クット・カム・トゥ 3 単現・可能性(could+不定詞 come to)

v.i 現れるかもしれない

「動詞句」

was to be knocked down リズ・トゥ・ビー・ノット・ダウン 3 単過・運命・時制の一致

(be to+不定詞(knock)・受動)v.t 打ち倒されることになる

「動詞句」

Be to+不定詞 (予定・運命)「～することになっている」

at the corner アット・ザ・コーナー adv. 角で

「副詞句」

of a street オフ・ア・ストリート adj. 通りの、街の

「形容詞句」

or オア conj. または

picked off ピット・オフ 3 単過・運命・時制の一致

(be to+不定詞(pick off)・受動)v.t 狙い撃ちされることになる

「動詞句」

by a bullet バイ・ア・ブレット adv. 銃弾 adv.senaka によって

「副詞句」

in my back. イン・マイ・バック adv. 背中を

「間接目的語」

だがどう考えても、この贅沢でさえ僕には許されない；僕は脱出不能のメカニズムに捕らえられている。

But, all things considered, even this luxury was forbidden me; I was caught in the rattrap irrevocably. But, 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」；「主語」「動詞句」「副詞句」

But, バット conj. しかし

all things+過去分詞 オール・シングズ pl.n (逆接) 全ての事が～したとしても

「副詞句」

considered, コンシダート 過去分詞・受動(consider)adj. 考慮された

「形容詞」

Part 2 第2部

even this luxury イヴン・スィス・ラグジュアリー n. この贅沢でさえ 「主語」
 was forbidden ワズ・フォービッドン 3 単過・受動・時制の一致(forbid)v.t 許されない 「動詞句」
 me; ミ pron 僕には 「間接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was caught ワズ・コト 1 単過・受動・時制の一致(catch)v.t 捕らえられている 「動詞句」
 in the rattrap イン・ザ・ラットラップ adv. ネズミ取り器の中に 「副詞句」
 irrevocably. イレヴ・オカブリー adv. 取り消し不能に 「副詞」

どれだけ考えても、この無慈悲な確実性を受け入れることは出来ないだろう。

Try as I might, I couldn't stomach this brutal certitude.

「動詞」「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 Try トライ 不定詞 v.t やってみる 「動詞」
 as I might, アズ・アイ・マイト conj. 出来るだけ 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't stomach クント・スタマック 1 単現・可能・否定・推量(could+不定詞 stomach)
 v.t 許せないだろう 「動詞句」
 this brutal certitude. スィス・ブルータル・セルチュート n. この無慈悲な確実性を 「目的語」

実際に考えてみると、あの判決が下された瞬間から、その根拠となった判決と出来事の
 絶え間ない連続との間には不均衡があった。

For really, when one came to think of it, there was a disproportion between the judgment
 on which it was based and the unalterable sequence of events starting from the moment
 when that judgment was delivered.

「副詞句」, 「動詞句」「主語」「副詞句」
 For really, フォー・リアリー adv. 実際には 「副詞句」
 when ホエン conj. ～すると 「副詞節」
 one ワン pron 人が 「主語」
 came to think ケム・トウ・シンク 3 単過・及ぶ(come to+不定詞 think)
 v.i 考えが及んだ、考えた 「動詞句」
 of it, オフ・イット adv. それについて 「間接目的語」
 there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～があった 「動詞句」
 a disproportion ア・ディスプロポーション n. 不均衡が 「主語」
 between ビトウウィーン prep. ～の間に 「副詞句」
 the judgment ザ・ジャジメント n. 判決 「目的語」
 on which it was based オン・フィッチ・イット・ワズ・ヘイスト
 adv. その根拠となった 「副詞句」
 and アンド conj. そして

Part 2 第2部

the unalterable sequence スゝイ・アンアルテラブル・シーケンス n. 不変の連続 「目的語」

of events オフ・イヴェンツ adj. 出来事の 「形容詞句」

starting from the moment スターティング・フロム・ザ・モメント

adj. あの瞬間から始まる 「形容詞句」

when ホエン conj. ～する時に 「副詞節」

that judgment ザット・ジャッジメント

n. あの判決が 「主語」

was delivered. ワズ・デリヴァート 3 単過・受動(deliver)

v.t 伝えられた、下された 「動詞句」

判決は午後 5 時ではなく、午後 8 時に読み上げられたという事実。判決は全く異なっていたかもしれないと言う事実。そしてそれは下着を取り替えるような人間によって作られ、「フランス国民」というような全く曖昧な存在の責任で決定された。さらに言えば、どうして「中国人やドイツ人に」ではないのか？これら全ての事実が、法廷の判決の厳粛さを奪っているように思われる。

The fact that the verdict was read out at eight P.M. rather than at five, the fact that it might have been quite different, that it was given by men who change their underclothes, and was credited to so vague an entity as the “French people”— for that matter, why not to the Chinese or the German people?—all these facts seemed to deprive the court’s decision of much of its gravity.

「主語」, 「主語」, 「主語」 --- 「主語」 「動詞句」 「目的語」

The fact ザ・ファクト n. 事実 「主語」

that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」

the verdict ザ・ヴァーディクト n. 判決は 「主語」

was read out ワズ・レッド・アウト 3 単過・受動(read out)

v.t 読み上げられた 「動詞句」

at eight P.M. アット・エイト・ピー・エム adv. 午後 8 時に 「副詞句」

rather than at five, ラーサー・ザン・アッチ・ファイヴ

adv. 5 時ではなく 「副詞句」

the fact ザ・ファクト n. 事実 「主語」

that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」

it イット pron (verdict の代用) それは 「主語」

might have been マイト・ハヴ・ビーン 3 単過・完了形・推量・変化(may+不定詞・完了形 be)

v.i ～になっていたかもしれない 「動詞句」

quite different, クワイ・ディファレント adj. 全く異なる 「補語」

that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」

Part 2 第2部

it	イット pron (verdict の代用) それは	「主語」
was given	ワズ・ギヴン 3 単過・受動(give)v.t 与えられた	「動詞句」
by men	バイ・メン adv. (動作主) 人々によって	「副詞句」
who	フー pron.pl (主語) ～する	「形容詞節」
change	チェンジ 3 複現 v.t 取り替える	「動詞」
their underclothes,	セア・アンダー・クロージズ	
pl.n	下着を	「目的語」
and	アンド conj. そして	
was credited	ワズ・クレジテッド 3 単過・受動(credit)	
v.t(to に)	よって製作されたと認められた	「動詞句」
to so vague an entity	トゥ・ソウ・ヴェイク・アン・エンチティ	
adv. (動作主)	全く曖昧な存在に	「副詞句」
as the “French people”	— アズ・ザ・フレンチ・ピープル	
adv.	「フランス国民」というような	「副詞句」
for that matter,	フォー・ザット・マター adv. さらに言えば	「副詞句」
why	ホイ adv. どうして	「副詞」
not to the Chinese or the German people?—	ノット・トゥ・ザ・チャイニーズ・オア・ザ・ジャーマン・ピープル	
adv. (動作主)	「中国人やドイツ人に」ではない	「副詞句」
all these facts	オール・ジーズ・ファクツ pl.n これらすべての事実は	「主語」
seemed to deprive	シームト・トゥ・ディプライヴ 3 複過・するようだ(seem to+不定詞)	
v.t	奪っているように見えた	「動詞句」
the court’s decision	ザ・コート・ディシジョン n. 法廷の判決を	「目的語」
of much of its gravity.	オブ・マッチ・オブ・イツ・グラヴィティ	
adj.	その厳粛さの大部分の	「形容詞句」

しかし僕は、判決が下された瞬間からその影響が、例えば僕が背中を押し付けて横たわっているこの壁の様に、説得力のある確実なものに変わった事を認識せざるを得なかった。

Yet I could but recognize that, from the moment the verdict was given, its effects became as cogent, as tangible, as, for example, this wall against which I was lying, pressing my back to it.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Yet イェット adv. まだ

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

could but recognize クッド・バット・コグナイズト 1 単過・不本意(can but+不定詞 recognize)

v.t 認識ざるを得なかった

「動詞句」

can but do 「～せざるを得ない、～できるだけだ」 can’t but do 「～せずにいられない」

can do nothing but 「～するより他にない」

Part 2 第2部

that, ザット conj. ～ということ	「目的語」
from the moment フロム・ザ・モメント adv.(時間・起点) その瞬間から	「副詞句」
the verdict was given, ザ・ヴァーディクト・ワズ・ギヴン	
adj. 判決が下された	「形容詞句」
its effects イッツ・イフェクツ pl.n その影響が	「主語」
became ビケム 3 複過・変化(become)v.i (状態) ～になった	「動詞」
as cogent, アズ・コジェント adj. 同様に説得力のある	「補語」
as tangible, アズ・タンビブル adj. 同様に確実な	「補語」
as, for example, this wall アズ・フォーイグザンプル・スィス・ウォール	
adv. 例えばこの壁の様に	「副詞句」
against which I was lying, アゲンスト・フィッチ・アイ・ワズ・ライイング	
adv. それを背にして僕が横たわっている	「副詞句」
pressing プレッシング 現在分詞・同時(press)	
adv. 押し付けて	「副詞句」
my back マイ・バック n. 僕の背中を	「目的語」
to it. トゥ・イット adv. それに向かって	「副詞句」

そんな考えが僕の頭を駆け巡っていた時、僕は母さんが父についてよく話してくれたある話を思い出した。

<u>When such thoughts crossed my mind, I remembered a story Mother used to tell me about my father.</u>	「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」
When ホエン conj. ～する時	「副詞節」
such thoughts サッチ・ソウツ pl.n そんな考えが	「主語」
crossed クロスト 3 複過(cross)v.t 横切った、駆け巡った	「動詞」
my mind, マイ・マインド n. 僕の頭を	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
remembered リンバート 1 単過 v.t 思い出した	「動詞」
a story ア・ストーリー n. ある話を	「目的語」
adj. ～する	「形容詞節」
Mother マザー n. 母さんが	「主語」
used to tell ユースト・トゥ・テル 3 単過・習慣(use to+不定詞 tell)	
v.t 良く話してくれた	「動詞句」
me ミー pron 僕に	「間接目的語」
about my father. アバウト・マイ・ファーザー adv. 父について	「副詞句」

Part 2 第2部

僕は父を見たことが無かった。僕が父について本当に知っていることは、恐らく、母さんが僕に話してくれたことだけだろう。

I never set eyes on him. Perhaps the only things I really knew about him were what Mother had told me.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

never set ネヴァー・セット 1 単過・否定(set)

v.t(+eyes) ～を据えたことが無かった、見たことが無かった

「動詞句」

eyes アイズ pl.n 目を

「目的語」

on him. オン・ヒム adv. 彼に

「副詞句」

Perhaps ハップス adv. おそらく、多分

「副詞」

the only things ザ・オンリー・シングス pl.n 唯一の物は

「主語」

I アイ pron 僕が～する

「形容詞節」

really リアリー adv. 本当に

「副詞」

knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

about him アバウト・ヒム adv. 父について

「間接目的語」

were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

what ファット pron ～する事

「補語」

Mother マザー n. 母さんが

「主語」

had told ハット・トゥール 3 単過・完了形(tell)v.t 話した

「動詞句」

me. ミー pron 僕に

「間接目的語」

母さんの話によると、父は殺人犯の処刑を見物に行ったと言う事だ。それを想像しただけで、吐き気を催したそう。

One of these was that he'd gone to see a murderer executed. The mere thought of it turned his stomach.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

One of these ワン・オブ・シーズ pron 母さんが話したことの一つは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

that (that) n. ～ということ

「補語」

he ヒー pron 父は

「主語」

'd gone to see ハット・ゴウン・トゥ・シー 3 単過・完了形・しに行く(go to+不定詞 see)

v.t 見に行った

「動詞句」

a murderer ア・マーダラー n. 殺人犯

「目的語」

executed. エグゼキューテッド 過去分詞・受動(execute)adj. 処刑された

「形容詞」

The mere thought of it ザ・ミア・ソート・オブ・イット n. それを想像しただけで

「主語」

turned ターン 3 単過(turn)v.t (胃を) むかつかせた

「動詞」

Part 2 第2部

his stomach. ヒズゝ・スタマック n. 彼の胃を

「目的語」

しかし、父は始めから終わりまで処刑を見て、家に戻ると、激しく吐いたそうだと。

But he'd seen it through and, on coming home, was violently sick.

But 「主語」「動詞句」「目的語」 and, 「副詞句」「動詞」「補語」

But ハット conj. しかし

He ヒー pron 彼は

「主語」

'd seen ハットゝ・シーン 3 単過・完了形(see)v.t 見た

「動詞句」

it イット pron 処刑を

「目的語」

through スルー adv. 最初から最後まで全部

「副詞」

and, アントゝ conj. そして

on coming home, オン・カミング・ホーム adv. 家に戻ると

「副詞句」

was ワズ 3 単過・変化(be)v.i 〜になった

「動詞」

violently sick. ヴァイオレントリー・シック adj. ひどく吐く

「補語」

その時は、僕は父の行為に少しむかついた。しかし、今なら分かる；全く自然な行為だ。

At the time, I found my father's conduct rather disgusting. But now I understood; it was so natural.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

But 「副詞」「主語」「動詞」; 「主語」「動詞」「補語」

At the time, アット・ザ・タイム adv. その時は

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

found ファウンドゝ 1 単過(find)v.t 思った

「動詞」

my father's conduct マイ・ファーサース・コンダクト n. 父の行為は

「目的語」

rather disgusting. ラーザー・デイスカステイキング adj. 少しむかつく

「補語」

But ハット conj. しかし

now ナウ adv. 今では

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

understood; アンダー・ストウットゝ 1 単過・時制の一致(understand)v.t 理解できる、分かる

「動詞」

it イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である

「動詞」

so natural. ソ・ナチュラル adj. まったく自然な

「補語」

Part 2 第2部

死刑よりも重要なことは何もなく、見方によっては、それこそが純粋に人に興味を持たせることができる唯一のものだということを、どうして僕は分からなかったのだろう。

How had I failed to recognize that nothing was more important than an execution; that, viewed from one angle, it's the only thing that can genuinely interest a man?

「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」; 「目的語」

How ハウ adv. (理由) どうして

「副詞」

had ...failed to recognize ハット ...フェイルト・トゥ・レコグナイズ 1 単過・完了形(fail to+不定詞)

v.t 分からなかった

「動詞句」

fail to 不定詞 「～できない」

I アイ pron 僕は

「主語」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

nothing ナシグ pron 何も～ない

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

more important モア・インポータント adj. より重要な

「補語」

than an execution; サン・アン・エグゼキューション adv. (比較) 死刑よりも 「副詞句」

that, サット conj. ～ということを

「目的語」

viewed from one angle, ヴュート・フロム・ワン・アングル adv. ある視点から見ると 「副詞句」

it イット pron それは

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

the only thing スィ・オンリー・シグ n. 唯一の物

「補語」

that サット pron (主語) ～する

「形容詞節」

can genuinely interest キャン・ジ・エニュインリー・インタレスト 3 単現・可能

(can+不定詞 interest+ genuinely)

v.t 純粋に興味を持たせることが出来る

「動詞句」

a man? ア・マン n. 人に

「目的語」

そこで、もしもこの独房を出ることが出来たら、全ての死刑を見に行くことに決めた。

And I decided that, if ever I got out of jail, I'd attend every execution that took place.

And 「主語」「動詞」「目的語」

And アント conj. それで

I アイ pron 僕は

「主語」

decided デイサイド 1 単過 v.t 決めた

「動詞」

that, サット conj. ～ということを

「目的語」

if ever イフ・エヴァー conj. (仮定) もし～だとしたら

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

got out ゴット・アウト 1 単過(get out)v.i(of を) 出られた

「動詞句」

Part 2 第2部

of jail, オブ・シ ^ェ イル adv. 独房を	「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd attend ウッド・アテント [゛] 1 単現・意思(would+不定詞 attend)	
v.t 見に行く、参加する	「動詞句」
every execution エヴブリ・エグジキューション n. 全ての死刑を	「目的語」
that サット pron (主語) ～する	「形容詞節」
took place. トック・プレイス 3 単過・仮定(take place)	
v.t 行なわれる	「動詞句」

こんな可能性を考えると、僕は愚かだったと言えるだろう。

<u>I was unwise, no doubt, even to consider this possibility.</u>	「主語」「動詞」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was ワズ (be)v.i ～だった	「動詞」
unwise, アン・ワイズ [゛] adj. 愚かな	「補語」
no doubt, ノ・ダウト adv. たぶん、おそらく	「副詞句」
even to consider イヴァン・トゥ・コンシダー [゛] adv. (理由) ～を考えると	「副詞句」
this possibility. スィス・ポシビリティ n. こんな可能性	を「目的語」

というのは、2 列になった警官の列のいわば右側に自分が自由の身になって並んでいるのを思い描いた瞬間、自分はショーを見に来た通りすがりの見物人で、その後、家に帰って吐けば良いと考えるだけで、僕の心は全く不合理な歓喜で満ち溢れた。

<u>For the moment I'd pictured myself in freedom, standing behind a double rank of policemen—on the right side of the line, so to speak—the mere thought of being an onlooker who comes to see the show, and can go home and vomit afterward, flooded my mind with a wild, absurd exultation.</u>	「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
For, フォー conj. (理由) というのは	「副詞節」
the moment サ・モメント adv. その瞬間	「副詞句」
I アイ pron 僕が「主語」	
'd pictured ハット・ツピ [゛] クチャート [゛] 1 単過・完了形・仮定(picture)v.t 思い描いた	「動詞句」
myself マイセルフ pron 自分自身を	「目的語」
in freedom, イン・フリーダム adv. 自由になった	「形容詞句」
standing スタンディング [゛] 現在分詞・myself の動作(stand)v.i 立っている	「補語」
behind ビ・ハインド [゛] prep ～の後ろに	「副詞句」
a double rank ア・ダブル・ランク n. 2 列	「目的語」
of policemen— オブ・ポリスマン adj. 警官の	「形容詞句」
on the right side of the line, オン・ザ・ライト・サイト・オブ・ザ・ライン	

Part 2 第2部

adv. 右側の列に	「副詞句」
so to speak— サ・トゥ・スピーク adv. 言わば	「副詞句」
the mere thought ザ・ミア・ソート n. 単なる考えが	「主語」
of being オブ・ビーイング adj. (同格) 〜であるという	「形容詞句」
an onlooker アン・オンルカー n. 通りすがりの見物人	「補語」
who フー pron (主語) 〜する	「形容詞節」
comes to see カムズ・トゥ・シー 3 単現・しに来る (come to+不定詞)	
v.t 見に来た	「動詞句」
the show, ザ・ショー n. ショーを	「目的語」
and アンド conj. そして	
can go キャソ・ゴウ 3 単現・可能 (can+不定詞)	
v.i 行ける	「動詞句」
home ホーム n. 家に「間接目的語」	
and アンド conj. そして	
vomit ヴォミット 3 単現・可能 (can+不定詞) v.i 吐ける	「動詞句」
afterward, アフターワート adv. その後で	「副詞」
flooded フラット・イト 3 単過 v.t あふれさせた	「動詞」
my mind マイ・マインド n. 僕の心を	「目的語」
with a wild, absurd exultation. ウイズ・ア・ワイルド・アブサード・エクザルテーション	
adv. 全く不合理な歓喜で	「副詞句」

そんな風に僕の想像力を暴走させてしまったのは愚かだった；というのは、すぐ後で、僕はしっかりと毛布に包まらなければならなかったのだから。

It was a stupid thing to let my imagination run away with me like that; a moment later I had a shivering fit and had to wrap myself closely in my blanket.

「動詞」「補語」「主語」；「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」and「動詞句」「副詞句」	
It イット pron 仮の主語 (真の主語は to let 以降)	
was ワズ 3 単過 (be) v.i 〜だった	「動詞」
a stupid thing ア・スチューピッド・シング n. 愚かな事	「補語」
to let トゥ・レット 不定詞・放任 n. 〜させたことは	「主語」
my imagination マイ・イマジネーション n. 僕の想像を	「目的語」
run away ラン・アウェイ 不定詞・imagination の動作	
v.i (with 人の) 自制心を失わせる	「補語」
with me ウイズ・ミー adv. 僕の	「間接目的語」
like that; ライク・ザット adv. そんな風に	「副詞句」
a moment later ア・モメント・レイター adv. すぐ後で	「副詞句」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t ~があった	「動詞」
a shivering fit ア・シヴ`アリング`・フィット n. 身震いする発作	「目的語」
and アンド conj. そして	
had to wrap myself ハット`・トゥ`ラップ`・マイセルフ 1 単過・必要(have to+不定詞 wrap oneself)	
v.pr 包まらなければならなかった	「動詞句」
closely クロウズリー adv. きっちりと	「副詞」
in my blanket. イン・マイ・ブランケット adv. 毛布に	「副詞句」

しかし、僕の歯がガチガチ音を立て続けて、どうしようもなかった。

But my teeth went on chattering; nothing would stop them.

But 「主語」「動詞句」; 「主語」「動詞句」「目的語」

But バット conj. しかし	
my teeth マイ・ティース pl(tooth).n 僕の歯が	「主語」
went on chattering; ウェント・オン・チャタリング` 3 複過・継続進行(go on+現在分詞 chatter)	
v.i (歯が) ガチガチ鳴っていた	「動詞句」
nothing ナシング` pron 何も何もない	「主語」
would stop ウット`・ストップ` 3 単過・推量・否定文(would+不定詞 stop)	
v.t 止められそうになかった	「動詞句」
them. ゼム pron.pl それを	「目的語」

勿論それでも、いつも理性的でいられるものではない。

Still, obviously, one can't be sensible all the time.

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

Still, obviously, スティル・オブ`ビアスリー adv. それでも勿論	「副詞句」
one ワン pron 人は	「主語」
can't be キャント`ビー 3 単現・可能・否定(can+不定詞 be)v.i ~でいられない	「動詞句」
sensible センシブル adj. 賢明な、理性的な	「補語」
all the time. オール・ザ`タイム adv. いつでも	「副詞句」

同様に愚かな僕の別の空想は、罰を変更する法律を作ることだった。

Another equally ridiculous fancy of mine was to frame new laws, altering the penalties.

「主語」「動詞」「補語」

Another equally ridiculous アナサー`・イローリー`・リデ`イキュラス	
adj. 同様に愚かな別の	「形容詞句」
fancy of mine ファンシー`オブ`・マイン n. 僕の空想は	「主語」

Part 2 第2部

was	ワズ 3 単過(be)v.i	～だった	「動詞」
to frame	トゥ・フレム	不定詞 n. 作る事	「補語」
new laws,	ニュー・ローズ	pl.n 新しい法律を	「目的語」
altering	オールテリシグ	現在分詞(alter)adj. 変更する	「形容詞句」
the penalties.	ザ・ペナルティーズ	pl.n 罰を	「目的語」

僕の考えでは、求められているものは、死刑囚にチャンスを与えることだった。たとえ、千に一つのチャンスであっても。

What was wanted, to my mind, was to give the criminal a chance, if only a dog's chance; say, one chance in a thousand.

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」

What フォット pron ～するものは 「主語」

was wanted, ワズ・ウォンテイト 3 単過・受動・時制の一致 v.t(want)

v.t 求められている

「動詞句」

to my mind, トゥ・マイ・マインド adv. 僕の考えでは

「副詞句」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

to give トゥ・ギヴ 不定詞 n. 与えること

「補語」

the criminal ザ・クリミナル n. 犯罪者に、死刑囚に

「間接目的語」

a chance, ア・チャンス n. チャンスを

「直接目的語」

if イ conj. たとえ～でも

「副詞句」

only a dog's chance; オウソリー・ア・ドッグズ・チャンス

n. ほんの少しのチャンス

「目的語」

say, セイ adv. 行ってみれば

「副詞」

one chance in a thousand. ワン・チャンス・イン・ナ・サウザント

n. 千に一つのチャンス

「目的語」

(受刑者を病院の患者と想定すると) 薬を飲んだ患者の 99%が死ぬかもしれない薬とか化合物というものがあるかも知れない。

There might be some drug, or combination of drugs, which would kill the patient (I thought of him as “the patient”) nine hundred and ninety times in a thousand.

「動詞句」「主語」(「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」)

There might be セア・マイト・ビー 3 単現・存在・推量(there be+might)

v.i ～があるかも知れない

「動詞句」

some drug, サム・ドラッグ n. 何かの薬が

「主語」

or オア conj. または

combination of drugs, コンビネーション・オブ・ドラッグズ n. 化合物が

「主語」

which フィッチ pron (主語) ～する

「形容詞節」

Part 2 第2部

would kill ウット・キル 3 単現・可能性(would+不定詞 kill)

v.t 殺すだろう

「動詞句」

the patient ザ・ペイシェント n. 患者を

「目的語」

(I アイ pron 僕は

「主語」

thought ソート 1 単過・仮定(think)v.i(of ~のことを) 想定する

「動詞」

of him オフ・ヒム adv. 受刑者のことを

「間接目的語」

as “the patient”) アズ・ザ・ペイシェント adv. 患者と

「補語」

nine hundred and ninety times in a thousand.

ナイン・ハントレツト・アント・ナインティ・タイムズ・イン・ナ・サウザント

adv. 99%の確率で

「副詞句」

受刑者が前もってこれがどのような物かを知らされていることが絶対必要だ。

That he should know this was, of course, essential.

「主語」「動詞」「補語」

That ザット conj. ~ということは

「主語」

he ヒー pron 受刑者が

「主語」

should know シュット・ノウ 3 単現・必要(should+不定詞 know)

v.t 知っているべきである

「動詞句」

this ズィス pron この物が何であるかを

「目的語」

was, ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

of course, オフ・コース adv. もちろん

「副詞句」

essential. エssenシャル adj. 必須な

「補語」

冷静によく考えた結果、ギロチンの悪い所は死刑囚にはチャンスが絶対がないという結論に至った。要するに、死刑囚の死は決定事項であり、くつがえることはないのだ。

For after taking much thought, calmly, I came to the conclusion that what was wrong about the guillotine was that the condemned man had no chance at all, absolutely none. In fact, the patient's death had been ordained irrevocably.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」

For フォー prep (結果) ~の結果として

「副詞句」

after +現在分詞 adv. (時間) ~した後で

「副詞句」

taking フォー・アフター・テイキング 現在分詞(take)v.t (行動を) とる

「動詞」

much thought, マッチ・ソート n. 十分な考慮を

「目的語」

calmly, カムリー adv. 落ち着いて、静かに、冷静に

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

came ケイム 1 単過(come)vi(to に) 至った

「動詞」

to the conclusion トゥ・ザ・コンクルージョン adv. 結果に

「間接目的語」

Part 2 第2部

that ザット conj. (同格) ~という	「形容詞節」
what ファット pron ~することは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
wrong ロング adj. 悪い、良くない	「補語」
about the guillotine アバウト・ザ・ギロチン	
adv. (対象) ギロチンが	「副詞句」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
that ザット conj. ~ということ	「補語」
the condemned man ザ・コンデムント・マン n. 死刑囚は	「主語」
had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t ~がある	「動詞」
no chance ノ・チャンス n. チャンスが~ない	「目的語」
at all, アット・オール adv. 全く~ない	「副詞句」
absolutely none. アブソルutely・ナン	
pron 絶対に何もない	「目的語」
In fact, イン・ファクト adv. 要するに	「副詞句」
the patient's death ザ・ヘイシェンツ・デス n. 患者の死は、死刑囚の死は	「主語」
had been ordained ハット・ビー・ン・オーデイント 3 単過・完了形・受動(ordain)	
v.t すでに定められた	「動詞句」
irrevocably. イレヴカブリー adv. くつがえらないように	「副詞」

それは決着済みの結論だ。もしたまたま、ギロチンの刃がうまく働かなかったとしたら、死刑執行人はまた最初からやり直すことになる。

It was a foregone conclusion. If by some fluke the knife didn't do its job, they started again.

「主語」「動詞」「補語」 「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞」	
It イット pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
a foregone ア・フォア・ゴウン adj. 決着済みの	「形容詞句」
conclusion. コンクルージョン n. 決定、結論	「補語」
If イフ conj. もし~ならば	「副詞節」
by some fluke バイ・サム・フルク adv. たまたま、偶然に	「副詞句」
the knife ザ・ナイフ n. ギロチンの刃が	「主語」
didn't do デイトント・ドゥ 3 単過・否定・仮定(do)v.t 働かなかった	「動詞句」
its job, イッツ・ジョブ n. その仕事を	「目的語」
they セイ pron.pl 死刑執行人は	「主語」
started スタート 3 複過・時制の一致 v.t 始める	「動詞」
again. アゲン adv. また	「副詞」

Part 2 第2部

そうなると、死刑囚は間違いなく自分の意に反しても、装置が順調に動作することを願わずにいらなくなる。

So it came to this, that—against the grain, no doubt—the condemned man had to hope the apparatus was in good working order! 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

So ソ adv. それで 「副詞」

it イット pron. それは 「主語」

came to ケム・トゥ 3 単過・結果・時制の一致(come to)v.i. ～になる 「動詞句」

this, スィス pron. これ 「補語」

that—ザット conj. (同格) ～ということ 「形容詞節」

against the grain, アゲンスト・ザ・グレイン adv. 意に反して 「副詞句」

no doubt—ノ・ダウト adv. 間違いなく 「副詞句」

the condemned man ザ・コンデムト・マン n. 死刑囚は 「主語」

had to hope ハット・トゥ・ホプ 3 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 hope)

v.t. 願わなくてはならない 「動詞句」

n. ～ということ 「目的語」

the apparatus スィ・アパレイタス n. 装置が 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i. ～である 「動詞」

in good working order! イン・グット・ワーキング・オーダー

adj. 動作が順調な 「補語」

これはシステムの欠陥だと思う。そして、明らかに僕の意見は全く正しい。

This, I thought, was a flaw in the system; and, on the face of it, my view was sound enough. 「主語」「副詞節」「動詞」「補語」;and, 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

This, スィス pron. これは 「主語」

I thought, アイ・ソート adv. 僕が思うには 「副詞節」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i. ～である 「動詞」

a flaw ア・フロー n. 欠点、欠陥、不備 「補語」

in the system; イン・ザ・システム adv. システムの、メカニズムの 「副詞句」

and, アント conj. そして

on the face of it, オン・ザ・フェイス・オブ・イット adv. 明らかに、一見したところ 「副詞句」

my view マイ・ヴィュー n. 僕の意見は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i. ～である 「動詞」

sound enough. サウンド・イフ adj. 全く理にかなっている 「補語」

Part 2 第2部

その一方で、そのことがシステムの能力を証明していることを認めざるを得ない。

On the other hand, I had to admit it proved the efficiency of the system.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

On the other hand, オン・ズィ・アザー・ハント adv. その一方では

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had to admit ハド・トゥ・アドミット 1 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 admit)

v.t 認めなければならない

「動詞句」

n. ～ということを

「目的語」

it イット pron そのことが

「主語」

proved プルーヴト 3 単過・時制の一致 v.t 証明している

「動詞」

the efficiency スィ・エフィエンスィー n. 能力、性能

「目的語」

of the system. オフ・ザ・システム adj. システムの

「形容詞句」

それはこういうことになる；死刑囚は精神的に協力を余儀なくされる。つまり、すべてが問題なく進行することが彼の利益になるのだ。

It came to this; the man under sentence was obliged to collaborate mentally, it was in his interest that all should go off without a hitch.

「主語」 「動詞」 「補語」；「主語」 「動詞句」 「副詞」, 「動詞」 「補語」 「主語」

It イット pron それは

「主語」

came ケイム 3 単過・時制の一致(come)v.i(to ということに) なる

「動詞」

to this; トゥ・ズィス adv. こういう事

「補語」

the man ザ・マン n. 人は

「主語」

under sentence アンダー・センテンス adv. 死刑宣告を受けた

「副詞句」

was obliged to collaborate ワズ・オブライジト・トゥ・コラボレイト 3 単過・受動・強制・時制の一致

(oblige to+不定詞 collaborate)v.i 協力を余儀なくされる

「動詞句」

mentally, メンタリー adv. 精神的に

「副詞」

it イット pron 仮の主語（真の主語は that 以降）

was ワズ 3 単過・変化(be)v.i ～になる

「動詞」

in his interest イン・ヒズ・インタレスト adv. 彼の利益に

「補語」

that ザット conj. ～ということが

「主語」

all オール pron すべてが

「主語」

should go off シュット・ゴウ・オフ 3 単現・妥当(should+不定詞 go off)v.i 進行する

「動詞句」

without a hitch. ウィズアウト・ア・ヒッチ adv. 障害なく

「副詞句」

Part 2 第2部

今までその問題について、不正確な考えを抱いていたことも認めなければならない。

Another thing I had to recognize was that, until now, I'd had wrong ideas on the subject.

「主語」「動詞」「補語」

Another thing アナザー・シング pron (目的語) 他の事は

「主語」

I アイ pron 僕は～する

「形容詞節」

had to recognize ハット・トゥ・レコグナイズ 1 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 recognize)

v.t 認めなければならない

「動詞句」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

that, ザット conj. ～ということ

「補語」

until now, アンティル・ナウ adv. 今まで、これまで

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t 持っていた

「動詞句」

wrong ideas ロング・アイデアズ pl.n 間違えた考えを

「目的語」

on the subject. オン・ザ・サブジェクト adv. その問題について

「副詞句」

僕はなぜか分からないが、ギロチンで斬首されるためには、階段を登って、断頭台に上
らなければならないものだと、ずっと考えていた。

For some reason I'd always supposed that one had to go up steps and climb on to a scaffold, to be guillotined.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

For some reason フォー・サム・リーズン adv. 何らかの理由で

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd always supposed ハット・オールウェイズ・サポウズト 1 単過・完了形(suppose)

v.t ずっと考えていた

「動詞句」

that (that) n. ～ということを

「目的語」

one ワン pron 人は

「主語」

had to go up ハット・トゥ・ゴウ・アップ 3 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 go up)

v.t 登らなければならない

「動詞句」

steps ステップス pl.n 階段を

「目的語」

and アント conj. そして

climb on クライム・オン 3 単過・必要・時制の一致(have to+不定詞 climb on)

v.i 上がる

「動詞句」

to a scaffold, トゥ・ア・スキヤフォルト adv. 断頭台に

「間接目的語」

to be guillotined. トゥ・ビー・ギロチント 不定詞・受動・目的(guillotine)

adv. 斬首されるために

「副詞句」

Part 2 第2部

恐らくそれは 1789 年の革命のせいだ；つまり、僕がそれについて学校で聞いたことや、それまでに見た写真のせいだ。

Probably that was because of the 1789 Revolution; I mean, what I'd learned about it at school, and the pictures I had seen.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」；「副詞句」，「補語」

Probably フロバブリー adv. おそらく 「副詞」

that サット pron. それは 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i. だった 「動詞」

because of ビ・コース・オブ adj. ーの理由で 「補語」

the 1789 Revolution; サ・セヴンティーン・エイティ・ナイン・リヴ オリューション n. 1789 年の革命 「目的語」

I mean, アイ・ミン adv. つまり 「副詞句」

what ファット pron. ーする事 「補語」

I アイ pron. 僕が 「主語」

'd learned ハット・ラント 1 単過・完了形(learn)v.i. 聞いた 「動詞句」

about it アバウト・イット adv. それについて 「間接目的語」

at school, アット・スクール adv. 学校で 「副詞句」

and アント conj. そして

the pictures サ・ピクチャーズ pl.n. 写真、映画 「補語」

I had seen. アイ・ハット・シーン adj. これまでに見た 「形容詞節」

その後ある朝、有名な犯罪者の死刑執行の際に新聞に掲載された 1 枚の写真を思い出した。

Then one morning I remembered a photograph the newspapers had featured on the occasion of the execution of a famous criminal.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから 「副詞」

one morning ワン・モーニング adv. ある朝 「副詞句」

I アイ pron. 僕は 「主語」

remembered リメンバート 1 単過 v.t. 思い出した 「動詞」

a photograph ア。フォトグラフ n. 1 枚の写真を 「目的語」

the newspapers サ・ニュース・ペーパー adj. 新聞がーする 「形容詞節」

had featured ハット・フィーチャート 3 単過・完了形(feature)

v.t. 特集した

「動詞句」

on the occasion オン・スイ・カジション adv. ーの機会に 「副詞句」

of the execution オフ・スイ・エグジキューション adj. 死刑執行の 「形容詞句」

of a famous criminal. オフ・ア・フェイマス・クリミナル

adj. 有名な犯罪者の

「形容詞句」

Part 2 第2部

実際、その装置は地面の上に立っていた；特別印象的な物は何もなかった。そして、僕が想像していたよりもずっと幅が狭かった。

Actually the apparatus stood on the ground; there was nothing very impressive about it, and it was much narrower than I'd imagined.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」；「動詞句」「主語」,and「主語」「動詞」「補語」
 Actually アクチュアリー adv. 実際に 「副詞」
 the apparatus ズィ・アパレイタス n. その装置は 「主語」
 stood ストゥッド 3 単過(stand)v.i 立っていた 「動詞」
 on the ground; オン・ザ・グラウンド adv. 地面の上に 「副詞句」
 there was ゼリ・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i 〜があった 「動詞句」
 nothing ナシグ pron 何も〜ない 「主語」
 very impressive ヴェリー・インプレッシヴ adj. 非常に印象的な 「形容詞句」
 about it, アバウト・イット adv. それについて 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 it イット pron (apparatus の代用) それは 「主語」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 much narrower マッチ・ナロー adj. もっと幅が狭い 「補語」
 than I'd imagined. ザン・アイト・イマジント conj. (比較) 想像していたより 「副詞節」

その写真が今まで僕の記憶に残っていなかったことが、僕にはむしろ奇妙に思われた。

It struck me as rather odd that picture had escaped my memory until now.

「動詞」「間接目的語」「補語」「主語」
 It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)
 struck ストラック 3 単過(strike)v.i(SVC) 〜のように思われた 「動詞」
 この strike は seem と同じ意味
 me ミー pron 僕には 「間接目的語」
 as rather odd アズ・ラーザー・オット adj. むしろ奇妙な 「補語」
 that picture サット・ピクチャー n. その写真が〜することは 「主語」
 had escaped ハット・エスケイプト 3 単過・完了形(escape)
 v.t (記憶に) 残らなかった 「動詞句」
 my memory マイ・メモリー n. 僕の記憶に 「目的語」
 until now. アンティル・ナウ adv. 今まで 「副詞句」

Part 2 第2部

その時僕が驚いたのは、ギロチンのこざっぱりした姿だった；その輝く表面と仕上げは僕になにかの実験器具を想像させた。

What had struck me at the time was the neat appearance of the guillotine; its shining surfaces and finish reminded me of some laboratory instrument.

「主語」「動詞」「補語」；「主語」「動詞句」「間接目的語」

What フワット pron 何するものは 「主語」

had struck ハット・ストラック 3 単過・完了形(strike)v.t (驚きを) 起こさせた 「動詞句」

me ミー pron 僕を 「目的語」

me を主語として翻訳する

at the time アット・ザ・タイム adv. その時 「副詞句」

was ワズ 3 単過(be)v.i だった 「動詞」

the neat appearance ザ・ニート・アピ アランス n. こざっぱりした姿 「補語」

of the guillotine; オフ・ザ・ギロチン adj. ギロチンの 「形容詞句」

its shining surfaces イッツ・シャイニング・サーフィズ pl.n その輝く表面は 「主語」

and アンド conj. そして

finish ファイニッシュ n. 仕上げは 「主語」

reminded リマインデイト 3 複過(remind)v.t(SV O1 O2) O1 に O2 を思い起こさせた 「動詞句」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

of some laboratory オフ・サム・ラボラトリー

adv. (関連) 実験室の～について 「形容詞句」

instrument. インストルメント n. 器具 「間接目的語」

人は自分が知らないことについては大げさに考えるものだ。

One always has exaggerated ideas about what one doesn't know.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

One ワン pron 人は 「主語」

always オールウェイズ adv. いつも 「副詞」

has exaggerated ハズ・イクサジェレイテイト 3 単現・完了形・慣習(exaggerate)

v.t 大げさに言う 「動詞句」

ideas アイデアズ pl.n 考えを 「目的語」

about what アバウト・ファット adv. 事についての 「副詞句」

one ワン pron 自分が 「主語」

doesn't know. ダズント・ノウ 3 単現・否定 v.t 知らない 「動詞句」

Part 2 第2部

そこで、ギロチンで処刑されることは非常に単純な作業であると認めなければならなかった；つまり、その装置は死刑囚と同じ平面に置かれている。そして彼は知人に会いに行くようにその装置に向かって前に進めば良いのだ。

Now I had to admit it seemed a very simple process, getting guillotined; the machine is on the same level as the man, and he walks toward it as he steps forward to meet somebody he knows.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」；「主語」「動詞」「副詞句」，
and 「主語」「動詞」「副詞句」

Now ナ adv. さて、そこで 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

had to admit ハット・トウ・アトミット 1 単過・必要(have to+不定詞 admit)

v.t 認めなければならなかった 「動詞句」

n. ～ということを 「目的語」

it イット pron 仮の主語（真の主語は getting guillotined）

seemed シームト 3 単過・時制の一致(seem)v.i ～の様に思われる 「動詞」

a very simple process, ア・ヴァーリー・シンプル・プロセス n. 非常に単純な作業 「補語」

getting guillotined; ゲテイング・ギロチント 現在分詞

n. ギロチンで処刑されることは 「主語」

the machine ザ・マシーン n. 機械は 「主語」

is イズ 3 単現・存在(be)v.i ～にある 「動詞」

on the same level オン・ザ・セイム・レベル adv. 同じ高さに 「副詞句」

as the man, アズ・ザ・マン adv. （比較）死刑囚と 「副詞句」

and アント conj. そして

he ヒー pron 彼は 「主語」

walks ウォークス 3 単現 v.i 進む 「動詞」

toward it トゥワード・イット adv. それに向かって 「副詞句」

as アズ conj. （様態）～するように 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

steps forward ステップ・ス・フォーワード 3 単現(step forward)v.i 前へ進む 「動詞句」

to meet トゥ・ミート 不定詞・目的 v.t 会うために 「副詞句」

somebody サムバディ pron 誰かに 「目的語」

he knows. ヒー・ノウズ adj. 彼が知っている 「形容詞節」

Part 2 第2部

ある意味では、それもまたがっかりすることだ。下の世界から離れた絞首台に登る動作は、言ってみれば、死刑囚の想像力に何かを与えてくれるかもしれない。

In a sense, that, too, was disappointing. The business of climbing a scaffold, leaving the world below, so to speak, gave something for a man's imagination to get hold of.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」
 In a sense, イン・ナ・センス adv. ある意味では 「副詞句」
 that, too, ザット・トゥ pron それもまた 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 disappointing. ディイサホ インテイング adj. 失望させる、がっかりする 「補語」
 The business ザ・ビズネス n. 行動は、動作は 「主語」
 of climbing オブ・クライミング adj. (同格) ~に上るという 「形容詞句」
 a scaffold, ア・スカフォルト n. 絞首台に 「目的語」
 leaving リービング 現在分詞(leave)adj. ~から離れた 「形容詞句」
 the world below, ザ・ワールド・ビロウ n. 下の世界 「目的語」
 so to speak, ソウ・トゥ・スピーク adv. 言ってみれば 「副詞句」
 gave ケイヴ 3 単過・時制の一致(give)v.t 与える 「動詞」
 something サムシング pron 何かを 「目的語」
 for a man's imagination フォー・マンス・イマジネーション adv. 人の想像力に 「副詞句」
 to get hold of. トゥ・ゲット・ホールド・オブ 不定詞・目的
 adv. 連絡を付けるために 「副詞句」

しかし実際は、システムが全てを支配しており、少々の恥辱と絶対的な性能であっさりと死刑囚を殺してしまう。

But, as it was, the machine dominated everything; they killed you discreetly, with a hint of shame and much efficiency.

But 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」; 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 But, バット conj. しかし
 as it was, アズ・イット・ワズ conj. 実情は、実際の所は 「副詞節」
 as it is 「実情は、実際の所は」
 the machine ザ・マシーン n. システムが、装置が 「主語」
 dominated トミネイイト 3 単過・時制の一致 v.t 支配する 「動詞」
 everything; エヴリシング pron 全てを 「目的語」
 they ゼイ pron 彼らは 「主語」
 killed キルト 3 複過・時制の一致 v.t 殺す 「動詞」
 you ユー pron 死刑囚を、あなたを 「目的語」
 discreetly, ディスクリートリー adv. さりげなく、控えめに 「副詞」

Part 2 第2部

with a hint of shame and much efficiency. ウイズ・ア・ヒント・オブ・シェイム・アント・マッ・エフィシェンシー

adv. (手段) 少しの恥辱と決定的な性能によって

「副詞句」

僕がいつも考えていたことについて、他に2つの事があった。夜明けと上訴の件だ。

There were two other things about which I was always thinking: the dawn and my appeal.

「動詞句」「主語」:「主語」

There were ゼア・ワー 3 複過・存在(there be)v.i 〜があった

「動詞句」

two other things トゥ・アザー・シンクス pl.n 他に2つの物が

「主語」

about which アバウト・フィッチ adv. (関連) 〜する物に関して

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

was always thinking: ワズ・オールウェイズ・シンキング 1 単過・進行形(think)

v.i いつも考えていた

「動詞句」

the dawn ザ・トーン n. 夜明け

「主語」

and アント conj. そして

my appeal. マイ・アピール n. (法律) 上訴

「主語」

しかし僕は、そのような考えから自分の気持ちを遠ざけるために最善を尽くした。僕は横になり、空を見上げ、それを観察することに集中するのだ。

However, I did my best to keep my mind off these thoughts. I lay down, looked up at the sky, and forced myself to study it.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞句」「間接目的語」,and「動詞句」「目的語」

However, ハウエヴァー adv. しかし

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

did デイト 1 単過(do)v.t 行なった

「動詞」

my best マイ・ベスト n. 最善を

「目的語」

to keep トゥ・キープ 不定詞・目的(keep off)v.t 状態にしておくために

「副詞句」

my mind マイ・マインド n. 自分の気持ちを

「目的語」

off these thoughts. オフ・ジーズ・ソーズ adv. そのような考えから遠ざけて

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

lay down, レイ・ダウン 1 単過・時制の一致(lie down)v.i 横になる

「動詞句」

looked up ルクト・アップ 1 単過・時制の一致(look up)v.i 見上げる

「動詞句」

at the sky, アット・ザ・スカイ adv. 空を

「間接目的語」

and アント conj. そして

forced myself +不定詞 フォースト・マイセルフ 1 単過・時制の一致(force oneself)

v.pr 〜することに集中する

「動詞句」

Part 2 第2部

to study トゥ・スタディ 不定詞 v.t 調べる、観察する

「動詞句」

it. イット pron それを

「目的語」

日差しが薄青に変わり始めると、夕暮れだと気づく。

When the light began to turn green I knew that night was coming.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

When ホエン conj. ～すると、～する時

「副詞節」

the light ザ・ライト n. 日光の色が

「主語」

began to turn ビギン・トゥ・ターン 3 単過・開始・変化(begin to+不定詞 turn)

v.i 変わり始める

「動詞句」

green グリーン adj. 緑、青

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 気付く

「動詞」

that ザット conj. ～ということに

「目的語」

night ナイト n. 夜が

「主語」

was coming. ワズ・カミング 3 単過・進行形(come)v.i 近づいている

「動詞句」

時間と日光の色

日の出頃は赤味がかかった色で、やがて白味や青味を帯びてゆき、昼頃には青味が濃くなり、午後になると青味は少しずつ薄くなり、夕方には赤味を帯びるように変化します。

Green は yellow と blue の間の色で、時に blue も含む。一方、日本語の青は広義には緑も含みます。

もうひとつ、思考の方向をそらすために行ったのは、自分の心に耳を傾けることだった。

Another thing I did to deflect the course of my thoughts was to listen to my heart.

「主語」 「動詞」 「補語」

Another thing アナザー・シング pron もう一つは

「主語」

(that) ～する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

did デイト 1 単過(do)v.t 行なった

「動詞」

to deflect トゥ・ディフレクト 不定詞・目的

adv. (進路などを) そらすために

「副詞句」

the course ザ・コース n. 方向を、進路を

「目的語」

of my thoughts オフ・マイ・ソート adj. 僕の思考の 「形容詞句」

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった

「動詞」

to listen トゥ・リスン 不定詞 n. 耳を傾けること

「補語」

to my heart. トゥ・マイ・ハート adv. 自分の心に

「間接目的語」

Part 2 第2部

ずっと一緒にいたこのかすかな鼓動が止まってしまう事があるとは、想像出来なかった。

I couldn't imagine that this faint throbbing which had been with me for so long would ever cease. 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

couldn't imagine クェント・イマジン 1 単過・可能・否定(can+不定詞 imagine)

v.t 想像できなかった 「動詞句」

that サット conj. ～ということを 「目的語」

this faint throbbing スィス・フェイント・スロビング n. このかすかな鼓動が 「主語」

which フィッチ pron (主語) ～する 「形容詞節」

had been ハット・ビーン 3 単過・完了形・存在(be)v.i ～いた 「動詞句」

with me ウィズ・ミー adv. 一緒に 「副詞句」

for so long フォー・ソー・ロング adv. 長い間、ずっと 「副詞句」

would ever cease. ウット・エヴァー・シース 3 単過・推量(would ever+不定詞 cease)

v.i 果たして止まってしまうだろうか 「動詞句」

想像力が僕の特技だったためしは無い。

Imagination has never been one of my strong points. 「主語」「動詞句」「補語」

Imagination イマジネーション n. 想像力は 「主語」

has never been ハズ・ネヴァー・ビーン 3 単現・完了形・否定(be)v.i ～だったことはない 「動詞句」

one of my strong points. ワン・オブ・マイ・ストロング・ポイント pron 特技の一つ 「補語」

それでも、心臓の鼓動が僕の頭の中で響かなくなる瞬間を思い描いてみようとしたが、無駄だった。夜明けも、上訴もまだそこにあった。

Still, I tried to picture a moment when the beating of my heart no longer echoed in my head. But, in vain. The dawn and my appeal were still there.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

Still, スティル adv. それでも 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

tried to picture トライト・トゥ・ピクチャー 1 単過・試行(try to+不定詞 picture)

v.t 思い描いてみようとした 「動詞句」

a moment ア・モメント n. 瞬間を 「目的語」

when ホエン adv. ～する 「形容詞節」

the beating of my heart ザ・ビートイング・オブ・マイ・ハート

n. 心臓の鼓動が 「主語」

no longer ノ・ロンガー adv. もはや～ない 「副詞句」

Part 2 第2部

echoed エコト° 3 単過・時制の一致 v.i 反響しない	「動詞」
in my head. イン・マイ・ヘット° adv. 僕の頭の中で	「副詞句」
But, in vain. バット・イン・ヴェイン° adv. しかし、無駄だった	「副詞句」
The dawn ザ・ドーン° n. 夜明けは	「主語」
and アント° conj. そして	
my appeal マイ・アピール° n. 僕の上訴は	「主語」
were ワー 3 複過・存在(be)v.i ~にあった	「動詞」
still there. スティル・ゼア° adv. まだそこに	「副詞句」

それから僕は、自分の考えを他人に無理強いするのは愚かなことだと思うようになった。

And I ended by believing it was a silly thing to try to force one's thoughts out of their natural groove.

And 「主語」「動詞句」「目的語」

And アント° conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

ended by believing エンデイト°・バイ・ビリーヴィング° 1 単過・成り行き(end)

v.t ~と思うようになった

「動詞句」

n. ~ということ

「目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は to try 以降)

was ワズ° 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

a silly thing ア・シリ・シング° n. 馬鹿げた事

「補語」

to try to force トゥ・トライ・トゥ・フォース 不定詞・試行(try to+不定詞 force)

n. 無理に押し込もうとすることは

「主語」

one's thoughts ワンズ・ソート n. 自分の思考を

「目的語」

out of their natural groove. アウト・オブ・ゼア・ナチュラル・グルーヴ°

adv. 本来のわたちの外に

「副詞句」

彼らはいつも夜明けに迎えにやって来る。それはよく知っていた。

They always came for one at dawn; that much I knew.

「主語」「副詞」「動詞」「間接目的語」「副詞句」; 「目的語」「副詞」「主語」「動詞」

They ゼイ pron 彼らは

「主語」

always オールウェイズ° adv. いつも、決まって

「副詞」

came ケイム 3 複過・時制の一致(come)v.i(for) を迎えにやって来る

「動詞」

for one フォー・ワン° adv. 人を

「間接目的語」

at dawn; アット・ドーン° adv. 夜明けに

「副詞句」

that ザット pron それを

「目的語」

much マッチ° adv. よく

「副詞」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は

「主語」

knew. ニュー 1 単過(know)v.t 知っていた

「動詞」

それで、夜はずっとその夜明けを待つためだけに過ごした。

So, really, all my nights were spent in waiting for that dawn.

So, 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

So, ソ conj. それで

really, リアリー adv. 本当に

「副詞」

all my nights オール・マイ・ナイツ pl.n 全ての夜は

「主語」

were spent ワー・スペント 3 複過・受動(spend)v.t 費やされた

「動詞句」

in waiting イン・ウェイティング 現在分詞・目的(wait)n. 待つために

「副詞句」

for that dawn. フォー・ザット・トーン adv. その夜明けを

「間接目的語」

僕は不意を突かれることは嫌いだった。

I have never liked being taken by surprise.

「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

have never liked ハヴ・ネヴァー・ライク 1 単現・完了形・否定(like)

v.t ずっと好きではなかった

「動詞句」

being taken by surprise. ビーイング・テイクン・バイ・サプライズ 不定詞・受動(take)

n.(by surprise) 奇襲されることが、不意を突かれることが

「目的語」

take O by surprise 「O を奇襲する、O の不意を突く、驚かす」

自分に何か起きる時には、それに対して準備万端でいたいと思う。

When something happens to me I want to be ready for it.

「副詞節」「主語」「動詞句」「補語」

When ホエン conj. ～する時には

「副詞節」

something サムシング pron 何か

「主語」

happens ハプンズ 3 単現 v.i 起こる

「動詞」

to me トゥ・ミー adv. 自分自身に

「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

want to be ウォント・トゥ・ビー 1 単現・願望(want to+不定詞 be)v.i ～の状態になりたい

「動詞句」

ready レディ adj. 準備が出来た

「補語」

for it. フォー・イット adv. それに対して

「副詞」

Part 2 第2部

それで僕は、昼間は寝たり起きたりして、夜は独房の暗闇で天窓から夜明けの最初の兆し
が差し込むのをずっと見守るようになった。

That's why I got into the habit of sleeping off and on in the daytime and watching through
the night for the first hint of daybreak in the dark dome above.

That's why 「主語」「動詞」「間接目的語」

That's why ザッツ・ホワイ conj. だから～

I アイ pron 僕は 「主語」

got ゴット 1 単過(get)v.i(into) (ある状態に) 陥った 「動詞」

into the habit イントゥ・ザ・ハビット adv. 習慣、癖 「間接目的語」

of sleeping off and on in the daytime オフ・スリーピング・オフ・アント・オン・イン・ザ・デイ・タイム

adj. 日中は起きたり寝たりする 「形容詞句」

and アント conj. そして

watching through the night ウォッチング・スルー・ザ・ナイト

adj. 夜はずっと見守る 「形容詞句」

for the first hint of daybreak フォー・ザ・ファースト・ヒント・オブ・デイズ・ブレイク

adv. 夜明けの最初の兆しを求めて 「副詞句」

in the dark dome above. イン・ザ・ダーク・ドーム・アバウ

adv. 独房の暗闇で天窓から 「副詞句」

夜の最悪の時間は彼らがいつもやって来ると分かっているあの曖昧な時間だ；僕は一度夜
中過ぎに聞き耳を立てて待っていたことがある。

The worst period of the night was that vague hour when, I knew, they usually come; once
it was after midnight I waited, listening intently.

「主語」「動詞」「補語」；「動詞」「補語」「主語」

The worst period ザ・ワースト・ピリオド n. 最悪の時間帯は 「主語」

of the night オフ・ザ・ナイト adj. 夜の 「形容詞句」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

that vague hour ザット・ウエイグ・アウ n. あの曖昧な時間 「補語」

when, ホエン conj. その時に～する 「副詞節」

I knew, アイ・ニュー adv. 僕は分かっている 「副詞節」

they ゼイ pron.pl 彼らが 「主語」

usually ユーシュアリー adv. いつも 「副詞」

come; カム 3 複現 v.i やって来る 「動詞」

once ワンス adv. 一度 「副詞」

it イット pron 仮の主語（真の主語は I waited,以降）

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

Part 2 第2部

after midnight アフター・ミッドナイト adv. 真夜中過ぎ 「補語」

I waited, アイ・ウェイトィット n. 僕が待っていたのは 「主語」

listening intently. リスニング・インテントリー 現在分詞・様態
adv. しっかり聞き耳をたてて 「副詞句」

今まで僕の耳がこんなに多くの物音を、しかも微かな響きに気付いたことは無かった。

Never before had my ears perceived so many noises, such tiny sounds.

「副詞句」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Never before ネヴァー・アー・ビフォー adv. それ以前には～ない 「副詞句」

had ...perceived ハット...ハ・シーグト 3 複過・完了形(perceive)

v.t (否定文で) 聞いた事がなかった 「動詞句」

my ears マイ・イアーズ pl.n 僕の耳は 「主語」

so many noises, ソ・メニ・ノイズ pl.n それほど多くの物音を 「目的語」

such tiny sounds. サッチ・タイニー・サウズ pl.n それほど微かな響きを 「目的語」

それでも僕はある意味で幸運だったと言わなければならない；その間一度も足音を聞いたことが無かったからだ。

Still, I must say I was lucky in one respect; never during any of those periods did I hear footsteps. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」；「副詞句」「動詞句」「主語」「目的語」

Still, スティル adv. それでも 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

must say マスト・セイ 1 単現・必要(must+不定詞 say)v.t 言わなければならない 「動詞句」

I アイ n. 自分は～だということを 「目的語」

was ワズ 1 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

lucky ラッキー adj. 幸運な 「補語」

in one respect; イン・ワン・リスpect adv. ある点で、ある意味で 「副詞句」

never during any of those periods ネヴァー・アー・デュアリソグ・エニ・オブ・ゾーズ・ヒアリス

adv. その間に一度も～ない 「副詞句」

did ...hear ディット...ヒア 1 単過・否定(hear)v.t (否定文で) 聞かなかった 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

footsteps. フットステップス pl.n 足音を 「目的語」

Part 2 第2部

よく母さんは、どんなに不幸な人間にも必ず感謝すべきことがあると言っていた。

Mother used to say that however miserable one is, there's always something to be thankful for. 「主語」「動詞句」「目的語」

Mother マザー n. 母さんは 「主語」

used to say ユースト・トゥ・セイ 3 単過・習慣(use to+不定詞 say)v.t よく言っていた 「動詞句」

that ザット conj. ～ということを 「目的語」

however ハウエヴァー adv. どんなに～であっても 「副詞節」

miserable ミゼラブル adj. 不幸な 「補語」

one ワン pron 人は 「主語」

is, イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

there's セア・ズ 3 単現(there be)v.i ～がある 「動詞句」

always オールウェイズ adv. 必ず 「副詞」

something サムシング pron 何かが 「主語」

to be thankful for. トゥ・ビー・サンクフル・フォー 不定詞・すべき

adj. 感謝すべき 「形容詞句」

そして毎朝、空が明るくなり独房に日がさし始めると、僕は母さんの言う通りだと思う。

And each morning, when the sky brightened and light began to flood my cell, I agreed with her. And 「副詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」

And アント conj. そして

each morning, イーチ・モーニング adv. 毎朝 「副詞句」

when ホエン adv. ～する時に 「副詞節」

the sky ザ・スカイ n. 空が 「主語」

brightened ブライトント 3 単過(brighten)v.i 明るくなった 「動詞」

and アント conj. そして

light ライト n. 日光が 「主語」

began to flood ビギン・トゥ・フラッド 3 単過・開始・時制の一致(begin to+不定詞 flood)

v.t 溢れさせる 「動詞句」

my cell, マイ・セル n. 僕の独房を 「目的語」

I アイ pron 僕は 「主語」

agreed アグリード 1 単過・時制の一致 v.i(with に) 同意する 「動詞」

with her. ウイズ・ハー adv. 母さんに 「間接目的語」

Part 2 第2部

僕は足音を聞いていたかもしれないし、僕の心臓が破裂したかもしれないのだから。

Because I might just as well have heard footsteps, and felt my heart shattered into bits.

Because 「主語」「動詞句」「目的語」,and 「動詞句」「目的語」「補語」

Because ビゝコース conj. (理由) ～なのだから

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

might just as well have heard マイト・ジヤスト・アズ・ウェル・ハヴ・ハート 1 単過・完了形・可能性

v.t(may as well +不定詞・完了形 have heard)v.t 聞いても良かった 「動詞句」

footsteps, フットステップス pl.n 足音を

「目的語」

and アント conj. そして

felt フェルト 1 単過・完了形・可能性

v.t(may as well +不定詞・完了形 have felt)v.t 感じても良かった 「動詞句」

my heart マイ・ハート n. 僕の心臓が

「目的語」

shattered シャタート 過去分詞・受動(shatter)adj. 粉碎された

「補語」

into bits. イントウ・ビッツ adv. 粉々に

「副詞句」

may as well+不定詞

～しても（しない場合と）同じ位よい

What a slow bus this is! We might as well go on foot.

このバスはなんて遅いんだ！歩いて行った方がいい。

たとえ、ほんのわずかな物音が僕を急いでドアの方に行かせ、ざらざらで冷たい板に耳を押し付けさせたとしても、僕は自分の呼吸が犬の喘ぎ声のように速くてしわがれて聞こえるかもしれないが、それでも終わりがある。結局、僕の心臓は破裂せずに、また 24 時間の猶予を手に入れたのだ。

Even though the faintest rustle sent me hurrying to the door and, pressing an ear to the rough, cold wood, I listened so intently that I could hear my breathing, quick and hoarse like a dog's panting— even so there was an end; my heart hadn't split, and I knew I had another twenty-four hours' respite.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 — 「副詞句」「動詞句」「主語」;

「主語」「動詞句」,and 「主語」「動詞」「目的語」

Even though イヴン・ゾウ conj. (仮定) たとえ～するとしても

「副詞節」

the faintest rustle ザ・フェインテスト・ラスル n. ほんの微かな物音が

「主語」

sent セント 3 単過・使役(send)v.t(SVO+現在分詞) O に～させた

「動詞」

me ミー pron 僕に

「目的語」

hurrying ハリイング 現在分詞(hurry)・me の動作 v.i(to に) 急いでいく

「補語」

to the door トゥ・ザ・ドアー adv. ドアに

「間接目的語」

and, アント conj. そして

Part 2 第2部

pressing プレッシング 現在分詞(press)・me の動作 v.t 押し付ける	「補語」
an ear アン・イーアー n. 耳を	「目的語」
to the rough, cold wood, トゥ・ザ・ラフ・コールド・ウッド	
adv. ざらざらで冷たい板に	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
listened リストン 1 単過・時制の一致 v.t 聞く	「動詞」
so intently ソ・インテントリー adv. 必死に	「副詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
could hear クット・ヒア 1 単過・時制の一致・可能性(can+不定詞 hear)	
v.t 聞こえるだろう	「動詞句」
my breathing, マイ・ブリージング n. 自分の呼吸が	「目的語」
quick and hoarse クイック・アント・ホース adj. 速くてしわがれた	「形容詞句」
like a dog's panting— ライク・ア・ドッグス・パンティング	
adv. 犬の喘ぎのように	「副詞句」
even so イヴァン・ソ adv. それでも	「副詞句」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ～がある	「動詞句」
an end; アン・エンド n. 終わりが	「主語」
my heart マイ・ハート n. 僕の心臓は	「主語」
hadn't split, ハドント・スプリット 3 単過・完了形・否定・時制の一致(split)	
v.i 破裂しない	「動詞句」
and アント conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 知る	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t 手に入れた	「動詞」
another twenty-four hours' respite. アナザー・トゥエンティフォー・アウワズ・レスパイト	
pl.n また 24 時間の猶予を	「目的語」

そして昼間はずっと、上訴の事を考えていた。

<u>Then all day there was my appeal to think about.</u>	「副詞句」「動詞句」「主語」
Then all day ゼン・オール・デイ adv. そして昼間はずっと	「副詞句」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ～があった	「動詞句」
my appeal マイ・アピール n. 上訴の事が	「主語」
to think about. トゥ・シンク・アバウト adj. (目的) 考慮すべき	「形容詞句」

Part 2 第2部

僕は最高の成果を絞り出すために、影響を調べて、この考えを最大限に活用した。

I made the most of this idea, studying my effects so as to squeeze out the maximum of consolation.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

made the most of メイト・ザ・モスト・オブ 1 単過(make the most of)

v.t を最大限に利用した

「動詞句」

this idea, スィス・アイデア n. この考えを

「目的語」

studying スタディンク 現在分詞・方法 adv. 調べて

「副詞句」

my effects マイ・エフェクト n. 影響を

「目的語」

so as to squeeze out ソ・アズ・トゥ・スクイズ・アウト 不定詞(squeeze out)・目的

adv. 絞りだすために

「副詞句」

the maximum of consolation. ザ・マキシム・オブ・コンソレイション

n. 最高の慰め

「目的語」

だから、僕はいつも、上訴が却下されたというような最悪の事態から仮定を始めた。

Thus, I always began by assuming the worst; my appeal was dismissed.

「副詞」, 「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

Thus, ザ・ス adv. だから

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

always オールウェイズ adv. いつも

「副詞」

began by assuming ビギン・バイ・アシューミンク 1 単過・開始(begin by+現在分詞 assuming)

v.t ~を仮定することから始めた

「動詞句」

the worst; ザ・ワースト n. 最悪の事態

「目的語」

my appeal マイ・アピール n. 上訴が

「主語」

was dismissed. ワズ・ディズミスト 3 単過・受動 v.t 却下された

「動詞句」

それはもちろん、僕が死ぬということを意味する。明らかに、他人よりも早く。「だが」と、僕は気付く。「どちらにしても、人生は生きる価値などない事は誰でも知っている」

That meant, of course, I was to...die. Sooner than others, obviously. "But," I reminded myself, "it's common knowledge that life isn't worth living, anyhow."

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」 | 「副詞句」

《But》, 「主語」「動詞句」, 《「動詞」「補語」「主語」》

That ザット pron それは

「主語」

meant, メント 3 単過・時制の一致(mean)v.t 意味する

「動詞」

of course, オブ・コース adv. もちろん、当然

「副詞句」

Part 2 第2部

n. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was to die. ワズ・トゥ・ダイ 1 単過・運命・時制の一致(be to+不定詞 die)	
v.i 死ぬことになっている	「動詞句」
Sooner スナー adv. より早く	「副詞句」
than others, ザン・アサース adv. (比較) 他の人よりも	「副詞句」
obviously. オブヴィアスリー adv. 明らかに	「副詞」
“But,” バット conj. しかし	
I アイ pron 僕は	「主語」
reminded myself, リマインデイト・マイセルフ 1 単過・時制の一致(remind onself)	
v.pr 気付く、思い出す	「動詞句」
“it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)	
's イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
common knowledge コモン・ナレッジ n. 常識、だれもが知っていること	「補語」
that ザット conj. ～ということは	「主語」
life ライフ n. 人生は	「主語」
isn't イズント 3 単現・否定(be)v.i ～でない	「動詞句」
worth living, ワース・リヴィング adj. 生きる価値のある	「補語」
anyhow.” エニハウ adv. どちらにしても	「副詞」

Be to+不定詞

予定：～することになっている

We are to meet at seven.

7時に会うことになっている。

義務：～すべきだ；当然：～したらよい

The form is to be filled in and returned within two weeks.

この要旨は必要事項を記入の上 2 週間以内に返送のこと

When am I to come?

いつ来たらいいですか？

可能：(通例否定文で) ～できる

The ring was not to be found anywhere. 指輪はどこにも見つからなかった。

運命：(通例過去時制で) ～する運命になっている

After his accident, he was never to get a chance to play in an actual game.

事故の後、彼は実戦に出場する機会を二度と得られなかった。

意図・必要：(条件節で) ～したいと思うなら、～する必要がある

If you are to succeed in your new job, you must work hard.now.

今度の新しい仕事で成功するつもりなら、君は今懸命に働かねばならない。

目的：～するためのものだ

The letter was to announce their engagement.

Part 2 第2部

手紙は彼らの婚約を知らせるためのものでした。

そして、広い視野で見れば、30歳で死のうが 70歳で死のうが大差は無いと分かった。どちらにしてもその後、他の男女は生き続け、世界は今まで通りに続いていくのだ。

And, on a wide view, I could see that it makes little difference whether one dies at the age of thirty or threescore and ten—since, in either case, other men and women will continue living, the world will go on as before.

And, 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

— 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

And, アント conj. そして

on a wide view, オン・ナ・ワイド・ビュー adv. (条件) 広い視野で見れば 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

could see クッド・シー 1 単過・可能(can+不定詞 see)v.t 分かった 「動詞句」

that サット conj. ～ということが 「目的語」

it イット pron 仮の主語 (真の主語は whether...ten)

makes メイクス 3 単現 v.t 作る 「動詞」

little difference リトル・ディファレンス n. ほとんど違いが～ない 「目的語」

whether ウェザー conj. A することも B することも 「主語」

one ワン pron 人が 「主語」

dies ダイズ 3 単現・假定 v.i 死ぬ 「動詞」

at the age of thirty アット・スィ・エイジ・オブ・サーティ adv. 30歳で 「副詞句」

or オア conj. または

threescore and ten— スリースコア・アント・テン adv. 70歳で 「副詞句」

threescore スリースコア n.(three+score) 60歳 score スコア n. 20、20歳

since, in either case, シンス・イン・イーサー・ケイス adv. どちらにしてもその後は 「副詞句」

other men and women アザー・メン・アント・ウィメン pl.n 他の男女は 「主語」

will continue living, ウィル・コンティニュー・リヴィング 3 複未・継続(continue+現在分詞 live)

v.i 生き続けるだろう 「動詞句」

the world サ・ワールド n. 世界は 「主語」

will go on ウィル・ゴウ・オン 3 単未・継続(go on)v.i 続くだろう 「動詞句」

as before. アズ・ビフォー adv. 今まで通りに 「副詞句」

Part 2 第2部

同様に、僕が今死のうと、40 年後に死のうと、死ぬという務めは必ずやり遂げられなければならないのだ。

Also, whether I died now or forty years hence, this business of dying had to be got through, inevitably.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」

Also, オールソ adv. 同様に

「副詞」

whether ウェザー conj. (仮定) A しても B しても

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

died ダイト 1 単過・仮定 v.i 死んだ

「動詞」

now ナウ adv. 今

「副詞」

or オア conj. または

forty years hence, フォーティ・イヤーズ・ヘンス adv. 今から 40 年後に

「副詞句」

this business of dying シス・ビズニス・オブ・ダイイング n. 死ぬという務めは

「主語」

had to be got through, ハット・トゥ・ビー・ゴットスルー 3 単過・必要・時制の一致

(have to+不定詞・受動 get through)v.t やり遂げられなければならない

「動詞句」

inevitably. イネヴィタブリー adv. 必ず、必然的に

「副詞」

フランス語の原文では

要するに、これ以上明白なことは無い。それが今すぐだろうが 20 年後だろうが、死ぬのはいつでも僕自身なのだ。

Rien n'était plus clair, en somme. C'était toujours moi qui mourrais, que ce soit maintenant ou dans vingt ans.

それでもなぜか、この考え方は思ったほど慰めにはならなかった；その考えは、手元にあらゆる人生すべての年月を思い出させる、いらいらさせる催促状だった。

Still, somehow this line of thought wasn't as consoling as it should have been; the idea of all those years of life in hand was a galling reminder!

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「補語」; 「主語」 「動詞」 「補語」

Still, スティル adv. しかし、それでも

「副詞」

somehow サムハウ adv. なぜか、どういう訳か

「副詞」

this line of thought スィス・ライン・オブ・ソート n. この考え方は

「主語」

line ライン n. (思考の) 方向、方針、方法、筋道

wasn't ワズント 3 単過・否定(be)v.i ~でなかった

「動詞句」

as consoling アス・コンソリング adj. それほど慰めになる

「補語」

as it should have been; アズ・イット・シュッド・ハヴ・ビーン

adv. (比較) それがそうだっただろうここと程

「副詞句」

the idea スィ・アイデア n. 考えは

「主語」

of all those years of life オフ・オール・ゾーズ・イヤーズ・オブ・ライフ

Part 2 第2部

adj. 人生の全ての年月の	「形容詞句」
in hand イン・ハント adv. 手元にある	「副詞句」
was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
a galling reminder! ア・ゴーリング・リマインダー n. いらいらさせる催促状	「補語」
galling ゴーリング adj. いらいらさせる reminder リマインダー n. 思い出させるもの、催促状	
フランス語の原文では	
そこで、少し僕の推論を妨げるものは、これから先 20 年の人生を考える時に心のうちに感じる、この恐ろしいほどの動悸だ。	
A ce moment, ce qui me gênait un peu dans mon raisonnement, c'était ce bond terrible que je sentais en moi à la pensée de vingt ans de vie à venir.	
しかし、自分の順番になり死が僕を窮地に追い詰めた時の自分の感情を心に描くことで、僕はその考えから離れないでいられた。	
<u>However, I could argue myself out of it</u> , by picturing what would have been my feelings when my term was up, and death had cornered me.	
	「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」
However, ハウエヴァー adv. けれども	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
could argue クット・アーギュア 1 単過・可能(can+不定詞 argue)	
v.t(SVO out of) O が~しないように説得できた	「動詞句」
→ 納得できた	
myself マイセルフ pron 自分を	「目的語」
out of it, アウト・オブ・イット adv. それから離れた	「補語」
by picturing バイ・ピクチャリング adv. (手段) 心に描いて	「副詞句」
what ファット pron ~するものを	「目的語」
would have been ウット・ハヴ・ビーン 3 複過・完了形・推量(would+不定詞・完了形)	
v.i ~であっただろう	「動詞句」
my feelings マイ・フィーリング n. 僕の感情、感覚	「補語」
when ホエン conj. ~する時に	「副詞節」
my term マイ・ターム n. 僕の任期が	「主語」
was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった	「動詞」
up, アップ adv. 現れた	「補語」
and アンド conj. そして	
death デス n. 死が	「主語」
had cornered ハット・コーナート 3 単過・完了形(corner)	
v.t 窮地に追い込んだ	「動詞句」

Part 2 第2部

me. ミ pron 僕を

「目的語」

フランス語の原文では

それでも、その考えに至らなければならないとしても、20年後でも自分の考えは同じだろうと想像することで、それを押し殺すしかなかった。

Mais je n'avais qu'à l'étouffer en imaginant ce que seraient mes pensées dans vingt ans quand il me faudrait quand même en venir là.

一旦それに上がれば、死の正確な方法はほとんど重要ではない。

Once you're up against it, the precise manner of your death has obviously small importance.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Once ワンス conj. 一旦～すると

「副詞節」

you ユー あなたが

「主語」

're up アー・アップ 2 単現(be up)v.i 上がる、登る

「動詞句」

against it, アゲinst・イト adv. それに向き合って

「副詞句」

the precise manner of your death ザ・プリサイ・マナー・オブ・ユア・デス

n. 死の正確な方法は

「主語」

has ハズ 3 単現(have)v.t ～がある

「動詞」

obviously small オブ・ヴィ・アスリー・スモール adv. 明らかに小さい

「形容詞句」

importance. インポータンス n. 重要性

「目的語」

フランス語の原文では

人が死ぬときには、どのようにとかいつということは重要ではない。それは自明なのだ。

Du moment qu'on meurt, comment et quand, cela n'importe pas, c'était évident.

それゆえ（しかし、「それゆえ」に通じる議論の道筋を見失わない事は困難である）僕は
上訴の棄却に直面する覚悟が必要になるだろう。

Therefore—but it was hard not to lose the thread of the argument leading up to that “therefore”—I should be prepared to face the dismissal of my appeal.

「副詞」 (but 「動詞」 「補語」 「主語」) 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Therefore ゼ・アフー adv. それゆえ

「副詞」

—but バット conj. しかし

it イット pron 仮の主語（真の主語は not to lose 以降）

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である

「動詞」

hard ハート adj. 困難な

「補語」

not to lose ノット・トゥ・ルーズ 不定詞・否定形 n. 見失わないことは

「主語」

the thread ザ・スレッド n. 筋道を

「目的語」

of the argument オブ・スイ・アーギュメント adj. 議論の

「形容詞句」

Part 2 第2部

leading up リーディング・アップ 現在分詞(lead up)v.i(to に) 通じる 「形容詞句」

to that “therefore”— トゥ・ザット・セ・アフォー

adv. その「それゆえ」に

「間接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

should be prepared to face シュット・ビー・プリアード・トゥ・フェイス 1 単過・受動・義務

(should+不定詞・受動 prepare to+不定詞 face)v.t ~に直面する心構えが必要だ 「動詞句」

the dismissal サ・デ・イミサル n. 棄却を

「目的語」

of my appeal. オブ・マイ・アピール adj. 上訴の

「形容詞句」

フランス語の原文では

それゆえ（そして、困難なことは、この「それゆえ」が表す推論の全体像を見失わないことである）、それゆえ、僕は上訴の棄却を受け入れなければならない。

Donc (et le difficile c'était de ne pas perdre de vue tout ce que ce «donc» représentait de raisonnements), donc, je devais accepter le rejet de mon pourvoi.

この段階で、というかこの段階になって初めて、僕は権利のようなものを手にする。そこで、僕は自分自身に上訴が成功した場合を考える許可を与える。

At this stage, but only at this stage, I had, so to speak, the right, and accordingly I gave myself leave, to consider the other alternative; that my appeal was successful.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, and

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

At this stage, アット・ス・イス・ステイジ adv. この段階で

「副詞句」

but バット conj. しかし

only at this stage, オンリー・アット・ス・イス・ステイジ adv. この段階でしか

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

had, ハット 1 単過(have)v.t ~を持った

「動詞」

so to speak, the right, ソ・トゥ・スピーク・ザ・ライト n. n. 権利のような物を

「目的語」

and アンド conj. そして

accordingly アッコーディングリー adv. それゆえに、従って

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

gave ゲイヴ 1 単過・仮定・時制の一致(give)v.t 与える

「動詞」

myself マイセルフ n. 自分自身に

「間接目的語」

leave, リーヴ n. 許可を

「直接目的語」

to consider トゥ・コンシダー 不定詞・目的 adj. 考えるための

「形容詞句」

the other alternative; ス・イ・アザー・オルターナティヴ

n. 他の選択肢を

「目的語」

Part 2 第2部

that ザット conj. (同格) ～という 「形容詞節」

my appeal マイ・アピール n. 上訴が 「主語」

was ワズ 3 単過・仮定(be)v.i ～だった 「動詞」

successful. サクセスフル adj. 成功した 「補語」

そしてその時、厄介なのは、体を駆け抜け僕の目に涙さえもたらす、あの歓喜の激情を鎮めることだ。

And then the trouble was to calm down that sudden rush of joy racing through my body and even bringing tears to my eyes. 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

And then アント・ゼン adv. そしてその時 「副詞句」

the trouble ザ・トラブル n. 厄介なことは 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

to calm down トゥ・カム・ダウン 不定詞 n. 鎮める事 「補語」

that sudden rush of joy ザット・サドゥン・ラッシュ・オブ・ジョイ n. あの歓喜の激情を「目的語」

racing レイシング 現在分詞(race)adj.(through) 駆け抜ける 「形容詞句」

through my body スルー・マイ・ボディ adv. 体を 「副詞句」

and アンド conj. そして

even bringing イーヴン・ブリンギング 現在分詞(bring)

adj. ～をもたらす 「形容詞句」

tears ティアズ pl(tear).n 涙を 「目的語」

to my eyes. トゥ・マイ・アイズ adv. 僕の目に 「副詞句」

しかし、全神経を集中して僕の心を癒して安定させるのは僕の責任だった；というのは、この可能性を考える時でさえ、自分の慰めに対する最初の選択肢をより確実なものにするために、自分の思考を整理しなければならなかったから。

But it was up to me to bring my nerves to heel and steady my mind; for, even in considering this possibility, I had to keep some order in my thoughts, so as to make my consolations, as regards the first alternative, more plausible.

But 「動詞」「補語」「主語」；「副詞節」

But バット conj. しかし

it イット pron 仮の主語（真の主語は to bring 以降）

was ワズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」

up to me アップ・トゥ・ミー adj. 僕の責任の 「補語」

to bring トゥ・ブリング 不定詞 n. ～を引き寄せることは、集中する 「主語」

my nerves マイ・ナーヴズ pl.n 僕の全神経を 「目的語」

to heel and steady トゥ・ヒール・アンド・ステディ 不定詞・目的(heal / steady)

Part 2 第2部

adv. 癒して安定させるために 「副詞句」
 heel ヒール v.t かかとで蹴りだす → heal ヒール v.t (悩み) を癒す の間違い
 my mind; マイ・マインド n. 僕の心を 「目的語」
 for, フォー conj. (理由) 〜だから 「副詞節」
 even in considering this possibility, イヴン・イン・コンシダリング・スィス・ポッシビリティ
 adv. この可能性を考える時でさえ 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had to keep ハット・トゥ・キープ 1 単過・必要(have to+不定詞 keep)
 v.t 保たなければならなかった 「動詞句」
 some order サム・オーダー pl.n 秩序を 「目的語」
 in my thoughts, イン・マイ・ソーツ adv. 自分の思考の 「副詞句」
 so as to make my consolations, ソ・アズ・トゥ・メイク・コンソレーションズ 不定詞・目的
 adv. 自分の慰めを〜にするために 「副詞句」
 as regards アズ・リガーズ adv. (対象) 〜に対して 「副詞句」
 the first alternative, ザ・ファースト・オルターナティヴ
 n. 最初の選択肢を 「目的語」
 more plausible. モア・プロージブル adj. より信頼できる 「補語」

僕が成功すると、僕は 1 時間の心の平安を得ることが出来た。それは、いずれにせよ、結構な事だった。

When I'd succeeded, I had earned a good hour's peace of mind; and that, anyhow, was something. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」; 「主語」 「副詞」 「動詞」 「補語」
 When ホエン conj. (仮定) 〜すると 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 'd succeeded, ハット・サシーテイト 1 単過・完了形(succeed)v.t 成功した 「動詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 had earned ハット・アーント 1 単過・完了形(earn)v.t 〜を得た 「動詞句」
 a good hour's peace of mind; ア・グット・アウラス・ピース・オブ・マインド
 n. 1 時間の心の平安を 「目的語」
 and アント conj. そして
 that, ザット pron それは 「主語」
 anyhow, エニハウ adv. いずれにせよ 「副詞」
 was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」
 something. サムシング pron けっこうな事 「補語」

Part 2 第2部

それは司祭に会うのを断った時の事だった。

It was at one of these moments that I refused once again to see the chaplain.

「主語」「動詞」「補語」

It イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった

「動詞」

at one of these moments アット・ワン・オブ・シーズ・モメンツ adv. そんな瞬間の一つ

「補語」

that サット conj. (時間) 〜する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

refused リフーズト 1 単過

v.t(refuse+to+不定詞) 〜するのを断った

「動詞句」

once again ワンス・アゲン adv. もう一度、再び

「副詞句」

to see トゥ・シー 不定詞 v.t 会う

「動詞句」

the chaplain. サ・チャプリン n. 司祭に

「目的語」

僕は寝転がっていて、空に広がるほのかな金色の輝きから夕暮れが近いことに気付いた。

I was lying down and could mark the summer evening coming on by a soft golden glow spreading across the sky.

「主語」「動詞句」 and 「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was lying down ワズ・ライイング・ダウン 1 単過・進行形(lie down)v.i 寝ころんでいた

「動詞句」

and アンド conj. そして

could mark クッド・マーク 1 単過・可能(can+不定詞 mark)v.t 注目出来た

「動詞句」

the summer evening サ・サマー・イブニング n. 夏の夕暮れを

「目的語」

coming on カミング・オン adj. やって来る、近づく

「形容詞句」

by a soft golden glow バイ・ア・ソフト・ゴウルデン・グロー

adv. (手段) 金色のほのかな輝きから

「副詞句」

spreading across the sky. スプレディング・アクロス・サ・スカイ

adv. 空に広がる

「副詞句」

いや、僕は司祭に会いたくなかった。それから、僕は長い間やらなかったことをした；マリーのことを考え始めた。

No, I didn't want to see the chaplain. ... Then I did something I hadn't done for quite a while; I fell to thinking about Marie.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」;

「主語」「動詞句」「間接目的語」

No, ノ adv. いや

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 2 第2部

didn't want to see ディトント・ウント・トゥ・シー 1 単過・願望(want to+不定詞 see)

v.t ~に会いたくなかった

「動詞句」

the chaplain. ... サ・チャプリン n. 司祭に

「目的語」

Then セン adv. その時

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

did ディット 1 単過(do)v.t ~をした

「動詞」

something サムシング n. 何かを

「目的語」

pron (目的語) ~する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

hadn't done ハント・ダン 1 単過・完了形(do)v.t していなかった

「動詞句」

for quite a while; フォークワイ・ア・ホワイ adv. 長い間

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

fell to thinking フェル・トゥ・シンキング 1 単過・開始(fall to 現在分詞 think)v.i 考え始めた

「動詞句」

about Marie. アバウト・マリー adv. マリーのことを

「間接目的語」

彼女はずいぶんしばらく手紙をよこさない；僕が思うには、彼女は多分死刑を宣告された
男の愛人でいることに疲れたのだろう。

She hadn't written for ages; probably, I surmised, she had grown tired of being the
mistress of a man sentenced to death.

「主語」「動詞句」「副詞句」；「副詞」，「主語」「動詞」；「主語」「動詞句」「補語」

She シー pron 彼女は

「主語」

hadn't written ハント・リット 3 単過・完了形(write)v.t 手紙をよこさない

「動詞句」

for ages; フォー・エイジズ adv. ずいぶんしばらく

「副詞句」

probably, プロバブリー adv. たぶん

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

surmised, サイズト 1 単過(surmise)v.t 推量した、推測した

「動詞」

she シー pron 彼女は

「主語」

had grown ハット・グロウン 3 単過・完了形・変化(grow)v.i (状態に) なった

「動詞句」

tired タイアト adj. 疲れた

「補語」

of being オブ・ビーイング adv. (関連) ~でいることに

「副詞句」

the mistress サ・ミストレス n. 愛人

「補語」

of a man オブ・ア・マン adj. 男の

「形容詞句」

sentenced to death. センテンスト・トゥ・デス

adj. 死刑を宣告された

「形容詞句」

Part 2 第2部

または、もしかすると病気になったかもしれないし、死んだかもしれない。結局、何が起きても不思議ではない。

Or she might be ill, or dead. After all, such things happen.

Or 「主語」「動詞句」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」

Or オ conj. または

she シー pron 彼女は

「主語」

might be マイト・ビー 3 単過・推量(may+不定詞 be)v.i ~かもしれない

「動詞句」

ill, イル adj. 病気の

「補語」

or オ conj. または

dead. デット adj. 死んだ

「補語」

After all, アフター・オール adv. 結局

「副詞句」

such things サッチ・シングズ pl.n そんなことが

「主語」

happen. ハプン 3 複現・推量 v.i 起こるだろう

「動詞」

どうすればそれを知ることが出来ただろうか？今では離れ離れになった二人の体の他には、お互いを思い出させるつながりは何もないのだから。

How could I have known about it, since, apart from our two bodies, separated now, there was no link between us, nothing to remind us of each other?

「副詞」「動詞句」「主語」「間接目的語」, 「副詞節」

How ハウ adv. どうしたら

「副詞」

could ...have known クッド...ハヴ・ノウ 1 単過・完了形・可能性(can+不定詞・完了形 know)

v.i 知ることが出来た

「動詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

about it, アバウト・イット adv. それについて

「間接目的語」

since, シンス conj. ~なのだから

「副詞節」

apart from our two bodies, アパート・フロム・アウ・トゥ・ボデイズ

adv. 二人の体を除いて

「副詞句」

separated now, セパレイトド・ナウ adv. 今では離れ離れになって

「副詞句」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がある

「動詞句」

no link ノ・リンク n. つながり~がない

「主語」

between us, ビトウィーン・アッス adv. 二人の間に

「副詞句」

nothing ナシグ pron 何も~ない

「主語」

to remind トゥ・リマインド 不定詞・目的

adj. 思い出させるべき

「形容詞句」

us of each other? アッス・オブ・イチ・アザー pron お互いを

「目的語」

Part 2 第2部

彼女が死んだとすれば、彼女の思い出は意味がなくなる；僕は死人には興味がない。

Supposing she were dead, her memory would mean nothing; I couldn't feel an interest in a dead girl.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」; 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」
 Supposing サッポウジグ conj. (仮定) もし～ならば 「副詞節」
 she シー pron 彼女は 「主語」
 were ワー 3 単過・仮定(be)v.i ～だった 「動詞」
 dead, デット adj. 死んだ 「補語」
 her memory ハー・メモリー n. 彼女の思い出は 「主語」
 would mean ウット・ミン 3 単過・推量(would+不定詞 mean)v.t 意味するだろう 「動詞句」
 nothing; ナシグ pron 何も～ない 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't feel クェント・フィール 1 単過・可能性・推量・否定(could+不定詞 feel)
 v.t 感じないだろう 「動詞句」
 an interest アン・インタレスト n. 興味を 「直接目的語」
 in a dead girl. イン・ナ・デット・ガール adv. 死んだ娘に 「間接目的語」

僕にとって、これは全く普通だ；僕が死んでしまえば、人はすぐに僕のことを忘れてしま
 うのと同じだ。それは胃に悪いなどと言っていられない。実際に、ずっとそれに慣れない
 ことはないだろう。

This seemed to me quite normal; just as I realized people would soon forget me once I was dead. I couldn't even say that this was hard to stomach; really, there's no idea to which one doesn't get acclimatized in time.

「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」; 「副詞節」
 「主語」「動詞句」「目的語」; 「副詞」「動詞句」「主語」
 This スィス pron これは 「主語」
 seemed シームト 3 単過・時制の一致 v.i ～と思われる 「動詞」
 to me トゥ・ミー adv. 僕にとっては 「間接目的語」
 quite normal; クワイ・ノーマル adj. まったく普通の 「補語」
 just as ジャスト・アズ conj. (様態) ～するように 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 realized リアライズト 1 単過・時制の一致 v.t 理解している 「動詞」
 people ピーブル pron.pl 人々は～することを 「目的語」
 would soon forget ウット・スーン・フォーゲット 3 複現・推量(would+不定詞)
 v.t すぐに忘れるだろう 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」

Part 2 第2部

once ワンス conj. (条件) ～すればいつでも	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
was ワズ 1 単過・仮定・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
dead. デット adj. 死んだ	「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
couldn't even say クェント・イーヴン・セイ 1 単過・可能・否定・推量(could+不定詞)	
v.t 言うことも出来ないだろう	「動詞句」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
this ズィス pron これは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
hard ハート adj. つらい、苦しい	「補語」
to stomach; トゥ・スタマック adv. 胃に	「副詞句」
really, リアリー adv. 実際は、本当に	「副詞」
there's ゼアズ 3 単現・存在(there be)v.i ～がある	「動詞句」
no idea ノ・アイデア n. 見解が～ない	「主語」
to which トゥ・フィッチ adv. それに～するという	「形容詞節」
one ワン pron 人が	「主語」
doesn't get acclimatized ダズント・ゲット・アクリマタイズト 3 単現・可能・否定(get+過去分詞)	
v.i 慣れない	「動詞句」
in time. イン・タイム adv. そのうちに、結局	「副詞句」

僕の考えがこの点に達した時、司祭が突然入って来た。

My thoughts had reached this point when the chaplain walked in, unannounced.

	「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」
My thoughts マイ・ソツ pl(thought).n 僕の考えが	「主語」
had reached ハット・リーチト 3 複過・完了形(reach)v.t 達した	「動詞句」
this point ズィス・ポイント n. この点に	「目的語」
when ホエン conj. ～する時	「副詞節」
the chaplain ザ・チャプリン n. 司祭が	「主語」
walked in, ウォーク・イン 3 単過(walk in)v.i 入って来た	「動詞句」
unannounced. アンアナウンスト adv. 突然、予告なしに	「副詞」

Part 2 第2部

彼と会うしかなかった。彼は明らかに気づき、すぐ僕に恐れることは無いと言った。

I couldn't help giving a start on seeing him. He noticed this evidently as he promptly told me not to be alarmed.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞」「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 couldn't help giving クドント・ヘルプ・ギヴイング 1 単過・諦め(cannot help+現在分詞)
 v.t ~を与えるしかなかった 「動詞句」
 cannot help +現在分詞 (感情的に) ~せずにいられない、~するのは仕方がない
 a start ア・スタート n. 開始を 「目的語」
 on seeing him. オン・シーイング・ヒム adv. 彼と会うことに 「副詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 noticed ノチスト 3 単過 v.t 気付いていた 「動詞」
 this ズィス pron これを 「目的語」
 evidently, エヴィデントリー adv. 明らかに 「副詞」
 as アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 promptly プロンプトリー adv. すぐに 「副詞」
 told トゥルト 3 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 me ミー 僕に 「目的語」
 not to be alarmed. ノット・トゥ・ビー・アラームト 不定詞・受動・否定・me の動作(alarm)
 v.t おびえない、恐れない 「補語」

僕は司祭に、面会はいつも別の時間に、難しい理由で来るのではないかと確認した。

I reminded him that usually his visits were at another hour and for a pretty grim occasion.

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 reminded リマインデイト 1 単過 v.t 気付かせた、確認した 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 that ザット conj. ~ということを 「直接目的語」
 usually ユーシュアリー adv. いつもは 「副詞」
 his visits ヒズ・ヴィジツ pl.n. 司祭の面会は 「主語」
 were ワー 3 複過(be)v.i ~だった 「動詞」
 at another hour, アット・アナザー・アウア adv. 別の時間に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 for a pretty grim occasion. フォー・ア・プリー・グリーム・オカジヨン
 adv. (目的) かなり難しい理由で 「副詞句」

Part 2 第2部

これはただの友好的な訪問だ；そして僕の上訴とは関係がない。彼は上訴については何も知らないと答えた。

This, he replied, was just a friendly visit; it had no concern with my appeal, about which he knew nothing.

「主語」, 「主語」「動詞」, 「動詞」「補語」; 「主語」「動詞」「目的語」,
「間接目的語」「主語」「動詞」「直接目的語」

This, スィズ pron この訪問は	「主語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
replied, リプライト° 3 単過 v.i 答えた	「動詞」
was ワズ° 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である	「動詞」
just a friendly visit; ジャスト・ア・フレンドリー・ヴィジット n. 親善訪問	「補語」
it イット pron それは	「主語」
had ハット° 3 単過・時制の一致(have)v.t 〜がある	「動詞」
no concern ノウ・コンサーン n. 関係〜がない	「目的語」
with my appeal, ウィズ・マイ・アペール adv. 僕の上訴と	「副詞句」
about which アバウト・フィッチ adv. (関連) 上訴については	「間接目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている	「動詞」
nothing. ナンク° pron 何も〜ない	「直接目的語」

それから彼は僕のベッドに腰を降ろして、僕に彼の隣に座るようにと言った。僕は断った。彼に反抗するつもりは無かったし、彼は穏やかで優しそうに感じた。

Then he sat down on my bed, asking me to sit beside him. I refused—not because I had anything against him; he seemed a mild, amiable man.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」 | 「主語」「動詞」
「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Then セン adv. それから	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 腰を降ろした、座った	「動詞句」
on my bed, オン・マイ・ベット° adv. 僕のベッドに	「副詞句」
asking アスキング° 現在分詞・継続 adv. そして〜を求めた	「副詞句」
me ミー pron 僕に	「目的語」
to sit トゥ・シット 不定詞・me の動作 v.i 座る	「補語」
beside him. ビサイド・ヒム adv. 彼のそばに	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」

Part 2 第2部

refused— リフュースト ^ゝ 1 単過 v.t 断った	「動詞」
not because ノット・ビーズ ^ゝ conj. (理由) ~のためではなく	「副詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット ^ゝ 1 単過(have)v.t あった	「動詞」
anything エニシング ^ゝ pron 何か	「目的語」
against him; アゲンスト・ヒム adj. 彼に敵対した	「形容詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
seemed シームト ^ゝ 3 単過 v.i ~に見えた	「動詞」
a mild, amiable ア・マイルト ^ゝ ・エイミアブル adj. 穏やかで優しい	「形容詞句」
man. マン n. 人	「補語」

最初、彼は両腕を膝にのせ、その手に視線を定めて、じっとしていた。

He remained quite still at first, his arms resting on his knees, his eyes fixed on his hands.

	「主語」「動詞」「補語」
He ヒー 彼は	「主語」
remained リマインデイト ^ゝ 3 単過 v.i ~のままでいた	「動詞」
quite still クワイ・スタイル adj. 全くじっとした、まったく静かな	「補語」
at first, アット・ファースト adv. 最初は	「副詞句」
his arms ヒズ・アームズ ^ゝ adv.(+現在分詞) (様態) 彼の手を~して	「副詞句」
resting レスティング ^ゝ 現在分詞(rest)v.t のせて、置いて	「動詞」
on his knees, オン・ヒズ・ニーズ ^ゝ adv. 膝の上に	「副詞句」
his eyes ヒズ・アイズ ^ゝ adv.(+過去分詞) (様態) 彼の視線を~して	「副詞句」
fixed フィックスト 過去分詞(fix)v.i 留めて	「動詞」
on his hands, オン・ヒズ・ハズ ^ゝ adv. 手の上に	「副詞句」

その手はか細いが筋肉質で、僕に2匹の敏捷な動物を思わせた。

They were slender but sinewy hands, which made me think of two nimble little animals.

	「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
They ゼイ pron.pl (hands の代用) その手は	「主語」
were ワー 3 複過(be)v.i ~だった	「動詞」
slender but sinewy スレンダー・バット・シニュー adj. か細いけれど筋肉質の	「形容詞句」
hands, ハズ ^ゝ pl.n 手	「補語」
which フィッチ pron その手は	「主語」
made メイト ^ゝ 3 複過・使役(make)v.t(SVO+不定詞) O に~させた	「動詞」
me ミー pron 僕に	「目的語」
think シンク 不定詞・me の動作 v.i(of のことを) 考える	「補語」

Part 2 第2部

of two nimble little animals. オブ・トゥ・ニンブル・リトル・アニマル

adv. 2匹の敏捷な動物を

「間接目的語」

それから彼はゆっくりとその手を擦り合わせた。彼はかなり長く同じ姿勢でいたので、僕は彼がそこにいることを少しの間忘れていた気がする。

Then he gently rubbed them together. He stayed so long in the same position that for a while I almost forgot he was there.

「副詞」「主語」「副詞」「動詞」「目的語」「副詞」

「主語」「動詞」「副詞句」that「副詞句」「主語」「副詞」「動詞」「目的語」

Then セン adv. それから

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

gently ジェントリー adv. ゆっくりと、徐々に、静かに

「副詞」

rubbed ラブト 3 単過(rub)v.t こすった

「動詞」

them セム pron.pl (hands の代用) その手を

「目的語」

together. トゥゲザー adv. 一緒に、合わせて

「副詞」

He ヒー pron 彼は

「主語」

stayed ステイト 3 単過 ~のままでいた

「動詞」

so long ソウ・ロング adv. かなり長い間

「副詞句」

in the same position イン・ザ・セム・ポジション adv. 同じ姿勢で

「副詞句」

that サット conj.(so ... that) それで~する

for a while フォア・ホイル adv. しばらく、少しの間

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

almost オールモスト adv. ほとんど

「副詞」

forgot フォゴット 1 単過(forget)v.t 忘れていた

「動詞」

n. ~ということ

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

was ワズ 3 単過・存在・時制の一致(be)v.i ~にいる

「動詞」

there. セア adv. そこに

「副詞」

彼は不意に頭を上げて、僕を正視した。「どうして」と、彼は尋ねた。「私の訪問を拒むのですか？」

All of a sudden he jerked his head up and looked me in the eyes. "Why," he asked, "don't you let me come to see you?"

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」and「動詞」「目的語」「副詞句」

《「副詞」》,「主語」「動詞」,《「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》

All of a sudden オール・オブ・ア・サドン adv. 不意に、突然に

「副詞句」

Part 2 第2部

he ヒ pron 彼は	「主語」
jerked ...up ジャークト...アップ 3 単過(jerk up)v.t 上げた	「動詞句」
his head ヒズ・ヘット n. 頭を	「目的語」
and アンド conj. そして	
looked ルクト 3 単過(look)v.t 見た	「動詞」
me ミ pron 僕を	「目的語」
in the eyes. イン・ズィ・アイズ adv. 正面から	「副詞句」
look O in the eyes 「O を正視する」	
“Why,” ホイ adv. なぜ？	「副詞」
he ヒ pron 彼は	「主語」
asked, アスト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
“don’t ...let ドント...レット 2 単現・使役・否定・疑問文(let)v.t ～させないのか？	「動詞句」
you ユ pron あなたは	「主語」
me ミ pron 私に	「目的語」
come to see カム・トゥ・シー 不定詞・me の動作 v.t 面会に来る	「補語」
you?” ユ pron あなたに	「目的語」

僕は、神の存在を信じていないからだと説明した。「あなたは、そう確信しているのですか？」と、彼が尋ねた。

I explained that I didn’t believe in God. “Are you really so sure of that?”

「主語」「動詞」「目的語」 | 《「動詞」「主語」「補語」》

I アイ pron 僕は	「主語」
explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した	「動詞」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
didn’t believe ディトント・ビリーヴ 1 単過・否定・時制の一致	
v.i 信じていない	「動詞句」
in God. イン・ゴット adv. 神の存在を	「間接目的語」
“Are アー 2 単現・疑問文(be)v.i ～ですか？	「動詞」
you ユ pron あなたは	「主語」
really so sure リアリー・ソウ・シュア adj. 本当に確信した	「補語」
of that?” オフ・サット adv. それについて	「副詞句」

Part 2 第2部

僕は、その件で僕の頭を悩ませている事は無いことが分かったと言った；僕が信じようと、信じまいと、僕の心にとって、どうでもいい事だ。

I said I saw no point in troubling my head about the matter; whether I believed or didn't was, to my mind, a question of so little importance.

「主語」「動詞」「目的語」；「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は 「主語」
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 saw ソー 1 単過(see)v.t 見た、分かった 「動詞」
 no point ノ・ポ・イント n. 事柄を～ない 「目的語」
 in troubling イン・トラブリング adj. 悩ませている 「形容詞句」
 my head マイ・ヘット n. 僕の頭を 「目的語」
 about the matter; アバウト・ザ・マター
 adv. その件について 「副詞句」
 whether ウェザー conj. ～かどうかということ 「主語」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 believed ビリーヴト 1 単過・時制の一致 v.t 信じている 「動詞」
 or オア conj. または
 didn't デイットント 1 単過・時制の一致 v.t 信じていない 「動詞句」
 was, ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 to my mind, トゥ・マイ・マインド adv. 僕の心にとって 「副詞句」
 a question ア・クェスチョン n. 問題 「補語」
 of so little importance. オフ・ソ・リトル・インポータンス
 adj. 取るに足らない、ちっぽけな 「形容詞句」

それから彼は両手を平らに広げて腿の上に置き、背中で壁にもたれかかった。

He then leaned back against the wall, laying his hands flat on his thighs.

「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 then セン adv. それから 「副詞」
 leaned back リント・バック 3 単過 v.i 後ろにもたれかかった 「動詞句」
 against the wall, アゲンスト・ザ・ウォール adv. 壁に 「副詞句」
 laying レイニング 現在分詞・同時(lay)v.t ～を置いて 「副詞句」
 his hands ヒズ・ハンズ pl.n 両手を 「目的語」
 flat フラット adj. 平らに広げた 「形容詞」

Part 2 第2部

on his thighs. オン・ヒズ・サイズ adv. 腿の上に

「副詞句」

ほとんど僕に話しかける様子なしに、人は確信していると思ひ込むが、実際には確信していないことがあると自分は指摘していたと、彼は言った。

Almost without seeming to address me, he remarked that he'd often noticed one fancies one is quite sure about something, when in point of fact one isn't.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Almost オールモスト adv. ほとんど

「副詞」

without seeming to address ウイズ・アウト・シーミング・トゥ・アドレス

adv. (様態) 話しかける様子なしに

「副詞句」

me, ミ pron 僕に

「間接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

remarked リマート 3 単過 v.t 述べた、言った

「動詞」

that サット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

'd often noticed ハッド・オフン・ノウチス 3 単過・完了形(notice)v.t 指摘していた 「動詞句」

n. ～ということを

「目的語」

one ワン pron 人は

「主語」

fancies ファンシース 3 単現(fancy)v.t 思い込む

「動詞」

n. ～ということを

「目的語」

one ワン pron 人は

「主語」

is イズ 3 単現(be)v.i ～である 「動詞」

quite sure クワイ・シュア adj. 確信した 「補語」

about something, アバウト・サムシング adv. 何かに 「副詞句」

when ホエン adv. その時 「副詞」

in point of fact イン・ポイント・オブ・ファクト adv. 実は 「副詞句」

one ワン pron 人は 「主語」

isn't. イズント 3 単現・否定(be)v.i ～でない 「動詞句」

僕が何も言わないでいると、彼はまた僕を見つめて、尋ねた：「そう思いませんか？」

When I said nothing, he looked at me again, and asked: "Don't you agree?"

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」, and 「動詞」:

《「動詞句」「主語」「動詞句」》

When ホエン conj. ～した時

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

said セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

Part 2 第2部

nothing, ナシング pron 何も～ない	「目的語」
he ヒー pron 彼は	「主語」
looked at ルックト・アット 3 単過(look at)v.t を見つめた	「動詞句」
me ミー pron 僕を	「目的語」
again, アゲイン adv. また	「副詞」
and アンド conj. そして	
asked: アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
“Don’t ...agree?” トント...アグリー 2 単現・否定・疑問文(agree)	
v.t そう思わないですか?	「動詞句」
you ユー pron あなたは	「主語」

僕は、そういうことはあり得ると答えた。

<u>I said that seemed quite possible.</u>	「主語」「動詞」「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
said セット 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
n. ～ということを	「目的語」
that ザット pron それは	「主語」
seemed シームト 3 単過・時制の一致(seem)v.i ～と思える	「動詞」
quite possible. クワイト・ポッシブル adj. まったくあり得る	「補語」

僕は自分が何に興味があるかについてはあまり定かではないが、何に興味がないかという事に関しては確信がある。

But, <u>though I mightn't be so sure about what interested me, I was absolutely sure about what didn't interest me.</u>	But, 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」
But, バット conj. しかし	
though ゴウ conj. ～だけれども	「副詞節」
I アイ pron 僕は	「主語」
mightn't be マイトント・ビー 1 単過・否定・推量(may+不定詞 be)	
v.i ～でないだろう	「動詞句」
so sure ソー・シュア adj. (否定文で) あまり確かな～でない	「補語」
about アバウト adv. (対象) ～について	「副詞句」
what ファット pron 何が～すること	「目的語」
interested インタレスト 3 単過・時制の一致(interest)	
v.t 興味を持たせる	「動詞」
me, ミー pron 僕に	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」

Part 2 第2部

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
absolutely sure アブソリュートリー・シュア adj. 確信がある	「補語」
about アバウト adv. (対象) ~について	「副詞句」
what ファット pron 何が~すること	「目的語」
didn't interest デイトント・インタレスト 3 単過・時制の一致(interest)	
v.t 興味を持たせる	「動詞」
me. ミー pron 僕に	「目的語」

そして、彼が尋ねた質問については、僕はまったく興味がない。

And the question he had raised didn't interest me at all.

And 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

And アント conj. そして	
the question ザ・クエスチョン n. その質問は	「主語」
he ヒー pron 彼が~する	「形容詞節」
had raised ハット・レイズト 3 単過・完了形 v.t (質問を) 提起した	「動詞句」
didn't interest デイトント・インタレスト 3 単過・否定・時制の一致 v.t 興味を起こさせない	「動詞句」
me ミー pron 僕に	「目的語」
at all. アット・オール adv. まったく~ない	「副詞句」

彼は目をそらし、同じ姿勢のままで、僕がそんな風に話しているのは全く絶望しているからなのか、と尋ねた。

He looked away and, without altering his posture, asked if it was because I felt utterly desperate that I spoke like this.

「主語」「動詞句」 and, 「副詞句」, 「動詞」「目的語」

He ヒー pron 彼は	「主語」
looked away ルクト・アウェイ 3 単過(look away)v.i 目をそらした	「動詞句」
and, アント conj. そして	
without altering ウイズアウト・オルタリング adv. (様態) ~を変えずに	「副詞句」
his posture, ヒズ・ポスチャー n. 彼の姿勢を	「目的語」
asked アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
if イフ conj. ~かどうかということ	「目的語」
it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)	
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である	「動詞」
because ビコーズ conj. ~だから	「補語」
I アイ pron 僕が	「主語」
felt フェルト 1 単過・時制の一致(feel)v.i 感じている	「動詞」

Part 2 第2部

utterly desperate アター・デスパリット adj. まったく絶望的な	「補語」
that サット conj. ～ということは	「主語」
I アイ pron 僕が	「主語」
spoke スોક 1 単過・時制の一致(speak)v.i 話している	「動詞」
like this. ライク・ズィス adv. こんな風に	「副詞句」

僕が感じてるのは絶望ではなく恐怖だと、説明した。それは当たり前のことだ。

I explained that it wasn't despair I felt, but fear—which was natural enough.

	「主語」「動詞」「目的語」 — 「主語」「動詞」「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
explained イクスプレイント 1 単過 v.t 説明した	「動詞」
that サット conj. ～ということを	「目的語」
it イット pron それは	「主語」
wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない	「動詞句」
despair デスパア n. 絶望	「補語」
I felt, アイ・フェルト adj. 僕が感じているのは	「形容詞節」
but バット conj. しかし	
fear—フィア n. 恐怖だ	「補語」
which フィッチ pron それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
natural enough. ナチュラル・イフ adj. あり前の	「補語」

「その場合には」と、彼は断固として言った。「神があなたの助けになります。私が見てきた、あなたと同じ境遇の人は皆、神を頼るようになりました」

“In that case,” he said firmly, “God can help you. All the men I’ve seen in your position turned to Him in their time of trouble.”

	《「副詞句」》, 「主語」「動詞」「副詞」,
	《「主語」「動詞句」「目的語」 「主語」「動詞」「間接目的語」「副詞句」》
“In that case,” イン・サット・ケイス adv. その場合には	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
said セット 3 単過(say)v.t 言った	「動詞」
firmly, ファームリー adv. しっかりと、断固として	「副詞」
“God ゴット n. 神が	「主語」
can help キャン・ヘルプ 3 単現・可能(can+不定詞 help)v.t 助けられる	「動詞句」
you. ユー n. あなたを	「目的語」
All the men オール・ザ・メン pl.n 全員が	「主語」

Part 2 第2部

I've seen アイ・ヴ・シーン adj. 私が見てきた 「形容詞節」
 in your position イン・ユア・ポジジョン adv. あなたと同じ立場の 「副詞句」
 turned ターント 3 複過(turn)v.i(to を) 頼るようになった 「動詞」
 to Him トゥ・ヒム adv. 神を 「間接目的語」
 in their time of trouble.” イン・セア・タイム・オブ・トラブル adv. まさかの時に、困った時に 「副詞句」

確かに、と僕は答えた。彼らがそうしたいと思ったのなら、そうするのは彼らの自由だ。

Obviously, I replied, they were at liberty to do so, if they felt like it.

「副詞」, 「主語」 「動詞」, 「主語」 「動詞」 「補語」
 Obviously, オブヴィアスリー adv. 明らかに、確かに 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 replied, リプライト 1 単過(reply)v.t 答えた 「動詞」
 they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」
 were ワー 3 複過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 at liberty アット・リバティ adv.(to+不定詞~する)自由がある、~できる 「補語」
 to do so, トゥ・ドゥ・ソ 不定詞・目的 adv. そうする 「副詞句」
 if イフ conj. もし~ならば 「副詞節」
 they ゼイ pron.pl 彼が 「主語」
 felt like フェルト・ライク 3 複過(feel like)
 v.t ~をしたいと思った 「動詞句」
 it. イット pron それを 「目的語」

しかし、僕は人の力を借りる気はないし、興味の無いことに関心を向ける時間も無い。

I, however, didn't want to be helped, and I hadn't time to work up interest for something that didn't interest me. 「主語」 「副詞」 「動詞句」, and 「主語」 「動詞句」 「目的語」

I, アイ pron 僕は 「主語」
 however, ハウエヴァー adv. かししながら 「副詞」
 didn't want to be helped, デイdn't・ワント・トゥ・ビー・ヘルプト 1 単過・希望・否定・時制の一致
 (want to+不定詞・受動形)v.t 力を借りる気はない 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 hadn't ハdn't 1 単過・否定・時制の一致(have)v.t ~がない 「動詞句」
 time タイム n. 時間が 「目的語」
 to work up トゥ・ワーク・アップ 不定詞・目的(work up)
 v.t (感情を) かきたてる 「形容詞句」
 interest インタレスト n. 興味を 「目的語」

Part 2 第2部

for something フォー・サムシング adv. 何かを求めて 「副詞句」

that サット pron (主語) ～する 「形容詞節」

didn't interest ディトント・インタレスト 3 単過・否定・時制の一致

v.t 興味を持たせない 「動詞句」

me. ミー pron 僕に 「目的語」

彼は苛立たし気に両手をびくびく震わせた。それから立ち上がって、僧服を整えた。

He fluttered his hands fretfully; then, sitting up, smoothed out his cassock.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞」; 「副詞句」「動詞句」「目的語」

He ヒー pron 彼は 「主語」

fluttered フラタート v.t 振った、びくびくさせた 「動詞」

his hands ヒズ・ハズ pl.n 手を 「目的語」

fretfully; フレットフリー adv. 不満そうに 「副詞」

then, セン adv. それから 「副詞」

sitting up, シティング・アップ 現在分詞 adv. 立ち上がって 「副詞句」

smoothed out スムースト・アウト 3 単過(amooth out)v.t しわを伸ばした、整えた 「動詞句」

his cassock. ヒズ・キャソック n. 僧服を 「目的語」

これを終えると、彼は僕に「友よ」と呼びかけて、また話し始めた。

When this was done he began talking again, addressing me as "my friend."

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

When ホエン conj. ～すると 「副詞節」

this ズィス pron これが 「主語」

was done ワズ・ダン 3 単過・受動(do)v.t 終えた 「動詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

began talking ビギャン・トーキング 3 単過・開始(begin+現在分詞 talk)v.i 話し始めた 「動詞句」

again, アゲン adv. また 「副詞」

addressing アドレスング adv(address). (付帯状況) 呼びかけて 「副詞句」

me ミー pron 僕を 「目的語」

as "my friend." アズ・マイ。フレント adj. 友よと 「補語」

Part 2 第2部

こんな風に話すのは僕が死刑を宣告されたからではない、と彼は言った。

It wasn't because I'd been condemned to death, he said, that he spoke to me in this way.

「動詞句」「補語」,「主語」「動詞」,「主語」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

wasn't ワズン't 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i ~でない

「動詞句」

because ビ・コーズ conj. ~だからということ

「補語」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd been condemned ハット・ビーン・コンデムント 1 単過・完了形・受動(condemn)

v.t(to を) 宣告された

「動詞句」

to death, トゥ・デス adv. 死刑を

「間接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said, セッド 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

that サット conj. ~ということは

「主語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

spoke スポーク 3 単過・時制の一致(speak)v.i 話す

「動詞」

to me トゥ・ミー adv. 僕に

「間接目的語」

in this way. イン・ズ・イス・ウェイ adv. こんな風に

「副詞句」

彼の意見によると、世の中の人間は全て死刑を宣告されているということだ。

In his opinion every man on the earth was under sentence of death.

「副詞句」,「主語」「動詞」「補語」

In his opinion イン・ヒズ・オピニオン adv. 彼の意見では

「副詞句」

every man エヴリ・マン n. 人は全て

「主語」

on the earth オン・ジ・アース adj. この世の

「形容詞句」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

under sentence ウンダー・センテンス adj. 宣告を受けた

「補語」

of death. オフ・デス adj. 死刑の

「形容詞句」

そこで僕は彼の言葉を遮って指摘した。それは同じことではない、その上、何の慰めにもならない。

There, I interrupted him; that wasn't the same thing, I pointed out, and, what's more, could be no consolation.

「副詞」,「主語」「動詞」「目的語」;

「主語」「動詞句」「補語」,「主語」「動詞句」,and「副詞句」,「動詞句」「補語」

There, ゼア adv. そこで

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

Part 2 第2部

interrupted インタラプテイト 1 単過 v.t 遮った	「動詞」
him; ヒム pron 彼の言葉を	「目的語」
that サット pron それは	「主語」
wasn't ワズント 3 単過・否定・時制の一致(be)v.i 〜でない	「動詞句」
the same thing, サ・セム・シング n. 同じ事	「補語」
I アイ pron 僕は	「主語」
pointed out, ポイント・アウト 1 単過(point out)v.t 指摘した	「動詞句」
and, アント conj. そして	
what's more, ファッツ・モア adv. その上、おまけに	「副詞句」
could be クット・ビー 3 単過・可能性・変化・推量(could+不定詞 be)v.i 〜になるだろう	「動詞句」
no consolation. ノ・コンソレイション n. 慰めに〜ない	「補語」

彼は頷いた。「恐らくそうでしょう。あなたはすぐには死なないにしても、いつかは死ぬのです。その時、同じ問題に直面します。最後のあの恐ろしい時間にどのように立ち向かうつもりですか？」

He nodded. "Maybe. Still, if you don't die soon, you'll die one day. And then the same question will arise. How will you face that terrible, final hour?"

「主語」「動詞」《「応答」 | 「副詞」「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」 | 「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

He ヒー pron 彼は	「主語」
nodded. ノデイト 3 単過(nod)v.i 頷いた	「動詞」
"Maybe. メイベー adv. おそらくそうでしょう	「応答」
Still, スティル adv. それでも	「副詞」
if イフ conj. もし〜ならば	「副詞節」
you ユー pron あなたは	「主語」
don't die ドント・ダイ 2 単現・否定 v.i 死なない	「動詞句」
soon, スーン adv. すぐに	「副詞」
you ユー pron あなたは	「主語」
'll die ウィル・ダイ 2 単未・推量(will+不定詞 die)v.i 死ぬだろう	「動詞句」
one day. ワン・デイ adv. いつか	「副詞句」
And then アント・ゼン adv. そしてその時	「副詞句」
the same question サ・セム・クエスチョン n. 同じ問題が	「主語」
will arise. ウィル・アライズ 3 単未・推量(will+不定詞 arise)v.i 現れるだろう	「動詞句」
How ハウ adv. どのように	「副詞」
will ...face ウィル...フェイス 2 単未・意思・疑問文(will+不定詞 face) v.t 立ち向かうつもりですか？	「動詞句」

Part 2 第2部

you ユー pron あなたは 「主語」
 that terrible, final サッ・テリブル・ファイナル adj. 最後のあの恐ろしい 「形容詞句」
 hour?" アウ n. 時間に 「目的語」

今それに立ち向かっているのとまったく同様にそれに立ち向かうつもりだと僕は答えた。

I replied that I'd face it exactly as I was facing it now. 「主語」「動詞」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 replied リプライト 1 単過(reply)v.t 答えた 「動詞」
 that サッ conj. ～ということを 「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 'd face ウット・フェイス 1 単現・意思(would+不定詞 face)
 v.t 立ち向かうつもりだ 「動詞句」
 it イット pron それに 「目的語」
 exactly as イグザクトリー・アズ conj. (様態) まさしく～するように 「副詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 was facing リズ・フェイス 1 単過・進行形・時制の一致(face)
 v.t 立ち向かっている 「動詞句」
 it イット pron それに 「目的語」
 now. ナ adv. 今 「副詞」

そこで彼は立ち上がり、僕の目を真っすぐ覗き込んだ。それは僕が得意なゲームだった。

Thereat he stood up, and looked me straight in the eyes. It was a trick I knew well.
 「副詞」「主語」「動詞句」,and 「動詞」「目的語」「副詞句」
 「主語」「動詞」「補語」
 Thereat ゼアラット adv. そこで、その時に 「副詞」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 stood up, ストゥット・アップ 3 単過(stand up)v.i 立ち上がった 「動詞句」
 and アンド conj. そして
 looked ルクト 3 単過 v.t 見た、見つめた 「動詞」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 straight in the eyes. ストレイト・イン・ズィ・アイズ adv. 僕の目を真っすぐに 「副詞句」
 It イット pron それは 「主語」
 was リズ 3 単過(be)v.i ～だった 「動詞」
 a trick ア・トリック n. いたずら、悪ふざけ、ゲーム 「補語」
 pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」

Part 2 第2部

knew ニュ 1 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

well. ウェル adv. よく

「副詞」

僕もエマヌエルやセレストにこのゲームを試して楽しんでいたが、10回のうち9回は不快
 そうに眼をそらしたものだ、

I used to amuse myself trying it on Emmanuel and Céleste, and nine times out of ten
they'd look away uncomfortably.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」、
 and 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

used to amuse myself trying ユースト・トゥ・アミューズ・マイセルフ・トライイング 1 単過・習慣

(use to+ 不定詞 amuse oneself+現在分詞 ~して) 試して楽しんだものだ 「動詞句」

it イット pron そのゲームを

「直接目的語」

on Emmanuel and Céleste, オン・エマニュエル・アント・セレステ

adv. (対象) エマニュエルやセレストに

「間接目的語」

and アント conj. そして

nine times ナイン・タイムズ pl.n 9回は

「副詞句」

out of ten アウト・オブ・テン adv. 10回のうち

「副詞句」

they ゼイ pron.pl 彼らは

「主語」

'd look away ウット・ルック・アウェイ 3 複過・習慣(would+不定詞 look away)

v.i 目をそらしたものだ

「動詞句」

uncomfortably. アンコンフォタブリー adv. 不快そうに

「副詞」

彼がこのゲームに長けていると分かった。彼の視線が全く揺らがなかったからだ。

I could see the chaplain was an old hand at it, as his gaze never faltered.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

could see クット・シー 1 単過・可能(can+不定詞 see)v.t 分かった

「動詞句」

n. ~ということが

「目的語」

the chaplain ザ・チャプリン n. 司祭が

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

an old hand アン・オールド・ハント n.(at の) ベテラン、熟練者

「補語」

at it, アット・イット adv. (関連) このゲームに関して

「副詞句」

as アズ conj. (理由) ~だから

「副詞節」

his gaze ヒズ・ゲイズ n. 彼の視線が

「主語」

never faltered. ネヴァー・フォールタート 3 単過・否定(falter)

v.i 決して揺らがなかった

「動詞句」

Part 2 第2部

そして彼が「あなたには全く希望がないのですか？そして、あなたが死ぬとき、あなたは根こそぎ死に果てて、後には何も残らないと本当に思っているのですか？」と言った時、彼の声は全く安定していた。

And his voice was quite steady when he said: "Have you no hope at all? Do you really think that when you die you die outright, and nothing remains?"

And 「主語」「動詞」「補語」

And アント conj. そして

his voice ヒズ・ヴォイス n. 彼の声は 「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i 〜だった 「動詞」

quite steady クワイ・ステディ adj. 全く安定した 「補語」

when ホエン conj. 〜する時に 「副詞節」

he ヒー pron 彼が 「主語」

said: セッド 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」

"Have ハヴ 2 単現・疑問文 v.t あるのですか？ 「動詞」

you ユー pron あなたは 「主語」

no hope ノウ・ホープ n. 希望が〜ない 「目的語」

at all? アット・オール adv. (否定文で) まったく〜ない 「副詞句」

Do ...really think ドゥ...リアリー・シンク 2 単現・疑問文

v.t 本当に思うのですか 「動詞句」

you ユー pron あなたは 「主語」

that ザット conj. 〜ということを 「目的語」

when ホエン conj. 〜する時 「副詞節」

you ユー pron あなたが 「主語」

die ダイ 1 単現 v.i 死ぬ 「動詞」

you ユー pron あなたは 「主語」

die ダイ 1 単現 v.i 死ぬ 「動詞」

outright, アウトライト adv. 完全に、根こそぎ、完全に 「副詞」

and アント conj. そして

nothing ナシング pron 何も〜ない 「主語」

remains?" リメインズ 3 単現 v.i 残らない 「動詞」

Part 2 第2部

僕は答えた：「ええ」

I said: “Yes.”

「主語」「動詞」：《「応答」》

I アイ pron 僕は

「主語」

said: セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

“Yes.” イェス adv. そうだ

「応答」

彼は目を伏せてまた座った。僕の事を本当に残念に思っている、と彼は言った。僕のような考え方は人の人生を耐えられないものにするに違いない。

He dropped his eyes and sat down again. He was truly sorry for me, he said. It must make life unbearable for a man, to think as I did.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「動詞句」「副詞」

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」 | 「動詞句」「目的語」「補語」「主語」

He ヒー pron 彼は

「主語」

dropped ドロップト 3 単過 v.t 落とした、(目を)伏せた

「動詞」

his eyes ヒズ・アイズ pl(eye).n 視線を

「目的語」

and アンド conj. そして

sat down サット・ダウン 3 単過(sit down)v.i 座った

「動詞句」

again. アゲン adv. また

「副詞」

He ヒー pron 彼は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である

「動詞」

truly sorry トゥルー・ソリ adj. 本当に残念に思っ

「補語」

for me, フォー・ミー adv. (対象) 僕のことを

「間接目的語」

he ヒー pron 彼は

「主語」

said. セット 1 単過(say)v.t 言った

「動詞」

It イット pron 仮の主語 (真の主語は to think 以降)

must make マスト・メイク 3 単現・推量(must+不定詞 make)

v.t(VOC) O を C にするに違いない

「動詞句」

life ライフ n. 人生を、生命を

「目的語」

unbearable アンベアラブル adj. 耐えられない

「補語」

for a man, フォー・マン adv. 人にとって

「副詞句」

to think トゥ・シク 不定詞 n. 考えることは

「主語」

as アス conj. 〜のように

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

did. デイット 1 単過(think の代用) 思った、考えた

「動詞」

Part 2 第2部

司祭の話に飽きてきたので、小さな天窓のすぐ下の壁に肩で寄り掛かって、目をそらした。

The priest was beginning to bore me, and, resting a shoulder on the wall, just beneath the little skylight, I looked away.

「主語」「動詞句」「目的語」, and, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」

The priest ザ・プリースト n. 司祭は

「主語」

was beginning to bore ワズ・ビギニング・トゥ・ボア 3 単過・進行形・開始(begin to+不定詞 bore)

v.t 退屈させるようになった

「動詞句」

me, ミ pron 僕を

「目的語」

me を「主語」にして翻訳する

and, アント conj. そして

resting レスティング 現在分詞・手段(rest)v.t 置きながら

「副詞句」

a shoulder ア・ショルダー n. 肩を

「目的語」

on the wall, オン・ザ・ウォール adv. 壁に

「副詞句」

just beneath ジャスト・ビニース adv. (位置) へのすぐ下の

「副詞句」

the little skylight, ザ・リトル・スカイト n. 小さな天窓

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

looked away. ルクト・アウェイ 1 単過(look away)v.i 目をそらした、目を背けた

「動詞句」

あまり苦も無く彼が言った事を理解できたが、また僕に言っている事を拾い集めてみた。

Though I didn't trouble much to follow what he said, I gathered he was questioning me again.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Though ヴウ conj. ～ではあるが

「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

didn't trouble much to follow デイトント・トラブル・マッチ・トゥ・フォロウ 1 単過・部分否定

(trouble to+不定詞 follow)v.t 理解するのにあまり苦勞しなかった

「動詞句」

what ファット pron (目的語) ～することを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

said, セット 3 単過(say)v.t 言った

「動詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

gathered ギャザート 1 単過 v.t 拾い集めた

「動詞句」

n. ～することを

「目的語」

he ヒー pron 彼が

「主語」

was questioning ワズ・クェスチョニング 3 単過・進行形・時制の一致(question)

v.t 尋ねている

「動詞句」

me ミ pron 僕に

「間接目的語」

again. アゲン adv. また

「副詞」

Part 2 第2部

やがて彼の口調が切迫して興奮してきた。そして彼が本当に苦しんでいると分かったので、僕はもっと注意を払うようになった。

Presently his tone became agitated, urgent, and, as I realized that he was genuinely distressed, I began to pay more attention.

「副詞」「主語」「動詞」「補語」,and,「副詞節」,「主語」「動詞句」「目的語」
 Presently プレゼントリー adv. やがて、目下、今の所 「副詞」
 his tone ヒズ・トゥン n. 彼の口調は 「主語」
 became ビケム 3 単過・変化(become)v.i ~になった 「動詞」
 agitated, アギテイト adj. 興奮した 「補語」
 urgent, アージェント adj. 緊急の、切迫した 「補語」
 and, アント conj. そして
 as アズ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 realized リアライズト 1 単過 v.t 分かった 「動詞」
 that サット conj. ~ということ を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 genuinely distressed, ジェニュインリー・ディストレスト
 adj. 本当に苦しんでいる 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 began to pay ビギン・トゥ・ペイ 1 単過・開始(begin to+不定詞 pay)
 v.t (注意を) 払い始めた 「動詞句」
 more attention. モア・アテンション n. もっと注意を 「目的語」

彼は、僕の上訴は上手くいくと確信していると言った。それでも、僕は罪の重荷を負い、それを取り除かなければならないのだ。

He said he felt convinced my appeal would succeed, but I was saddled with a load of guilt, of which I must get rid.

「主語」「動詞」「目的語」,but「主語」「動詞句」「副詞句」
 He ヒー pron 彼は 「主語」
 said セット 1 単過(say)v.t 言った 「動詞」
 n. ~ということ を 「目的語」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 felt フェルト 3 単過・時制の一致(feel)v.i 感じている 「動詞」
 convinced コンヴィンスト adj. 確信した 「補語」

Part 2 第2部

(that) ～という可能性について 「副詞節」
 my appeal マイ・アピール n. 僕の上诉于 「主語」
 would succeed, ウッド・サクシード 3 単現・推量(would+不定詞 succeed)
 v.i 上手くいくだろう 「動詞句」
 but バット conj. しかし
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was saddled ワズ・サドルド 1 単過・受動・時制の一致(saddle)
 v.t (責任を) 負わされる 「動詞句」
 with a load of guilt, ウイズ・ア・ロード・オブ・ギルト adv. (手段) 罪の重荷を 「副詞句」
 of which オフ・フィッチ adv. それを～する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 must get rid. マスト・ゲット・リット 1 単現・必要(get rid of を)
 v.t 取り除かなければならない 「動詞句」

「主語」「be 動詞」「補語」「名詞節」の構文解説

he felt convinced my appeal would succeed

「補語」が、

「感情」を表すもの : sorry, glad, content, thankful, surprised, pleased, delighted,

「確信、疑惑」を表すもの : sure, certain, confident, **convinced**, doubtful, afraid, ...

「名詞節」は「補語」の原因、目的、願望、可能性などを表す**副詞的な名詞節**で、補語が疑惑を表す場合には、接続詞として that の代わりに whether, what, if, when, where, why, how などが用いられる。また、be 動詞のほかに look, **feel**, become など用いられる。

彼の見解によれば、人間の正義は虚しいものであり、神の正義だけが重要なのだ。

In his view man's justice was a vain thing; only God's justice mattered.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」; 「主語」「動詞」

In his view イン・ヒズ・ヴュー adv. 彼の見解では、彼の意見によれば 「副詞句」
 man's justice マンズ・ジャスティス n. 人間の正義は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 a vain thing; ア・ヴェイン・シング n. 虚しいもの 「補語」
 only God's justice オンリー・ゴッズ・ジャスティス n. 神の正義のみが 「主語」
 mattered. マタード 3 単過・時制の一致(matter)v.i 重要である 「動詞」

Part 2 第2部

僕は、人間の正義が僕を有罪と宣告したのだと指摘した。

I pointed out that the former had condemned me. 「主語」「動詞句」「目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 pointed out ポイント・アウト 1 単過(point out)v.t 指摘した 「動詞句」
 that ザット conj. ～ということを 「目的語」
 the former ザ・フォーマー pron 前者が、人間の正義が 「主語」
 had condemned ハット・コンデムント 3 単過・完了形(condemn)
 v.t 有罪と判決した 「動詞句」
 me. ミー pron 僕を 「目的語」

「その通りです」と、彼は言った。「しかし、それで赦免されるわけではありません」僕は彼に、「罪を意識していない」と言った。分かっているのは、有罪だという事だけだ。

Yes, he agreed, but it hadn't absolved me from my sin. I told him that I wasn't conscious of any "sin"; all I knew was that I'd been guilty of a criminal offense.

《「応答」》, 「主語」「動詞」, 《but 「主語」「動詞句」「目的語」》
 「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

Yes, イェス adv. その通り 「応答」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 agreed, アグリード 3 単過 v.t 認めた 「動詞」
 but バット conj. しかし
 it イット pron それは (神より劣る人間の正義による判決) 「主語」
 hadn't absolved ハント・アブゾルヴド 3 単過・完了形・否定・時制の一致(absolve)
 v.t (罪を) 赦免していない 「動詞句」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 from my sin. フロム・マイ・シン adv. 罪から 「副詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 told トールド 1 単過(tell)v.t 言った 「動詞」
 him ヒム pron 彼に 「間接目的語」
 that ザット conj. ～ということを 「直接目的語」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 wasn't ワズント 1 単過・否定・時制の一致(be)v.i ～でない 「動詞句」
 conscious of any "sin"; コンシャス・オブ・エニー・シン adj. 罪について意識した 「補語」
 all I knew オール・アイ・ニュー n. 僕が知っていることは～だけ 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」
 that ザット conj. ～ということ 「補語」
 I アイ pron 僕は 「主語」

Part 2 第2部

'd been ハット・ヒー 1 単過・完了形・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞句」

guilty ギルティ adj.(of の) 罪がある 「補語」

of a criminal offense. オブ・ア・クリミナル・オフENSE

adj. 刑事犯の 「形容詞句」

確かに、僕はその罪に相当する罰を受けている、従って、僕にそれ以上のことを要求する権利は誰にもない。

Well, I was paying the penalty of that offense, and no one had the right to expect anything more of me. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」,and 「主語」「動詞」「目的語」

Well, ウェル adv. 確かに 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

was paying ワズ・ペイ 1 単過・進行形・時制の一致(pay)v.t 支払う 「動詞句」

the penalty ザ・ペナルティ n. 罰を、罰金を 「目的語」

of that offense, オブ・ザット・オフENSE adj. (同格) その罪に相当する 「形容詞句」

and アンド conj. そして

no one ノーワン pron 誰も～ない 「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t (否定文で) ～がない 「動詞」

the right ザ・ライト n. 権利 「目的語」

to expect トゥ・イクスペクト 不定詞・目的 v.t 期待する、求める 「副詞句」

anything more エニシング・モア pron それ以上のものを 「目的語」

of me. オブ・ミー adv. (出所) 僕から、僕に 「副詞句」

その時、彼はまた立ち上がった。それで、彼がこの狭い独房で動ごこうと思ったとしても、唯一の選択肢は立つか座るかのどちらかだと僕は思った。

Just then he got up again, and it struck me that if he wanted to move in this tiny cell, almost the only choice lay between standing up and sitting down.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞」,and 「動詞」「間接目的語」「主語」

Just then ジャスト・ゼン adv. その時 「副詞句」

he ヒー pron 彼は 「主語」

got up ゴット・アップ 3 単過(get up)v.i 立ち上がった 「動詞句」

again, アゲン adv. また 「副詞」

and アンド conj. そして

it イット pron 仮の主語 (真の主語は that 以降)

struck スラック 3 単過(strike)v.t (考えが) 心に浮かんだ、～と思った 「動詞」

me ミー pron 僕に 「間接目的語」

that ザット conj. ～ということが 「主語」

Part 2 第2部

if イ conj. (仮定・譲歩) もし～ならば、もしなにでも	「副詞節」
he ヒー pron 彼は	「主語」
wanted to move ウォンテイト・トオカ・ムーヴ 3 単過・願望・時制の一致	
v.i 動こうとした	「動詞句」
in this tiny cell, イン・スィス・タイニー・セル adv. この狭い独房で	「副詞句」
almost the only choice オールモウスト・スィ・オウンリー・チョイス	
n. 唯一の選択肢が	「主語」
lay レイ 3 単過・時制の一致(lie)v.i ある、横たわる	「動詞」
between standing up and sitting down. ビトウィーン・スタンディング・アップ・アンド・シティング・ダウン	
adv. 立つか座るかの	「副詞句」

僕は床を見つめていた。彼は僕の方へ 1 歩進んできたが、まるでそれ以上近づく気がないように立ち止まった。そして、鉄格子越しに空を見上げた。

I was staring at the floor. He took a single step toward me, and halted, as if he didn't dare to come nearer. Then he looked up through the bars at the sky.

	「主語」「動詞句」「間接目的語」
	「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」,and「動詞」「副詞節」
	「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was staring ワズ・ステアリング 1 単過・進行形(stare)v.i 見つめていた	「動詞句」
at the floor. アット・ザ・フロア adv. 床を	「間接目的語」
He ヒー pron 彼は	「主語」
took トゥック 3 単過(take)v.t (ある行動を) した	「動詞」
a single step ア・シングル・ステップ n. 1 歩	「目的語」
toward me, トゥワート・ミー adv. (方向) 僕に向かって	「副詞句」
and アンド conj. そして	
halted, ホールテイト 3 単過(halt)v.i 止まった	「動詞」
as if アズ・イフ conj. (様態) まるで～するように	「副詞節」
he ヒー pron 彼は	「主語」
didn't dare to come デイトント・デア・トゥ・カム 3 単過・敢えて・否定(dare to+不定詞 come)	
v.i 来る気が無い	「動詞句」
nearer. ニアラー adv. さらに近く	「副詞」
Then セン adv. それから、そして	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
looked up ルクト・アップ 3 単過(look up)v.i 見上げた	「動詞句」
through the bars スルー・ザ・バーズ adv. 鉄格子越しに	「副詞句」

Part 2 第2部

at the sky. アット・ザ・スカイ adv. 空を

「間接目的語」

「あなたは間違っています、息子よ」と、彼は重々しく言った。「あなたはそれ以上のことを求めるでしょう。そして、多分それを求めるでしょう」

“You’re mistaken, my son,” he said gravely. “There’s more that might be required of you. And perhaps it will be required of you.”

《「主語」「動詞」「補語」, 「呼びかけ」》, 「主語」「動詞」「副詞」,
《「動詞句」「主語」 | And 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」》

“You ャー pron あなたは 「主語」
’re アー 2 単現(be)v.i 〜である 「動詞」
mistaken, ミステイクン adj. 間違った 「補語」
my son,” マイ・ソン adv. 息子よ 「呼びかけ」
he ヒー pron 彼は 「主語」
said セット 3 単過(say)v.t 言った 「動詞」
gravely. グレイヴリー adv. 重々しく 「副詞」
“There’s セア 3 単現・存在(there be)v.i 〜がある 「動詞句」
more モア n. それ以上の事が 「主語」
that ザット pron (主語) 〜する 「形容詞節」
might be required マイト・ビー・リクワイアド 3 単現・受動・推量(might+不定詞・受動 require)
v.t 求められるであろう 「動詞句」
of you. オフ・ユー adv. (動作主) あなたによって 「副詞句」
And アント conj. そして
perhaps パ・ハプス adv. 多分 「副詞」
it イット pron それは 「主語」
will be required ウィル・ビー・リクワイアド 3 単未・推量(will+不定詞・受動 require)
v.t 求められるでしょう 「動詞句」
of you.” オフ・ユー adv. (動作主) あなたによって 「副詞句」

「何を言いたいのですか？」

“What do you mean?”

《「目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」》

“What ファット pron 何を 「目的語」
do ...mean?” ドゥ...ミン 2 単現・意思・疑問文(mean)v.t 言いたいのか? 「動詞句」
you ャー pron あなたは 「主語」

Part 2 第2部

「見ることを求められるでしょう…」

“You might be asked to see ...”

《「主語」「動詞句」「補語」》

“You ユー pron あなたは

「主語」

might be asked マイト・ビー・アスクト 2 単現・推量(might+不定詞・受動 ask)

v.t(to+不定詞) ～するように求められるだろう

「動詞句」

to see ...” トゥ・シー 不定詞・you の動作 v.t 見る

「補語」

文型 SVOC の受動態

この文は、平叙文 They might ask you to see. を受動文にしたもの。

平叙文の「目的語」は「主語」に変わり、「補語」は「補語」のままである。

「何を見よと言うのですか？」

“To see what?”

《「応答」》

“To see トゥ・シー 不定詞・疑問文 n. ～を見る事ですか？

「応答」

what?” ファット pron 何を

「目的語」

司祭はゆっくりと僕の独房を見まわした。そして、彼が答えた時の悲嘆にくれた彼の声に僕は衝撃を受けた。

Slowly the priest gazed round my cell, and I was struck by the sadness of his voice when he replied:

「副詞」「主語」「動詞」「間接目的語」,and「主語」「動詞句」「副詞句」

Slowly スロウリー adv. ゆっくりと

「副詞」

the priest ザ・プリースト n. 司祭は

「主語」

gazed ゲイズト 3 単過(gaze)v.i 見つめた

「動詞」

round my cell, ラウント・マイ・セル adv. 独房のあちこちを

「間接目的語」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

was struck ワズ・ストラック 1 単過・受動(strike)v.t 衝撃を受けた、驚いた

「動詞句」

by the sadness バイ・ザ・サッドネス adv. (動作主) 悲嘆に

「副詞句」

of his voice オフ・ヒズ・ヴォイス adj. 彼の声の

「形容詞句」

when ホエン conj. ～する時に

「副詞節」

he ヒー pron 彼が

「主語」

replied: リプライト 3 単過(reply)v.t 答えた

「動詞」

悲嘆にくれる

非常に悲しみ嘆くこと。「暮れる」は悲しさや思案などにより長い間正常な思考ができずにいるさま。

Part 2 第2部

「これらの石壁は苦痛の汗に濡れています。私には分かります」

“These stone walls, I know it only too well, are steeped in human suffering.

《「主語」, 「副詞節」, 「動詞句」 「副詞句」》

“These stone walls, シーズ・ストウン・ウォールズ pl(stone wall).n これらの石壁は 「主語」
I know it only too well, アイ・ノウ・イット・オウンリー・トゥ・ウェル adv. 私はよく分かっている 「副詞節」
are steeped アー・スティープト 3 複現・受動(steep)v.t 〜に浸かっている 「動詞句」
in human suffering. イン・ヒューマン・サファリング adv. 人の苦痛に 「副詞句」

「それらを見ると、必ず身震いしてしまいます」

I've never been able to look at them without a shudder.

《「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」》

I アイ pron 私は 「主語」
've never been able to look ハヴ・ネヴァ・アー・ビーン・エイブル・トゥ・ルック 1 単現・完了形・可能・否定
(be able to+不定詞 look)v.i(at) 一度も見る事が出来なかった 「動詞句」
at them アット・ゼム adv. それらを 「間接目的語」
without a shudder. ウイズ・アウト・ア・シャダァー adv. 身震いせずに 「副詞句」

身震い

体が震え動くこと。震える原因は、寒さ、恐怖、緊張、同情、感動など様々。

「もっと、私を信じてください。私は心底から話しています。私は、あなたたちの中で一番惨めな者であっても、その暗がりから姿を現す神の顔を一度は見たことがあるはずだと思います。あなたが見るように求められるのはその顔なのです」

And yet—believe me, I am speaking from the depths of my heart—I know that even the wretchedest amongst you have sometimes seen taking form against that grayness, a divine face. It's that face you are asked to see.”

《And—「副詞」 「呼びかけ」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 —
「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「補語」 「主語」》

And アント conj. そして
yet イェット adv. その上、さらに 「副詞」
—believe me, ビリーヴ・ミー adv. 私を信じて下さい 「呼びかけ」
I アイ pron 私は 「主語」
am speaking アム・スピーキング 1 単現・進行形 v.i 話しています 「動詞句」
from the depths of my heart— フロム・ザ・デプス・オブ・マイ・ハート adv. 心底から 「副詞句」
I アイ pron 私は 「主語」
know ノウ 1 単現 v.t 分かる 「動詞」

Part 2 第2部

that サット conj. ～ということを	「目的語」
even the wretchedest イヴン・ザ・レッチェデスト pron 一番惨めな者でさえ	「主語」
amongst you アモンスト・ユー adv. あなたたちの中で	「副詞句」
have sometimes seen, ハヴ・サムタイムズ・シー 3 複現・完了形(see)	
v.t 一度は見たはずだ	「動詞句」
taking form テイクング・フォーム ad j v. 姿を現す	「副詞句」
against that grayness, アゲンスト・サット・グレイネス	
adv. その暗がり 배경にして	「形容詞句」
a divine face. ア・ディヴァイン・フェイス n. 神の顔を	「目的語」
It イット pron 仮の主語 (真の主語は you 以降)	
's イズ 3 単現(be)v.i ～である	「動詞」
that face サット・フェイス n. その顔	「補語」
n. ～という事は	「主語」
you ユー pron あなたが	「主語」
are asked アー・アスクト 2 単現・受動(ask)v.t 求められている	「動詞句」
to see.” トゥ・シー 不定詞・you の動作 v.t 見る	「補語」

これを聞いて僕は興奮して、彼に言った；僕は何か月もこの壁を見てきた；どこにも誰もいないし、何もない。これまでに知った人や物よりずっと良く分かっている。

This roused me a little. I informed him that I'd been staring at those walls for months; there was nobody, nothing in the world, I knew better than I knew them.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」；

「動詞句」「主語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞節」

This スィズ pron これは	「主語」
roused ラウズト 3 単過(rouse)v.t 怒らせた、興奮させた	「動詞」
me ミー pron 僕を	「目的語」
a little. ア・リトル adv. 少し	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
informed インフォームト 1 単過 v.t 知らせた、告げた	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
that サット conj. ～ということを	「直接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd been staring ハット・ビーンスデアリク 1 単過・完了形・進行形(stare)	
v.t ずっと見つめてきた	「動詞句」
at those walls アット・ゾウス・ウォールズ adv. その壁を	「間接目的語」

Part 2 第2部

for months; フォー・マンツ adv. 何か月も	「副詞句」
there was ゼア・ワズ 3 単過・存在(there be)v.i ~がいた	「動詞句」
nobody, ノバディ pron 誰も~いない	「主語」
nothing ナンク pron 何も~ない	「主語」
in the world, イン・ザ・ワールド adv. (否定文で) どこにも~ない	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 知っている	「動詞」
better than ベター・ザン conj. (比較) ~よりも	「副詞節」
I アイ pron 僕が	「主語」
knew ニュー 1 単過(know)v.t 知っていた	「動詞」
them. ゼム pron.pl 人や物を	「目的語」

たぶん以前なら、1つの顔を探していただろう。

And once upon a time, perhaps, I used to try to see a face.

And 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

And アント conj. そして

once upon a time, ワン・サ・ナ・タイム adv. 昔は、以前は 「副詞句」

perhaps, パ・ハプス adv. おそらく、たぶん 「副詞」

I アイ pron 僕は 「主語」

used to try to see ユースト・トゥ・トライ・トゥ・シー 1 単過・習慣(use to+不定詞 try+不定詞)

v.t 探していた、見ようとしていた 「動詞句」

a face. ア・フェイス n. 1つの顔を 「目的語」

しかしそれは、欲望に照らし出された太陽神の顔、マリーの顔だ。僕はあいにくそれを見
ることは出来なかった。そして、いまでは探すのをやめてしまった。

But it was a sun-gold face, lit up with desire—Marie's face. I had no luck; I'd never seen
it, and now I'd given up trying.

But 「主語」 「動詞」 「補語」 | 「主語」 「動詞」 「目的語」;

「主語」 「動詞句」 「目的語」, and 「副詞」 「主語」 「動詞句」

But バット conj. しかし

it イット pron それは 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」

a sun-gold face, ア・サン・ゴールド・フェイス n. 太陽神の顔 「補語」

lit up リット・アップ 過去分詞・受動(light up)adj. 照らされた 「形容詞句」

with desire— ウイズ・デザイア adv. 欲望に 「副詞句」

Marie's face. マリース・フェイス n. マリーの顔 「補語」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
had ハット 1 単過(have)v.t 〜があった	「動詞」
no luck; ノ・ラック n. 幸運が〜ない	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd never seen ハット・ネヴァー・シーン 1 単過・完了形・否定(see)	
v.t 見ることが出来なかった	「動詞句」
it, イット pron それを	「目的語」
and アンド conj. そして	
now ナウ adv. 今では	「副詞」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd given up trying. ハット・ギヴン・アップ 1 単過・完了形・放棄(give up+現在分詞 try)	
v.t 捜すのをやめてしまった。	「動詞句」

確かに僕はあの壁から、彼が言うような形の何かを一度も見ることがない。

Indeed, I'd never seen anything "taking form." as he called it, against those gray walls.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Indeed, インデイト adv. 本当に、確かに

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd never seen ハット・ネヴァー・シーン 1 単過・完了形・否定(see)v.t 一度も見ることが無い 「動詞句」

anything エニシング pron 何も

「目的語」

"taking form," テイクング・フォーム 現在分詞 adj. 形をしている、現れる

「形容詞句」

as he called it, アス・ヒー・コールト・イット adv. 彼が言うように

「副詞節」

against those gray walls. アゲンスト・ゾウズ・グレイ・ウォールズ

adv. あのグレーの壁から

「副詞句」

司祭は悲しげな様子で僕を見つめた。

The chaplain gazed at me with a sort of sadness.

「主語」 「動詞」 「間接目的語」 「副詞句」

The chaplain サ・チャプリン n. 司祭は

「主語」

gazed ケイズト 3 単過 v.i(at を) 見つめた

「動詞」

at me アット・ミー adv. 僕を

「間接目的語」

with ウイズ adv. (様態) 〜で

「副詞句」

a sort of sadness. ア・ソート・オブ・サドニス n. 悲し気な様子

「目的語」

Part 2 第2部

フランス語の原文では

次の文が続いている。

僕は今では完全に壁を背にしてもたれかかっていた。そして日の光が僕の額に向かって射し込んできていた。

J'étais maintenant complètement adossé à la muraille et le jour me coulait sur le front.

彼は二言三言呟いたが、僕には聞き取れなかった；それから突然、僕にキスしても構わないだろうかと尋ねた。

He muttered some words I didn't catch; then abruptly asked if he might kiss me.

「主語」「動詞」「目的語」；「副詞句」「動詞」「目的語」

He	ヒー pron 彼は	「主語」
muttered	マタード 3 単過(mutter)v.t 呟いた	「動詞」
some words	サム・ワーズ pl.n 二言三言	「目的語」
adj.		「形容詞節」
I	アイ pron 僕は	「主語」
didn't catch;	デイトント・キャッチ 1 単過・否定(catch)	
v.t	聞き取れなかった	「動詞句」
then	ゼン adv. それから	「副詞」
abruptly	アブラプトリー adv. 突然	「副詞」
asked	アスクト 3 単過 v.t 尋ねた	「動詞」
if	イフ conj. ～かどうかということ	「目的語」
he	ヒー pron 彼は	「主語」
might kiss	マイト・キス 3 単過・許可(may+不定詞 kiss)v.t キスして構わない	「動詞句」
me.	ミー pron 僕に	「目的語」

僕は答えた、「断ります」。すると彼は向きを変えて、壁に近づき、彼の手をゆっくりと壁に差し出して撫でた。

I said, "No." Then he turned, came up to the wall, and slowly drew his hand along it.

「主語」「動詞」，《「応答」》 | 「副詞」「主語」「動詞」，「動詞句」「間接目的語」，
and 「副詞」「動詞」「目的語」「副詞句」

I	アイ pron 僕は	「主語」
said,	セッド 1 単過(say)v.t 言った	「動詞」
"No."	ノウ adv. 断る	「応答」
Then	ゼン adv. すると	「副詞」
he	ヒー pron 彼は	「主語」
turned,	ターント 3 単過 v.i 向き直った	「動詞」

Part 2 第2部

came up ケイム・アップ 3 単過(come up)v.i 近づいて行った	「動詞句」
to the wall, トゥ・ザ・ウォール adv. 壁に	「間接目的語」
and アンド conj. そして	
slowly スロウリー adv. ゆっくりと	「副詞」
drew ドゥー 3 単過(draw)v.t 引いた	「動詞」
his hand ヒズ・ハント n. 彼の手を	「目的語」
along it. アロング・イット adv. 壁伝いに	「副詞句」

「あなたは本当にそれ程までこの世の中を愛しているのですか？」と、彼は弱々しい声で尋ねた。僕は何も答えなかった。

“Do you really love these earthly things so very much?” he asked in a low voice. I made no reply.

《「動詞句」「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」「副詞句」》,

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」

“Do ...love トゥ...ラヴ 2 単現・疑問文 v.t 愛しているのですか?	「動詞句」
you ユー pron あなたは	「主語」
really リアリー adv. 本当に	「副詞」
these earthly things ジーズ・アースリー・シングズ pl.n この世のことを	「目的語」
earthly アースリー adj. この世の、世俗的な	
so very much?” ソウ・ヴェリー・マッチ adv. それほどまでに	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
asked アスクト 3 単過 v.i 尋ねた	「動詞」
in a low voice. イン・ナ・ロウ・ヴォイス adv. 弱々しい声で	「副詞句」
low ロウ adj. 低い、弱った、小さい	
I アイ pron 僕は	「主語」
made メイト 1 単過(make)v.t (動作を) した	「動詞」
no reply. ノ・リプライ n. (否定文で) 答えを~ない	「目的語」

かなり長い間、彼は目を背けていた。

For quite a while he kept his eyes averted.	「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」
For quite a while フォー・クワイ・ア・ホワイ adv. かなり長い間	「副詞句」
he ヒー pron 彼は	「主語」
kept ケプト 3 単過・維持(keep)v.t(SVOC) O を C の状態に保った	「動詞」
his eyes ヒズ・アイズ pl(eye).n 目を	「目的語」
averted. アヴァーテイト 過去分詞・受動(avert)adj. そらした、そむけた	「補語」

Part 2 第2部

彼の存在に対してますますいらいらが募って来て、もう立ち去って僕を落ち着かせてくれ
 と言いそうになった。その時、彼は突然僕の方へ振り返り、突然情熱的に語り始めた。

His presence was getting more and more irksome, and I was on the point of telling him to go, and leave me in peace, when all of a sudden he swung round on me, and burst out passionately:

「主語」「動詞句」「補語」,and「主語」「動詞句」「目的語」「補語」,
 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」,and「動詞句」「副詞」

His presence ヒズ・プレゼンス n. 彼の存在が 「主語」
 was getting ワズ・ゲティンク 3 単過・進行形(get)v.i (状態に) なって来た 「動詞句」
 more and more モア・アント・モア adv. ますます、だんだん 「副詞句」
 irksome, イルクサム adj. 面倒な、いらいらする 「補語」
 and アント conj. そして
 I アイ pron 僕は 「主語」
 was on the point of telling ワズ・オン・ザ・ポイント・オブ・テリング 1 単過・寸前(tell)
 v.t 言いそうになった 「動詞句」
 on the point of オン・ザ・ポイント・オブ adv. まさに～しようとして、～の間際に
 him ヒム pron 彼に 「目的語」
 to go, トゥ・ゴウ 不定詞・him の動作 v.i 立ち去る、消える 「補語」
 and アント conj. そして
 leave リーヴ 不定詞・him の動作 v.t(VOC O を C の状態に) する 「補語」
 me ミー pron 僕を 「目的語」
 in peace, イン・ピース adv. 平穏な、安らかな、静かな 「補語」
 when ホエン adv. その時 「副詞」
 all of a sudden オール・オブ・ア・サドン adv. 突然 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 swung round スワング・ラウンド 3 単過(swing round)v.i 急に振り向いた 「動詞句」
 on me, オン・ミー adv. 僕の方に 「副詞句」
 and アント conj. そして
 burst out バースト・アウト 3 単過(burst out)v.i 突然叫び始めた 「動詞句」
 passionately: パッショントリー adv. 情熱的に、激しく 「副詞」

「嘘だ、そんなことはない。あなたの言っていることは断じて信じない。あなただって、
 来世があることを何度も願ったと私は確信している」

“No! No! I refuse to believe it. I’m sure you’ve often wished there was an afterlife.”

《「応答」 | 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

“No! No! ノー・ノー adv. 嘘だ、そんなことはない 「応答」

I アイ pron 私は 「主語」

Part 2 第2部

refuse to believe リフューズ・トウ・ビ・リーヴ 1 単現・拒否・強調(refuse to+不定詞 believe)

v.t 断固として信じない 「動詞句」

it. イット pron あなたの言う事を 「目的語」

I アイ pron 私は 「主語」

'm アム 1 単現(be)v.i 〜である 「動詞」

sure シュア adj. 確信した 「補語」

n. (副詞的名詞節: 理由・可能性) 〜ということを 「副詞節」

you ユー pron あなたは 「主語」

've often wished ハヴ・オーフン・ウィッシュト 2 単現・完了形(wish)

v.t 何度も願ったはずだ 「動詞句」

n. 〜ということを 「目的語」

there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)

v.i 〜がある 「動詞句」

an afterlife." アン・アフターライフ n. 来世が 「主語」

勿論、僕もそう願ったことはある。誰だって、時にはそう願うものだ。

Of course I had, I told him. Everybody has that wish at times.

「副詞句」「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「間接目的語」

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Of course オフ・コース adv. もちろん 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

had, ハット 1 単過・完了形(had wished ...の省略)v.t 願ったことがある 「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

told トルド 1 単過(tell)v.t 答えた 「動詞」

him. ヒム pron 彼に 「間接目的語」

Everybody エヴリバディ pron 誰だって 「主語」

has ハズ 3 単現(have)v.t 〜を持つ、〜がある 「動詞」

that wish ザット・ウィッシュ n. そんな願望 「目的語」

at times. アット・タイムズ adv. 時には 「副詞句」

しかしそれは、金持ちになりたいとか、速く泳げるようになりたいとか、口の格好がもつと良くなりたいと願うのと大差のないことだ。

But that had no more importance than wishing to be rich, or to swim very fast, or to have a better shaped mouth.

But 「主語」「動詞」「目的語」

But バット conj. しかし

that ザット pron それは 「主語」

Part 2 第2部

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t	～がある	「動詞」
no more importance ノ・モア・インポ・タンス n.	(否定文で) あまり重要性が～ない	「目的語」
than wishing サン・ウイシグ adv.	(比較) ～することを望むよりも	「副詞句」
to be rich, トゥ・ビー・リッチ 不定詞 v.i	金持ちになる	「動詞句」
or オア conj.	または	
to swim very fast, トゥ・スイム・ヴェリー・ファースト 不定詞		
v.i	とても速く泳ぐ	「動詞句」
or オア conj.	または	
to have a better shaped mouth. トゥ・ハヴ・ア・ベター・シェイプ・ト・マウス 不定詞		
v.t	口の格好が良くなる	「動詞句」

それは同じレベルの問題だ。僕は同じ道筋を進み続けていた。その時、彼は割り込んで僕に尋ねた。僕は死後の世界をどのように描いているのかと。

It was in the same order of things. I was going on in the same vein, when he cut in with a question. How did I picture the life after the grave?

「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

It イット pron	それは	「主語」
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i	～である	「動詞」
in the same order of イン・ザ・セイム・オーダー・オブ		
adj.	同じレベルの、同じ序列の	「形容詞句」
things. スングズ pron.pl	こと	「補語」
I アイ pron	僕は	「主語」
was going on ワズ・ゴウイング・オン 1 単過・進行形(go on)v.i	進み続けていた	「動詞句」
in the same vein, イン・ザ・セイム・ヴェイン adv.	同じ道筋を	「副詞句」
when ホエン conj.	その時	「副詞」
he ヒー pron	彼は	「主語」
cut in カット・イン 3 単過(cut in)v.i	(話に) 割り込んだ	「動詞句」
with a question. ウイズ・ア・クエスチョン adv.	質問で	「副詞句」
How ハウ adv.	どのように	「副詞」
did ...picture ディ・イット ...ピクチャー 1 単過・疑問文・時制の一致(picture)v.t	描いている	「動詞句」
I アイ pron	僕は	「主語」
the life ザ・ライフ n.	生活を	「目的語」
after the grave? アフター・ザ・グレイヴ adv.	死後の	「副詞句」
grave グレイヴ n.	墓場、死	

Part 2 第2部

僕はかなり大きな声で叫んだ：「地上での世界を覚えていられるような世界ですよ」

I fairly bawled out at him: "A life in which I can remember this life on earth.

「主語」「副詞」「動詞句」「間接目的語」：《「目的語」》

I アイ pron 僕は

「主語」

fairly フェアリー adv. かなり、いくらか

「副詞」

bawled out ボールト・アウト 1 単過(bawl out)v.i 大声で叫んだ

「動詞句」

at him: アット・ヒム adv. 彼に向かって

「間接目的語」

"A life ア・ライフ n. 世界

「目的語」

in which イン・フィッチ adv. そこで何する

「形容詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

can remember キャン・リメンバー 1 単現・可能(can+不定詞 remember)

v.t 覚えていられる

「動詞句」

this life on earth. スィス・ライフ・オン・アース n. 地上でのこの世界を

「目的語」

「それが来世について望むことです」そしてすぐに続けて、もう帰ってくれと言った。

That's all I want of it." And in the same breath I told him I'd had enough of his company.

《「主語」「動詞」「補語」》

And 「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

That ザット pron それが

「主語」

's イズ 3 単現(be)v.i ～である

「動詞」

all I want of it." オール・アイ・ウアント・オブ・イット n. 来世について望むこと

「補語」

And アント conj. そして

in the same breath イン・ザ・セイム・ブレス adv. すぐに続けて、息をつがずに

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

told トルド 1 単過(tell)v.t 言った

「動詞」

him ヒム pron 彼に

「間接目的語」

n. ～ということを

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd had ハット・ハット 1 単過・完了形(have)v.t ～を持った

「動詞句」

enough of his company. イフ・オブ・ヒズ・カンパニー n. 十分すぎる同席を

I'd had enough of... 「～はもう沢山だ」

Part 2 第2部

しかし、どうやら彼は、神についてもっと言いたいことがあったらしい。

But, apparently, he had more to say on the subject of God.

But, 「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

But, バット conj. しかし

apparently, アパレントリー adv. どうやら、明らかに

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

had ハット 3 単過(have)v.t. ～があった

「動詞」

more to say モア・トゥ・セイ pron もっと言いたい事が

「目的語」

on the subject of God. オン・ザ・サブジェクト・オブ・ゴット adv. 神について 「副詞句」

僕は彼の目の前まで近づいて、僕には残された時間はわずかであり、神の事でそれを無駄にするつもりはない、と最後の説明をした。

I went close up to him and made a last attempt to explain that I'd very little time left, and I wasn't going to waste it on God.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 and 「動詞」 「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

went ウェント 1 単過(go)v.i 行った

「動詞」

close up to him クローズ・トゥ・ヒム adv. 彼の近くまで

「副詞句」

and アンド conj. そして

made メイト 1 単過(make)v.t (動作を) した

「動詞」

a last attempt ア・ラスト・アテンプト n. 最後の試みを

「目的語」

to explain トゥ・イクスプレイン 不定詞・目的・結果 adv. 説明する

「副詞句」

that ザット conj. ～ということ

「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd ハット 1 単過・時制の一致(have)v.t. ～がある

「動詞」

very little time ヴェリー・リトル・タイム

n. 非常にわずかの時間

「目的語」

left, レフト adj. 残された

「形容詞」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

wasn't going to waste ワズント・ゴウイング・トゥ・ウェイスト 1 単過・進行形・意思・否定

v.t 失うつもりはない

「動詞句」

it イット pron 時間を

「目的語」

on God. オン・ゴット adv. 神のことで

「副詞句」

Part 2 第2部

そこで彼は話題を変えようとして、どうして僕は彼を聖職者の敬称である「父」と呼ばないのかと尋ねた。

Then he tried to change the subject by asking me why I hadn't once addressed him as "Father," seeing that he was a priest.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Then セン adv. そこで

「副詞」

he ヒー pron 彼は

「主語」

tried to change トライト・トゥ・チェンジ 3 単過・試行(try to+不定詞 change)

v.t 変えようとした

「動詞句」

the subject ザ・サブジェクト n. 話題を

「目的語」

by asking バイ・アスキング adv. (方法・結果) ～を尋ねて

「副詞句」

me ミー pron 僕に

「間接目的語」

why ホイ adv. どうして～ということを

「直接目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't once addressed ハドント・ワンス・アドレスト 1 単過・完了形・否定・時制の一致(address)

v.t 敬称で呼ばない

「動詞句」

once は否定を強調する

him ヒム pron 彼を、神を

「目的語」

as "Father," アズ・ファーザー adv. 父と

「補語」

seeing シーイング 現在分詞・方法(see)v.t ～と考えて 「副詞句」

that ザット conj. ～ということを

「目的語」

he ヒー pron 彼は、神は

「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

a priest. ア・プリースト n. 聖職者、指導者

「補語」

フランス語の原文では

彼は話題を変えようとして、どうして僕が彼のことを「父よ」ではなく「～さん」と呼ぶのかと、僕に尋ねた。

Il a essayé de changer de sujet en me demandant pourquoi je l'appelais «monsieur» et non pas «mon père».

père ペール n.m 父、(神父の敬称) 父なる神

Part 2 第2部

それを聞いて僕はさらに腹が立って、彼は僕の父ではないし、それどころか反対側にいると反発した。

That irritated me still more, and I told him he wasn't my father; quite the contrary. he was on the others' side.

「主語」	「動詞」	「目的語」	「副詞句」	,and	「主語」	「動詞」	「間接目的語」	「直接目的語」
That	ザット	pron	それは					「主語」
irritated	イリテイット	3 単過(irritate)v.t	苛立たせた					「動詞」
me	ミ	pron	僕を					「目的語」
still more,	スティル・モア	adv.	さらに					「副詞句」
and	アンド	conj.	そして					
I	アイ	pron	僕は					「主語」
told	トルド	1 単過(tell)v.t	言った					「動詞」
him	ヒム	pron	彼に					「間接目的語」
n.	～ということ							「直接目的語」
he	ヒ	pron	彼は					「主語」
wasn't	ワズント	3 単過・時制の一致(be)v.i	～でない					「動詞句」
my father;	マイ・ファーザー	n.	僕の父					「補語」
quite the contrary,	クワイ・ザ・コントラリー	adv.	まるでその反対に					「副詞句」
he	ヒ	pron	彼は					「主語」
was	ワズ	3 単過・時制の一致(be)v.i	～にいる					「動詞」
on the others' side.	オン・ズイ・アザー・サイト	adv.	反対側に					「副詞句」

反発

他人の言動などを受け入れないで、強く否定すること。

「違います、息子よ」と、彼は僕の肩に手をおいて言った。

“No, no, my son,” he said, laying his hand on my shoulder.

					《「呼びかけ」》	「主語」	「動詞」	「副詞句」
“No, no, my son,”	ノウ・ノウ・マイソン	adv.	違います、息子よ					「呼びかけ」
he	ヒ	pron	彼は					「主語」
said,	セッド	3 単過(say)v.t	言った					「動詞」
laying	レイイング	現在分詞・様態(lay)adv.	～を置いて					「副詞句」
his hand	ヒズ・ハント	n.	手を					「目的語」
on my shoulder.	オン・マイ・ショルダー	adv.	肩の上に					「副詞句」

Part 2 第2部

「私はあなたに寄り添っています。けれどもあなたはそれが分からないのです。あなたの心が塞がれているからです。しかし、私があなたのために祈りましょう」

"I'm on your side, though you don't realize it—because your heart is hardened. But I shall pray for you."

《「主語」「動詞」「副詞句」,「副詞節」 | But「主語」「動詞句」「副詞句」》

I アイ pron 私は 「主語」
 'm アム 1 単現・存在(be)v.i 〜にいる 「動詞」
 on your side, オン・ユア・サイド adv. あなたの側に、あなたに寄り添って 「副詞句」
 though ゴウ conj. けれども〜 「副詞節」
 you ユー pron あなたは 「主語」
 don't realize ドント・リアライズ 2 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」
 it イット pron それを 「目的語」
 —because ビーズ conj. 〜だから 「副詞節」
 your heart ユア・ハート n. あなたの心が 「主語」
 is hardened. イズ・ハートドント 3 単現・受動(harden)
 v.t 無感覚にされている 「動詞句」
 But バット conj. しかし
 I アイ pron 私は 「主語」
 shall pray シャル・プレイ 1 単未・意思(shall+不定詞 pray)v.i 祈りましょう 「動詞句」
 for you." フォー・ユー adv. あなたのために 「副詞句」

その時、なぜか分からないが、何かが僕の内部で砕けたような気がして、僕は声を限りに叫び出した。

Then, I don't know how it was, but something seemed to break inside me, and I started yelling at the top of my voice.

「副詞」,「主語」「動詞句」「副詞節」,

but「主語」「動詞句」「副詞句」,and「主語」「動詞句」「副詞句」

Then, セン adv. その時 「副詞」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 don't know ドント・ノウ 1 単現・否定 v.t 分からない 「動詞句」
 how ハウ adv. (理由) どうしてか 「副詞節」
 it イット pron それが 「主語」
 was, ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 but バット conj. しかし
 something サムシング pron 何かが 「主語」
 seemed to break シームト・トゥ・ブレイク 3 単過・思われる(seem to+不定詞)

Part 2 第2部

v.i 砕けたように思われる	「動詞句」
inside me, インサイト・ミー adv. 僕の内部で	「副詞句」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
started yelling スターテイト・イェリング 1 単過・開始(start+現在分詞 yell)	
v.i 叫び出した	「動詞句」
at the top アット・ザ・トップ adv. (程度) 最大で	「副詞句」
of my voice. オフ・マイ・ヴォイス adj. 僕の声の	「形容詞句」

僕は彼を罵り、僕に対する腐った祈りはやめろと彼に言った。そんなものは、僕の目の前から見えなくなるより焼き捨てるほうが良い。

I hurled insults at him, I told him not to waste his rotten prayers on me; it was better to burn than to disappear.

「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」, 「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」	
I アイ pron 僕は	「主語」
hurled ハールト 1 単過(hurl)v.t 投げつけた	「動詞」
insults インサルツ pl(insult).n 侮辱を	「直接目的語」
at him, アット・ヒム adv. 彼に	「間接目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
told トゥルト 1 単過(tell)v.t 言った	「動詞」
him ヒム pron 彼に	「間接目的語」
not to waste ノット・トゥ・ウェイト 不定詞・him の動作・禁止(waste)v.t 消耗するな	「補語」
his rotten prayers ヒズ・ロトン・プ・レアズ pl.n 彼の腐った祈りを	「目的語」
on me; オン・ミー adv. 僕に対する	「副詞句」
it イット pron 仮の主語 (真の主語は to burn)	
was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である	「動詞」
better ベター adj. (比較級) より良い	「補語」
to burn トゥ・バーン 不定詞 v.t 焼く事が	「主語」
than ザン conj. (比較) 〜よりも	「副詞句」
to disappear. トゥ・ディザピア 不定詞 n. 見えなくなる事	「目的語」

Part 2 第2部

僕は彼の僧服の襟をつかんだ。それから、喜びと怒りが混濁したある種の恍惚感に溺れて、僕の頭の中で爆発寸前だった自分の考えをすべて彼に浴びせた。

I'd taken him by the neckband of his cassock, and, in a sort of ecstasy of joy and rage, I poured out on him all the thoughts that had been simmering in my brain.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」,and,「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」
 'd taken ハット・テイクン 1 単過・完了形(take)v.t(by 部分) つかんだ 「動詞句」
 him ヒム pron 彼を 「目的語」
 by the neckband バイ・ザ・ネックバンド adv. (シャツの) えりを 「副詞句」
 of his cassock, オフ・ヒズ・キャソック adj. 彼の僧服の 「形容詞句」
 and, アント
 in a sort of ecstasy イン・ナ・ソート・オブ・エクスタシー adv. ある種の歓喜で 「副詞句」
 of joy and rage, オフ・ジョイ・アント・レイジ adj. 喜びと怒りの 「形容詞句」
 I アイ pron 僕は 「主語」
 poured out ポアト・アウト 1 単過(pour out)v.t 浴びせた、吐き出した 「動詞句」
 on him オン・ヒム adv. 彼に 「間接目的語」
 all the thoughts オール・ザ・ソツ pl.n 全ての考えを、意見 「直接目的語」
 that ザット pron (主語) ~する 「形容詞節」
 had been simmering ハット・ビーン・シマリク 3 単過・完了形・進行形(simmer)
 v.i 爆発寸前だった 「動詞句」
 in my brain. イン・マイ・ブレイン adv. 僕の頭の中で 「副詞句」

彼は自信たっぷりに見えるじゃないか？しかし、彼の確信なんて、どれも、髪の毛一筋の価値も無い。

He seemed so cocksure, you see. And yet none of his certainties was worth one strand of a woman's hair.

「主語」「動詞」「補語」,「呼びかけ」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

He ヒー pron 彼は 「主語」
 seemed シームト 3 単過・時制の一致(seem)v.i ~のようだ 「動詞」
 so cocksure, ソ・コクシュア adj. 自信たっぷりの 「補語」
 you see. ユー・シー adv. (同意を求める) そうじゃないか? 「呼びかけ」
 And yet アント・イエット adv. しかも、それでいて 「副詞句」
 none of his certainties ナン・オブ・ヒズ・サートンティーズ pron 彼の確信のどれも~ない 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i (否定文で) ~でない 「動詞」
 worth ワース prep (金額や物を示す語を伴って) ~の値打ちのある 「補語」

Part 2 第2部

one strand ワン・ストラント^o n. 髪一筋

「目的語」

of a woman's hair. オフ・ア・ウーマンズ・ヘア^o adj. 女の髪の毛の

「形容詞句」

死人のように暮らしているせいで、自分が生きていることにさえ確信が持てないのだろう。

Living as he did, like a corpse, he couldn't even be sure of being alive.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」

Living リヴィング^o 現在分詞(live)・原因 adv. 生活しているので

「副詞句」

as he did, アズ・ヒー・デイト^o conj. (比較・時制の一致) 彼がやっているように

「副詞句」

like a corpse, ライク・ア・コープス^o adv. 死人のように

「副詞句」

he ヒー^o pron 彼は

「主語」

couldn't even be クドント・イーヴン・ビ^o 3 単過・推量・否定(could+不定詞 be)

v.i ~でさえないのだろう

「動詞句」

sure シュア^o adj. 確信のある

「補語」

of being alive. オフ・ビーイング・アライヴ^o adv. 生きていることについて

「副詞句」

僕には何も持ち物が無いようだ。

It might look as if my hands were empty.

「動詞句」「主語」

It イット^o pron 仮の主語 (真の主語は as if 以降)might look マイト・ルック^o 3 単過・推量(may+不定詞 look)

v.i ~のように見えるかもしれない

「動詞句」

as if アズ・イフ^o conj. ~かもしれないことが

「主語」

my hands マイ・ハnds^o pl.n 僕の手は

「主語」

were ワー^o 3 複過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

empty. エンプティ^o adj. 物を持っていない

「補語」

実際には、僕は自分のことを確信している、全てを確信している、彼よりも遥かに確信している；僕は生きていることも、やがて訪れる死についても確信している。

Actually, I was sure of myself, sure about everything, far surer than he; sure of my present life and of the death that was coming.

「副詞」, 「主語」「動詞」「補語」; 「補語」

Actually, アクシャリー^o adv. 実際には、実は

「副詞」

I アイ^o pron 僕は

「主語」

was ワズ^o 1 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

sure of myself, シュア・オフ・マイセルフ^o adj. 自分について確信した

「補語」

sure about everything, シュア・アバウト・エヴリシング^o adj. 全てを確信した

「補語」

far surer than he; ファー・シュアラー・ザン・ヒー^o adj. 彼よりもはるかに確信した

「補語」

Part 2 第2部

sure シュア adj. 確信した 「補語」
 of my present life オフ・マイ・プレゼント・ライフ adv. 自分が生きている事に 「副詞句」
 and アンド conj. そして
 of the death オフ・ザ・デス adv. 死について 「副詞句」
 that was coming. ザット・ワズ・カミング adj. やがて訪れる 「形容詞節」

恐らく、それが僕の持つ全てだろう；しかし少なくともその確実性は、それが僕にかぶりつくのと同様に、僕がそれにかぶりつける何かだろう。

That, no doubt, was all I had; but at least that certainty was something I could get my teeth into just as it had got its teeth into me.

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」；but 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」
 That, ザット pron それは 「主語」
 no doubt, ノ・ダウト adv. たぶん、おそらく、疑いも無く 「副詞句」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 all I had; オール・アイ・ハット pron 僕がもっている全て 「補語」
 but バット conj. しかし
 at least アット・リスト adv. 少なくとも、いずれにせよ 「副詞句」
 that certainty ザット・サートゥンティ n. その確実性は 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」
 something サムシング pron 何か 「補語」
 adj. 〜する 「形容詞節」
 I アイ pron 僕が 「主語」
 could get クット・ゲット 1 単過・可能・時制の一致・推量(can get)
 v.t(one's teeth into) かぶりつける 「動詞句」
 get one's teeth into... 「〜にかぶりつく、夢中になる」
 my teeth マイ・ティース pl.n 僕の歯を 「直接目的語」
 into- イントゥ adv. それに 「間接目的語」
 just as ジャスト・アズ adv. 〜のように 「副詞節」
 it イット pron その確実性が 「主語」
 had got ハット・ゴット 3 単過・時制の一致・推量(get)
 v.t(one's teeth into) かぶりつく 「動詞句」
 its teeth イツ・ティース pl.n その歯を 「直接目的語」
 into me. イントゥ・ミー adv. 僕に 「間接目的語」

Part 2 第2部

僕はずっと正しかった。今でも正しい。僕はいつでも正しい。

I'd been right, I was still right, I was always right.

「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd been ハット・ビーン 1 単過・完了形(be)v.i ~だった

「動詞句」

right, ライト adj. 正しい

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

still right, スティル・ライト adj. 今でも正しい

「補語」

I アイ pron 僕は

「主語」

was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

always right. オールウェイズ・ライト adj. いつでも正しい

「補語」

僕はある種のやり方で人生を過ごしてきたが、僕が望めば、違う生き方も出来ただろう。

I'd passed my life in a certain way, and I might have passed it in a different way, if I'd felt like it.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, and

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd passed ハット・パスト 1 単過・完了形(pass)v.t 過ごしてきた

「動詞句」

my life マイ・ライフ n. 僕の人生を

「目的語」

in a certain way, イン・ナ・サートゥン・ウェイ adv. ある種の方法で

「副詞句」

and アンド conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

might have passed マイト・ハヴ・パスト 1 単過・完了形・推量(may+不定詞・完了形 pass)

v.t 過ごせたかもしれない

「動詞句」

it イット pron それを

「目的語」

in a different way, イン・ナ・ディファレント・ウェイ adv. 違うやり方で

「副詞句」

if イフ conj. もし~ならば

「副詞節」

I アイ pron 僕が

「主語」

'd felt like ハット・フェルト・ライク 1 単過・完了形・仮定(feel like)

v.t したいと思った

「動詞句」

it. イット pron 違う生き方を

「目的語」

Part 2 第2部

僕はこんな風に行動したが、そんな風にはやらなかった；僕は何かをやらなかったが、その一方で、他のことならやった。

I'd acted thus, and I hadn't acted otherwise; I hadn't done x, whereas I had done y or z.

「主語」「動詞句」「副詞」, and 「主語」「動詞句」「副詞」;

「主語」「動詞句」「目的語」, whereas 「主語」「動詞句」「目的語」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd acted ハット・アクティド 1 単過・完了形(act)v.i 行動した

「動詞句」

thus, ザス adv. こんな風に

「副詞」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't acted ハドント・アクティド 1 単過・完了形・否定(act)v.i 行動しなかった

「動詞句」

otherwise; アサワイズ adv. そんな風には

「副詞」

I アイ pron 僕は

「主語」

hadn't done ハドント・ダン 1 単過・完了形・否定(do)v.t しなかった

「動詞句」

x, エクス n. x を

「目的語」

whereas ウェアラス conj. だが一方～

I アイ pron 僕は

「主語」

had done ハット・ダン 1 単過・完了形 (do)v.t やった

「動詞句」

y or z. ワイ・オア・ジー n. y や z は

「目的語」

それで、それが何を意味するのだ？僕はいつでもそれを、現在のこの瞬間、そのうち訪れるだろう、僕を無罪としてくれるあの夜明けを待ち続けていた。

And what did that mean? That, all the time, I'd been waiting for this present moment, for that dawn, tomorrow's or another day's, which was to justify me.

And 「目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」

「目的語」, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

And アント conj. そして

what フワット pron 何を

「目的語」

did ...mean? デイット ...ミン 3 単過・疑問文(mean)v.i 意味するの？

「動詞句」

that ザット pron それ

「主語」

That, ザット pron それを

「目的語」

all the time, オール・ザ・タイム adv. いつでも、常に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

'd been waiting ハット・ビーン・ウェイティング 1 単過・完了形・進行形(wait)v.i 待っていた 「動詞句」

for this present moment, フォーズ・イス・プレゼント・モメント adv. 現在のこの瞬間

「副詞句」

for that dawn, フォー・ザット・トーン adv. あの夜明けを

「間接目的語」

Part 2 第2部

tomorrow's or another day's, トゥモロウズ・オア・アナザー・デイズ

adj. そのうち訪れる

「形容詞句」

which フィッチ pron (主語) 何する

「形容詞節」

was to justify ワズ・トゥ・ジャスティファイ 3 単過・すべき・時制の一致(be to+不定詞 justify)

v.t. ～を正しいとする

「動詞句」

me. ミ pron 僕を

「目的語」

重要なことなど一つも無い。僕はその理由をよく知っている。

Nothing, nothing had the least importance and I knew quite well why.

「主語」「動詞」「目的語」 and 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Nothing, ナンク pron 何も～ない

「主語」

nothing ナンク pron 何も～ない

「主語」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t (否定文で) ～がない

「動詞」

the least importance ザ・リースト・インポータンス n. 最小限の重要性も～ない

「目的語」

and アント conj. そして

I アイ pron 僕は

「主語」

knew ニュー 1 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

quite well クワイ・ウェル adv. とてもよく

「副詞句」

why. ホイ n. 理由を

「目的語」

彼も分かっているはずだ。僕の未来の暗い水平線の彼方から、ある種の緩やかに持続する息吹が、それがやって来た年からずっと僕に向かって吹き付けていたのだ。

He, too, knew why. From the dark horizon of my future a sort of slow, persistent breeze had been blowing toward me, all my life long, from the years that were to come.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

He, ヒー pron 司祭は

「主語」

too, トゥ adv. ～も

「副詞」

knew ニュー 3 単過・時制の一致(know)v.t 知っている

「動詞」

why. ホイ n. 理由を

「目的語」

From the dark horizon フロム・ザ・ダーク・ホライズン adv. 暗い水平線の向こうから

「副詞句」

of my future オブ・マイ・フューチャー adj. 僕の未来の

「形容詞句」

a sort of slow, persistent ア・ソート・オブ・スロウ・パシスト

adj. ある種の緩やかに持続する

「形容詞句」

breeze ブリース n. 息吹が

「主語」

had been blowing ハット・ビーン・ブローイング 3 単過・完了形・進行形(blow)

v.i 吹き付けていた

「動詞句」

Part 2 第2部

toward me, トゥワート・ミー adv. 僕に向かって 「副詞句」
 all my life long, オール・マイ・ライフ・ロング adv. 僕の人生を通じて 「副詞句」
 from the years フロム・ザ・イヤーズ adv. その年から 「副詞句」
 that サット pron (主語) ～する 「形容詞節」
 were to come. ワー・トゥ・カム 3 複過・開始(be to+不定詞 come)
 v.i 来るようになった 「動詞句」

そしてその息吹は、僕の所までやって来る間に、当時僕が生き抜いていた同様に非現実的な時代に、人々が僕に押し付けようとしたすべての考えを画一化した。

And on its way that breeze had leveled out all the ideas that people tried to foist on me in the equally unreal years I then was living through.

And 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

And アント conj. そして
 on its way オン・イツ・ウェイ adv. 風の通路で、その途中で 「副詞句」
 that breeze サット・ブリーズ n. その息吹は 「主語」
 had leveled out ハット・レヴェルト・アウト 3 単過・完了形(level out)
 v.t 平らにした、一様にした 「動詞句」
 all the ideas オール・ズィ・アイデアズ pl.n 全ての考えを 「目的語」
 that サット pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 people ピープル n.pl 人々が 「主語」
 tried to foist トライト・トゥ・フォイスト 3 複過・試行(try to+不定詞 foist)
 v.t 押し付けようとした 「動詞句」
 on me オン・ミー adv. 僕に 「間接目的語」
 in the equally unreal years イン・ザ・イクワリー・アンリアル・イヤーズ
 adv. 同様に非現実的な時代に 「副詞句」
 I アイ pron 僕が～する 「形容詞節」
 then セン adv. 当時 「副詞」
 was living through. ワス・リヴィング・スルー 1 単過・進行形(live through)
 v.i 生き抜いていた 「動詞句」

Part 2 第2部

僕に対して、一体どんな相違を作れるというのか？他人の死？、母親の愛？、彼の神？、人の生き方？、それとも彼の選ぶ運命か？一つの運命または同様の運命が、僕だけでなくあの司祭のように僕の兄弟を自称する何十億の特権者たちも選ぶというのに！

What difference could they make to me, the deaths of others, or a mother's love, or his God; or the way a man decides to live, the fate he thinks he chooses, since one and the same fate was bound to "choose" not only me but thousands of millions of privileged people who, like him, called themselves my brothers.

「直接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」,
「間接目的語」,「副詞節」

What difference ファット・ディファレンス n. どんな相違を 「直接目的語」
could ...make クッド ...メイク 3 複過・可能・時制の一致(can+不定詞 make)

v.t 起こせる、作れた 「動詞句」

they ゼイ pron.pl 彼らは 「主語」

to me, トゥ・ミー adv. 僕に対して 「間接目的語」

the deaths of others, ザ・デス・オブ・アサース pl.n 他人の死 「直接目的語」

or オア conj. または

a mother's love, ア・マサース・ラヴ n. 母親の愛 「直接目的語」

or オア conj. または

his God; ヒズ・ゴット n. 彼の神 「直接目的語」

or オア conj. または

the way a man decides to live, ザ・ウェイ・ア・マン・デイズ・トゥ・リヴ n. 人の生き方 「直接目的語」

the fate he thinks he chooses, ザ・フェイト・ヒージンクス・ヒー・チュース n. 彼の選ぶ運命 「直接目的語」

since シンス conj. ～なのだから 「副詞節」

one and the same fate ワン・アント・ザ・セイム・フェイト

n. 一つの運命と同様の運命は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ～である 「動詞」

bound to "choose" バウンド・トゥ・チュース

adj(bound to+不定詞 choose) きつと選ぶ 「補語」

not only me ノット・オンリー・ミー adv. 僕だけでなく 「間接目的語」

but thousands of millions of privileged people

バット・サザンズ・オブ・ミリオンズ・オブ・プリヴィレジド・ヒール

pl.n 何十億人の特権者も 「間接目的語」

who, フー pron (主語) ～する 「形容詞節」

like him, ライク・ヒム adv. あの司祭のように 「副詞句」

called themselves コールト・セムセルヴズ 3 複過・時制の一致(call oneself)

v.pr 自称する 「動詞句」

Part 2 第2部

my brothers. マイク・ラザース pl.n 僕の兄弟 「補語」

しかし彼は本当にそれが分かっているのか？人は誰でも特権がある；階級は 1 つしかない。
特権階級だけだ。

Surely, surely he must see that? Every man alive was privileged; there was only one class of men, the privileged class.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」；「動詞句」「主語」
 Surely, surely シュアリー・シュアリー adv. (前言に強く反対して) だが本当に 「副詞句」
 he ヒー pron 彼は 「主語」
 must see マスト・シー 3 単現・必然・推量(must+不定詞 see)v.t 分かっている 「動詞句」
 that? ザット pron それを 「目的語」
 Every man alive エヴリ・マン・アライヴ n. 生存者は誰でも 「主語」
 was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である 「動詞」
 privileged; プリヴリッジド adj. 特権のある 「補語」
 there was ゼア・ワズ 3 単過・存在・時制の一致(there be)v.i ~がいる 「動詞句」
 only one class of men, オウンリー・ワン・クラス・オブ・メン n. 1 階級の間人間だけが 「主語」
 the privileged class. ザ・プリヴリッジド・クラス n. 特権階級が 「主語」

全ての特権者は、いつか死の宣告を受けるだろう；彼の順番も同じように訪れるのだ。

All alike would be condemned to die one day; his turn, too, would come like the others'.

「主語」「動詞句」「補語」；「主語」「動詞句」「副詞句」
 All alike オール・アライヴ pron (単数扱い) 全ての特権者は 「主語」
 would be condemned ウット・ビー・コンデムント 3 単過・推量(would+不定詞・受動 condemn) v.t 宣告されるだろう 「動詞句」
 to die トゥ・ダイ 不定詞・all の動作 v.i 死ぬ 「補語」
 one day; ワン・デイ adv. いつか、ある日 「副詞句」
 his turn, too, ヒズ・ターン・トゥー n. 彼の順番も 「主語」
 would come ウット・カム 3 単過・推量(would+不定詞 come)v.i やって来るだろう 「動詞句」
 like the others'. ライク・ズィ・アザース adv. その他と同様に 「副詞句」

Part 2 第2部

それで、殺人で起訴されて、母親の葬儀で泣かなかったという理由で処刑されたとしたら、
それがいったいどんな違いを作れたと言うのか？

And what difference could it make if, after being charged with murder, he were executed because he didn't weep at his mother's funeral, since it all came to the same thing in the end?

And 「目的語」「動詞句」「主語」「副詞節」

And アント conj. そして

what difference ファット・ディファレンス n. 違いを

「目的語」

could ...make クッド ...メイク 3 単過・可能・疑問文(can+不定詞 make)

v.t 作れたというのか？

「動詞句」

it イット pron それ

「主語」

if, イフ conj. (仮定) ~であるならば

「副詞節」

after being charged with murder, アフター・ビーイング・チャージド・ウィズ・マダー

adv. (原因) 殺人で告発されて

「副詞句」

he ヒー pron 彼

「主語」

were executed ワー・エグゼキューティド 3 単過・受動・仮定法 v.t 処刑された

「動詞句」

because he didn't weep ビーズ・ヒー・デイント・ウィープ

adv. 彼が泣かなかったために

「副詞句」

at his mother's funeral, アット・ヒズ・マザーズ・フューネラル

adv. 母親の葬儀で

「副詞句」

since シンス conj. ~なのだから

「副詞節」

it all イット・オール pron それは全て

「主語」

came ケイム 3 単過・時制の一致(come)v.i ~になる、行きつく

「動詞」

to the same thing トゥ・ザ・セイム・シング adv. 同じことに

「補語」

in the end? イン・ズィ・エント adv. 結局は

「副詞句」

サラマノにとっては、妻も犬も同様だ。

The same thing for Salamano's wife and for Salamano's dog.

「補語」「間接目的語」 and 「間接目的語」

The same thing ザ・セイム・シング n. 同じもの

「補語」

for Salamano's wife フォー・サラマノズ・ワイフ adv. サラマノの妻に対して

「間接目的語」

and アント conj. そして

for Salamano's dog, フォー・サラマノズ・ドッグ adv. サラマノの犬に対して

「間接目的語」

Part 2 第2部

あの機械仕掛けの小柄な女は、マソンと結婚したパリ出身の女や僕と結婚を望んでいたマリーと同様に、有罪だ。

That little robot woman was as “guilty” as the girl from Paris who had married Masson, or as Marie, who wanted me to marry her.

That little robot woman ザット・リトル・ロボット・ウーマン n. あの小柄な機械仕掛けの女は 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

as “guilty” アズ・ギルティ adj. 同様に有罪の 「補語」

as the girl アズ・ザ・ガール adv. 女と 「副詞句」

from Paris フロム・パリス adv. パリ出身の 「副詞句」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

had married ハット・マリト 3 単過・完了形(marry)

v.t 結婚した 「動詞句」

Masson, マソン n. マソンと 「目的語」

or オア conj. または

as Marie, アズ・マリー adv. マリーと 「副詞句」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

wanted ワンティト 3 単過(want)v.t 望んでいた 「動詞」

me ミー pron 僕に 「目的語」

to marry トゥ・マリー 不定詞・me の動作 v.t 結婚する 「補語」

her. ハー pron 彼女と 「目的語」

レーモンが、彼より優秀なセレステと同様に僕の友人だからと言って、何が問題なのだ？

What did it matter if Raymond was as much my pal as Céleste, who was a far worthier man?

What ファット pron 何が 「主語」

did ...matter ティット ...マター 3 単過・疑問文・時制の一致 v.i 重要なのか？ 「動詞句」

it イット pron 形式主語

if イフ conj. もし〜ならば 「副詞節」

Raymond レーモン n. レーモンが 「主語」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

as much my pal as Céleste, アズ・マッチ・マイ・パル・アズ・セレステ
n. セレステ同様の友人 「補語」

who フー pron (主語) 〜する 「形容詞節」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i 〜である 「動詞」

a far worthier man? ア・ファー・ワースィアー・マン n. ずっと立派な男 「補語」

Part 2 第2部

まさにこの瞬間に、マリーが新しい恋人にキスしたからと言って、何が問題なのだ？

What did it matter if at this very moment Marie was kissing a new boy friend?

「主語」「動詞句」「副詞節」

What フアット pron 何が

「主語」

did ...matter ディット ...マター 3 単過・疑問文・時制の一致 v.i 重要なのか？

「動詞句」

it イット pron 形式主語

if イフ conj. もし～ならば

「副詞節」

at this very moment アット・スィズ・ウェリー・モメント adv. まさにこの瞬間に

「副詞句」

Marie マリー n. マリーが

「主語」

was kissing リズ・キンク 3 単過・進行形・時制の一致 v.t キスする

「動詞句」

a new boy friend? ア・ニュー・ボーイ・フレンド n. 新しい恋人に

「目的語」

司祭自身も死刑囚として、未来から吹き付けるあの暗い風によって僕が言おうとした意味が分かっているのか？

As a condemned man himself, couldn't he grasp what I meant by that dark wind blowing from my future? ...

「副詞句」「動詞句」「主語」「目的語」

As a condemned man himself, アズ・ア・コンデムント・マン・ヒムセルフ

adv. 彼自身も死刑囚として

「副詞句」

himself は司祭を表わすと考える。司祭も死刑を宣告されるから。

couldn't ...grasp クント...グラスプ 3 単過・可能・否定・疑問文(can+不定詞 grasp)

v.t 理解できなかったのか？

「動詞句」

he ヒー pron 彼は

「主語」

what フアット pron (目的語) ～することを

「目的語」

I アイ pron 僕が

「主語」

meant メント 1 単過(mean)v.t 表した

「動詞」

by that dark wind バイ・ザット・ダーク・ウインド

adv. (手段) あの暗い風によって

「副詞句」

blowing from my future? ... ブロウイング・フロム・マイ・フューチャー

adj. 僕の未来から吹き付ける

「形容詞句」

僕は激しく叫び続けていたので、息が切れてしまった。その時、看守たちが独房に飛び込んできて、僕の手から司祭を振りほどき始めた。

I had been shouting so much that I'd lost my breath, and just then the jailers rushed in and started trying to release the chaplain from my grip.

「主語」「動詞句」「副詞句」 that 「主語」「動詞句」「目的語」,
and 「副詞句」「主語」「動詞句」 and 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
had been shouting ハット・ヒーン・シャウティング 1 単過・完了形・進行形・継続 (shout)v.i 叫び続いていた	「動詞句」
so much ソウ・マッチ adv. かなり激しく	「副詞句」
that サット conj.(so...that) (結果) それで～する	
I アイ pron 僕は	「主語」
'd lost ハット・ロースト 1 単過・完了形(lose)v.t 失った	「動詞句」
my breath, マイ・ブレス n. 息を	「目的語」
and アンド conj. そして	
just then ジャスト・ゼン adv. 丁度その時	「副詞句」
the jailers サ・ジェイラーズ pl(jailer).n 看守たちが	「主語」
rushed in ラッシュト・イン 3 複過(rush in)v.i (独房に) 飛び込んできた	「動詞句」
and アンド conj. そして	
started trying to release スターテイト・トライイング・トゥ・リリース 3 複過・開始・試行 (start+現在分詞 try to+不定詞)v.t 振りほどき始めた	「動詞句」
the chaplain サ・チャプリン n. 司祭を	「目的語」
from my grip. フロム・マイ・グリップ adv. 僕の握りこぶしから	「副詞句」

看守の一人が僕を殴る素振りを見せた。司祭は看守たちをなだめてから、何も言わずに一瞬僕を見つめた。その目に涙が見えた。それから振り返り、独房を出て行った。

One of them made as if to strike me. The chaplain quietened them down, then gazed at me for a moment without speaking. I could see tears in his eyes. Then he turned and left the cell.

「主語」「動詞」「副詞句」	
「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」, 「副詞」「動詞」「間接目的語」「副詞句」	
「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 「副詞」「主語」「動詞」 and 「動詞」「目的語」	
One of them ワン・オブ・ゼム n. 看守の一人は	「主語」
made メイト 3 単過(make)v.t (動作を) した	「動詞」
as if アズ・イフ adv. まるで～するかのよう	「副詞句」
to strike トゥ・ストライク 不定詞 v.t 殴る	「動詞句」
me. ミー pron 僕を	「目的語」
The chaplain サ・チャプリン n. 司祭は	「主語」
quietened ... down, クワイエットンド...ダウ 3 単過(quiet down)v.t 鎮めた、なだめた	「動詞句」
them ゼム pron.pl 看守たちを	「目的語」
then ゼン adv. そして、それから	「副詞」
gazed ゲイズト 3 単過(gaze)v.i(at を) じっと見つめた	「動詞」

Part 2 第2部

at me アット・ミー adv. 僕を	「間接目的語」
for a moment フォー・ア・モウメント adv. 一瞬	「副詞句」
without speaking. ウィズアウト・スピーキング adv. 何も言わずに	「副詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
could see クッド・シー 1 単過・可能(can+不定詞 see)v.t 見えた	「動詞句」
tears ティアズ pl.n 涙が	「目的語」
in his eyes. イン・ヒズ・アイズ adv. 彼の目に	「副詞句」
Then セン adv. それから	「副詞」
he ヒー pron 彼は	「主語」
turned ターント 3 単過 v.i 振り返った	「動詞」
and アンド conj. そして	
left レフト 3 単過(leave)v.t 出て行った	「動詞」
the cell. ザ・セル n. 独房を	「目的語」

彼が立ち去ると、僕はまた落ち着きを取り戻した。しかしこれらの興奮で僕は疲れ果て、ベッドにどっしりと倒れ込んだ。

Once he'd gone, I felt calm again. But all this excitement had exhausted me and I dropped heavily on to my sleeping plank.

	「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」
	But 「主語」 「動詞句」 「目的語」 and 「主語」 「動詞」 「副詞句」
Once ワンス conj. 一度～すると	「副詞節」
he ヒー pron 彼が	「主語」
'd gone, ハット・ゴウン 3 単過・完了形(go)v.i 立ち去った	「動詞句」
I アイ pron 僕は	「主語」
felt フェルト 1 単過(feel)v.i 自分が～と感じた	「動詞」
calm カム adj. 穏やかな、落ち着いた	「補語」
again. アゲン adv. また	「副詞」
But ハット conj. しかし	
all this excitement オール・スィス・エキサイトメント n. これらの興奮が	「主語」
had exhausted ハット・イクゾーステイト 3 単過・完了形(exhaust)v.t 疲れさせていた	「動詞句」
me ミー pron 僕を	「目的語」
and アンド conj. そして	
I アイ pron 僕は	「主語」
dropped ドロップト 1 単過(drop)v.i 倒れ込んだ	「動詞」
heavily ヘヴィー adv. どっしりと	「副詞」
on to my sleeping plank. オン・トゥ・マイ・スリーピング・プランク adv. ベッドの上に	「副詞句」

Part 2 第2部

plank プランク n. 板 my sleeping plank ベッド

僕はしばらく眠ったに違いない。なぜなら、目を覚ました時、星明りが僕の顔に降り注いでいたから。

I must have had a longish sleep, for when I woke, the stars were shining down on my face.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

I アイ pron 僕は

「主語」

must have had マスト・ハヴ・ハット 1 単現・必要(must+不定詞・完了形 have)

v.t (動作を) していたに違いない

「動詞句」

a longish sleep, ア・ロンギッシュ・スリープ n. 長めの睡眠を

「目的語」

for, フォー adv. (理由) ~だから、~なので

「副詞節」

when I woke, ホエン・アイ・ウォーク adv. 目が覚めた時

「副詞節」

the stars ザ・スターズ pl(star).n 星が

「主語」

were shining down ワー・シャイニング・ダウン 3 複過・進行形(shine down)

v.i 明かりが降り注いでいた

「動詞句」

on my face. オン・マイ・フェイス adv. 顔の上に

「副詞句」

田園のざわめきが僕の独房にかすかに漏れ入り、大地と汐の匂いのする夜の空気が僕の頬に吹き付けた。

Sounds of the countryside came faintly in, and the cool night air, veined with smells' of earth and salt, fanned my cheeks.

「主語」「動詞句」「副詞」「動詞句」,and「主語」「動詞」「目的語」

Sounds サンズ pl(sound).n 音が

「主語」

of the countryside オフ・ザ・カントリーサイト adj. 田園の

「形容詞句」

came ...in, ケム...イン 3 複過(come in)v.i 入って来た

「動詞句」

faintly フェイントリー adv. かすかに

「副詞」

and アント conj. そして

the cool night air, ザ・クール・ナイト・エア n. 冷たい夜の空気が

「主語」

veined ヴェイント 過去分詞・受動(vein)

adj. 筋を付けられた、メリハリのある

「形容詞句」

with smells' of earth and salt, ウイズ・スメルズ・オフ・アース・アント

adv. (動作主) 大地と汐の匂いで

「副詞句」

fanned ファント 3 単過(fan)v.t 吹き付けた

「動詞」

my cheeks. マイ・チークス pl(cheek).n 僕の頬を

「目的語」

Part 2 第2部

眠りについた夏の夜の素晴らしい静けさが、僕の中で満ち潮のようにあふれてきた。

The marvelous peace of the sleepbound summer night flooded through me like a tide.

「主語」「動詞」「副詞句」

The marvelous peace ザ・マーヴェラス・ピース n. 素晴らしい平穏、静けさ 「主語」

of the sleepbound summer night オフ・ザ・スリープ・バウンド・サマー・ナイト

adj. 夏の夜の眠りについた

「形容詞句」

sleep スリープ n. 眠り -bound バウンド adj. ～に閉ざされた

flooded フラット・イト 3 単過(flood)v.i あふれてきた、押し寄せてきた

「動詞」

through me スルー・ミー adv. 僕の体じゅうで、僕に向かって

「副詞句」

like a tide. ライク・ア・タイド adv. 満ち潮のように

「副詞句」

その時、夜明け間際に、汽船のサイレンが聞こえた。

Then, just on the edge of daybreak, I heard a steamer's siren.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Then, セン adv. その時

「副詞」

just on the edge of daybreak, ジャスト・オン・スィ・エッジ・オブ・デイブレイク

adv. 夜明け間際に

「副詞句」

I アイ pron 僕は

「主語」

heard ハート 1 単過(hear)v.t 聞こえた

「動詞」

a steamer's siren. ア・スチーマーズ・サイレン n. 汽船のサイレン

「目的語」

steamer スチーマー n. 汽船 独房から海が近かったし、蒸気機関車の話は無かった
実際には、汽船ではなく監獄の連絡用のサイレンかもしれない。

人々は、僕にはもう永遠に関心のない世界への旅立ちにとりかかっていた。

People were starting on a voyage to a world which had ceased to concern me forever.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

People ピープル pron.pl 人々は

「主語」

were starting ワー・スターティング 3 複過・進行形(start)

v.i(on に) とりかかろうとしていた

「動詞句」

on a voyage オン・ナ・ヴァー・オイッジ adv. 船旅に

「間接目的語」

to a world トゥ・ア・ワールド adv. 世界への

「副詞句」

which フィッチ pron(world の代用) ～する

「形容詞節」

had ceased to concern ハット・シースト・トゥ・コンサーン 3 単過・完了形・停止(cease to+不定詞 concern)

v.i 重要ではなくなった

「動詞句」

me ミー pron 僕にとって

「間接目的語」

forever. フォーエヴァー adv. 永遠に

「副詞」

Part 2 第2部

しばらくぶりに、僕は母さんの事を考えた。

Almost for the first time in many months I thought of my mother.

「副詞句」「主語」「動詞」「間接目的語」

Almost for the first time オールモスト・フォー・ザ・ファースト・タイム adv. ほとんど初めて 「副詞句」

in many months イン・メー・マンツ adv. 何か月もの間で 「副詞句」

I アイ pron 僕は 「主語」

thought ソート 1 単過(think)v.i(of のことを) 考えた 「動詞」

of my mother. オフ・マイ・マザー adev. 母さんのことを 「間接目的語」

今になってみると、母さんがどうして人生の終わりに婚約者を作り、人生をやり直すふりをしたのか、分かった気がする。

And now, it seemed to me, I understood why at her life's end she had taken on a "fiancé"; why she'd played at making a fresh start.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」; 「目的語」

And now, アント・ナ adv. 今になって 「副詞句」

it seemed to me, イット・シームト・トゥ・ミー adv. 僕には思われるのだが 「副詞節」

I アイ pron 僕は 「主語」

understood アンダーストット 1 単過(understand)v.t 分かった 「動詞」

why ホワイ conj. なぜ～するかということ 「目的語」

at her life's end アット・ハー・ライフズ・エンド adv. 人生の終わりに 「副詞句」

she シー pron 彼女は 「主語」

had taken on ハット・テイクン・オン 3 単過・完了形(take)v.t 持った 「動詞句」

a "fiancé"; ア・フィアンセ n. 婚約者を 「目的語」

why ホワイ conj. なぜ～するかということ 「目的語」

she シー pron 彼女は 「主語」

'd played at making ハット・プレイト・アット・メイキング 3 単過・完了形・ふり (play at+現在分詞)

v.t ～するふりをした 「動詞句」

a fresh start. ア・フレッシュ・シュタート n. 再出発 「目的語」

make a fresh start 「再出発する」

いくつもの命の火が消えていくあの養老院でも、黄昏は悲しい慰めのようにやって来る。

There, too, in that Home where lives were flickering out, the dusk came as a mournful solace.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

There, too, ゼア・トゥ adv. あそこでもまた 「副詞句」

in that Home イン・ザット・ホーム adv. あの養老院で 「副詞句」

Part 2 第2部

where ウェア adv. そこで～する 「形容詞節」
 lives ライヴズ pl(life).n いくつもの命が 「主語」
 were flickering out, ワー・フリカング・アウト 3 複過・進行形・時制の一致(flicker out)
 v.i 少しずつ消えてく 「動詞句」
 the dusk ザ・ダスク n. 黄昏は、夕暮れ時は 「主語」
 came ケム 3 単過・時制の一致(come)v.i やって来る 「動詞」
 as a mournful solace. アズ・ア・モンフル・ソリス adv. 悲しい慰めのように 「副詞句」

死を間近にして、母さんは解放されそして、もう一度人生を全てやり直す準備ができたと感じたに違いない。

With death so near, Mother must have felt like someone on the brink of freedom, ready to start life all over again. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

With death so near, ウイズ・デス・ソ・ニア adv. 死を間近にして 「副詞句」

Mother マザー n. 母さんは 「主語」

must have felt マスト・ハヴ・フェルト 3 単現・推量(must+不定詞・完了形 feel)

v.i 感じたに違いない 「動詞句」

like someone ライク・サムワン adv. 人のように 「補語」

on the brink of freedom, オン・ザ・ブリック・オブ・フリーダム adv. 解放された 「副詞句」

on the brink of... 「～に瀕して」

ready レディ adj. 準備ができた 「形容詞句」

to start トゥ・スタート 不定詞・目的 v.t 始める 「動詞句」

life ライフ n. 人生を 「目的語」

all over again. オール・オヴァー・アゲイン adv. すべてもう一度 「副詞句」

誰にも母さんのことを嘆き悲しむ権利などない。

No one, no one in the world had any right to weep for her. 「主語」 「動詞」 「目的語」

No one, no one ノー・ワン・ノー・ワン pron 誰も、誰も～ない 「主語」

in the world イン・ザ・ワールド adv. この世の中で 「副詞句」

had ハット 3 単過・時制の一致(have)v.t (否定文で) ～がない 「動詞」

any right エニー・ライト n. いかなる権利も～ない 「目的語」

to weep トゥ・ウィープ 不定詞・目的 adv. 泣くための 「副詞句」

for her. フォー・ハー adv. 彼女のために 「副詞句」

Part 2 第2部

そして僕自身も、人生をすべてやり直す準備ができたと思う。

And I, too, felt ready to start life all over again.

And 「主語」「動詞」「補語」

And アント conj. そして

I, too, アイ・トゥ pron 僕もまた

「主語」

felt フェルト 1 単過・時制の一致(feel)v.i 感じている

「動詞」

ready レディ adj. 準備が出来た

「補語」

to start トゥ・スタート 不定詞・目的 adv. 始めるための

「副詞句」

life ライフ n. 人生を

「目的語」

all over again. オール・オヴ・アゲイン adv. すべてもう一度

「副詞句」

まるであの激しい怒りが僕を洗い清め、僕の希望を取り去ったように、シンボルと星がちりばめられた暗い空を見上げながら、僕は初めて、世界の優しい無関心に心を開いた。

It was as if that great rush of anger had washed me clean, emptied me of hope, and, gazing up at the dark sky spangled with its signs and stars, for the first time, the first, I laid my heart open to the benign indifference of the universe.

「主語」「動詞」「副詞節」、「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

It イット pron それは

「主語」

was ワズ 3 単過(be)v.i ~だった

「動詞」

as if アズ・イフ conj. まるで~のように

「副詞節」

that great rush of anger ザ・ット・グレート・ラッシュ・オブ・アンガー

n. あの激しい怒りが

「主語」

had washed ハット・ウォッシュト 3 単過・完了形(wash)v.t 洗った

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

clean, クリーン adj. きれいに

「補語」

emptied エンプティド 3 単過・完了形(wash)

v.t(O-2 of O-1 O-2 の O-1 を) 取り出した

「動詞句」

me of hope, ミー・オブ・ホープ n. 僕の希望を

「目的語」

and, アント conj. そして

gazing up ゲイジング・アップ 現在分詞 adv. 見上げて

「副詞句」

at the dark sky アット・ザ・ダーク・スカイ adv. 暗い空を

「間接目的語」

spangled スパングルト 過去分詞・受動(spangle)

adj. (光るものを) つけられた

「形容詞句」

with its signs and stars, ウイズ・イツ・サインズ・アント・スターズ

adv. シンボルと星を

「間接目的語」

for the first time, フォー・ザ・ファースト・タイム adv. 初めて

「副詞句」

the first, ザ・ファースト adv. 最初に、初めて

「副詞句」

Part 2 第2部

I アイ pron 僕は	「主語」
laid レイﾄﾞ 1 単過(lay)v.t 横たえた、置いた	「動詞」
my heart マイ・ハート n. 僕の心を	「目的語」
open オプン adj. 開いた	「補語」
to the benign indifference トゥ・ザ・ベナイン・インディフェレンス adv. 優しい無関心に	「副詞句」
of the universe. オフ・ザ・ユニヴァース adj. 世界の	「形容詞句」

世界がこれほど僕に似ていてまったく兄弟のようだと知って、僕は幸せだった、そして今でも幸せだと気づいた。

To feel it so like myself, indeed, so brotherly, made me realize that I'd been happy, and that I was happy still.

To feel トゥ・フィール 不定詞 n. ～とすることは	「主語」
it イット pron それが (世界が)	「目的語」
so like myself, ソウ・ライク・マイセルフ adj. これほど僕に似ている	「補語」
indeed, so brotherly, インディード・ソウ・ブラザリー adj. まったく兄弟のような	「補語」
made メイト 3 単過・使役・時制の一致(make)v.t ～させる	「動詞」
me ミー pron 僕に	「目的語」
realize リアライズ 不定詞・m e の動作 v.t 気付く	「補語」
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
'd been ハット・ビーン 1 単過・完了形(be)v.i ～だった	「動詞句」
happy, ハッピー adj. 幸せな	「補語」
and アンド conj. そして	
that ザット conj. ～ということを	「目的語」
I アイ pron 僕は	「主語」
was ワズ 1 単過・時制の一致(be)v.i ～である	「動詞」
happy still. ハッピー・スティル adj. 今でも幸せな	「補語」

Part 2 第2部

全てが達成されるために、そして僕があまり寂しいと感じないために、この後願うのは、僕の処刑の日に大勢の見物人が集まり、僕を罵る叫びで迎えることだけだ。

For all to be accomplished, for me to feel less lonely, all that remained to hope was that on the day of my execution there should be a huge crowd of spectators and that they should greet me with howls of execration.

「副詞句」, 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 and 「補語」

For all フォー・オール adv. 全てのために

「副詞句」

to be accomplished, トゥ・ビー・アコンプ リッシュト 不定詞・受動・目的

adj. 達成されるべき

「形容詞句」

for me フォー・ミー adv. 僕にとって、僕が

「間接目的語」

to feel トゥ・フィール 不定詞・目的 v.i 感じるために

「副詞句」

less lonely, レス・ロソリー adj. あまり寂しくない

「補語」

all that オール・ザット pron ~する全ては

「主語」

remained リメイント 3 単過・時制の一致 v.i 残っている

「動詞」

to hope トゥ・ホプ 不定詞・目的 adv. 願うために

「副詞句」

was ワズ 3 単過・時制の一致(be)v.i ~である

「動詞」

that ザット conj. ~ということ

「補語」

on the day of my execution オン・ザ・デイ・オブ・マイ・エクシキューション

adv. 僕の処刑の日に

「副詞句」

there should be ゼア・シュット・ビー 3 単過・存在・願い(there be)

v.i ~がいて欲しい

「動詞句」

a huge crowd of spectators ア・ヒュージ・クラウト・オブ・スペクテイターズ

n. 大勢の見物人が

「主語」

and アント conj. そして

that ザット conj. ~ということ

「補語」

they ゼイ pron 彼らが

「主語」

should greet シュット・グリート 3 単過・願い(shall+不定詞 greet)

v.t 迎えて欲しい

「動詞句」

me ミー pron 僕を

「目的語」

with howls ウイズ・ハウルズ adv. (手段) 叫びで

「副詞句」

of execration. オブ・エクセクレイションズ adj. 罵りの

「形容詞句」

英語 異邦人

The Stranger

Albert Camus

THE END.

THE END.

About the Author

About the Author

ALBERT CAMUS was born in Mondovi, Algeria, in 1913. After winning a degree in philosophy, he worked at various jobs, ending up in journalism. In the thirties he ran a theatrical company, and during the war was active in the French Resistance, editing an important underground paper, *Combat*. Among his major works are four widely praised works of fiction, *The Stranger* (1946), *The Plague* (1948), *The Fall* (1957), and *Exile and the Kingdom* (1958); a volume of plays, *Caligula and Three Other Plays* (1958); and two books of philosophical essays, *The Rebel* (1954) and *The Myth of Sisyphus* (1955), both of which are available in the Vintage series. Albert Camus was awarded the Nobel Prize for Literature in 1957. He was killed in an automobile accident on January 4, 1960.

THIS BOOK was set on the Linotype in Janson, an excellent example of the influential and sturdy Dutch types that prevailed in England prior to the development by William Caslon of his own designs, which he evolved from these Dutch faces. Of Janson himself little is known except that he was a practicing type-founder in Leipzig during the years 1660 to 1687. Printed and bound by THE COLONIAL PRESS INC., Clinton, Massachusetts. Cover design by LEO LIONNI.

DeepLによる翻訳

著者について

1913 年、アルジェリア・モンドヴィに生まれる。哲学の学位を取得後、さまざまな職業を経て、ジャーナリズムの世界に入る。30 年代には劇団を主宰し、戦時中はフランス・レジスタンスで活動し、重要な地下新聞『コンバット』を編集した。主な作品に、『見知らぬ人』（1946）、『ペスト』（1948）、『転落』（1957）、『追放と王国』（1958）という 4 つの小説があり、戯曲集『カリギュラと他の三つの劇』（1958）、哲学的エッセイの『反逆者』（1954）と『シシュポスの神話』（1955）がヴィンテージシリーズで販売されており、広く賞賛を浴びている。1957 年にノーベル文学賞を受賞。1960 年 1 月 4 日、自動車事故により死去。

この本は Janson の Linotype にセットされたもので、William Caslon がこのオランダの書体から発展させた独自のデザインを開発する前にイギリスで普及していた、影響力があり頑丈なオランダの書体の優れた例である。ヤンソン自身については、1660 年から 1687 年にかけてライプツィヒで活字鑄造の仕事をしていたこと以外、ほとんど知られていない。印刷・製本はマサチューセッツ州クリントンのザ・コロニアル・プレス社。表紙デザインは LEO LIONNI。

Vector で公開中のソフトとデータ

Vector で公開中のソフトとデータ

[作者: 三浦 高志 \(vector.co.jp\)](#)

汎用データ/画像&サウンド

- [キャプチャ NX の使用方法](#)

ニコンキャプチャ NC と NX の使用方法の説明

- [キャプチャ NX の画像調整データ](#)

「キャプチャ NX の使用方法」の本文中で使用した画像と調整データ

- [ニコンキャプチャ NX2-調整手順](#)

ニコンキャプチャ NX2 の操作に慣れるための調整手順を説明

- [ニコンキャプチャ NX2-撮影練習](#)

ニコンデジタル一眼レフカメラの撮影練習 — 露出設定を重点的に説明

汎用データ/学習&教育

- [LTSpice 操作入門](#)

アナログ電子回路のシミュレーション操作入門

WindowsMe/98/95 用ソフト/学習&教育

- [Sim for DOS](#)

アナログ回路の DC 及び AC 解析の出来るシミュレーションソフト

- [SimPack](#)

フリーソフトとして公開中の Sim.exe の開発資料とプログラムソースを公開する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [ぬり絵ビルダー](#)

画像データ(BMP または JPG)を自動的にぬりえに変換する

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/学習&教育

- [McAct2W](#)

アナログフィルタ(回路図出力付き)及びデジタルフィルタの設計支援ソフト

- [ActiveFilter-Design-Schematics](#)

LtAct の名称を変更し、取扱説明書の一部を英文に翻訳しました

- [ActDoc](#)

フリーソフトとして公開中の McAct2W.exe のプログラム開発資料を公開する

- [LtAct](#)

アクティブフィルタの設計と LTSpice 用の回路図作成

Vector で公開中のソフトとデータ

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/パーソナル

- [電卓プログラム Dt_.exe](#)

複素数の計算が出来て、関数も自作できる 組み込み関数は複素数処理に対応

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

- [カラーコーディネイタ](#)

色彩調整における「色と補色の確認」ツール

- [TIFF 圧縮](#)

RGB 各 16 ビットの TIFF データを高画質に圧縮/伸張するプログラム

- [EV 計算](#)

デジタル一眼レフの露出情報を入力すると EV 値(撮影環境の明るさ)を計算する

汎用データ/学習&教育

- [英語・地球の歴史](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [星の王子さま・スペイン語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [星の王子さま・ドイツ語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [異邦人・スペイン語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [星の王子さま・英語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [スペイン語学習](#)

構文解析によるスペイン語学習

- [星の王子様・フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [フランス語学習](#)

構文解析によるフランス語学習

- [星の王子様・イタリア語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

- [英語・アル・ゴアからのメッセージ](#)

気候危機に関するアル・ゴア元副大統領の講演

- [異邦人・フランス語](#)

辞書なしでも、何度も読むだけで単語と文法が分かってくると思います

Vector で公開中のソフトとデータ

Windows10/8/7/Vista/XP/2000/NT/画像&サウンド

●[HDPPhotoTool \(HD フォトツール\)](#)

TIF(RGB48bit または RGB24bit)または BMP ファイルを HDP 形式に圧縮して TIF 形式に伸張

汎用データ/家庭&趣味

●[北海道の家庭菜園](#)

寒冷地における苗の植付と栽培方法および野菜の育苗を体験に基づいて説明